

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）の
報告案について

○ 医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査
（その2） （右下頁）

・ 報告書（案）	1 頁
・ NDBデータ	6 5 4 頁
・ 調査票	6 6 4 頁

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）

医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る
評価等に関する実施状況調査（その2）

報告書（案）

◆◆目次◆◆

I.	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査項目	2
5.	調査検討委員会	8
II.	調査の結果	9
1.	回収結果	9
2.	施設票	10
(1)	施設の概要（令和3年7月1日現在）	10
(2)	新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的取扱い	105
(3)	各診療報酬項目の施設基準の届出状況等	184
(4)	医師の勤務状況等	277
(5)	医師の負担軽減策に関する取組状況等	304
(6)	看護職員や看護補助者の配置等	349
(7)	医療従事者の勤務環境改善マネジメント	376
(8)	記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等	386
(9)	新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ・施設における影響等	405
(10)	医師の働き方改革に関する取組等	412
3.	医師票	419
(1)	医師の属性	419
(2)	医師の勤務状況など	425
(3)	業務とその負担感	460
(4)	病棟薬剤師による医師の業務の負担軽減等	483
(5)	勤務状況に関するご意見等	499

4. 看護師長票	504
(1) 病棟の概要	504
(2) 病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等 A. 職員数.....	520
(2) 病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等 B. 夜勤体制等.....	538
(3) 病棟における看護職員の負担軽減策の取組状況.....	565
5. 薬剤部責任者票	586
(1) 施設の概要	586
(2) 薬剤師の働き方.....	601
(3) 薬剤師の病棟業務等.....	609
(4) 各種加算の状況等.....	628
(5) 医療従事者の負担軽減における取組状況.....	640
(6) 保険薬局との連携等.....	646

I. 調査の概要

1. 目的

令和2年度診療報酬改定において、地域医療の確保を図る観点から早急に対応が必要な救急医療体制等の評価や、医師等の長時間労働などの厳しい勤務環境を改善する取組の評価等を行った。また、情報通信機器を用いたカンファレンス等の実施がさらに進むよう、要件の見直し等を行った。本調査では、医療機関における勤務環境改善の取組状況等について調査・検証を行うことを目的とする。

2. 調査対象

本調査では、「施設票」「医師票」「看護師長票」および「薬剤部責任者票」の4つの調査を実施した。各調査の対象（抽出方法）は、次のとおりであった。

○施設票

- ・病院 1,500 施設（地域医療体制確保加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算の届出病院以外で医師事務作業補助体制加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算、医師事務作業補助体制加算のいずれも届出していない病院 500 件）

○医師票

- ・施設票の対象となった医療施設に勤務する医師 1 施設につき 4 名。
（調査対象病院に1年以上勤務する常勤医師（年齢：34歳以下、35歳以上44歳以下、45歳以上54歳以下、55歳以上から各1名。診療科：外科系、内科系、その他の診療科から各1名以上）を対象）。

○看護師長票

- ・施設票の対象となった医療施設に勤務する看護師長 1 施設につき 5 名。
（調査対象病院の病棟の中から選定した病棟に1年以上勤務する看護師長（病棟：一般病棟 2 名、療養病棟 1 名、精神病棟 1 名、特定入院料 1 名）を対象）

○薬剤部責任者票

- ・施設票の対象となった医療施設に勤務する薬剤部責任者 1 施設につき 1 名。

3. 調査方法

本調査は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（IDを印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、回答者の負担軽減のため、専用

ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

4. 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

《施設票》

設問	主な調査項目
1. 概要	①開設者
	②承認等の状況
	③標榜診療科
	④DPC 対応状況
	⑤(1)(2)届出ている入院基本料、重症度、医療・看護必要度の種別
	⑥届出ている特定入院料等
	⑦許可病床数
	⑧医療従事者の職員数
	⑨入院延べ患者数、外来延べ患者数、救急搬送件数、分娩件数、全身麻酔による手術件数
2. 新型コロナウイルス感染症に係る臨時的取扱い	①令和2年3月以降の受診者や体制の動向
	②施設基準等の臨時的な取扱いの該当状況
	③新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無
	④令和3年4月～6月の3か月間における、「医科外来等感染症対策実施加算」、「入院感染症対策実施加算」の算定有無
	⑤施設基準等の臨時的な取扱いに関連した、配置要件や診療実績への影響
	⑥医療提供状況の変化
	⑦コロナ対応の実施状況
	⑧新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、貴施設が患者の受療行動の変化に際して行った対応と、患者の健康影響等について
	⑦その他、新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受領行動の変化や患者への健康影響等について
3. 各診療報酬項目の施設基準の届出状況	①地域医療体制確保加算の届出状況
	②総合入院体制加算の届出状況
	③医師事務作業補助体制加算の届出状況
	④麻酔管理料(Ⅱ)の届出状況
	⑤摂食嚥下支援加算の届出状況
	⑥外来化学療法加算1の届出状況

設問	主な調査項目
	⑦(1)非常勤職員の配置_各職種について非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目
	(2)具体的な診療報酬項目
	⑧常勤配置や専従配置について、常勤職員や専従職員でなくても機能を果たすことができるため、要件の緩和を希望する診療報酬項目
4. 医師の勤務状況等	①医師の勤務形態
	②常勤医師1人あたりの平均、最大、最小超過勤務時間(1か月間)、及び、超過勤務時間が80時間/月以上の者・155時間/月以上の者の人数、宿日直状況
	③労働基準法の36協定の締結状況
	④夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可状況
5. 医師の負担軽減策に関する取組状況等	①医師の貴施設での労働時間の把握方法
	②長時間労働者に対する医師による面接指導の実施状況
	③貴施設の常勤医師の他施設での勤務状況の把握有無
	④医師について労働時間以外の勤務状況として把握している内容
	⑤医療勤務環境改善支援センターへの相談状況
	⑥医師の負担軽減策
	⑦勤務医負担軽減策で効果のある取組(上記⑥以外)
	⑧他職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況
6. 看護職員や看護補助者の配置等	①救急搬送看護体制加算の届出状況
	②看護補助加算の届出状況
A. 看護職員や看護補助者の配置等	③急性期看護補助体制加算の届出状況 (届出していない場合)届出の予定、届出をしていない理由
	④夜間急性期看護補助体制加算の届出状況 (届出していない場合)届出の予定、届出をしていない理由
	⑤夜間看護体制加算の届出状況
	⑥看護職員夜間配置加算の届出状況 (届出していない場合)届出の予定、届出をしていない理由
B. 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に係る取組	①看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する具体的な取組
	②看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の達成状況
7. 勤務環境改善マネジメントについて	①勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの有無
	②勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況
	③勤務環境改善の取組について、計画を策定しているか

設問	主な調査項目
8. 記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況	①入院部門での電子カルテ導入状況
	②ICT を活用した業務の見直し、省力化の取組内容
	③院内の会議に関する負担軽減の取組内容
	④ビデオ通話を活用している具体的な場面
	⑤医師の書類作成に関する負担軽減の取組内容
	⑥ほかの医療機関や訪問看護ステーション、薬局、居宅会議支援事業者等の関係機関の職員と情報共有連携を行うための、ICT 活用状況
9. 新型コロナウイルス感染症患者の受入影響	①新型コロナウイルス感染症拡大により医療従事者の働き方に及ぼした影響
10. 医師の働き方改革に関する取組み等	①医師の働き方改革に関する現時点の施設水準
	②勤務医のうち、各水準に該当する医師の有無とその人数
	③2024年4月の労働時間上限規制の適用後に予定している施設水準
	④医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等についてのご意見

《医師票》

設問	主な調査項目
1. 回答者属性情報	①性別
	②年齢
	③医師経験年数
	④貴施設での勤続年数
	⑤主たる所属診療科
	⑥担当する主な病棟
	⑦役職等
	⑧勤務形態（常勤／非常勤）
	⑨短時間勤務制度の利用有無
	⑩主治医制の状況
2. 勤務状況	①貴施設（この調査票を受けとった病院）における、各設問で指定する期間におけるあなたの令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間(1か月間)、宿日直状況
	①-1.1 週間の勤務時間等
	②勤務時間の申告方法
	③他医療機関での勤務状況
3. 行っている業務とその負担感	④ 1年前と比較して勤務状況の変化（この調査票を受け取った医療機関での勤務状況）
	①医師の負担軽減策の実施状況
	②医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務
	③各業務の負担感と業務分担の状況
4. 病棟薬剤師による業務の負担軽減	④負担に感じている業務（③以外）で、医師以外の職員と役割分担ができる業務
	①薬剤師が病棟に配置されているか
5. 勤務状況に関する意見	①改善の必要性を感じているか
	②どのような取組が行われれば、医師の負担を軽減することができるか

《看護師長票》

設問	主な調査項目
1. 概要	①病棟の主たる診療科
	②診療報酬上の入院基本料等
	③病棟の病床数、病床利用率
	④看護補助加算の届出状況
	⑤急性期看護補助体制加算の届出状況
	⑥夜間急性期看護補助体制加算の届出状況
	⑦夜間看護体制加算の届出状況
	⑧看護職員夜間配置加算の届出状況
2. 看護職員、看護補助者の勤務状況 A. 職員数	①病棟に配置されている職員数
	②看護職員の勤務時間等
	③看護補助者の勤務時間
	④看護職員の夜勤専従者（実人数）
	⑤看護職員の夜勤専従者の勤務時間等
2. 看護職員、看護補助者の勤務状況 B. 夜勤体制等	①看護職員の勤務形態
	②令和2年度診療報酬改定の結果、看護職員数や夜勤に関する状況の変化
	③令和2年度の診療報酬改定の結果、看護職員の勤務状況の変化
3. 看護職員の負担軽減策の取組状況	①看護職員の負担軽減策として実施している取組
	②重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出有無等
	③医療従事者の負担削減に向けて実施されるべき取組、看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題

《薬剤部責任者票》

設問	主な調査項目
1. 概要	①施設の薬剤師数
	②薬剤部に所属する薬剤師数及びその他の職員数
	③常勤薬剤師1人あたりの平均勤務時間、平均当直回数、平均オンコール担当回数
	④1か月間の処方箋枚数
	⑤病棟数、薬剤師が配置されている病棟数
	⑥各病棟に配置されている薬剤師数
2. 薬剤師の働き方	①薬剤師の各業務について、1年前とどう変わったか
	②薬剤師の従業員数の状況
3. 薬剤師の病棟業務	①病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況
	②病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみの病棟の有無
	③薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定有無
	④病棟薬剤業務として実施していること
	⑤救急外来での薬剤管理業務実施状況
4. 各種加算の状況等	①薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算の算定有無
	②退院時薬剤情報連携加算の算定状況
	③外来化学療法実施の有無
	④外来で注射の抗がん剤を使用せず、内服の抗がん剤で治療を実施する患者に、病院薬剤師が外来支援業務を実施することの有無
	⑤内服薬の抗がん剤の場合でも病院と薬局との連携は必要か
5. 医療従事者の負担軽減における取組状況等	①薬剤師以外の医療従事者の負担軽減のための、薬剤師の取組
	②病院全体の働き方改革のため、病院薬剤師が分担できる業務
	③薬剤師の負担軽減に必要な取組
	④医療従事者の負担軽減のため、病院で必要な取組
6. 保険薬局との連携等について	①保険薬局からの文書による情報提供の有無
	②薬局からのトレーシングレポートの運用手順が病院内で決まっているか
	③薬局からのトレーシングレポートは、誰がどこで受けているか
	④薬局からのトレーシングレポートの医師への情報提供方法
	⑤薬局からのトレーシングレポートの内容を医師が確認するまでにかかる時間

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

- | | |
|--------|---|
| 太田 圭洋 | 社会医療法人名古屋記念財団 理事長
一般社団法人日本医療法人協会 副会長 |
| 川上 純一 | 国立大学法人浜松医科大学 教授
医学部附属病院 薬剤部長 |
| ○関 ふ佐子 | 横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授 |
| 高村 洋子 | 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
看護本部長 |
| 津留 英智 | 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長
全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会 委員長 |
| 野村 幸世 | 東京大学医学部附属病院 胃食道外科 准教授・がん相談支援
センター長 |
| 宮下 恵里 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 副院長兼看護部長 |

【オブザーバー】

- | | |
|-------|-----------------------|
| 永瀬 伸子 | お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授 |
|-------|-----------------------|

II. 調査の結果

1. 回収結果

各調査票の回収結果は以下のとおりであった。

	①発送数	②回収数	③回収率 (②/①)	④有効 回答数	⑤有効 回答率 (④/①)
施設票	1,500	479	31.9%	477	31.8%
医師票	—	1,210		1,209	
看護師長票	—	1,256		1,252	
薬剤部責任者票	1,500	495	33.0%	494	33.0%

2. 施設票

【調査対象等】

調査対象：病院 1,500 施設（地域医療体制確保加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算の届出病院以外で医師事務作業補助体制加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算、医師事務作業補助体制加算のいずれも届出していない病院 500 件）

回答数：477 施設

回答者：管理者

(1) 施設の概要（令和3年7月1日現在）

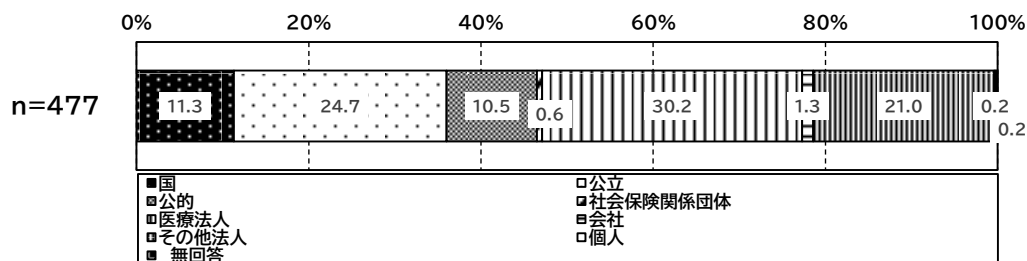
① 開設者

開設者についてみると、「国」11.3%、「公立」24.7%、「公的」10.5%、「社会保険関係団体」0.6%、「医療法人」30.2%等であった。

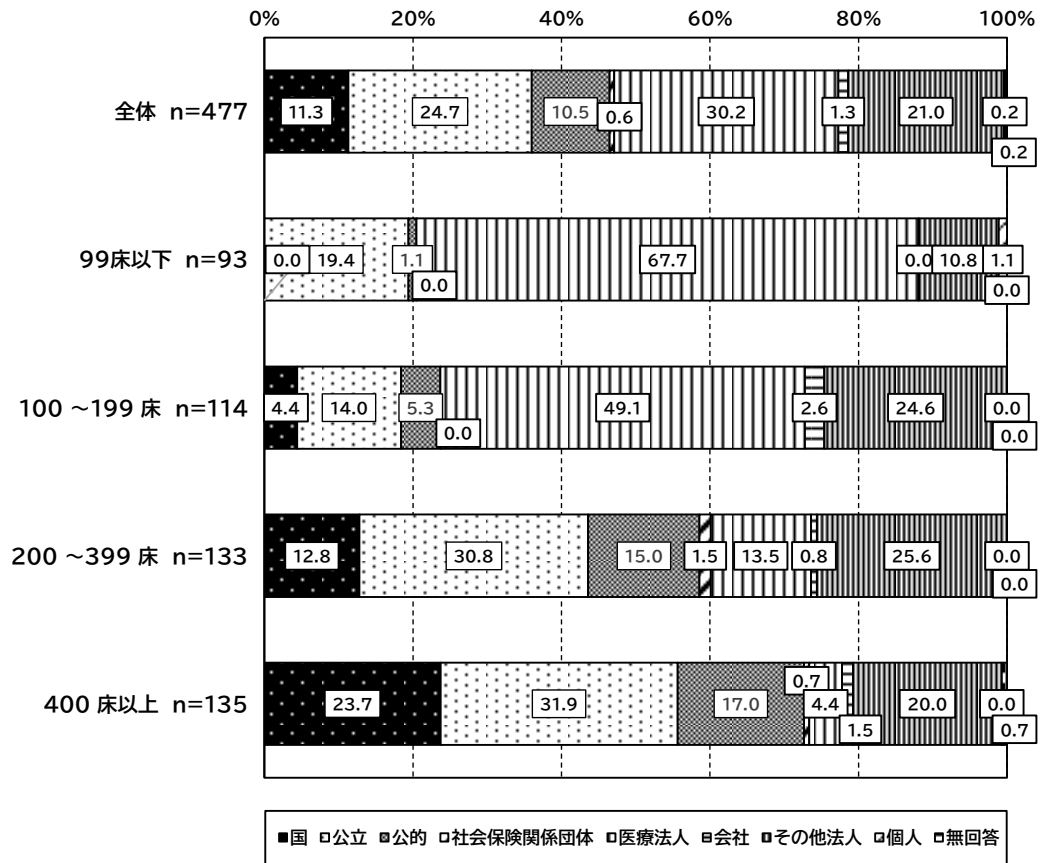
注：開設者は以下のとおり区分している。

国立	国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構
公立	都道府県、市町村、地方独立行政法人
公的	日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会
社会保険関係団体	健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
医療法人	医療法人（社会医療法人は含まない）
その他の法人	公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人

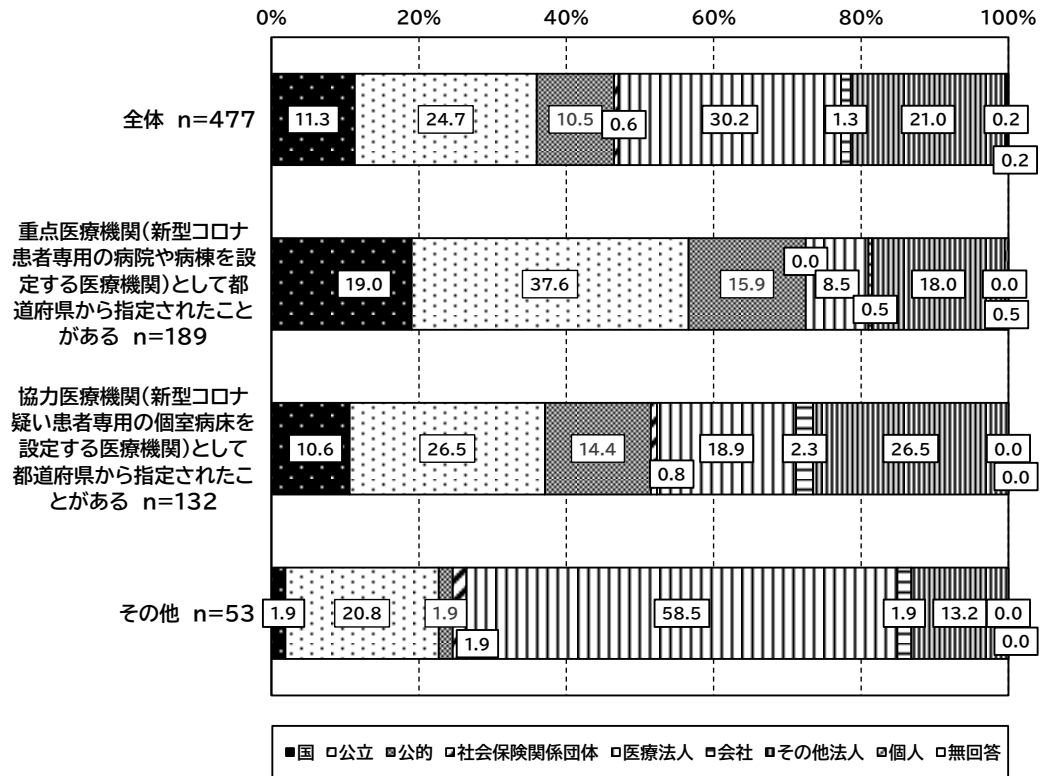
図表 2-1 開設者



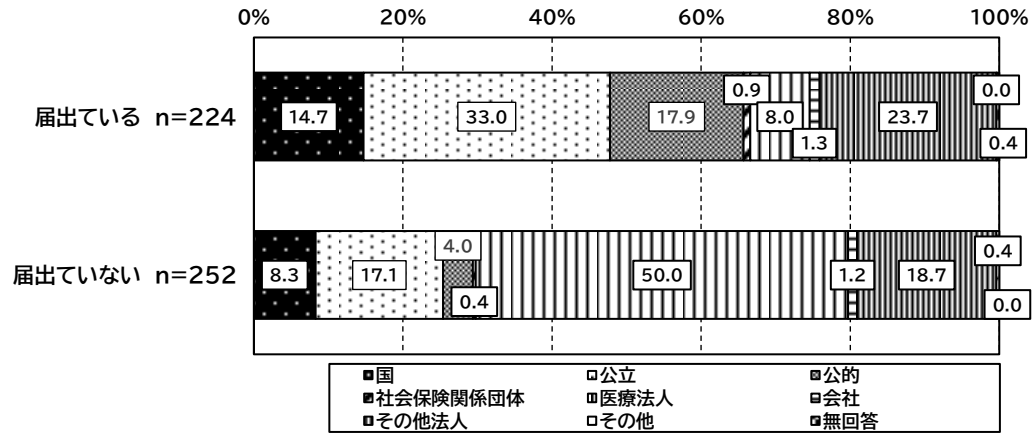
図表 2-2 開設者
(病床規模別)



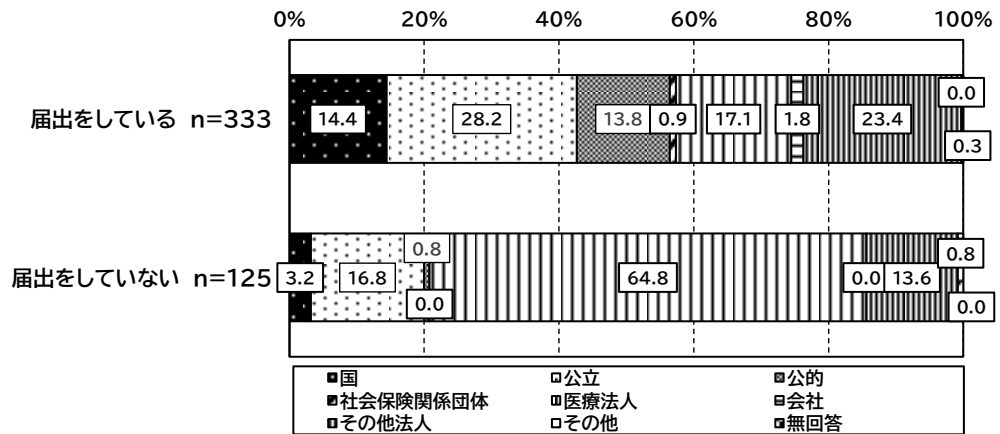
図表 2-3 開設者
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



図表 2-4 開設者
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 2-5 開設者
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)

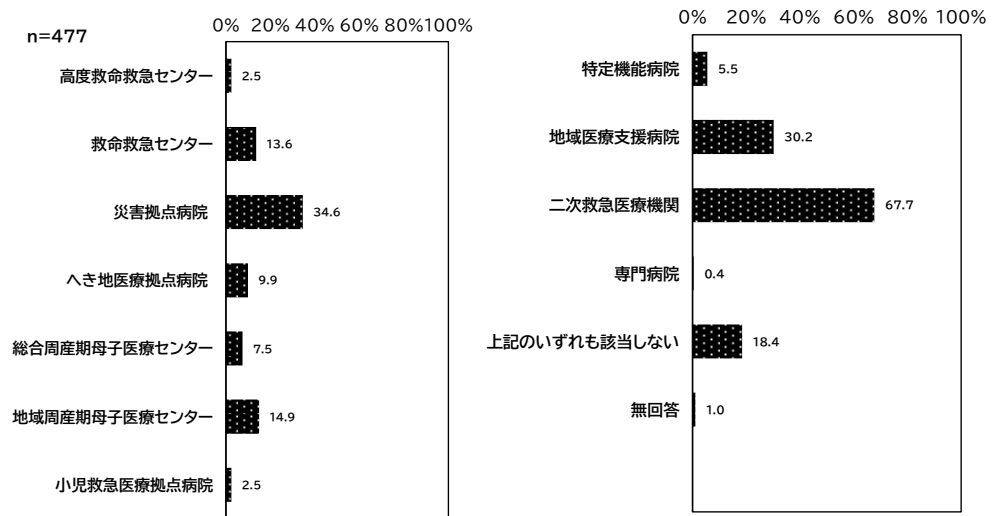


② 承認等の状況

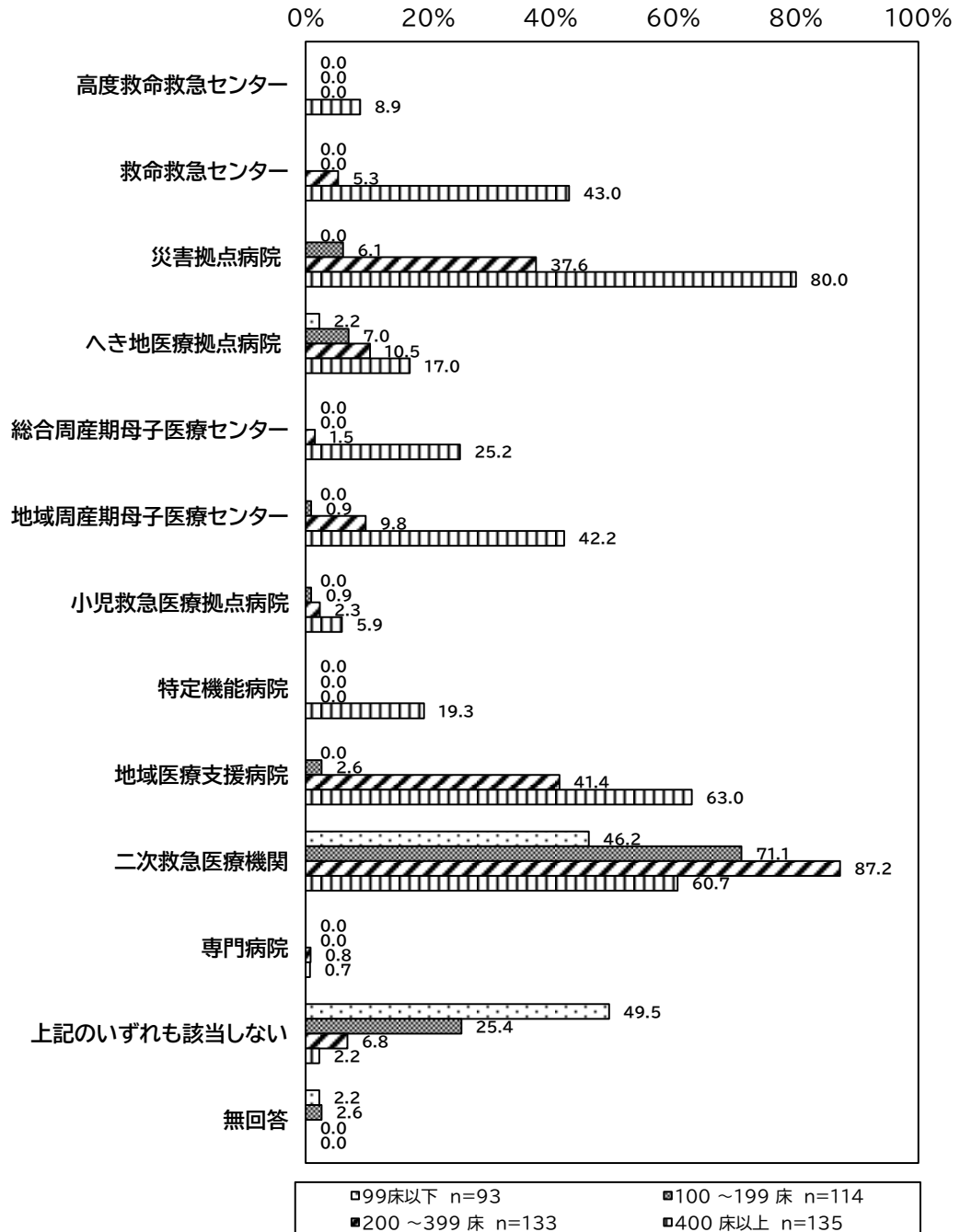
承認等の状況では、「二次救急医療機関」(67.7%)が最も多く、次いで「災害拠点病院」(34.6%)が多かった。

注：専門病院とは、主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たものを指す。

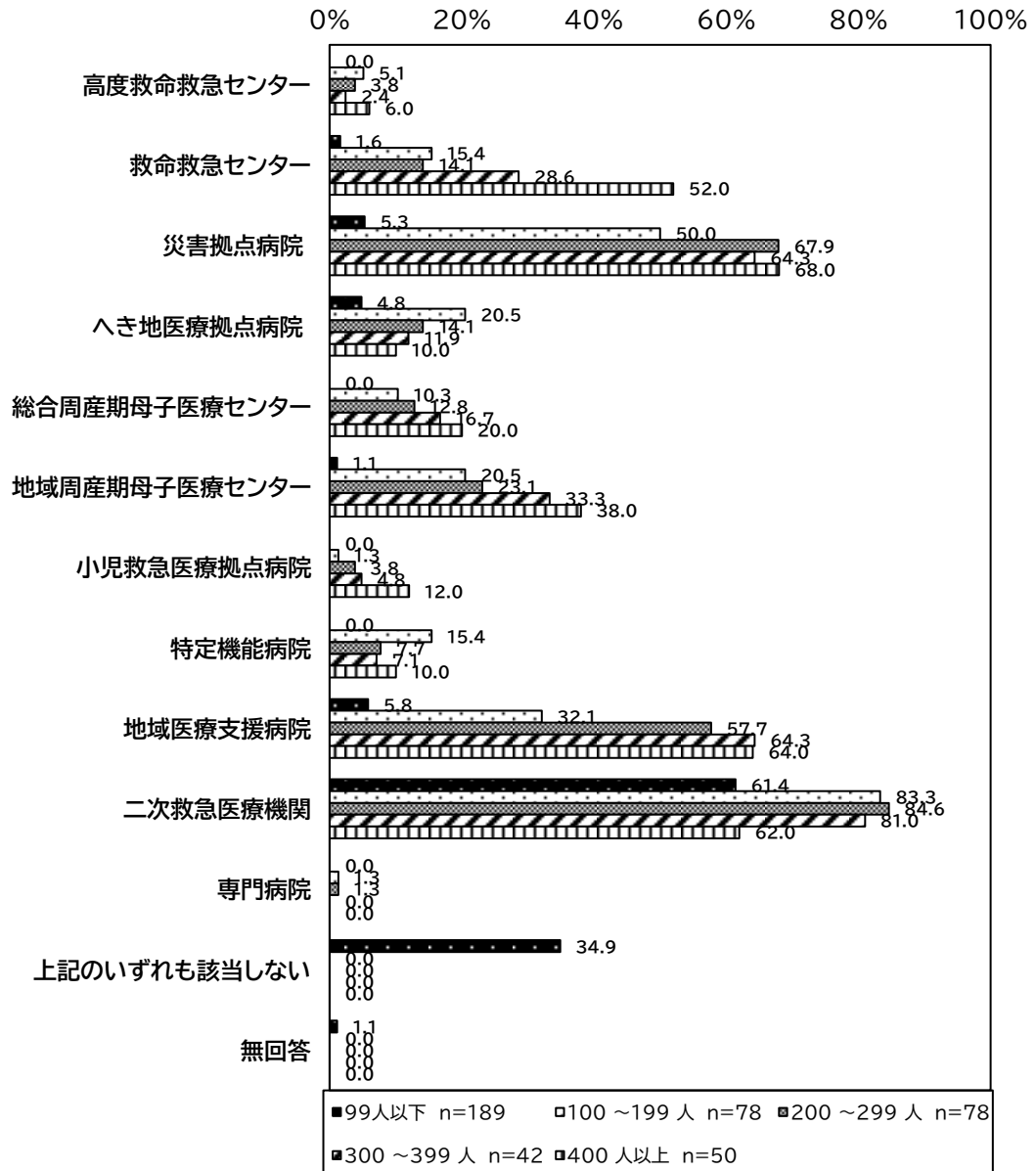
図表 2-6 承認等の状況（複数回答）



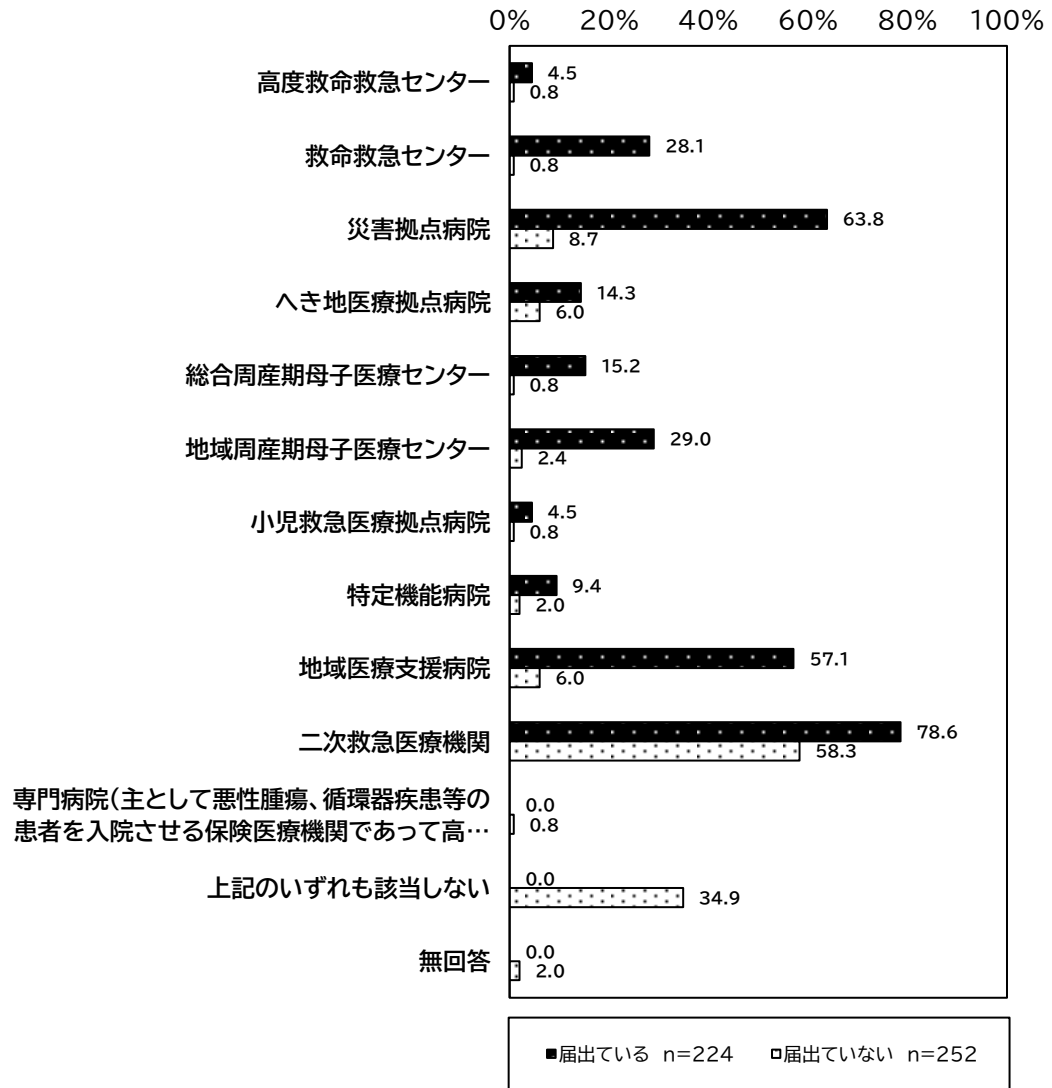
図表 2-7 承認等の状況（複数回答）
（病床規模別）



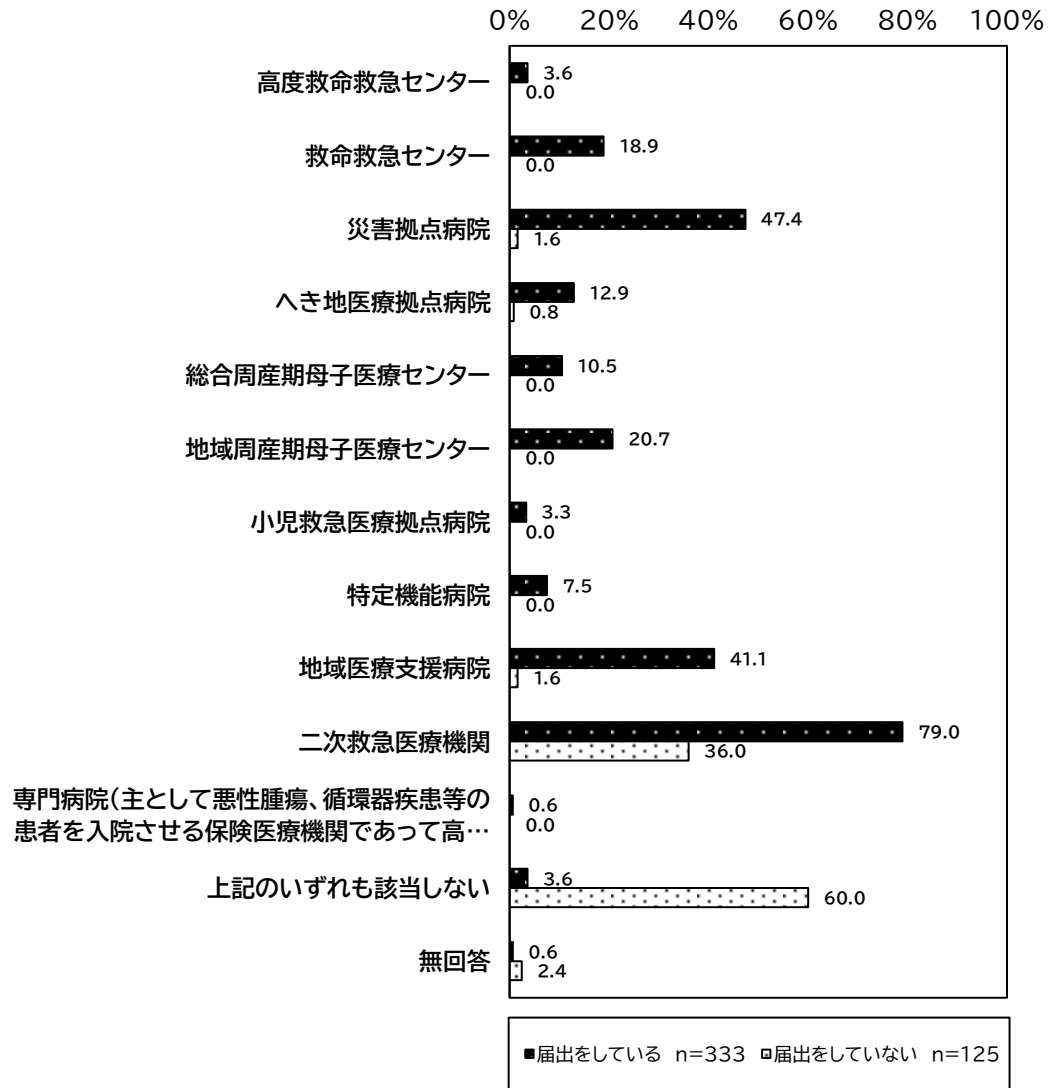
図表 2-8 承認等の状況（複数回答）
（緊急自動車等により搬送された延べ患者数別）



図表 2-9 承認等の状況（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 2-10 承認等の状況（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



【二次救急医療機関の承認等を受けている施設の具体的体制】

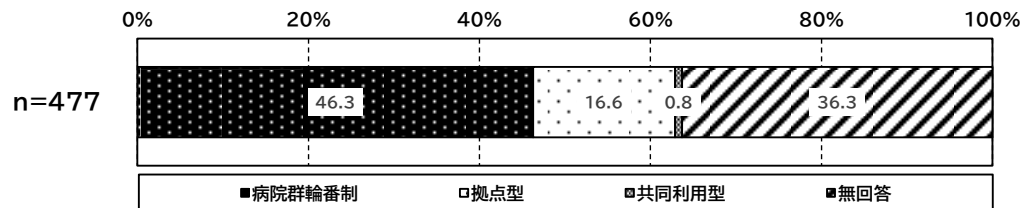
②で「二次救急医療機関」を選択した施設に対して、二次救急医療体制を尋ねたところ、「病院群輪番制」（46.3%）が最も多かった。

注：「病院群輪番制」とは、地域内の病院群が共同連帯して、輪番方式により救急患者の受入態勢を整えている場合を指す。

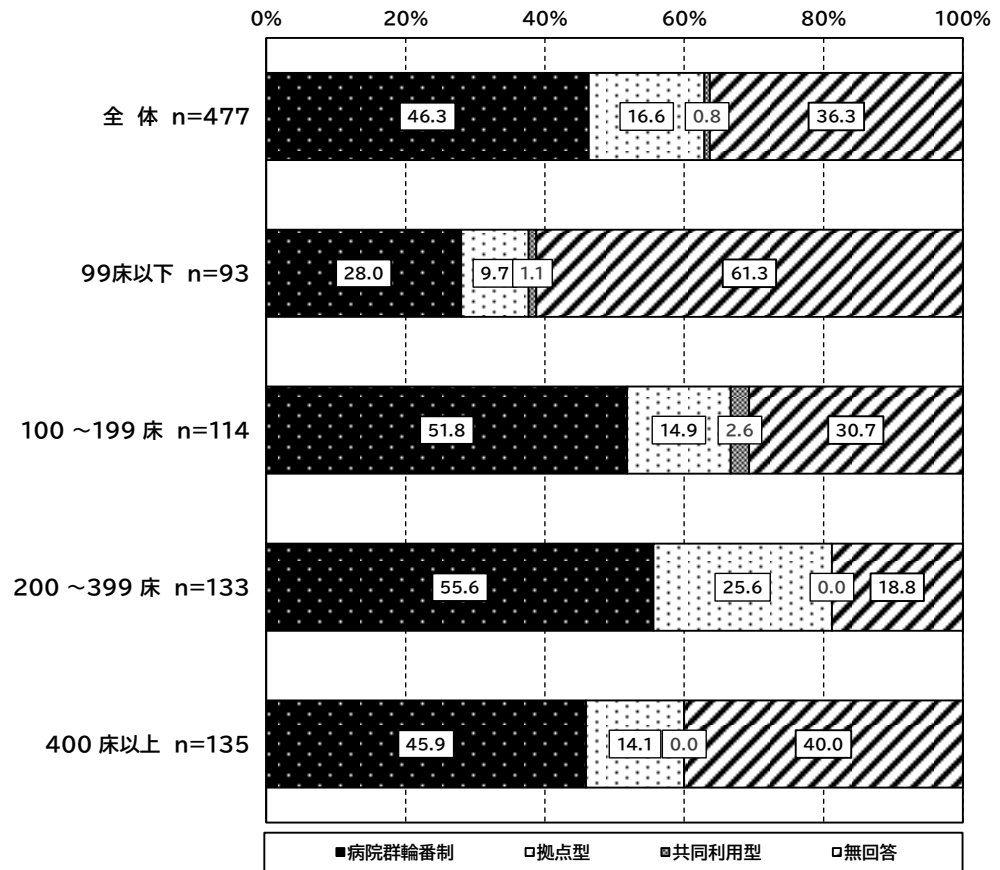
「拠点型」とは、病院群輪番制の一つで、365日に入院を要する救急患者の受入体制を整えている場合を指す。（いわゆる「固定輪番制」や「固定通年制」等も含む）

「共同利用型」とは、医師会立病院等が休日夜間に病院の一部を開放し、地域医師会の協力により実施するものを指す。

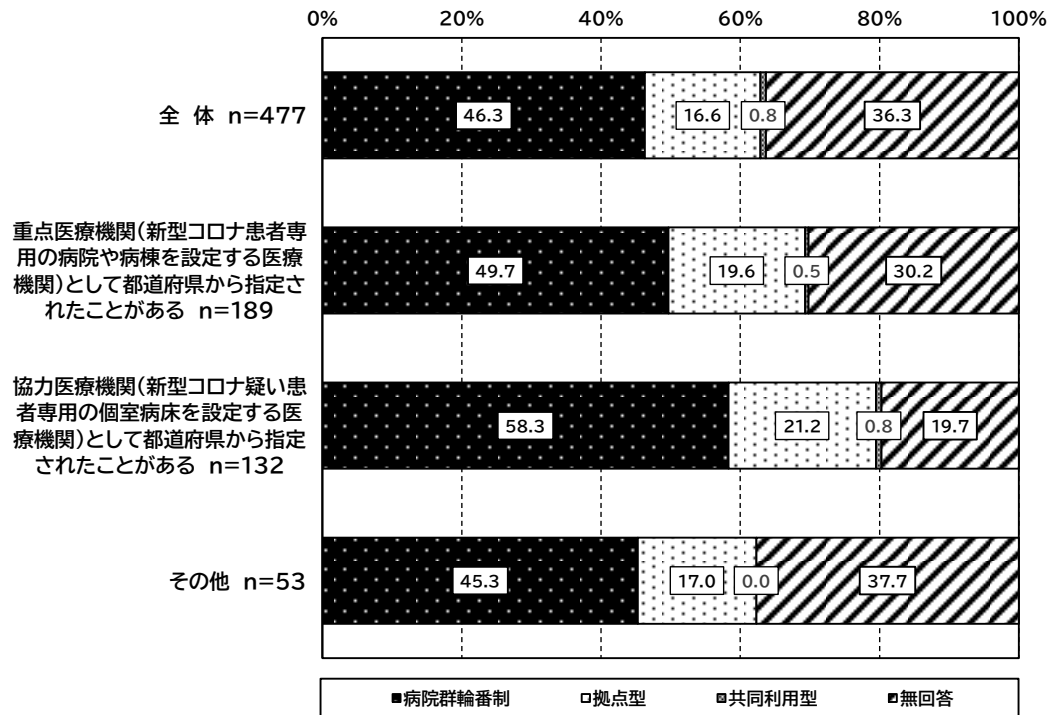
図表 2-11 二次救急医療体制の内訳



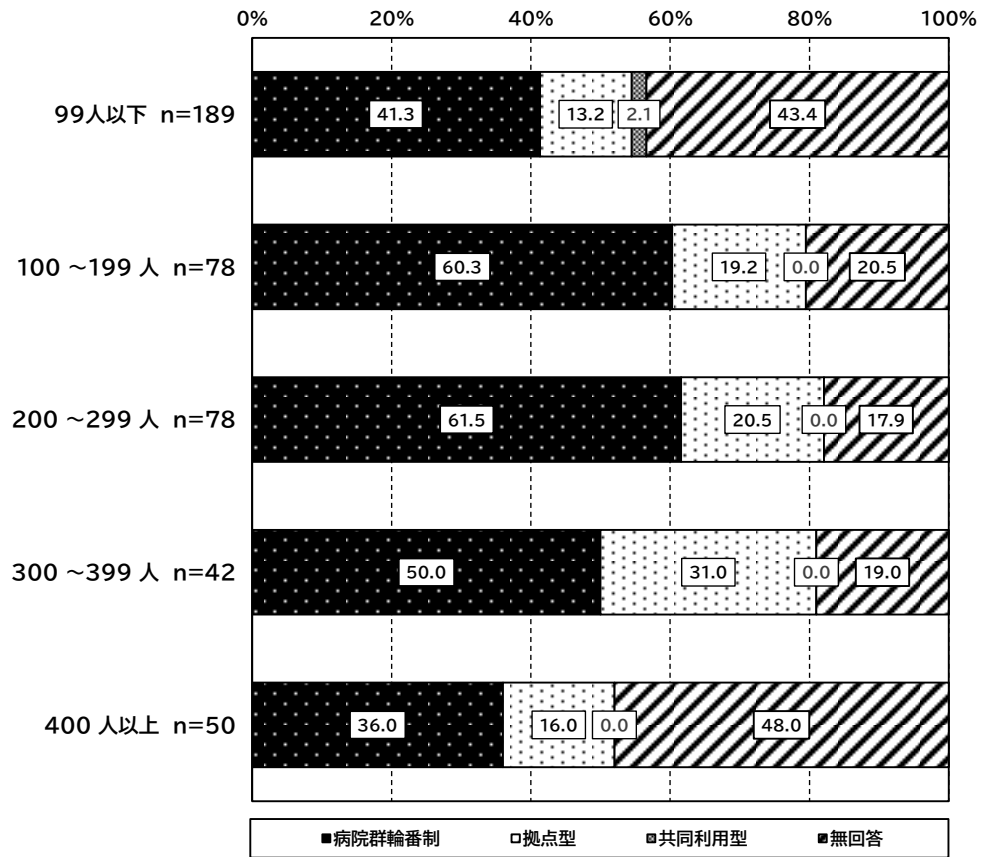
図表 2-12 二次救急医療体制の内訳
(病床規模別)



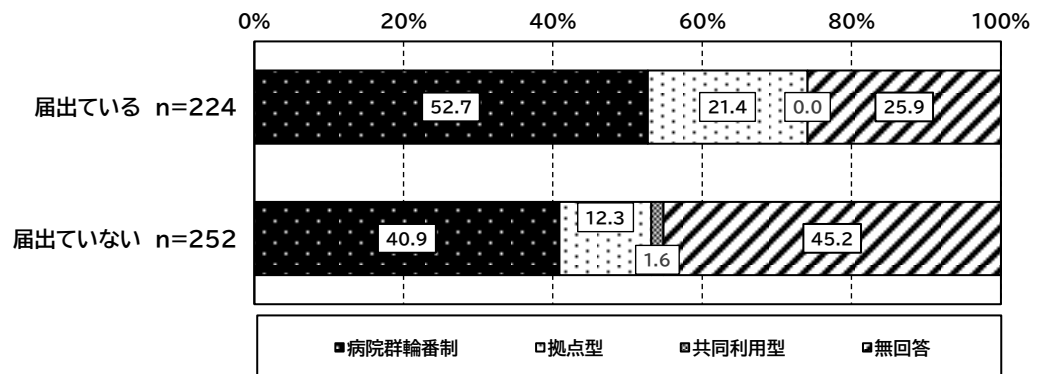
図表 2-13 二次救急医療体制の内訳
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



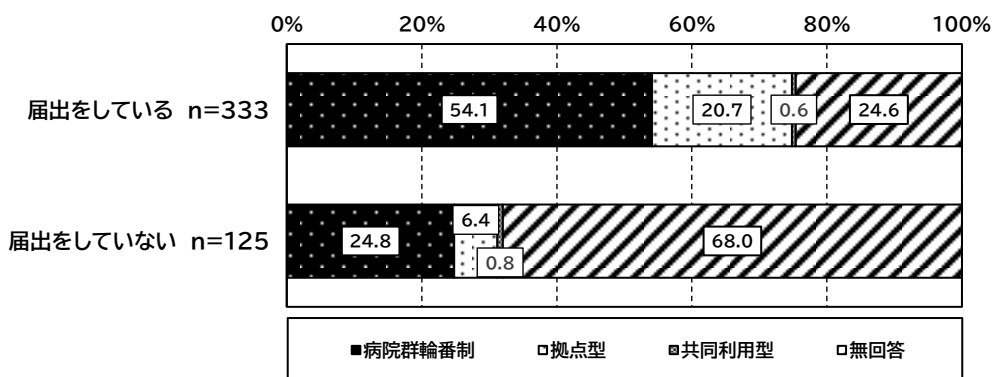
図表 2-14 二次救急医療体制の内訳
 (緊急自動車等により搬送された延べ患者数別)



図表 2-15 二次救急医療体制の内訳
 (地域医療体制確保加算の届出有無別)



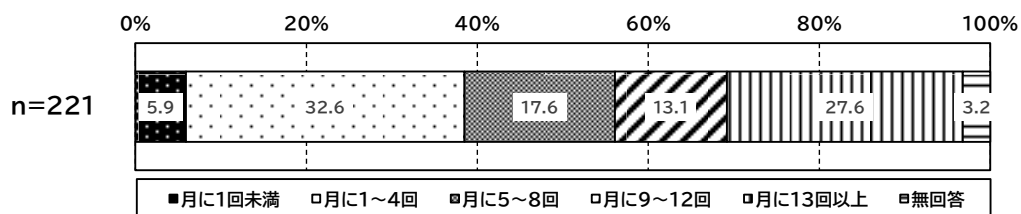
図表 2-16 二次救急医療体制の内訳
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



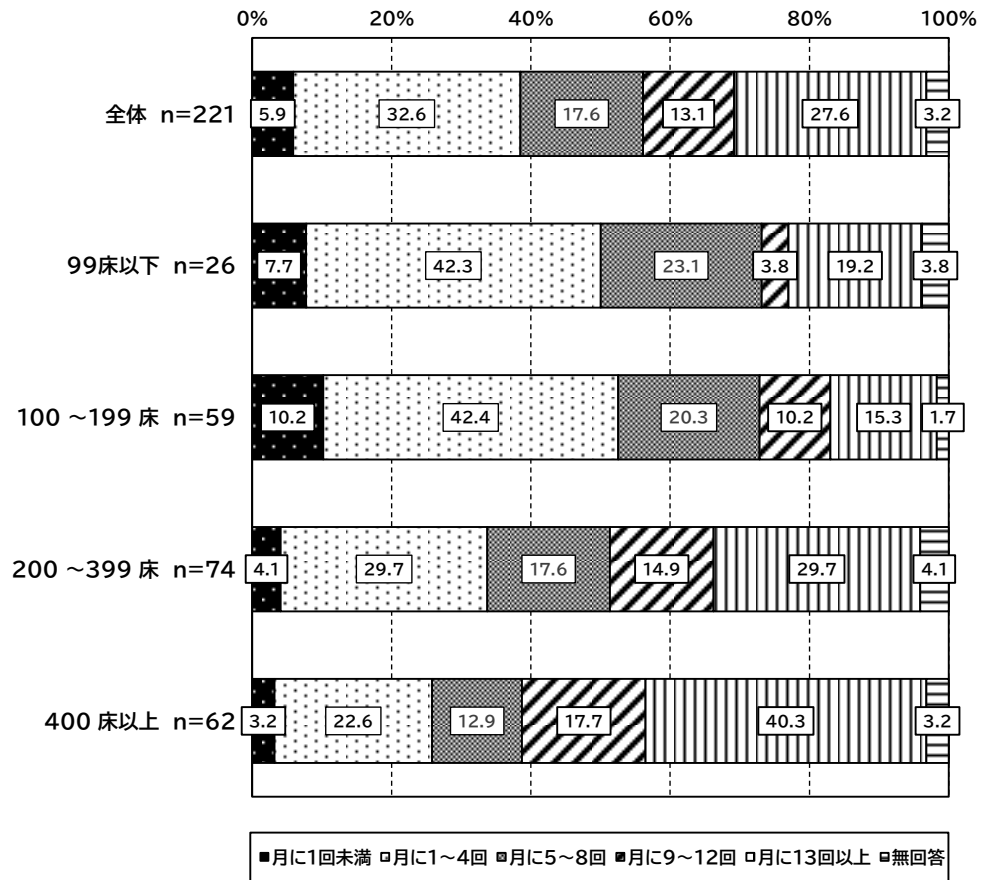
【二次救急医療機関の承認等を受けている施設の病院群輪番制の当番頻度】

「二次救急医療体制」について「病院群輪番制」を選択した施設に、病院群輪番制の当番頻度を尋ねたところ、「月に1~4回」が32.6%で最も多かった。

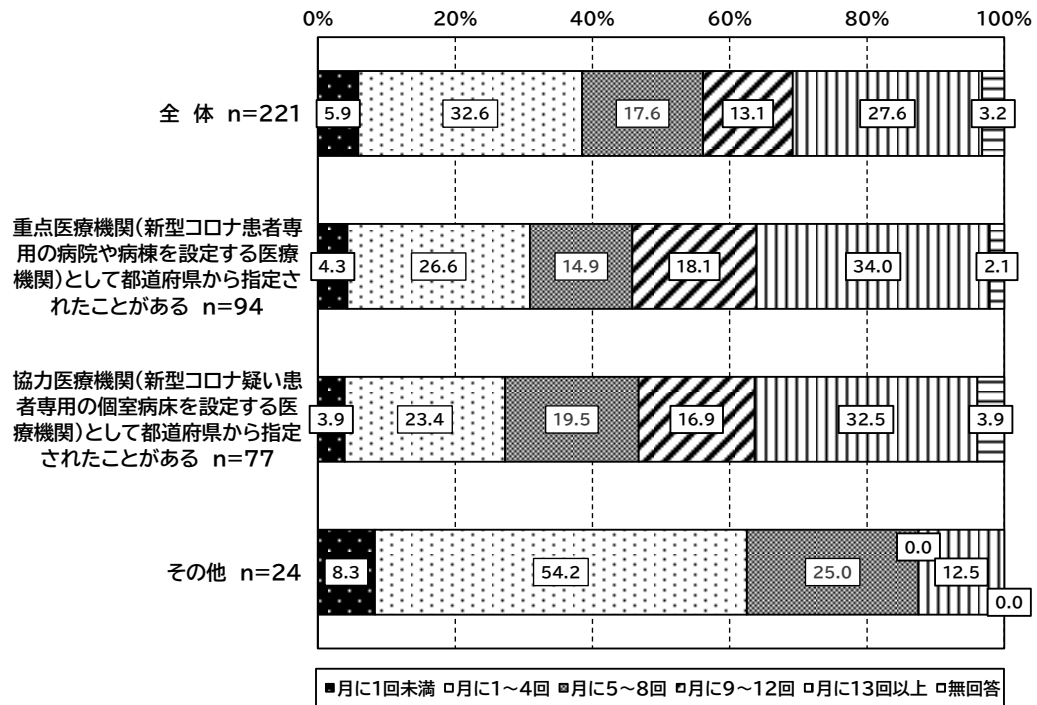
図表 2-17 病院群輪番制の場合、当番となる頻度



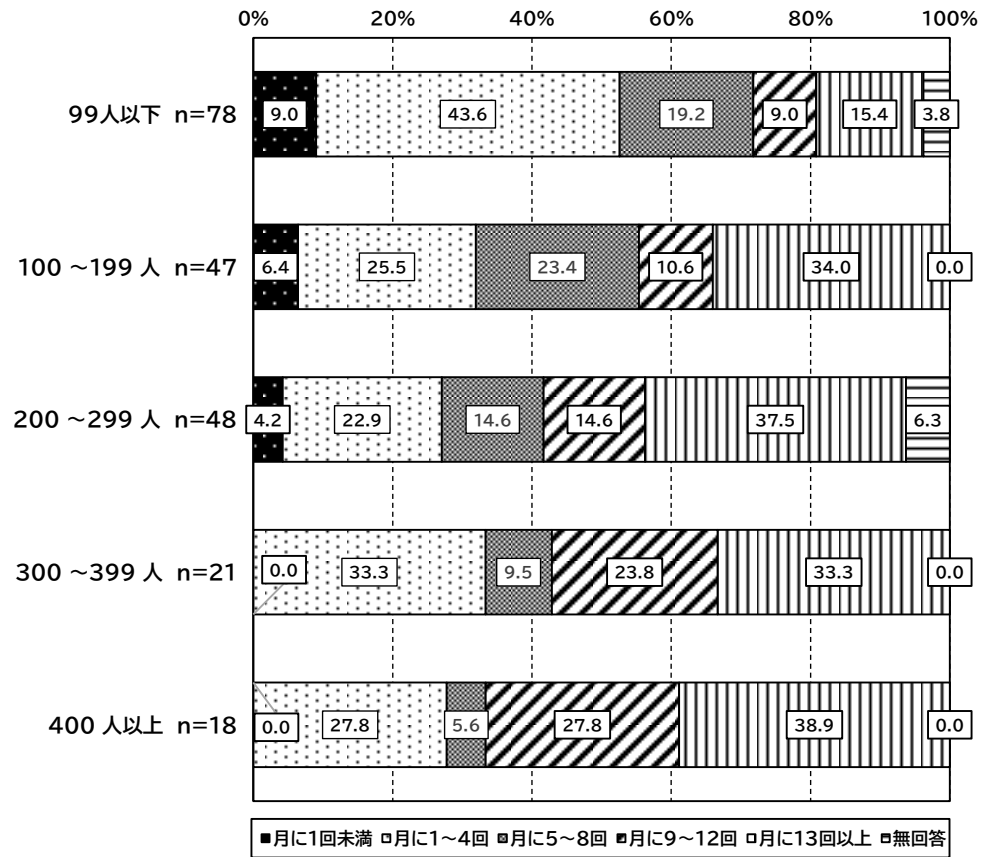
図表 2-18 病院群輪番制の場合、当番となる頻度
(病床規模別)



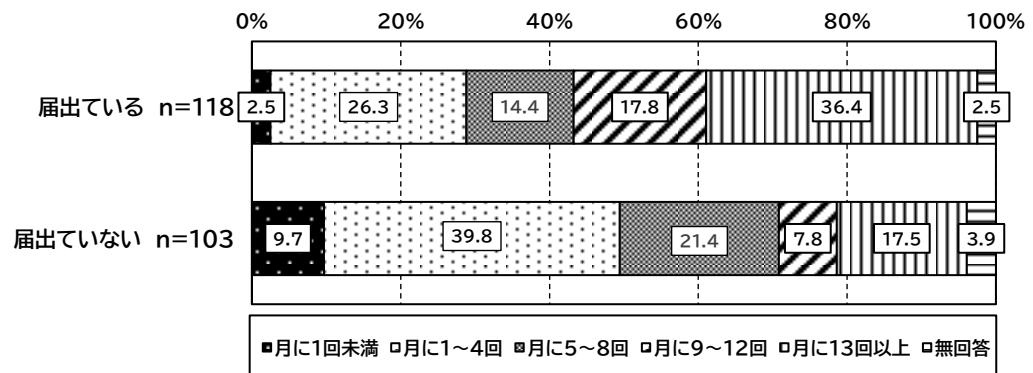
図表 2-19 病院群輪番制の場合、当番となる頻度
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



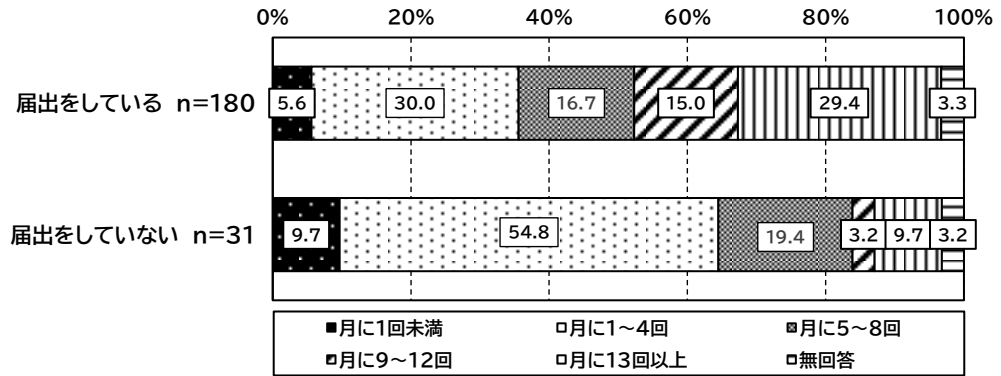
図表 2-20 病院群輪番制の場合、当番となる頻度
(緊急自動車等により搬送された延べ患者数別)



図表 2-21 開設者
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



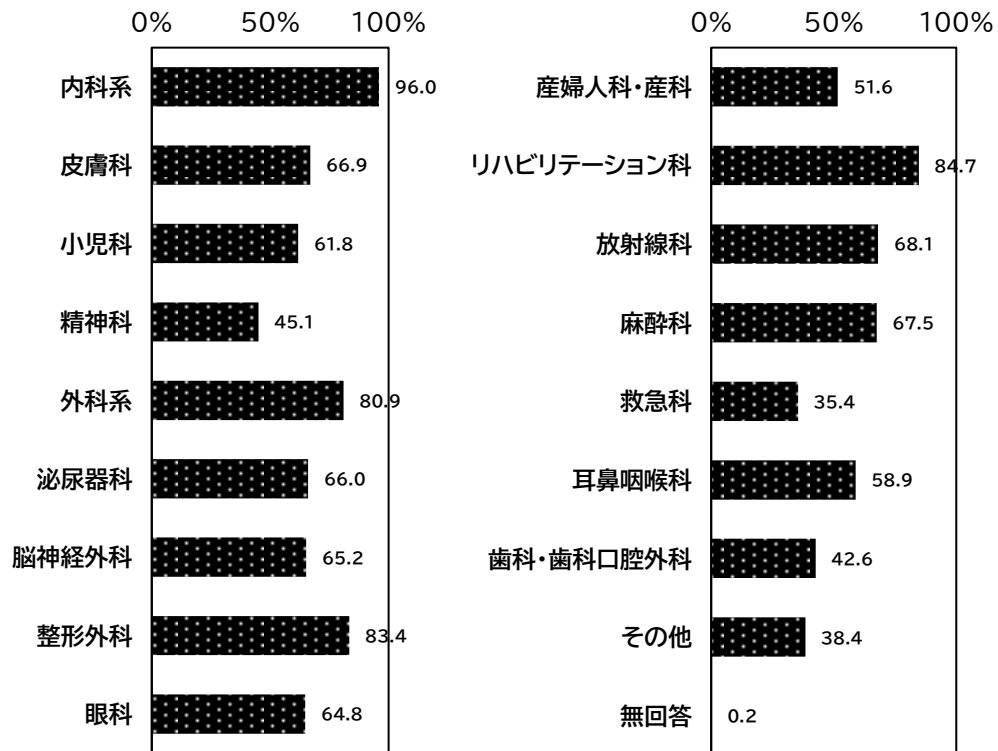
図表 2-22 開設者
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



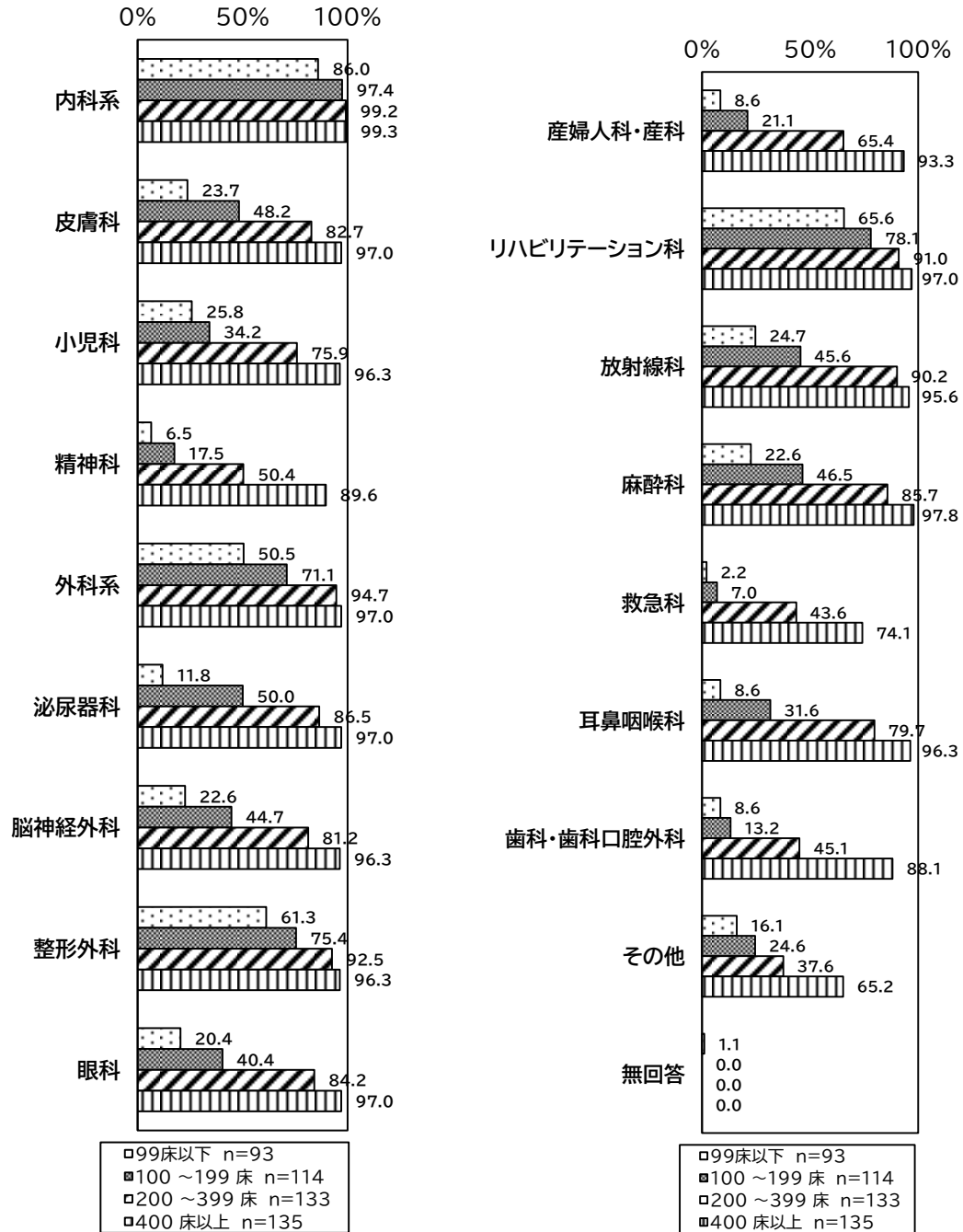
③ 標榜診療科

標榜診療科で最も多かったのは内科 (96.0%) であった。

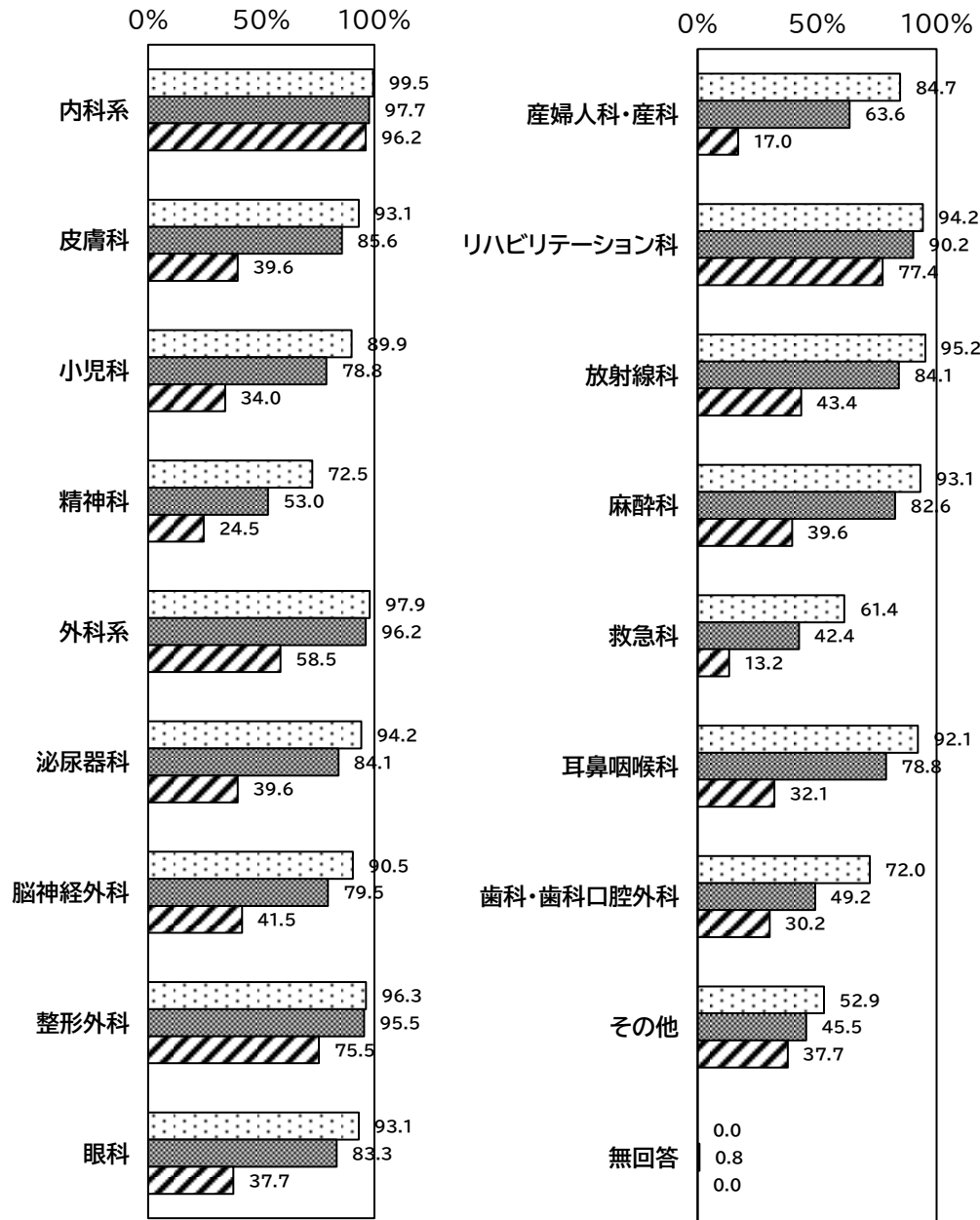
図表 2-23 標榜診療科 (複数回答)



図表 2-24 標榜診療科（複数回答）
（病床規模別）

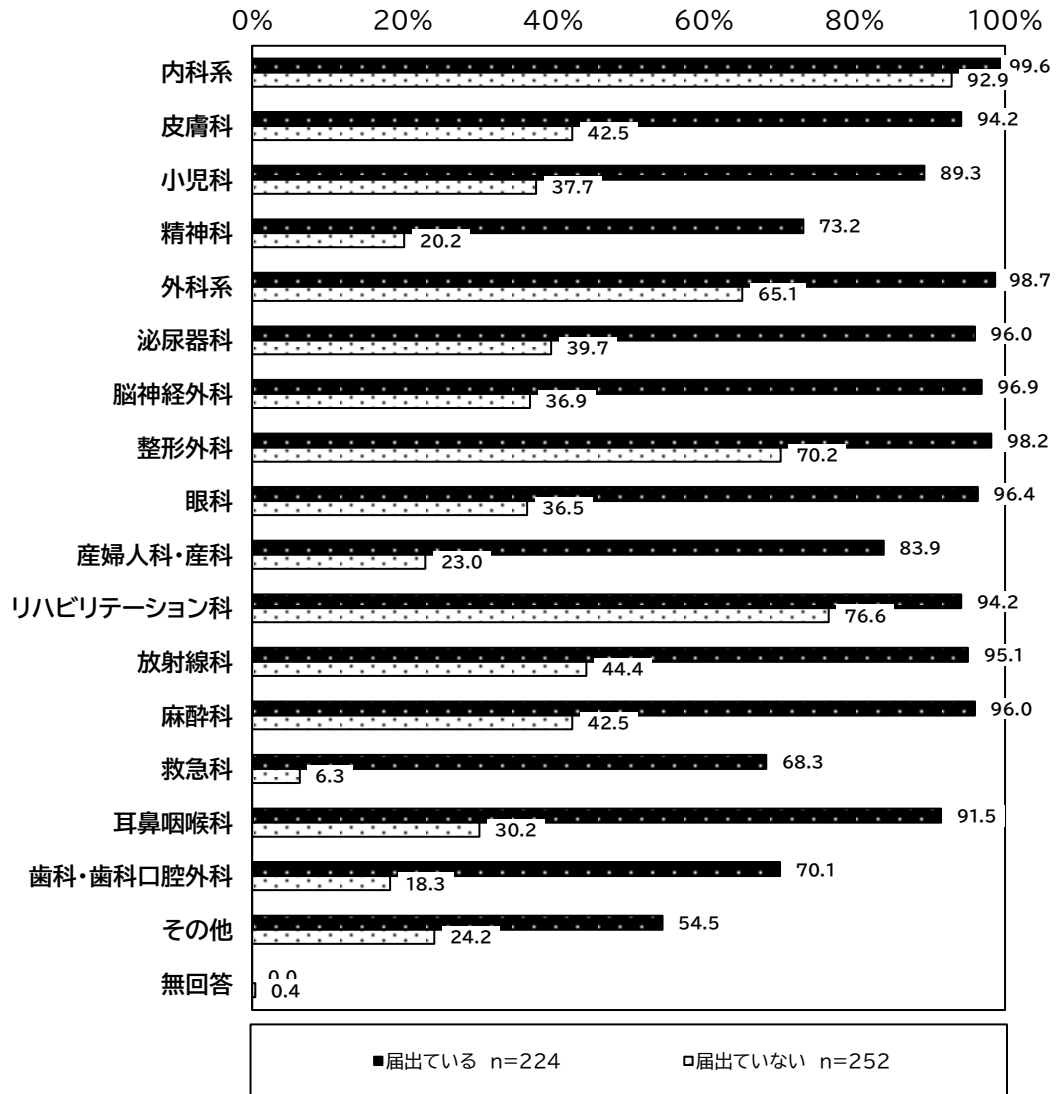


図表 2-25 標榜診療科（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）

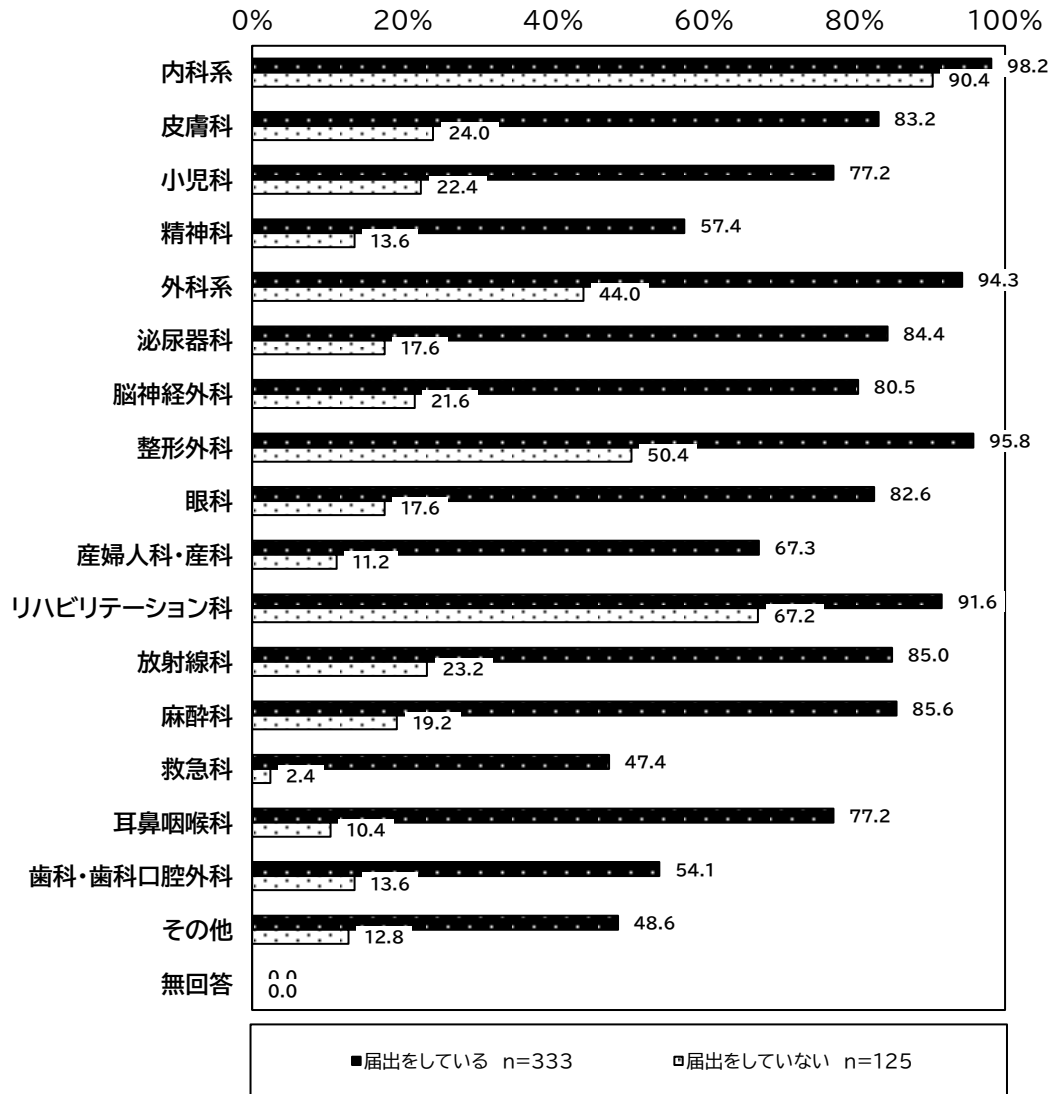


重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=189
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=132
 その他 n=53

図表 2-26 標榜診療科（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出有無別）



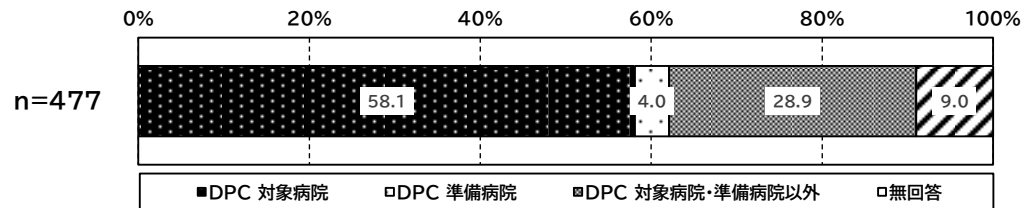
図表 2-27 標榜診療科（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



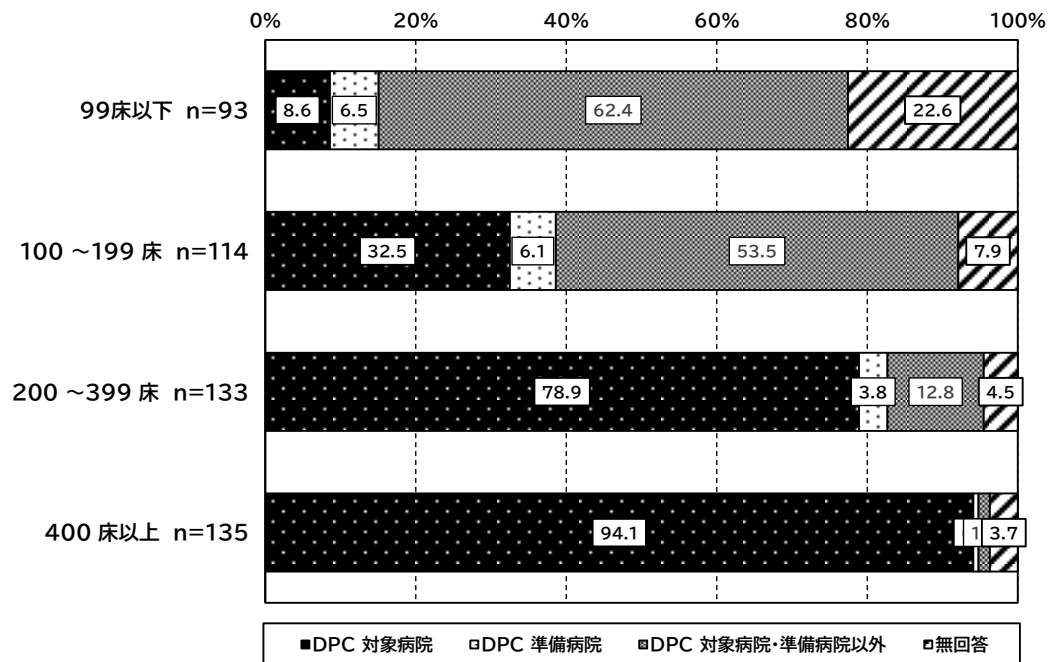
④ DPC 対応状況

DPC 対応状況で最も多かったのは、「DPC 対応病院」 (58.1%) であった。

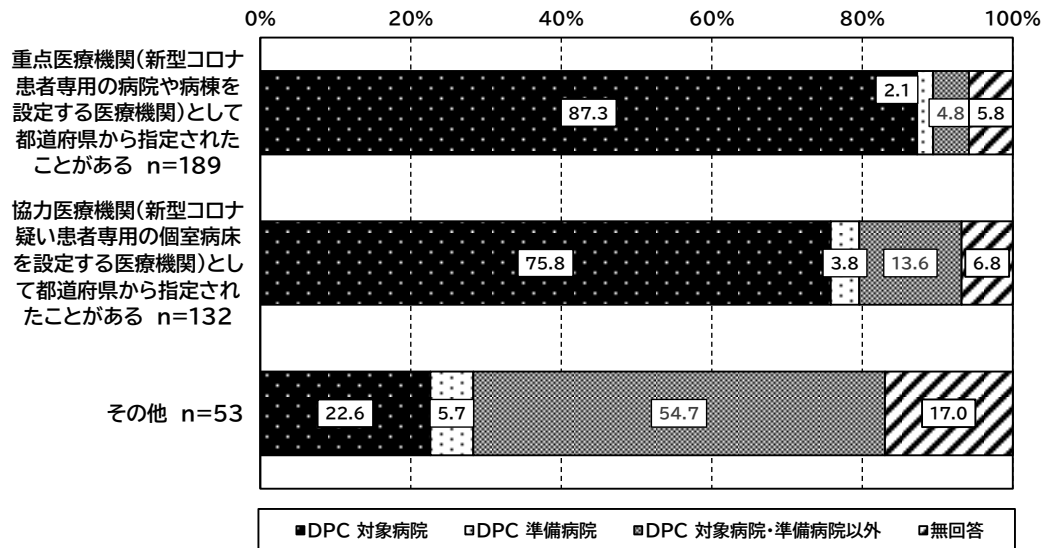
図表 2-28 DPC 対応状況



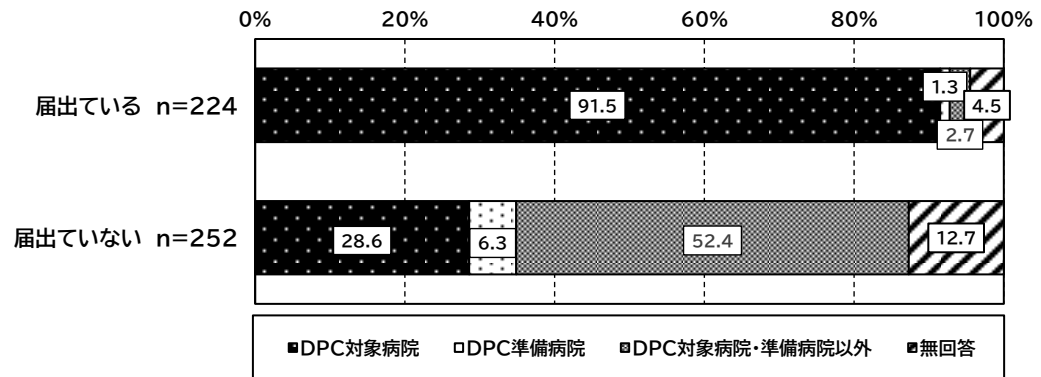
図表 2-29 DPC 対応状況
(病床規模別)



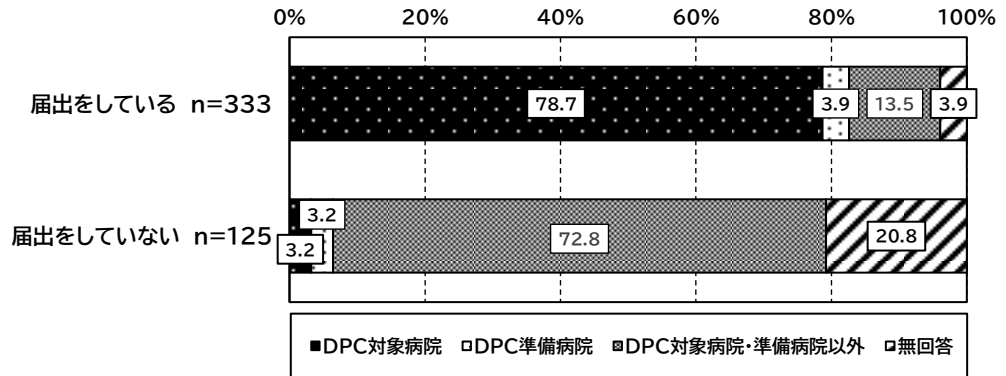
図表 2-30 DPC 対応状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



図表 2-31 DPC 対応状況
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



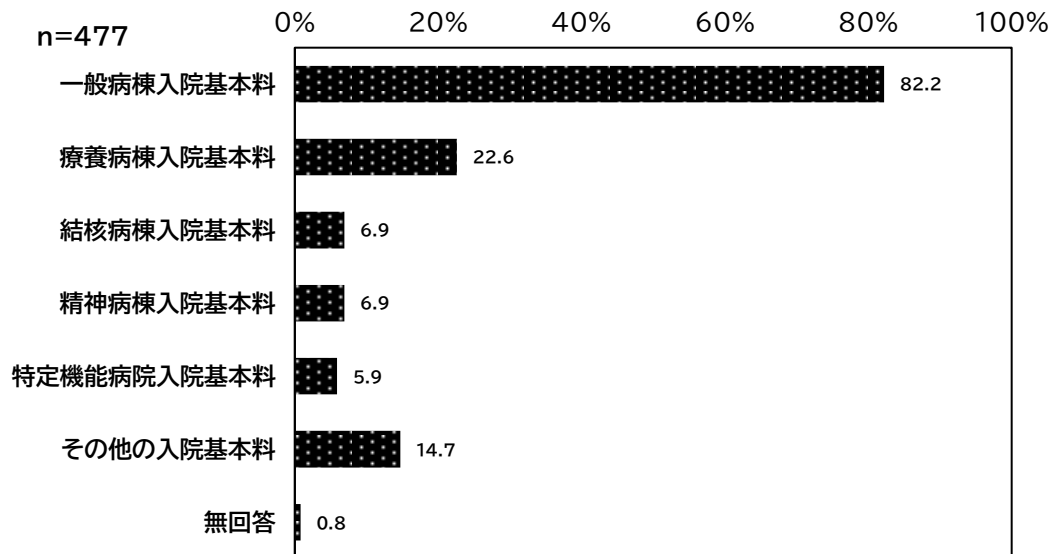
図表 2-32 DPC 対応状況
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



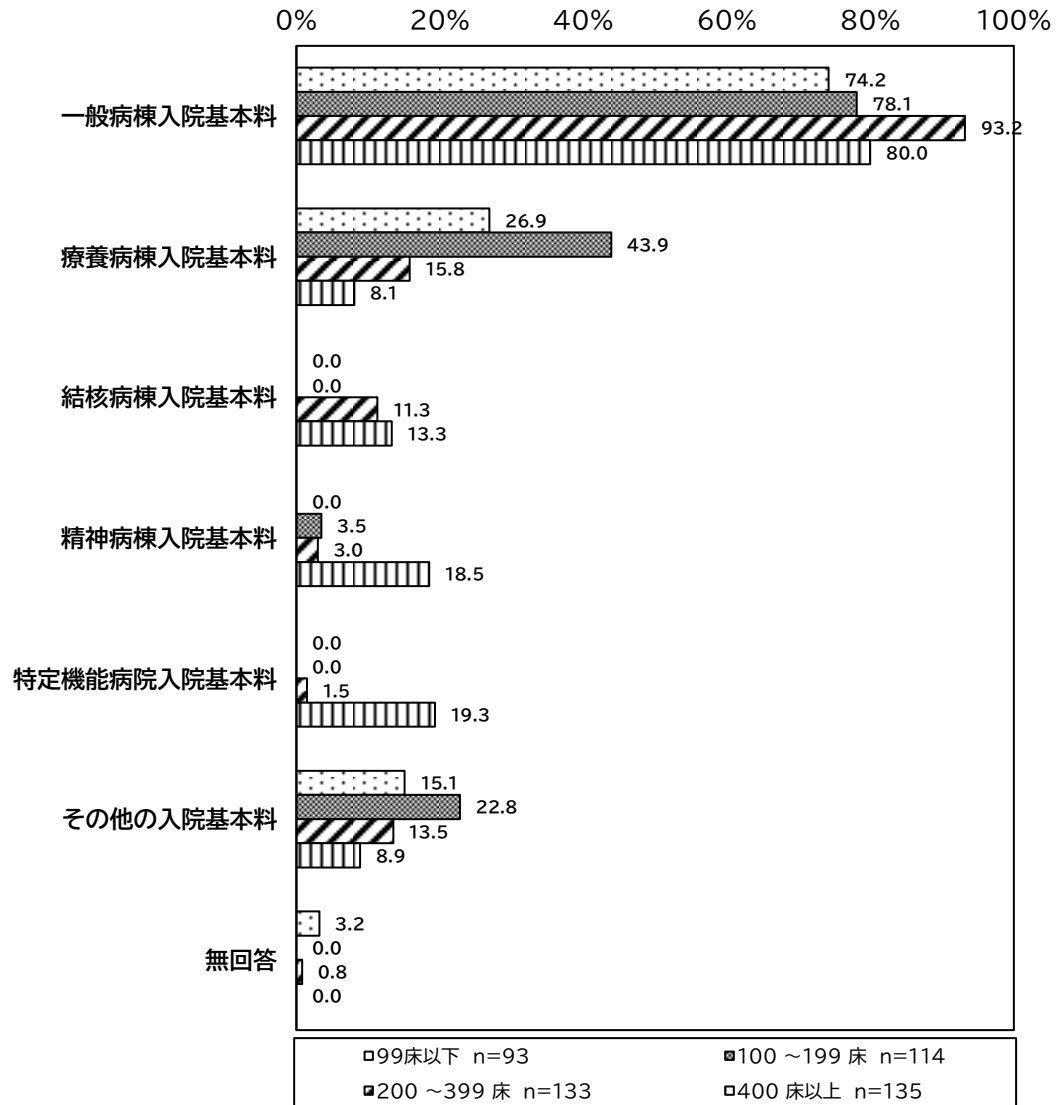
⑤ 届出を行っている入院基本料

届出を行っている入院基本料で最も多かったものは、「一般病棟入院基本料」(82.2%)であった。

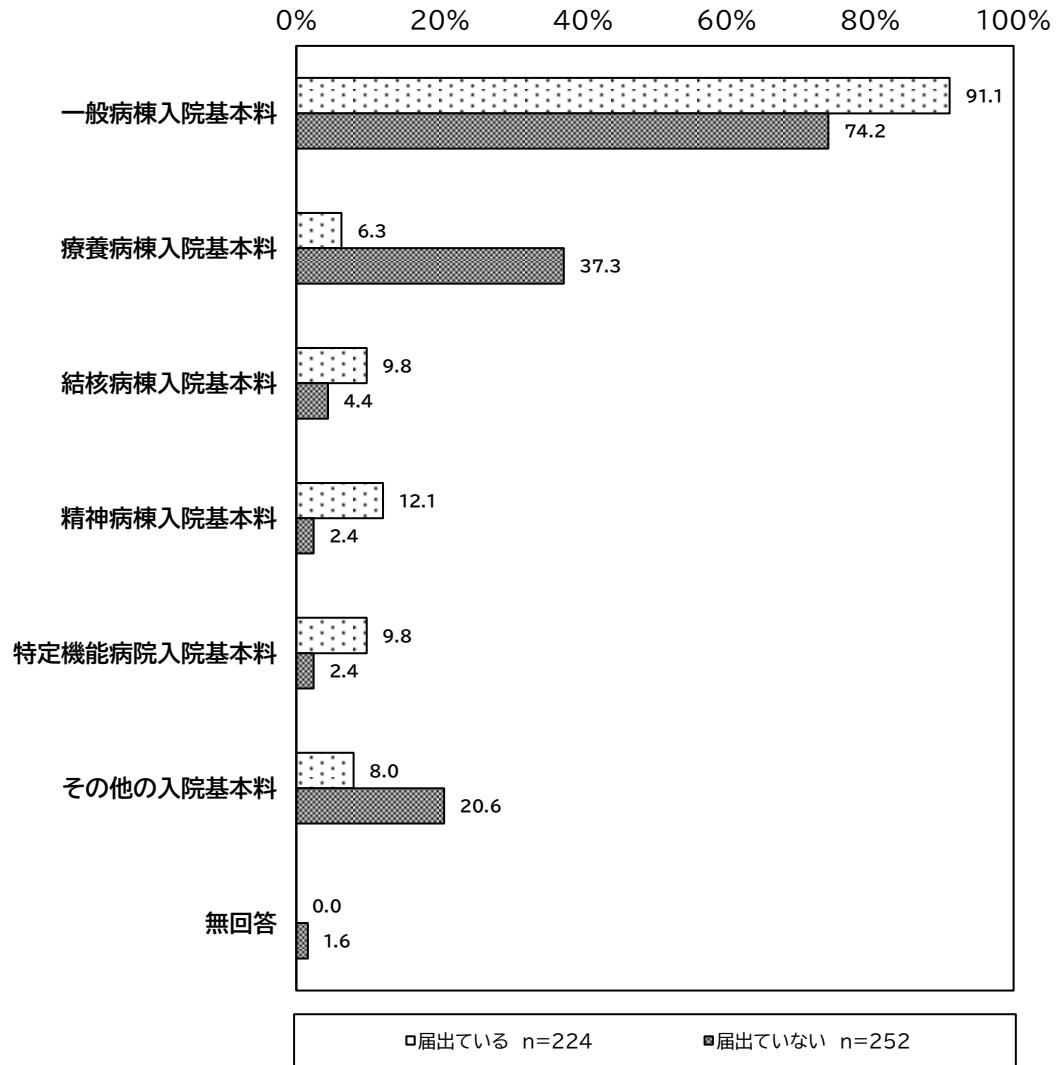
図表 2-33 届出を行っている入院基本料 (複数回答)



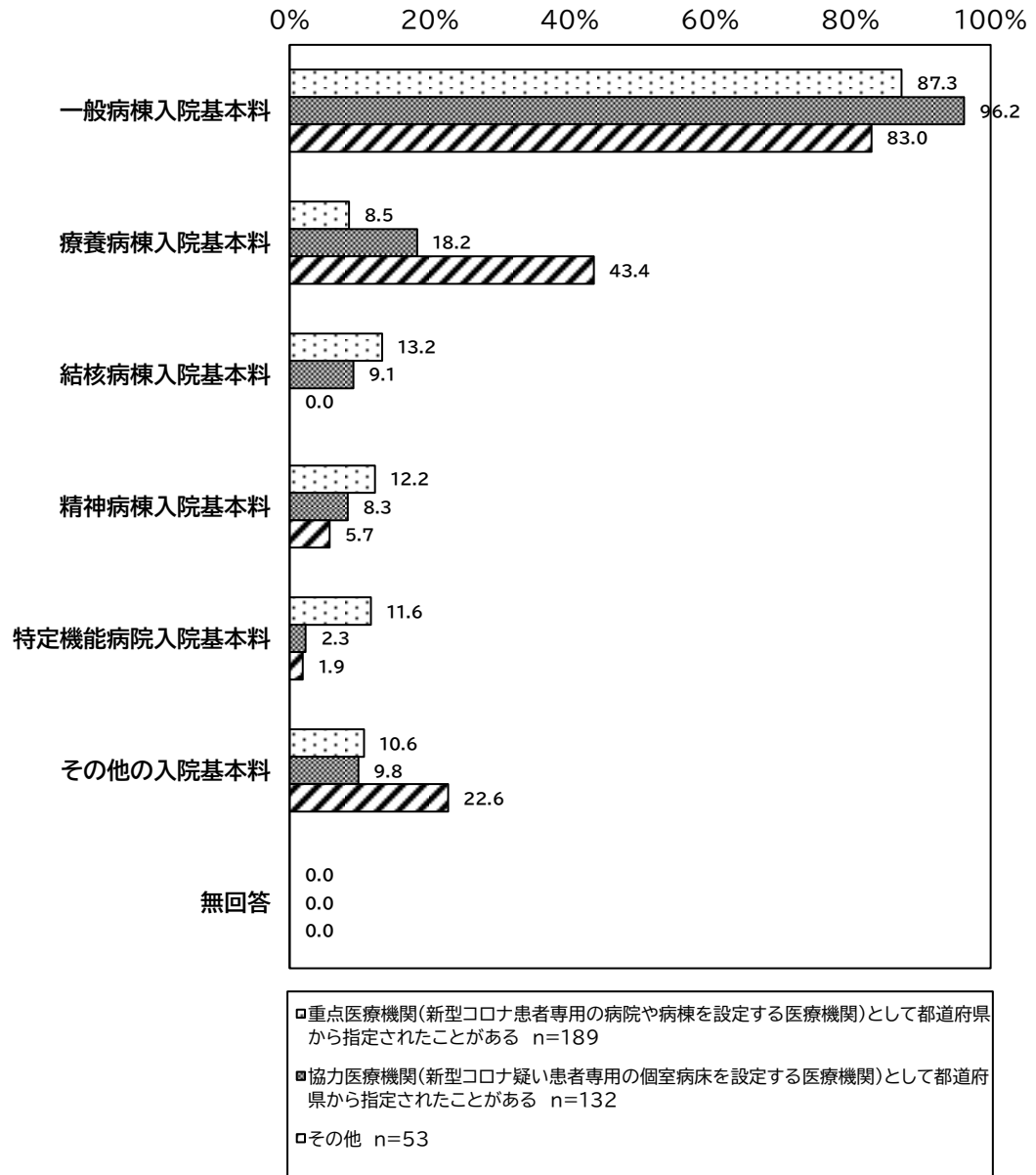
図表 2-34 届出を行っている入院基本料（複数回答）
（病床規模別）



図表 2-35 届出を行っている入院基本料（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出状況別）

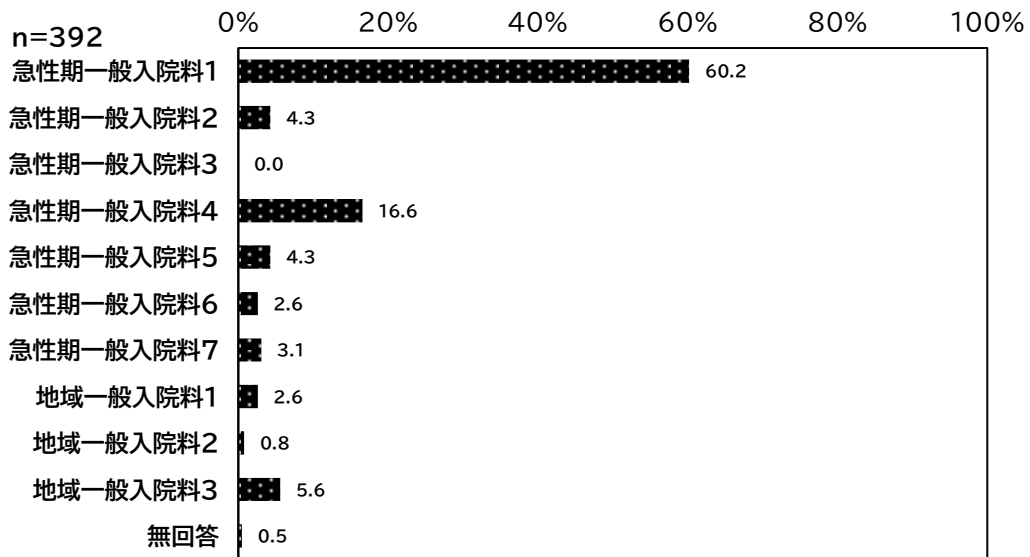


図表 2-36 届出を行っている入院基本料（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）

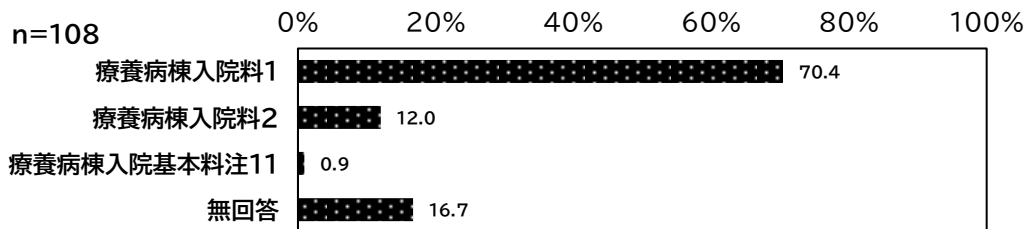


【届け出ている入院基本料の内訳】

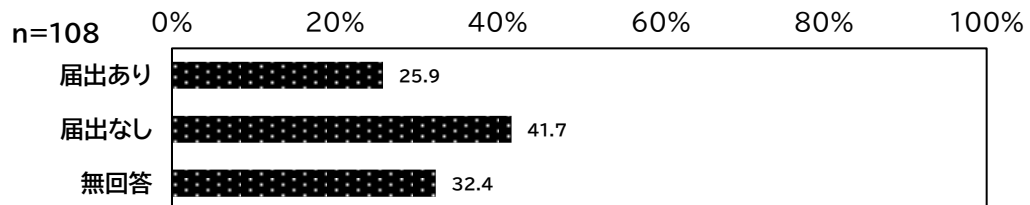
図表 2-37 一般病棟入院基本料の内訳（複数回答）



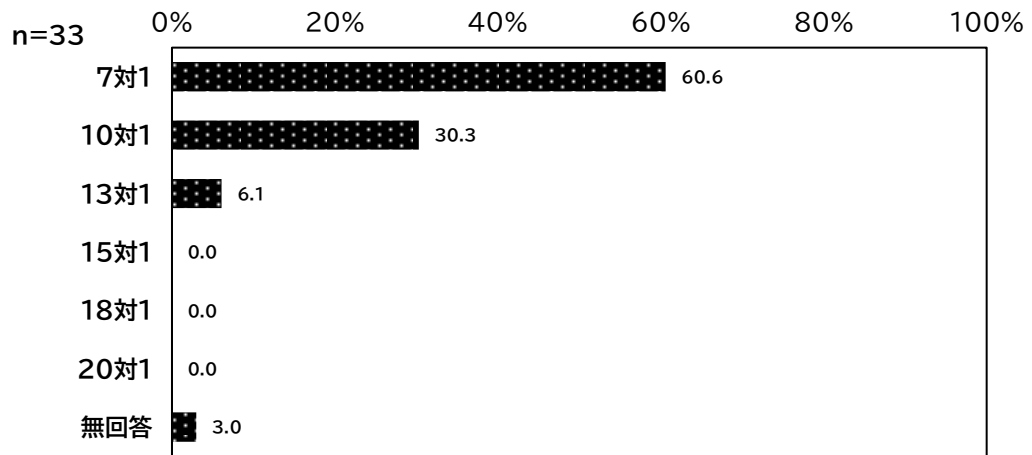
図表 2-38 療養病棟入院基本料の内訳（複数回答）



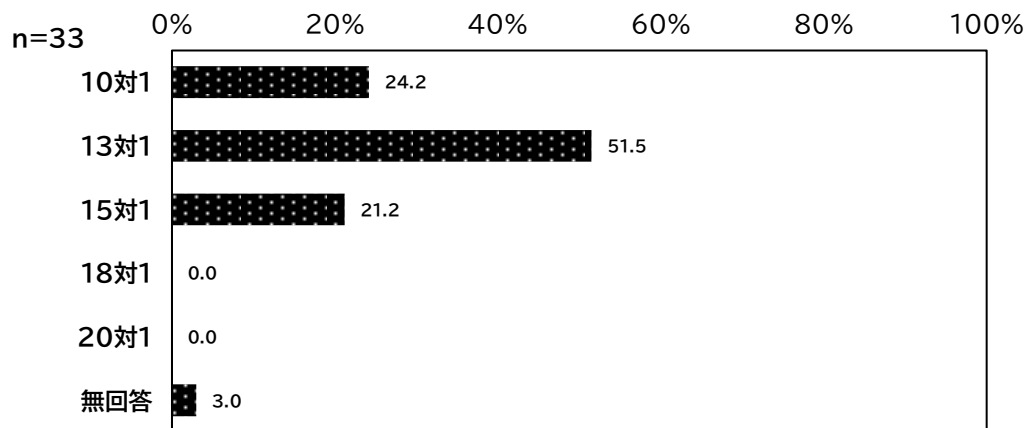
図表 2-39 療養病棟入院基本料の内訳（夜間看護加算の届出状況）
（複数回答）



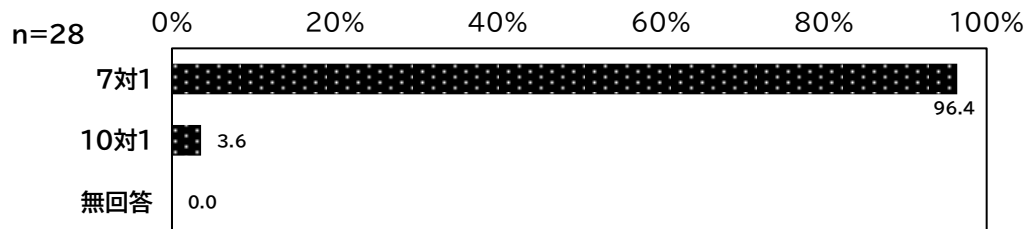
図表 2-40 結核病棟入院基本料の内訳（複数回答）



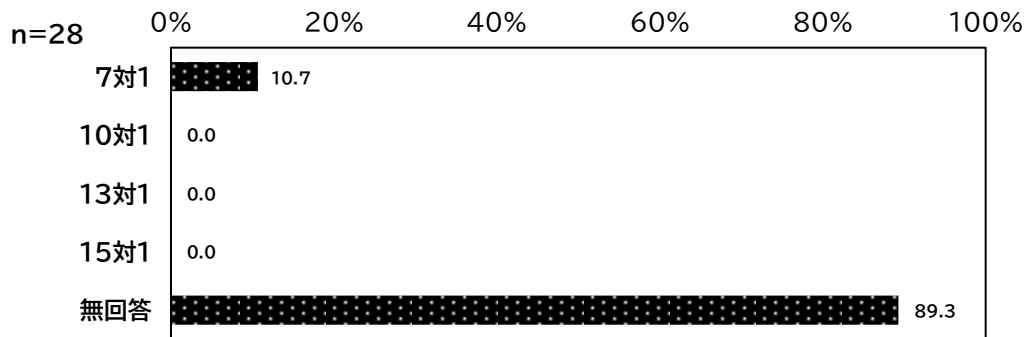
図表 2-41 精神病棟入院基本料の内訳（複数回答）



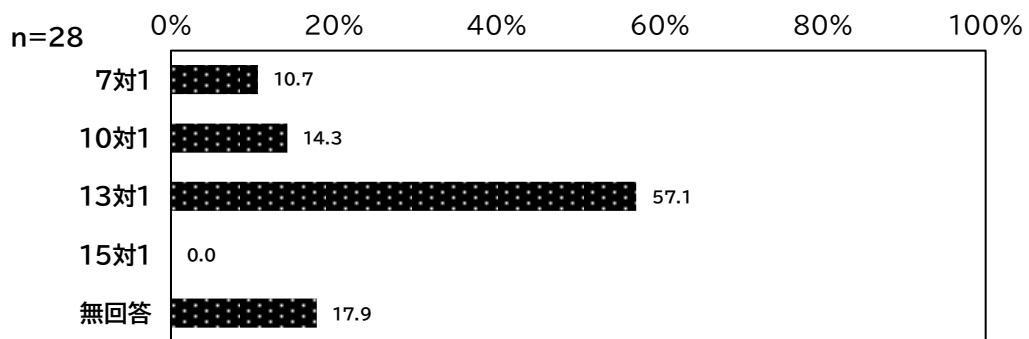
図表 2-42 特定機能病院入院基本料（一般病棟）の内訳（複数回答）



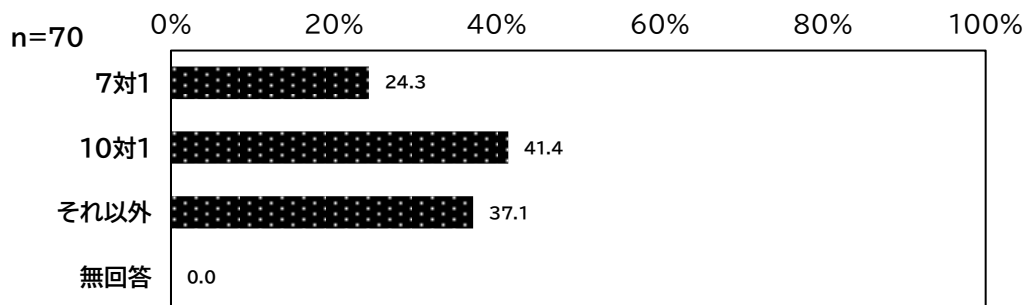
図表 2-43 特定機能病院入院基本料（結核病棟）の内訳（複数回答）



図表 2-44 特定機能病院入院基本料（精神病棟）の内訳（複数回答）



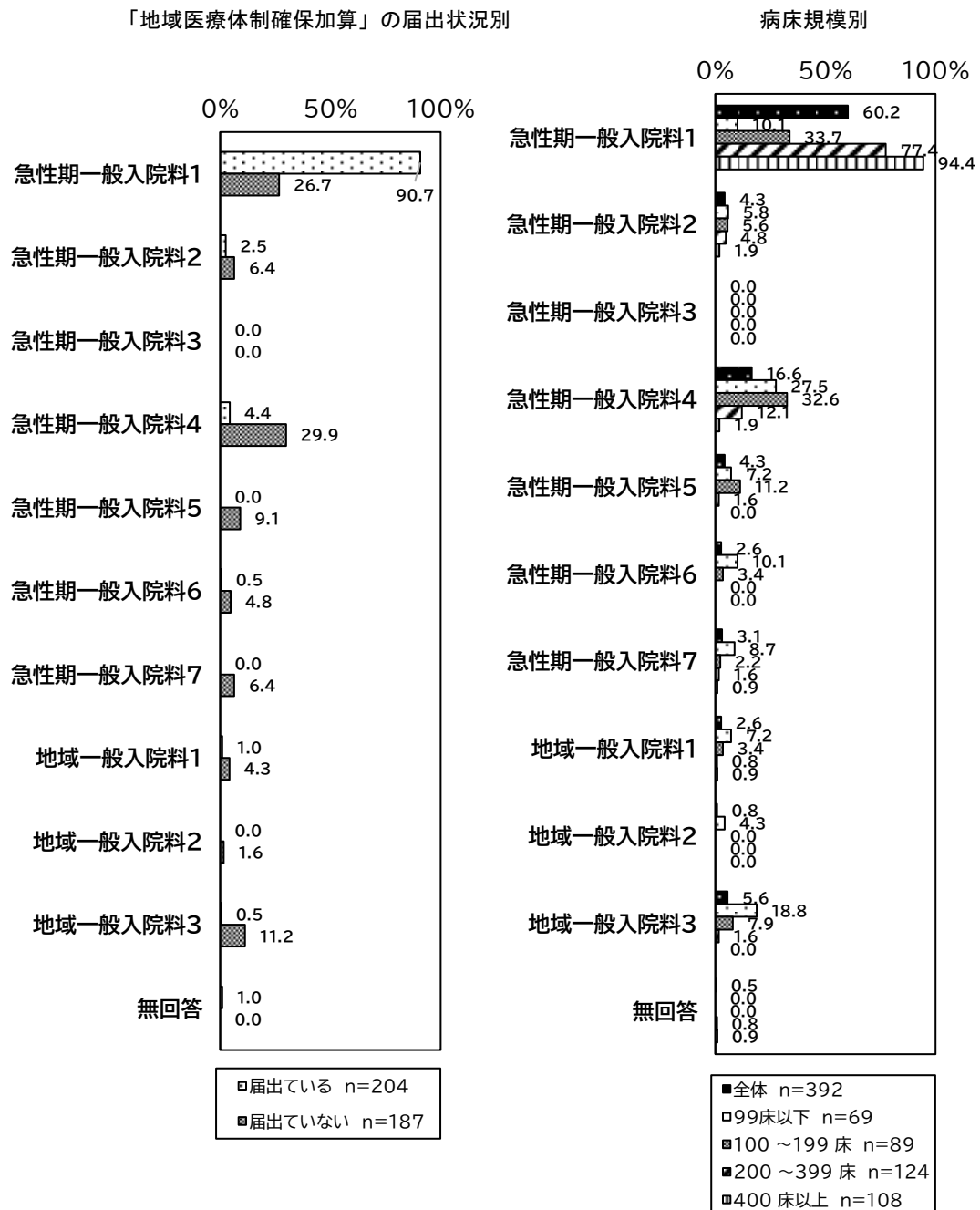
図表 2-45 その他の入院基本料の内訳（複数回答）



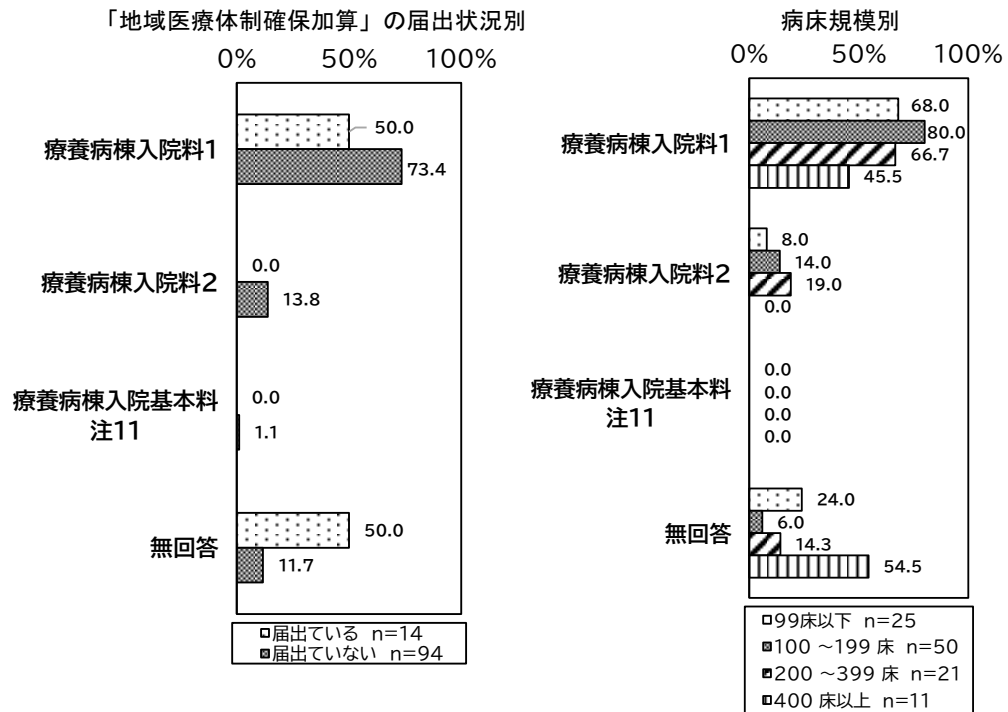
注：専門病院入院基本料、障害者施設等入院基本料については、その他の入院基本料とする。

【届け出ている入院基本料の内訳（地域医療体制確保加算の届出別・病床規模別）】

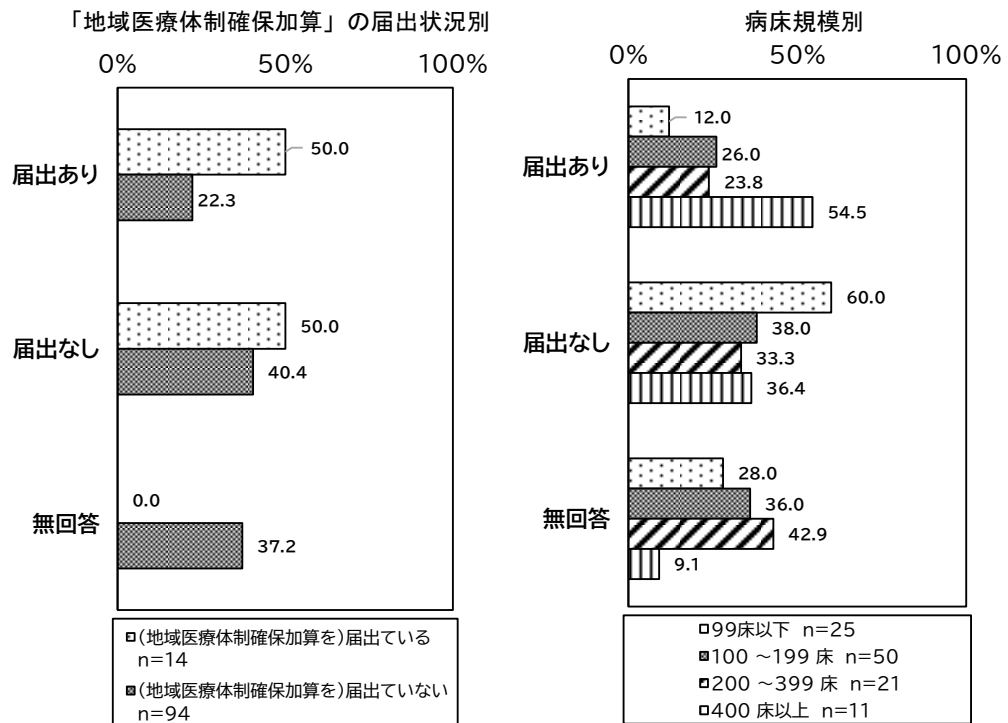
図表 2-46 一般病棟入院基本料の内訳（複数回答）



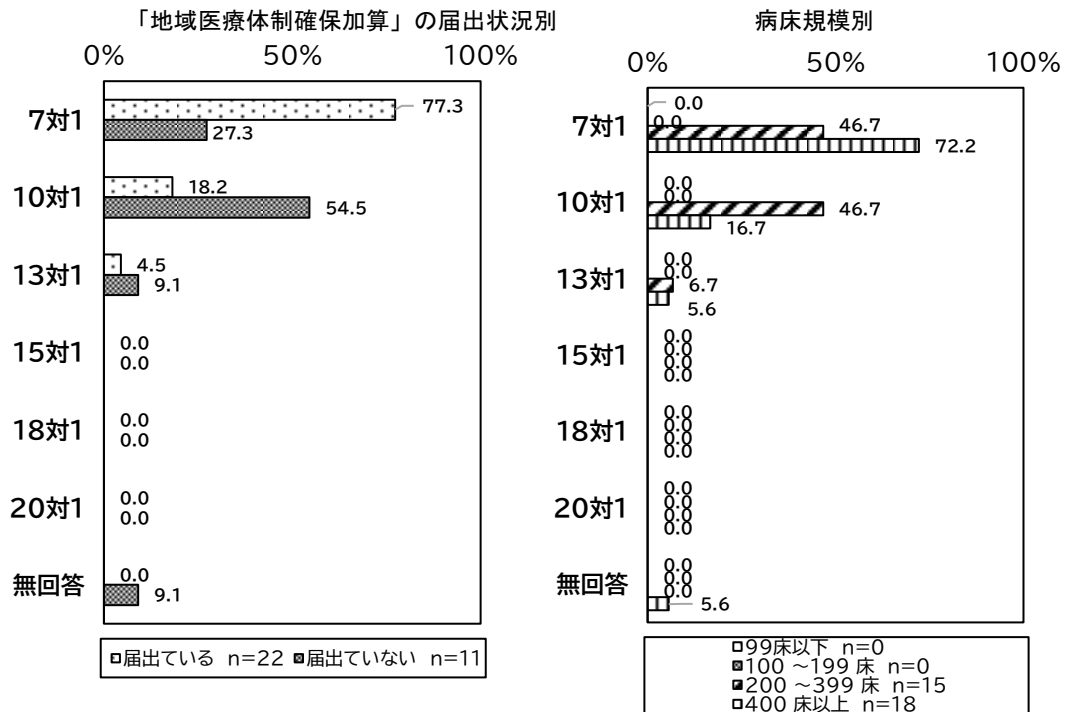
図表 2-47 療養病棟入院基本料の内訳（複数回答）



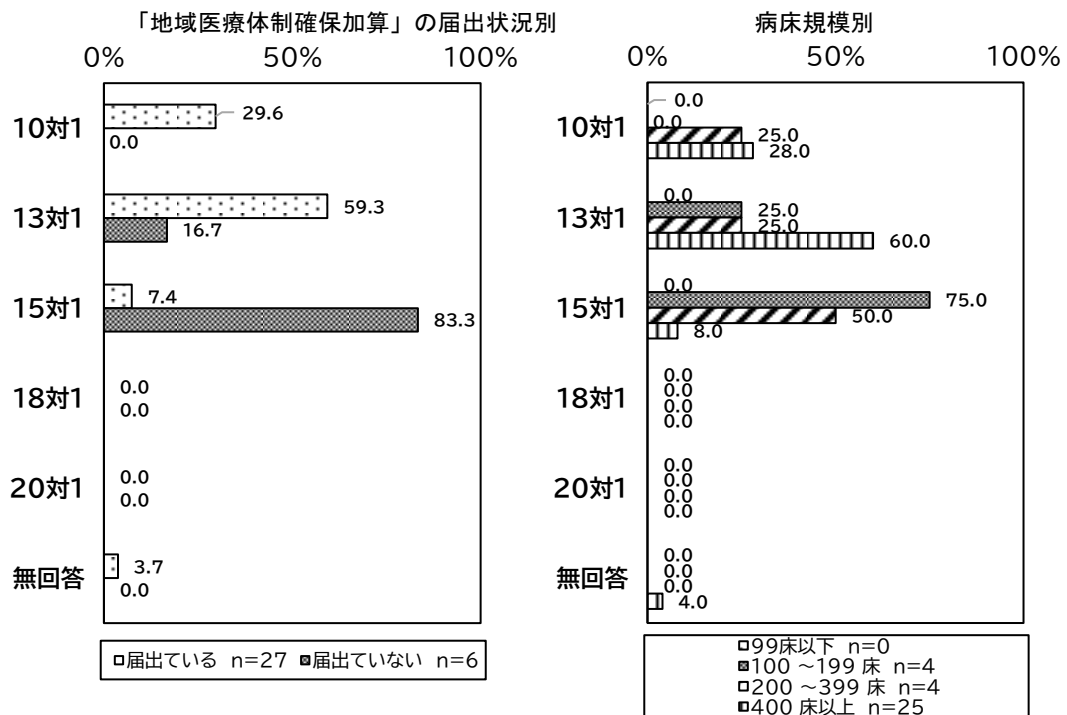
図表 2-48 療養病棟入院基本料の内訳（夜間看護加算の届出状況）（複数回答）



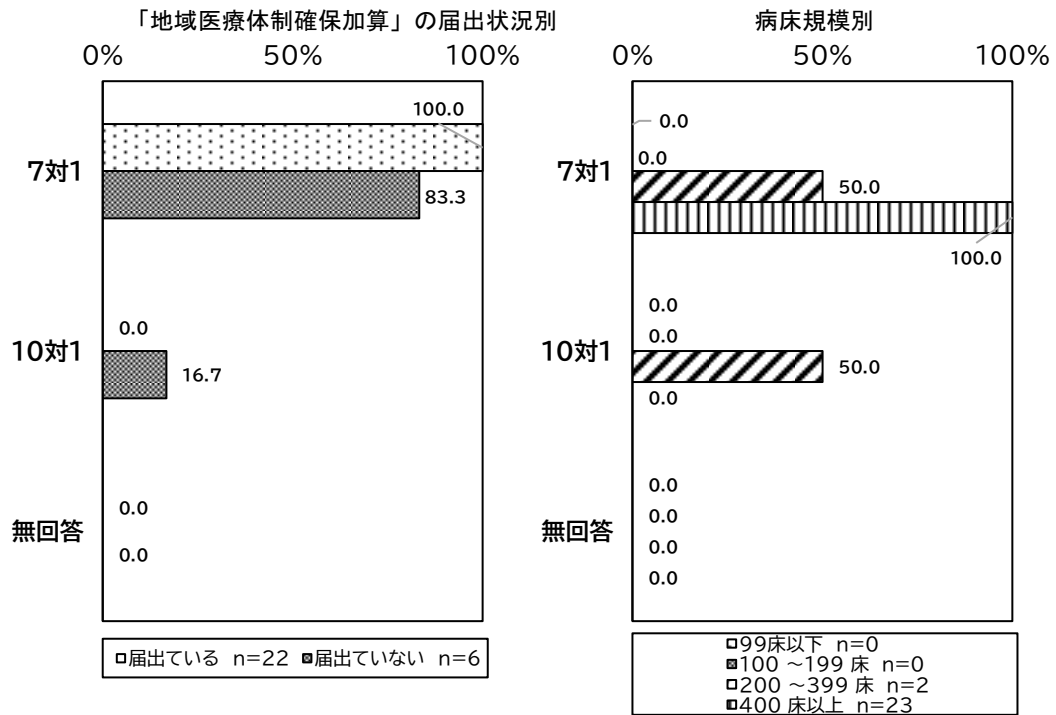
図表 2-49 結核病棟入院基本料の内訳（複数回答）



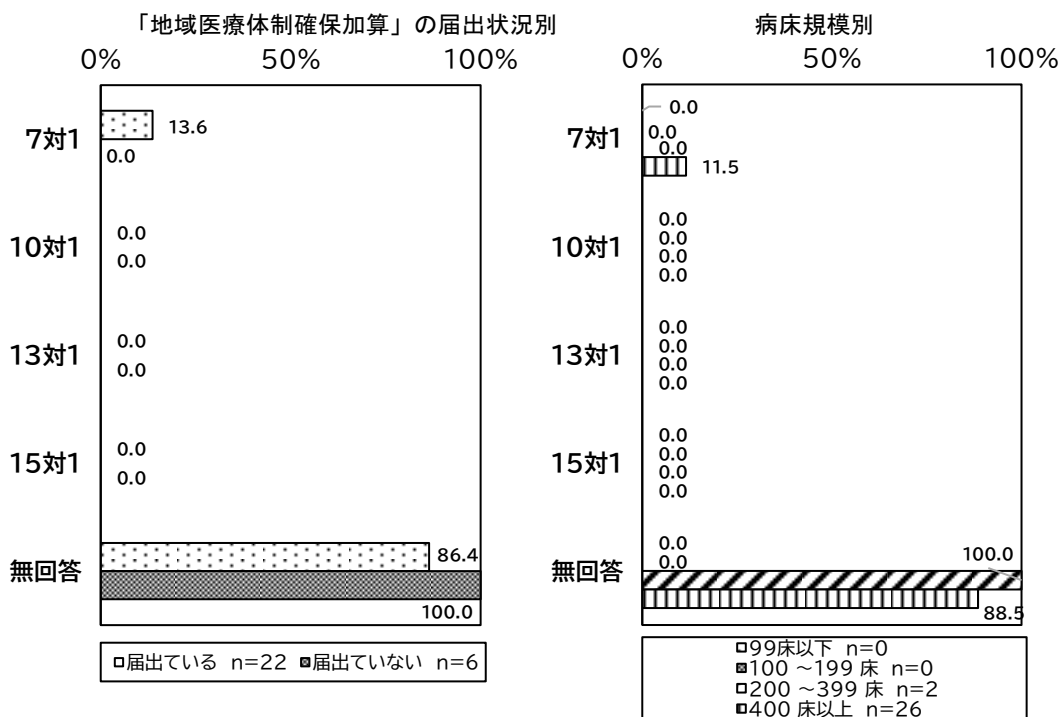
図表 2-50 精神病棟入院基本料の内訳（複数回答）



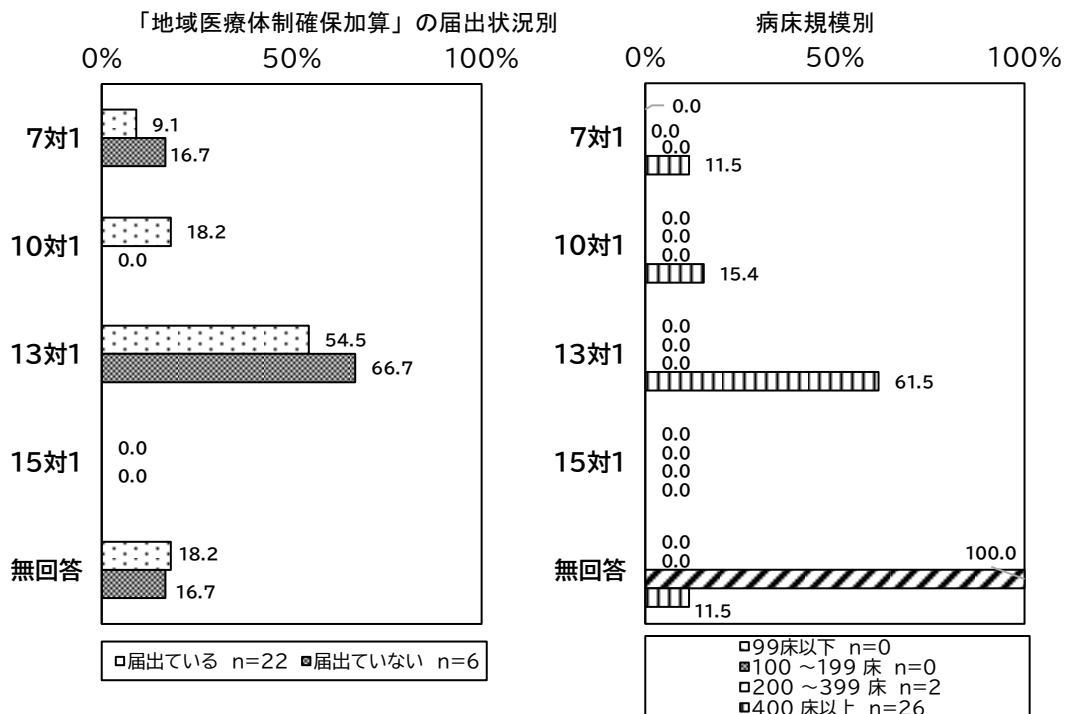
図表 2-51 特定機能病院入院基本料（一般病棟）の内訳（複数回答）



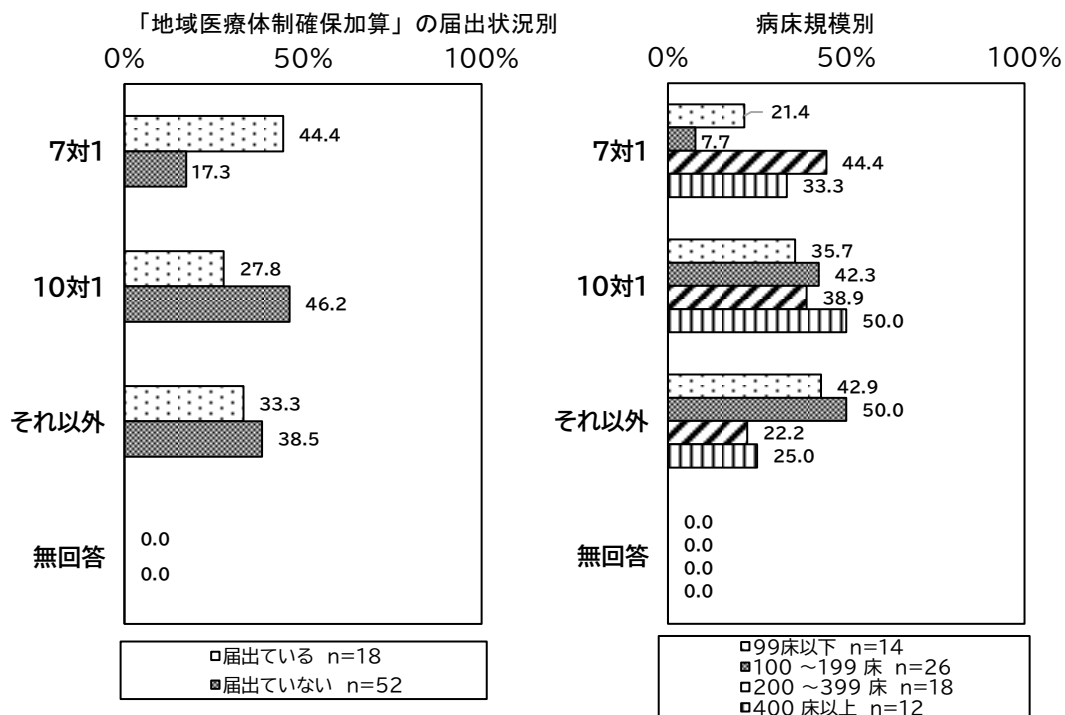
図表 2-52 特定機能病院入院基本料（結核病棟）の内訳（複数回答）



図表 2-53 特定機能病院入院基本料（精神病棟）の内訳（複数回答）



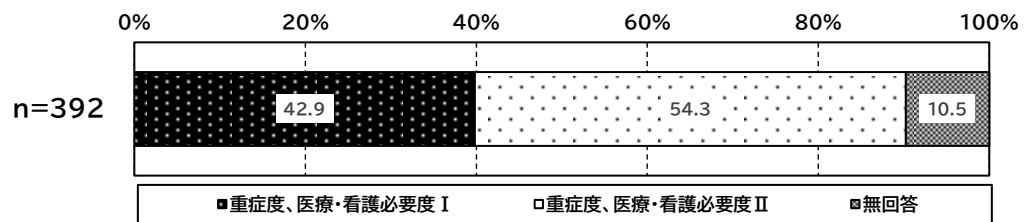
図表 2-54 その他の入院基本料の内訳（複数回答）



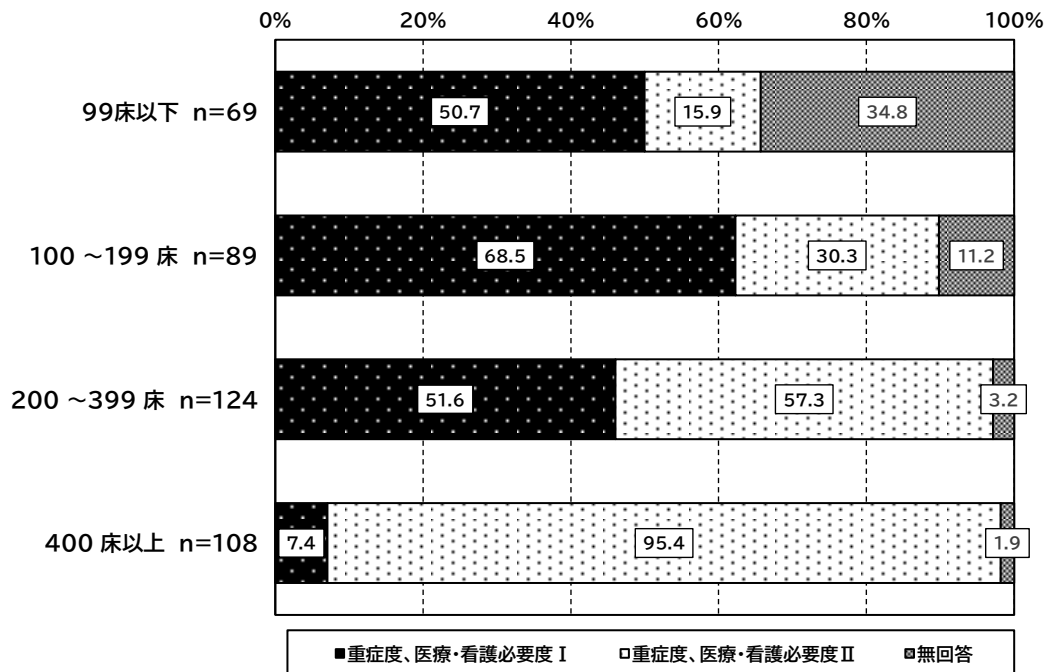
- ⑤-1 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別（令和3年7月1日時点）
 （⑤で「一般病棟入院基本料」の急性期一般入院料の1～7、「特定機能病院入院基本料」のうち、「一般病棟」の7対1又は10対1、「その他の入院基本料」の7対1又は10対1を選択した施設のみ集計）

届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別をみると、「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」が42.9%、「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」が54.3%であった。

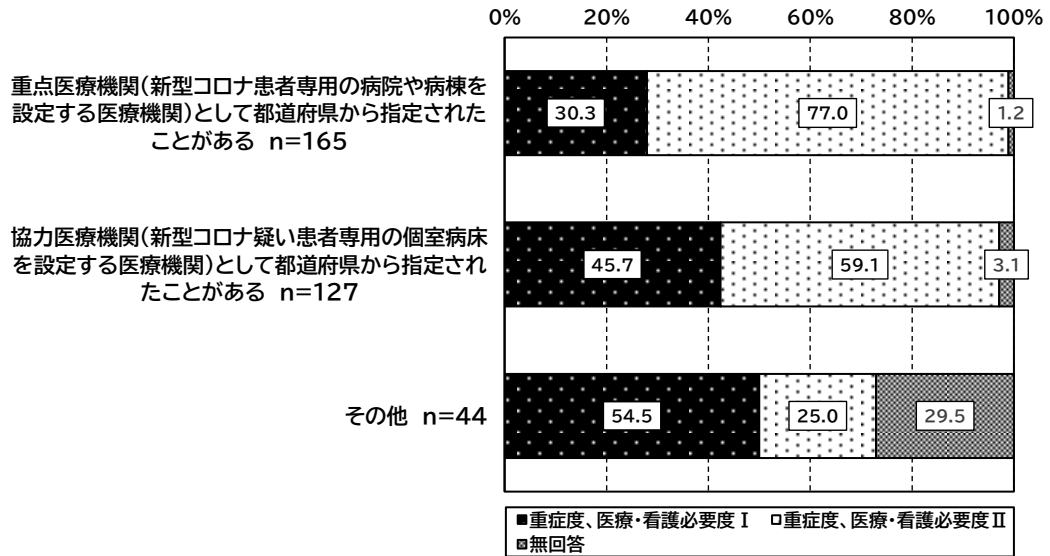
図表 2-55 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別



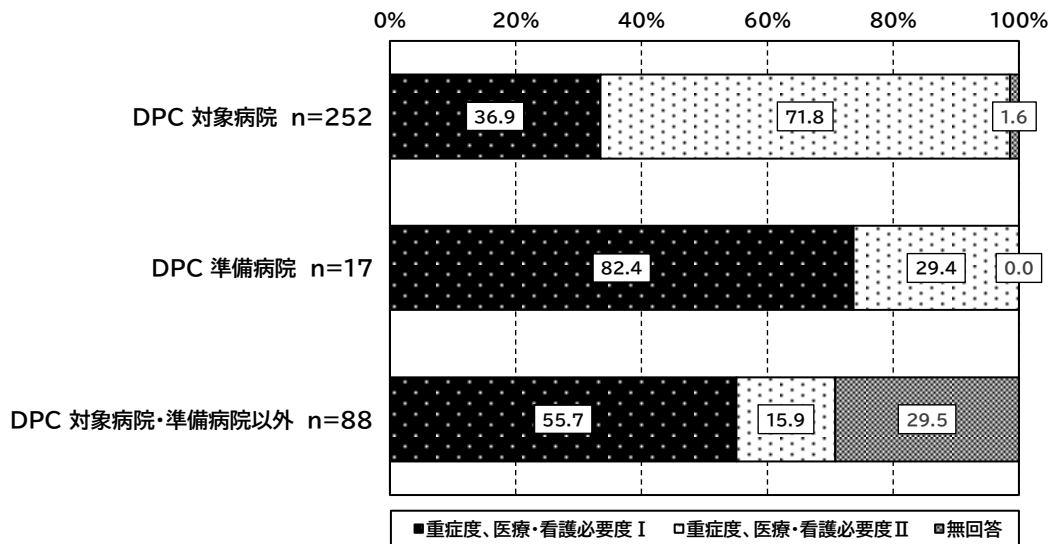
図表 2-56 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
 （病床規模別）



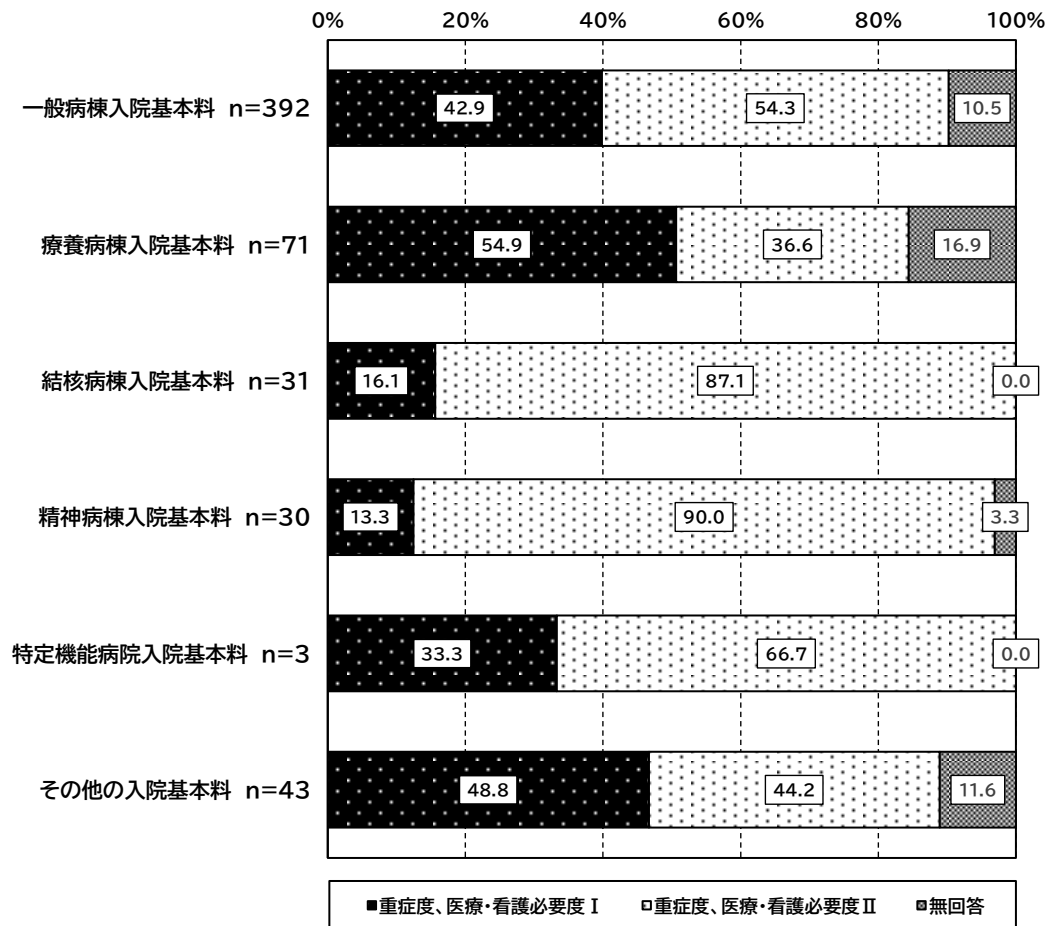
図表 2-57 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



図表 2-58 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
 (DPC 対応状況別)



図表 2-59 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
(入院基本料別)



⑤-2 重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合

(⑤で「一般病棟入院基本料」の急性期一般入院料の1~7、「特定機能病院入院基本料」のうち、「一般病棟」の7対1又は10対1、「その他の入院基本料」の7対1又は10対1を選択した施設のみ集計)

重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合は以下のとおりであった。

図表 2-60 重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合
(病床規模別)

(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 I	調査数	平均値	標準偏差	中央値
99床以下	n=32	32.1	11.5	28.0
100~199床	n=60	29.8	17.9	30.7
200~399床	n=60	30.7	10.8	35.3
400床以上	n=6	34.2	6.8	37.6

(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 II	調査数	平均値	標準偏差	中央値
99床以下	n=11	38.3	12.1	38.9
100~199床	n=25	33.2	9.0	32.2
200~399床	n=67	36.4	4.5	35.8
400床以上	n=97	36.0	5.0	36.3

図表 2-61 重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合
(DPC対応状況別)

(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 I	調査数	平均値	標準偏差	中央値
DPC対象病院	n=86	34.0	7.6	35.3
DPC準備病院	n=13	32.9	8.4	31.0
DPC対象病院・準備病院以外	n=49	26.9	13.1	27.0

(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 II	調査数	平均値	標準偏差	中央値
DPC対象病院	n=170	36.6	4.9	36.2
DPC準備病院	n=5	35.2	10.4	35.2
DPC対象病院・準備病院以外	n=13	30.7	9.4	29.0

図表 2-62 重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合
(入院基本料別)

(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 I	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=158	32.1	11.5	33.1
療養病棟入院基本料	n=36	29.6	12.0	29.7
結核病棟入院基本料	n=5	30.2	3.9	28.3
精神病棟入院基本料	n=3	33.0	2.2	33.7
特定機能病院入院基本料	n=1	23.2	0.0	23.2
その他の入院基本料	n=21	27.5	12.0	29.3

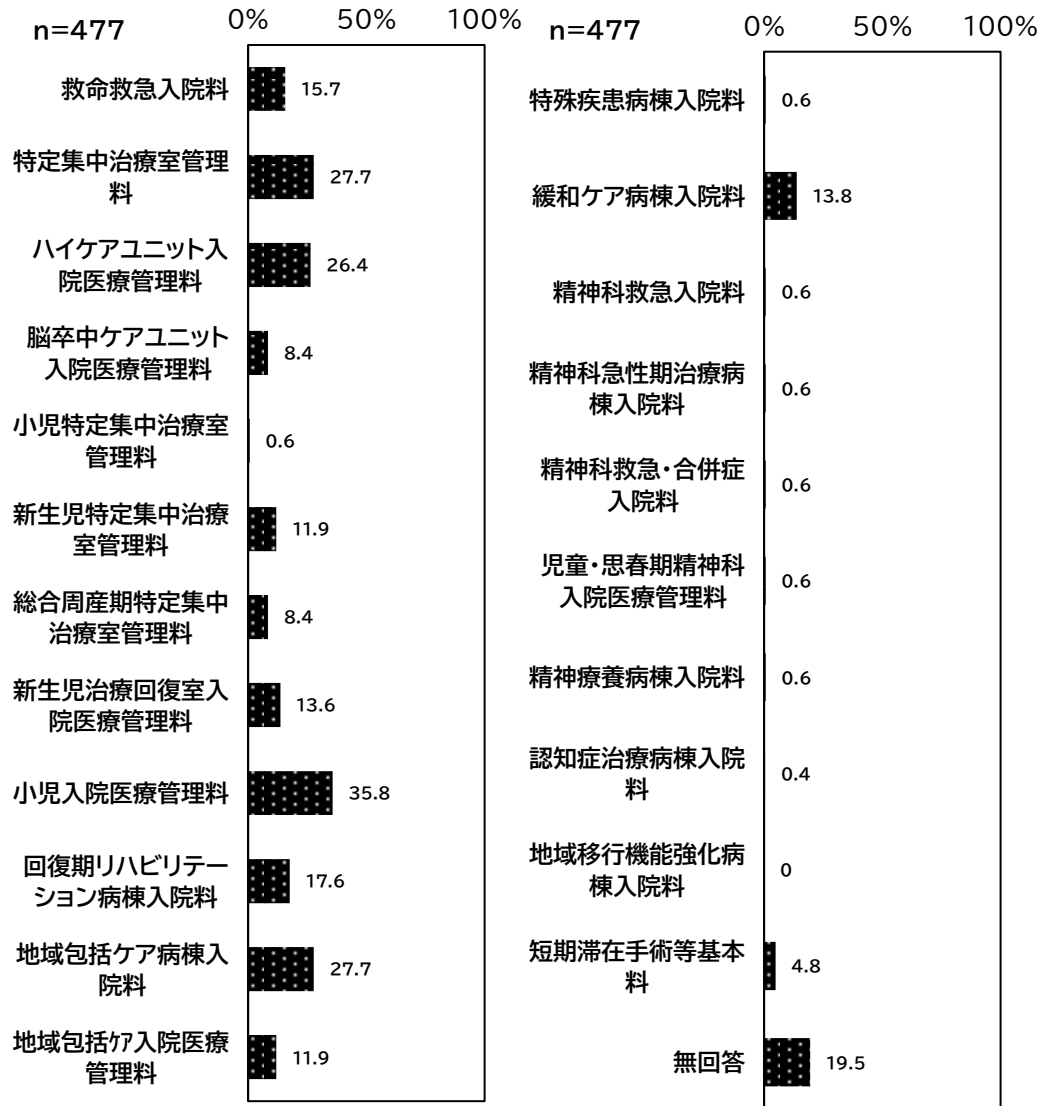
(単位:%)

重症度、医療・看護必要度 II	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=201	36.0	6.2	35.8
療養病棟入院基本料	n=25	35.5	8.1	36.5
結核病棟入院基本料	n=26	34.9	4.3	34.5
精神病棟入院基本料	n=27	35.5	3.5	36.2
特定機能病院入院基本料	n=2	36.1	1.2	36.1
その他の入院基本料	n=19	31.5	7.5	34.4

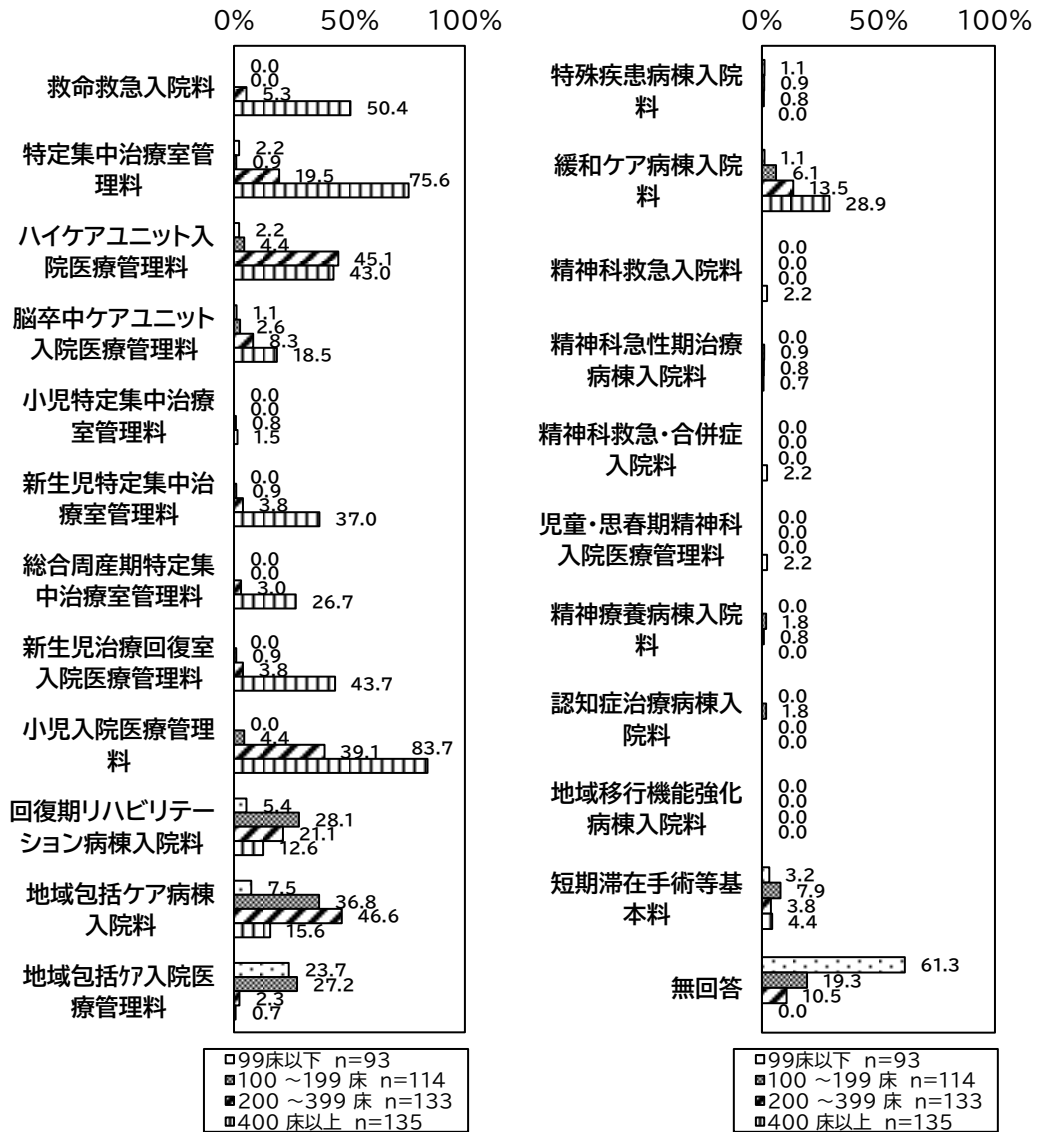
⑥ 届出を行っている特定入院基本料

届出を行っている特定入院基本料で最も多かったものは、「小児入院医療管理料」で35.8%であった。

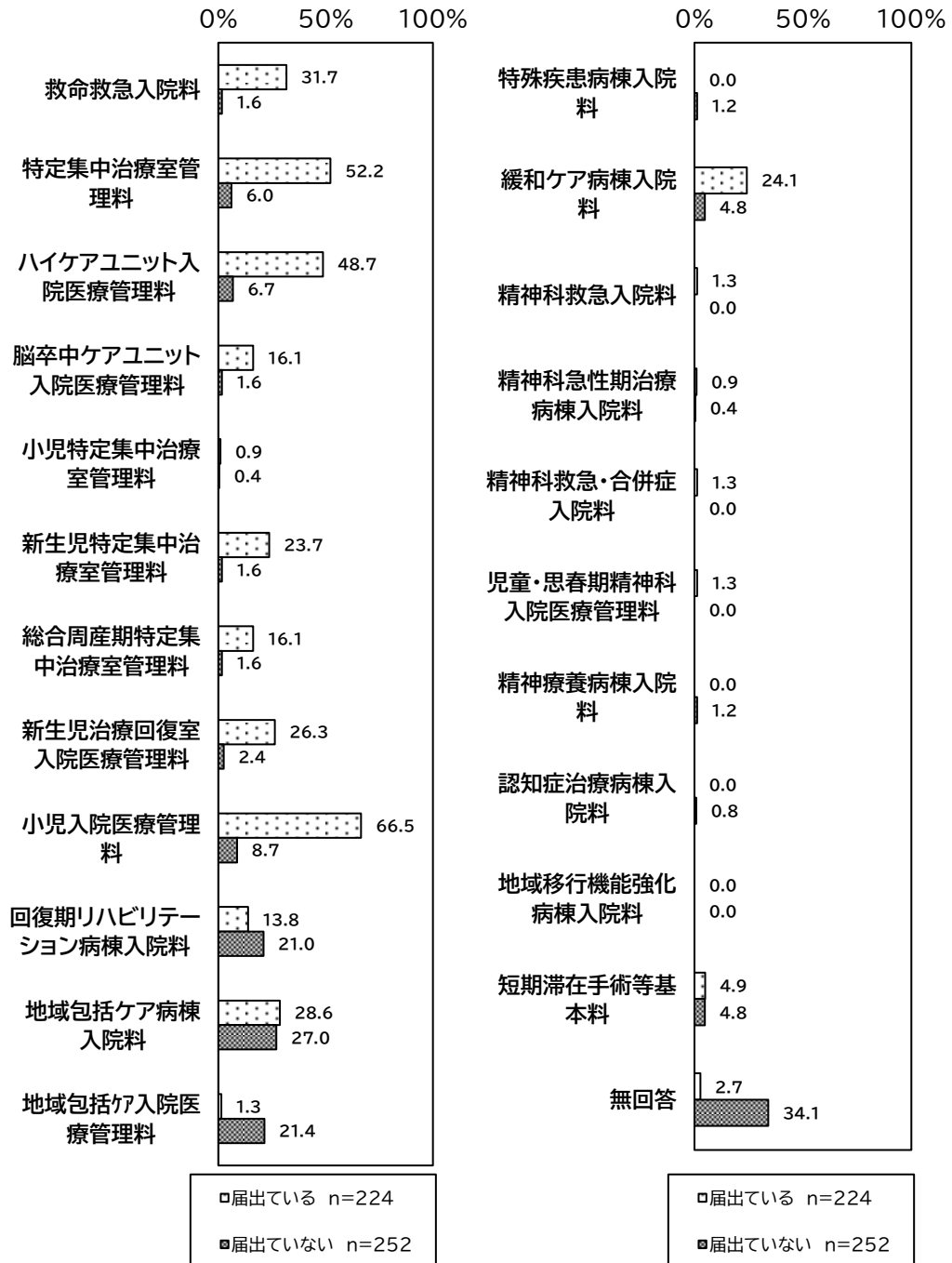
図表 2-63 届出を行っている特定入院基本料（複数回答）



図表 2-64 届出を行っている特定入院基本料（複数回答）
（病床規模別）



図表 2-65 届出を行っている特定入院基本料（複数回答）
 （「地域医療体制確保加算」の届出状況別）



⑦ 許可病床数

許可病床数は、以下のとおりであった。

図表 2-66 許可病床数（全体）

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	n=475	275.4	230.2	220.0
療養病床	n=475	17.4	41.5	0.0
精神病床	n=475	8.3	27.6	0.0
結核病床	n=475	1.4	5.8	0.0
感染症病床	n=475	0.9	2.6	0.0
病院全体	n=475	303.2	229.9	243.0

注：各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

図表 2-67 許可病床数（99床以下）

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	n=93	49.5	25.7	50.0
療養病床	n=93	10.8	21.1	0.0
精神病床	n=93	0.0	0.0	0.0
結核病床	n=93	0.0	0.0	0.0
感染症病床	n=93	0.0	0.0	0.0
病院全体	n=93	60.3	19.2	60.0

注：各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

図表 2-68 許可病床数（100～199床）

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	n=114	112.0	57.2	120.0
療養病床	n=114	35.5	46.7	0.0
精神病床	n=114	5.2	25.3	0.0
結核病床	n=114	0.2	1.9	0.0
感染症病床	n=114	0.1	0.7	0.0
病院全体	n=114	153.0	33.0	155.0

注：各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

図表 2-69 許可病床数 (200~399 床)

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	n=133	274.7	86.8	297.0
療養病床	n=133	18.7	51.7	0.0
精神病床	n=133	3.8	25.2	0.0
結核病床	n=133	2.1	7.5	0.0
感染症病床	n=133	1.1	2.6	0.0
病院全体	n=133	300.5	56.3	312.0

注：各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

図表 2-70 許可病床数 (400 床以上)

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	n=135	569.5	177.6	520.0
療養病床	n=135	5.2	28.6	0.0
精神病床	n=135	20.9	35.8	0.0
結核病床	n=135	2.6	7.5	0.0
感染症病床	n=135	2.0	3.8	0.0
病院全体	n=135	600.1	183.8	539.0

注：各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

⑧ 職員数（令和3年7月1日時点）

職員数について、病床規模別と医師事務作業補助体制加算の届出状況別に集計した結果は以下のとおりであった。

図表 2-71 1施設あたりの平均職員数（全体）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
医師	468	71.9	106.1	28.0	468	14.4	40.5	4.8
歯科医師	468	2.3	10.6	0.0	468	0.8	5.2	0.0
保健師・助産師・看護師	468	258.8	265.1	165.0	468	17.8	87.5	8.3
(うち)特定行為研修修了者である看護師	468	2.2	13.5	0.0	468	0.0	0.1	0.0
准看護師	468	5.2	6.9	2.0	468	1.6	2.4	0.7
看護補助者	468	17.3	20.2	11.0	468	11.2	16.2	4.4
歯科衛生士	468	1.4	2.6	0.0	468	0.4	1.0	0.0
薬剤師	468	15.3	16.6	10.0	468	0.7	2.2	0.0
臨床検査技師	468	17.8	18.5	12.0	468	1.9	3.7	0.6
臨床工学技士	468	7.7	8.4	5.0	468	0.2	0.9	0.0
管理栄養士	468	4.7	3.4	4.0	468	0.4	1.0	0.0
理学療法士	468	15.9	15.2	12.0	468	0.3	1.2	0.0
作業療法士	468	7.3	8.4	5.0	468	0.1	0.5	0.0
言語聴覚士	468	3.3	3.9	2.0	468	0.1	0.5	0.0
医師事務作業補助者	468	7.9	12.6	2.0	468	4.9	10.2	0.0
MSW(社会福祉士等)	468	4.2	3.5	4.0	468	0.2	0.8	0.0
その他	468	67.8	73.2	45.0	468	17.9	30.7	7.3
合計	468	493.4	495.8	332.5	468	67.7	127.1	34.0

図表 2-72 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数（全体）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
令和元年 医師	468	68.2	103.7	25.5	468	14.3	40.1	4.2
令和2年 医師	468	69.9	104.3	28.0	468	14.7	40.6	4.5
令和3年 医師	468	71.9	106.1	28.0	468	14.4	40.5	4.8

図表 2-73 1施設あたりの平均職員数（99床以下）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	90	5.1	3.9	4.0	90	2.5	1.8	2.3
歯科医師	90	0.1	0.3	0.0	90	0.0	0.1	0.0
保健師・助産師・看護師	90	29.0	18.1	25.0	90	3.0	3.1	1.8
(うち)特定行為研修修了者である看護師	90	0.1	0.5	0.0	90	0.0	0.0	0.0
准看護師	90	5.5	4.8	4.0	90	1.1	1.6	0.5
看護補助者	90	7.5	6.4	7.0	90	2.1	3.5	1.0
歯科衛生士	90	0.2	0.7	0.0	90	0.0	0.1	0.0
薬剤師	90	2.0	1.1	2.0	90	0.2	0.4	0.0
臨床検査技師	90	1.9	1.8	1.0	90	0.3	0.7	0.0
臨床工学技士	90	0.7	1.5	0.0	90	0.1	0.6	0.0
管理栄養士	90	1.5	0.8	1.0	90	0.1	0.2	0.0
理学療法士	90	5.7	8.2	3.0	90	0.2	0.5	0.0
作業療法士	90	2.0	3.4	1.0	90	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	90	0.5	1.5	0.0	90	0.0	0.2	0.0
医師事務作業補助者	90	1.2	2.7	0.0	90	0.2	0.7	0.0
MSW(社会福祉士等)	90	1.1	1.2	1.0	90	0.0	0.2	0.0
その他	90	15.7	13.9	13.0	90	2.9	4.2	1.2
合計	90	71.2	49.6	63.5	90	11.1	10.5	8.4

図表 2-74 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数（99床以下）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	90	4.7	3.4	4.0	90	2.3	1.7	2.3
令和2年 医師	90	4.7	3.6	4.0	90	2.3	1.7	2.4
令和3年 医師	90	5.1	3.9	4.0	90	2.5	1.8	2.3

図表 2-75 1施設あたりの平均職員数（100～199床）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	111	13.2	9.9	11.0	111	4.6	4.7	3.6
歯科医師	111	0.2	0.7	0.0	111	0.0	0.2	0.0
保健師・助産師・看護師	111	81.6	45.1	80.0	111	8.1	6.7	6.8
(うち)特定行為研修修了者である看護師	111	0.4	1.0	0.0	111	0.0	0.0	0.0
准看護師	111	7.7	7.2	6.0	111	1.9	2.4	1.2
看護補助者	111	18.4	12.5	18.0	111	4.5	3.8	3.7
歯科衛生士	111	0.4	1.1	0.0	111	0.1	0.2	0.0
薬剤師	111	4.9	3.5	4.0	111	0.6	0.9	0.0
臨床検査技師	111	6.1	4.9	5.0	111	0.5	0.7	0.0
臨床工学技士	111	2.7	3.7	1.0	111	0.1	0.2	0.0
管理栄養士	111	3.0	1.9	3.0	111	0.1	0.3	0.0
理学療法士	111	14.5	14.0	10.0	111	0.2	0.5	0.0
作業療法士	111	7.0	8.3	4.0	111	0.1	0.3	0.0
言語聴覚士	111	2.7	3.5	1.0	111	0.1	0.3	0.0
医師事務作業補助者	111	3.3	4.3	2.0	111	0.6	1.3	0.0
MSW(社会福祉士等)	111	2.8	2.0	3.0	111	0.2	1.0	0.0
その他	111	32.8	22.1	32.0	111	7.1	8.5	4.0
合計	111	192.3	96.5	189.0	111	26.1	19.1	23.7

図表 2-76 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数（100～199床）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	111	12.7	9.8	11.0	111	4.3	5.0	3.3
令和2年 医師	111	12.7	9.9	11.0	111	4.5	5.1	3.3
令和3年 医師	111	13.2	9.9	11.0	111	4.6	4.7	3.6

図表 2-77 1施設あたりの平均職員数（200～399床）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
医師	131	51.9	32.0	50.0	131	8.9	13.4	6.4
歯科医師	131	0.7	1.1	0.0	131	0.1	0.3	0.0
保健師・助産師・看護師	131	228.5	100.5	232.0	131	17.6	33.1	11.0
(うち)特定行為研修修了者である看護師	131	3.2	22.8	0.0	131	0.0	0.2	0.0
准看護師	131	5.8	8.6	3.0	131	1.6	2.2	0.8
看護補助者	131	17.4	19.1	11.0	131	12.5	13.1	7.5
歯科衛生士	131	1.0	1.4	0.0	131	0.3	0.8	0.0
薬剤師	131	14.0	7.0	14.0	131	0.7	2.3	0.0
臨床検査技師	131	17.1	9.4	17.0	131	2.0	3.7	0.9
臨床工学技士	131	8.0	5.7	7.0	131	0.2	1.0	0.0
管理栄養士	131	4.8	2.2	4.0	131	0.4	0.8	0.0
理学療法士	131	18.6	17.2	13.0	131	0.3	1.3	0.0
作業療法士	131	8.8	9.5	5.0	131	0.1	0.8	0.0
言語聴覚士	131	4.0	3.9	3.0	131	0.1	0.7	0.0
医師事務作業補助者	131	8.9	9.9	6.0	131	4.3	6.2	0.5
MSW(社会福祉士等)	131	4.4	2.7	4.0	131	0.1	0.5	0.0
その他	131	64.2	41.9	59.0	131	15.3	14.7	12.6
合計	131	442.1	200.3	450.0	131	55.0	39.5	51.0

図表 2-78 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数（200～399床）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
令和元年 医師	131	48.5	30.4	46.0	131	7.9	8.4	5.9
令和2年 医師	131	50.0	31.1	49.0	131	8.2	8.5	6.1
令和3年 医師	131	51.9	32.0	50.0	131	8.9	13.4	6.4

図表 2-79 1施設あたりの平均職員数（400床以上）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
医師	134	185.3	138.2	146.5	134	36.2	69.7	10.1
歯科医師	134	7.0	19.0	3.0	134	2.6	9.4	0.1
保健師・助産師・看護師	134	589.8	247.3	536.5	134	36.3	158.4	19.6
(うち)特定行為研修修了者である看護師	134	4.1	10.7	2.0	134	0.0	0.0	0.0
准看護師	134	2.4	4.7	1.0	134	1.6	3.0	0.0
看護補助者	134	22.8	28.6	9.5	134	21.5	23.0	15.0
歯科衛生士	134	3.3	3.9	3.0	134	0.9	1.6	0.0
薬剤師	134	34.3	18.1	29.0	134	1.3	3.2	0.0
臨床検査技師	134	39.1	18.7	35.5	134	4.1	5.1	2.6
臨床工学技士	134	16.1	8.8	14.0	134	0.3	1.1	0.0
管理栄養士	134	8.1	3.2	8.0	134	0.8	1.5	0.0
理学療法士	134	21.1	14.2	18.0	134	0.4	1.7	0.0
作業療法士	134	9.5	8.1	7.5	134	0.1	0.5	0.0
言語聴覚士	134	5.1	4.1	4.0	134	0.2	0.6	0.0
医師事務作業補助者	134	15.4	18.2	6.5	134	12.2	15.4	5.0
MSW(社会福祉士等)	134	7.4	3.6	7.0	134	0.4	1.1	0.0
その他	134	133.3	93.1	116.0	134	39.8	47.7	27.9
合計	134	1075.0	520.3	981.5	134	153.0	208.4	105.6

図表 2-80 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数（400床以上）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
令和元年 医師	134	176.5	138.6	134.5	134	37.0	69.2	9.2
令和2年 医師	134	180.7	136.6	144.0	134	37.8	70.1	10.0
令和3年 医師	134	185.3	138.2	146.5	134	36.2	69.7	10.1

図表 2-81 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出をしている施設)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	329	96.1	115.1	59.0	329	18.8	47.1	6.7
歯科医師	329	3.1	12.5	1.0	329	1.1	6.2	0.0
保健師・助産師・看護師	329	337.2	272.0	282.0	329	22.1	102.1	11.9
(うち)特定行為研修修了者である看護師	329	3.0	16.0	0.0	329	0.0	0.1	0.0
准看護師	329	4.5	6.7	2.0	329	1.7	2.6	0.8
看護補助者	329	17.9	20.7	12.0	329	14.0	18.0	6.3
歯科衛生士	329	1.8	3.0	1.0	329	0.5	1.2	0.0
薬剤師	329	20.0	17.3	16.0	329	0.8	2.2	0.0
臨床検査技師	329	23.7	18.7	20.0	329	2.4	3.9	1.0
臨床工学技士	329	10.2	8.6	8.0	329	0.2	1.0	0.0
管理栄養士	329	5.7	3.4	5.0	329	0.5	1.1	0.0
理学療法士	329	17.8	13.8	14.0	329	0.3	1.1	0.0
作業療法士	329	7.7	7.0	6.0	329	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	329	3.7	3.4	3.0	329	0.1	0.3	0.0
医師事務作業補助者	329	10.6	13.7	4.0	329	6.8	11.6	1.0
MSW(社会福祉士等)	329	5.1	3.3	4.0	329	0.2	0.8	0.0
その他	329	85.3	78.5	59.0	329	23.2	34.6	12.8
合計	329	638.7	515.3	522.0	329	89.1	145.8	50.8

図表 2-82 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出の届出をしている施設)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	329	91.6	113.1	55.0	329	19.0	46.9	6.0
令和2年 医師	329	93.9	113.2	59.0	329	19.5	47.5	6.1
令和3年 医師	329	96.1	115.1	59.0	329	18.8	47.1	6.7

図表 2-83 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出をしていない施設)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	120	7.1	11.1	4.0	120	2.9	3.9	2.3
歯科医師	120	0.2	0.5	0.0	120	0.1	0.2	0.0
保健師・助産師・看護師	120	49.0	59.0	28.5	120	4.7	6.3	2.5
(うち)特定行為研修修了者である看護師	120	0.1	0.5	0.0	120	0.0	0.0	0.0
准看護師	120	7.2	7.4	5.0	120	1.3	2.0	0.6
看護補助者	120	15.6	19.8	8.5	120	4.0	6.5	1.8
歯科衛生士	120	0.3	0.8	0.0	120	0.1	0.3	0.0
薬剤師	120	2.8	3.3	2.0	120	0.4	0.7	0.0
臨床検査技師	120	2.1	2.7	1.0	120	0.3	0.8	0.0
臨床工学技士	120	1.1	2.6	0.0	120	0.0	0.1	0.0
管理栄養士	120	1.8	1.3	1.0	120	0.1	0.2	0.0
理学療法士	120	10.6	18.0	4.0	120	0.2	0.6	0.0
作業療法士	120	5.6	11.2	1.5	120	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	120	2.1	4.8	0.0	120	0.1	0.6	0.0
医師事務作業補助者	120	0.2	0.6	0.0	120	0.1	0.3	0.0
MSW(社会福祉士等)	120	2.0	3.2	1.0	120	0.1	0.9	0.0
その他	120	20.5	22.3	13.5	120	3.9	5.9	1.4
合計	120	120.9	122.4	81.5	120	15.4	17.3	11.8

図表 2-84 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出の届出をしていない施設)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	120	6.9	11.1	4.0	120	2.9	4.4	2.3
令和2年 医師	120	6.7	11.2	4.0	120	2.9	4.5	2.3
令和3年 医師	120	7.1	11.1	4.0	120	2.9	3.9	2.3

図表 2-85 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・99床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	21	7.3	5.1	6.0	21	3.5	2.2	3.2
歯科医師	21	0.2	0.5	0.0	21	0.0	0.1	0.0
保健師・助産師・看護師	21	42.0	16.6	35.0	21	3.8	3.2	2.9
(うち)特定行為研修修了者である看護師	21	0.1	0.3	0.0	21	0.0	0.0	0.0
准看護師	21	5.7	4.5	5.0	21	0.7	0.8	0.5
看護補助者	21	7.6	5.1	8.0	21	2.4	3.4	0.7
歯科衛生士	21	0.5	1.0	0.0	21	0.1	0.2	0.0
薬剤師	21	2.7	1.4	3.0	21	0.2	0.4	0.0
臨床検査技師	21	2.8	1.7	2.0	21	0.7	1.3	0.2
臨床工学技士	21	1.0	1.8	0.0	21	0.3	1.3	0.0
管理栄養士	21	1.9	0.9	2.0	21	0.2	0.3	0.0
理学療法士	21	9.4	12.9	4.0	21	0.4	0.9	0.0
作業療法士	21	2.4	3.0	1.0	21	0.1	0.2	0.0
言語聴覚士	21	0.5	1.0	0.0	21	0.1	0.3	0.0
医師事務作業補助者	21	3.8	4.2	3.0	21	0.6	1.3	0.0
MSW(社会福祉士等)	21	1.8	1.1	2.0	21	0.1	0.2	0.0
その他	21	24.1	12.2	22.0	21	4.3	5.4	1.8
合計	21	96.7	59.5	105.0	21	14.9	11.6	14.3

図表 2-86 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・99床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	21	6.7	4.8	6.0	21	3.0	2.0	3.2
令和2年 医師	21	7.0	5.2	5.0	21	2.8	1.8	2.8
令和3年 医師	21	7.3	5.1	6.0	21	3.5	2.2	3.2

図表 2-87 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・99床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	65	4.1	2.8	3.0	65	2.3	1.6	2.2
歯科医師	65	0.1	0.2	0.0	65	0.0	0.1	0.0
保健師・助産師・看護師	65	23.2	14.9	21.0	65	2.8	3.1	1.6
(うち)特定行為研修修了者である看護師	65	0.1	0.6	0.0	65	0.0	0.0	0.0
准看護師	65	5.3	4.8	4.0	65	1.1	1.8	0.6
看護補助者	65	6.9	6.2	6.0	65	2.1	3.7	1.1
歯科衛生士	65	0.1	0.5	0.0	65	0.0	0.1	0.0
薬剤師	65	1.7	0.7	2.0	65	0.2	0.4	0.0
臨床検査技師	65	1.4	1.5	1.0	65	0.1	0.3	0.0
臨床工学技士	65	0.5	1.1	0.0	65	0.0	0.0	0.0
管理栄養士	65	1.3	0.7	1.0	65	0.0	0.1	0.0
理学療法士	65	3.8	4.5	3.0	65	0.1	0.3	0.0
作業療法士	65	1.5	2.7	0.0	65	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	65	0.3	1.1	0.0	65	0.0	0.1	0.0
医師事務作業補助者	65	0.1	0.6	0.0	65	0.0	0.2	0.0
MSW(社会福祉士等)	65	0.7	0.9	0.0	65	0.0	0.2	0.0
その他	65	12.4	12.5	10.0	65	2.6	3.8	1.1
合計	65	59.1	35.7	57.0	65	10.2	10.0	7.0

図表 2-88 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・99床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	65	3.7	2.1	3.0	65	2.1	1.6	1.9
令和2年 医師	65	3.7	2.1	3.0	65	2.1	1.6	2.1
令和3年 医師	65	4.1	2.8	3.0	65	2.3	1.6	2.2

図表 2-89 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・100～199床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	67	17.1	10.5	15.0	67	5.1	3.4	4.7
歯科医師	67	0.3	0.8	0.0	67	0.0	0.1	0.0
保健師・助産師・看護師	67	98.9	43.7	91.0	67	9.4	6.5	7.5
(うち)特定行為研修修了者である看護師	67	0.6	1.1	0.0	67	0.0	0.0	0.0
准看護師	67	7.6	7.8	5.0	67	2.0	2.3	1.4
看護補助者	67	18.6	12.0	18.0	67	4.4	3.9	3.2
歯科衛生士	67	0.5	1.2	0.0	67	0.1	0.2	0.0
薬剤師	67	6.0	3.9	5.0	67	0.6	1.0	0.0
臨床検査技師	67	8.0	4.9	7.0	67	0.5	0.8	0.0
臨床工学技士	67	3.7	4.1	2.0	67	0.1	0.3	0.0
管理栄養士	67	3.5	2.1	3.0	67	0.1	0.3	0.0
理学療法士	67	14.3	12.0	10.0	67	0.1	0.3	0.0
作業療法士	67	6.1	6.5	4.0	67	0.1	0.2	0.0
言語聴覚士	67	2.3	2.7	2.0	67	0.1	0.2	0.0
医師事務作業補助者	67	5.0	4.6	4.0	67	0.9	1.5	0.0
MSW(社会福祉士等)	67	2.9	1.7	3.0	67	0.1	0.3	0.0
その他	67	38.2	17.8	38.0	67	8.7	8.8	6.3
合計	67	219.9	94.5	223.0	67	28.8	17.3	25.9

図表 2-90 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・100～199床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	67	16.5	10.3	13.0	67	4.6	3.2	4.6
令和2年 医師	67	16.6	10.5	14.0	67	4.8	3.3	4.9
令和3年 医師	67	17.1	10.5	15.0	67	5.1	3.4	4.7

図表 2-91 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・100～199床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	38	6.4	3.6	6.0	38	4.0	6.4	2.5
歯科医師	38	0.2	0.6	0.0	38	0.0	0.2	0.0
保健師・助産師・看護師	38	48.3	27.4	44.5	38	6.0	6.4	5.1
(うち)特定行為研修修了者である看護師	38	0.0	0.2	0.0	38	0.0	0.0	0.0
准看護師	38	8.7	6.2	9.0	38	1.9	2.4	1.2
看護補助者	38	19.5	13.4	19.0	38	4.4	3.6	3.7
歯科衛生士	38	0.4	0.9	0.0	38	0.0	0.2	0.0
薬剤師	38	2.9	1.2	3.0	38	0.6	0.8	0.1
臨床検査技師	38	2.4	2.0	2.0	38	0.3	0.6	0.0
臨床工学技士	38	1.1	1.9	0.0	38	0.0	0.1	0.0
管理栄養士	38	2.1	1.1	2.0	38	0.1	0.3	0.0
理学療法士	38	14.9	16.9	7.5	38	0.2	0.8	0.0
作業療法士	38	7.9	10.2	3.5	38	0.1	0.3	0.0
言語聴覚士	38	3.2	4.2	1.0	38	0.1	0.4	0.0
医師事務作業補助者	38	0.3	0.7	0.0	38	0.0	0.1	0.0
MSW(社会福祉士等)	38	2.7	2.4	3.0	38	0.3	1.6	0.0
その他	38	23.3	24.6	16.0	38	3.9	6.1	1.8
合計	38	140.6	78.1	142.5	38	20.6	21.2	15.9

図表 2-92 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・100～199床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	38	6.1	3.5	5.5	38	4.1	7.2	2.7
令和2年 医師	38	6.1	3.4	5.5	38	4.1	7.3	2.5
令和3年 医師	38	6.4	3.6	6.0	38	4.0	6.4	2.5

図表 2-93 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・200～399床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	111	54.9	29.8	52.0	111	8.7	8.6	7.6
歯科医師	111	0.8	1.1	0.0	111	0.1	0.3	0.0
保健師・助産師・看護師	111	237.6	97.3	245.0	111	16.3	12.1	12.5
(うち)特定行為研修修了者である看護師	111	3.7	24.8	0.0	111	0.0	0.2	0.0
准看護師	111	5.1	7.3	2.0	111	1.8	2.4	0.9
看護補助者	111	15.7	17.1	10.0	111	13.1	13.0	8.7
歯科衛生士	111	1.1	1.5	0.0	111	0.4	0.8	0.0
薬剤師	111	14.8	6.4	15.0	111	0.5	0.7	0.0
臨床検査技師	111	18.6	8.8	18.0	111	1.9	2.8	1.1
臨床工学技士	111	8.5	5.6	7.0	111	0.2	1.0	0.0
管理栄養士	111	5.0	2.2	4.0	111	0.5	0.7	0.0
理学療法士	111	18.3	14.9	13.0	111	0.2	0.5	0.0
作業療法士	111	8.4	8.1	5.0	111	0.0	0.2	0.0
言語聴覚士	111	3.9	3.8	3.0	111	0.0	0.2	0.0
医師事務作業補助者	111	9.9	10.1	8.0	111	4.7	6.4	0.9
MSW(社会福祉士等)	111	4.4	2.1	4.0	111	0.1	0.4	0.0
その他	111	66.5	43.7	59.0	111	15.4	12.9	12.7
合計	111	460.6	200.3	471.0	111	61.4	39.1	57.9

図表 2-94 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・200～399床以下)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	111	52.5	28.6	49.0	111	8.7	8.7	7.0
令和2年 医師	111	54.0	29.2	52.0	111	9.1	8.8	7.6
令和3年 医師	111	54.9	29.8	52.0	111	8.7	8.6	7.6

図表 2-95 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・200～399床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	14	22.1	25.9	13.5	14	2.7	2.2	2.6
歯科医師	14	0.4	1.1	0.0	14	0.1	0.3	0.0
保健師・助産師・看護師	14	144.9	95.4	133.0	14	7.5	7.7	4.7
(うち)特定行為研修修了者である看護師	14	0.2	0.4	0.0	14	0.0	0.0	0.0
准看護師	14	11.9	14.3	4.5	14	0.8	1.3	0.0
看護補助者	14	31.3	28.5	29.5	14	10.6	13.5	6.4
歯科衛生士	14	0.3	0.6	0.0	14	0.4	0.8	0.0
薬剤師	14	6.5	7.0	4.0	14	0.5	0.8	0.0
臨床検査技師	14	5.0	5.3	3.0	14	1.0	1.8	0.0
臨床工学技士	14	3.9	5.6	1.5	14	0.0	0.0	0.0
管理栄養士	14	2.8	0.9	3.0	14	0.2	0.4	0.0
理学療法士	14	21.4	31.0	9.0	14	0.1	0.2	0.0
作業療法士	14	12.1	17.4	5.5	14	0.1	0.4	0.0
言語聴覚士	14	4.6	5.1	2.0	14	0.0	0.2	0.0
医師事務作業補助者	14	0.1	0.4	0.0	14	0.3	0.6	0.0
MSW(社会福祉士等)	14	4.4	5.7	3.5	14	0.0	0.0	0.0
その他	14	45.6	24.7	46.5	14	9.2	8.4	7.4
合計	14	317.2	133.4	302.5	14	18.9	15.7	16.9

図表 2-96 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・200～399床以下)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	14	21.1	26.2	12.5	14	2.3	2.1	2.2
令和2年 医師	14	21.4	26.8	11.5	14	2.4	2.3	1.6
令和3年 医師	14	22.1	25.9	13.5	14	2.7	2.2	2.6

図表 2-97 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・400床以上)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	129	187.1	136.7	149.0	129	37.1	70.8	10.1
歯科医師	129	7.0	19.3	3.0	129	2.7	9.6	0.0
保健師・助産師・看護師	129	593.9	247.5	536.0	129	36.9	161.3	18.7
(うち)特定行為研修修了者である看護師	129	4.1	10.8	2.0	129	0.0	0.0	0.0
准看護師	129	2.3	4.8	1.0	129	1.6	3.0	0.0
看護補助者	129	21.1	26.9	9.0	129	21.6	23.3	15.0
歯科衛生士	129	3.3	4.0	3.0	129	0.9	1.6	0.0
薬剤師	129	34.6	18.2	29.0	129	1.3	3.2	0.0
臨床検査技師	129	39.6	18.5	35.0	129	4.2	5.1	2.6
臨床工学技士	129	16.3	8.7	14.0	129	0.3	1.1	0.0
管理栄養士	129	8.1	3.3	8.0	129	0.8	1.5	0.0
理学療法士	129	20.3	12.9	17.0	129	0.4	1.7	0.0
作業療法士	129	8.7	6.1	7.0	129	0.1	0.5	0.0
言語聴覚士	129	4.7	3.0	4.0	129	0.2	0.5	0.0
医師事務作業補助者	129	15.4	18.1	7.0	129	12.5	15.6	5.9
MSW(社会福祉士等)	129	7.3	3.5	7.0	129	0.4	1.1	0.0
その他	129	133.9	94.2	115.0	129	40.7	48.3	30.6
合計	129	1094.2	512.0	982.0	129	156.5	211.5	108.8

図表 2-98 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・400床以上)

	常勤・届出あり				非常勤(常勤換算)・届出あり			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	129	178.0	137.7	138.0	129	38.1	70.3	9.2
令和2年 医師	129	182.4	135.3	146.0	129	38.9	71.2	10.1
令和3年 医師	129	187.1	136.7	149.0	129	37.1	70.8	10.1

図表 2-99 1施設あたりの平均職員数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・400床以上)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
医師	2	16.0	16.0	16.0	2	4.1	0.0	4.1
歯科医師	2	1.0	0.0	1.0	2	0.5	0.3	0.5
保健師・助産師・看護師	2	235.0	54.0	235.0	2	25.3	14.4	25.3
(うち)特定行為研修修了者である看護師	2	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
准看護師	2	6.5	0.5	6.5	2	1.3	0.5	1.3
看護補助者	2	109.0	10.0	109.0	2	14.0	4.4	14.0
歯科衛生士	2	2.5	0.5	2.5	2	0.2	0.2	0.2
薬剤師	2	12.0	6.0	12.0	2	1.7	1.1	1.7
臨床検査技師	2	3.5	2.5	3.5	2	0.2	0.2	0.2
臨床工学技士	2	0.0	0.0	0.0	2	0.3	0.3	0.3
管理栄養士	2	8.0	1.0	8.0	2	0.5	0.5	0.5
理学療法士	2	72.0	12.0	72.0	2	2.1	1.3	2.1
作業療法士	2	52.5	5.5	52.5	2	0.0	0.0	0.0
言語聴覚士	2	25.0	11.0	25.0	2	3.8	0.9	3.8
医師事務作業補助者	2	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
MSW(社会福祉士等)	2	14.5	2.5	14.5	2	0.0	0.0	0.0
その他	2	58.0	30.0	58.0	2	12.1	9.6	12.1
合計	2	383.0	383.0	383.0	2	66.0	18.2	66.0

図表 2-100 令和元年から令和3年の1施設あたりの医師数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別・400床以上)

	常勤・届出なし				非常勤(常勤換算)・届出なし			
	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
令和元年 医師	2	25.0	6.0	25.0	2	3.0	0.7	3.0
令和2年 医師	2	15.5	15.5	15.5	2	2.9	0.5	2.9
令和3年 医師	2	16.0	16.0	16.0	2	4.1	0.0	4.1

⑨ 入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、全身麻酔による手術件数
(令和元年1月から6月および令和3年1月から6月)

⑨(1)入院延べ患者数

入院延べ患者数は以下のとおりであった。

図表 2-101 入院延べ患者数 (全体)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	469	7465.1	5729.2	5958.0	469	6835.7	5137.2	5817.0
	2月	469	7039.8	5482.1	5512.0	469	6268.7	4804.4	5064.0
	3月	469	7581.8	5979.7	5979.0	469	6959.5	5439.4	5735.0
	4月	469	7223.8	5677.4	5888.0	469	6679.9	5187.0	5378.0
	5月	469	7309.6	5697.0	5925.0	469	6998.7	9685.7	5404.0
	6月	469	7201.1	5739.4	5718.0	469	6434.2	5063.0	5149.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	469	4319.3	5321.2	1691.0	469	3970.6	4832.8	1756.0
	2月	469	4107.7	5079.4	1859.0	469	3637.0	4487.5	1663.0
	3月	469	4364.1	5446.9	2007.0	469	3986.7	5023.1	1707.0
	4月	469	4108.4	5195.5	1554.0	469	3857.7	4802.7	1655.0
	5月	469	4195.4	5246.9	1619.0	469	3666.3	4657.5	1481.0
	6月	469	4115.4	5210.5	1644.0	469	3628.9	4582.7	1529.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	469	131.9	414.5	2.0	469	110.2	338.0	2.0
	2月	469	99.9	323.0	2.0	469	95.3	306.6	2.0
	3月	469	115.2	371.7	2.0	469	89.5	311.6	1.0
	4月	469	93.4	277.4	0.0	469	102.8	353.7	1.0
	5月	469	105.6	339.4	0.0	469	94.8	292.5	1.0
	6月	469	97.0	280.0	1.0	469	91.4	277.8	1.0

図表 2-102 入院延べ患者数（99床以下）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	90	1405.5	743.6	1326.5	90	1365.1	700.6	1312.5
	2月	90	1310.2	668.3	1201.5	90	1256.5	626.2	1206.5
	3月	90	1421.4	747.6	1290.0	90	1349.3	682.7	1284.5
	4月	90	1370.6	703.0	1234.0	90	1299.3	664.3	1242.0
	5月	90	1368.2	724.4	1259.0	90	1315.9	686.9	1282.5
	6月	90	1336.5	701.7	1246.5	90	1274.8	639.3	1233.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	90	532.6	583.0	392.5	90	531.4	1312.5	347.5
	2月	90	504.4	534.9	414.0	90	492.8	534.1	403.5
	3月	90	550.3	583.3	480.5	90	514.4	578.1	342.0
	4月	90	554.3	574.7	487.5	90	530.2	567.3	431.5
	5月	90	558.6	588.8	500.5	90	513.7	579.5	420.0
	6月	90	519.3	567.5	362.0	90	481.7	556.9	245.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	90	8.6	48.0	0.0	90	8.6	46.2	0.0
	2月	90	8.2	43.6	0.0	90	9.4	42.5	0.0
	3月	90	7.5	44.5	0.0	90	9.0	46.4	0.0
	4月	90	8.1	46.7	0.0	90	9.7	50.4	0.0
	5月	90	7.8	44.7	0.0	90	6.5	37.6	0.0
	6月	90	7.6	38.8	0.0	90	6.2	38.0	0.0

図表 2-103 入院延べ患者数 (100~199 床)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	111	3642.2	1198.8	3626.0	111	3529.1	1111.1	3459.0
	2月	111	3397.6	1077.3	3412.0	111	3229.5	1022.0	3053.0
	3月	111	3668.4	1197.5	3651.0	111	3516.5	1151.2	3454.0
	4月	111	3523.3	1131.3	3489.0	111	3331.4	1084.0	3220.0
	5月	111	3551.9	1157.6	3458.0	111	3320.6	1094.9	3170.0
	6月	111	3459.0	1120.5	3285.0	111	3236.2	1066.7	3078.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	111	1371.0	1269.3	1324.0	111	1303.1	1152.3	1302.0
	2月	111	1272.1	1194.3	1200.0	111	1222.5	1072.3	1145.0
	3月	111	1385.3	1286.6	1256.0	111	1305.2	1163.1	1258.0
	4月	111	1303.1	1213.1	1183.0	111	1263.9	1086.6	1198.0
	5月	111	1306.8	1213.7	1269.0	111	1231.2	1063.0	1285.0
	6月	111	1295.9	1187.6	1202.0	111	1194.1	1045.7	1253.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	111	20.0	44.7	0.0	111	15.1	28.4	0.0
	2月	111	14.1	27.3	0.0	111	14.1	27.4	0.0
	3月	111	14.7	29.3	0.0	111	14.2	28.3	0.0
	4月	111	14.7	29.4	0.0	111	14.1	28.3	0.0
	5月	111	17.8	37.5	0.0	111	17.5	35.3	0.0
	6月	111	15.0	29.2	0.0	111	13.8	27.1	0.0

図表 2-104 入院延べ患者数 (200~399 床)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	132	7461.7	1885.2	7636.5	132	6854.3	1726.0	6984.0
	2月	132	6931.2	1731.8	7236.5	132	6185.1	1608.2	6336.5
	3月	132	7363.4	1832.1	7703.5	132	6846.1	1790.4	7012.0
	4月	132	7076.5	1796.4	7344.5	132	6558.2	1714.6	6599.0
	5月	132	7258.7	1880.5	7771.0	132	6621.7	1732.9	6691.5
	6月	132	7015.8	1820.4	7288.5	132	6313.3	1691.7	6444.5
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	132	4057.8	3097.4	4591.5	132	3591.9	2860.4	3908.5
	2月	132	3816.4	2893.9	4213.0	132	3316.8	2572.7	3537.0
	3月	132	4151.5	2995.8	4643.5	132	3685.0	2869.8	3932.5
	4月	132	3819.1	2989.0	4280.5	132	3473.3	2703.0	3586.5
	5月	132	3995.9	3055.5	4395.0	132	3440.1	2742.2	3793.0
	6月	132	3845.1	2949.2	4179.0	132	3397.9	2621.6	3550.5
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	132	129.1	312.7	65.0	132	88.7	166.1	46.5
	2月	132	83.0	158.4	53.5	132	91.2	221.7	45.5
	3月	132	111.1	224.5	64.0	132	82.5	194.6	46.0
	4月	132	87.4	175.9	45.0	132	105.8	256.5	51.5
	5月	132	107.6	227.2	65.5	132	100.1	234.3	59.0
	6月	132	103.9	218.4	58.0	132	96.7	221.1	50.5

図表 2-105 入院延べ患者数（400床以上）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延 べ 患者数	1月	134	14715.0	4484.9	13948.5	134	13239.0	4195.0	12353.0
	2月	134	14024.7	4338.1	13161.5	134	12243.7	4076.5	11270.0
	3月	134	15187.0	4882.6	13947.5	134	13699.5	4716.7	12525.0
	4月	134	14375.2	4726.5	13308.5	134	13194.3	4302.5	12323.5
	5月	134	14472.1	4643.0	13344.5	134	14246.1	15434.6	12013.0
	6月	134	14435.7	4822.5	13439.0	134	12676.8	4476.8	11548.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	134	9558.2	6599.2	10856.0	134	8858.7	5856.8	9877.0
	2月	134	9163.3	6284.0	10106.0	134	8060.3	5615.7	8542.0
	3月	134	9599.3	6973.1	10596.5	134	8832.3	6406.6	9742.5
	4月	134	9099.5	6636.4	9924.5	134	8616.3	6031.1	9217.0
	5月	134	9222.4	6663.0	10194.0	134	8022.0	6051.2	8660.0
	6月	134	9131.0	6662.9	9978.0	134	7988.2	5904.6	8464.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	134	309.9	670.3	172.5	134	278.1	572.1	148.5
	2月	134	249.2	551.3	132.5	134	224.3	501.5	119.0
	3月	134	274.5	624.5	140.5	134	212.7	525.4	118.5
	4月	134	221.6	458.3	139.5	134	235.6	583.5	126.5
	5月	134	242.0	564.1	153.5	134	212.4	468.1	136.0
	6月	134	217.9	447.1	134.5	134	207.4	443.7	118.0

図表 2-106 入院延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延 べ 患者数	1月	187	11427.2	5493.9	10562.0	187	10226.7	5011.0	9346.0
	2月	187	10817.2	5353.0	9801.0	187	9379.9	4807.3	8402.0
	3月	187	11645.5	5913.1	10265.0	187	10513.4	5438.4	9219.0
	4月	187	11036.3	5630.0	9748.0	187	10067.7	5148.8	8936.0
	5月	187	11170.5	5571.7	9930.0	187	10867.8	13737.8	9020.0
	6月	187	11055.9	5731.3	9736.0	187	9649.3	5151.2	8602.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	187	7078.9	6072.0	6387.0	187	6307.3	5539.6	5517.0
	2月	187	6807.7	5824.0	6153.0	187	5885.7	5167.0	5092.0
	3月	187	7252.0	6312.0	6293.0	187	6480.2	5799.0	5517.0
	4月	187	6750.4	6012.4	5886.0	187	6310.2	5512.9	5238.0
	5月	187	6962.6	6020.6	6390.0	187	5897.4	5387.5	4866.0
	6月	187	6764.6	6024.8	5739.0	187	5836.4	5286.4	4790.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	187	215.2	544.0	100.0	187	168.8	427.7	81.0
	2月	187	166.3	434.3	78.0	187	157.0	412.3	75.0
	3月	187	188.7	488.3	88.0	187	151.9	436.3	71.0
	4月	187	159.1	369.6	82.0	187	170.5	483.2	72.0
	5月	187	186.1	481.4	90.0	187	151.7	374.2	77.0
	6月	187	155.5	349.3	77.0	187	134.6	306.5	67.0

図表 2-107 入院延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都
 道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	131	8014.5	4437.5	7931.0	131	7335.7	4091.2	7164.0
	2月	131	7484.2	4222.6	7423.0	131	6683.7	3825.6	6666.0
	3月	131	7968.4	4598.5	7825.0	131	7289.3	4315.7	6888.0
	4月	131	7586.1	4366.5	7593.0	131	7054.2	4119.5	6816.0
	5月	131	7739.4	4374.6	7902.0	131	7073.6	4126.6	6734.0
	6月	131	7580.4	4428.7	7309.0	131	6833.7	4100.6	6400.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	131	4688.0	4690.2	3481.0	131	4271.5	4262.8	3186.0
	2月	131	4595.3	4454.3	3717.0	131	3953.7	3960.3	2833.0
	3月	131	4758.8	4763.7	3503.0	131	4268.5	4422.0	2706.0
	4月	131	4473.7	4581.5	3148.0	131	4076.0	4245.3	2880.0
	5月	131	4598.4	4619.6	3204.0	131	4080.0	4256.7	2646.0
	6月	131	4623.4	4605.9	3355.0	131	4110.0	4163.8	2855.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	131	128.7	253.3	49.0	131	119.9	258.7	39.0
	2月	131	118.5	257.7	47.0	131	106.9	242.0	42.0
	3月	131	142.7	346.4	39.0	131	101.1	221.2	33.0
	4月	131	107.2	234.9	42.0	131	108.5	245.5	34.0
	5月	131	115.0	233.3	48.0	131	122.5	274.7	37.0
	6月	131	123.4	267.3	51.0	131	134.1	332.8	39.0

図表 2-108 入院延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 その他

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	52	4059.3	3395.9	2781.5	52	3715.5	3007.4	2782.5
	2月	52	3800.2	3264.6	2800.5	52	3509.0	2883.8	2550.5
	3月	52	4117.4	3617.1	2902.0	52	3860.0	3305.8	2656.5
	4月	52	3931.8	3423.0	2641.0	52	3697.7	3117.9	2565.0
	5月	52	3934.5	3378.7	2777.0	52	3710.3	3158.6	2497.5
	6月	52	3855.8	3319.7	2677.5	52	3602.8	3132.5	2477.5
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	52	2400.2	3283.6	1253.5	52	2145.8	2878.0	1149.5
	2月	52	2244.8	3176.5	1065.5	52	2064.0	2746.2	1072.5
	3月	52	2176.1	2742.6	1194.0	52	2267.2	3147.1	1150.0
	4月	52	2349.2	3265.3	1158.0	52	2157.7	2963.1	1106.0
	5月	52	2310.7	3245.8	1154.0	52	2150.5	2943.3	1162.0
	6月	52	2260.9	3169.0	1171.5	52	2096.4	2966.8	1133.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	52	56.5	172.3	0.0	52	53.6	169.0	0.0
	2月	52	66.8	272.7	0.0	52	59.2	231.9	0.0
	3月	52	59.2	238.0	0.0	52	59.6	244.8	0.0
	4月	52	61.9	238.5	0.0	52	67.4	280.9	0.0
	5月	52	60.9	221.1	0.0	52	65.7	262.8	0.0
	6月	52	65.2	266.9	0.0	52	64.9	270.9	0.0

図表 2-109 入院延べ患者数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出あり

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延 べ 患者数	1月	331	9136.7	5656.2	8406.0	331	8296.2	5055.9	7639.0
	2月	331	8646.3	5434.6	7916.0	331	7606.9	4765.4	6963.0
	3月	331	9294.5	5965.7	8377.0	331	8471.0	5420.0	7603.0
	4月	331	8841.3	5661.1	7937.0	331	8119.4	5157.0	7384.0
	5月	331	8944.0	5654.1	8144.0	331	8550.1	10961.8	7315.0
	6月	331	8830.9	5732.6	7879.0	331	7801.3	5074.3	6860.0
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	331	5563.9	5656.9	4154.0	331	5060.3	5133.1	3464.0
	2月	331	5304.1	5401.2	3931.0	331	4620.2	4775.2	3108.0
	3月	331	5580.5	5819.7	4075.0	331	5057.7	5364.7	3261.0
	4月	331	5264.0	5554.8	3739.0	331	4908.8	5125.8	3290.0
	5月	331	5372.1	5603.6	3881.0	331	4643.8	4986.0	3077.0
	6月	331	5274.7	5568.7	3586.0	331	4589.3	4898.0	2928.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	331	174.5	471.2	52.0	331	146.7	388.5	41.0
	2月	331	134.0	374.3	41.0	331	124.5	345.3	42.0
	3月	331	153.6	429.2	39.0	331	118.7	361.3	32.0
	4月	331	126.9	322.6	37.0	331	135.5	405.7	36.0
	5月	331	139.6	390.1	42.0	331	124.2	333.1	30.0
	6月	331	127.9	316.4	39.0	331	120.9	318.9	33.0

図表 2-110 入院延べ患者数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出なし

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
入院延べ 患者数	1月	120	2978.1	2962.1	2089.0	120	2886.8	2854.3	1896.5
	2月	120	2741.4	2700.5	1919.5	120	2640.4	2578.9	1796.0
	3月	120	3003.2	3000.2	2040.0	120	2885.3	2866.0	2004.0
	4月	120	2902.3	2898.2	2000.0	120	2806.0	2815.5	1868.5
	5月	120	2935.3	2970.4	2011.5	120	2839.8	2807.2	1854.0
	6月	120	2850.1	2892.7	1919.5	120	2747.3	2695.6	1796.5
うち一 般病棟 におけ る入院 延べ患 者数	1月	120	1061.6	1958.8	447.0	120	1067.8	1978.4	461.0
	2月	120	985.3	1827.2	446.5	120	996.1	1794.8	504.0
	3月	120	1072.2	1996.9	501.5	120	1055.8	1980.1	443.5
	4月	120	1112.6	2022.2	516.0	120	1003.9	1849.5	447.5
	5月	120	1123.7	2058.7	517.5	120	972.4	1758.5	433.5
	6月	120	1083.9	2008.6	436.0	120	996.0	1824.9	385.0
うち時 間外・休 日・深夜 に入院 した延 べ患者 数	1月	120	11.1	48.8	0.0	120	9.9	44.2	0.0
	2月	120	9.1	41.1	0.0	120	8.8	37.6	0.0
	3月	120	9.6	44.9	0.0	120	7.9	37.9	0.0
	4月	120	10.9	47.9	0.0	120	8.9	43.0	0.0
	5月	120	11.6	50.4	0.0	120	8.8	38.6	0.0
	6月	120	9.8	41.6	0.0	120	8.2	38.7	0.0

⑨(2) 外来延べ患者数

外来延べ患者数は以下のとおりであった。

図表 2-111 外来延べ患者数（全体）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	466	11280.0	10731.5	8072.0	466	9745.3	9369.8	7269.0
	2月	466	10691.2	10334.2	7495.5	466	9355.1	9000.2	6847.5
	3月	466	11675.3	11377.1	8201.5	466	11671.8	11426.3	8799.0
	4月	466	11534.5	11090.9	8273.0	466	10729.7	10318.6	8002.5
	5月	466	11213.5	10679.2	8181.0	466	9642.9	9199.5	7325.5
	6月	466	11390.2	11473.7	7954.5	466	10954.1	10634.5	8219.0
うち初 診の患 者数	1月	466	1203.1	1123.1	1052.0	466	822.8	752.4	689.0
	2月	466	1014.5	911.7	905.5	466	775.6	708.0	674.5
	3月	466	1139.8	1707.5	916.5	466	979.9	894.1	813.5
	4月	466	1066.7	980.6	900.5	466	943.2	860.1	798.0
	5月	466	1105.8	1014.9	928.0	466	876.8	784.2	740.0
	6月	466	1070.3	984.3	893.5	466	954.4	870.6	801.5
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	466	405.1	467.8	228.5	466	355.6	401.3	200.5
	2月	466	413.9	477.2	236.5	466	359.1	407.7	193.5
	3月	466	464.4	543.0	259.0	466	473.9	539.9	264.0
	4月	466	461.6	536.0	241.5	466	444.9	507.5	250.0
	5月	466	443.9	511.7	251.0	466	384.7	509.5	203.0
	6月	466	466.3	541.1	251.5	466	439.1	504.0	231.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	466	404.6	495.9	165.0	466	385.1	470.7	165.5
	2月	466	422.6	523.8	165.0	466	383.6	470.0	161.5
	3月	466	491.6	597.4	186.0	466	531.2	825.9	226.0
	4月	466	450.6	553.7	180.5	466	440.7	534.8	195.5
	5月	466	427.3	518.0	172.0	466	385.6	463.2	180.5
	6月	466	444.7	549.7	179.0	466	437.9	532.4	191.0
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	466	450.8	652.3	217.5	466	203.4	277.0	111.0
	2月	466	272.1	377.1	131.0	466	168.7	240.7	81.0
	3月	466	271.0	371.5	125.0	466	185.7	278.0	87.5
	4月	466	285.0	375.9	134.5	466	194.4	281.6	87.5
	5月	466	351.6	465.3	176.5	466	247.1	341.3	125.5
	6月	466	260.7	358.0	111.5	466	199.5	297.0	95.5

図表 2-112 外来延べ患者数（99床以下）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	89	2548.5	1742.6	2293.0	89	2192.3	1631.2	1882.0
	2月	89	2433.5	1715.0	2126.0	89	2169.7	1631.4	1918.0
	3月	89	2599.8	1850.0	2335.0	89	2550.4	1879.7	2241.0
	4月	89	2581.4	1769.4	2328.0	89	2471.6	1831.3	2220.0
	5月	89	2522.6	1741.4	2279.0	89	2332.6	1737.9	2034.0
	6月	89	2554.8	1818.1	2260.0	89	2556.5	1901.3	2278.0
うち初 診の患 者数	1月	89	364.1	365.5	247.0	89	230.6	255.0	113.0
	2月	89	305.5	310.8	207.0	89	229.7	258.2	114.0
	3月	89	315.6	331.3	198.0	89	264.4	291.1	129.0
	4月	89	304.1	321.6	165.0	89	255.6	277.0	144.0
	5月	89	327.9	340.8	200.0	89	276.3	314.8	165.0
	6月	89	306.5	323.8	191.0	89	294.6	337.7	147.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	89	28.5	50.2	7.0	89	24.5	39.2	7.0
	2月	89	28.8	52.0	6.0	89	25.0	41.3	7.0
	3月	89	30.1	52.6	5.0	89	35.1	64.5	8.0
	4月	89	30.9	55.0	4.0	89	30.3	50.9	6.0
	5月	89	29.9	51.0	8.0	89	26.4	43.4	9.0
	6月	89	30.4	51.1	5.0	89	30.2	49.3	7.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	89	28.6	44.8	12.0	89	26.5	44.0	10.0
	2月	89	29.1	46.8	13.0	89	25.1	39.9	10.0
	3月	89	32.4	53.0	15.0	89	31.8	46.8	13.0
	4月	89	30.7	43.6	15.0	89	28.5	42.7	15.0
	5月	89	28.8	38.6	15.0	89	26.1	41.7	12.0
	6月	89	30.7	45.5	15.0	89	27.9	45.1	13.0
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	89	44.8	81.5	13.0	89	19.6	38.0	6.0
	2月	89	27.3	44.5	9.0	89	16.6	28.5	5.0
	3月	89	24.5	38.2	11.0	89	15.7	29.2	4.0
	4月	89	30.6	47.5	10.0	89	16.8	31.6	6.0
	5月	89	36.6	58.0	15.0	89	27.2	44.2	10.0
	6月	89	23.3	37.1	7.0	89	17.6	29.8	5.0

図表 2-113 外来延べ患者数 (100~199 床)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	110	4613.3	3467.0	4520.5	110	3869.8	2794.0	3760.0
	2月	110	4284.6	3153.8	4167.0	110	3748.2	2732.8	3617.0
	3月	110	4586.0	3408.7	4314.0	110	4540.5	3358.3	4340.0
	4月	110	4628.3	3387.5	4425.0	110	4272.9	3139.8	4090.0
	5月	110	4552.2	3375.2	4203.5	110	3898.3	2853.7	3639.5
	6月	110	4479.6	3330.2	4202.0	110	4358.4	3223.4	4064.5
うち初 診の患 者数	1月	110	667.5	875.8	410.5	110	397.3	399.4	307.5
	2月	110	529.2	613.2	347.5	110	387.5	400.6	292.5
	3月	110	546.9	627.7	396.0	110	474.0	485.6	339.5
	4月	110	536.3	630.2	362.5	110	448.9	466.3	326.5
	5月	110	572.7	693.4	380.5	110	427.7	461.0	302.0
	6月	110	546.1	628.3	374.5	110	476.1	512.0	330.5
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	110	94.0	136.0	29.0	110	94.1	134.1	29.0
	2月	110	96.1	143.5	35.0	110	92.6	129.6	35.5
	3月	110	106.6	161.2	37.0	110	115.0	161.8	46.0
	4月	110	111.6	167.0	38.5	110	111.1	156.4	41.5
	5月	110	107.8	161.9	38.5	110	95.4	133.3	32.5
	6月	110	112.1	168.8	42.0	110	109.4	158.1	35.5
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	110	81.2	116.6	29.5	110	72.7	103.1	29.0
	2月	110	80.3	113.1	29.5	110	74.7	105.6	29.5
	3月	110	94.0	131.8	32.5	110	98.1	135.1	42.0
	4月	110	89.3	131.1	34.0	110	82.7	114.8	28.0
	5月	110	88.3	123.0	37.0	110	74.1	102.3	26.5
	6月	110	89.3	127.7	33.5	110	85.1	117.6	33.5
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	110	203.6	506.4	58.0	110	70.1	100.6	27.5
	2月	110	109.8	253.5	32.0	110	59.6	92.9	19.5
	3月	110	98.2	190.1	34.0	110	60.4	93.3	21.5
	4月	110	97.3	158.3	36.0	110	61.5	97.2	22.0
	5月	110	130.2	220.7	38.0	110	84.4	130.4	33.5
	6月	110	86.1	143.5	30.0	110	64.4	103.7	23.0

図表 2-114 外来延べ患者数 (200~399 床)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	132	9912.9	5351.9	9872.5	132	8703.4	4699.6	8515.0
	2月	132	9349.6	5036.3	9222.5	132	8354.0	4414.6	8314.5
	3月	132	10124.0	5500.2	9991.0	132	10265.3	5359.0	9991.0
	4月	132	10160.0	5379.7	10067.5	132	9553.2	4995.7	9381.5
	5月	132	9999.1	5288.9	9980.0	132	8597.6	4533.6	8427.5
	6月	132	9932.5	5301.1	9701.0	132	9678.3	5182.0	9676.0
うち初 診の患 者数	1月	132	1234.6	754.9	1232.5	132	858.5	526.5	849.0
	2月	132	1015.4	562.9	1002.5	132	772.8	443.7	791.0
	3月	132	1061.3	606.4	1033.0	132	968.6	560.0	976.0
	4月	132	1066.0	616.5	1051.0	132	947.5	537.6	946.5
	5月	132	1105.5	658.0	1089.5	132	881.8	520.8	848.5
	6月	132	1064.0	620.1	1031.0	132	936.5	551.5	936.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	132	396.1	295.5	389.5	132	371.5	277.0	339.5
	2月	132	407.8	299.6	381.0	132	369.2	274.1	338.0
	3月	132	452.9	329.1	426.0	132	477.0	350.8	432.0
	4月	132	457.5	334.6	413.0	132	452.6	336.2	421.0
	5月	132	441.3	320.6	422.0	132	423.9	608.8	333.0
	6月	132	462.8	339.3	427.5	132	442.5	322.0	423.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	132	389.2	316.6	367.0	132	377.5	301.1	377.5
	2月	132	405.9	322.1	367.0	132	370.1	290.0	360.0
	3月	132	477.8	375.0	453.5	132	488.7	374.3	484.0
	4月	132	442.9	345.1	413.5	132	435.2	338.3	428.0
	5月	132	426.6	336.8	395.0	132	379.2	292.8	361.5
	6月	132	436.9	345.0	405.5	132	428.5	330.5	416.5
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	132	539.9	504.8	394.0	132	241.5	204.7	212.0
	2月	132	330.4	300.4	254.0	132	190.6	163.5	165.5
	3月	132	320.1	284.5	255.0	132	213.8	192.5	181.5
	4月	132	331.0	293.6	276.5	132	226.3	205.4	180.5
	5月	132	407.6	357.5	317.0	132	284.2	254.8	246.5
	6月	132	307.2	280.0	246.5	132	229.2	211.1	182.0

図表 2-115 外来延べ患者数 (400 床以上)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	133	24035.3	10504.9	21662.0	133	20727.8	9418.4	19147.0
	2月	133	22887.8	10409.1	21186.0	133	19821.7	9229.1	18694.0
	3月	133	25197.1	11369.5	23212.0	133	25110.8	11687.1	23173.0
	4月	133	24645.0	11109.8	22522.0	133	22793.0	10514.4	21438.0
	5月	133	23783.3	10643.1	21543.0	133	20361.5	9379.0	19173.0
	6月	133	24509.7	12475.0	22167.0	133	23338.3	10955.9	21788.0
うち初 診の患 者数	1月	133	2178.8	1209.9	1848.0	133	1537.5	796.8	1428.0
	2月	133	1893.5	957.1	1707.0	133	1467.2	761.8	1358.0
	3月	133	2265.5	2725.6	1880.0	133	1892.0	922.1	1756.0
	4月	133	2021.0	1029.0	1792.0	133	1809.8	895.8	1646.0
	5月	133	2071.8	1062.1	1860.0	133	1647.9	798.9	1569.0
	6月	133	2026.2	1040.4	1763.0	133	1813.2	916.8	1608.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	133	926.2	464.2	878.0	133	779.7	401.7	711.0
	2月	133	943.4	475.0	880.0	133	795.3	410.3	719.0
	3月	133	1065.8	554.0	991.0	133	1064.8	537.5	943.0
	4月	133	1045.8	549.8	981.0	133	993.4	508.7	872.0
	5月	133	1004.7	517.8	944.0	133	827.4	415.0	738.0
	6月	133	1057.0	552.2	982.0	133	984.8	513.7	880.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	133	941.7	527.8	887.0	133	891.4	501.5	838.0
	2月	133	988.3	569.3	901.0	133	892.9	504.1	826.0
	3月	133	1145.0	627.6	1052.0	133	1267.6	1168.8	1101.0
	4月	133	1039.1	605.0	964.0	133	1019.1	566.0	950.0
	5月	133	976.9	556.0	879.0	133	890.3	483.1	847.0
	6月	133	1024.6	606.8	912.0	133	1014.3	567.9	967.0
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	133	838.6	836.3	593.0	133	399.7	374.4	299.0
	2月	133	513.2	479.6	389.0	133	339.7	336.9	257.0
	3月	133	531.3	486.1	418.0	133	376.4	395.6	282.0
	4月	133	567.5	481.9	446.0	133	392.6	388.9	306.0
	5月	133	691.4	602.2	573.0	133	493.2	460.0	367.0
	6月	133	519.1	470.0	419.0	133	404.5	418.2	296.0

図表 2-116 外来延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均(人)	標準偏差	中央値	調査数	平均(人)	標準偏差	中央値
外来延べ患者数	1月	186	18273.3	16011.5	16011.5	186	15733.9	9674.2	13934.0
	2月	186	17264.1	14977.5	14977.5	186	15043.9	9351.0	13195.5
	3月	186	18975.0	16455.5	16455.5	186	18999.5	11949.5	16541.5
	4月	186	18681.5	16032.5	16032.5	186	17301.5	10695.4	15270.5
	5月	186	18164.3	15698.0	15698.0	186	15431.4	9559.9	13644.5
	6月	186	18237.0	15950.5	15950.5	186	17661.6	11139.6	15261.5
うち初診の患者数	1月	186	1869.5	1216.1	1617.5	186	1290.6	795.7	1162.5
	2月	186	1584.6	955.3	1377.5	186	1212.4	755.0	1088.0
	3月	186	1852.9	2395.8	1458.0	186	1556.8	926.0	1412.5
	4月	186	1681.7	1037.5	1494.0	186	1501.5	887.6	1350.0
	5月	186	1736.4	1079.1	1517.0	186	1364.9	812.4	1248.5
	6月	186	1681.8	1043.2	1504.0	186	1493.8	910.0	1392.5
うち紹介状により紹介された患者数	1月	186	703.9	483.7	611.0	186	613.7	411.3	544.0
	2月	186	715.0	492.5	636.0	186	620.6	416.5	559.5
	3月	186	804.6	565.6	691.0	186	830.5	557.2	732.0
	4月	186	795.2	554.8	686.5	186	777.9	524.6	694.0
	5月	186	765.9	525.4	655.0	186	677.0	610.6	582.5
	6月	186	804.5	558.8	683.5	186	764.1	518.3	677.5
うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	1月	186	707.1	532.4	645.5	186	679.6	509.7	604.0
	2月	186	743.7	571.6	657.5	186	677.6	512.6	603.5
	3月	186	863.5	643.6	748.5	186	963.4	1074.7	787.5
	4月	186	784.1	603.2	661.5	186	781.2	583.6	695.5
	5月	186	736.4	552.2	640.0	186	679.4	494.8	596.5
	6月	186	770.0	598.0	689.5	186	772.9	578.3	671.5
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	1月	186	747.5	761.9	512.5	186	340.8	326.5	257.0
	2月	186	451.6	431.2	324.0	186	282.3	292.7	202.0
	3月	186	454.8	426.5	329.0	186	316.8	345.8	234.0
	4月	186	475.4	426.7	377.5	186	327.7	338.6	230.5
	5月	186	590.3	534.4	450.5	186	415.7	401.1	302.0
	6月	186	430.9	404.5	324.0	186	340.1	365.1	234.0

図表 2-117 外来延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都
 道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	129	12929.7	8057.5	11734.0	129	11069.7	6690.4	9981.0
	2月	129	12299.7	7710.8	11145.0	129	10535.1	6473.9	9368.0
	3月	129	13253.4	8443.2	11507.0	129	13100.6	7946.2	11870.0
	4月	129	13104.7	8194.5	11576.0	129	12181.2	7328.1	10529.0
	5月	129	12792.4	7869.7	11280.0	129	11023.4	6614.5	9525.0
	6月	129	12860.2	8124.3	11544.0	129	12433.7	7553.0	10997.0
うち初 診の患 者数	1月	129	1544.0	1142.7	1338.0	129	995.1	667.1	906.0
	2月	129	1253.2	834.4	1103.0	129	928.0	624.7	798.0
	3月	129	1310.5	892.1	1157.0	129	1147.7	759.5	1037.0
	4月	129	1294.3	898.3	1169.0	129	1107.3	728.9	1022.0
	5月	129	1366.9	959.8	1244.0	129	1056.7	689.9	938.0
	6月	129	1308.7	893.0	1165.0	129	1134.6	728.4	1011.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	129	456.5	415.3	390.0	129	400.9	354.7	345.0
	2月	129	468.2	422.2	394.0	129	402.9	365.5	344.0
	3月	129	523.2	477.7	444.0	129	521.8	467.5	459.0
	4月	129	520.9	467.5	423.0	129	487.5	429.5	423.0
	5月	129	500.3	443.0	447.0	129	415.9	371.2	354.0
	6月	129	532.0	471.0	461.0	129	487.1	432.6	419.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	129	468.1	456.1	370.0	129	423.2	387.8	342.0
	2月	129	480.0	474.2	368.0	129	420.9	387.9	359.0
	3月	129	558.6	541.4	441.0	129	558.3	497.4	436.0
	4月	129	525.3	499.7	439.0	129	478.2	427.3	405.0
	5月	129	495.8	467.2	403.0	129	432.1	392.3	339.0
	6月	129	522.5	503.3	405.0	129	487.3	445.5	407.0
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	129	647.0	764.1	452.0	129	263.3	259.0	216.0
	2月	129	387.2	422.0	269.0	129	217.0	220.9	161.0
	3月	129	377.0	393.6	260.0	129	239.0	246.6	181.0
	4月	129	379.4	375.3	297.0	129	252.6	257.4	176.0
	5月	129	472.7	455.0	364.0	129	321.8	315.8	259.0
	6月	129	352.4	368.5	262.0	129	260.1	271.1	197.0

図表 2-118 外来延べ患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 その他

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	52	5641.8	7250.6	3164.0	52	4807.2	6332.7	2990.5
	2月	52	5448.1	7124.7	3037.0	52	4736.7	6144.4	2959.5
	3月	52	5870.5	7817.9	3274.0	52	5741.0	7690.9	3599.5
	4月	52	5798.4	7483.6	3280.5	52	5415.4	7088.6	3367.0
	5月	52	5545.0	7093.1	3202.5	52	4901.8	6406.2	2867.0
	6月	52	6735.7	13968.9	3235.5	52	5493.1	7265.3	3371.5
うち初 診の患 者数	1月	52	628.1	816.7	285.5	52	436.7	595.1	221.0
	2月	52	533.3	687.9	252.5	52	437.9	580.0	233.5
	3月	52	561.0	754.8	258.5	52	529.1	709.6	295.0
	4月	52	550.1	732.6	295.0	52	514.6	710.9	256.5
	5月	52	555.9	743.9	269.5	52	475.4	633.5	236.0
	6月	52	554.6	739.5	290.5	52	508.9	712.9	240.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	52	156.2	350.1	16.5	52	146.2	321.8	17.5
	2月	52	161.0	373.0	11.0	52	153.8	340.0	22.0
	3月	52	186.3	415.8	14.5	52	185.2	404.9	21.5
	4月	52	177.1	403.7	16.0	52	179.1	397.3	22.0
	5月	52	175.7	392.7	16.5	52	154.7	343.8	21.0
	6月	52	184.9	415.5	16.0	52	177.5	394.5	21.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	52	133.9	298.7	20.5	52	135.9	309.7	21.5
	2月	52	139.8	312.8	20.5	52	136.8	311.7	18.0
	3月	52	163.6	358.4	22.0	52	176.2	388.9	29.0
	4月	52	152.7	337.4	23.5	52	151.6	335.1	21.5
	5月	52	146.4	323.6	27.5	52	141.1	321.1	22.5
	6月	52	145.2	319.8	21.5	52	154.3	348.2	27.5
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	52	201.3	496.4	47.5	52	93.8	189.5	33.5
	2月	52	119.2	276.0	33.5	52	78.3	160.5	24.5
	3月	52	117.9	281.0	21.5	52	83.8	178.9	23.5
	4月	52	122.6	276.3	36.0	52	91.6	203.9	22.0
	5月	52	150.4	336.3	46.5	52	105.1	222.0	35.0
	6月	52	120.1	288.0	20.5	52	91.7	205.7	29.0

図表 2-119 外来延べ患者数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出あり

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	330	14676.4	10752.2	12072.5	330	12607.8	9421.1	10055.5
	2月	330	13913.5	10410.8	11409.0	330	12096.8	9066.3	9677.0
	3月	330	15214.7	11475.1	12298.0	330	15151.0	11551.3	11922.0
	4月	330	14975.6	11172.4	12446.0	330	13892.6	10388.4	10831.0
	5月	330	14547.6	10717.8	12040.5	330	12449.7	9253.9	9927.5
	6月	330	14799.1	11744.5	12115.5	330	14186.2	10750.7	11363.0
うち初 診の患 者数	1月	330	1547.6	1123.8	1365.5	330	1051.7	731.5	954.5
	2月	330	1305.9	895.3	1146.5	330	994.8	697.2	902.0
	3月	330	1475.5	1907.1	1206.5	330	1260.6	876.3	1134.5
	4月	330	1375.6	968.1	1207.5	330	1215.7	839.6	1132.5
	5月	330	1421.5	1005.2	1255.5	330	1117.2	764.5	1016.0
	6月	330	1381.0	973.8	1197.0	330	1220.8	856.5	1098.0
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	330	541.8	477.6	432.5	330	473.0	405.5	396.0
	2月	330	553.6	486.4	445.0	330	477.7	413.2	394.0
	3月	330	620.3	556.1	496.5	330	631.7	548.4	517.0
	4月	330	616.6	548.1	512.5	330	594.2	515.4	505.0
	5月	330	592.7	522.4	489.5	330	513.7	541.7	422.0
	6月	330	623.4	553.3	504.0	330	585.8	512.7	498.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	330	545.2	512.5	424.0	330	516.4	487.6	421.0
	2月	330	571.6	543.7	469.0	330	514.6	487.4	412.0
	3月	330	661.3	616.5	541.0	330	715.1	906.5	565.5
	4月	330	604.3	574.8	514.0	330	591.8	552.9	487.5
	5月	330	571.8	535.1	486.5	330	517.0	476.9	426.0
	6月	330	596.1	571.3	471.0	330	587.9	550.8	469.5
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	330	598.5	700.0	375.5	330	267.4	293.6	193.0
	2月	330	359.8	398.5	238.5	330	222.4	258.7	162.5
	3月	330	359.1	392.4	246.5	330	245.9	301.1	175.5
	4月	330	377.3	393.6	272.5	330	257.5	302.6	175.5
	5月	330	464.3	487.4	325.5	330	325.9	362.9	244.0
	6月	330	346.1	379.0	239.5	330	264.8	321.7	179.0

図表 2-120 外来延べ患者数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出なし

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
外来延べ 患者数	1月	120	2201.9	2459.1	1590.5	120	1885.9	2292.1	1308.0
	2月	120	2082.8	2371.7	1424.0	120	1836.4	2179.4	1211.5
	3月	120	2231.7	2570.1	1511.0	120	2164.1	2489.5	1426.0
	4月	120	2229.5	2498.3	1582.0	120	2076.9	2401.7	1368.0
	5月	120	2171.3	2474.3	1483.5	120	1928.9	2201.6	1288.5
	6月	120	2167.6	2450.6	1469.5	120	2126.3	2417.2	1431.0
うち初 診の患 者数	1月	120	260.0	352.8	143.0	120	179.5	314.1	75.5
	2月	120	214.8	308.8	98.5	120	166.4	262.8	64.5
	3月	120	226.1	332.1	103.0	120	205.2	350.6	90.0
	4月	120	218.6	324.4	103.0	120	191.6	330.9	90.0
	5月	120	236.4	342.4	110.0	120	207.6	349.7	83.5
	6月	120	218.9	318.2	100.5	120	217.2	364.3	82.5
うち紹 介状に より紹 介され た患者 数	1月	120	28.3	87.7	1.0	120	25.7	89.7	1.0
	2月	120	28.4	97.1	1.0	120	25.7	90.9	1.0
	3月	120	31.8	108.9	1.0	120	34.3	127.7	1.5
	4月	120	33.2	116.4	0.5	120	31.5	116.6	1.0
	5月	120	31.6	106.8	1.0	120	26.0	93.5	1.0
	6月	120	31.7	111.1	1.0	120	31.0	114.6	1.0
うち紹 介状に より他 の病院 又は診 療所に 紹介し た患者 数	1月	120	26.7	80.7	1.5	120	24.9	75.9	2.0
	2月	120	28.5	91.7	1.0	120	24.4	75.1	1.5
	3月	120	35.9	129.3	2.5	120	31.1	86.4	3.0
	4月	120	29.7	91.8	2.5	120	27.1	74.3	2.0
	5月	120	30.3	94.3	1.5	120	23.6	62.3	3.0
	6月	120	28.8	85.2	1.5	120	27.4	81.1	2.5
うち時 間外・ 休日・ 深夜加 算の算 定件数	1月	120	48.9	134.5	1.5	120	28.2	95.9	0.0
	2月	120	30.7	87.4	0.0	120	20.8	62.9	0.0
	3月	120	29.9	95.5	0.0	120	22.3	76.0	0.0
	4月	120	32.4	98.8	1.0	120	24.3	83.9	0.0
	5月	120	43.4	143.9	1.0	120	34.8	118.2	0.5
	6月	120	28.0	90.7	0.0	120	24.2	82.3	0.5

⑨(3) 救急搬送件数

救急搬送件数は以下のとおりであった。

図表 2-121 救急搬送件数（全体）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	437	242.8	286.8	179.0	437	189.1	210.1	150.0
	2月	437	189.1	217.2	140.0	437	164.2	184.1	122.0
	3月	437	198.4	230.2	153.0	437	185.4	205.1	141.0
	4月	437	196.9	228.8	154.0	437	180.5	201.9	144.0
	5月	437	203.9	244.7	156.0	437	182.7	209.4	150.0
	6月	437	193.7	227.2	139.0	437	182.2	203.6	147.0

図表 2-122 救急搬送件数（99床以下）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	77	25.1	45.8	8.0	77	19.2	33.2	8.0
	2月	77	19.3	30.7	7.0	77	16.7	26.4	7.0
	3月	77	19.2	30.4	7.0	77	17.3	26.8	7.0
	4月	77	21.8	34.8	8.0	77	17.5	29.7	5.0
	5月	77	21.7	37.3	7.0	77	19.1	32.3	6.0
	6月	77	17.4	26.4	7.0	77	18.4	30.6	6.0

図表 2-123 救急搬送件数（100～199床）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	97	69.7	91.4	40.0	97	56.5	71.3	29.0
	2月	97	55.3	71.0	34.0	97	50.6	66.3	26.0
	3月	97	57.8	74.0	34.0	97	56.3	72.8	28.0
	4月	97	54.0	68.6	32.0	97	51.8	69.0	27.0
	5月	97	54.8	70.5	29.0	97	53.6	69.7	27.0
	6月	97	54.2	69.3	32.0	97	52.6	67.6	27.0

図表 2-124 救急搬送件数（200～399 床）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	129	264.1	178.5	239.0	129	210.1	138.8	189.0
	2月	129	204.2	137.3	192.0	129	181.1	117.3	162.0
	3月	129	215.3	146.7	205.0	129	204.1	136.3	185.0
	4月	129	217.7	149.1	207.0	129	199.2	130.1	182.0
	5月	129	223.0	153.9	204.0	129	201.7	129.8	188.0
	6月	129	212.9	147.0	205.0	129	203.1	129.4	193.0

図表 2-125 救急搬送件数（400 床以上）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	132	474.7	357.6	377.5	132	364.5	247.1	319.0
	2月	132	370.4	263.4	298.0	132	316.8	220.9	266.5
	3月	132	389.0	280.9	315.5	132	359.4	238.0	304.0
	4月	132	383.0	280.2	312.0	132	350.6	237.5	291.0
	5月	132	400.4	308.1	314.0	132	353.1	257.1	288.0
	6月	132	379.9	278.6	310.5	132	352.3	242.9	294.0

図表 2-126 救急搬送件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	184	388.6	336.2	325.0	184	299.8	237.0	247.0
	2月	184	302.3	251.0	246.0	184	260.5	209.4	217.5
	3月	184	318.4	267.4	264.0	184	295.2	228.9	251.0
	4月	184	316.8	268.3	261.0	184	287.5	226.2	234.5
	5月	184	329.3	291.9	272.0	184	289.4	241.4	245.0
	6月	184	310.6	265.9	262.5	184	288.3	229.5	245.0

図表 2-127 救急搬送件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
協力医療機関（新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	129	295.4	238.7	255.0	129	224.1	174.2	210.0
	2月	129	229.4	183.6	196.0	129	192.5	150.5	168.0
	3月	129	237.9	189.5	220.0	129	218.0	172.4	196.0
	4月	129	233.9	186.0	217.0	129	216.7	173.4	194.0
	5月	129	240.7	194.5	214.0	129	217.5	173.6	191.0
	6月	129	232.3	189.5	210.0	129	217.7	172.2	198.0

図表 2-128 救急搬送件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
その他

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	46	103.6	161.3	27.0	46	80.2	120.9	21.0
	2月	46	79.7	125.4	24.5	46	68.5	106.2	16.5
	3月	46	82.5	132.7	21.5	46	77.2	116.0	20.0
	4月	46	78.8	116.7	22.0	46	77.3	120.9	17.0
	5月	46	81.1	121.4	23.0	46	79.0	121.6	18.5
	6月	46	75.3	120.7	18.5	46	80.4	128.1	19.5

図表 2-129 救急搬送件数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出あり

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	324	305.6	299.1	251.0	324	236.8	214.5	209.5
	2月	324	238.1	224.8	198.5	324	206.0	189.1	175.5
	3月	324	249.4	238.4	217.5	324	232.4	209.4	200.5
	4月	324	247.6	237.7	216.5	324	226.9	207.6	193.0
	5月	324	256.8	255.8	222.5	324	229.2	216.3	192.5
	6月	324	244.4	236.0	210.0	324	229.1	208.7	198.0

図表 2-130 救急搬送件数
 (医師事務作業補助体制加算の有無別)
 届出なし

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	96	30.2	82.1	3.5	96	22.8	60.1	3.0
	2月	96	22.9	61.6	4.0	96	18.8	46.7	1.5
	3月	96	25.0	73.9	5.0	96	22.6	63.1	2.0
	4月	96	24.8	65.1	3.5	96	22.2	61.8	3.0
	5月	96	27.0	76.1	4.0	96	22.2	62.1	2.0
	6月	96	22.8	69.5	2.0	96	22.3	62.3	2.5

図表 2-131 救急搬送件数
 (総合入院体制加算の届出有無別)
 総合入院体制加算1を届出ている

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	10	894.6	716.8	502.5	10	658.7	428.2	451.0
	2月	10	691.9	502.4	383.5	10	560.1	374.0	369.0
	3月	10	710.7	522.9	418.0	10	637.5	405.9	427.5
	4月	10	713.6	528.3	444.5	10	621.8	393.2	411.0
	5月	10	758.5	609.5	426.0	10	657.9	474.2	435.5
	6月	10	703.9	523.6	433.0	10	626.5	414.4	425.0

図表 2-132 救急搬送件数
 (総合入院体制加算の届出有無別)
 総合入院体制加算 2 を届出ている

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	51	568.5	318.8	489.0	51	430.2	228.4	367.0
	2月	51	442.2	242.9	374.0	51	378.0	215.9	326.0
	3月	51	472.7	270.7	412.0	51	431.0	219.4	372.0
	4月	51	462.3	270.4	377.0	51	425.7	219.2	362.0
	5月	51	476.7	295.5	405.0	51	418.1	235.0	366.0
	6月	51	458.6	269.0	391.0	51	426.5	223.1	374.0

図表 2-133 救急搬送件数
 (総合入院体制加算の届出有無別)
 総合入院体制加算 3 を届出ている

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	36	370.6	158.8	341.5	36	289.3	133.0	268.5
	2月	36	281.5	112.1	266.5	36	254.3	105.3	246.0
	3月	36	291.0	105.7	280.5	36	285.8	115.6	274.5
	4月	36	295.7	114.2	280.0	36	276.6	109.8	263.0
	5月	36	306.7	121.5	289.5	36	280.2	106.9	276.5
	6月	36	291.7	110.3	279.0	36	278.4	105.6	273.0

図表 2-134 救急搬送件数
 (総合入院体制加算の届出有無別)
 総合入院体制加算を届出していない

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
救急搬送 件数	1月	335	161.2	190.1	98.0	335	128.7	147.9	79.0
	2月	335	126.4	146.0	74.0	335	111.2	127.6	67.0
	3月	335	132.3	154.0	71.0	335	124.7	144.6	72.0
	4月	335	131.6	152.2	72.0	335	120.7	142.0	67.0
	5月	335	135.5	159.6	78.0	335	123.3	144.7	75.0
	6月	335	128.5	151.0	74.0	335	122.6	143.1	70.0

⑨(4) 分娩件数

分娩件数は以下のとおりであった。

図表 2-135 分娩件数（全体）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	411	17.5	27.2	0.0	411	14.3	23.0	0.0
	2月	411	15.5	24.4	0.0	411	13.7	22.9	0.0
	3月	411	16.8	26.3	0.0	411	15.8	26.2	0.0
	4月	411	17.4	27.8	0.0	411	16.9	27.0	0.0
	5月	411	18.4	29.5	0.0	411	16.3	26.3	0.0
	6月	411	21.6	93.1	0.0	411	16.4	26.7	0.0

図表 2-136 分娩件数（99床以下）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	66	6.1	26.4	0.0	66	7.0	31.3	0.0
	2月	66	5.9	25.6	0.0	66	6.3	28.1	0.0
	3月	66	6.3	28.2	0.0	66	6.8	30.9	0.0
	4月	66	7.1	30.4	0.0	66	6.2	27.6	0.0
	5月	66	6.9	29.5	0.0	66	6.0	27.0	0.0
	6月	66	6.3	28.2	0.0	66	7.2	32.4	0.0

図表 2-137 分娩件数（100～199床）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	85	1.2	5.8	0.0	85	0.7	2.9	0.0
	2月	85	0.9	3.8	0.0	85	0.7	2.8	0.0
	3月	85	0.7	4.2	0.0	85	0.6	2.7	0.0
	4月	85	0.6	3.4	0.0	85	0.7	2.8	0.0
	5月	85	0.7	3.7	0.0	85	0.8	3.3	0.0
	6月	85	0.6	3.2	0.0	85	0.7	3.1	0.0

図表 2-138 分娩件数 (200~399 床)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	124	13.0	17.3	1.5	124	10.9	13.7	1.0
	2月	124	12.2	16.3	2.0	124	10.0	13.3	0.0
	3月	124	13.2	17.3	3.0	124	11.5	14.8	0.0
	4月	124	13.2	17.3	4.0	124	13.3	18.0	0.0
	5月	124	14.2	19.6	4.0	124	12.0	15.6	0.0
	6月	124	13.3	18.3	2.5	124	12.6	16.4	0.0

図表 2-139 分娩件数 (400 床以上)

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	134	37.4	30.9	33.5	134	29.5	23.7	26.5
	2月	134	32.6	27.6	27.0	134	28.7	25.5	24.0
	3月	134	35.5	29.1	33.0	134	34.0	29.8	29.0
	4月	134	37.0	31.6	32.5	134	35.5	30.8	30.5
	5月	134	39.0	34.1	35.5	134	34.8	30.7	31.0
	6月	134	50.1	156.9	34.0	134	34.1	29.6	27.5

図表 2-140 分娩件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
重点医療機関 (新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関) として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	183	27.6	29.0	24.0	183	22.1	22.8	18.0
	2月	183	24.0	25.8	19.0	183	21.5	24.3	17.0
	3月	183	26.3	28.0	22.0	183	25.0	28.0	21.0
	4月	183	27.2	30.1	24.0	183	26.8	29.2	23.0
	5月	183	29.1	32.7	22.0	183	26.0	29.1	22.0
	6月	183	27.0	29.3	21.0	183	25.8	27.9	21.0

図表 2-141 分娩件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都
 道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	122	16.9	21.0	8.5	122	13.2	16.4	6.5
	2月	122	14.7	17.5	8.0	122	12.6	16.4	6.0
	3月	122	16.3	19.7	6.0	122	13.5	17.0	7.0
	4月	122	16.3	19.6	6.5	122	15.0	18.5	6.5
	5月	122	17.3	21.6	7.0	122	14.3	18.0	7.0
	6月	122	30.9	164.3	5.5	122	14.5	18.3	6.5

図表 2-142 分娩件数

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 その他

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
分娩件数	1月	43	4.6	12.6	0.0	43	3.6	9.7	0.0
	2月	43	4.1	11.3	0.0	43	4.4	12.3	0.0
	3月	43	4.5	12.4	0.0	43	4.5	12.4	0.0
	4月	43	4.3	11.7	0.0	43	5.1	14.8	0.0
	5月	43	4.9	13.6	0.0	43	4.7	13.8	0.0
	6月	43	4.9	13.4	0.0	43	5.1	14.8	0.0

⑨(5)全身麻酔による手術件数

全身麻酔による手術件数は以下のとおりであった。

図表 2-143 全身麻酔による手術件数（全体）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	428	107.5	123.6	67.0	428	101.9	116.5	63.5
	2月	428	108.8	126.2	72.0	428	99.3	112.8	63.5
	3月	428	114.4	136.1	71.5	428	122.4	141.3	78.0
	4月	428	112.5	131.9	69.0	428	112.1	128.6	76.5
	5月	428	102.6	118.8	63.0	428	96.5	110.2	59.5
	6月	428	111.4	128.0	69.0	428	109.7	127.7	67.0

図表 2-144 全身麻酔による手術件数（99床以下）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	73	13.1	29.3	0.0	73	13.9	28.8	0.0
	2月	73	13.7	29.3	1.0	73	13.8	30.2	0.0
	3月	73	14.5	32.4	0.0	73	15.0	32.9	0.0
	4月	73	13.8	28.8	0.0	73	13.8	30.7	0.0
	5月	73	13.5	28.9	0.0	73	12.9	29.4	0.0
	6月	73	13.3	29.3	0.0	73	13.3	26.8	0.0

図表 2-145 全身麻酔による手術件数（100～199床）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	91	24.6	30.1	14.0	91	22.7	28.3	13.0
	2月	91	23.3	29.7	11.0	91	23.4	28.8	13.0
	3月	91	23.6	30.7	13.0	91	26.9	34.5	13.0
	4月	91	24.1	31.0	12.0	91	24.7	32.0	11.0
	5月	91	22.5	28.5	13.0	91	21.2	26.1	10.0
	6月	91	23.9	29.7	11.0	91	23.1	28.6	12.0

図表 2-146 全身麻酔による手術件数（200～399床）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	128	81.7	58.1	76.0	128	79.3	59.6	74.5
	2月	128	82.3	57.6	79.0	128	78.5	59.8	68.0
	3月	128	84.5	61.5	78.0	128	95.3	69.3	90.0
	4月	128	85.5	62.2	77.5	128	87.8	64.7	80.0
	5月	128	79.3	58.3	71.5	128	75.4	55.2	68.0
	6月	128	84.4	61.3	77.5	128	84.3	59.7	76.5

図表 2-147 全身麻酔による手術件数（400床以上）

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	134	240.3	129.2	214.0	134	225.8	120.8	211.0
	2月	134	244.9	132.2	222.0	134	218.1	116.8	202.5
	3月	134	260.0	145.6	235.0	134	272.5	148.2	249.5
	4月	134	252.8	140.4	231.0	134	248.7	133.7	228.5
	5月	134	228.5	125.4	205.5	134	214.1	113.8	186.0
	6月	134	250.7	130.7	224.0	134	245.9	135.5	214.0

図表 2-148 全身麻酔による手術件数

（新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	185	173.8	134.6	145.0	185	164.3	123.8	139.0
	2月	185	176.9	138.6	148.0	185	160.1	120.0	136.0
	3月	185	187.6	151.2	155.0	185	199.2	150.7	158.0
	4月	185	182.6	145.4	151.0	185	181.2	137.3	151.0
	5月	185	166.3	130.8	137.0	185	155.7	116.2	134.0
	6月	185	182.1	138.4	151.0	185	178.6	136.2	147.0

図表 2-149 全身麻酔による手術件数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 協力医療機関(新型コロナウイルス疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都
 道府県から指定されたことがある

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	128	107.6	102.1	81.5	128	101.3	96.9	79.5
	2月	128	109.5	103.9	85.0	128	99.2	93.4	79.0
	3月	128	112.5	111.5	81.5	128	120.4	115.4	104.0
	4月	128	110.9	108.2	87.5	128	111.6	105.8	91.0
	5月	128	101.5	100.1	77.5	128	96.6	91.9	77.0
	6月	128	112.4	107.0	88.5	128	107.6	105.0	86.5

図表 2-150 全身麻酔による手術件数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)
 その他

		令和元年				令和3年			
		調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値	調査数	平均 (件)	標準 偏差	中央値
全身麻酔 による 手術件数	1月	44	45.4	88.4	8.0	44	44.9	88.1	8.5
	2月	44	46.0	90.3	8.5	44	45.4	85.6	8.5
	3月	44	48.5	97.5	9.0	44	52.9	107.9	11.0
	4月	44	48.9	98.2	10.0	44	49.3	98.5	8.5
	5月	44	43.8	82.8	9.0	44	44.5	90.5	8.5
	6月	44	46.7	90.6	10.5	44	49.3	101.6	11.0

【令和元年1月から6月、令和3年1月から6月の入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、全身麻酔による手術件数の平均】

図表 2-151 入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、全身麻酔による手術件数の令和元年1月から6月、令和3年1月から6月の平均

	調査数	1月から6月の平均		指数
		令和元年	令和3年	R3/R1年
入院延べ患者数	n=469	43821.2	40176.6	91.7
うち一般病棟における入院延べ患者数	n=469	25210.2	22747.2	90.2
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	n=469	643.1	583.9	90.8
外来延べ患者数	n=466	67784.7	62098.9	91.6
うち初診の患者数	n=466	6600.1	5352.6	81.1
うち紹介状により紹介された患者数	n=466	2655.1	2457.2	92.5
うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	n=466	2641.3	2564.0	97.1
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	n=466	1891.1	1198.8	63.4
救急搬送件数	n=437	1224.9	1084.1	88.5
分娩件数	n=411	107.2	93.3	87.0
全身麻酔による手術件数	n=428	657.2	641.9	97.7

図表 2-152 入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、
全身麻酔による手術件数の令和元年1月から6月、令和3年1月から6月の平均
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別) 重点医療機関

	調査数	1月から6月の平均		指数
		令和元年	令和3年	R3/R1年
入院延べ患者数	n=187	67152.5	60704.6	0.90
うち一般病棟における入院延べ患者数	n=187	41616.2	36717.1	0.88
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	n=187	1070.8	934.6	0.87
外来延べ患者数	n=186	109595.1	100171.8	0.91
うち初診の患者数	n=186	10406.9	8419.8	0.81
うち紹介状により紹介された患者数	n=186	4589.0	4283.7	0.93
うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	n=186	4604.8	4554.1	0.99
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	n=186	3150.5	2023.3	0.64
救急搬送件数	n=184	1966.0	1720.6	0.88
分娩件数	n=183	161.3	147.3	0.91
全身麻酔による手術件数	n=185	1069.3	1039.1	0.97

図表 2-153 入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、
全身麻酔による手術件数の令和元年1月から6月、令和3年1月から6月の平均
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別) 協力医療機関

	調査数	1月から6月の平均		指数
		令和元年	令和3年	R3/R1年
入院延べ患者数	n=131	46373.0	42270.3	0.91
うち一般病棟における入院延べ患者数	n=131	27737.5	24759.7	0.89
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	n=131	735.4	693.0	0.94
外来延べ患者数	n=129	77240.1	70343.6	0.91
うち初診の患者数	n=129	8077.5	6369.3	0.79
うち紹介状により紹介された患者数	n=129	3001.1	2716.1	0.91
うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	n=129	3050.2	2799.9	0.92
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	n=129	2615.7	1553.7	0.59
救急搬送件数	n=129	1469.5	1286.5	0.88
分娩件数	n=122	112.2	83.1	0.74
全身麻酔による手術件数	n=128	654.4	636.6	0.97

図表 2-154 入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、分娩件数、
全身麻酔による手術件数の令和元年1月から6月、令和3年1月から6月の平均
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別) その他

	調査数	1月から6月の平均		指数
		令和元年	令和3年	R3/R1年
入院延べ患者数	n=52	23698.9	22095.4	0.93
うち一般病棟における入院延べ患者数	n=52	13741.9	12881.6	0.94
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	n=52	370.4	370.4	1.00
外来延べ患者数	n=52	35039.6	31095.1	0.89
うち初診の患者数	n=52	3383.0	2902.6	0.86
うち紹介状により紹介された患者数	n=52	1041.0	996.3	0.96
うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	n=52	881.6	896.0	1.02
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	n=52	831.4	544.2	0.65
救急搬送件数	n=46	501.1	462.5	0.92
分娩件数	n=43	27.3	27.4	1.00
全身麻酔による手術件数	n=44	279.2	286.3	1.03

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的取扱い

① 令和2年1月以降の受診者や体制の動向等

令和2年1月から令和3年6月までの受診者や体制の動向等について、「新型コロナウイルス感染疑い^{※1}の外来患者受入の有無」「新型コロナウイルス感染患者の入院患者^{※2}の受入の有無」「新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無^{※3}」を尋ねた。

注1：「新型コロナウイルス感染疑い」とは、新型コロナウイルス感染症の検査の対象となった患者を指す（結果的に新型コロナウイルス感染症と診断されなかった患者も含む）。

注2：「新型コロナウイルス感染患者の入院患者」には、新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

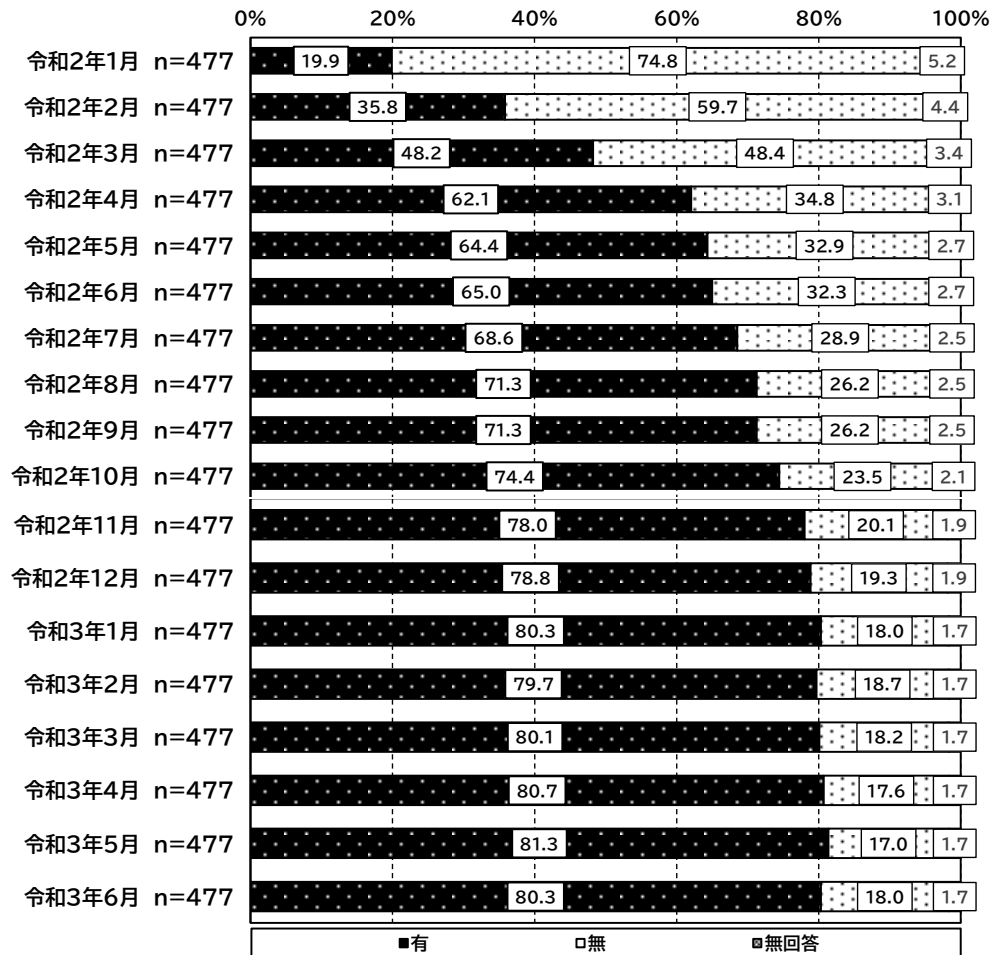
注3：「新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無」では、1) 医療機関において患者が原疾患とは別に新たに患した感染症、2) 医療従事者等が医療機関内において感染した感染症のいずれかがあった場合に、有りとする。

【a. 新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無】

「新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無」についてみると令和2年1月時点では「有」が19.9%、「無」が74.8%であった。

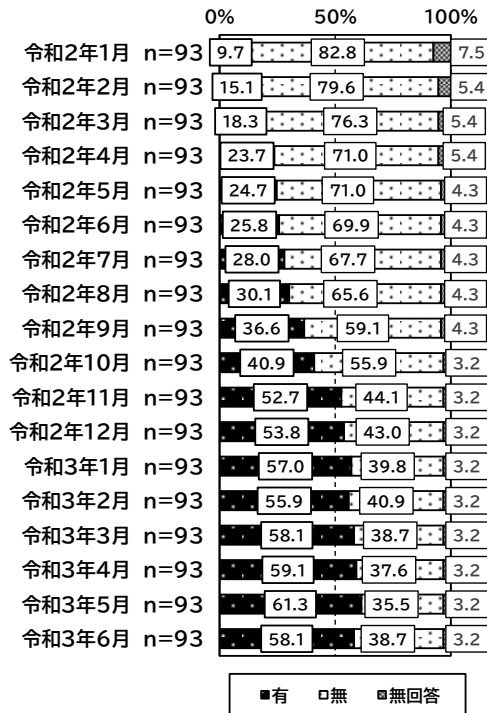
一方、令和3年6月は「有」が80.3%、「無」が18.0%であった。

図表 2-155 a. 新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

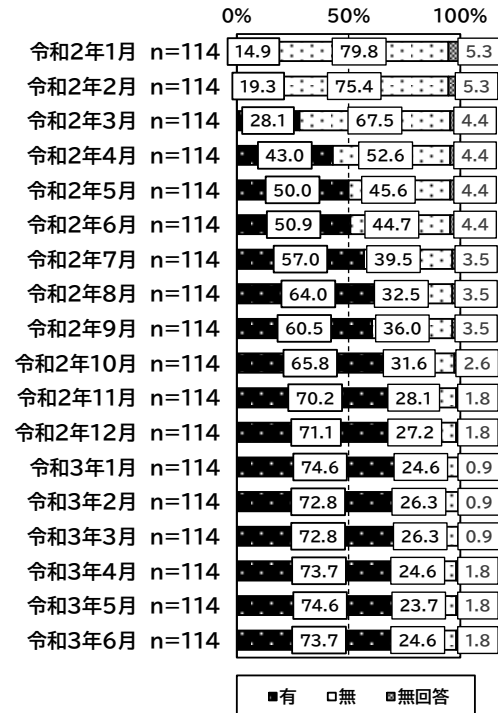


図表 2-156 a. 新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無
(病床規模別)

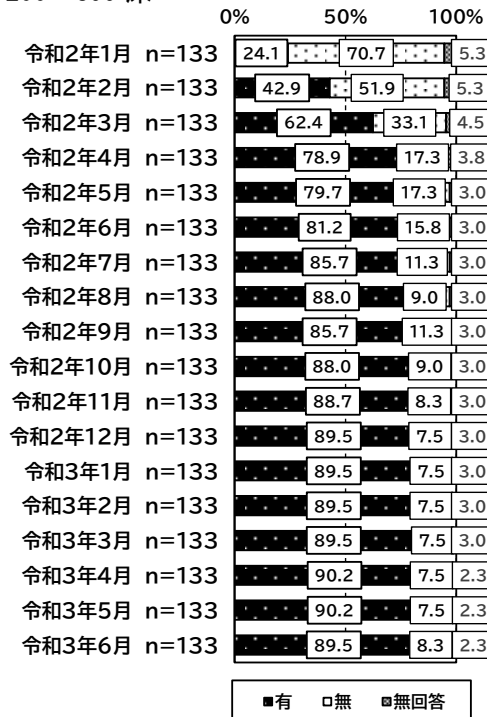
99 床以下



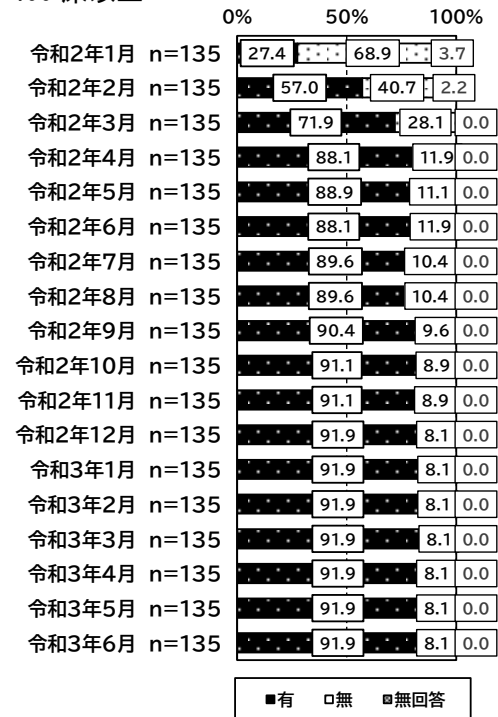
100~199 床



200~399 床



400 床以上

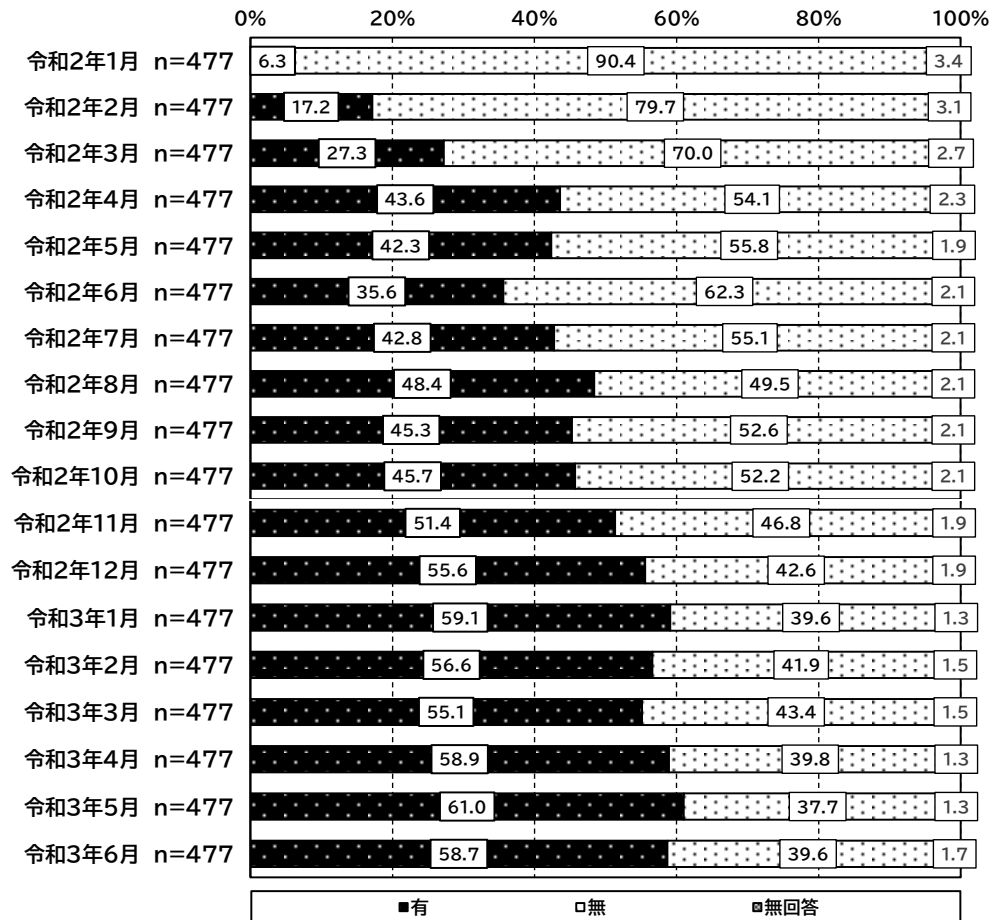


【b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無】

「新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無」についてみると令和2年1月時点では「有」が6.3%、「無」が90.4%であった。

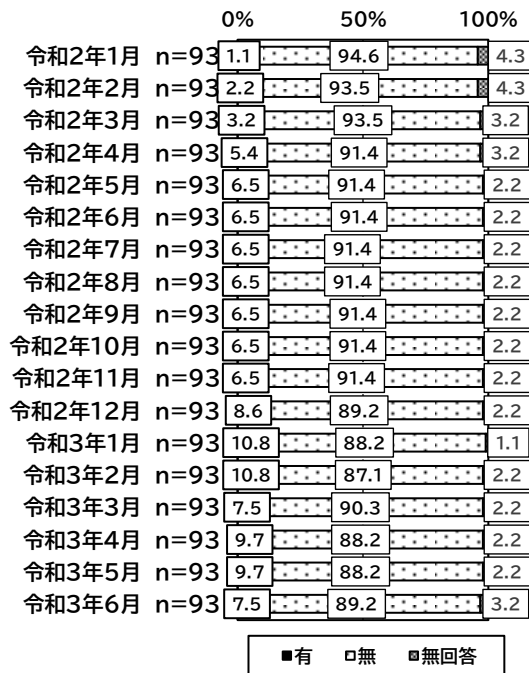
一方、令和3年6月は「有」が58.7%、「無」が39.6%であった。

図表 2-157 b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

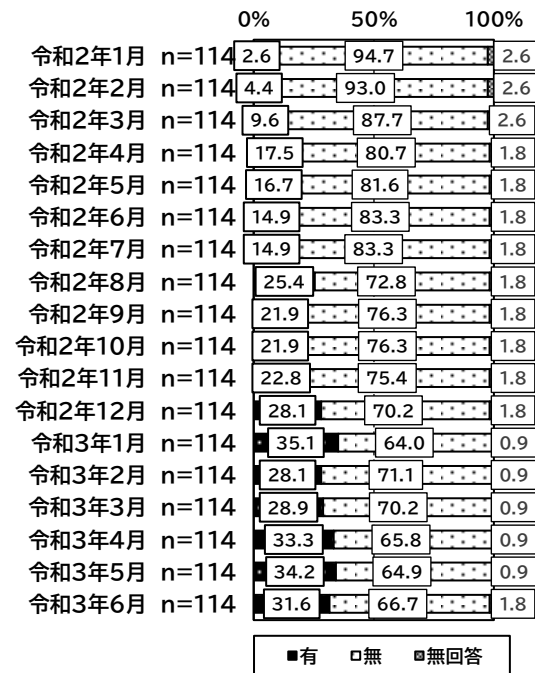


図表 2-158 b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無
(病床規模別)

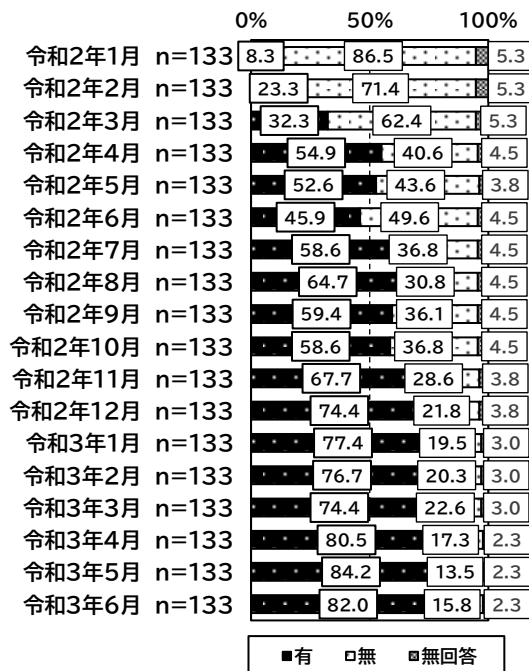
99床以下



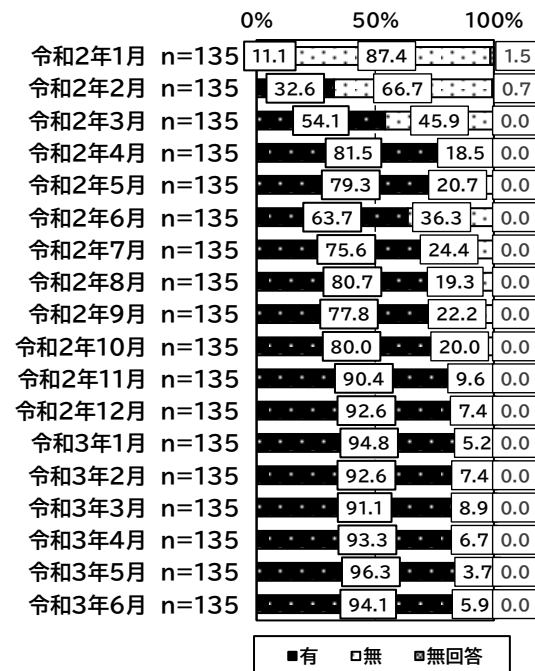
100~199床



200~399床



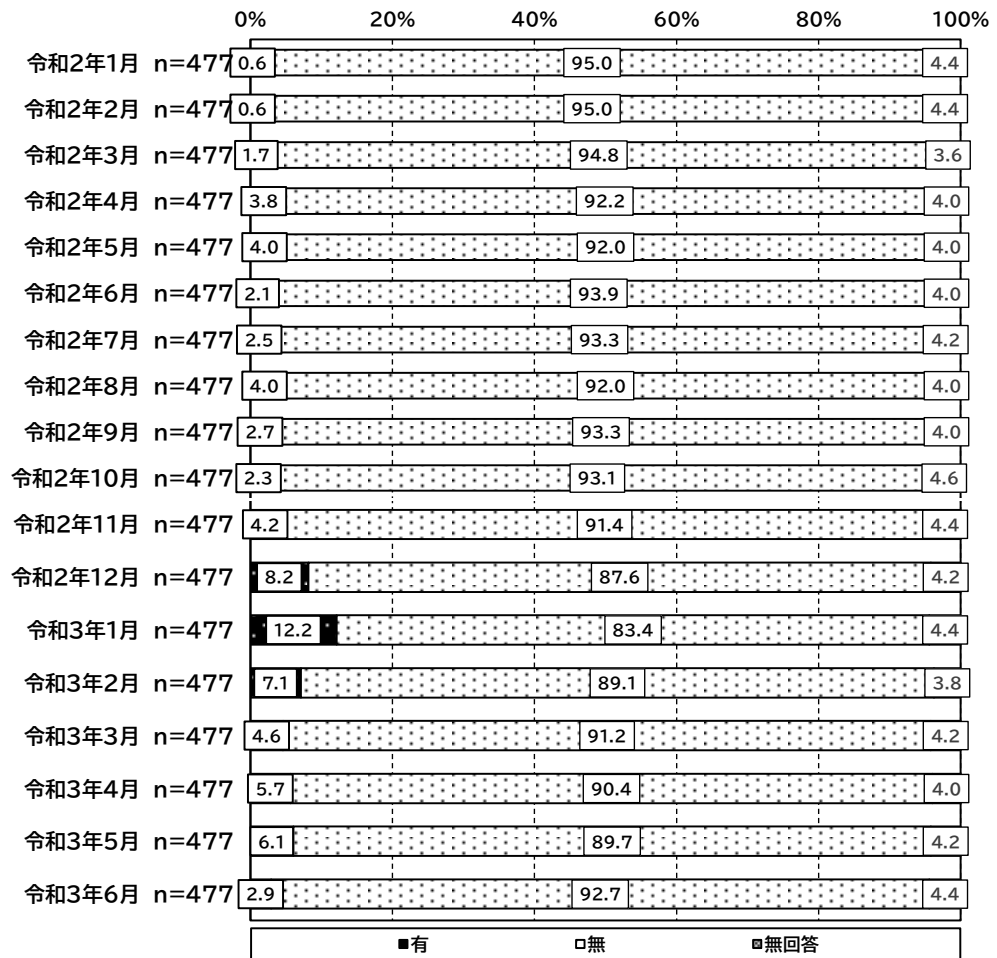
400床以上



【c. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無】

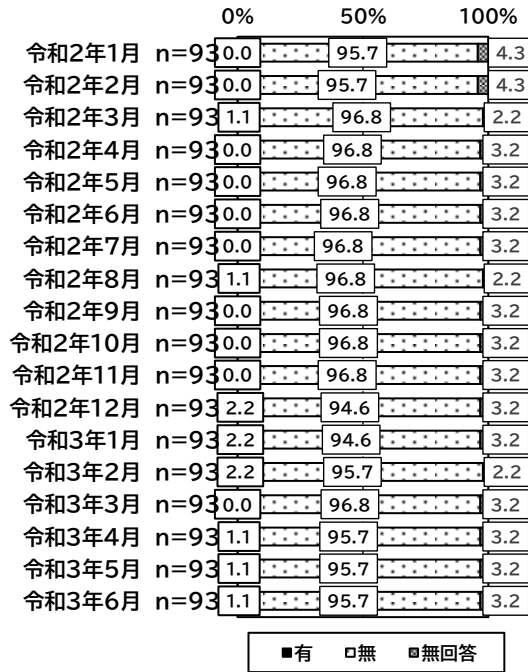
「新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無」についてみると「有」が最も高かったのは令和3年1月で12.2%であった。

図表 2-159 c. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

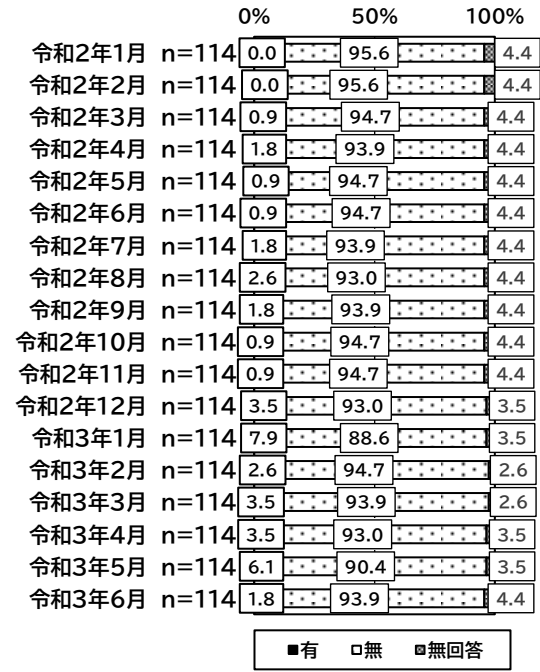


図表 2-160 c. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無
(病床規模別)

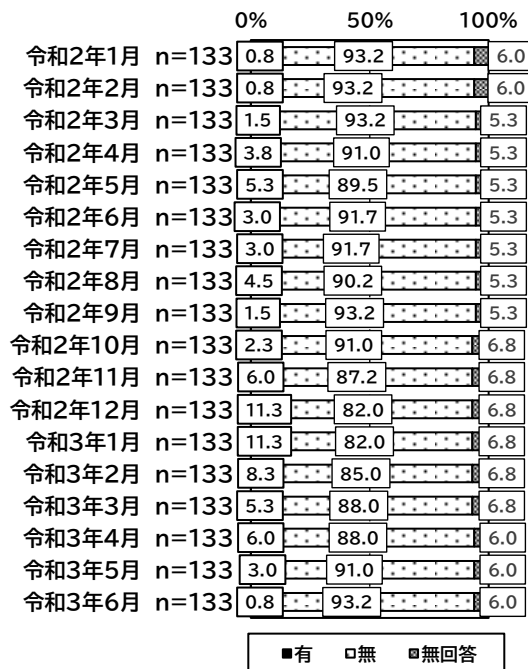
99床以下



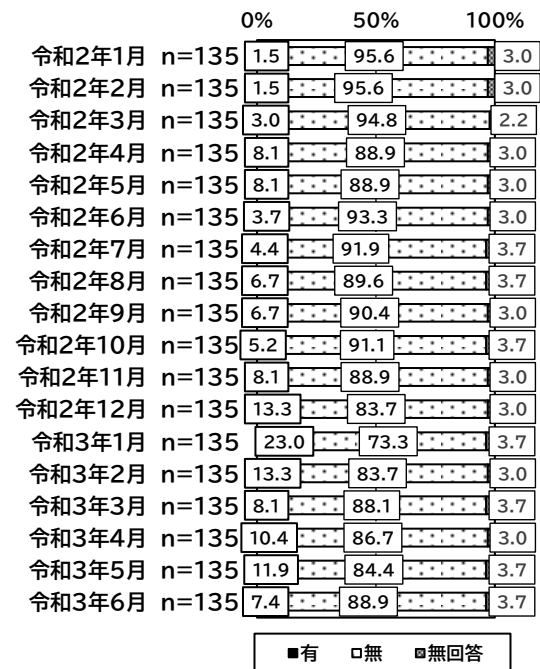
100~199床



200~399床



400床以上



② 令和2年1月以降の「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」の対象となる保管医療機関等の該当状況

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱いの該当状況について、「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無^{注1}」・「アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無」・「学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無」・「新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無」・「新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリアージ実施料」を算定する保険医療機関の該当有無^{注2}」の5つの項目で確認した。

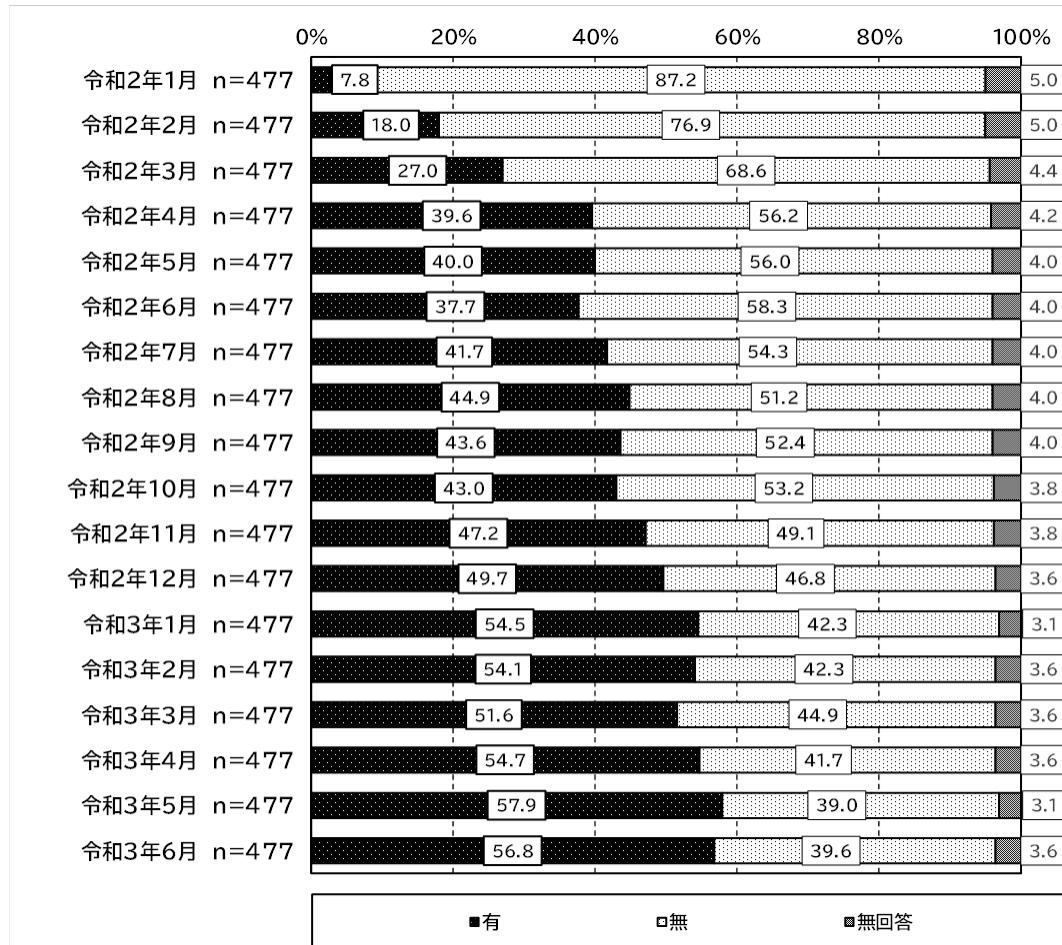
注1：新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院が必要な患者を受け入れた保険医療機関を含む。

注2：「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その9）」（令和2年4月8日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）1で示されたもの。

【ア：新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無】

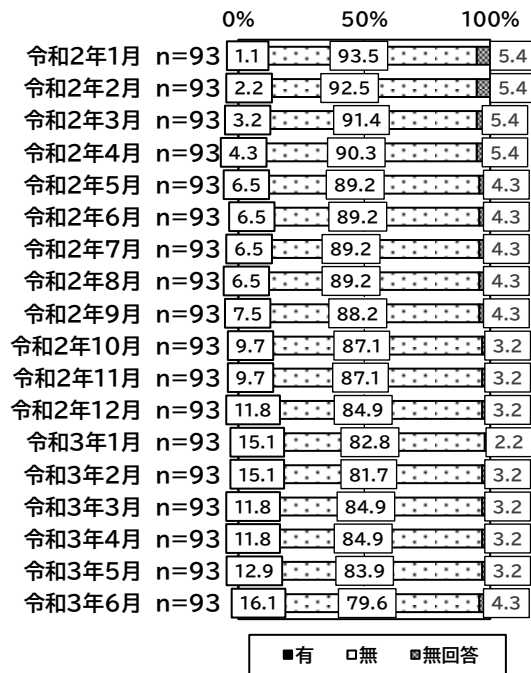
新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の状況についてみると、「有」は令和3年5月（57.9%）が最も多かった。

図表 2-161 ア：新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

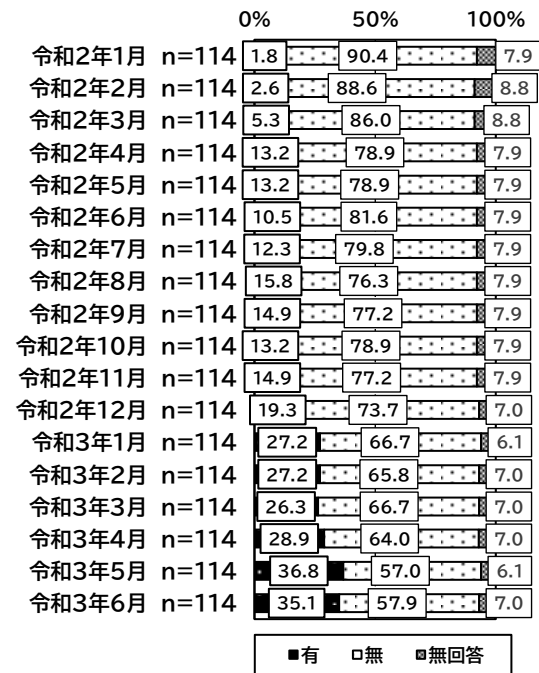


図表 2-162 ア：新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた
保険医療機関等の該当有無（病床規模別）

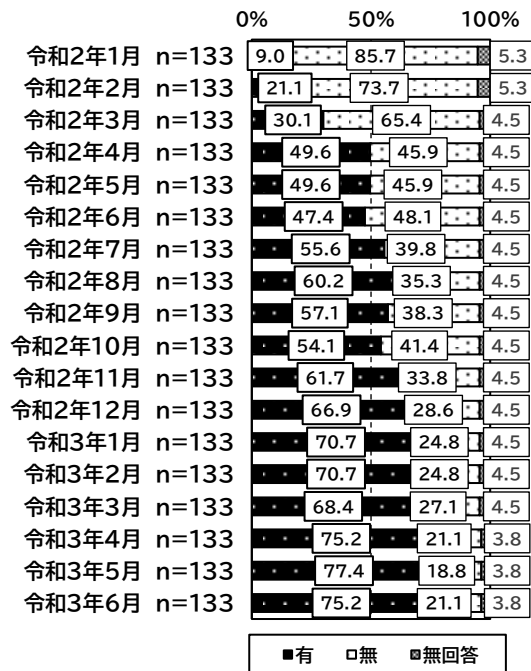
99床以下



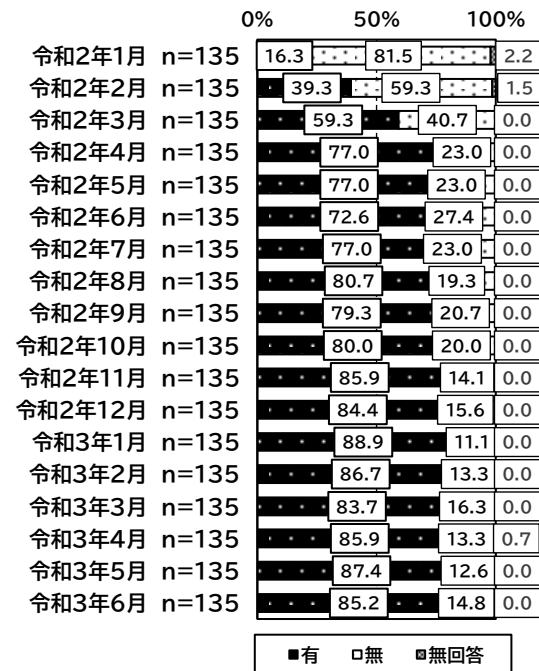
100~199床



200~399床



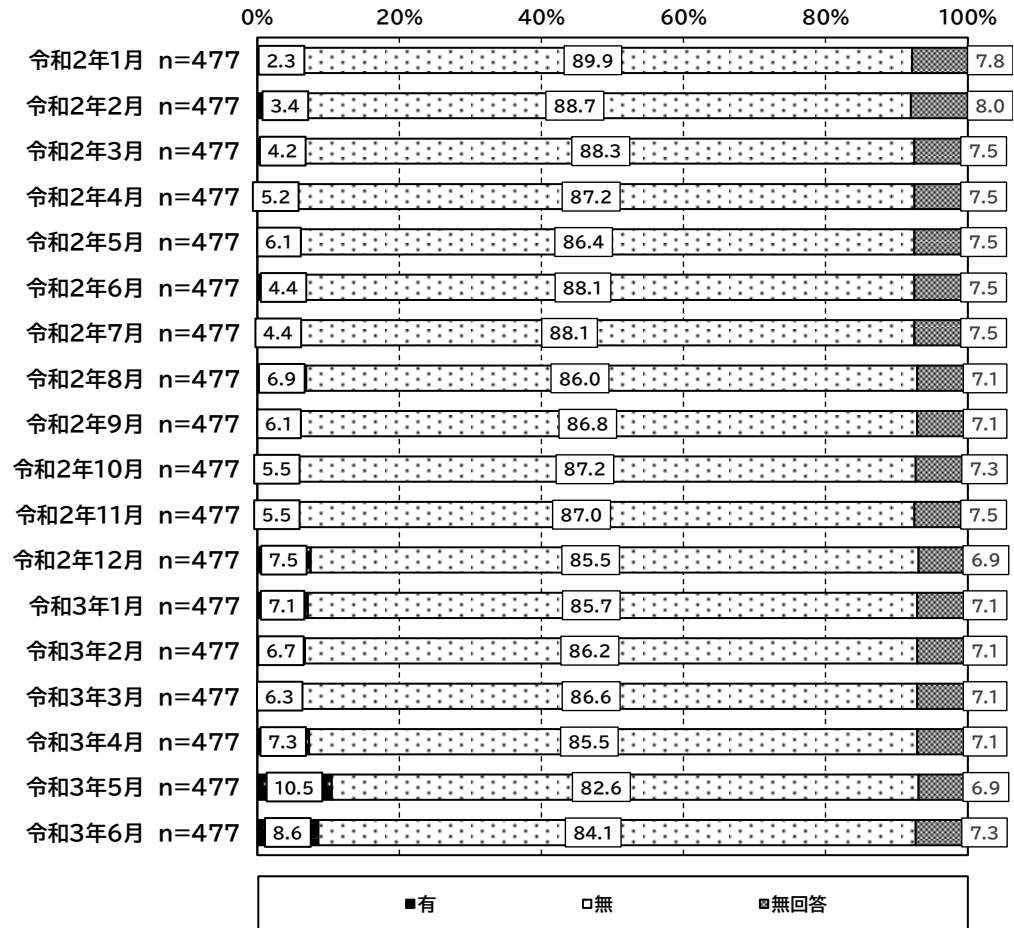
400床以上



【イ：アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無】

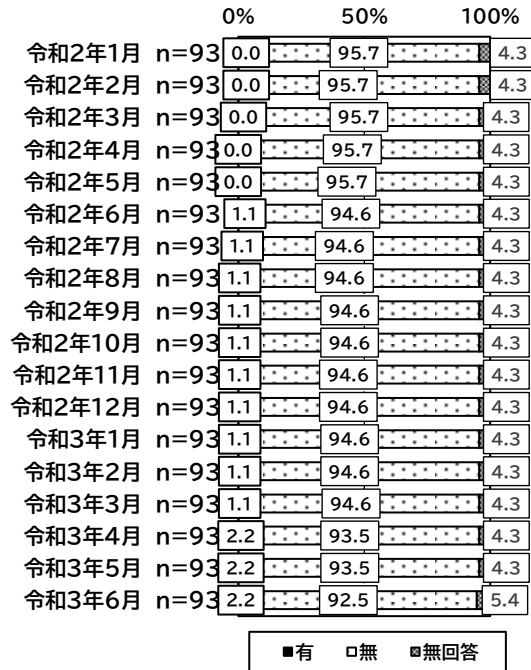
アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当状況についてみると、「有」は令和3年5月（10.5%）が最も多かった。

図表 2-163 イ：アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

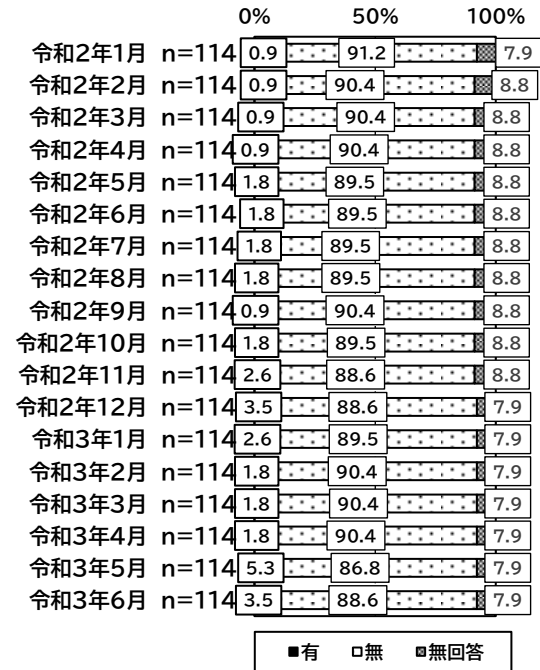


図表 2-164 イ：アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の
該当有無（病床規模別）

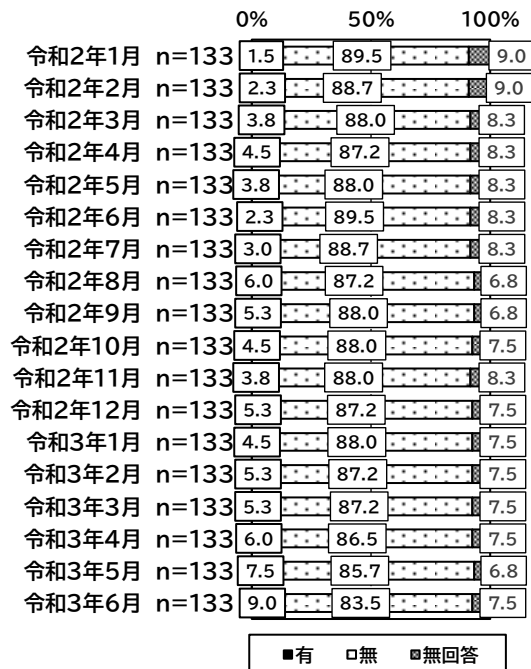
99床以下



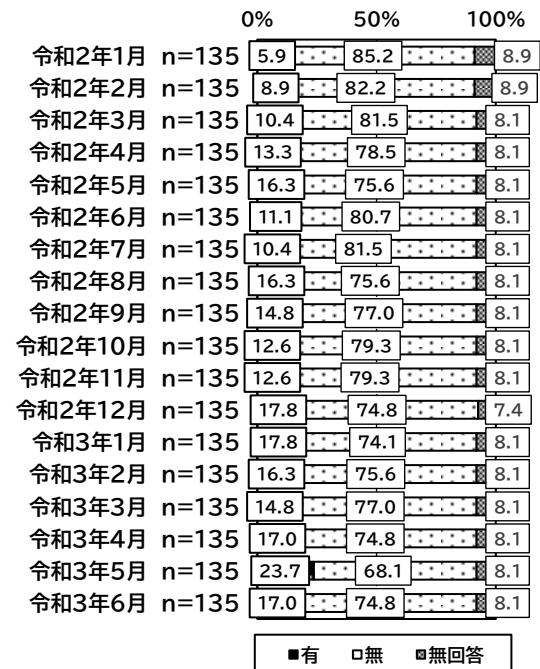
100~199床



200~399床



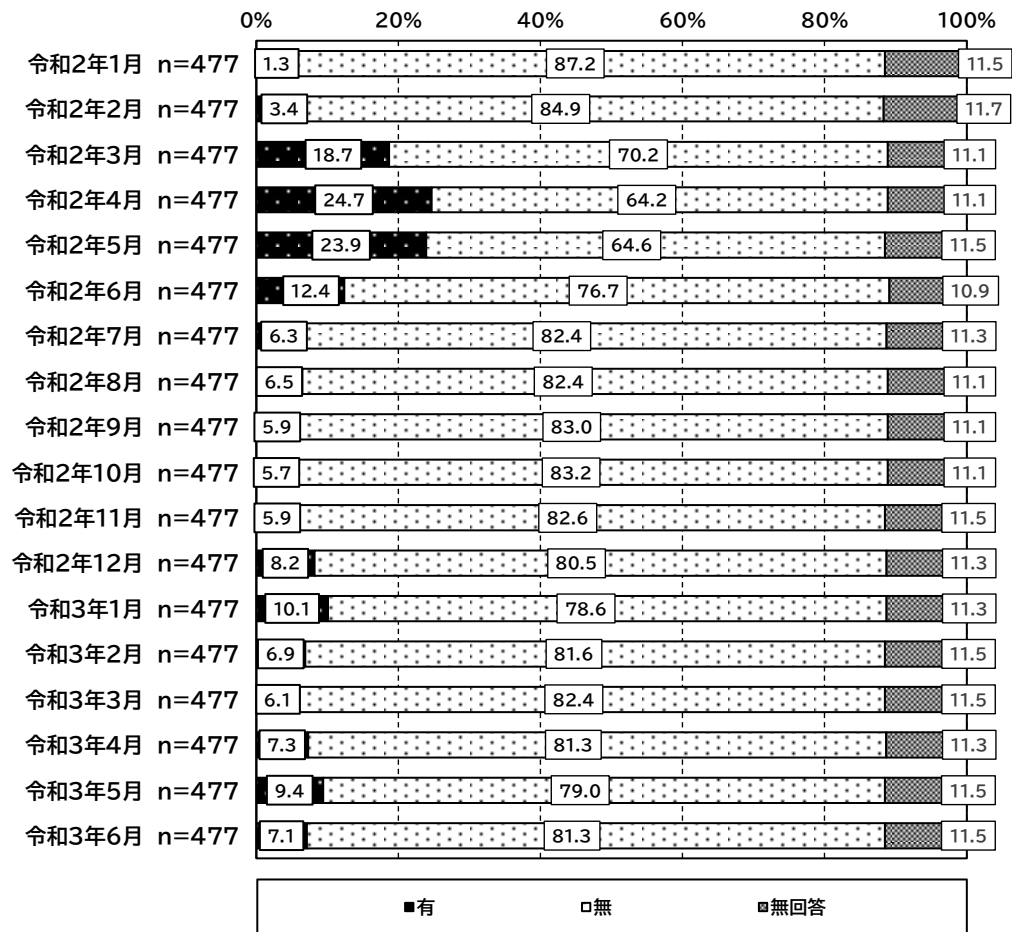
400床以上



【ウ：学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無】

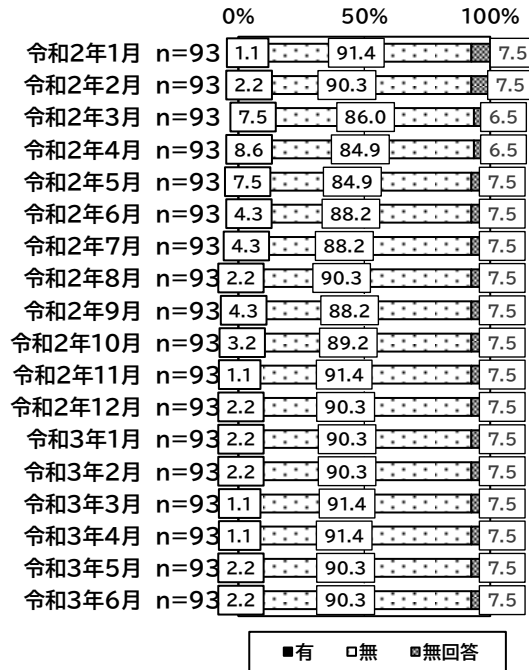
ウ：学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当状況についてみると、「有」は令和2年4月（24.7%）が最も多かった。

図表 2-165 ウ：学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

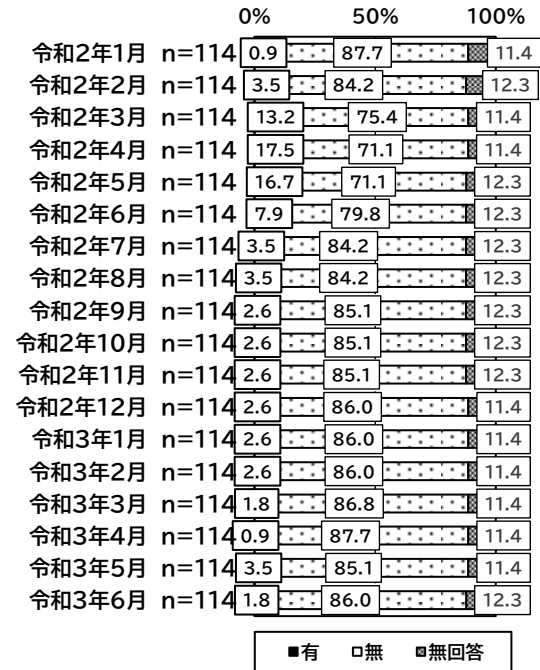


図表 2-166 ウ：学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった
保険医療機関等の該当有無

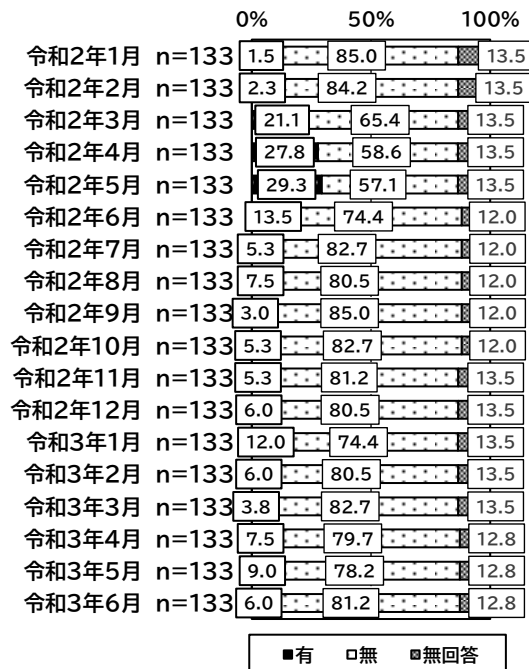
99床以下



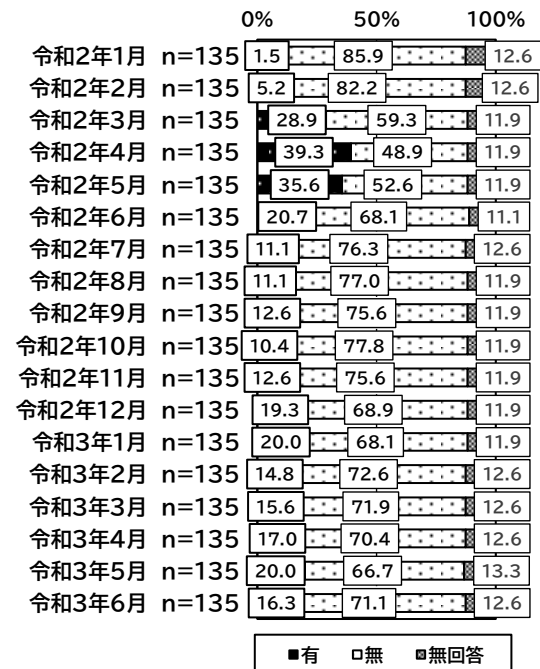
100~199床



200~399床



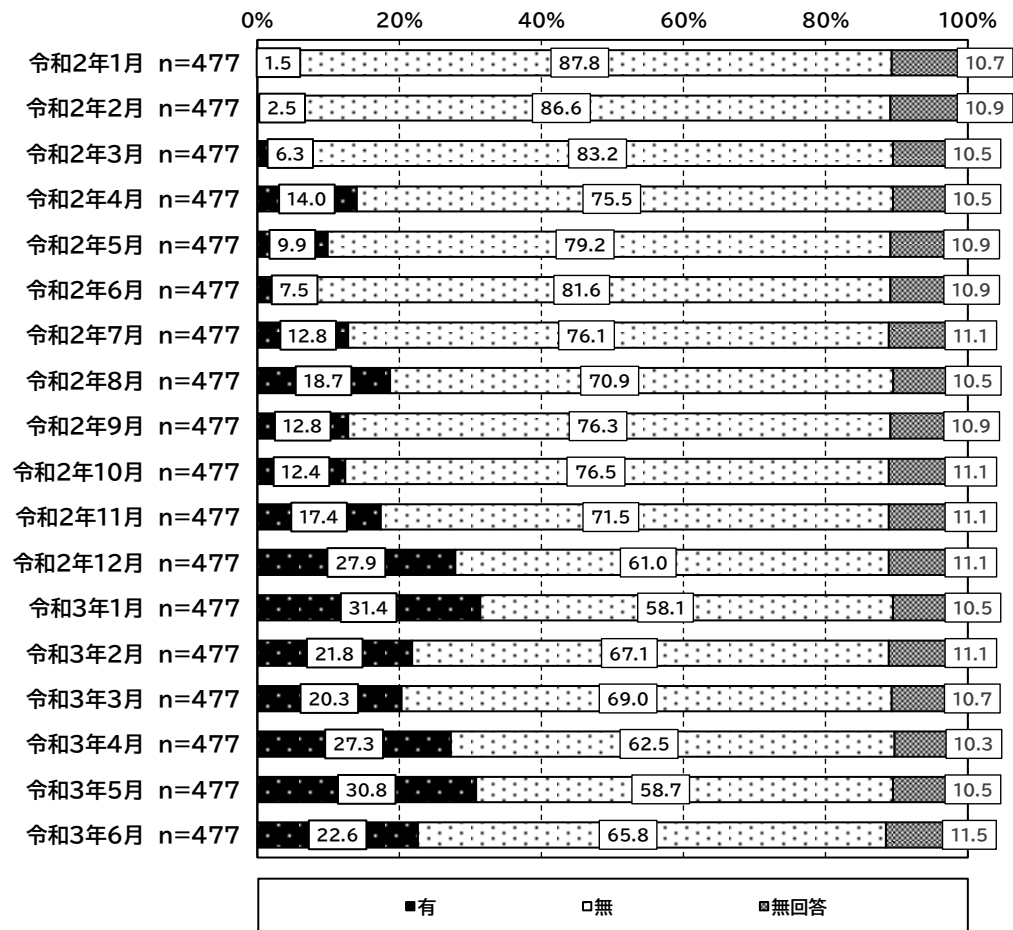
400床以上



【エ：新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無】

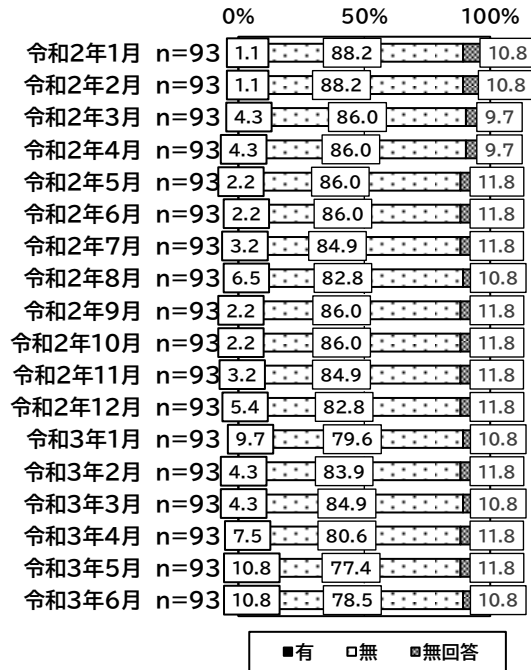
エ：新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当状況についてみると、「有」は令和3年1月（31.4%）が最も多かった。

図表 2-167 エ：新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無

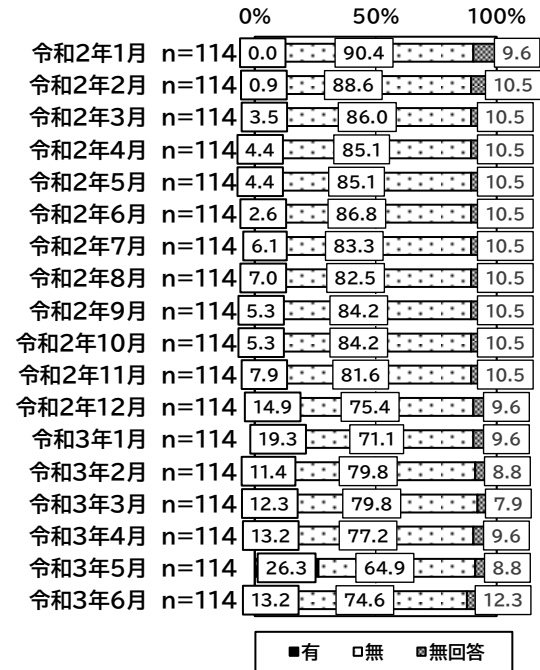


図表 2-168 エ：新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤
 ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無（病床規模別）

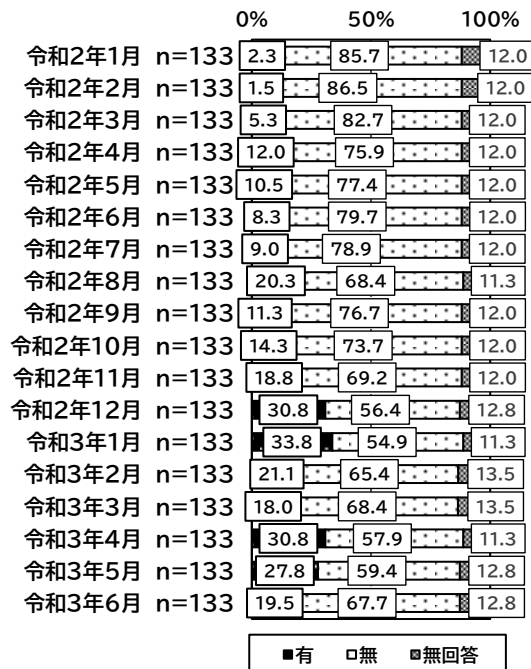
99 床以下



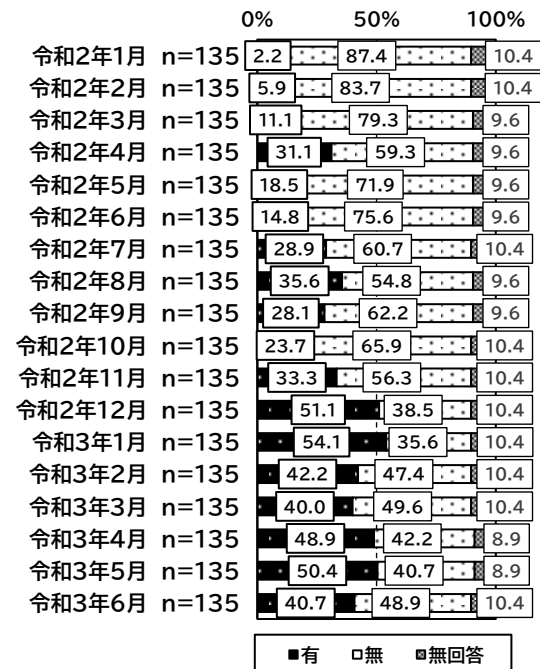
100~199 床



200~399 床



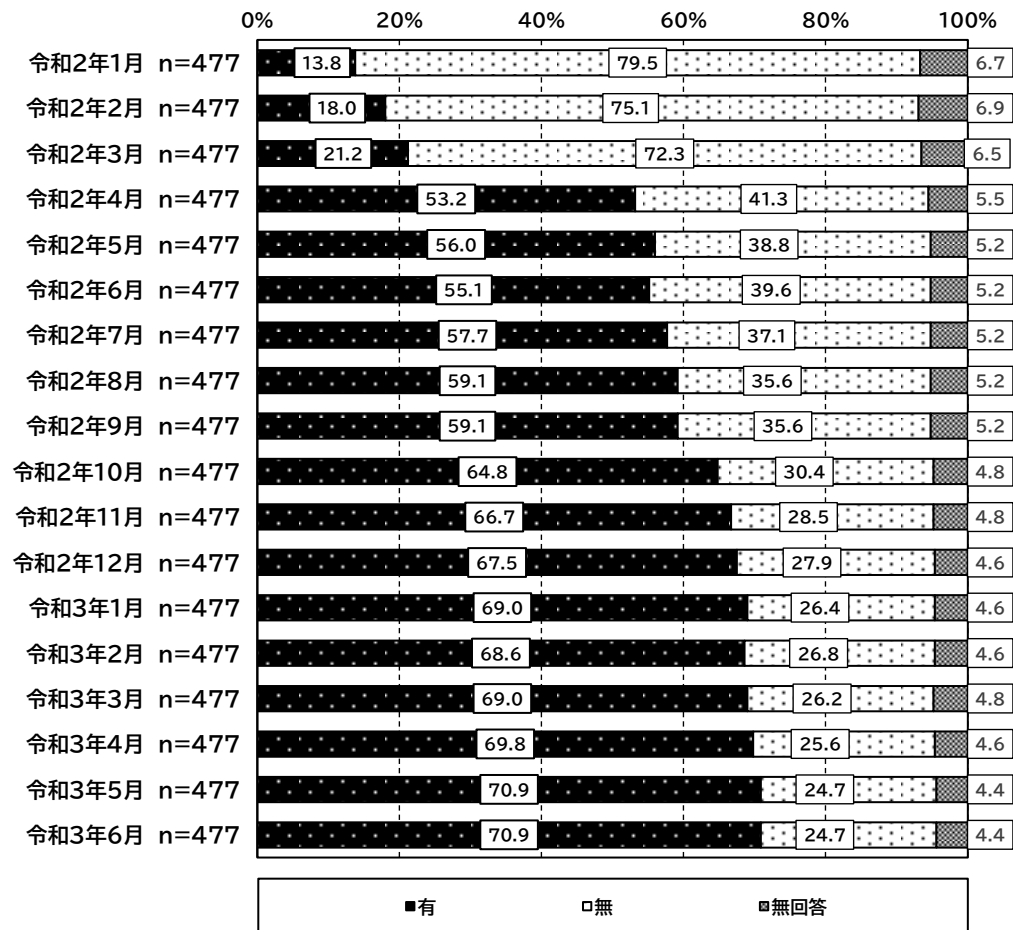
400 床以上



【オ：新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリージ実施料」を算定する保険医療機関の該当有無】

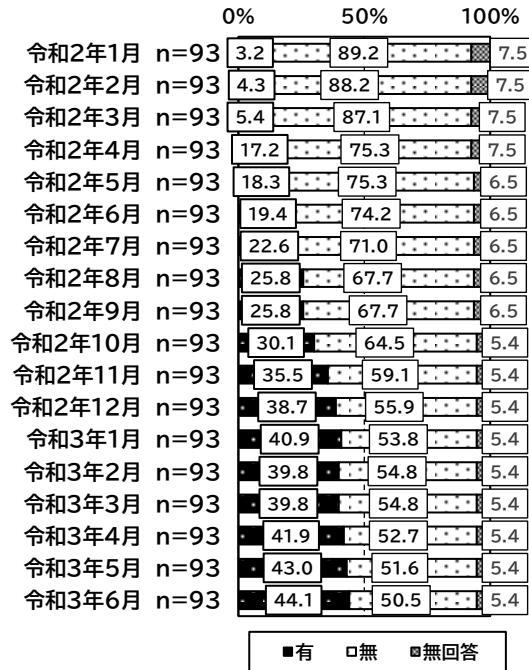
新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリージ実施料」を算定する保険医療機関の該当状況についてみると、「有」は令和3年5月と令和3年6月がともに70.9%で最も多かった。

図表 2-169 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリージ実施料」を算定する保険医療機関の該当有無

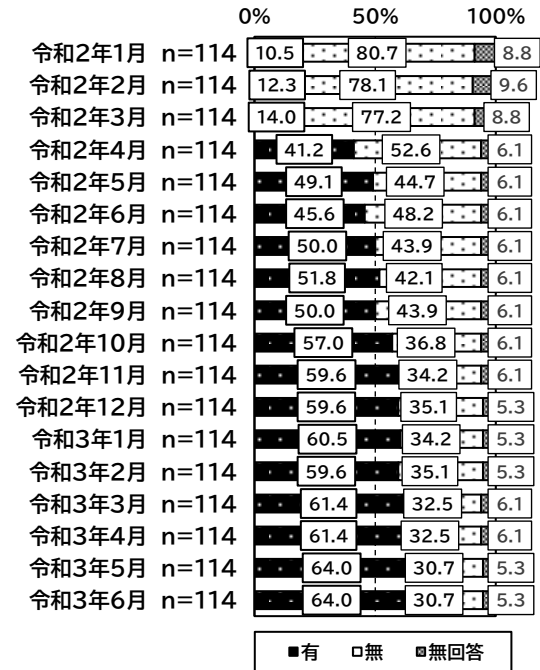


図表 2-170 オ：新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内
トリアージ実施料」を算定する保険医療機関の該当有無（病床規模別）

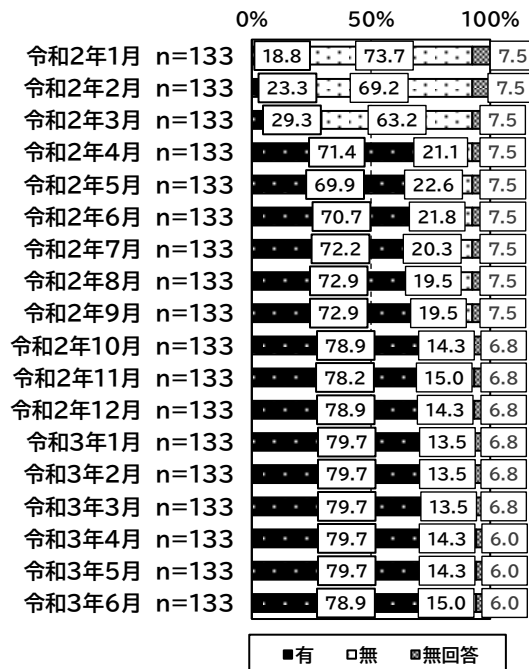
99床以下



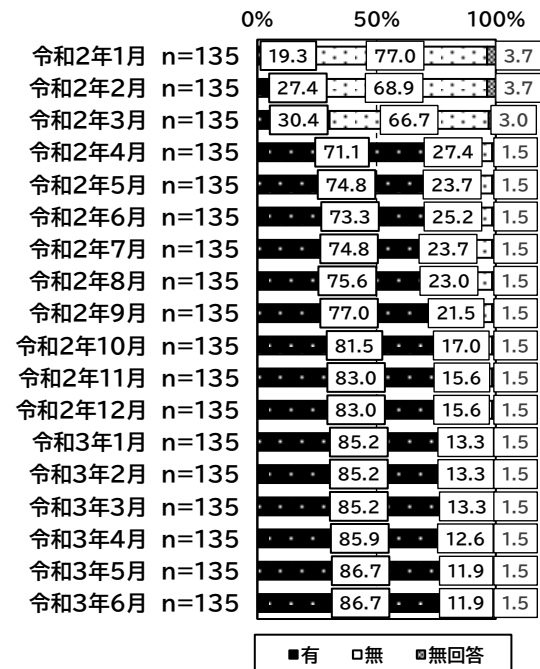
100~199床



200~399床



400床以上

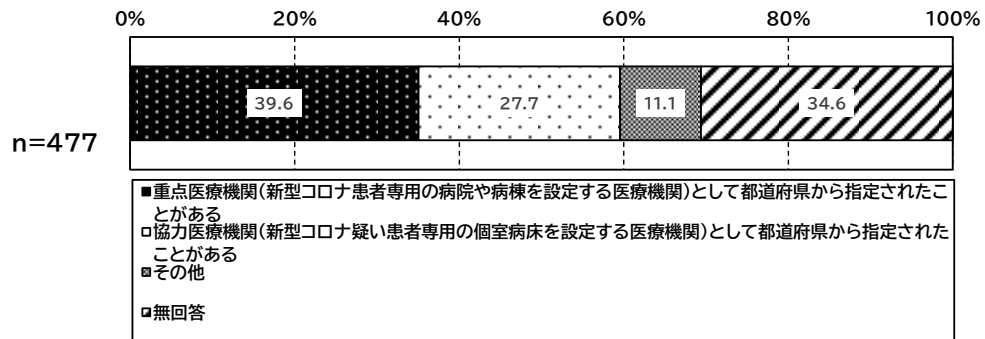


③ 令和2年1月から令和3年6月の期間における、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関や協力医療機関の指定

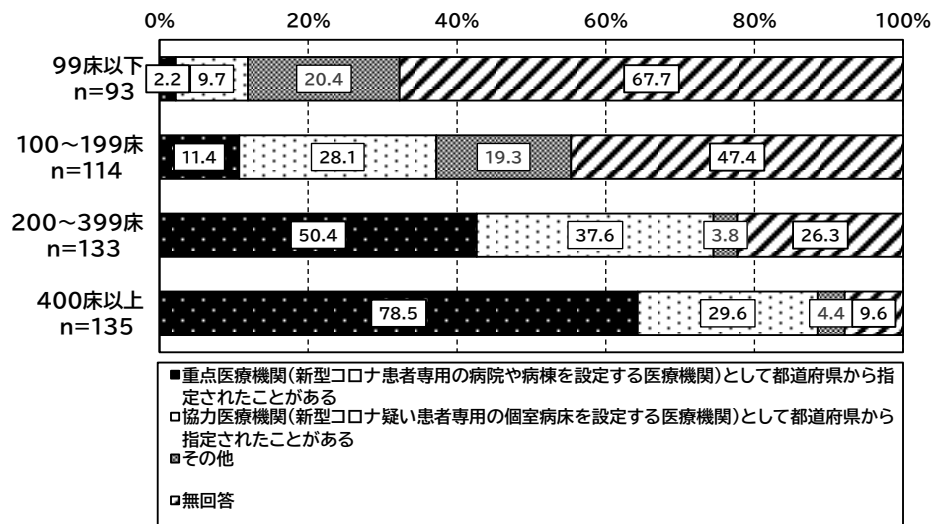
重点医療機関等の指定の有無で最も多かったものは「重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されたことがある」で39.6%であった。

病床規模別にみると、病床数が「99床以下」並びに「100～199床」においては「無回答」が最も多く、それぞれ67.7%、47.4%であった。「200～399床」並びに「400床以上」においては「重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として都道府県から指定されたことがある」が最も多く、それぞれ50.4%、78.5%であった。

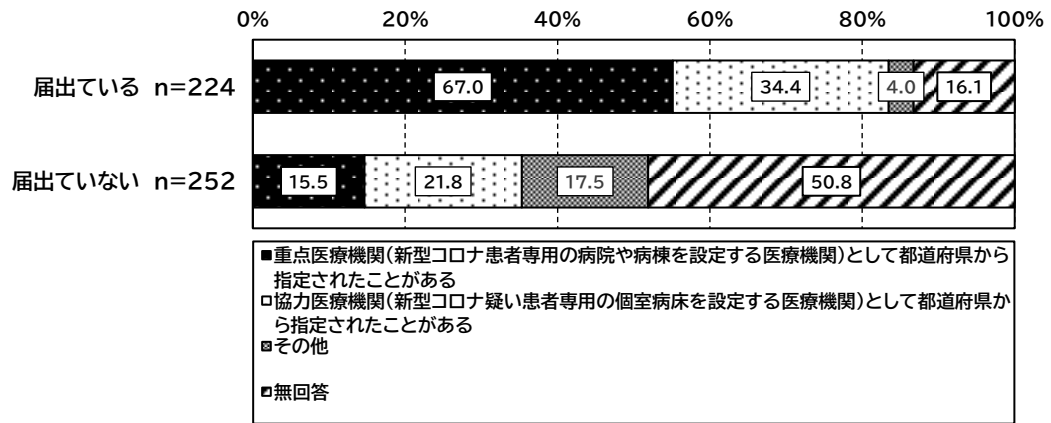
図表 2-171 令和2年1月から令和3年6月の期間における、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関や協力医療機関の指定



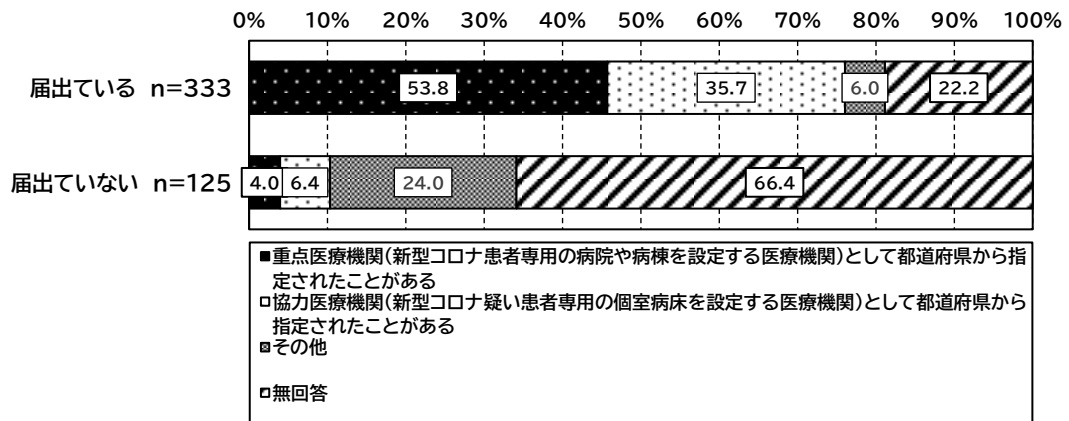
図表 2-172 令和2年1月から令和3年6月の期間における、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関や協力医療機関の指定 (病床規模別)



図表 2-173 令和2年1月から令和3年6月の期間における、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関や協力医療機関の指定
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



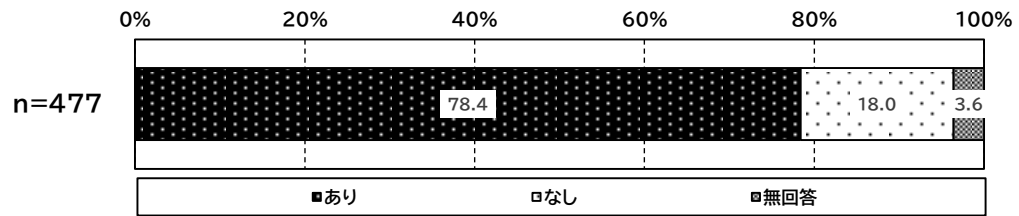
図表 2-174 令和2年1月から令和3年6月の期間における、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関や協力医療機関の指定
(医師事務補助体制加算の届出有無別)



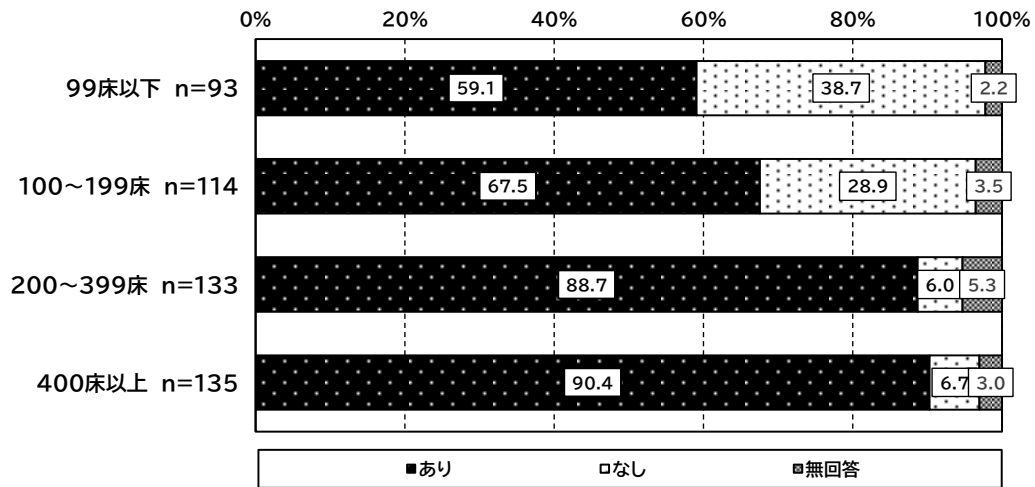
④ 令和3年4月から令和3年6月の3か月間における「医科外来等感染症対策実施加算」、「入院感染症対策実施加算」の算定有無

「医科外来等感染症対策実施加算」については「あり」が78.4%、「なし」が18.0%であった。また、「入院感染症対策実施加算」については「あり」が77.8%、「なし」が18.2%であった。

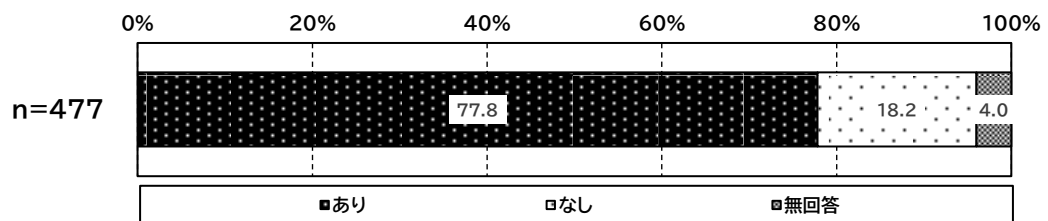
図表 2-175 医科外来等感染症対策実施加算の状況



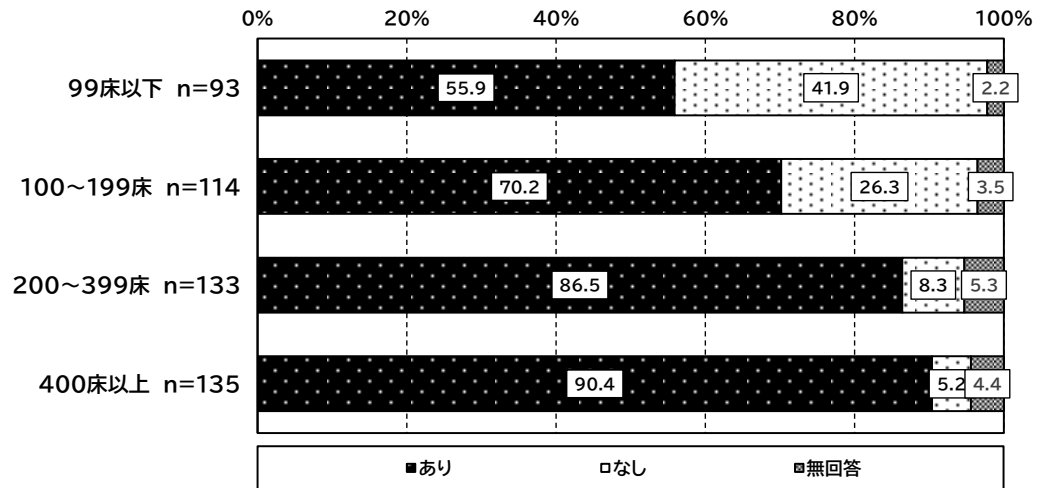
図表 2-176 医科外来等感染症対策実施加算の状況 (病床規模別)



図表 2-177 入院感染症対策実施加算の状況



図表 2-178 入院感染症対策実施加算の状況
(病床規模別)



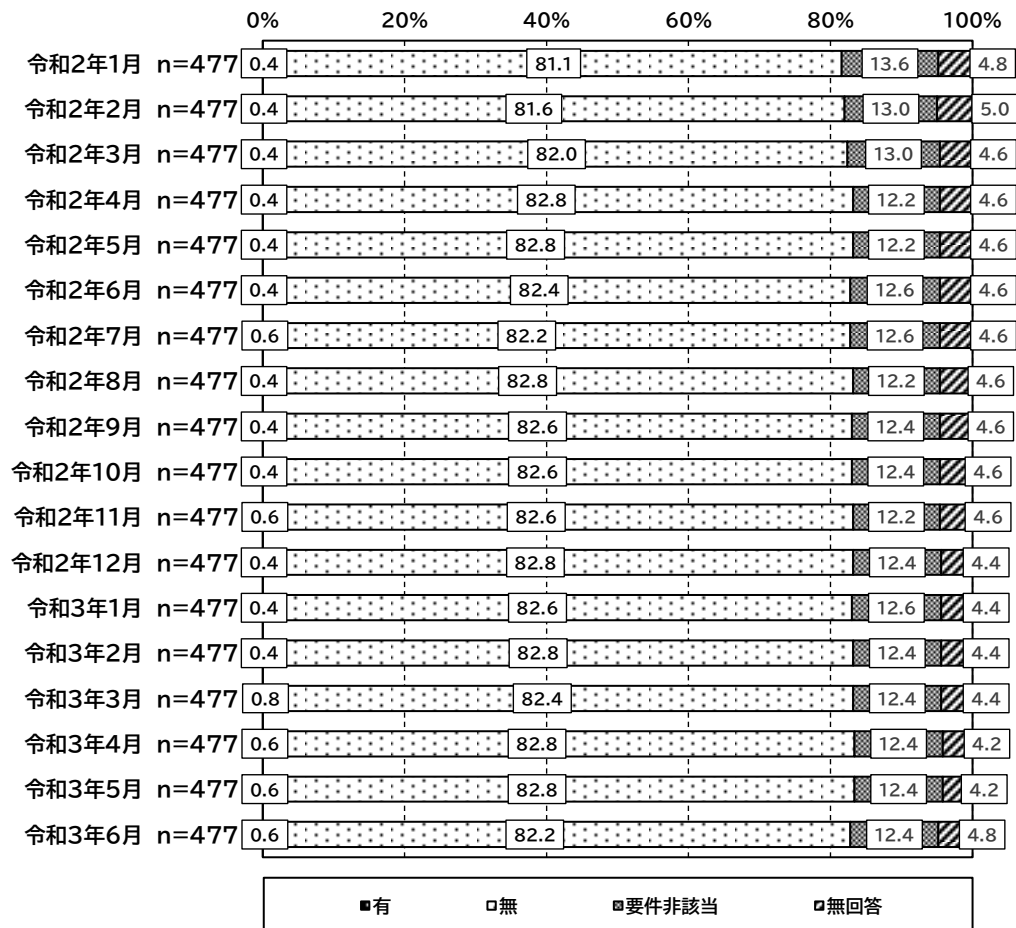
⑤ 「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い注7に関連し、施設が届け出ている診療報酬の施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績への影響の状況

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱いに関連し、施設が届け出ている診療報酬の施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績について確認した。

【a. 定額超過入院の発生有無】

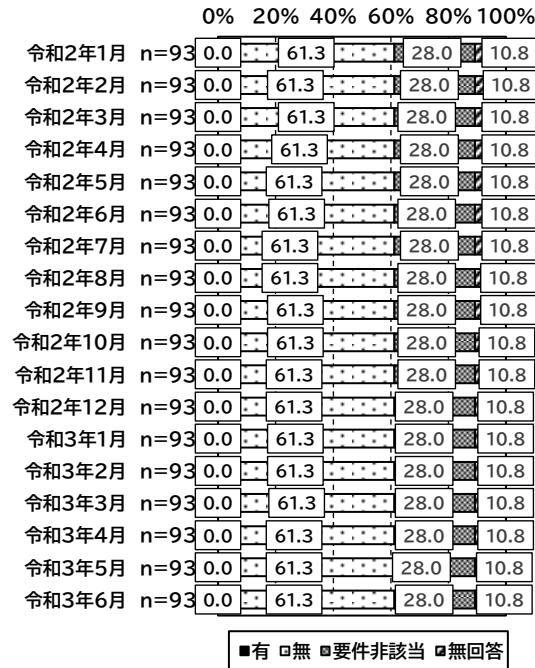
定数超過入院の発生有無についてみると、令和2年1月から令和3年6月の間ではほぼ一貫して「無」が80%以上であった。

図表 2-179 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における定数超過入院の発生有無



図表 2-180 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における定数超過入院の発生有無（病床規模別）

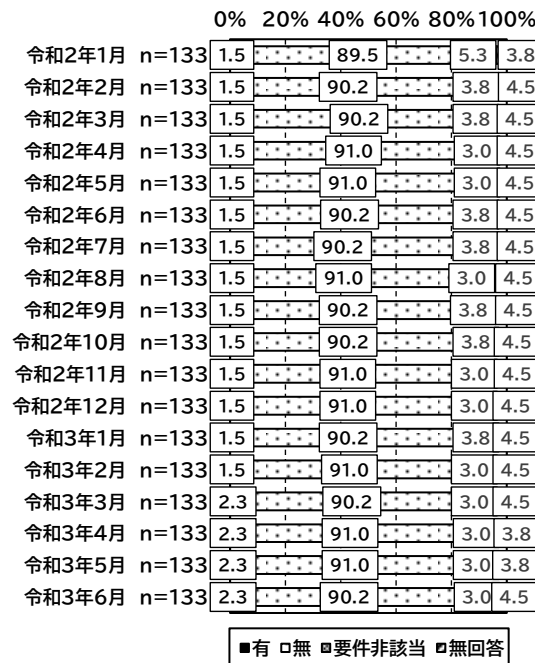
99床以下



100~199床



200~399床



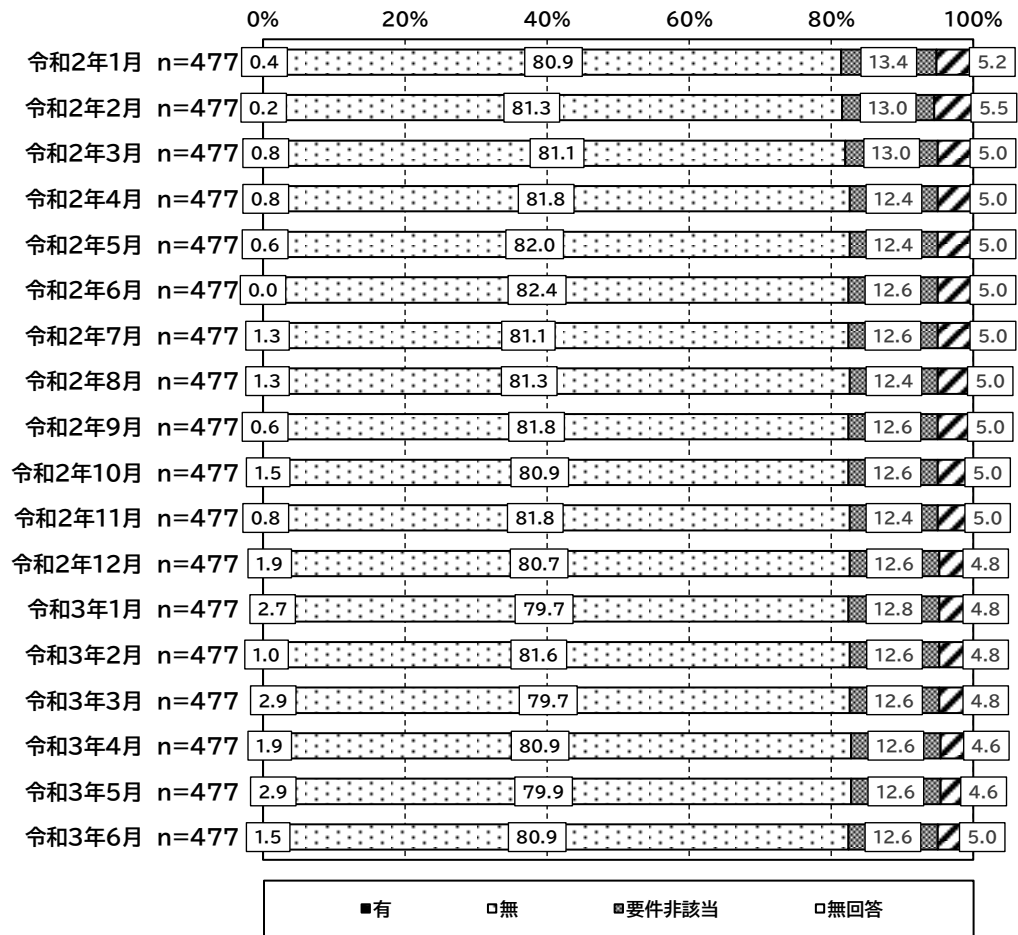
400床以上



【b. 月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無】

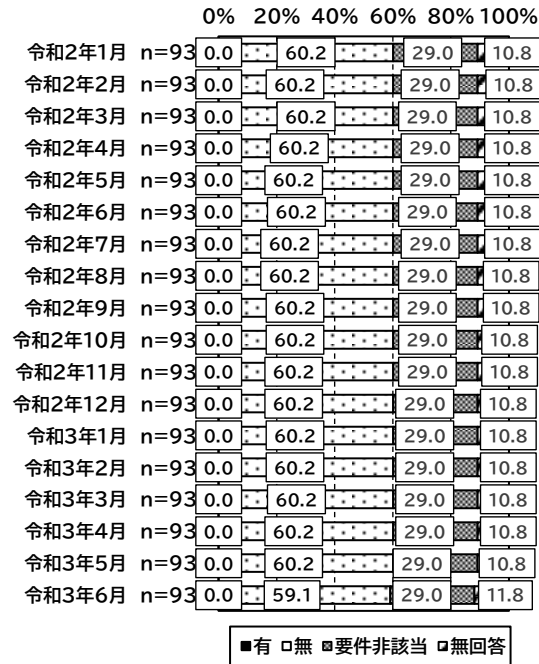
月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間で大きな変動は見られなかった。

図表 2-181 月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無



図表 2-182 月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無
(病床規模別)

99床以下



100~199床



200~399床



400床以上

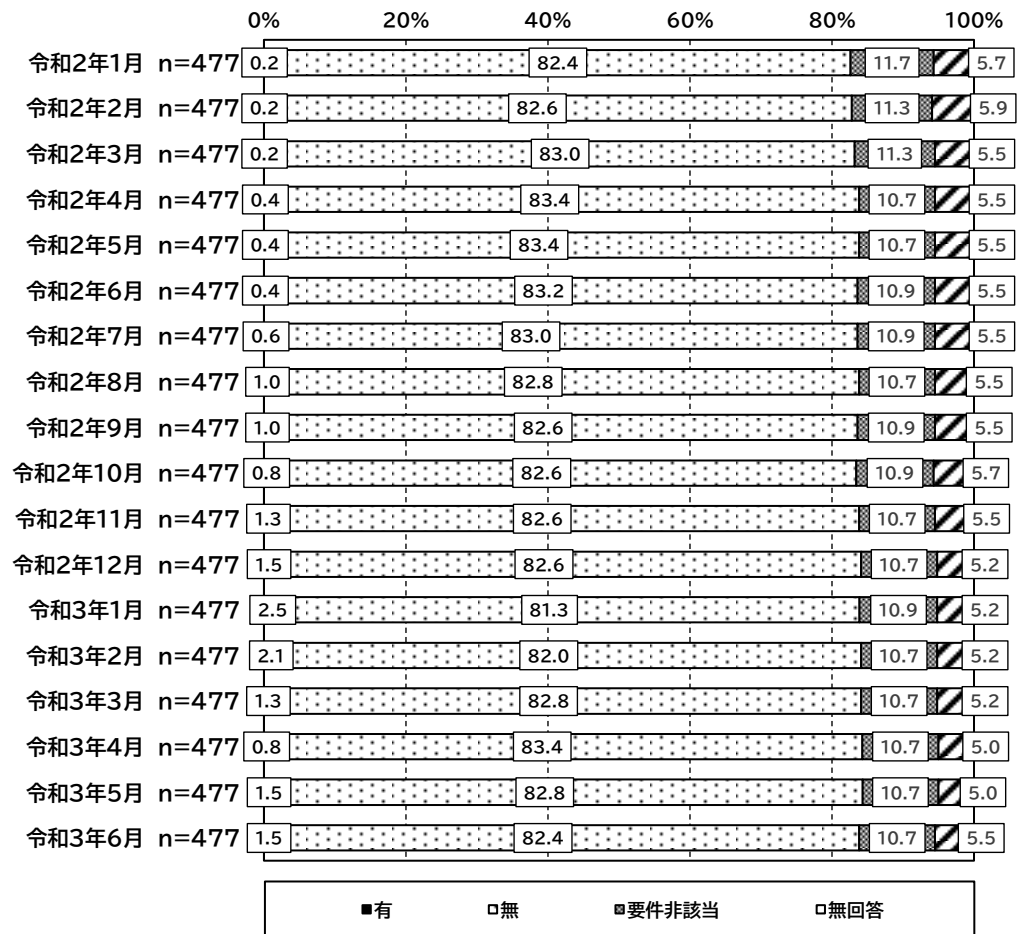


【c. 看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無】

看護要員^{注1}の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間でほぼ一貫して「無」が80%以上であった。

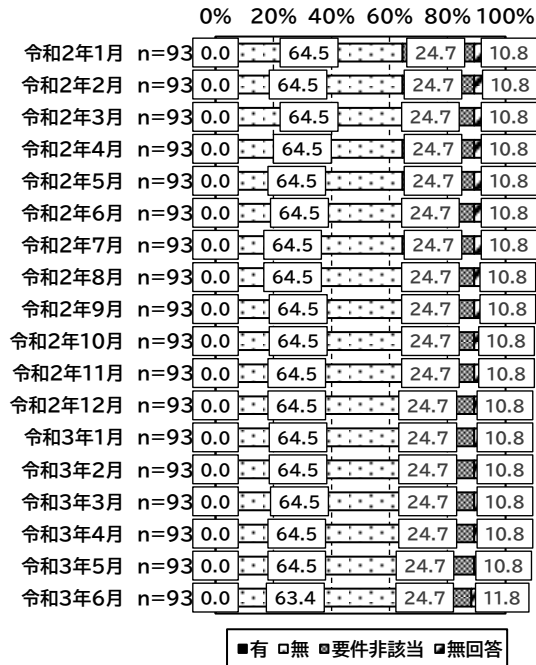
注1：看護要員とは、看護師及び准看護師又は看護補助者を指す。

図表 2-183 看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無



図表 2-184 看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無（病床規模別）

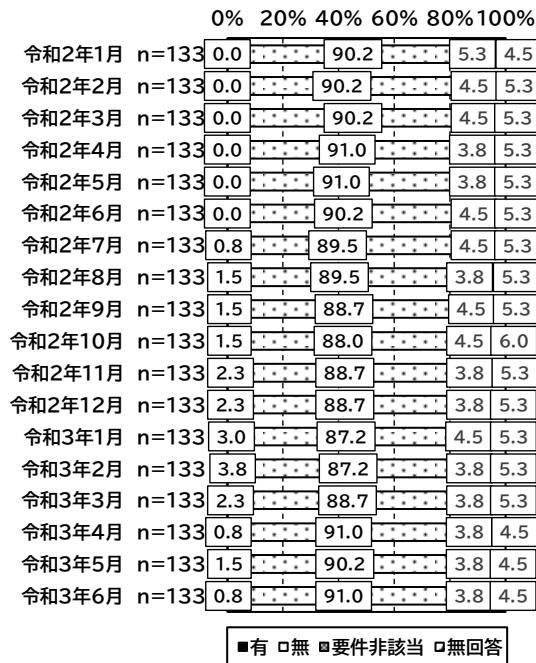
99床以下



100~199床



200~399床



400床以上

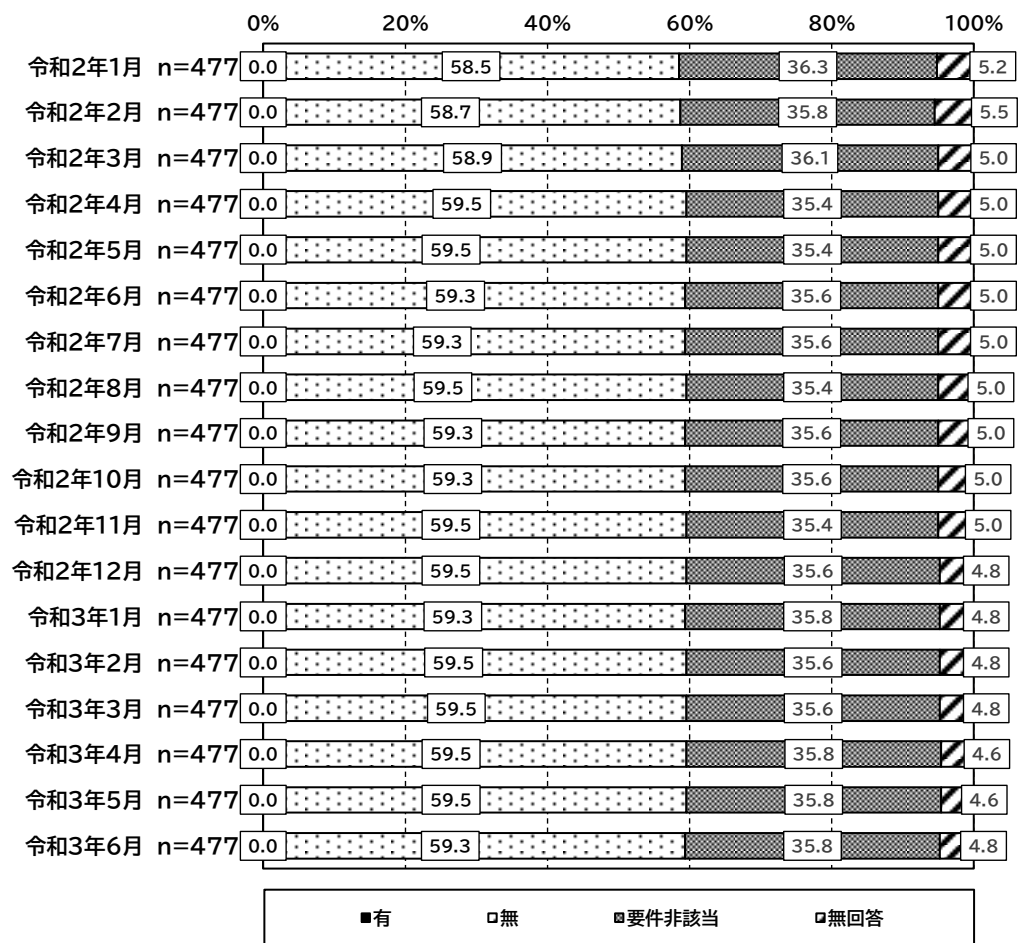


【d. 「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無】

「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」^{注1}の発生有無についてみると、令和2年1月から令和3年6月の間で大きな変動は見られなかった。

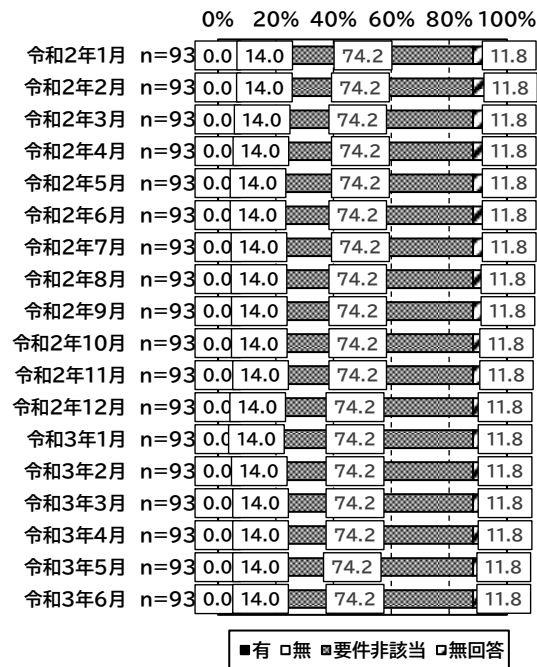
注1：「DPC 制度への参加等の手続きについて」（令和2年3月27日保医発 0327 第6号）の第1の4(2)②に規定する場合をいう。

図表 2-185 「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無



図表 2-186 「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無 (病床規模別)

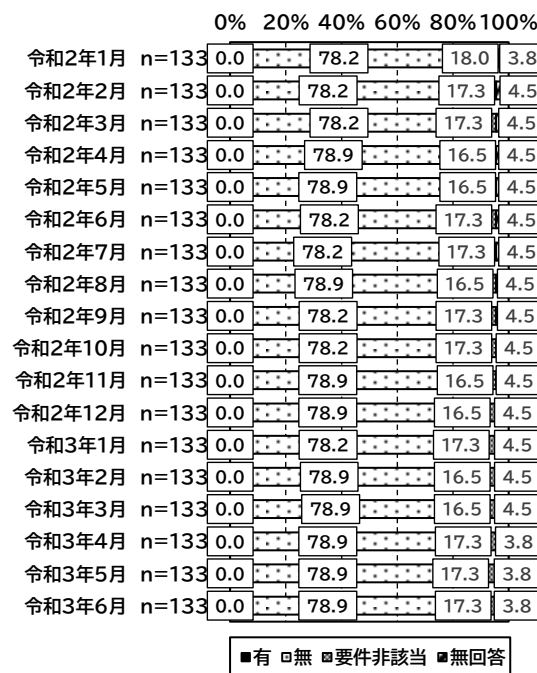
99 床以下



100~199 床



200~399 床



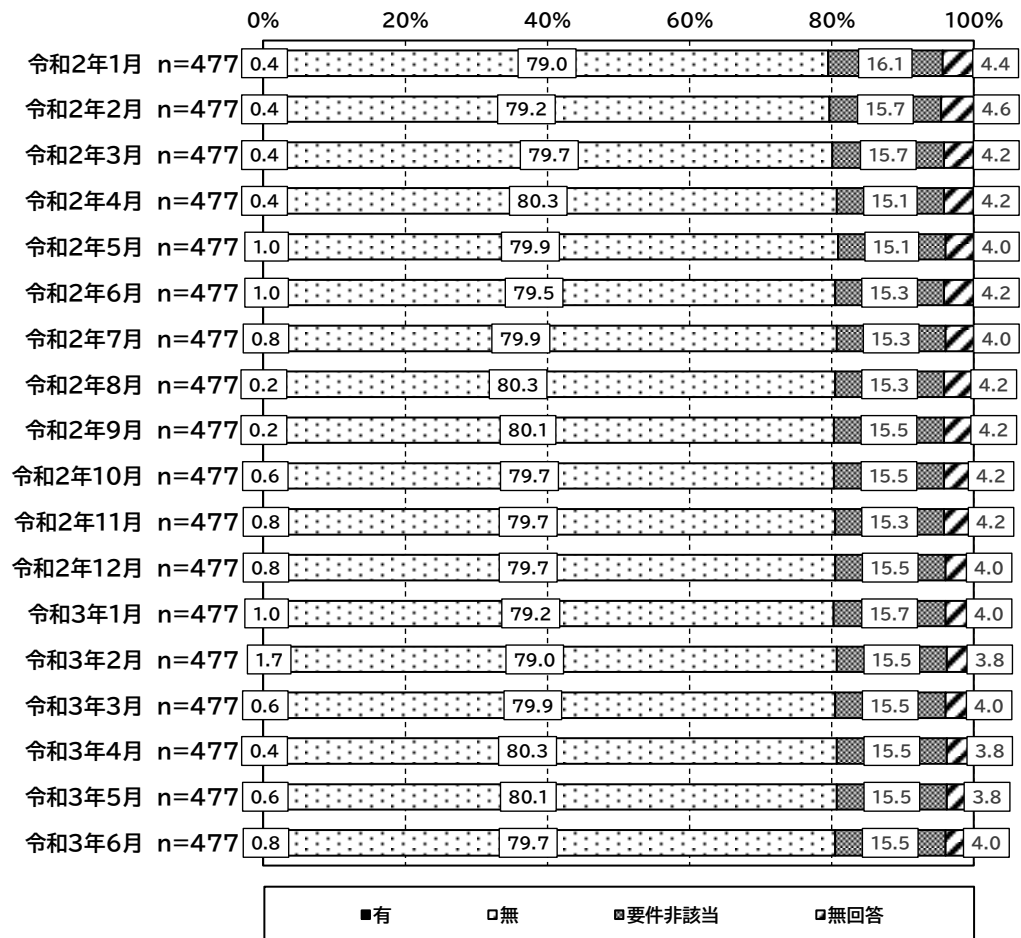
400 床以上



【e. 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無】

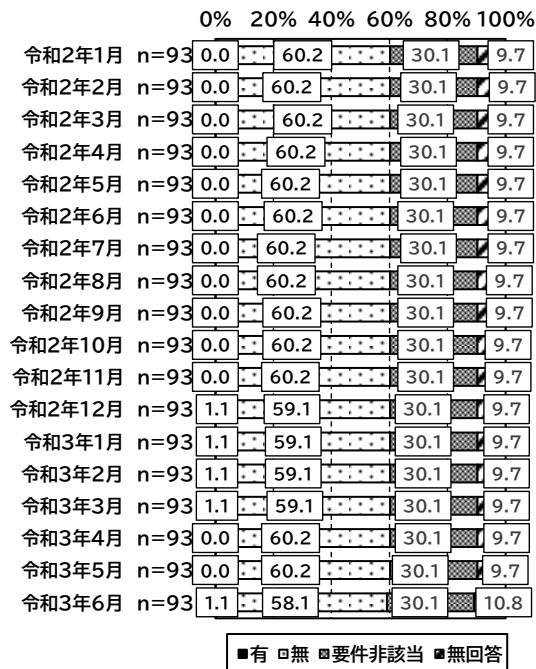
平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間で大きな変動は見られなかった。

図表 2-187 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

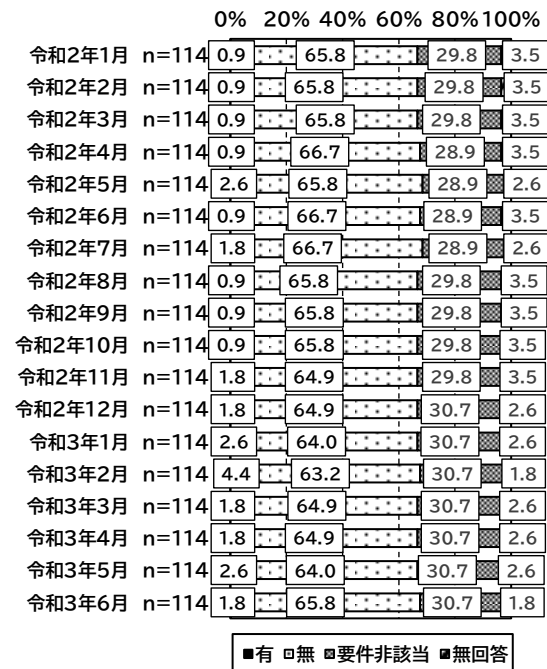


図表 2-188 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
(病床規模別)

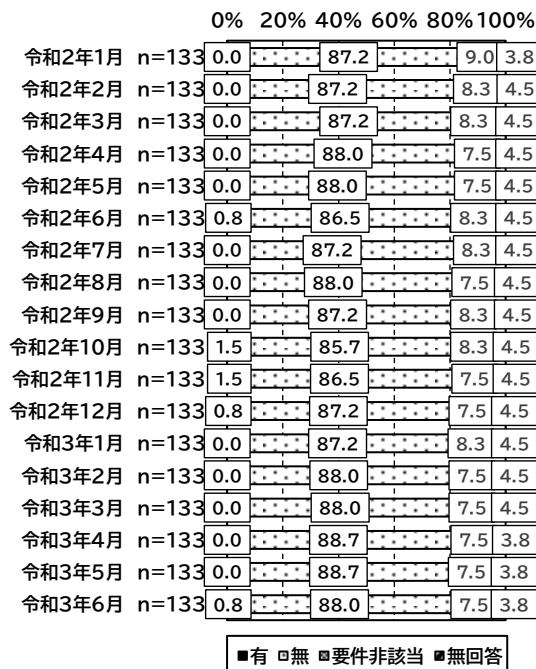
99床以下



100~199床



200~399床



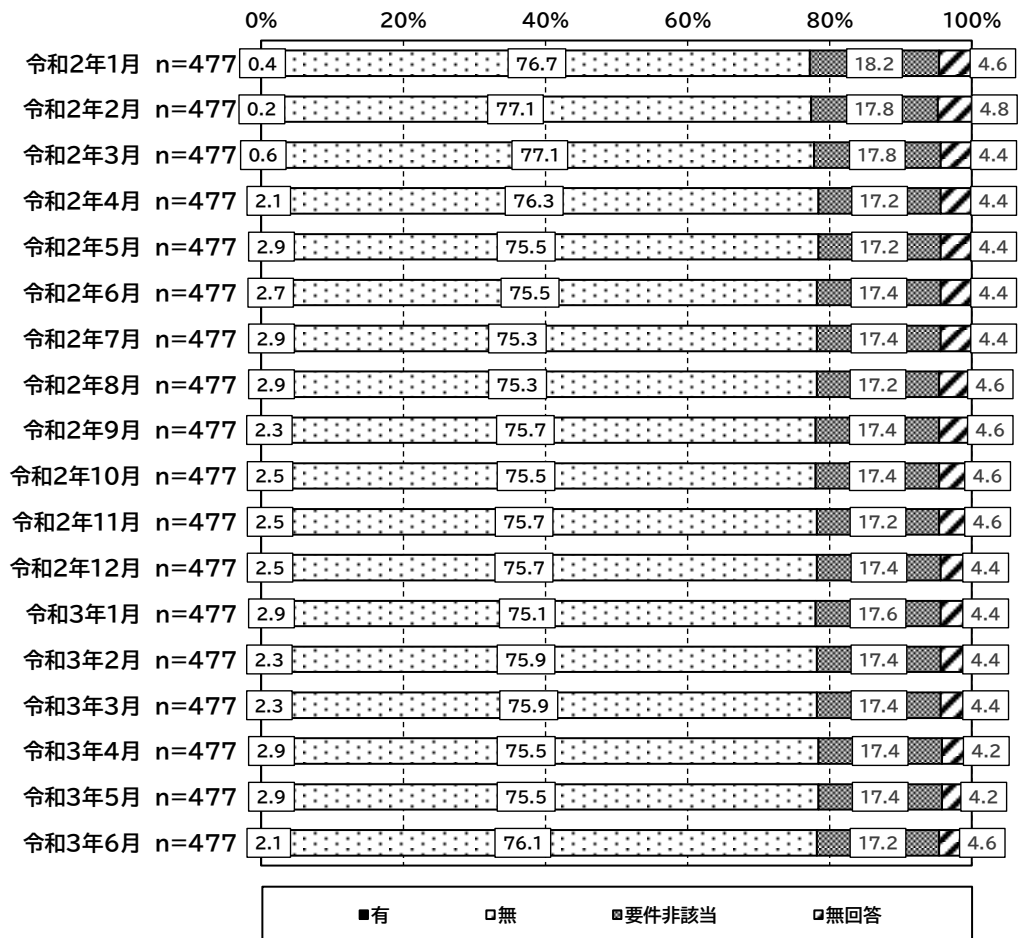
400床以上



【f. 重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無】

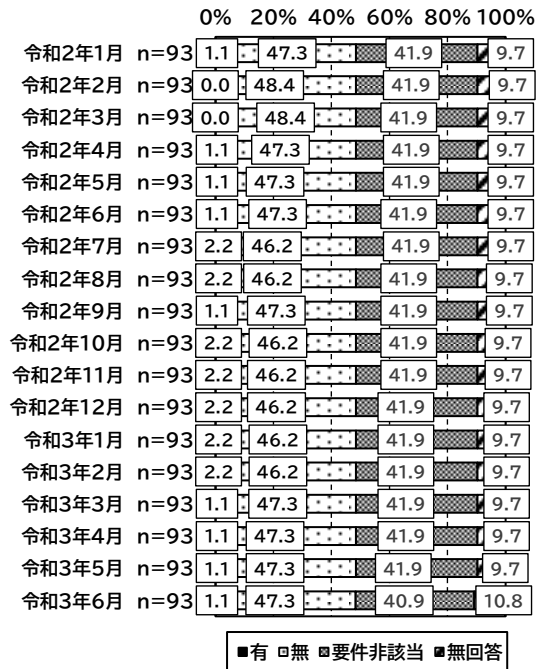
重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間で大きな変動は見られなかった。

図表 2-189 重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無



図表 2-190 重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
(病床規模別)

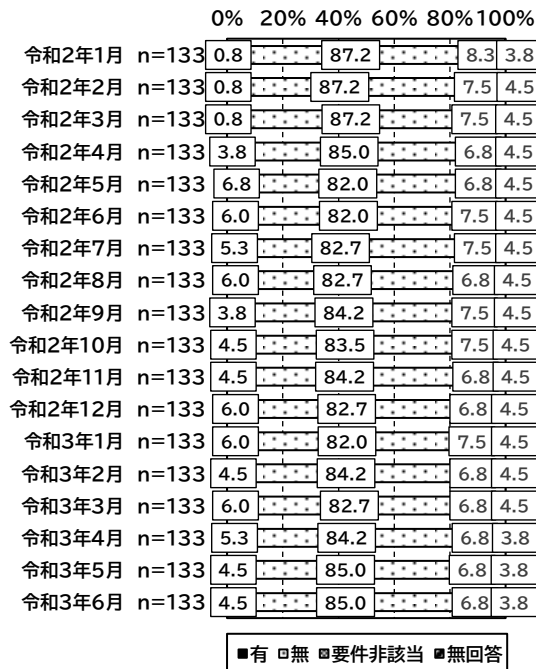
99床以下



100~199床



200~399床



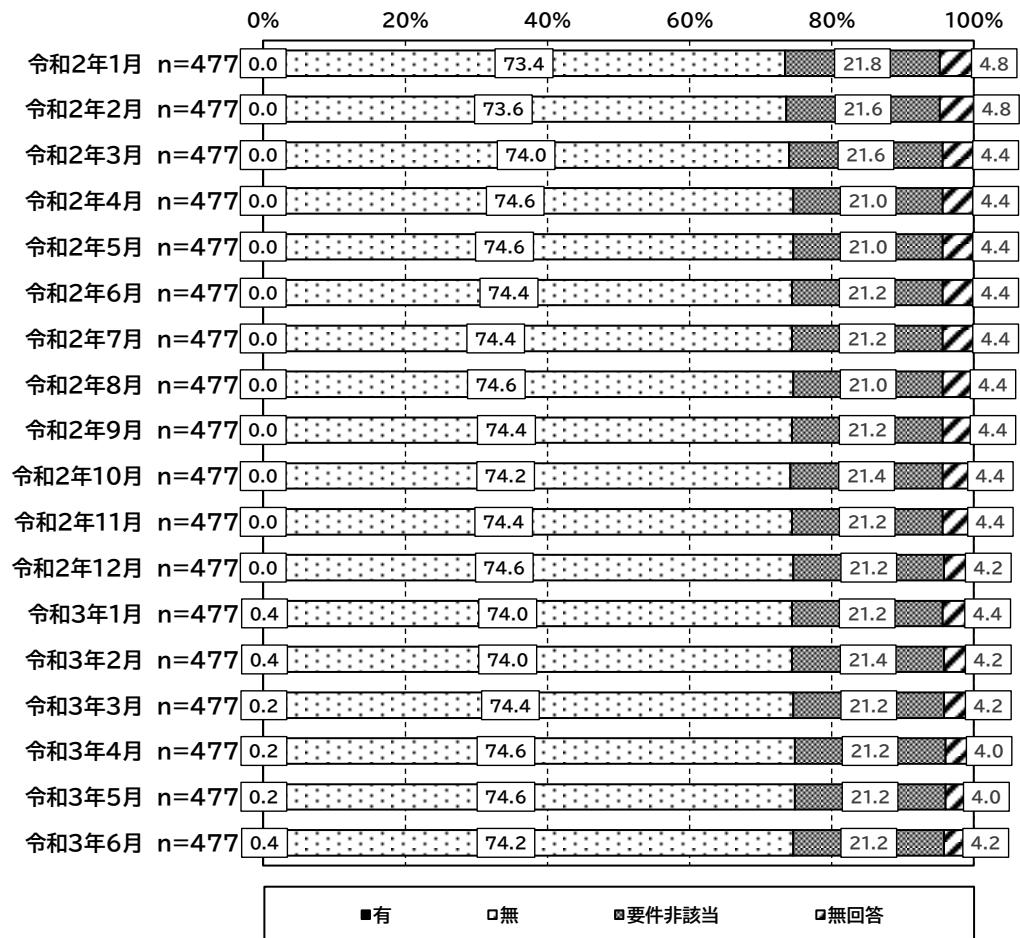
400床以上



【g. 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無】

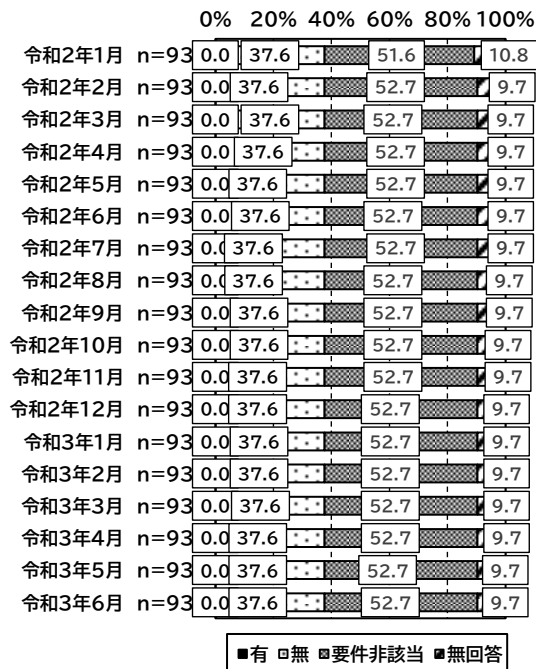
在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間でほぼ一貫して「無」が70%以上であった。

図表 2-191 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

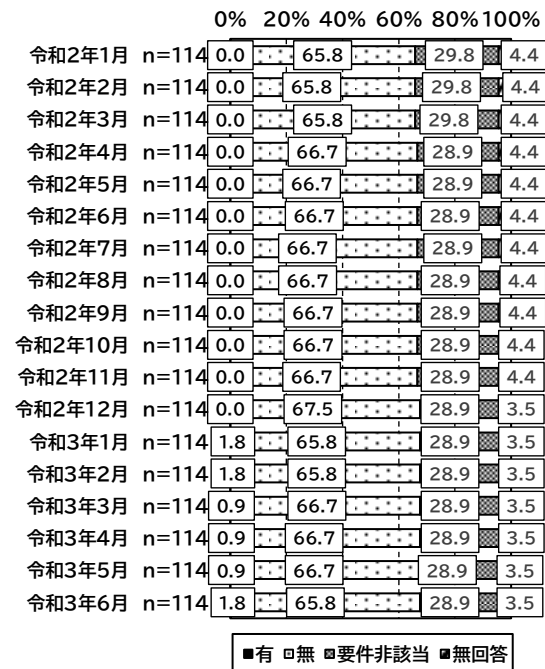


図表 2-192 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を
満たさなくなった場合の発生有無
(病床規模別)

99床以下



100~199床



200~399床



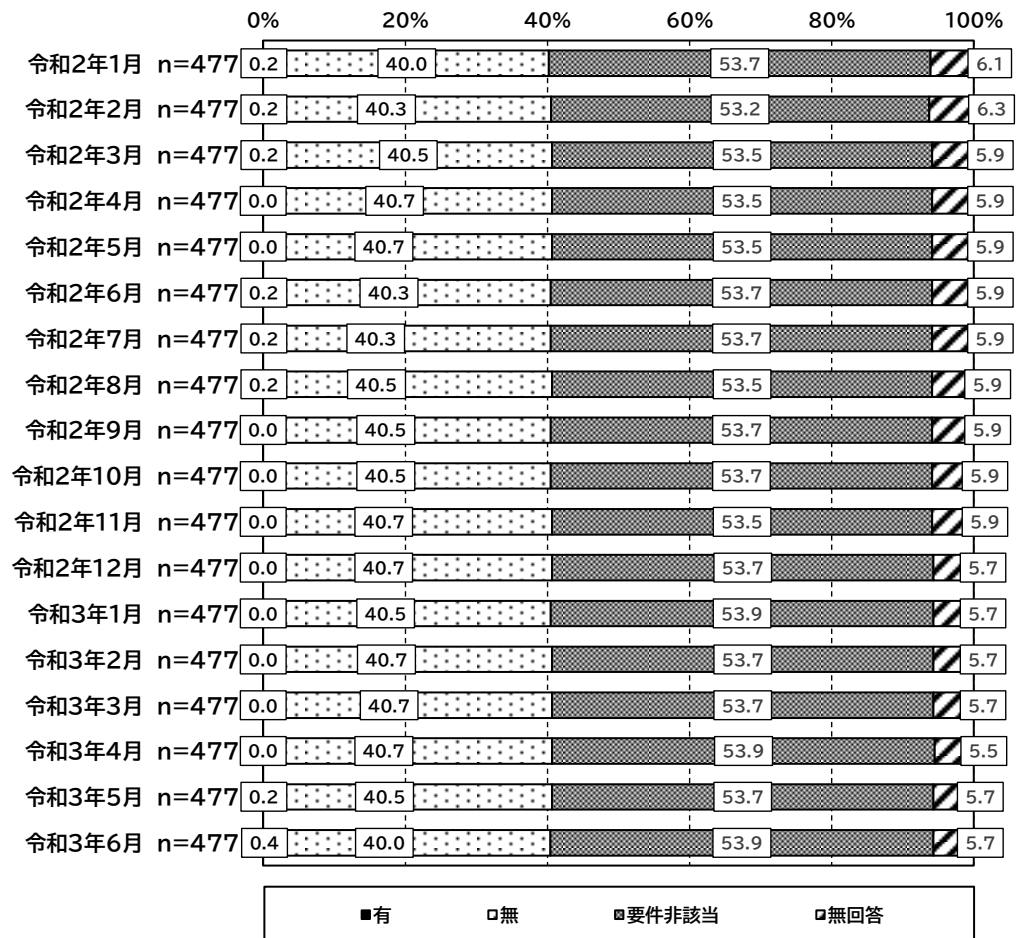
400床以上



【h. 医療区分2又は3の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無】

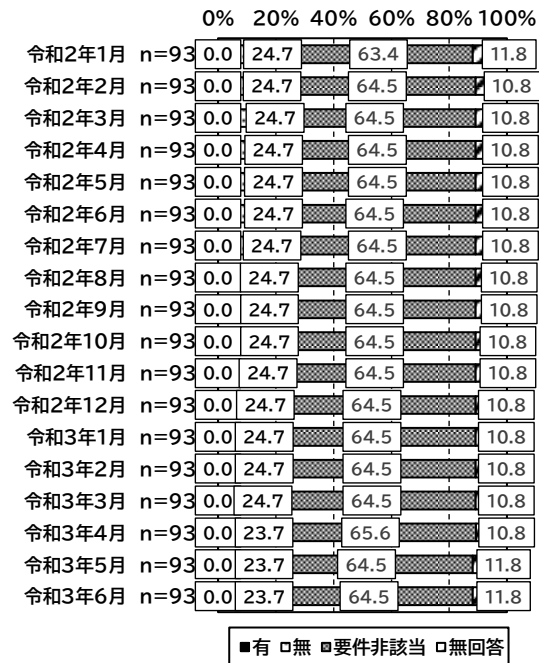
医療区分2又は3の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無をみると、令和2年1月から令和3年6月の間で大きな変動は見られなかった。

図表 2-193 医療区分2又は3の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

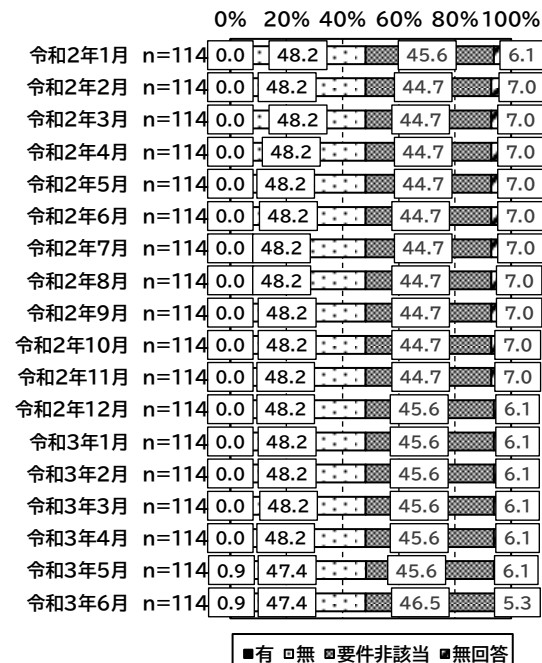


図表 2-194 医療区分2又は3の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
(病床規模別)

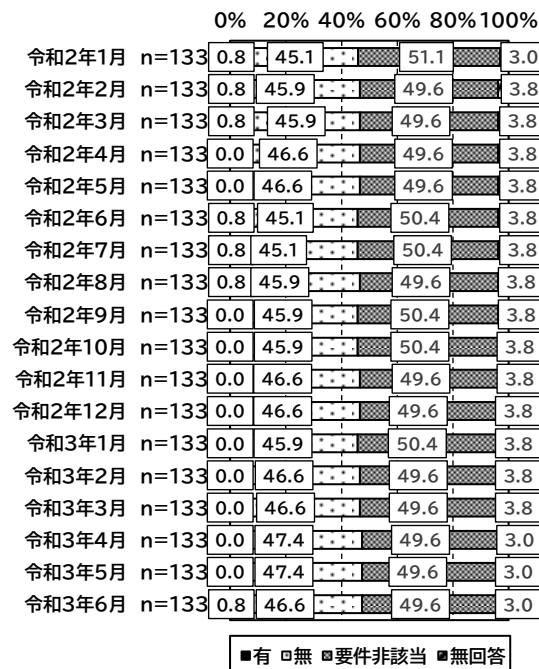
99床以下



100~199床



200~399床



400床以上

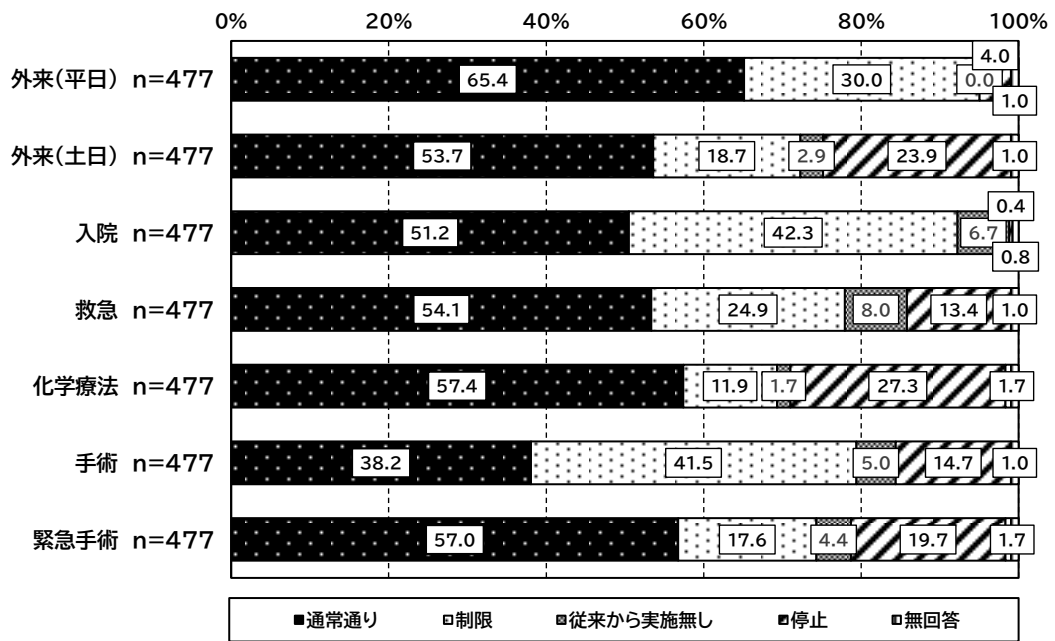


⑥ 医療提供状況の変化（令和2年1月から令和3年6月までの間）

令和2年1月から令和3年6月までの間における医療提供状況について、「通常通り」が外来（平日）においては65.4%、外来（土日）においては53.7%、入院においては51.2%、救急においては54.1%、化学療法においては57.4%、手術においては38.2%、緊急手術においては57.0%であった。

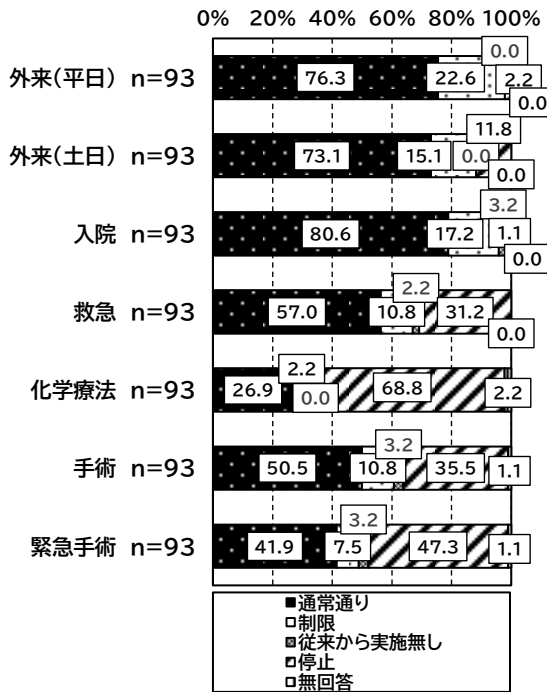
「制限」と回答した割合が最も高かったのは「入院」で42.3%であった。

図表 2-195 医療提供状況の変化

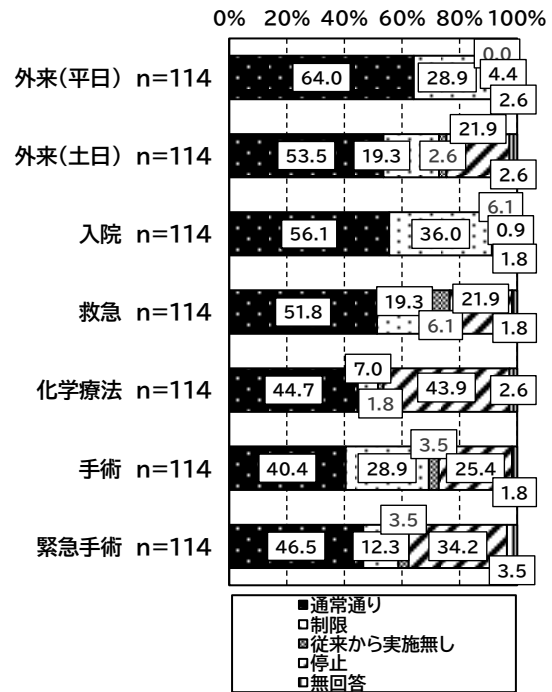


図表 2-196 医療提供状況の変化
(病床規模別)

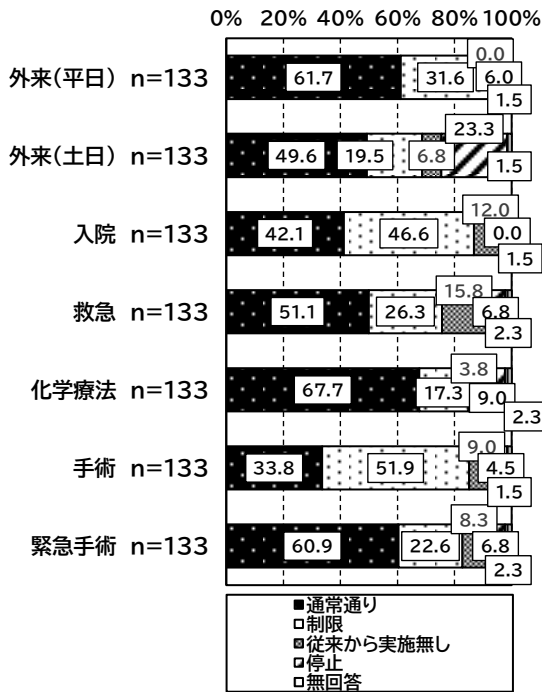
99 床以下



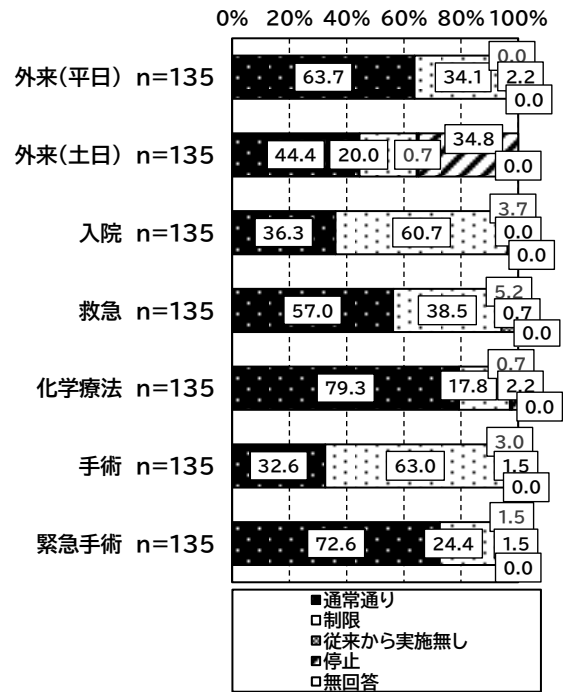
100~199 床



200~399 床

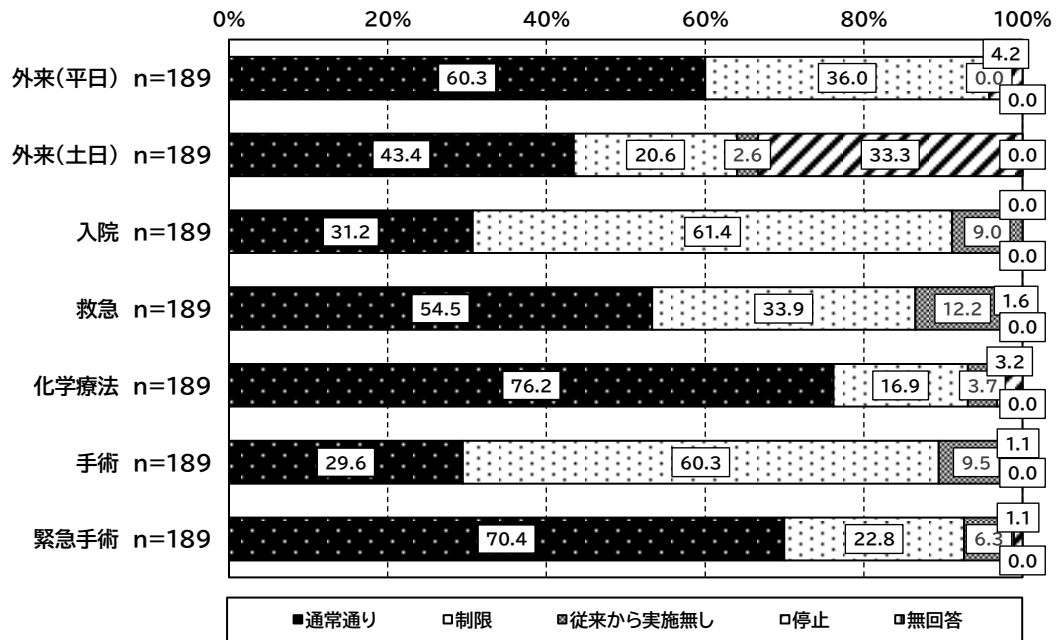


400 床以上

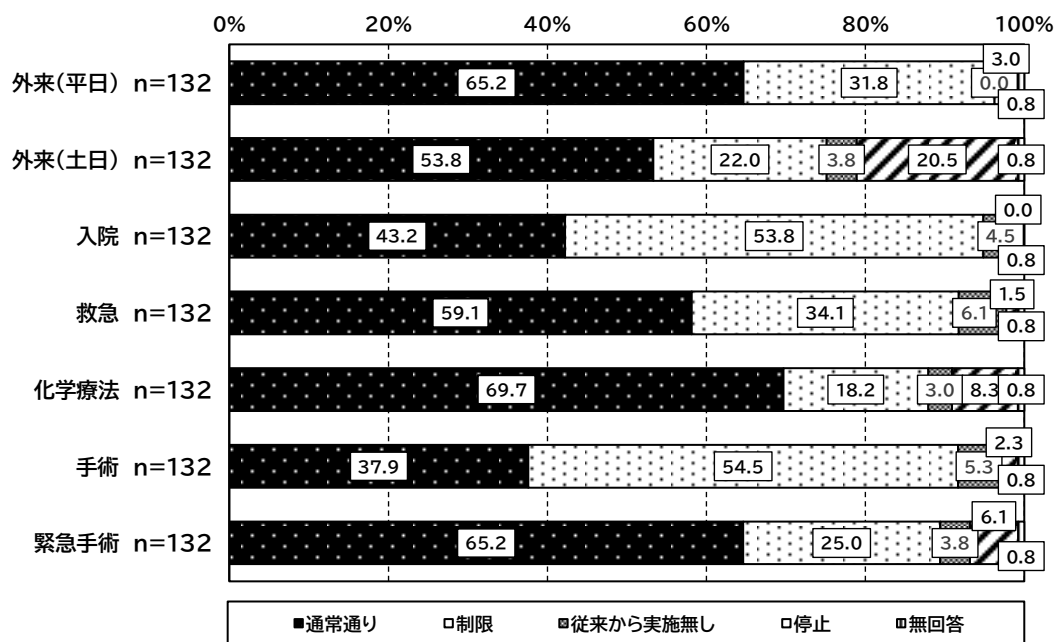


図表 2-197 医療提供状況の変化
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

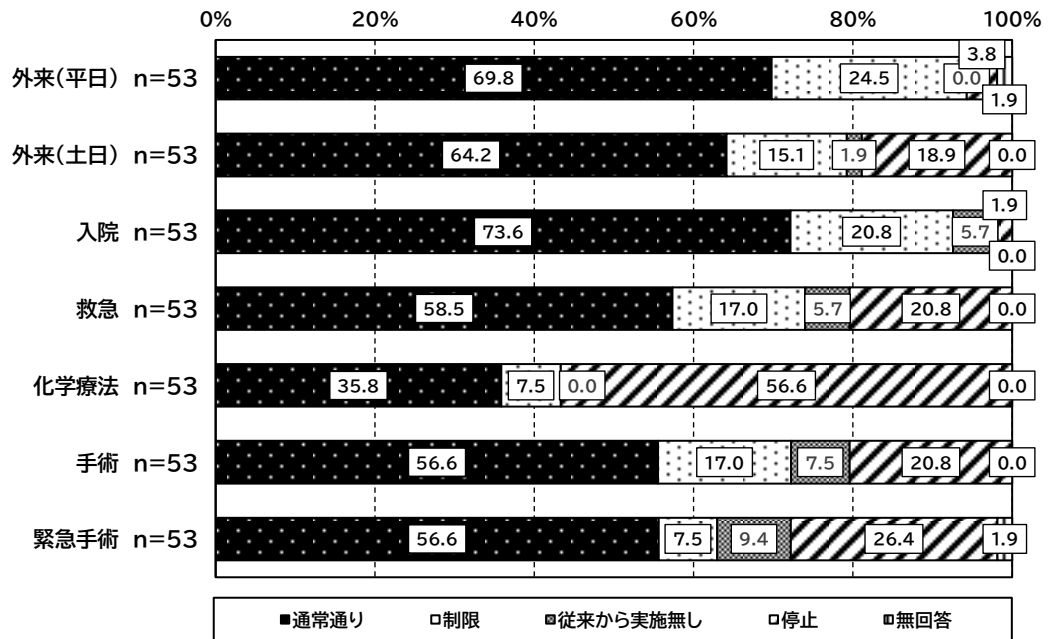
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



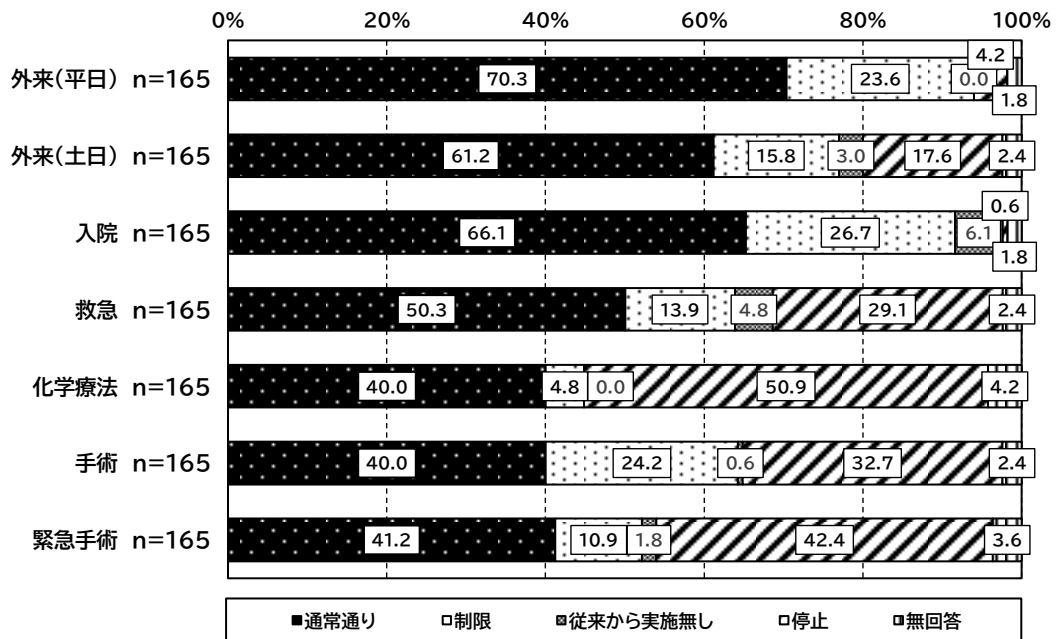
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



その他

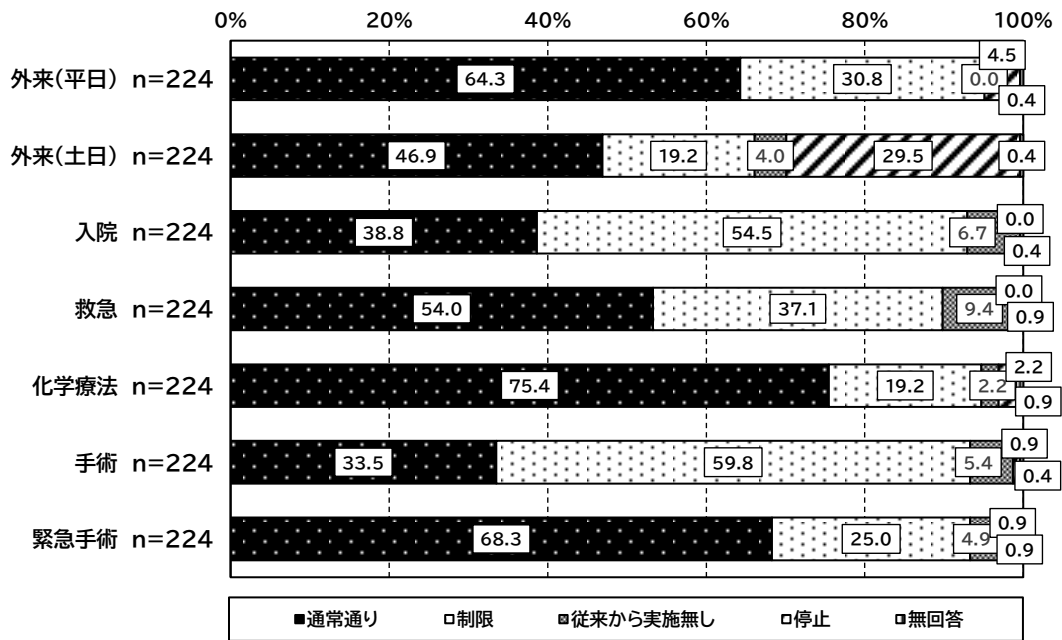


無回答

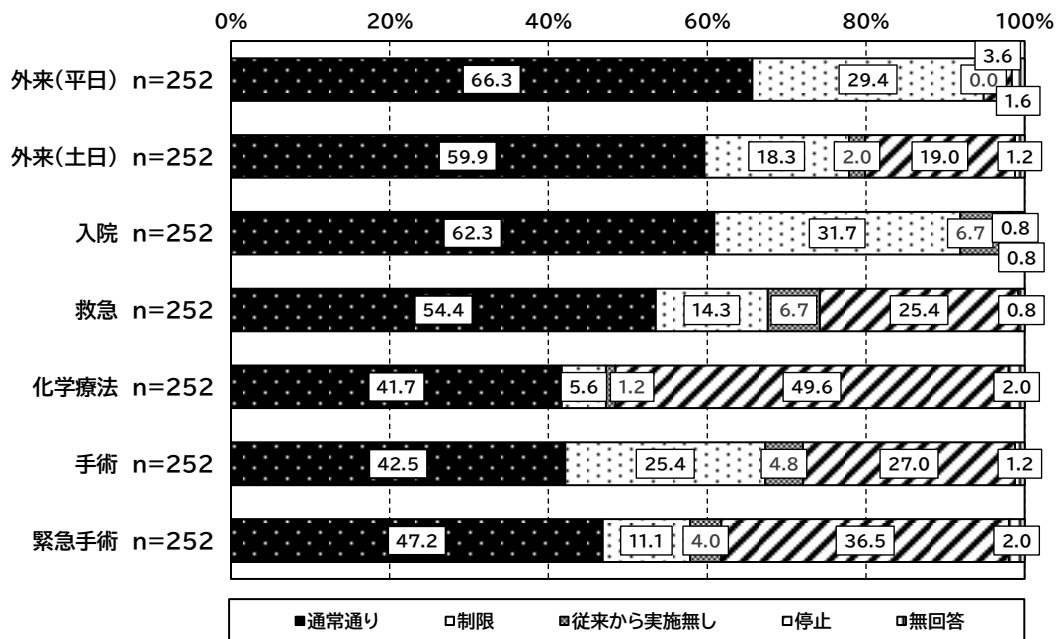


図表 2-198 医療提供状況の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)

地域医療体制確保加算の届出をしている

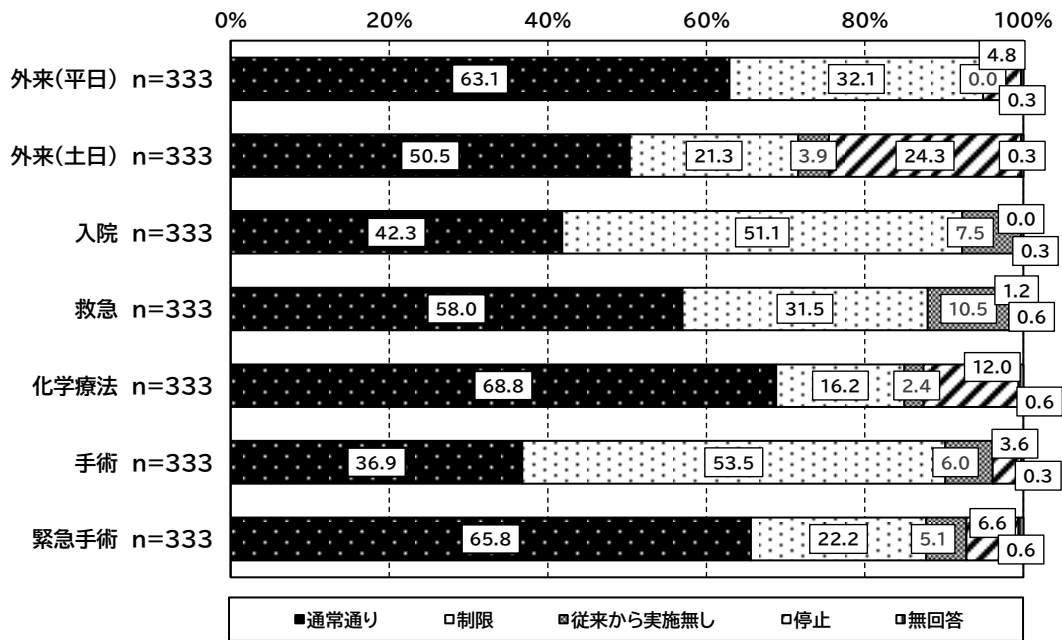


地域医療体制確保加算の届出をしていない

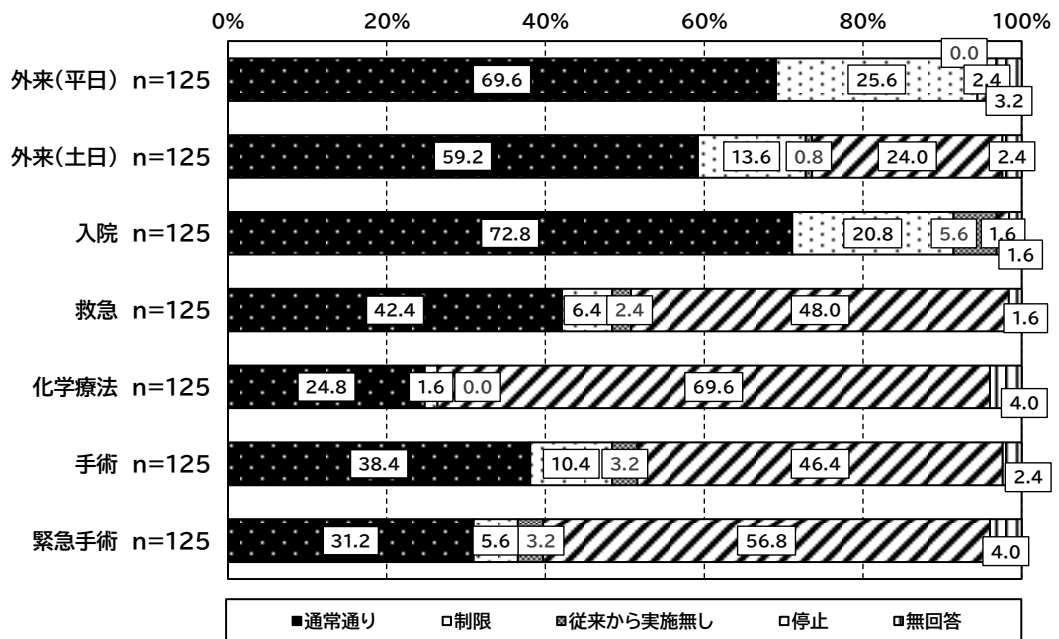


図表 2-199 医療提供状況の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)

医師事務作業補助体制加算の届出をしている



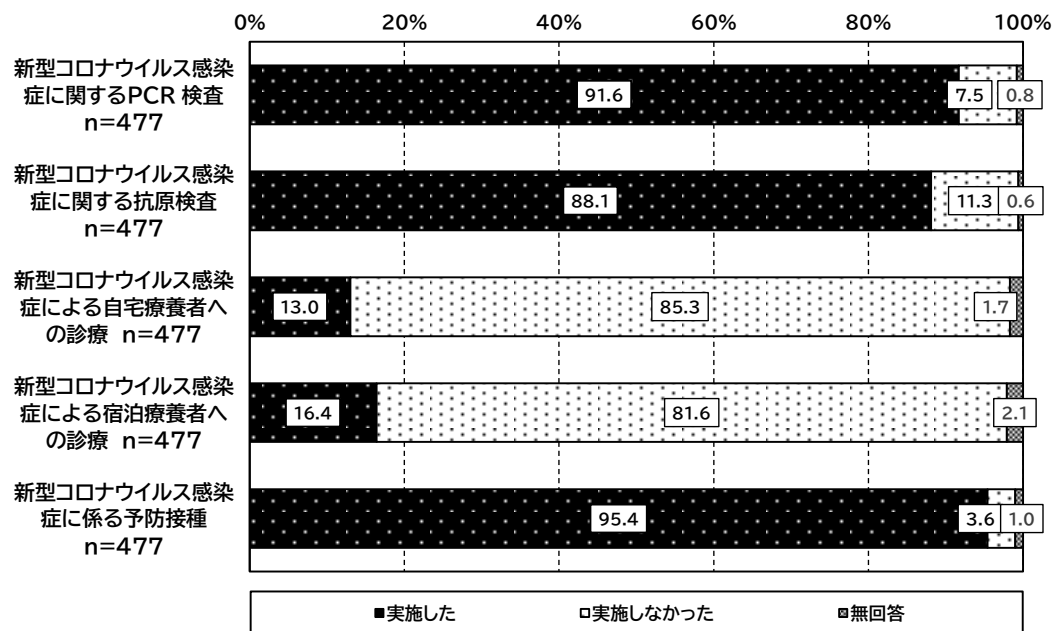
医師事務作業補助体制加算の届出をしていない



⑦ 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況

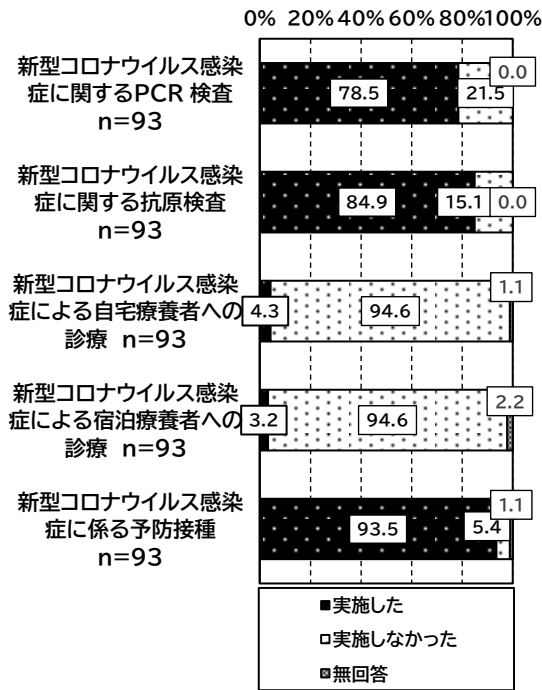
新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況としては、新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査については「実施した」が91.6%、新型コロナウイルス感染症に関する抗原検査については「実施した」が88.1%、新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への診療については「実施した」が13.0%、新型コロナウイルス感染症による宿泊療養者への診療については「実施した」が16.4%、新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については「実施した」が95.4%であった。

図表 2-200 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況

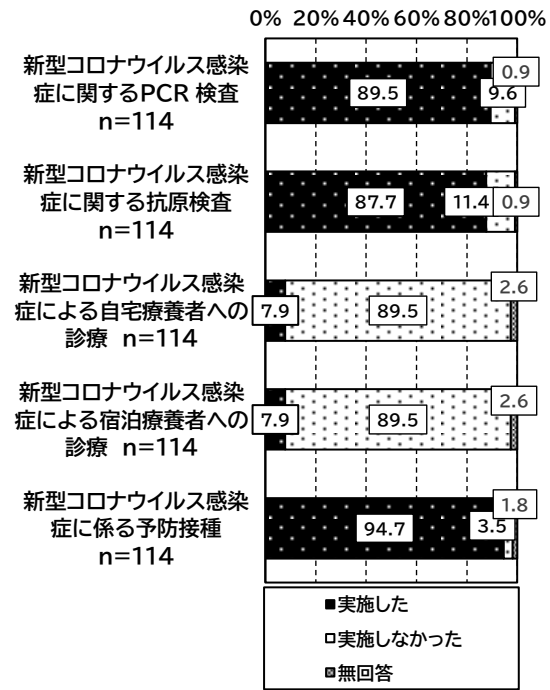


図表 2-201 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況
(病床規模別)

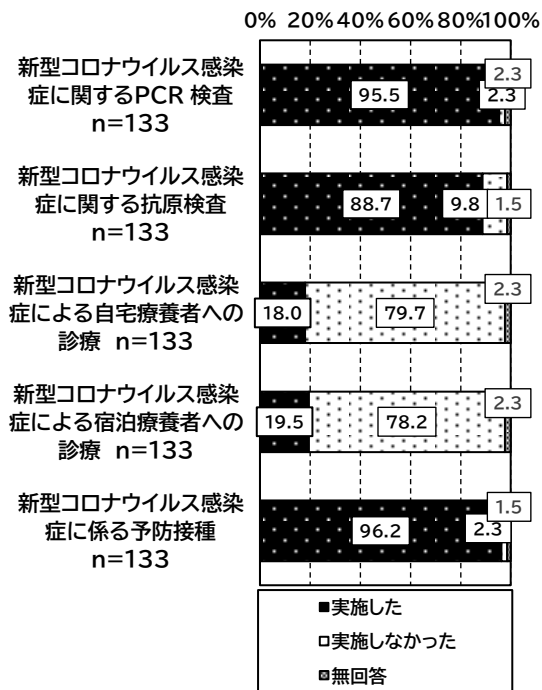
99 床以下



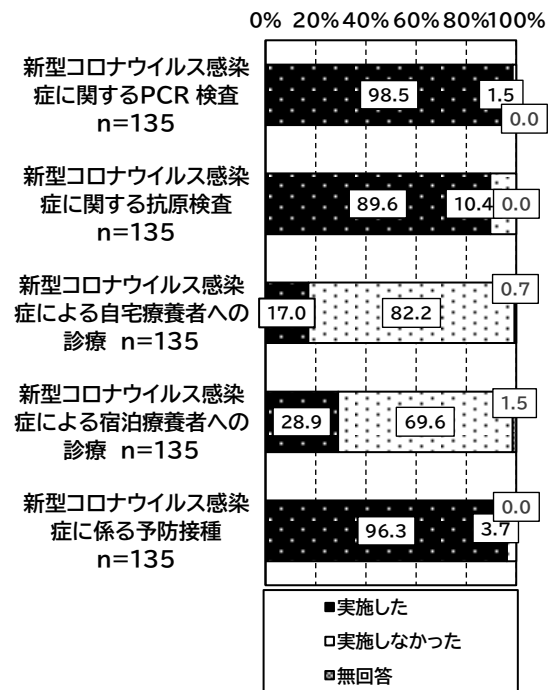
100~199 床



200~399 床

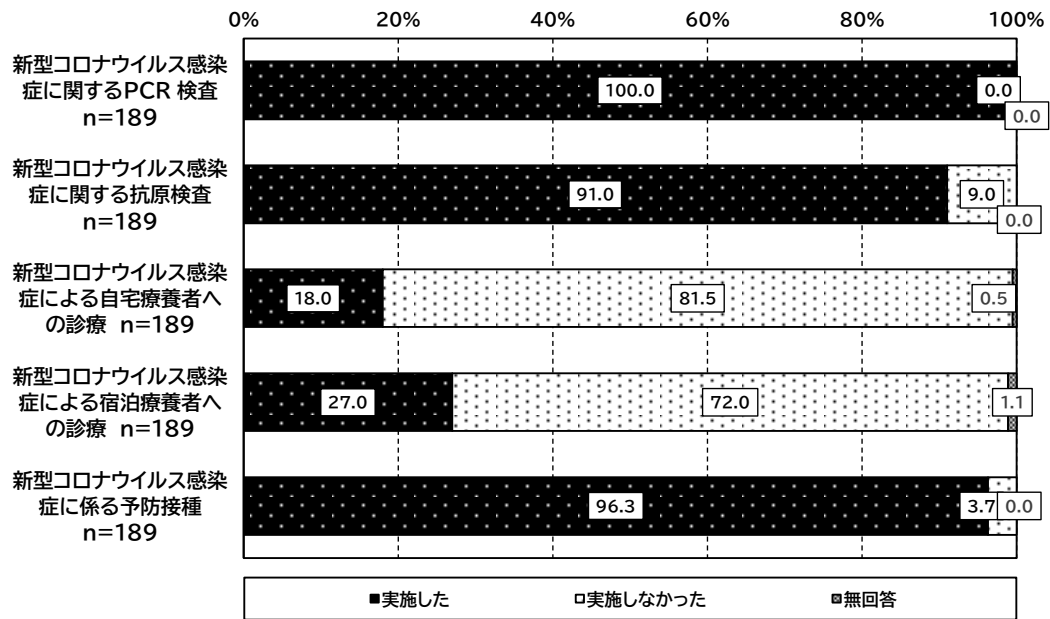


400 床以上

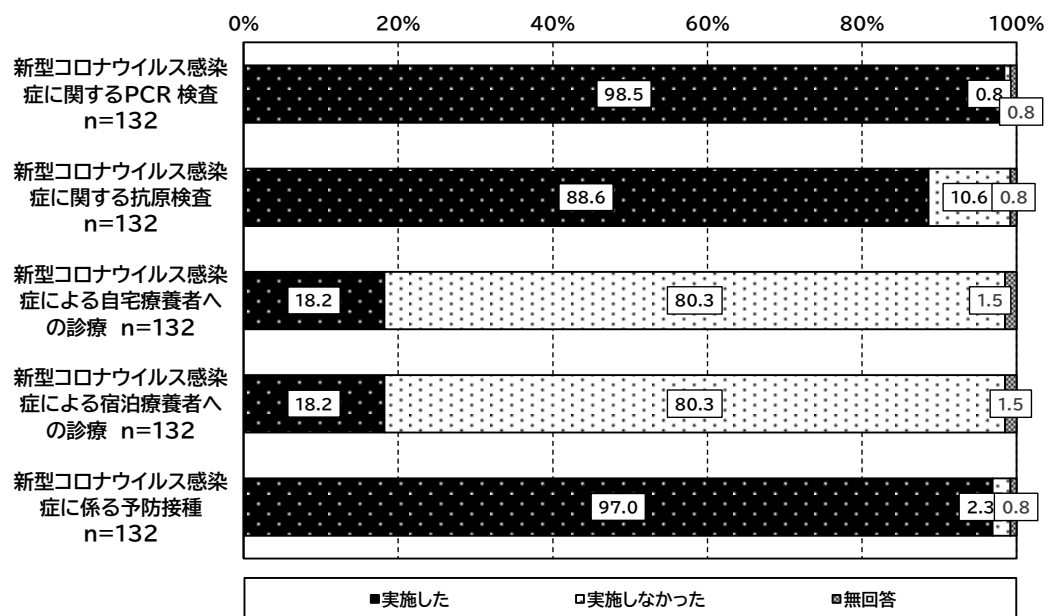


図表 2-202 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

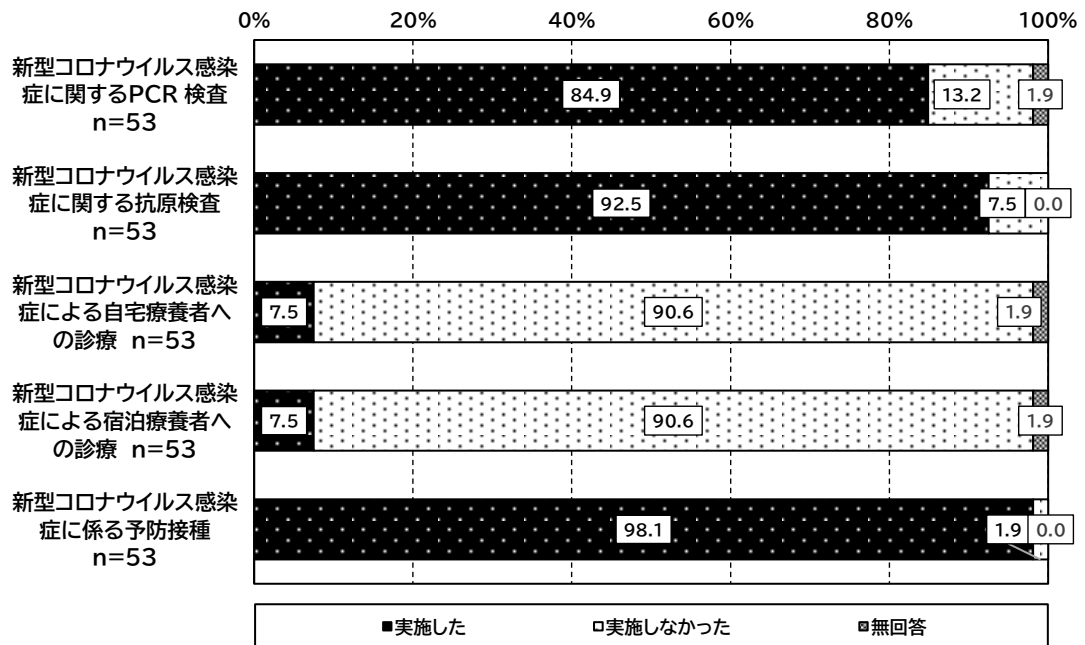
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
都道府県から指定されたことがある



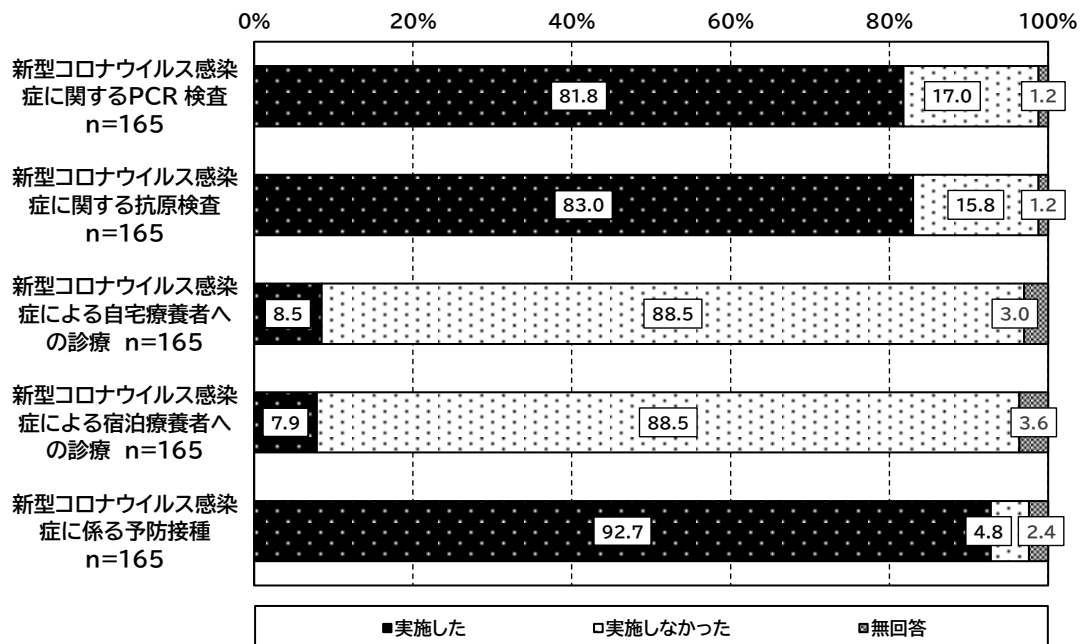
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
都道府県から指定されたことがある



その他

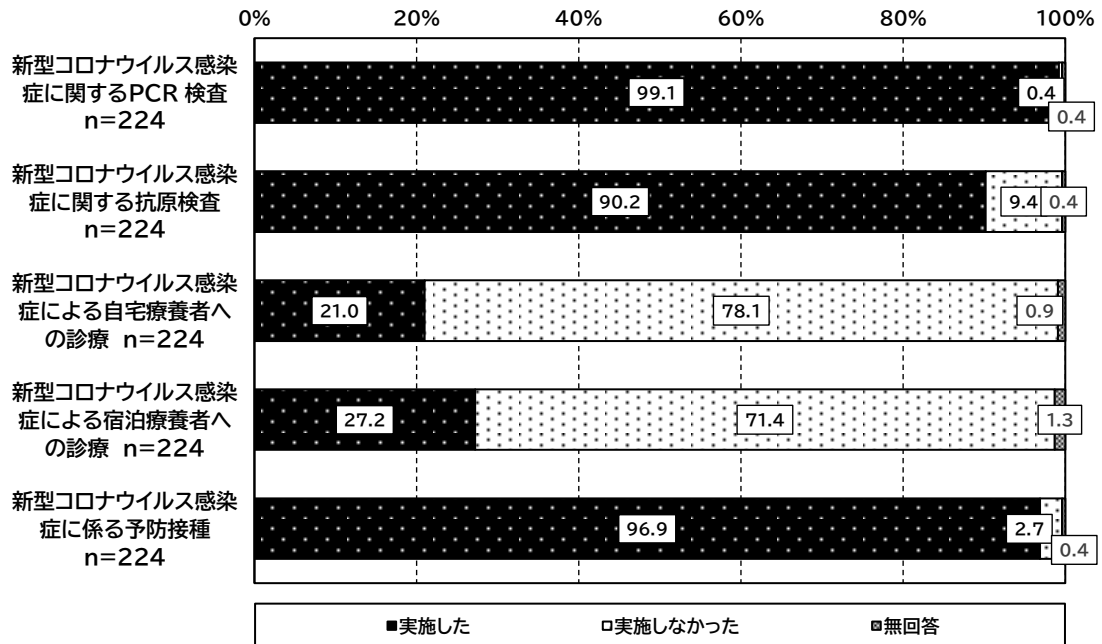


無回答

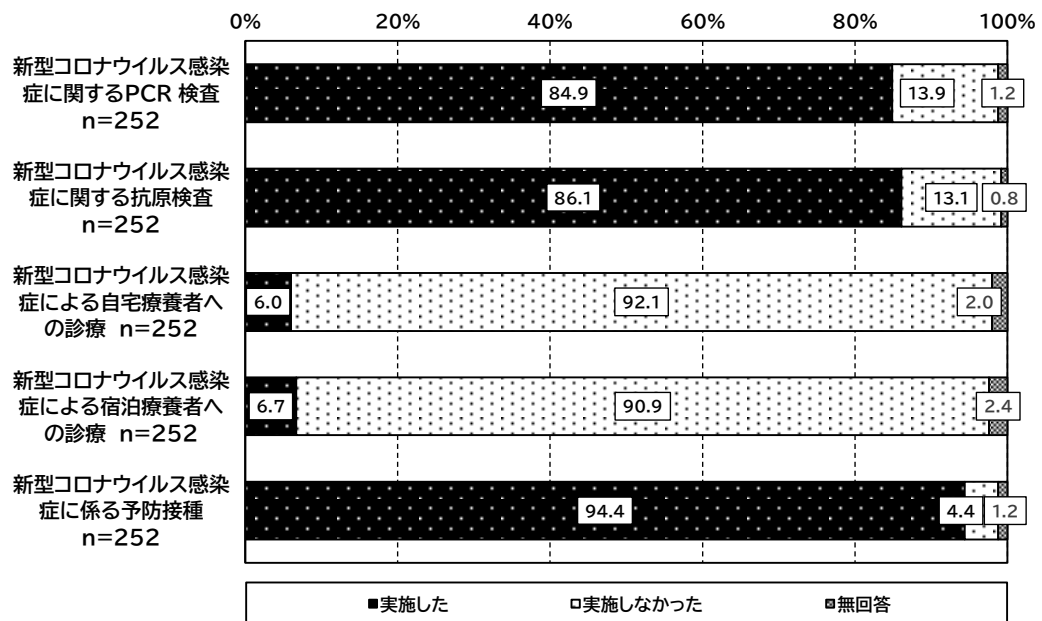


図表 2-203 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況
(地域医療体制確保加算の届出有無別)

地域医療体制確保加算の届出をしている

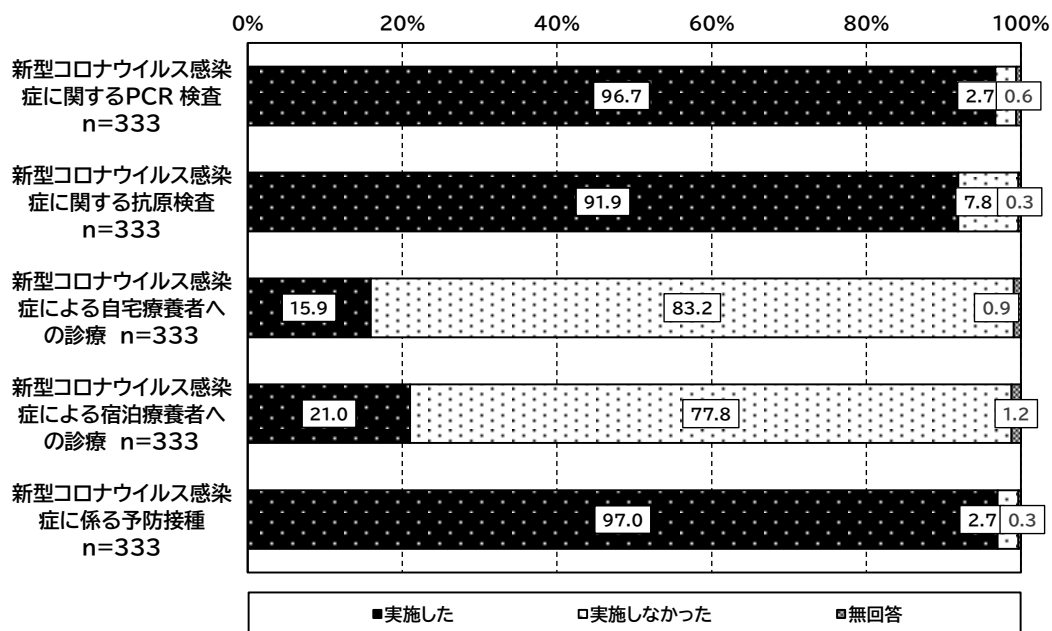


地域医療体制確保加算の届出をしていない

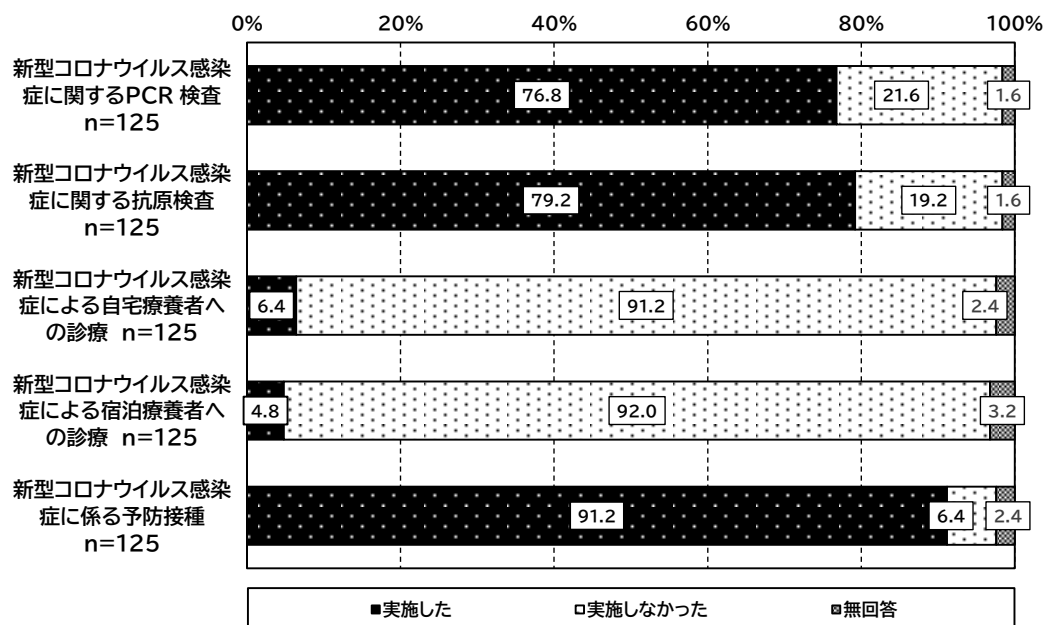


図表 2-204 新型コロナウイルス感染症に関する検査・診療等の実施状況
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)

医師事務作業補助体制加算の届出をしている



医師事務作業補助体制加算の届出をしていない



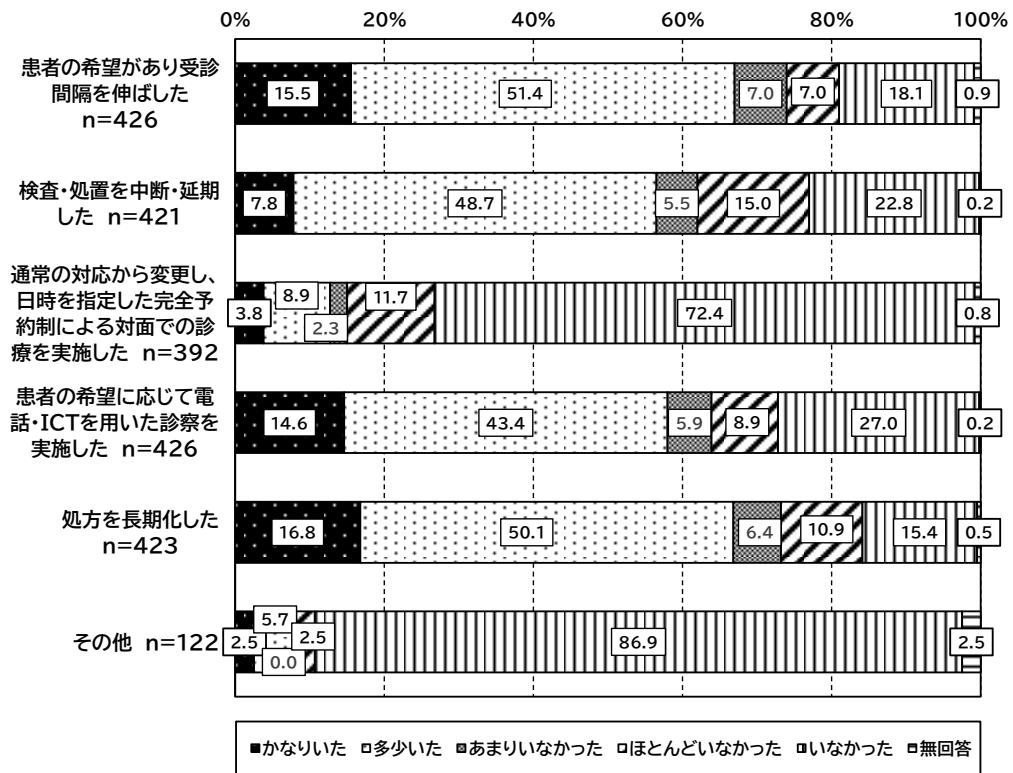
⑧ 患者の受療行動の変化に際して行った対応と患者の健康影響等

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、施設が患者の受療行動の変化に際して行った対応と、患者の健康影響等について確認した。

⑧ 1) 施設の実施した各対応を行った患者数

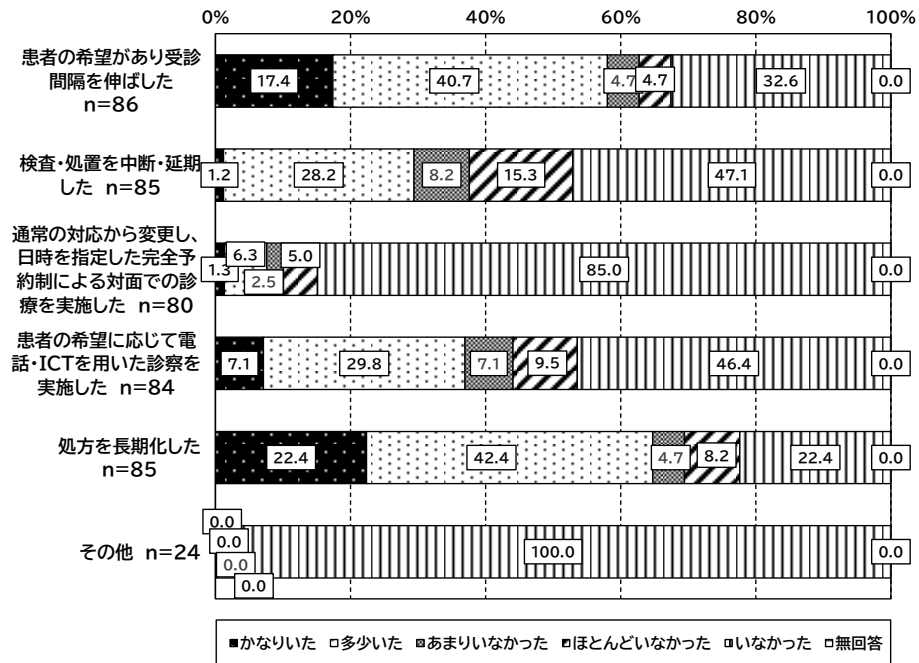
各施設で患者の受療行動の変化に際して実施した対応については、その対応を行った患者数を確認した。施設の実施した各対応を行った患者数について、「かなりいた」の割合が最も高かったのは、「処方を長期化した」で16.8%であった。

図表 2-205 施設の実施した各対応を行った患者数

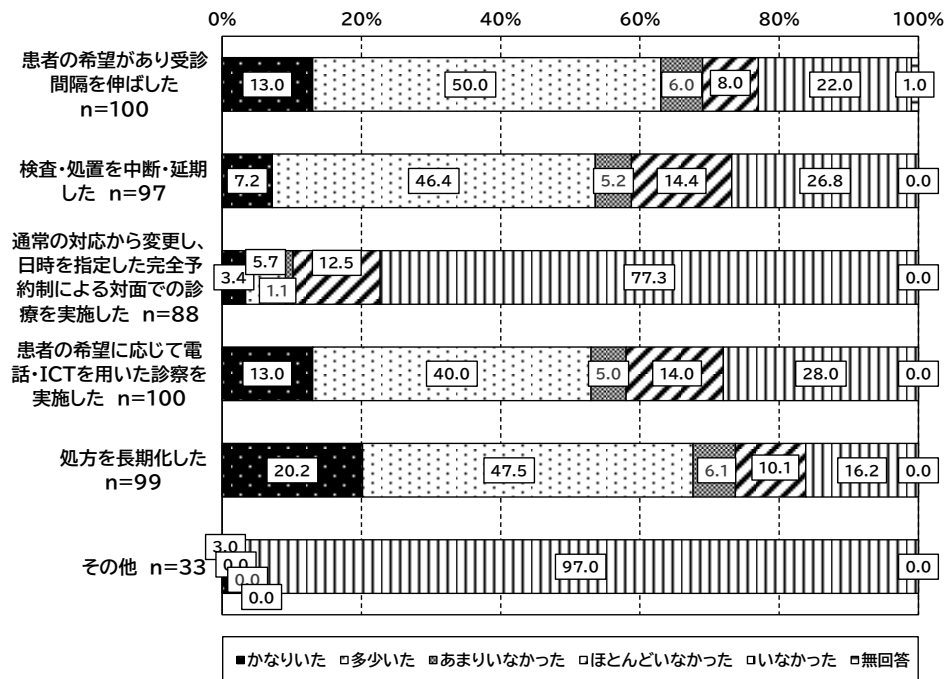


図表 2-206 施設の実施した各対応を行った患者数
(病床規模別)

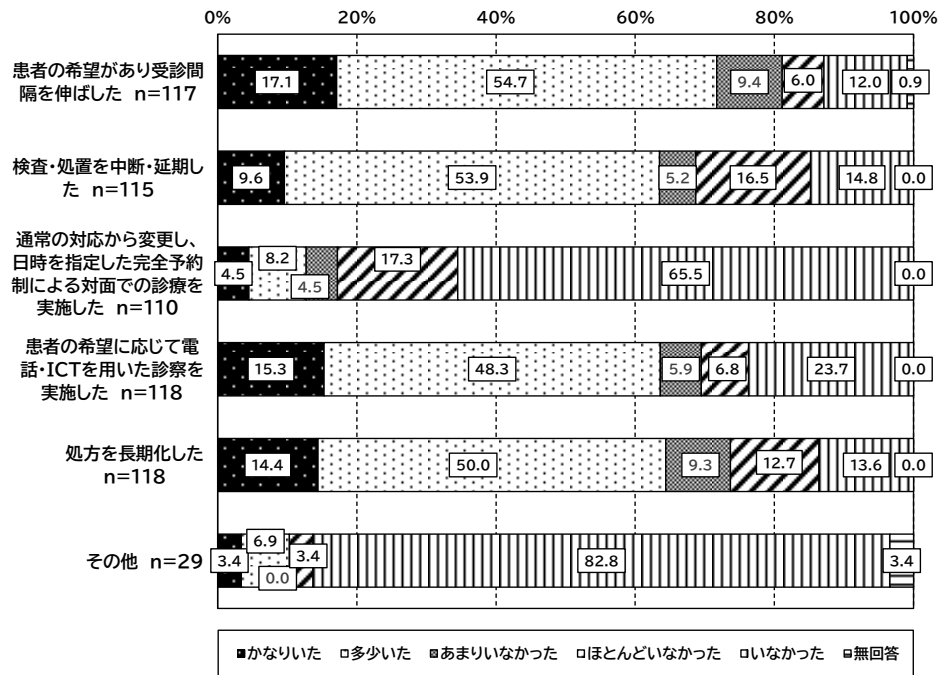
99 床以下



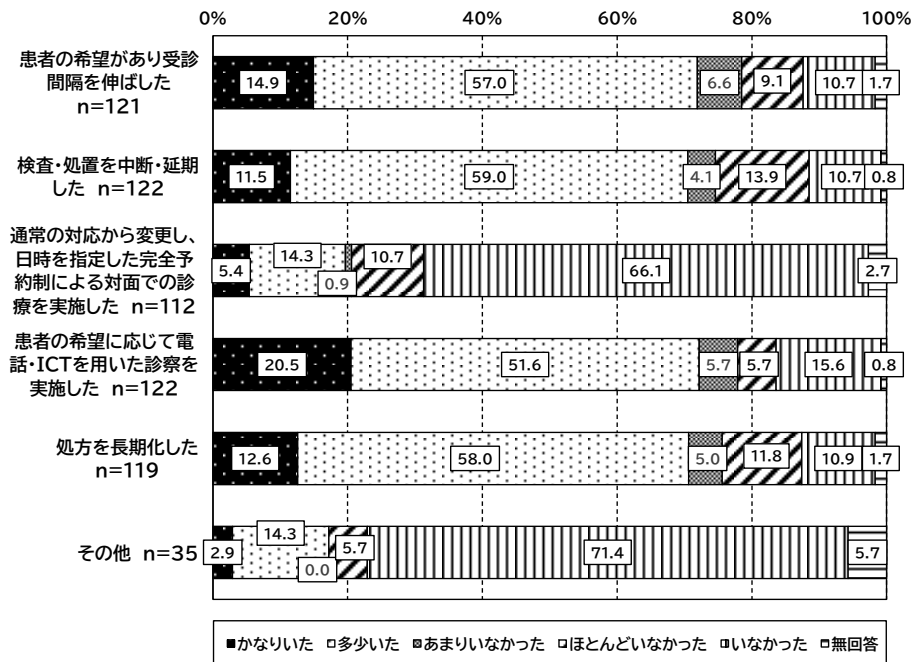
100~199 床



200~399 床

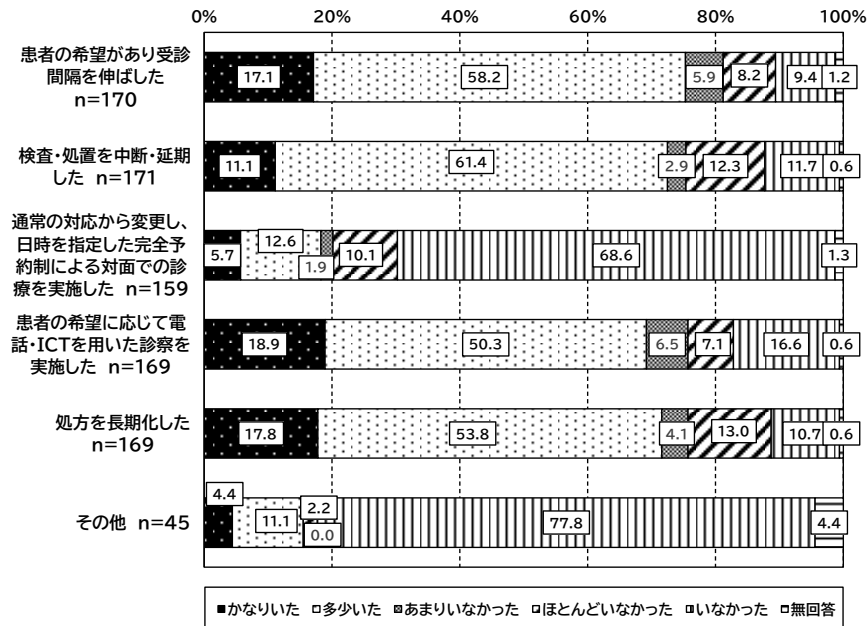


400 床以上

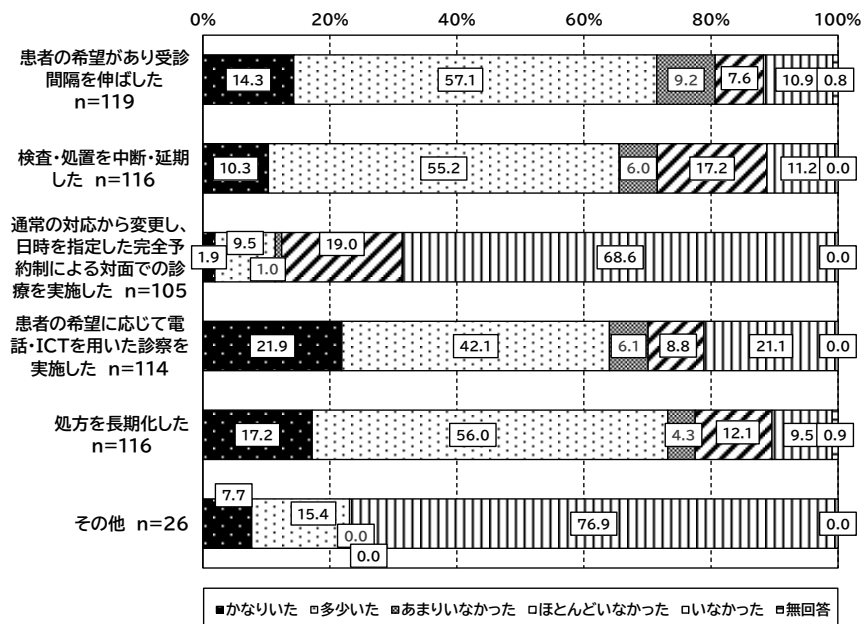


図表 2-207 施設の実施した各対応を行った患者数
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

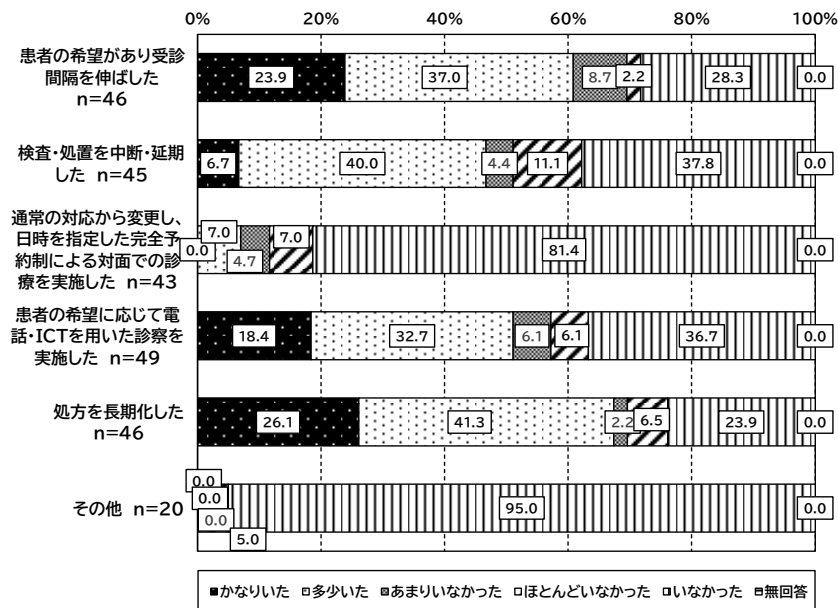
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



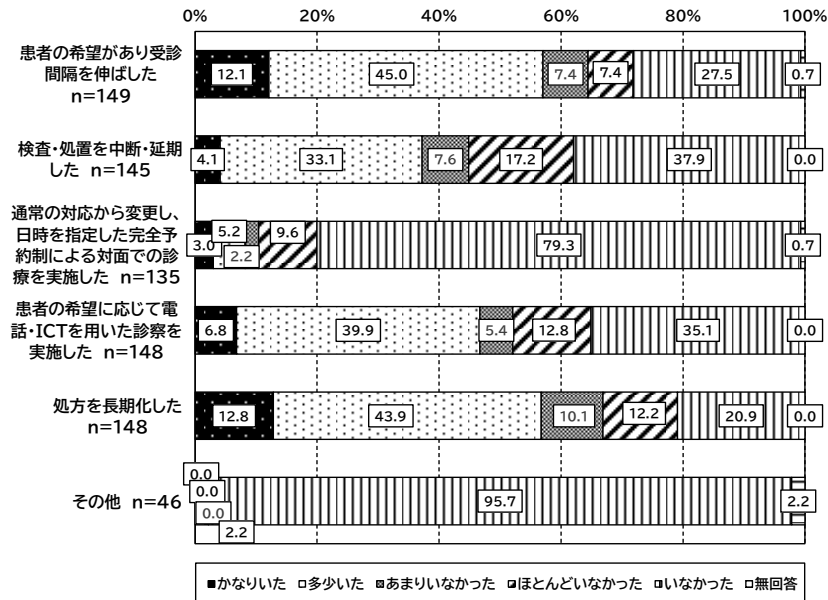
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



その他



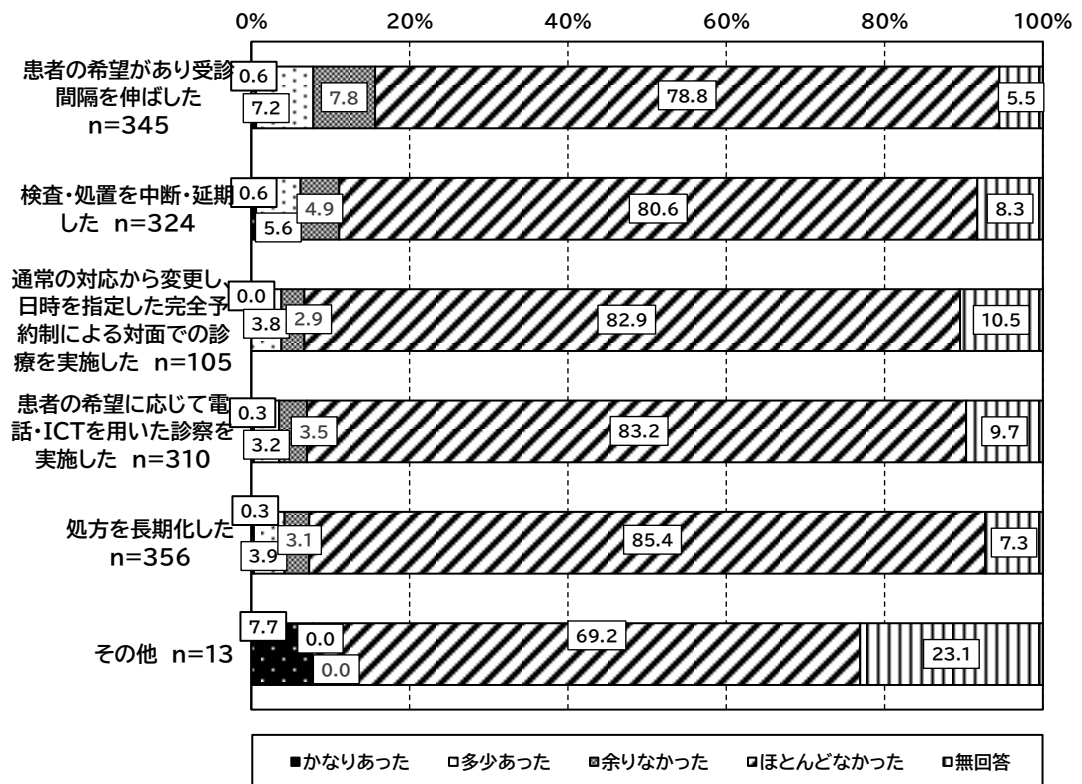
無回答



⑧ 2) 各対応を行った患者がいる場合の患者の健康影響

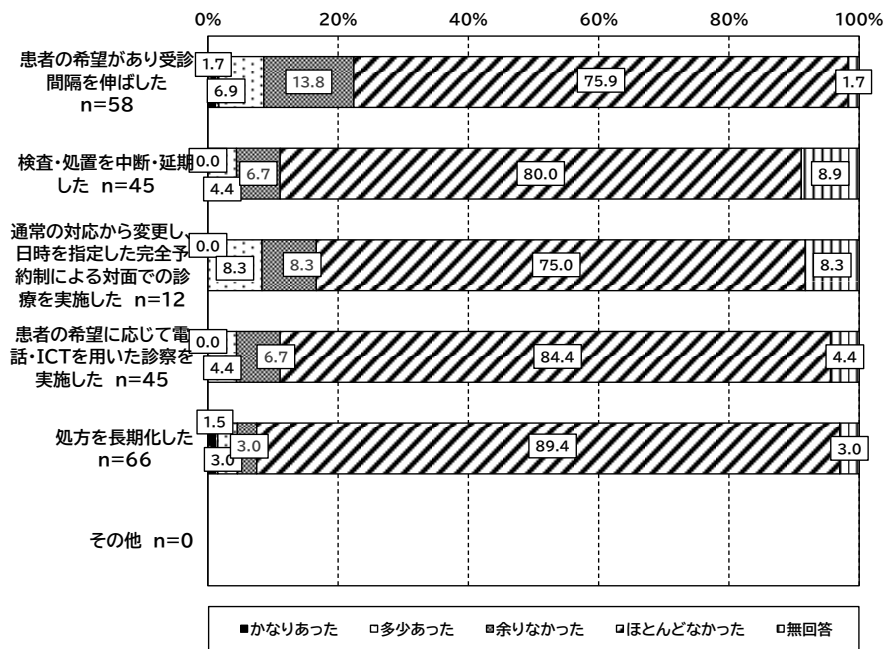
各施設で患者の受療行動の変化に際して実施した対応ごとに、その対応を行った患者数が「いなかった」以外であった場合、健康影響があったかを確認した。各対応を行った患者がいる場合の健康影響について、「かなりあった」と「多少あった」を合計した割合が最も高かったのは「患者の希望があり受診間隔を伸ばした」で7.8%（「かなりあった」：0.6%、「多少あった」：7.2%）であった。

図表 2-208 各対応を行った患者がいる場合の患者の健康影響

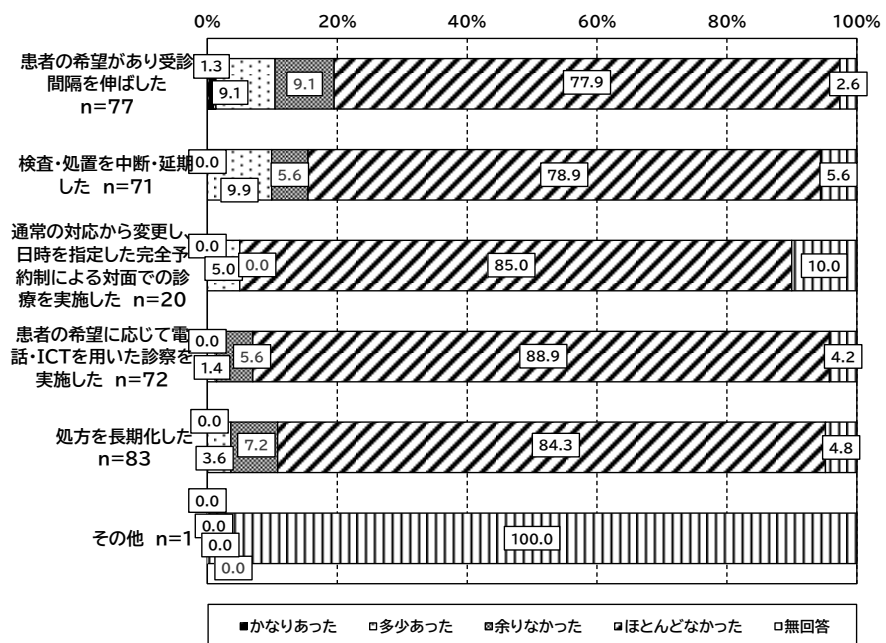


図表 2-209 各対応を行った患者がいる場合の患者の健康影響
(病床規模別)

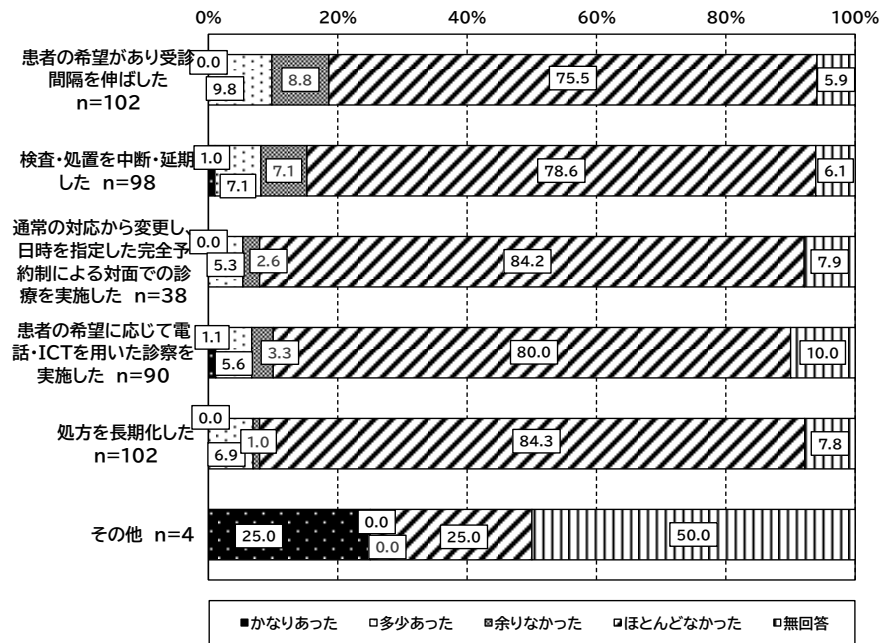
99 床以下



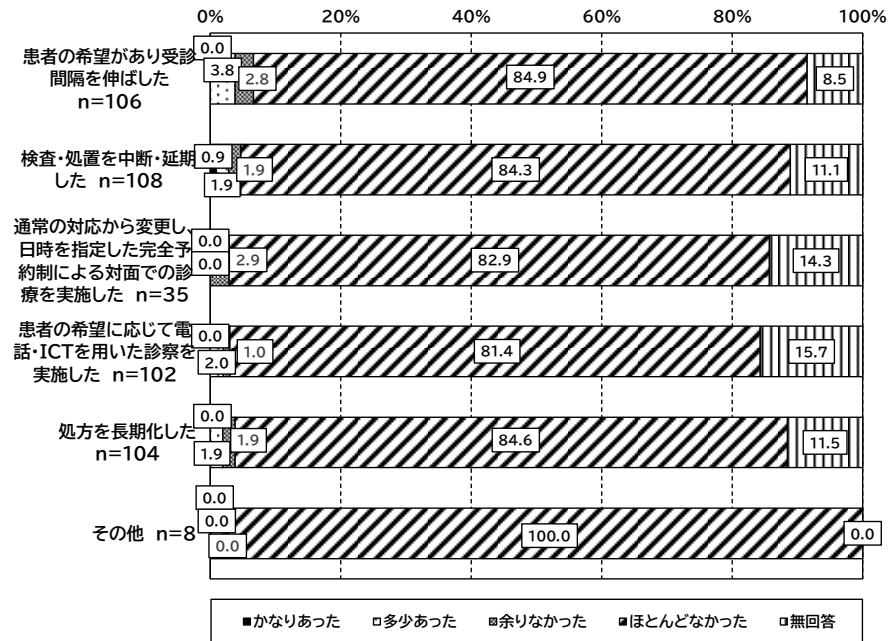
100~199 床



200~399床

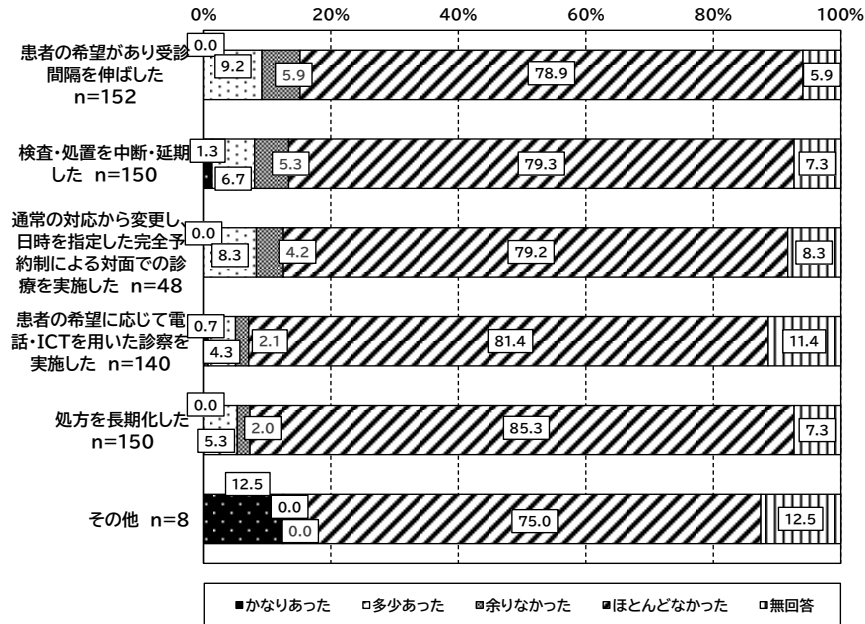


400床以上

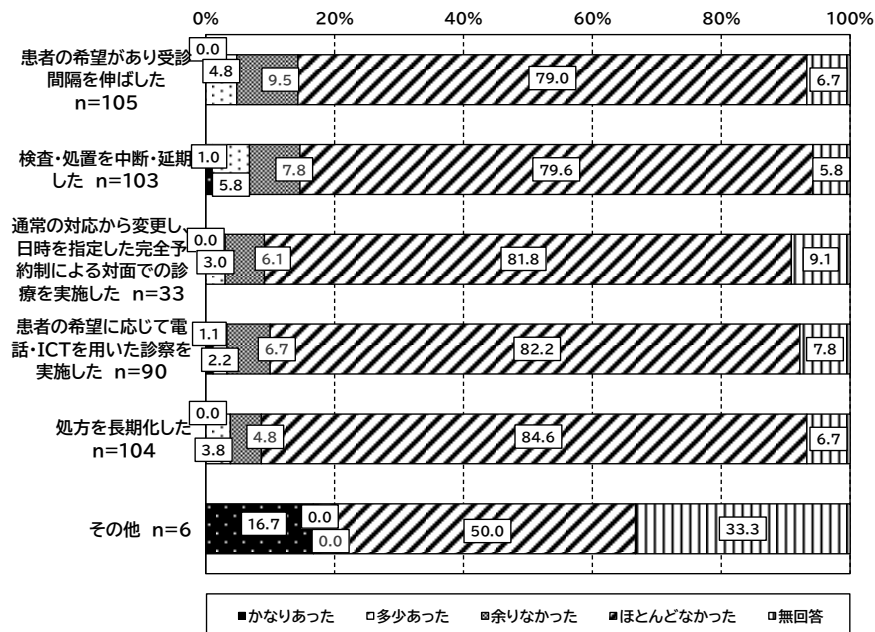


図表 2-210 各対応を行った患者がいる場合の患者の健康影響
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

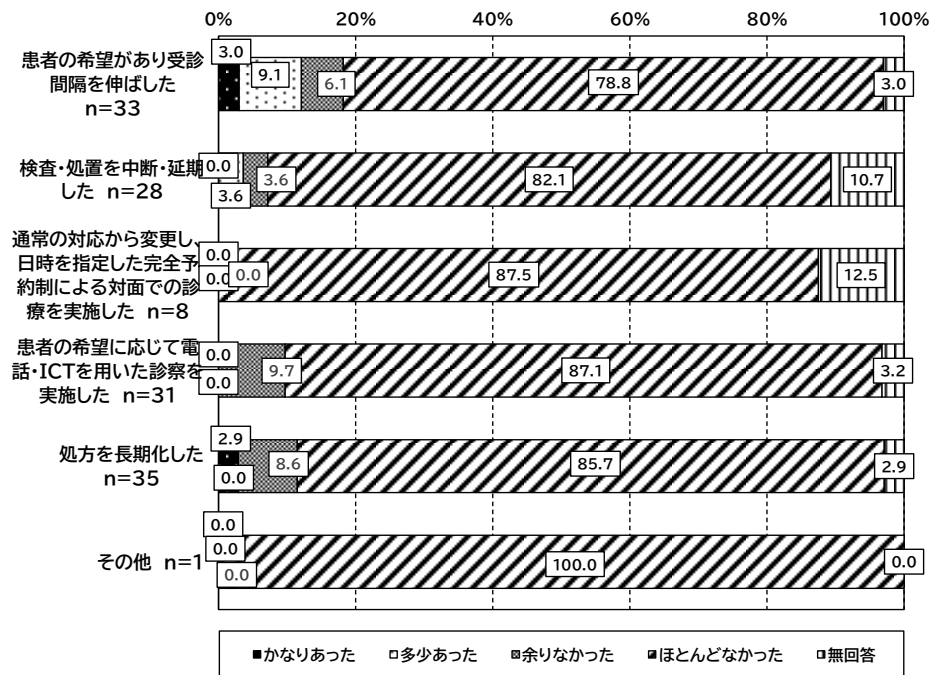
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



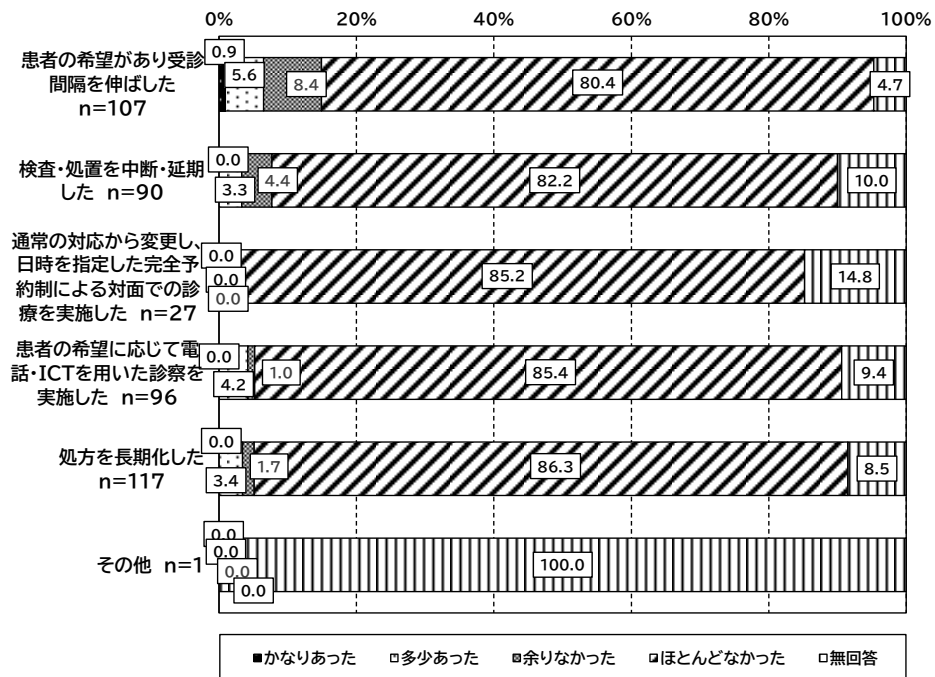
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



その他



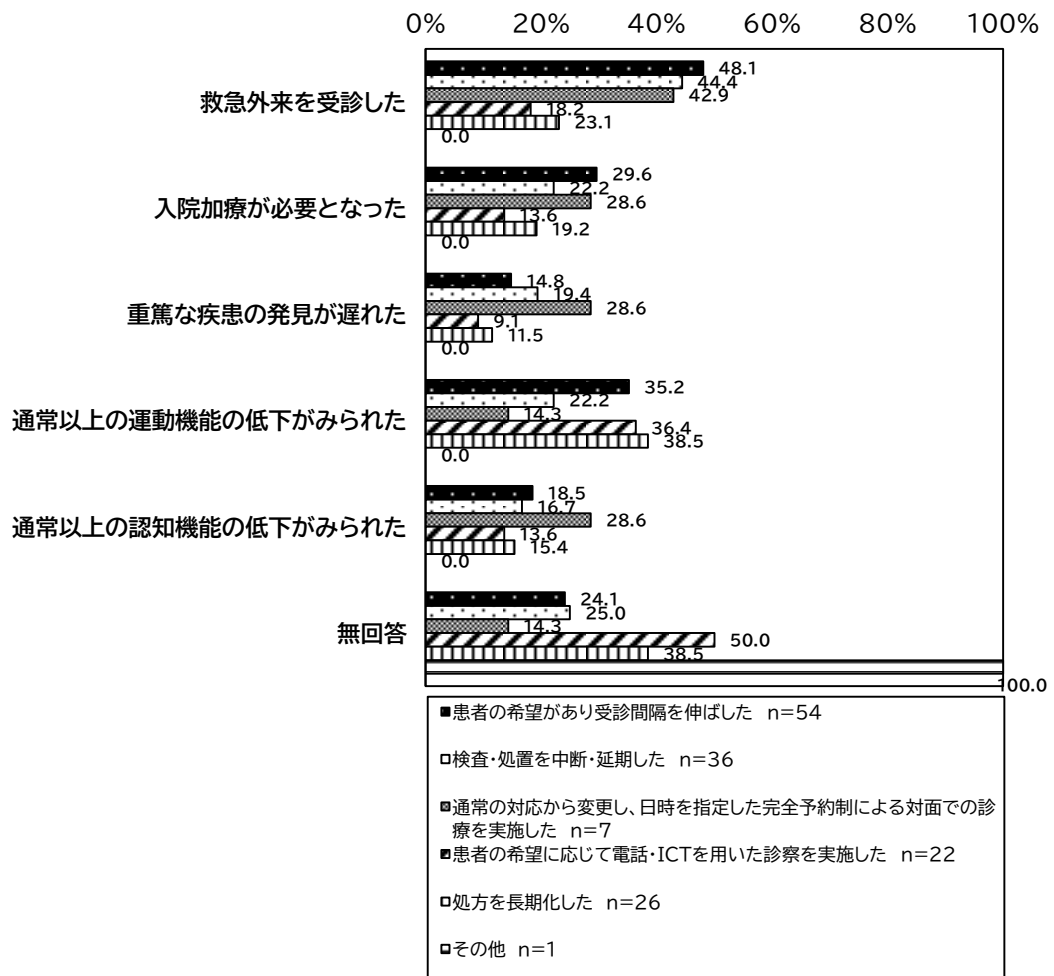
無回答



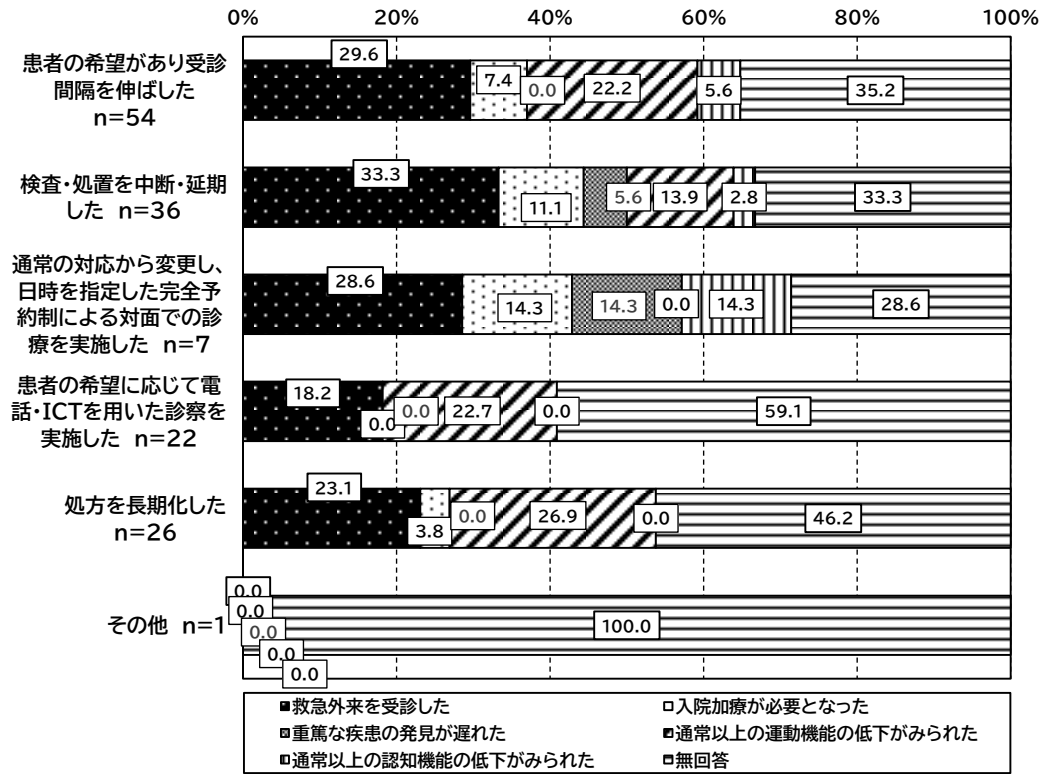
⑧ 3) 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容

各施設で患者の受療行動の変化に際して実施した対応については、その対応を行った患者数と健康影響を確認し、健康影響が「ほとんどなかった」以外の回答をした場合、その具体的な内容を尋ねた。その結果は以下のとおりであった。

図表 2-211 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
(複数回答)

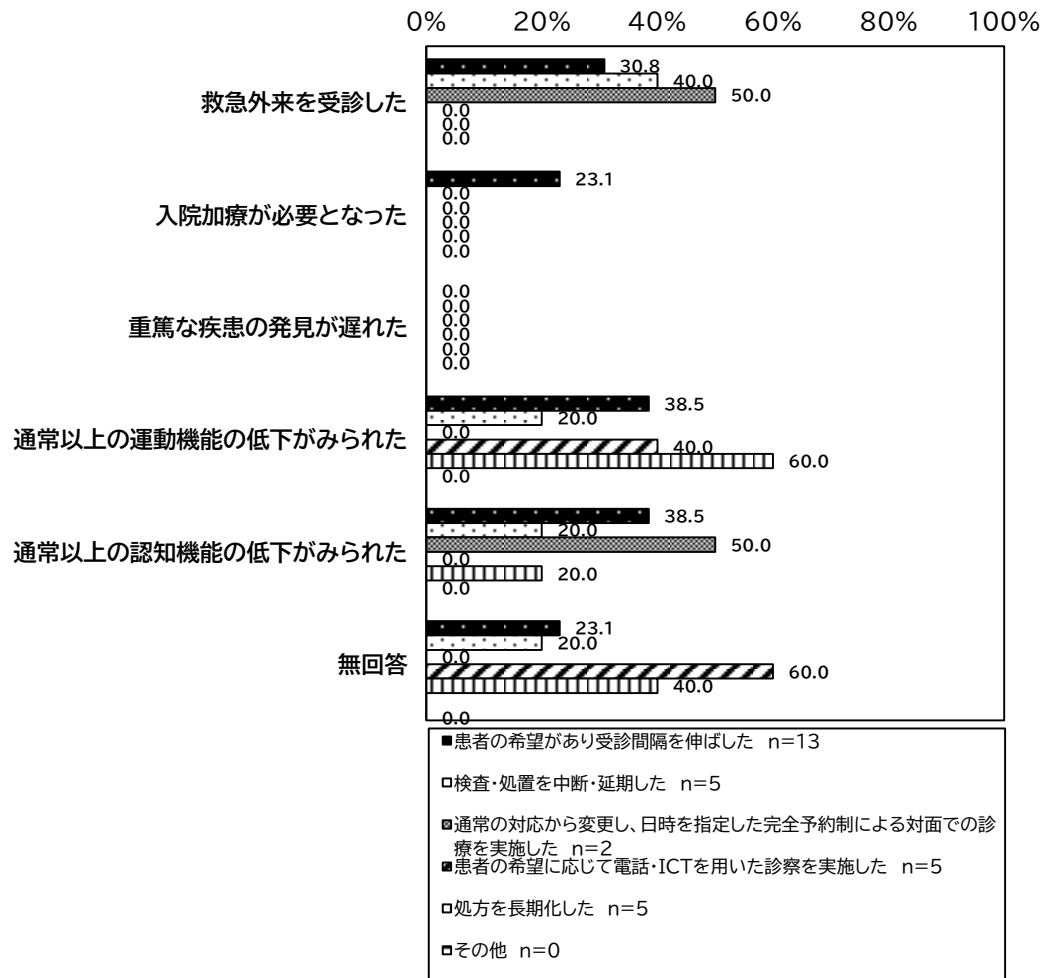


図表 2-212 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
(最もあてはまるもの)

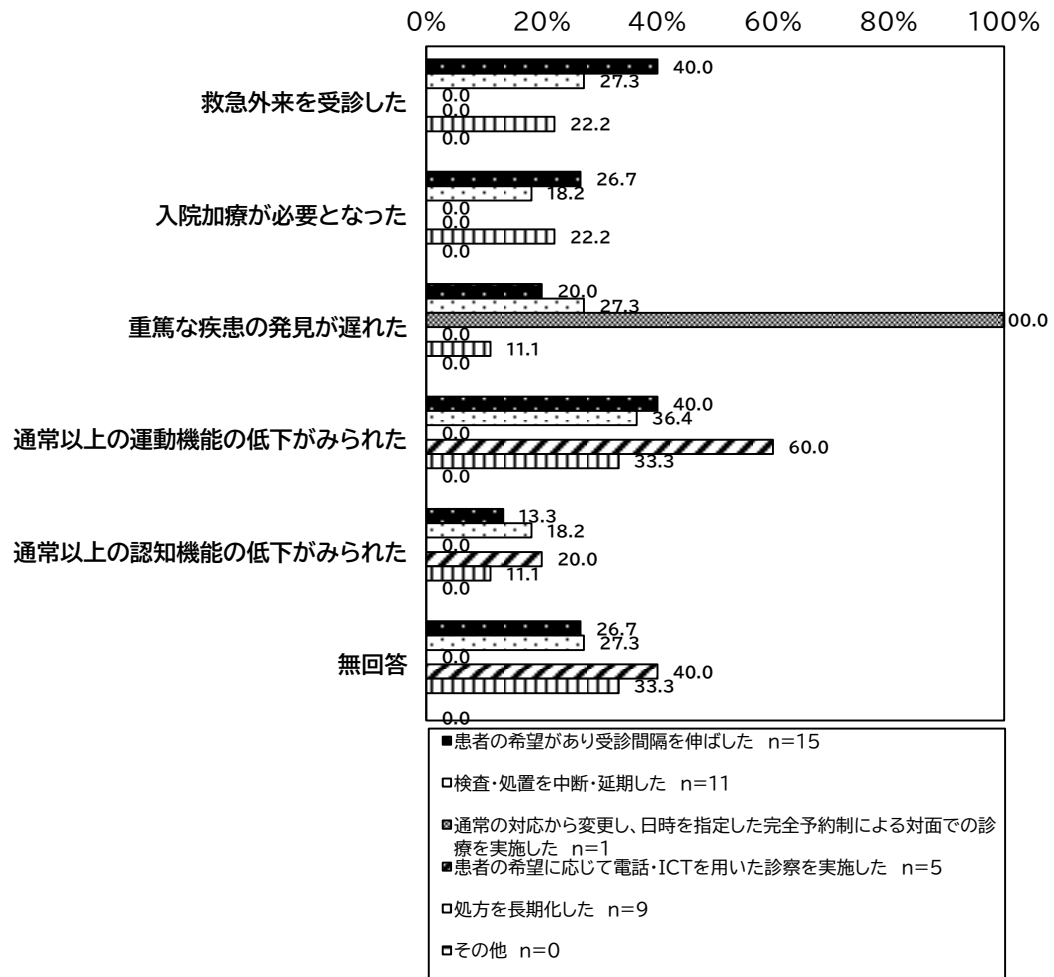


図表 2-213 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
 (複数回答)
 (病床規模別)

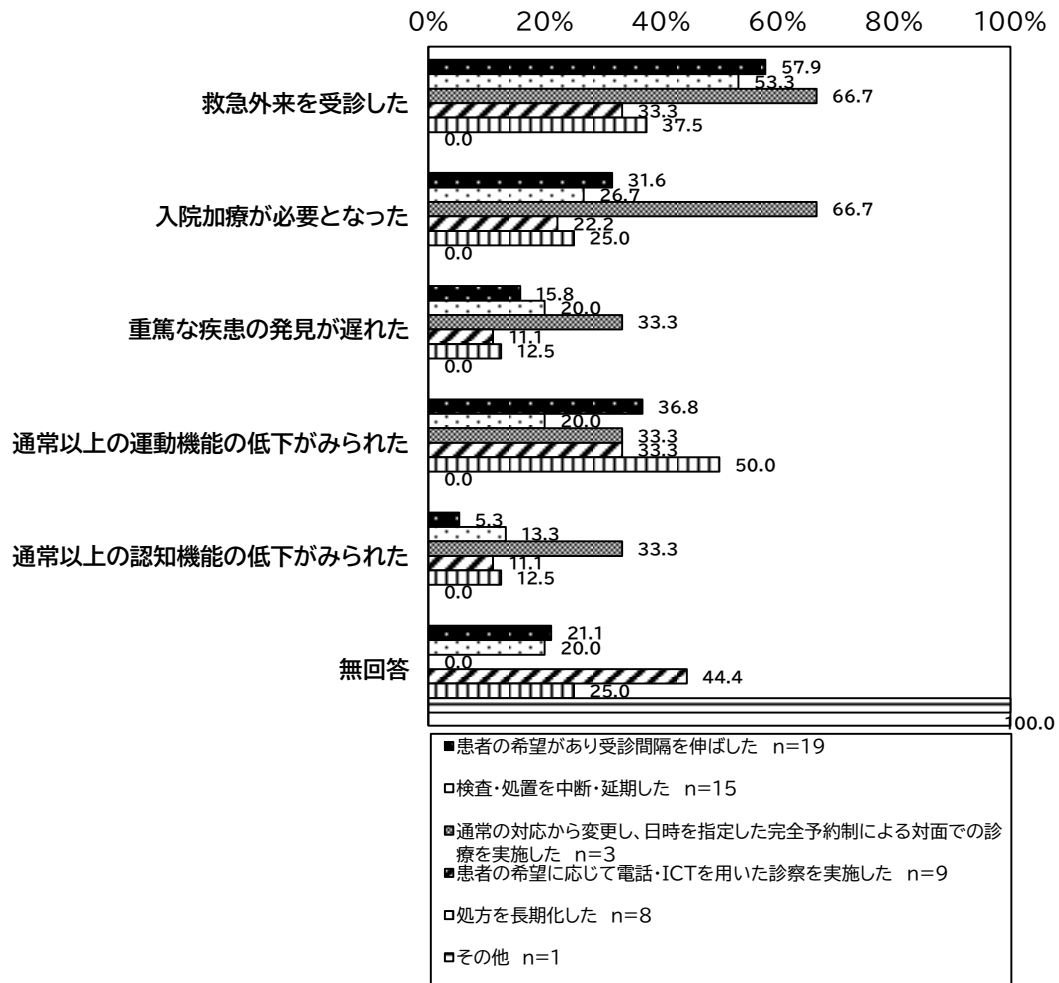
99 床以下



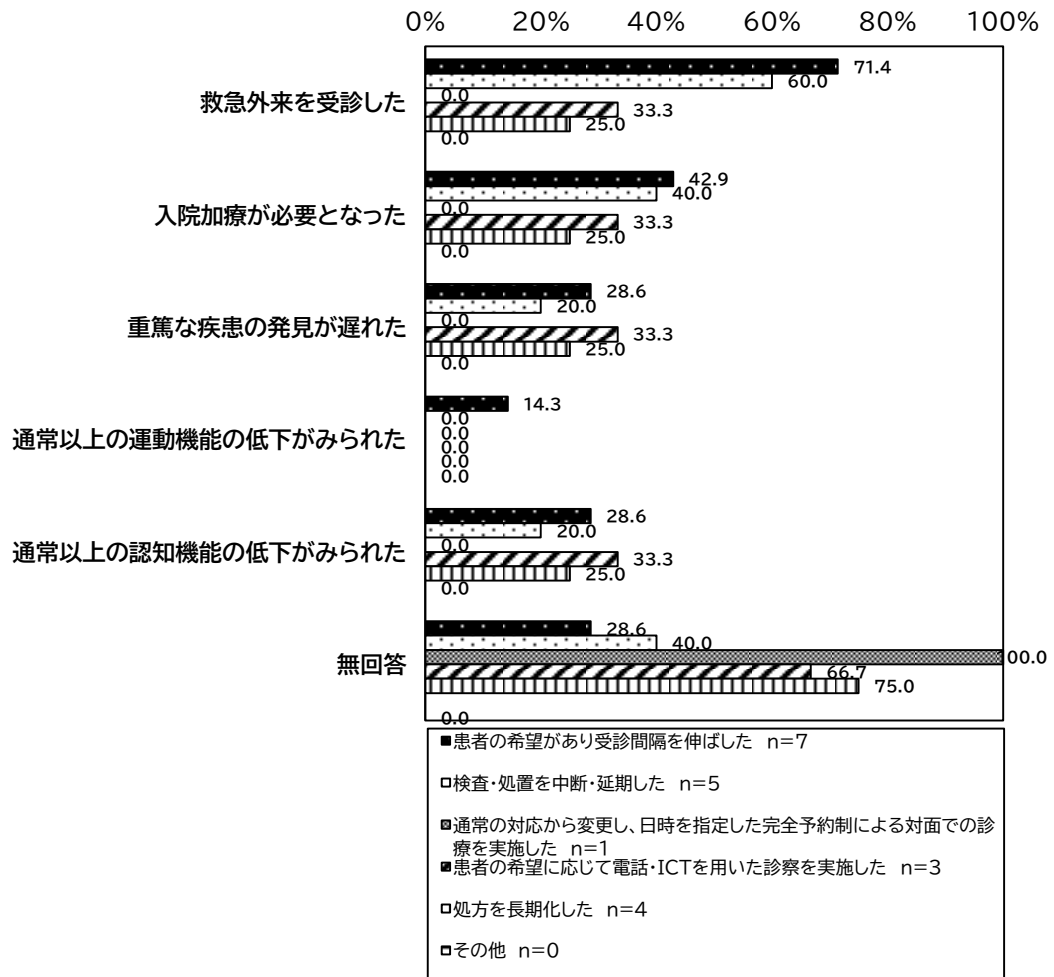
100~199 床



200~399 床

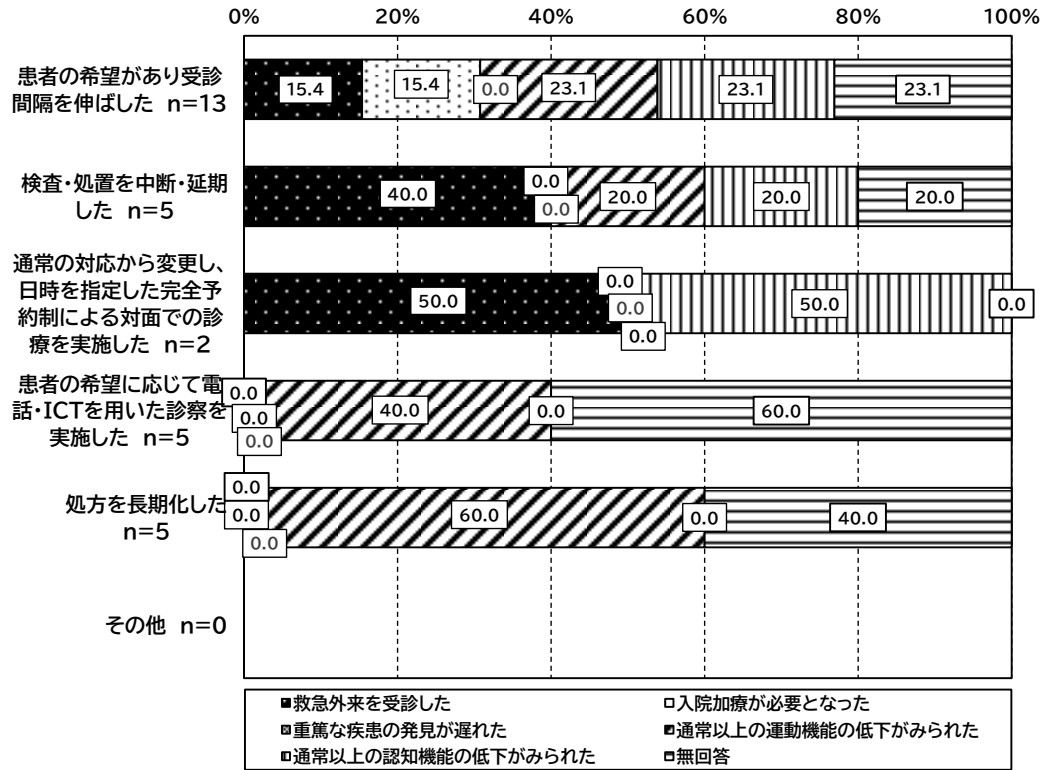


400 床以上

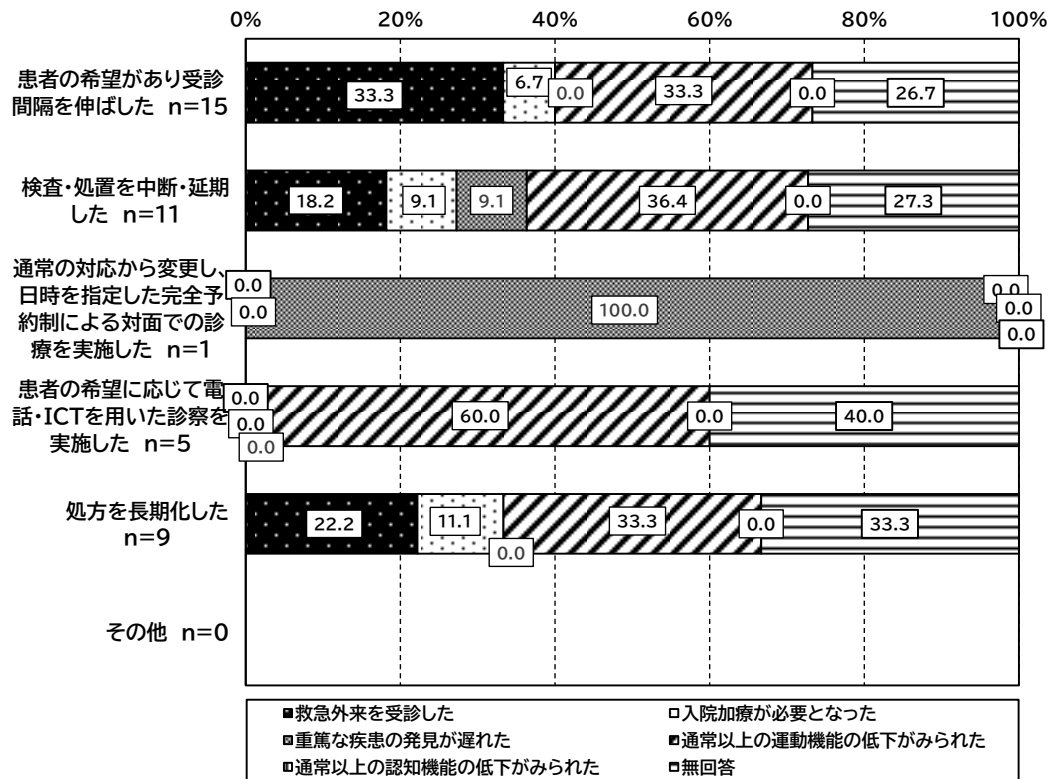


図表 2-214 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
 (最もあてはまるもの)
 (病床規模別)

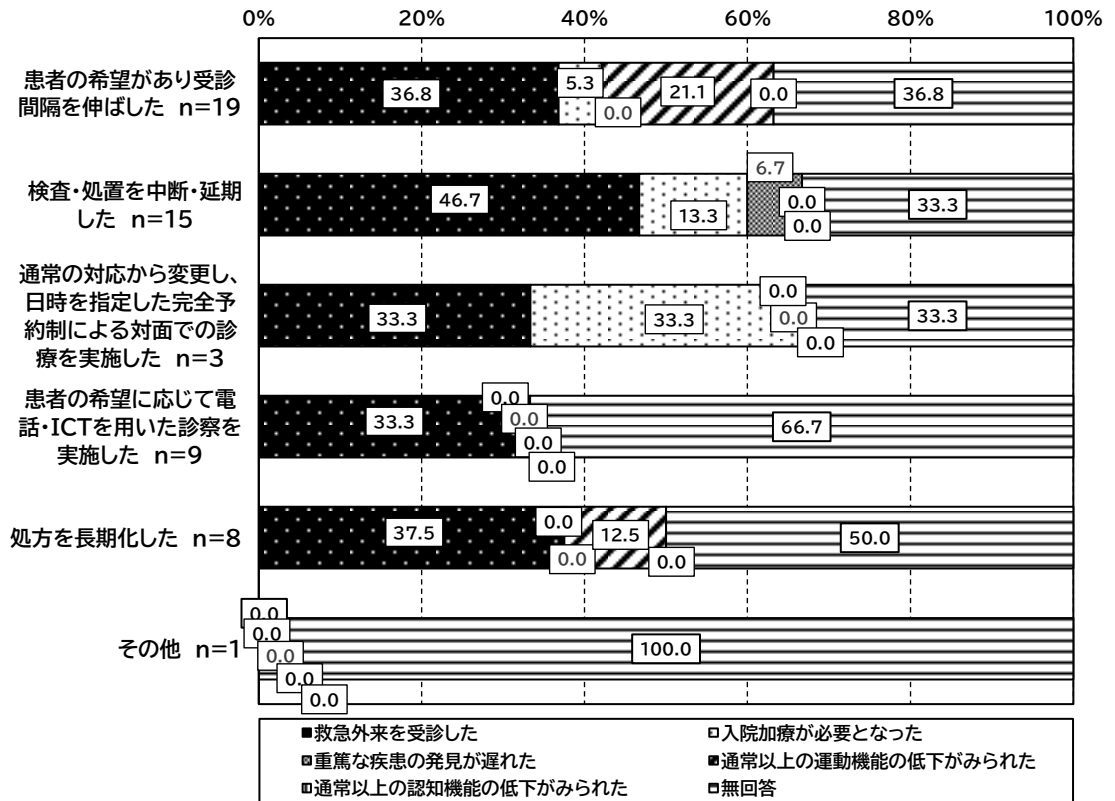
99 床以下



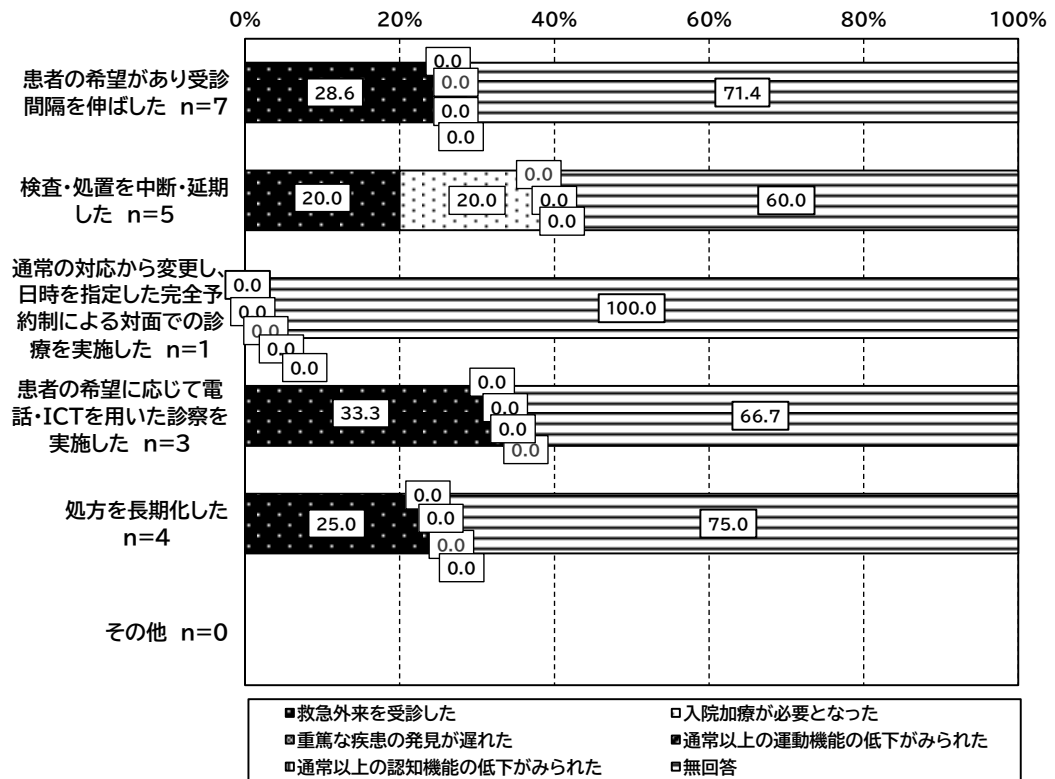
100~199床



200~399 床



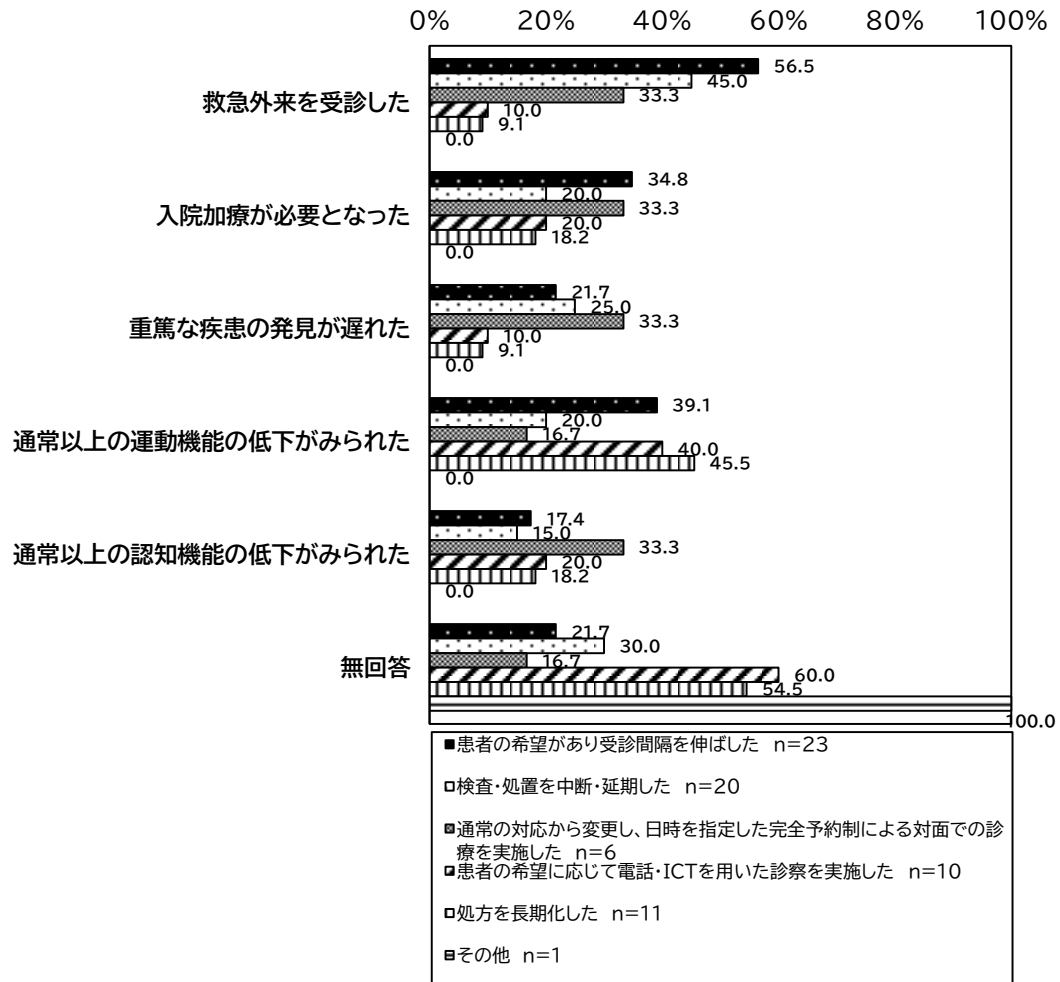
400 床以上



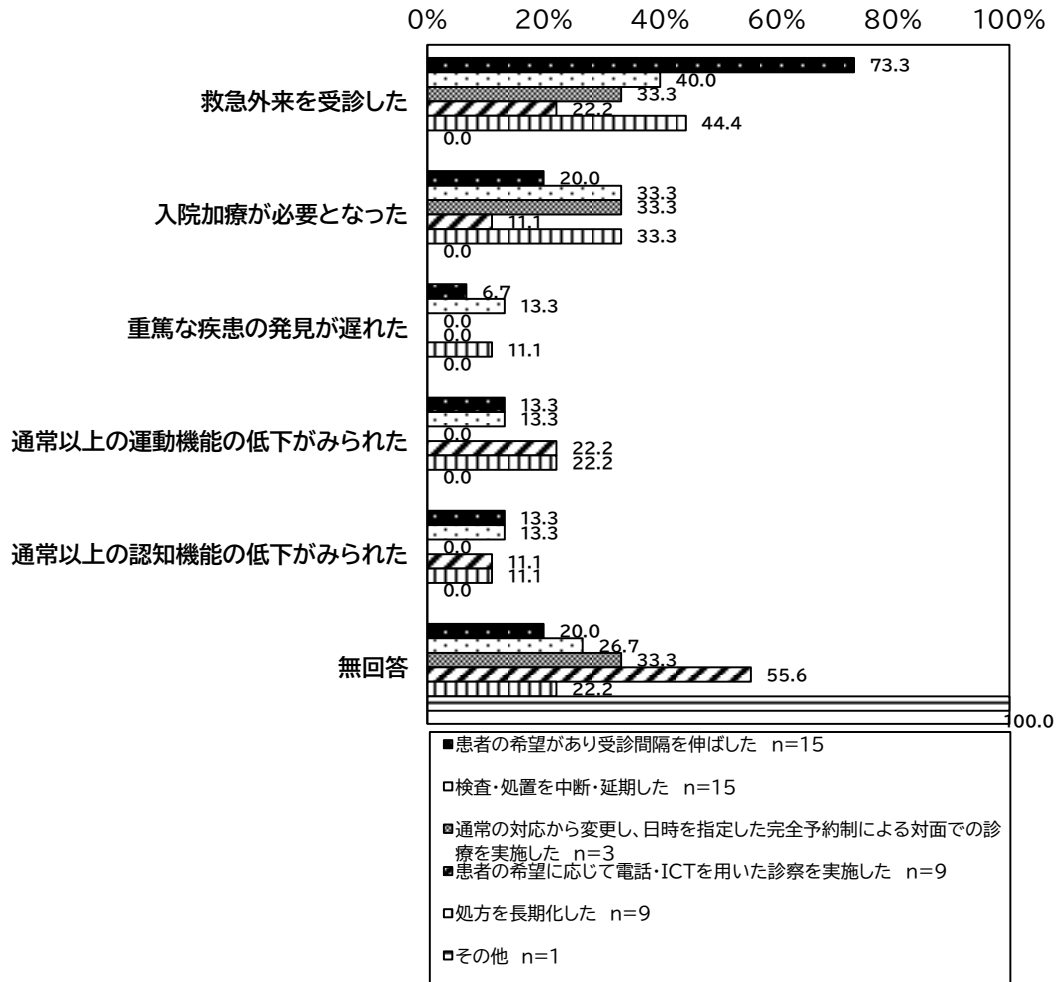
図表 2-215 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
(複数回答)

(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

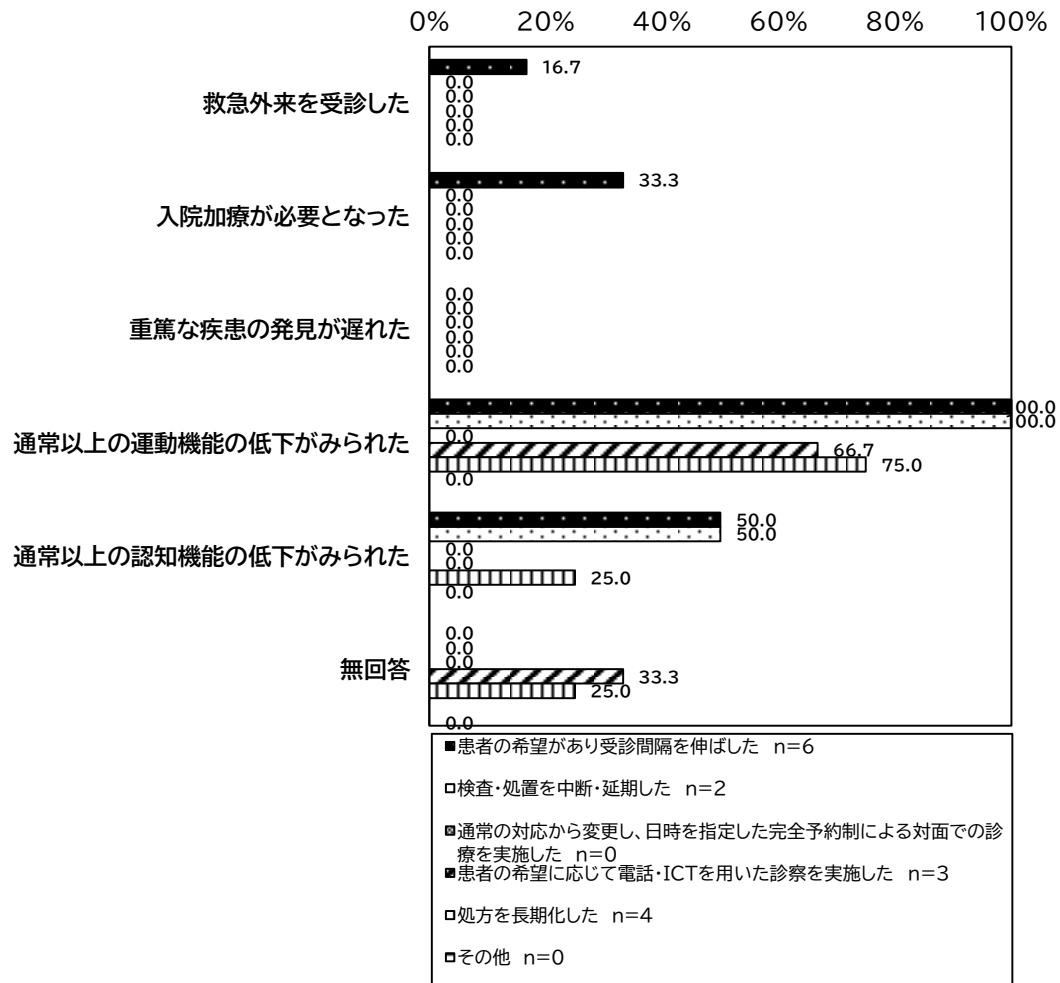
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
都道府県から指定されたことがある



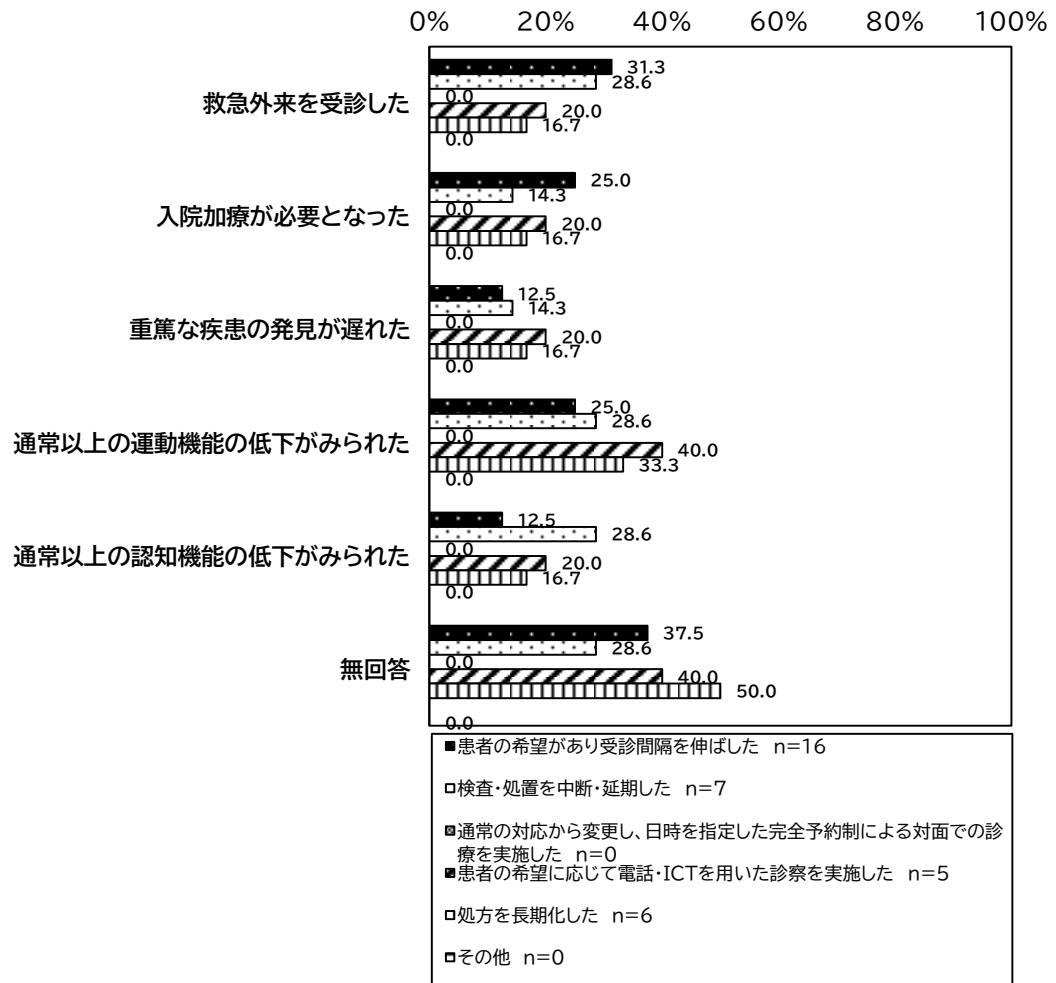
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
都道府県から指定されたことがある



その他

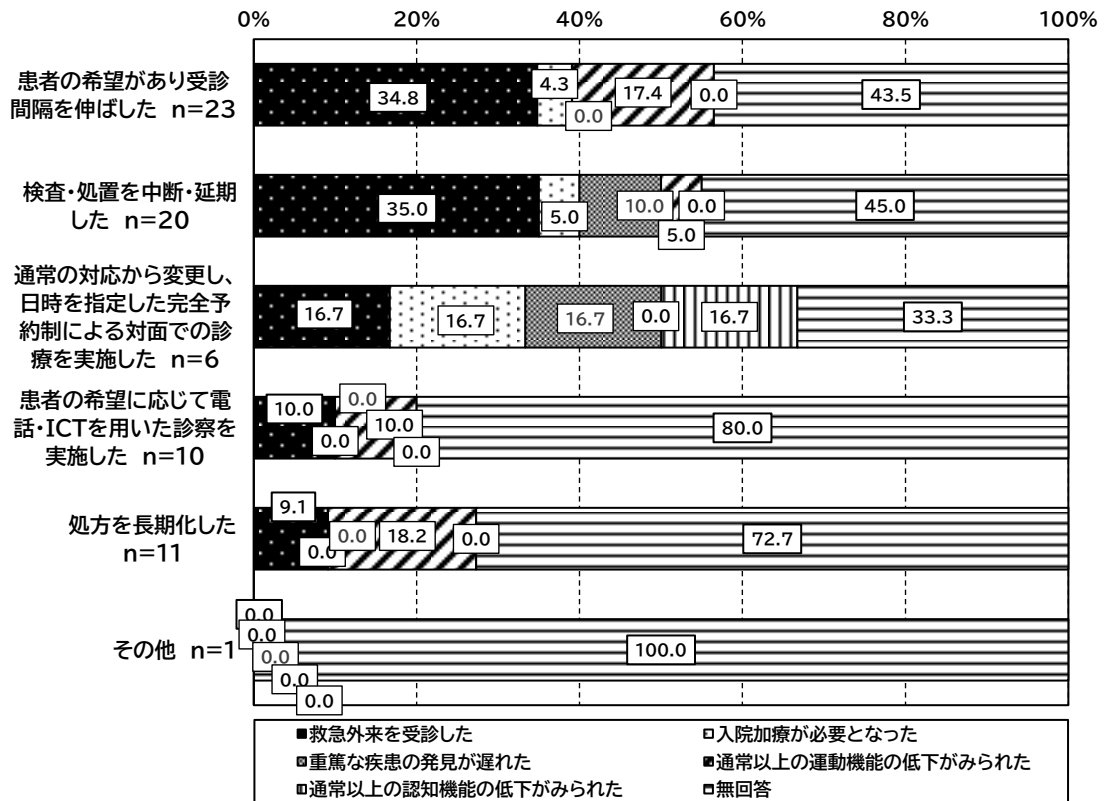


無回答

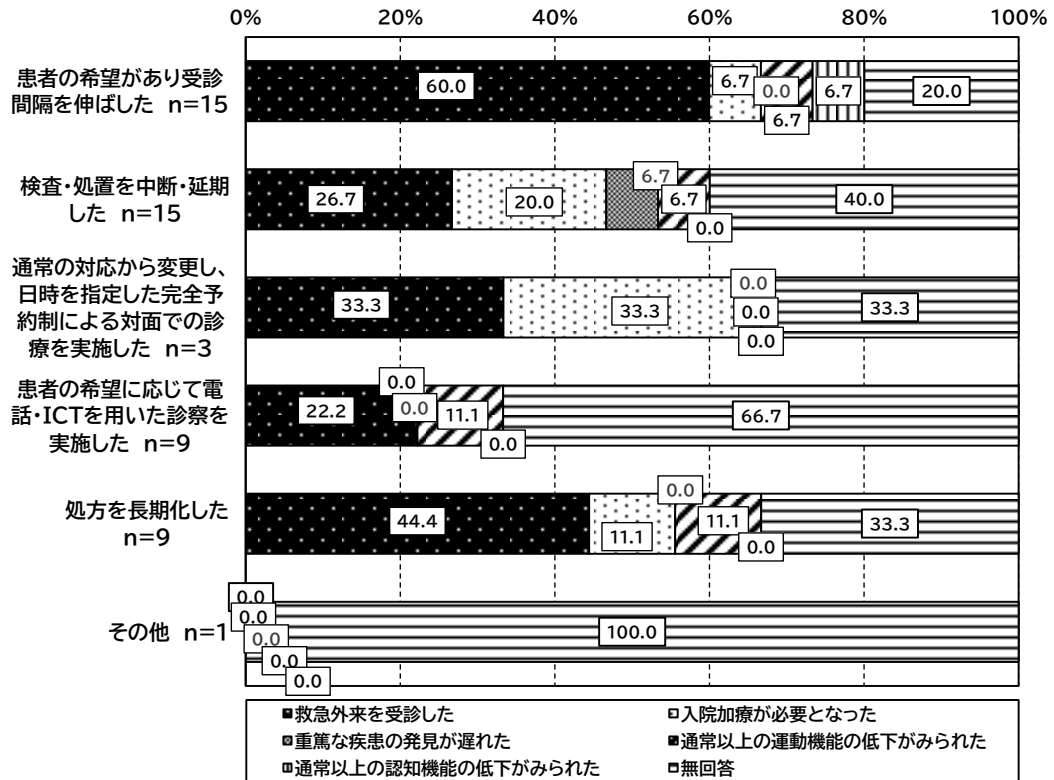


図表 2-216 健康影響が「ほとんどなかった」以外の場合、患者の健康影響の内容
 (最もあてはまるもの)
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

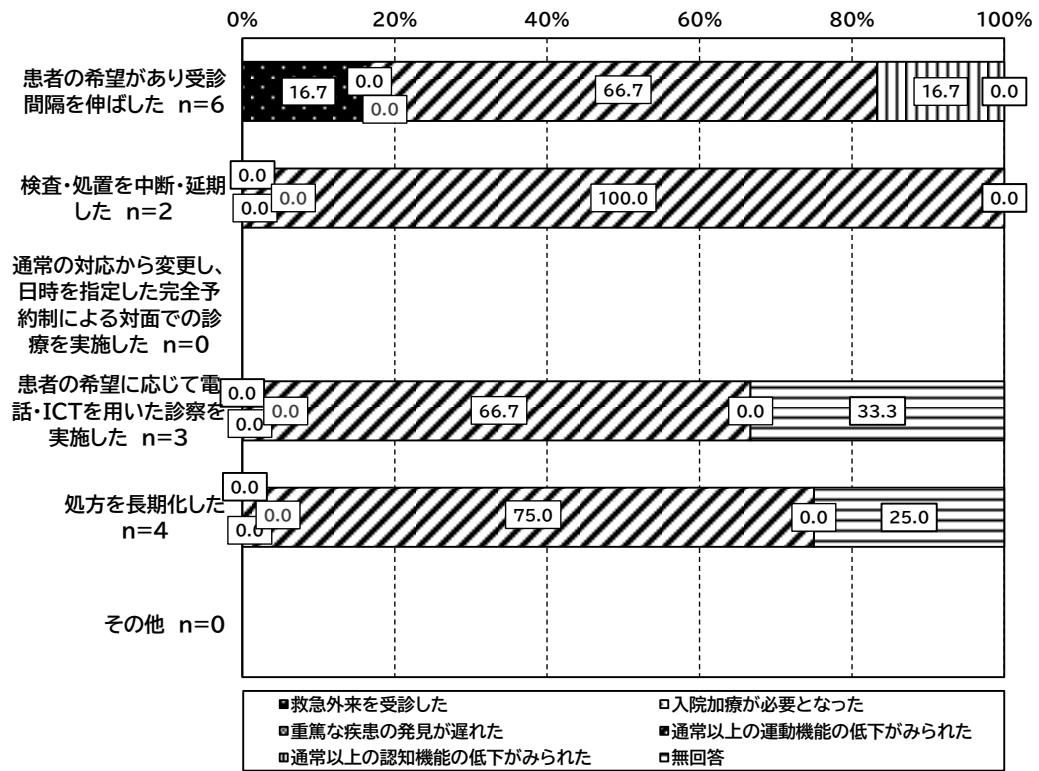
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
 都道府県から指定されたことがある



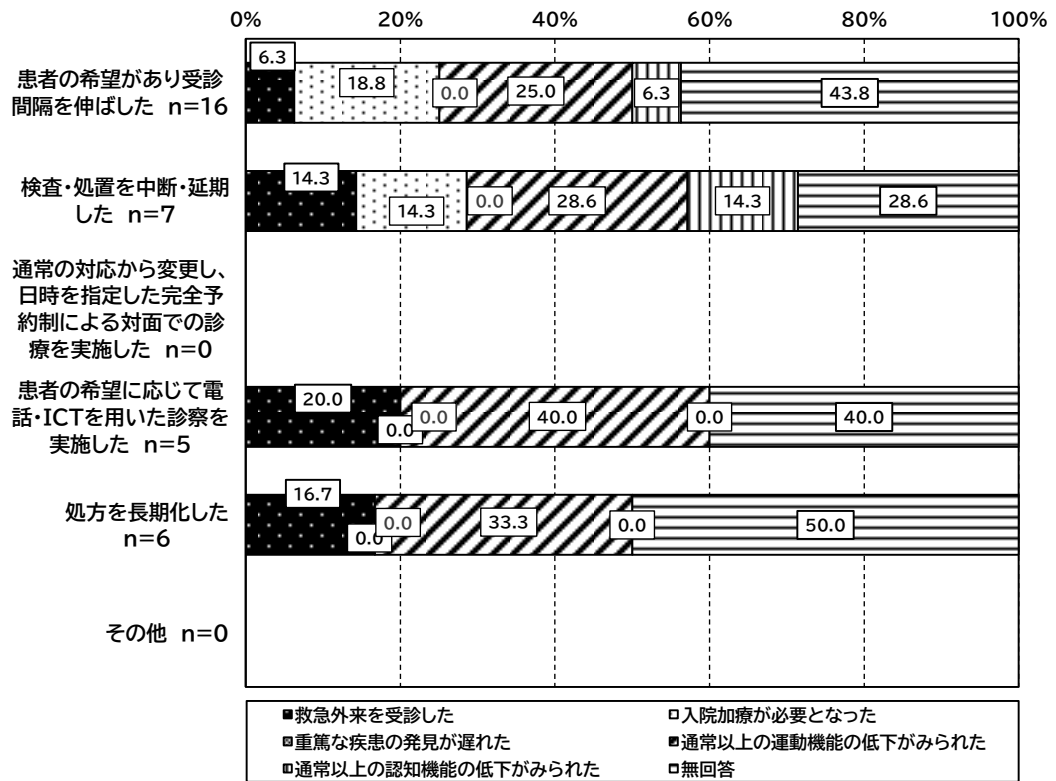
協力医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を指定する医療機関）として
都道府県から指定されたことがある



その他



無回答



⑨ 新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受療行動の変化や患者への健康影響等についての意見

新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受療行動の変化や患者への健康影響等についての意見については、「実際の現場は、多忙を極めている。医療保険において、処遇改善の点数を新設してほしい。」といった緊急事態宣言下・感染拡大の状況に係る要望が見られた。

また、「患者の受診控えが多く、入院、外来ともかなりの減収となった」や「検診受診者の減少により、がんの発見が遅れ、進行がんが増えるおそれがある」、「令和2年4月～6月は受診控えが多かったが、令和3年8月には戻りつつある」といった患者の受療行動の変化・健康影響についての意見も多く寄せられた。

図表 2-217 ⑨新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受療行動の変化や患者への健康影響等についての意見

緊急事態宣言下・感染拡大の状況に係る要望	
	家族濃厚接触者、職場の同僚が濃厚接触者などの場合、医療機関であるがゆえに、院内感染防止のため、すべて自宅待機にしており、施設基準上の人員数はクリアしているが、実際の現場は、多忙を極めている。医療保険において、処遇改善の点数を新設してほしい。
	軽症の感染者への診療は、どの診療所であっても対応していただきたい。急性期病院は中等症以上の感染者の来院のみであってほしい。
	オンライン診療も課題が多い。高齢者にも使いやすいシステム(アプリなど)を作してほしい。
患者の受療行動の変化・健康影響について	
	受診控えはあったと思うが、健康影響などはなかったと思われる。
	検診受診者の減少により、がんの発見が遅れ、進行がんが増えるおそれがある。患者の治療の機会を守るため啓発が必要と考える。
	独居高齢者の状況がわかりにくくなった(自主的な受療の抑制による)。
	患者の受診控えが多く、入院、外来ともかなりの減収となった。
	受診に限らず外出の機会が減って運動能力が低下している方が多い印象。
	令和2年4月～6月は受診控えが多かったが、令和3年8月には戻りつつある。

(3) 各診療報酬項目の施設基準の届出状況等

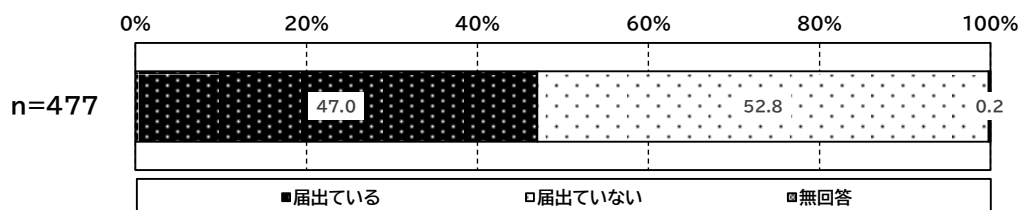
① 地域医療体制確保加算の届出状況

地域医療体制確保加算の届出状況を見ると、「届出ている」が47.0%、「届出していない」が52.8%であった。

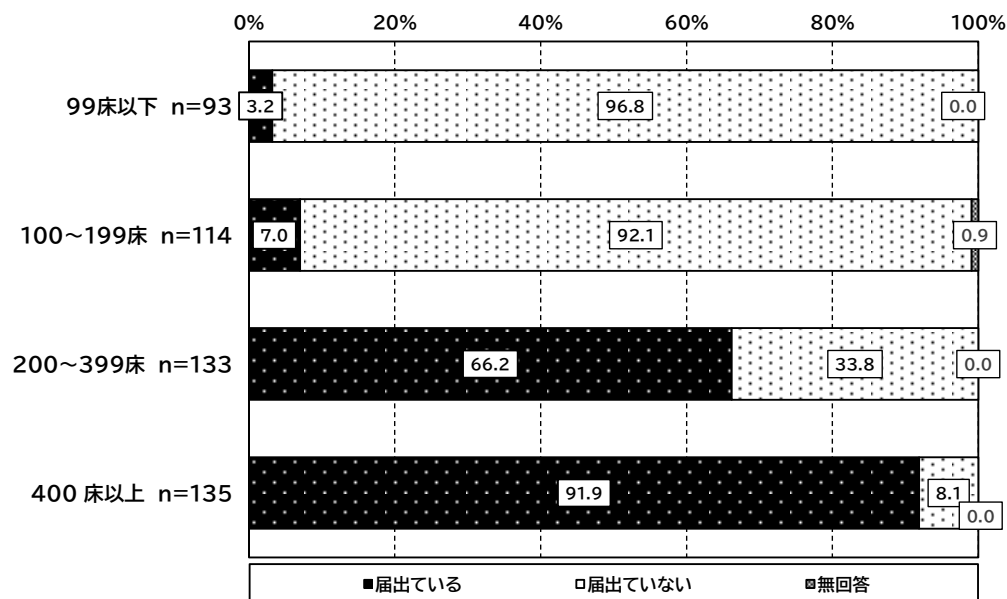
病床規模別にみると、「400床以上」の施設では「届出ている」が91.9%であった。

新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別にみると、重点医療機関に指定されたことがある施設では「届出ている」が79.4%であった。

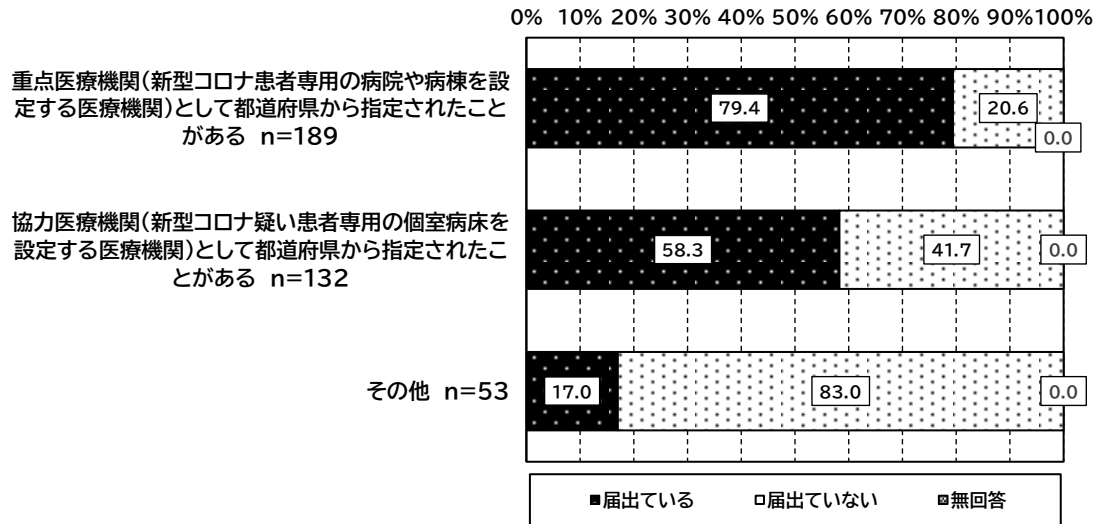
図表 2-218 地域医療体制確保加算の届出状況



図表 2-219 地域医療体制確保加算の届出状況
(病床規模別)



図表 2-220 地域医療体制確保加算の届出状況
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



①-1 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目の実施内容

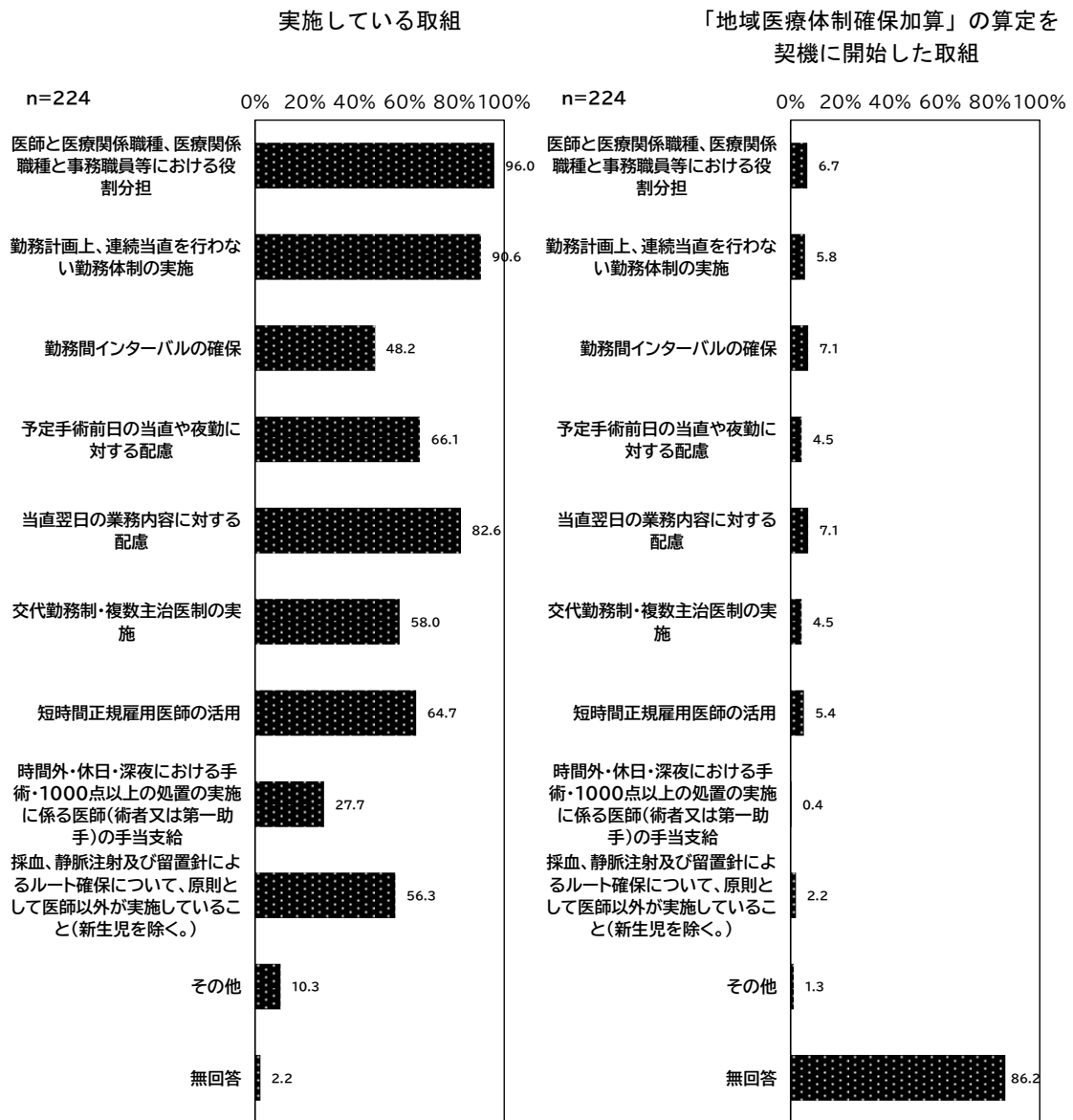
(①で「届け出ている」と回答した施設のみ集計)

「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目の実施内容について、実施している取組では、「医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担」が96.0%であった。

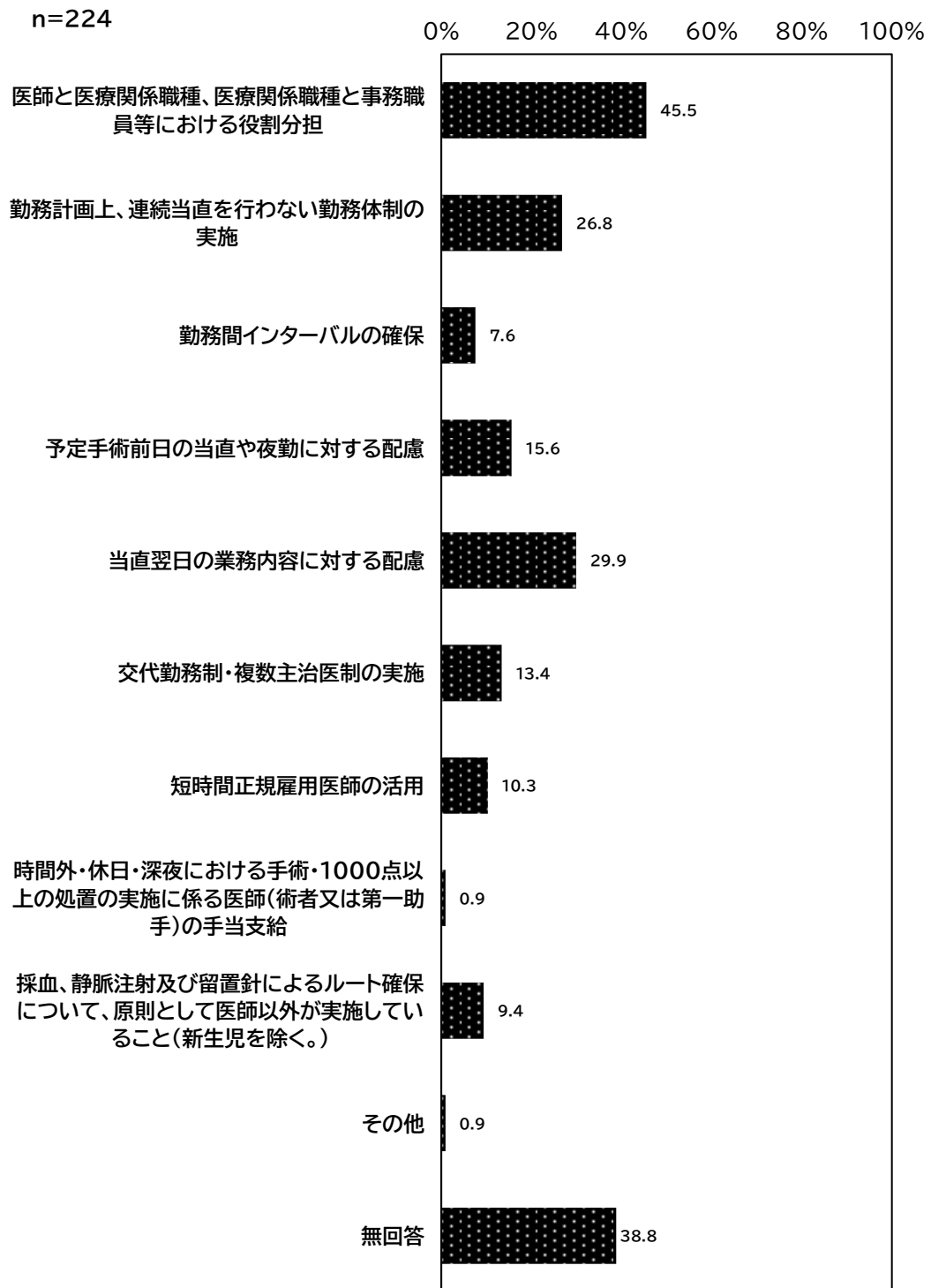
「地域医療体制確保加算」の算定を契機に開始した取組では、「無回答」が86.2%、次いで「勤務間インターバルの確保」、「当直翌日の業務内容に対する配慮」がそれぞれ7.1%であった。

特に医師の負担軽減に効果のある取組では、「医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担」が45.5%であった。

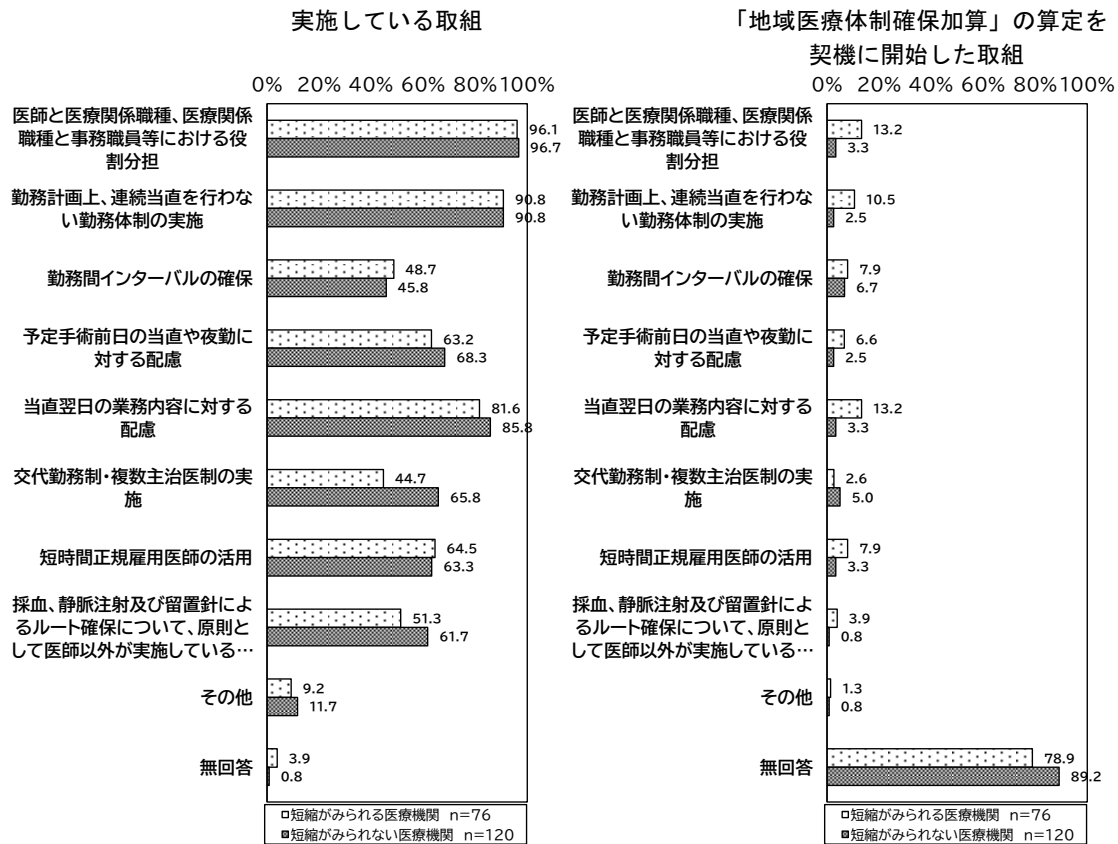
図表 2-221 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき
検討項目の実施内容（複数回答）



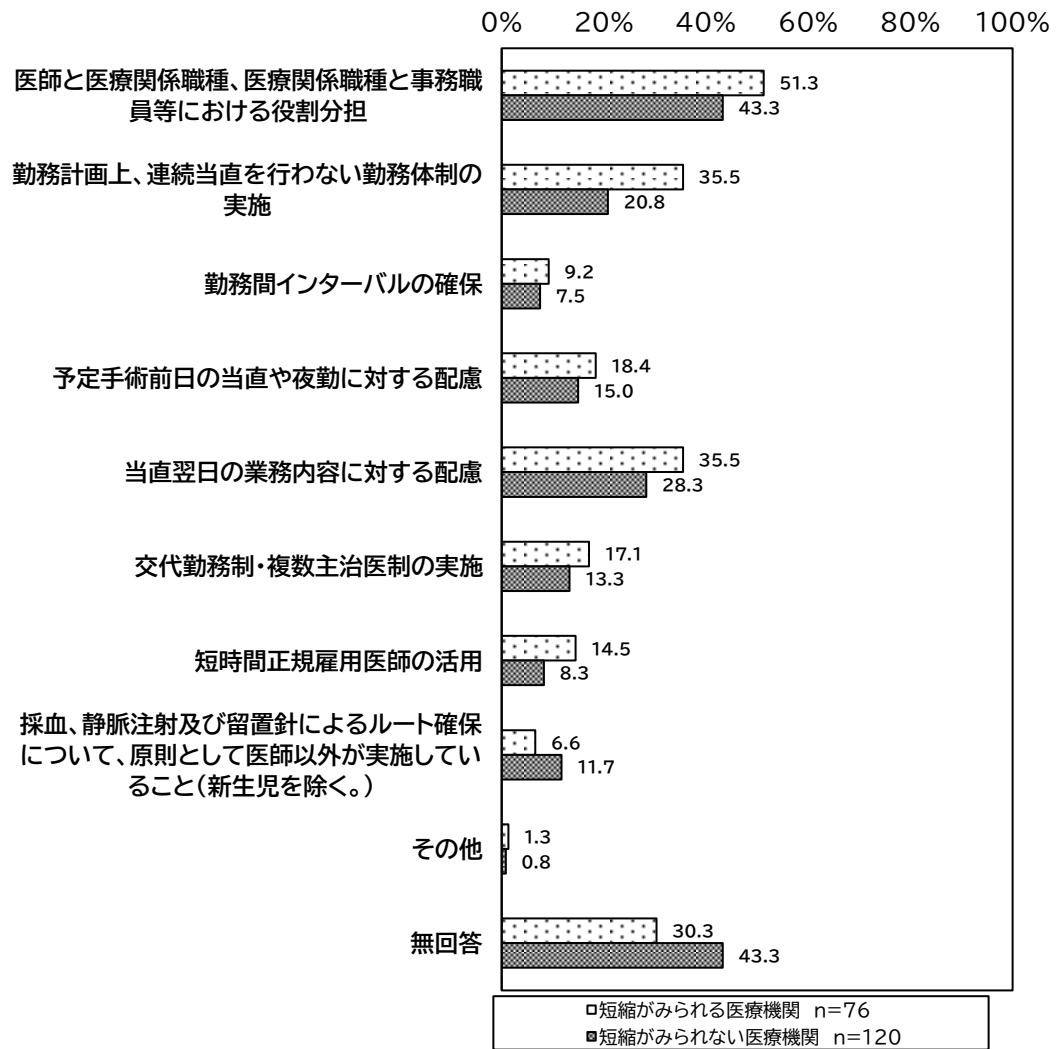
特に医師の負担軽減に効果のある取組（3つまで選択）



図表 2-222 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき
 検討項目の実施内容（複数回答）
 （問 4②医師 1 人あたりの勤務時間数における、令和 2 年 6 月から令和 3 年 6 月の間
 での短縮の有無別）



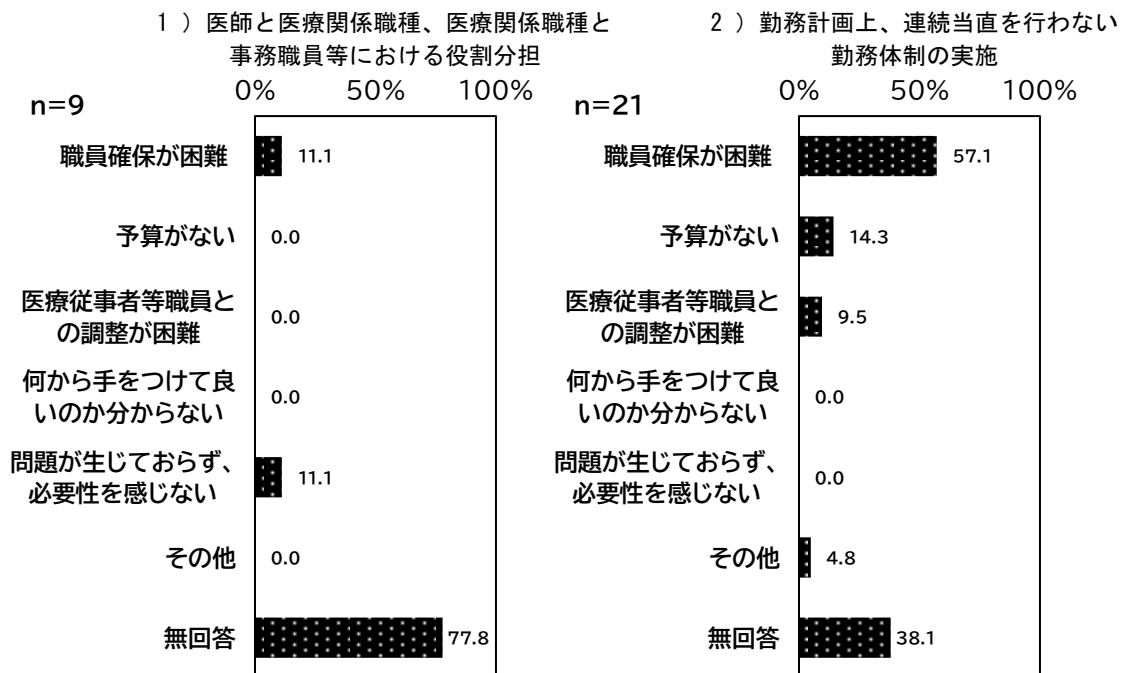
特に医師の負担軽減に効果のある取組（3つまで選択）

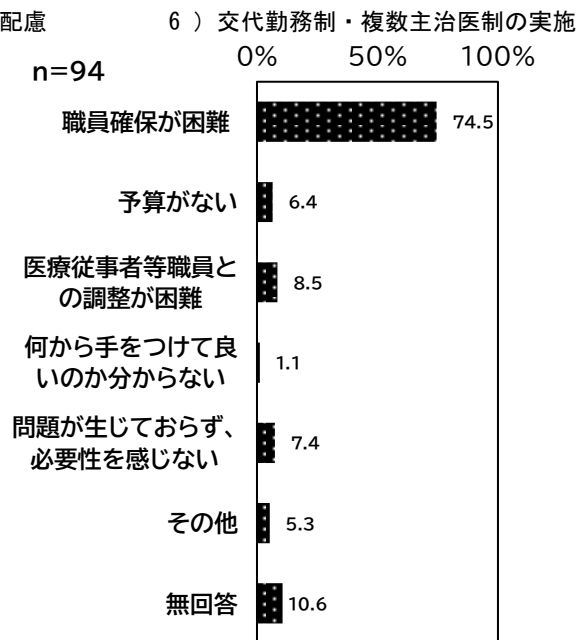
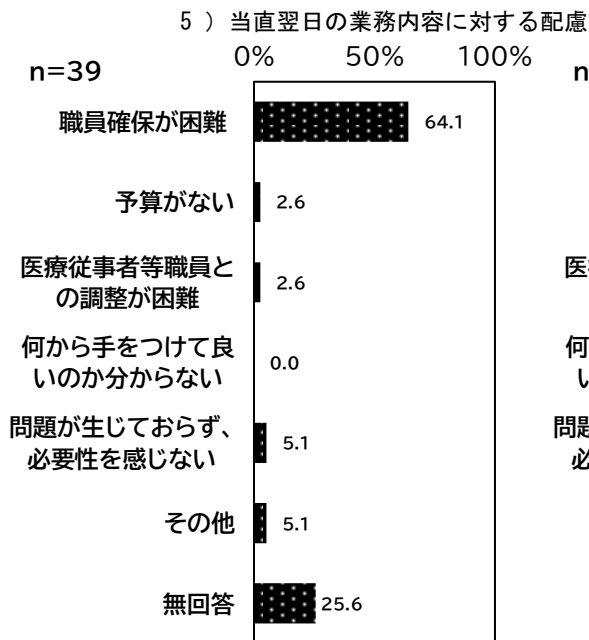
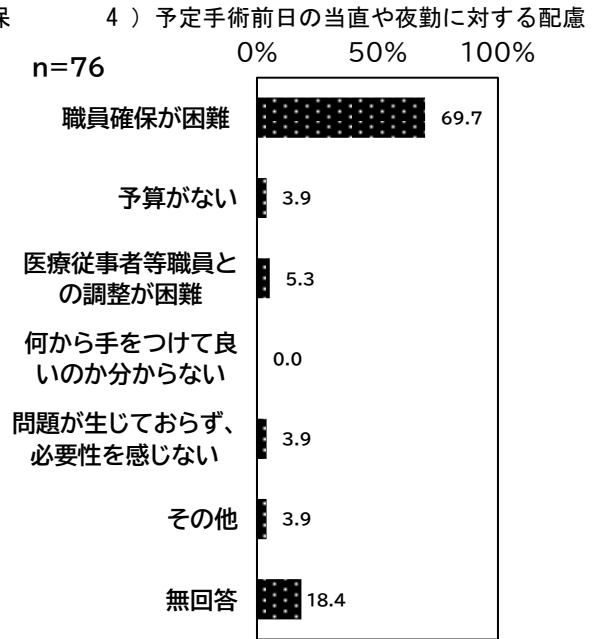
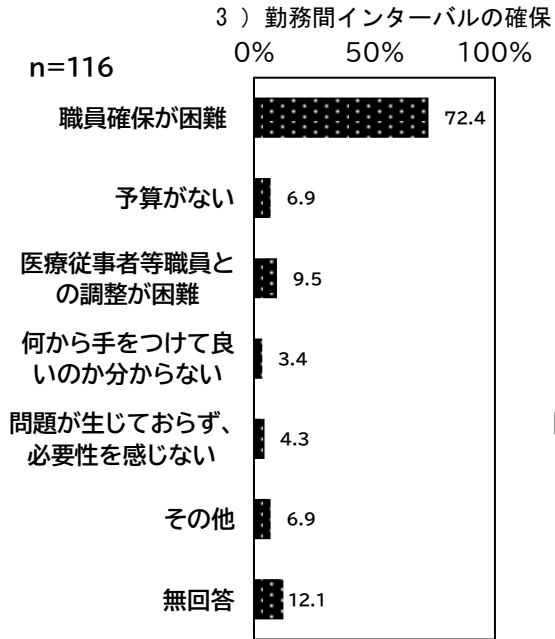


①-2「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由（実施困難な理由等）
 (①で「届け出ている」と回答した施設のみ集計)

「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由を尋ねた結果は以下のとおりであった。

図表 2-223 「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由（実施困難な理由等）
 (複数回答)

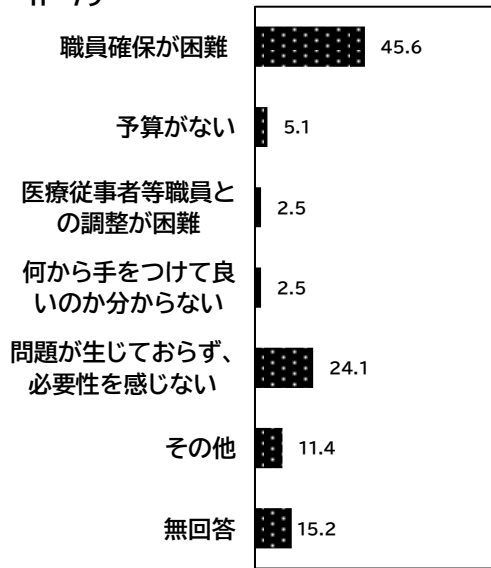




7) 短時間正規雇用医師の活用

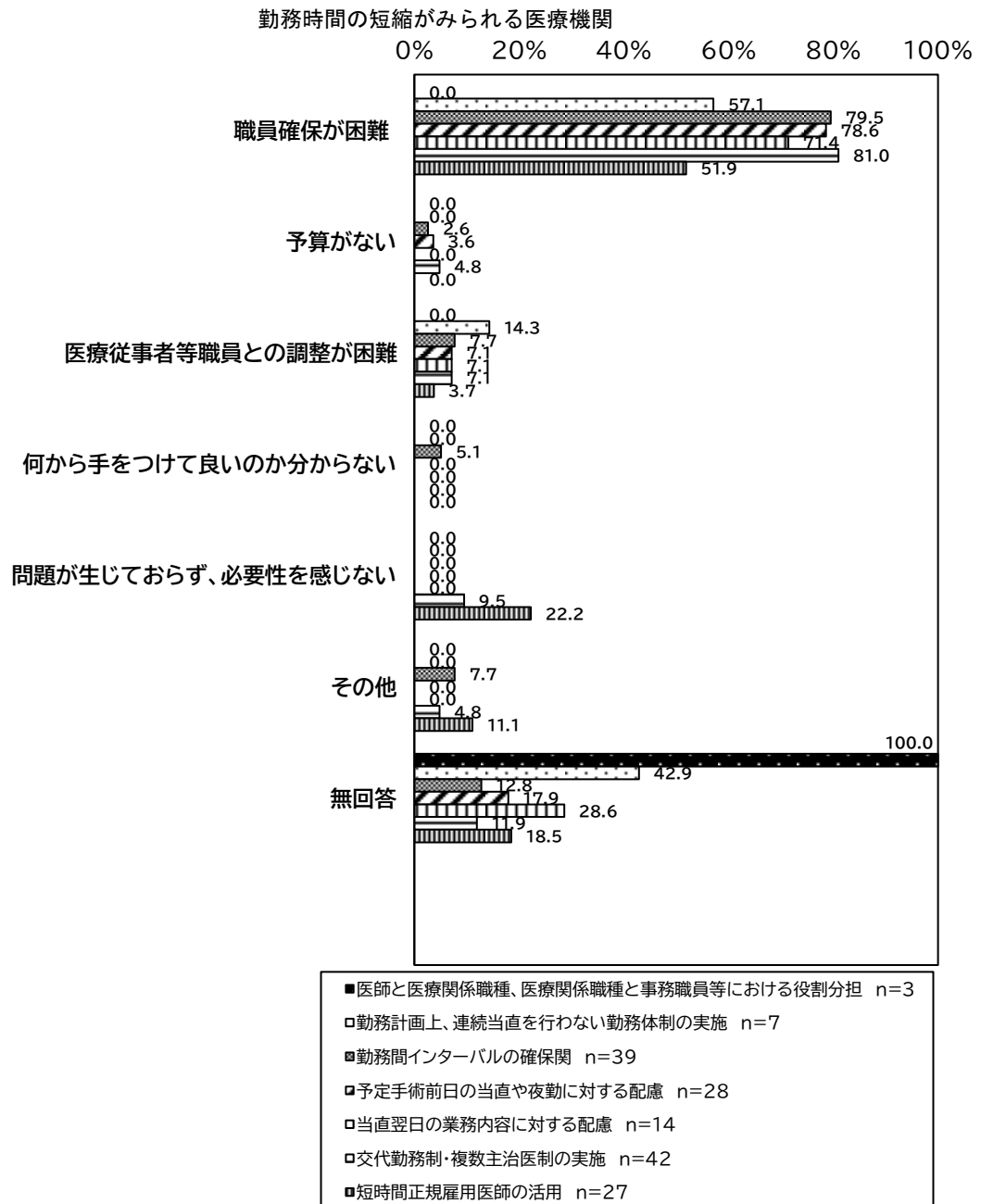
n=79

0% 50% 100%



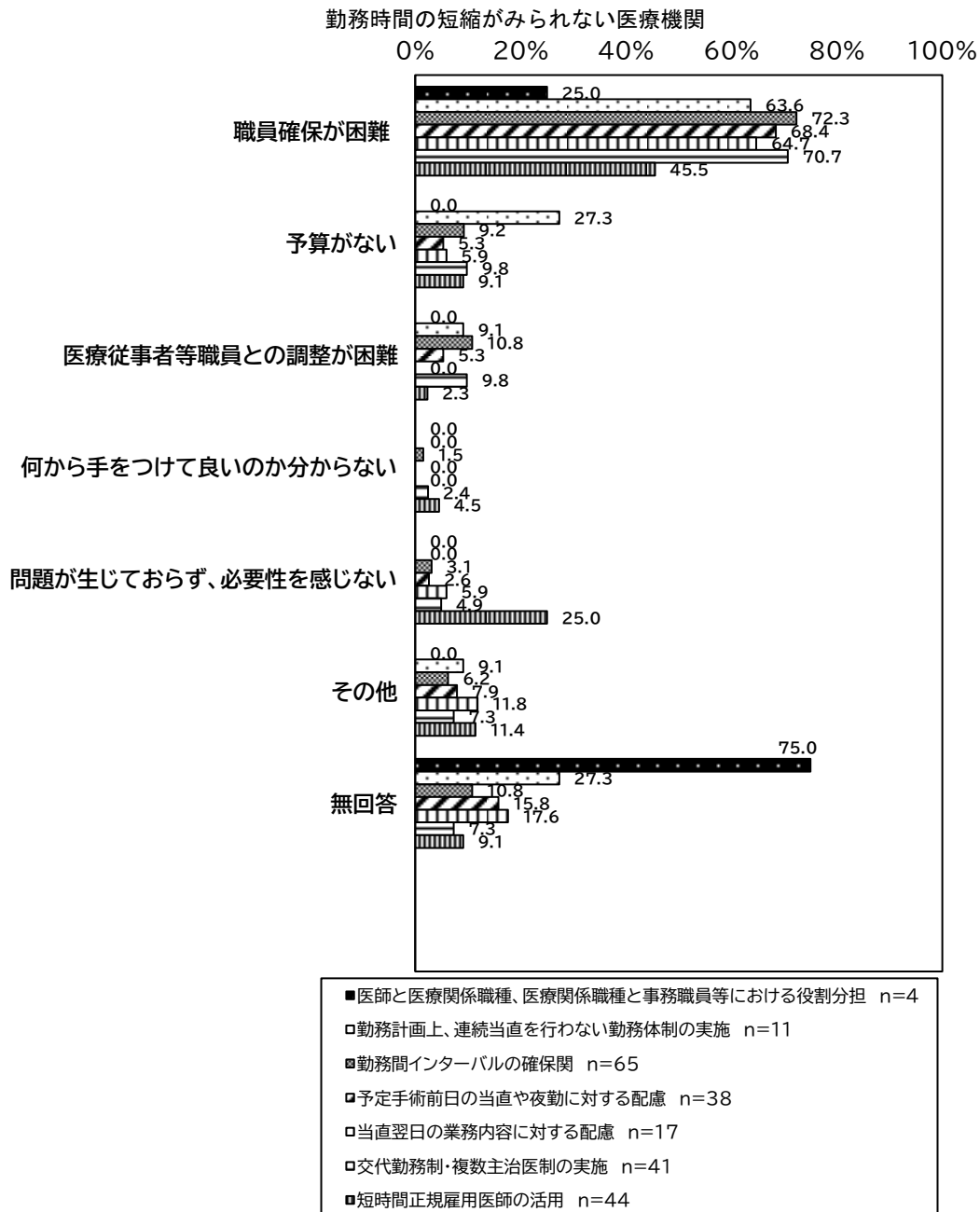
図表 2-224 病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由（実施困難な理由等）
（複数回答）

（問 4②医師 1 人あたりの勤務時間数における、令和 2 年 6 月から令和 3 年 6 月の間の短縮の有無別）



図表 2-225 病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由（実施困難な理由等）
（複数回答）

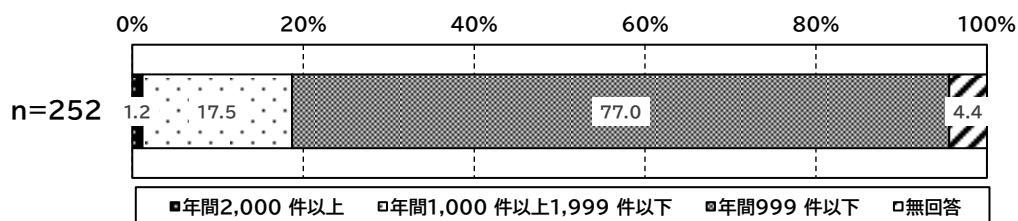
（問 4②医師 1 人あたりの勤務時間数における、令和 2 年 6 月から令和 3 年 6 月の間での短縮の有無別）



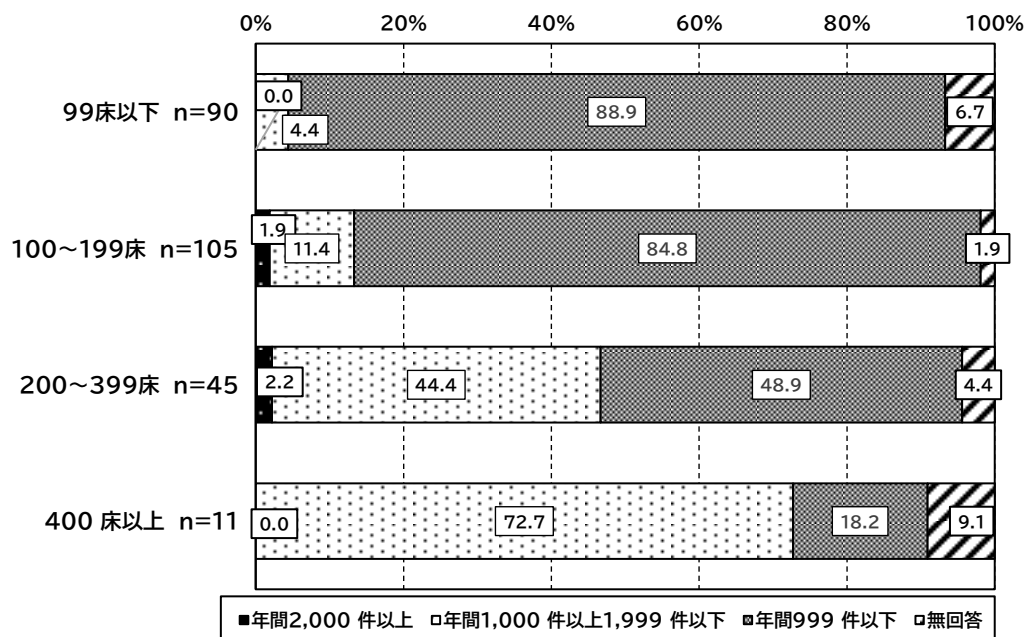
①-3 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数
 (①で「届け出ていない」と回答した施設のみ集計)

救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数について、「年間999件以下」が77.0%で最も多かった。

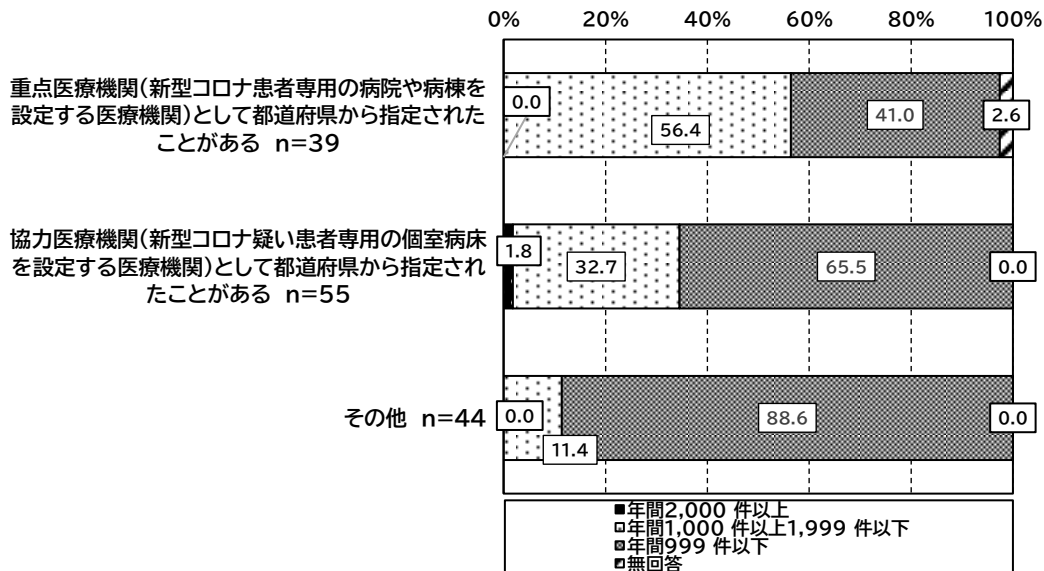
図表 2-226 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数



図表 2-227 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数
 (病床規模別)



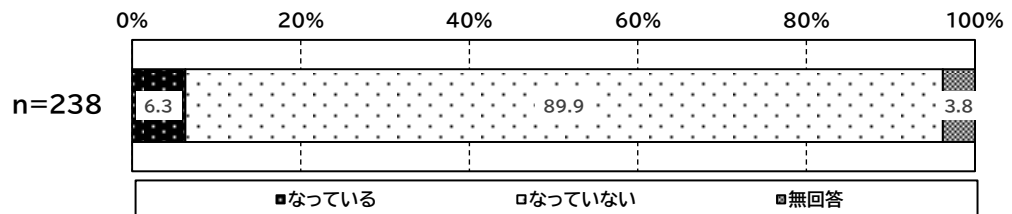
図表 2-228 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



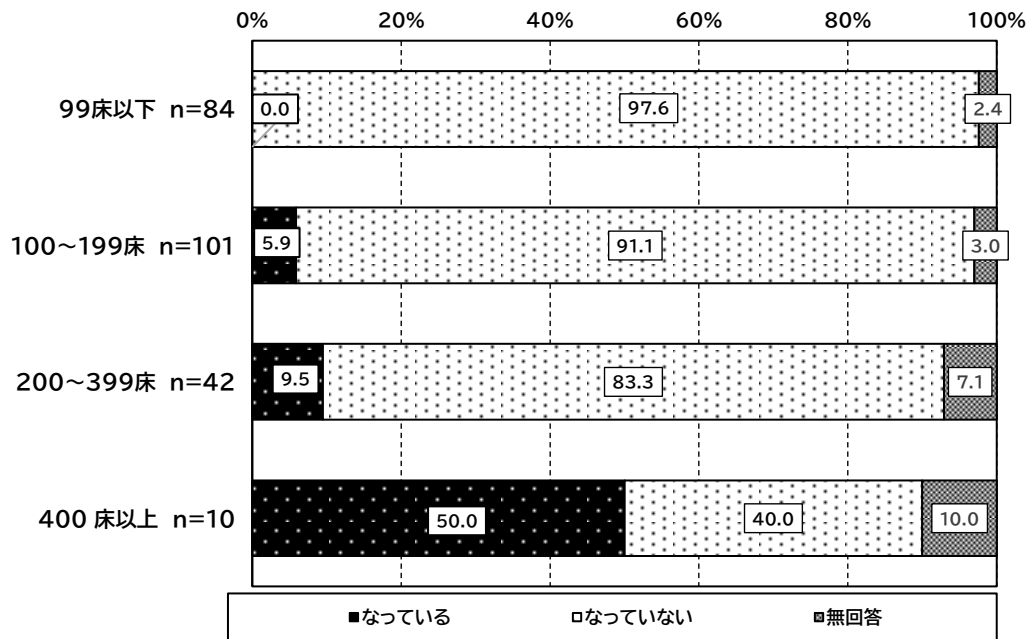
①-4 地域医療介護総合確保基金「6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象の有無
(①-3で「年間1,000件以上1,999件以下」または「年間999件以下」を選んだ施設のみ集計)

地域医療介護総合確保基金「6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象の有無についてみると、対象になっていると回答した施設は6.3%であった。

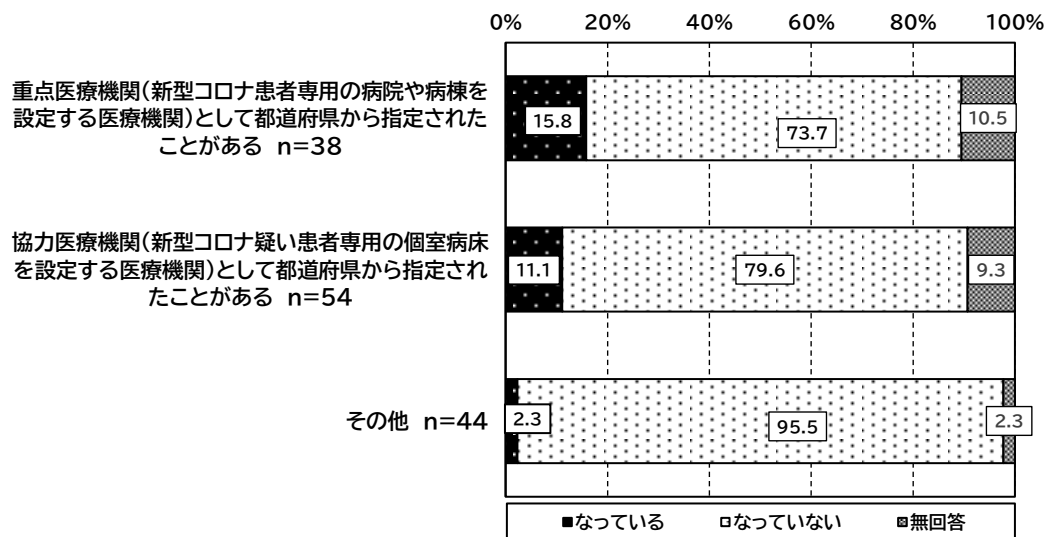
図表 2-229 地域医療介護総合確保基金「6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象の有無



図表 2-230 地域医療介護総合確保基金「6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象の有無
(病床規模別)



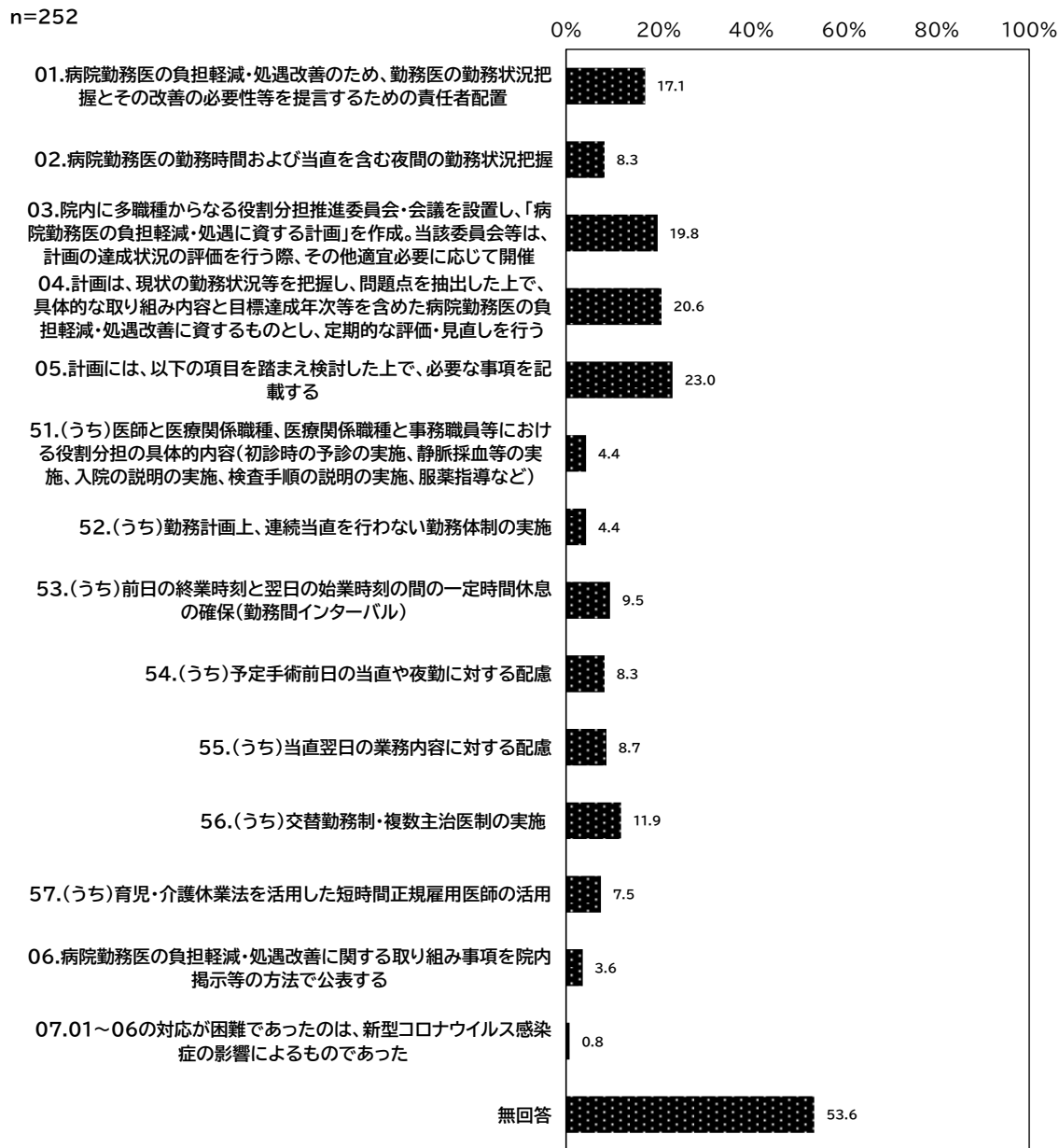
図表 2-231 地域医療介護総合確保基金「6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象の有無
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



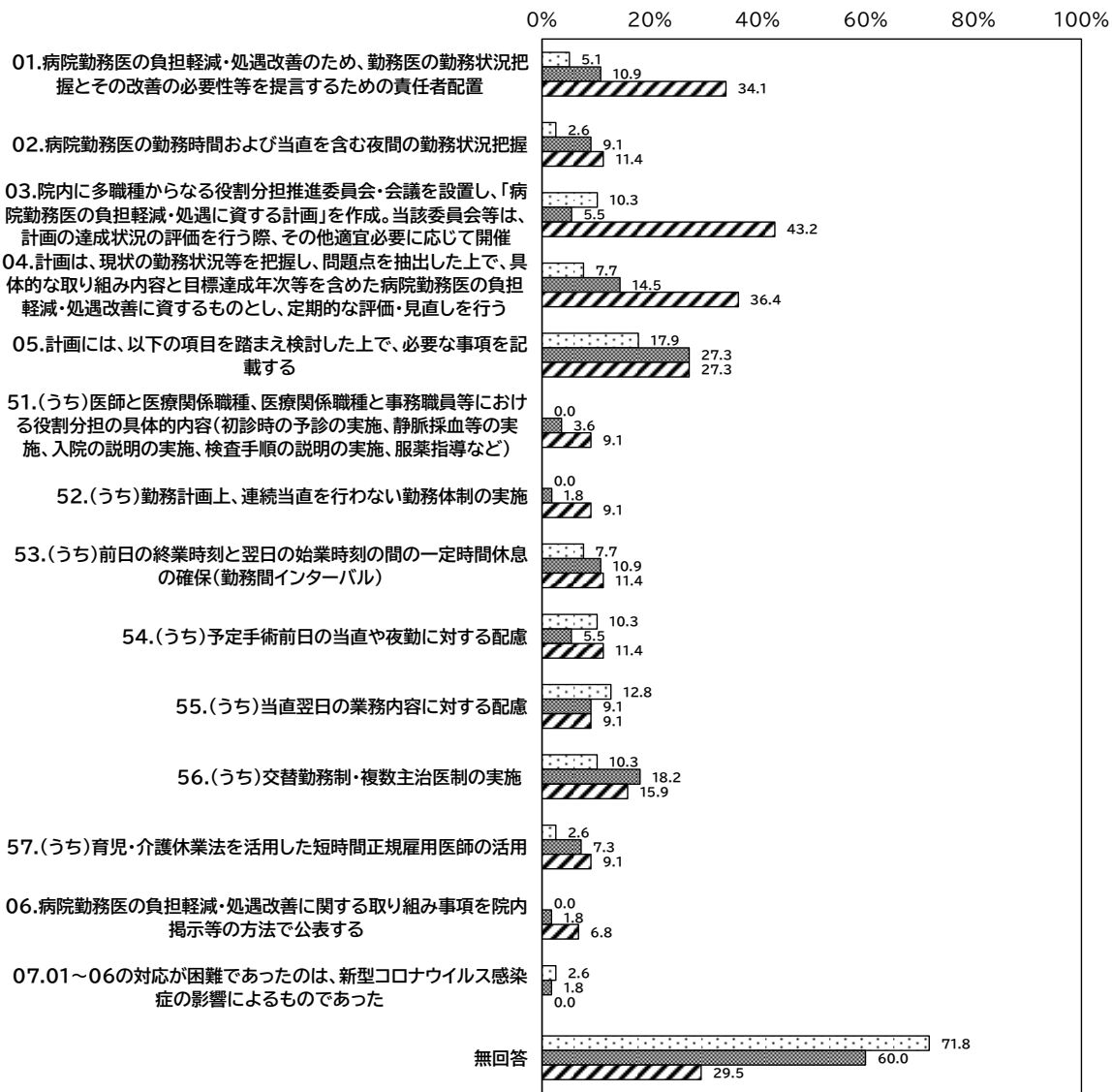
①-5 地域医療体制確保加算に関する施設基準として、満たすことが困難な要件
(①で「届け出ていない」と回答した施設のみ集計)

地域医療体制確保加算に関する施設基準として、満たすことが困難な要件を尋ねたところ、「計画は、現状の勤務状況等を把握し、問題点を抽出した上で、具体的な取り組み内容と目標達成年次等を含めた病院勤務医の負担軽減・処遇改善に資するものとし、定期的な評価・見直しを行う」が20.6%、「院内に多職種からなる役割分担推進委員会・会議を設置し、「病院勤務医の負担軽減・処遇に資する計画」を作成。当該委員会等は、計画の達成状況の評価を行う際、その他適宜必要に応じて開催」が19.8%であった。

図表 2-232 地域医療体制確保加算に関する施設基準として、
満たすことが困難な要件（複数回答）



図表 2-233 地域医療体制確保加算に関する施設基準として、
 満たすことが困難な要件（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）

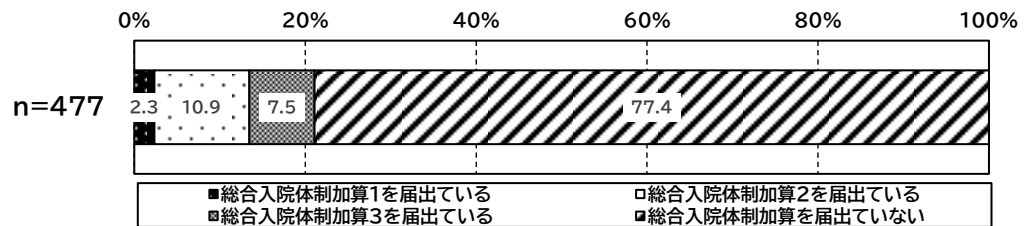


重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=39
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=55
 その他 n=44

② 総合入院体制加算の届出状況

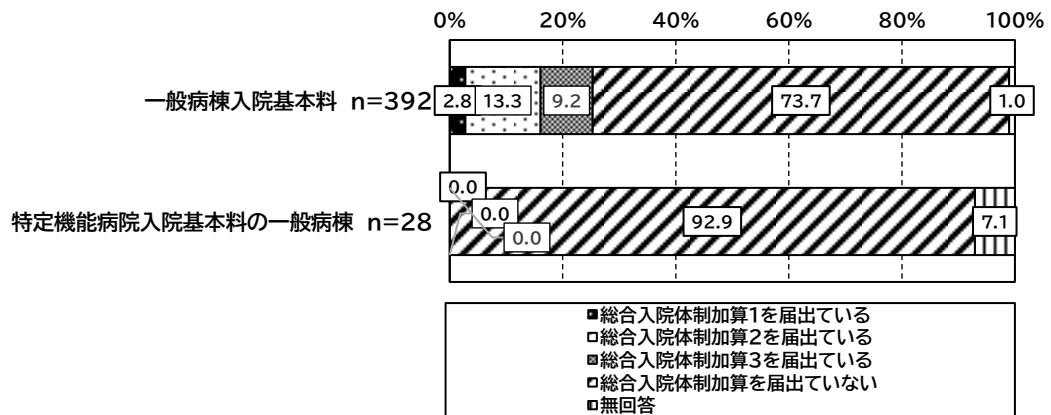
総合入院体制加算の届出状況について、「総合入院体制加算 1 を届出ている」施設が 2.3%、「総合入院体制加算 2 を届出ている」施設が 10.9%、「総合入院体制加算 3 を届出ている」施設が 7.5%、「総合入院体制加算を届出していない」施設が 77.4%であった。

図表 2-234 総合入院体制加算の届出状況

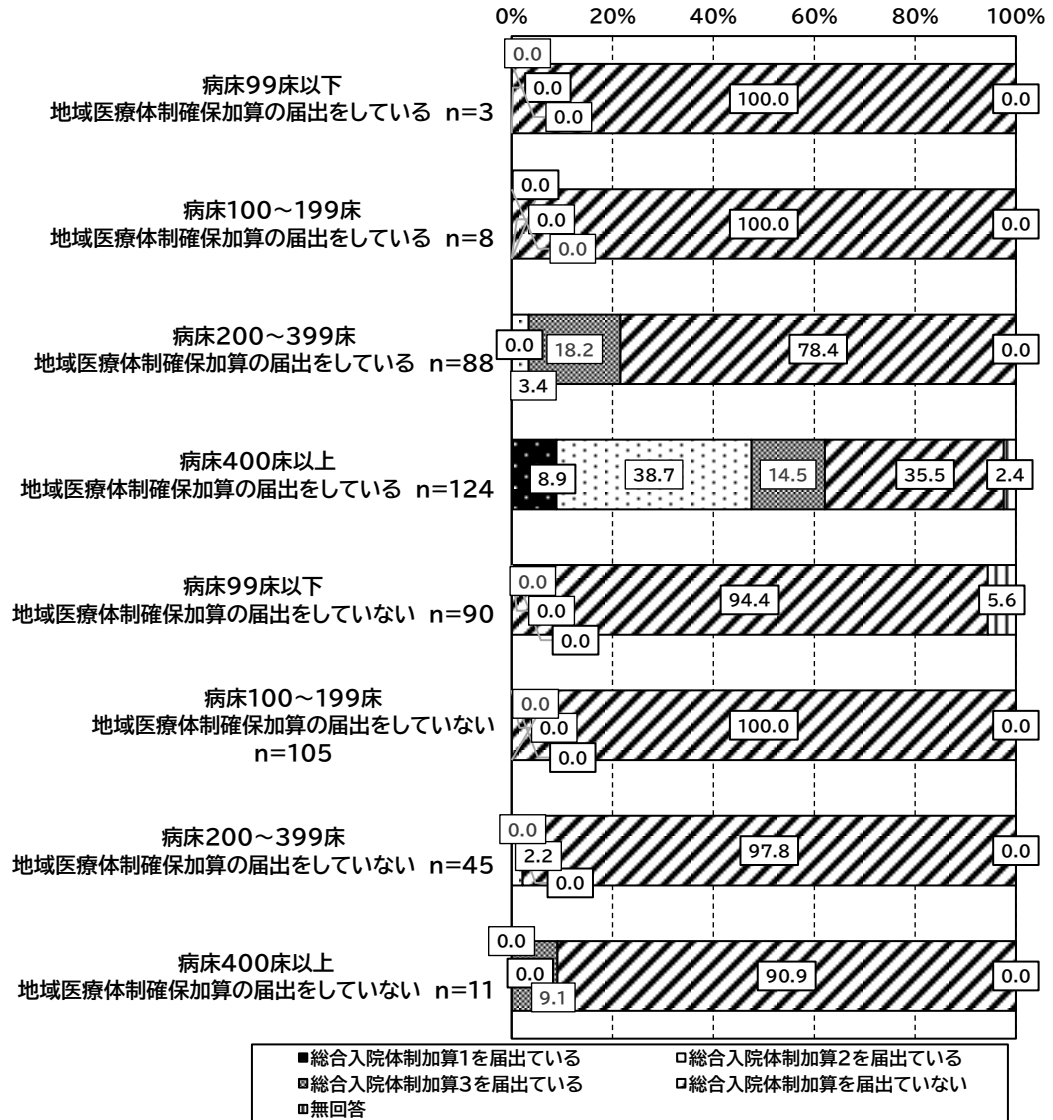


図表 2-235 総合入院体制加算の届出状況

(一般入院基本料の届出施設・特定機能病院入院基本料の一般病棟を持つ施設)



図表 2-236 総合入院体制加算の届出状況
 (病床規模・地域医療体制確保加算の届出有無別)

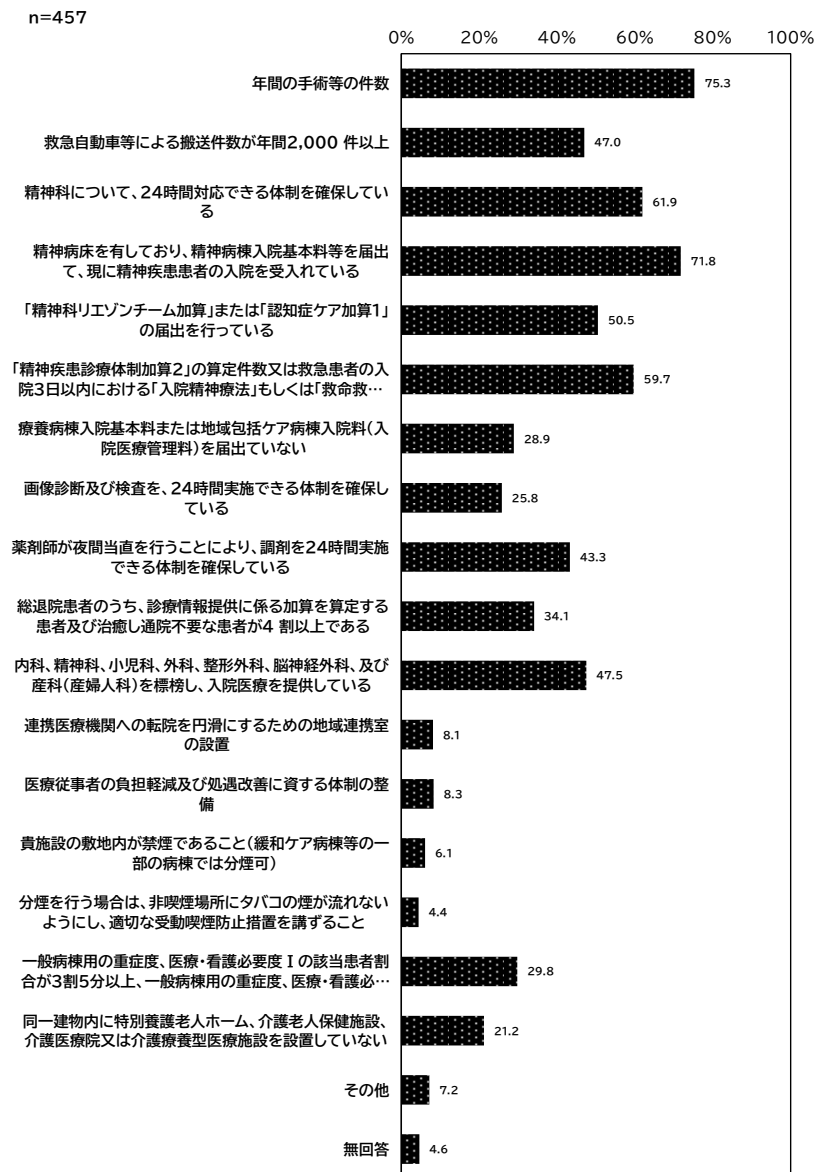


②-1 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件

(②で「総合入院体制加算2を届出ている」「総合入院体制加算3を届出ている」「総合入院体制加算を届出していない」を選んだ施設のみ集計)

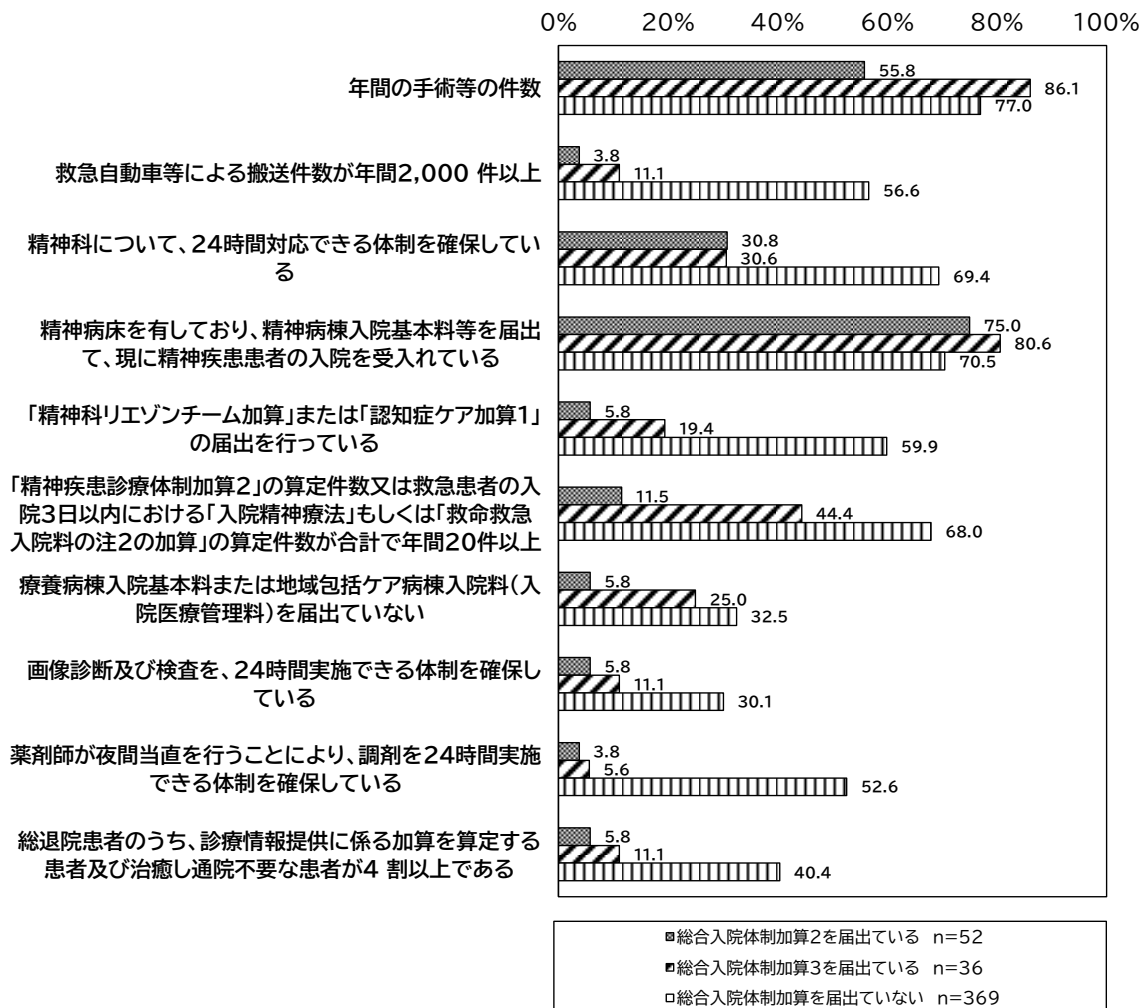
総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件を尋ねたところ、「年間の手術等の件数」が75.3%で最も多かった。

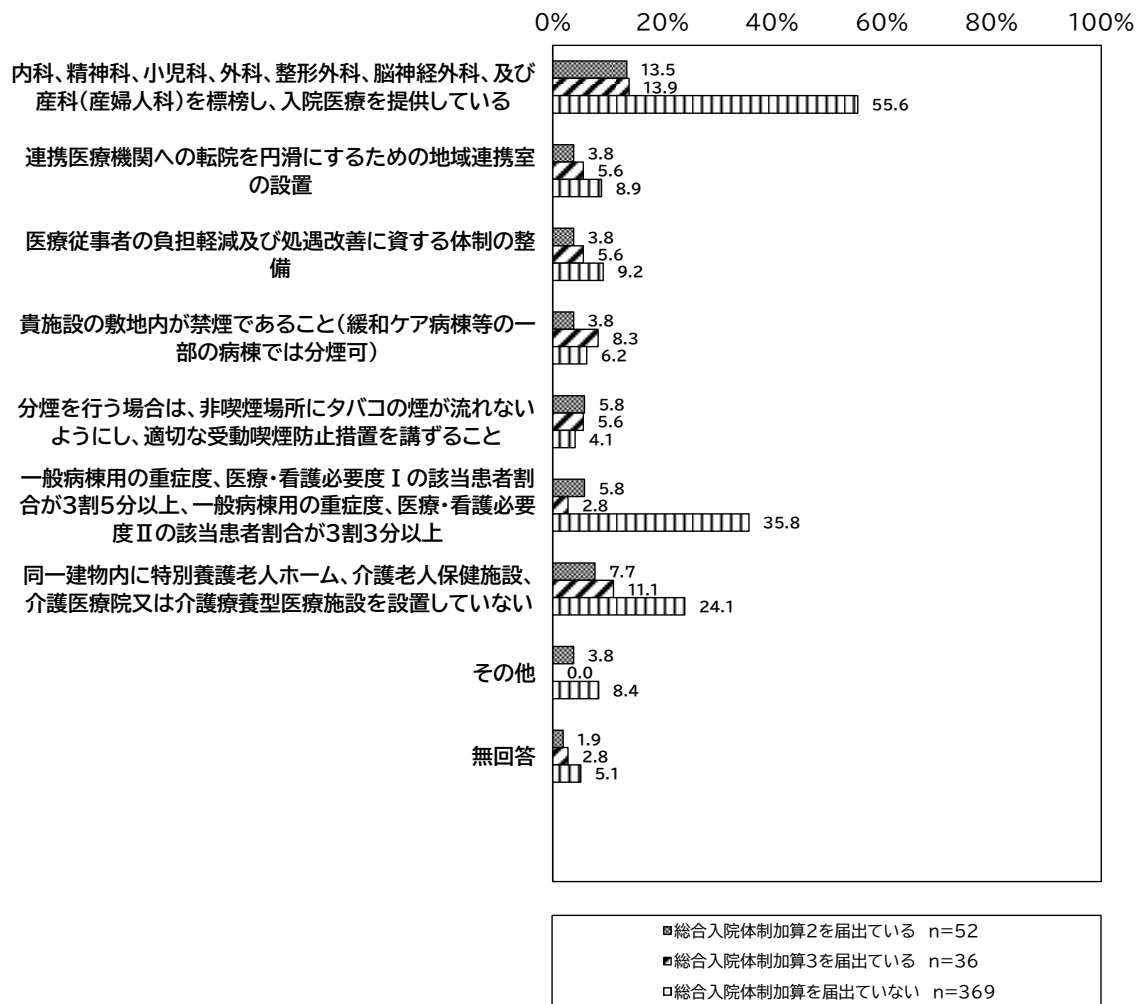
図表 2-237 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件（複数回答）



注：その他の自由記載として、「特定機能病院であるため」等があげられた。

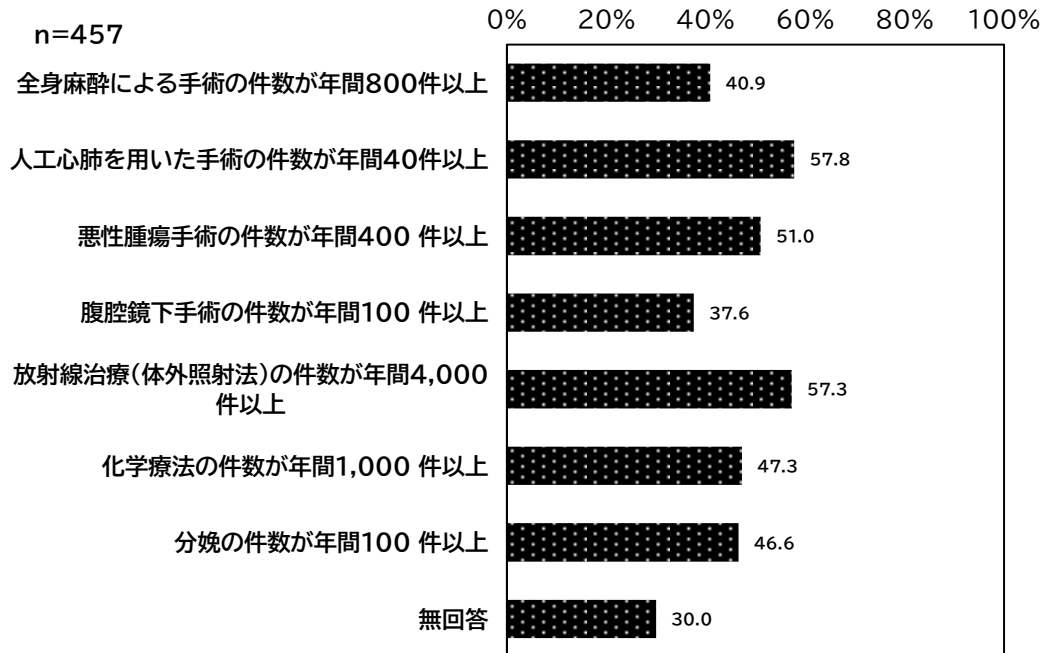
図表 2-238 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件
 (複数回答)
 (「総合入院体制加算」の届出状況別)



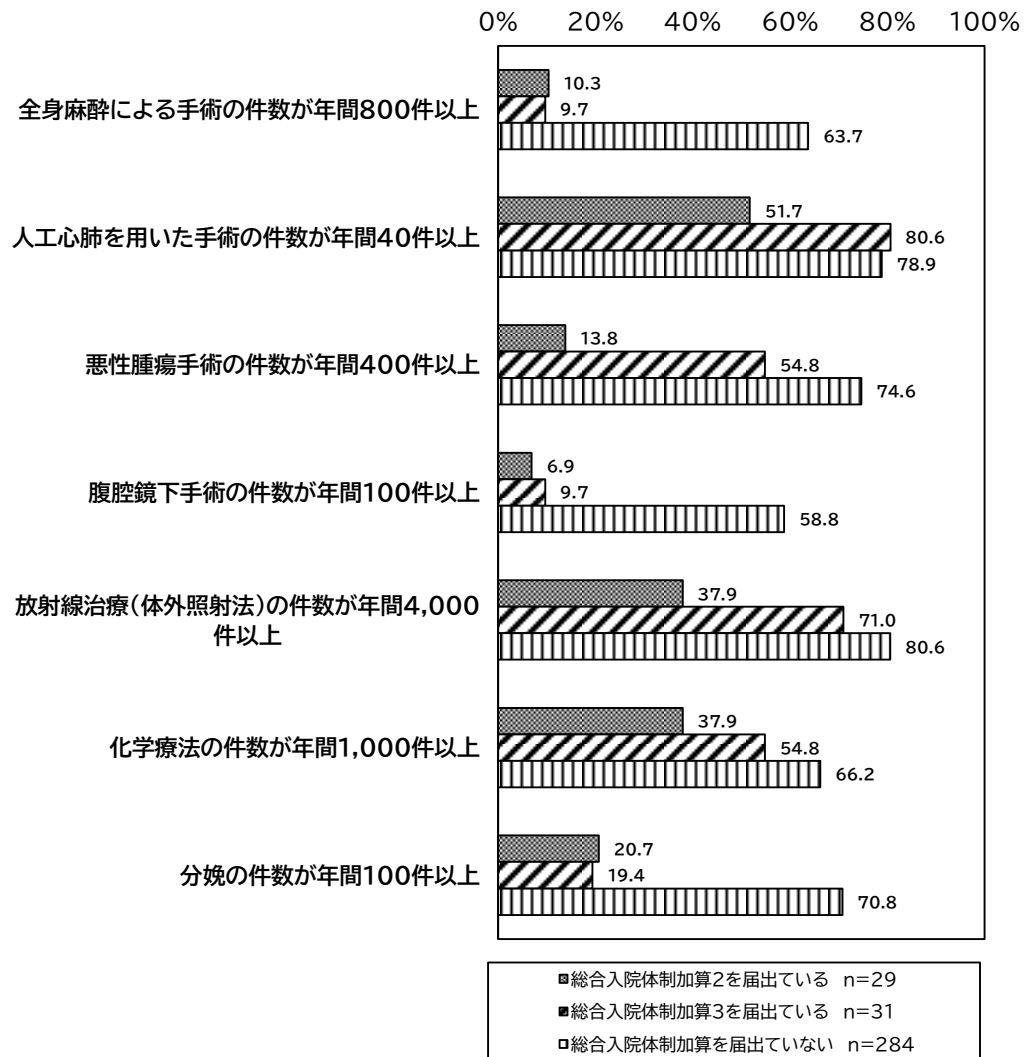


注：「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が 3割5分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が 3割3分以上」について、総合入院体制加算3は、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が 3割2分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が 3割以上を要件とする。

図表 2-239 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件のうち、「年間の手術等の件数」の内訳（複数回答）



図表 2-240 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件のうち、
「年間の手術等の件数」の内訳（複数回答）
（「総合入院体制加算」の届出状況別）



②-2 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬送」の件数

「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬送」の件数について尋ねたところ、以下のとおりであった。

図表 2-241 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬送」の件数
(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=447	1323.1	1630.4	742.0
1)- i うち緊急手術件数	n=447	152.7	262.2	11.0
1)- ii うち休日加算等を算定している件数	n=447	46.1	96.0	0.0
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=447	26.9	62.1	0.0
2)- i うち緊急手術件数	n=447	4.8	14.9	0.0
2)- ii うち休日加算等を算定している件数	n=447	1.9	6.3	0.0
3) 悪性腫瘍手術件数	n=447	291.3	445.1	71.0
3)- i うち緊急手術件数	n=447	10.1	38.8	0.0
3)- ii うち休日加算等を算定している件数	n=447	1.6	4.7	0.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=447	222.1	292.2	93.0
4)- i うち緊急手術件数	n=447	26.8	46.1	0.0
4)- ii うち休日加算等を算定している件数	n=447	7.4	15.0	0.0
5) 放射線治療(体外照射法)の件数	n=447	1867.8	3508.0	0.0
6) 化学療法の件数	n=447	1783.1	3989.7	311.0
7) 分娩の件数	n=447	192.6	324.2	0.0
8) 救急自動車等による搬送件数	n=447	2245.5	2375.3	1627.0

注：休日加算等を算定している手術とは、手術料の休日加算、時間外加算又は深夜加算を算定している、入院中の患者以外の患者に対する手術（①初診又は再診に引き続き行われた緊急手術、及び、②初診又は再診から手術までの間に、手術に必要な不可欠な検査等を行い、かつ、当該検査等の終了後に手術を開始した場合であって、当該初診又は再診から手術の開始時間までの間が8時間以内である場合（当該手術の開始時間が入院手続きの後の場合を含む。））、又は、病状の急変により行った入院中の患者に対する手術を指す。

図表 2-242 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」
「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬
送」の件数

(令和2年6月1日～令和3年5月31日)

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=447	1264.8	1552.5	751.0
1)-i うち緊急手術件数	n=447	148.2	243.9	14.0
1)-ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=447	44.4	86.7	0.0
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=447	30.0	107.9	0.0
2)-i うち緊急手術件数	n=447	4.8	15.4	0.0
2)-ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=447	1.9	6.7	0.0
3) 悪性腫瘍手術件数	n=447	273.0	422.5	69.0
3)-i うち緊急手術件数	n=447	8.5	34.8	0.0
3)-ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=447	1.2	3.4	0.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=447	221.1	292.0	97.0
4)-i うち緊急手術件数	n=447	27.7	47.9	0.0
4)-ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=447	7.5	15.7	0.0
5) 放射線治療(体外照射法)の 件数	n=447	1805.6	3410.6	0.0
6) 化学療法の件数	n=447	1833.7	4014.1	368.0
7) 分娩の件数	n=447	177.0	300.4	0.0
8) 救急自動車等による搬送件数	n=447	2040.1	2103.6	1546.0

図表 2-243 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」
「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬
送」の件数

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

(一般病棟入院基本料の届出施設)

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=375	1219.1	1315.8	879.0
1)- i うち緊急手術件数	n=375	141.6	225.9	30.0
1)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	42.9	91.6	0.0
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=375	21.6	54.7	0.0
2)- i うち緊急手術件数	n=375	3.4	11.5	0.0
2)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	1.3	5.2	0.0
3) 悪性腫瘍手術件数	n=375	258.2	366.0	99.0
3)- i うち緊急手術件数	n=375	7.8	19.5	0.0
3)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	1.4	3.9	0.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=375	215.1	269.0	107.0
4)- i うち緊急手術件数	n=375	27.4	44.4	0.0
4)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	7.5	14.6	0.0
5) 放射線治療(体外照射法)の 件数	n=375	1607.8	2762.3	0.0
6) 化学療法の件数	n=375	1256.9	2212.6	399.0
7) 分娩の件数	n=375	188.0	315.2	0.0
8) 救急自動車等による搬送件数	n=375	2446.3	2389.5	2024.0

図表 2-244 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」
「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬
送」の件数

(令和2年6月1日～令和3年5月31日)

(一般病棟入院基本料の届出施設)

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=375	1158.3	1221.2	846.0
1)- i うち緊急手術件数	n=375	140.3	211.3	29.0
1)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	41.9	82.9	0.0
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=375	20.9	53.8	0.0
2)- i うち緊急手術件数	n=375	3.5	12.3	0.0
2)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	1.4	5.7	0.0
3) 悪性腫瘍手術件数	n=375	240.5	343.5	97.0
3)- i うち緊急手術件数	n=375	6.3	15.2	0.0
3)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	1.2	3.4	0.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=375	213.7	267.4	134.0
4)- i うち緊急手術件数	n=375	28.5	46.3	0.0
4)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=375	7.7	15.8	0.0
5) 放射線治療(体外照射法)の 件数	n=375	1541.5	2661.2	0.0
6) 化学療法の件数	n=375	1296.1	2255.0	429.0
7) 分娩の件数	n=375	172.1	291.7	0.0
8) 救急自動車等による搬送件数	n=375	2220.3	2108.1	1970.0

図表 2-245 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」
「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬
送」の件数

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)
(特定機能病院入院基本料の一般病棟を持つ施設)

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=28	5008.5	1737.1	5252.0
1)- i うち緊急手術件数	n=28	557.3	457.5	459.5
1)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	171.7	125.1	124.0
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=28	144.4	78.6	147.5
2)- i うち緊急手術件数	n=28	31.4	32.1	19.5
2)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	13.1	11.6	9.5
3) 悪性腫瘍手術件数	n=28	1288.0	632.2	1252.0
3)- i うち緊急手術件数	n=28	59.4	128.2	20.0
3)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	7.3	10.9	4.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=28	708.3	320.1	713.5
4)- i うち緊急手術件数	n=28	61.9	72.1	41.0
4)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	19.3	22.1	14.5
5) 放射線治療(体外照射法)の 件数	n=28	8549.9	6682.6	8590.0
6) 化学療法の件数	n=28	11938.5	8947.3	10315.5
7) 分娩の件数	n=28	503.0	263.0	486.0
8) 救急自動車等による搬送件数	n=28	3363.9	1911.9	2867.5

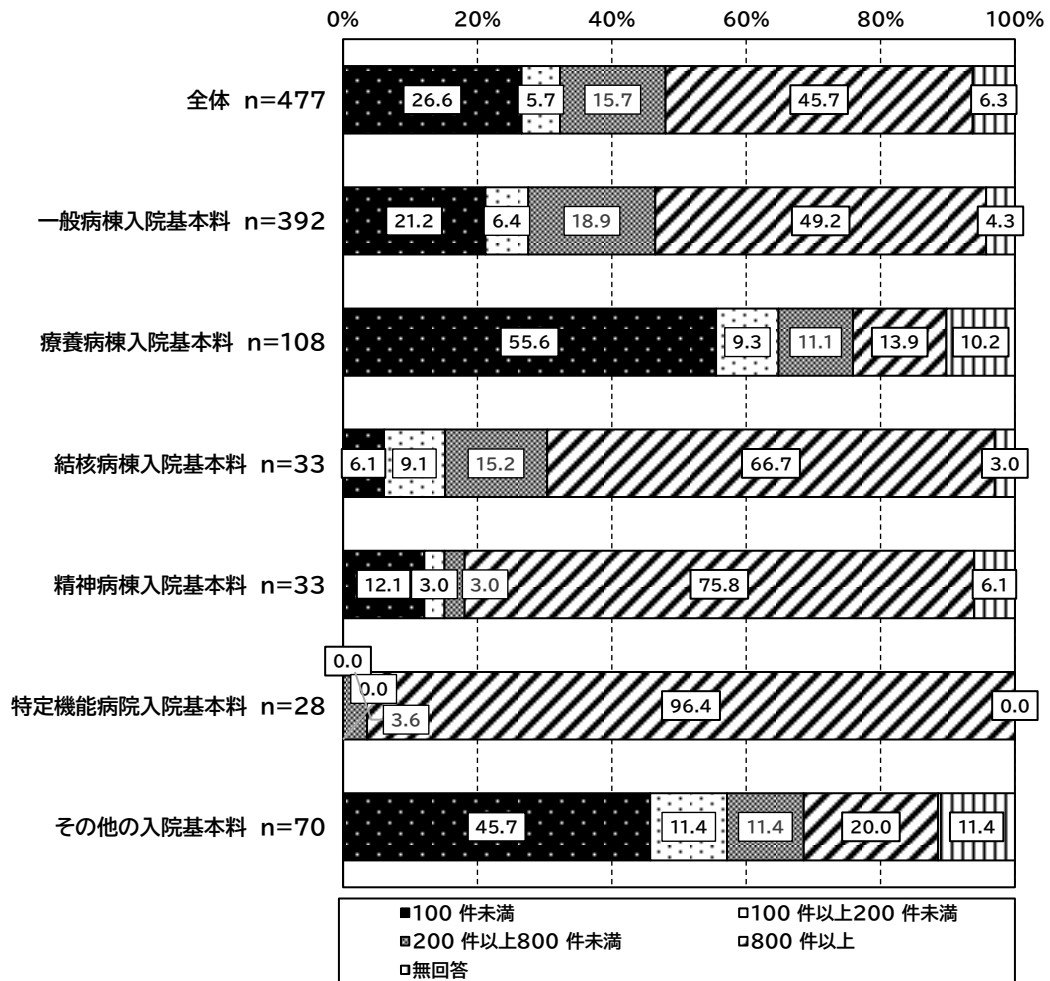
図表 2-246 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」
「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬
送」の件数

(令和2年6月1日～令和3年5月31日)
(特定機能病院入院基本料の一般病棟を持つ施設)

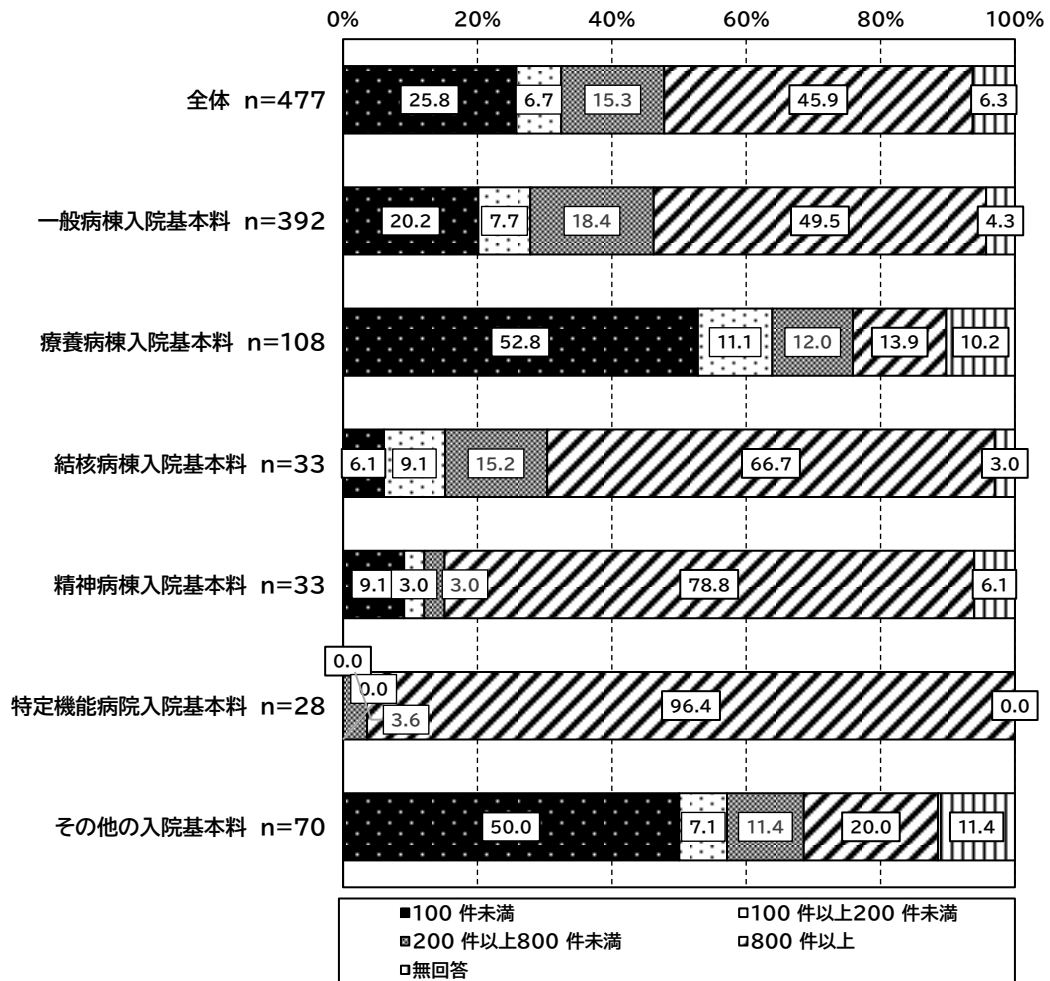
(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 全身麻酔による手術件数	n=28	4885.8	1720.1	5214.5
1)- i うち緊急手術件数	n=28	509.4	430.0	389.5
1)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	160.6	108.3	131.5
2) 人工心肺を用いた手術件数	n=28	202.1	339.3	148.5
2)- i うち緊急手術件数	n=28	29.0	33.6	11.0
2)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	12.0	13.0	7.5
3) 悪性腫瘍手術件数	n=28	1228.5	617.1	1231.5
3)- i うち緊急手術件数	n=28	53.5	118.9	14.0
3)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	3.8	4.7	2.0
4) 腹腔鏡下手術件数	n=28	714.7	333.3	686.5
4)- i うち緊急手術件数	n=28	63.8	73.1	47.5
4)- ii うち休日加算等を算定して いる件数	n=28	18.3	20.3	14.5
5) 放射線治療(体外照射法)の 件数	n=28	8392.3	6485.8	8371.5
6) 化学療法の件数	n=28	12230.8	8677.1	10609.5
7) 分娩の件数	n=28	477.9	262.3	465.5
8) 救急自動車等による搬送件数	n=28	3105.6	1670.6	2544.0

図表 2-247 全身麻酔による手術件数
 (令和元年4月1日～令和2年3月31日)
 (入院基本料の届出状況別)



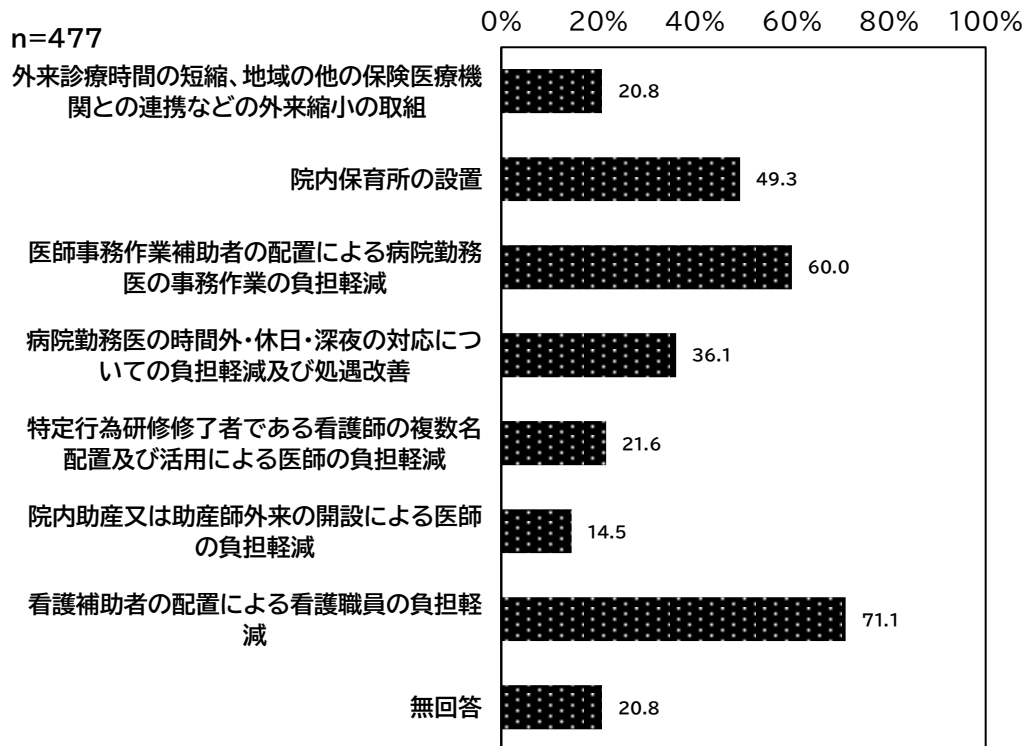
図表 2-248 全身麻酔による手術件数
 (令和2年6月1日～令和3年5月31日)
 (入院基本料の届出状況別)



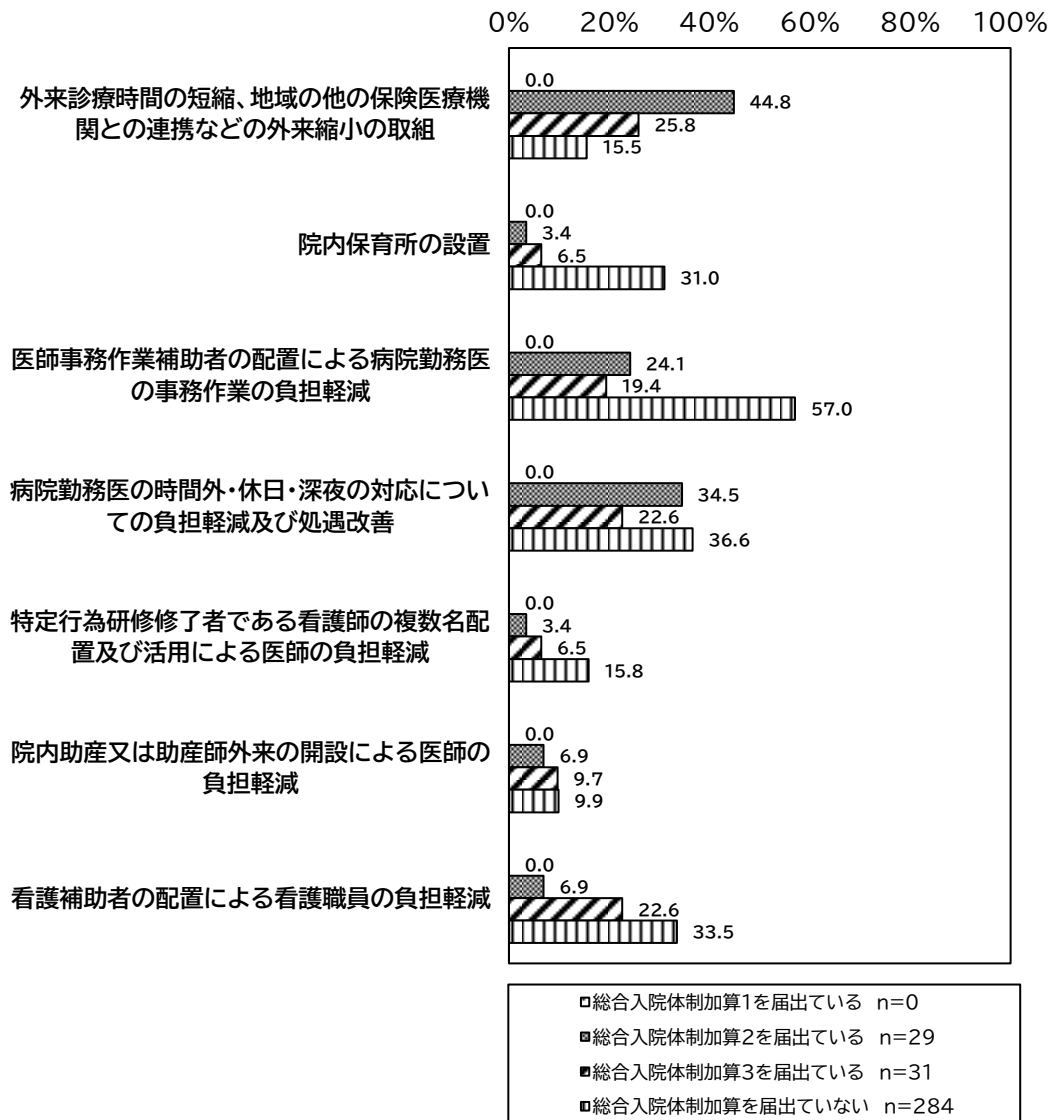
②-3 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容

医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容について尋ねたところ、「看護補助者の配置による看護職員の負担軽減」が71.1%で最も多く、次いで、「医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減」が60.0%であった。

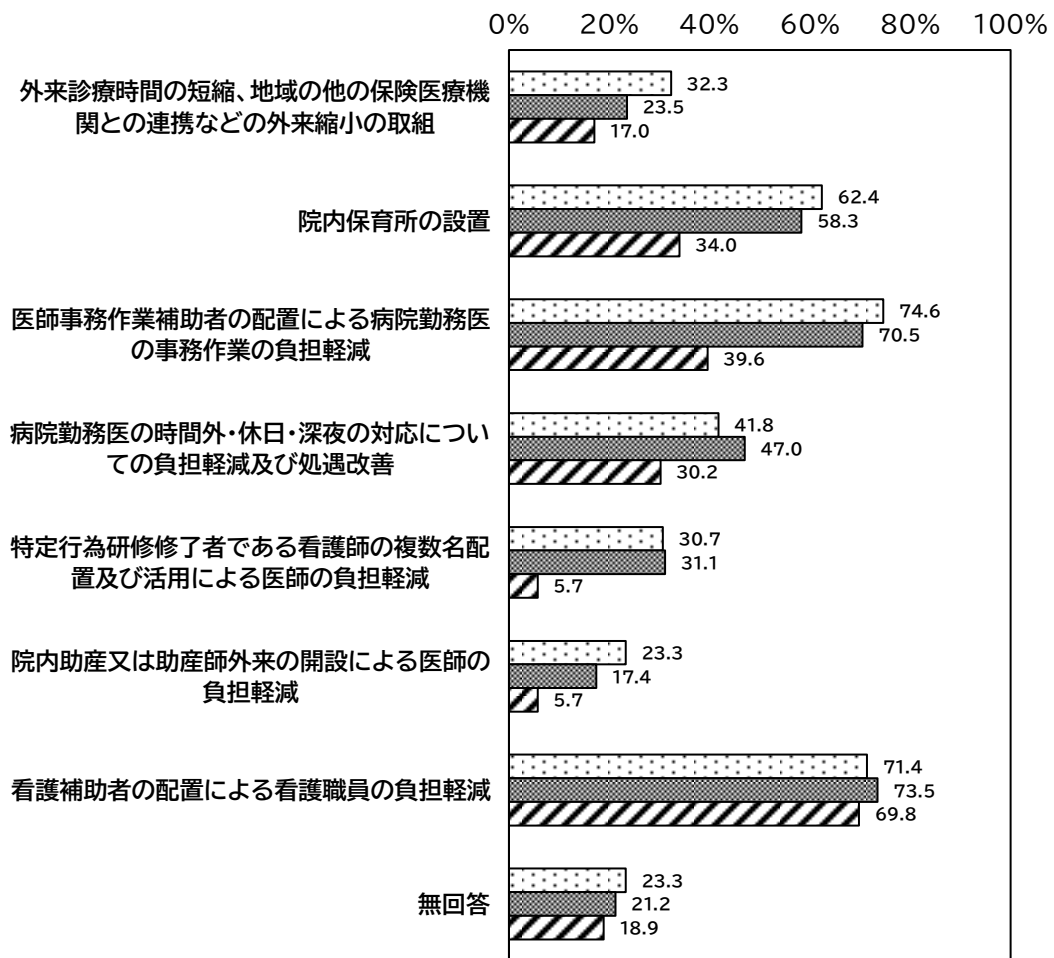
図表 2-249 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容
(複数回答)



図表 2-250 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容
 (複数回答)
 (総合入院体制加算の届出状況別)



図表 2-251 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容
 (複数回答)
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



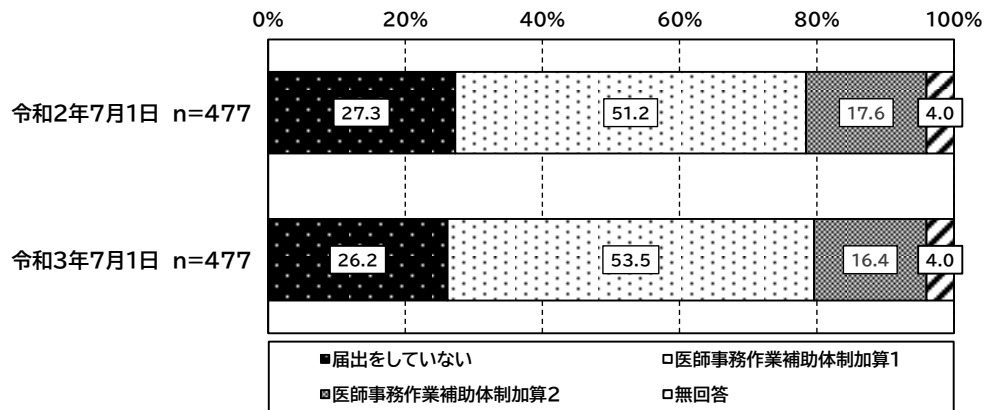
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=189
 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある n=132
 その他 n=53

③ 医師事務作業補助体制加算の届出状況

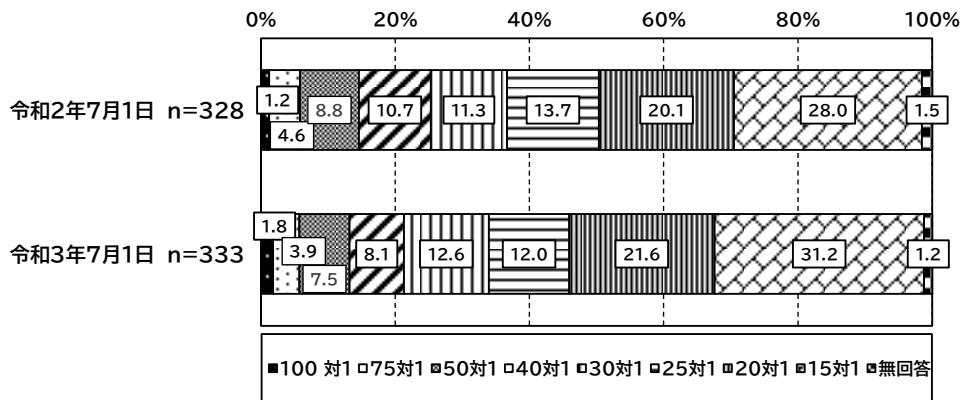
医師事務作業補助体制加算の届出状況をみると、「令和2年7月1日」では「医師事務作業補助体制加算1」の届出が51.2%、「医師事務作業補助体制加算2」の届出が17.6%であった。

「令和3年7月1日」では「医師事務作業補助体制加算1」の届出が53.5%、「医師事務作業補助体制加算2」の届出が16.4%であった。

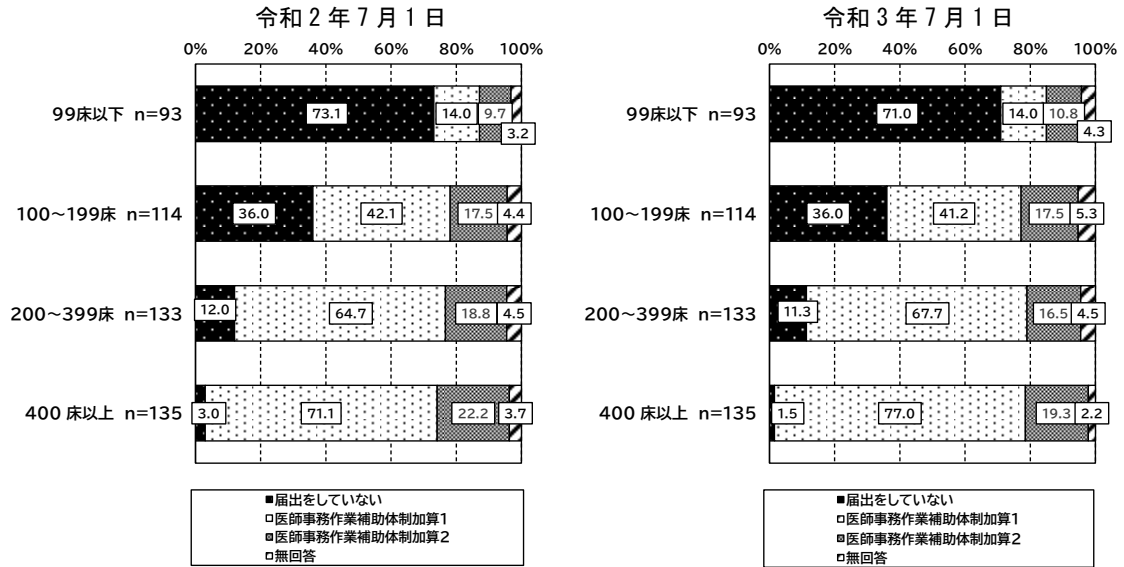
図表 2-252 医師事務作業補助体制加算の届出状況



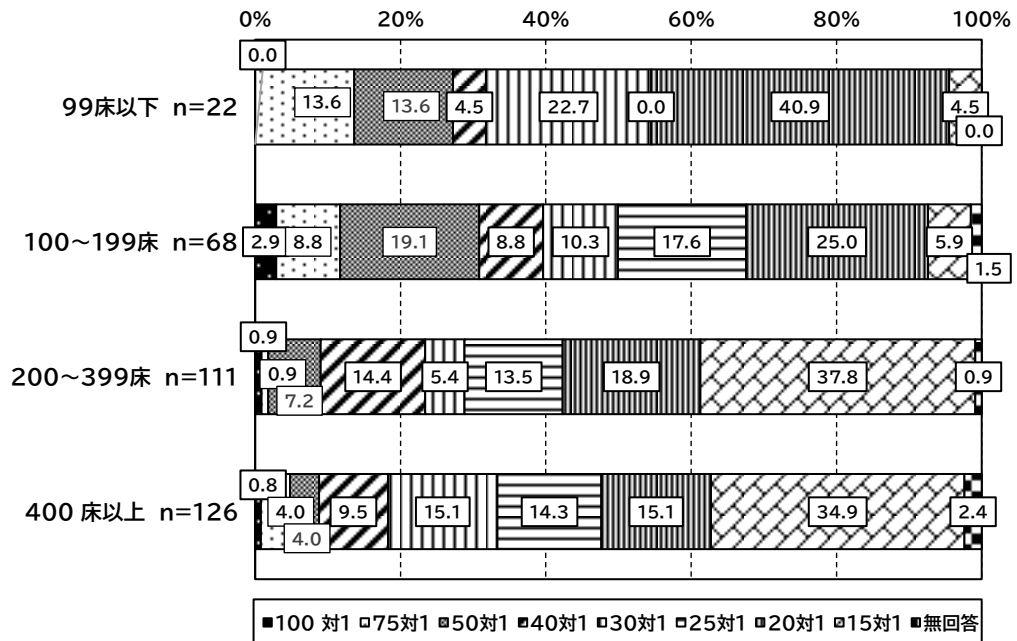
図表 2-253 届出している場合の内訳



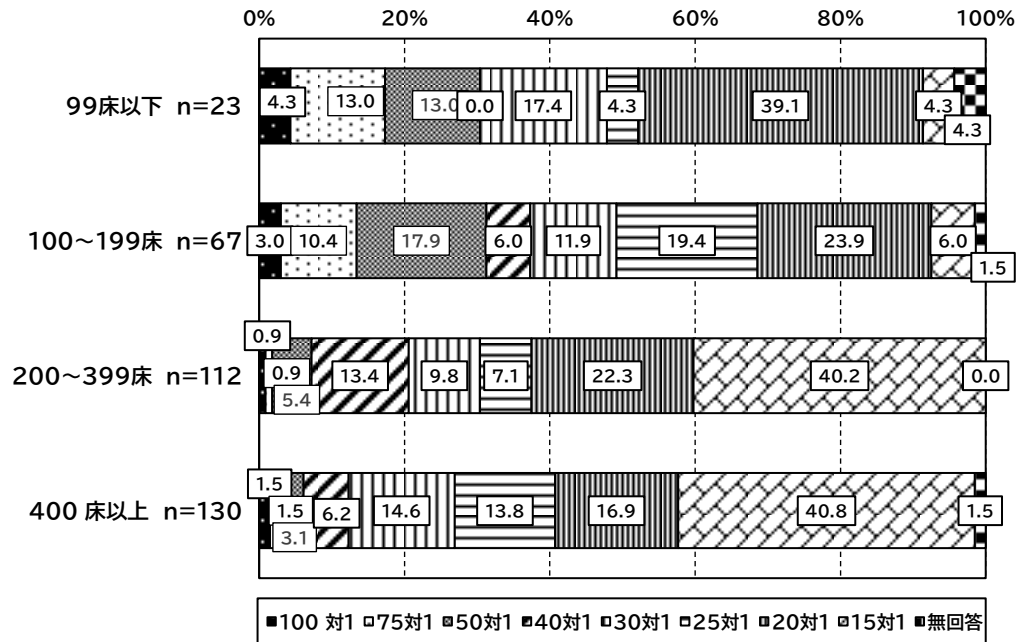
図表 2-254 医師事務作業補助体制加算の届出状況
(病床規模別)



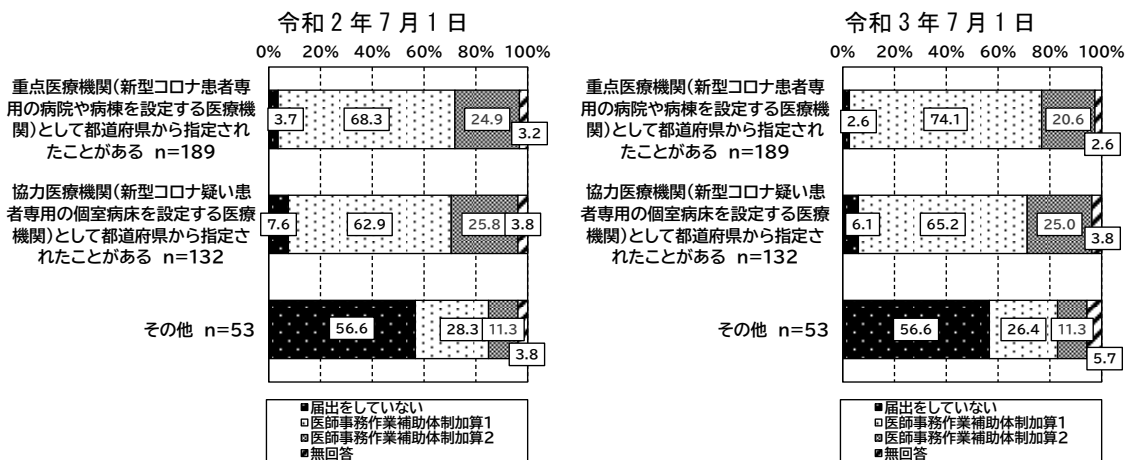
図表 2-255 届出している場合の内訳 (令和2年7月1日)
(病床規模別)



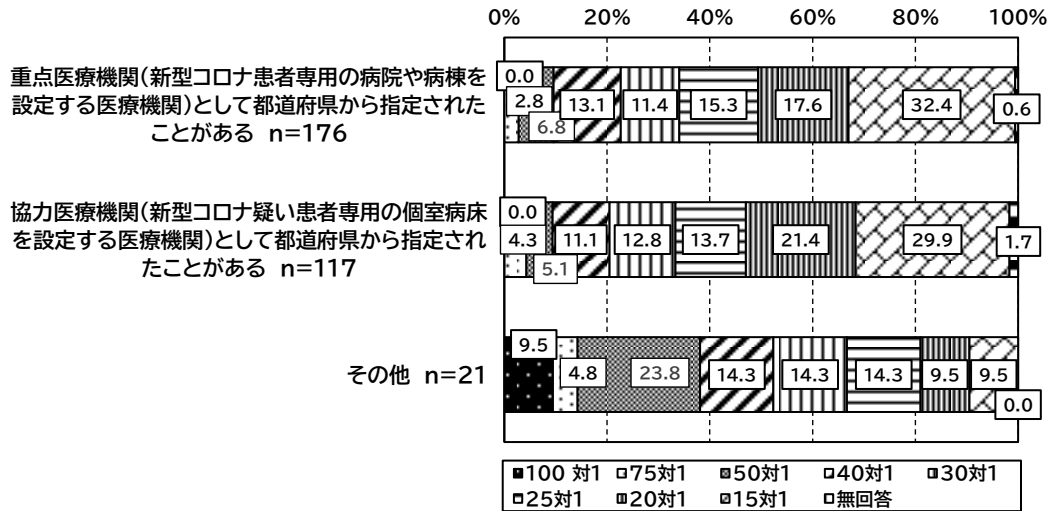
図表 2-256 届出している場合の内訳（令和3年7月1日）
（病床規模別）



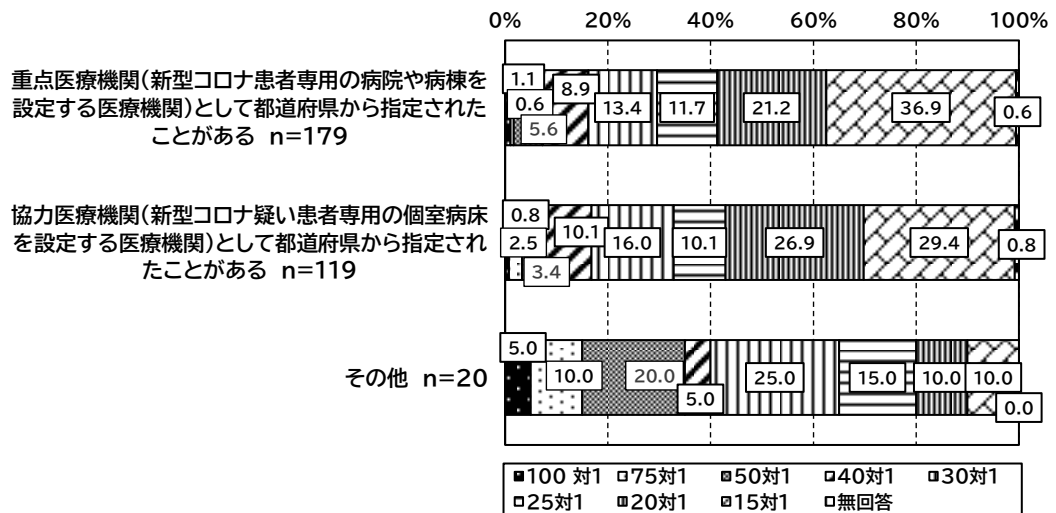
図表 2-257 医師事務作業補助体制加算の届出状況
（新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）



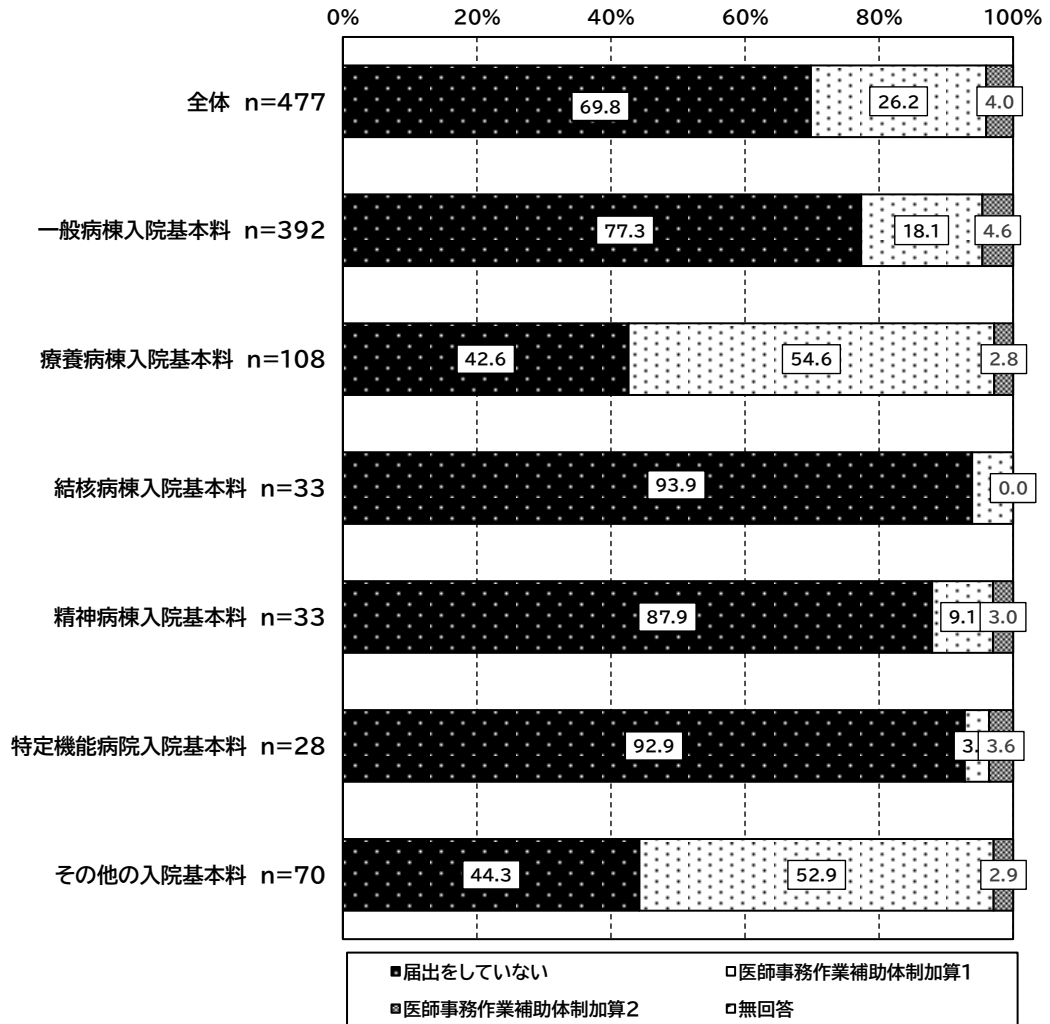
図表 2-258 届出している場合の内訳（令和2年7月1日）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）



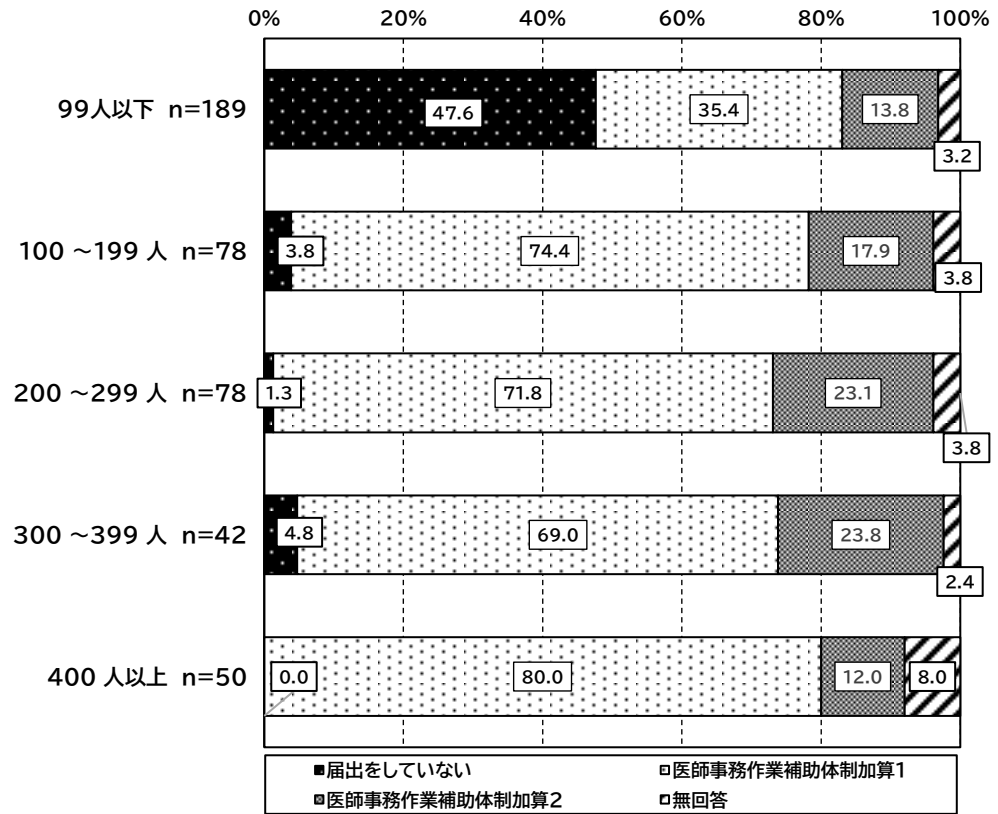
図表 2-259 届出している場合の内訳（令和3年7月1日）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）



図表 2-260 医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和3年7月1日）
（入院基本料別）



図表 2-261 医師事務作業補助体制加算の届出状況
 (緊急自動車等により搬送された延べ患者数別)

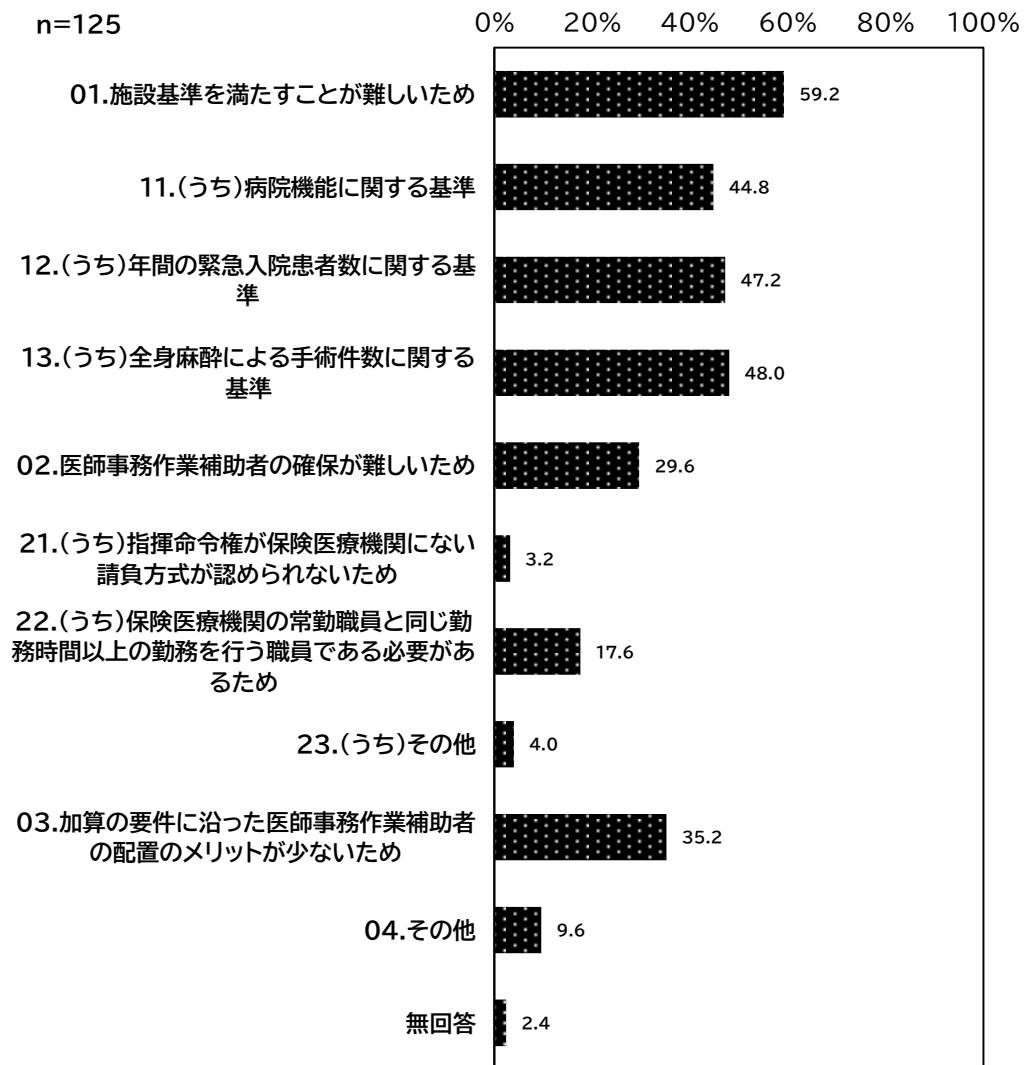


③-1 届出をしていない理由

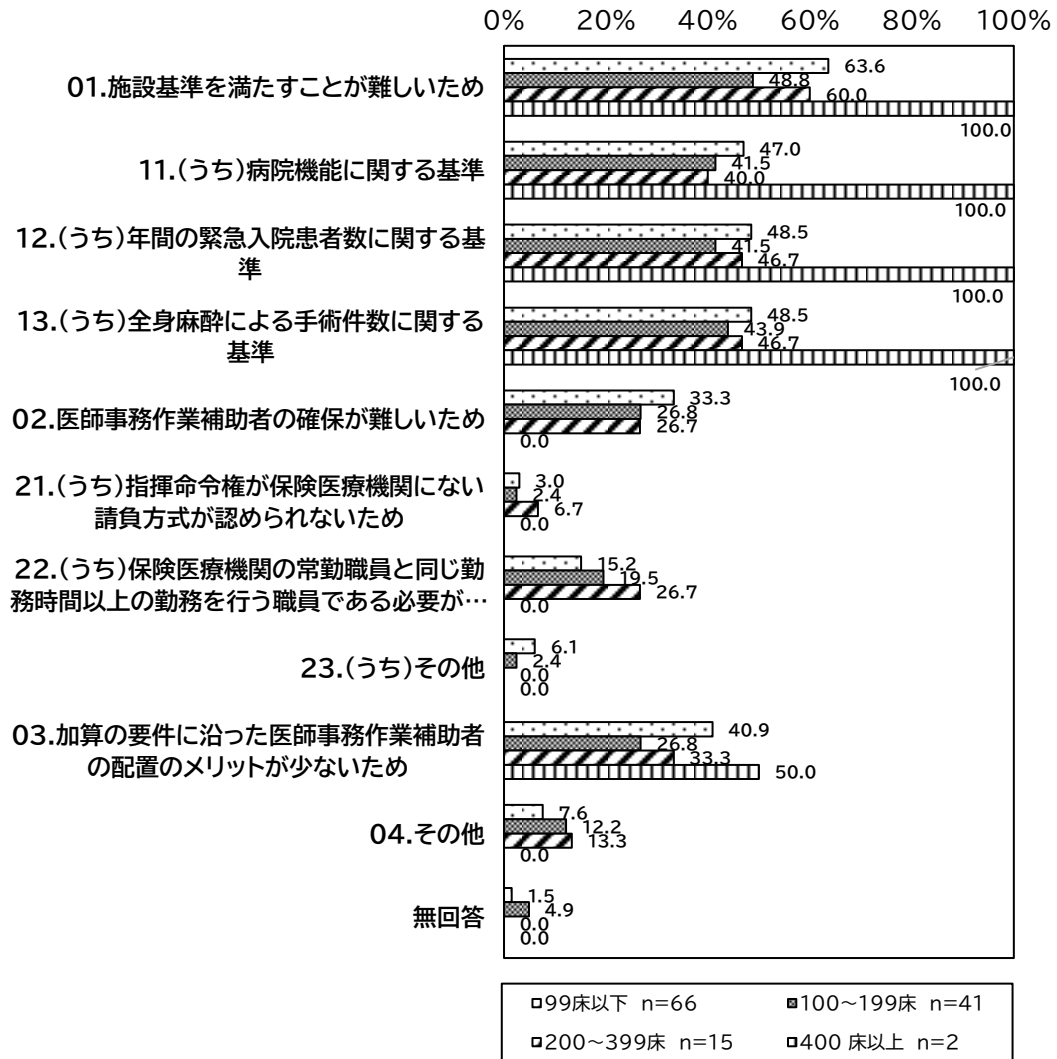
(③で「令和3年7月1日」時点において、「届出をしていない」と回答した施設のみ集計)

医師事務作業補助体制加算を届け出していない理由は、「施設基準を満たすことが難しいため」が59.2%で最も多かった。

図表 2-262 届出をしていない理由（複数回答）



図表 2-263 届出をしていない理由（複数回答）
（病床規模別）

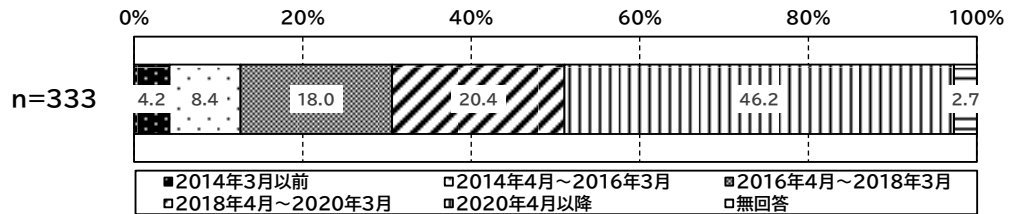


③-2 届出時期

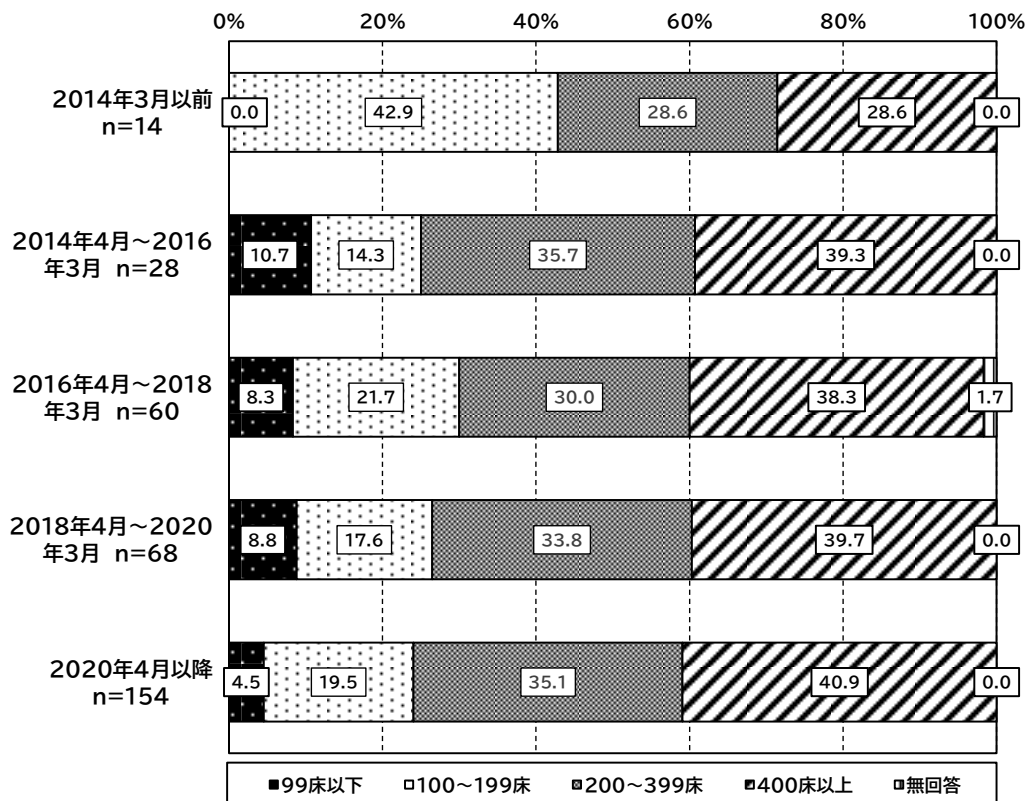
(③で「令和3年7月1日」時点において、医師事務作業補助体制加算1または2を届出していると回答した施設のみ集計)

現在の体制の届出時期を尋ねたところ、「2020年4月以降」が46.2%で最も多かった。

図表 2-264 届出時期



図表 2-265 届出時期 (病床規模別)



③-3 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）

（③で「令和3年7月1日」時点において、医師事務作業補助体制加算1または2を届出していると回答した施設のみ集計）

医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）は以下のとおりであった。

図表 2-266 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）

（単位：人）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
外来	n=309	12.5	13.4	8.0
病棟	n=309	2.8	5.8	0.0
医局・事務室等	n=309	3.9	6.0	1.0
合計	n=309	19.2	15.6	16.0

図表 2-267 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）

（99床以下）

（単位：人）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
外来	n=20	2.7	3.3	1.0
病棟	n=20	0.7	0.9	0.1
医局・事務室等	n=20	0.4	0.7	0.0
合計	n=20	3.8	3.5	3.0

図表 2-268 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）

（100～199床）

（単位：人）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
外来	n=64	3.6	3.9	2.0
病棟	n=64	1.0	1.5	0.0
医局・事務室等	n=64	1.3	1.6	0.8
合計	n=64	5.9	4.0	5.0

図表 2-269 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）

（200～399床）

（単位：人）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
外来	n=105	11.0	8.1	10.0
病棟	n=105	1.9	3.2	0.0
医局・事務室等	n=105	2.6	4.0	0.5
合計	n=105	15.5	7.2	14.8

図表 2-270 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）
（400床以上）

（単位：人）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
外来	n=119	20.2	16.7	20.8
病棟	n=119	4.9	8.3	0.0
医局・事務室等	n=119	7.0	7.8	5.0
合計	n=119	32.1	16.1	29.0

- ③-4 各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数（実人数）、及び常勤換算した非常勤の職員数医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）
（③で「令和3年7月1日」時点において、医師事務作業補助体制加算1または2を届出していると回答した施設のみ集計）

各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数（実人数）、及び常勤換算した非常勤の職員数医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）は以下のとおりであった。

図表 2-271 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和2年7月1日・全体)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=135	4.6	7.9	1.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=135	0.0	0.2	0.0
	その他	n=135	0.6	4.1	0.0
	全病棟	n=135	5.3	8.9	2.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=135	3.9	9.2	0.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=135	0.0	0.1	0.0
	その他	n=135	0.5	2.5	0.0
	全病棟	n=135	4.5	9.8	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=135	3.0	7.1	0.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=135	0.0	0.1	0.0
	その他	n=135	0.4	1.9	0.0
	全病棟	n=135	3.4	7.5	0.0

図表 2-272 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和3年7月1日・全体)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=135	4.8	8.2	2.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=135	0.1	0.2	0.0
	その他	n=135	0.6	4.1	0.0
	全病棟	n=135	5.6	9.1	3.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=135	3.9	8.6	0.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=135	0.0	0.1	0.0
	その他	n=135	0.5	2.7	0.0
	全病棟	n=135	4.5	9.4	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=135	3.1	6.7	0.0
	精神病棟	n=135	0.1	0.2	0.0
	療養病棟	n=135	0.0	0.1	0.0
	その他	n=135	0.4	2.1	0.0
	全病棟	n=135	3.5	7.3	0.0

図表 2-273 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和2年7月1日・99床以下)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=10	1.8	1.4	1.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.2	0.6	0.0
	全病棟	n=10	2.0	1.4	1.5
非常勤（実人数）	一般病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=10	0.1	0.3	0.0

図表 2-274 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和3年7月1日・99床以下)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=10	1.6	1.4	1.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.2	0.6	0.0
	全病棟	n=10	1.8	1.4	1.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=10	0.1	0.3	0.0
	精神病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=10	0.0	0.0	0.0
	その他	n=10	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=10	0.1	0.3	0.0

図表 2-275 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和2年7月1日・100~199床)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=27	2.7	2.6	2.0
	精神病棟	n=27	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=27	0.2	0.4	0.0
	その他	n=27	0.4	0.9	0.0
	全病棟	n=27	3.3	2.8	3.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=27	0.2	0.7	0.0
	精神病棟	n=27	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	その他	n=27	0.1	0.6	0.0
	全病棟	n=27	0.4	1.1	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=27	0.2	0.7	0.0
	精神病棟	n=27	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	その他	n=27	0.0	0.1	0.0
	全病棟	n=27	0.3	0.8	0.0

図表 2-276 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和3年7月1日・100~199床)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=27	2.8	2.7	2.0
	精神病棟	n=27	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=27	0.2	0.4	0.0
	その他	n=27	0.4	0.9	0.0
	全病棟	n=27	3.4	2.8	3.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=27	0.2	0.6	0.0
	精神病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	療養病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	その他	n=27	0.2	0.8	0.0
	全病棟	n=27	0.4	1.3	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=27	0.2	0.6	0.0
	精神病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	療養病棟	n=27	0.0	0.2	0.0
	その他	n=27	0.0	0.1	0.0
	全病棟	n=27	0.3	0.8	0.0

図表 2-277 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和2年7月1日・200~399床)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=43	3.6	5.4	1.0
	精神病棟	n=43	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=43	0.1	0.2	0.0
	その他	n=43	0.1	0.3	0.0
	全病棟	n=43	3.7	5.4	1.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=43	1.8	4.2	0.0
	精神病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	その他	n=43	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=43	1.8	4.2	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=43	1.5	3.1	0.0
	精神病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	その他	n=43	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=43	1.5	3.1	0.0

図表 2-278 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和3年7月1日・200~399床)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=43	3.8	5.1	2.0
	精神病棟	n=43	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=43	0.1	0.3	0.0
	その他	n=43	0.1	0.3	0.0
	全病棟	n=43	4.0	5.1	2.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=43	1.7	3.7	0.0
	精神病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	その他	n=43	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=43	1.7	3.7	0.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=43	1.5	3.1	0.0
	精神病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	療養病棟	n=43	0.0	0.0	0.0
	その他	n=43	0.0	0.0	0.0
	全病棟	n=43	1.5	3.1	0.0

図表 2-279 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和2年7月1日・400床以上)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=55	6.8	10.9	2.0
	精神病棟	n=55	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	1.2	6.3	0.0
	全病棟	n=55	8.1	12.5	2.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=55	8.0	12.8	2.0
	精神病棟	n=55	0.2	0.5	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	1.2	3.8	0.0
	全病棟	n=55	9.3	13.5	3.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=55	6.1	9.9	0.8
	精神病棟	n=55	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	0.9	2.9	0.0
	全病棟	n=55	7.1	10.4	2.3

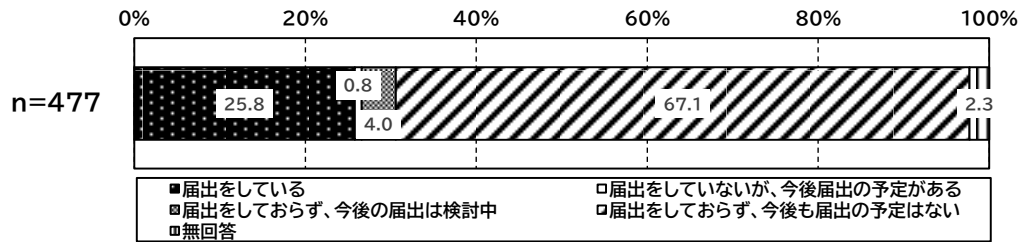
図表 2-280 医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数
(令和3年7月1日・400床以上)

		調査数	平均 (人)	標準 偏差	中央値
常勤	一般病棟	n=55	7.2	11.4	2.0
	精神病棟	n=55	0.1	0.3	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	1.3	6.3	0.0
	全病棟	n=55	8.6	12.8	3.0
非常勤（実人数）	一般病棟	n=55	8.0	11.8	3.0
	精神病棟	n=55	0.2	0.5	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	1.2	4.1	0.0
	全病棟	n=55	9.4	12.8	3.0
非常勤（常勤換算）	一般病棟	n=55	6.2	9.2	2.0
	精神病棟	n=55	0.1	0.4	0.0
	療養病棟	n=55	0.0	0.0	0.0
	その他	n=55	1.0	3.3	0.0
	全病棟	n=55	7.4	9.9	2.5

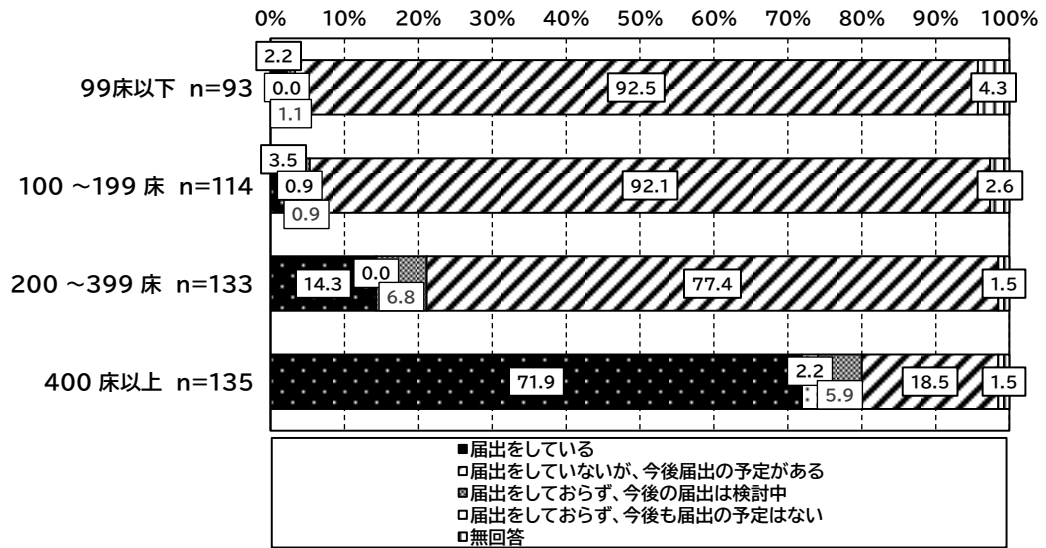
④ 麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況

令和3年7月1日時点における、麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況としては「届出をしておらず、今後の届出の予定はない」が最も多く67.1%であった。

図表 2-281 麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況



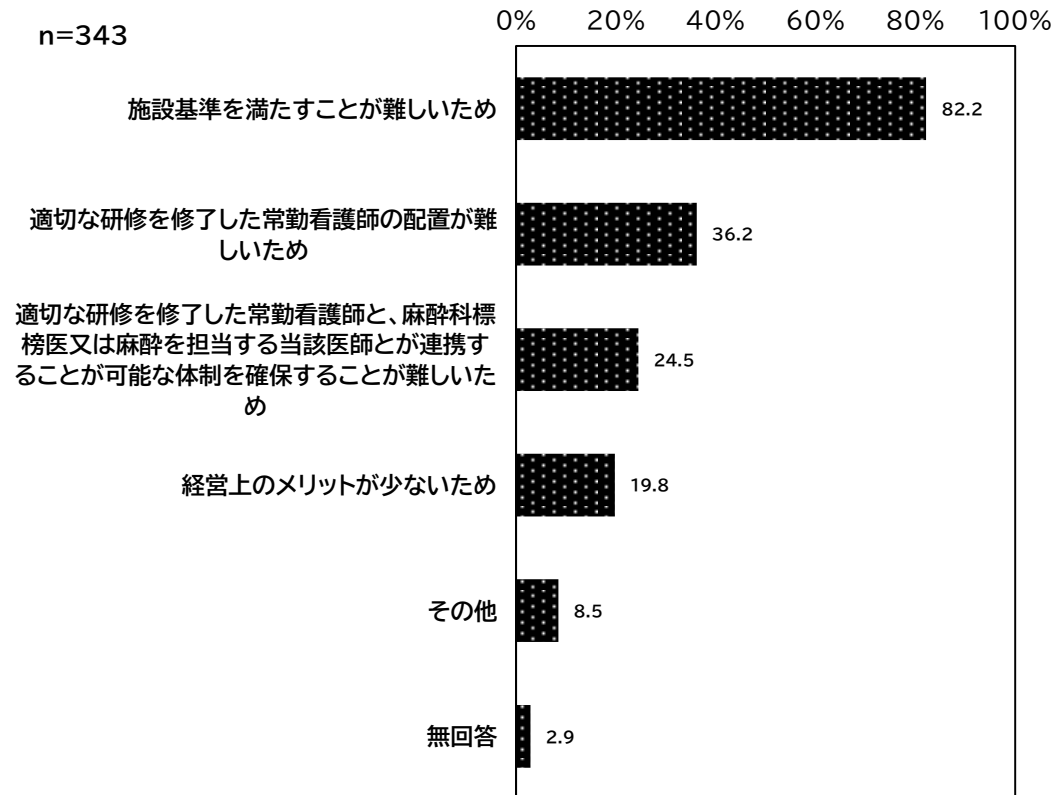
図表 2-282 麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況
(病床規模別)



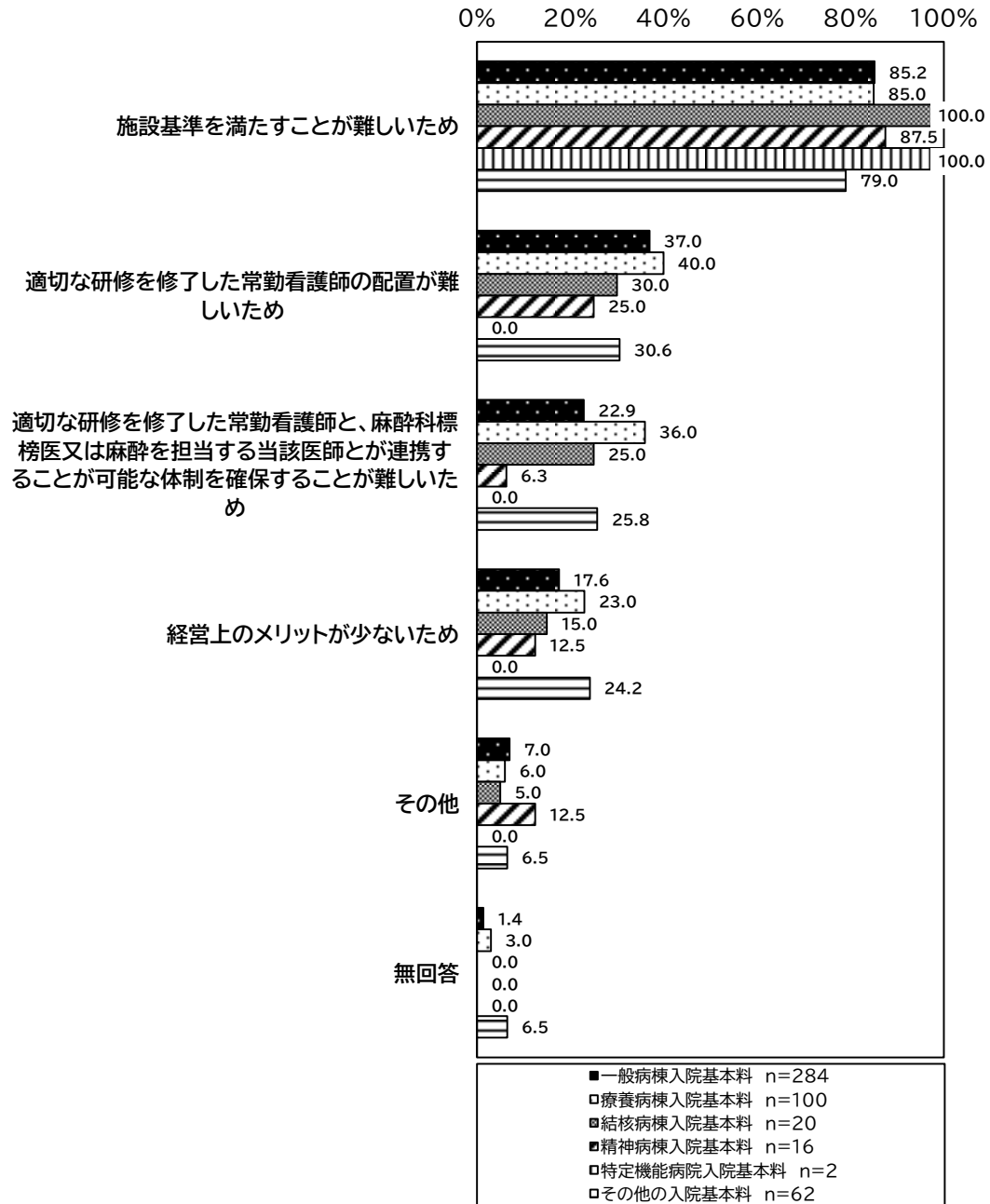
④-1 届出をしていない理由

令和3年7月1日時点において、麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない場合、その理由を確認した。その結果、麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない理由としては「施設基準を満たすことが難しいため」が最も多く82.2%であった。

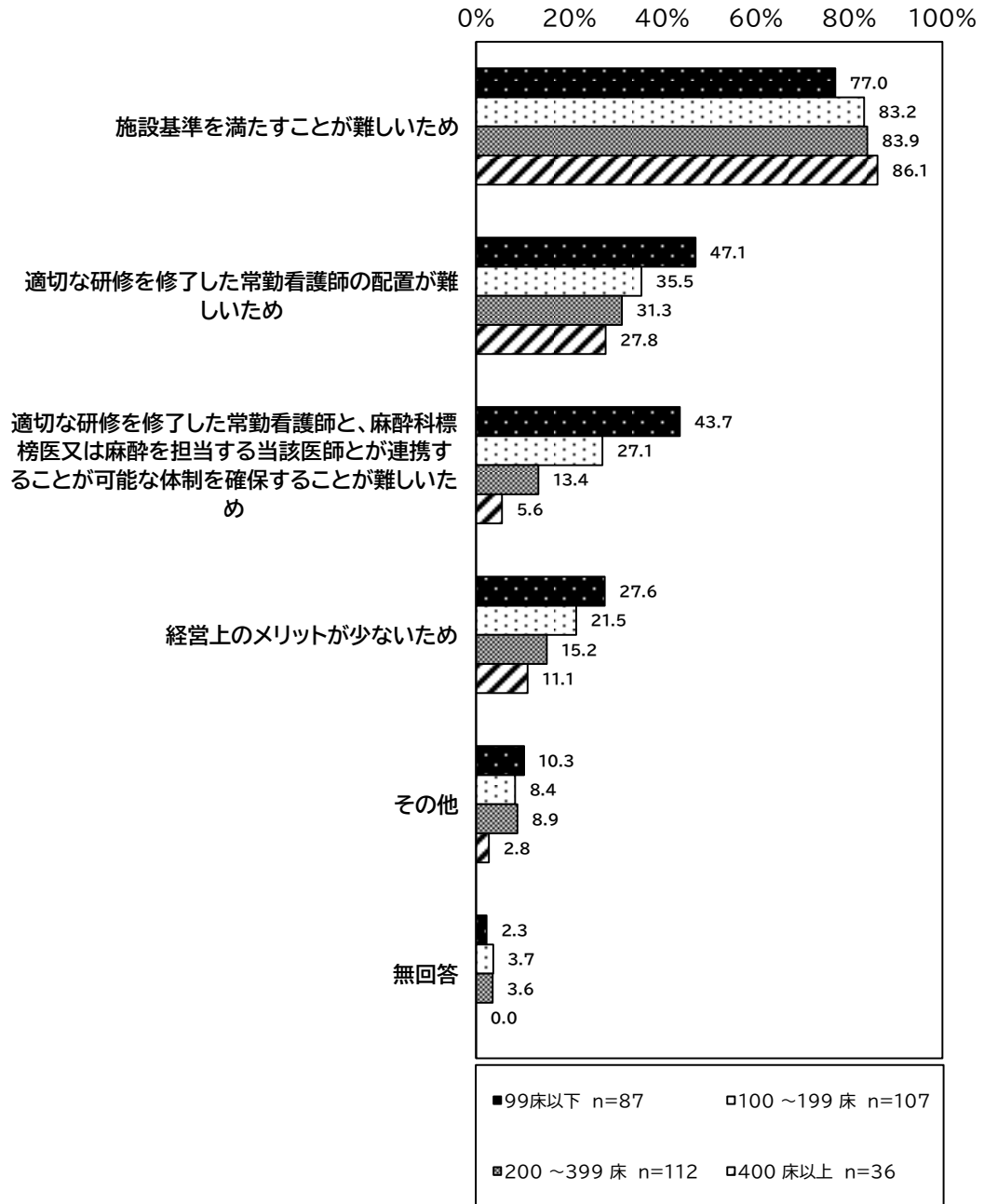
図表 2-283 麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない理由（複数回答）



図表 2-284 麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない理由（複数回答）
（入院基本料別）



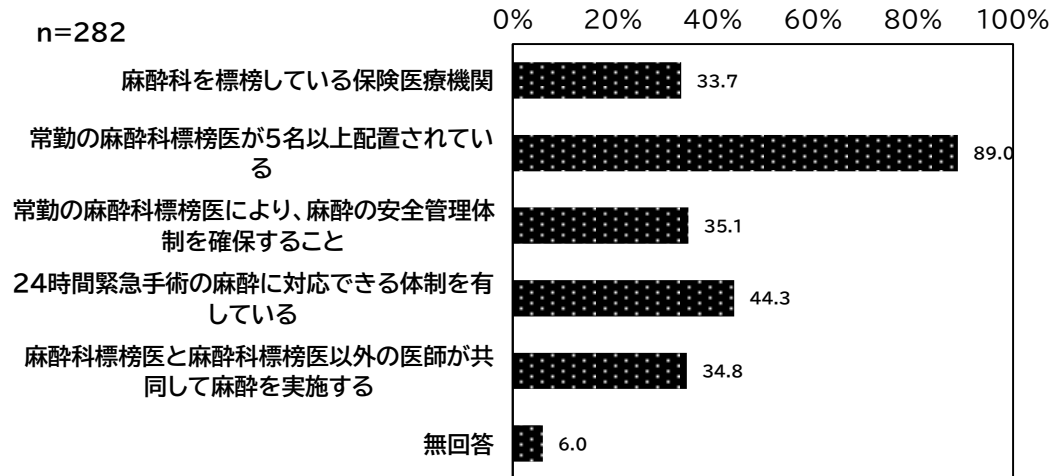
図表 2-285 麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない理由（複数回答）
（病床規模別）



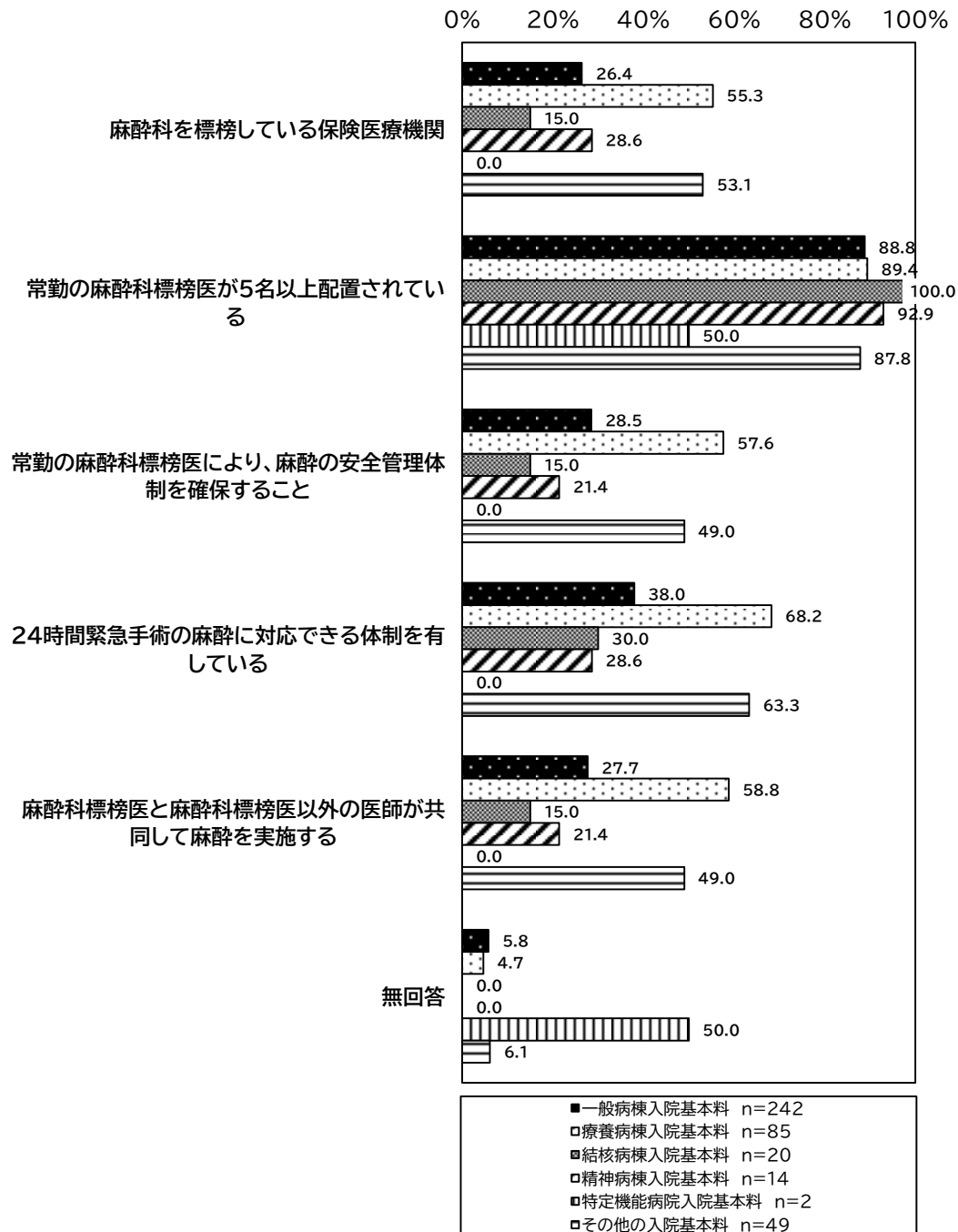
【「施設基準を満たすことが難しいため」を選択した場合】

麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしていない理由として「施設基準を満たすことが難しいため」を選択した場合、その内訳を確認した。その結果、「常勤の麻酔科標榜医が5名以上配置されている」が最も多く89.0%であった

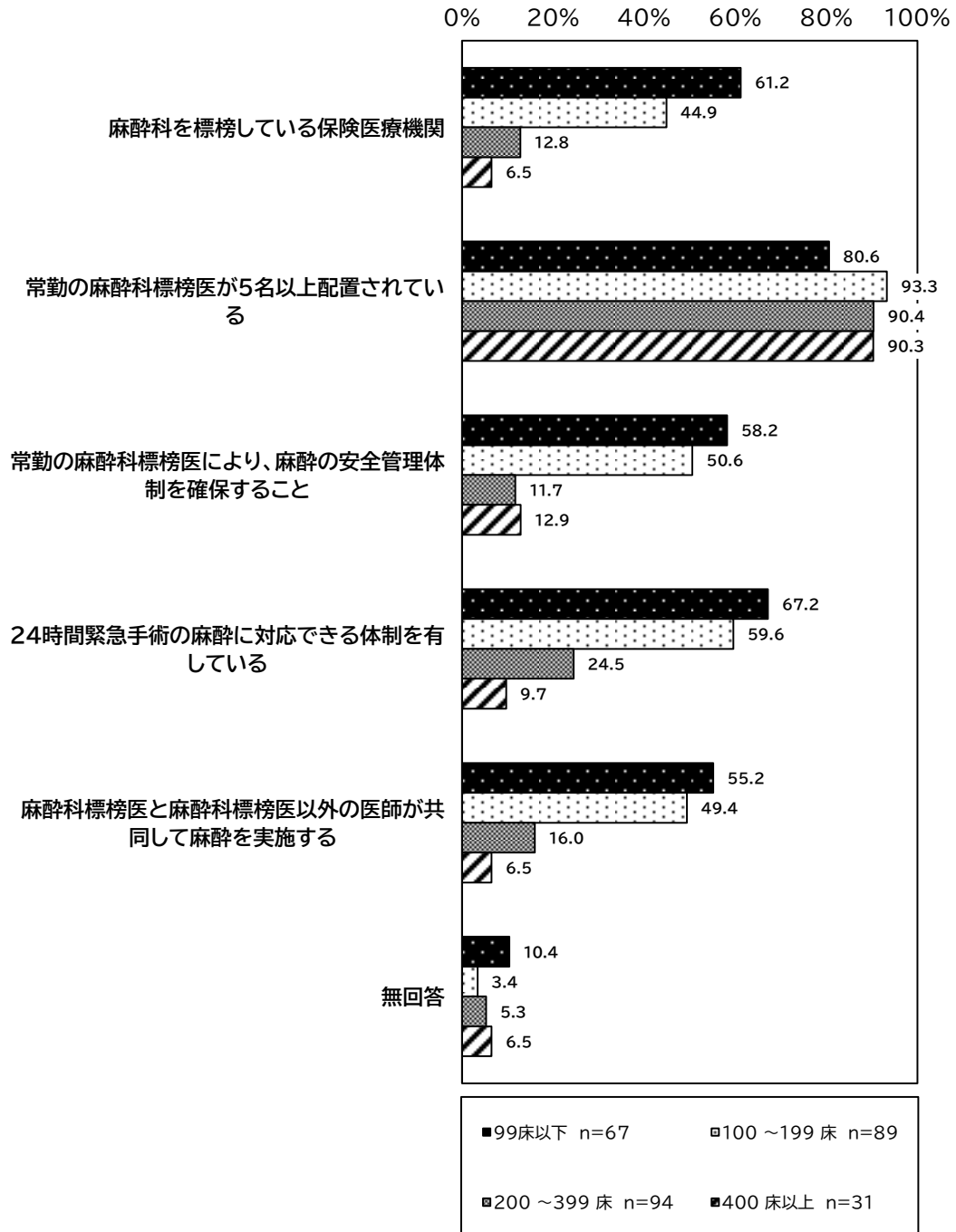
図表 2-286 満たすことが難しい麻酔管理料（Ⅱ）の施設基準（複数回答）



図表 2-287 満たすことが難しい麻酔管理料（Ⅱ）の施設基準（複数回答）
（入院基本料別）



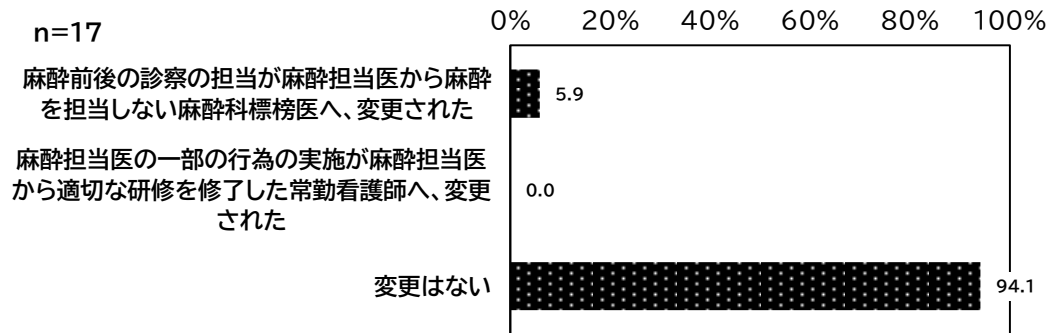
図表 2-288 満たすことが難しい麻酔管理料（Ⅱ）の施設基準（複数回答）
（病床規模別）



④-2 業務担当者の変更

令和3年7月1日時点において、麻酔管理料（Ⅱ）の届出をしている場合、麻酔管理料（Ⅱ）に係る令和2年度改定による変更に合わせて、業務担当者の変更があったかを確認した。その結果は以下のとおりであった。

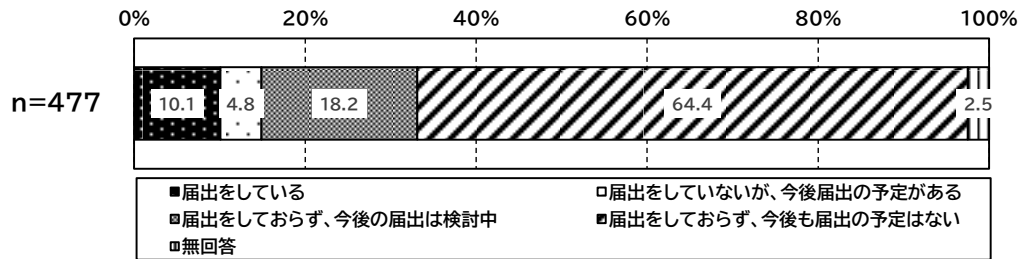
図表 2-289 麻酔管理料（Ⅱ）の届出に係る令和2年度改定による変更に合わせての業務担当者の変更（有効回答のみ集計）



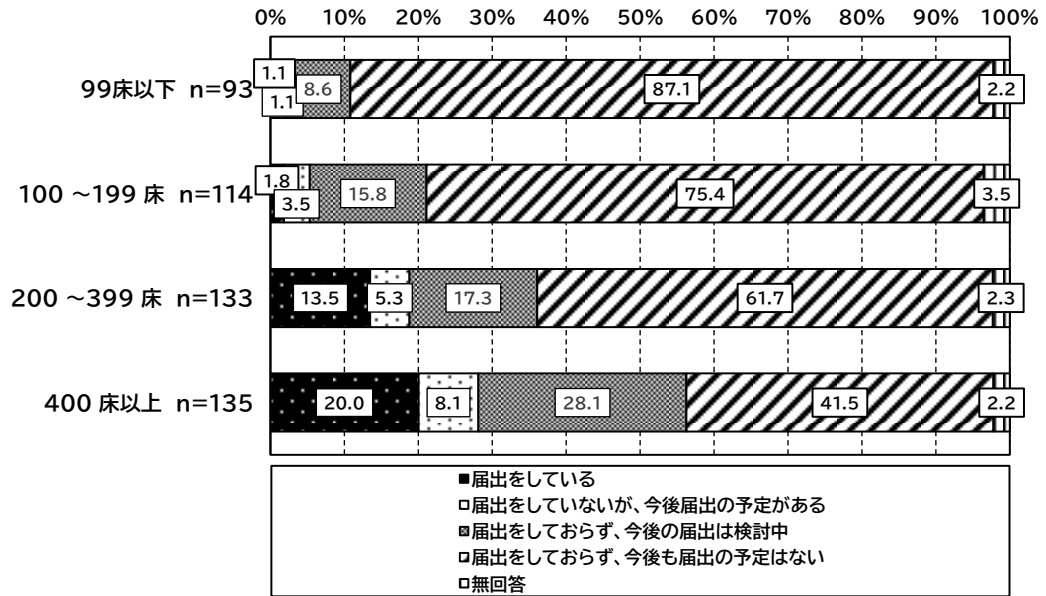
⑤ 摂食嚥下支援加算の届出状況

令和3年7月1日時点における、摂食嚥下支援加算の届出状況としては「届出をしておらず、今後も届出の予定はない」が最も多く64.4%であった。

図表 2-290 摂食嚥下支援加算の届出状況



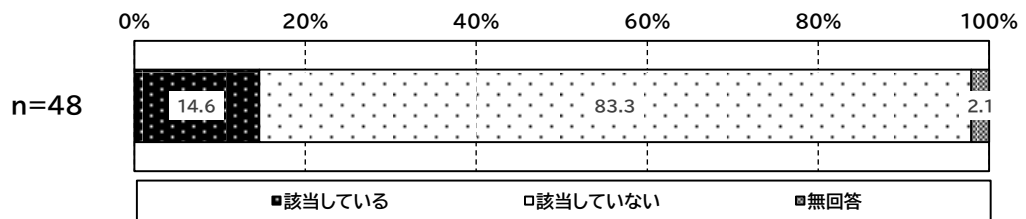
図表 2-291 摂食嚥下支援加算の届出状況
(病床規模別)



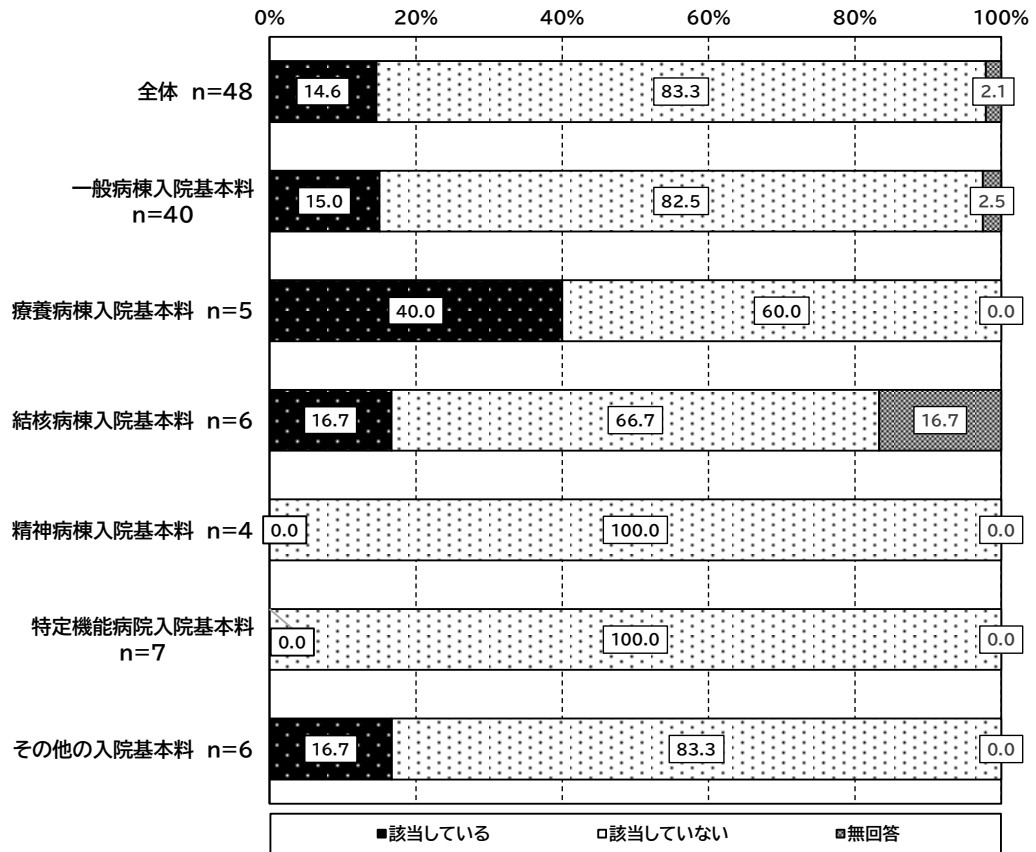
⑤-1 経過措置の該当有無

摂食嚥下支援加算を届出している場合、経過措置に該当しているかを確認した。経過措置の該当有無としては「該当していない」が最も多く 83.3%であった。

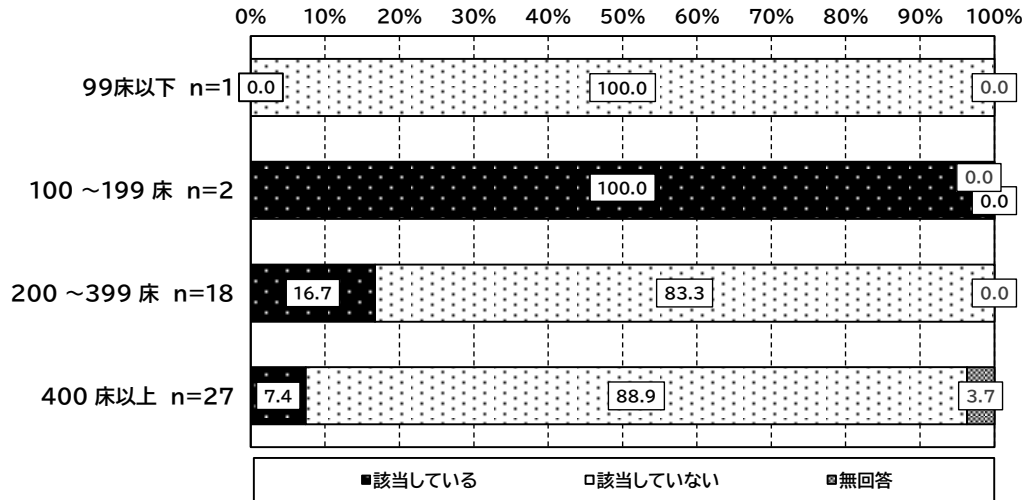
図表 2-292 摂食嚥下支援加算の経過措置の該当有無



図表 2-293 摂食嚥下支援加算の経過措置の該当有無
(入院基本料別)



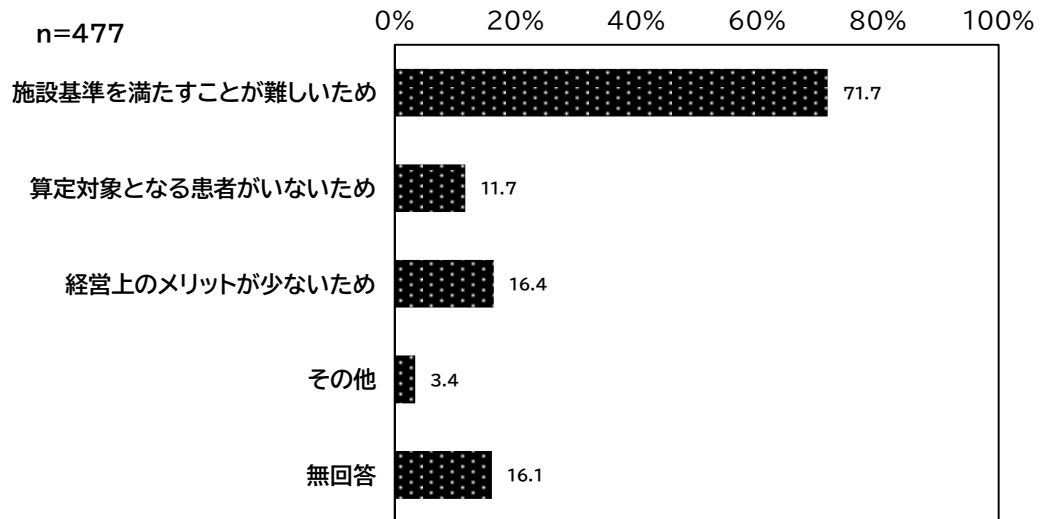
図表 2-294 摂食嚥下支援加算の経過措置の該当有無
(病床規模別)



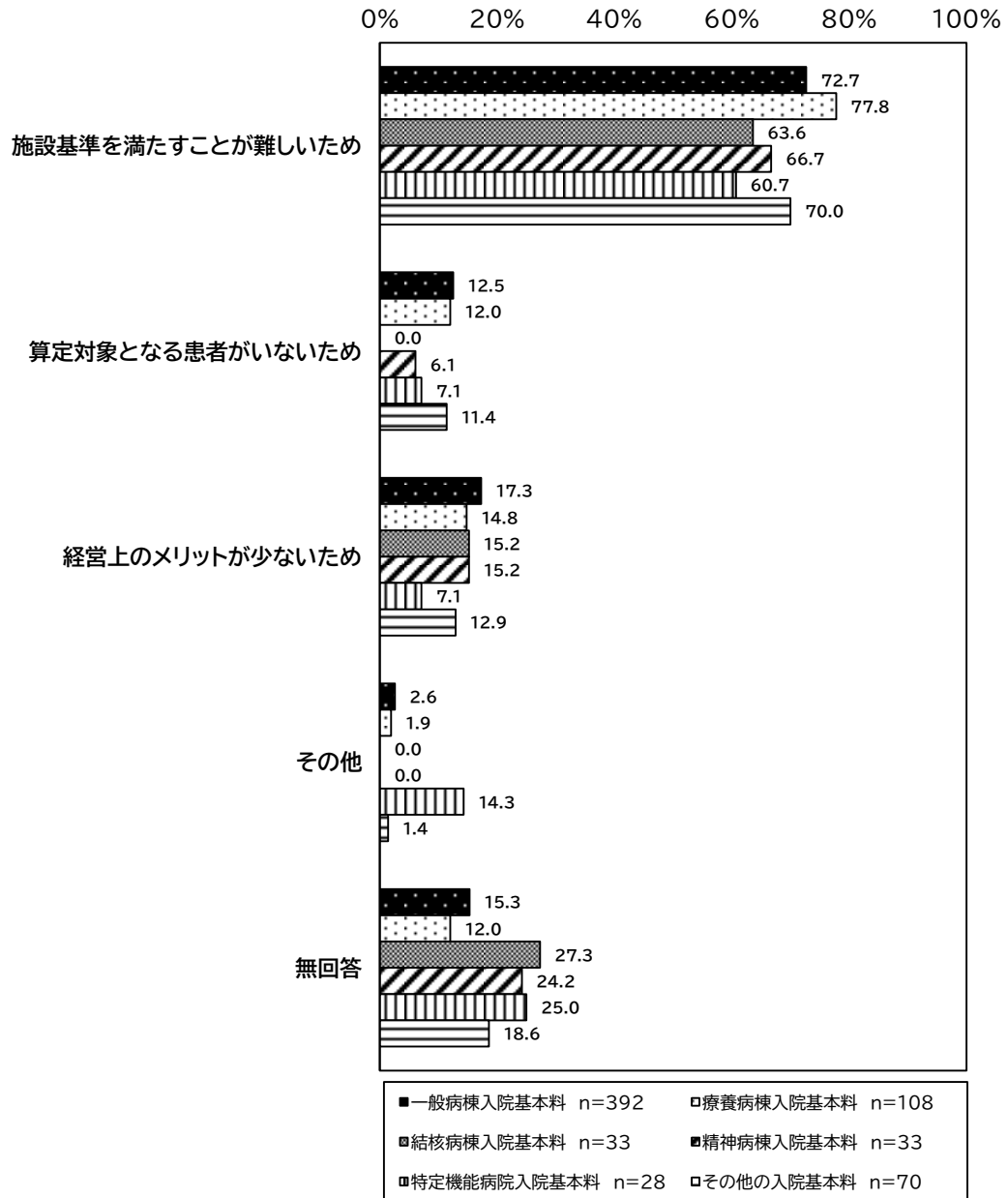
⑤-2 届出をしていない理由

摂食嚥下支援加算を届出していない場合、その理由を確認した。届出をしていない理由としては「施設基準を満たすことが難しいため」が最も多く71.7%であった。

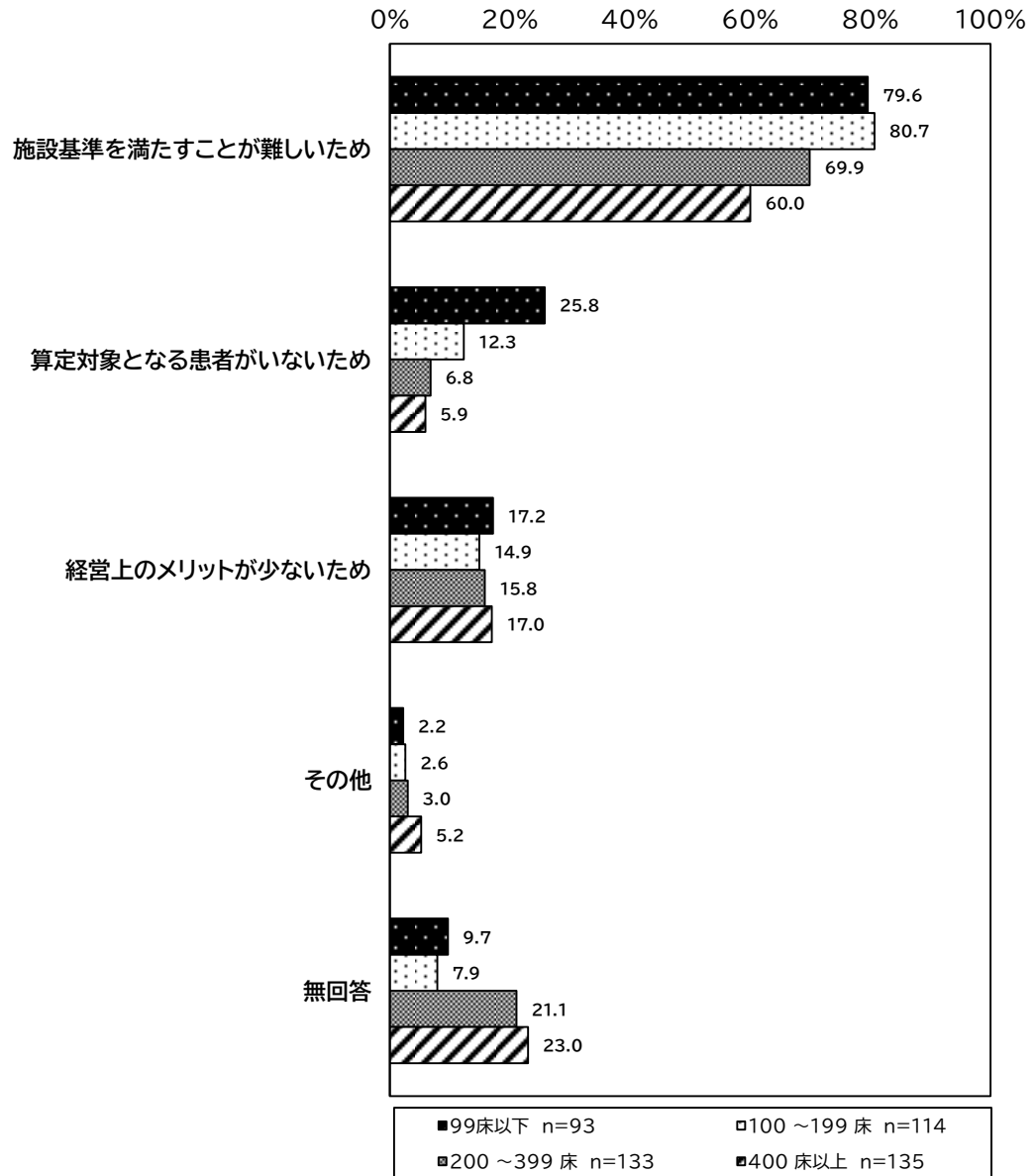
図表 2-295 摂食嚥下支援加算の届出をしていない理由 (複数回答)



図表 2-296 摂食嚥下支援加算の届出をしていない理由（複数回答）
（入院基本料別）



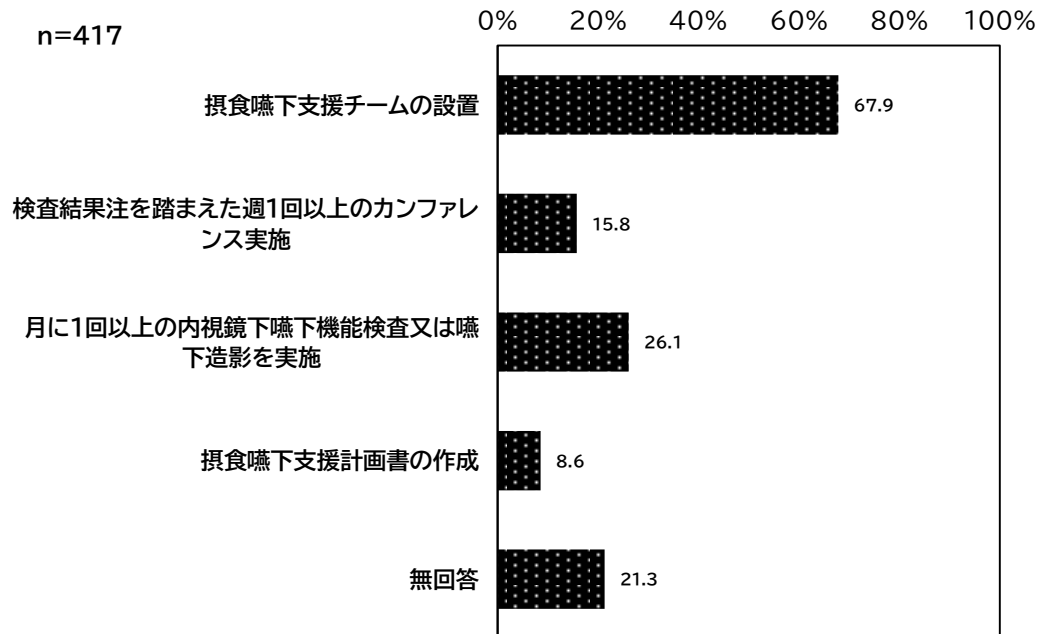
図表 2-297 摂食嚥下支援加算の届出をしていない理由（複数回答）
（病床規模別）



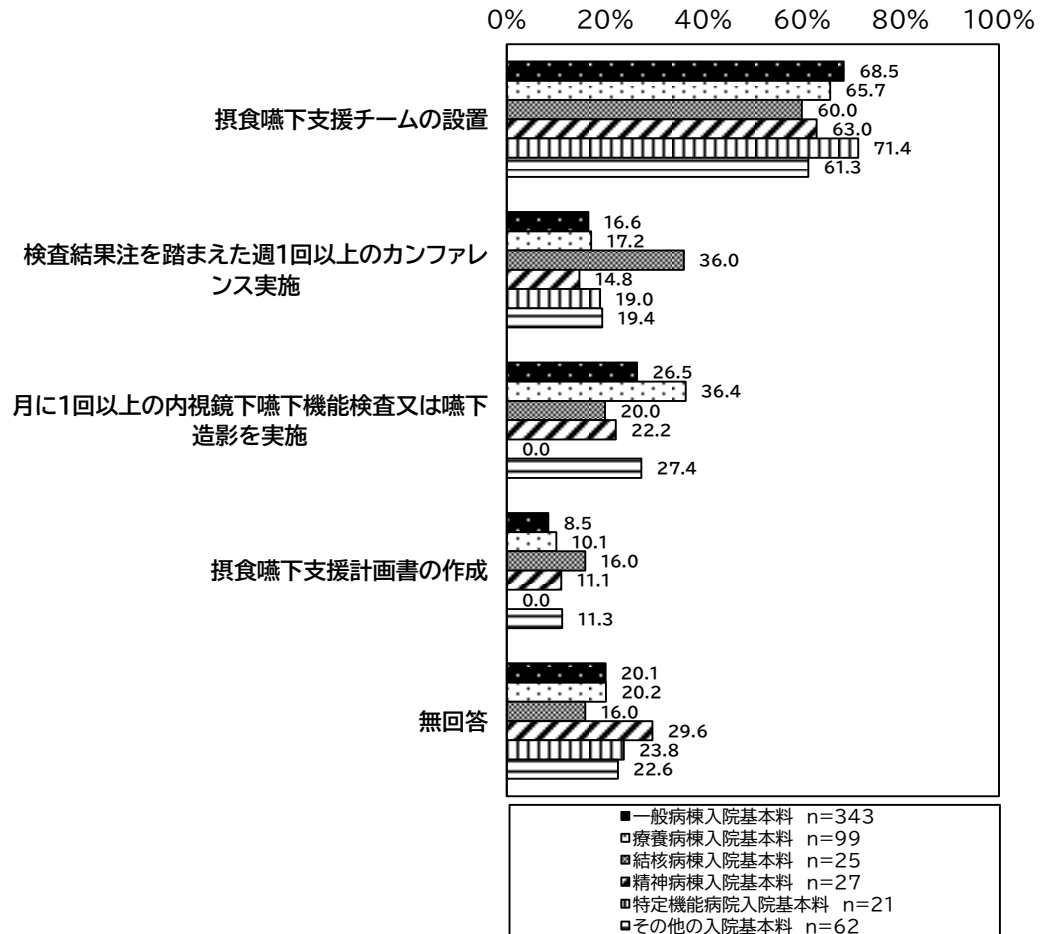
【「施設基準を満たすことが難しいため」を選んだ場合】

摂食嚥下支援加算の届出をしていない理由として「施設基準を満たすことが難しいため」を選んだ場合、その内訳を確認した。その結果、満たすことが難しい基準の内訳で最も多かったのは「摂食支援チームの設置」で67.9%であった。

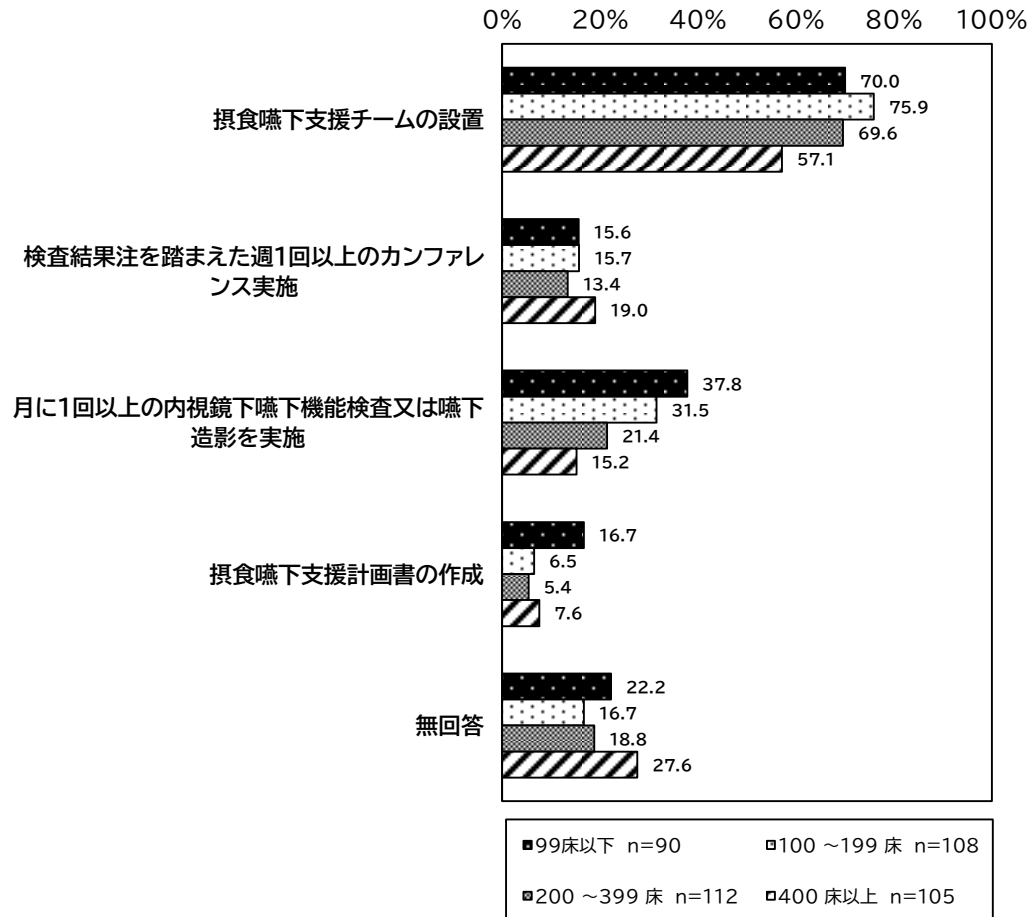
図表 2-298 満たすことが難しい基準の内訳（複数回答）



図表 2-299 満たすことが難しい基準の内訳（複数回答）
（入院基本料別）



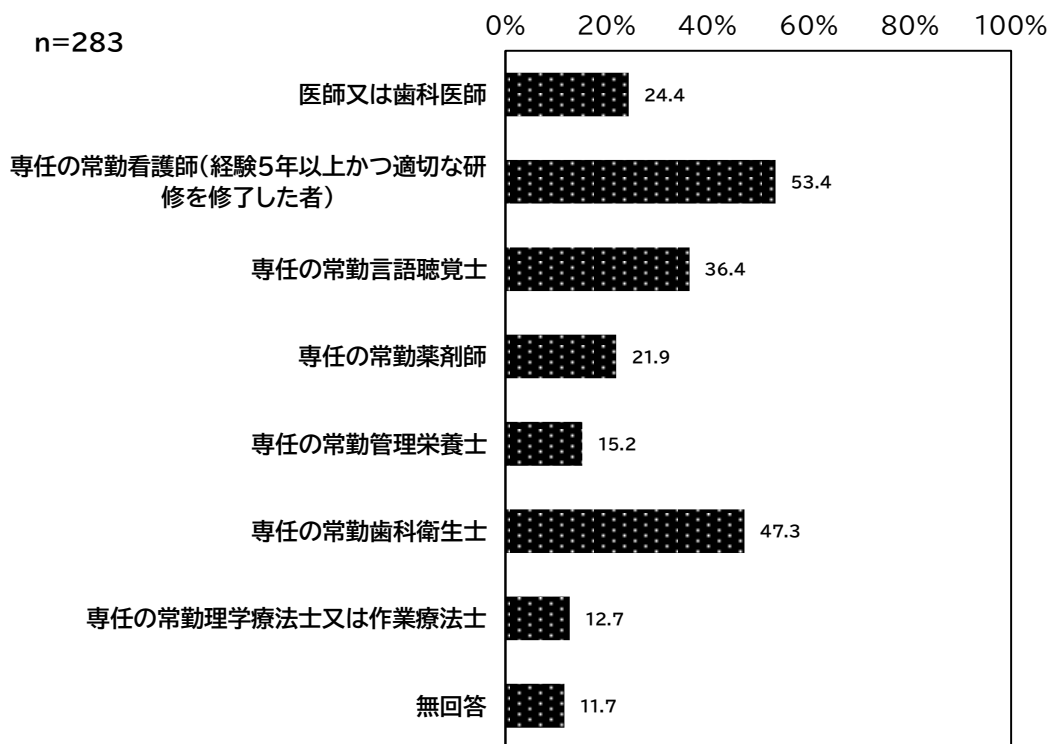
図表 2-300 満たすことが難しい基準の内訳（複数回答）
（病床規模別）



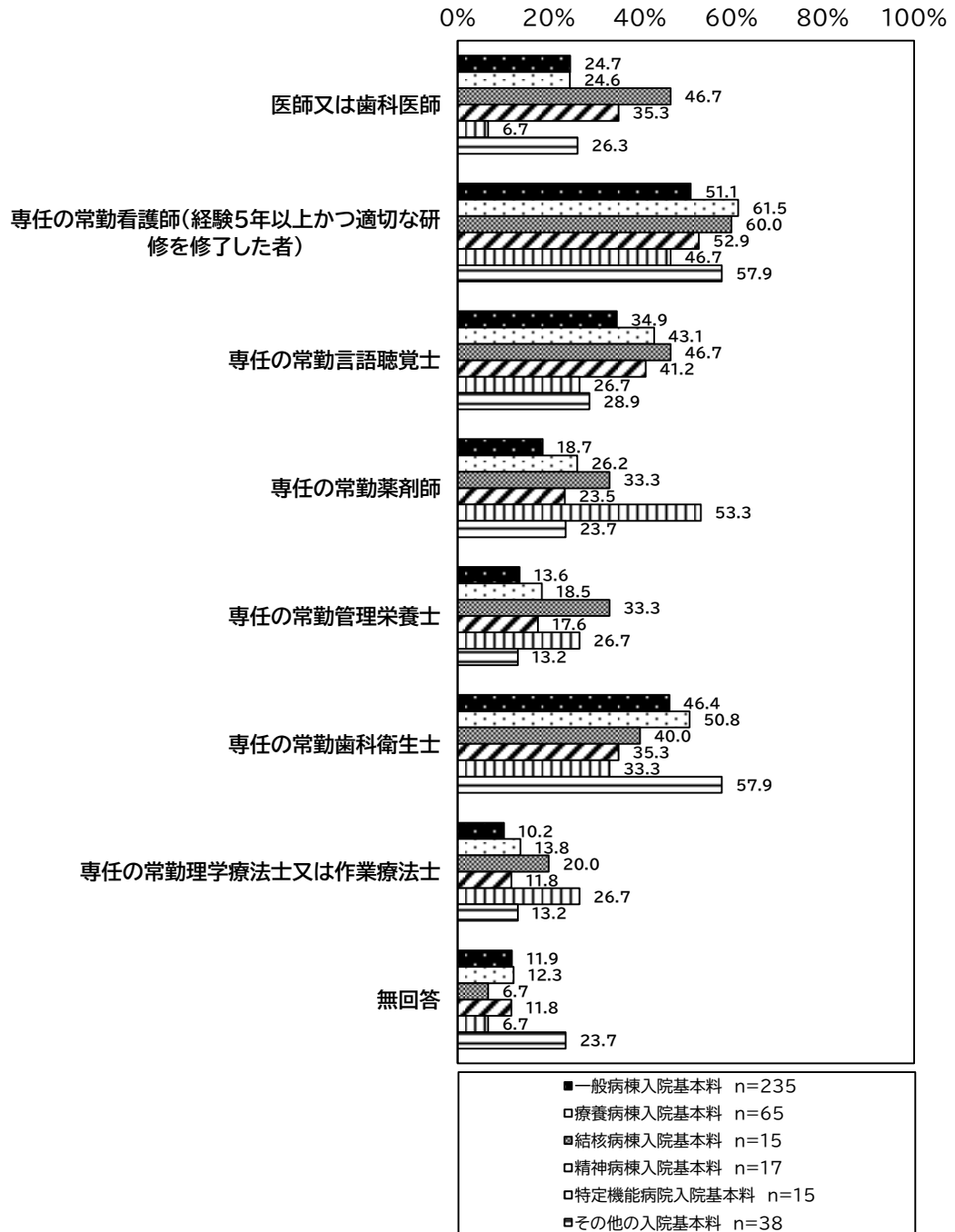
【「摂食嚥下支援チームの設置」を選んだ場合】

摂食嚥下支援加算の「施設基準を満たすことが難しいため」の内訳として「摂食支援チームの設置」を選んだ場合、満たすことが難しい構成職種の内訳を確認した。その結果、「専任の常勤看護師（経験5年以上かつ適切な研修を修了した者）」が最も回答が多く 53.4%であった。

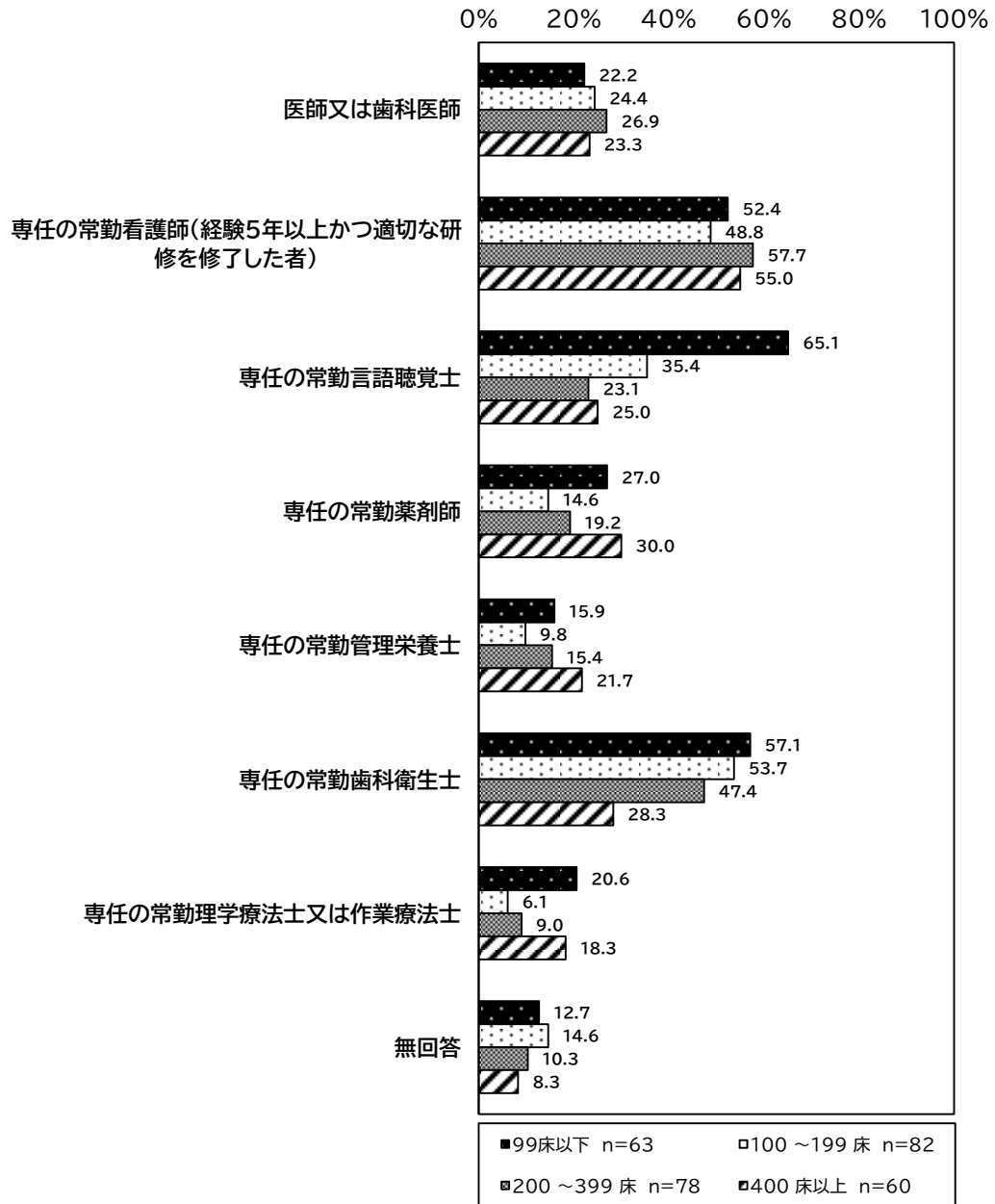
図表 2-301 満たすことが難しい構成職種の内訳（複数回答）



図表 2-302 満たすことが難しい構成職種の内訳（複数回答）
（入院基本料別）



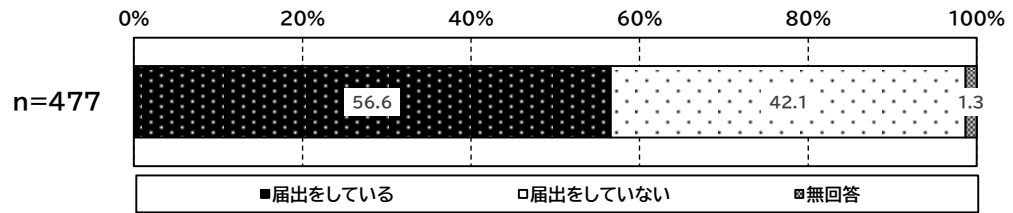
図表 2-303 満たすことが難しい構成職種の内訳（複数回答）
（病床規模別）



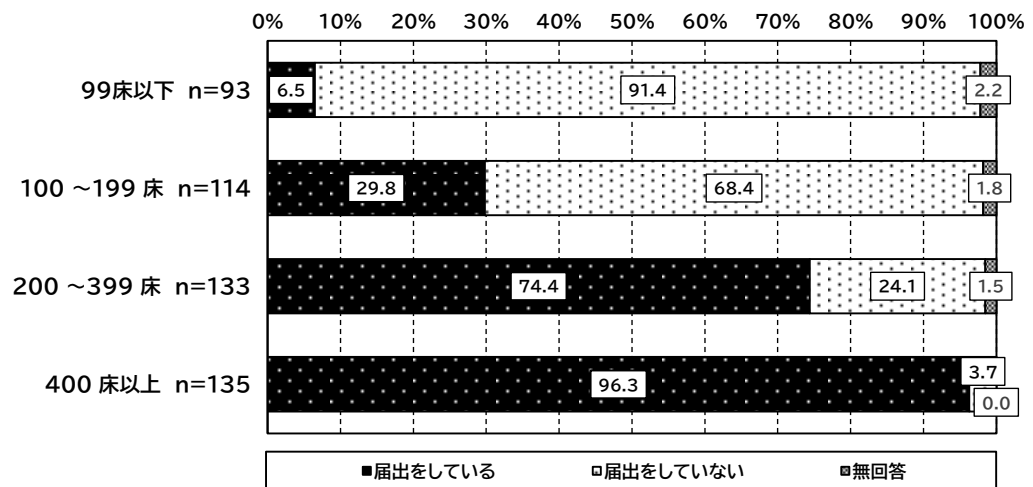
⑥ 外来化学療法加算1の届出状況

令和3年7月1日時点における、外来化学療法加算1の届出状況としては「届出をしている」が最も多く56.6%であった。

図表 2-304 外来化学療法加算1の届出状況



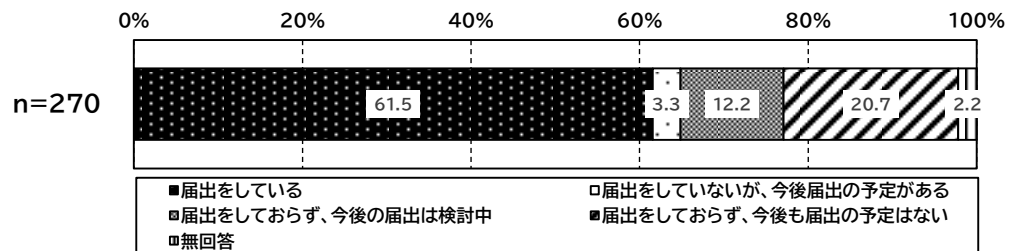
図表 2-305 外来化学療法加算1の届出状況
(病床規模別)



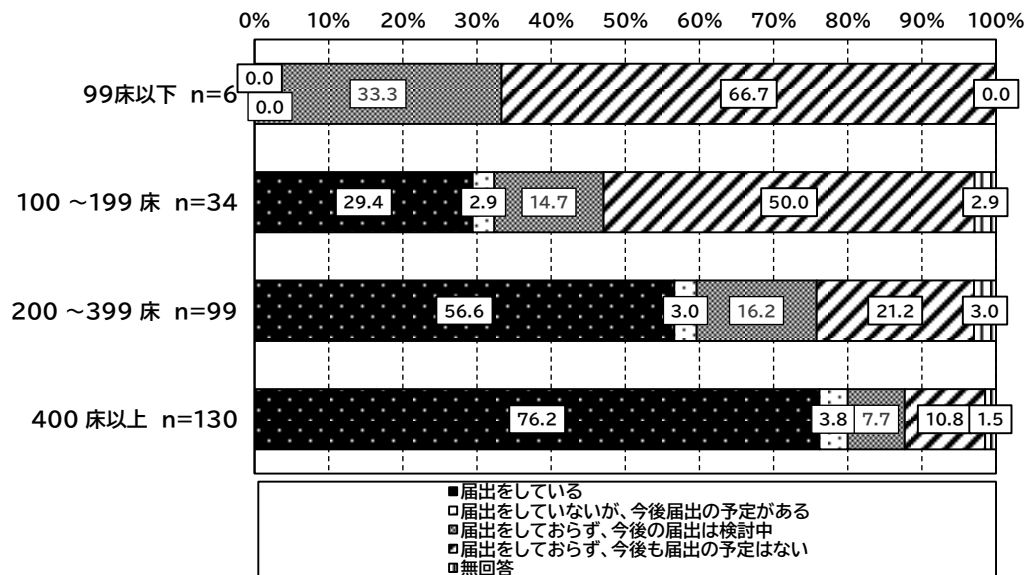
⑥-1 連携充実加算の届出状況

外来化学療法加算1の届出をしている場合、連携充実加算の届出状況を確認した。その結果、「届出をしている」が最も多く61.5%であった。

図表 2-306 連携充実加算の届出状況



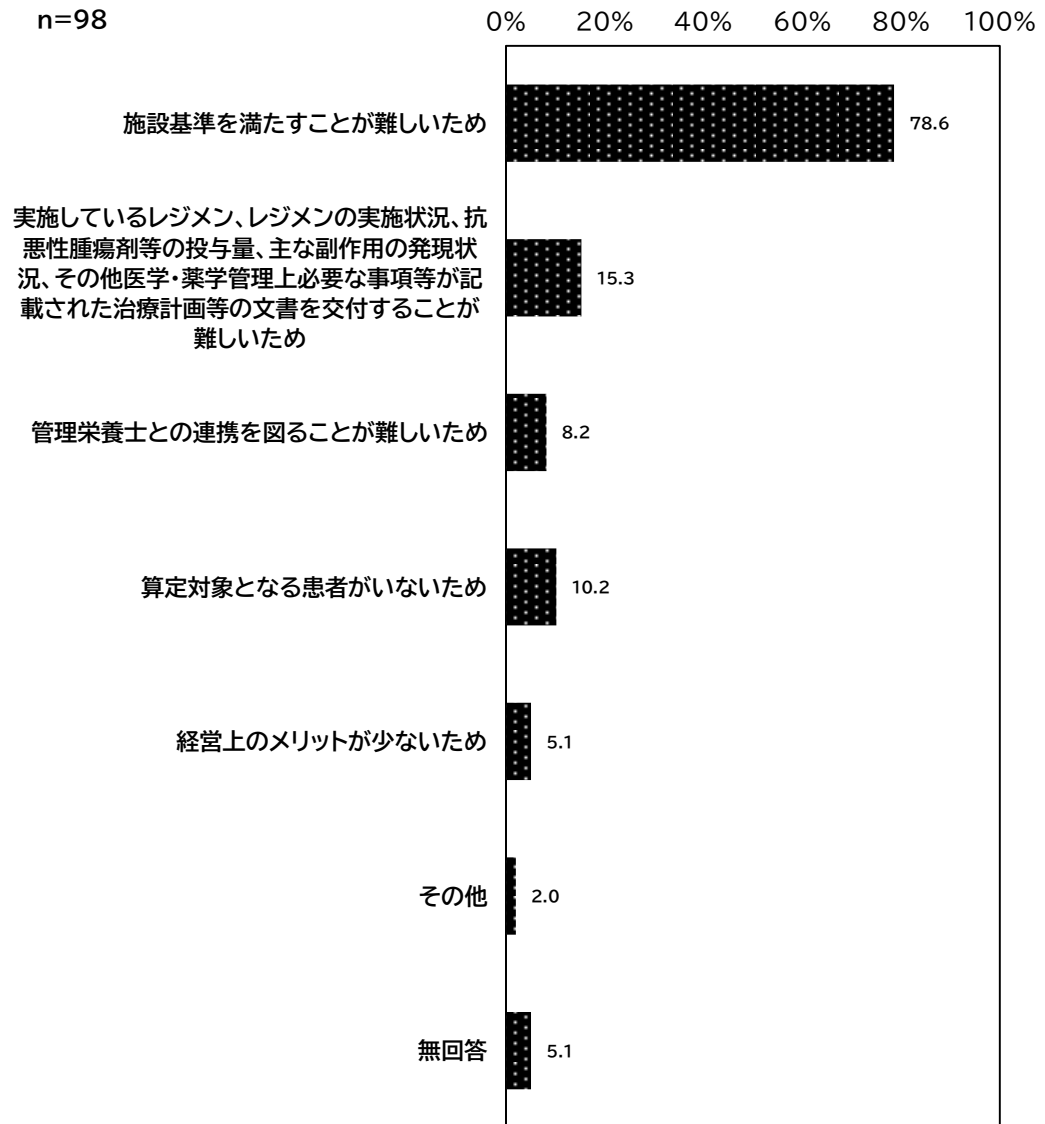
図表 2-307 連携充実加算の届出状況
(病床規模別)



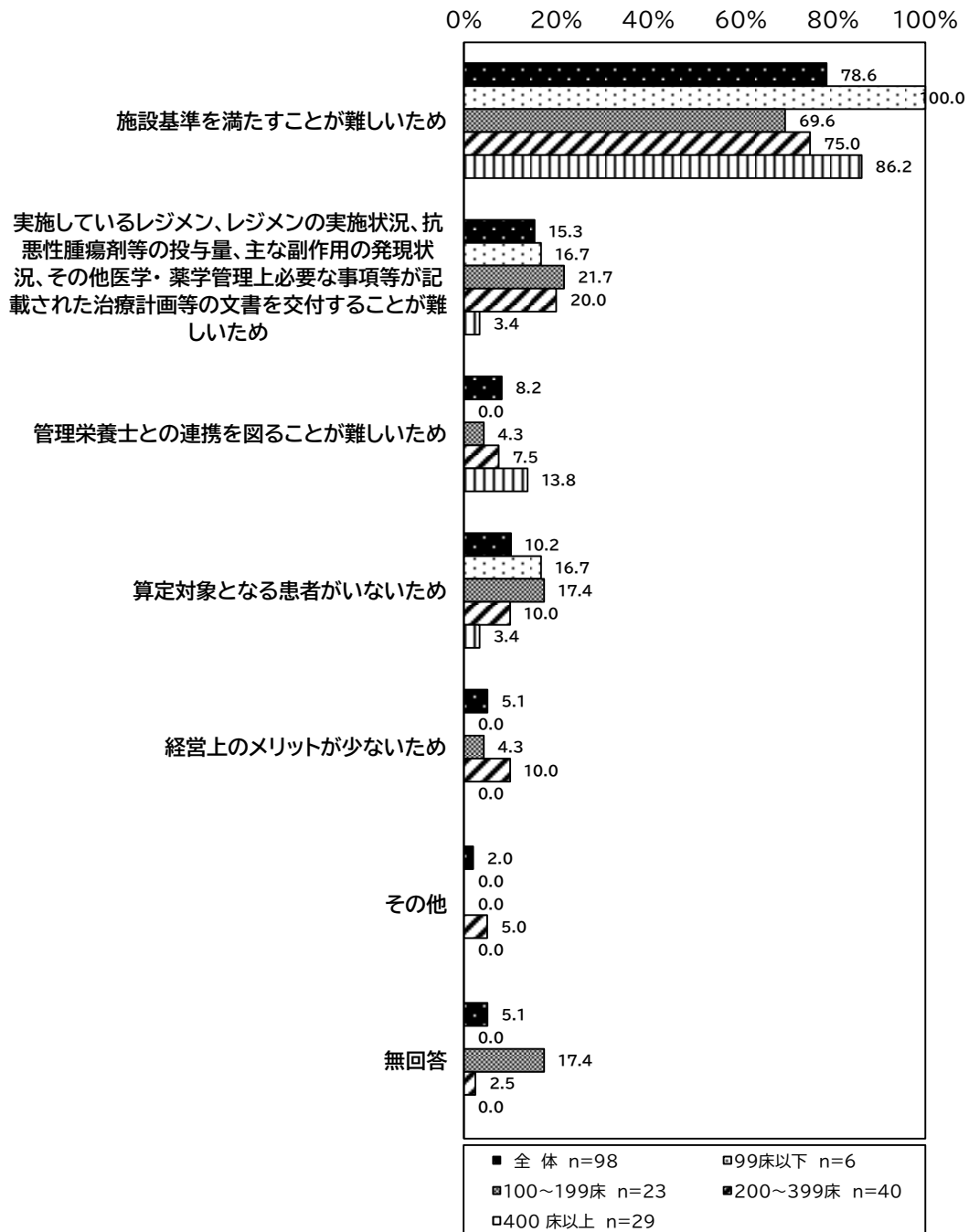
⑥-2 届出をしていない理由

連携充実加算の届出状況として、届出をしていないと回答した場合、その理由を確認した。その結果、「施設基準を満たすことが難しいため」が最も多く78.6%であった。

図表 2-308 連携充実加算の届出をしていない理由（複数回答）



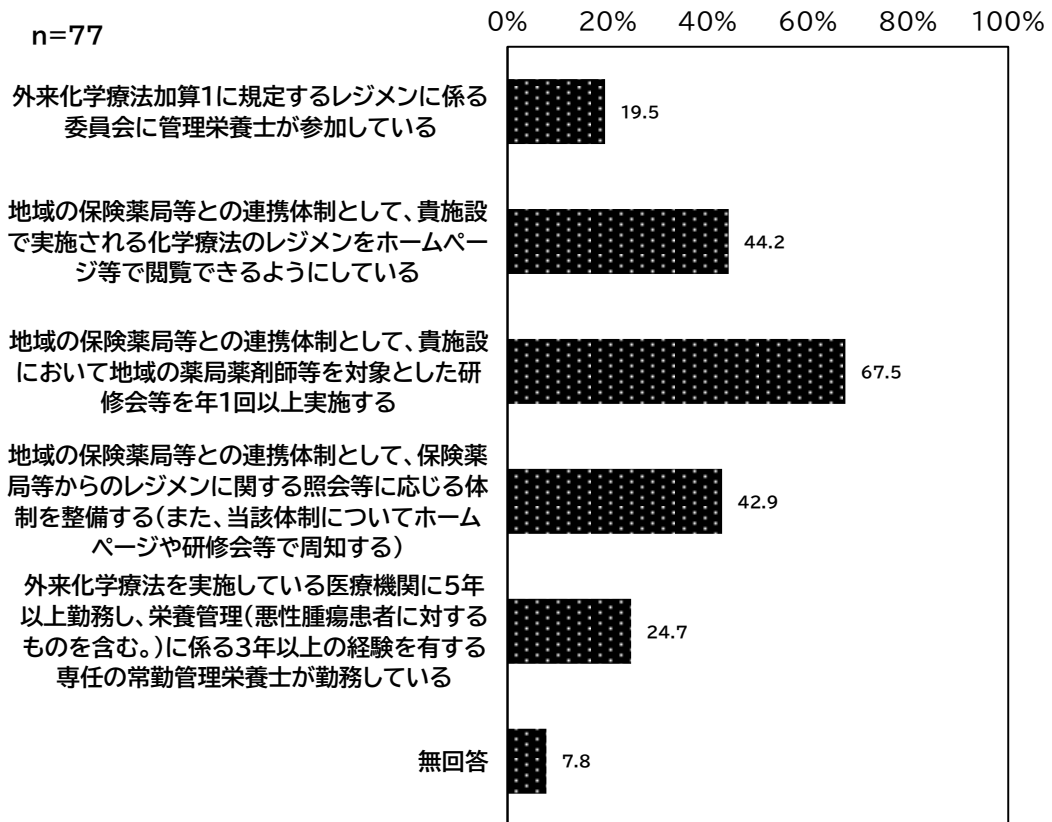
図表 2-309 連携充実加算の届出をしていない理由（複数回答）
（病床規模別）



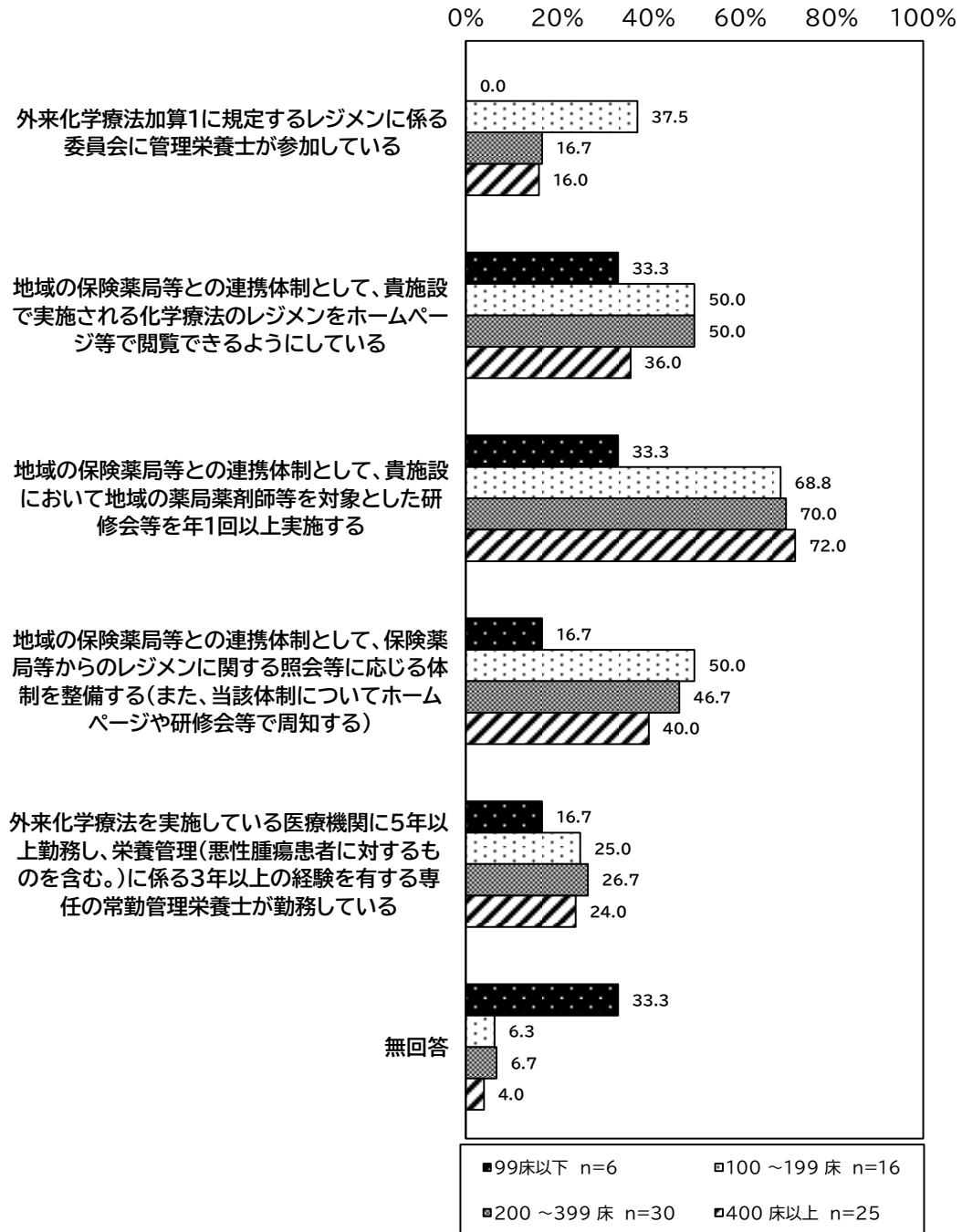
【「施設基準を満たすことが難しいため」を選んだ場合】

連携充実加算の届出をしていない理由について「施設基準を満たすことが難しいため」を選んだ場合、その内訳を確認した。結果として「地域の保険薬局等との連携体制として、貴施設において地域の薬局薬剤師等を対象とした研修会等を年1回以上実施する」が最も回答が多く67.5%であった。

図表 2-310 満たすことが難しい施設基準の内訳（複数回答）



図表 2-311 満たすことが難しい施設基準の内訳（複数回答）
（病床規模別）

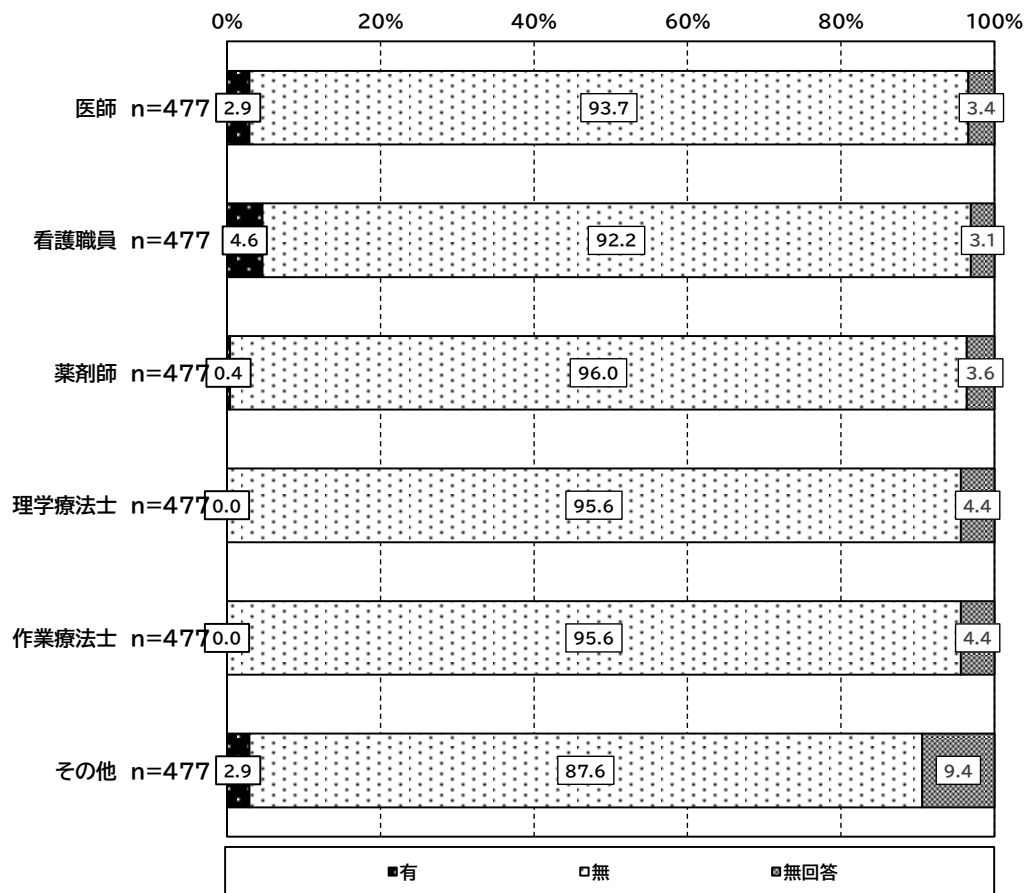


⑦ 非常勤職員の配置

⑦ (1) 非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無

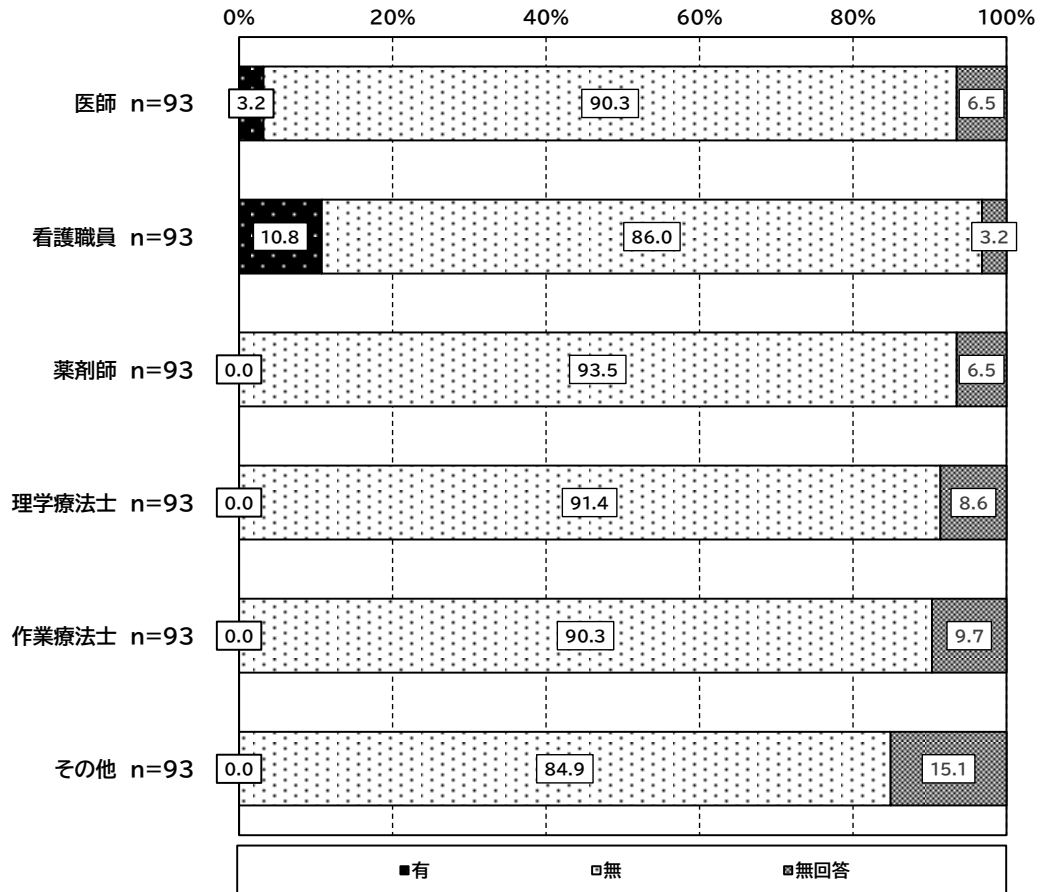
非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無を尋ねたところ、「有」の割合が最も多い職種は「看護職員」で4.6%であった。

図表 2-312 非常勤職員を常勤配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無

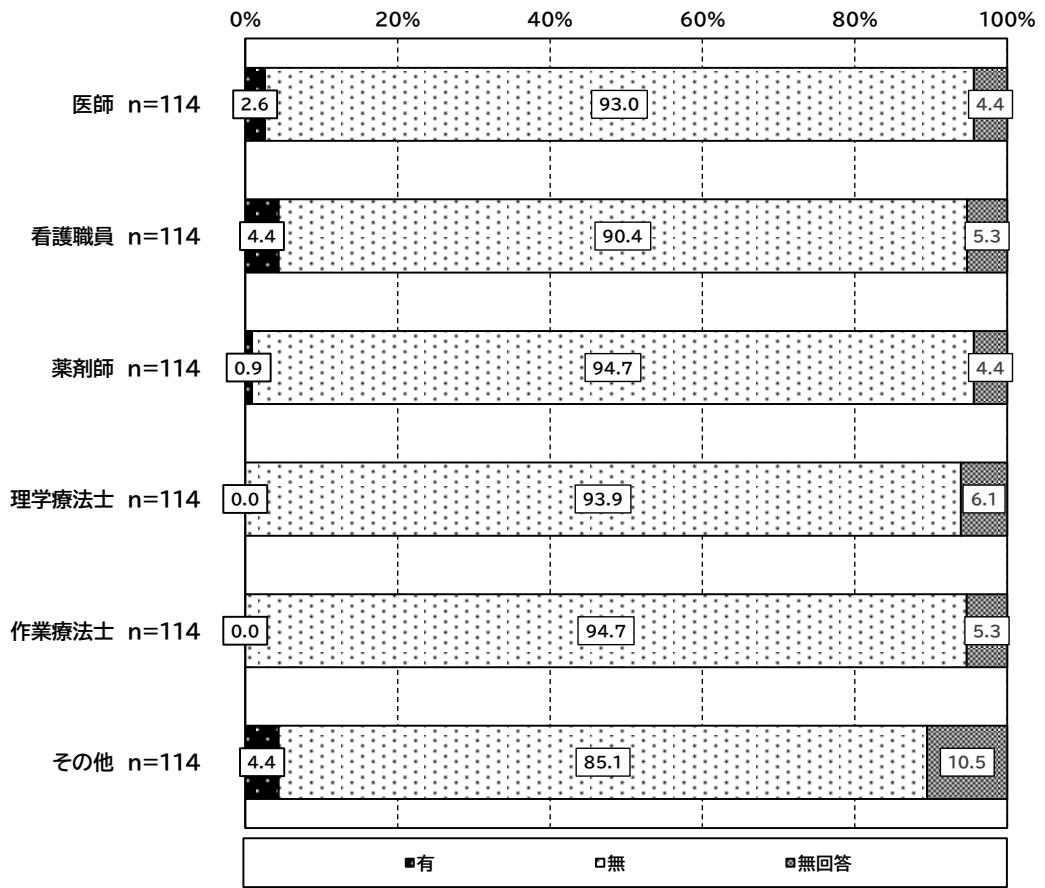


図表 2-313 非常勤職員を常勤配置することで施設基準を満たしている
診療報酬項目の有無
(病床規模別)

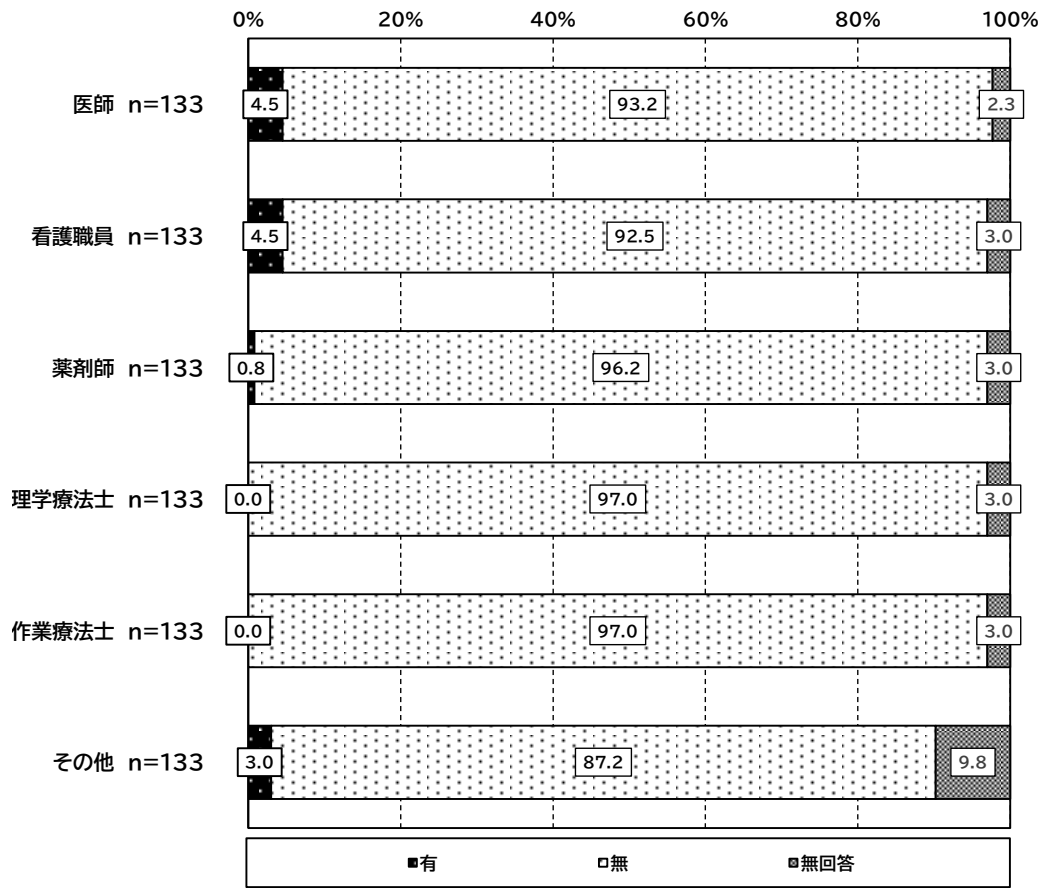
99 床以下



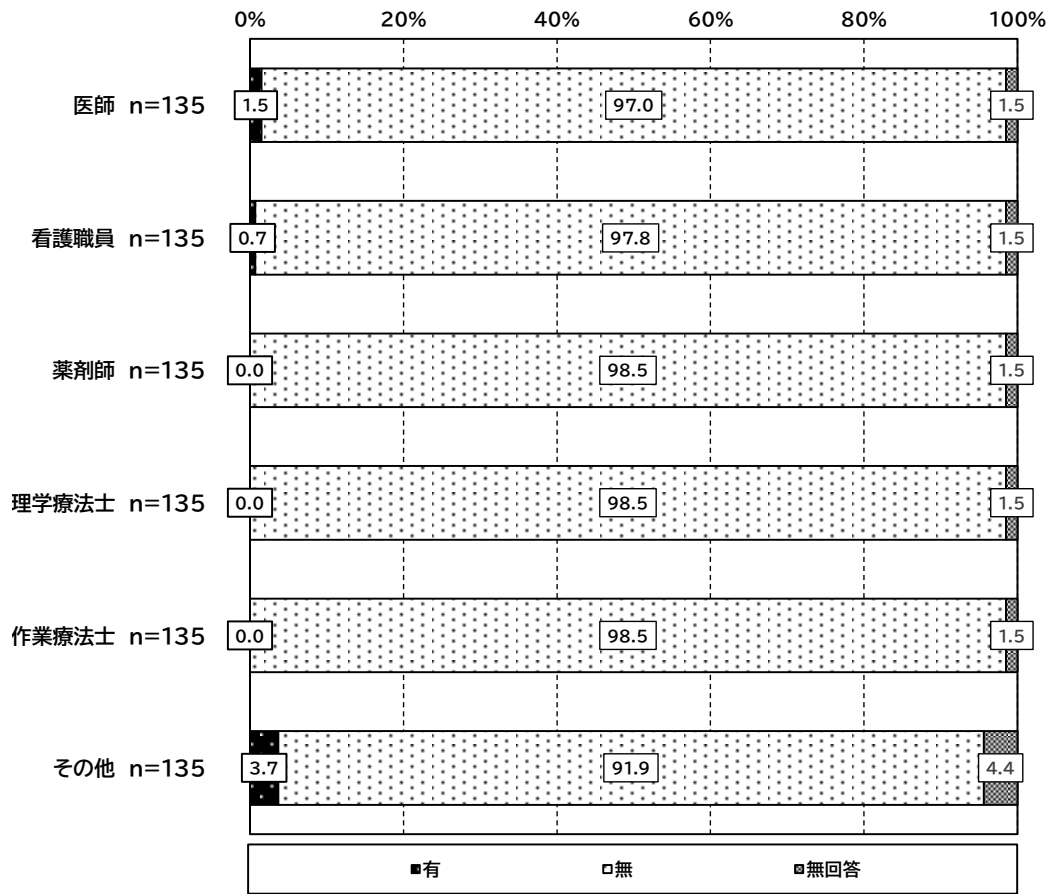
100~199 床



200~399 床



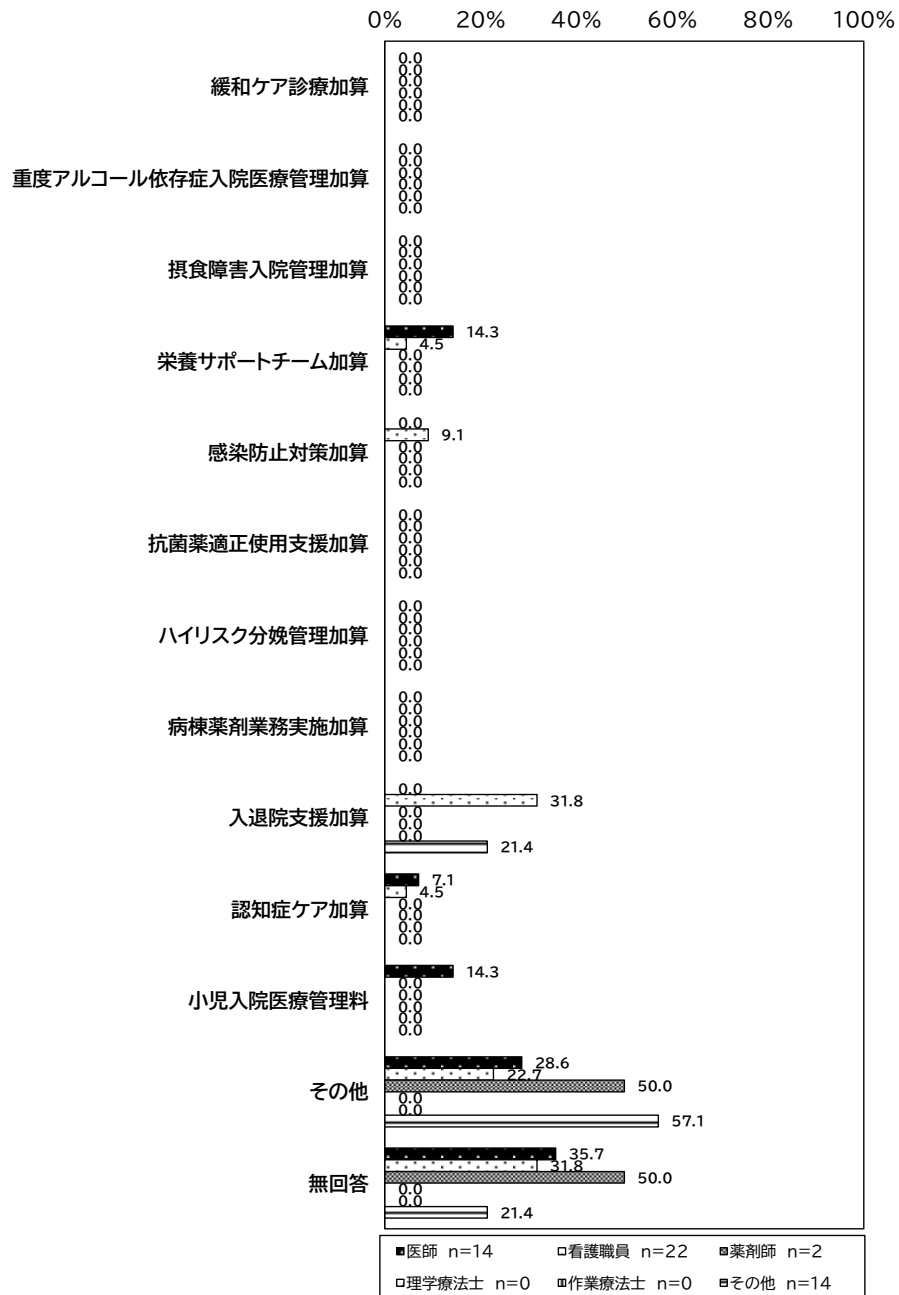
400 床以上



⑦ (2) 非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目

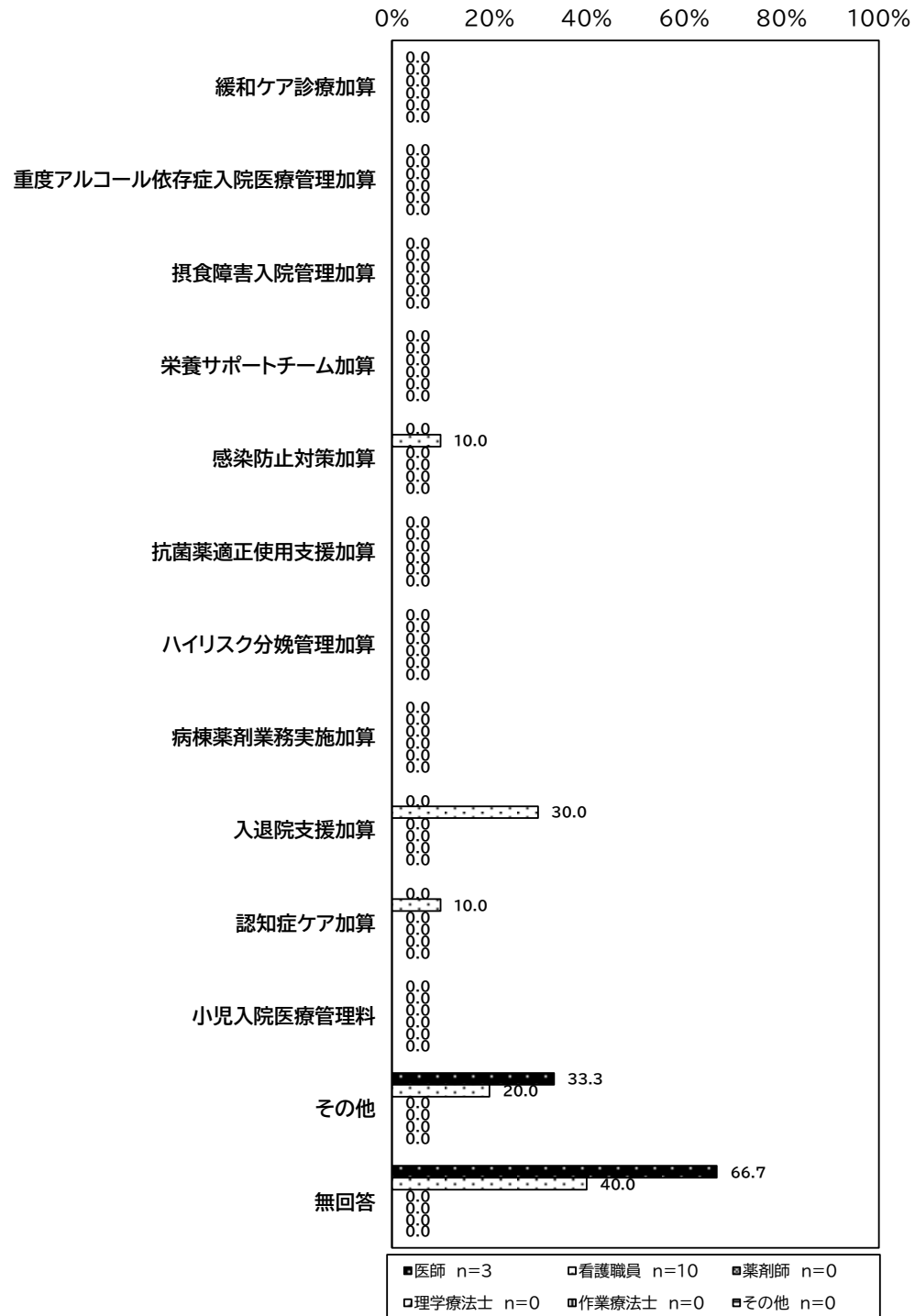
非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目がある場合、その内容を確認した。結果は以下のとおりであった。

図表 2-314 非常勤職員を常勤配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目

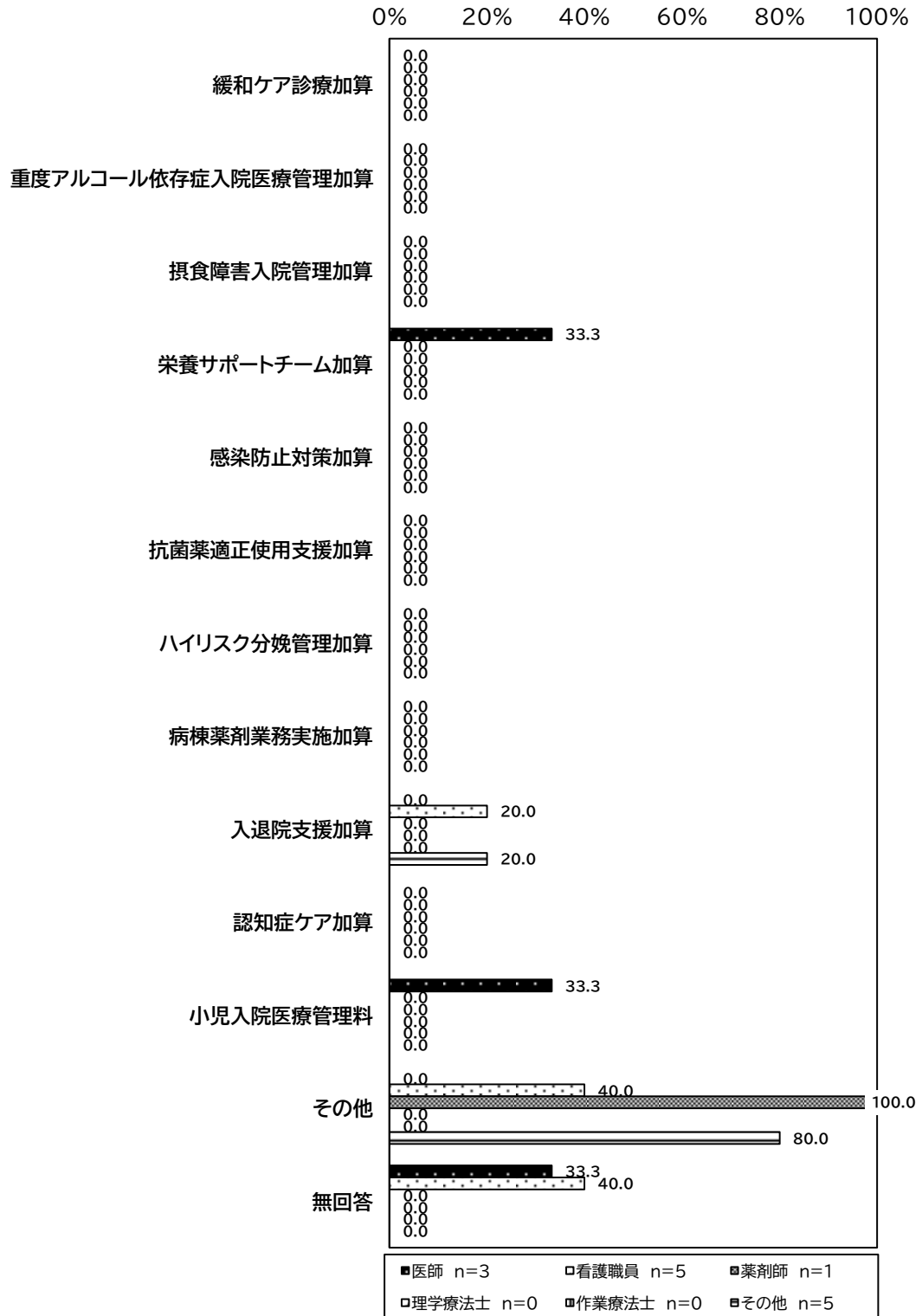


図表 2-315 非常勤職員を常勤配置することで施設基準を満たしている
 診療報酬項目
 (病床規模別)

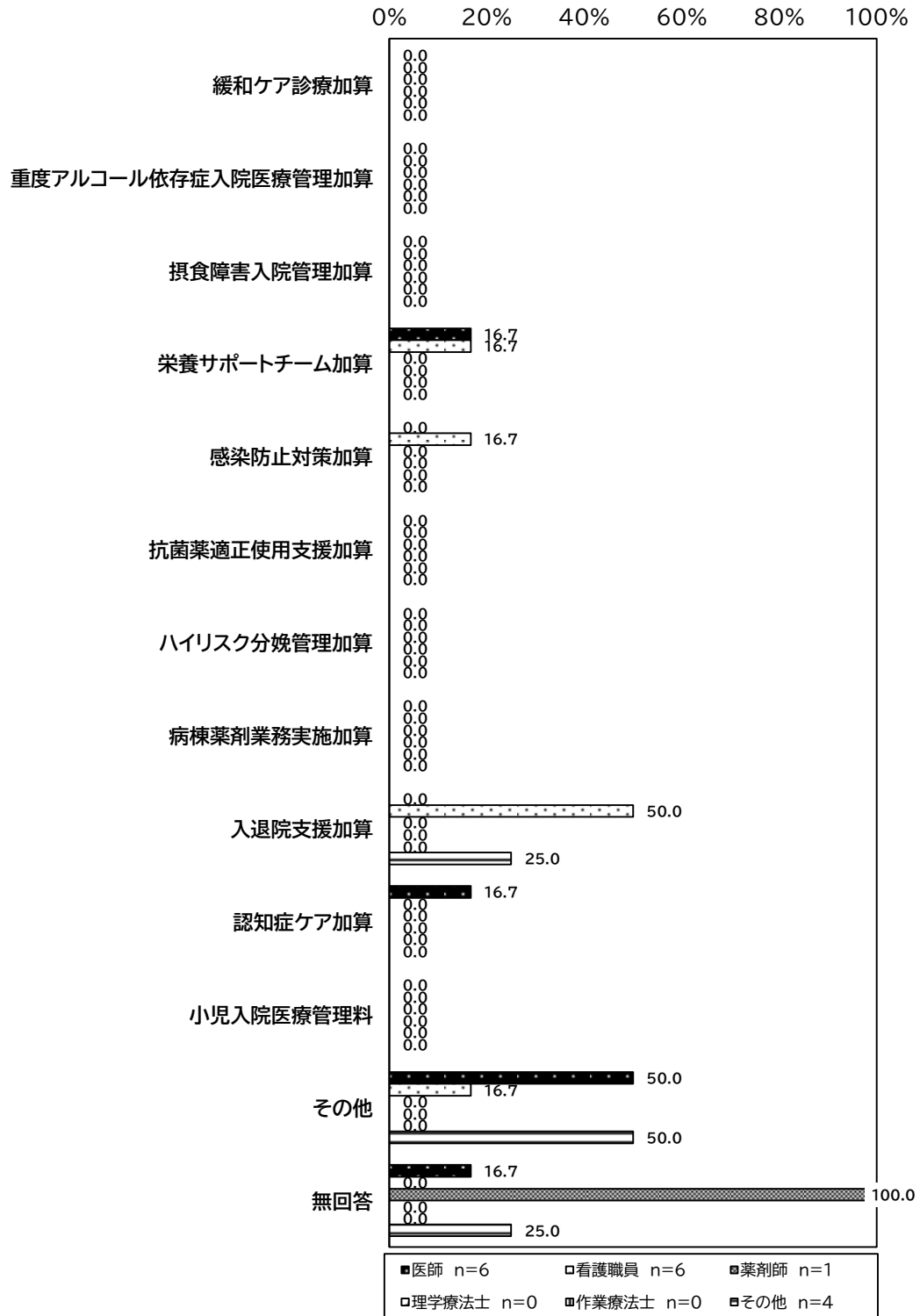
99 床以下



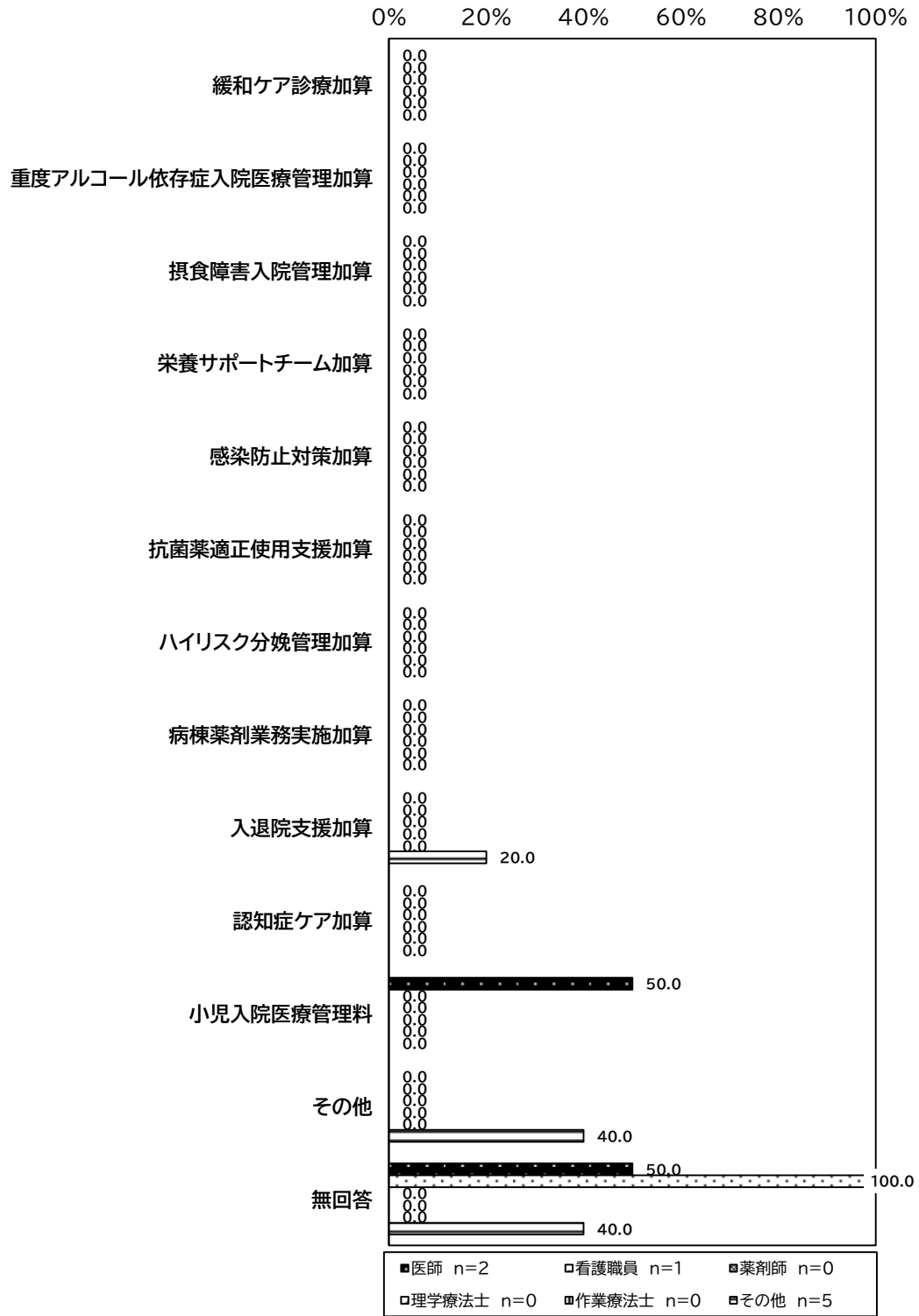
100~199 床



200~399 床



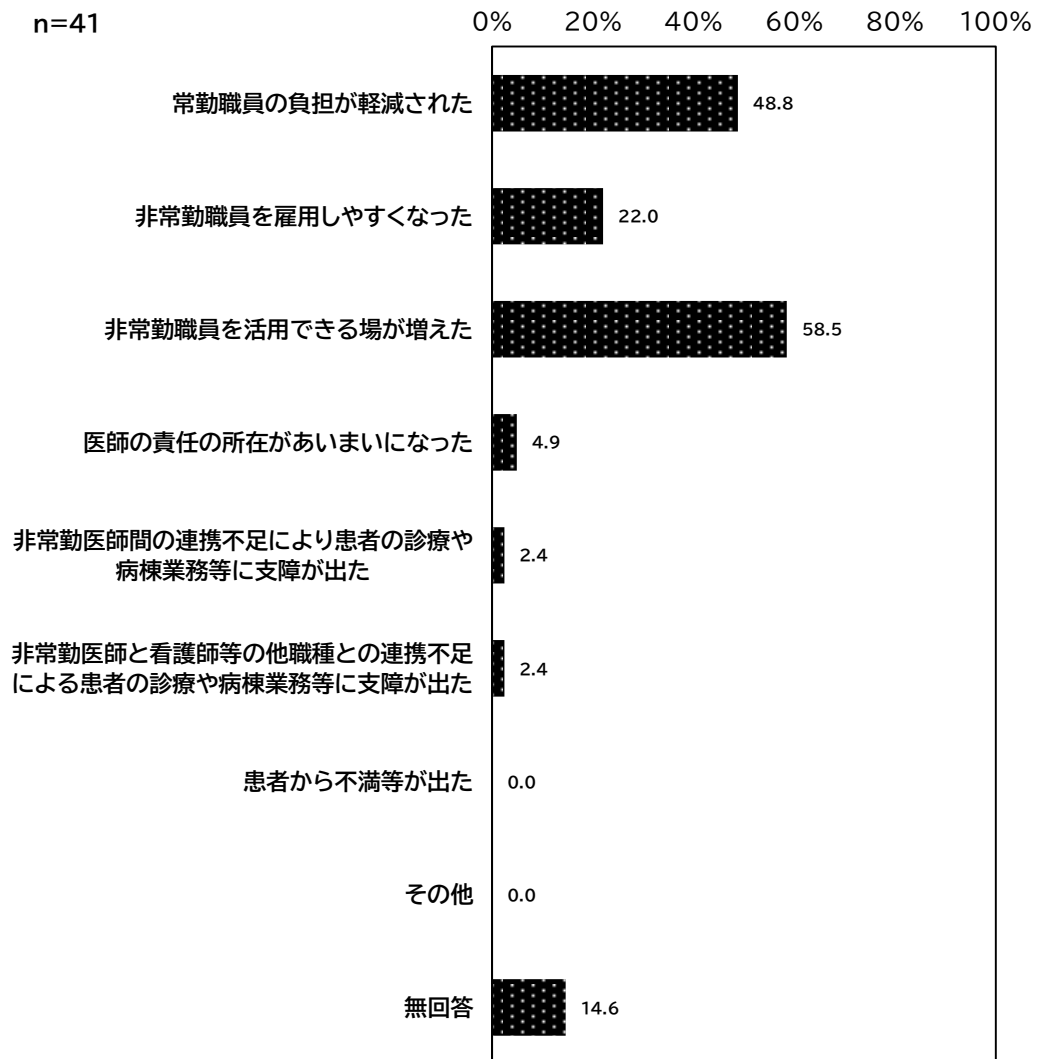
400 床以上



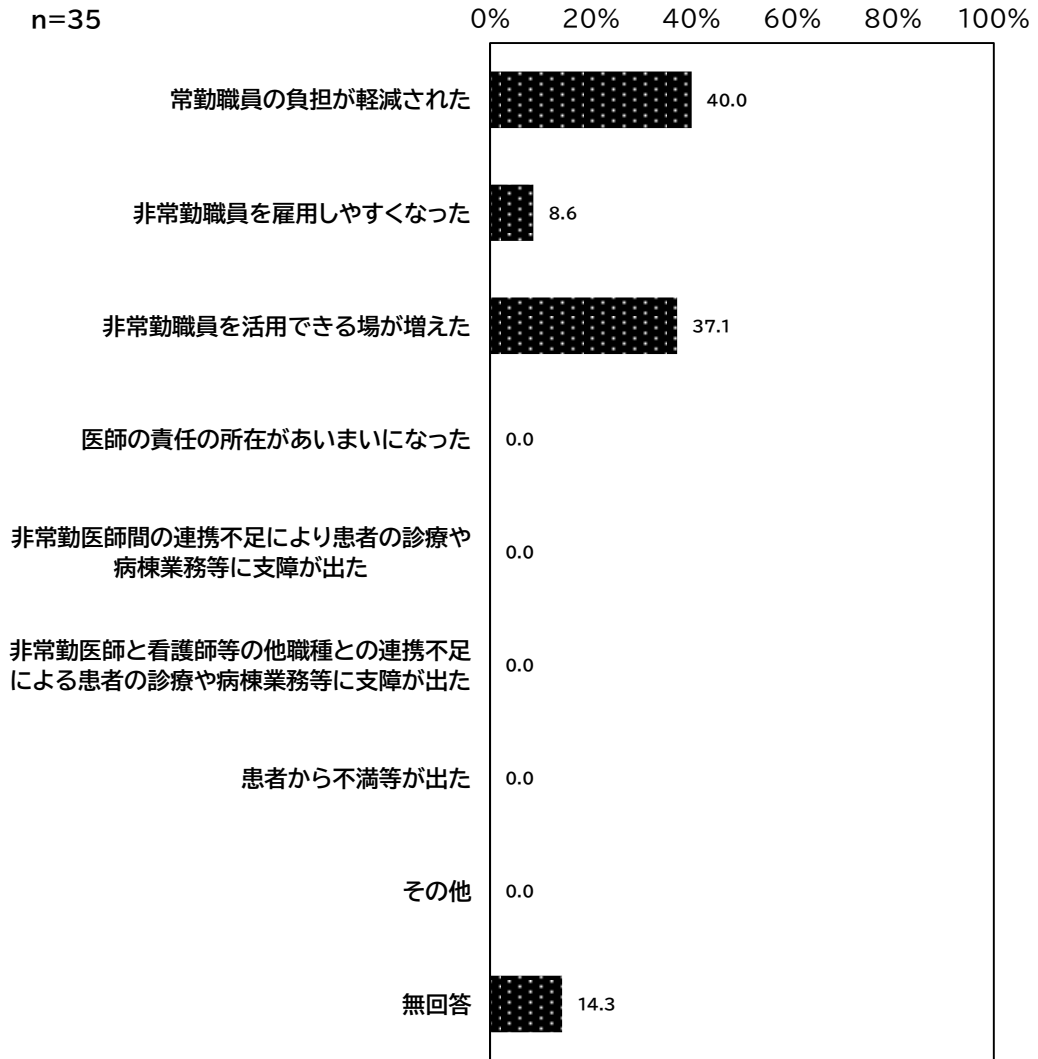
⑦-1 非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響

非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響（複数回答）については「非常勤職員を活用できる場が増えた」との回答が最も多く、58.5%であった。最もあてはまるものを選ぶ場合、「常勤職員の負担が軽減された」が最も多く40.0%であった。

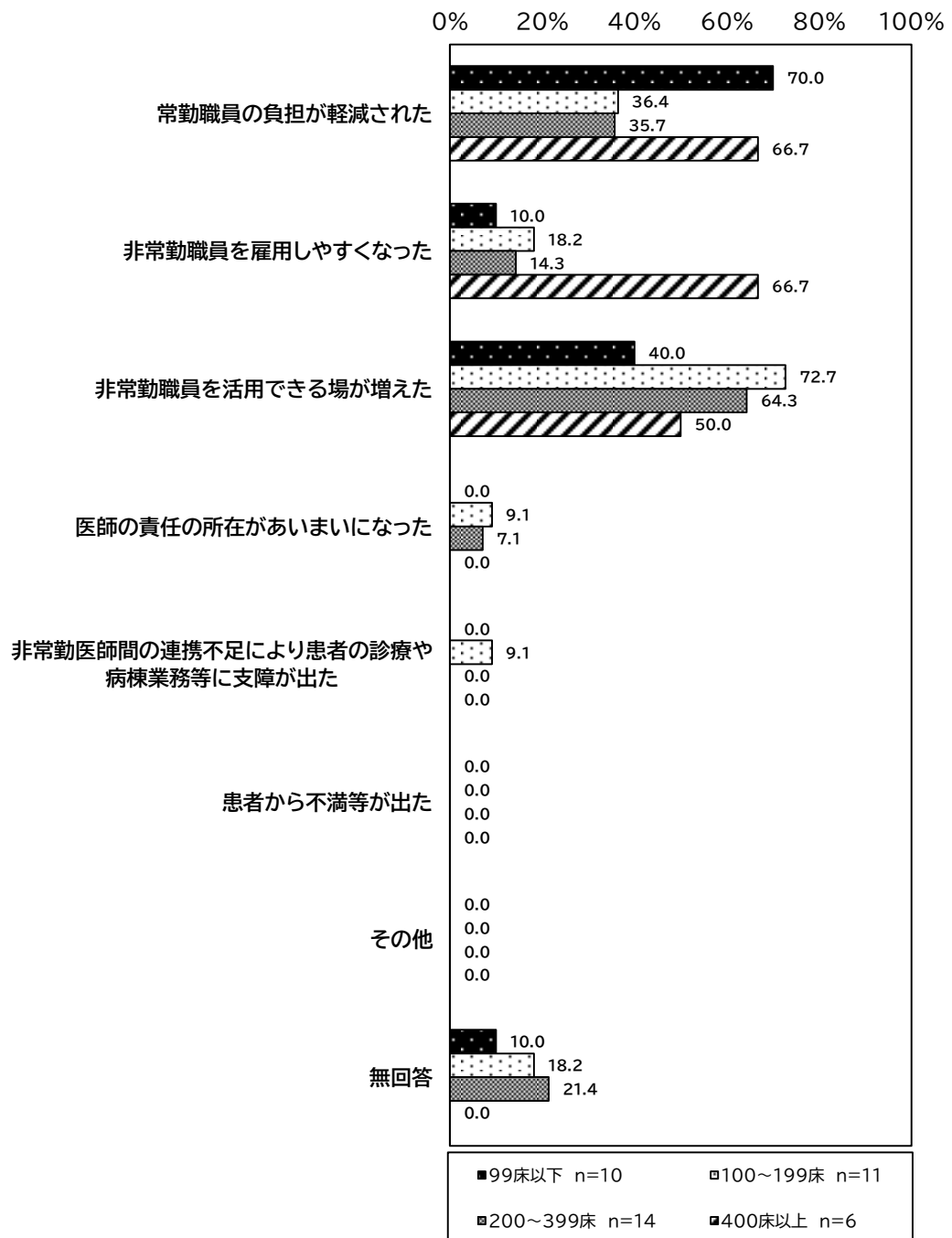
図表 2-316 非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響
（複数回答）



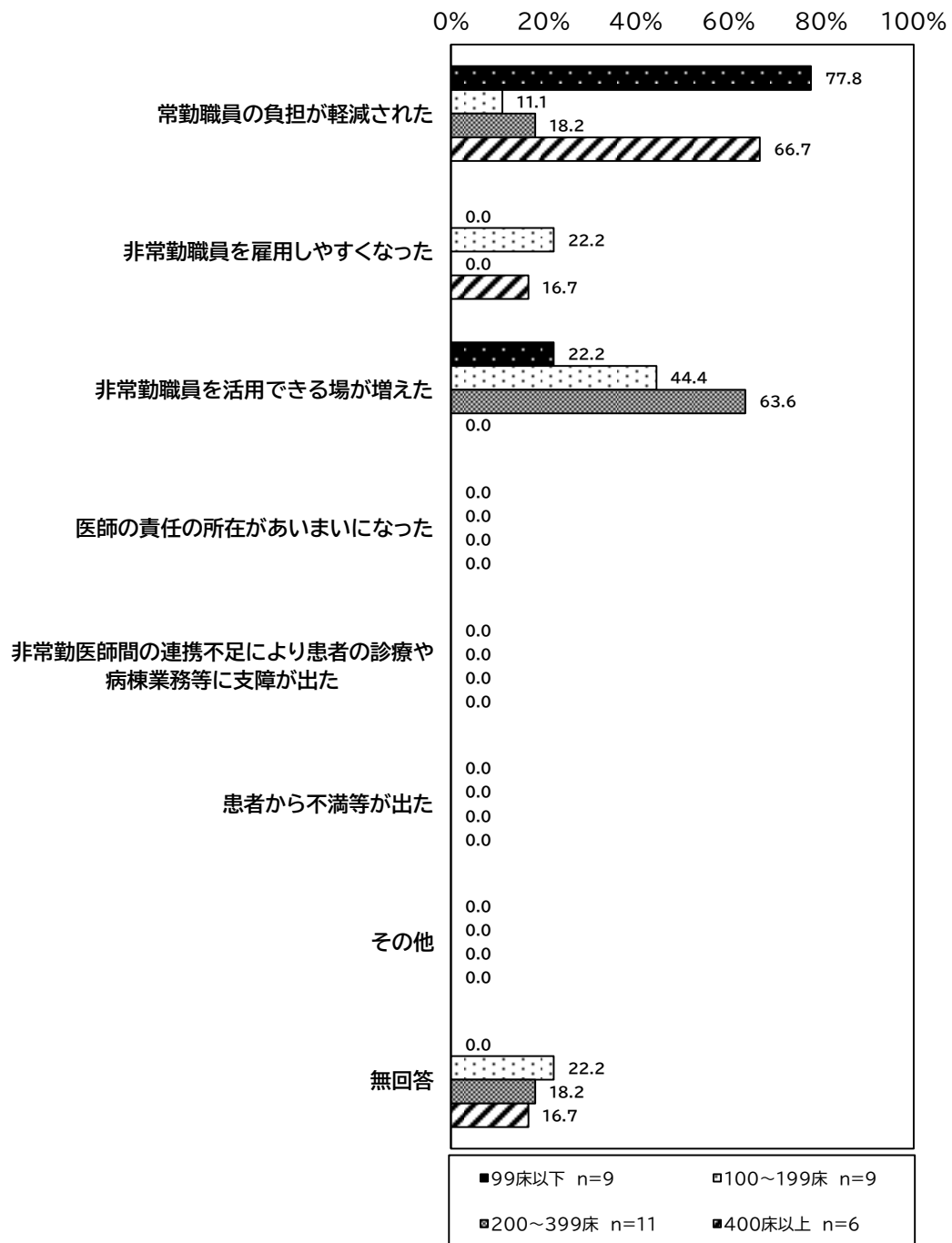
図表 2-317 非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響
 (最もあてはまるもの)



図表 2-318 非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響
 (複数回答)
 (病床規模別)



図表 2-319 非常勤職員を常勤換算して配置を行ったことによる影響
 (最もあてはまるもの)
 (病床規模別)



⑧ 要件の緩和を希望する診療報酬項目

常勤配置や専従配置について、常勤職員や専従職員でなくても機能を果たすことができるため、要件の緩和を希望する診療報酬項目を確認したところ、「麻酔管理料」や「緩和ケア診療加算」、「画像診断管理加算」、「ハイケアユニット入院管理料」といった項目が挙げられた。

図表 2-320 要件の緩和を希望する診療報酬項目

・医師事務作業補助体制加算
・画像診断管理加算
・栄養サポートチーム加算
・緩和ケア診療加算
・緩和ケア病棟入院料 I
・ハイケアユニット入院医療管理料
・排尿自立支援加算
・麻酔管理料(I・II)

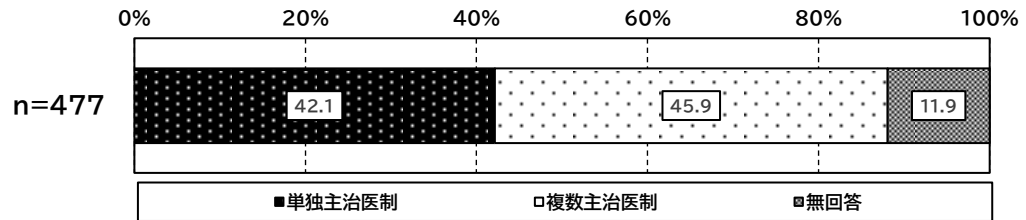
等

(4) 医師の勤務状況等

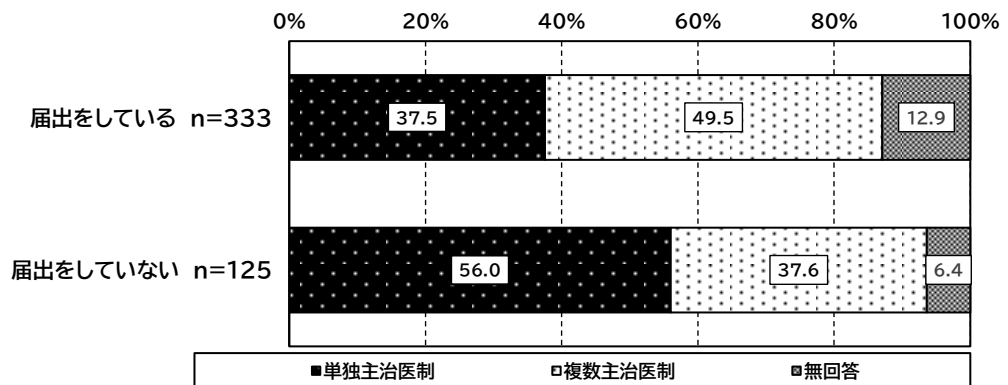
① 医師の勤務形態

医師の勤務形態で最も多かったものは「複数主治医制」(45.9%)、次に多かったものは「単独主治医制」(42.1%)であった。

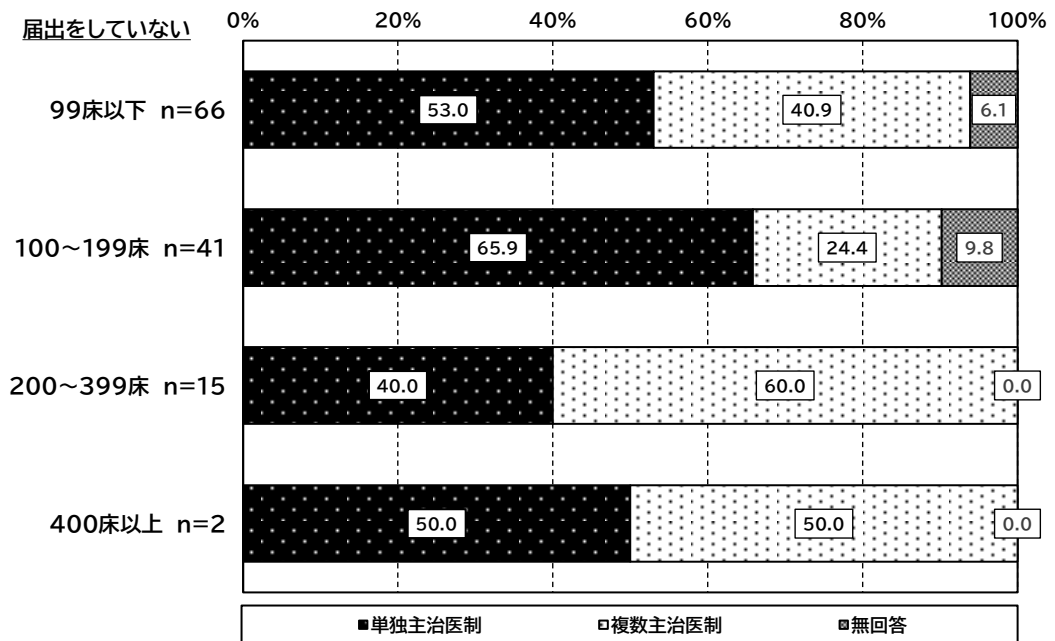
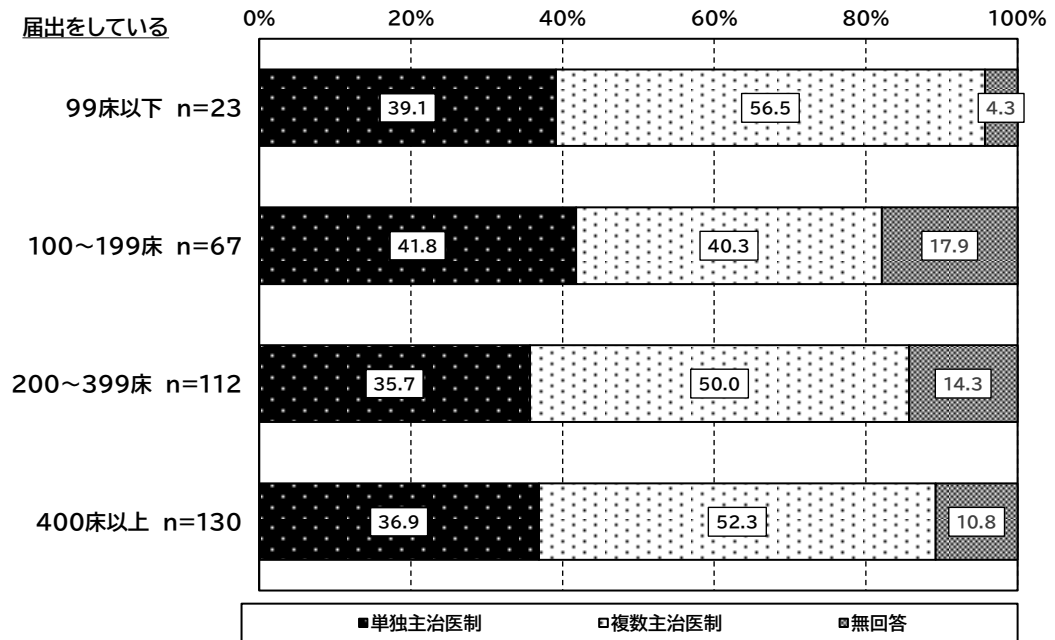
図表 2-321 医師の勤務形態



図表 2-322 医師の勤務形態
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-323 医師の勤務形態
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



② 常勤医師の勤務実績

1 か月間の 1 人あたり超過勤務時間

常勤医師の 1 か月間の平均、最大、最小勤務時間は、以下のとおりであった。

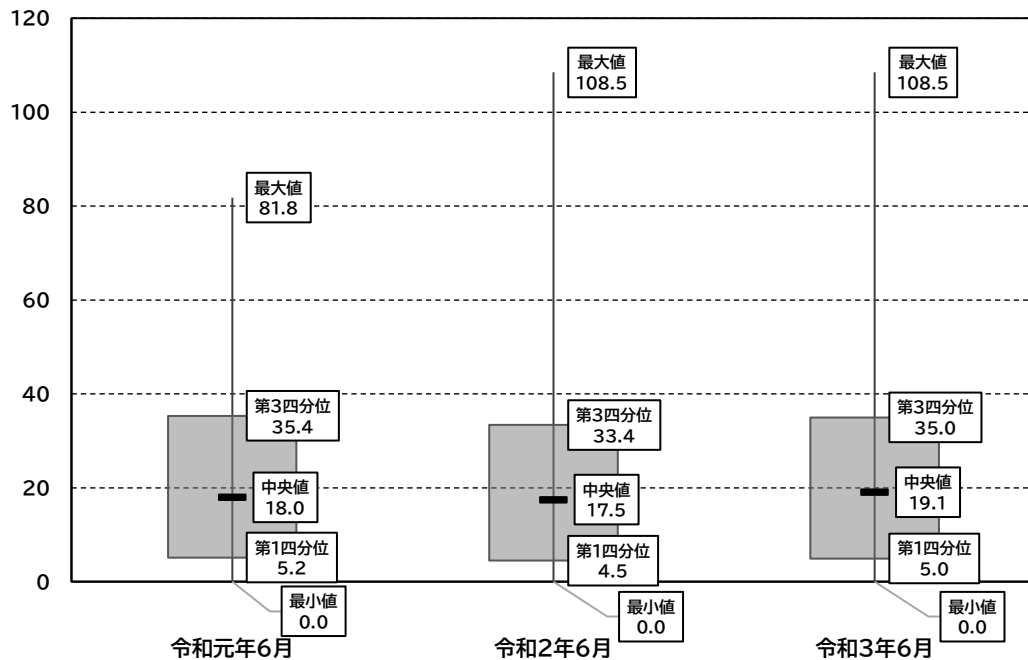
図表 2-324 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間、最大超過勤務時間、最小超過勤務時間

(単位:時間)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
平均超過勤務時間	n=383	22.2	19.2	18.0	20.8	18.4	17.5	21.4	18.4	19.1
最大超過勤務時間	n=383	68.8	54.5	63.5	65.9	53.3	63.0	67.3	51.7	74.0
最小超過勤務時間	n=383	1.4	5.2	0.0	1.4	6.7	0.0	1.4	6.7	0.0

※

図表 2-325 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間 (箱ひげ図)



図表 2-326 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間（病床規模別）

(単位:時間)

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=383	22.2	19.2	18.0	20.8	18.4	17.5	21.4	18.4	19.1
99床以下	n=59	8.1	13.3	1.5	8.2	17.2	0.6	8.8	17.4	1.7
100床~199床以下	n=90	11.7	14.1	6.3	11.0	13.5	6.0	11.3	13.6	5.8
200床~399床以下	n=113	26.1	17.8	24.0	24.5	17.6	23.0	24.8	16.5	24.0
400床以上	n=119	33.4	18.0	34.2	31.0	15.7	32.3	32.1	16.0	33.3

※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-327 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別、病床規模別)

(単位:時間)

99床以下

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=7	17.7	19.8	15.0	23.3	35.7	10.0	23.0	35.8	10.0
その他	n=14	8.5	14.6	2.9	8.5	15.2	2.1	8.6	15.0	2.7
無回答	n=37	6.3	10.3	1.0	5.5	9.6	0.0	6.5	10.4	0.7

100床以上199床以下

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=9	19.3	17.6	17.7	16.3	13.6	15.6	20.1	17.3	17.5
協力医療機関として指定されたことがある	n=26	18.3	14.9	17.9	17.0	14.8	16.1	18.1	15.2	16.4
その他	n=13	10.2	11.8	6.0	10.0	13.2	3.3	8.0	10.2	2.0
無回答	n=47	7.7	11.1	3.1	7.5	10.9	4.5	7.8	11.0	4.9

200床以上399床以下

	調査数	令和元年 6月			令和2年 6月			令和3年 6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=56	28.1	18.1	24.7	27.1	17.6	24.9	28.0	17.2	25.6
協力医療機関として指定されたことがある	n=43	24.2	14.3	21.7	22.7	14.4	23.0	23.6	14.2	24.6
その他	n=5	18.7	10.3	17.5	15.7	12.1	10.4	17.3	12.9	10.7
無回答	n=30	23.6	19.5	19.8	21.5	19.2	17.9	20.4	16.0	20.7

400床以上

	調査数	令和元年 6月			令和2年 6月			令和3年 6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=93	33.9	17.9	34.3	31.6	15.5	32.4	32.8	15.8	33.3
協力医療機関として指定されたことがある	n=37	31.8	15.7	34.3	28.9	13.0	30.3	30.6	13.8	35.1
その他	n=5	18.9	10.6	13.5	18.3	10.8	12.3	20.9	12.0	18.8
無回答	n=11	42.7	17.8	44.5	39.7	13.9	44.1	39.3	14.7	36.7

※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-328 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間
(地域医療体制確保加算の届出の有無別)

(単位:時間)

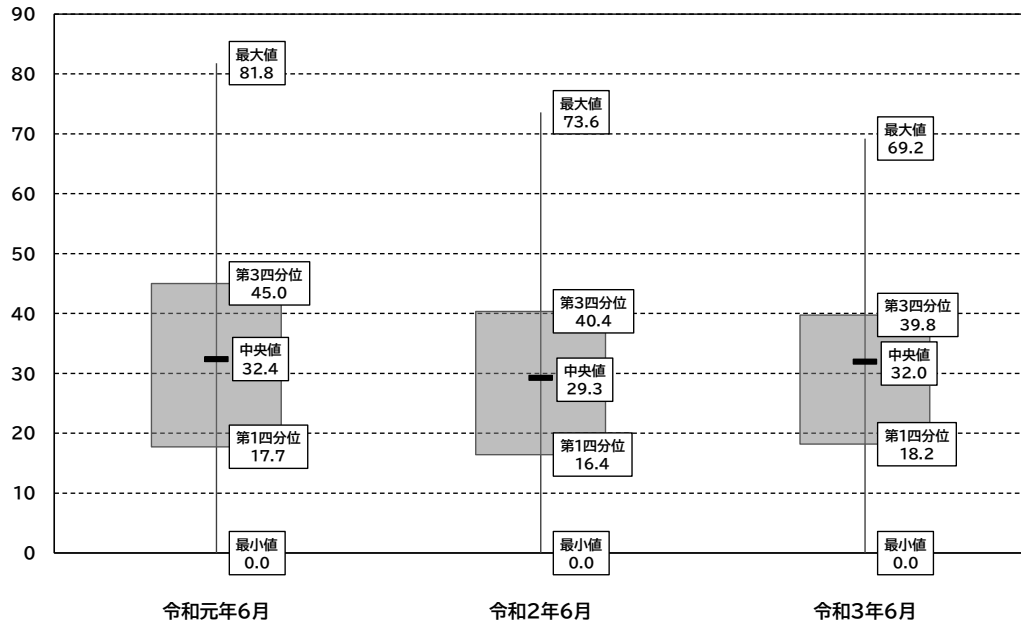
	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=196	32.2	18.1	32.4	29.7	16.4	29.3	30.5	16.3	32.0
届出していない	n=187	11.7	14.0	6.5	11.6	15.7	5.8	11.9	15.4	5.9

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

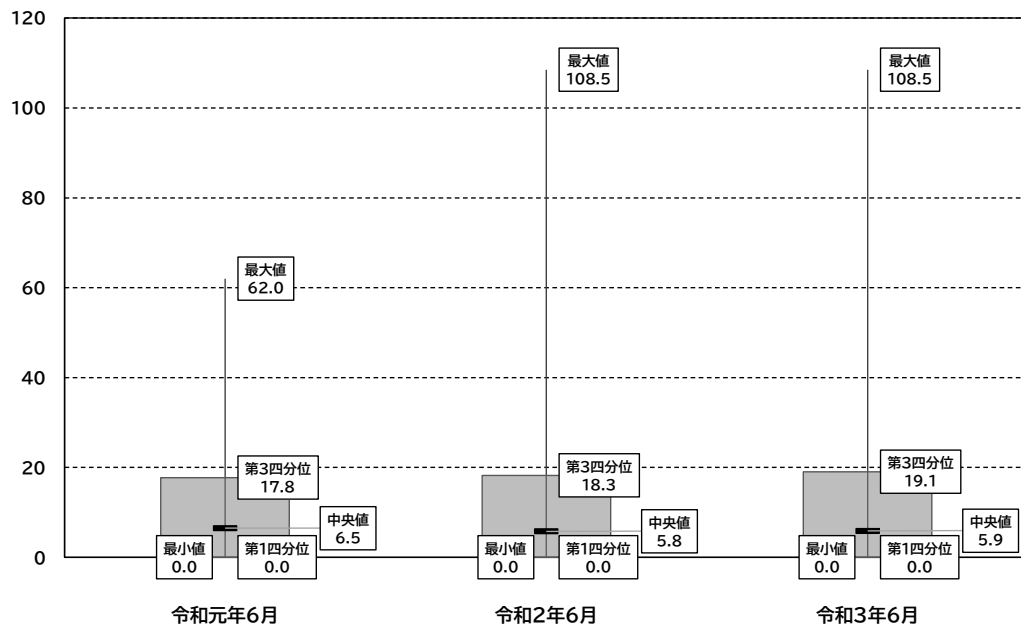
図表 2-329 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
(地域医療体制確保加算の届出の有無別) (箱ひげ図)

(単位:時間)

届出ている



届出していない



※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-330 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間
(地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別)

(単位:時間)

届出ている

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
99 床以下	n=3	8.7	12.3	0.0	5.3	6.3	1.7	9.6	8.8	7.5
100 床~199 床以下	n=8	22.0	20.3	15.0	19.6	19.6	12.4	19.5	17.9	12.2
200 床~399 床以下	n=75	30.5	17.2	26.9	28.3	16.3	26.9	28.7	15.6	29.0
400 床以上	n=109	34.9	17.8	35.3	32.1	15.5	32.6	33.2	15.9	34.3

届出していない

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
99 床以下	n=56	8.0	13.4	1.7	8.4	17.6	0.6	8.8	17.7	1.7
100 床~199 床以下	n=82	10.6	12.9	6.0	10.1	12.4	6.0	10.4	12.9	5.8
200 床~399 床以下	n=38	17.6	15.8	13.0	17.1	17.8	10.3	17.0	15.3	11.7
400 床以上	n=10	16.8	9.9	14.6	18.3	11.3	16.9	20.0	11.7	19.9

※令和元年 6 月~令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-331 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)

(単位:時間)

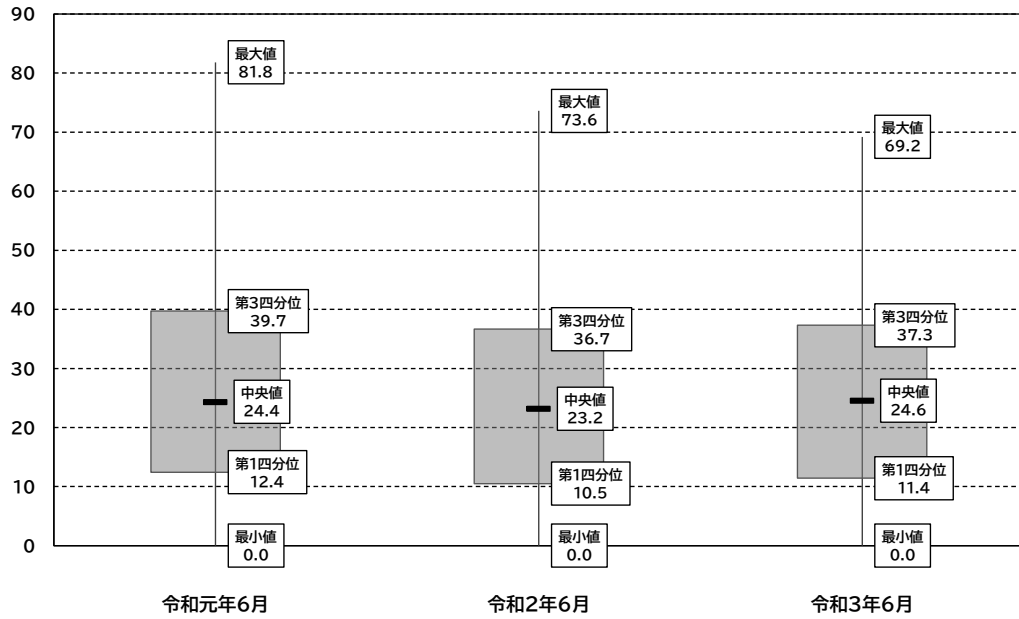
	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=282	26.6	18.4	24.4	24.8	16.9	23.2	25.5	16.9	24.6
届出していない	n=86	6.9	12.7	1.7	7.3	16.5	0.7	7.4	15.7	1.0

※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

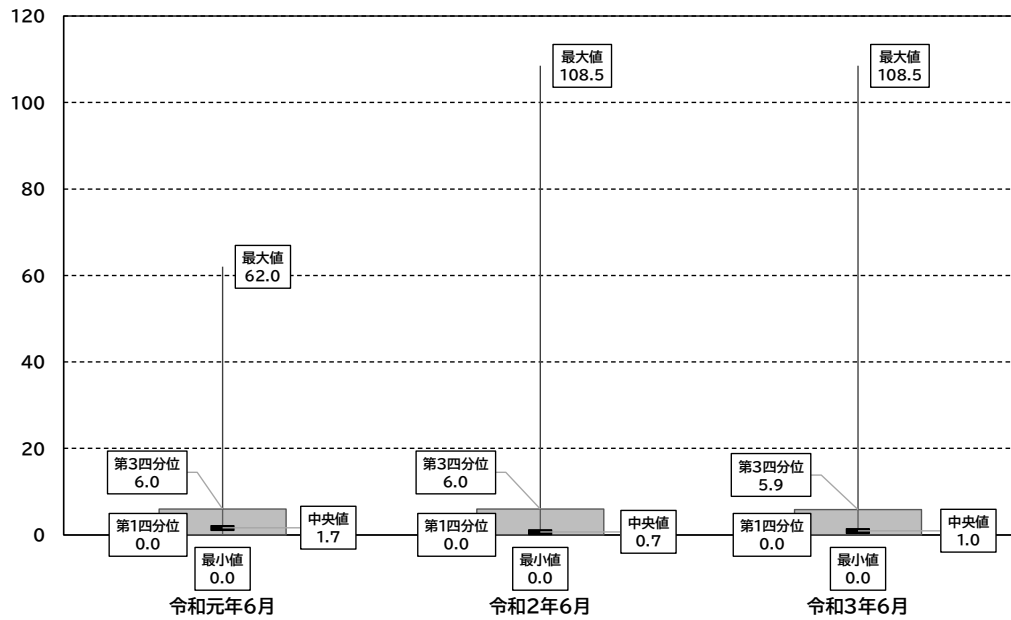
図表 2-332 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別) (箱ひげ図)

(単位:時間)

届出をしている



届出をしていない



※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-333 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)

(単位:時間)

届出をしている

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
99 床以下	n=15	7.3	17.6	1.5	6.4	17.3	0.6	6.5	17.9	1.7
100 床~199 床以下	n=54	15.6	17.6	6.3	14.5	17.2	6.0	15.1	17.6	5.8
200 床~399 床以下	n=97	27.7	17.4	24.0	25.9	16.7	23.0	26.3	16.6	24.0
400 床以上	n=115	33.5	17.8	34.2	31.2	16.1	32.3	32.2	16.6	33.3

届出をしていない

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
99 床以下	n=40	7.5	14.0	1.7	8.4	19.5	0.3	9.0	19.8	1.2
100 床~199 床以下	n=32	3.5	5.1	0.6	3.4	4.9	0.6	3.3	5.1	0.1
200 床~399 床以下	n=12	12.4	18.0	3.2	13.0	22.3	1.7	11.4	16.5	1.8
400 床以上	n=1	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.8	0.9	0.0	0.9

※令和元年 6 月~令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-334 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
(地域医療体制確保加算の届出の有無別、公営・民営別)

(単位:時間)

届出をしている

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
国・公立・公的・ 社会保険関係団体	n=137	36.1	17.3	35.3	32.8	14.8	32.2	33.9	14.9	33.7
医療法人	n=15	18.4	15.0	15.2	16.3	14.3	10.5	16.2	13.1	11.6

届出をしていない

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
国・公立・公的・ 社会保険関係団体	n=62	17.5	15.1	14.0	18.0	18.3	15.6	18.6	18.4	15.4
医療法人	n=85	7.8	12.3	2.5	7.2	11.5	2.0	7.6	11.8	2.5

※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-335 1か月間の1人あたり平均超過勤務時間
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、公営・民営別)

(単位:時間)

届出をしている

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
国・公立・公的・ 社会保険関係団体	n=170	32.3	18.0	28.7	29.9	16.1	27.9	30.9	16.4	29.6
医療法人	n=43	13.8	17.6	4.0	12.5	17.1	3.7	12.5	17.5	4.4

届出をしていない

	調査数	令和元年6月			令和2年6月			令和3年6月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
国・公立・公的・ 社会保険関係団体	n=22	13.1	18.5	5.3	13.5	24.3	4.6	13.7	24.6	2.9
医療法人	n=52	4.2	7.3	0.0	3.8	7.0	0.0	4.4	8.1	0.0

※令和元年6月～令和3年6月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-336 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間（地域医療体制確保加算の届出の有無別、医師の働き方改革に関する検討会に基づく調査時点の水準別）

(単位:時間)

届出をしている

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
A 水準	n=101	29.1	16.9	26.0	27.6	15.3	26.1	28.3	15.2	27.6
A 水準以外	n=64	37.5	17.8	38.6	33.6	16.3	33.3	34.3	15.7	36.2

届出をしていない

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
A 水準	n=152	10.8	13.9	5.2	10.5	15.3	4.5	11.1	15.7	4.8
A 水準以外	n=10	23.2	14.1	22.5	19.8	12.0	21.5	19.9	11.5	20.7

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-337 1 か月間の 1 人あたり平均超過勤務時間（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、医師の働き方改革に関する検討会に基づく調査時点の水準別）

(単位:時間)

届出をしている

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
A 水準	n=174	22.8	17.4	14.8	21.8	16.2	13.3	22.5	16.6	13.1
A 水準以外	n=70	35.6	18.4	35.9	31.8	17.2	31.2	32.4	17.2	35.1

届出をしていない

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
A 水準	n=68	4.8	10.3	0.2	5.2	14.7	0.0	5.7	15.1	0.1
A 水準以外	n=3	23.9	16.7	20.0	19.6	10.4	20.0	20.4	12.5	20.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

1 か月の超過勤務時間が 80 時間超の人数

図表 2-338 1 か月の超過勤務時間が 80 時間超の人数

(単位:人)

調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
n=371	4.6	10.5	0.0	3.7	7.9	0.0	4.2	9.6	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-339 1 か月の超過勤務時間が 80 時間超の人数
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)

(単位:人)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=276	5.9	11.6	1.0	4.7	8.6	0.0	5.3	10.6	1.0
届出していない	n=80	0.2	1.4	0.0	0.1	0.5	0.0	0.2	1.0	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-340 1 か月の超過勤務時間が 80 時間超の人数
(地域医療体制確保加算の届出の有無別)

(単位:人)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=191	8.4	13.4	3.0	6.5	9.8	2.0	7.2	11.8	3.0
届出していない	n=180	0.6	2.4	0.0	0.7	3.1	0.0	0.9	4.8	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

1 か月の超過勤務時間が155 時間超の人数

図表 2-341 1 か月の超過勤務時間が155 時間超の人数

(単位:人)

調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
n=371	0.2	0.7	0.0	0.1	0.5	0.0	0.1	0.5	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-342 1 か月の超過勤務時間が155 時間超の人数
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)

(単位:人)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=276	0.2	0.7	0.0	0.1	0.5	0.0	0.1	0.6	0.0
届出していない	n=80	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-343 1 か月の超過勤務時間が155 時間超の人数
(地域医療体制確保加算の届出の有無別)

(単位:人)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=191	0.3	0.9	0.0	0.2	0.6	0.0	0.1	0.6	0.0
届出していない	n=180	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

1 か月間の 1 人あたり宿日直回数

図表 2-344 1 か月間の 1 人あたり平均宿日直回数、
最大宿日直回数、最小宿日直回数

(単位:回)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
平均宿日直回数	n=393	2.3	2.3	2.0	2.2	2.1	1.9	2.2	2.1	1.9
最大宿日直回数	n=393	5.6	3.5	5.0	5.4	3.4	5.0	5.3	3.3	5.0
最小宿日直回数	n=393	0.7	2.0	0.0	0.7	2.0	0.0	0.7	2.0	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-345 1 か月間の 1 人あたり平均宿日直回数 (病床規模別)

(単位:回)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
全体	n=393	2.3	2.3	2.0	2.2	2.1	1.9	2.2	2.1	1.9
99 床以下	n=65	3.3	4.1	2.5	3.3	4.2	2.4	3.2	4.3	2.3
100 床～199 床以下	n=93	2.0	1.6	1.8	1.9	1.5	1.6	2.0	1.7	1.7
200 床～399 床以下	n=115	2.2	1.1	2.0	2.0	1.1	1.9	2.0	1.1	1.9
400 床以上	n=118	2.2	2.2	2.0	2.0	0.9	1.9	1.9	0.9	1.9

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-346 1 か月間の 1 人あたり平均宿日直回数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)

(単位:回)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=159	2.3	2.0	2.0	2.0	1.0	1.9	2.0	1.0	1.9
協力医療機関として指定されたことがある	n=115	2.0	1.2	2.0	1.9	1.3	1.7	1.9	1.2	1.7
その他	n=40	2.4	1.6	2.3	2.3	1.5	2.4	2.4	2.0	2.4
無回答	n=133	2.5	3.1	2.0	2.5	3.1	1.9	2.5	3.1	1.9

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-347 1 か月間の 1 人あたり平均宿日直回数
(地域医療体制確保加算の届出の有無別)

(単位:回)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=194	2.2	1.9	2.0	2.0	1.0	1.9	2.0	1.0	1.9
届出していない	n=199	2.4	2.7	2.0	2.4	2.7	1.9	2.4	2.8	1.9

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-348 1 か月間の 1 人あたり平均宿日直回数
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)

(単位:回)

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=287	2.2	1.7	2.0	2.0	1.2	1.9	2.0	1.1	1.9
届出していない	n=92	2.7	3.7	1.9	2.7	3.7	1.8	2.8	3.8	1.8

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

連日当直を実施した者の人数（月間）

図表 2-349 連日当直を実施した者の人数（月間）（病床規模別）

（単位：人）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=373	1.1	6.1	0.0	0.9	4.9	0.0	0.9	4.8	0.0
99 床以下	n=60	0.4	0.8	0.0	0.3	0.6	0.0	0.4	1.1	0.0
100 床～199 床以下	n=89	0.2	0.7	0.0	0.1	0.5	0.0	0.2	0.5	0.0
200 床～399 床以下	n=112	1.0	3.8	0.0	1.0	3.8	0.0	0.9	3.8	0.0
400 床以上	n=110	2.4	10.3	0.0	1.9	8.1	0.0	1.8	7.7	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-350 連日当直を実施した者の人数（月間）
（新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）

（単位：人）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=153	1.5	7.7	0.0	1.3	6.3	0.0	1.2	6.1	0.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=109	1.4	6.5	0.0	1.4	5.4	0.0	1.3	5.0	0.0
その他	n=33	0.5	1.3	0.0	0.3	0.9	0.0	0.4	1.0	0.0
無回答	n=126	0.4	1.9	0.0	0.4	2.0	0.0	0.4	1.9	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-351 連日当直を実施した者の人数（月間）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

（単位：人）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=272	1.4	7.1	0.0	1.2	5.7	0.0	1.1	5.5	0.0
届出していない	n=88	0.3	0.8	0.0	0.2	0.6	0.0	0.4	0.9	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-352 連日当直を実施した者の人数（月間）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）

（単位：人）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=185	1.7	8.2	0.0	1.4	6.6	0.0	1.3	6.3	0.0
届出していない	n=188	0.5	2.4	0.0	0.5	2.3	0.0	0.5	2.3	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

連日当直の発生した回数

図表 2-353 連日当直の発生した回数（月間）（病床規模別）

（単位：回）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=373	1.5	7.3	0.0	1.3	6.5	0.0	1.1	5.5	0.0
99 床以下	n=60	1.1	4.1	0.0	1.0	4.0	0.0	0.9	3.9	0.0
100 床～199 床以下	n=89	0.2	1.1	0.0	0.2	0.8	0.0	0.2	0.7	0.0
200 床～399 床以下	n=112	0.9	4.3	0.0	0.9	4.1	0.0	0.7	3.8	0.0
400 床以上	n=110	3.2	12.2	0.0	2.7	10.6	0.0	2.4	8.8	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-354 連日当直の発生した回数（月間）
（新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）

（単位：回）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=153	2.3	9.9	0.0	2.0	8.9	0.0	1.8	7.5	0.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=109	1.9	7.4	0.0	1.8	7.9	0.0	1.5	5.9	0.0
その他	n=33	0.9	2.5	0.0	0.6	1.8	0.0	0.6	1.3	0.0
無回答	n=126	0.5	2.8	0.0	0.6	3.1	0.0	0.5	2.8	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-355 連日当直の発生した回数（月間）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

（単位：回）

	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=272	1.7	8.3	0.0	1.5	7.3	0.0	1.3	6.2	0.0
届出していない	n=88	0.8	3.5	0.0	0.9	3.6	0.0	0.8	3.3	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

図表 2-356 連日当直の発生した回数（月間）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）

（単位：回）

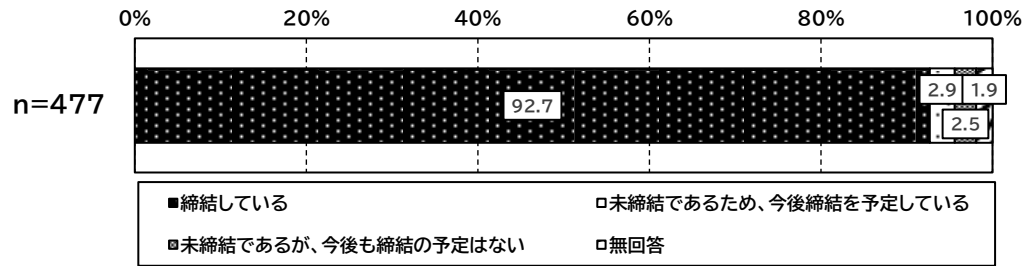
	調査数	令和元年 6 月			令和2年 6 月			令和3年 6 月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
届出ている	n=185	2.1	9.5	0.0	1.8	8.3	0.0	1.6	6.9	0.0
届出していない	n=188	0.8	4.0	0.0	0.8	3.7	0.0	0.7	3.6	0.0

※令和元年 6 月～令和 3 年 6 月すべてに回答があった施設を集計している。

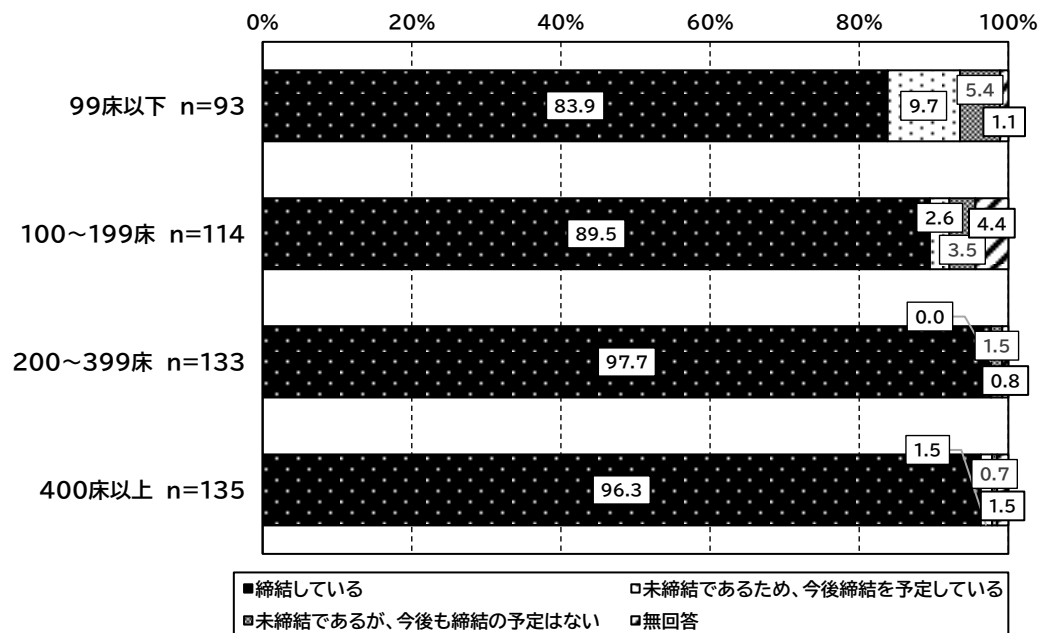
③ 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況

労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況で最も多かったものは「締結している」（92.7%）であった。

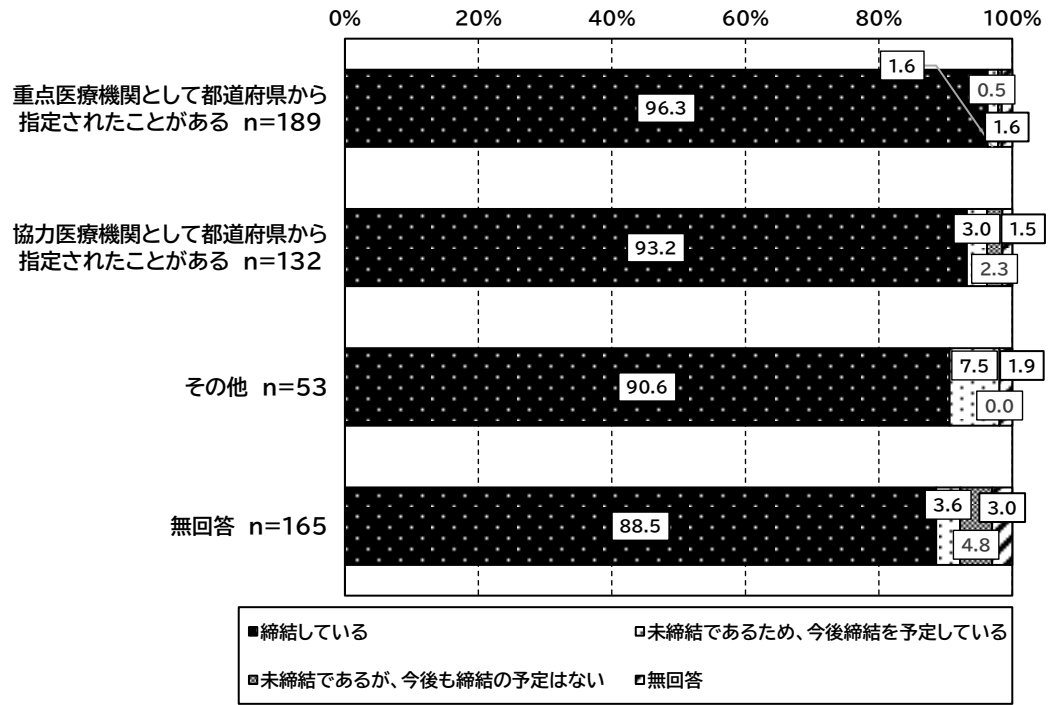
図表 2-357 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況



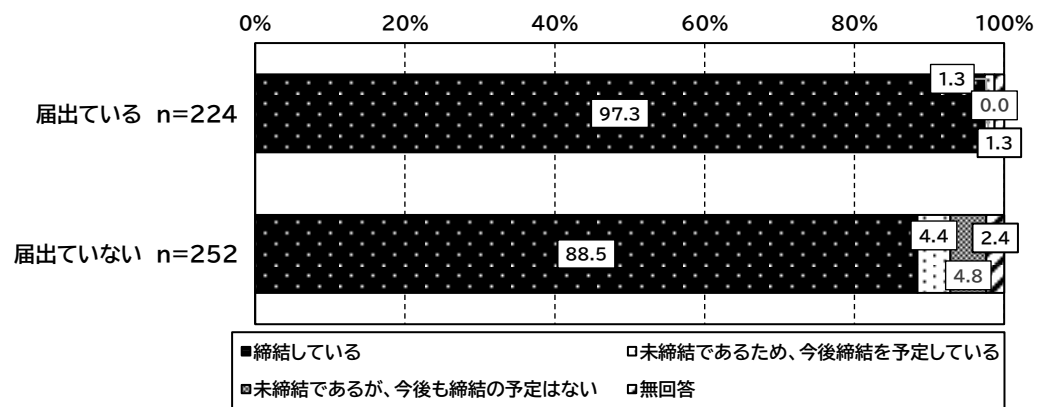
図表 2-358 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況
（病床規模別）



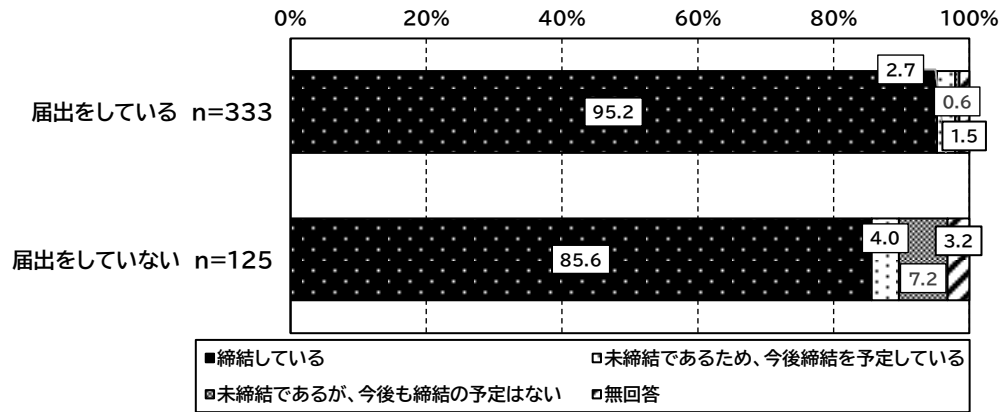
図表 2-359 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別）



図表 2-360 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別）



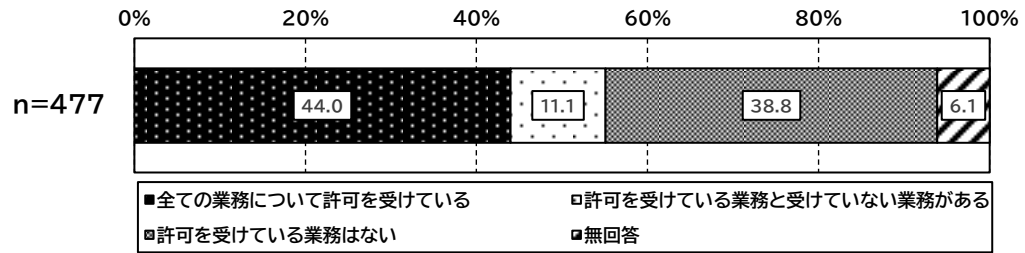
図表 2-361 労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



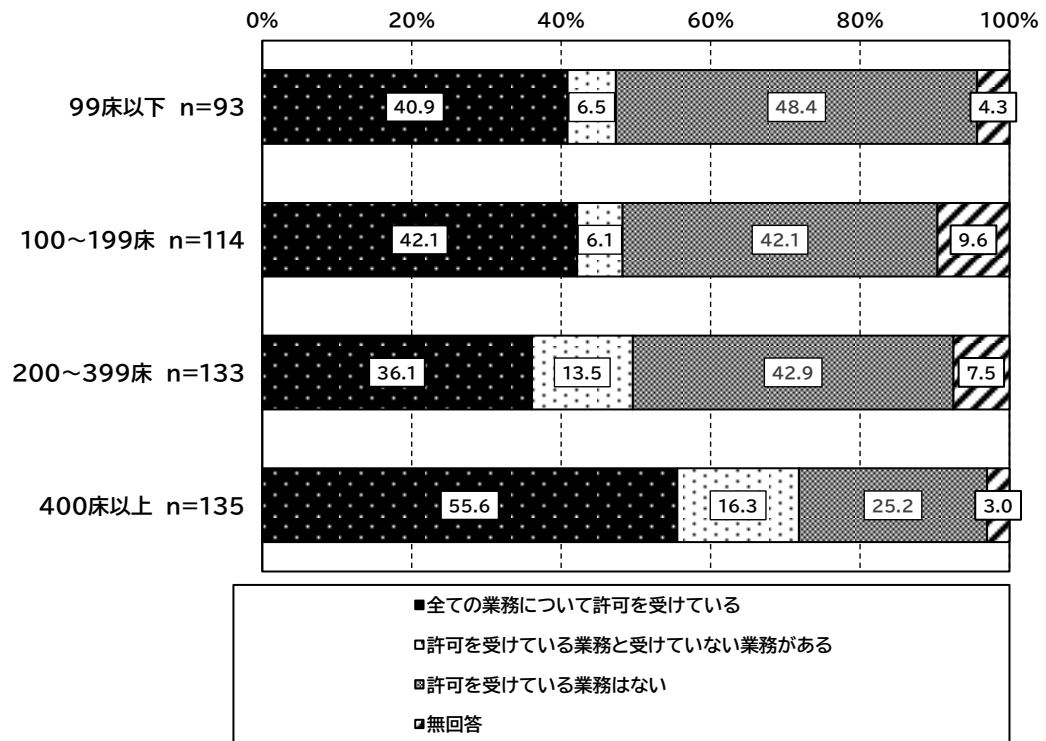
④ 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況

夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況で最も多かったものは「全ての業務について許可を受けている」（44.0%）であった。

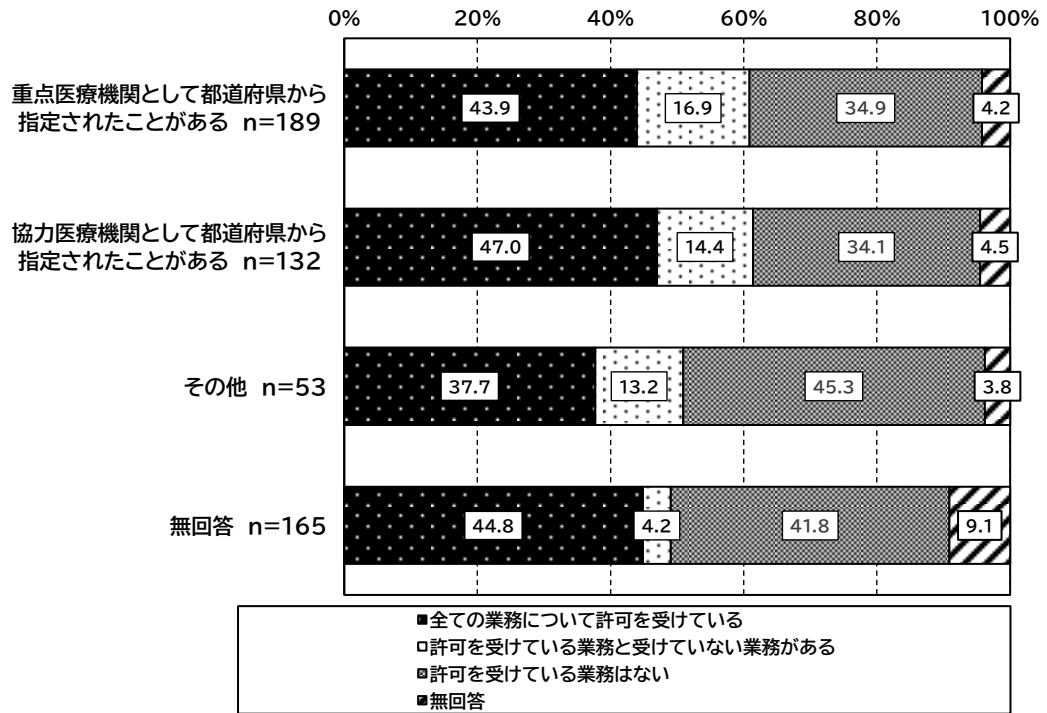
図表 2-362 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況



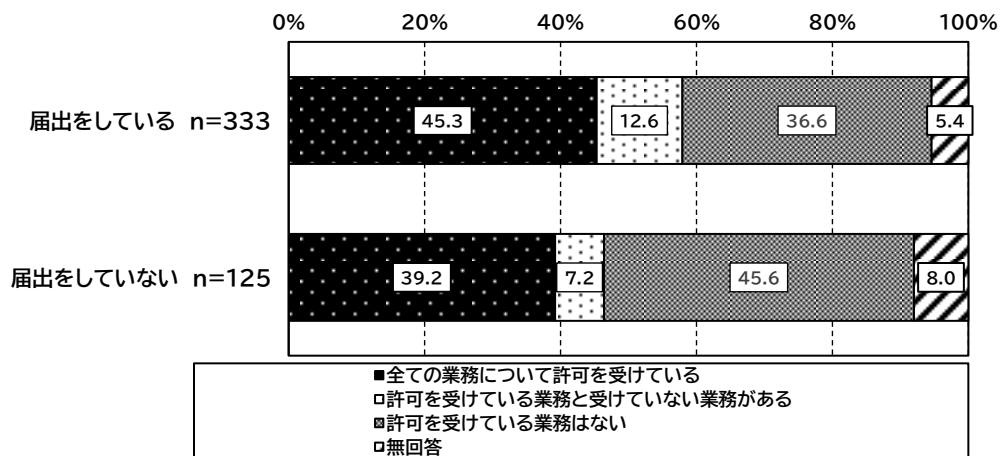
図表 2-363 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況（病床規模別）



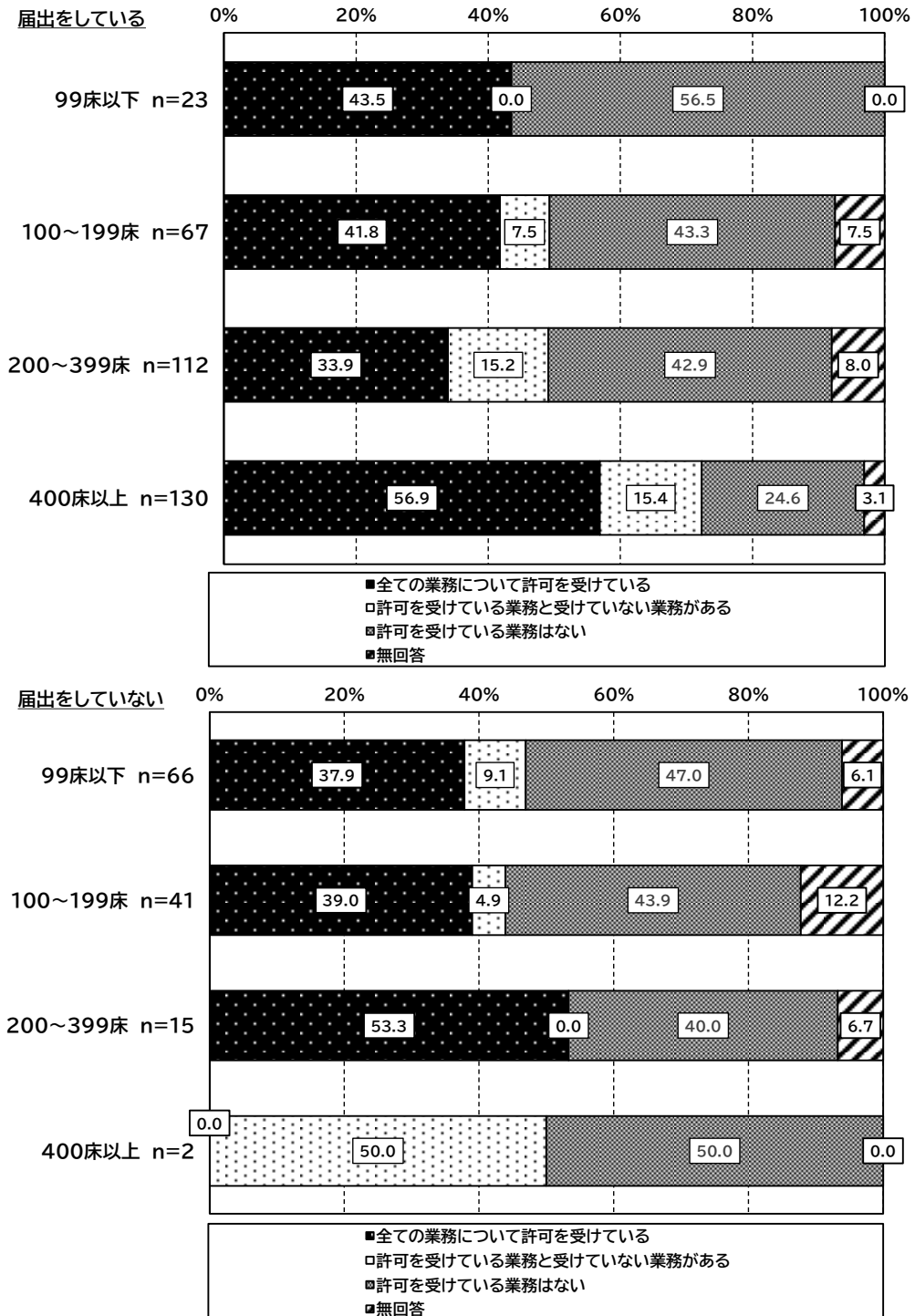
図表 2-364 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



図表 2-365 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-366 夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



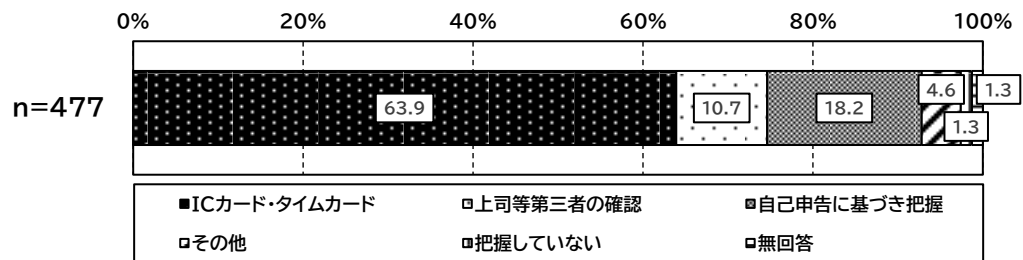
(5) 医師の負担軽減策に関する取組状況等

① 医師の労働時間の把握方法

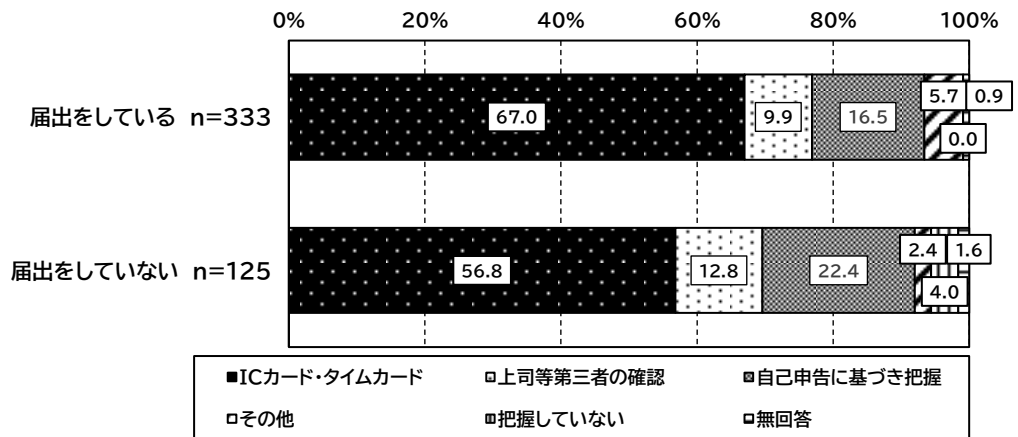
医師の労働時間の把握方法で最も多かったものは「ICカード・タイムカード」(63.9%)であった。

なお、「その他」の回答の中には、「勤怠管理システム」、「ビーコンによる感知」といったものがあった。

図表 2-367 医師の労働時間の把握方法



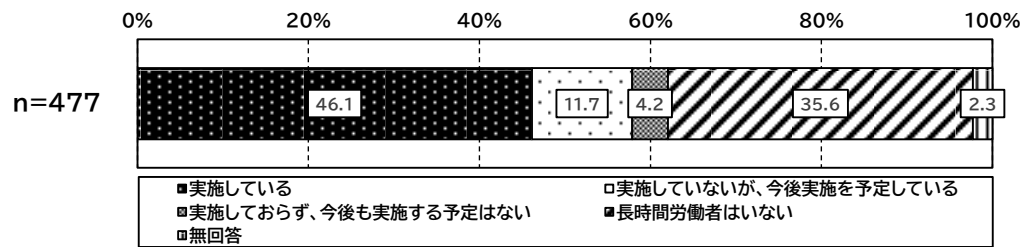
図表 2-368 医師の労働時間の把握方法
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



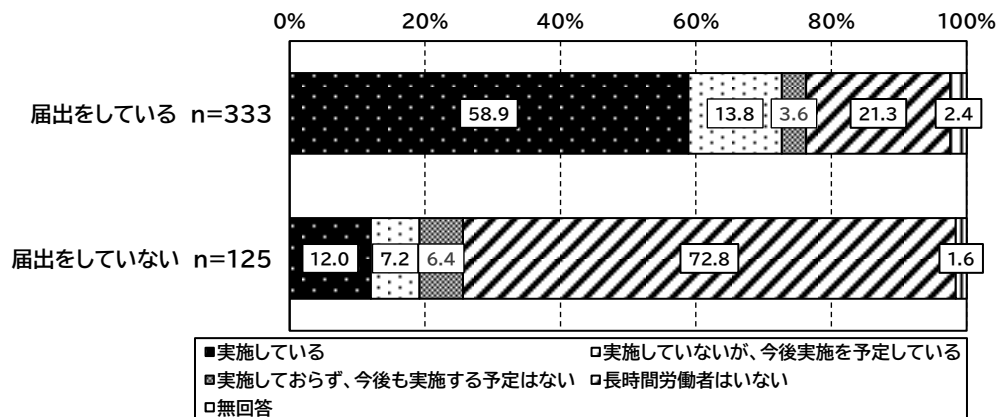
② 長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況

長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況で最も多かったものは「実施している」(46.1%)、次に多かったものは「長時間労働者はいない」(35.6%)であった。

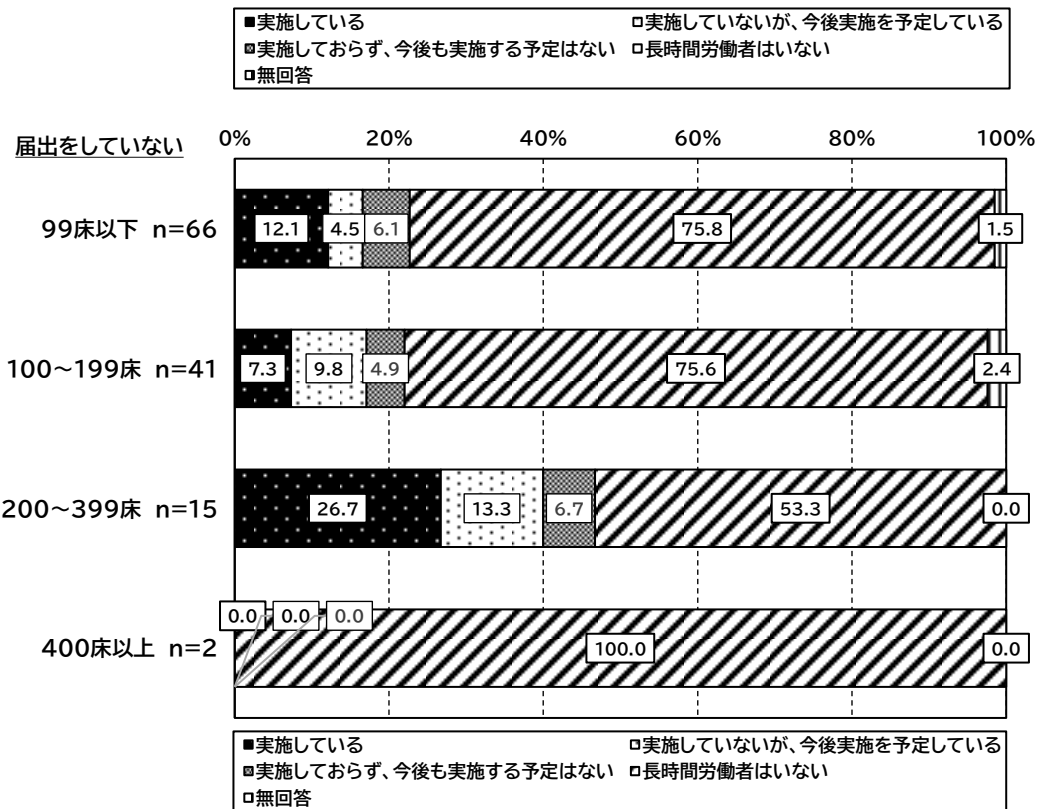
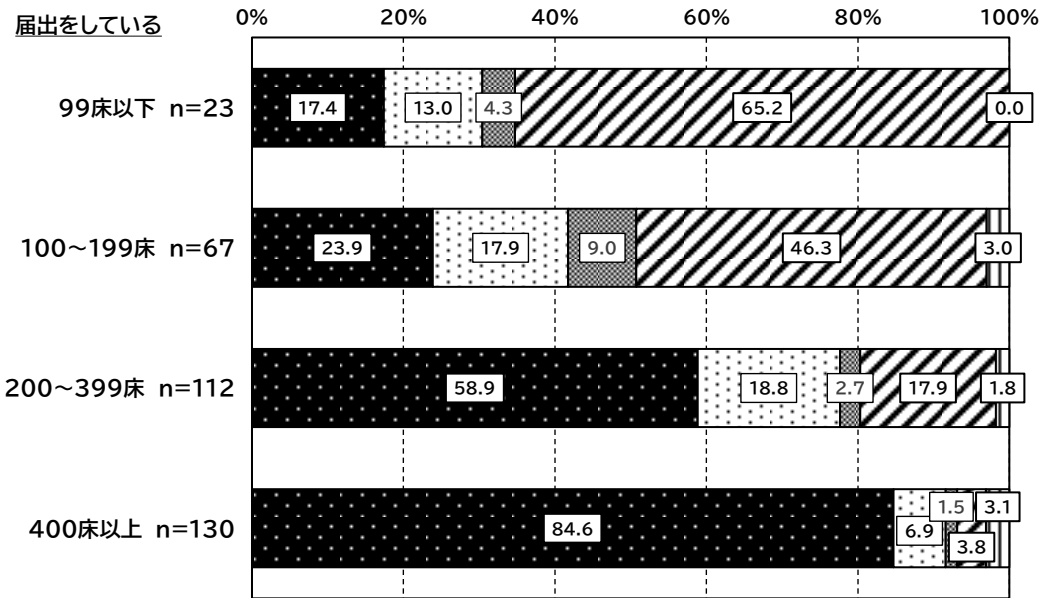
図表 2-369 長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況



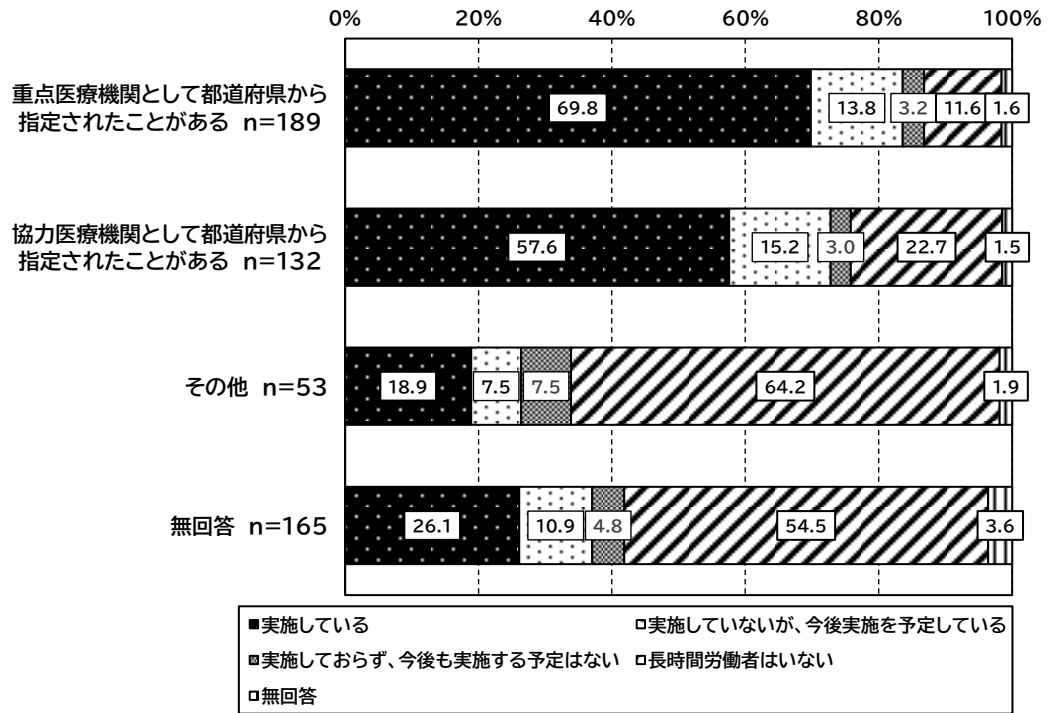
図表 2-370 長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-371 長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



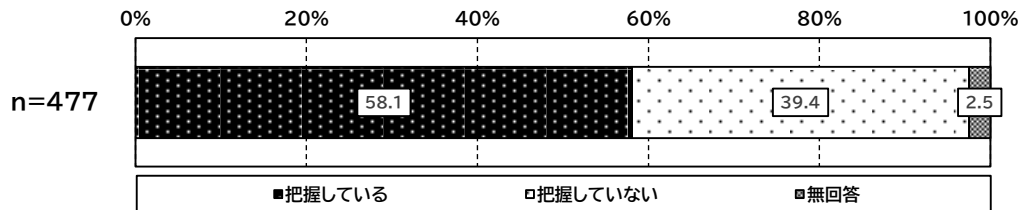
図表 2-372 長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)



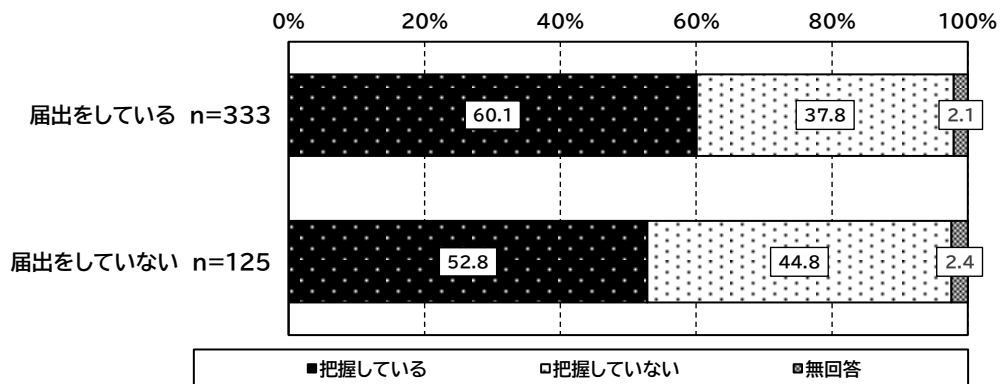
③ 施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握有無

施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握有無で最も多かったものは、「把握している」(58.1%)であった。

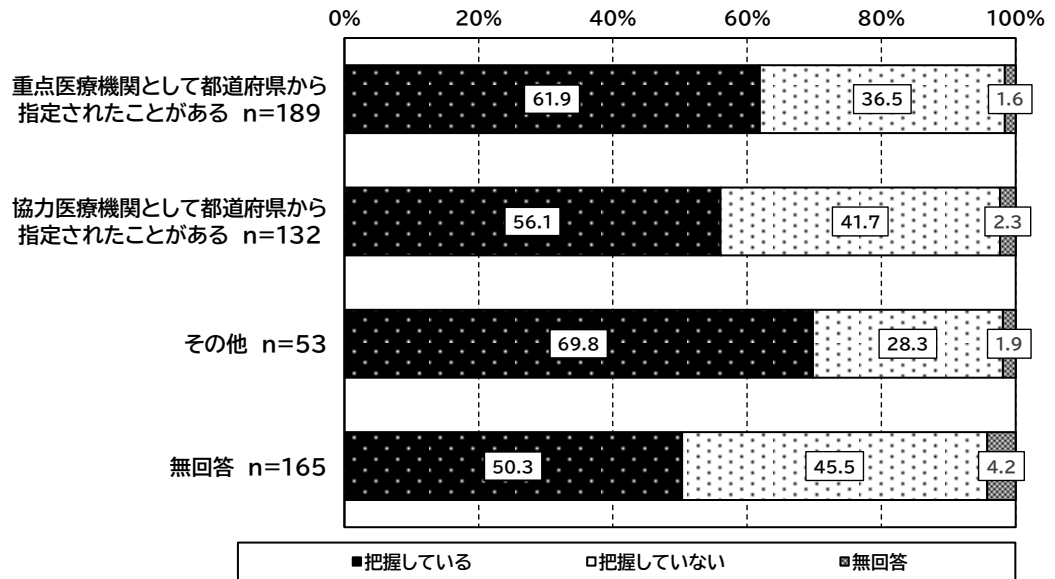
図表 2-373 施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握有無



図表 2-374 施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握有無
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-375 施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握有無
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)



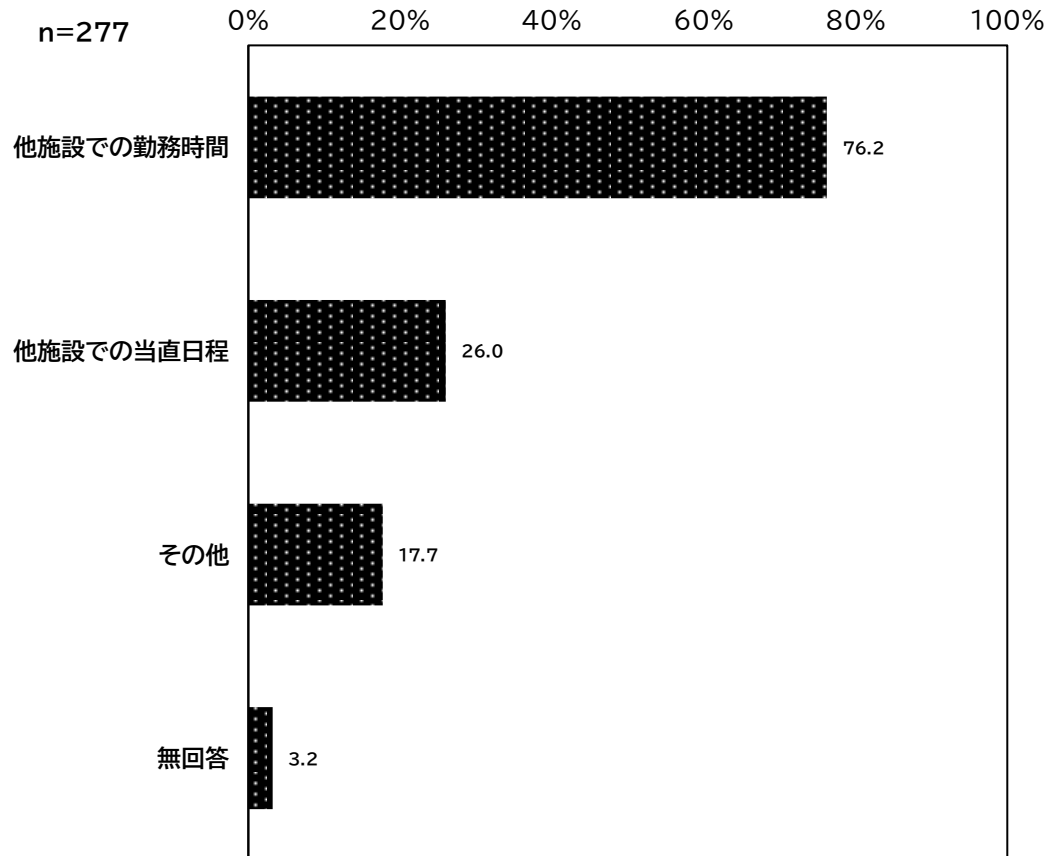
③-1 他施設での勤務状況として把握している内容

(③において「把握している」と回答した場合のみ集計)

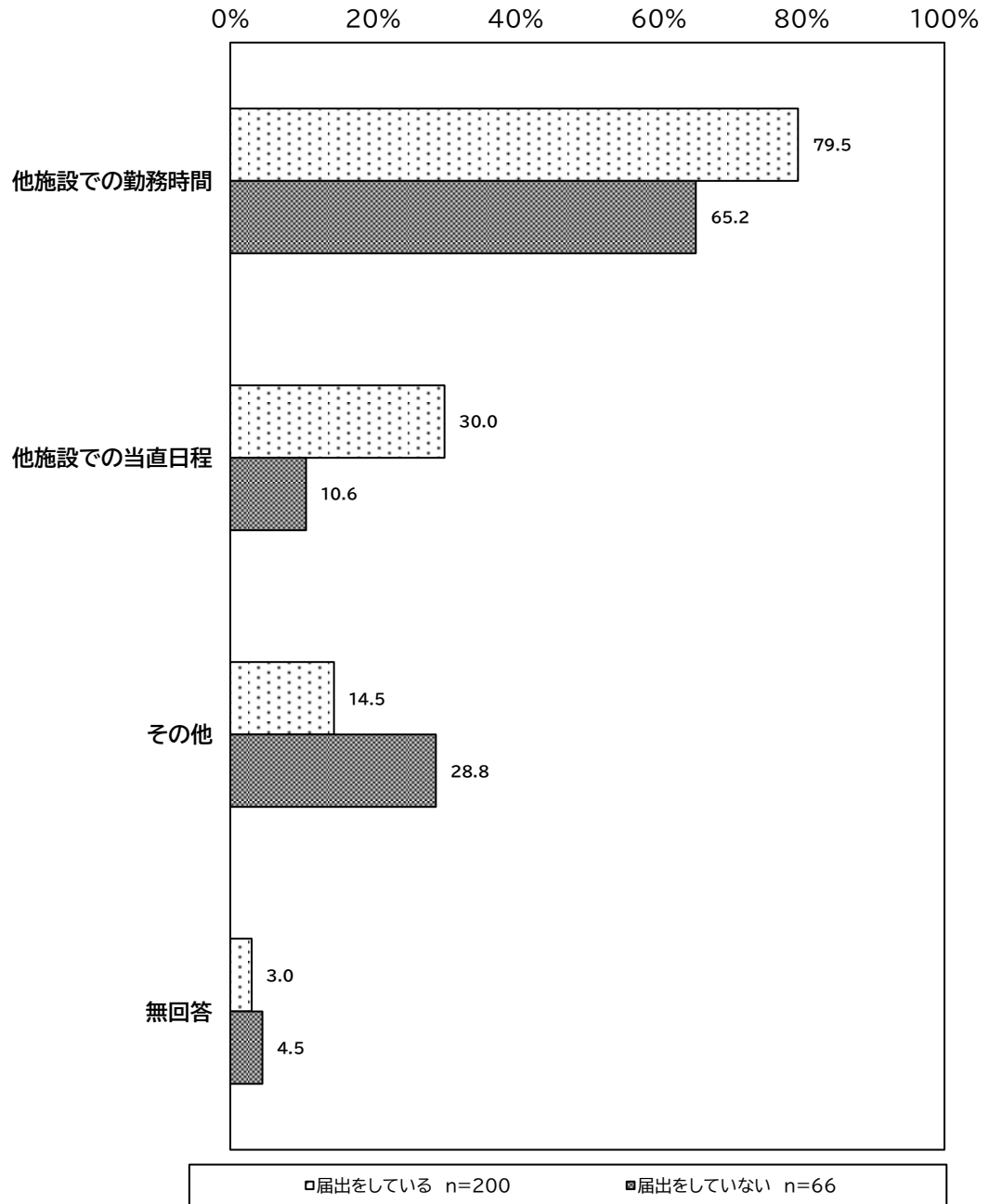
施設の常勤医師について、他施設での勤務状況の把握内容で最も多かったものは、「他施設での勤務時間」(76.2%)であった。

なお、「その他」の回答には、「勤務回数、勤務日」といったものがあった。

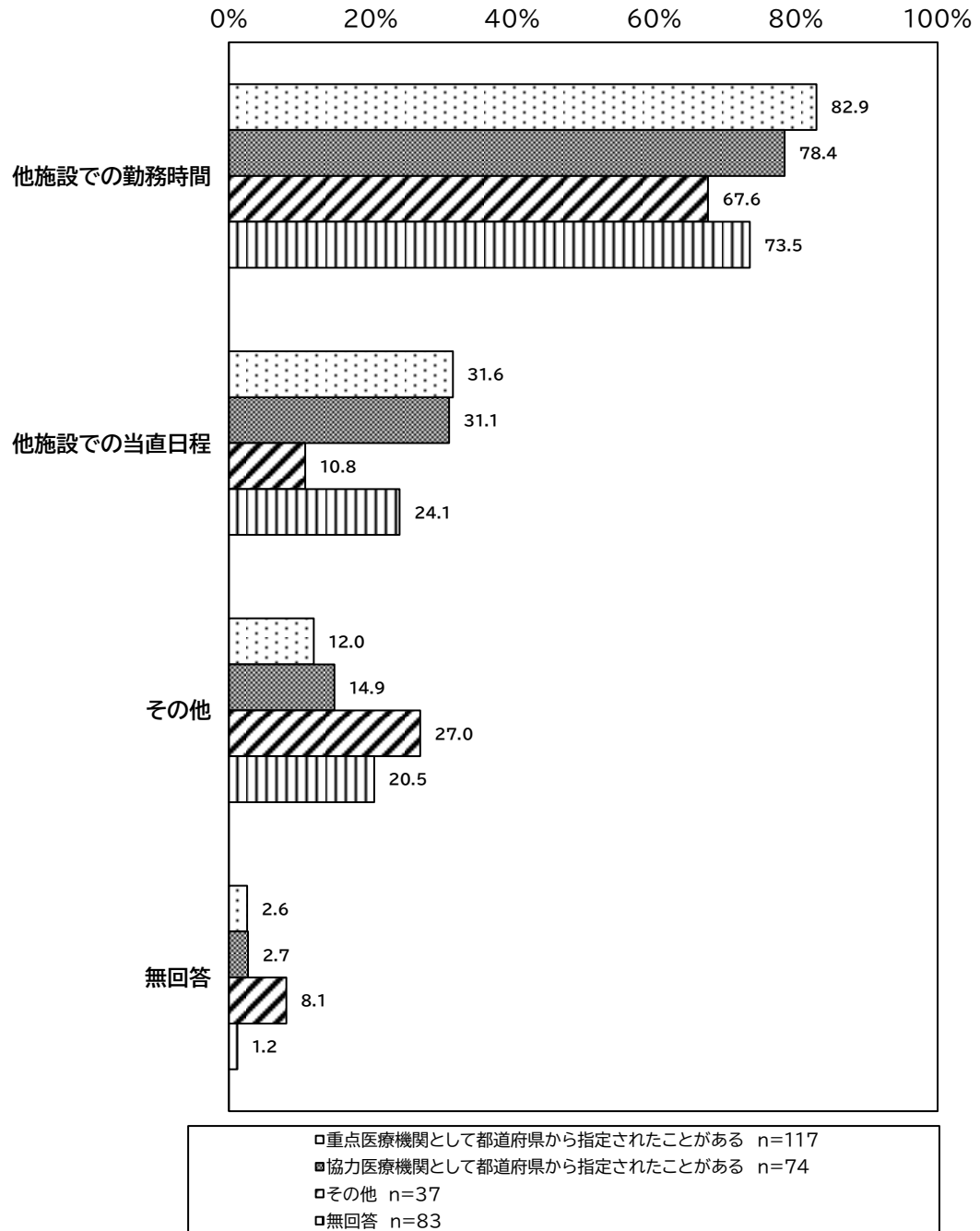
図表 2-376 他施設での勤務状況として把握している内容(複数回答)



図表 2-377 他施設での勤務状況として把握している内容（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



図表 2-378 他施設での勤務状況として把握している内容（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別）

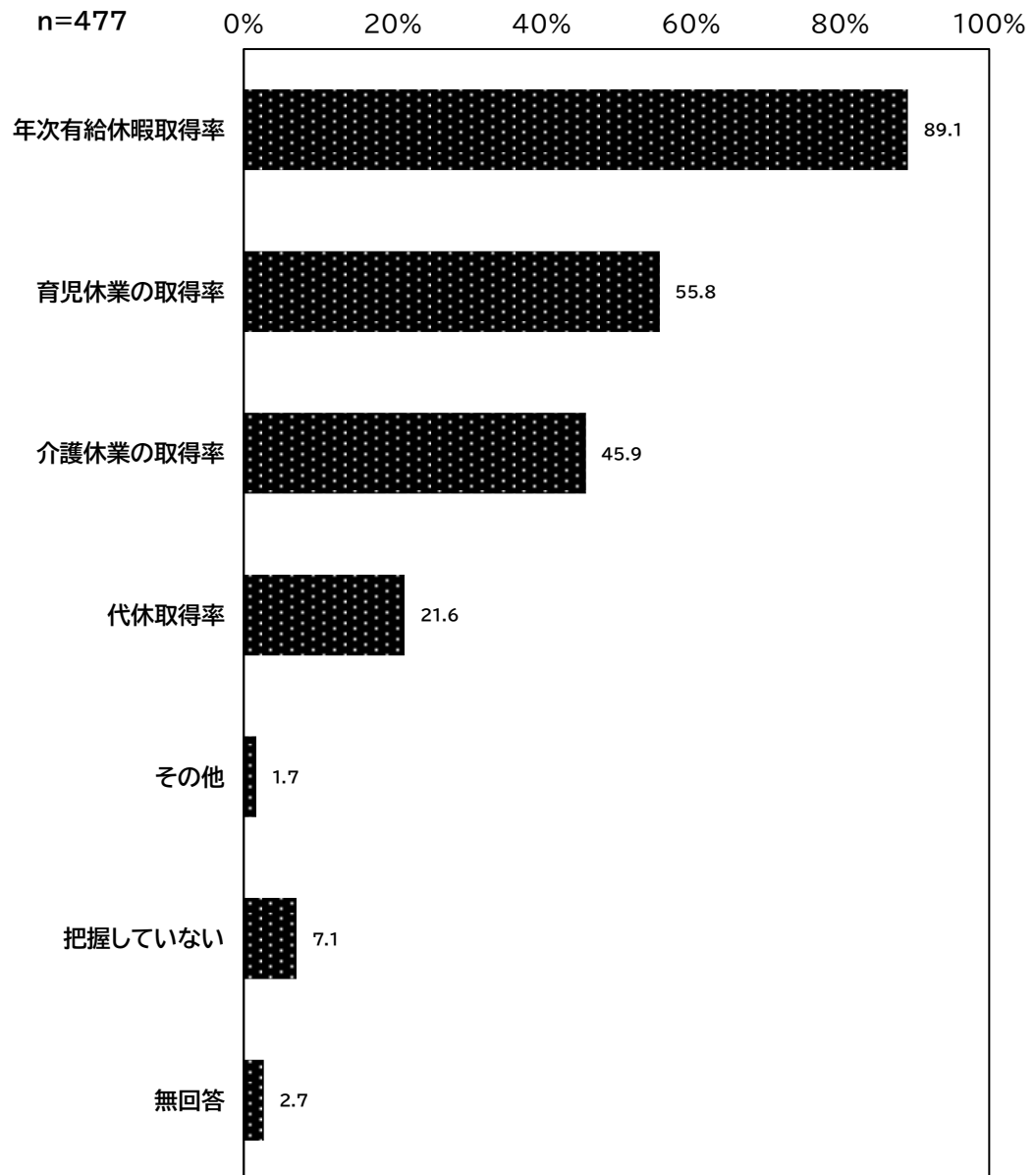


④ 労働時間以外の勤務状況として把握している内容

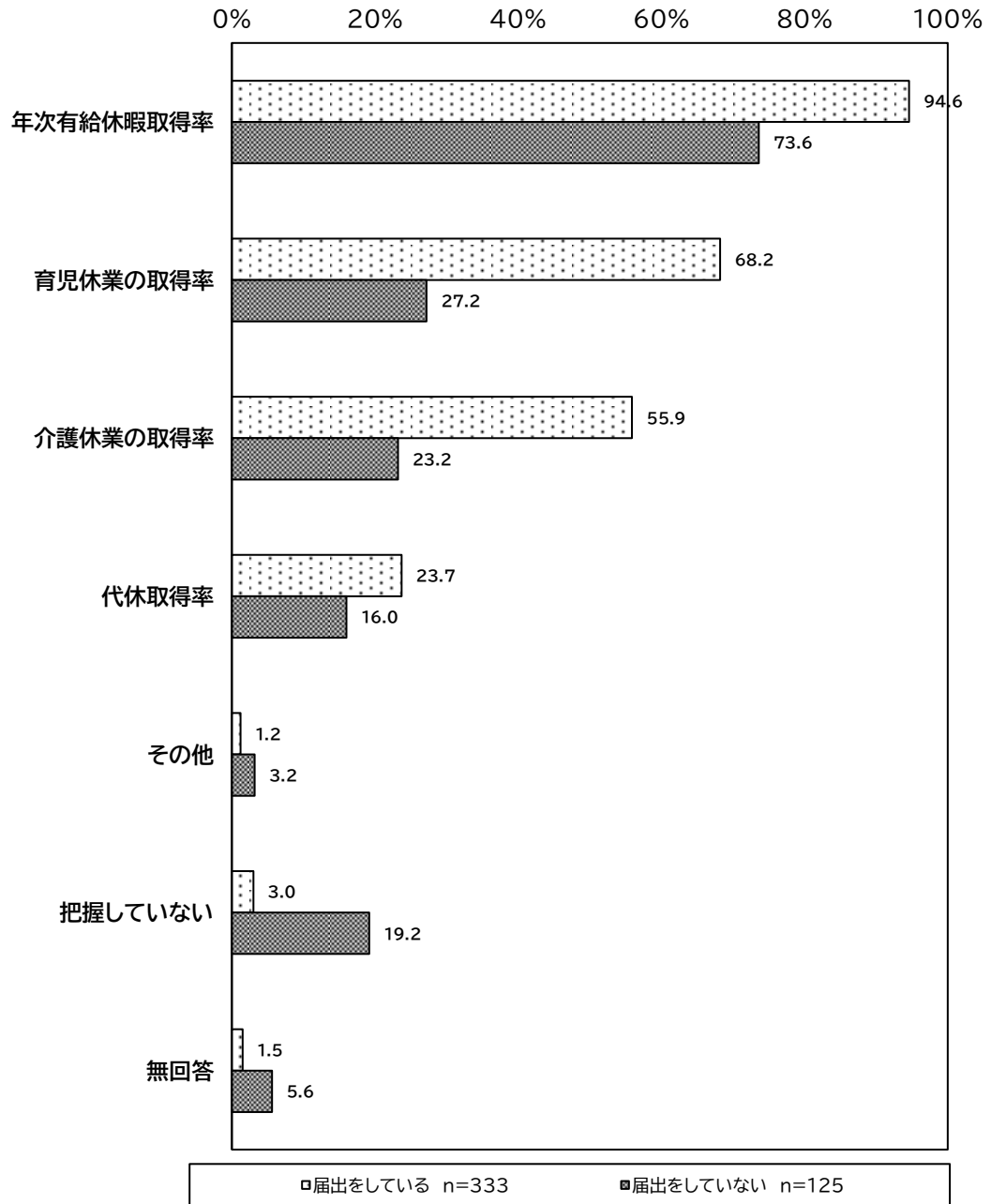
労働時間以外の勤務状況として把握している内容で最も多かったものは「年次有給休暇取得率」（89.1%）であった。

なお、「その他」の回答には、「特別有給休暇の取得率」等があった。

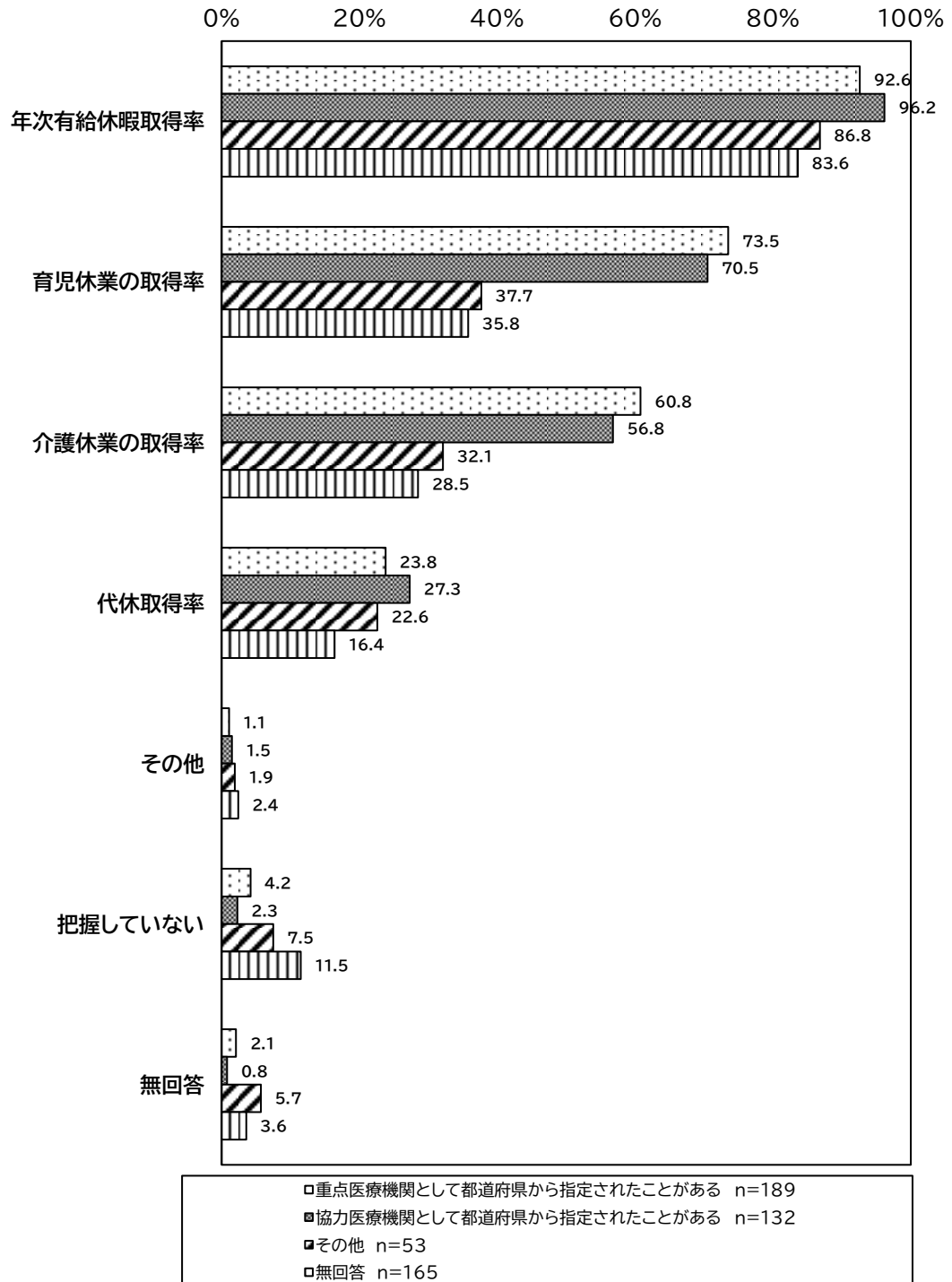
図表 2-379 労働時間以外の勤務状況として把握している内容
（複数回答）



図表 2-380 労働時間以外の勤務状況として把握している内容
 (複数回答) (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



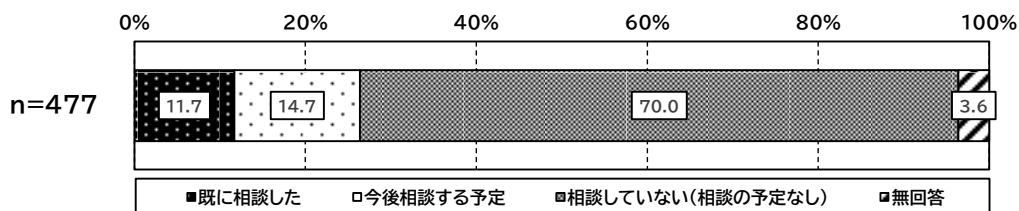
図表 2-381 労働時間以外の勤務状況として把握している内容（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別）



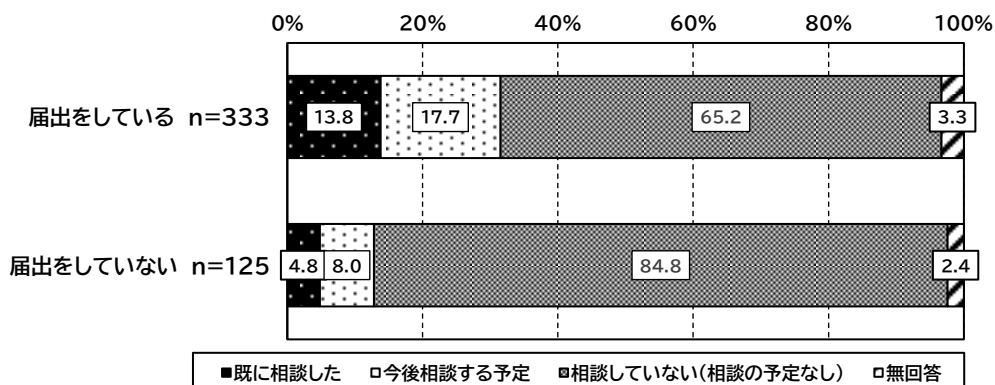
⑤ 医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無

医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無で最も多かったものは「相談していない（相談の予定なし）」（70.0%）であった。

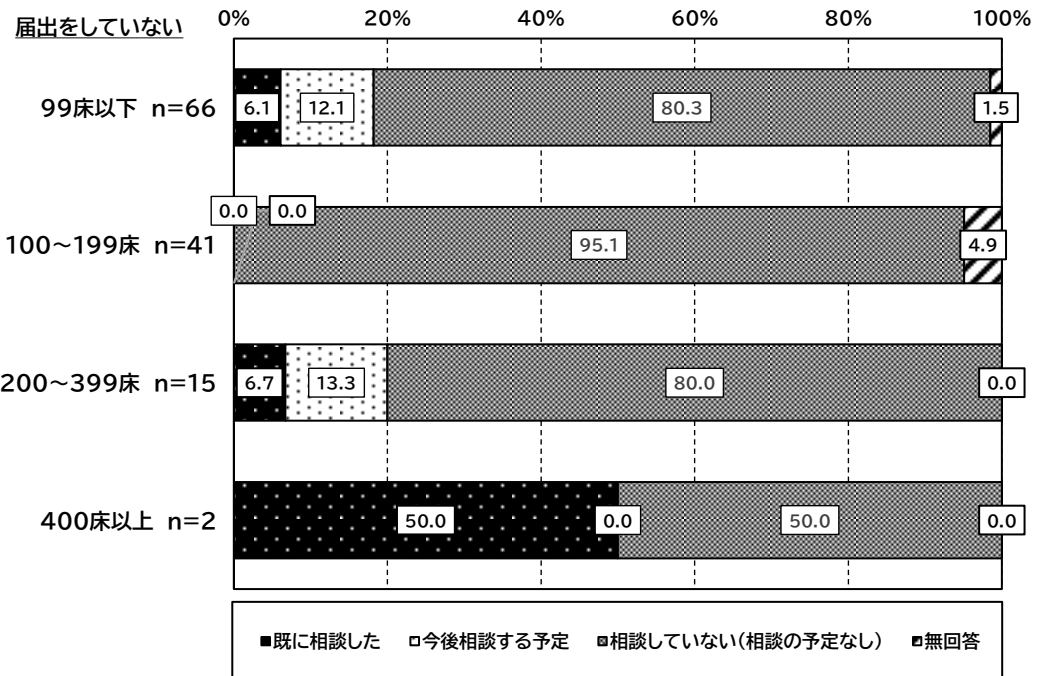
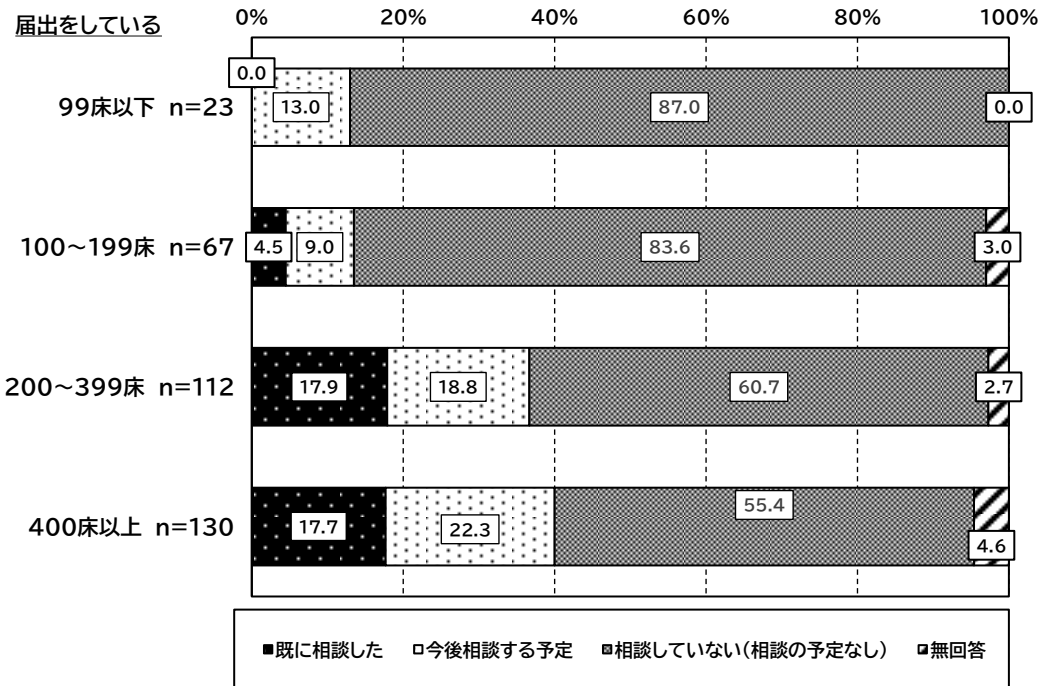
図表 2-382 医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無



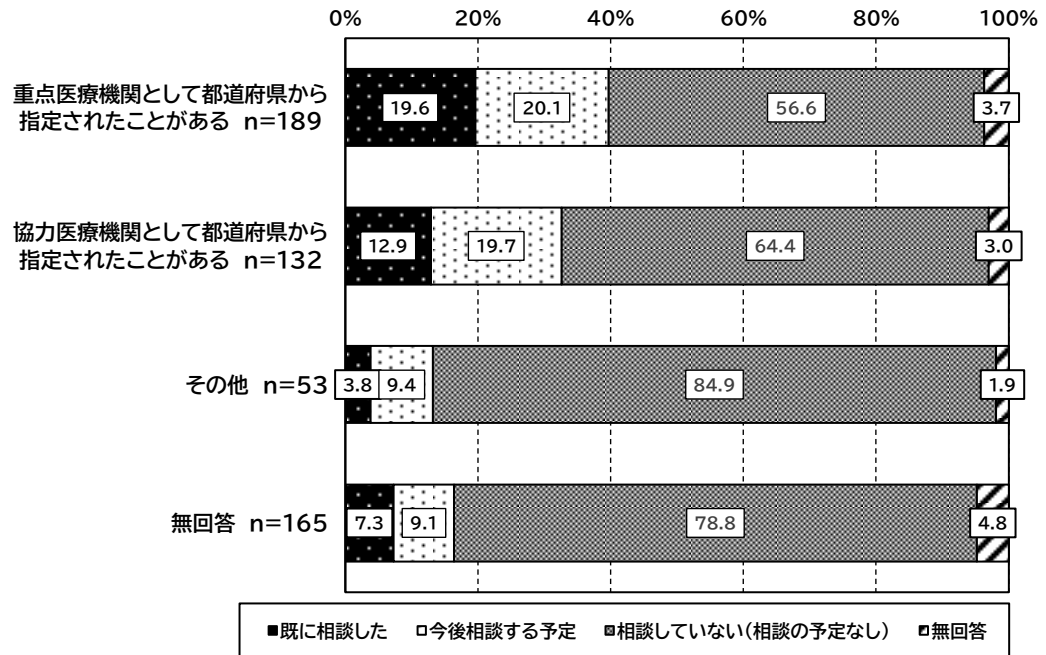
図表 2-383 医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-384 医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



図表 2-385 医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無
 (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)



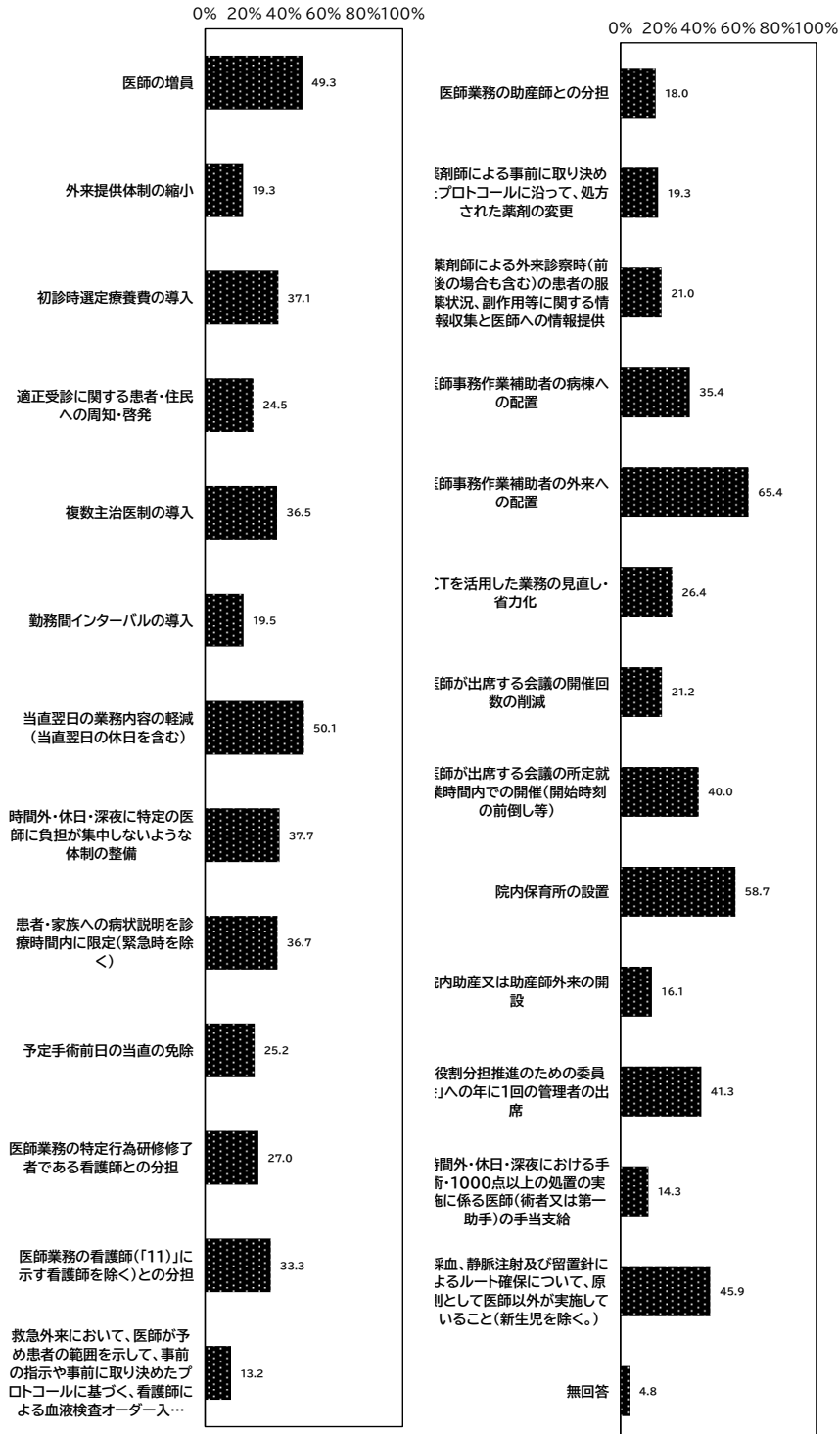
⑥ 施設における医師の負担軽減策

(1) 医師の負担軽減策として実施している取組

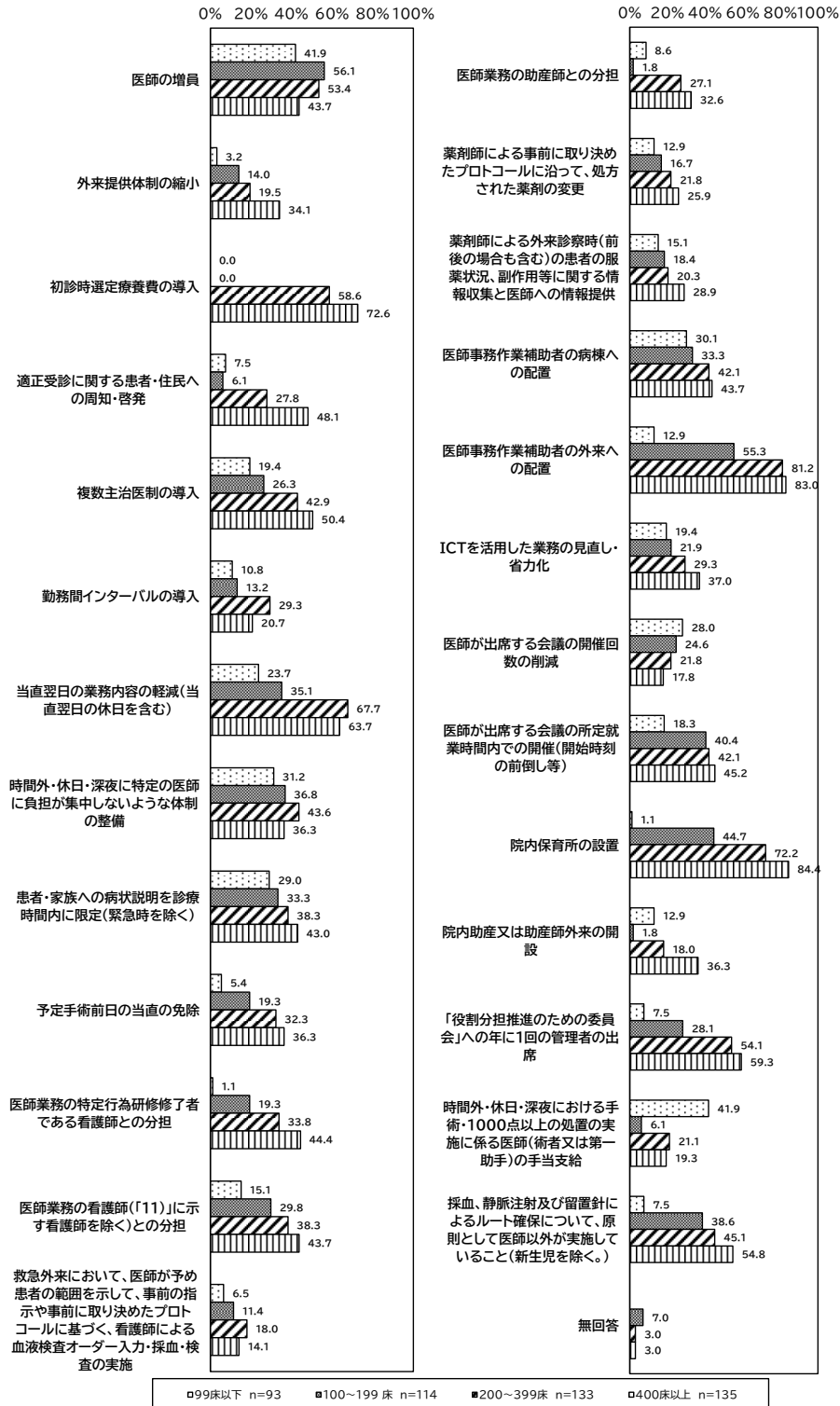
実施している医師の負担軽減策で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置」（65.4%）であった。

図表 2-386 実施している医師の負担軽減策（複数回答）

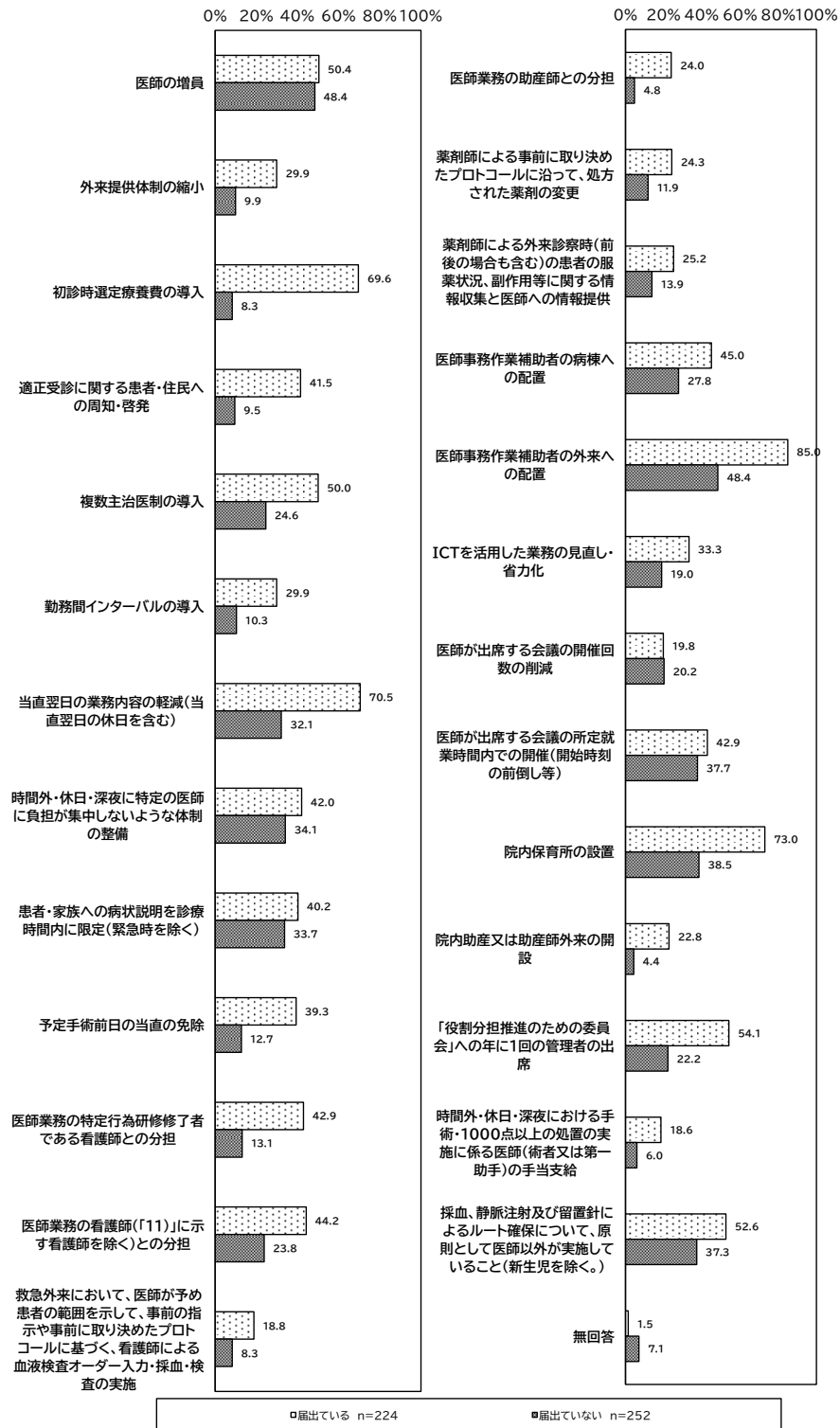
n=477



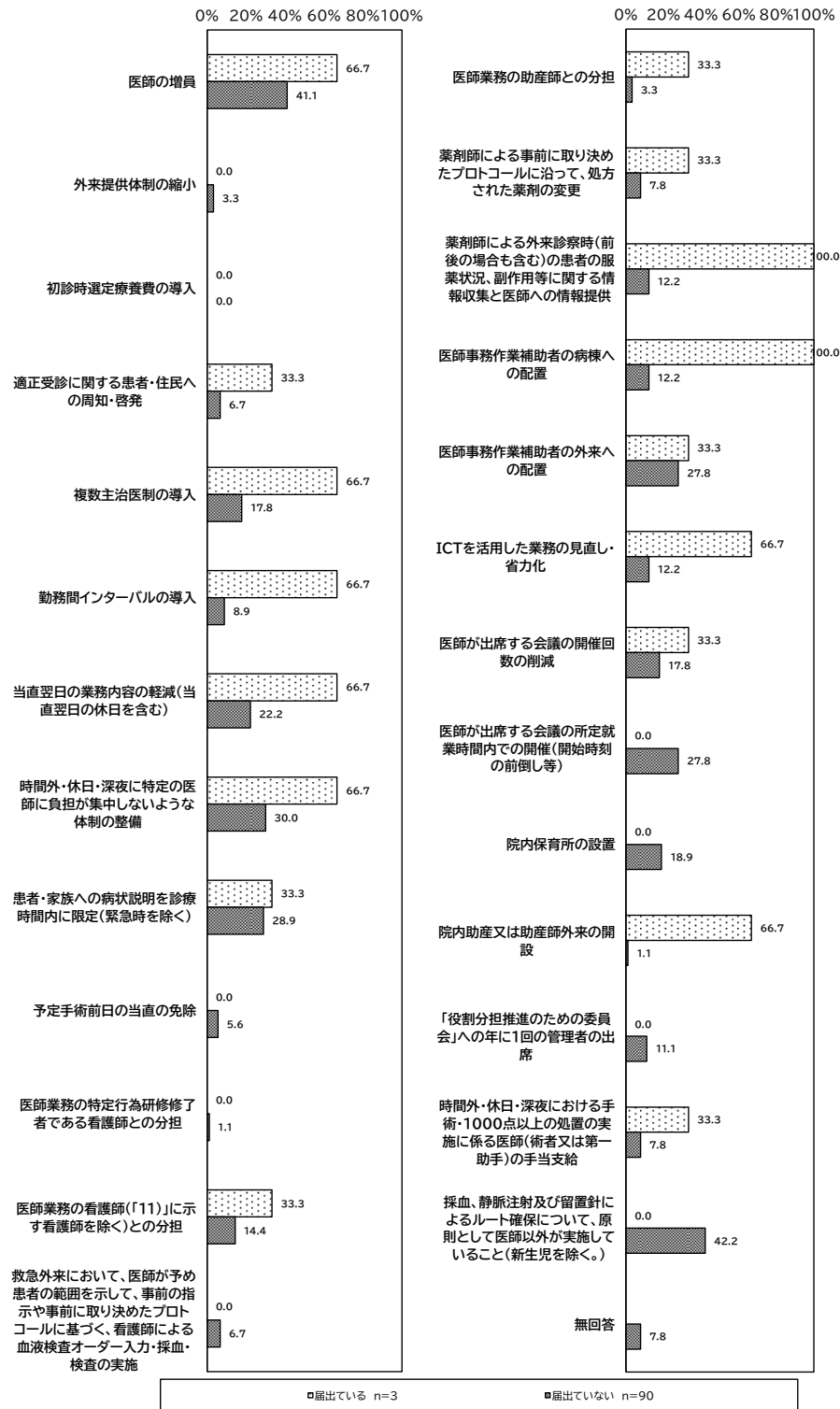
図表 2-387 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（病床規模別）



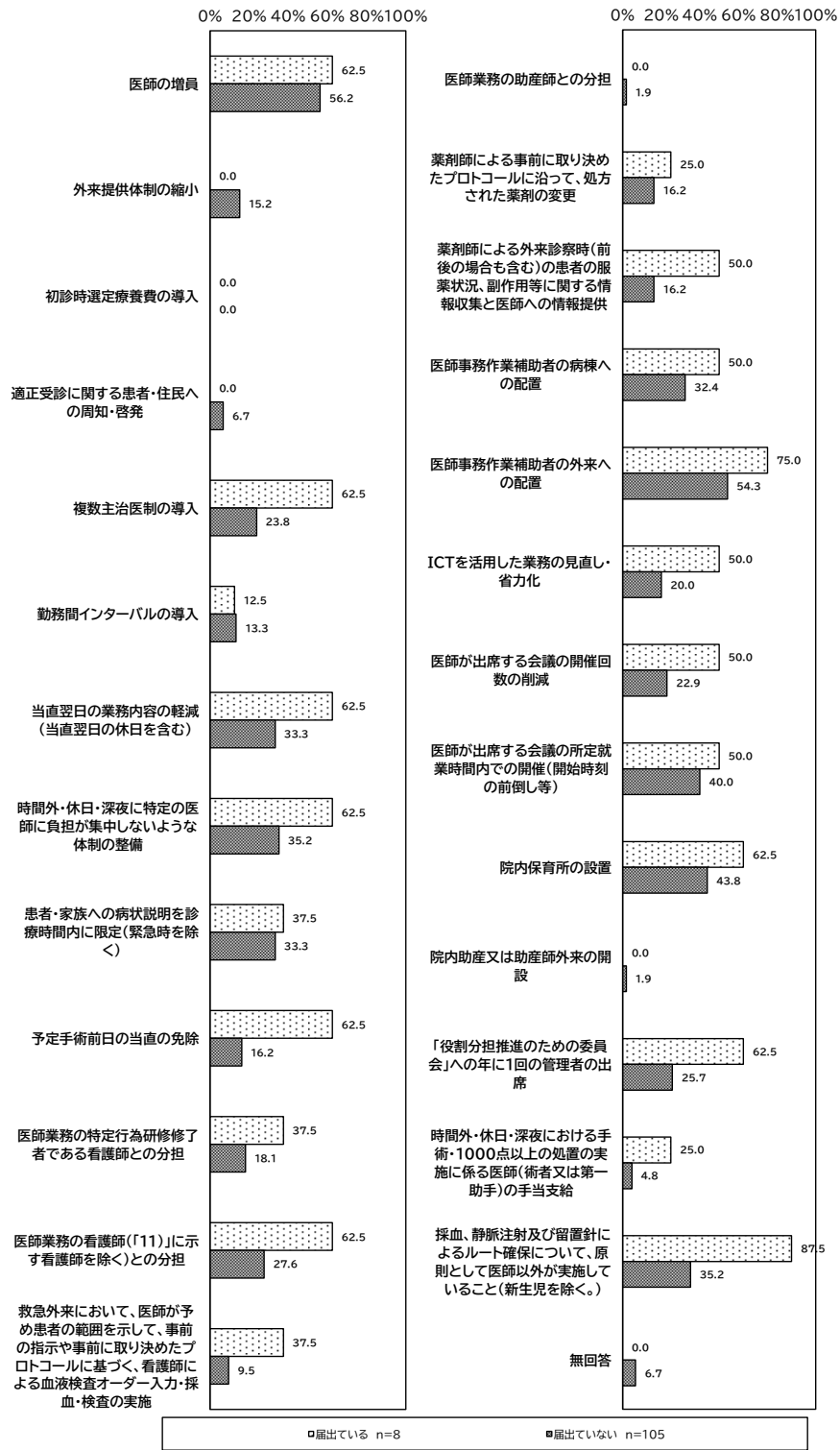
図表 2-388 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



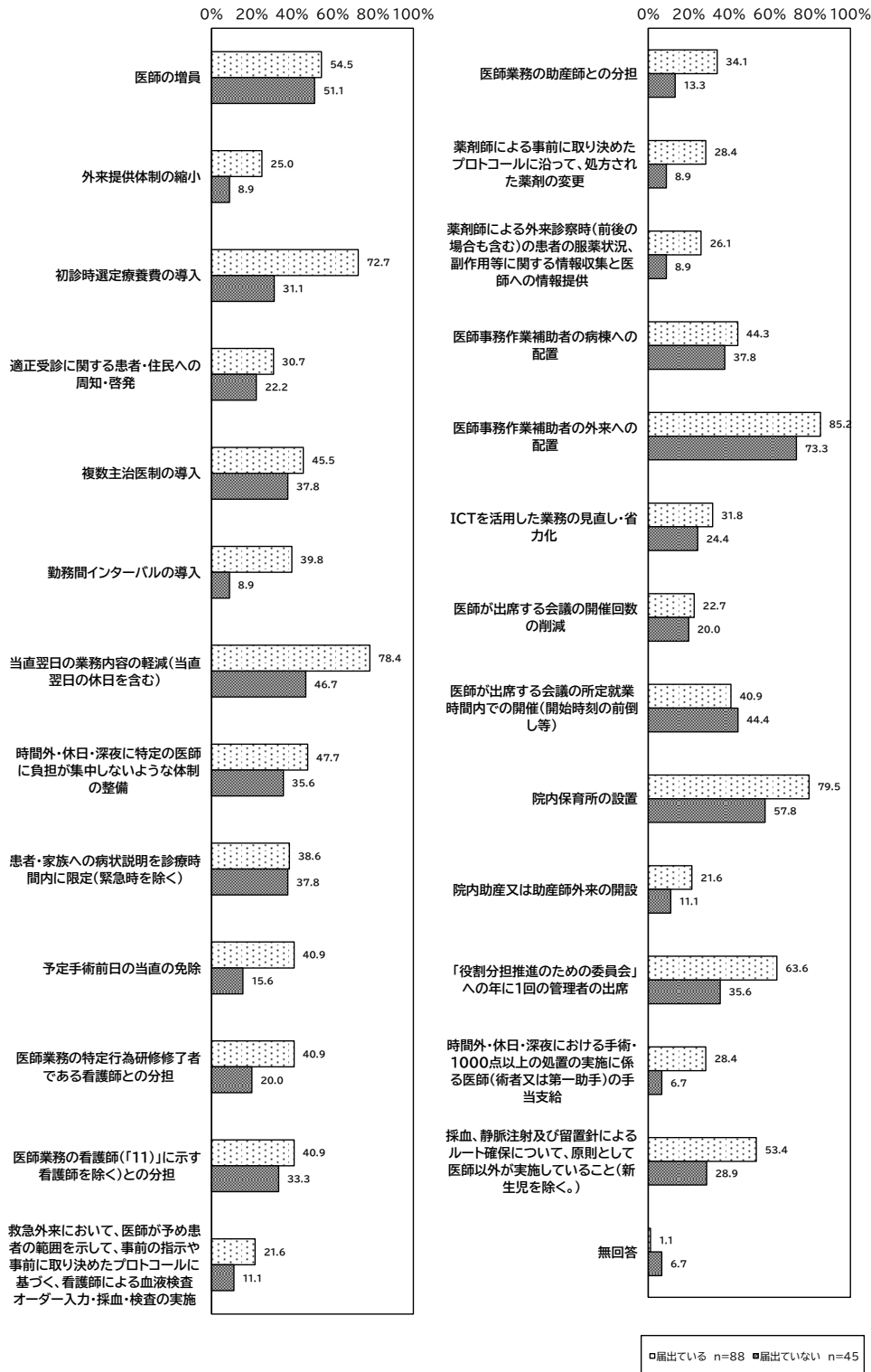
図表 2-389 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【99床以下】



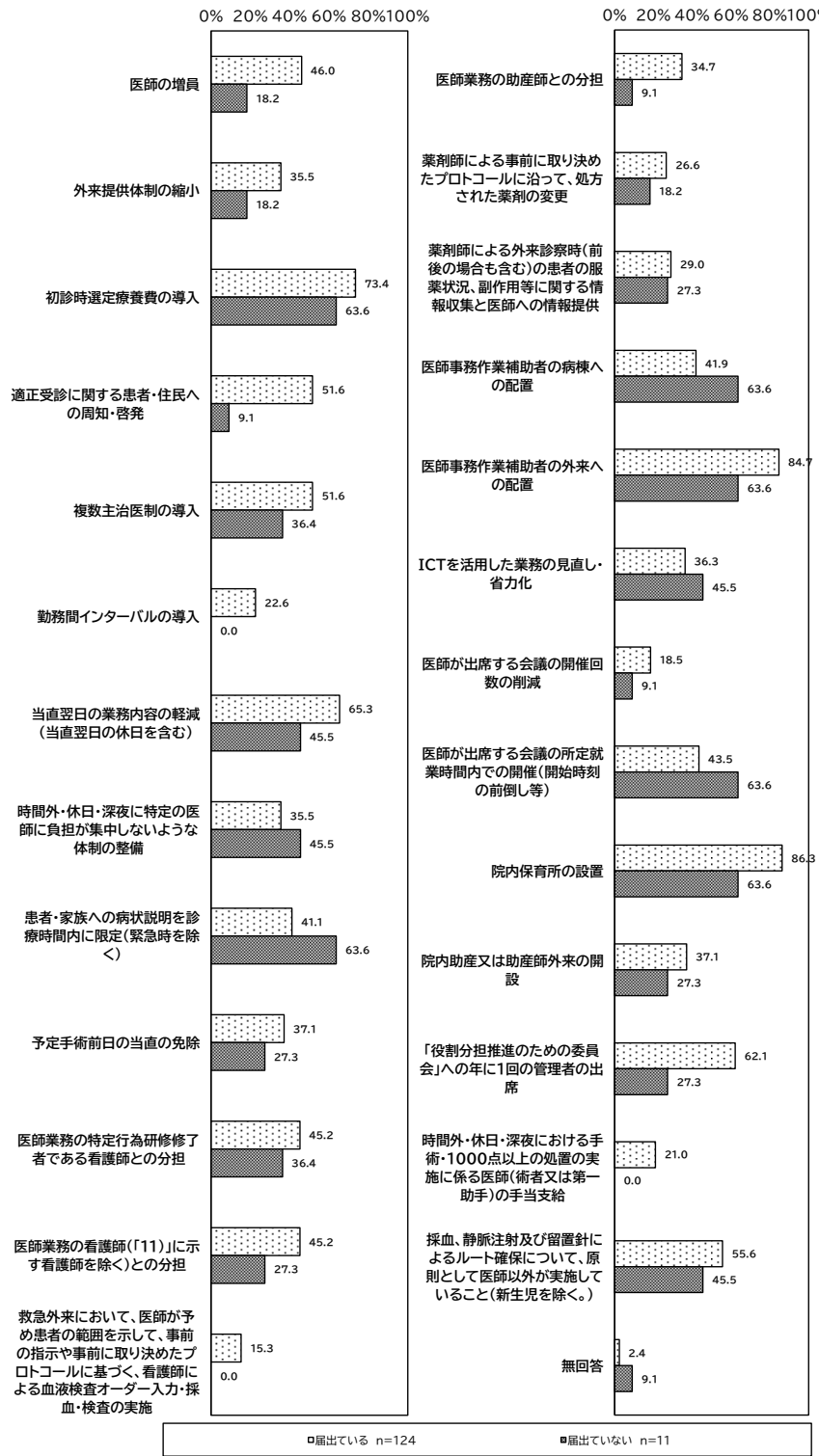
図表 2-390 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199床以下】



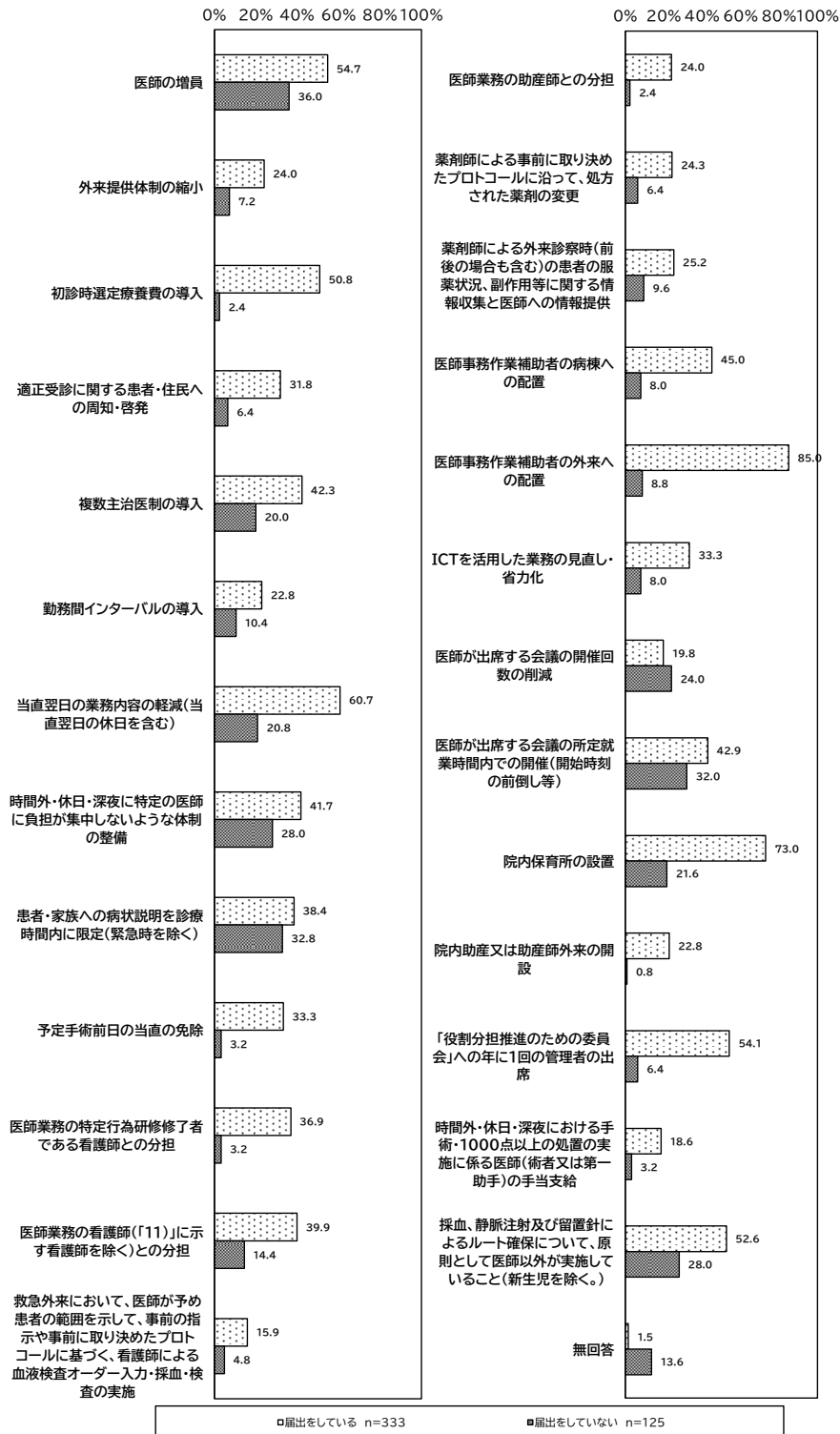
図表 2-391 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



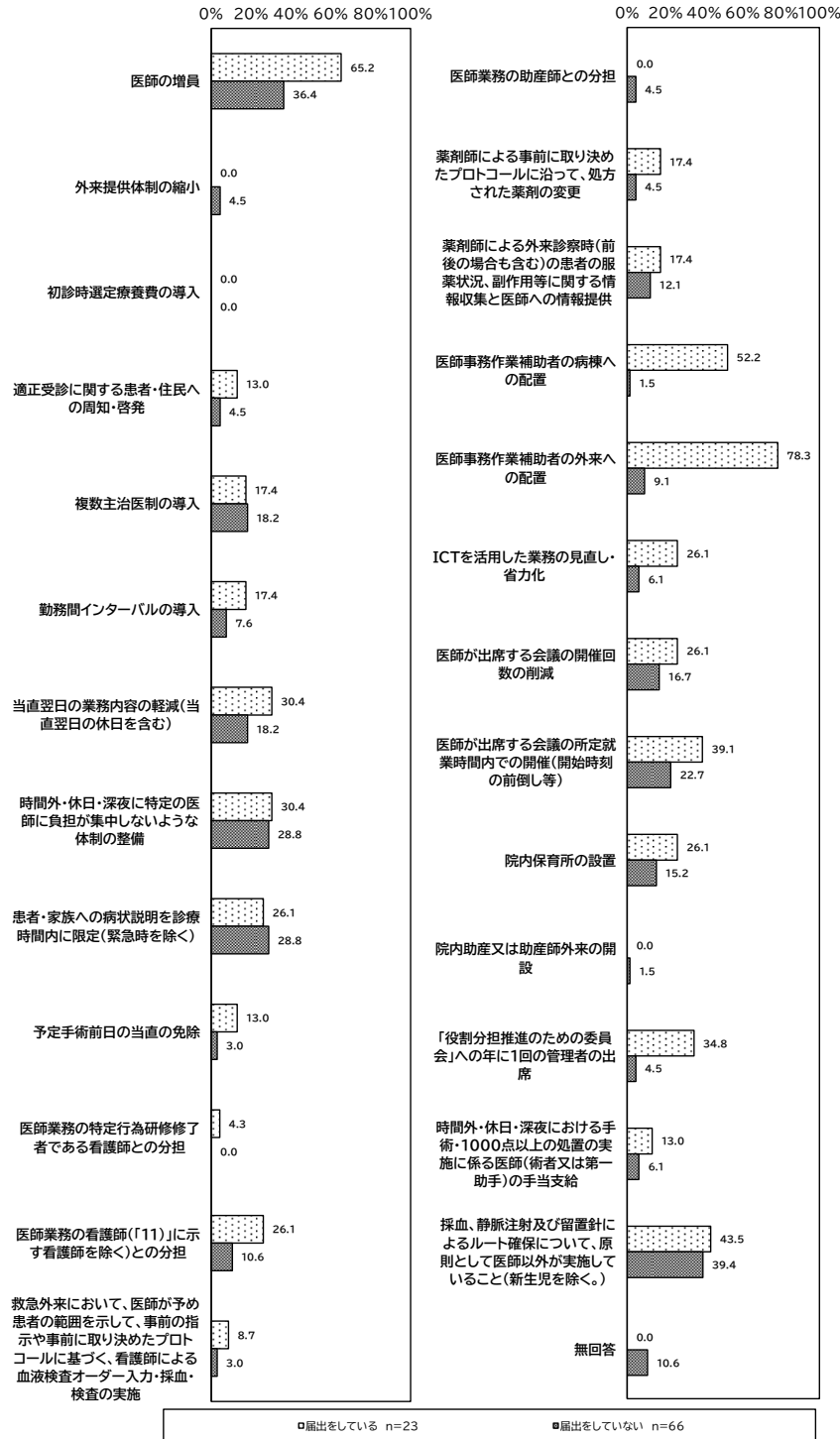
図表 2-392 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【400床以上】



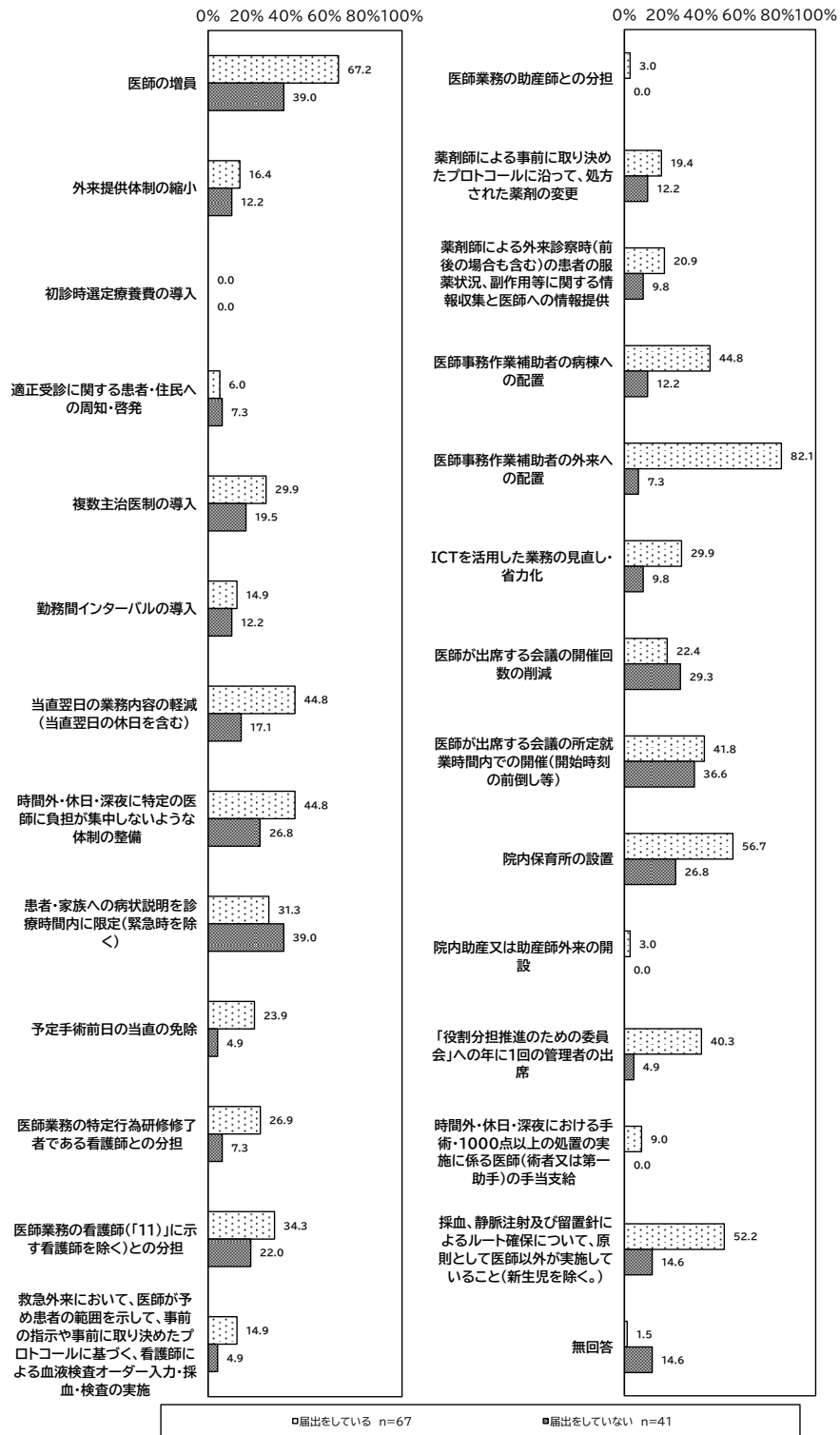
図表 2-393 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



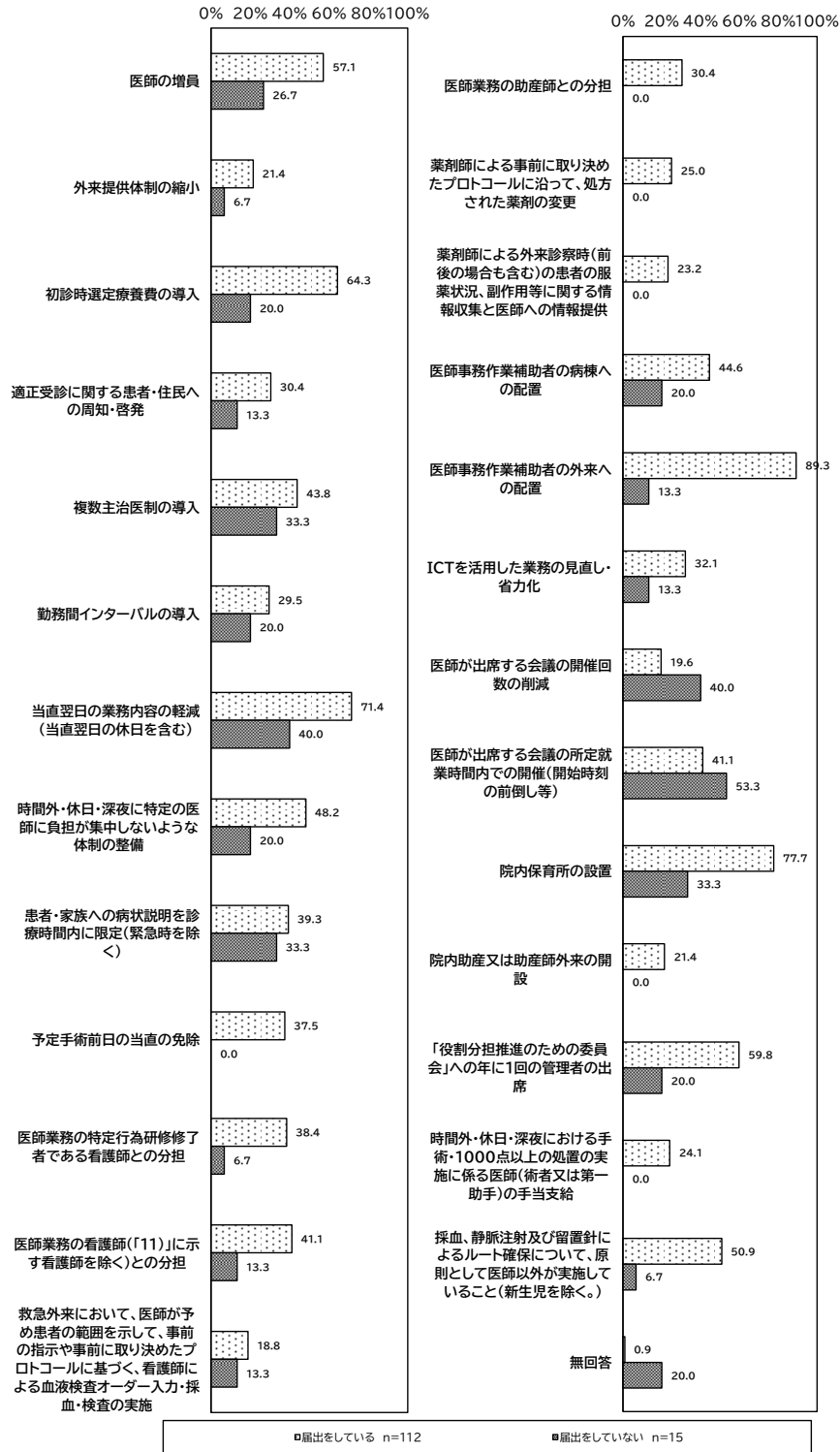
図表 2-394 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【99床以下】



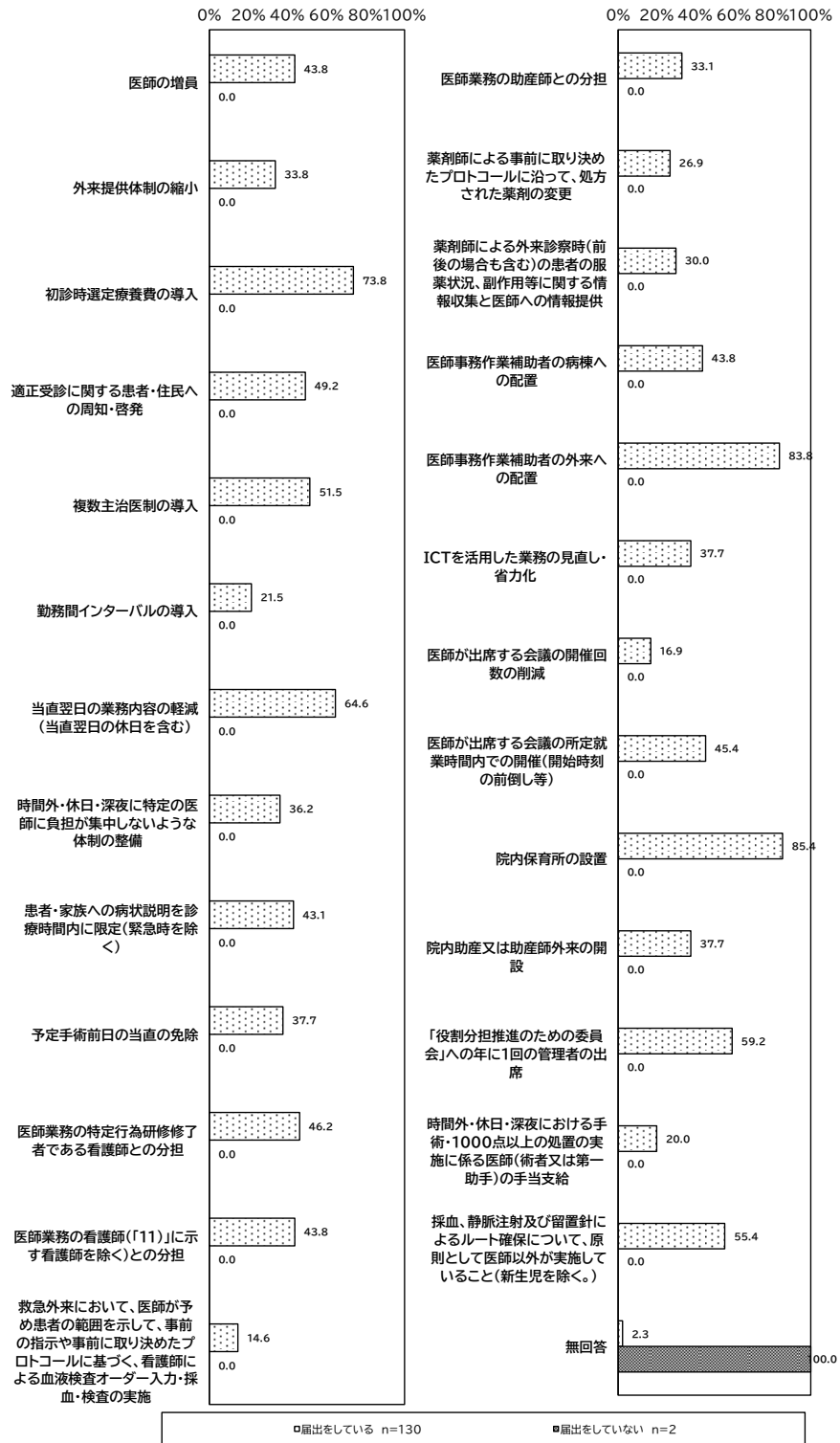
図表 2-395 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199床以下】



図表 2-396 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



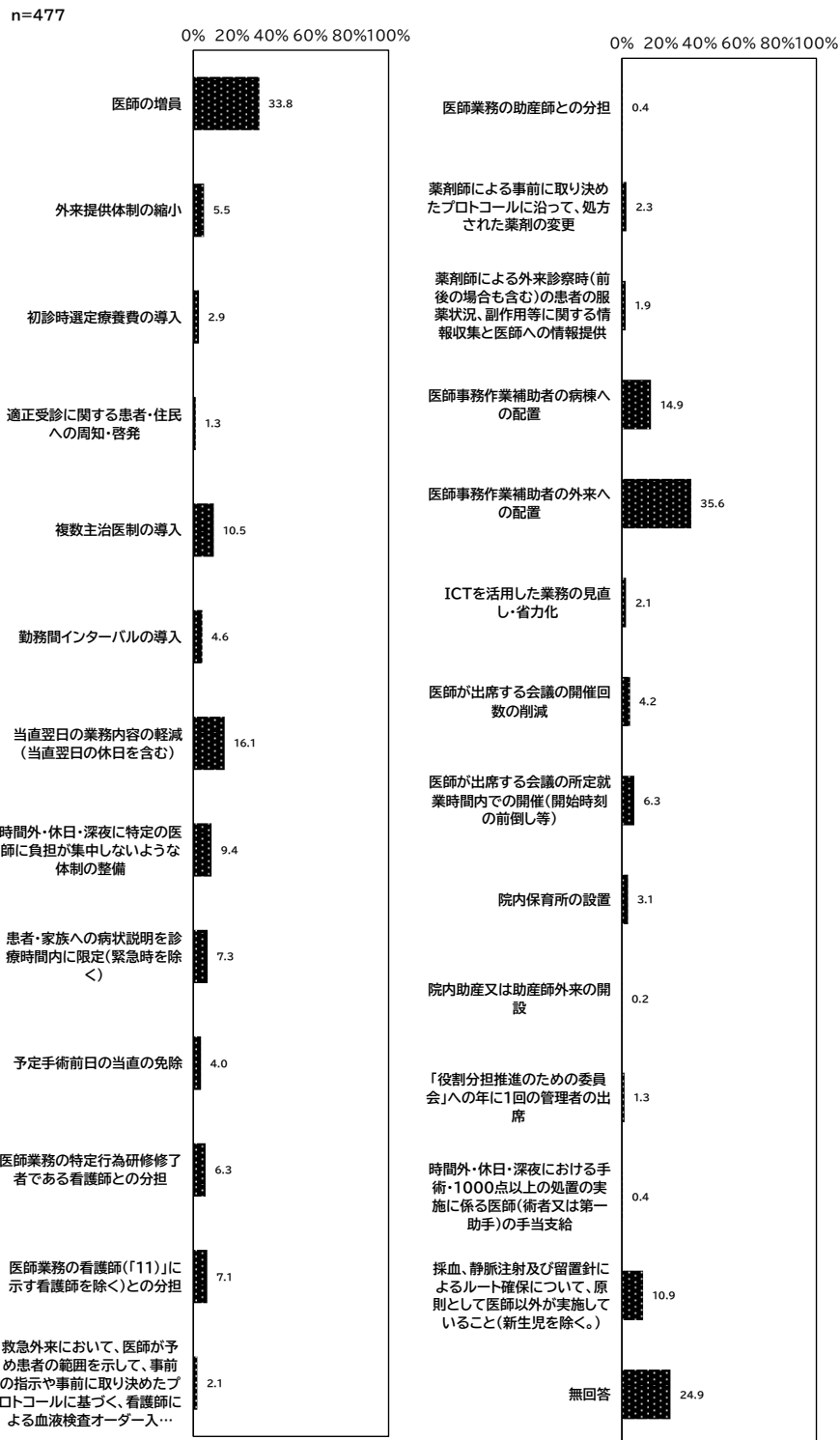
図表 2-397 実施している医師の負担軽減策（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【400床以上】



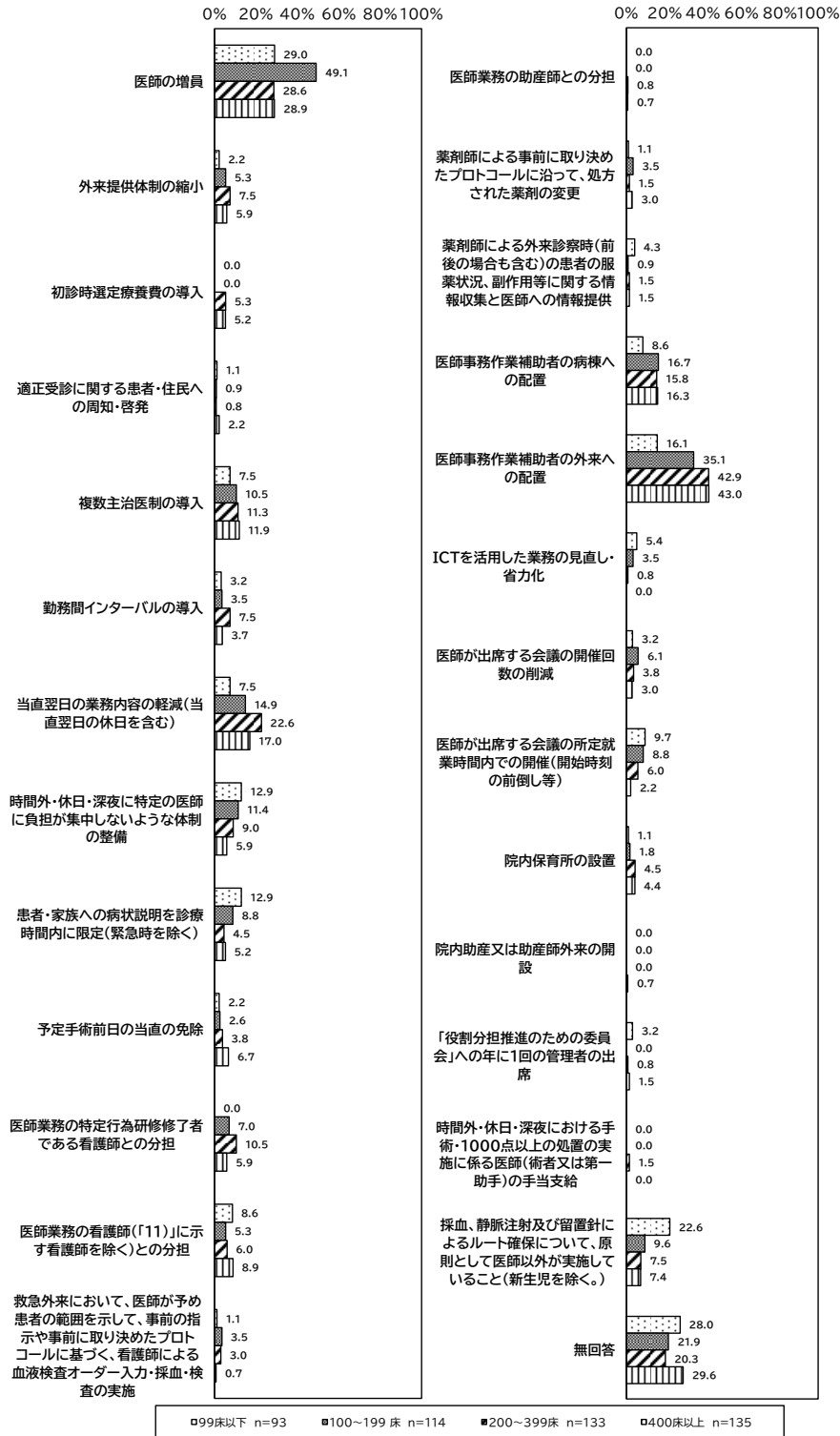
(2)実施している取組のうち、特に医師の負担軽減効果のある取組

医師の負担軽減策として特に効果のある取組で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置」（35.6%）であった。

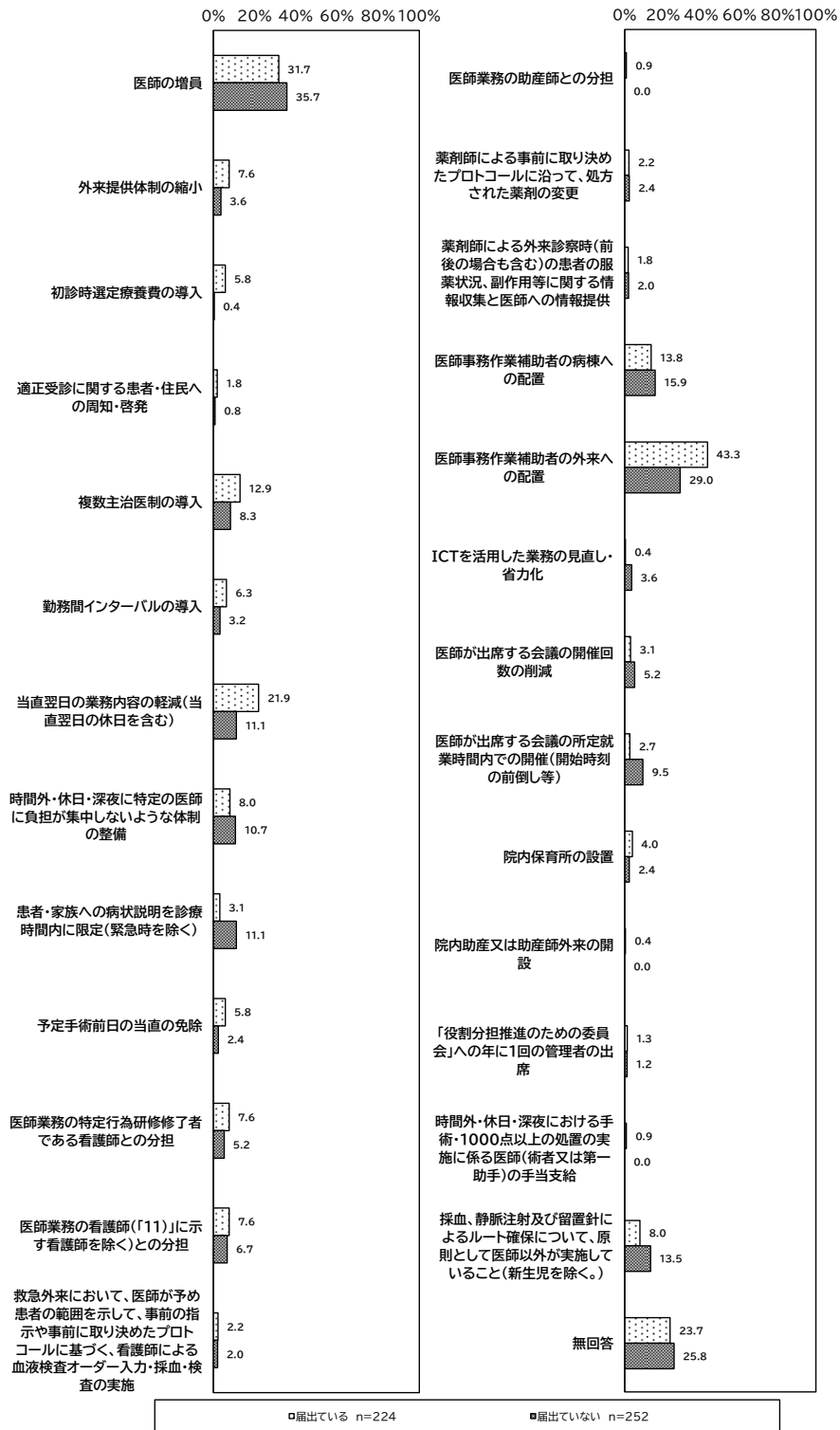
図表 2-398 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）



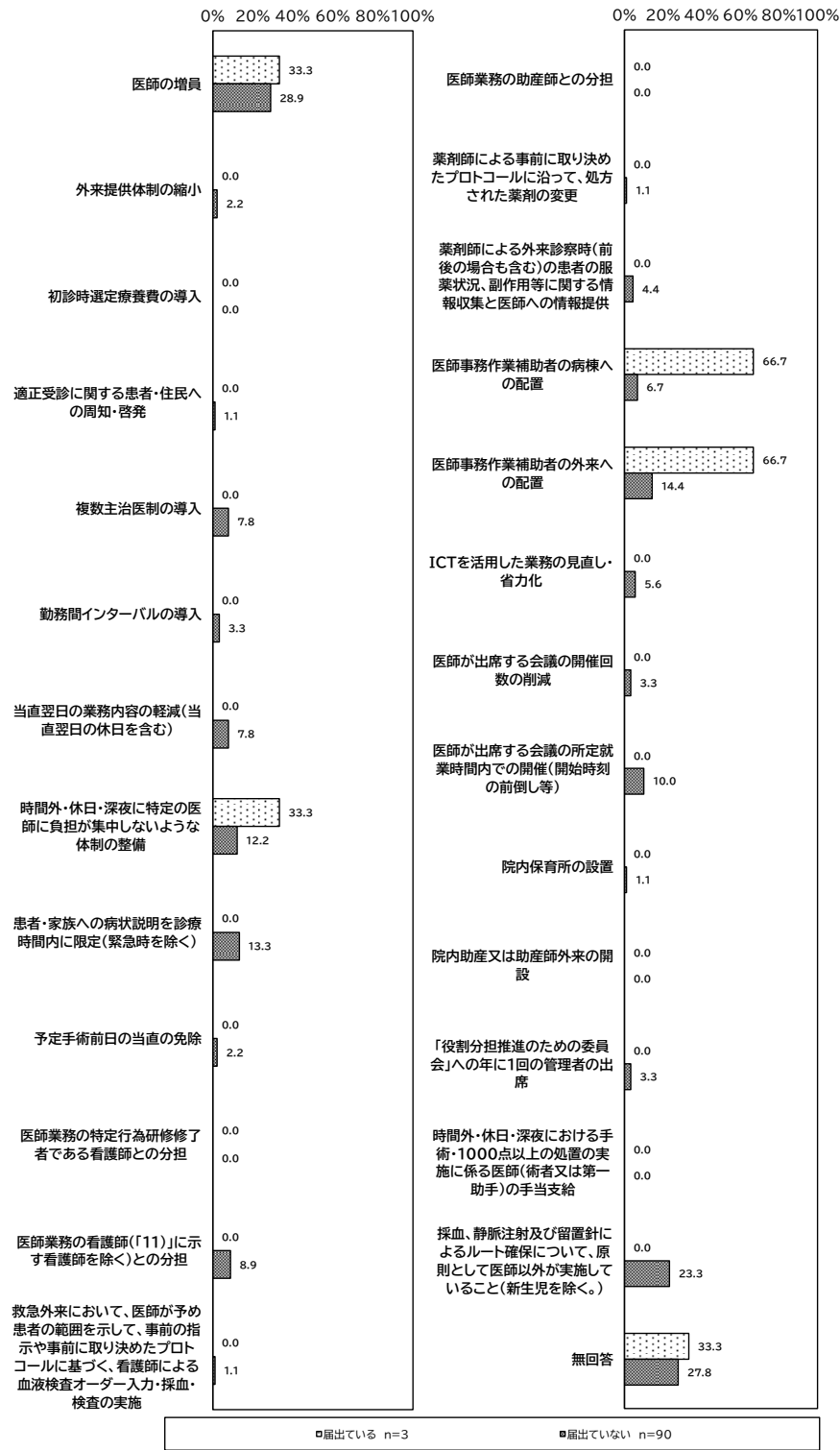
図表 2-399 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
（病床規模別）



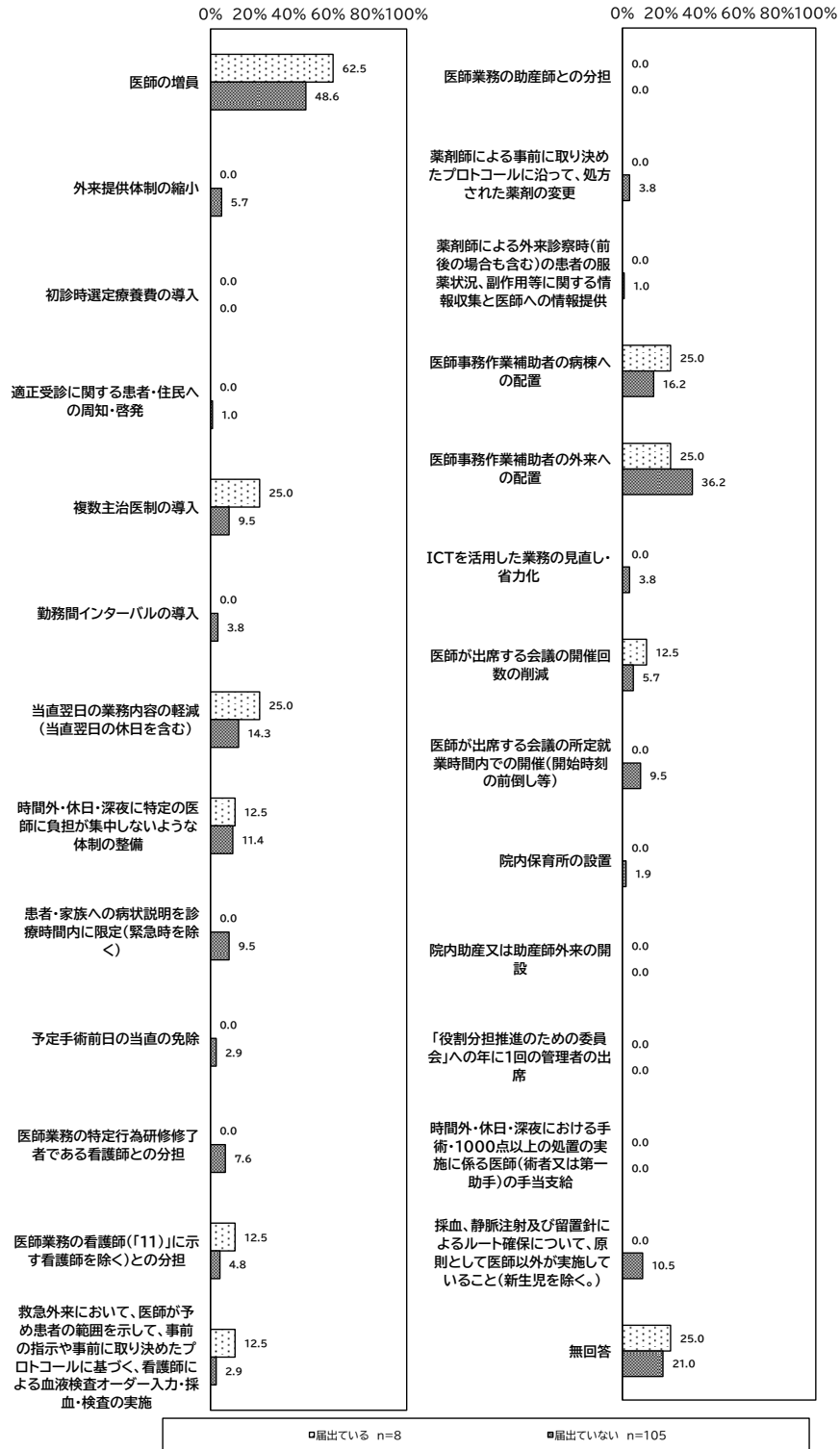
図表 2-400 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



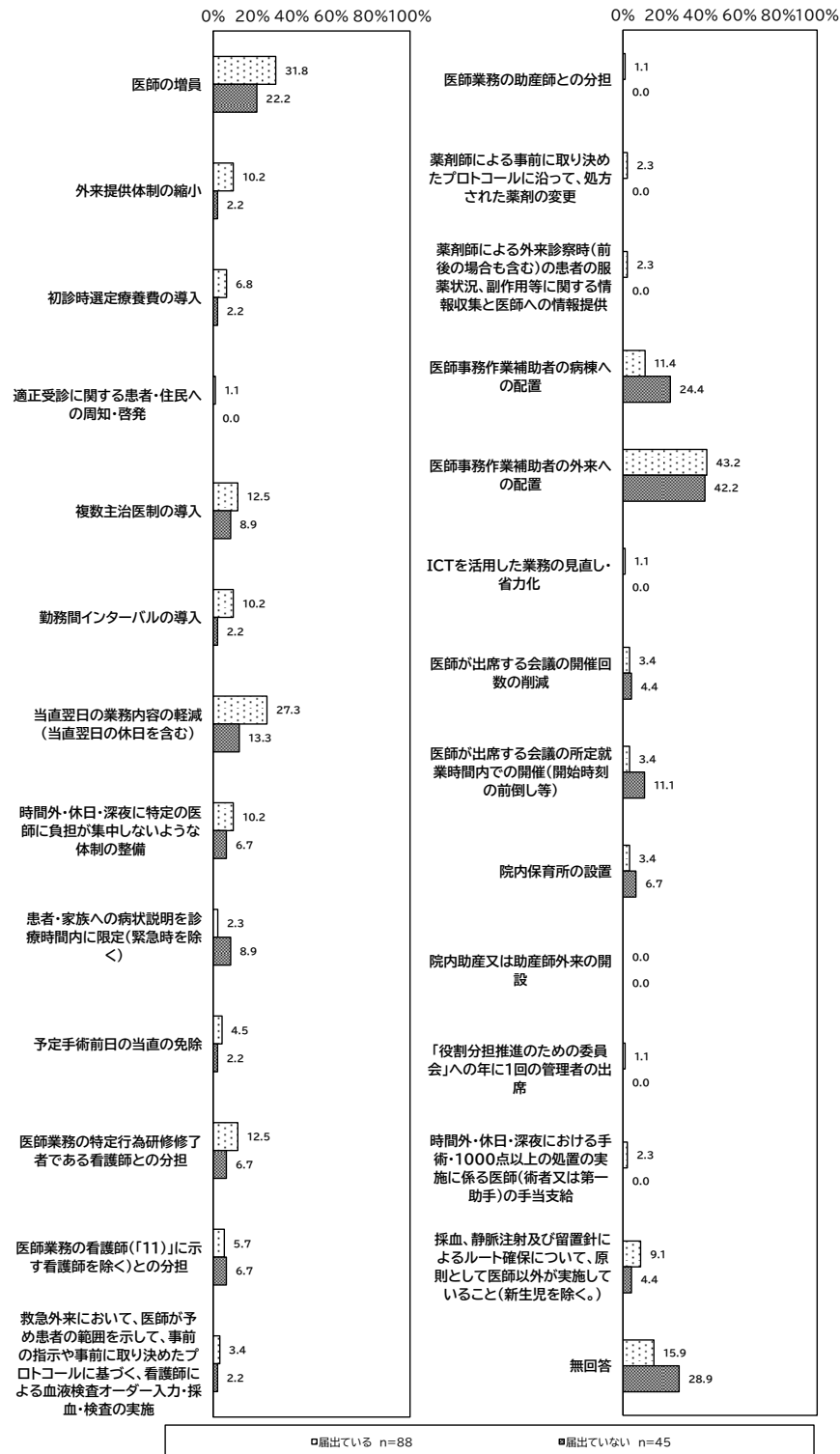
図表 2-401 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【99床以下】



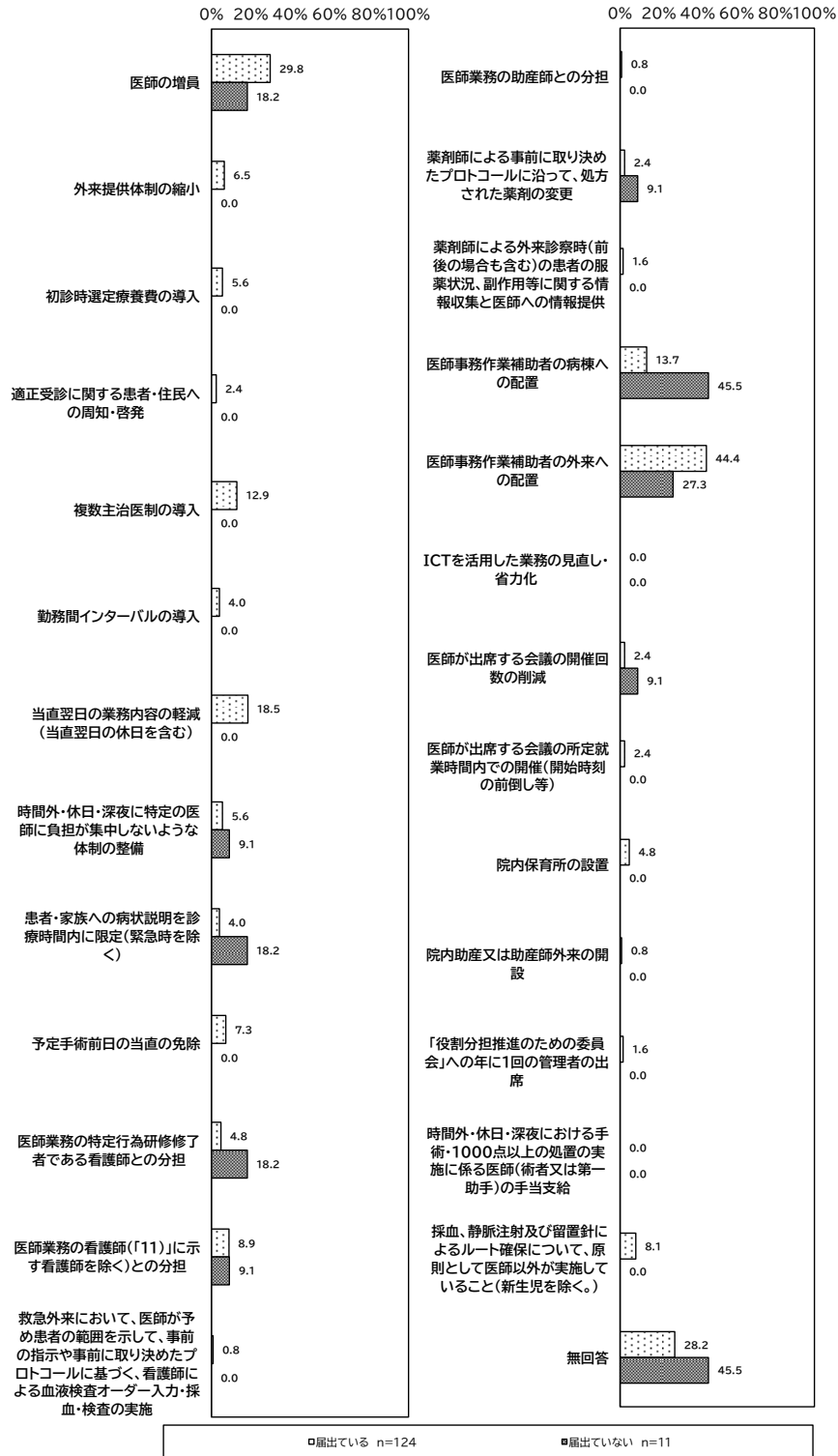
図表 2-402 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199床以下】



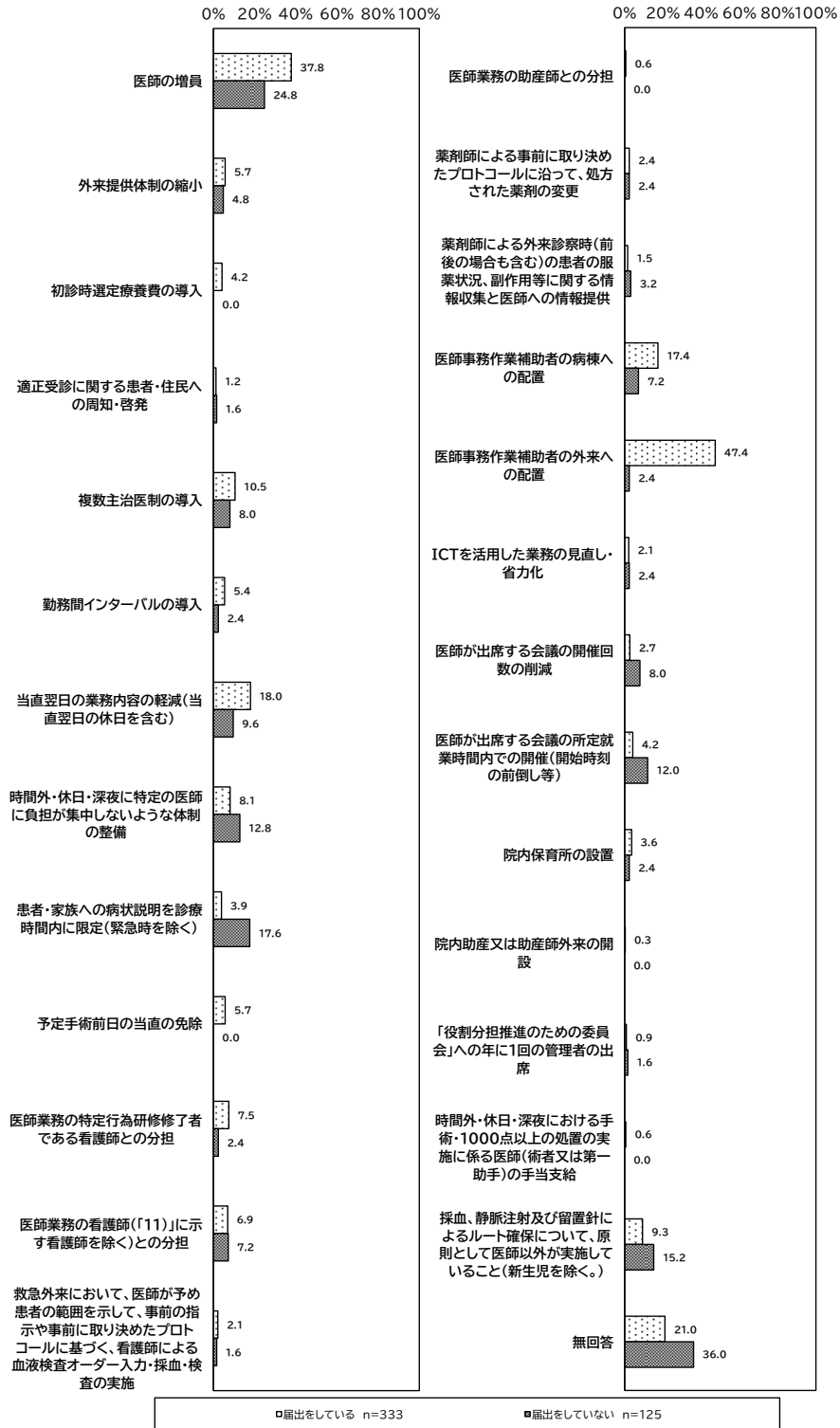
図表 2-403 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



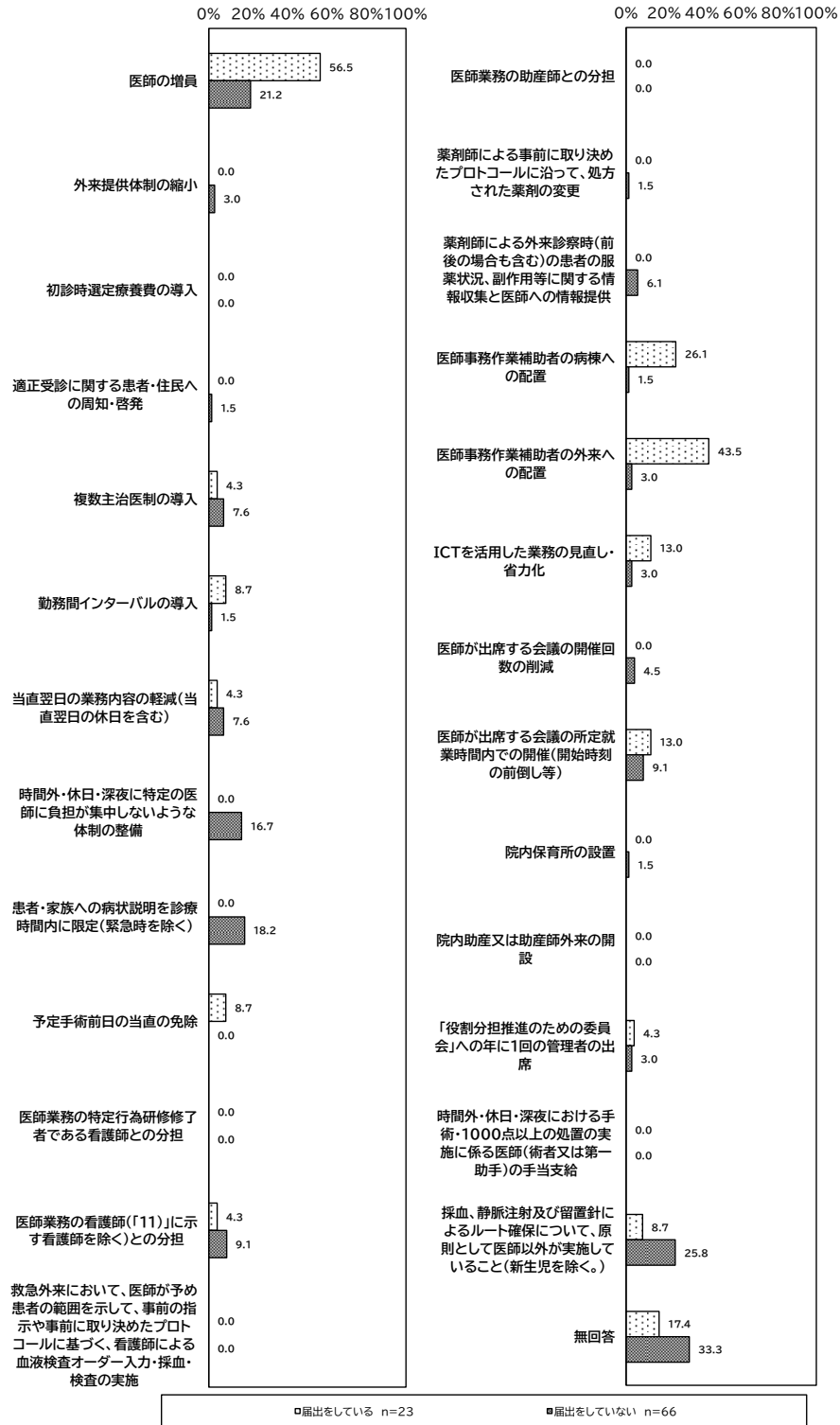
図表 2-404 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【400床以上】



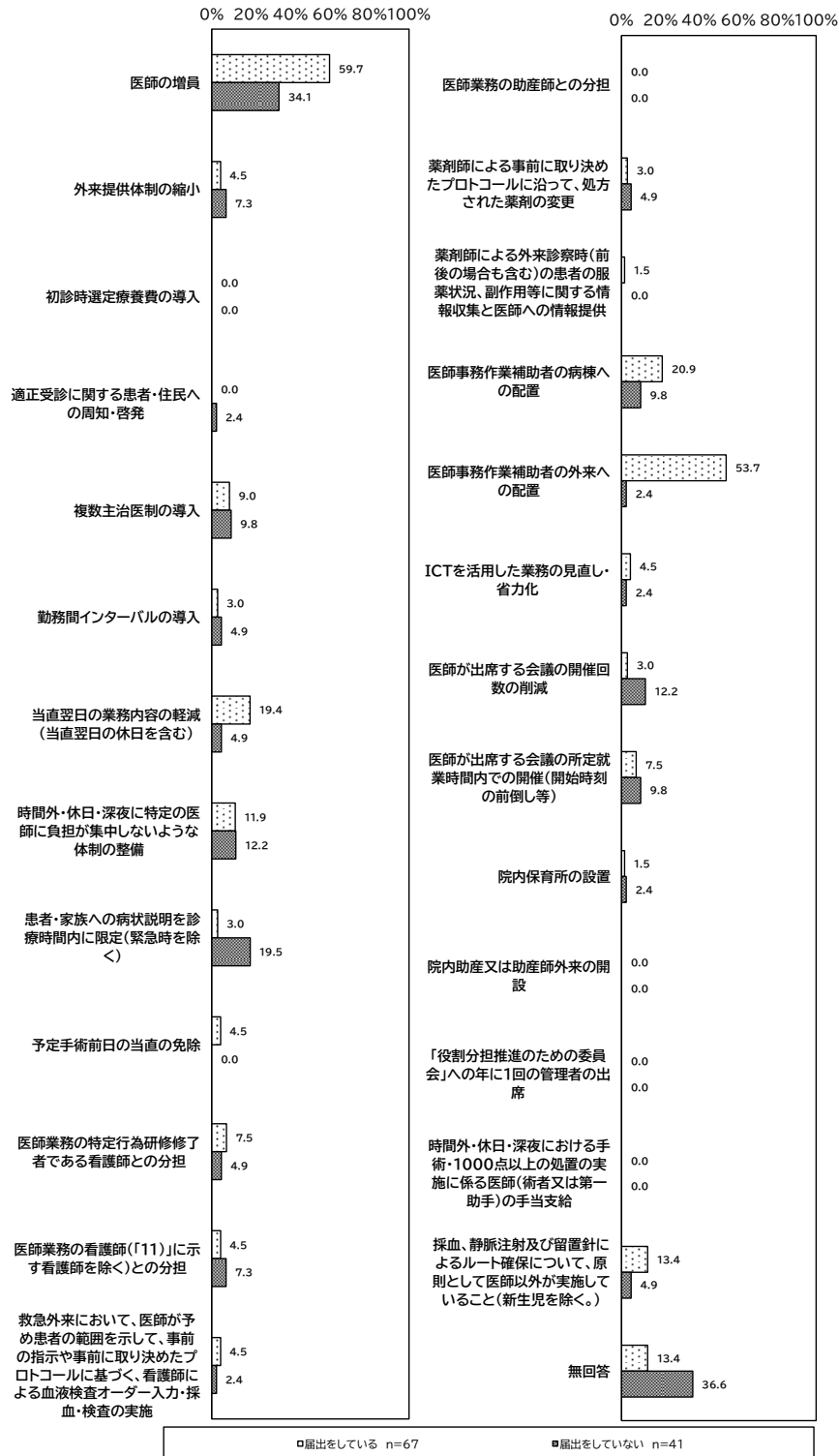
図表 2-405 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



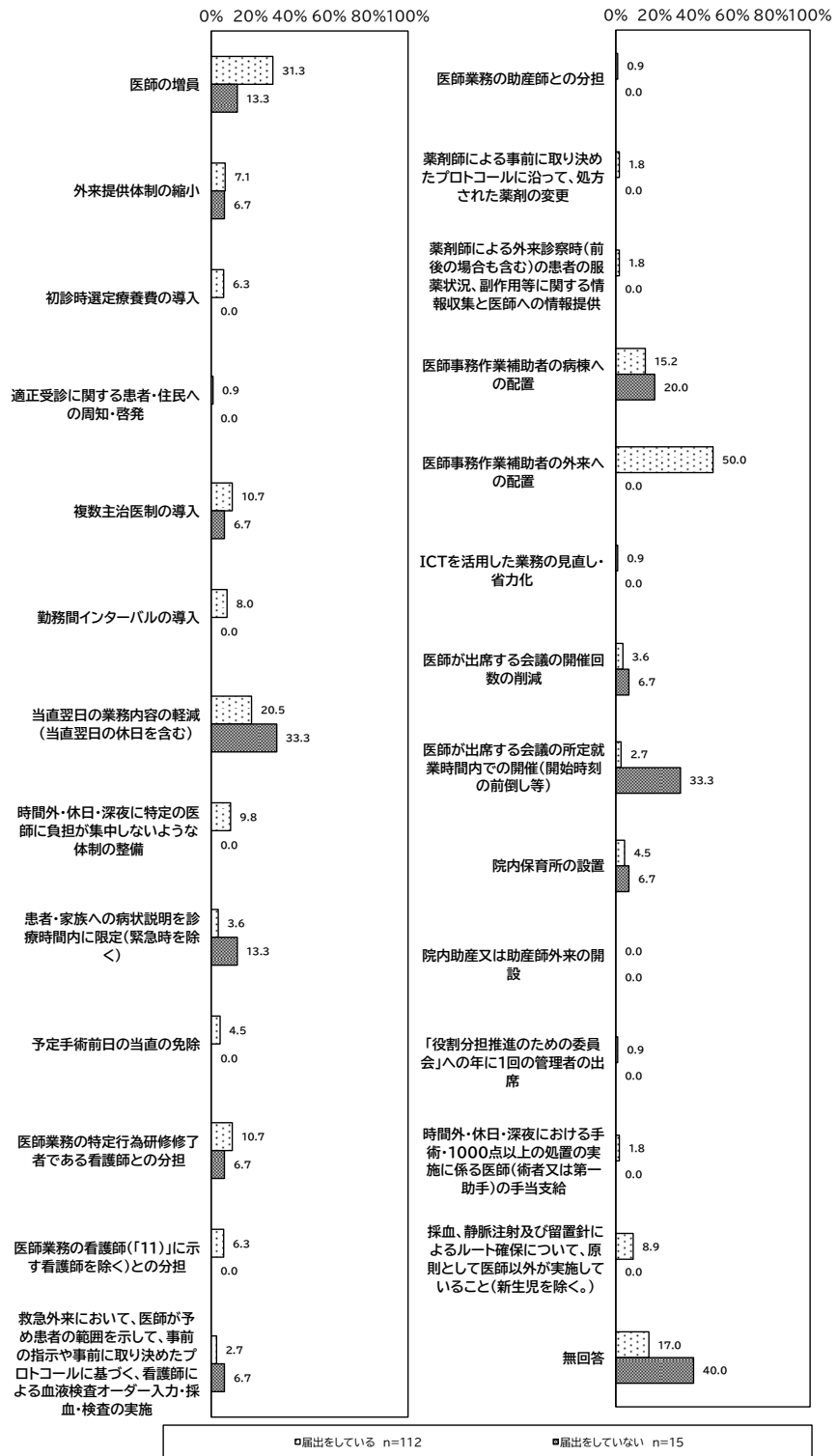
図表 2-406 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【99床以下】



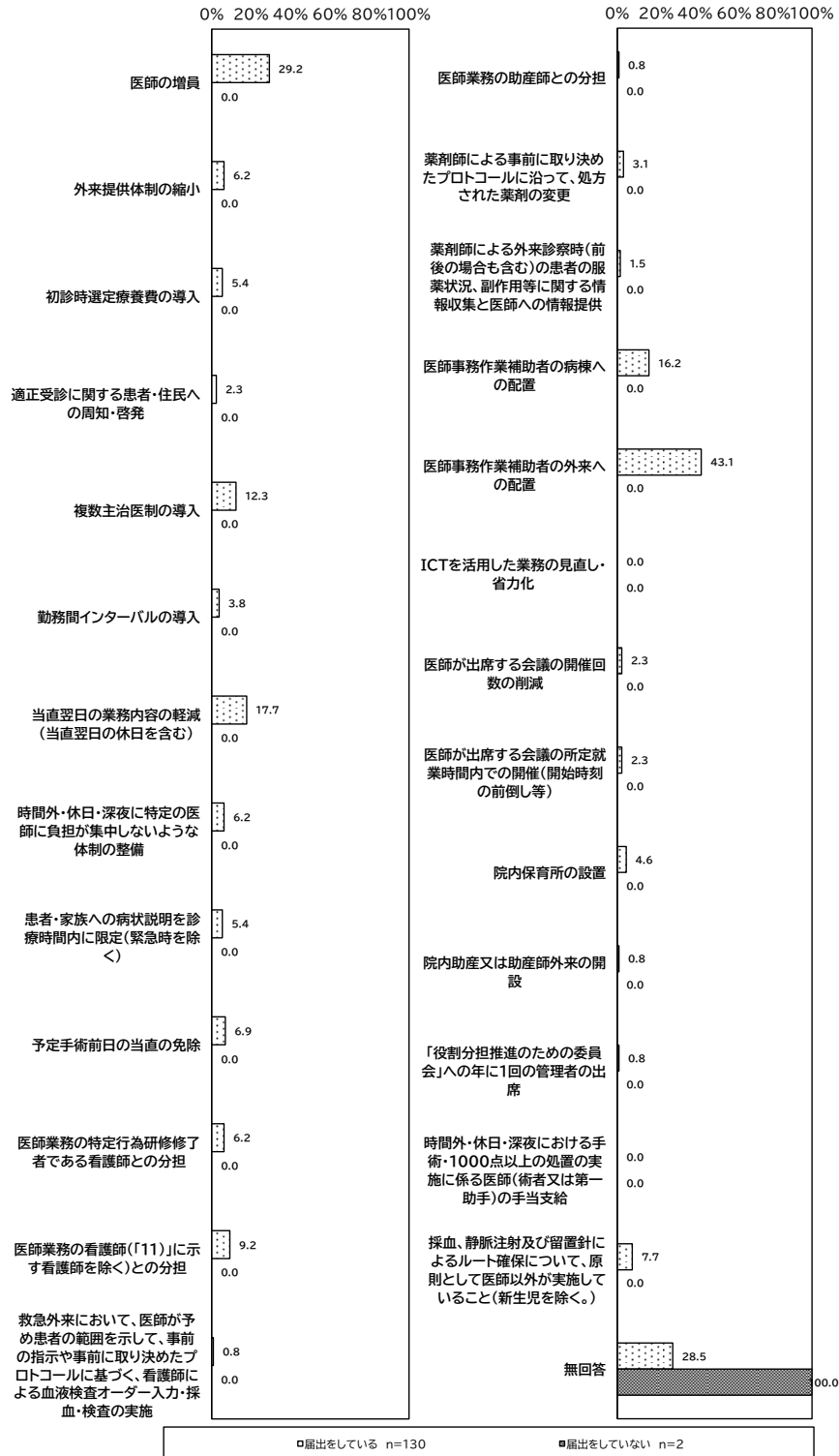
図表 2-407 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199床以下】



図表 2-408 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2-409 特に医師の負担軽減効果がある取組（複数回答、3つまで）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【400床以上】



⑦ 上記⑥以外の取組で、貴施設で実施している勤務医負担軽減策で、効果のある取組（自由回答）

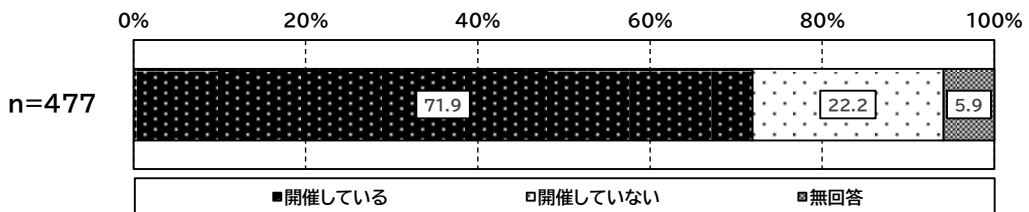
上記⑥以外の取組で、貴施設で実施している勤務医負担軽減策で、効果のある取組としては以下のような回答があった。

夜間の当直医へのコール削減
外来における救急救命士の配置、救命救急士の採用
外来看護師・補助者によるオーダー入力や連絡のサポート、手術枠確保・予定の調整
当直（の一部）を、非常勤医で対応
電子カルテで診断書の支援ツールを導入
時間外勤務と自己研鑽の見直し
育児支援のための時短制度
院内保育所及び病児保育・学童保育の充実を図り、日中・夜間も対応
入退院支援センター設置
医師に何が負担になっているか聞き取り、医師事務作業補助員へ伝達し業務分担を協議

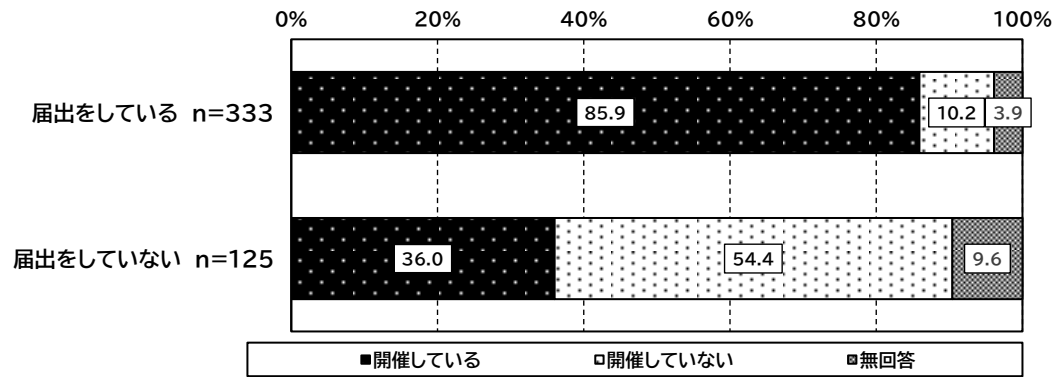
⑧ 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況

多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況は「開催している」（71.9%）、「開催していない」（22.2%）であった。

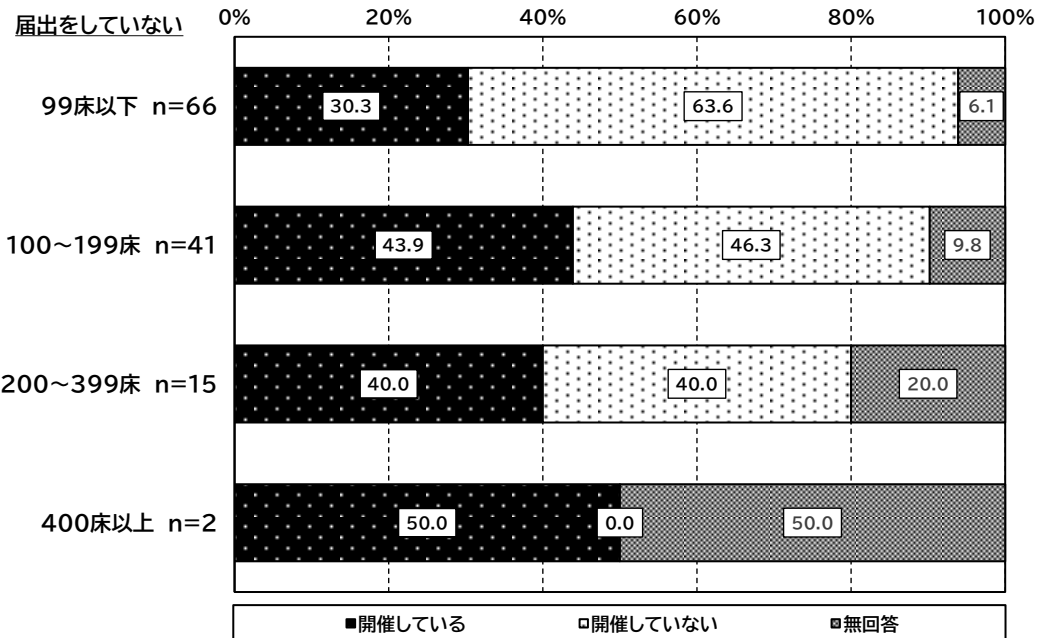
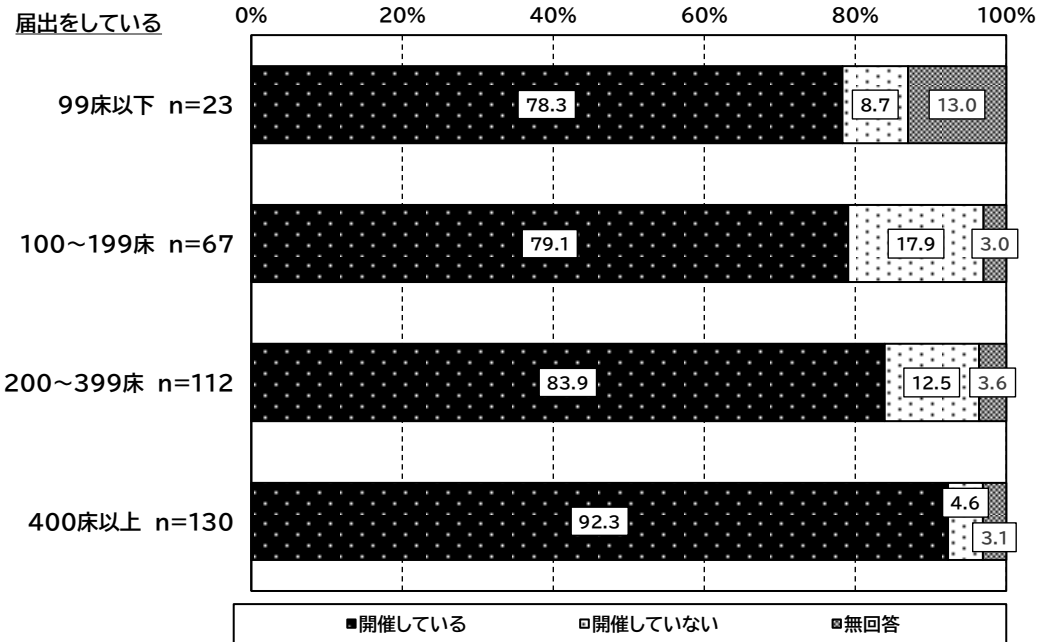
図表 2-410 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況



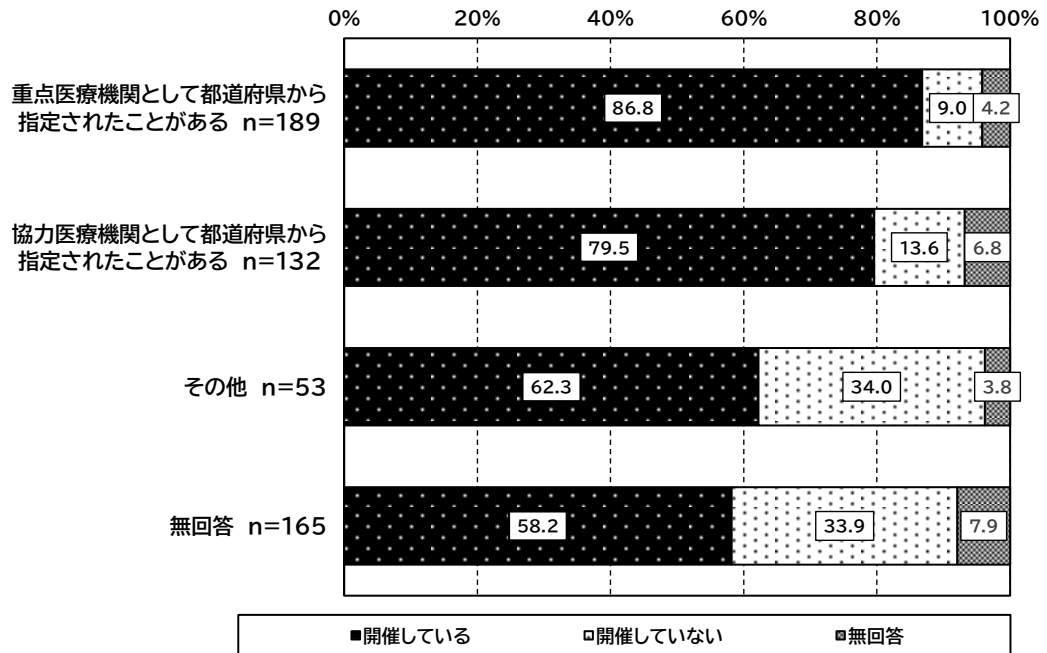
図表 2-411 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-412 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



図表 2-413 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)



【開催している場合】

開催している場合の年間開催回数は、以下のとおりであった。

図表 2-414 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催回数

(単位：回)

調査数	平均値	標準偏差	中央値
n=336	5.8	14.2	3.0

図表 2-415 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催回数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

(単位：回)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
全体	n=336	5.8	14.2	3.0
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある	n=160	4.6	4.3	2.0
協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある	n=104	4.9	4.2	3.0
その他	n=31	12.8	43.6	3.0
無回答	n=95	5.9	5.6	3.0

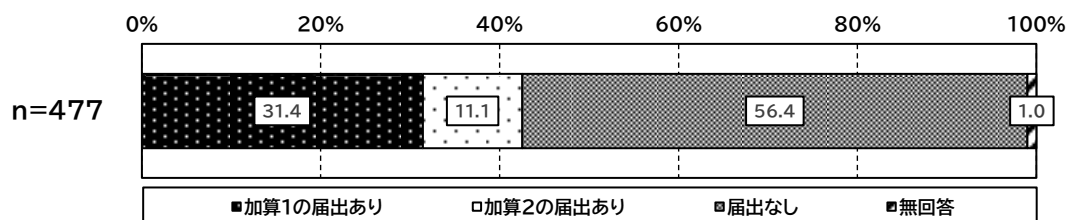
(6) 看護職員や看護補助者の配置等

A. 看護職員や看護補助者の配置等

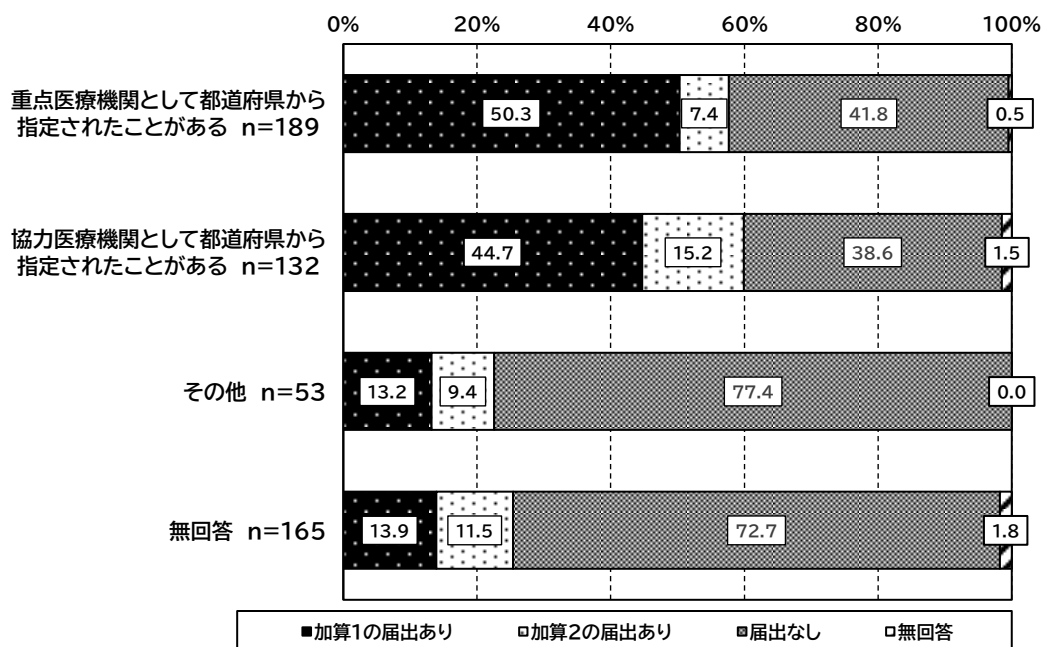
① 救急搬送看護体制加算の届出状況

救急搬送看護体制加算の届出状況を見ると、「加算1の届出あり」が31.4%、「加算2の届出あり」が11.1%であった。

図表 2-416 救急搬送看護体制加算の届出状況



図表 2-417 救急搬送看護体制加算の届出状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)



①-1、2 救急搬送看護体制加算の算定件数（令和3年6月1か月）
（それぞれにつき、「届出あり」の場合のみ集計）

救急搬送看護体制加算の算定件数（令和3年6月1か月）は、以下のとおりであった。

図表 2-418 救急搬送看護体制加算の算定件数

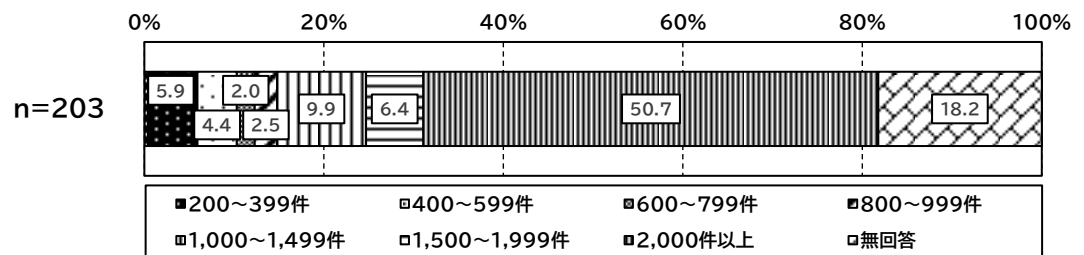
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
救急搬送看護体制加算 1	n=137	98.1	62.4	86.0
救急搬送看護体制加算 2	n=46	26.0	32.7	12.0

（単位：回）

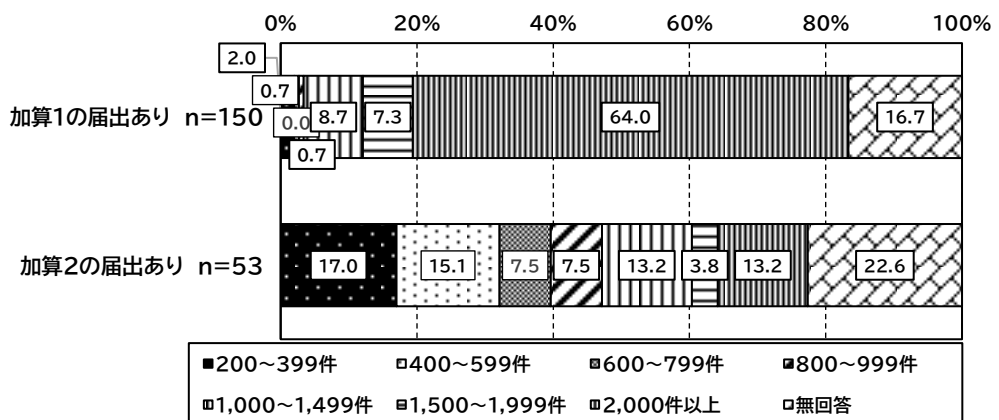
①-3 救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数
（救急搬送看護体制加算 1 または 2 の「届出あり」の施設のみ集計）

救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間搬送件数で最も多かったものは「2,000 件以上」（50.7%）であった。

図表 2-419 救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数



図表 2-420 救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数
（救急搬送看護体制加算 1、2 別）



①-4 救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数
 (救急搬送看護体制加算 1 または 2 の「届出あり」の施設のみ集計)

救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数については、「加算 1 の届出あり」では平均 21.6 名、「加算 2 の届出あり」では平均 7.7 名であった。

図表 2-421 救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数

(単位：人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数	n=166	18.2	17.3	13.0
うち院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数	n=166	12.0	14.7	8.5

図表 2-422 救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数
 (救急搬送看護体制加算 1、2 別)

(単位：人)

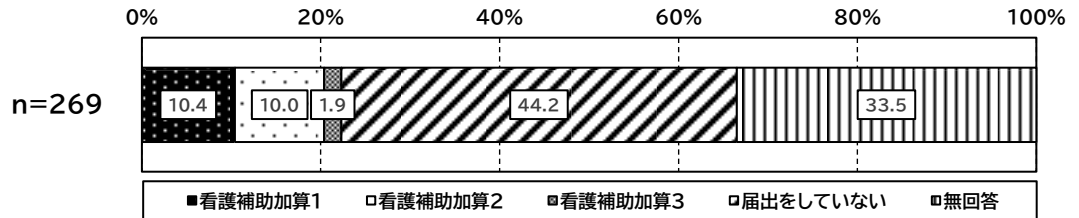
	加算 1 の届出あり				加算 2 の届出あり			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数	n=125	21.6	17.7	17.0	n=41	7.7	10.4	4.0
うち院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数	n=125	14.9	15.6	11.0	n=41	3.1	4.5	1.0

② 看護補助加算の届出状況

(救急搬送看護体制加算の届出なしの場合のみ集計)

看護補助加算の届出状況を見ると、「看護補助加算1」(10.4%)、「看護補助加算2」(10.0%)、「看護補助加算3」(1.9%)、「届出をしていない」(44.2%)であった。

図表 2-423 看護補助加算の届出状況

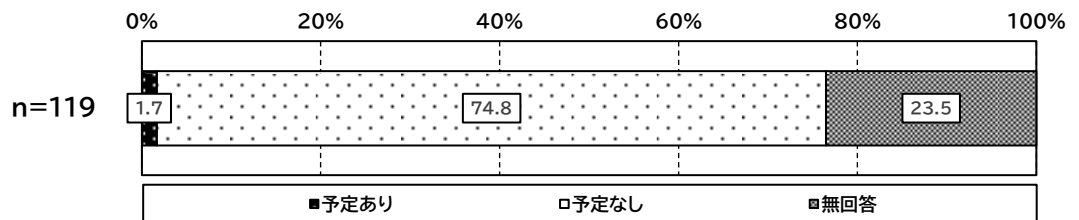


【看護補助加算の届出なしの場合】

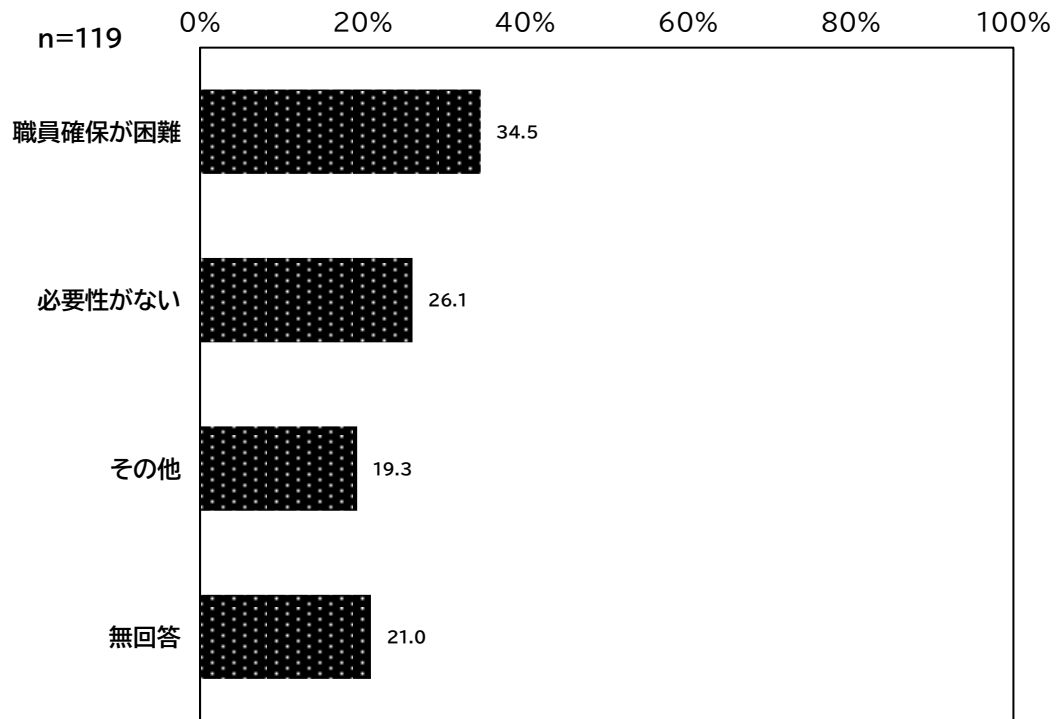
看護補助加算の届出なしの場合、届出の予定は「予定あり」(1.7%)、「予定なし」(74.8%)であった。

届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(34.5%)であった。なお、「その他」の理由には、「対象外である」等の回答があった。

図表 2-424 看護補助加算の届出の予定の有無



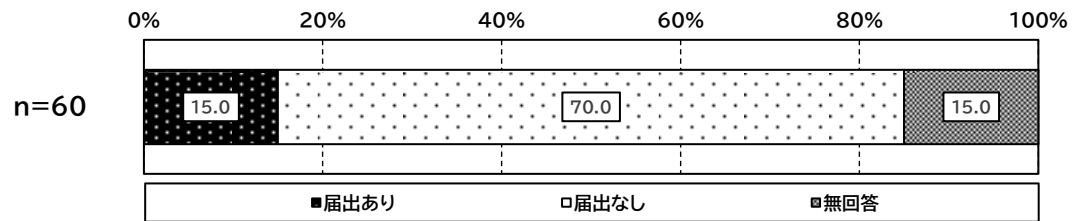
図表 2-425 看護補助加算の届出をしていない理由（複数回答）



② a) 夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出状況
 (看護補助加算 1～3 の「届出あり」の場合のみ集計)

夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出状況は「届出あり」 (15.0%)、
 「届出なし」 (70.0%) であった。

図表 2-426 夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出状況

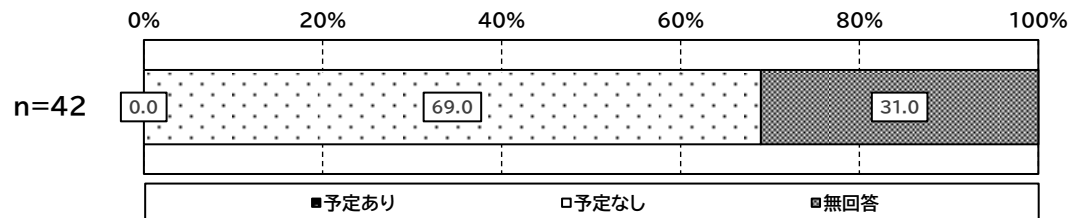


【夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出なしの場合】

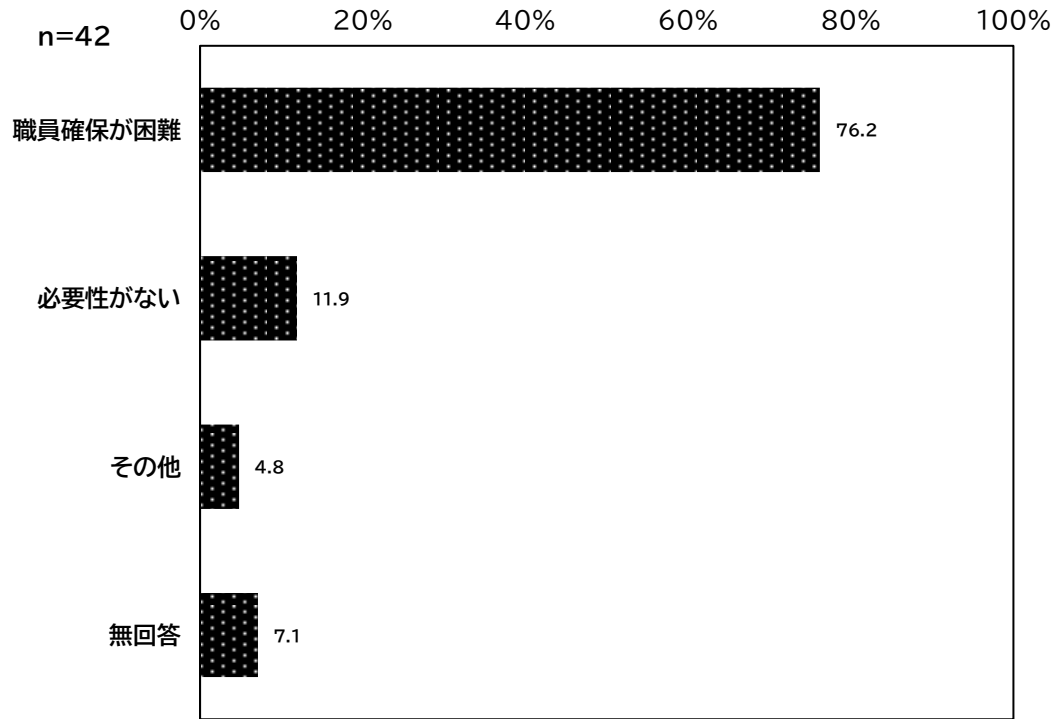
夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出なしの場合の届出の予定は「予定あり」 (0.0%)、
 「予定なし」 (69.0%) であった。

夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出なしの場合の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」 (76.2%) であった。

図表 2-427 夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出の予定の有無



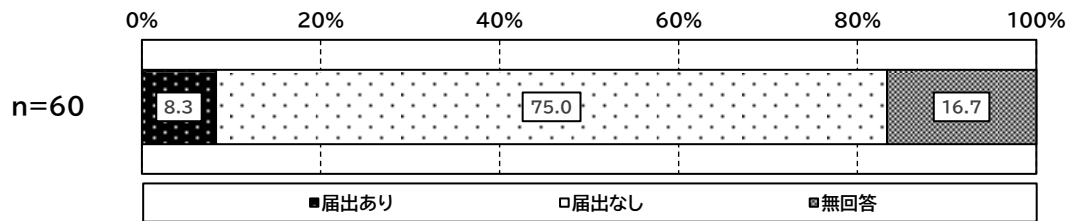
図表 2-428 夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出をしていない理由
(複数回答)



② b) 夜間看護体制加算（165点）の届出状況
 （看護補助加算1～3の「届出あり」の場合のみ集計）

夜間看護体制加算（165点）の届出状況は「届出あり」（8.3%）、「届出なし」（75.0%）であった。

図表 2-429 夜間看護体制加算の届出状況

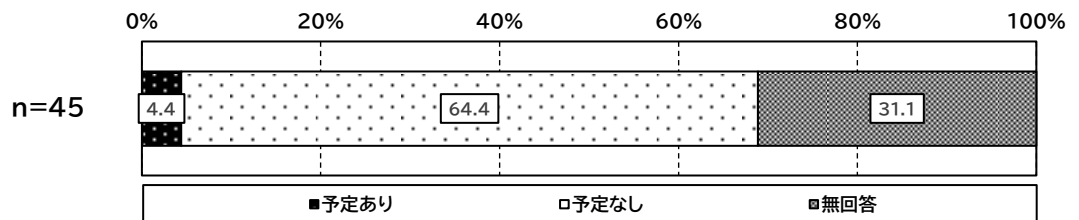


【夜間看護体制加算（165点）の届出なしの場合】

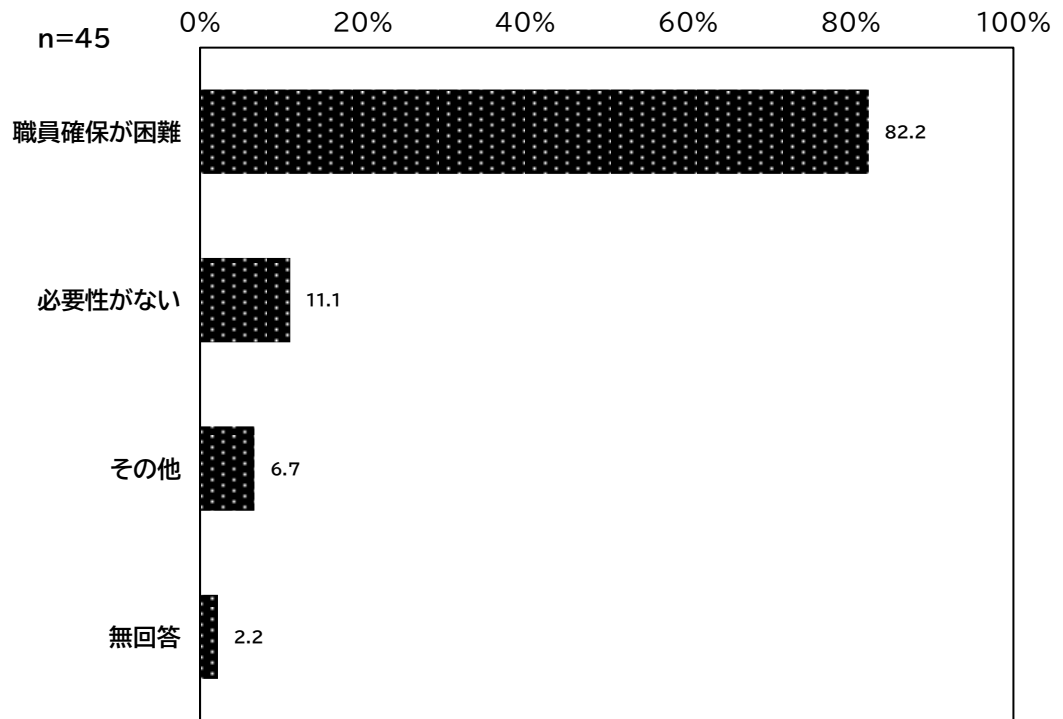
夜間看護体制加算（165点）の届出なしの場合の届出の予定は「予定あり」（4.4%）、「予定なし」（64.4%）であった。

夜間看護体制加算（165点）の届出なしの場合の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」（82.2%）であった。

図表 2-430 夜間看護体制加算の届出の予定の有無



図表 2-431 夜間看護体制加算の届出をしていない理由（複数回答）

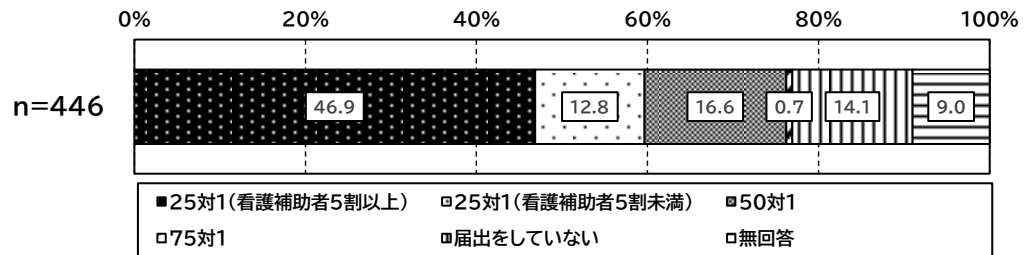


③ 急性期看護補助体制加算の届出状況

(一般病棟がある場合のみ集計)

急性期看護補助体制加算の届出状況で最も多かったものは「25対1(看護補助者5割以上)」(46.9%)であった。

図表 2-432 急性期看護補助体制加算の届出状況

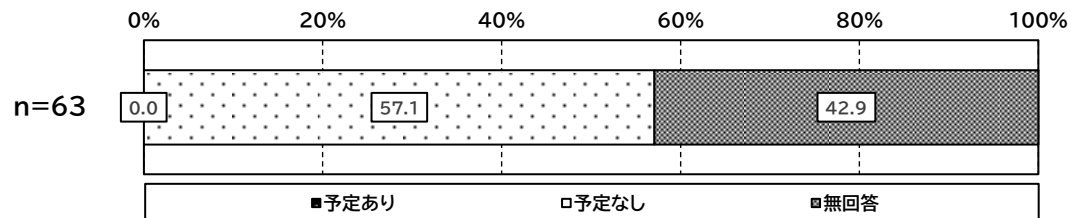


【急性期看護補助体制加算の届出なしの場合】

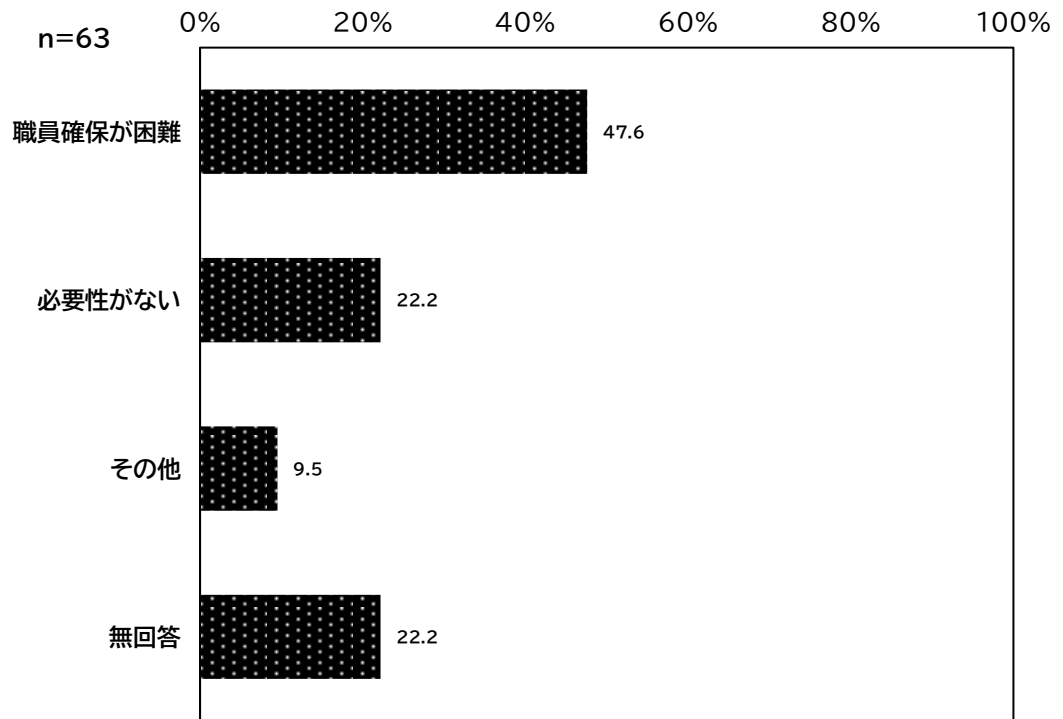
急性期看護補助体制加算の届出なしの場合、届出の予定は「予定あり」(0.0%)、「予定なし」(57.1%)であった。

届出をしていない理由で最も多かったものは、「職員確保が困難」(47.6%)であった。

図表 2-433 急性期看護補助体制加算の届出の予定の有無



図表 2-434 急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）

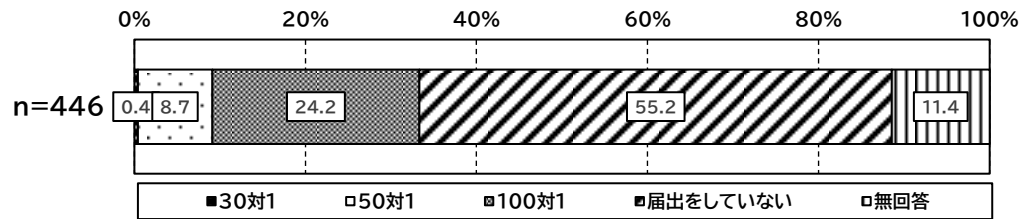


④ 夜間急性期看護補助体制加算の届出状況

(一般病棟がある場合のみ集計)

夜間急性期看護補助体制加算の届出状況を見ると、「30対1」(0.4%)、「50対1」(8.7%)、「100対1」(24.2%)であった。

図表 2-435 夜間急性期看護補助体制加算の届出状況

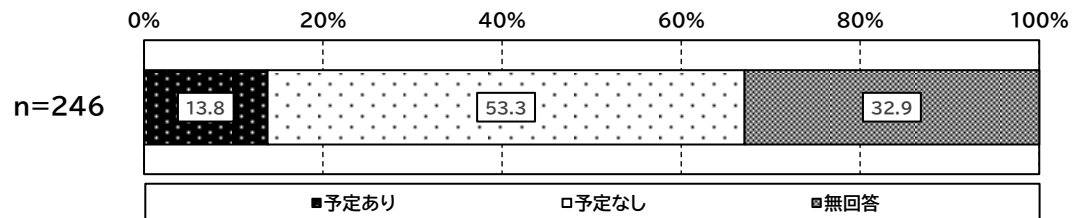


【夜間急性期看護補助体制加算の届出なしの場合】

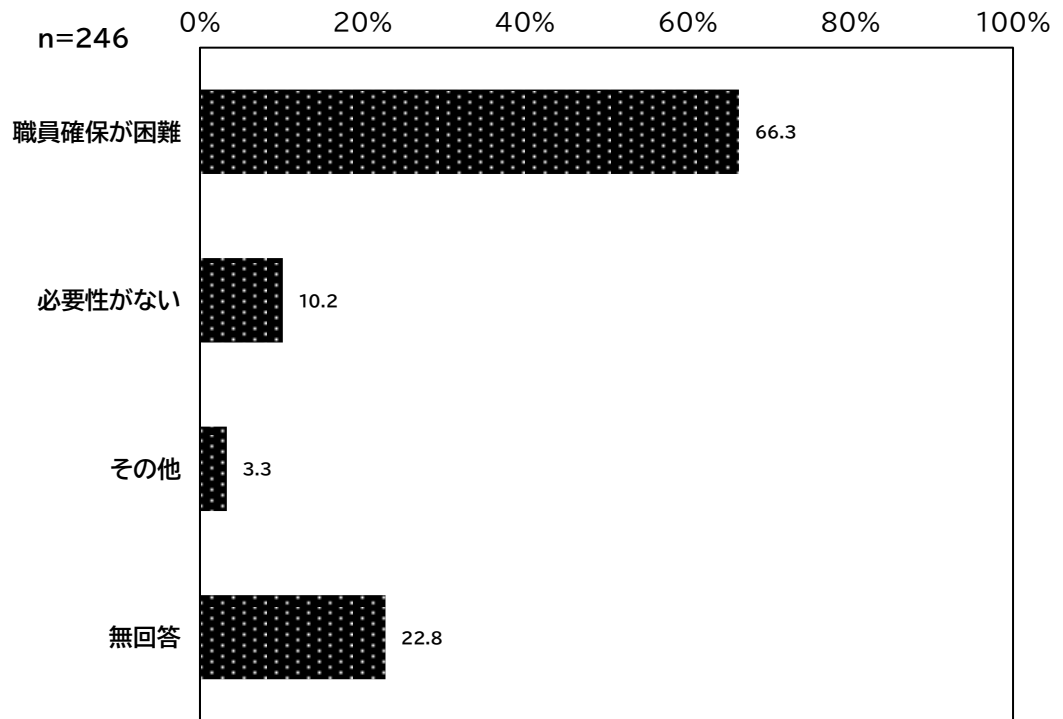
夜間急性期看護補助体制加算の届出なしの場合、届出の予定は「予定あり」(13.8%)、「予定なし」(53.3%)であった。

届出をしていない理由で最も多かったものは、「職員確保が困難」(66.3%)であった。

図表 2-436 夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定の有無



図表 2-437 夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）

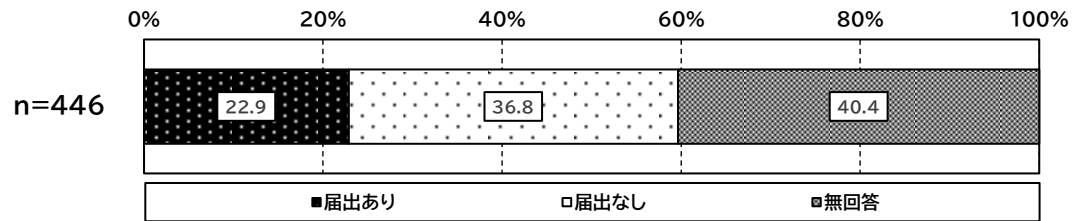


⑤ 夜間看護体制加算の届出状況

(一般病棟がある場合のみ集計)

夜間看護体制加算の届出状況は「届出あり」(22.9%)、「届出なし」(36.8%)であった。

図表 2-438 夜間看護体制加算の届出状況

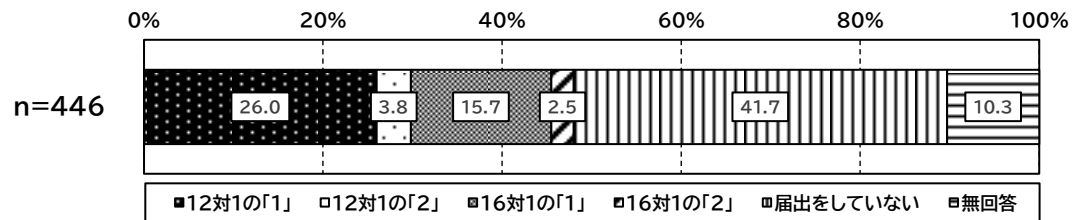


⑥ 看護職員夜間配置加算の届出状況

(一般病棟がある場合のみ集計)

看護職員夜間配置加算の届出状況を見ると、「12対1の「1」」(26.0%)、「12対1の「2」」(3.8%)、「16対1の「1」」(15.7%)、「16対1の「2」」(2.5%)、「届出をしていない」(41.7%)であった。

図表 2-439 看護職員夜間配置加算の届出状況

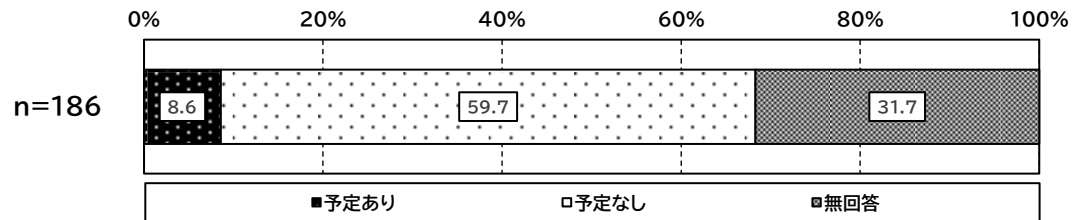


【看護職員夜間配置加算の届出なしの場合】

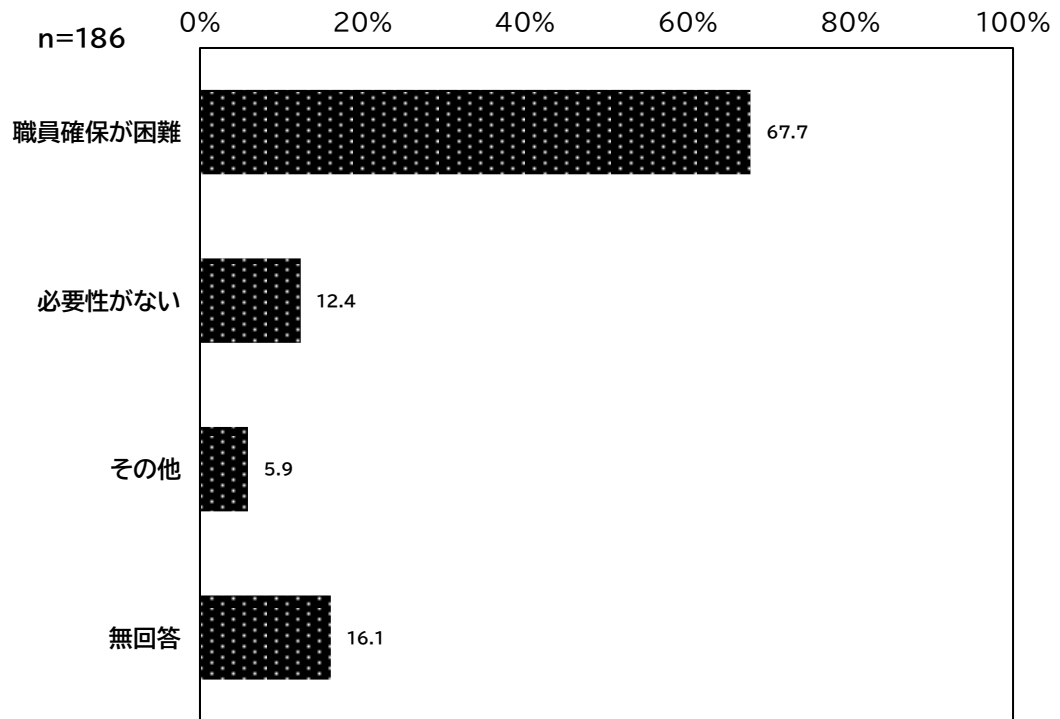
看護職員夜間配置加算の届出無の場合、届出の予定は「予定あり」(8.6%)、「予定なし」(59.7%)であった。

看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(67.7%)であった。

図表 2-440 看護職員夜間配置加算の届出の予定の有無



図表 2-441 看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由 (複数回答)



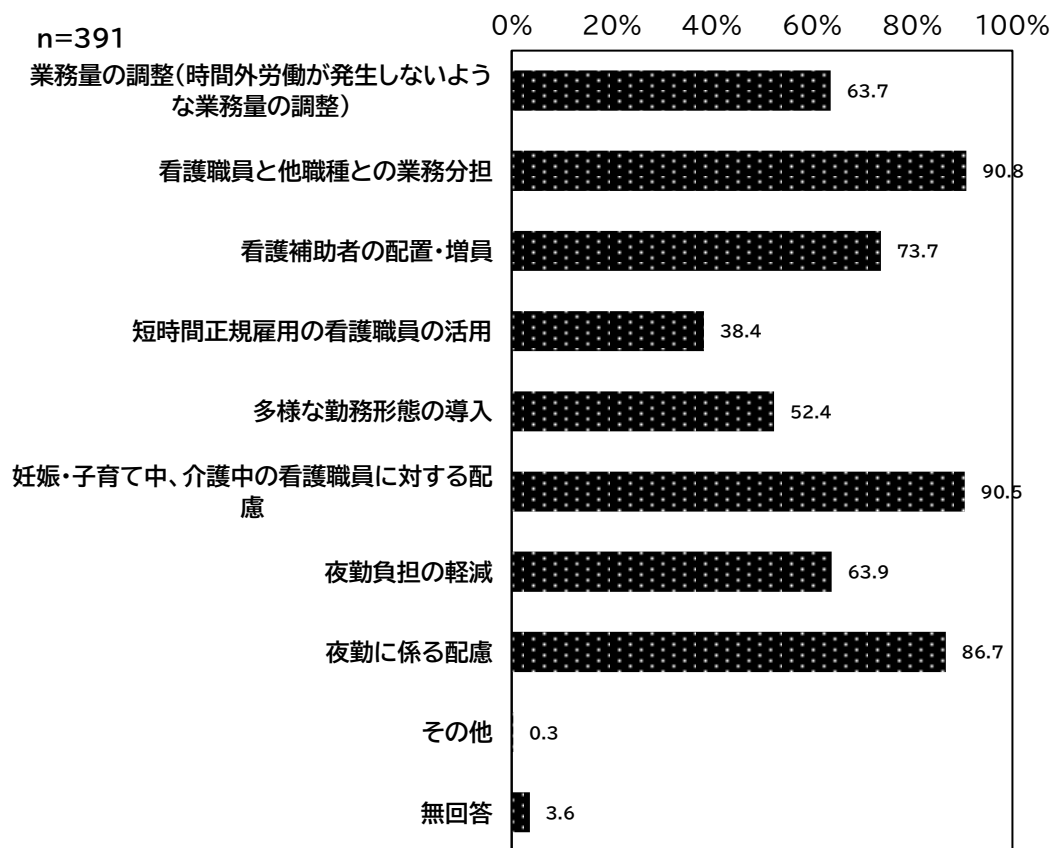
B. 看護職員や看護補助者の配置等

① 看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組

看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組で最も多かったものは「看護師と他職種との業務分担」（90.8%）であった。

なお、「その他」の回答の中には、「宿直事務によるせん妄患者見守り」、「各部署の業務量の把握及び調整を行う体制の構築」、「妊娠者は体調により夜勤を免除」等があった。

図表 2-442 看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組
(複数回答)

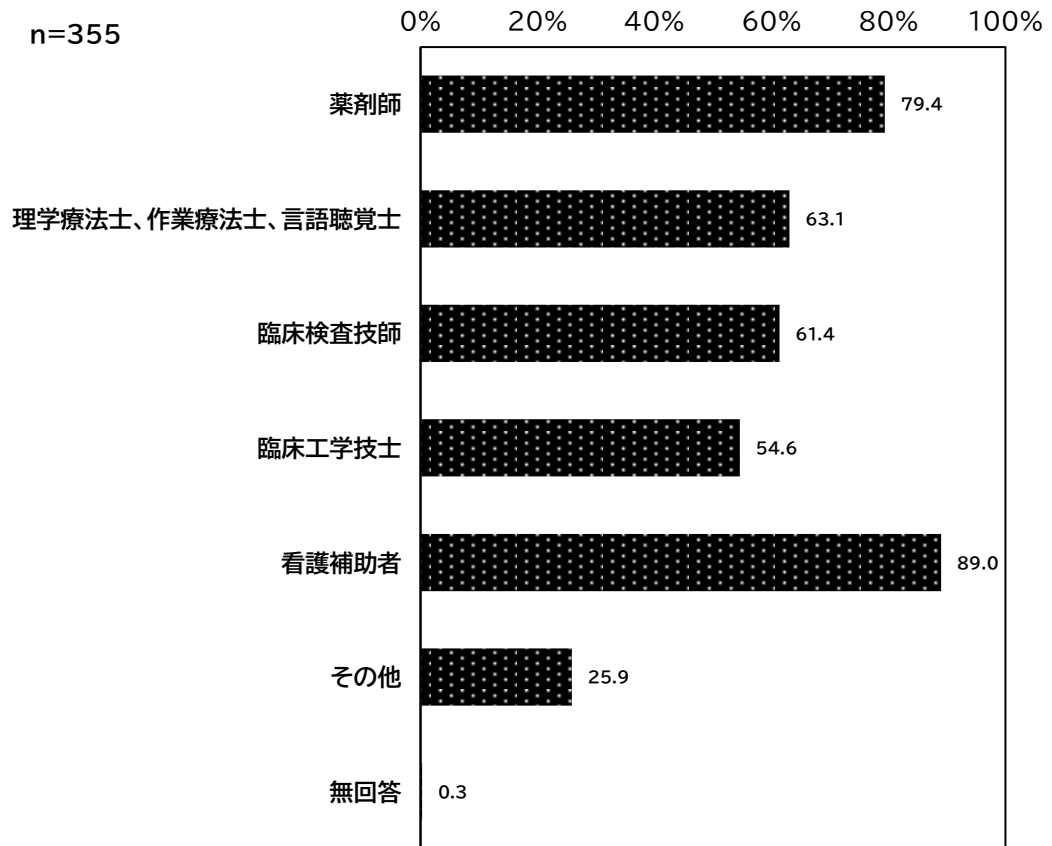


【①で「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合】

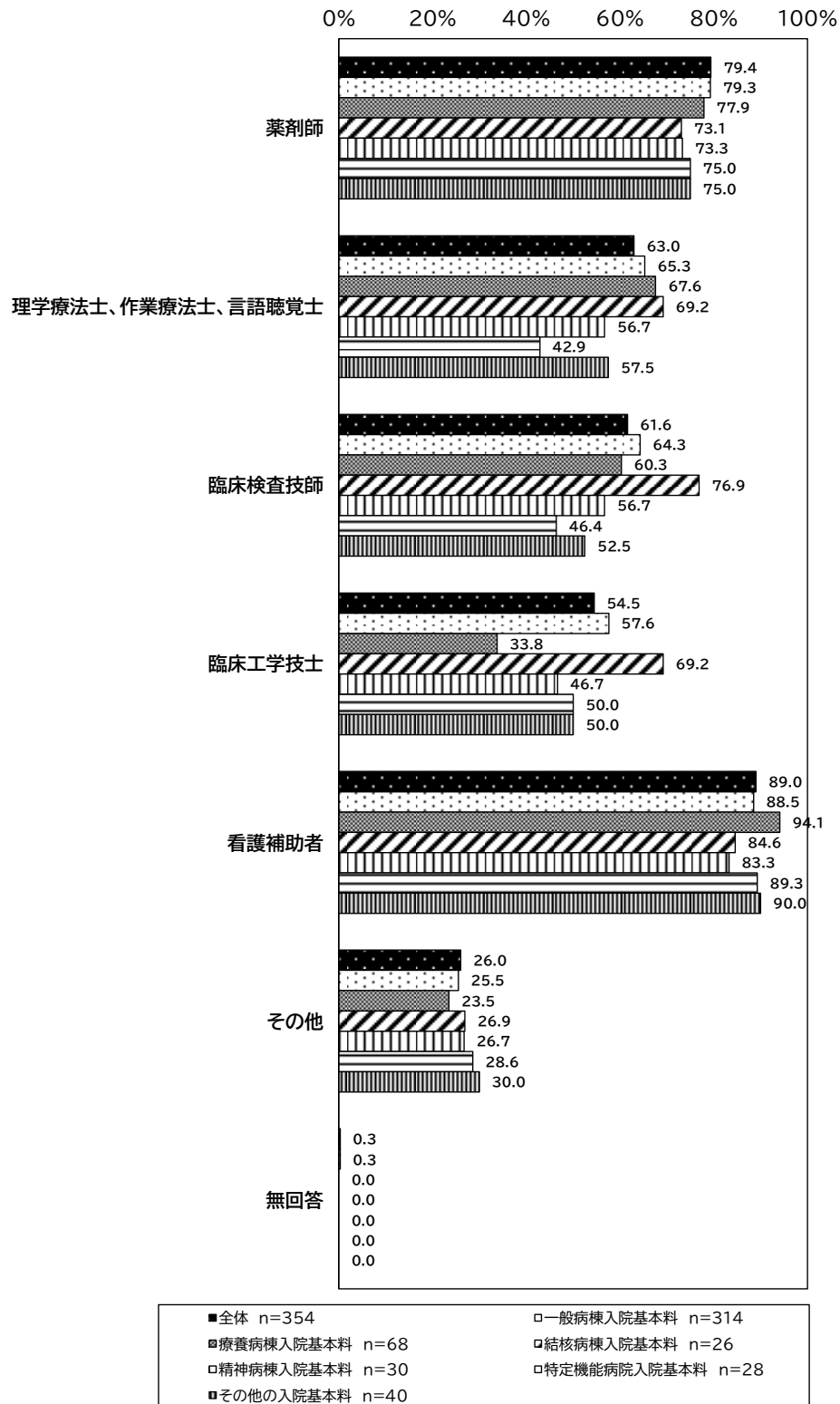
①で「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合の業務分担をしている職種で最も多かったものは「看護補助者」（89.0%）、次に多かったものは「薬剤師」（79.4%）であった。

なお、「その他」には「クランク業務（病棟、外来、医療、看護）」、「医師事務作業補助者」、「社会福祉士」、「管理栄養士」、「歯科衛生士」、「保育士」、「MSW、PSW」、「介護員」、「放射線技師」の回答があった。

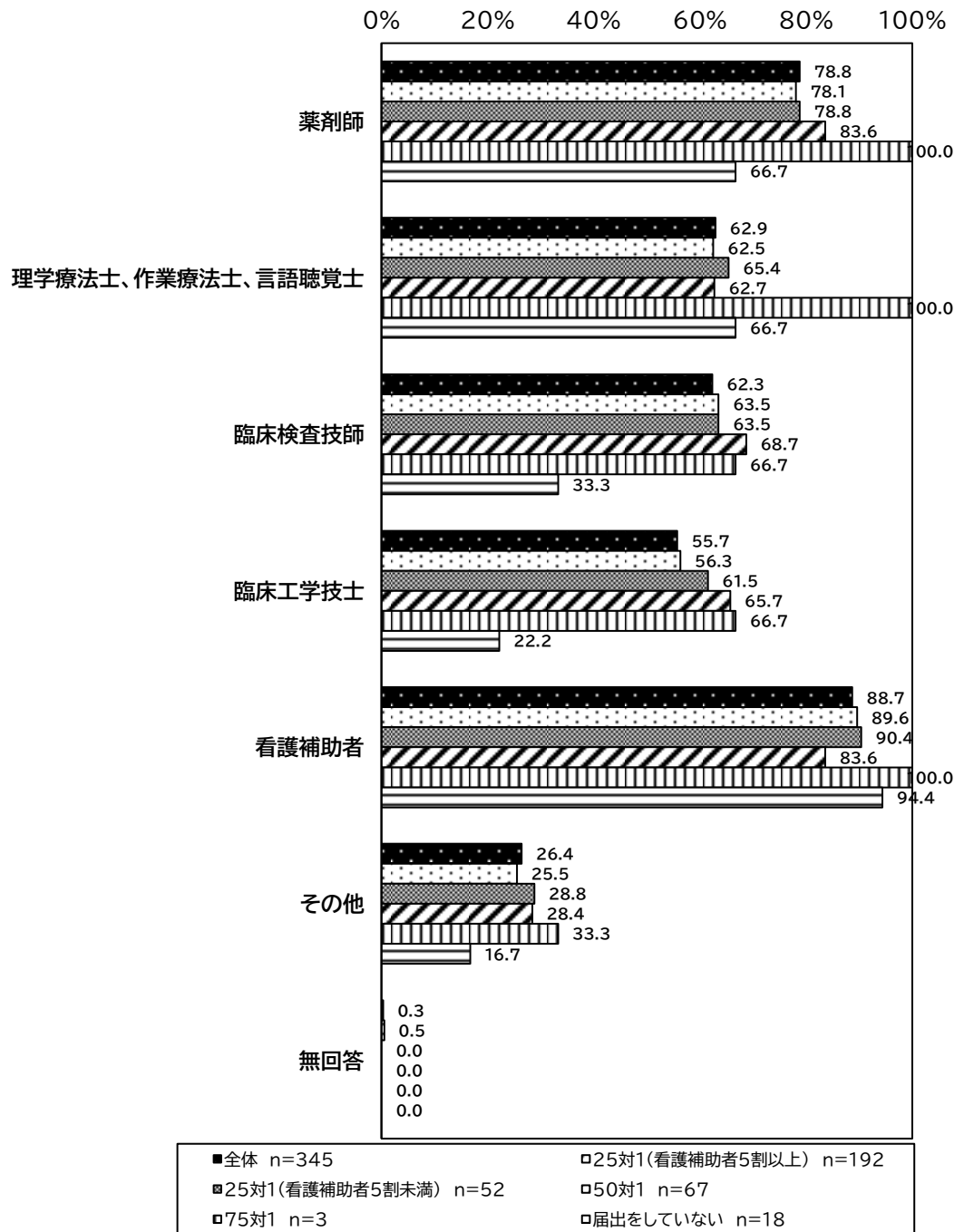
図表 2-443 業務分担をしている職種（複数回答）



図表 2-444 業務分担をしている職種（複数回答）（入院基本料別）



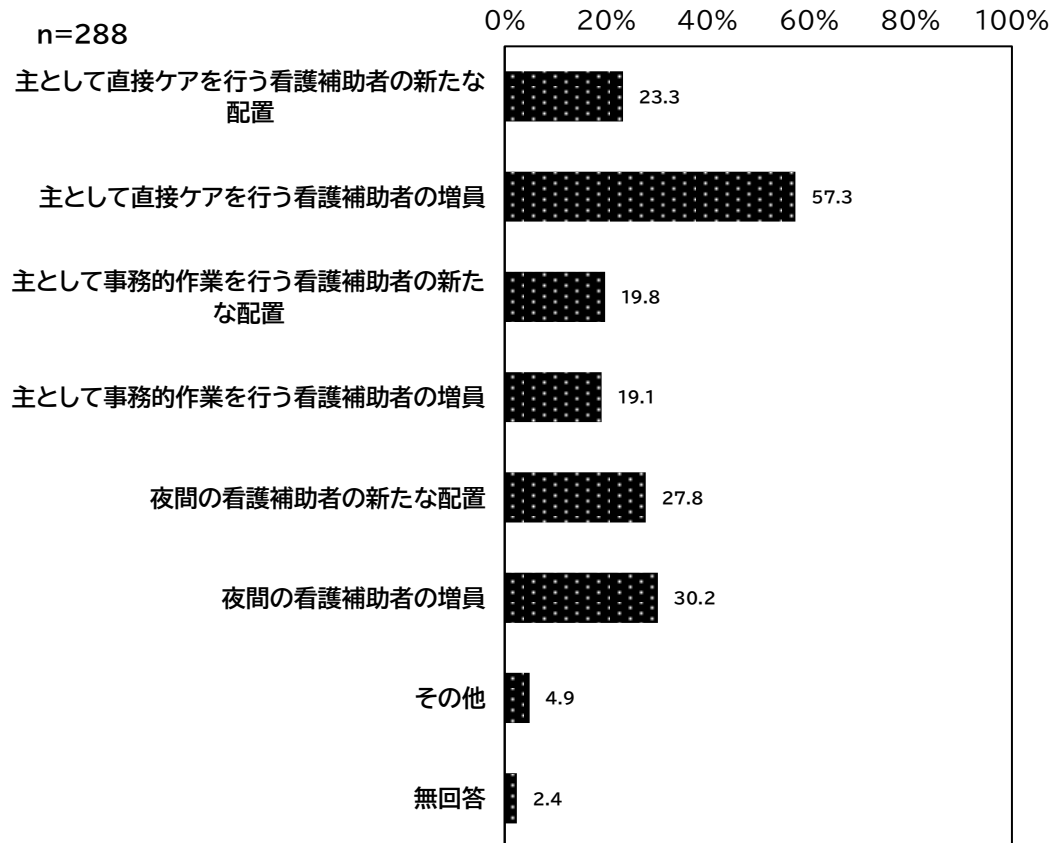
図表 2-445 業務分担をしている職種（複数回答）（急性期看護補助体制加算別）



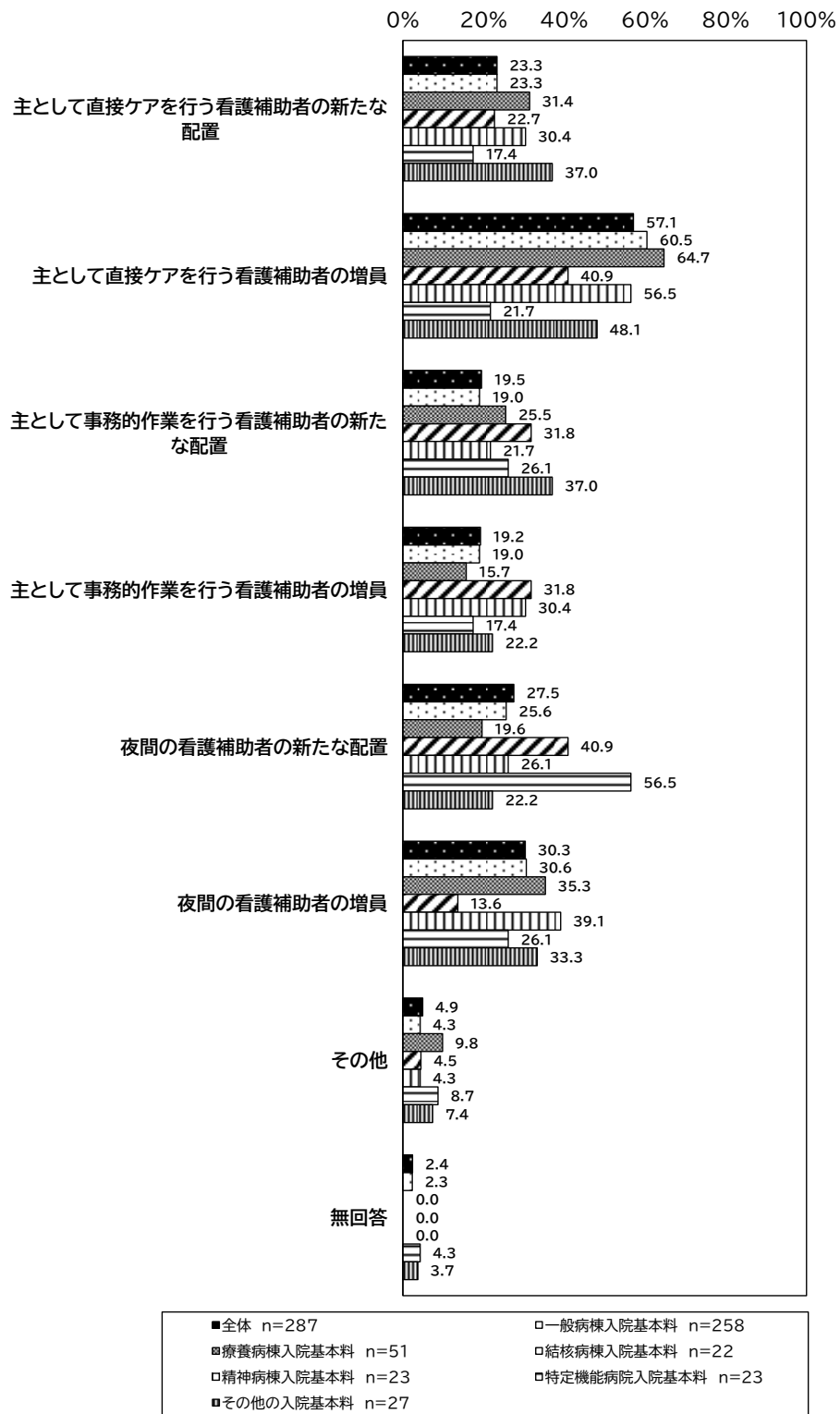
【①で「看護補助者の配置・増員」を選択した場合】

①で「看護補助者の配置・増員」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「主として直接ケアを行う看護補助者の増員」（57.3%）であった。

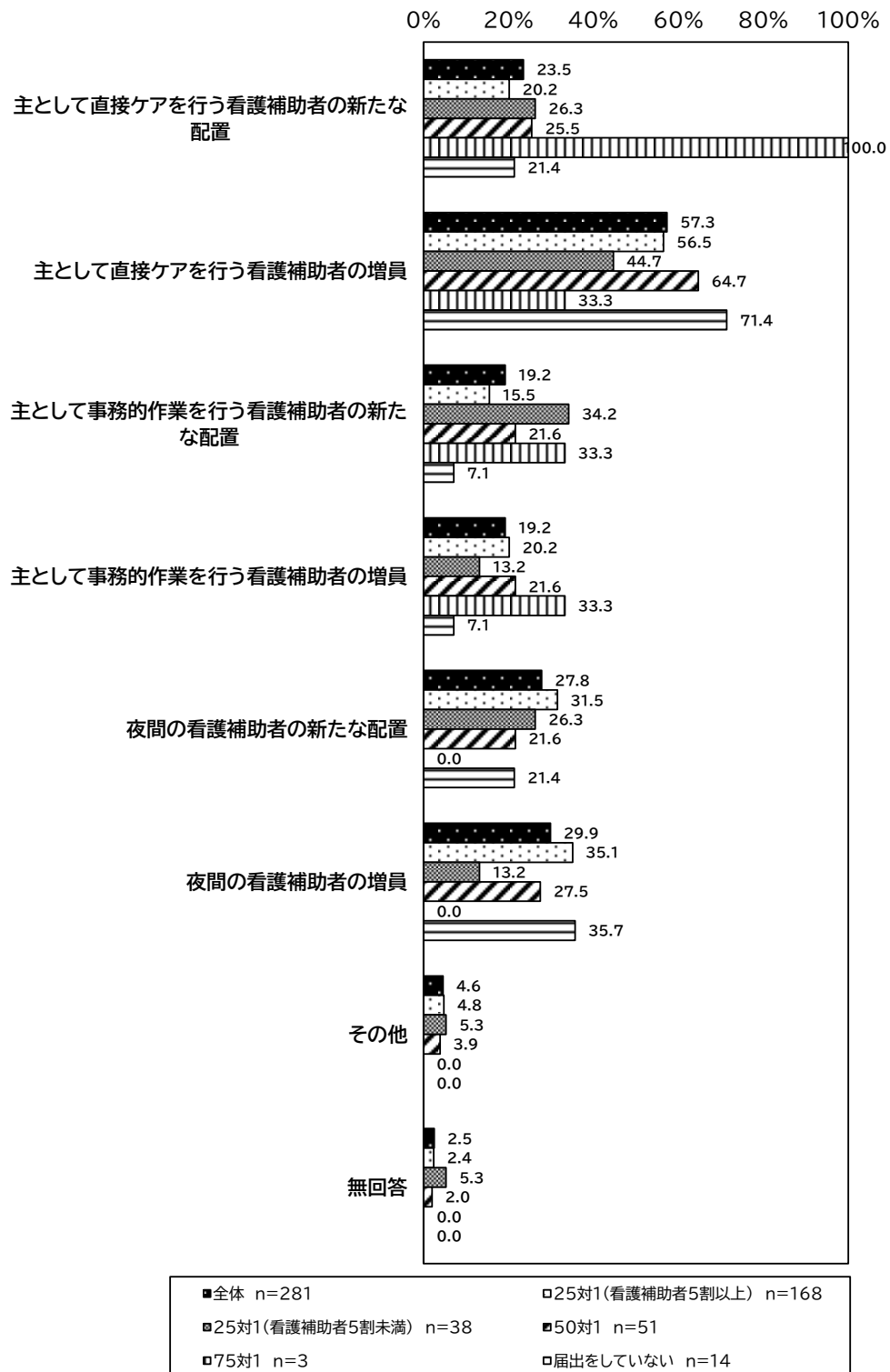
図表 2-446 具体的内容（複数回答）



図表 2-447 具体的内容（複数回答）（入院基本料別）



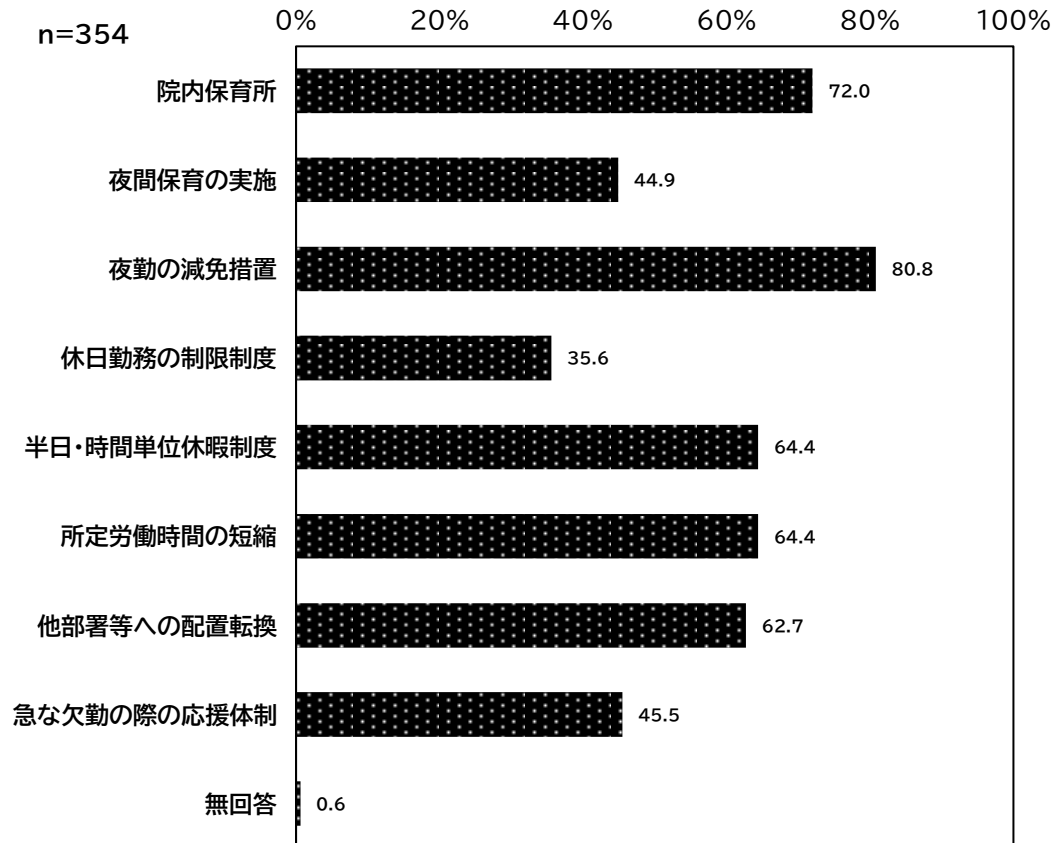
図表 2-448 具体的内容（複数回答）（急性期看護補助体制加算別）



【①で「妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮」を選択した場合】

①で「妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「夜勤の減免措置」（80.8%）であった。

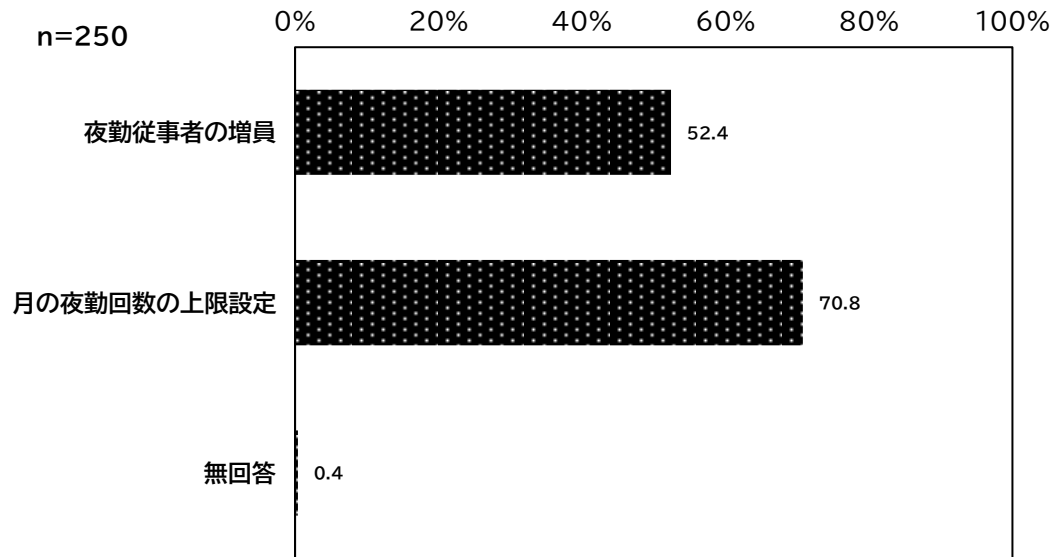
図表 2-449 具体的内容



【①で「夜勤負担の軽減」を選択した場合】

①で「夜勤負担の軽減」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「月の夜勤回数の上限設定」（70.8%）であった。

図表 2-450 具体的内容



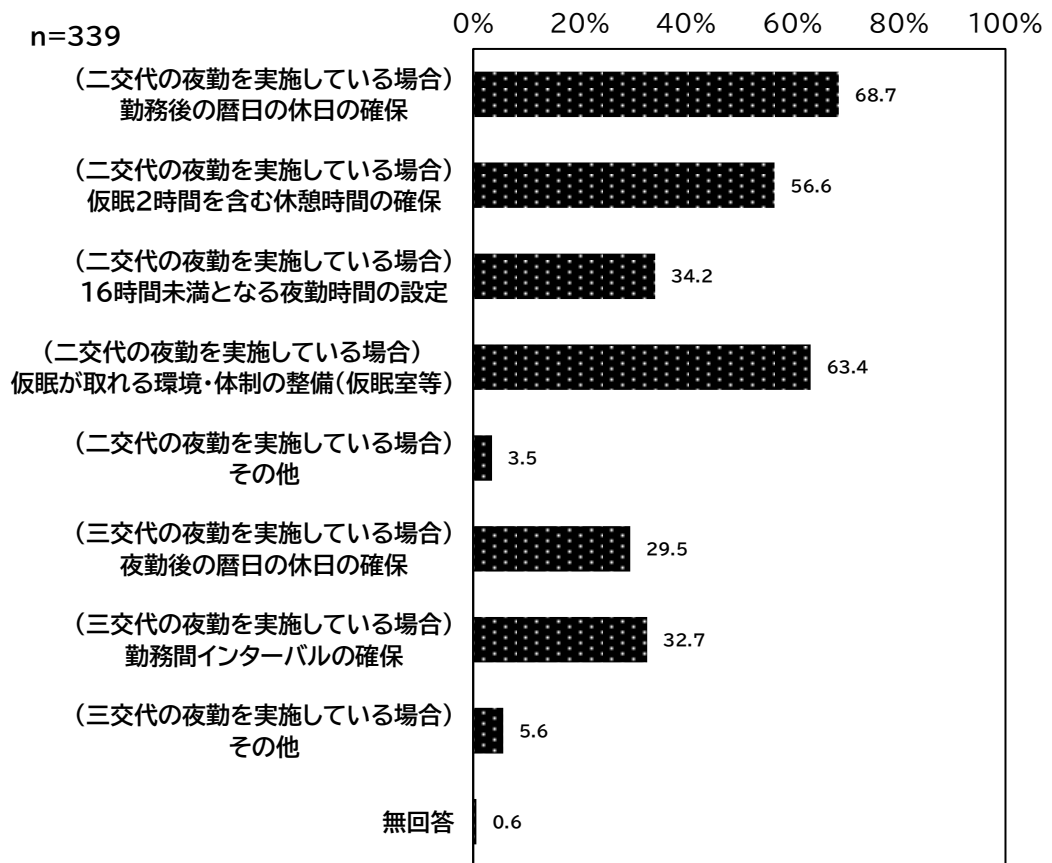
【①で「夜勤に係る配慮」「夜勤負担の軽減」を選択した場合】

①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合の二交代の勤務を実施している場合の具体的内容で最も多かったものは「勤務後の暦日の休日の確保」(68.7%)であった。

①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合の三交代の勤務を実施している場合の具体的内容で最も多かったものは「勤務間インターバルの確保」(32.7%)であった。

なお、「その他」には、「連続夜勤としない、2連続までとする」、「早番・遅番などの人員増」、「早出・遅出などの柔軟な勤務体制の工夫」、「夜間を含めた各部署の業務量を把握・調整するシステムの構築」等の回答があった。

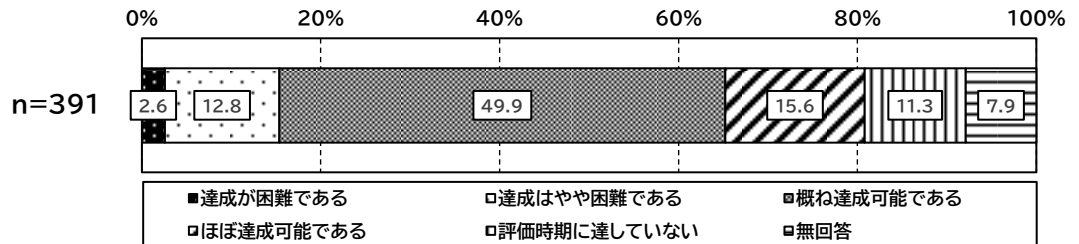
図表 2-451 具体的内容



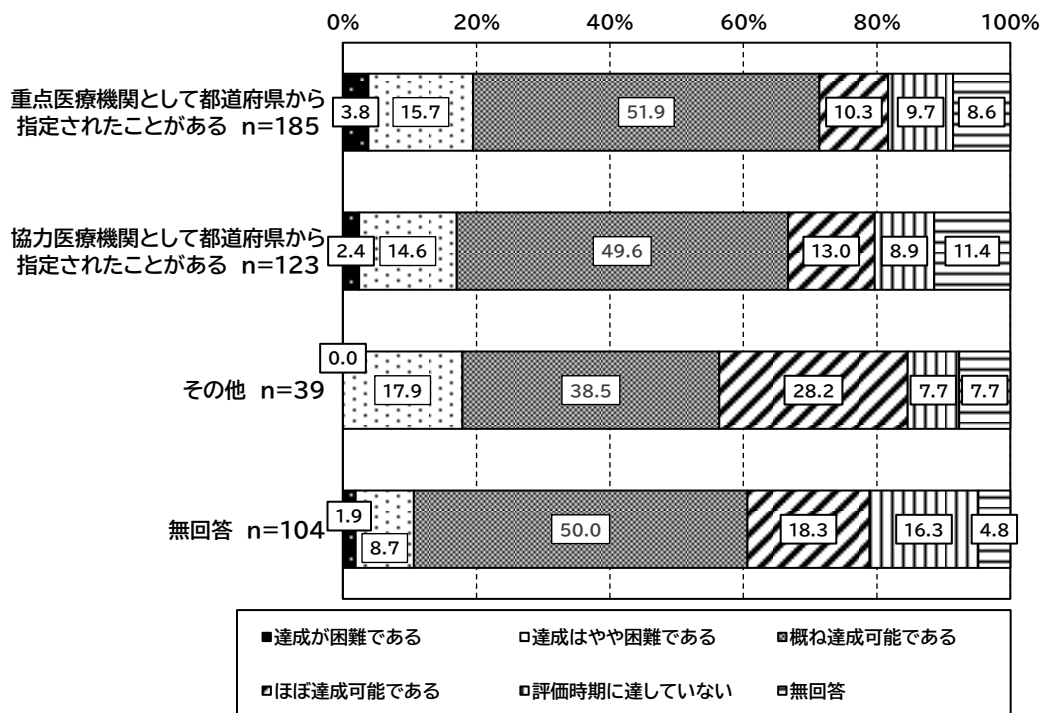
② 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況

看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況で最も多かったものは「概ね達成可能である」(49.9%)であった。

図表 2-452 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況



図表 2-453 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無別)



②-1 処遇改善に関する計画の達成が困難である理由

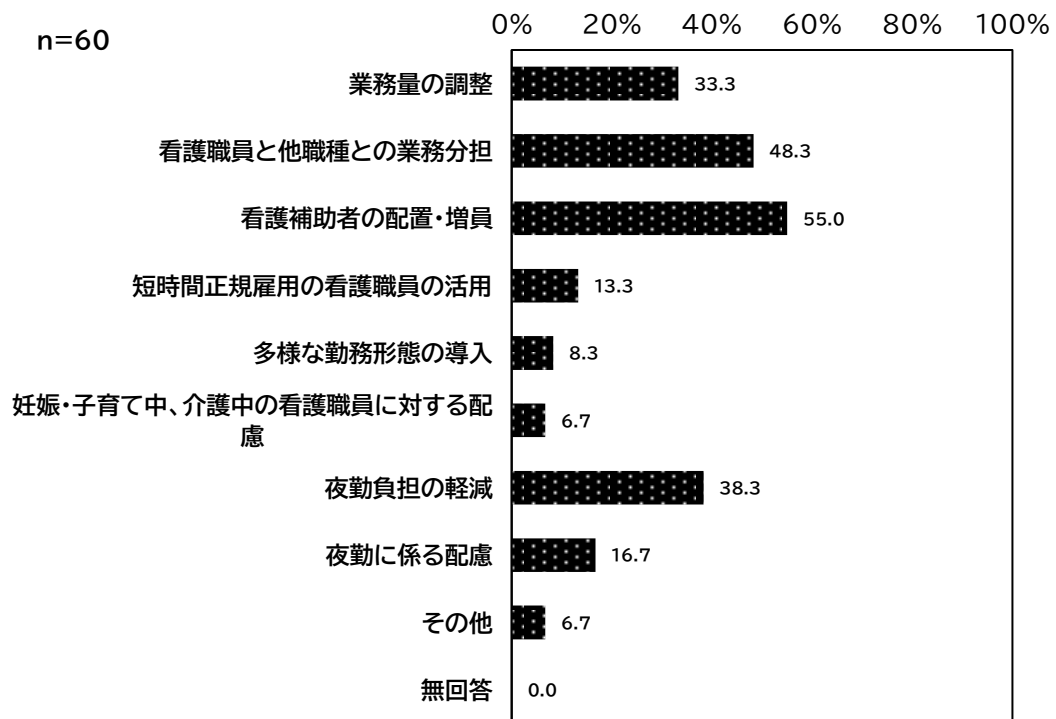
(②で「達成が困難である」又は「達成はやや困難である」を選択した場合のみ集計)

処遇改善に関する計画の達成が困難である理由で最も多かったものは「看護補助者の配置・増員」(55.0%)であった。次いで、「看護職員と多職種との業務分担」(48.3%)であった。

なお、「看護補助者の配置・増員」が困難である理由としては、「募集しているが応募がない、補充困難」、「人員が定着しない」といった回答があった。

また、「看護職員と多職種との業務分担」が困難である理由としては、「多職種のマンパワーが不足」、「多職種のタスクシフトの意識が薄い」、「業務分担を病院全体で推進する仕組みが不十分」といった回答があった。

図表 2-454 処遇改善に関する計画の達成が困難である項目(複数回答)



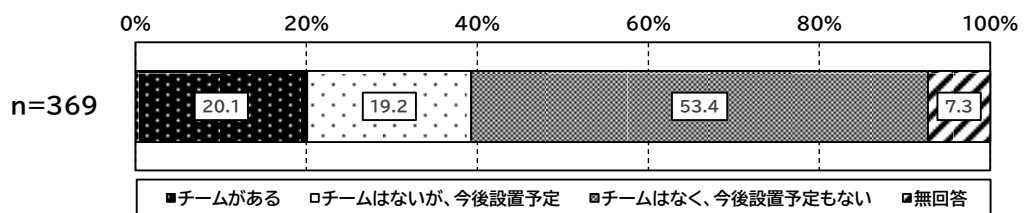
(7) 医療従事者の勤務環境改善マネジメント

① 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況

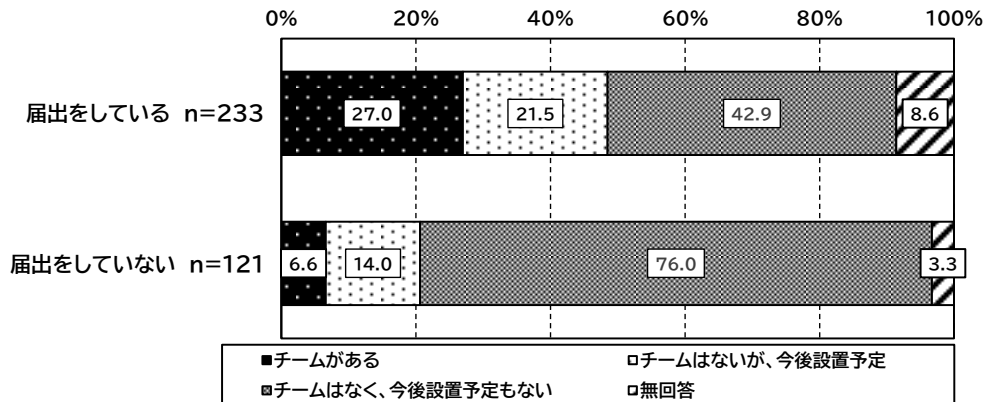
勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況で最も多かったものは「チームはなく、今後設置予定もない」(53.4%)であった。

注：「勤務環境改善マネジメント」とは、「医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み」を指す。

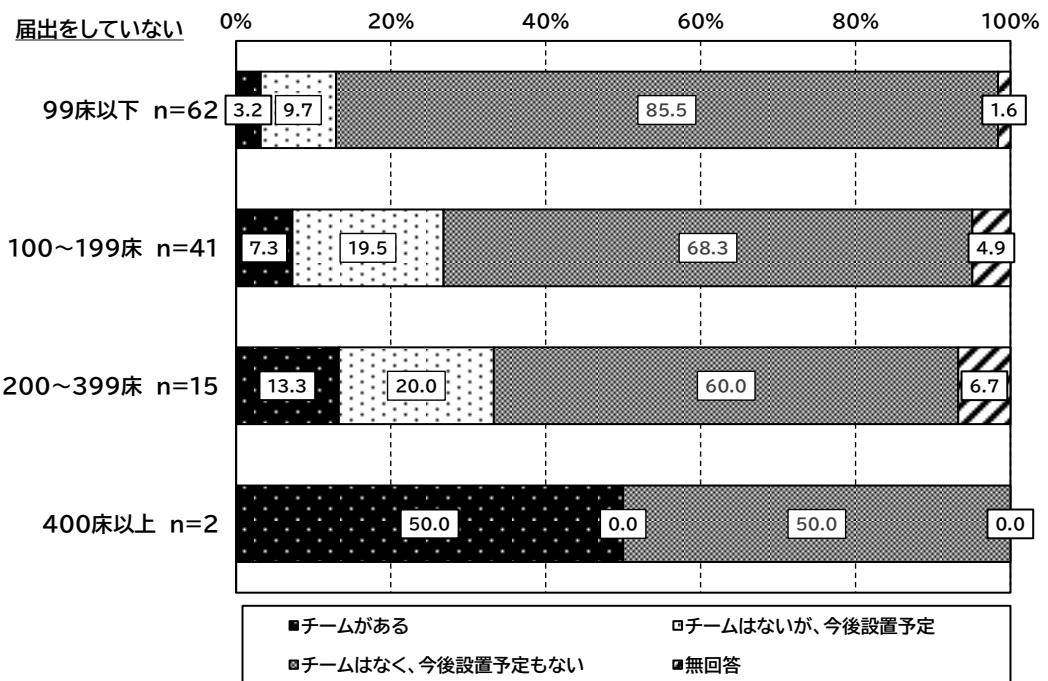
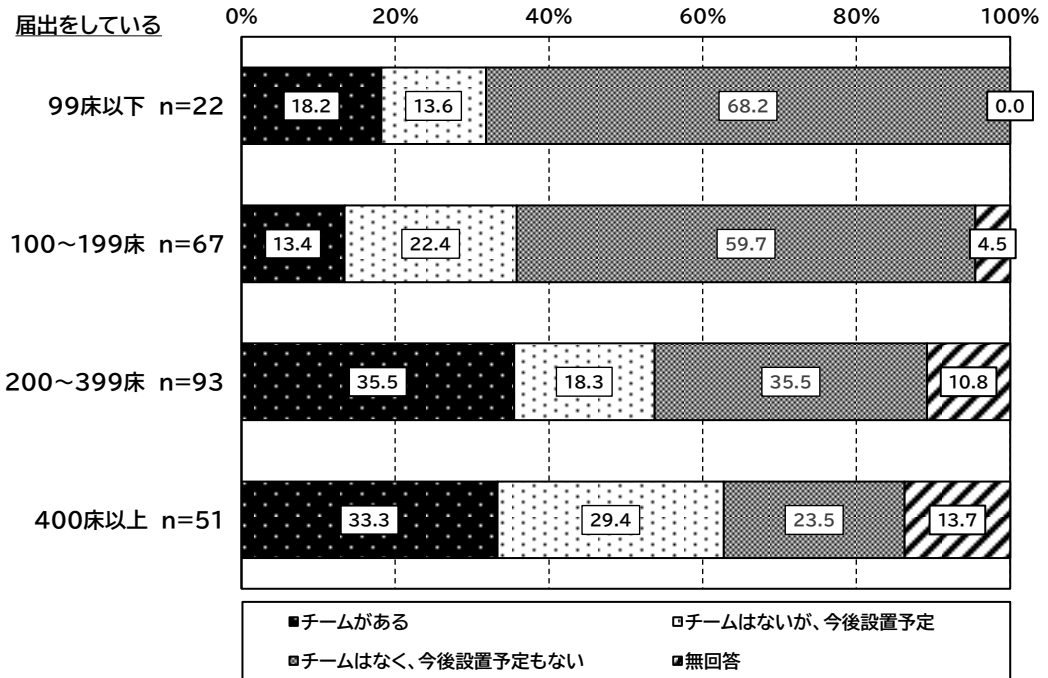
図表 2-455 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況



図表 2-456 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



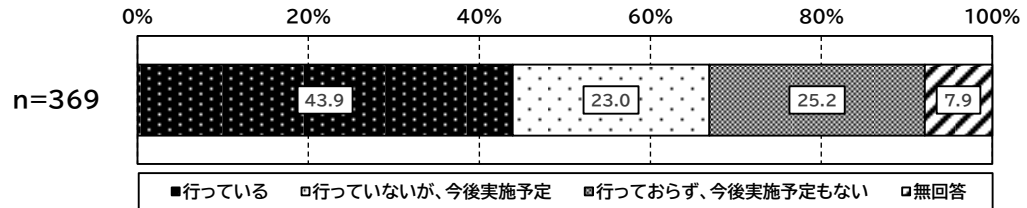
図表 2-457 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



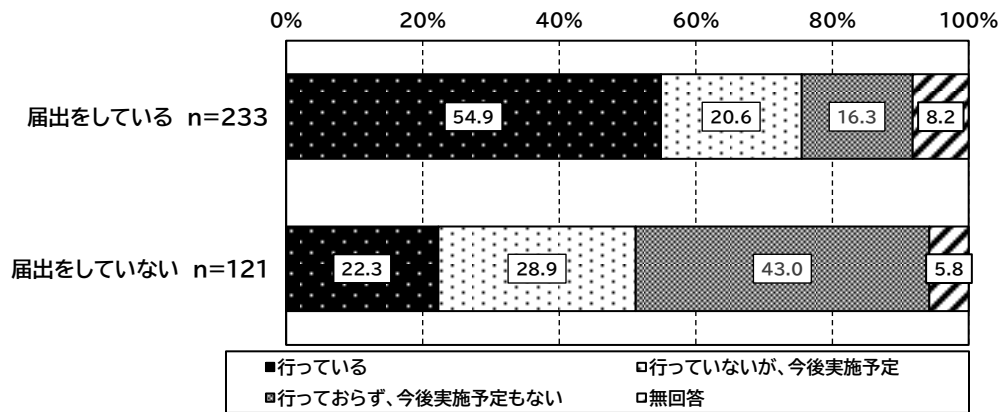
② 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況と分析

勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況で最も多かったものは「行っている」(43.9%)であった。

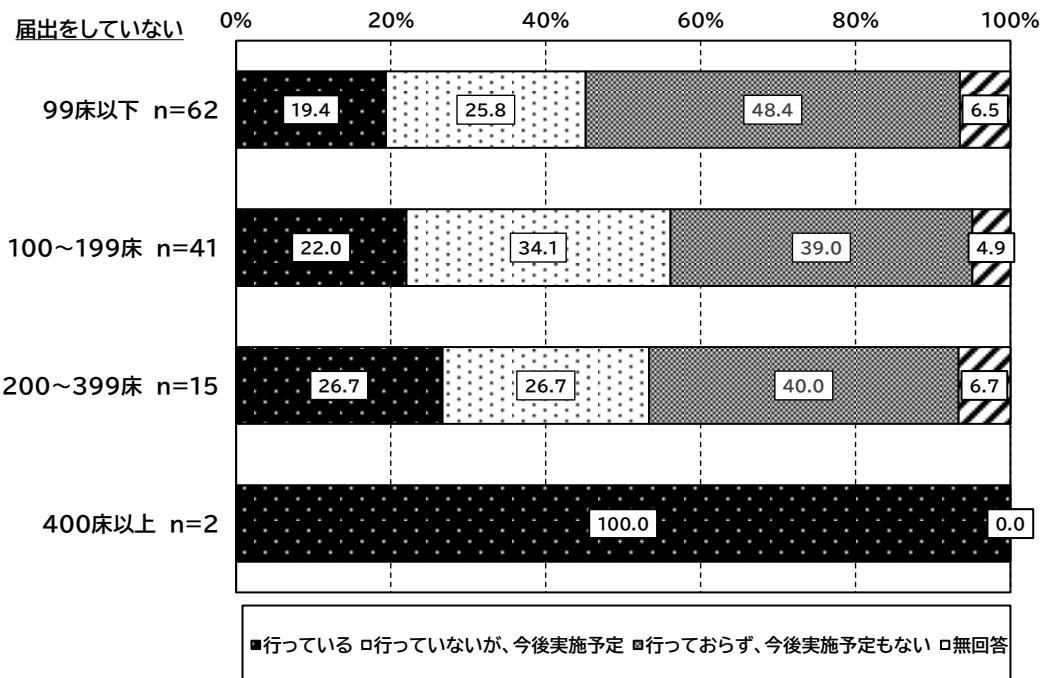
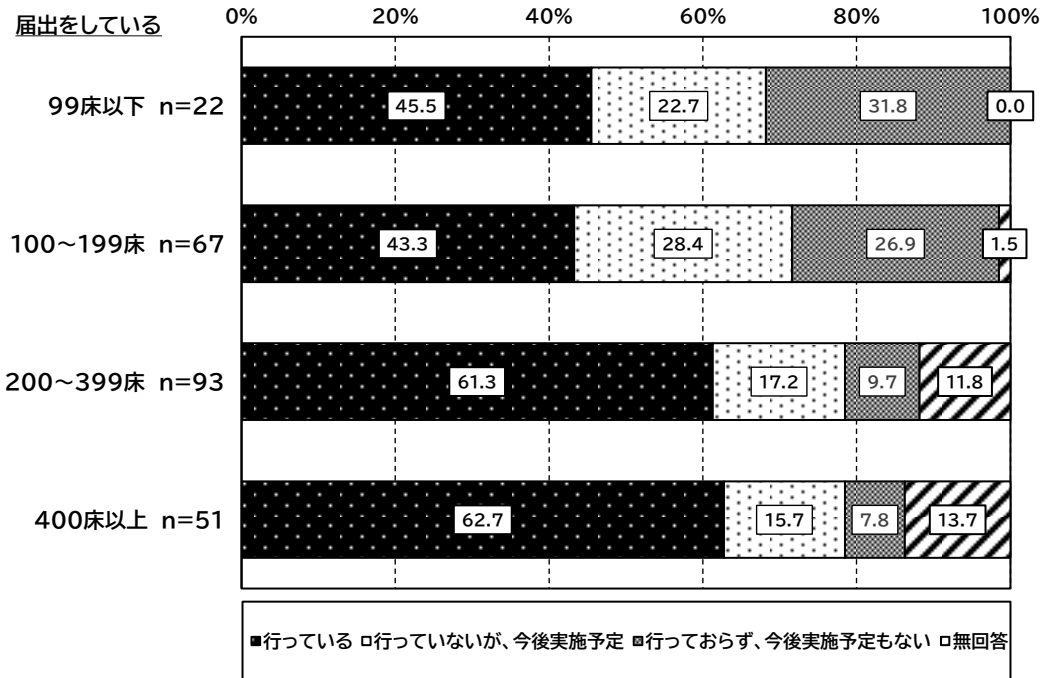
図表 2-458 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況



図表 2-459 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



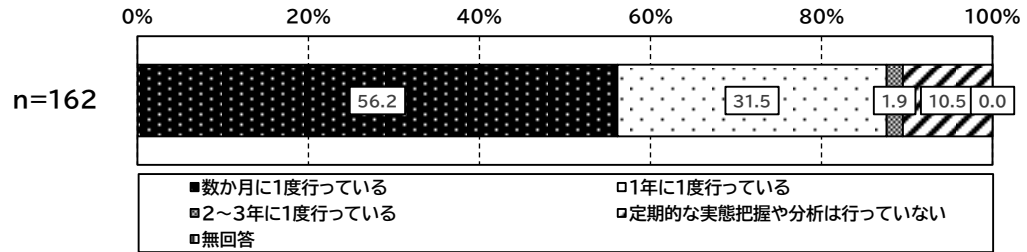
図表 2-460 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



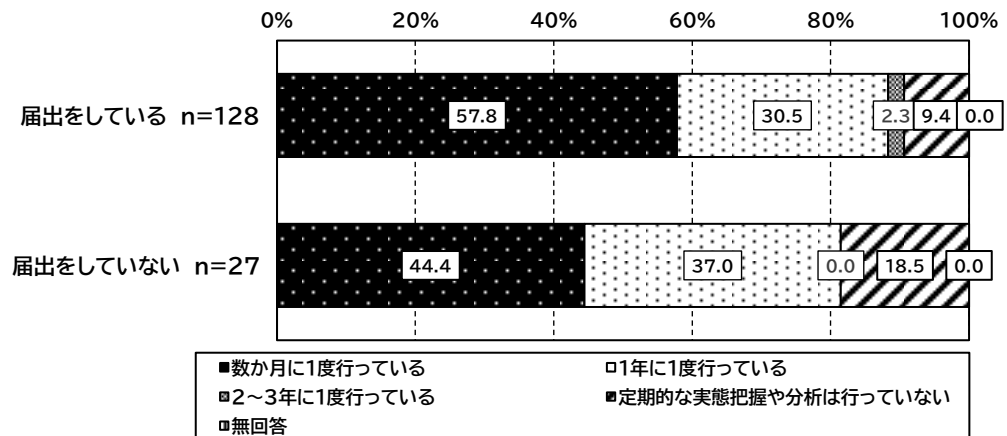
②-1 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度
 (②で「行っている」と回答した場合のみ集計)

②で「行っている」と回答した場合の、勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度で最も多かったものは「数か月に1度行っている」(56.2%)であった。

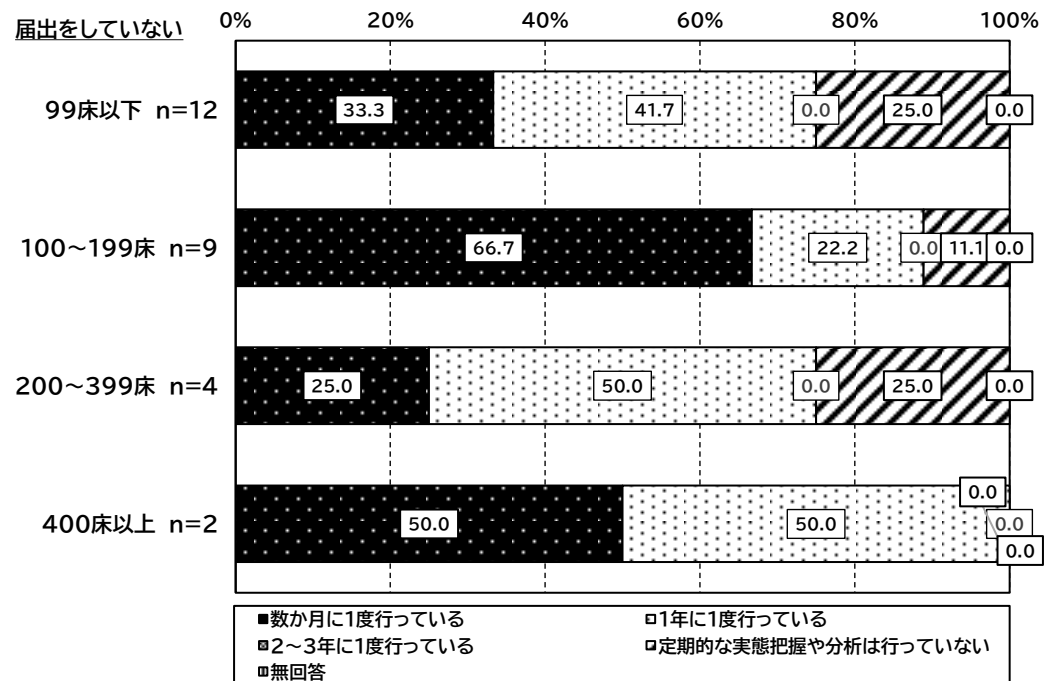
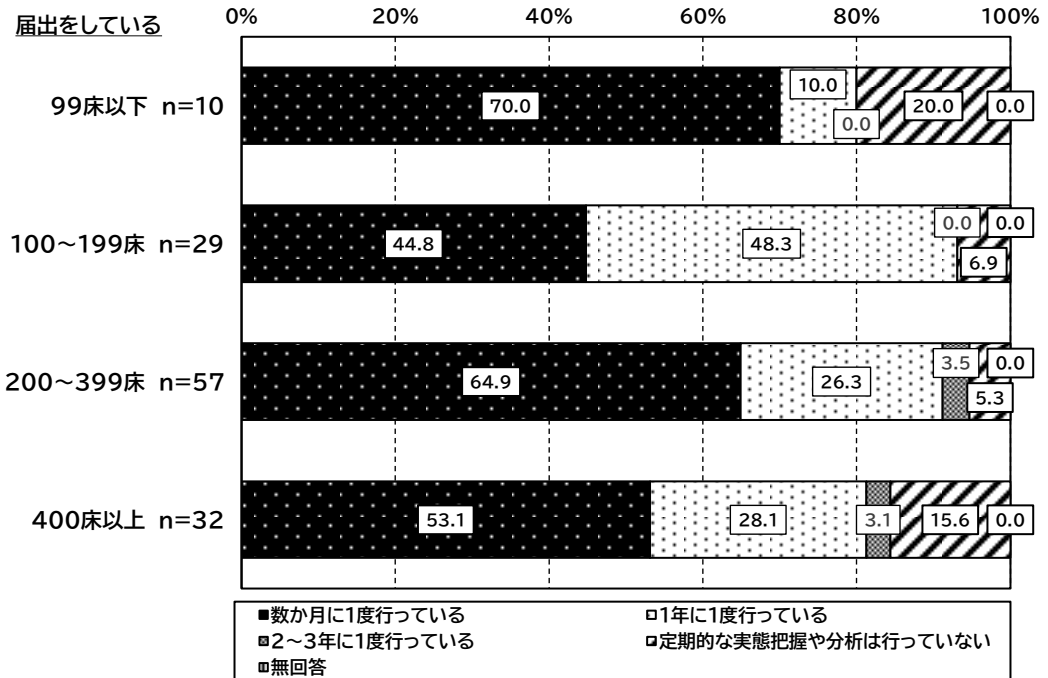
図表 2-461 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度



図表 2-462 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-463 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)

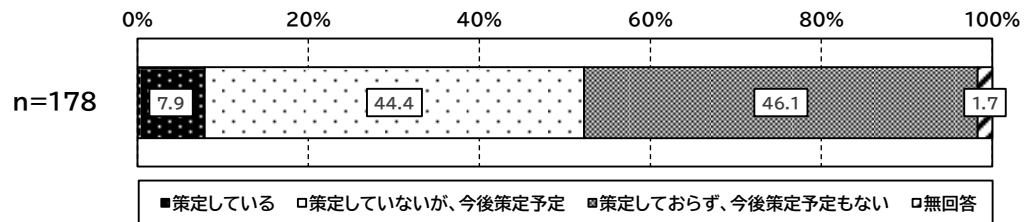


③ 勤務環境改善の取組について、計画策定の有無

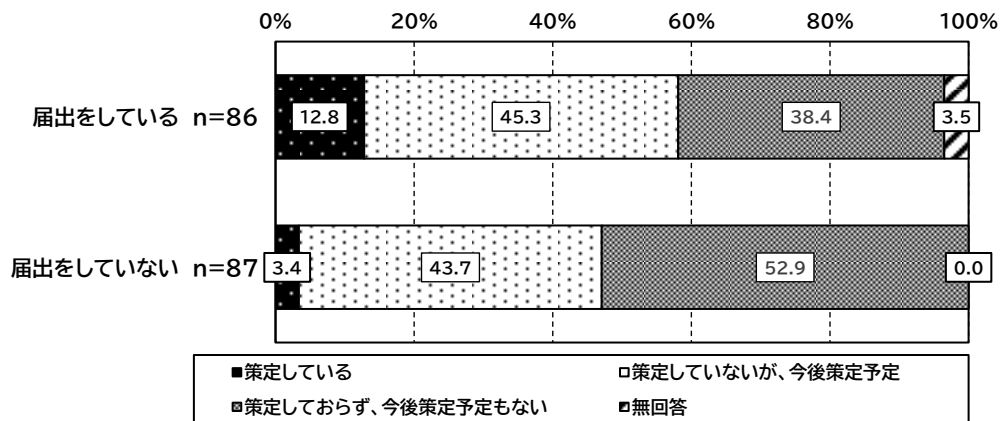
(②で「行っていないが、今後実施予定」または「行っておらず、今後実施予定もない」と回答した場合)

②で「行っていないが、今後実施予定」または「行っておらず、今後実施予定もない」と回答した場合で最も多かったものは「策定しておらず、今後策定予定もない」(46.1%)であった。

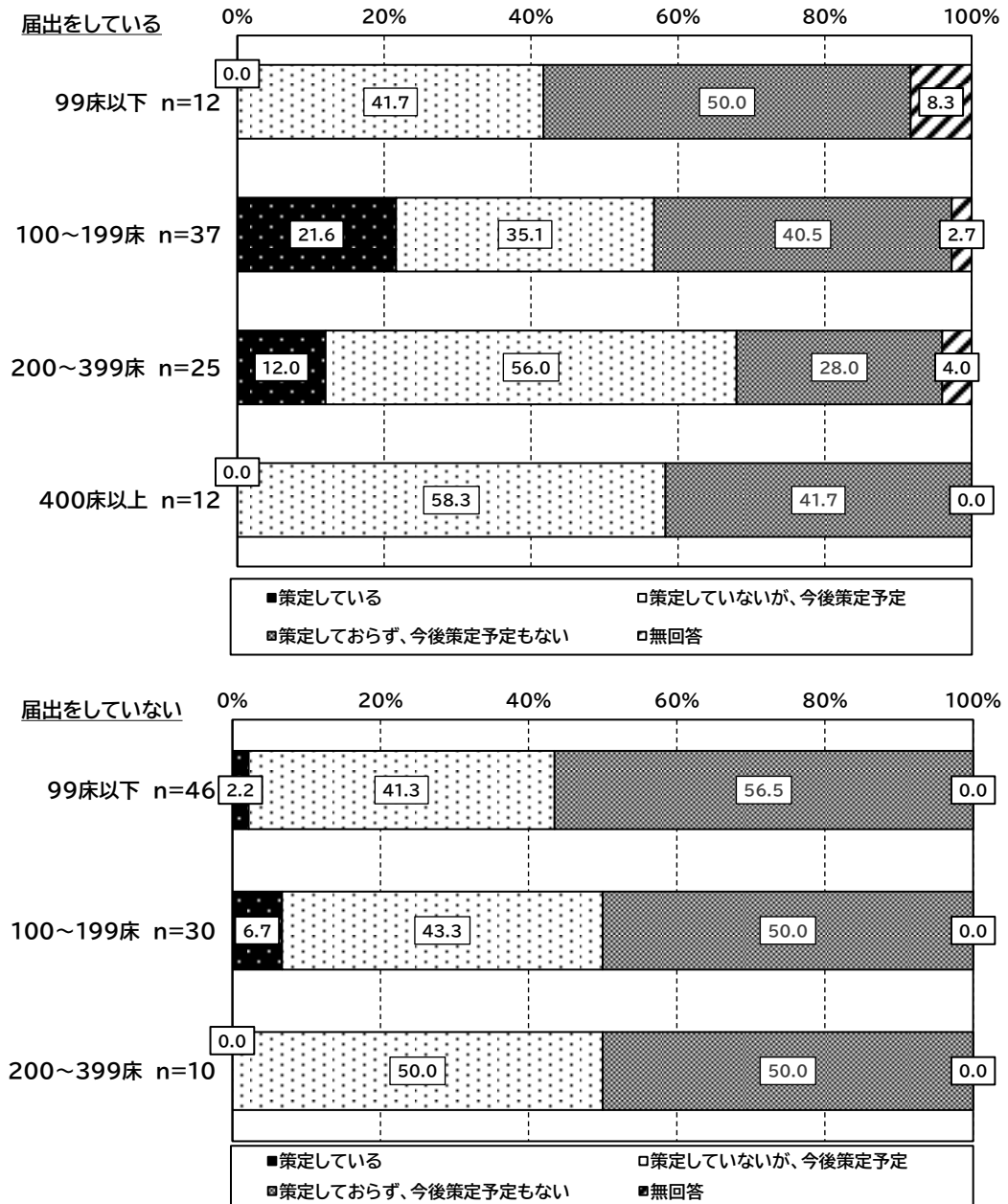
図表 2-464 勤務環境改善の取組について、計画策定の有無



図表 2-465 勤務環境改善の取組について、計画策定の有無
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-466 勤務環境改善の取組について、計画策定の有無
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)

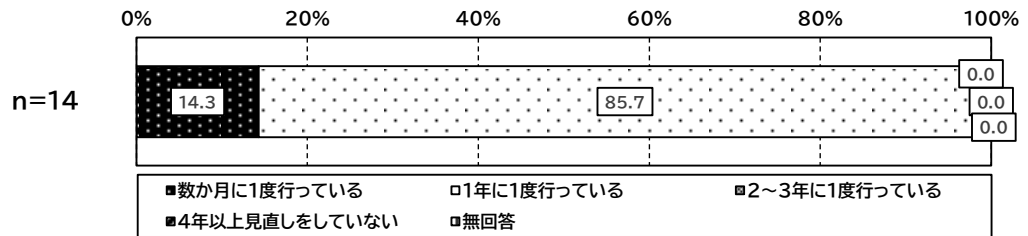


※届出をしておらず、400床以上の施設にあてはまる回答はなかった。

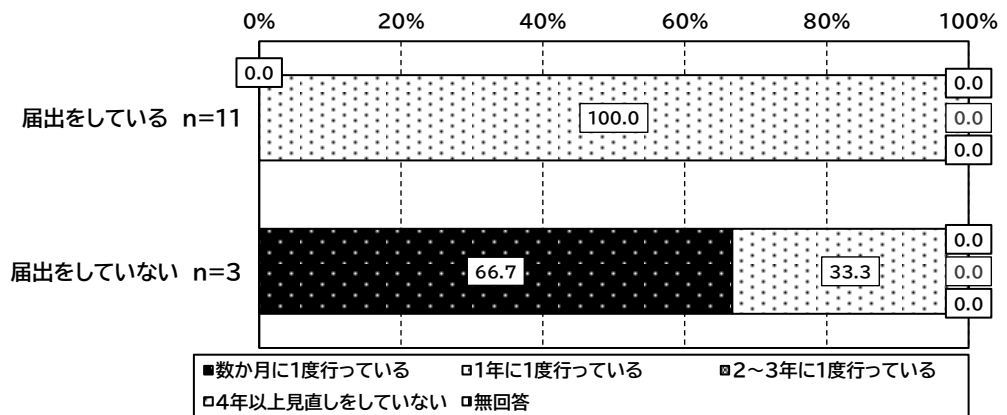
③-1 勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度
 (③で「策定している」と回答した場合)

③で「策定している」と回答した場合で最も多かったものは「1年に1度行っている」(85.7%)であった。

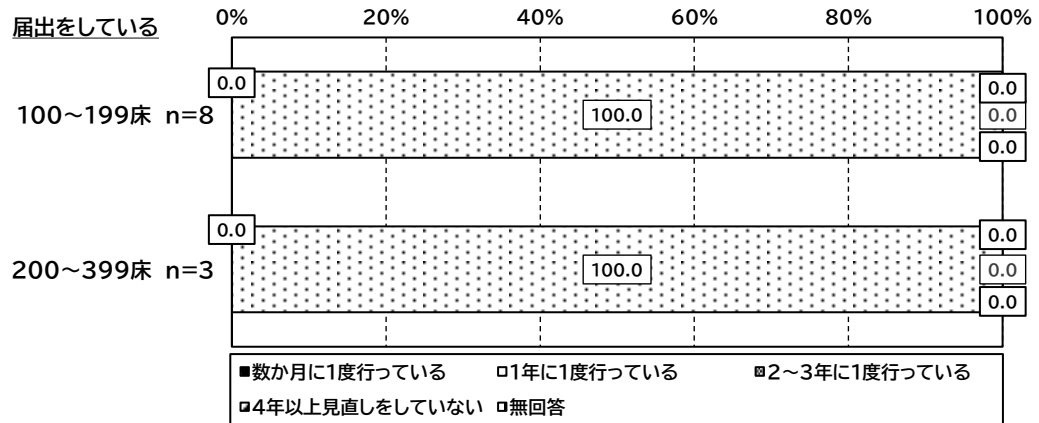
図表 2-467 勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度



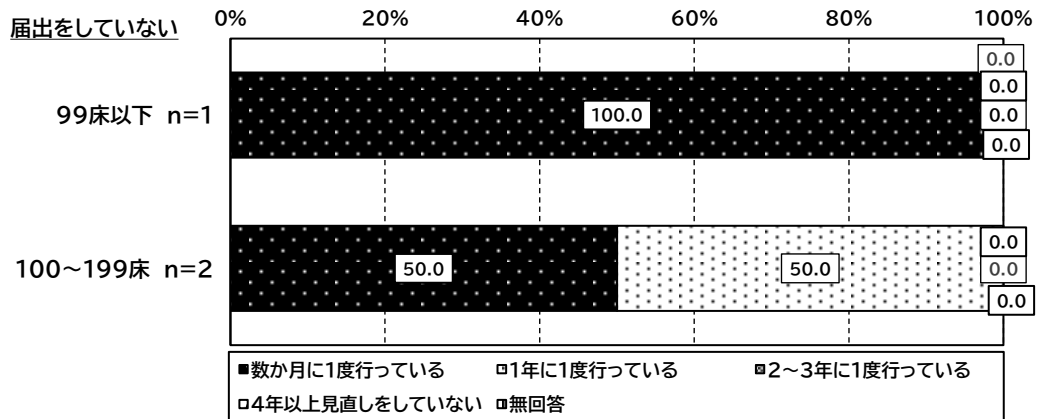
図表 2-468 勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-469 勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



※届出をしており、100床未満、400床以上の施設にあてはまる回答はなかった。



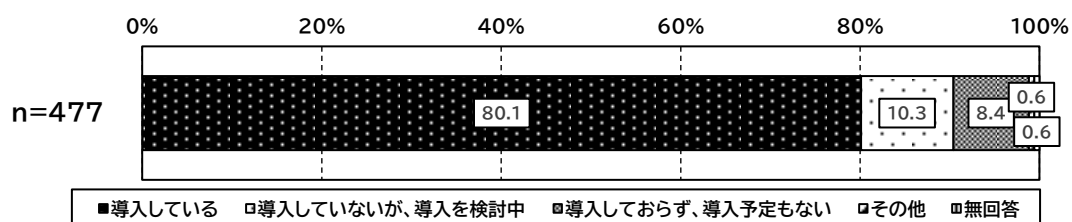
※届出をしておらず、200床~399床、400床以上の施設にあてはまる回答はなかった。

(8) 記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等

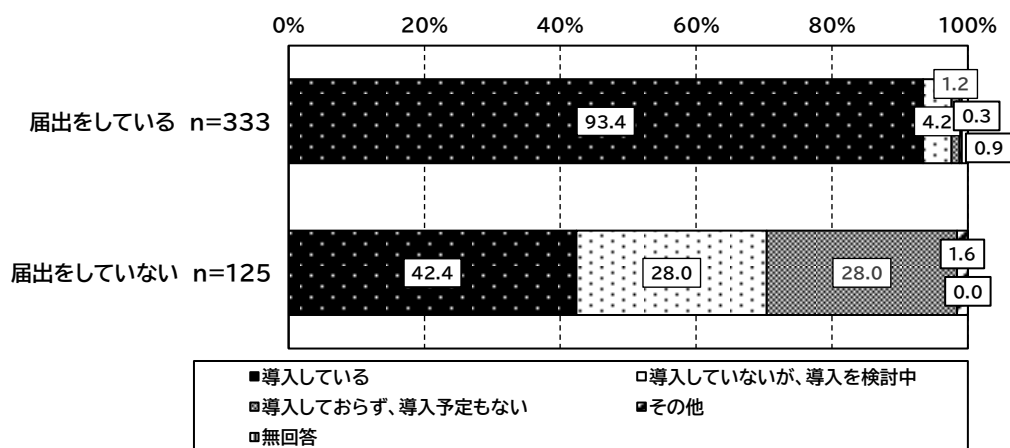
① 入院部門における電子カルテの導入状況

入院部門における電子カルテの導入状況で最も多かったものは「導入している」(80.1%)であった。

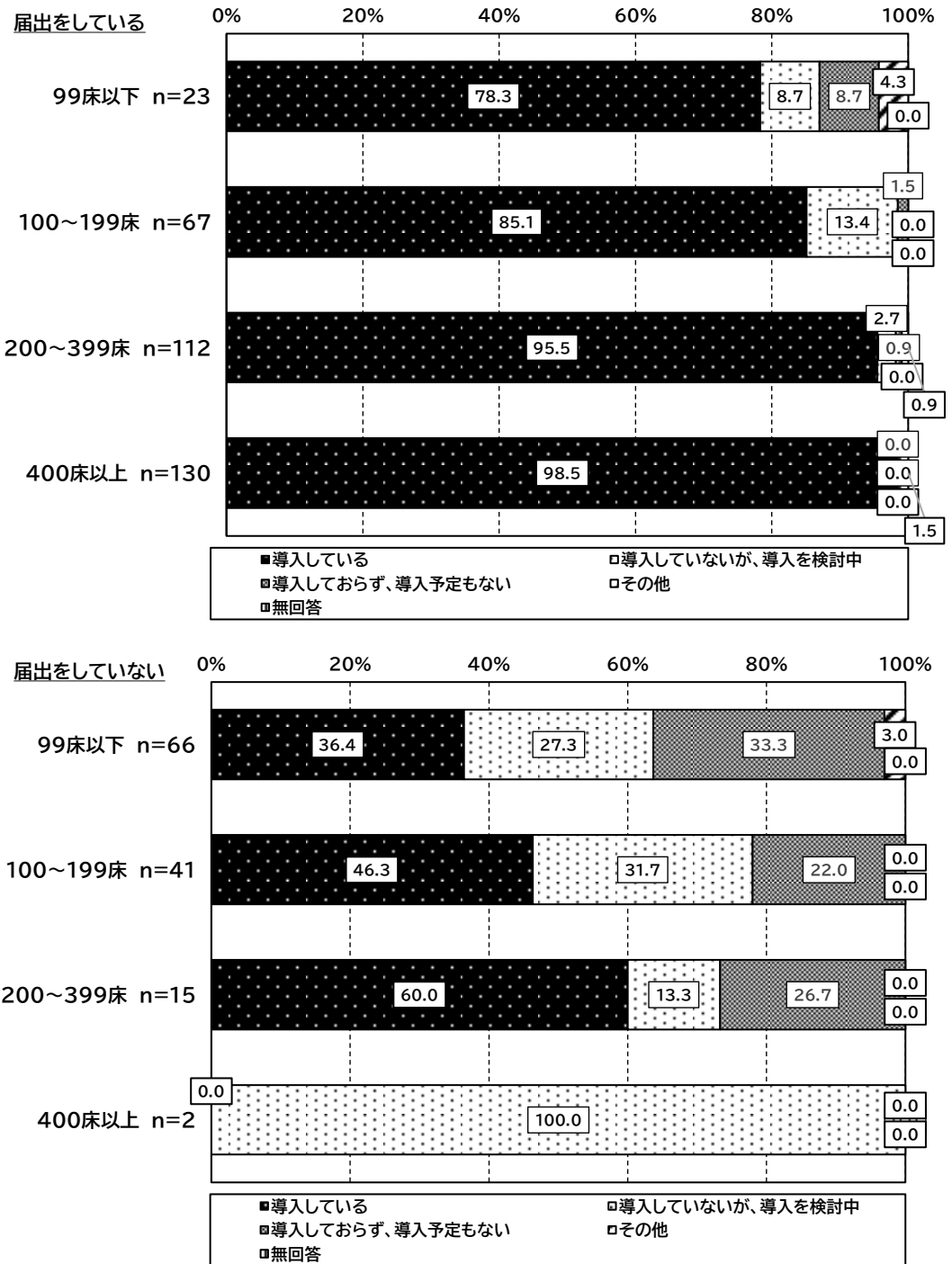
図表 2-470 入院部門における電子カルテの導入状況



図表 2-471 入院部門における電子カルテの導入状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-472 入院部門における電子カルテの導入状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)

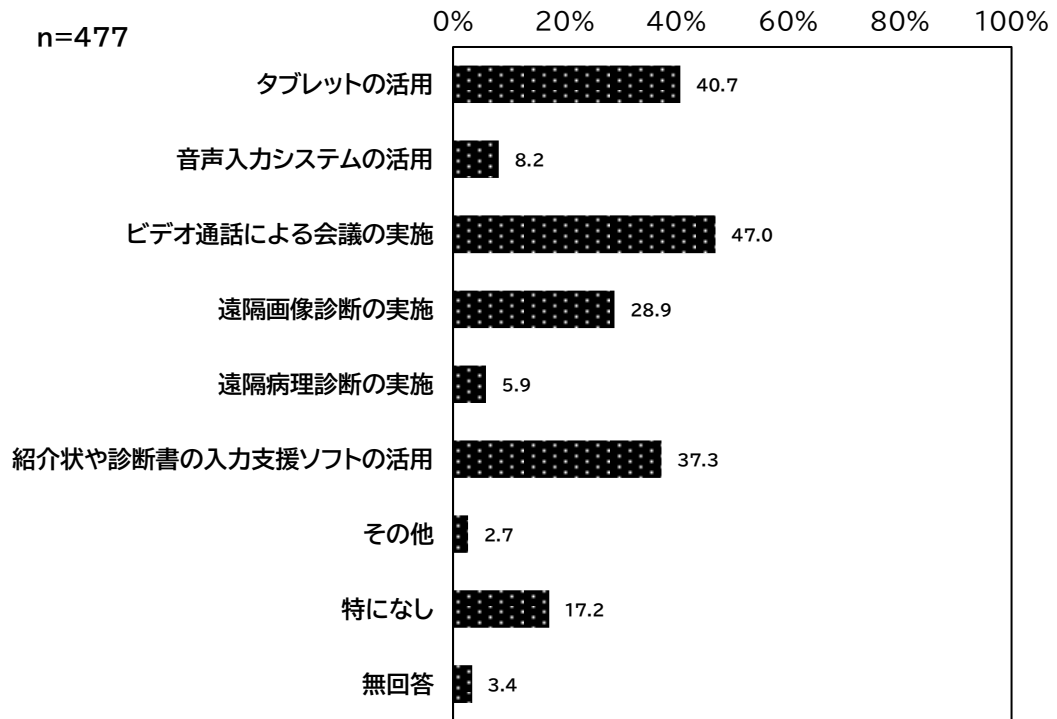


② ICT を活用した業務の見直し・省力化のためにやっている取組

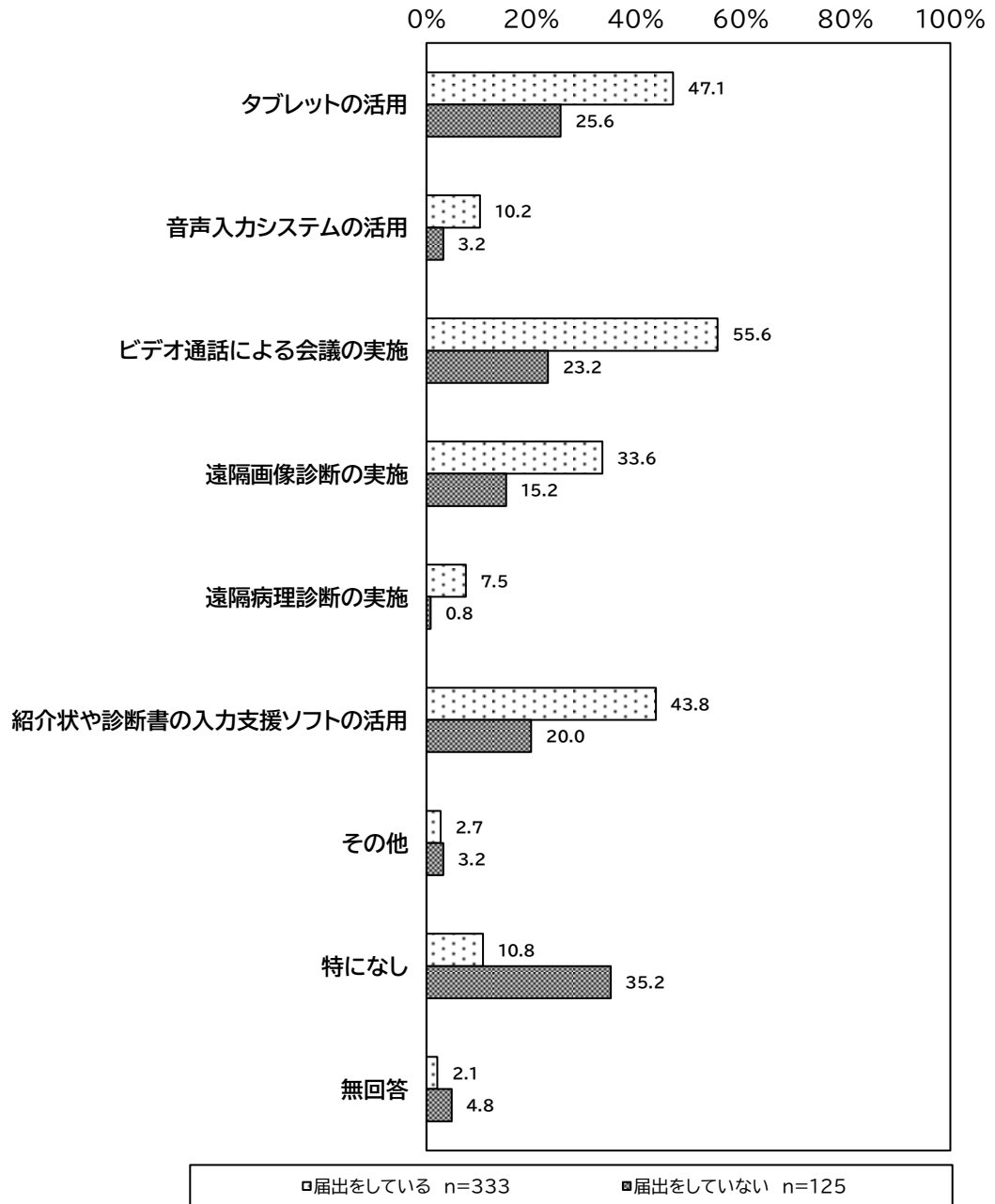
ICT を活用した業務の見直し・省力化のためにやっている取組で最も多かったものは「ビデオ通話による会議の実施」(47.0%)、次に多かったものは「タブレットの活用」(40.7%)であった。

なお、「その他」の回答には「電子カルテ、オーダーリングシステム」、「地域連携支援ツール」、「A I 問診」、「各種説明の動画化」等があった。

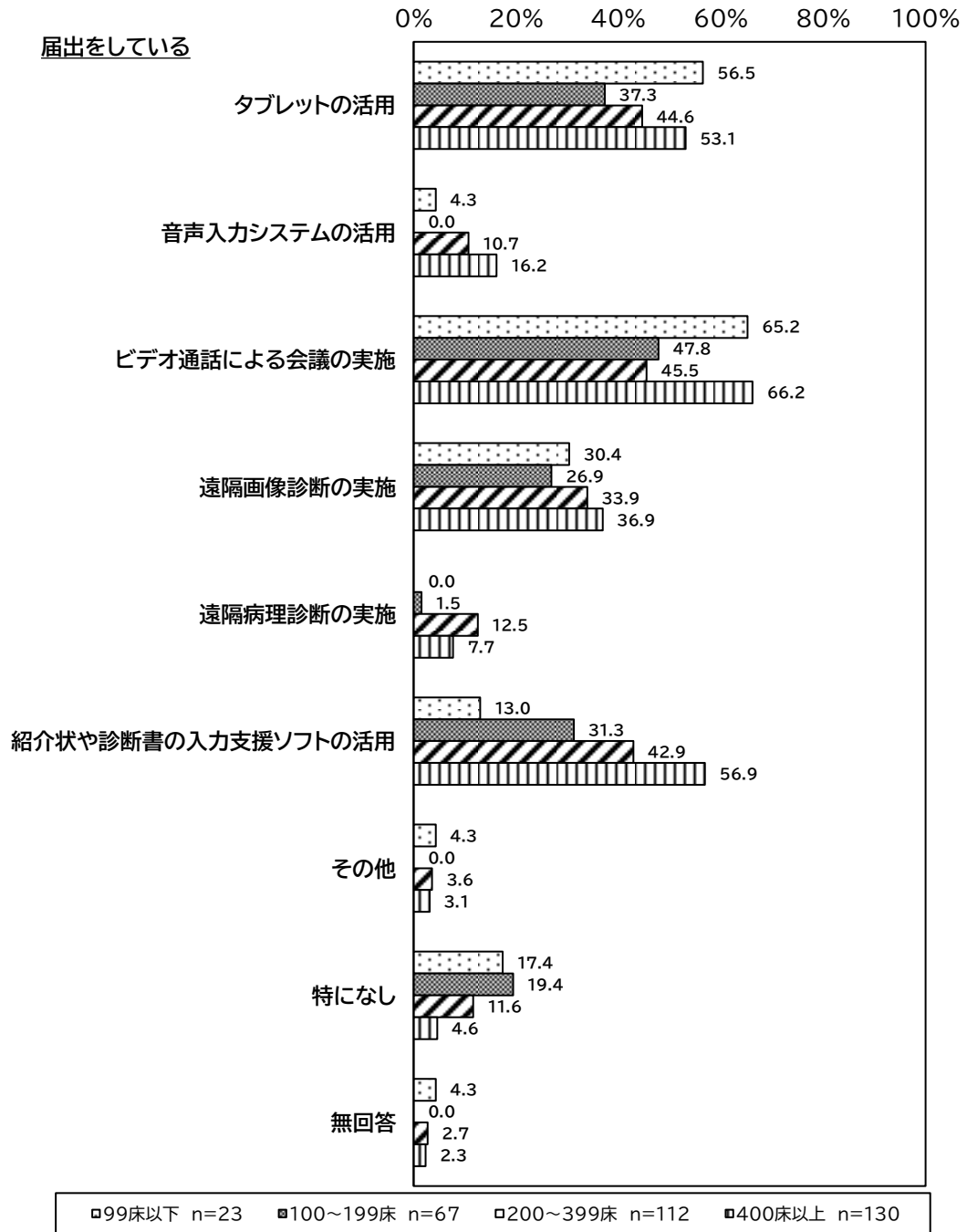
図表 2-473 ICT を活用した業務の見直し・省力化のためにやっている取組
(複数回答)

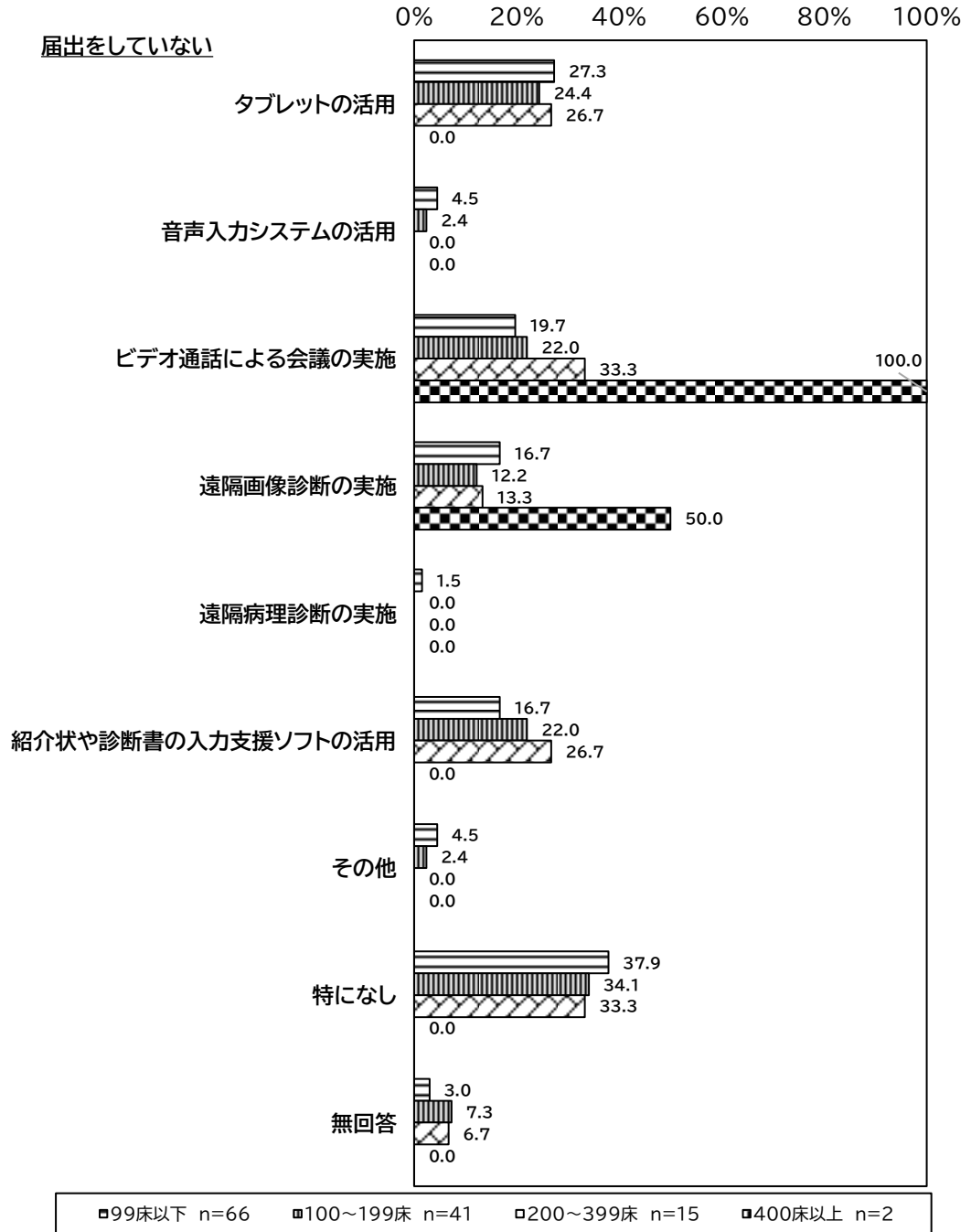


図表 2-474 ICT を活用した業務の見直し・省力化のためにしている取組
 (複数回答) (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



図表 2-475 ICT を活用した業務の見直し・省力化のためにやっている取組
 (複数回答) (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)

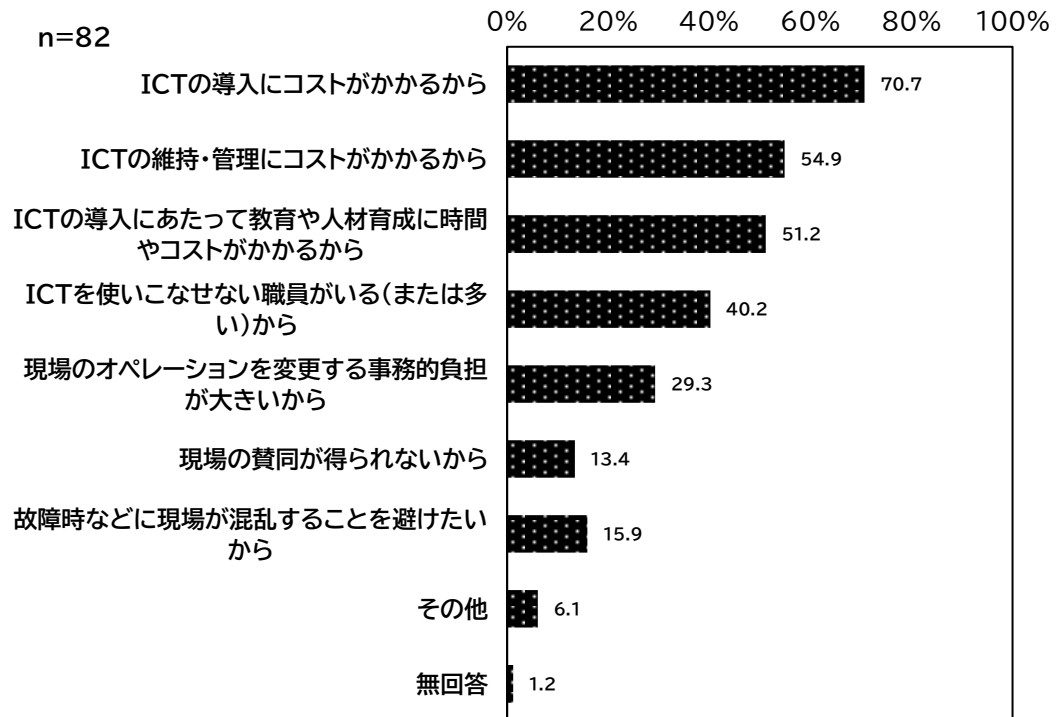




②-1 ICT を活用していない理由
 (②で「特になし」と回答した場合)

ICT を活用していない場合の理由で最も多かったものは「ICT の導入にコストがかかるから」(70.7%)であった。

図表 2-476 ICT を活用していない理由(複数回答)

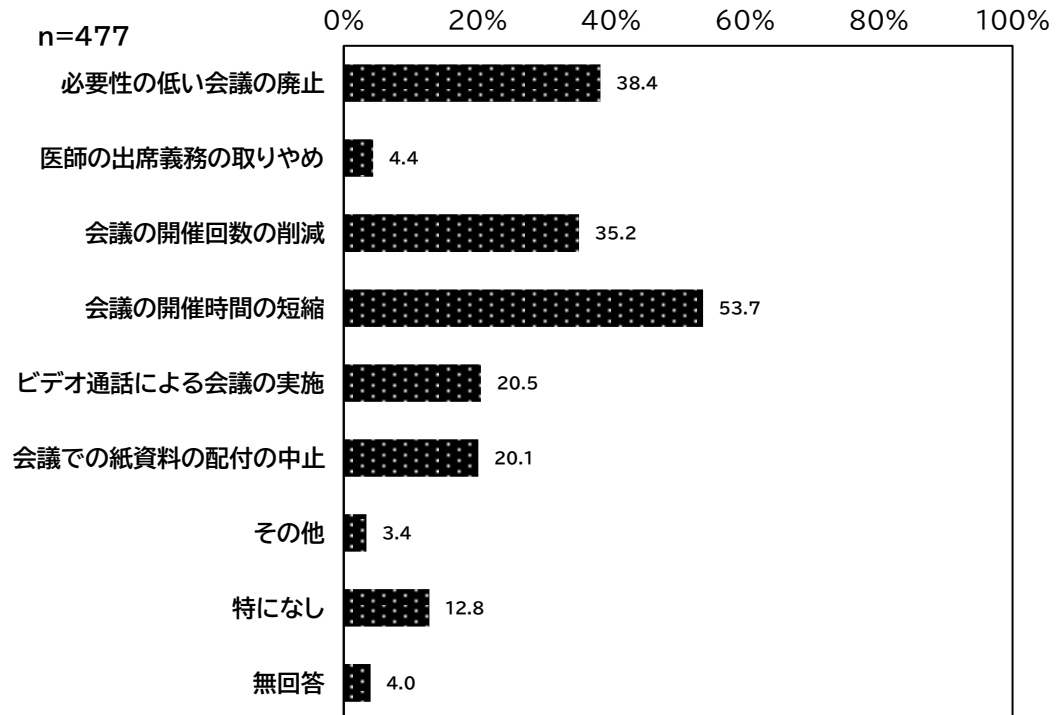


③ 院内の会議に関する負担軽減のための取組

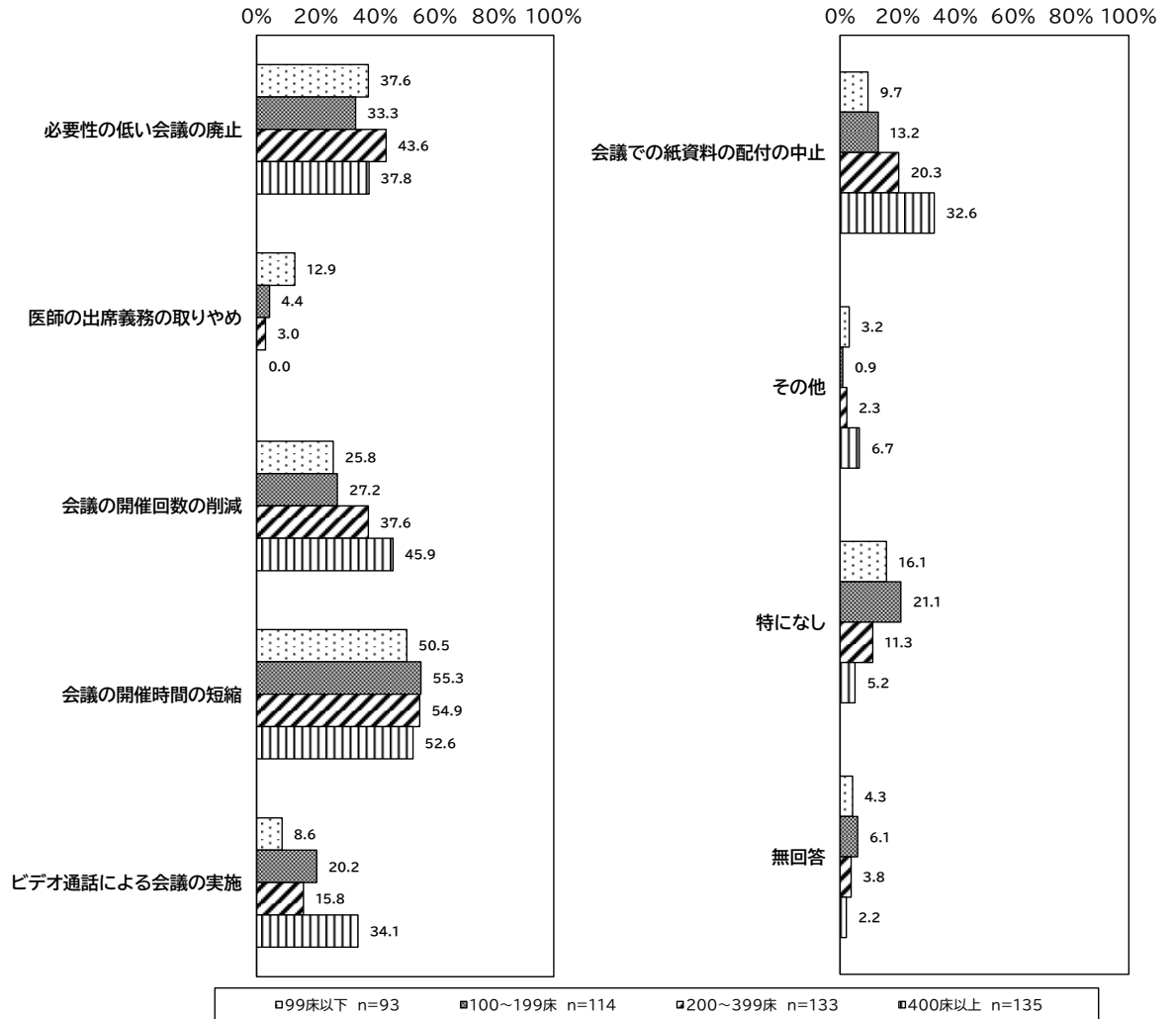
院内の会議に関する負担軽減のための取組で最も多かったものは「会議開催時間の短縮」（53.7%）であった。

なお、「その他」には、「共通の会議を統合し、回数を削減」、「電子会議、メール会議の開催」、「時間外会議の削減」、「会議メンバーの削減」等の回答があった。

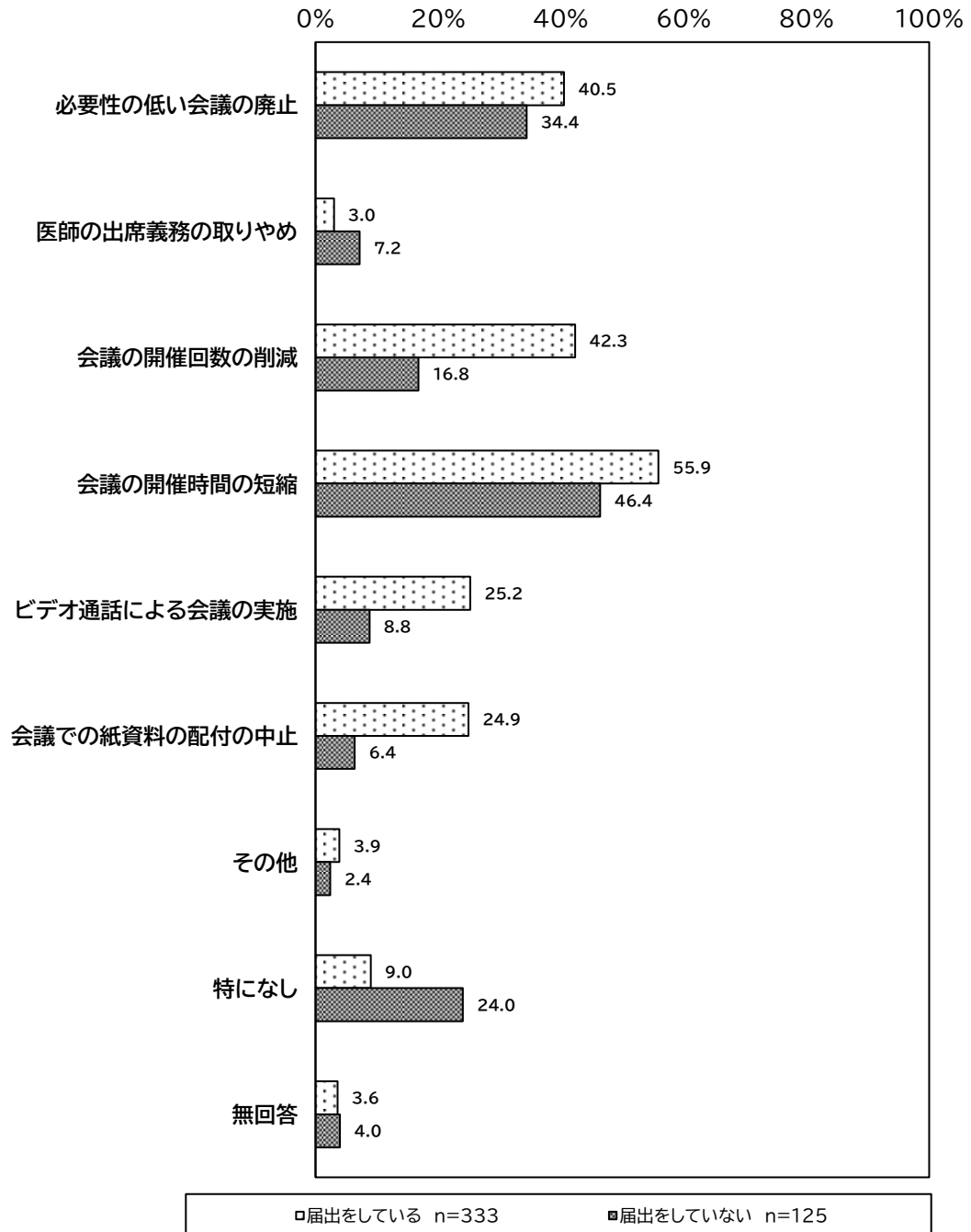
図表 2-477 院内の会議に関する負担軽減のための取組（複数回答）



図表 2-478 院内の会議に関する負担軽減のための取組（複数回答）
（病床規模別）



図表 2-479 院内の会議に関する負担軽減のための取組（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



④ ビデオ通話を活用している具体的な場面（自由回答）

（③で「ビデオ通話による会議の実施」を選んだ場合のみ集計）

ビデオ通話を活用している具体的な場面としては以下のような回答があった。

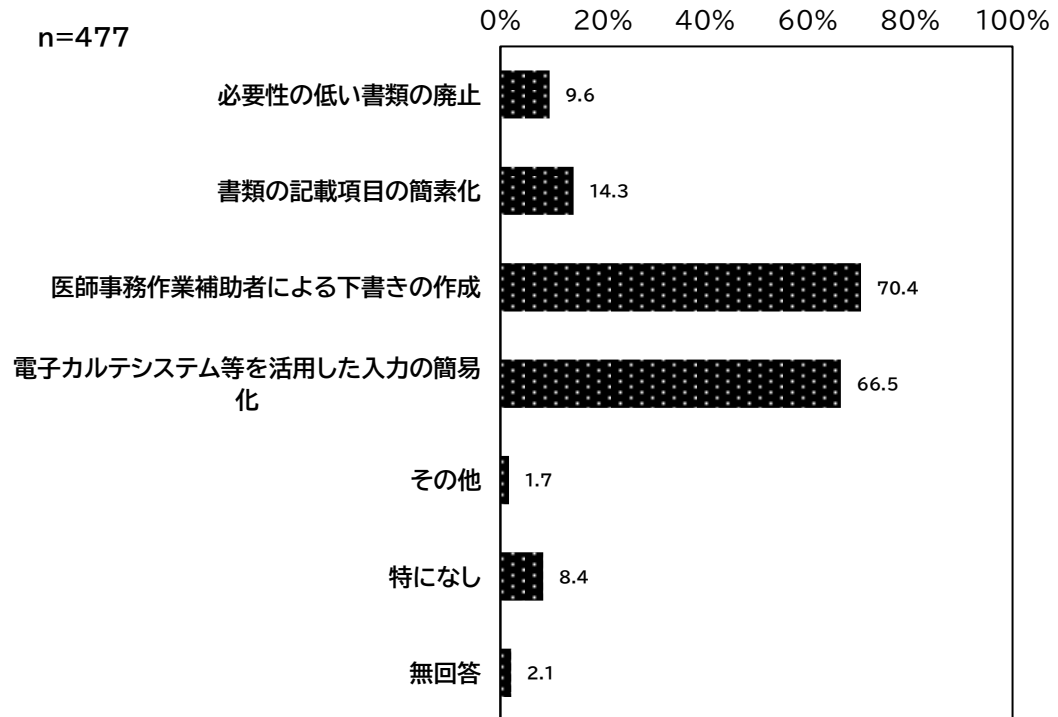
他施設・他拠点との会議、委員会
複数の団体が参加する会議、研修
参加人数が多数となる会議、研修
遠隔地との会議、研修
施設外にいる職員が参加する場合
新型コロナウイルス感染症対策として必要と考える場合

⑤ 医師の書類作成に関する負担軽減のための取組

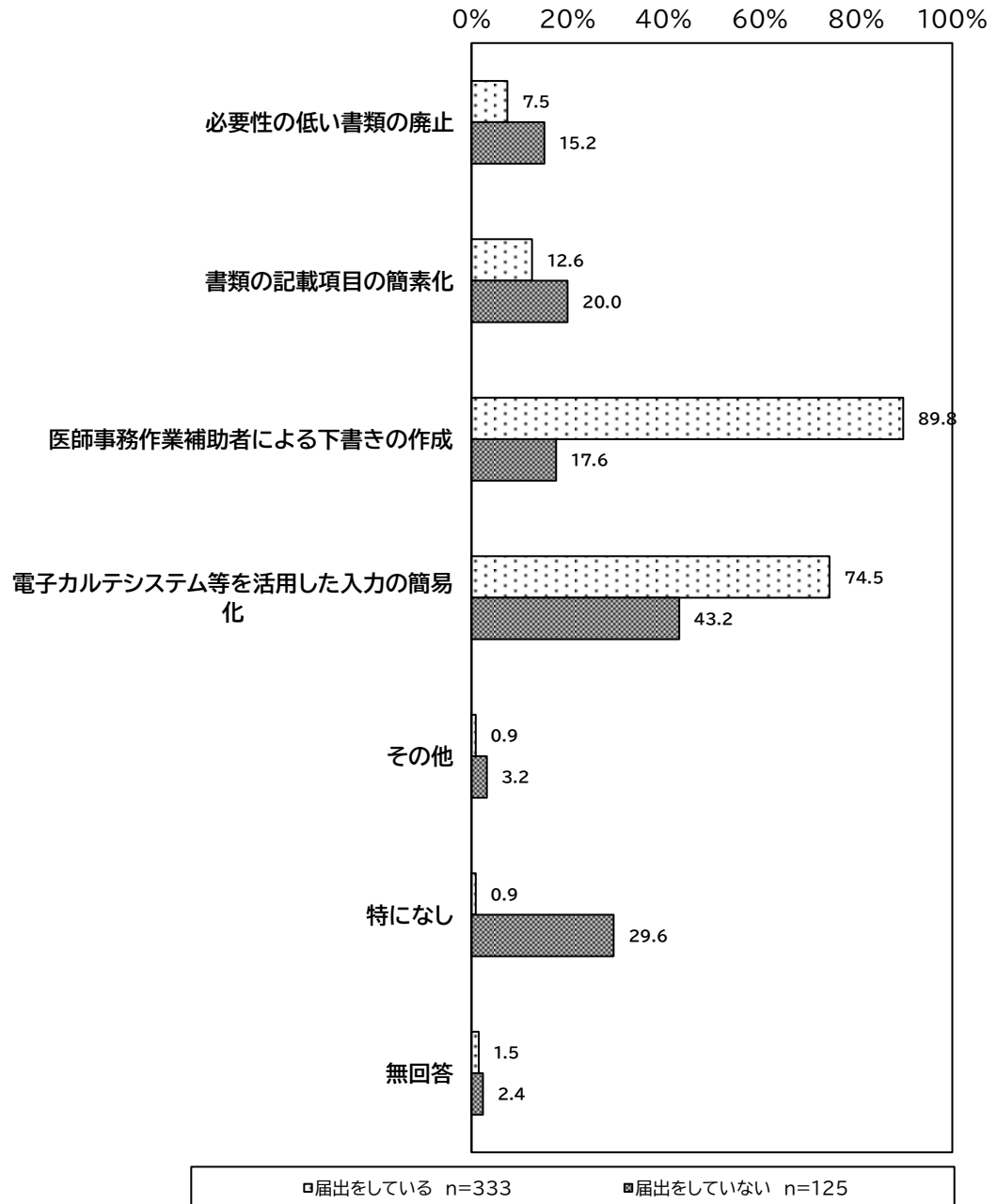
医師の書類作成に関する負担軽減のための取組で最も多かったものは「医師事務作業補助者による下書きの作成」（70.4%）であった。

なお、「その他」には「事務による下書きや処理の実施」等の回答があった。

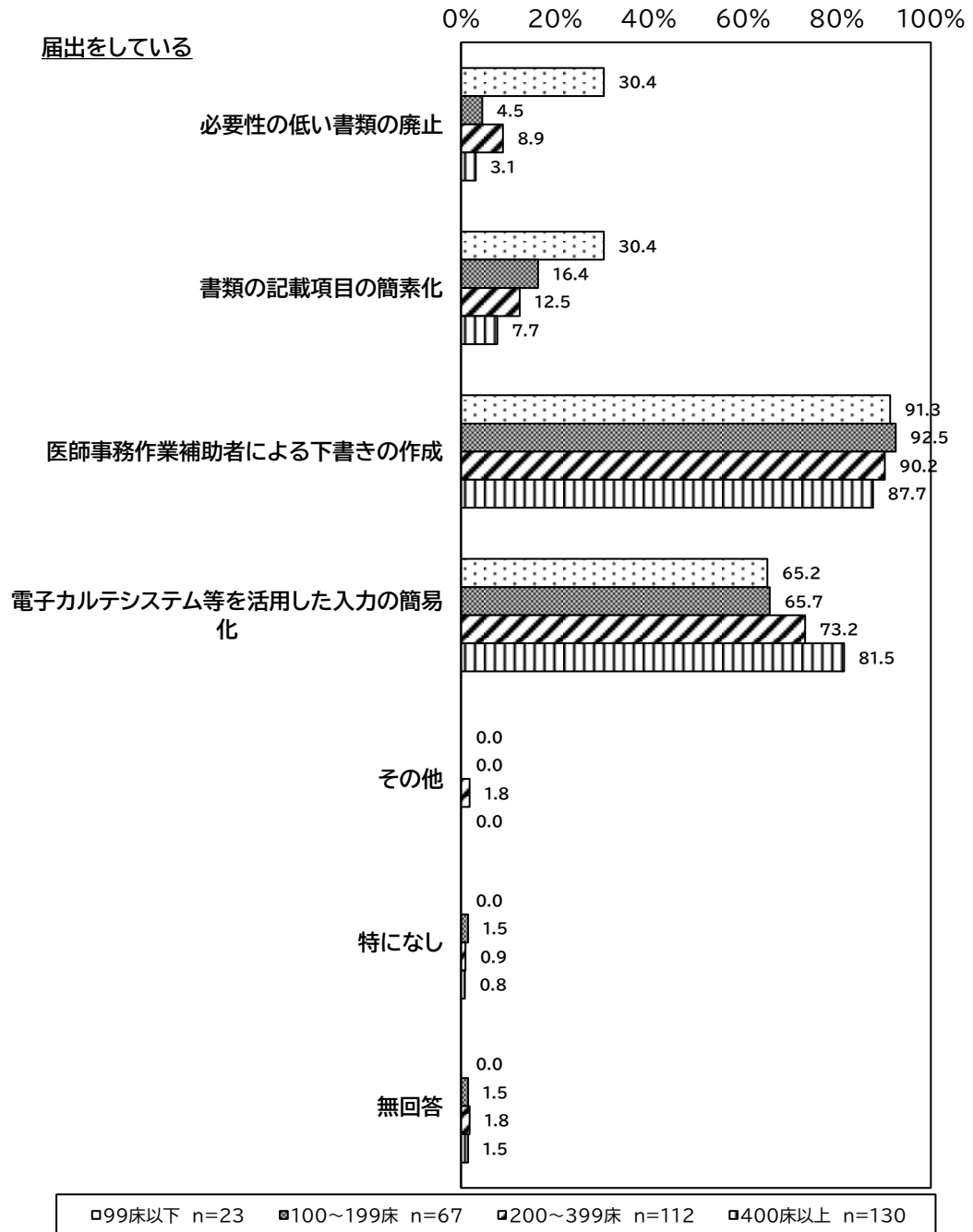
図表 2-480 医師の書類作成に関する負担軽減のための取組（複数回答）

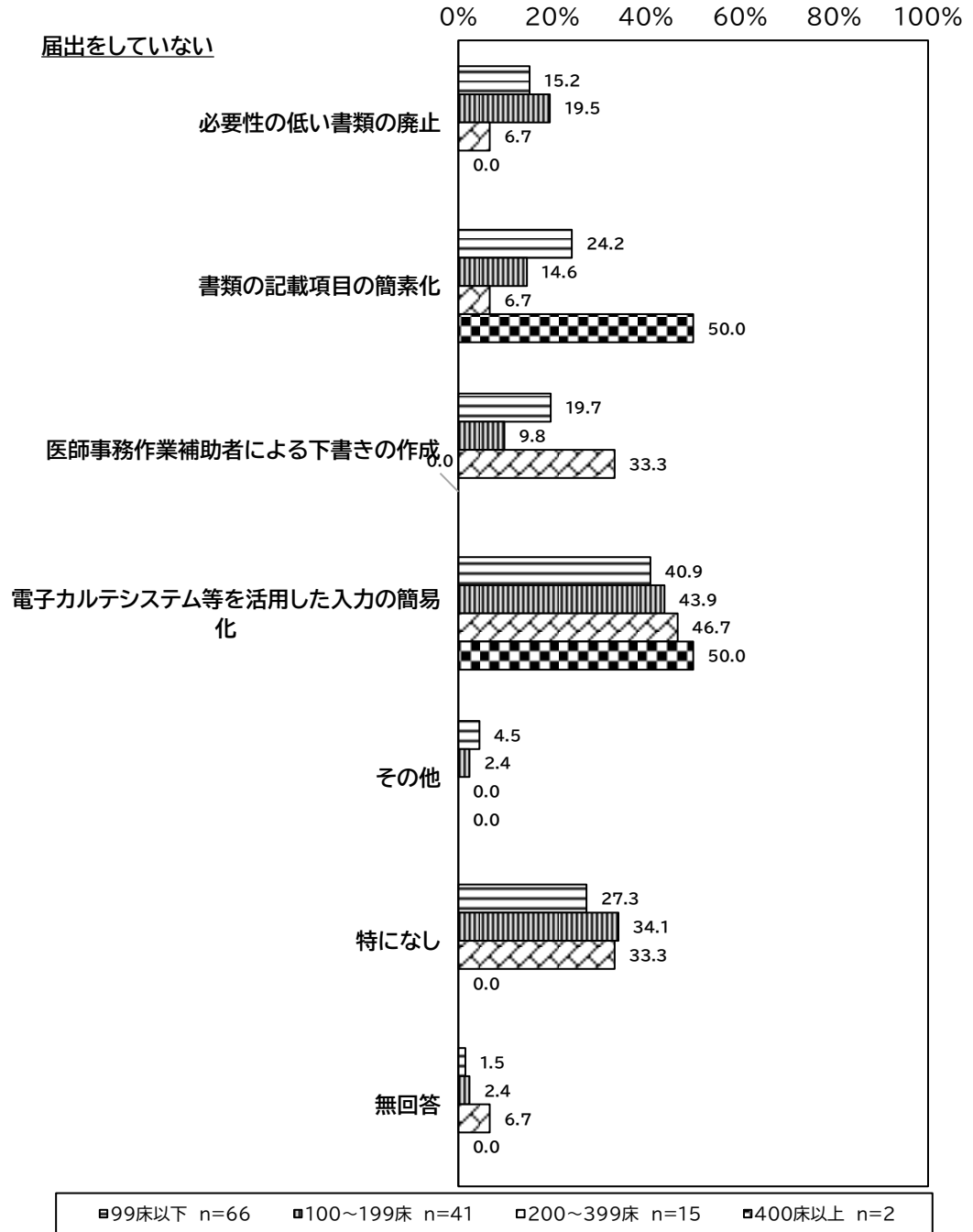


図表 2-481 医師の書類作成に関する負担軽減のための取組（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



図表 2-482 医師の書類作成に関する負担軽減のための取組（複数回答）
 （医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）

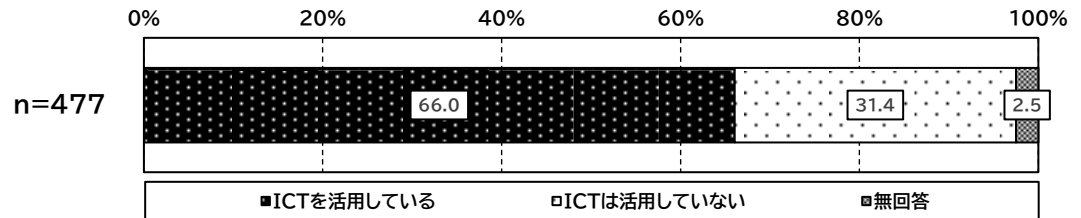




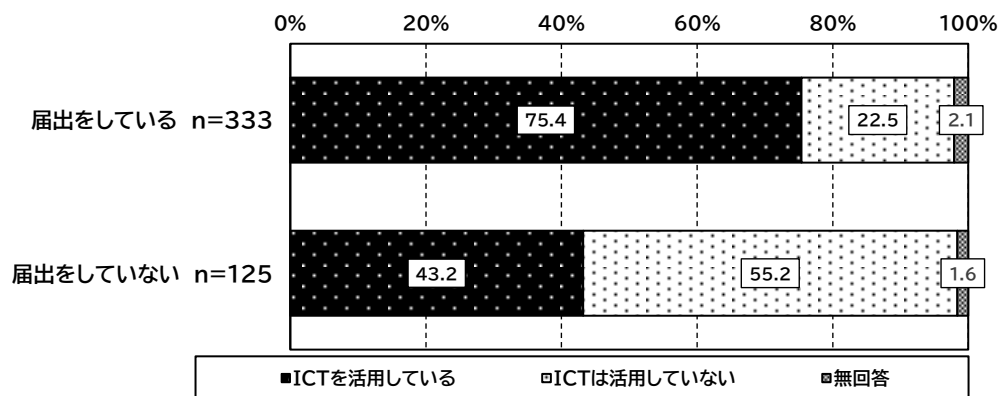
⑥ 他の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うための ICT（情報通信技術）の活用状況

他の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うための ICT（情報通信技術）の活用状況で最も多かったものは「ICTを活用している」（66.0%）であった。

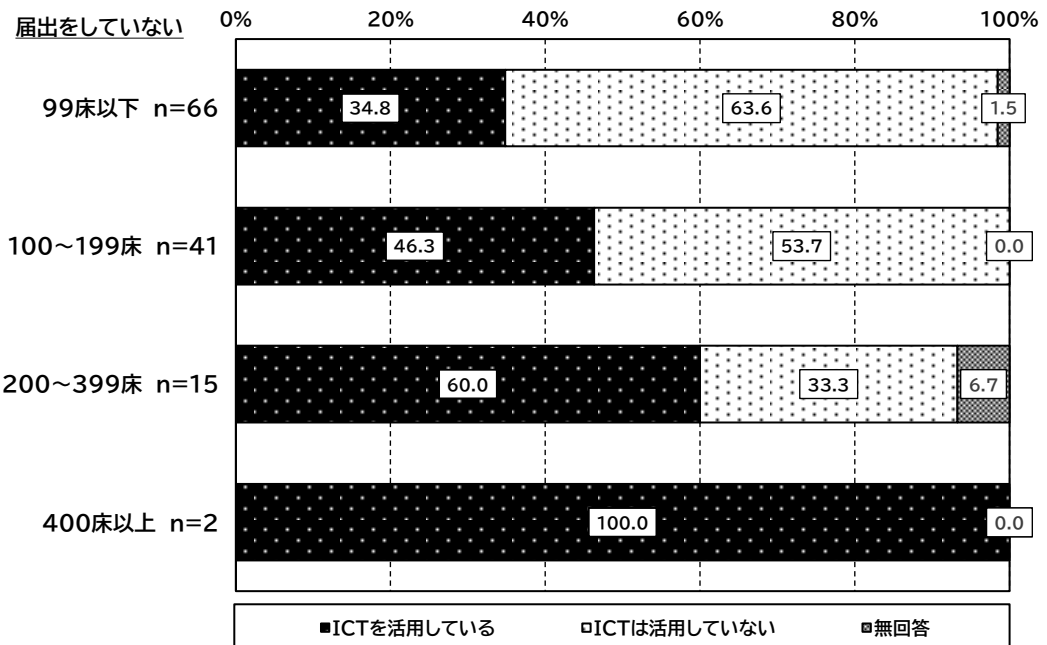
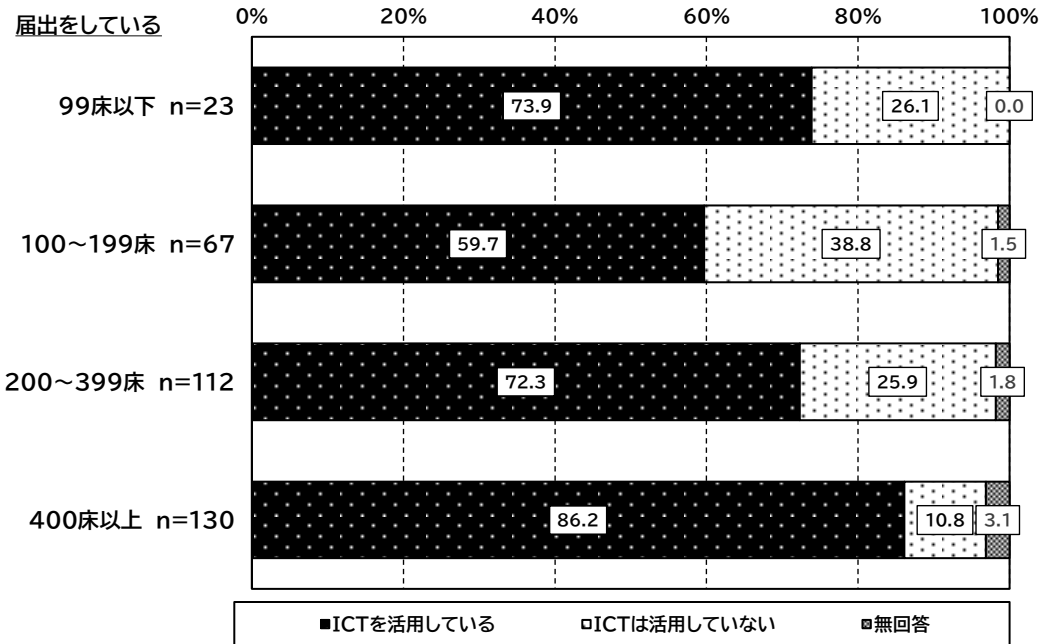
図表 2-483 情報共有・連携を行うための ICT の活用状況



図表 2-484 情報共有・連携を行うための ICT の活用状況
(医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



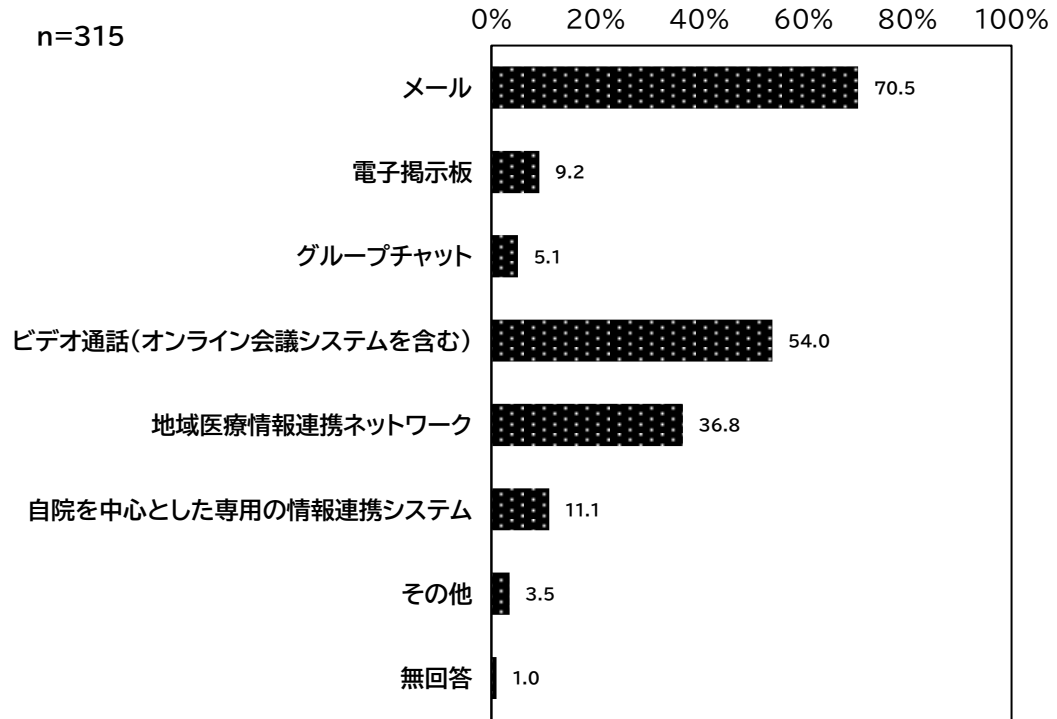
図表 2-485 情報共有・連携を行うための ICT の活用状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



【⑥で「ICT を活用している」と回答した場合】

図表 2-486 活用している ICT の種類（複数回答）

ICT を活用している場合、活用している ICT の種類で最も多かったものは、「メール」（70.5%）であった。

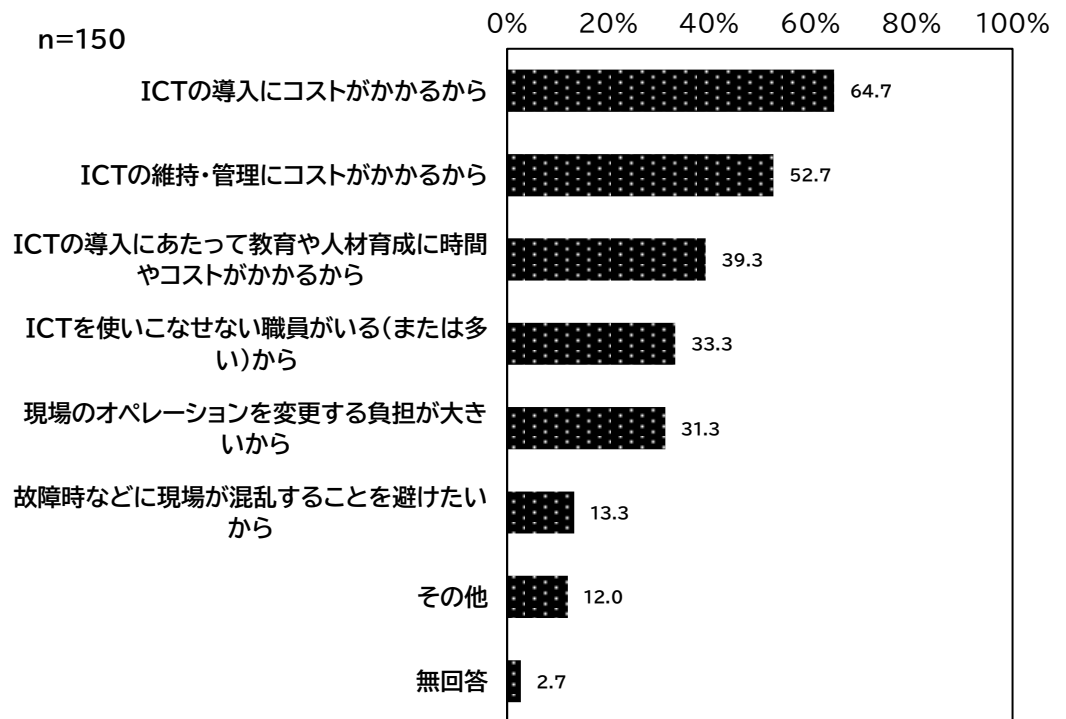


⑥-1 ICT を活用していない理由

(⑥で「ICT は活用していない」と回答した場合)

ICT を活用していない場合の理由で最も多かったものは「ICT の導入にコストがかかるから」(64.7%)であった。

図表 2-487 ICT を活用していない理由(複数回答)

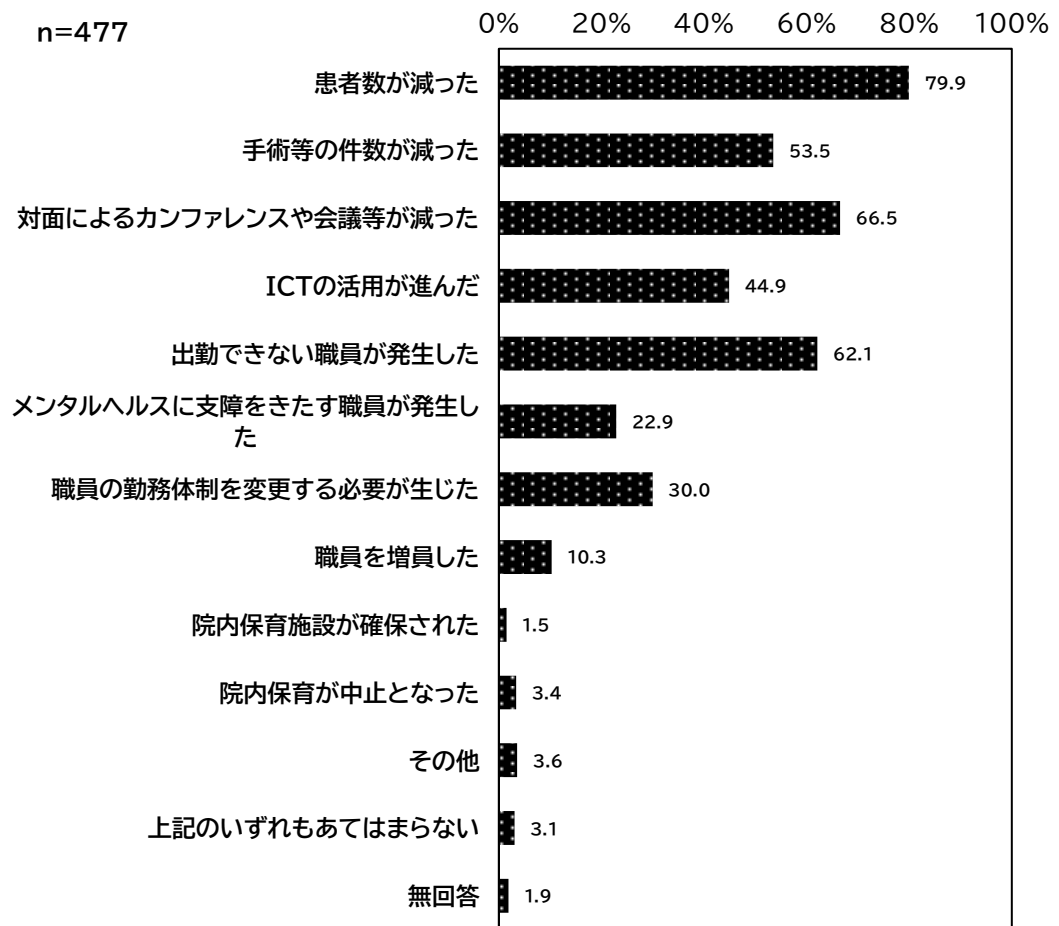


(9) 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ・施設における影響等

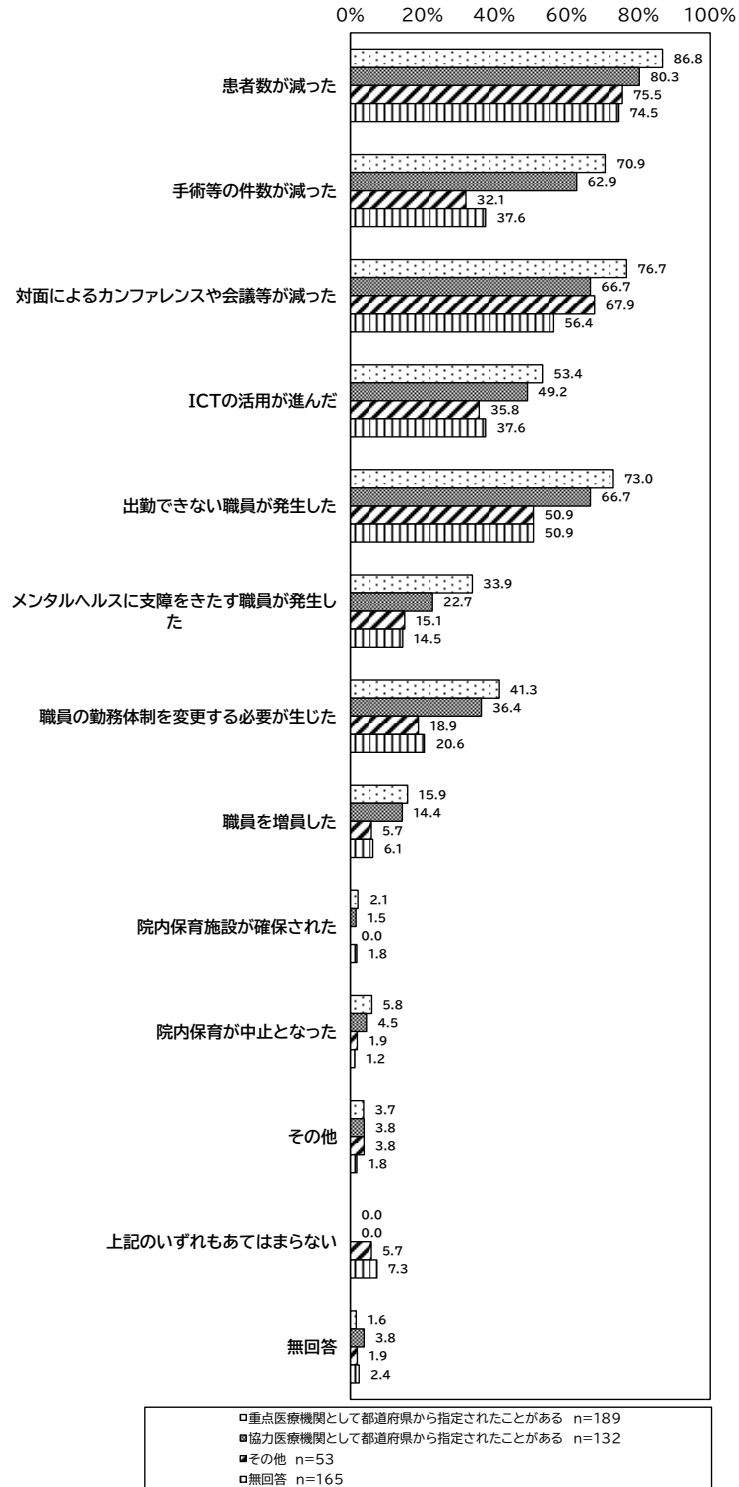
① 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響

新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響で最も多かったものは「患者数が減った」(79.9%)、次いで「対面によるカンファレンスや会議等が減った」(66.5%)であった。

図表 2-488 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響
(複数回答)

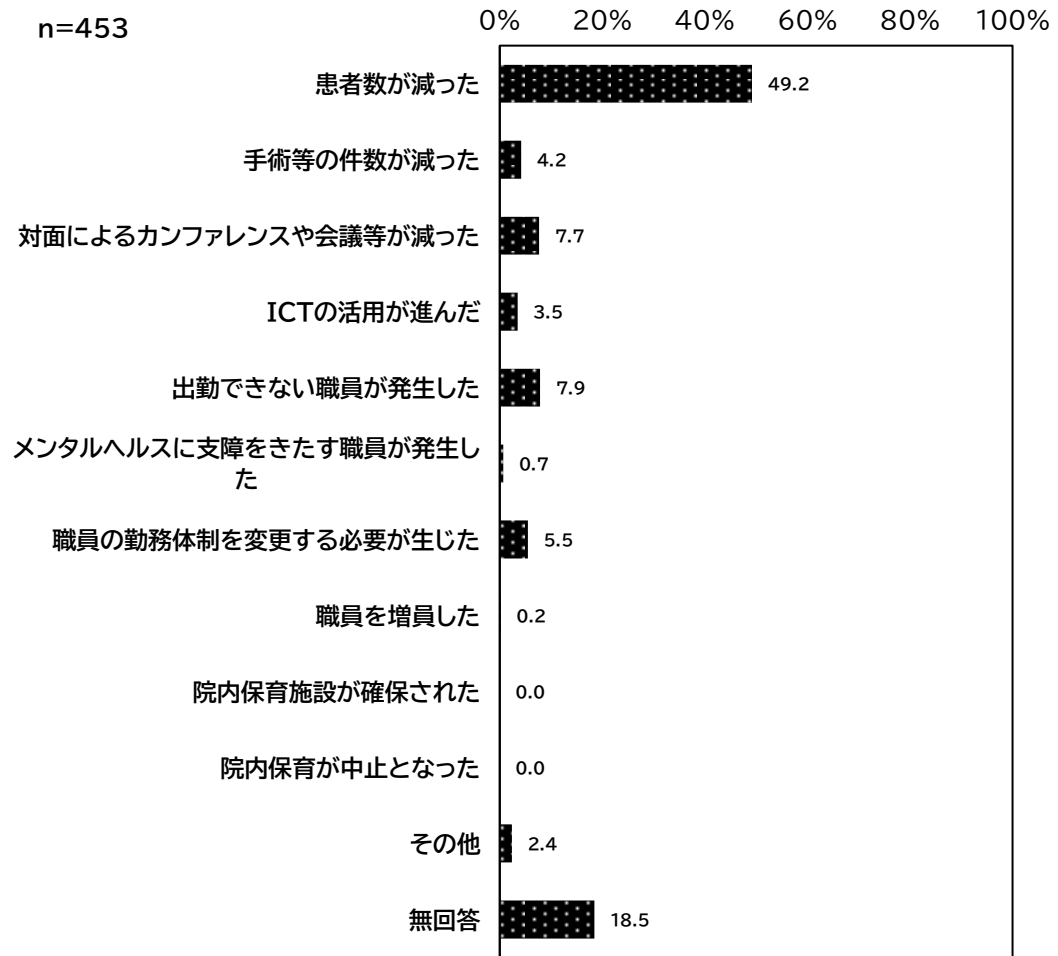


図表 2-489 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響
 (複数回答) (新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

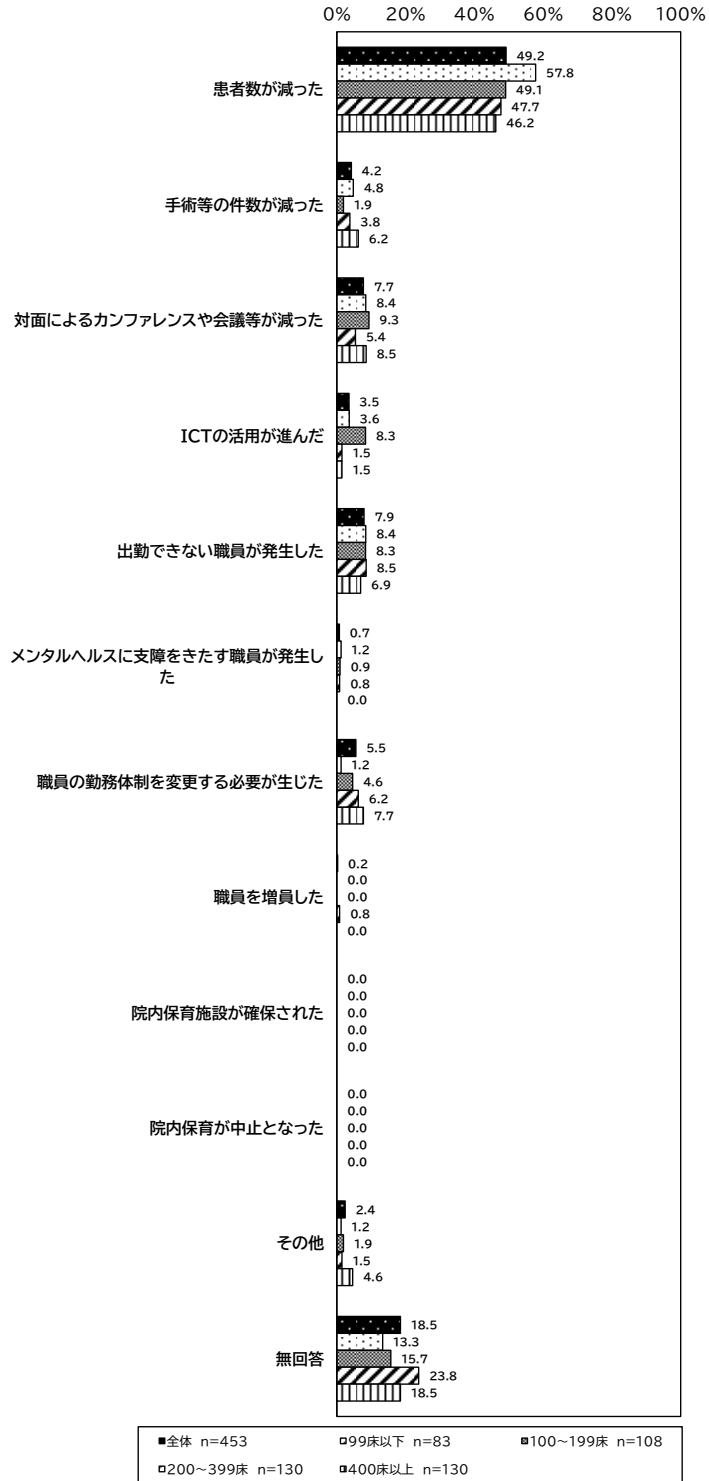


新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響のうち最も大きいもので最も多かったものは「患者数が減った」（49.2%）であった。

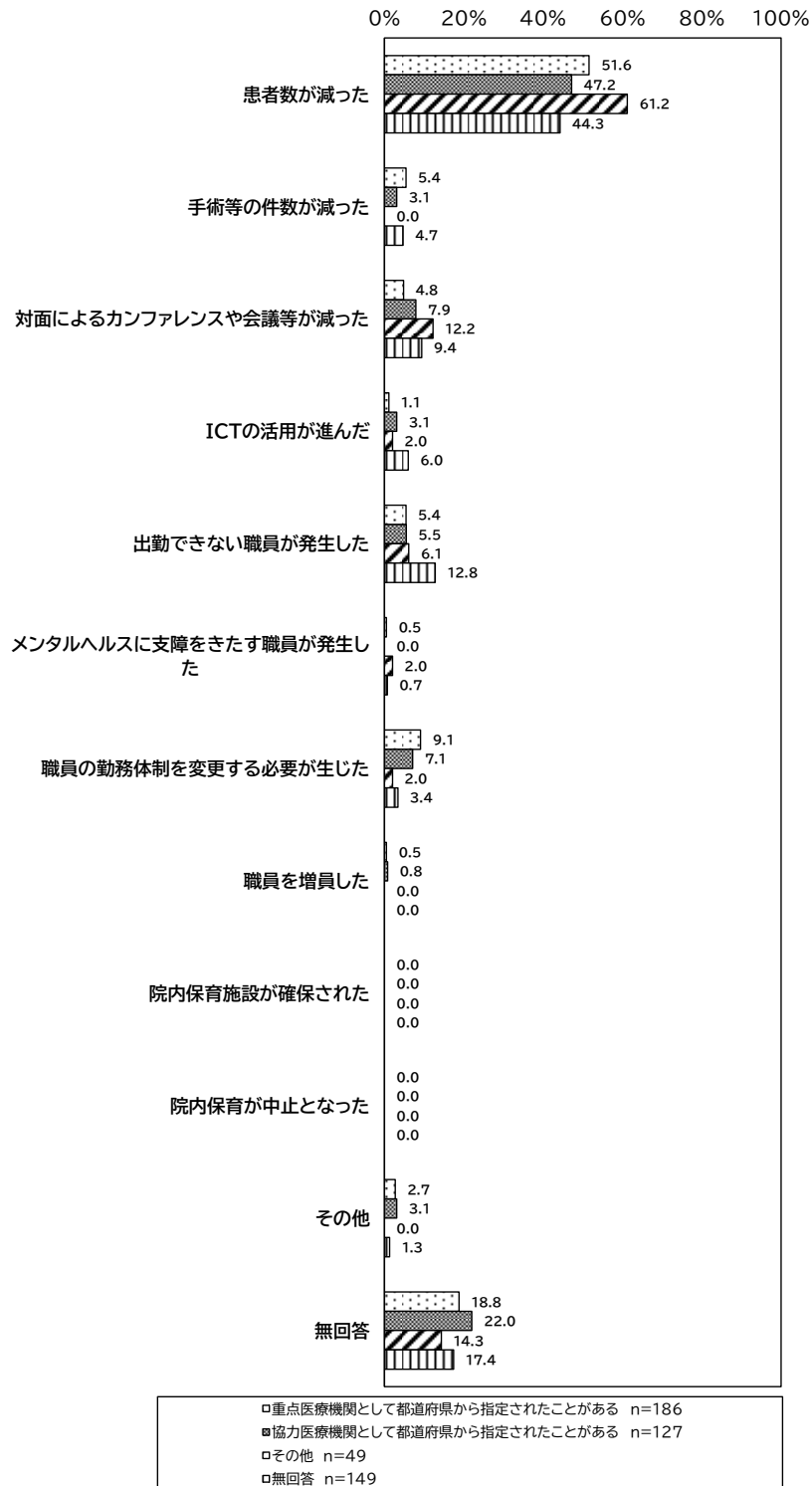
図表 2-490 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響のうち、最も大きいもの



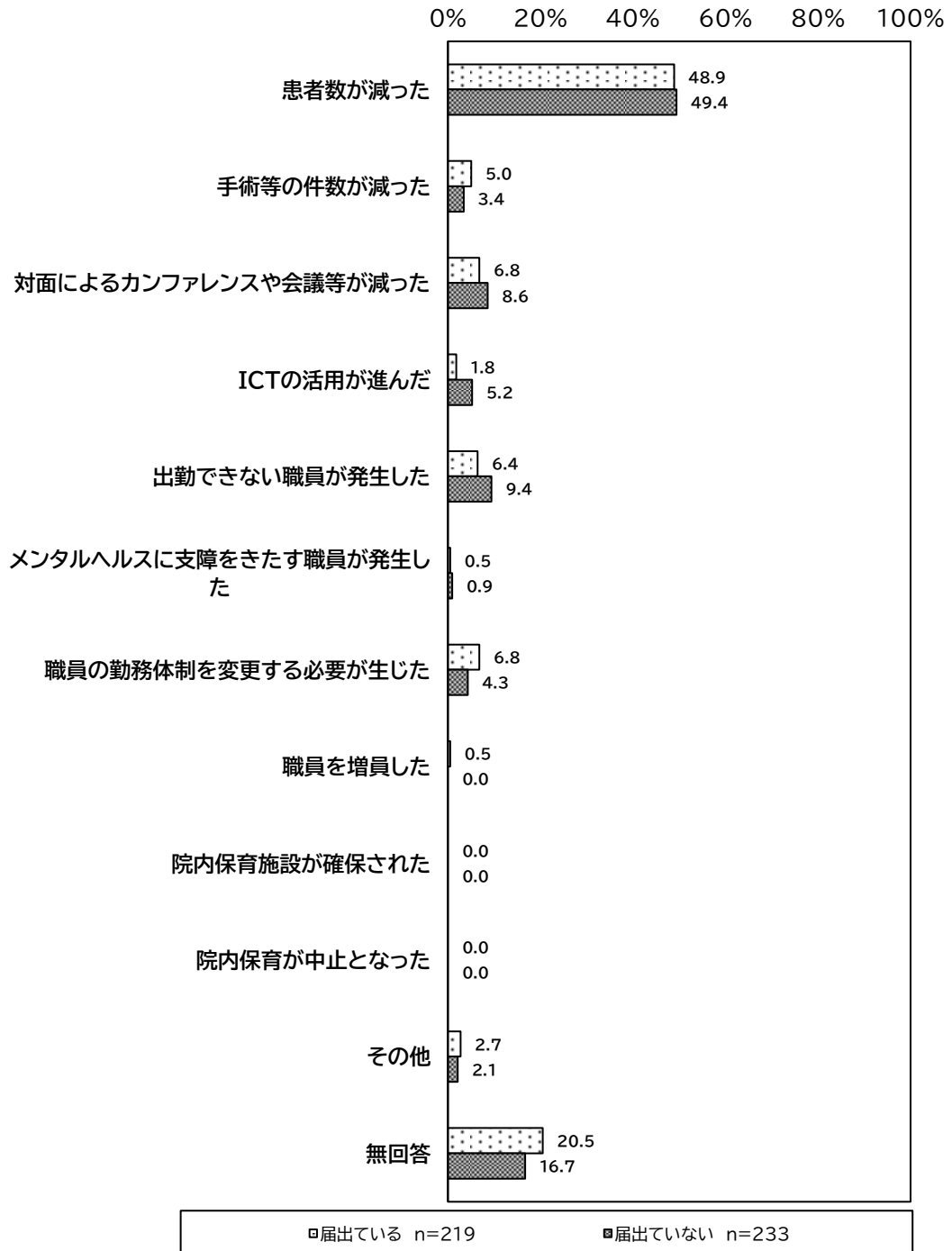
図表 2-491 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響のうち、最も大きいもの（病床規模別）



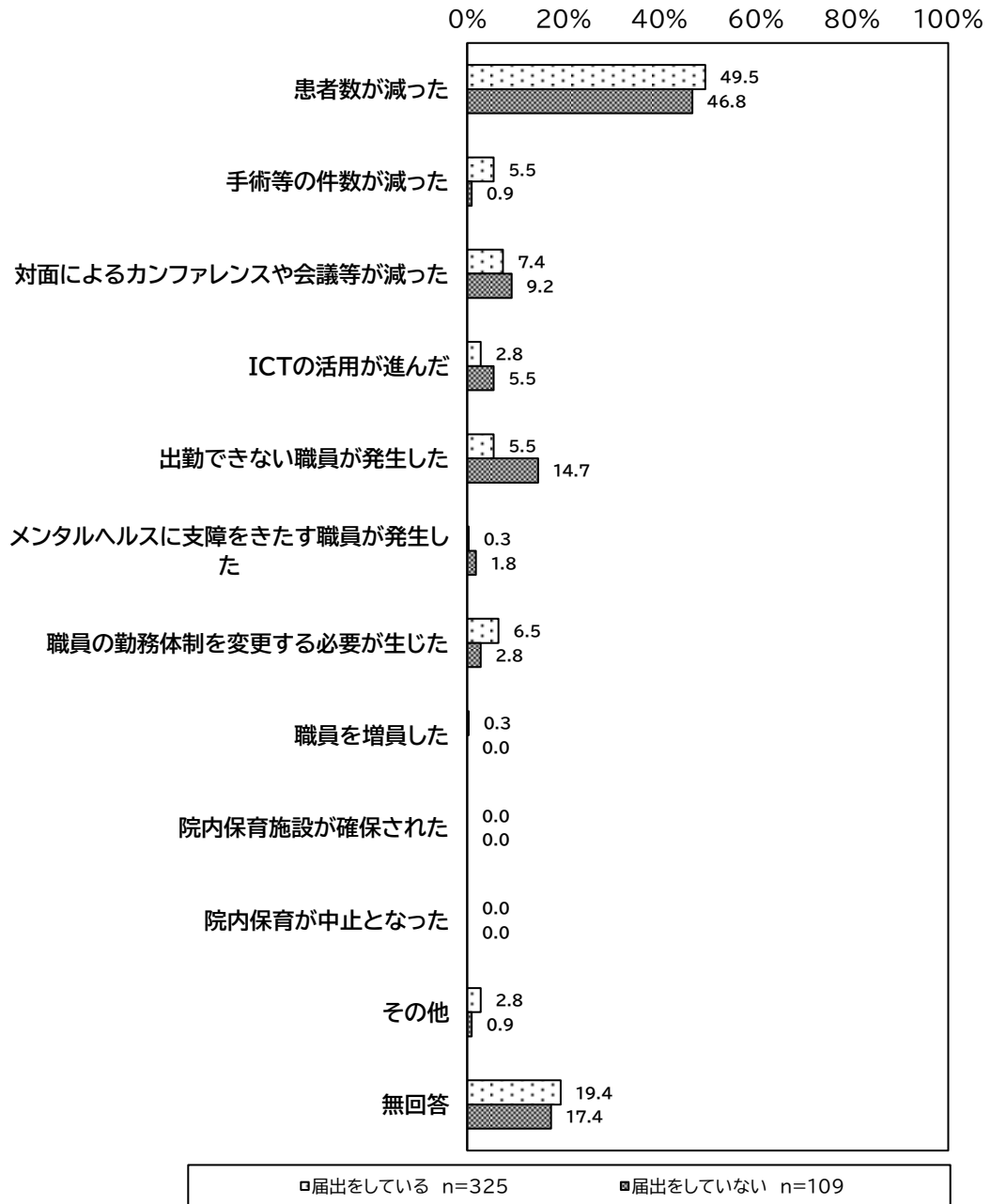
図表 2-492 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方影響のうち、最も大きいもの（新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別）



図表 2-493 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響のうち、最も大きいもの（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



図表 2-494 新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響のうち、最も大きいもの（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

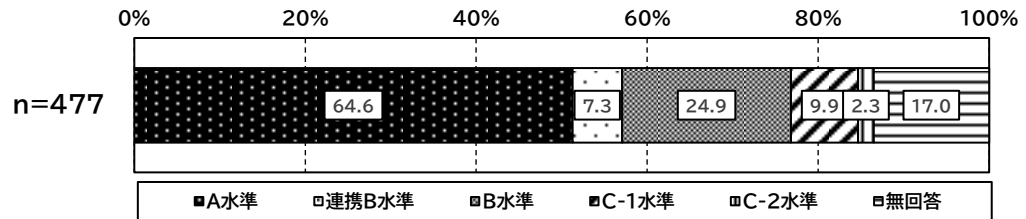


(10) 医師の働き方改革に関する取組等

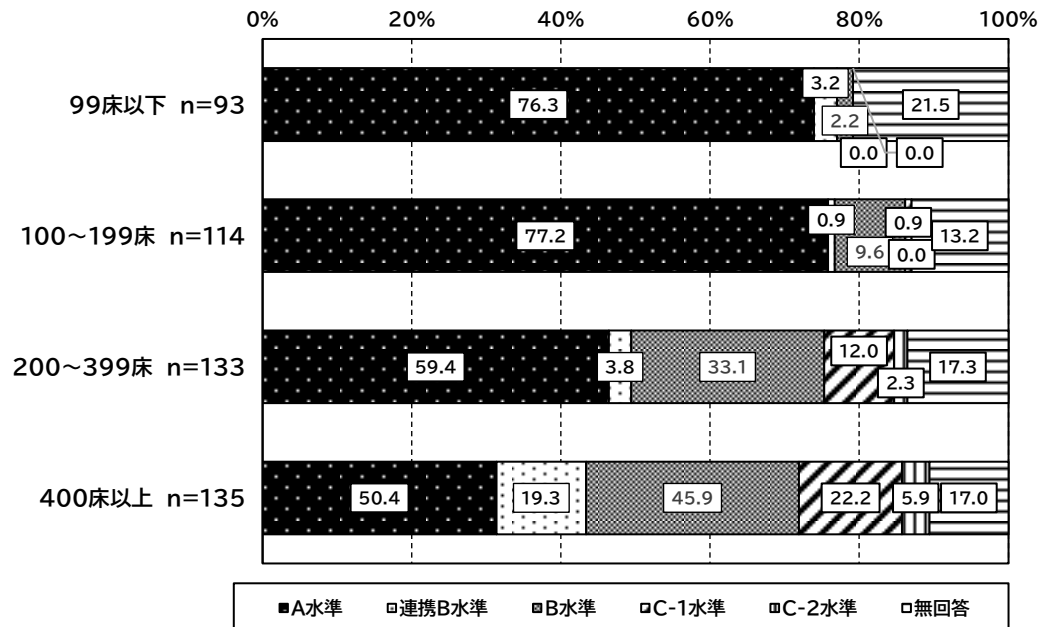
① 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準

医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準で最も多かったものは「A水準」(64.6%)であった。

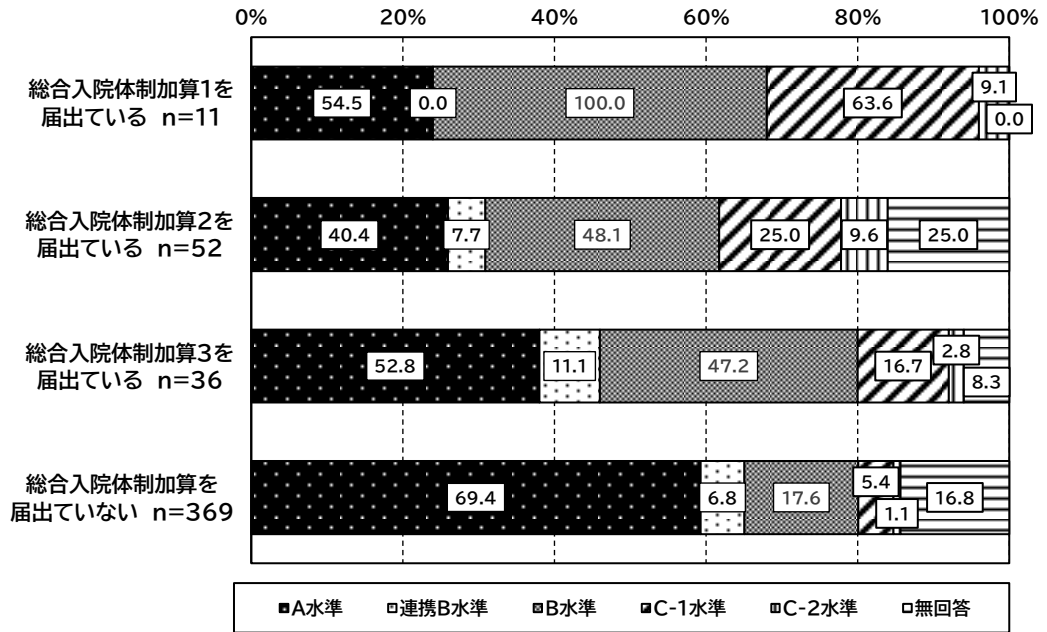
図表 2-495 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準



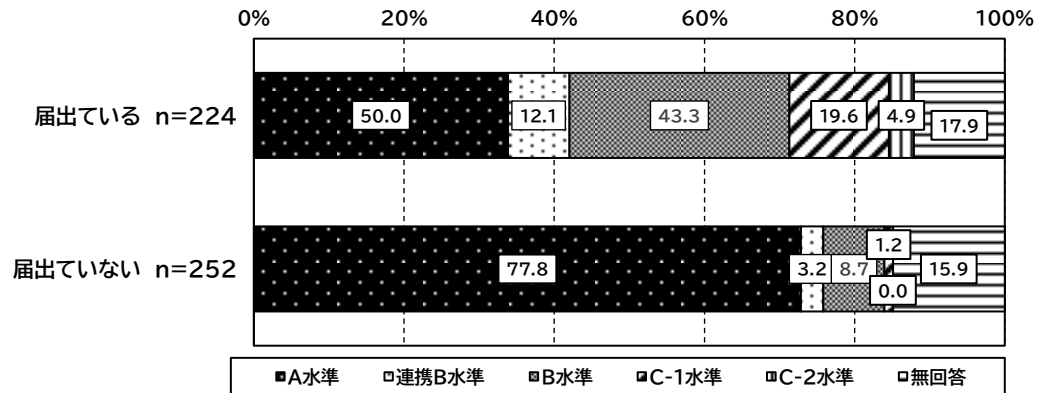
図表 2-496 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
(病床規模別)



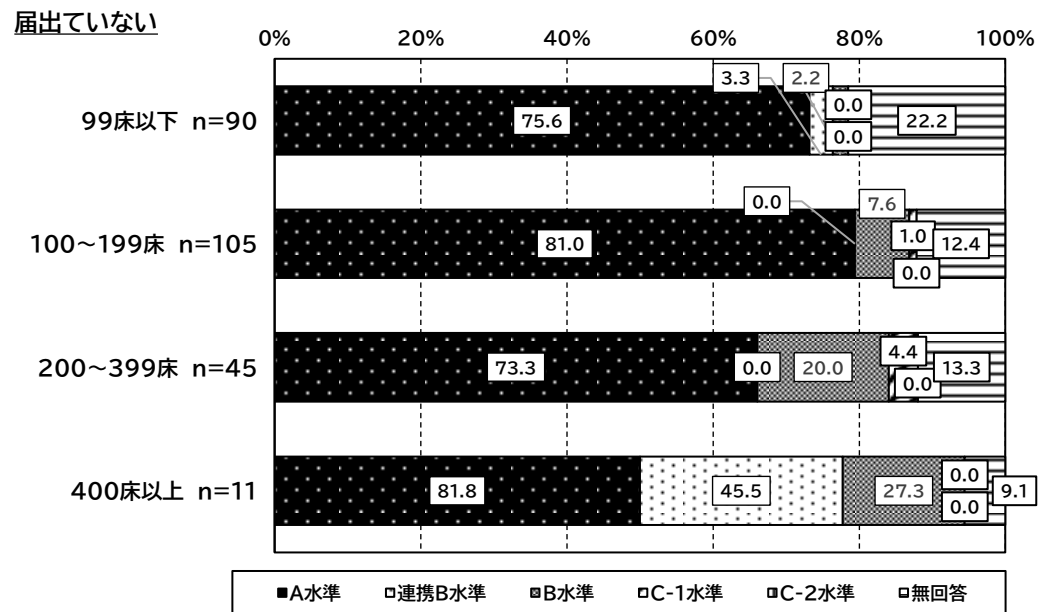
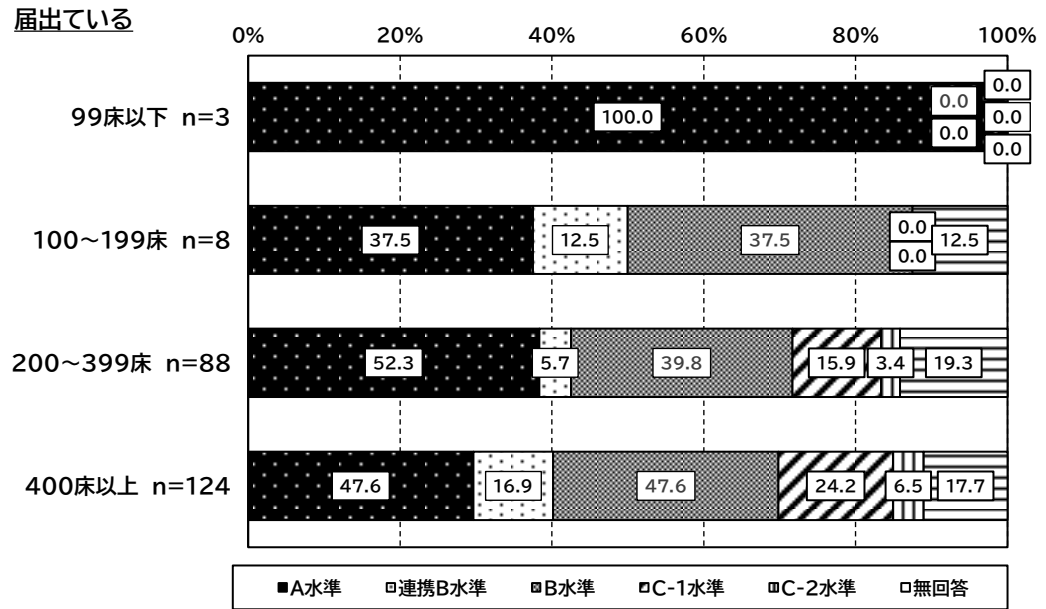
図表 2-497 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
(総合入院体制加算別)



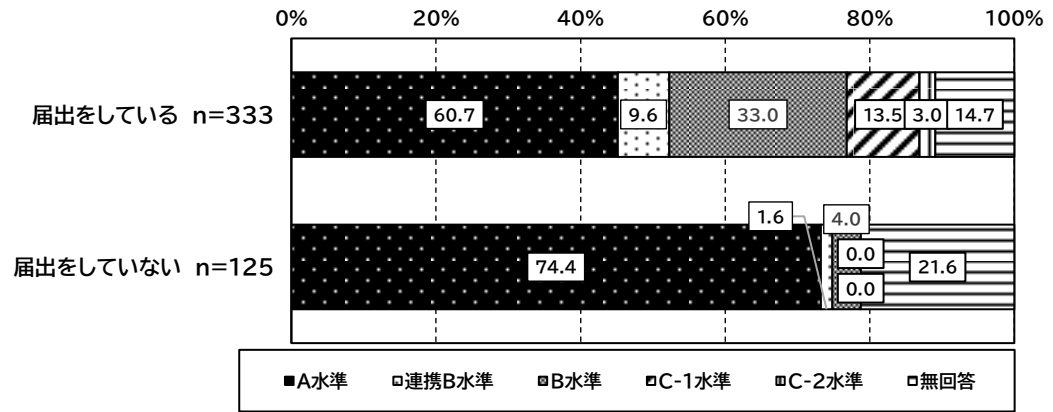
図表 2-498 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
(地域医療体制確保加算の届出の有無別)



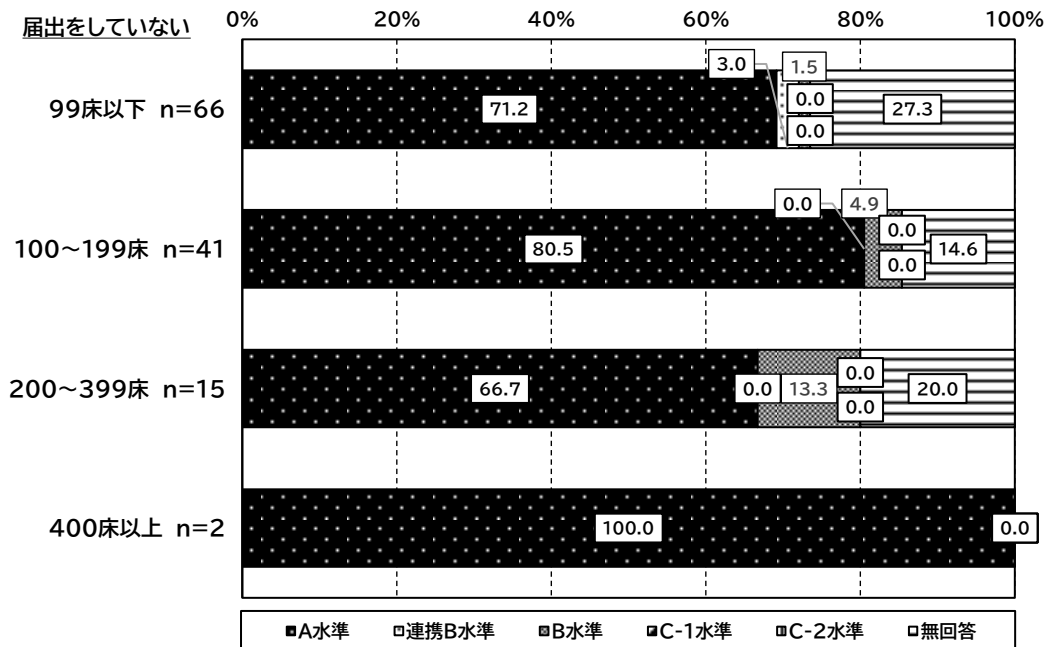
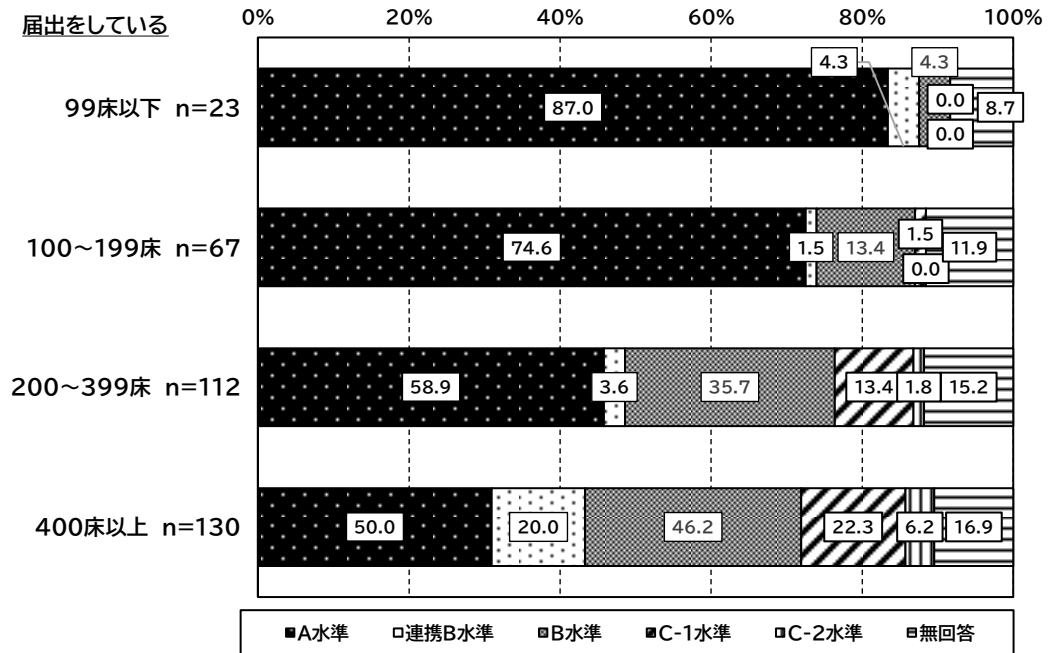
図表 2-499 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
 (地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別)



図表 2-500 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別)



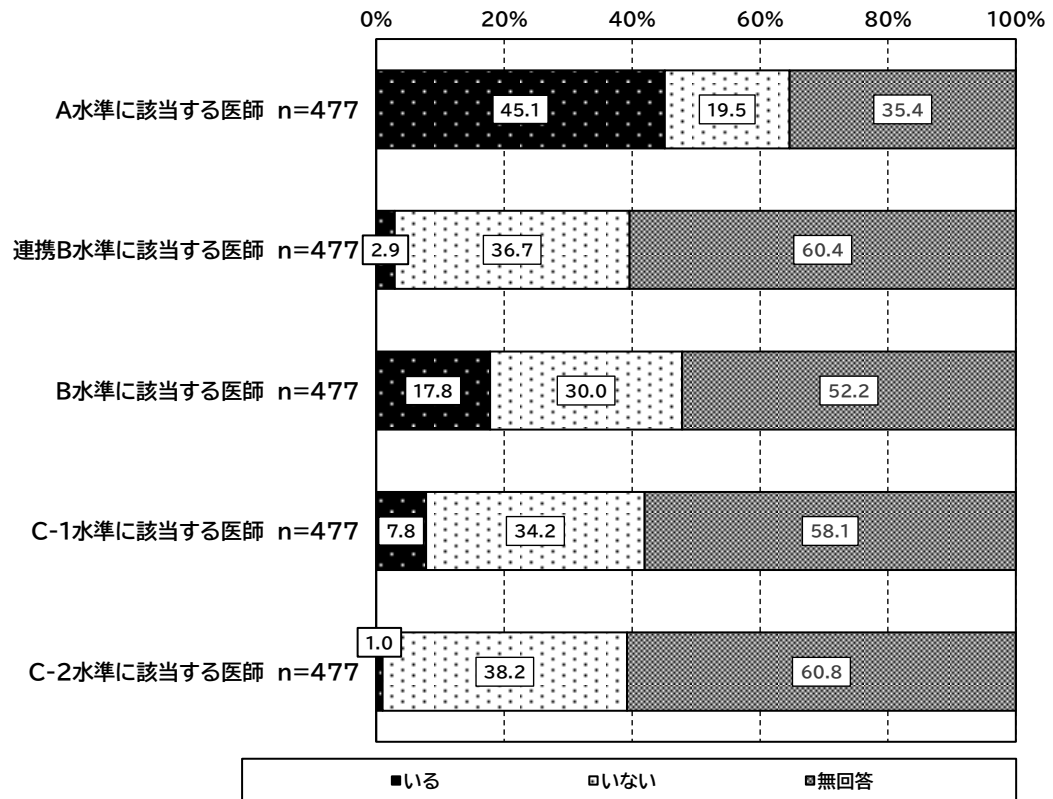
図表 2-501 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
 (医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別)



② 各水準に該当する医師の有無と人数

各水準に該当する医師の有無と人数については、以下のとおりであった。

図表 2-502 各水準に該当する医師の有無



図表 2-503 各水準に該当する医師の人数

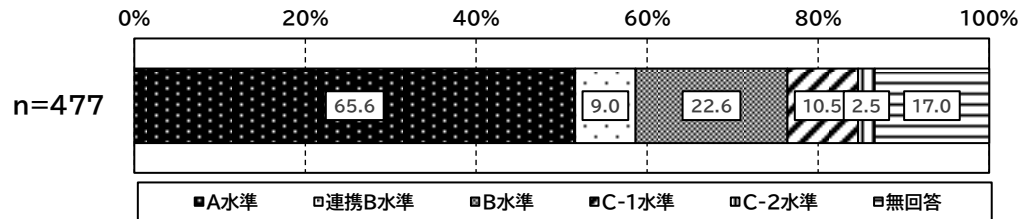
(単位：人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
A水準に該当する医師	n=215	52.0	79.1	16.0
連携B水準に該当する医師	n=14	99.0	205.1	22.0
B水準に該当する医師	n=85	26.5	41.5	8.0
C-1水準に該当する医師	n=37	25.2	26.5	12.0
C-2水準に該当する医師	n=5	10.4	12.8	4.0

③ 2024年4月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準

2024年4月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準で最も多かったものは「A水準」（65.6%）であった。

図表 2-504 2024年4月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準



④ 医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等に関する意見
(自由回答)

人材供給に関する意見
医師、看護師の絶対数の増加をのぞむ
看護補助者の人材確保難がネックとなっている
人材の偏在対策、確保支援策をのぞむ
負担軽減策について、変形労働制を取るための医師の確保をのぞむ
チーム医療の推進について、特定の看護師や、タスクシフティングできる人材の確保をのぞむ
人材確保のための予算に関する意見
ワークライフバランス、チーム医療の実践のための人件費をまかなえる点数増をのぞむ
介護施設の処遇改善加算のような、給与面で国の補助をのぞむ
個別の報酬に関する意見
地域医療を守るために必要な、医師が不足している地域に大病院が医師を派遣する仕組みのための施設基準上の常勤要件の緩和をのぞむ
人工呼吸器や補助循環装置をつけた患者の院外搬送時に、臨床工学技士が搬送車両に同乗することに対し、報酬の新設をのぞむ
医療事務作業補助者の業務内容によって点数（報酬）が変化する仕組みもあつていいのではないかと（カルテ代行入力などは高いスキルが必要）
その他の意見
多数あるアンケートや調査の回答負担低減
医師、看護師だけでなく、事務員の負担削減

3. 医師票

【調査対象等】

調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する医師 1 施設につき 4 名。
 （調査対象病院に 1 年以上勤務する常勤医師（年齢：34 歳以下、35 歳以上 44 歳以下、45 歳以上 54 歳以下、55 歳以上から各 1 名。診療科：外科系、内科系、その他の診療科から各 1 名以上）を対象）

回答数：1,209 名

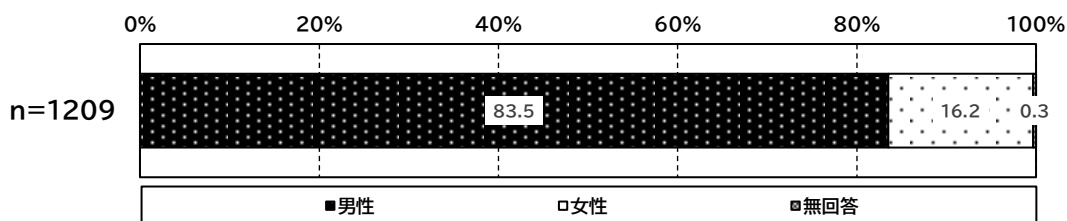
回答者：医師

(1) 医師の属性

① 性別

性別についてみると、「男性」が 83.5%、「女性」が 16.2%であった。

図表 3-1 性別



② 年齢

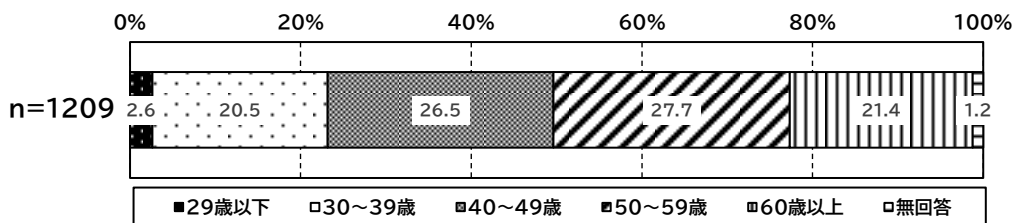
年齢は、回答者の平均値が 49.4 歳、中央値が 49.0 歳であった。年齢分布では「50～59 歳」が 27.7%で最も多かった。

図表 3-2 年齢

(単位: 歳)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
年齢	n=1,194	49.4	11.9	49.0

図表 3-3 年齢分布



③ 医師経験年数

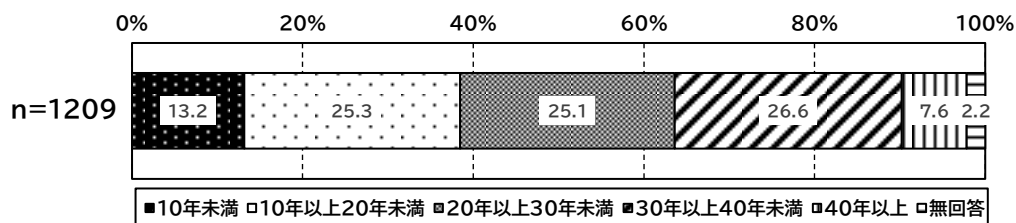
医師経験年数は、回答者の平均値が 23.7 年、中央値が 23.0 年であった。医師経験年数分布では「30 年以上 40 年未満」が 26.6% で最も多かった。

図表 3-4 医師経験年数

(単位:年)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
医師経験年数	n=1,183	23.7	11.6	23.0

図表 3-5 医師経験年数分布



④ 調査票受領の施設での勤続年数

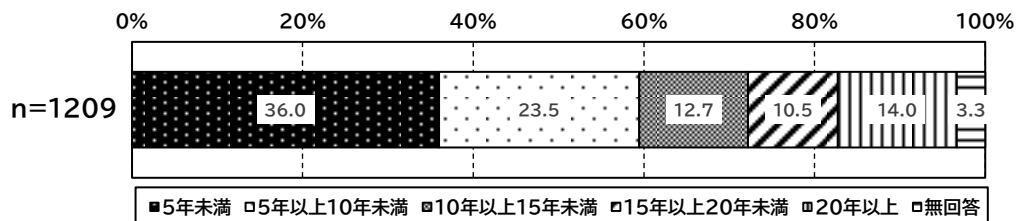
調査票を受領した施設での勤続年数は、回答者の平均値が 9.6 年、中央値が 6.0 年であった。調査票受領の施設での勤続年数分布では「5 年未満」が 36.0% で最も多かった。

図表 3-6 調査票受領の施設での勤続年数

(単位:年)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
調査票受領の施設での勤続年数	n=1,169	9.6	8.4	6.0

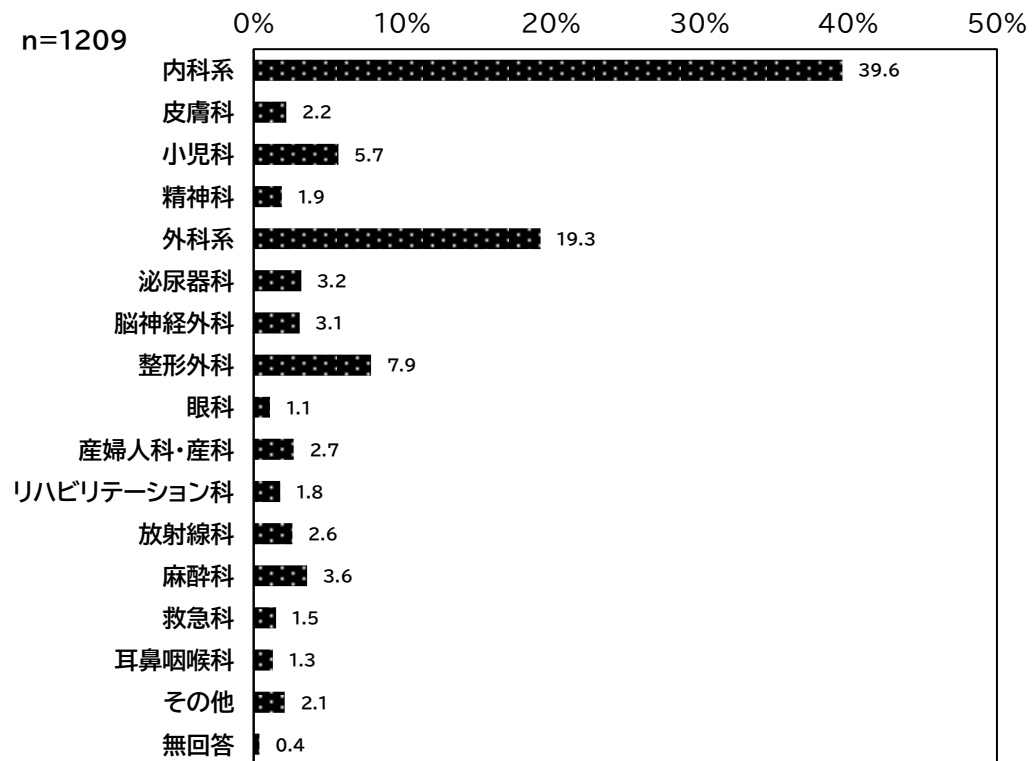
図表 3-7 調査票受領の施設での勤続年数分布



⑤ 主たる所属診療科

主たる所属診療科で最も多かったものは「内科系」で39.6%であった。

図表 3-8 主たる所属診療科



注：内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等

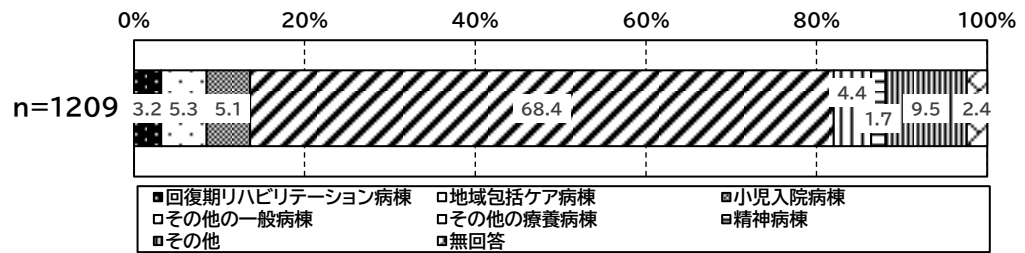
外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等（※昨年度内容）

⑥ 担当する主な病棟

担当する主な病棟で最も多かったものは「その他の一般病棟」で68.4%であった。

なお、「その他」の回答には「手術室」や「集中治療室（ICU）・高度治療室（HCU）」、「緩和ケア病棟」、「急性期病棟」等が見られた。また、「病棟なし」や「担当病棟はない」といった回答も「その他」に含まれている。

図表 3-9 担当する主な病棟

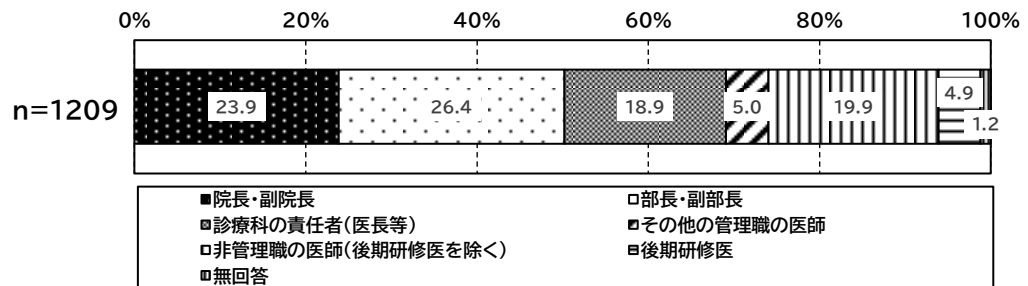


⑦ 役職等

役職等で最も多かったものは「部長・副部長」で26.4%であった。次いで「院長・副院長」が23.9%であった。

なお、「その他の管理職の医師」の回答には「副医長」や「病棟医長」、「主任医長」といった医長相当ではあるが診療科の責任者には該当しない役職が多く見られた。

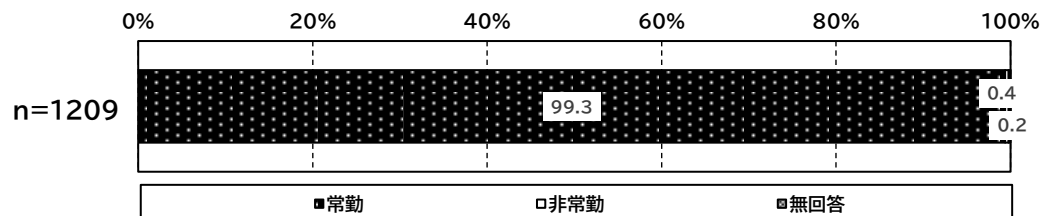
図表 3-10 役職等



⑧ 勤務形態

勤務形態では常勤が多く、回答者全体の99.3%を占めていた。

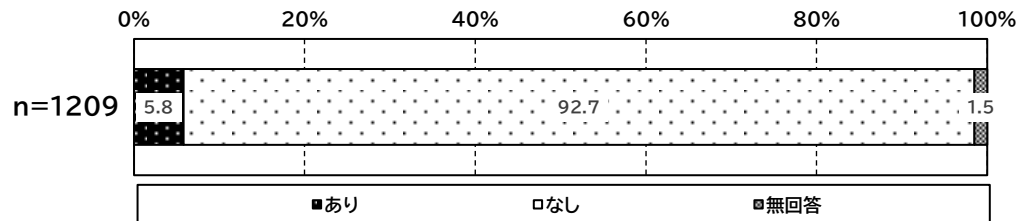
図表 3-11 勤務形態



⑨ 短時間勤務制度の利用等

短時間勤務制度の利用状況について最も多い回答は「なし」で、回答者全体の92.7%であった。

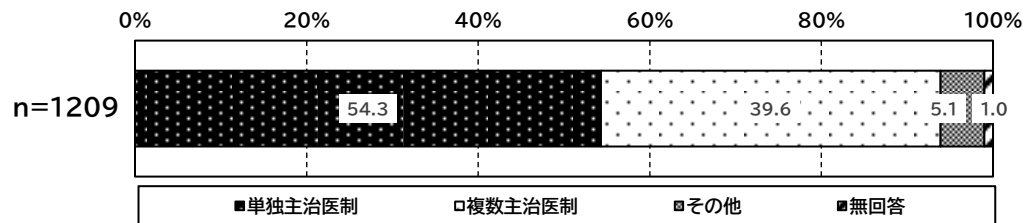
図表 3-12 短時間勤務制度の利用状況



⑩ 主治医制の状況

主治医制の状況を見ると、「単独主治医制」が54.3%、「複数主治医制」が39.6%、「その他」が5.1%であった。

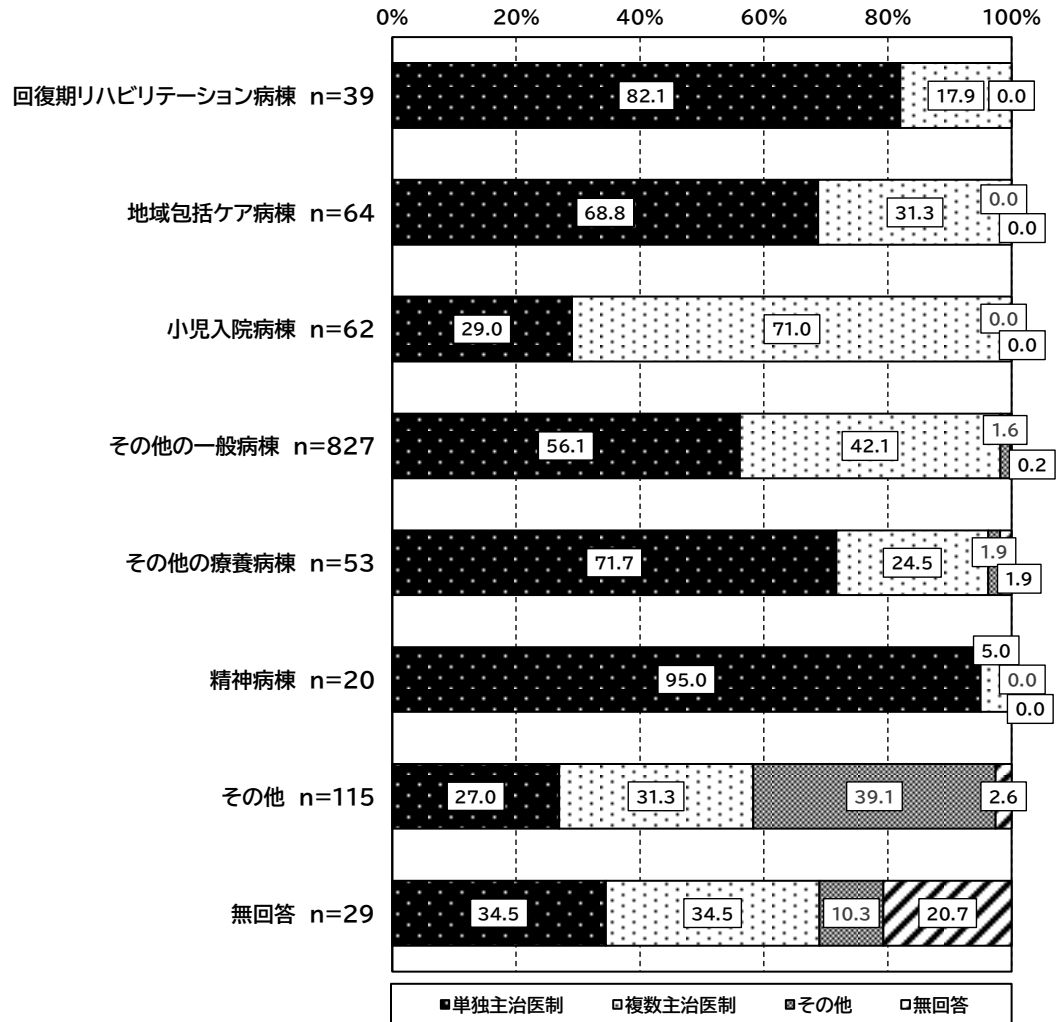
図表 3-13 主治医制の状況



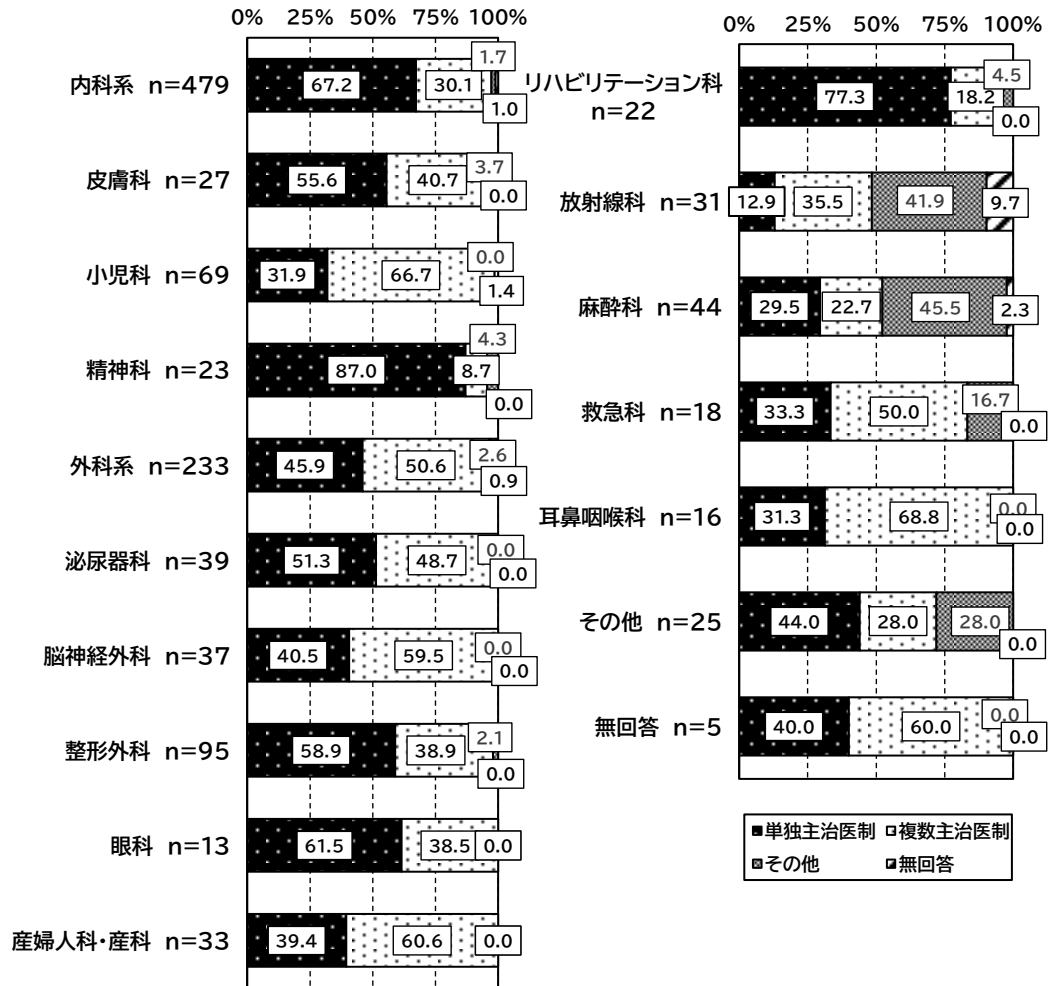
注：単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合

複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

図表 3-14 主治医制の状況
(病棟種類別)



図表 3-15 主治医制の状況
(主たる所属診療科別)



(2) 医師の勤務状況など

① 調査票受領の施設における超過勤務時間・宿日直回数・連続当直回数について

①-1) 超過勤務時間

1 か月間の超過勤務時間数については、以下のとおりであった。

図表 3-16 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数

(単位:時間)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=777	29.4	31.6	20.0
令和2年6月	n=777	28.2	30.1	20.0
令和3年6月	n=777	27.1	29.4	20.0

図表 3-17 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(性別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
男性	令和元年6月	n=662	30.1	32.4	20.0
	令和2年6月	n=662	29.5	30.5	20.0
	令和3年6月	n=662	28.6	30.1	20.0
女性	令和元年6月	n=113	22.4	28.6	13.0
	令和2年6月	n=113	20.8	26.6	10.0
	令和3年6月	n=113	19.0	23.3	10.0

図表 3-18 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(年齢区分別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
29歳以下	令和元年6月	n=10	40.3	34.4	35.0
	令和2年6月	n=10	54.9	38.6	35.0
	令和3年6月	n=10	52.4	42.5	36.5
30~39歳	令和元年6月	n=123	40.2	41.1	30.0
	令和2年6月	n=123	34.4	35.0	30.0
	令和3年6月	n=123	34.0	34.3	27.0
40~49歳	令和元年6月	n=220	28.9	29.4	20.0
	令和2年6月	n=220	28.5	27.9	20.0
	令和3年6月	n=220	27.8	27.0	20.0
50~59歳	令和元年6月	n=236	29.6	27.7	20.0
	令和2年6月	n=236	29.1	29.0	20.0
	令和3年6月	n=236	28.3	28.4	20.0
60歳以上	令和元年6月	n=181	21.8	31.0	10.0
	令和2年6月	n=181	20.8	28.0	10.0
	令和3年6月	n=181	18.8	26.7	6.0

図表 3-19 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(役職別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
院長・副院長	令和元年6月	n=195	26.9	29.9	20.0
	令和2年6月	n=195	26.7	28.6	20.0
	令和3年6月	n=195	25.2	28.5	20.0
部長・副部長	令和元年6月	n=237	27.5	26.0	20.0
	令和2年6月	n=237	25.8	23.7	20.0
	令和3年6月	n=237	25.2	23.1	20.0
診療科の責任者	令和元年6月	n=136	27.6	31.7	15.0
	令和2年6月	n=136	27.3	33.1	15.0
	令和3年6月	n=136	27.0	31.3	20.0
その他の管理職 の医師	令和元年6月	n=42	46.0	36.0	40.0
	令和2年6月	n=42	43.3	34.2	40.0
	令和3年6月	n=42	39.1	31.7	40.0
非管理職の医師 (後期研修医を 除く)	令和元年6月	n=137	30.2	37.4	18.0
	令和2年6月	n=137	26.7	32.9	20.0
	令和3年6月	n=137	25.9	32.5	15.0
後期研修医	令和元年6月	n=23	48.4	44.5	40.0
	令和2年6月	n=23	52.6	37.5	40.0
	令和3年6月	n=23	51.2	40.7	40.0

図表 3-20 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(担当する主な病棟別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
回復期リハビリ テーション病棟	令和元年6月	n=25	20.8	44.5	5.0
	令和2年6月	n=25	16.5	32.3	5.0
	令和3年6月	n=25	16.8	29.3	6.0
地域包括ケア 病棟	令和元年6月	n=39	21.3	23.9	15.0
	令和2年6月	n=39	18.9	21.0	10.0
	令和3年6月	n=39	19.7	21.2	14.0
小児入院病棟	令和元年6月	n=37	36.2	32.6	26.0
	令和2年6月	n=37	35.5	38.7	21.0
	令和3年6月	n=37	34.0	35.4	22.0
その他の一般 病棟	令和元年6月	n=528	32.1	30.8	24.0
	令和2年6月	n=528	30.8	28.7	21.0
	令和3年6月	n=528	29.5	28.5	20.0
その他の療養 病棟	令和元年6月	n=40	7.1	12.9	0.0
	令和2年6月	n=40	7.0	13.4	0.0
	令和3年6月	n=40	8.4	17.1	0.0
精神病棟	令和元年6月	n=13	9.0	16.6	0.0
	令和2年6月	n=13	8.5	17.8	0.0
	令和3年6月	n=13	11.2	20.1	0.0
その他	令和元年6月	n=80	30.0	37.0	20.0
	令和2年6月	n=80	29.0	34.8	20.0
	令和3年6月	n=80	26.5	33.1	20.0

図表 3-21 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(主たる所属診療科別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
内科系	令和元年6月	n=312	28.2	30.0	20.0
	令和2年6月	n=312	27.9	30.0	20.0
	令和3年6月	n=312	26.8	28.5	20.0
皮膚科	令和元年6月	n=17	21.2	26.1	10.0
	令和2年6月	n=17	16.4	19.9	9.0
	令和3年6月	n=17	16.7	20.2	6.0
小児科	令和元年6月	n=42	31.4	30.0	22.5
	令和2年6月	n=42	29.1	29.7	20.0
	令和3年6月	n=42	28.4	28.0	20.0
精神科	令和元年6月	n=16	10.1	15.9	0.5
	令和2年6月	n=16	9.7	17.0	0.5
	令和3年6月	n=16	11.6	19.0	0.5
外科系	令和元年6月	n=147	34.4	33.4	24.0
	令和2年6月	n=147	33.3	31.3	25.0
	令和3年6月	n=147	31.4	30.8	24.0
泌尿器科	令和元年6月	n=30	34.8	25.4	30.0
	令和2年6月	n=30	33.1	22.8	30.0
	令和3年6月	n=30	38.3	33.7	30.0
脳神経外科	令和元年6月	n=24	36.2	40.6	22.2
	令和2年6月	n=24	34.3	37.2	20.5
	令和3年6月	n=24	32.2	34.8	20.0
整形外科	令和元年6月	n=53	27.3	29.3	20.0
	令和2年6月	n=53	24.5	23.6	20.0
	令和3年6月	n=53	22.9	25.7	15.0
眼科	令和元年6月	n=11	11.0	14.8	2.5
	令和2年6月	n=11	8.2	11.7	2.5
	令和3年6月	n=11	7.8	11.7	2.5
産婦人科・産科	令和元年6月	n=21	42.8	42.5	30.0
	令和2年6月	n=21	38.5	41.0	30.0
	令和3年6月	n=21	35.1	40.1	23.0
リハビリテーション科	令和元年6月	n=15	20.9	43.7	5.0
	令和2年6月	n=15	14.3	22.4	6.0
	令和3年6月	n=15	14.9	22.6	6.0
放射線科	令和元年6月	n=17	18.8	14.6	20.0
	令和2年6月	n=17	20.4	15.6	20.0
	令和3年6月	n=17	19.2	16.6	20.0
麻酔科	令和元年6月	n=31	24.7	27.5	15.0
	令和2年6月	n=31	23.4	26.6	10.0
	令和3年6月	n=31	19.3	20.2	10.0
救急科	令和元年6月	n=9	48.9	49.0	20.0
	令和2年6月	n=9	45.2	41.7	20.0
	令和3年6月	n=9	44.9	36.7	20.0
耳鼻咽喉科	令和元年6月	n=11	36.2	36.1	23.0
	令和2年6月	n=11	32.9	32.3	26.0
	令和3年6月	n=11	33.5	29.1	30.0
その他	令和元年6月	n=16	33.6	42.8	20.0
	令和2年6月	n=16	31.2	37.7	20.0
	令和3年6月	n=16	31.7	36.5	20.0

図表 3-22 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(地域医療体制確保加算の届出有無別)

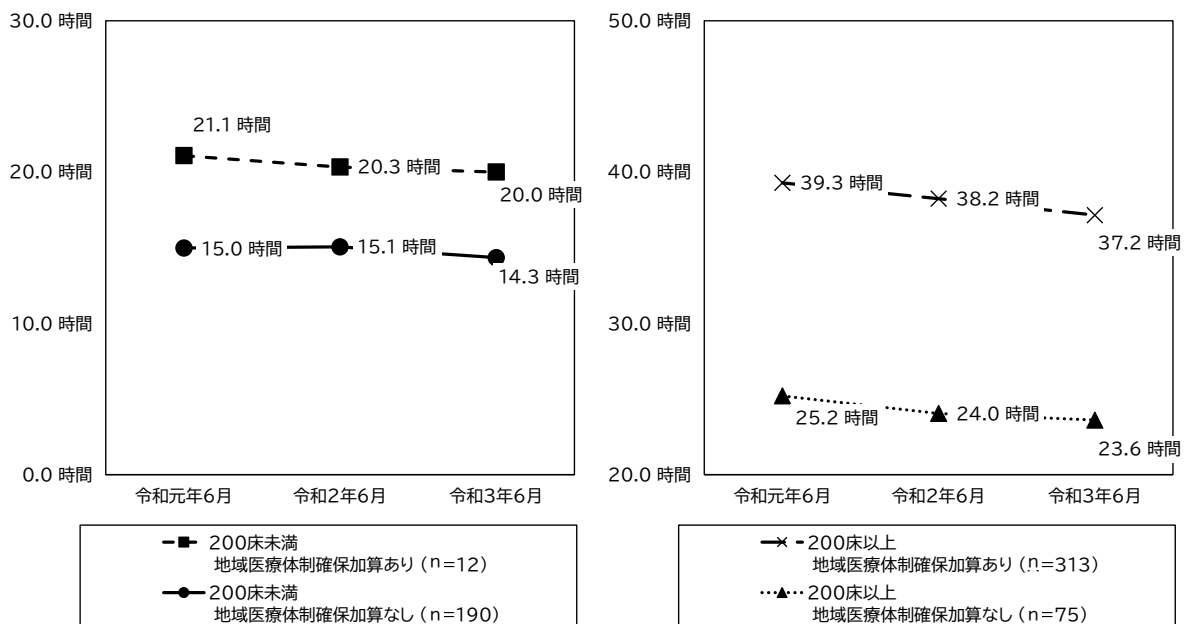
(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出している	令和元年6月	n=325	38.6	34.0	30.0
	令和2年6月	n=325	37.6	32.2	30.0
	令和3年6月	n=325	36.5	31.5	30.0
届出していない	令和元年6月	n=265	17.9	25.0	8.0
	令和2年6月	n=265	17.6	24.6	8.0
	令和3年6月	n=265	17.0	24.2	6.0

図表 3-23 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間数
(病床規模別) (地域医療体制確保加算の届出有無別)

(単位:時間)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
200床未満 地域医療体制確保加算を届出している	令和元年6月	n=12	21.1	18.1	13.5
	令和2年6月	n=12	20.3	17.3	13.5
	令和3年6月	n=12	20.0	16.8	13.5
200床未満 地域医療体制確保加算を届出していない	令和元年6月	n=190	15.0	21.0	5.5
	令和2年6月	n=190	15.1	21.3	5.5
	令和3年6月	n=190	14.3	21.6	4.0
200床以上 地域医療体制確保加算を届出している	令和元年6月	n=313	39.3	39.3	34.4
	令和2年6月	n=313	38.2	38.3	32.5
	令和3年6月	n=313	37.2	37.2	31.8
200床以上 地域医療体制確保加算を届出していない	令和元年6月	n=75	25.2	32.0	10.0
	令和2年6月	n=75	24.0	30.3	10.0
	令和3年6月	n=75	23.6	28.8	12.0



①-2) 宿日直回数

1 か月間の宿日直回数については、以下のとおりであった。

図表 3-24 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の宿日直回数

(単位:回)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=906	2.02	2.18	2.00
令和2年6月	n=906	1.98	2.20	2.00
令和3年6月	n=906	1.85	2.16	1.00

図表 3-25 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の宿日直回数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

(単位:回)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に 指定されたこと がある	令和元年6月	n=322	1.87	1.85	2.00
	令和2年6月	n=322	1.84	1.85	2.00
	令和3年6月	n=322	1.74	1.86	1.00
協力医療機関に 指定されたこと がある	令和元年6月	n=212	2.12	2.08	2.00
	令和2年6月	n=212	2.04	1.99	2.00
	令和3年6月	n=212	1.90	1.97	2.00
その他	令和元年6月	n=74	1.81	2.26	1.00
	令和2年6月	n=74	1.89	2.23	1.00
	令和3年6月	n=74	2.05	2.35	1.00
無回答	令和元年6月	n=398	2.09	2.35	2.00
	令和2年6月	n=398	2.05	2.43	2.00
	令和3年6月	n=398	1.85	2.31	1.00

①-3) (宿日直回数の) うち、連続当直回数

1 か月間の連続当直回数については、以下のとおりであった。

図表 3-26 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の連続当直回数

(単位:回)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=906	0.06	0.35	0.00
令和2年6月	n=906	0.08	0.49	0.00
令和3年6月	n=906	0.06	0.37	0.00

図表 3-27 令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の連続当直回数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

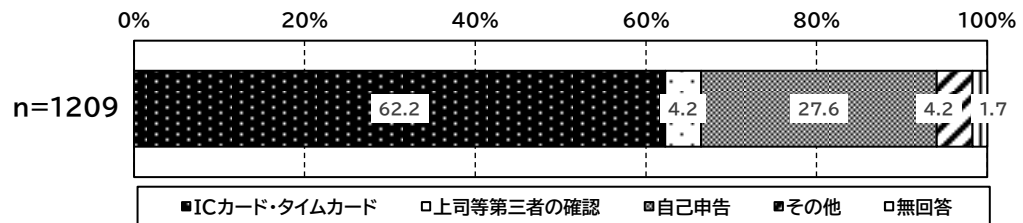
(単位:回)

		調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に 指定されたこと がある	令和元年6月	n=322	0.04	0.25	0.00
	令和2年6月	n=322	0.04	0.26	0.00
	令和3年6月	n=322	0.05	0.28	0.00
協力医療機関に 指定されたこと がある	令和元年6月	n=212	0.07	0.32	0.00
	令和2年6月	n=212	0.06	0.29	0.00
	令和3年6月	n=212	0.06	0.30	0.00
その他	令和元年6月	n=74	0.07	0.47	0.00
	令和2年6月	n=74	0.07	0.47	0.00
	令和3年6月	n=74	0.07	0.47	0.00
無回答	令和元年6月	n=398	0.07	0.39	0.00
	令和2年6月	n=398	0.11	0.65	0.00
	令和3年6月	n=398	0.07	0.43	0.00

② 勤務時間の申告方法

勤務時間の勤務先への申告で最も多かったものは「ICカード・タイムカード」で62.2%であった。

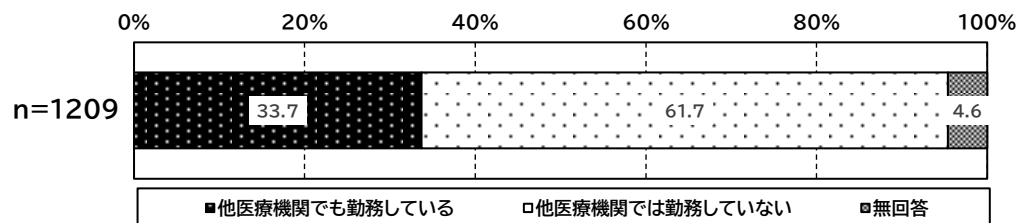
図表 3-28 勤務時間の申告方法



③ 調査票を受領した施設以外の医療機関での勤務の有無

調査票を受け取った医療機関以外での勤務の有無については、「他医療機関でも勤務している」の回答は33.7%であった。

図表 3-29 勤務時間の申告方法



③-1 調査票を受領した施設以外での、1か月の勤務時間・宿直回数等

③-1 1) 他に勤務している医療機関数

③にて「他医療機関でも勤務している」と回答した場合、その勤務先の医療機関数は以下のとおり。

図表 3-30 他に勤務している医療機関数

(単位:施設)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=332	1.6	1.1	1.0
令和2年6月	n=328	1.6	1.0	1.0
令和3年6月	n=326	1.7	1.0	1.0

③-1 2) 1か月間の勤務時間

③にて「他医療機関でも勤務している」と回答した場合、調査票を受領した医療機関以外での1か月間の勤務時間数は以下のとおり。

図表 3-31 調査票を受領した医療機関以外での1か月間の勤務時間数

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=332	22.4	21.2	20.0
令和2年6月	n=328	23.1	20.7	20.0
令和3年6月	n=326	23.8	20.7	20.0

③-1 3) 1か月間の当直回数

③にて「他医療機関でも勤務している」と回答した場合、調査票を受領した医療機関以外での1か月間の当直回数は以下のとおり。

図表 3-32 調査票を受領した医療機関以外での1か月間の当直回数

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=332	0.5	1.2	0.00
令和2年6月	n=328	0.5	1.2	0.00
令和3年6月	n=326	0.5	1.2	0.00

③-1 4) (当直回数の)うち、連続当直回数

③にて「他医療機関でも勤務している」と回答した場合、調査票を受領した医療機関以外での1か月間の連続当直回数は以下のとおり。

図表 3-33 調査票を受領した医療機関以外での1か月間の連続当直回数

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和元年6月	n=332	0.03	0.21	0.00
令和2年6月	n=328	0.04	0.22	0.00
令和3年6月	n=326	0.04	0.24	0.00

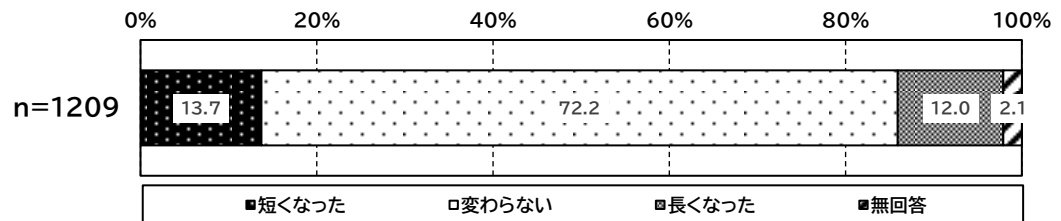
④ 1年前と比較した勤務状況の変化

④ 1) 勤務時間

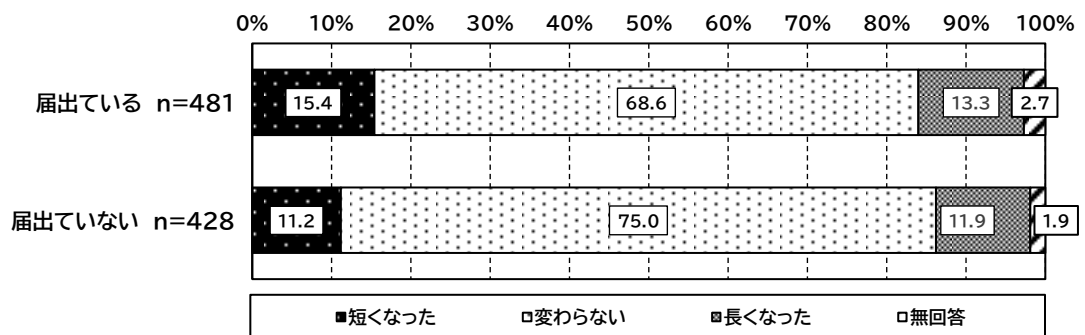
勤務時間の変化について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「短くなった」と回答した割合が「届出している」施設は15.4%、「届出していない」施設は11.2%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「短くなった」と回答した割合が「届出している」施設は14.3%、「届出していない」施設は10.0%であった。

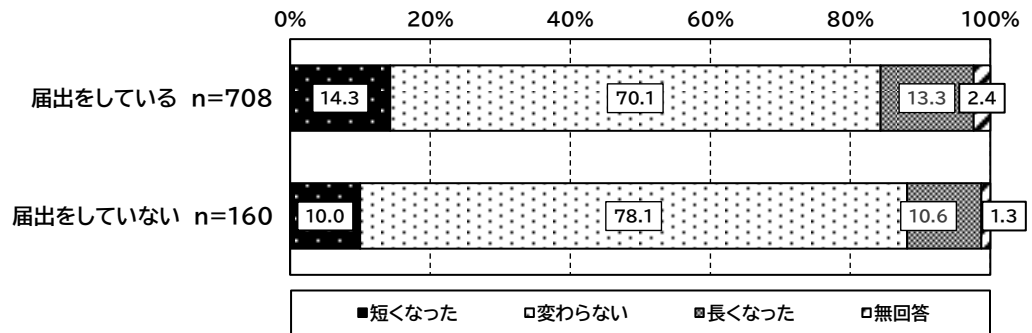
図表 -34 勤務時間の変化



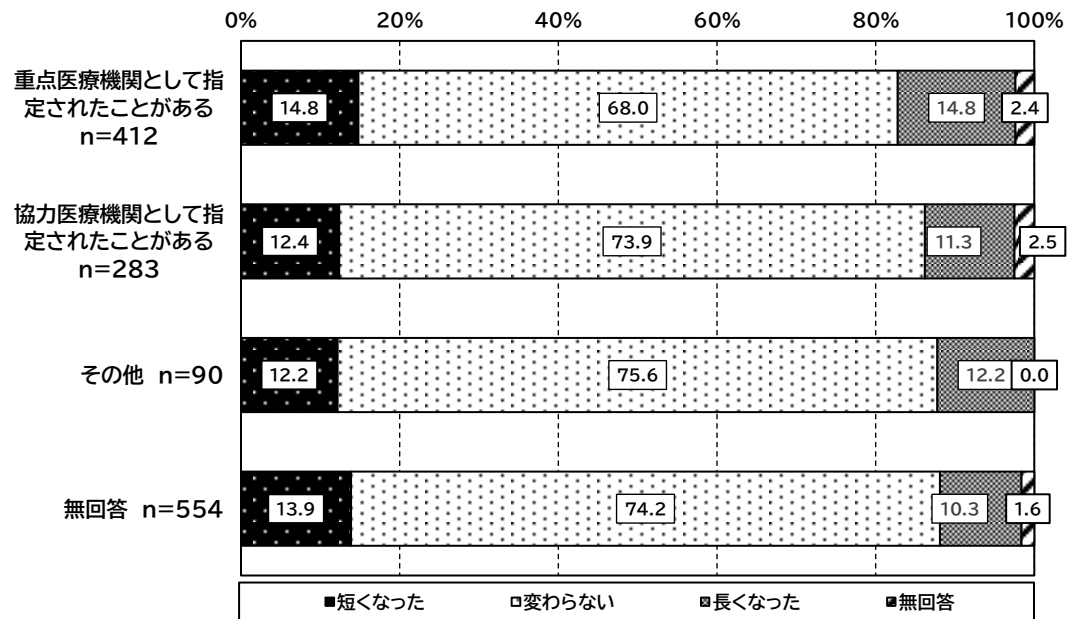
図表 3-35 勤務時間の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-36 勤務時間の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-37 勤務時間の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

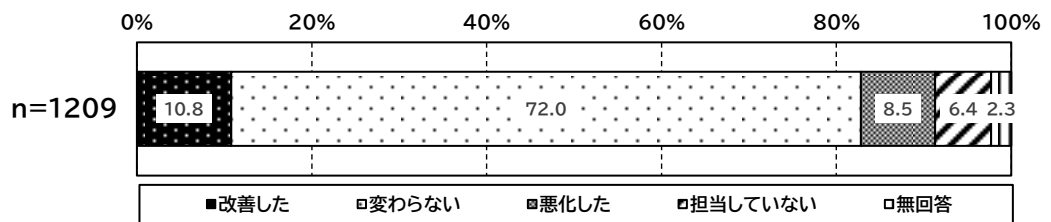


④ 2) 病棟の勤務状況

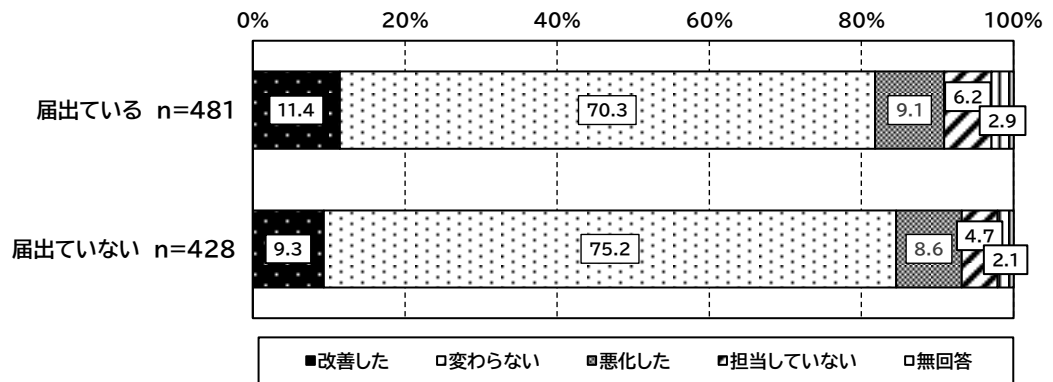
病棟の勤務状況について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は11.4%、「届出していない」施設は9.3%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は11.4%、「届出していない」施設は6.9%であった。

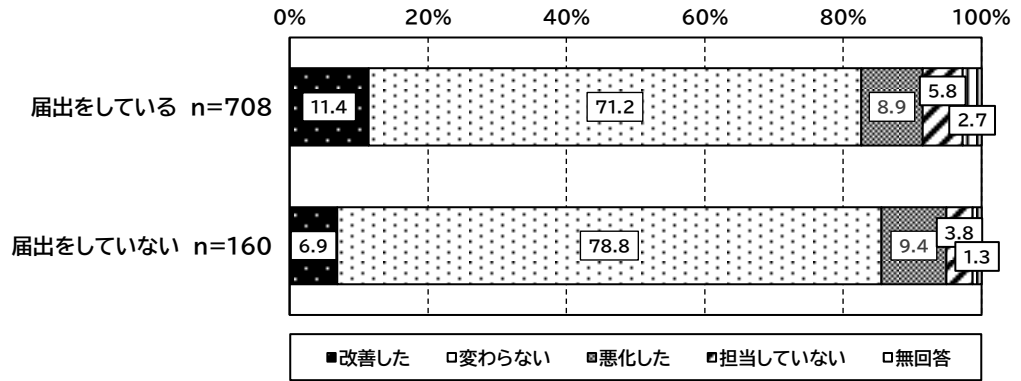
図表 3-38 病棟の勤務状況の変化



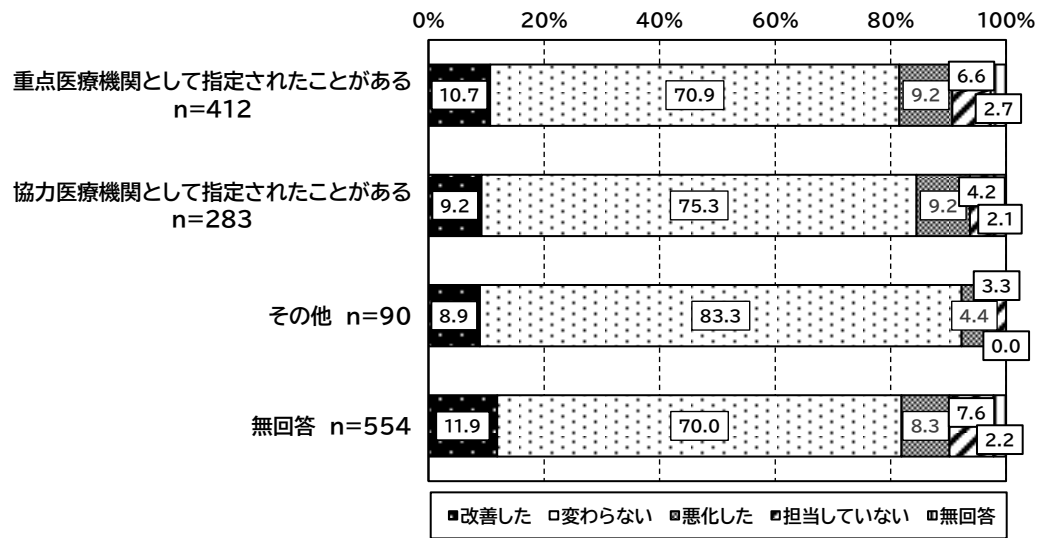
図表 3-39 病棟の勤務状況の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-40 病棟の勤務状況の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-41 病棟の勤務状況の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

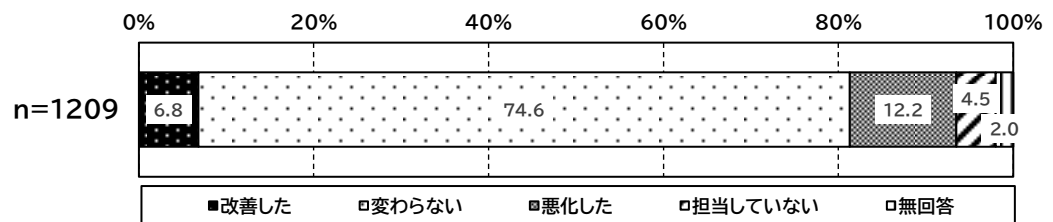


④ 3) 外来の勤務状況（標榜診療時間内）

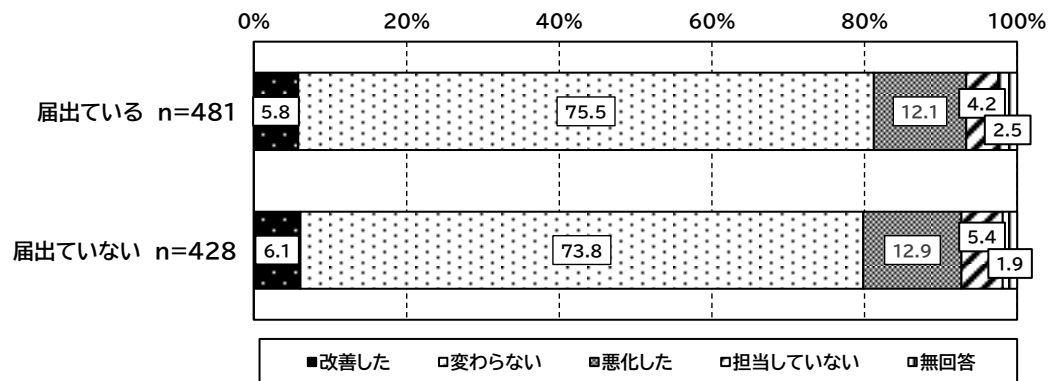
外来の勤務状況（標榜診療時間内）について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は5.8%、「届出していない」施設は6.1%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は6.6%、「届出していない」施設は3.1%であった。

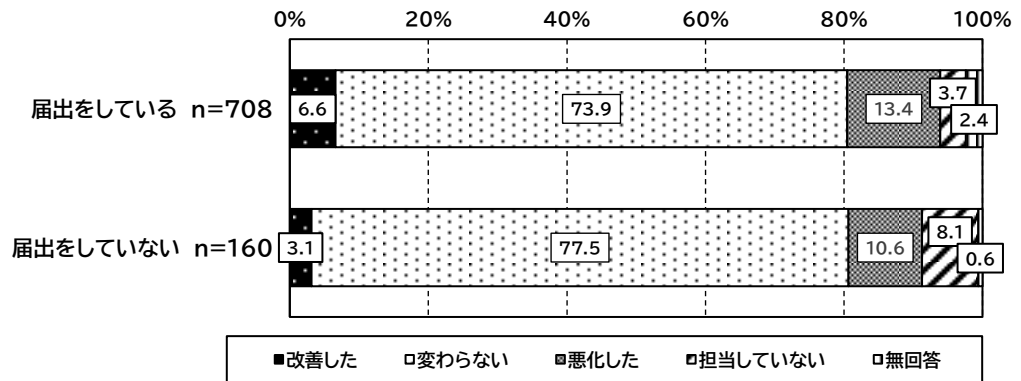
図表 3-42 外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化



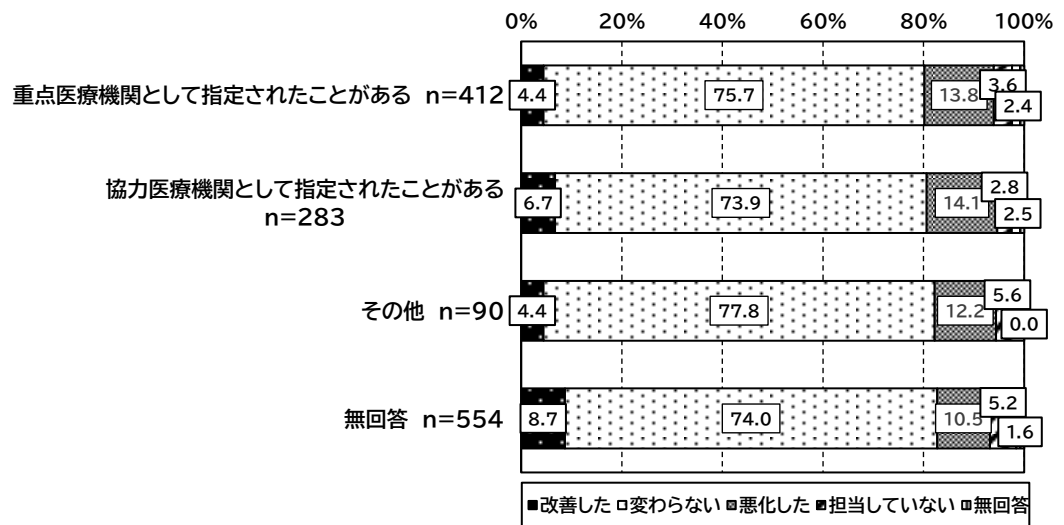
図表 3-43 外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3-44 外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



図表 3-45 外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別）

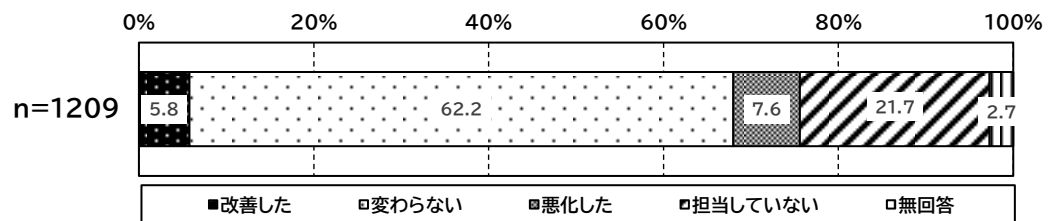


④ 4) 外来の勤務状況（標榜診療時間外）

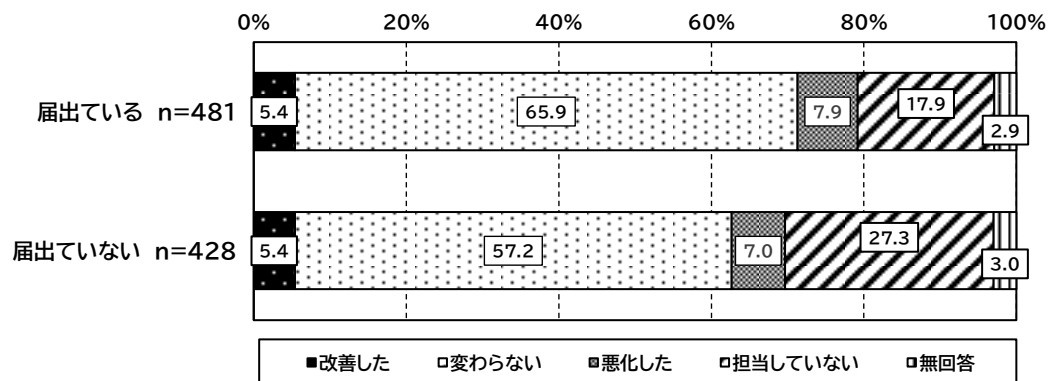
外来の勤務状況（標榜診療時間外）について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「改善した」と回答した割合が「届出ている」施設は5.4%、「届出していない」施設も同じく5.4%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「改善した」と回答した割合が「届出ている」施設は5.8%、「届出していない」施設は4.4%であった。

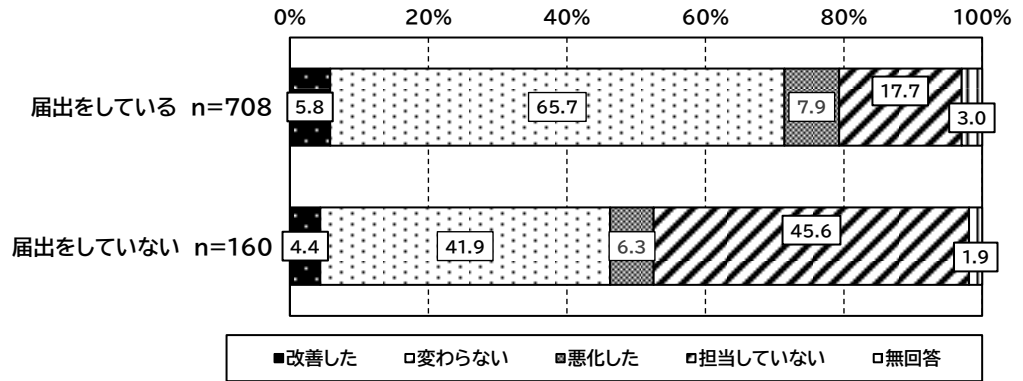
図表 3-46 外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化



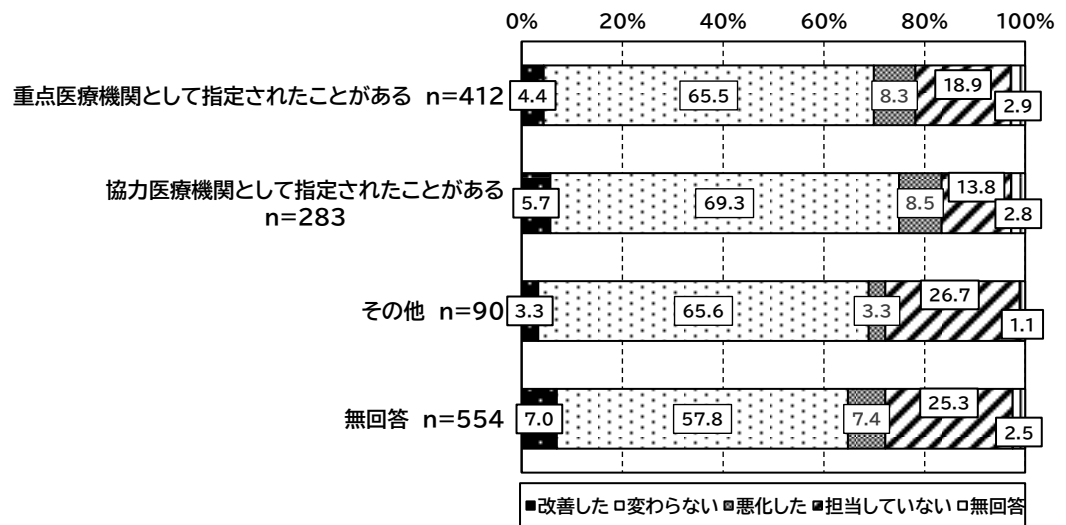
図表 3-47 外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3-48 外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



図表 3-49 外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別）

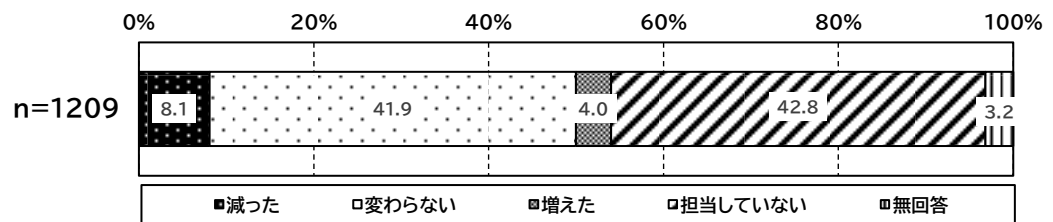


④ 5) 標榜診療時間外における手術回数

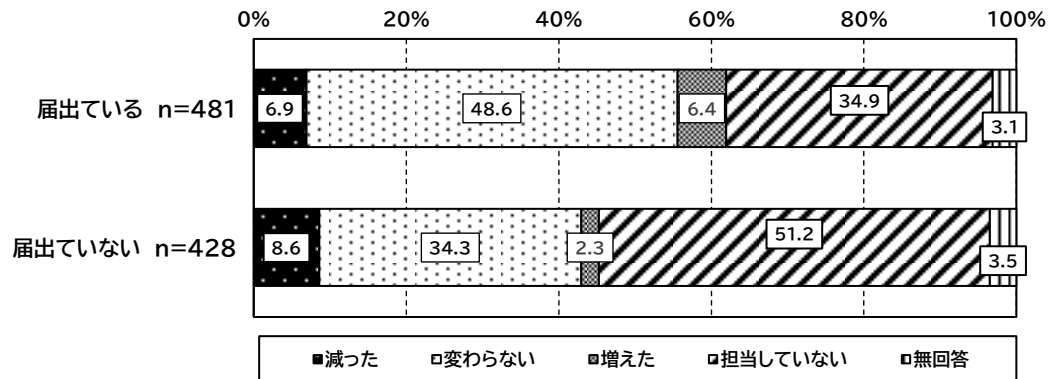
標榜診療時間外における手術回数について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は6.9%、「届出していない」施設は8.6%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は8.1%、「届出していない」施設は7.5%であった。

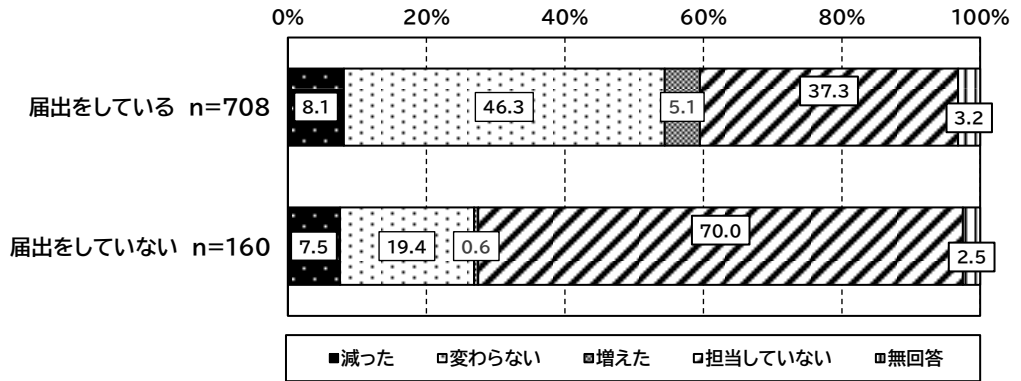
図表 3-50 標榜診療時間外における手術回数



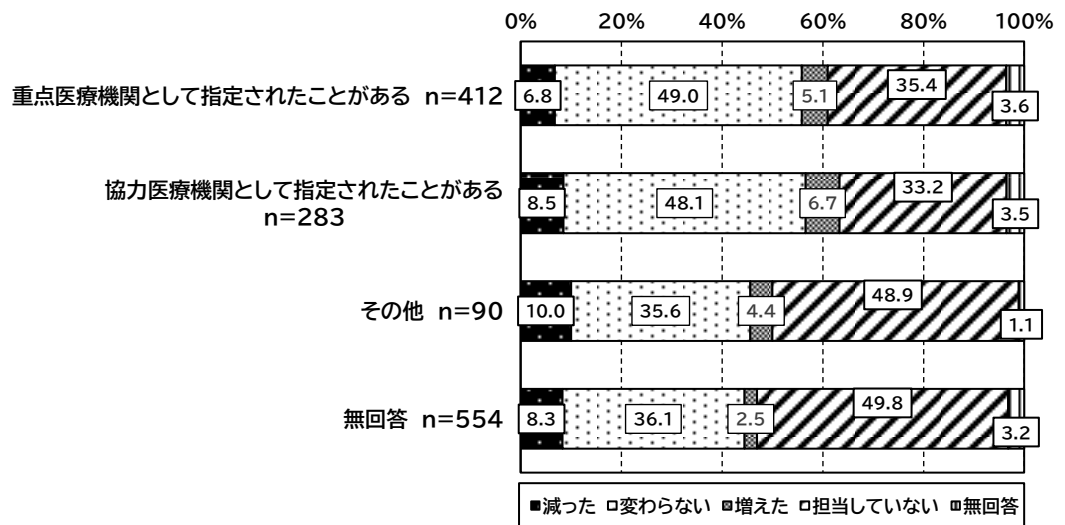
図表 3-51 標榜診療時間外における手術回数
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-52 標榜診療時間外における手術回数
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-53 標榜診療時間外における手術回数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

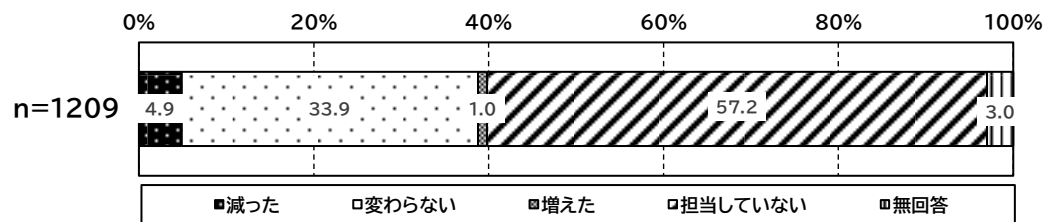


④ 6) 手術前日の当直回数

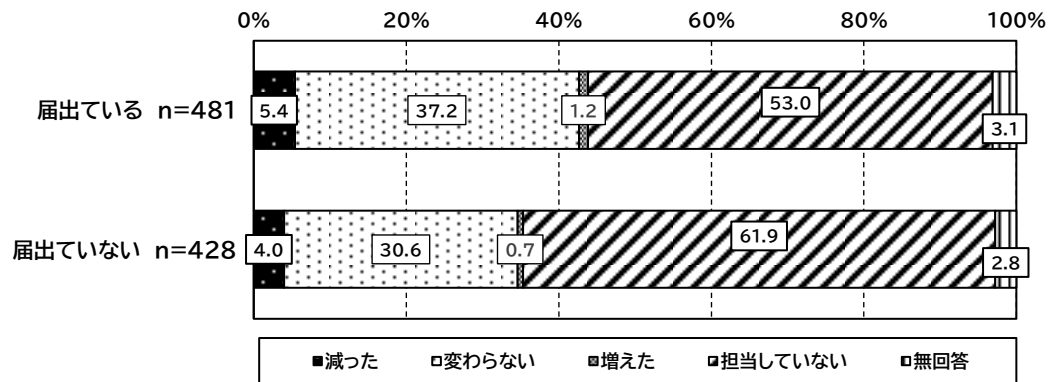
手術前日の当直回数について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は5.4%、「届出していない」施設は4.0%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は5.2%、「届出していない」施設は1.3%であった。

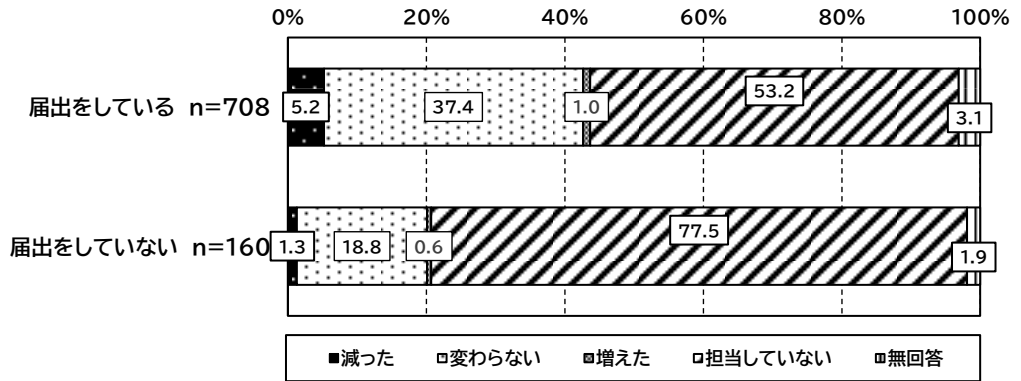
図表 3-54 手術前日の当直回数



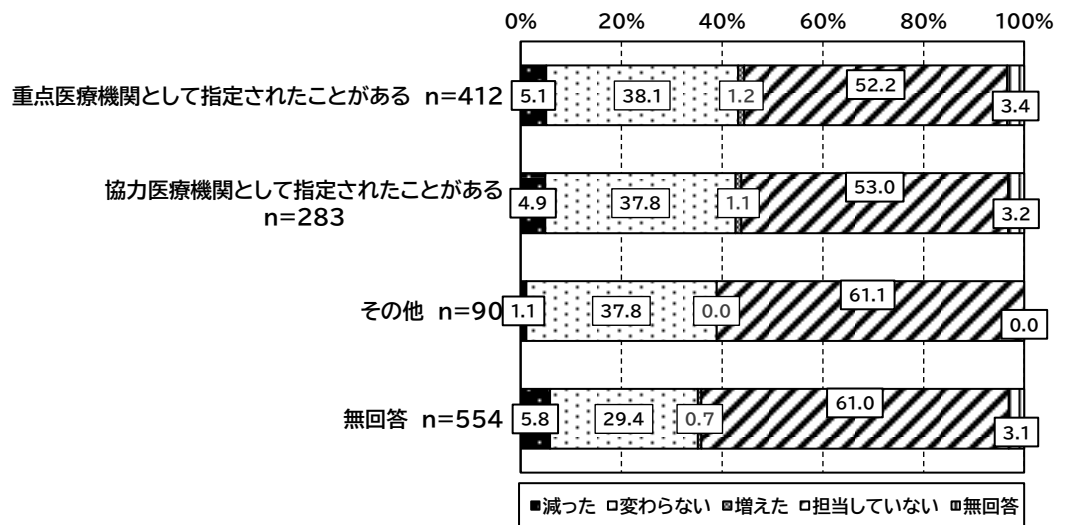
図表 3-55 手術前日の当直回数
(地域医療体制確保加算の届出有無)



図表 3-56 手術前日の当直回数
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-57 手術前日の当直回数
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

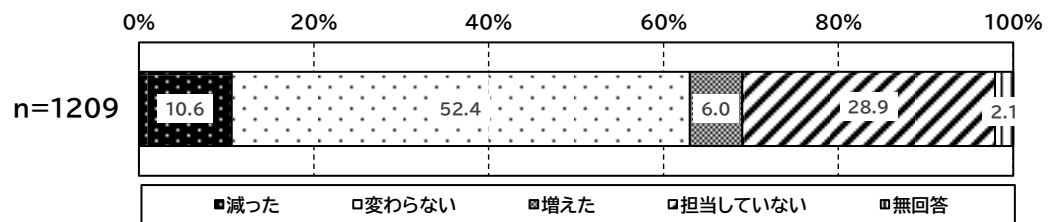


④ 7) 当直の回数

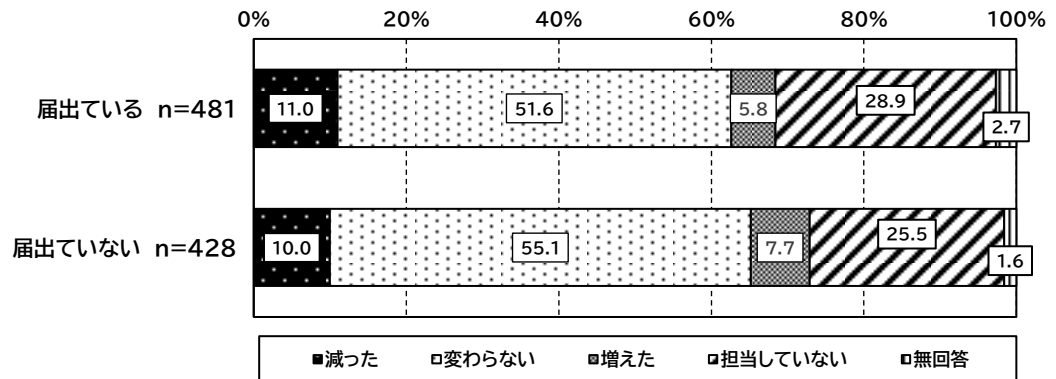
当直の回数について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は11.0%、「届出していない」施設は10.0%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は11.6%、「届出していない」施設は6.9%であった。

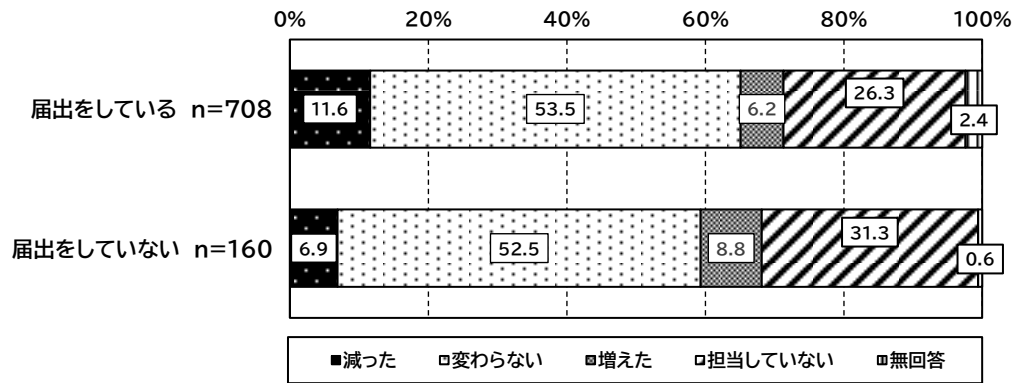
図表 3-58 当直の回数の変化



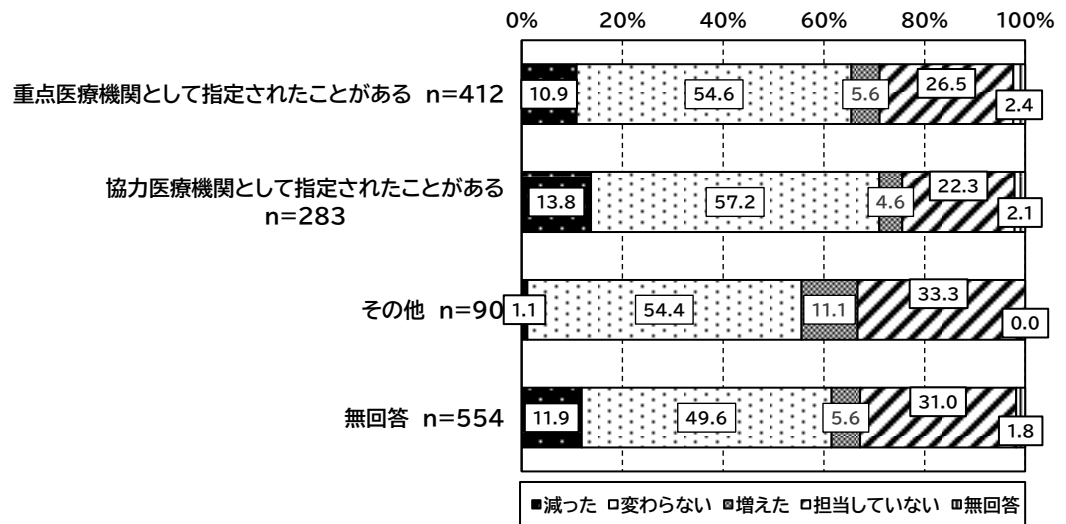
図表 3-59 当直の回数の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-60 当直の回数の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-61 当直の回数の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

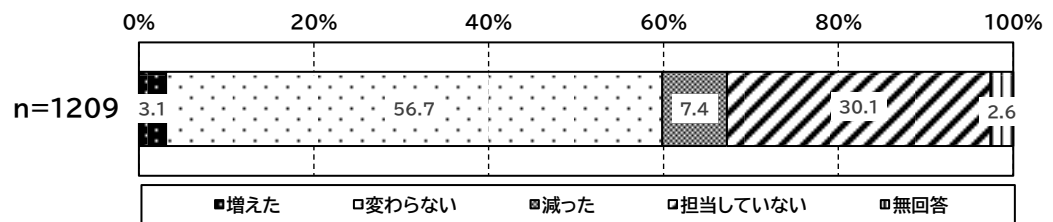


④ 8) 当直時の平均睡眠時間

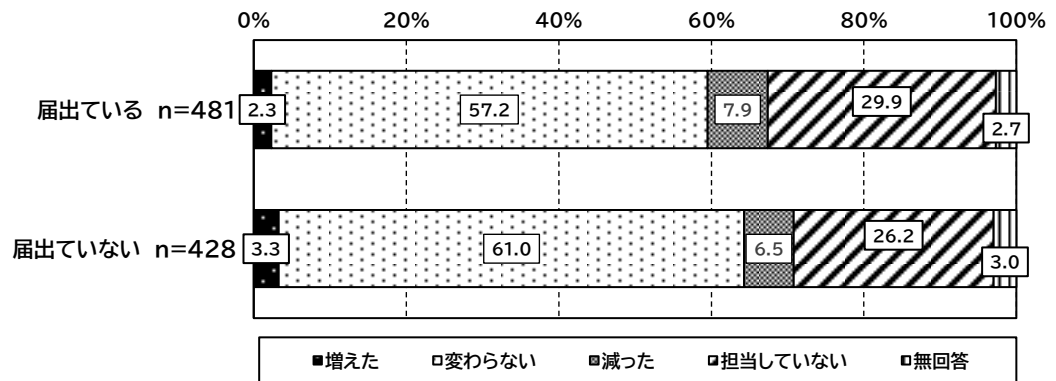
当直時の平均睡眠時間について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「増えた」と回答した割合が「届出している」施設は2.3%、「届出していない」施設は3.3%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「増えた」と回答した割合が「届出している」施設は3.0%、「届出していない」施設は1.9%であった。

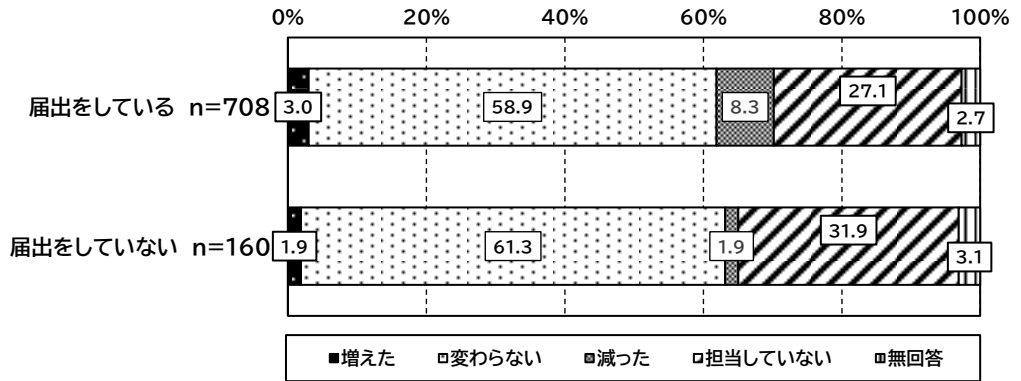
図表 3-62 当直時の平均睡眠時間の変化



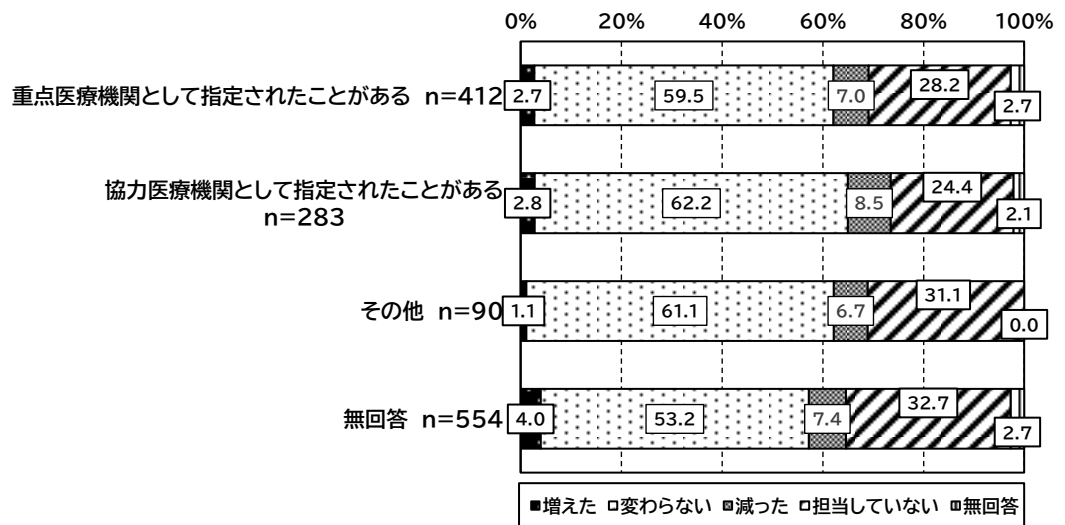
図表 3-63 当直時の平均睡眠時間の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-64 当直時の平均睡眠時間の変化
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-65 当直時の平均睡眠時間の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

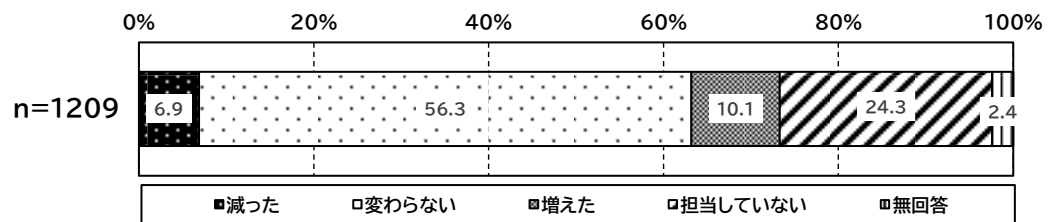


④ 9) オンコール担当回数

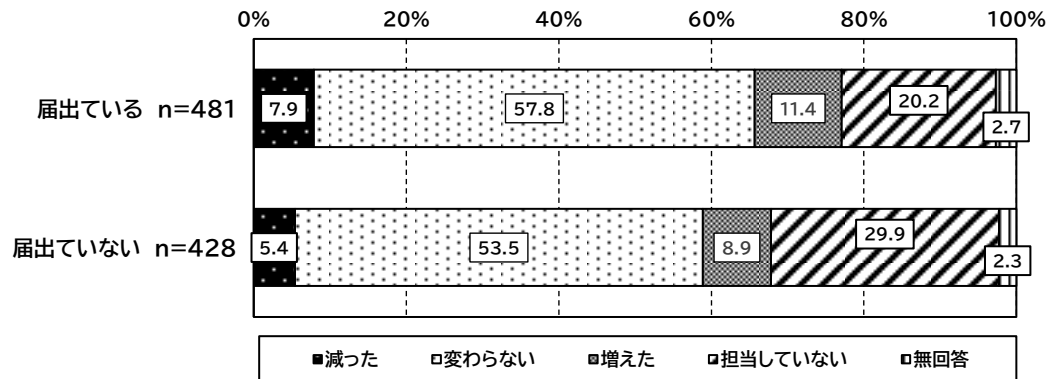
オンコール担当回数について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は7.9%、「届出していない」施設は5.4%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は7.8%、「届出していない」施設は3.8%であった。

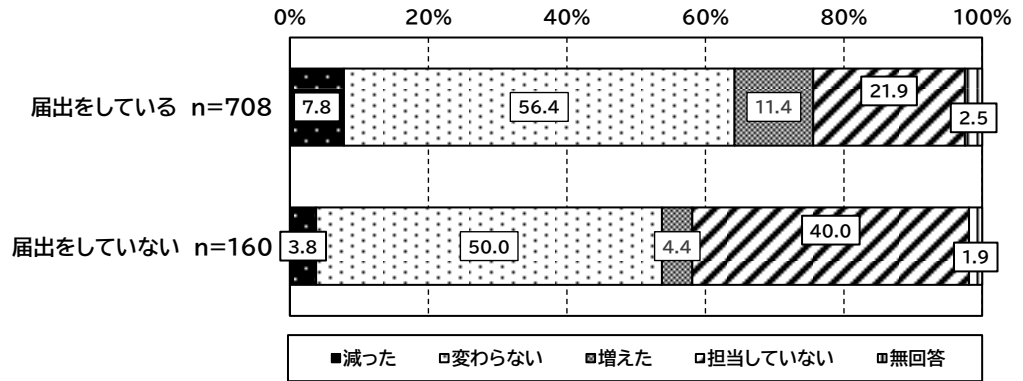
図表 3-66 オンコール担当回数の変化



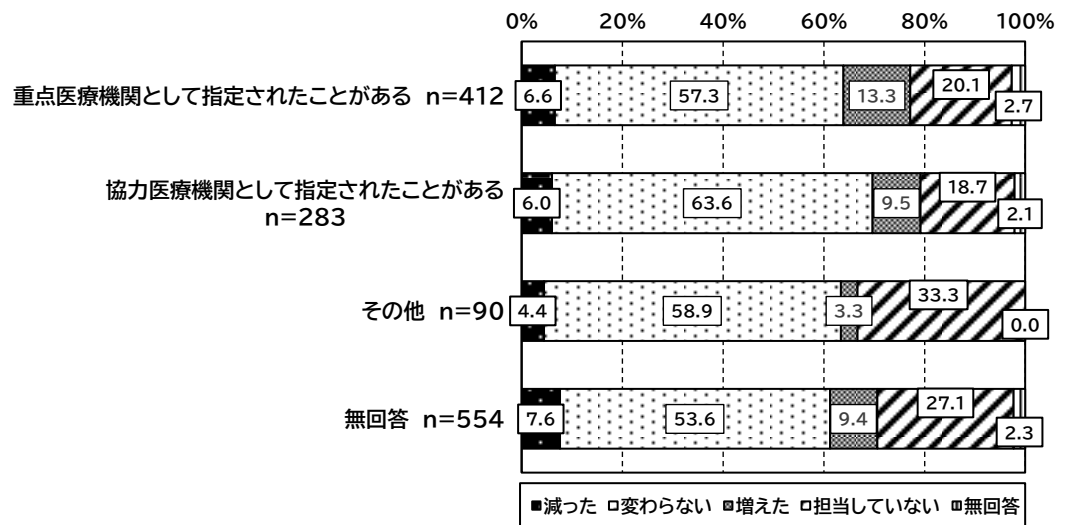
図表 3-67 オンコール担当回数の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-68 オンコール担当回数の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-69 オンコール担当回数の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

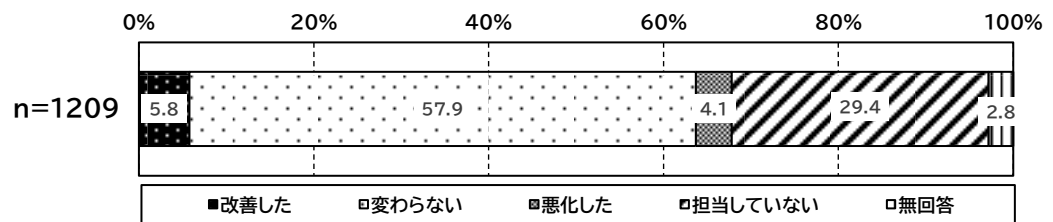


④ 10) 当直翌日の勤務状況

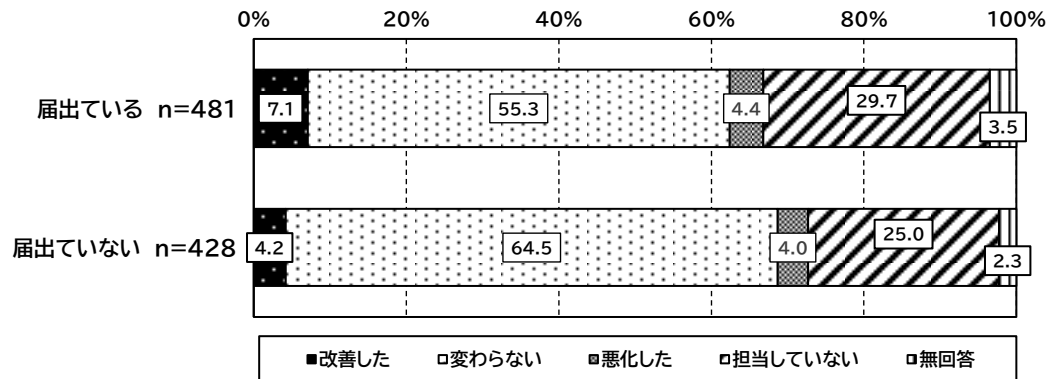
当直翌日の勤務状況について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は7.1%、「届出していない」施設は4.2%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は6.6%、「届出していない」施設は1.9%であった。

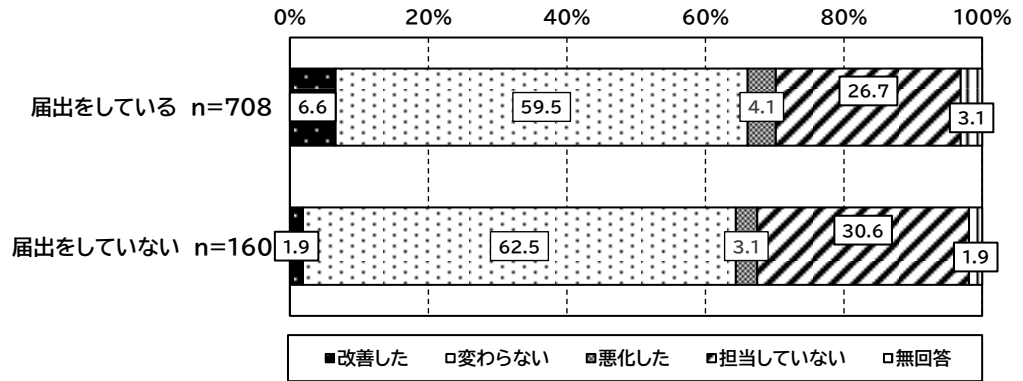
図表 3-70 当直翌日の勤務状況の変化



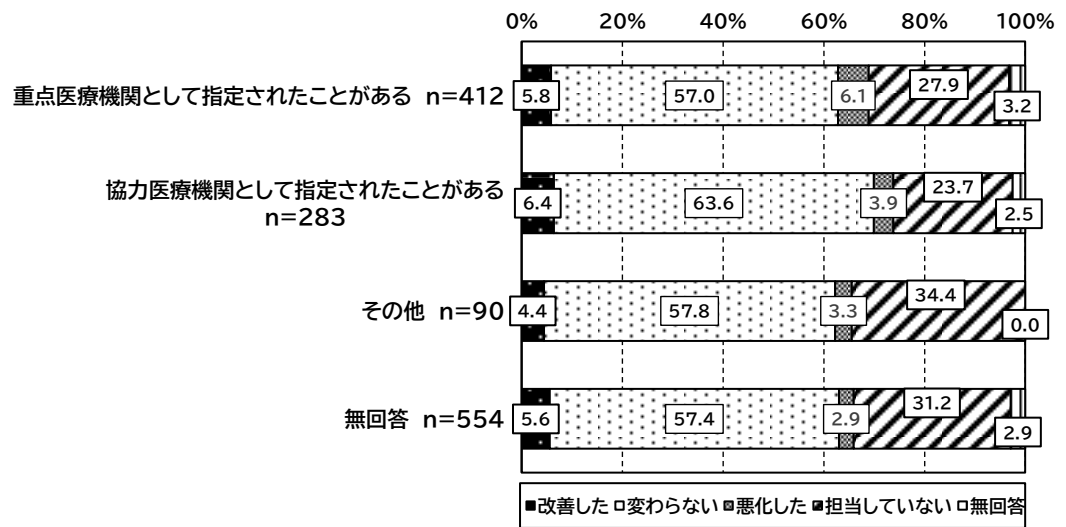
図表 3-71 当直翌日の勤務状況の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-72 当直翌日の勤務状況の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-73 当直翌日の勤務状況の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

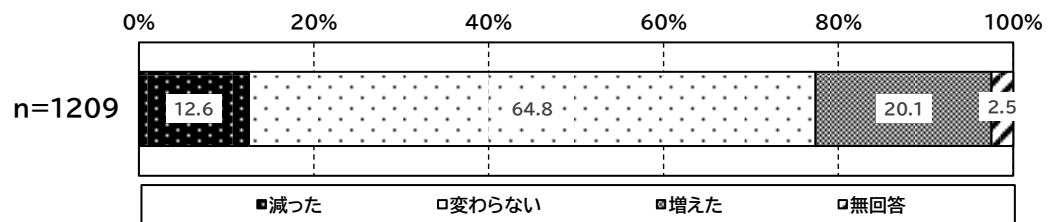


④ 11) 書類作成等の事務作業

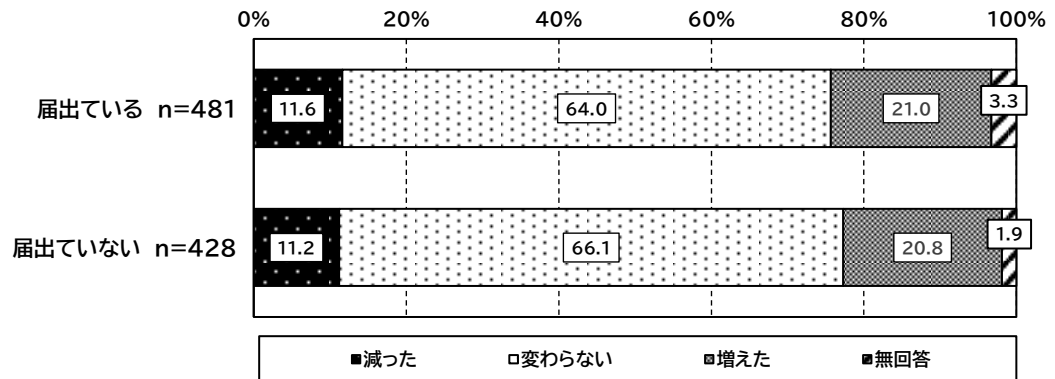
書類作成等の事務作業について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は11.6%、「届出していない」施設は11.2%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は12.4%、「届出していない」施設は6.9%であった。

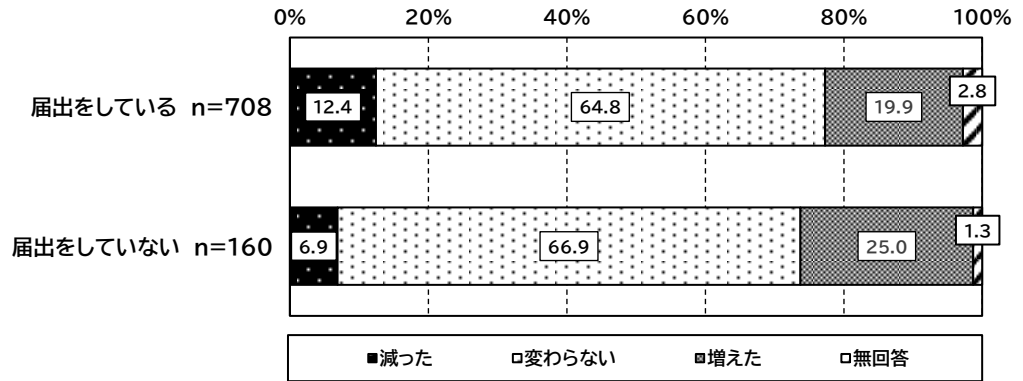
図表 3-74 書類作成等の事務作業の変化



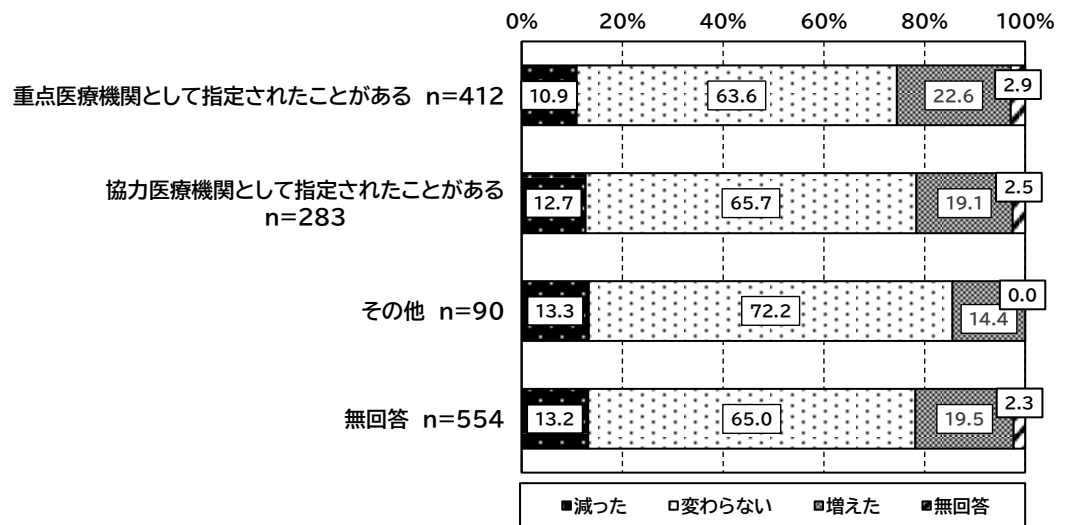
図表 3-75 書類作成等の事務作業の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-76 書類作成等の事務作業の変化
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-77 書類作成等の事務作業の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

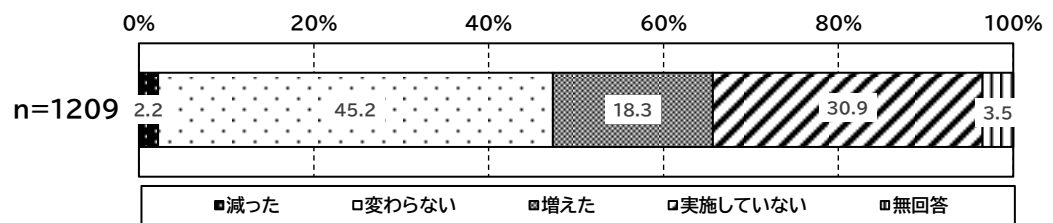


④ 12) ICT を用いたカンファレンスの実施状況

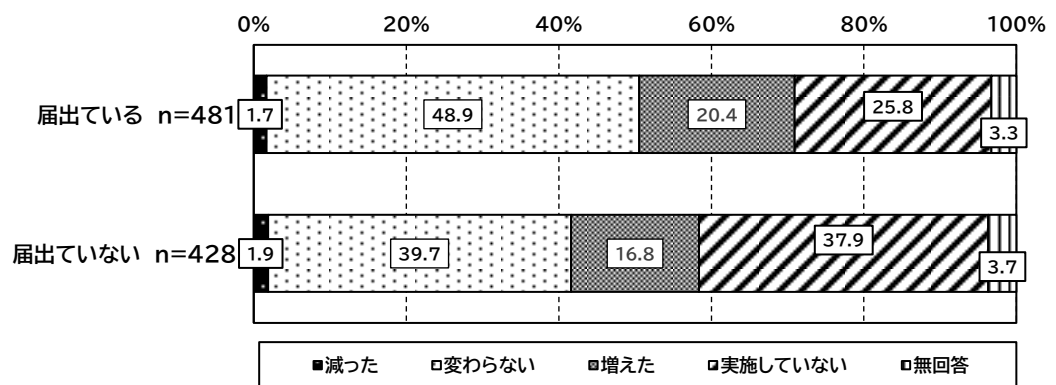
ICT を用いたカンファレンスの実施状況について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「減った」と回答した割合が「届出している」施設は 1.7%、「届出していない」施設は 1.9%であった。「実施していない」と回答した割合は「届出している」施設が 25.8%、「届出していない」施設が 37.9%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「減った」と回答した割合が「届出している」施設は 2.1%、「届出していない」施設は 6.9%であった。「実施していない」と回答した割合は「届出している」施設が 28.5%、「届出していない」施設が 46.3%であった。

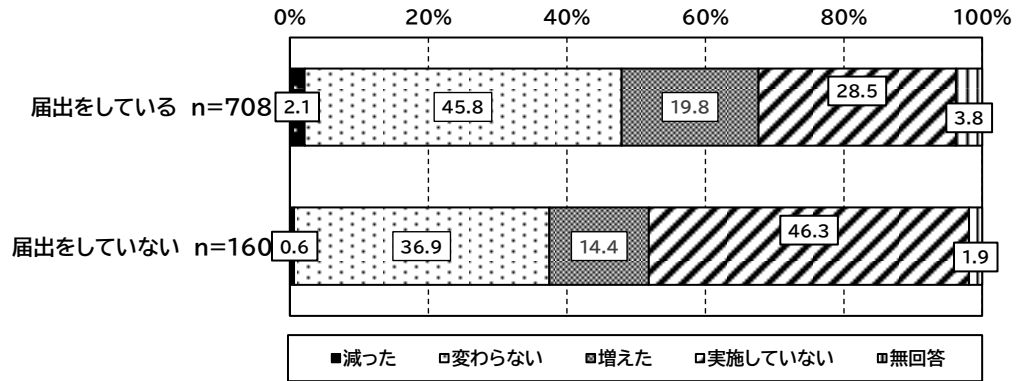
図表 3-78 ICT を用いたカンファレンスの実施状況の変化



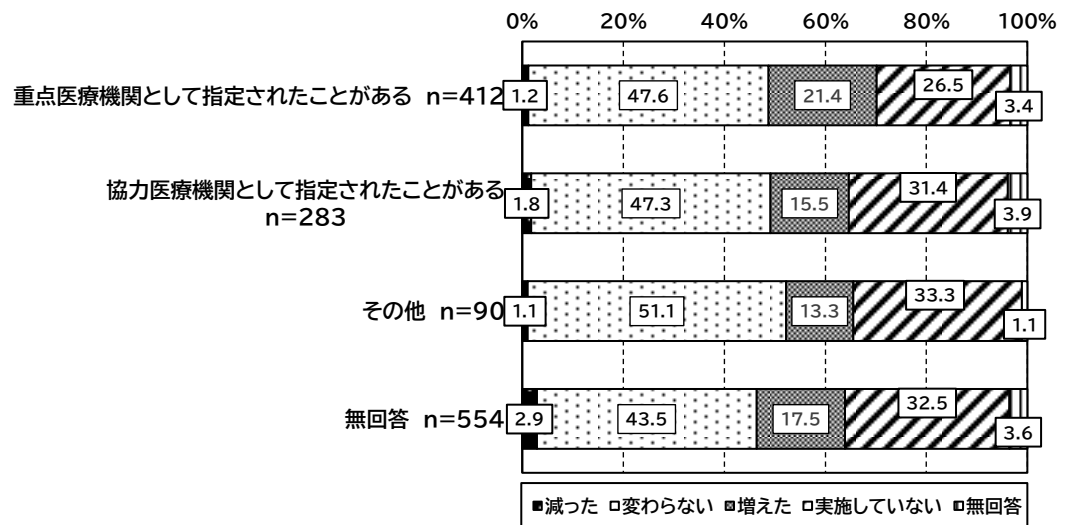
図表 3-79 ICT を用いたカンファレンスの実施状況の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-80 ICT を用いたカンファレンスの実施状況の変化
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-81 ICT を用いたカンファレンスの実施状況の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)

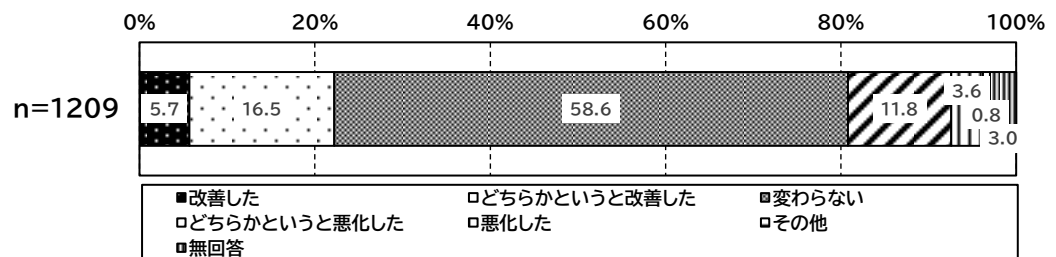


④ 13) 総合的に見た勤務状況

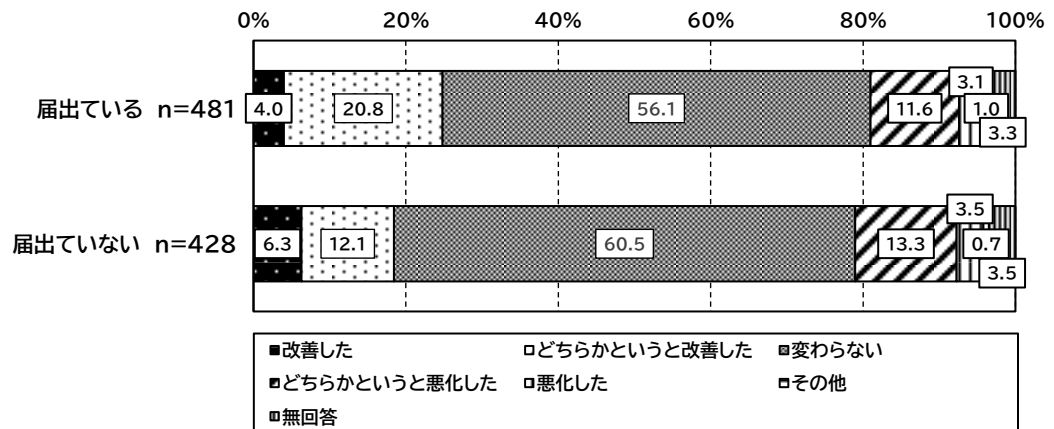
総合的にみた勤務状況について、地域医療体制確保加算の届出有無別にみると「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は4.0%、「届出していない」施設は6.3%であった。

また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、「改善した」と回答した割合が「届出している」施設は5.5%、「届出していない」施設は3.8%であった。

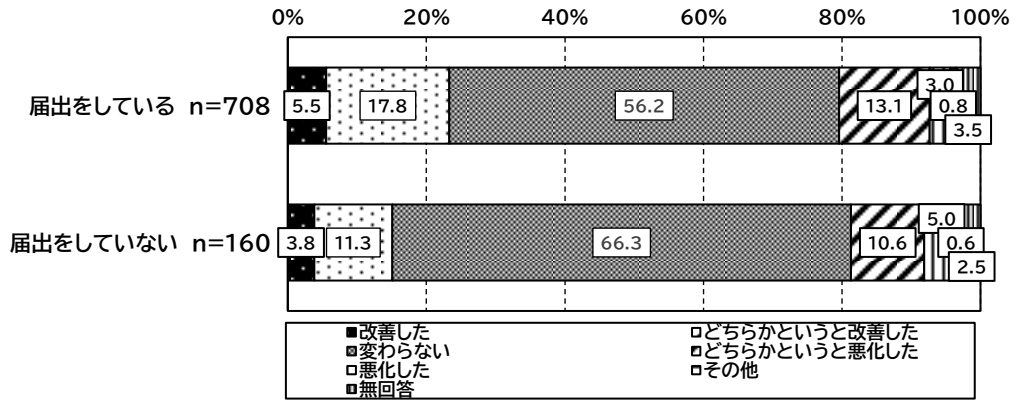
図表 3-82 総合的に見た勤務状況の変化



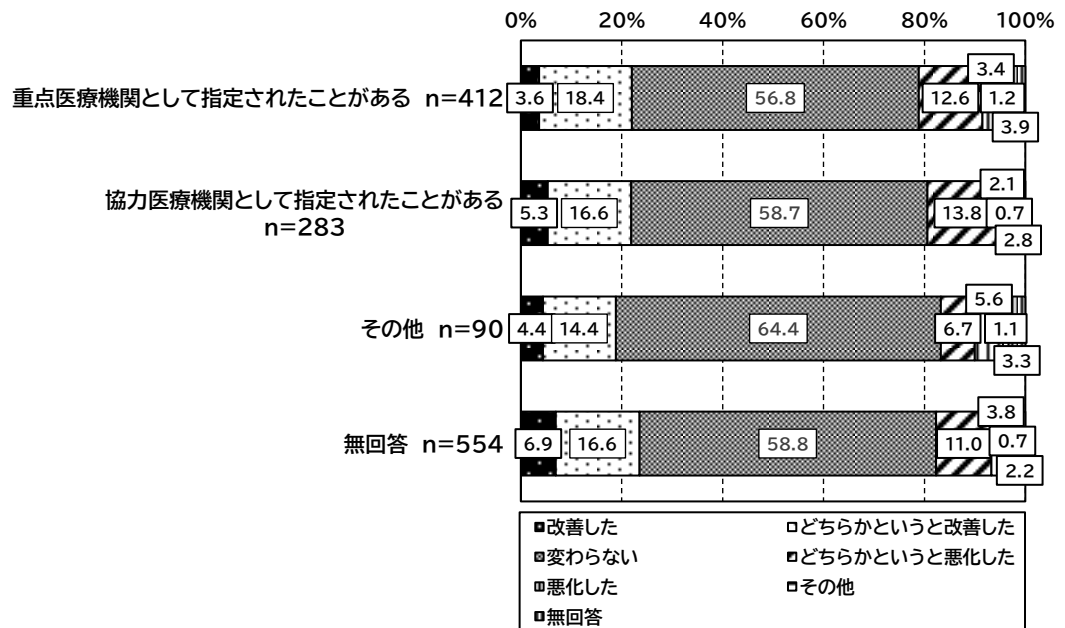
図表 3-83 総合的に見た勤務状況の変化
(地域医療体制確保加算の届出有無別)



図表 3-84 総合的に見た勤務状況の変化
(医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



図表 3-85 総合的に見た勤務状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定別)



(3) 業務とその負担感

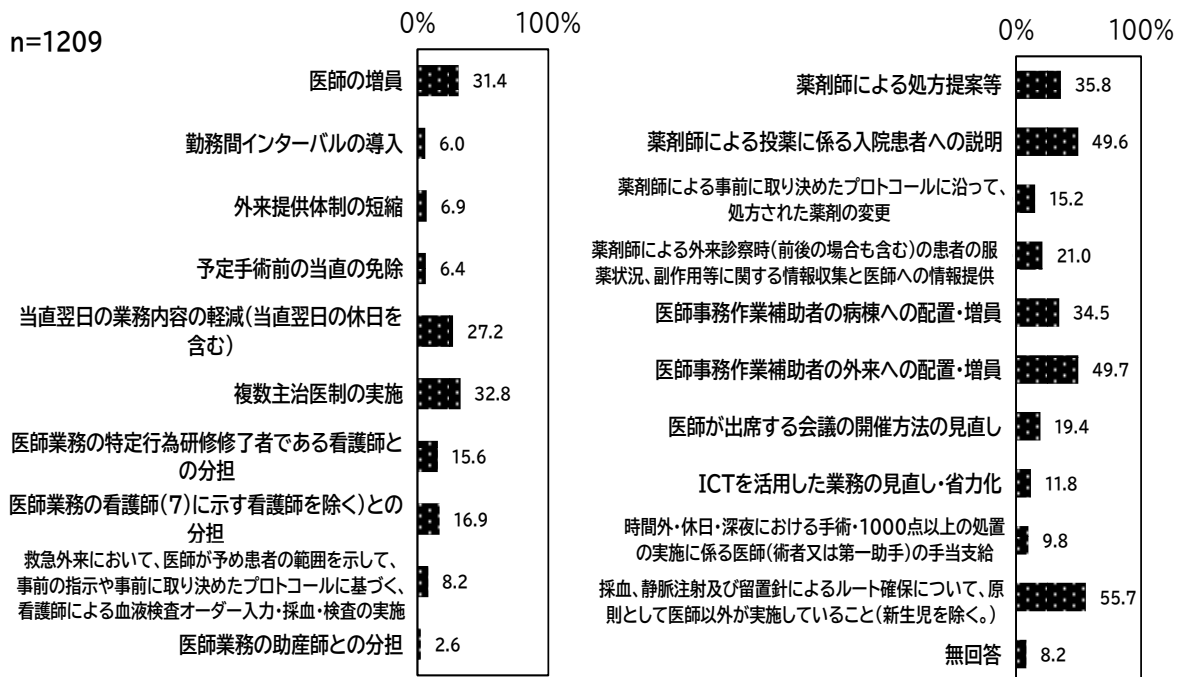
① 医師の負担軽減策について

①-(1) 診療科で医師の負担軽減策として実施されている取組

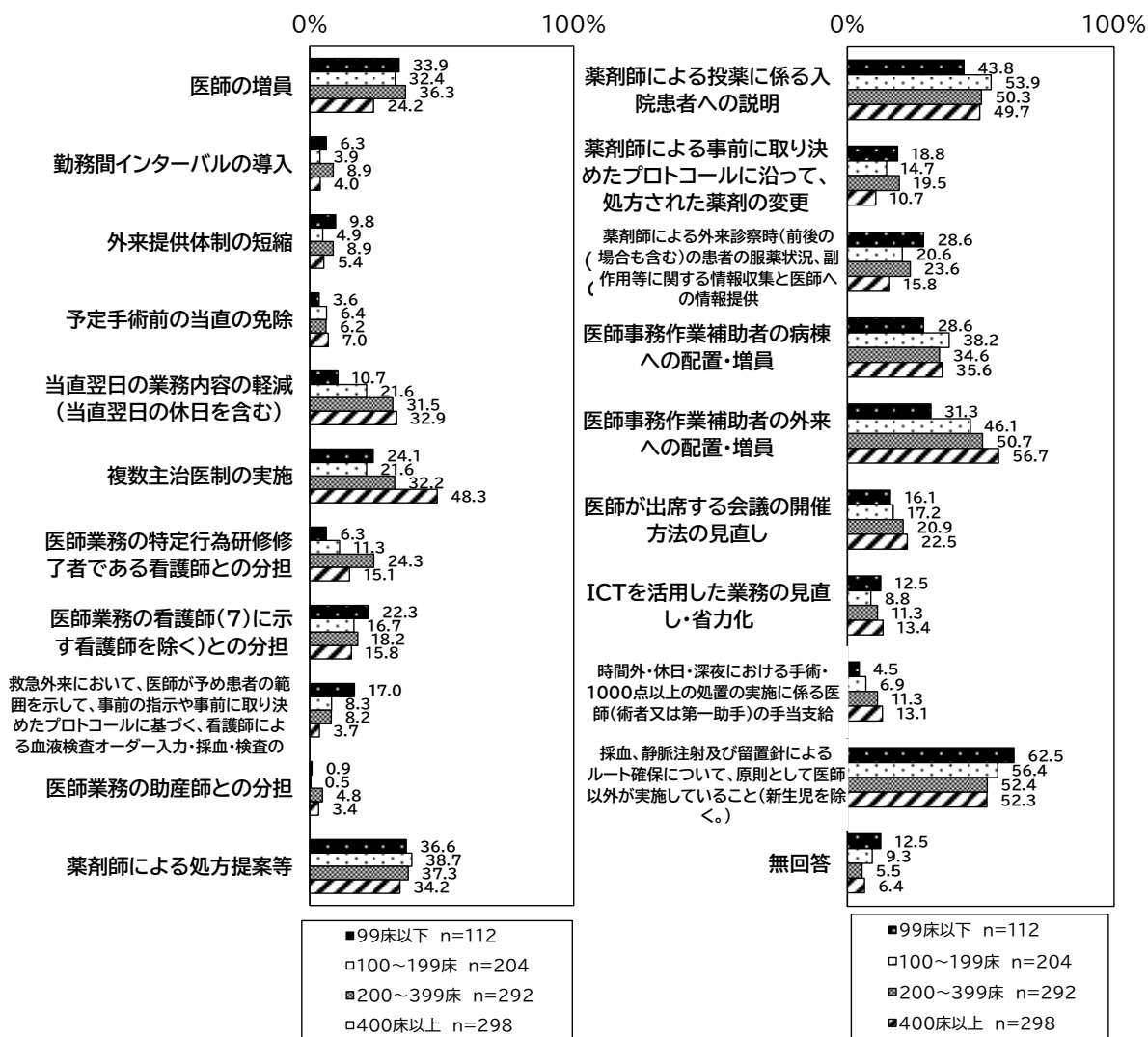
医師の負担軽減策として実施している取組で最も多かったものは「採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として医師以外が実施していること（新生児を除く。）」であった。

また、地域医療体制確保加算を届出ている施設に着目すると「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」（58.6%）が最も多かった。医師事務作業補助体制加算を届出ている施設においても同項目が、56.9%と最も多かった。

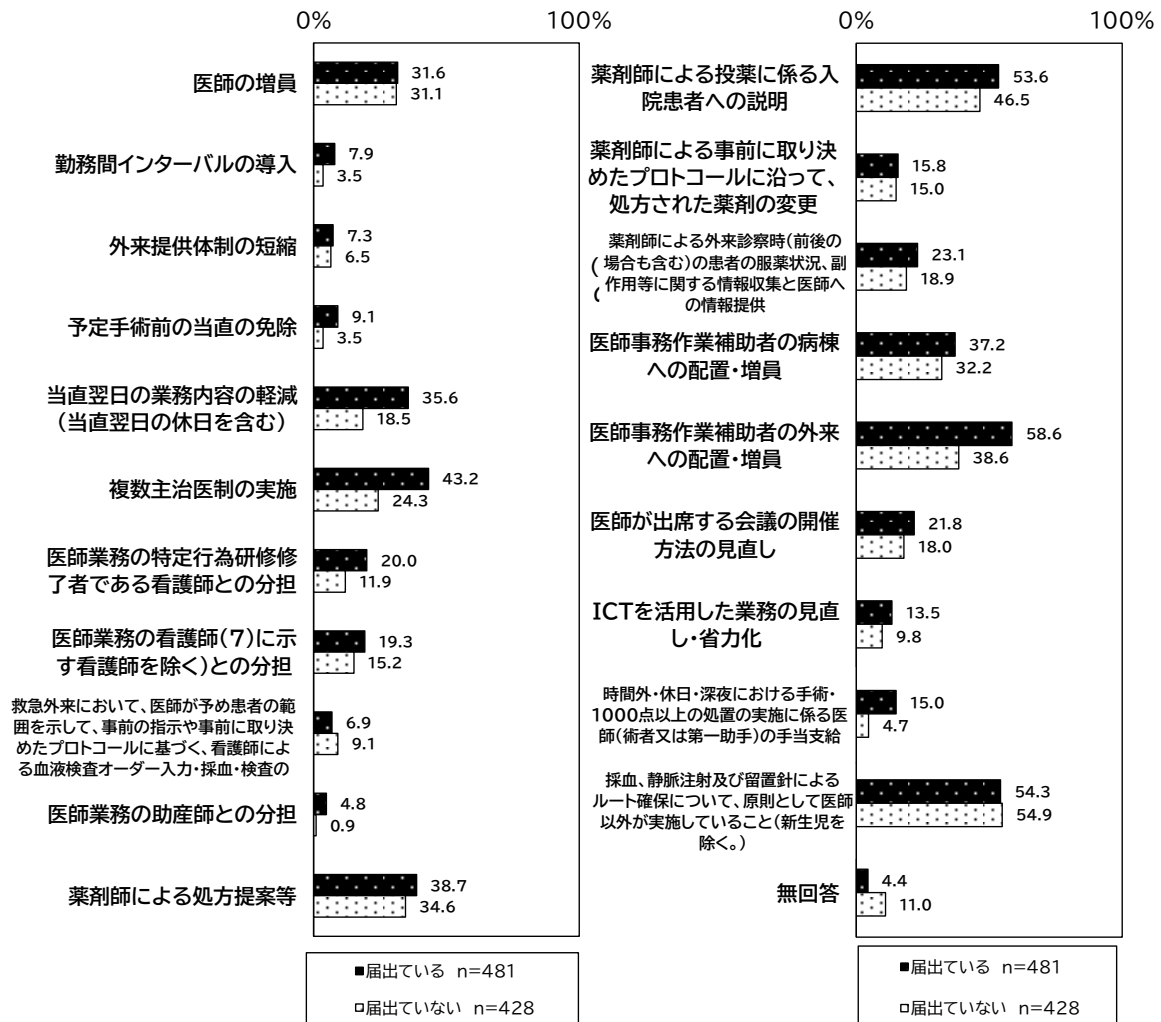
図表 3-86 診療科で実施している医師の負担軽減策（複数回答）



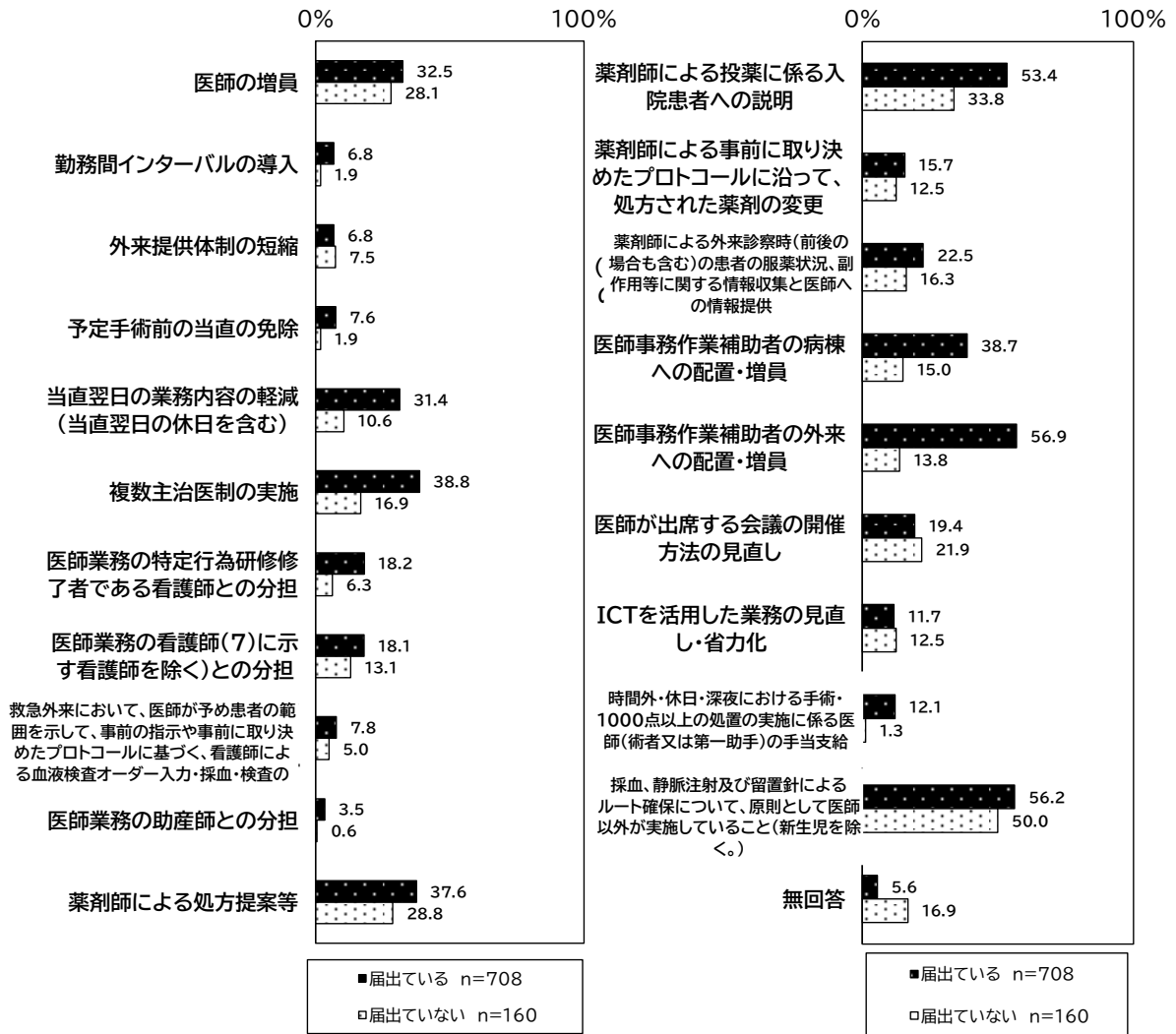
図表 3-87 診療科で実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（病床規模別）



図表 3-88 診療科で実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3-89 診療科で実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）

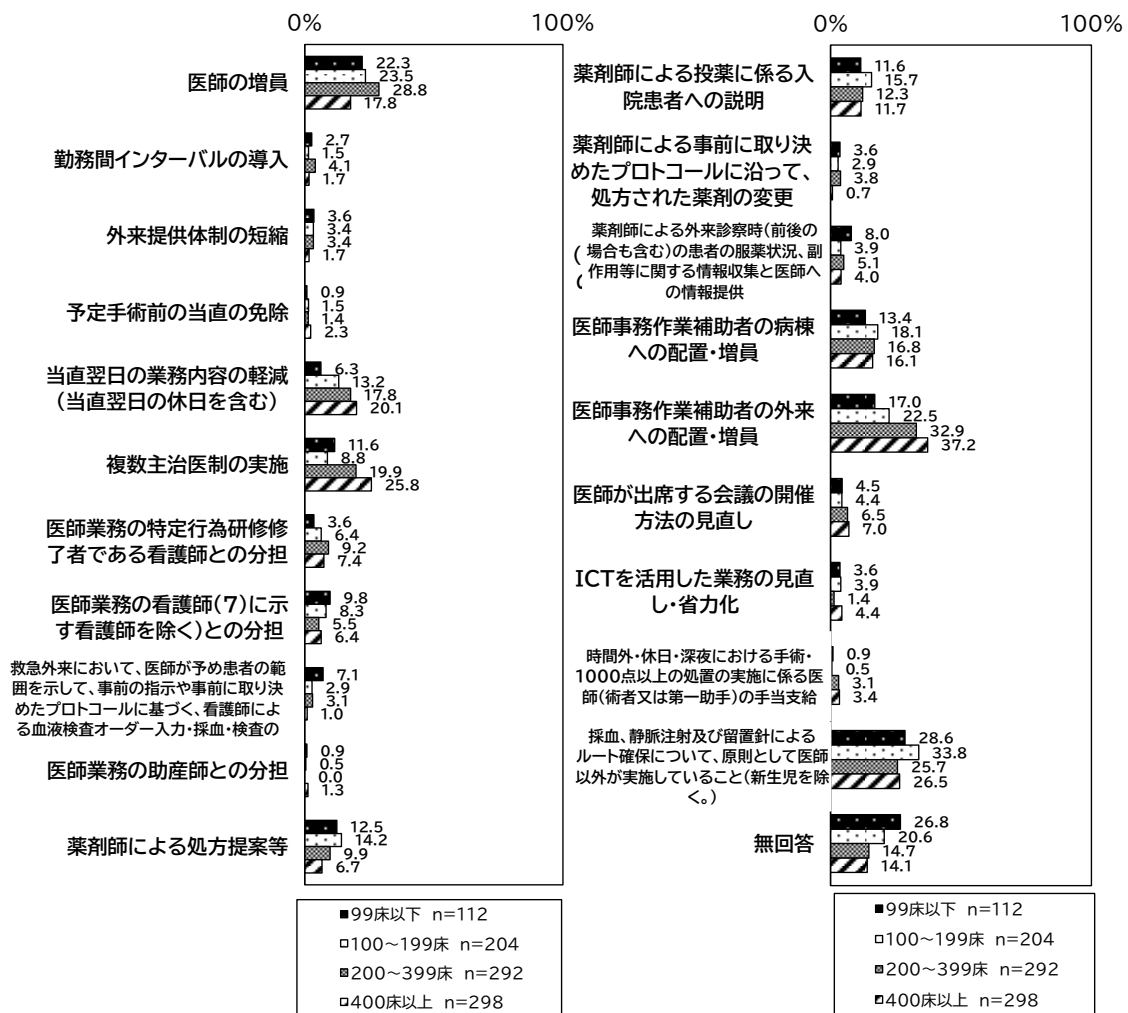


①-(2) 特に医師の負担軽減効果のある取組

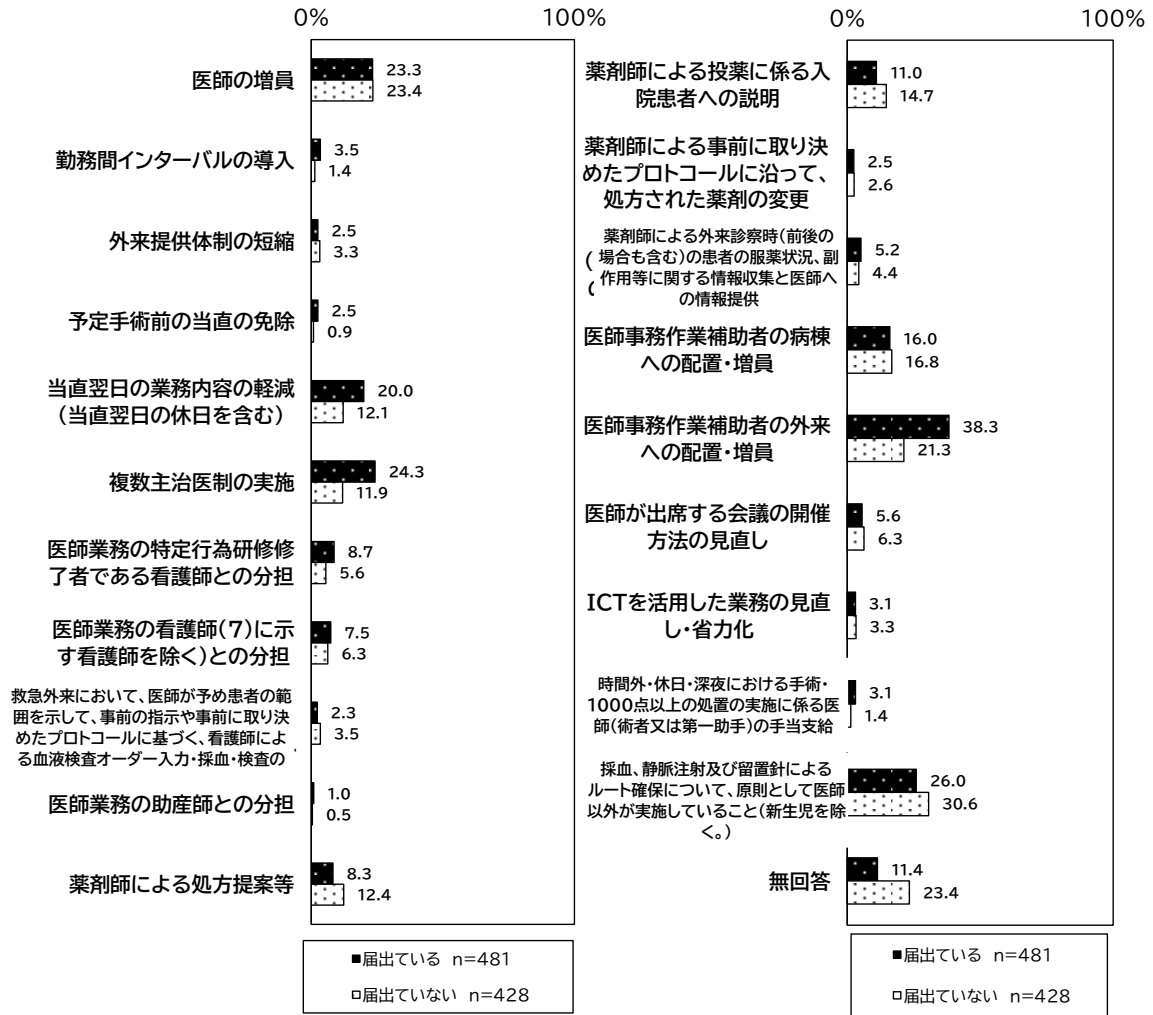
特に効果のある取組についてみると、病床規模が199床以下の施設で最も多かったのは「採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として医師以外が実施していること（新生児を除く。）」（99床以下：28.6%、100～199床：33.8%）、200床以上の施設で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」（200～399床：32.9%、400床以上：37.2%）であった。

また、地域医療体制確保加算を届出ている施設においては、「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」が38.3%、次いで「採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として医師以外が実施していること（新生児を除く。）」が26.0%となっていた。

図表 3-90 実施している医師の負担軽減策で特に効果のある取組（3つまで）
（病床規模別）



図表 3-91 実施している医師の負担軽減策で特に効果のある取組（3 つまで）
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3-92 実施している医師の負担軽減策で特に効果のある取組（3つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）

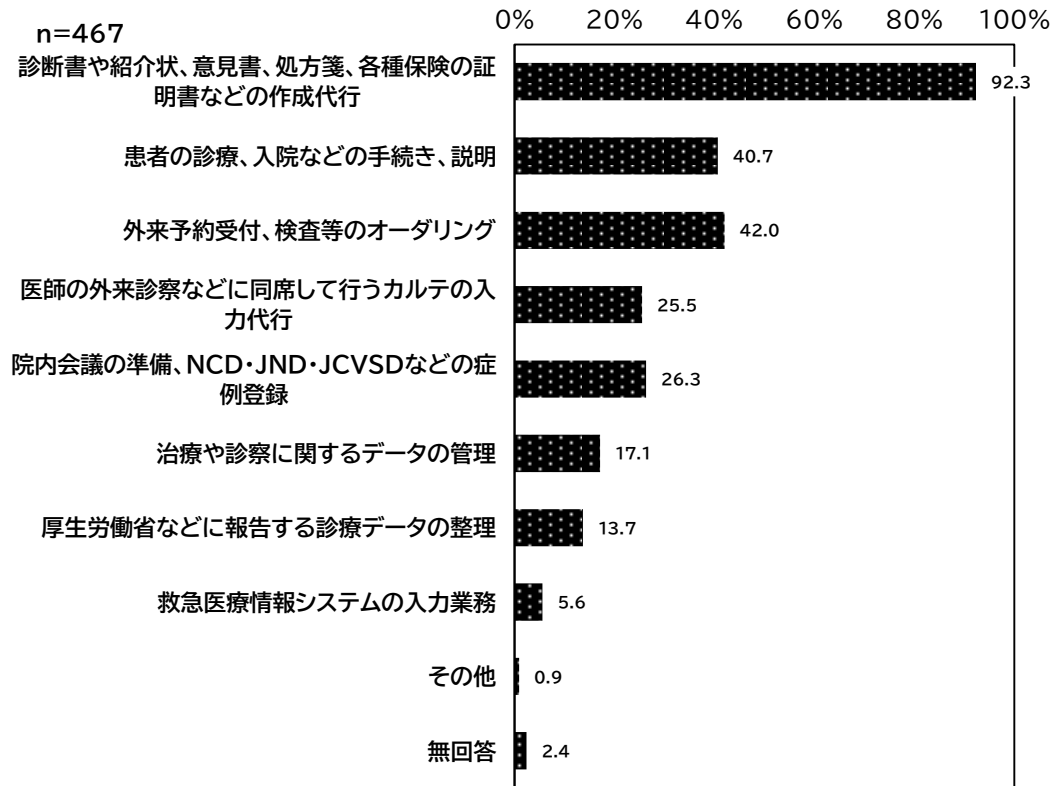


② 医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務の具体的な内容

医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務内容で最も多かったものは「診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行」で92.3%であった。

なお、「その他」の回答には、「退院時サマリーの作成」、「患者への説明資料の作成」、「予約説明」、「検査の場所や次回受診の説明」等があった。

図表 3-93 医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた
医師業務内容（複数回答）



図表 3-94 改善された月当たりの時間数（月間）

(単位:時間)

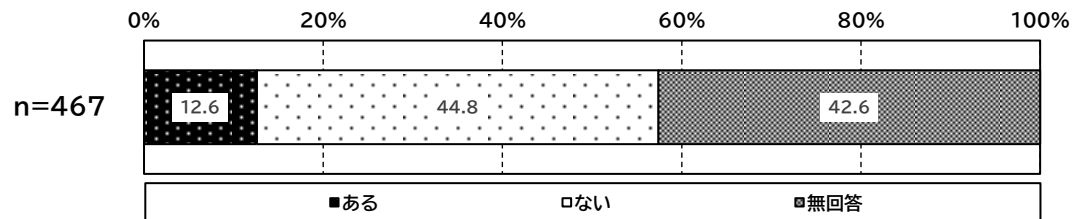
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行	n=379	6.0	6.6	4.0
患者の診療、入院などの手続き、説明	n=166	4.5	4.5	3.0
外来予約受付、検査等のオーダーリング	n=174	4.9	7.7	3.0
医師の外来診察などに同席して行うカルテの入力代行	n=99	7.8	11.7	4.0
院内会議の準備、NCD・JND・JCVSDなどの症例登録	n=104	5.9	15.8	3.0
治療や診察に関するデータの管理	n=71	4.8	6.7	2.0
厚生労働省などに報告する診療データの整理	n=55	2.7	2.9	2.0
救急医療情報システムの入力業務	n=23	2.9	3.0	2.0
その他	n=3	8.0	2.8	3.0

②-1 医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）の有無

医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）で最も多かったものは「ない」で、44.8%であった。

なお、拡充が可能となった医療（サービス）の具体例としては、「外来患者との対話時間の確保」、「外来の待ち時間の短縮」、「外来患者・救急外来の受入増加」等の外来の質向上に関連する回答があった。また、「診療時間の増加」、「患者や家族への説明時間の増加」といった診療時間の拡充に関連する回答も見られた。

図表 3-95 医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）



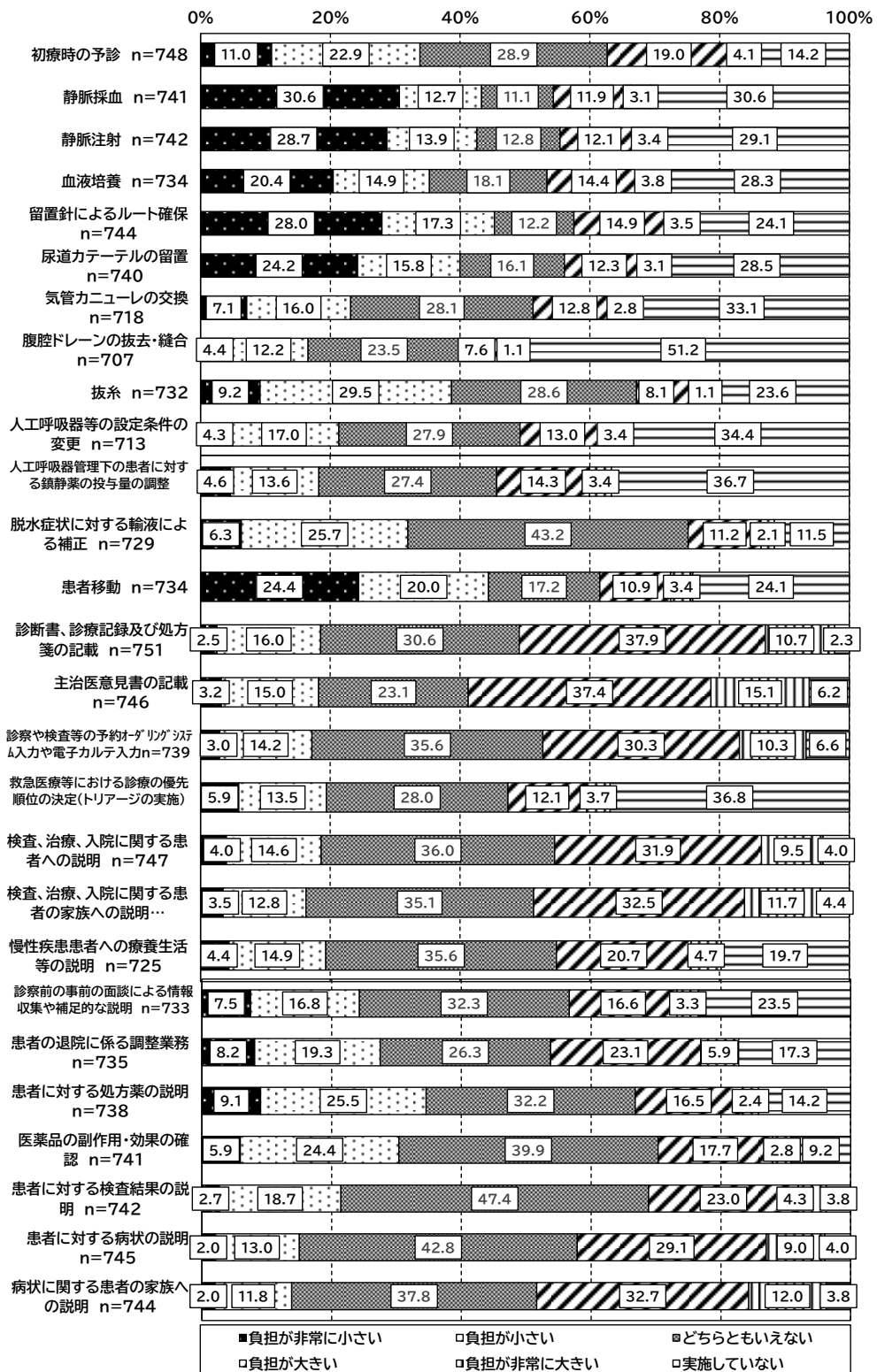
③ 診療科における業務負担感と業務分担の状況等

③-1) 各業務の負担感

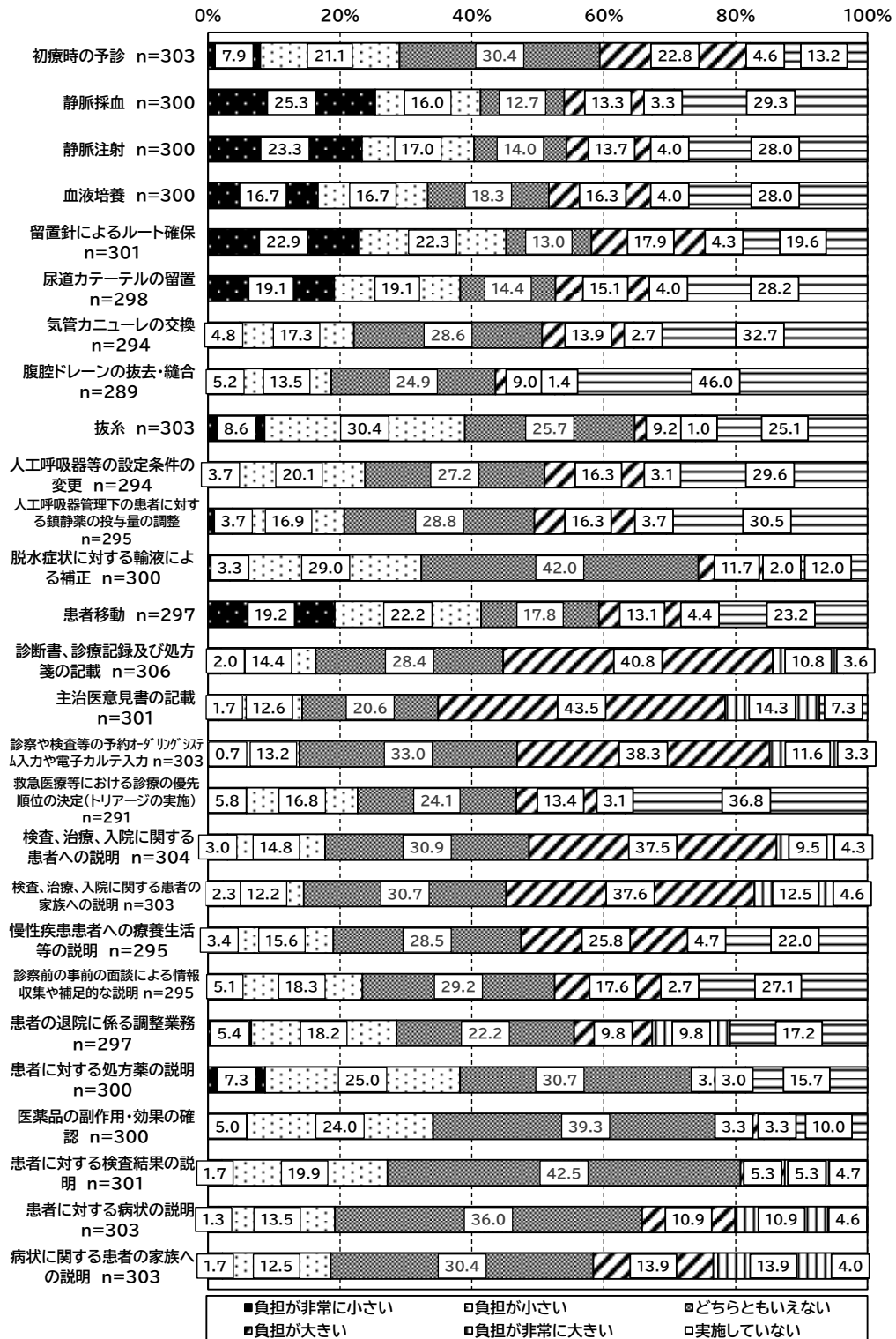
各業務の負担感で「負担が非常に小さい」との回答が最も多かった業務は「静脈採決」（30.6%）で、「負担が非常に大きい」との回答が最も多かった業務は「主治医意見書の記載」（15.1%）であった。

地域医療体制各加算の届出施設においては、「主治医意見書の記載」について、14.3%の回答者が「負担が非常に大きい」と回答していた。

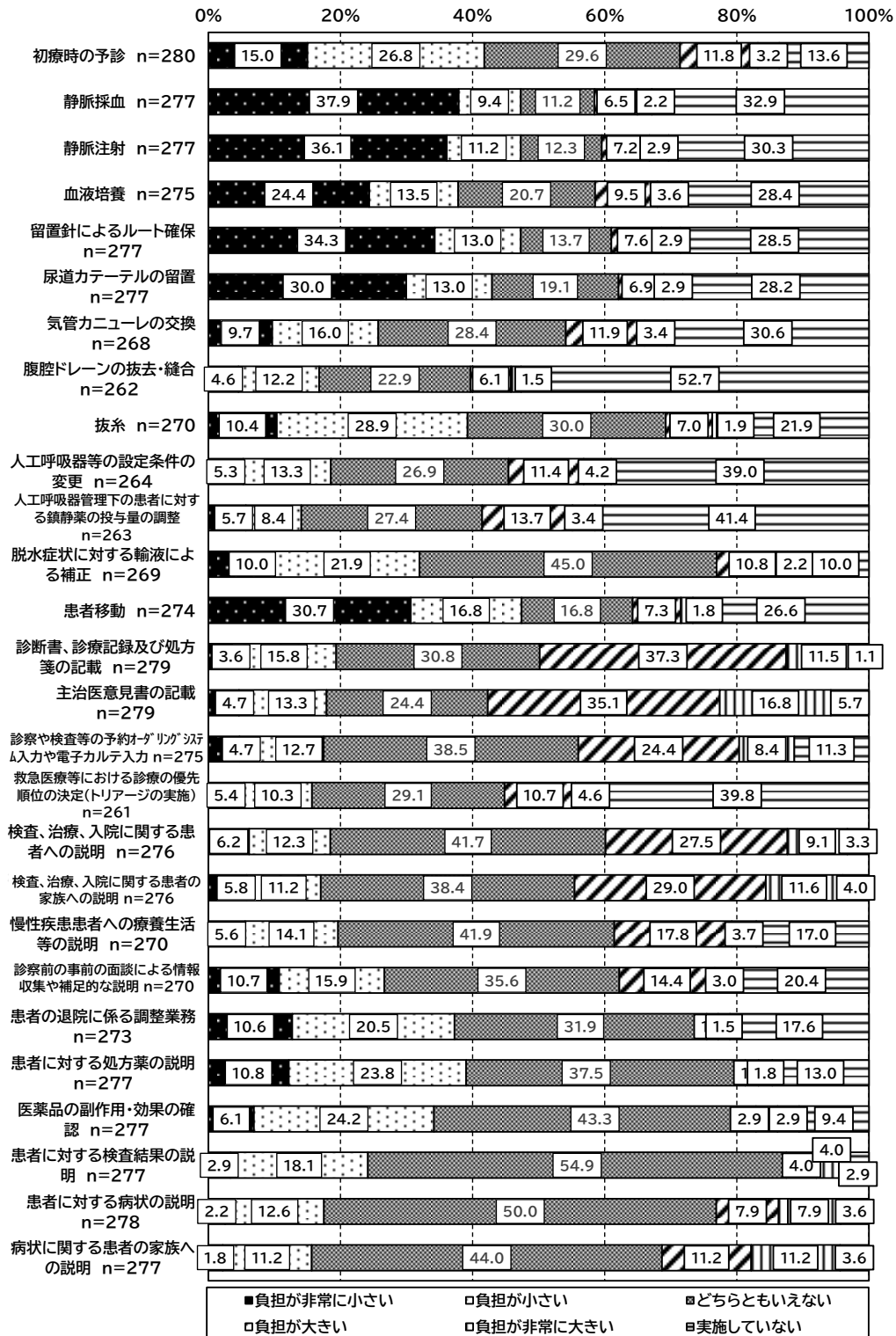
図表 3-96 各業務の負担感



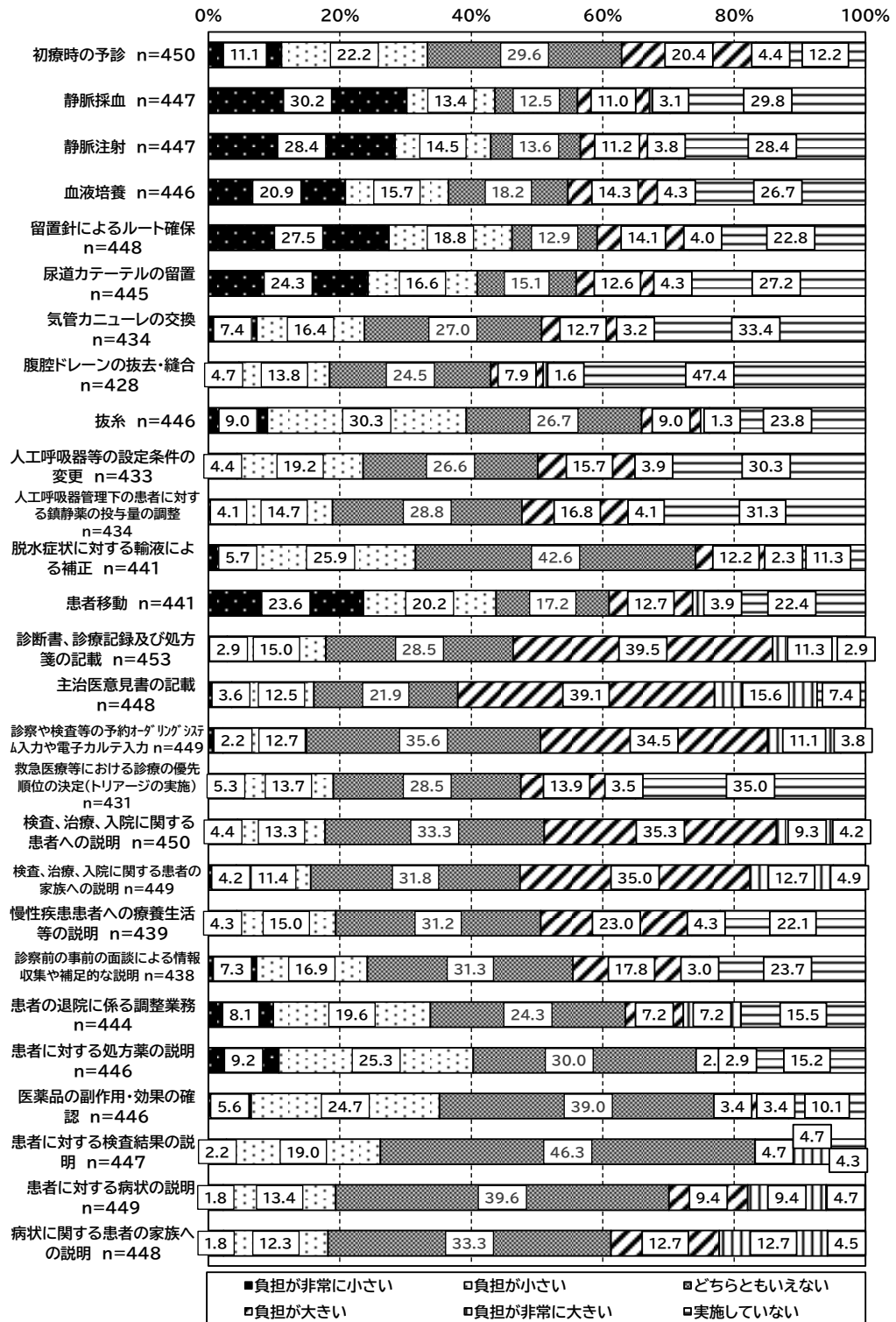
図表 3-97 各業務の負担感
(地域医療体制確保加算の届出施設)



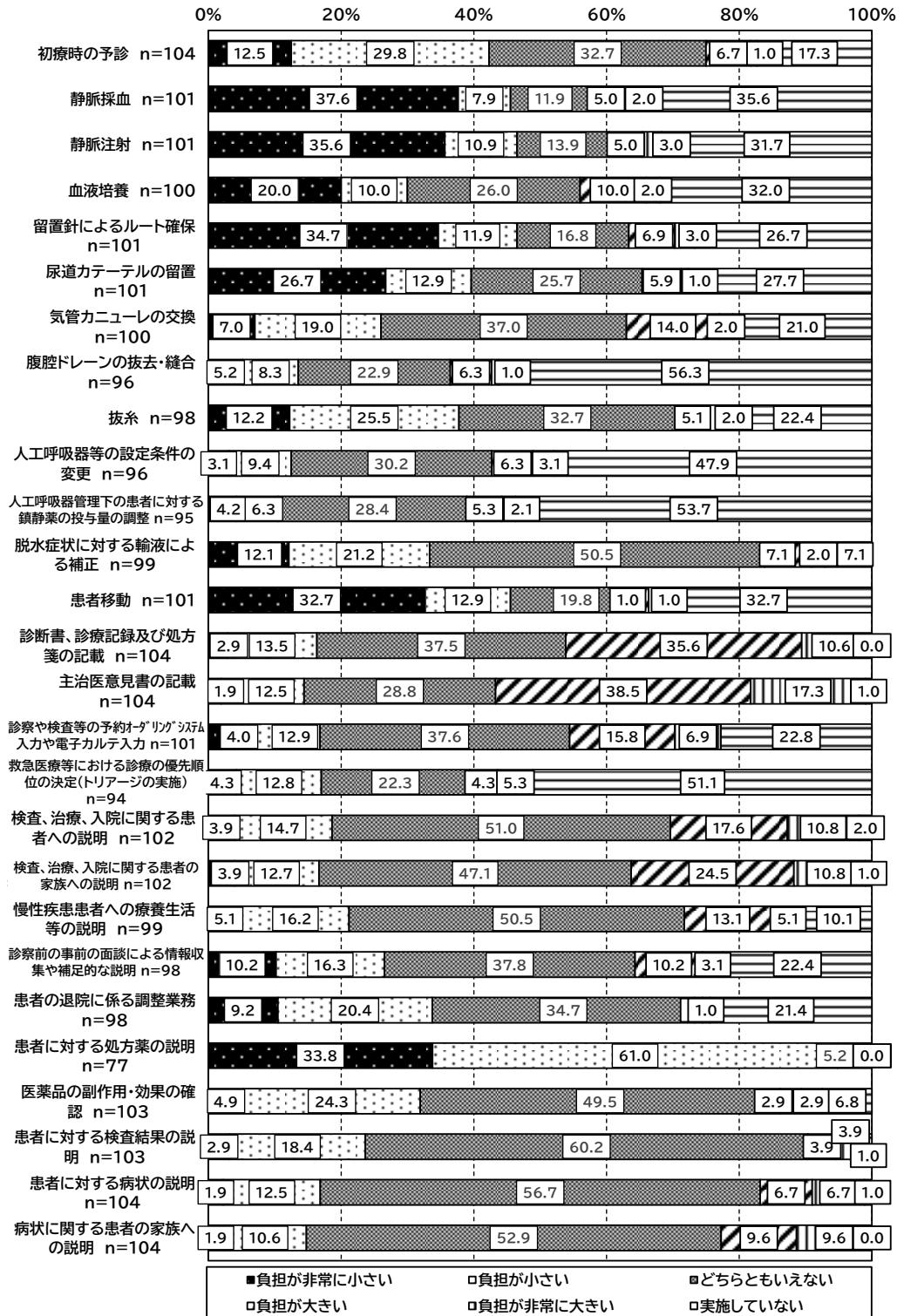
図表 3-98 各業務の負担感
(地域医療体制確保加算の未届出施設)



図表 3-99 各業務の負担感
(医師事務作業補助体制加算の届出施設)



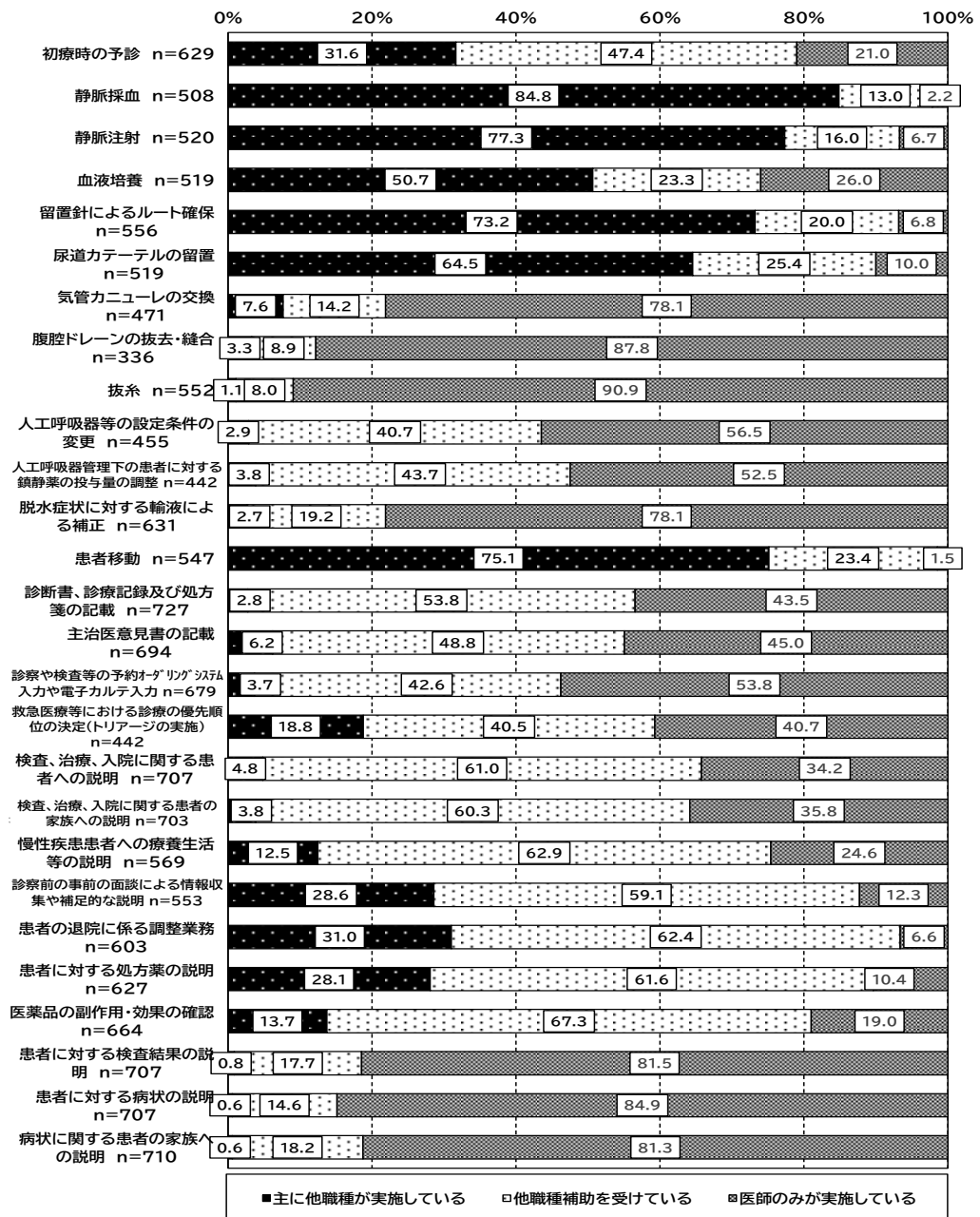
図表 3-100 各業務の負担感
(医師事務作業補助体制加算の未届出施設)



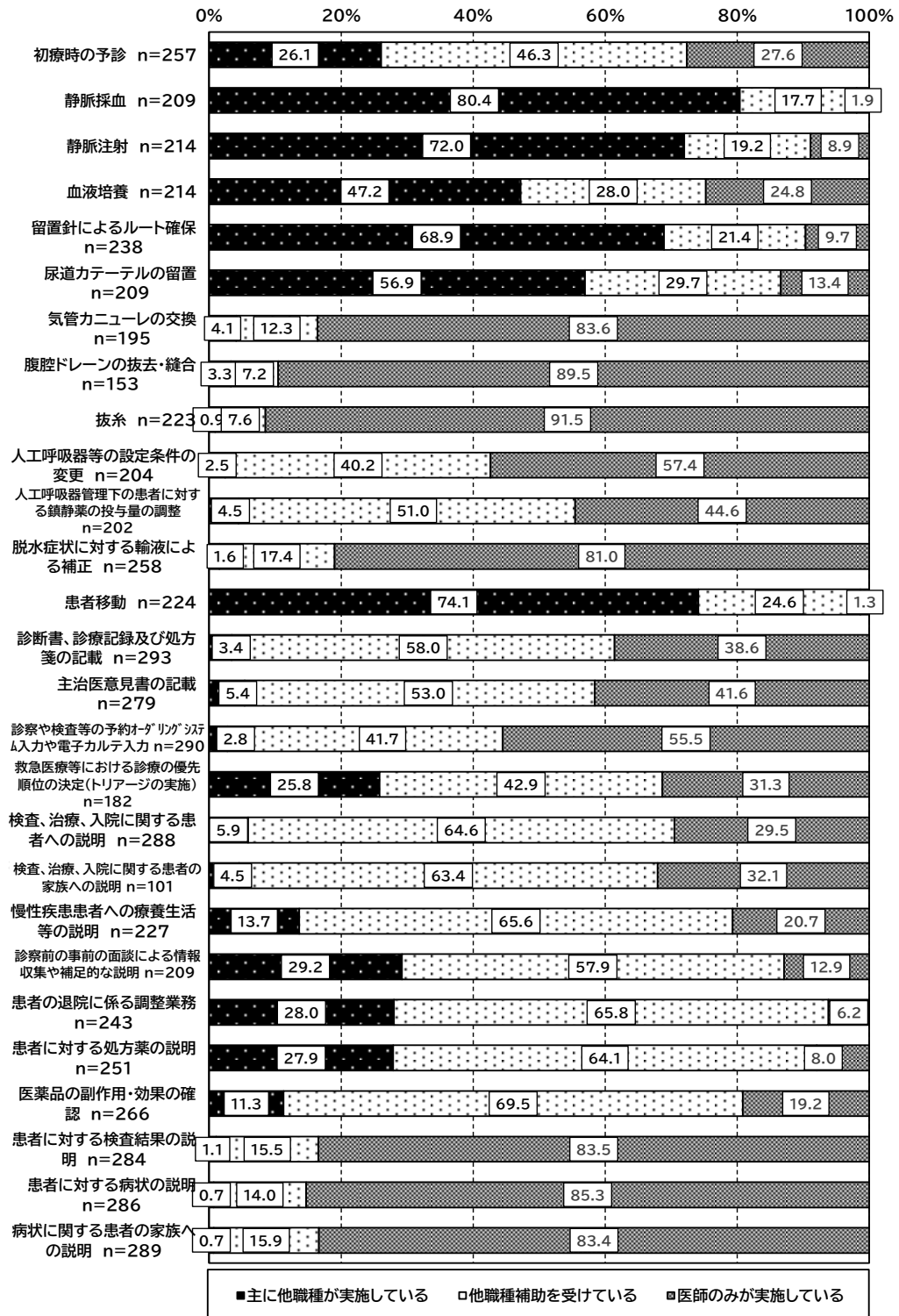
③-(2) 各業務の他職種との業務分担の取組状況

各業務の多職種との業務分担の取組状況で「主に多職種が実施している」もので最も多かった業務は「静脈採決」(84.8%)であった。「他職種の補助を受けている」もので最も多かった業務は「医薬品の副作用・効果の確認」(67.3%)であった。

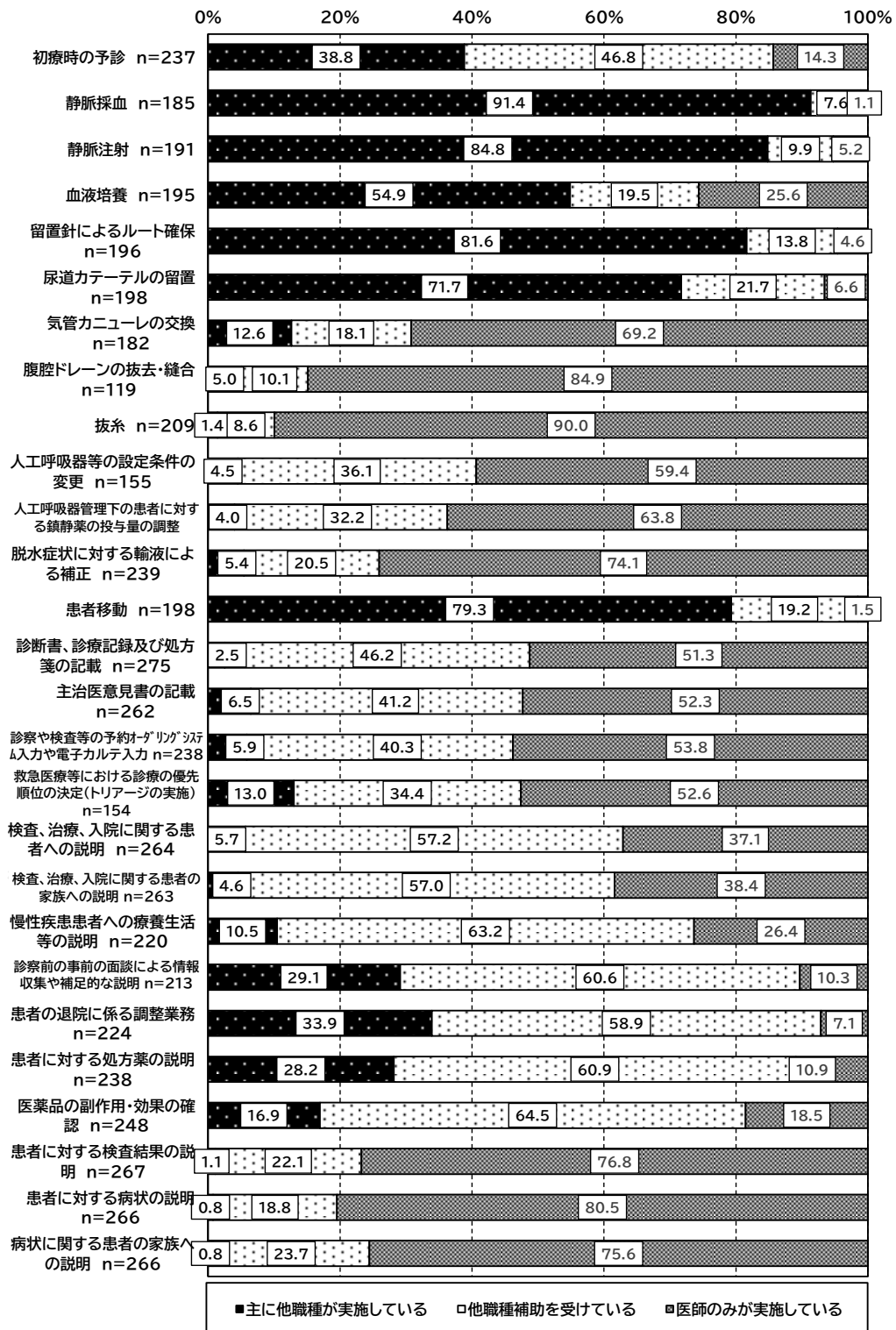
図表 3-101 各業務の他職種との業務分担の取組状況



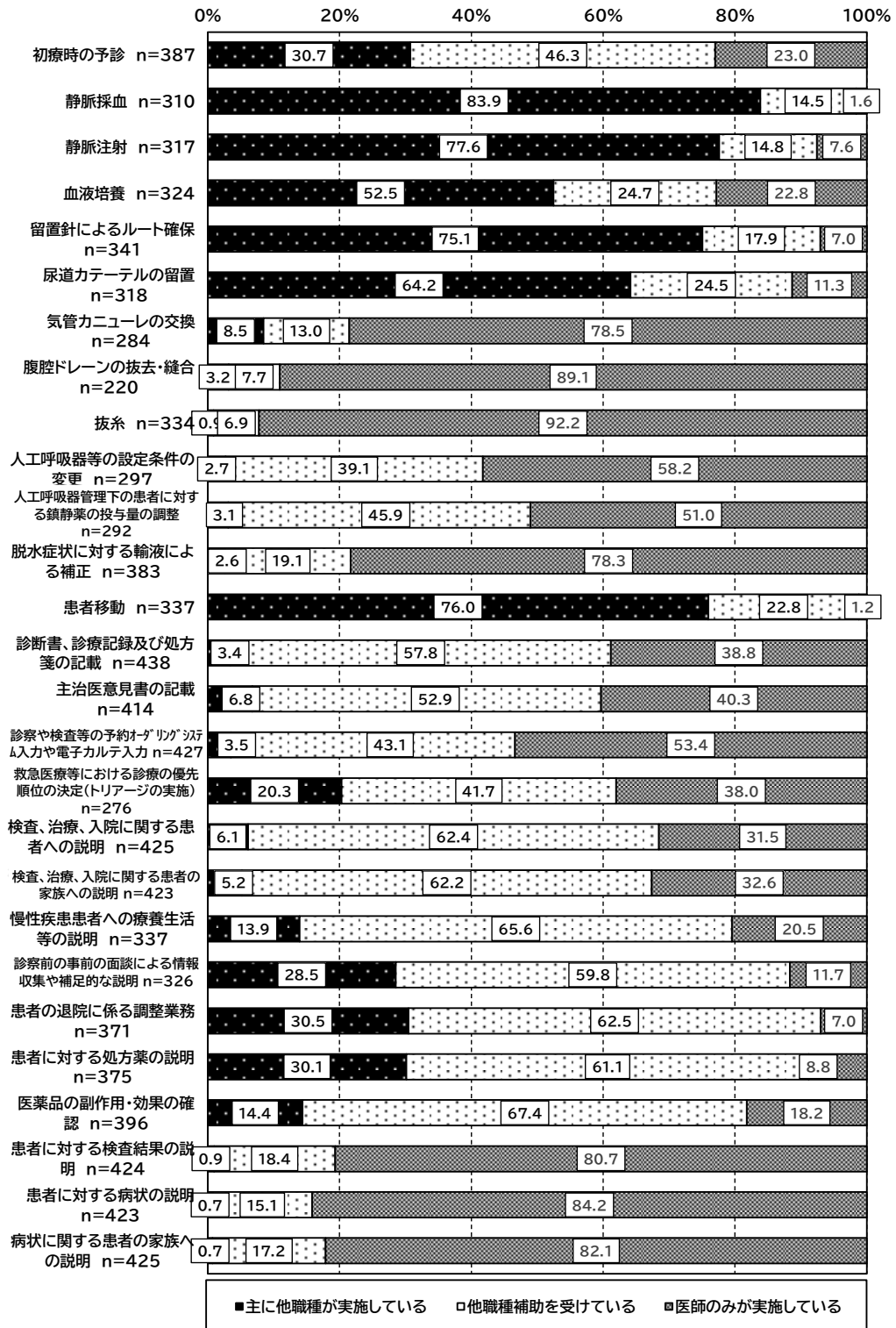
図表 3-102 各業務の他職種との業務分担の取組状況
(地域医療体制確保加算の届出施設)



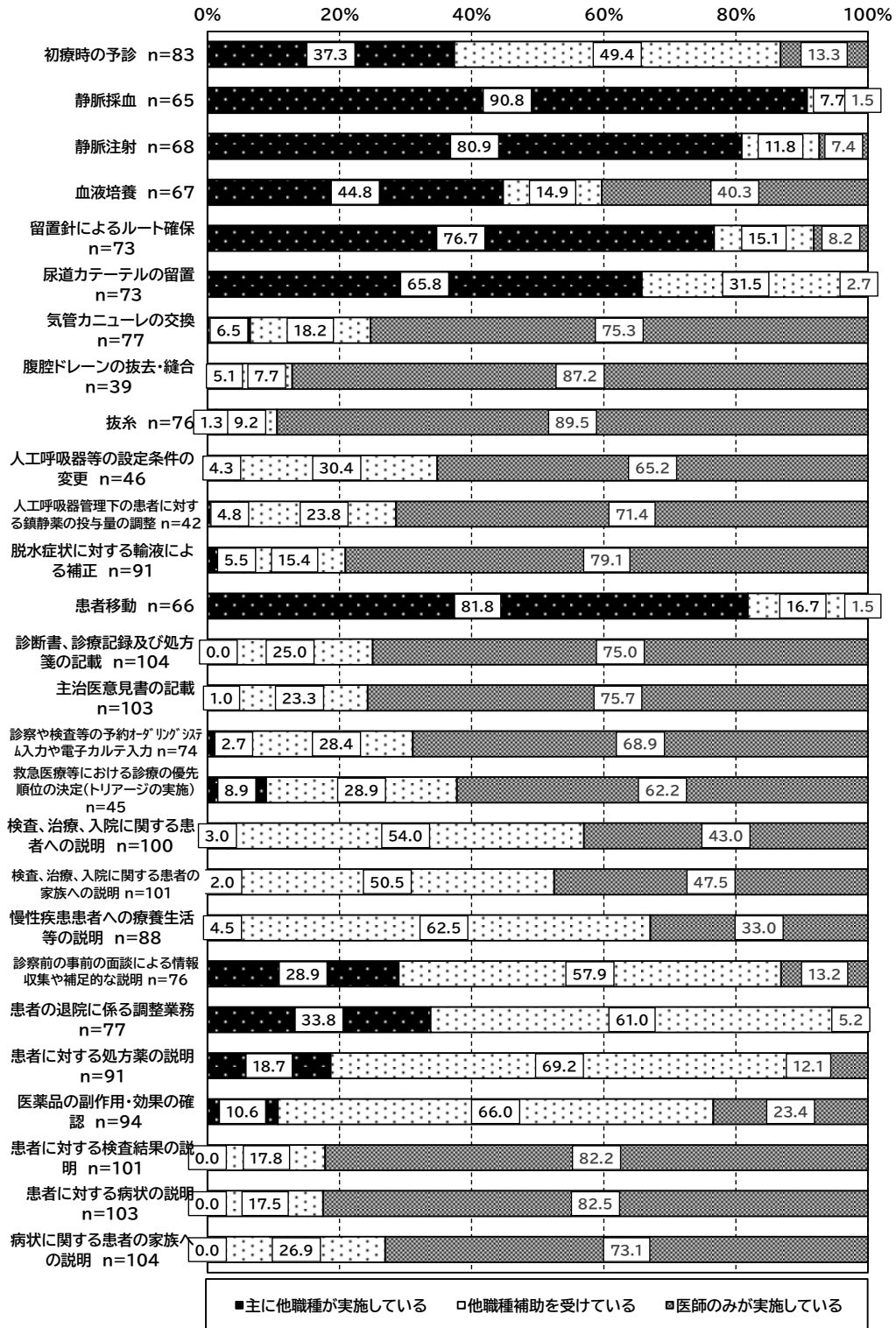
図表 3-103 各業務の他職種との業務分担の取組状況
(地域医療体制確保加算の未届出施設)



図表 3-104 各業務の他職種との業務分担の取組状況
(医師事務作業補助体制加算の届出施設)



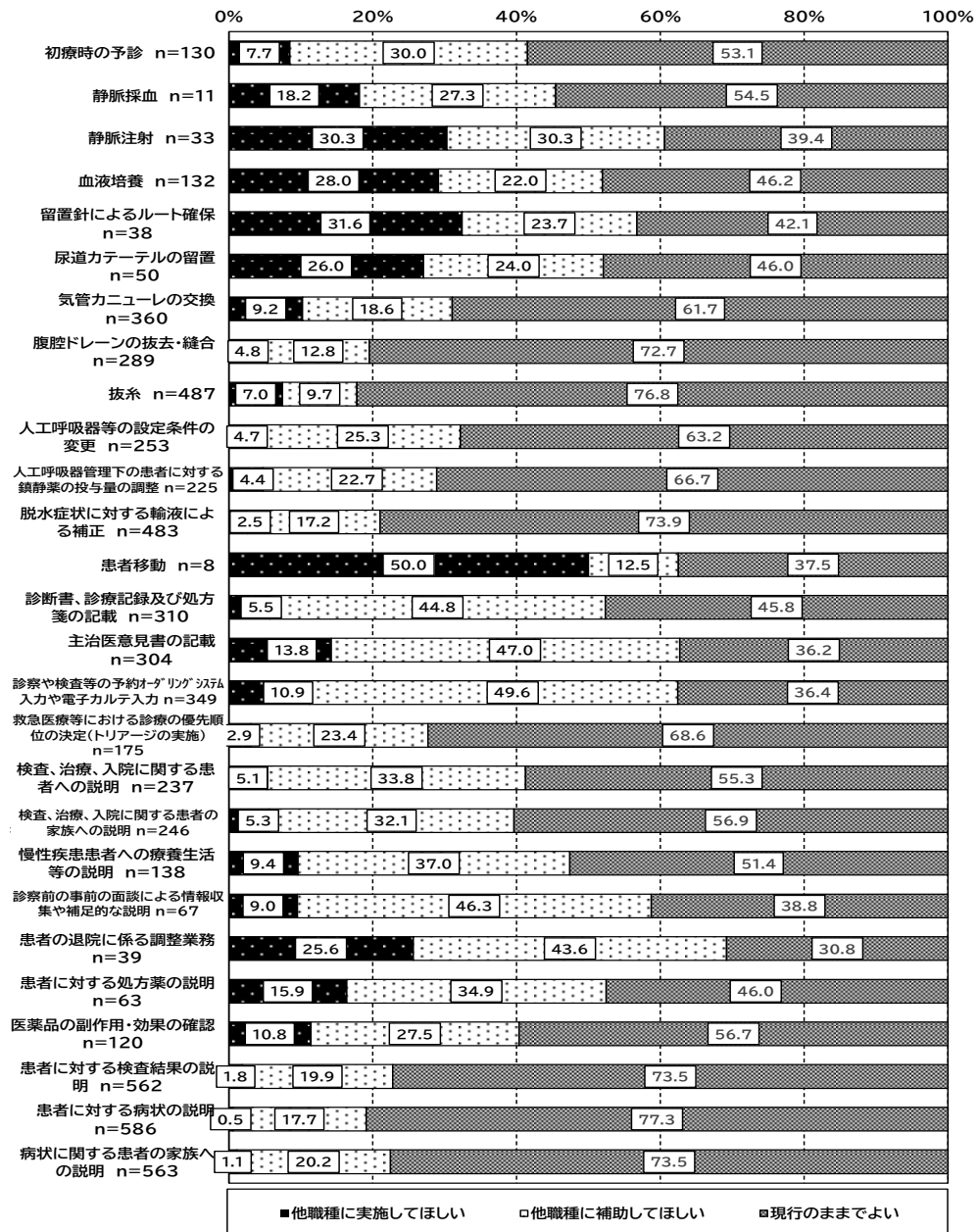
図表 3-105 各業務の他職種との業務分担の取組状況
(医師事務作業補助体制加算の未届出施設)



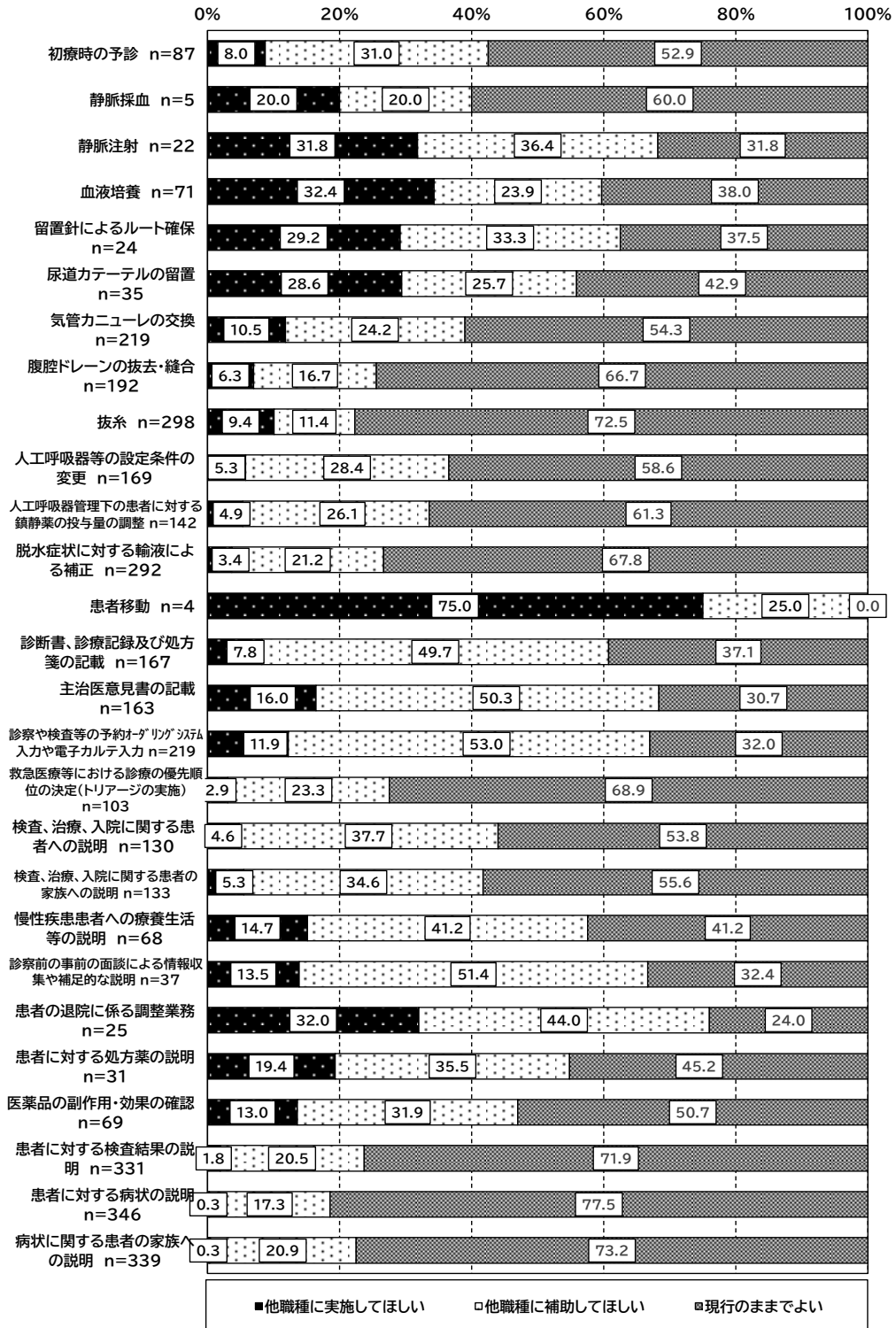
③-(3) 他職種への期待

「医師のみが実施している」業務についてのみ、他職種への期待を確認している。「他職種に実施してほしい」という回答の割合が最も高かった業務は「患者移動」(50.0%)で、「他職種に補助してほしい」回答の割合が最も高かった業務は「診察や検査等の予約オーダーリングシステム入力や電子カルテ入力」(49.6%)であった。

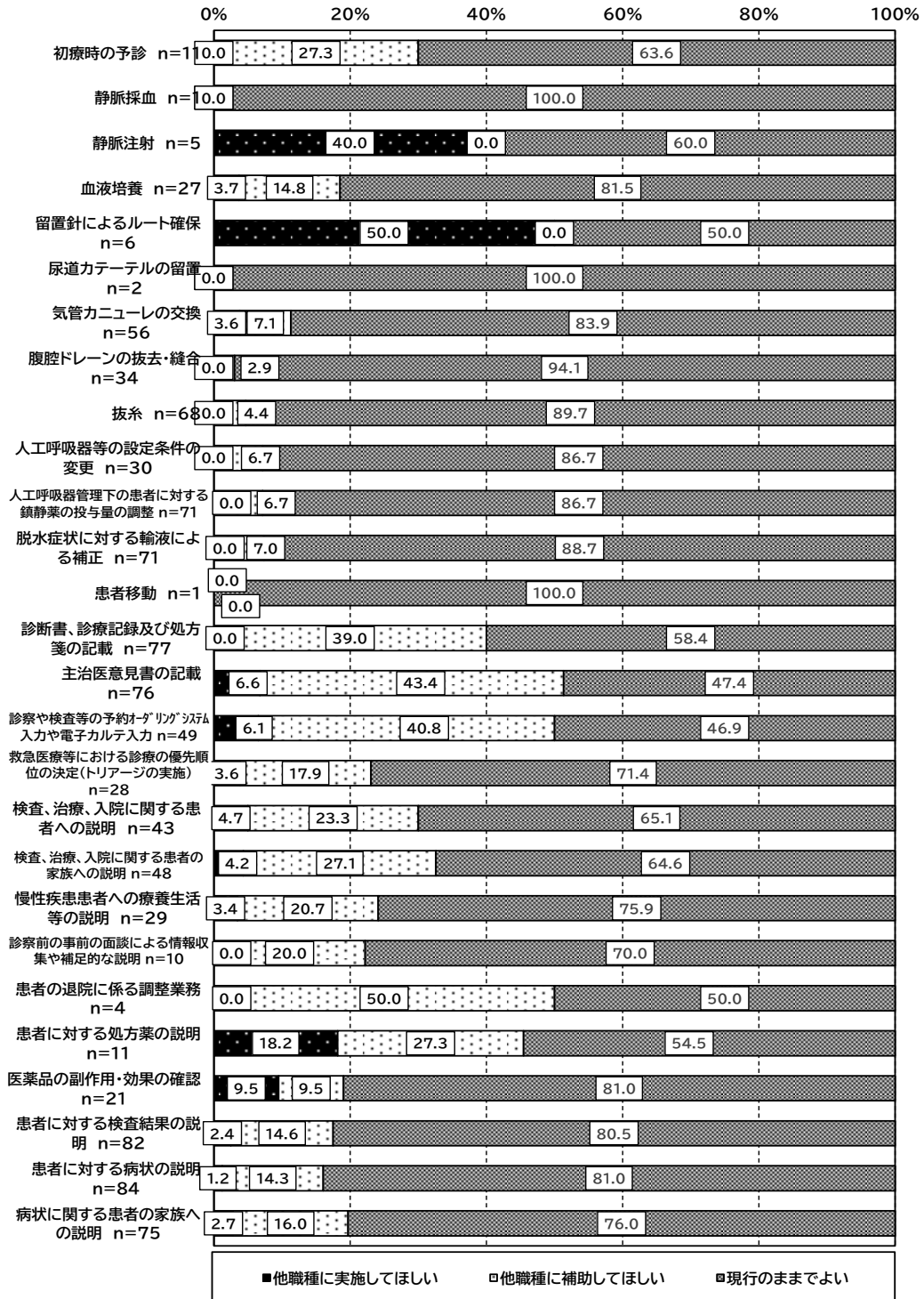
図表 3-106 他職種への期待（医師のみが実施している場合）



図表 3-107 他職種への期待（医師のみが実施している場合）
（医師事務作業補助体制加算の届出施設）



図表 3-108 他職種への期待（医師のみが実施している場合）
（医師事務作業補助体制加算の未届出施設）



④ ③で挙げている業務の他に負担に感じている業務で、医師以外の職員と役割分担ができる業務

前問で挙げている業務の他に負担に感じている業務で、医師以外の職員と役割分担ができる業務としては、「検査予約等の日程調整」や「検査オーダーの際に発生する書類業務」、「COVID-19 の検査の実施」といった検査やその付帯業務に関連する回答があった。その他には、「カルテ入力業務」や「患者家族に対する病状の補足的な説明」、「会議の減少」等の回答が見られた。

図表 3-109 現在負担に感じている業務で他職種と役割分担できる業務

検査やその付帯業務に関連する回答	
	検査予約等の日程調整
	検査オーダーの際に発生する書類業務
	外来検査オーダーの日時スケジューリング
	検査伝票のオーダーリング入力
	検査(CT や MRI など)のオーダー
	COVID-19 の検査の実施
カルテ入力関係に関連する回答	
	カルテ入力業務
	電子カルテ入力関係
	カルテ入力業務、紹介状、診断書、下書き
	初心患者の受診までの経過などの代行電子カルテ入力
	紙カルテで医療を行っており、カルテ記載などで時間がとられるため分担したい
	患者が持参したデータを電子カルテに入力する業務の負担が大きい。成長の記録から成長曲線の作成など。
病状の説明等に関連する回答	
	病状の説明に関しては、くり返し内容となるもので医師のカルテ記載があるものは、記載内容に基づき、他職種が実施できる
	患者家族に対する病状の補足的な説明
	外来時間の中で、手術や病状説明を行うこと。理解が悪い患者には時間がかかり、ビデオやパンフレットで代行したい
	一般的な手術説明
	症状説明にスタッフをもっと関与してもらいたいが、病棟スタッフが若いいため難しい
その他	
	抗がん剤点滴ルート確保
	検査の説明、同意書、サイン受け取り
	会議の減少

等

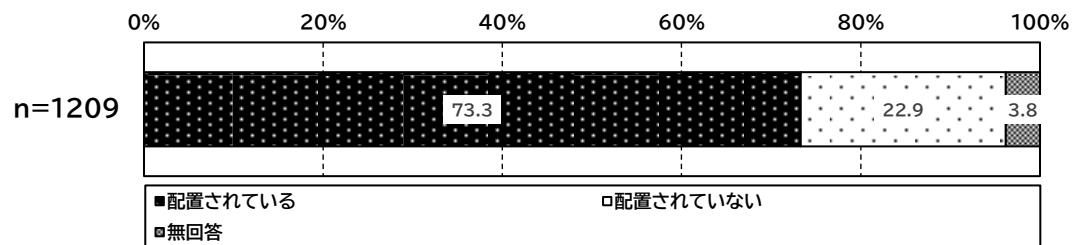
(4) 病棟薬剤師による医師の業務の負担軽減等

① 主に勤務する病棟での薬剤師の配置

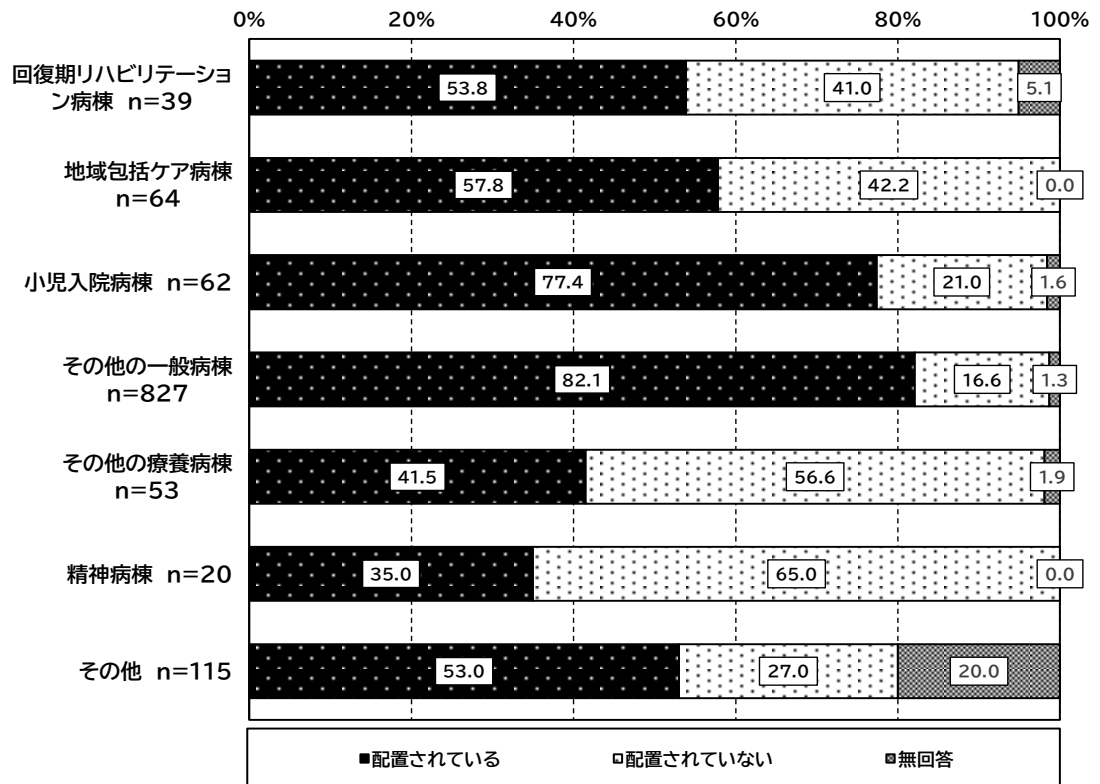
病棟における薬剤師の配置状況についてみると、「配置されている」が73.3%、「配置されていない」が22.9%であった。

地域医療体制確保加算の届出有無別にみると、届出している施設は88.1%が「配置されている」と回答していた。また、医師事務作業補助体制加算の届出有無別にみると、届出している施設は81.5%が「配置されている」と回答していた。

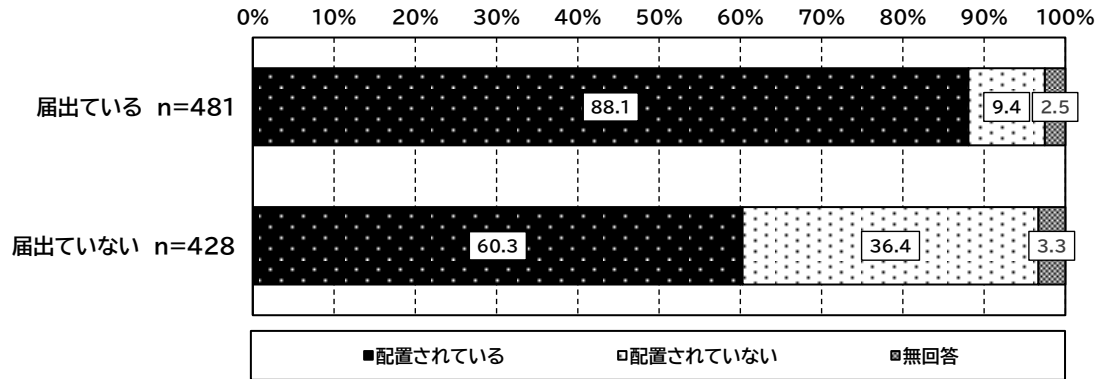
図表 3-110 病棟における薬剤師の配置状況



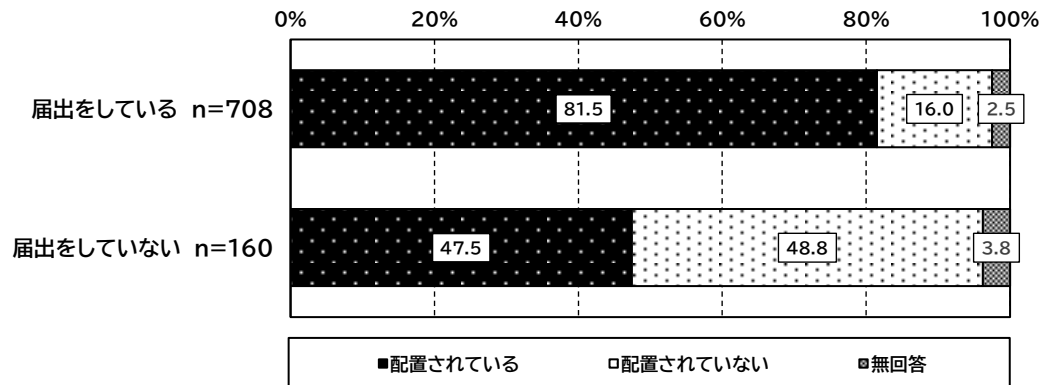
図表 3-111 病棟における薬剤師の配置状況 (担当する病棟種別)



図表 3-112 病棟における薬剤師の配置状況
 (地域医療体制確保加算の届出有無別)



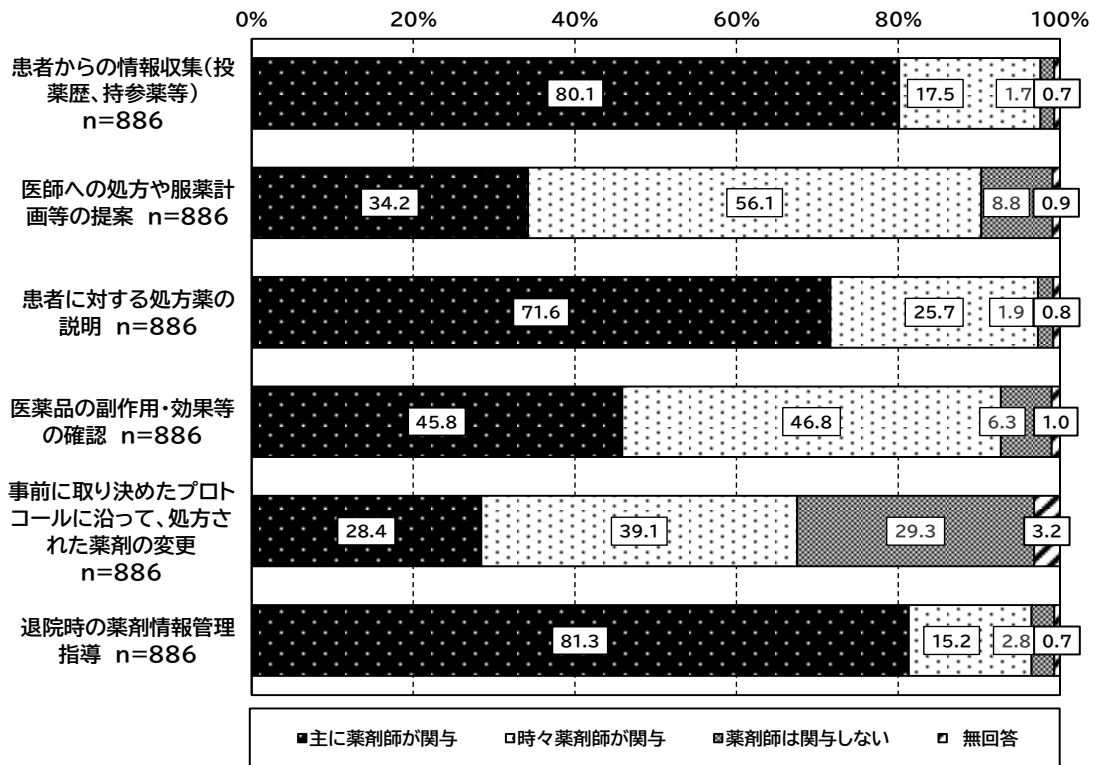
図表 3-113 病棟における薬剤師の配置状況
 (医師事務作業補助体制加算の届出有無別)



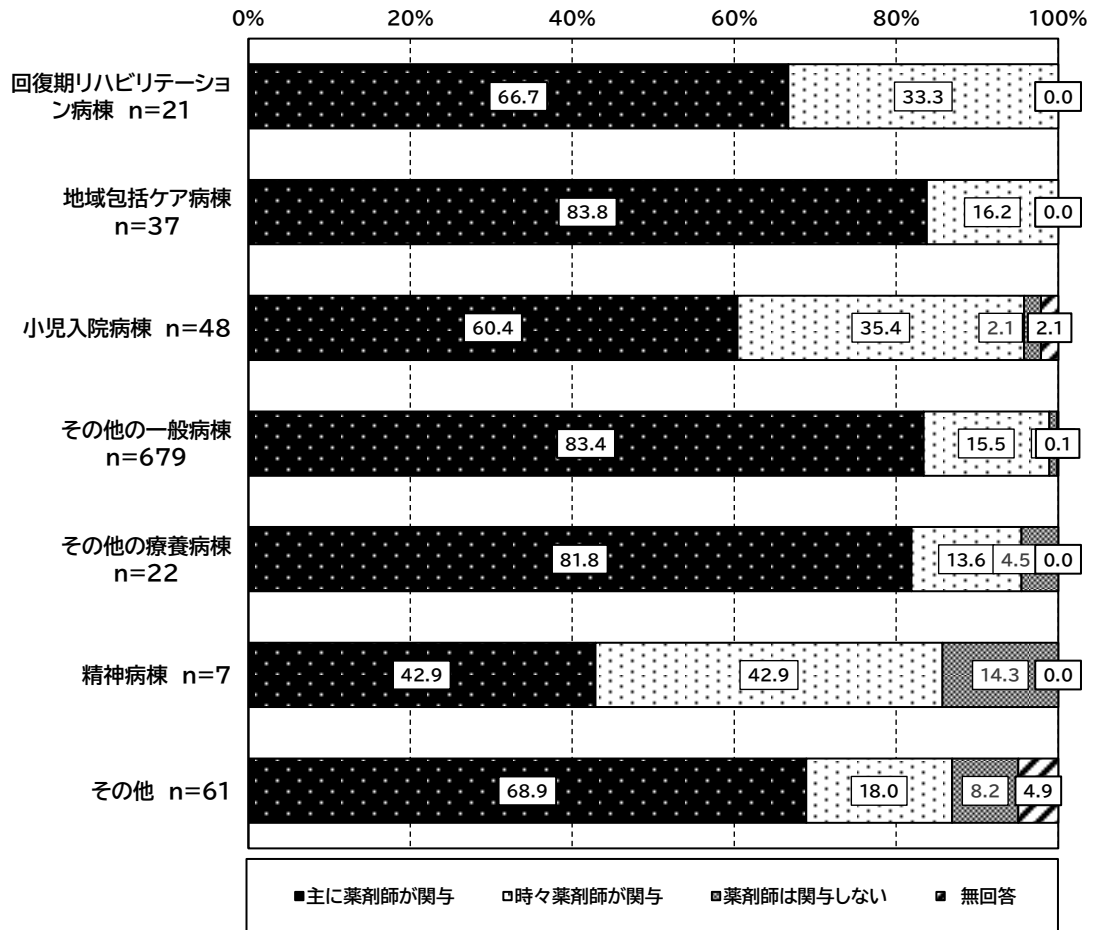
①-(1) 病棟における薬剤師の関与の状況

薬剤師が配置されている病棟に勤務している医師に、病棟における薬剤師の関与の状況を尋ねたところ、「主に薬剤師が関与」という回答が最も多かった業務は「退院時の薬剤情報管理」(81.3%)であった。次に多かったものは「患者から情報収集(投薬歴、持参薬等)」(80.1%)であった。

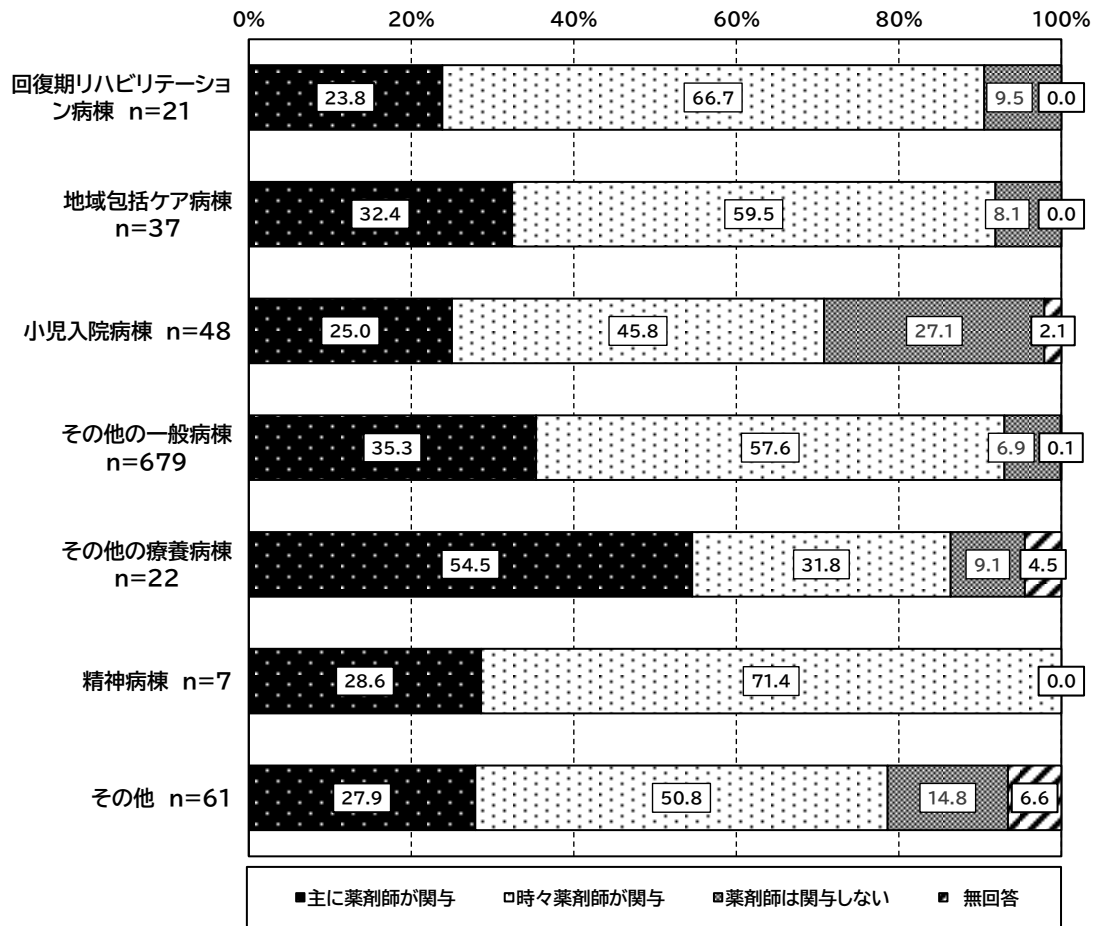
図表 3-114 病棟における薬剤師の関与状況



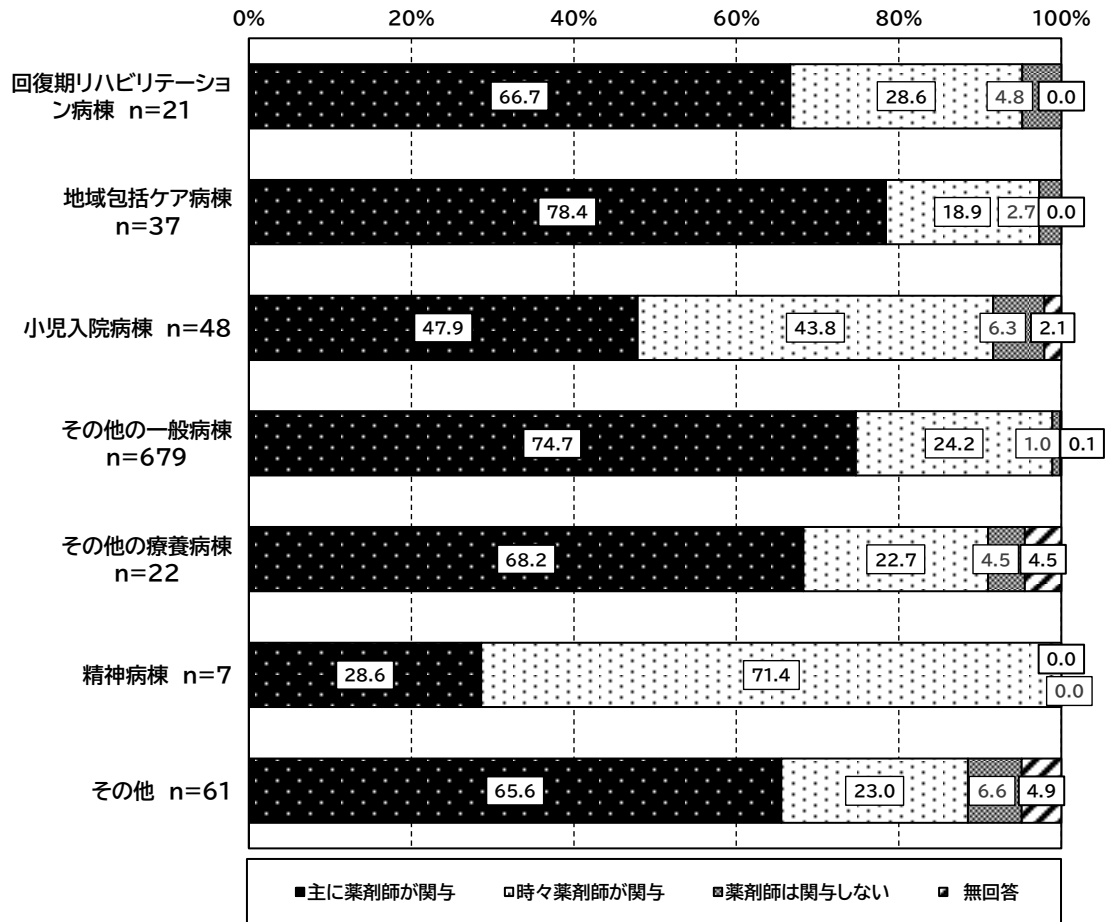
図表 3-115 病棟における薬剤師の関与状況
 <患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）>
 （担当する病棟種別）



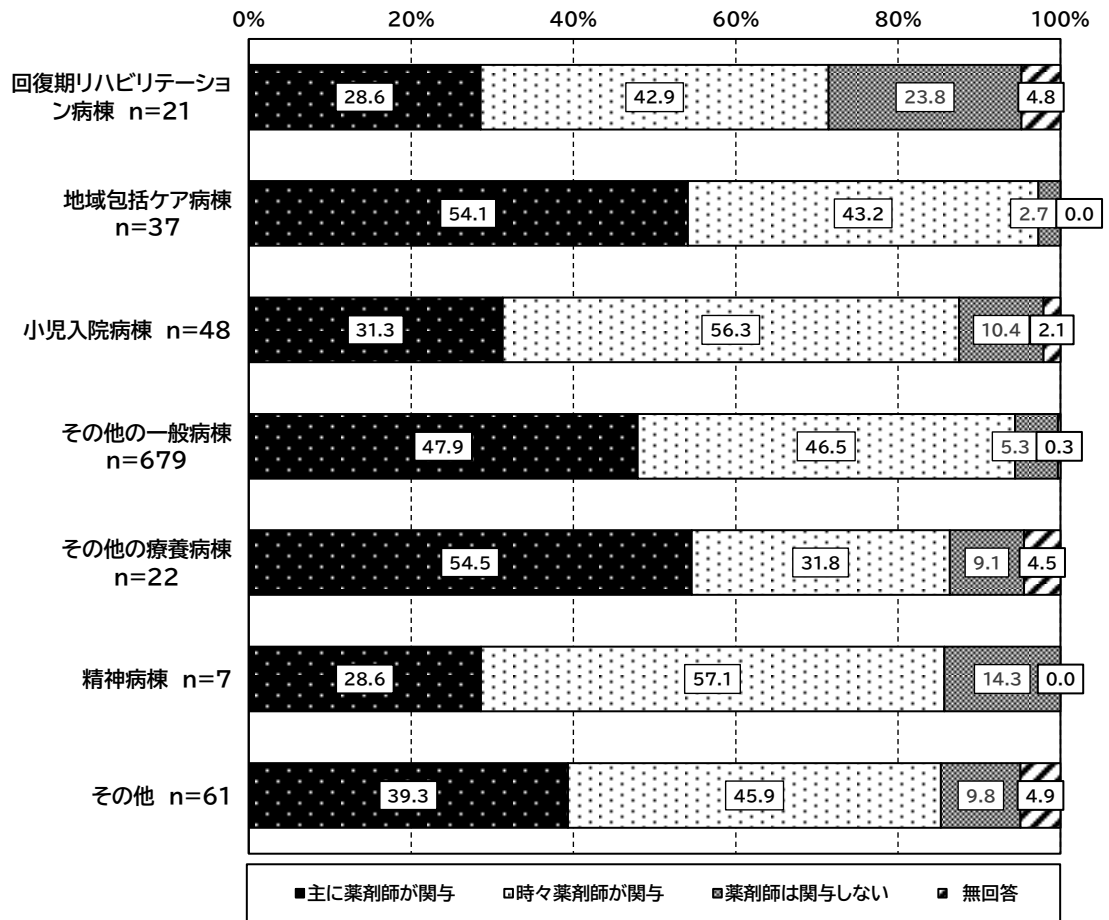
図表 3-116 病棟における薬剤師の関与状況 医師への処方や
 <医師への処方や服薬計画等の提案>
 (担当する病棟種別)



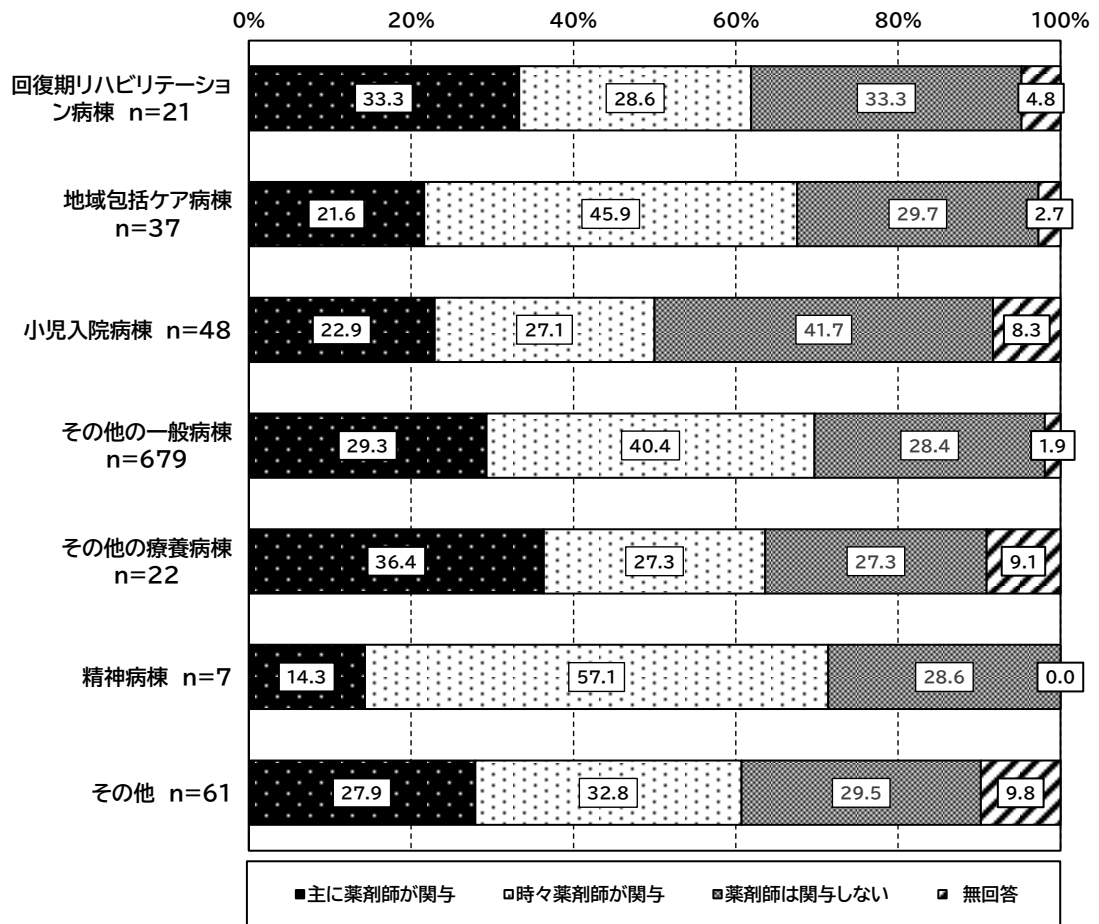
図表 3-117 病棟における薬剤師の関与状況
 <患者に対する処方薬の説明>
 (担当する病棟種別)



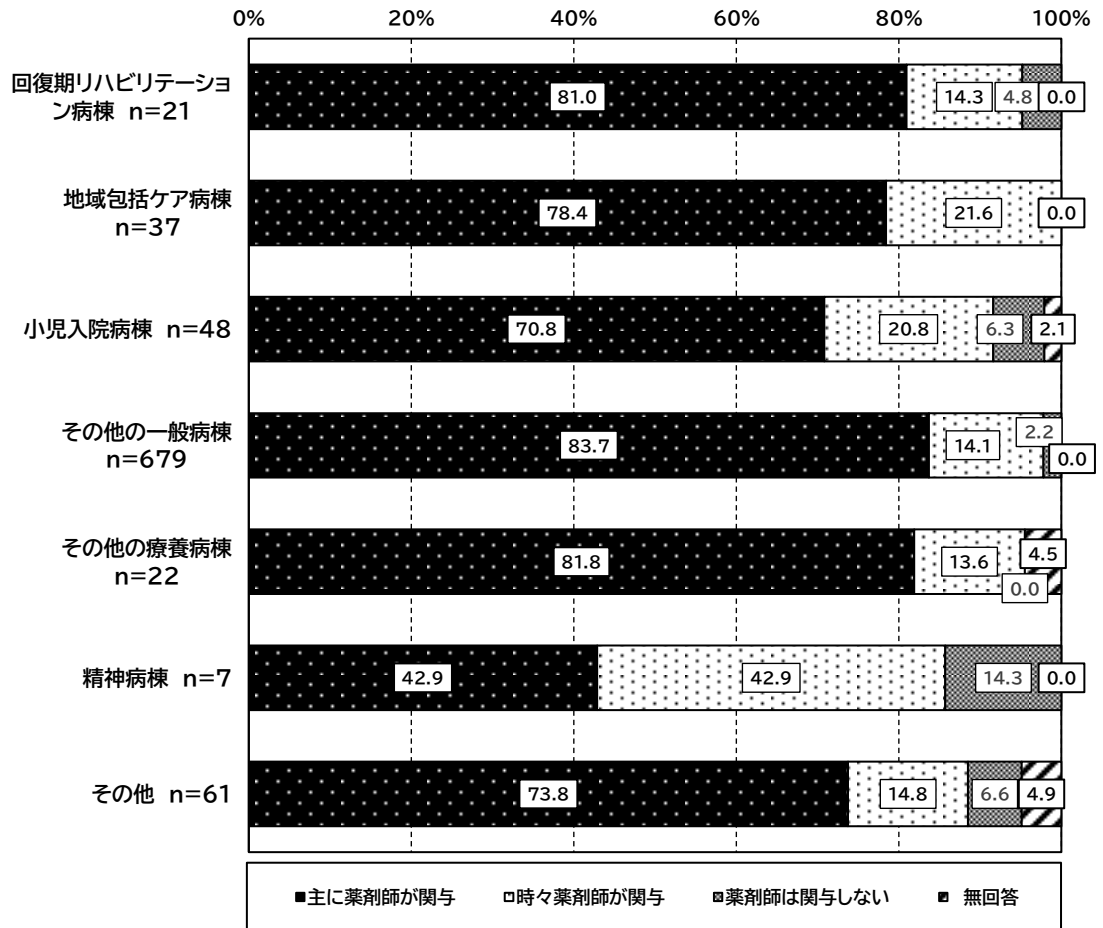
図表 3-118 病棟における薬剤師の関与状況
 <医薬品の副作用・効果等の確認>
 (担当する病棟種別)



図表 3-119 病棟における薬剤師の関与状況
 <事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更>
 (担当する病棟種別)



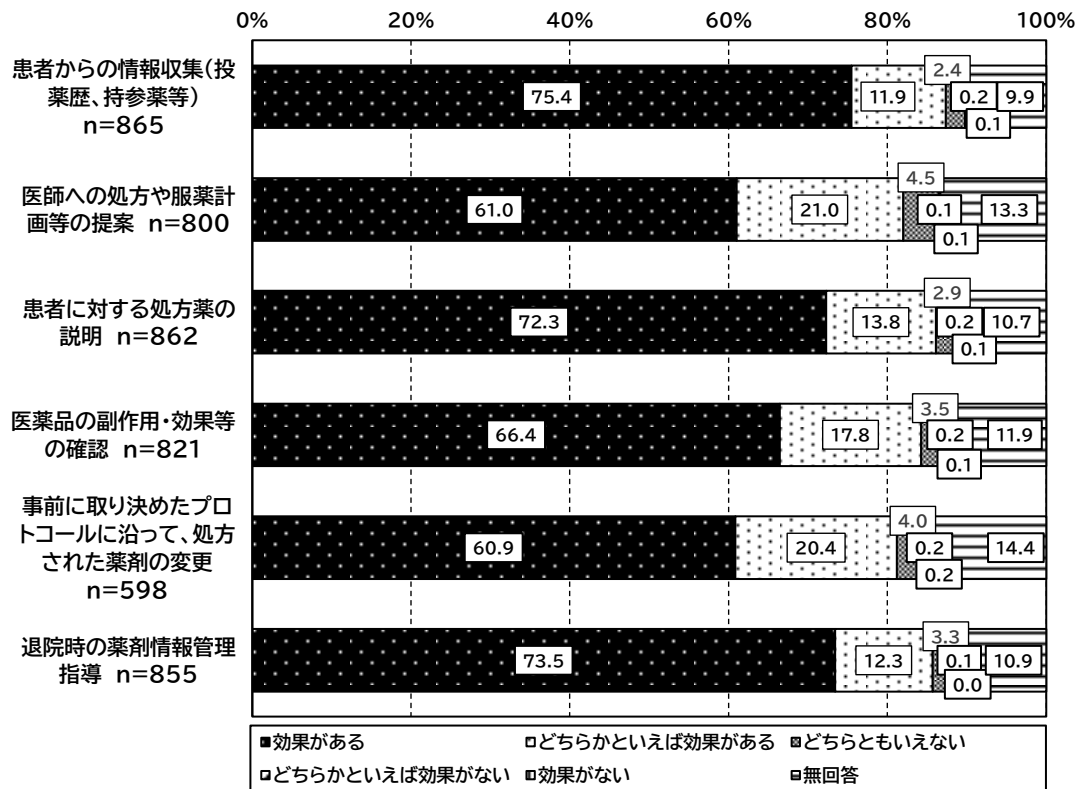
図表 3-120 病棟における薬剤師の関与状況
 <退院時の薬剤情報管理指導>
 (担当する病棟種別)



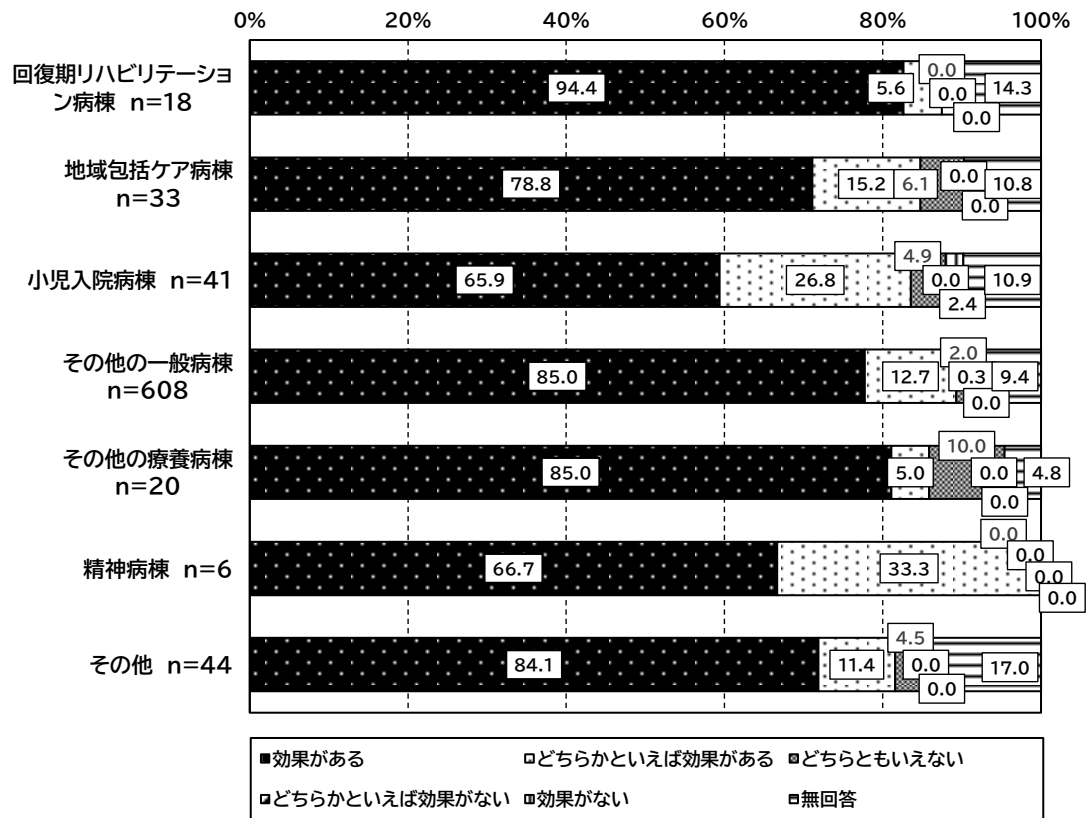
①-(2) 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質の向上への効果

病棟における薬剤師の関与状況において「薬剤師は関与しない」以外の回答をした医師に対して、病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果を尋ねた。「効果がある」との回答が最も多かった業務は「患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）」で75.4%であった。次いで多かったのは「退院時の薬剤情報管理指導」で73.5%であった。

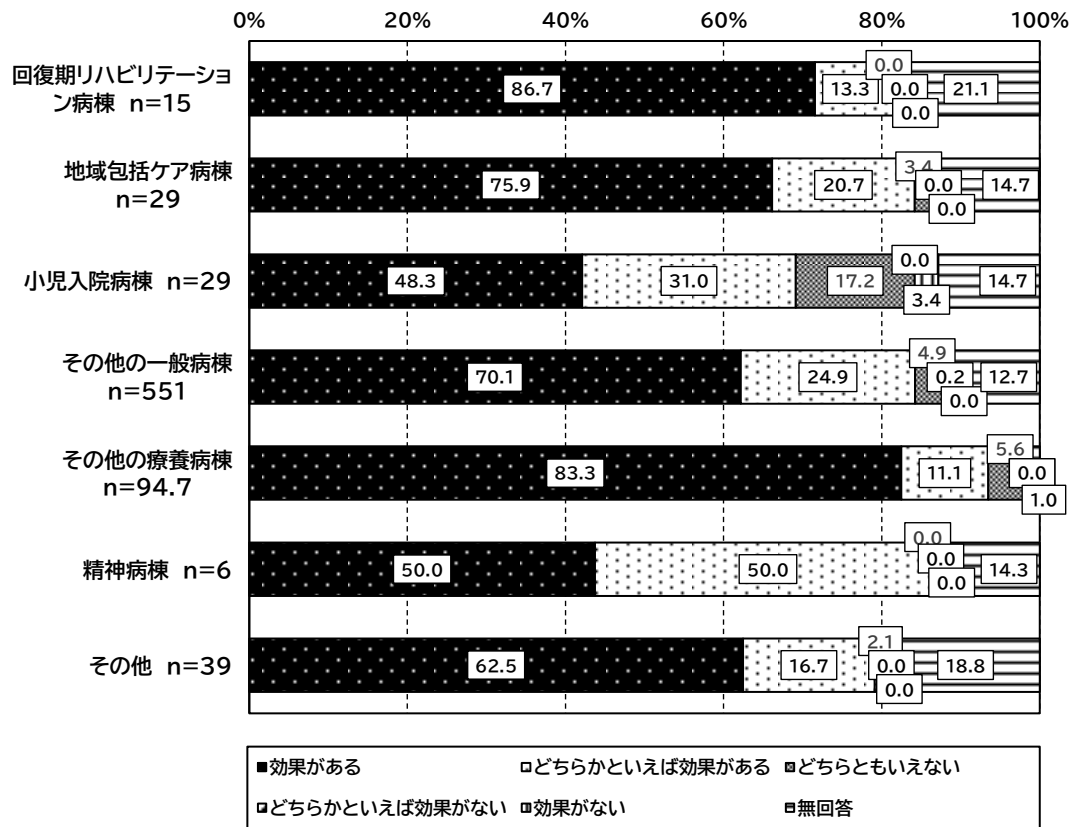
図表 3-121 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果



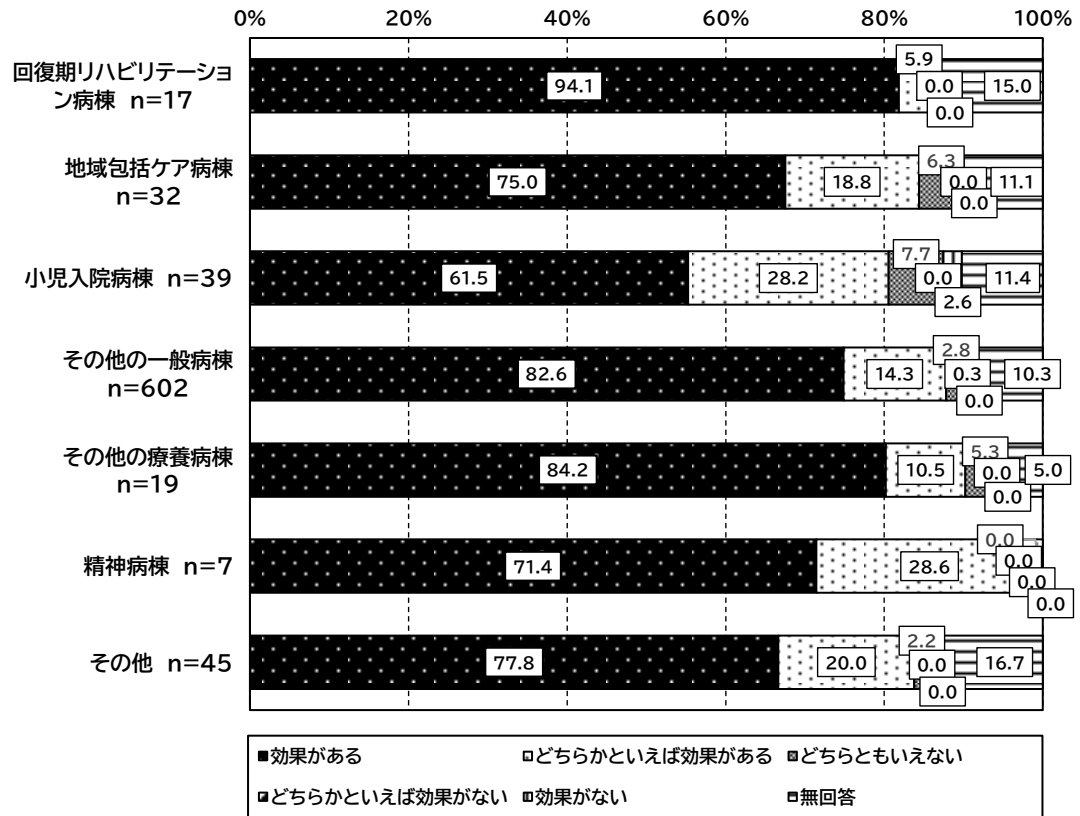
図表 3-122 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <患者からの情報収集（投薬歴、持参薬）に関する効果>
 （担当する主たる病棟種別）



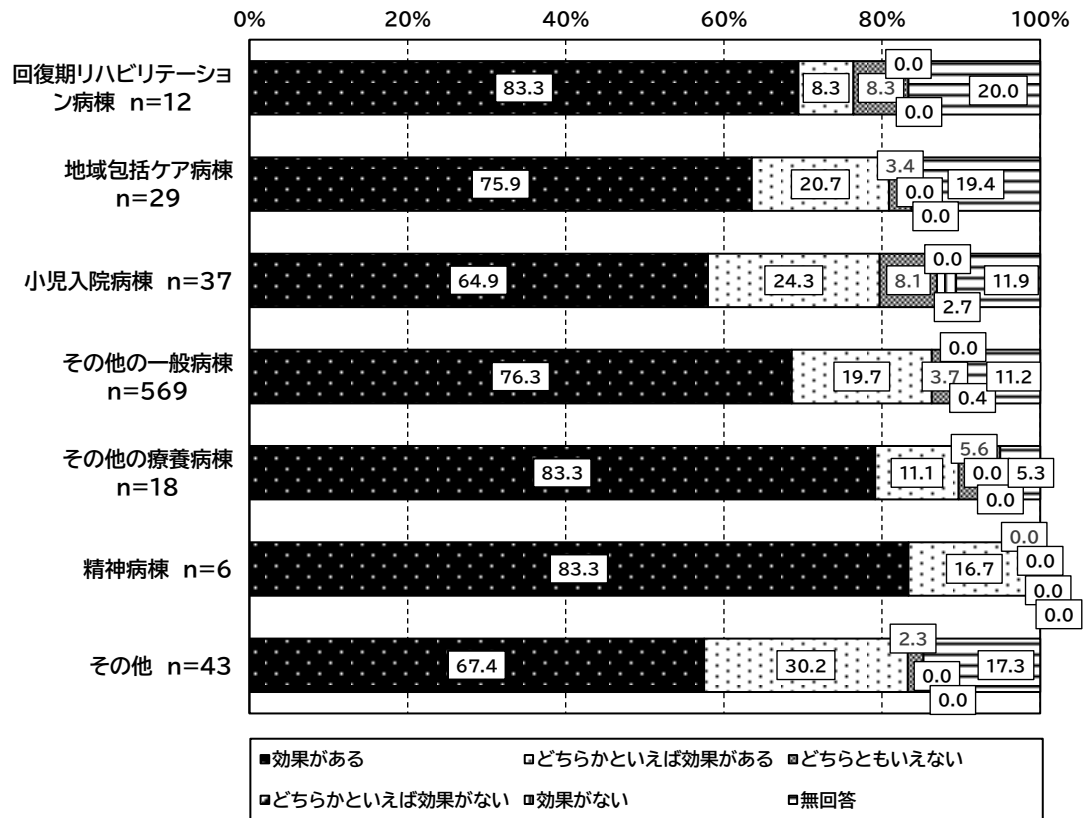
図表 3-123 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <医師への処方や服薬計画等の提案に関する効果>
 (担当する主たる病棟種別)



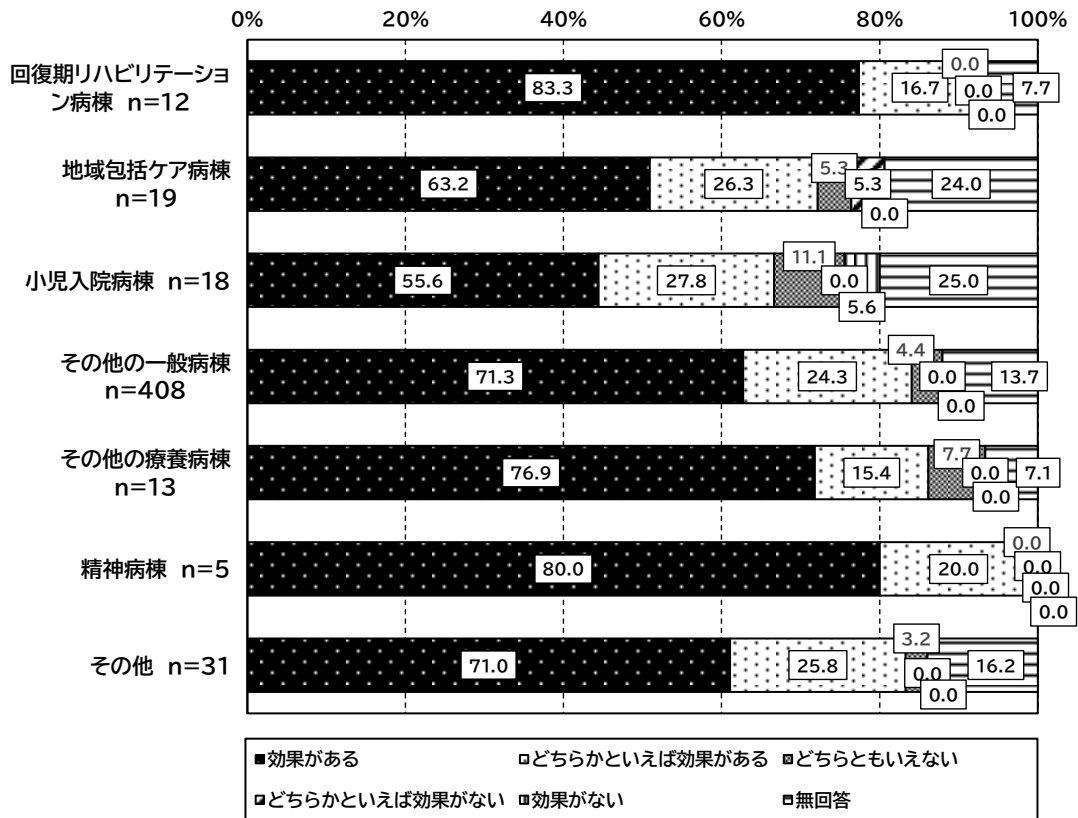
図表 3-124 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <患者に対する処方薬の説明に関する効果>
 (担当する主たる病棟種別)



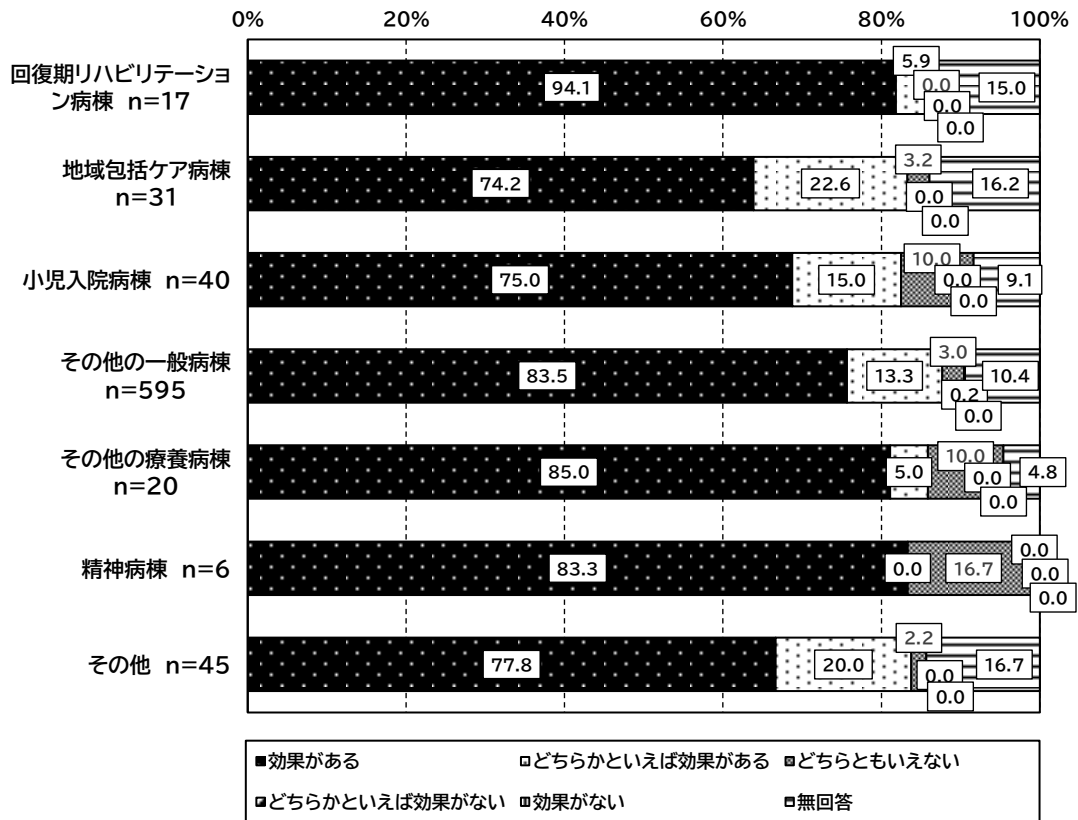
図表 3-125 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <医薬品の副作用・効果等の確認に関する効果>
 (担当する主たる病棟種別)



図表 3-126 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <事前に取り組めたプロトコルに沿って、処方された薬剤の変更に関する効果>
 (担当する主たる病棟種別)



図表 3-127 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
 <退院時に薬剤情報管理指導に関する効果>
 (担当する主たる病棟種別)



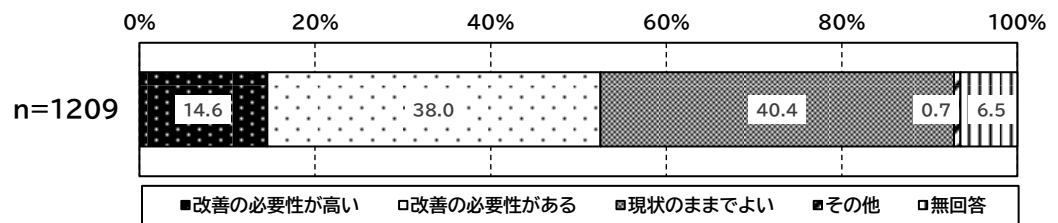
(5) 勤務状況に関するご意見等

① 現在の勤務状況についての考え

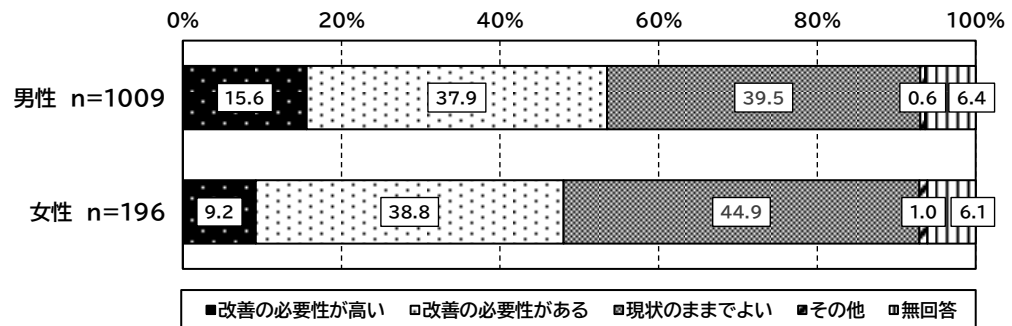
現在の勤務状況として最も多かったものは「現状のままでよい」であり、40.4%であった。次に多かったのは「改善の必要性がある」であり、38.0%であった。

また、年齢別にみると「改善の必要性が高い」との回答が最も多かったのは「40～49歳」（17.8%）であった。役職別にみると、「改善の必要性が高い」との回答が最も多かったのは「その他の管理職の医師」（26.7%）であった。

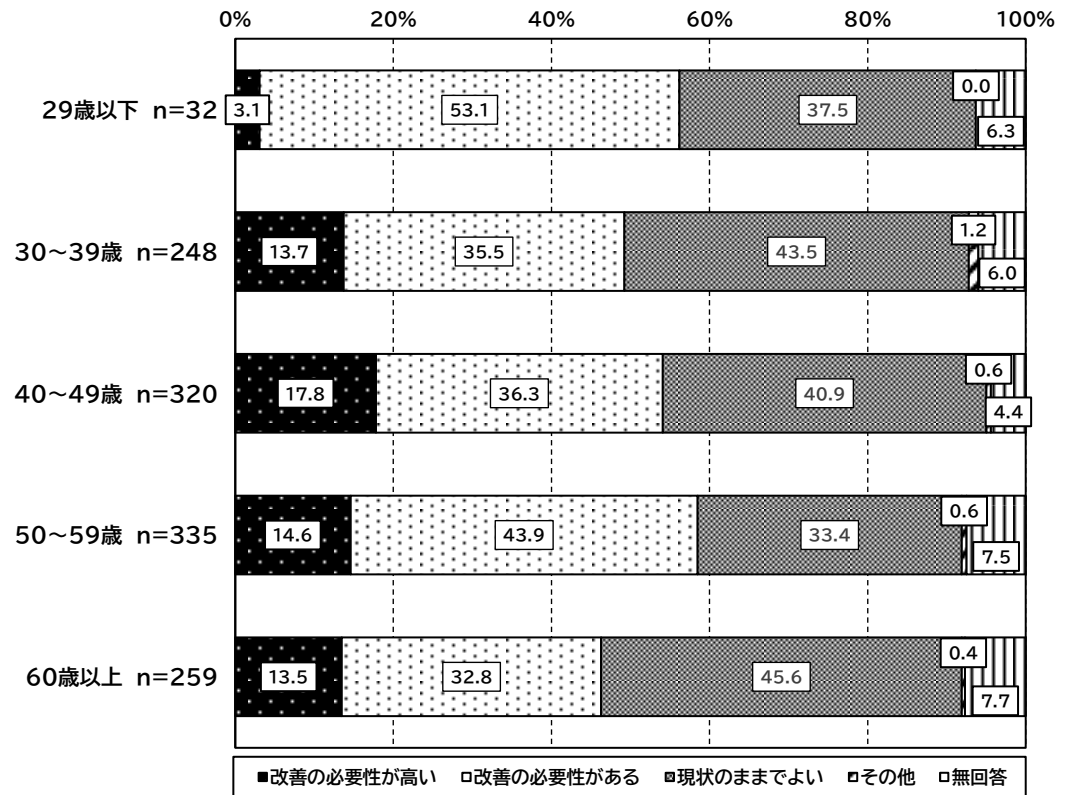
図表 3-128 現在の勤務状況についての考え



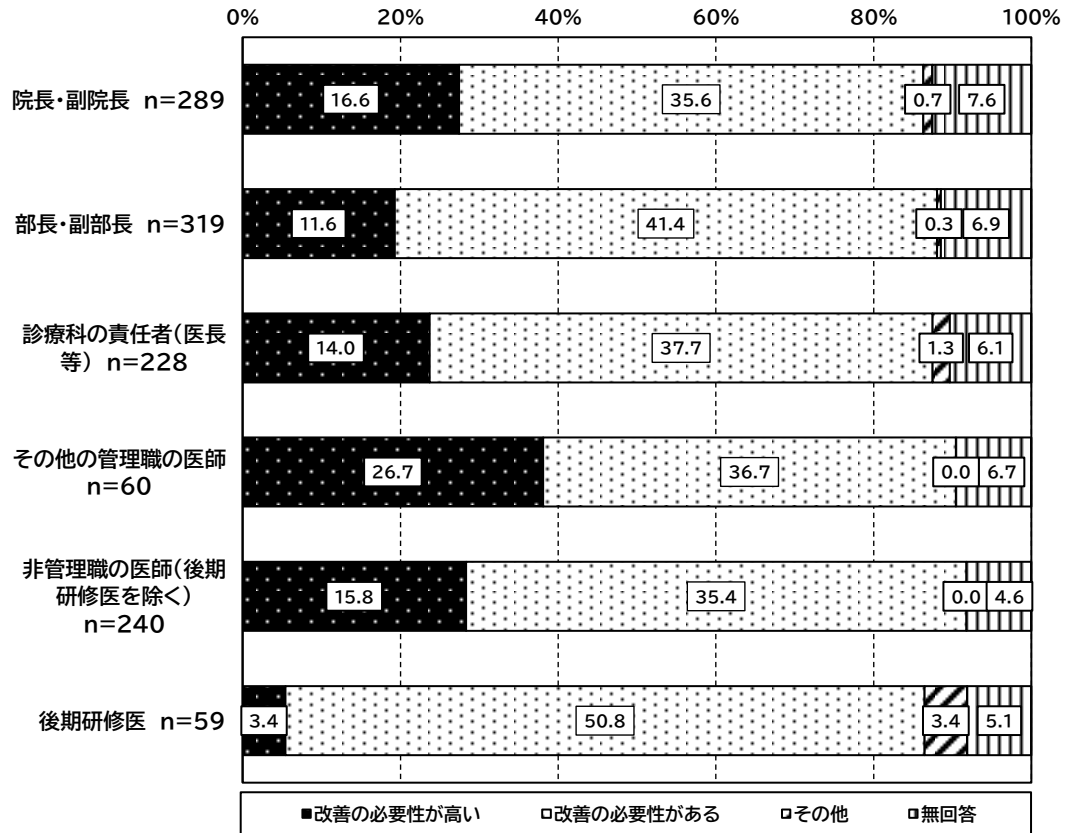
図表 3-129 現在の勤務状況についての考え
(性別)



図表 3-130 現在の勤務状況についての考え
(年齢区分別)



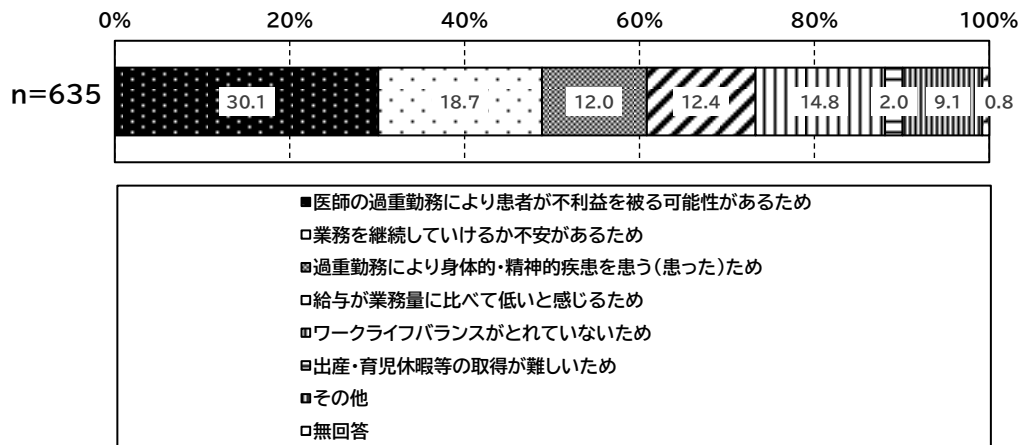
図表 3-131 現在の勤務状況についての考え
(役職別)



①-1 改善の必要性が高い・改善に必要性があると回答した最大の理由

現在の勤務状況について「改善の必要性が高い」または「改善の必要性がある」と回答した医師には、回答の理由を尋ねている。最も多かったものは「医師の過重勤務により患者が不利益を被る可能性があるため」で30.1%であった。次に多かったものは「業務を継続していけるか不安があるため」で18.7%であった。

図表 3-132 改善の必要性が高い・改善に必要性があると回答した最大の理由



② どのような取組が病院で行われれば、医師の負担を軽減できるか

医師の負担軽減に資すると考えられる病院の取組としては、「医師を採用・増員する」や「医師事務作業補助者・病棟クラーク等を大幅に増員する」等の人員の増員に関連する回答が見られた。

また、「院内会議を削減する」、「チーム医療を推進し、専門性にこだわりすぎず業務分担を推進する」といった業務の進め方に係る回答も多かった。

その他、「医師の専門性の違いや当直の体制の違いを踏まえた人事制度への切り替え」や「オンライン診療を推進する」、「複数主治医を推進する」、「患者に対して医療のかかり方を啓発する」といった回答も見られた。

図表 3-133 医師の負担軽減に資すると考えられる病院の取組

人員の増員について	
	医師を採用・増員する
	医師事務作業補助者・病棟クラーク等を大幅に増員する
	NP・MA を増員する
	(心理的問題をかけた患者のため)臨床心理士を配置する
業務の進め方について	
	ペーパーワーク・診断書等の書類作成について、補助者等に振り分ける
	院内会議を削減する
	電子カルテ・AI 問診等を含む ICT の活用を推進する
	チーム医療を推進し、専門性にこだわりすぎず業務分担を推進する
その他	
	医師の専門性の違いや当直の体制の違いを踏まえた人事制度への切り替え
	オンライン診療を推進する
	複数主治医制を推進する
	患者に対して医療のかかり方を啓発する

4. 看護師長票

【調査対象等】

調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する看護師長1施設につき5名。
 （調査対象病院に1年以上勤務する常勤看護師（一般病棟：2名、療養病棟：1名、精神病棟：1名、特定入院料病棟：1名）を対象）

回答数：1,252名

回答者：看護師長

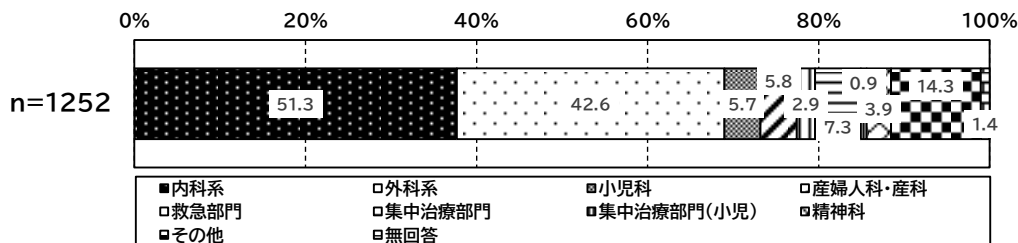
(1) 病棟の概要

① 主たる診療科

病棟の主たる診療科で最も多かったものは「内科系」で51.3%であった。

なお、「その他」には、「COVID-19の感染者病棟」や「回復期リハビリテーション病棟」、「緩和ケア病棟」、「内科系・外科系混合病棟」、「眼科」、「泌尿器科」、「皮膚科」、「HCU・急性期ハイケアユニット」等の回答があった。

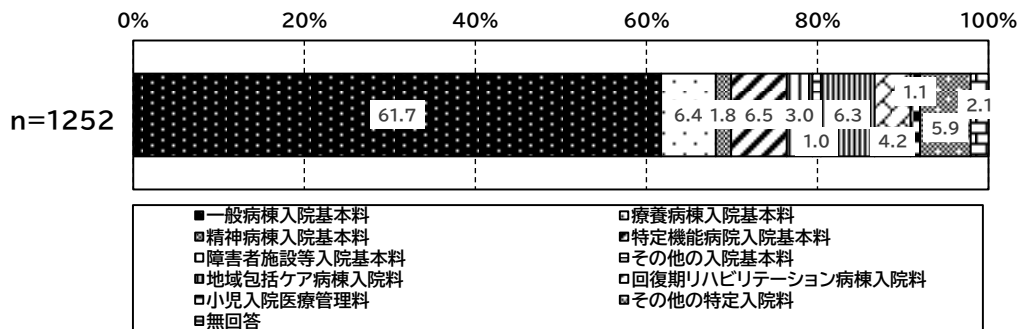
図表 4-1 主たる診療科



② 診療報酬上、算定している入院基本料

診療報酬上の病棟の種別で最も多かったものは、「一般病棟入院基本料」で61.7%であった。

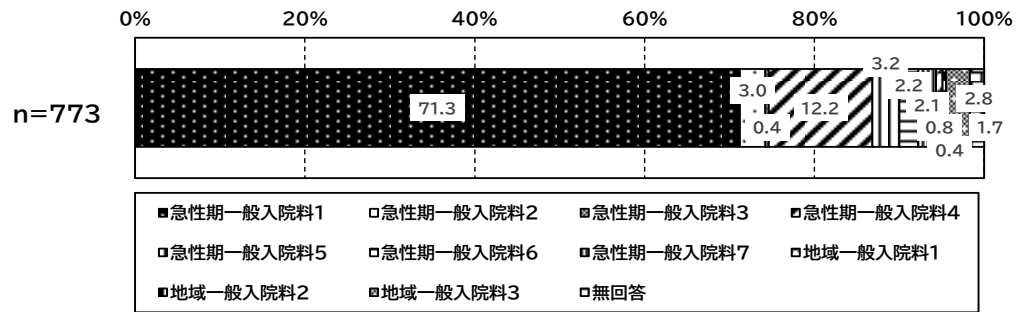
図表 4-2 診療報酬上の病棟の種別



【一般病棟入院基本料を選択した場合】

一般病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは「急性期一般入院料1」で71.3%であった。

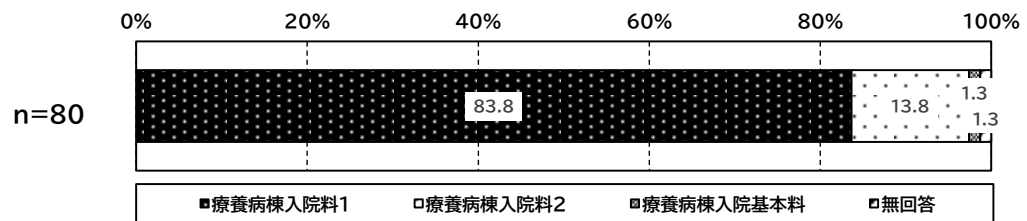
図表 4-3 一般病棟入院基本料の内訳



【療養病棟入院基本料を選択した場合】

療養病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは「療養病棟入院料1」で83.8%であった。

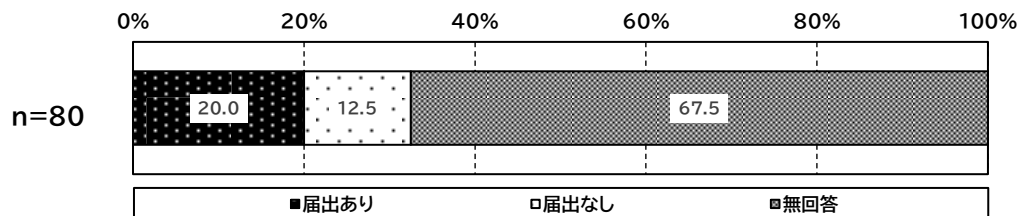
図表 4-4 療養病棟入院基本料の内訳



【夜間看護加算の届出の有無】

療養病棟入院基本料を選択した場合の夜間看護加算の届出については「届出あり」が20.0%、「届出なし」が12.5%であった。

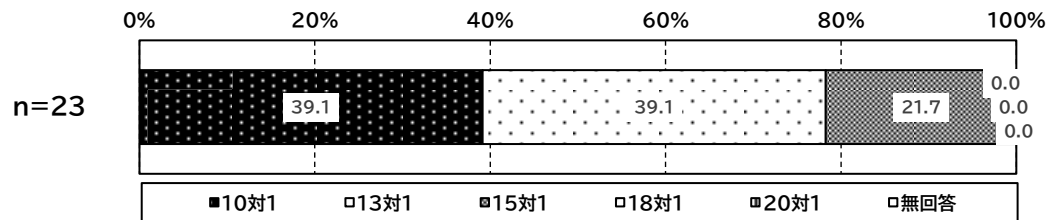
図表 4-5 夜間看護加算の届出の有無



【精神病棟入院基本料を選択した場合】

精神病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは「10対1」と「13対1」で、ともに39.1%であった。

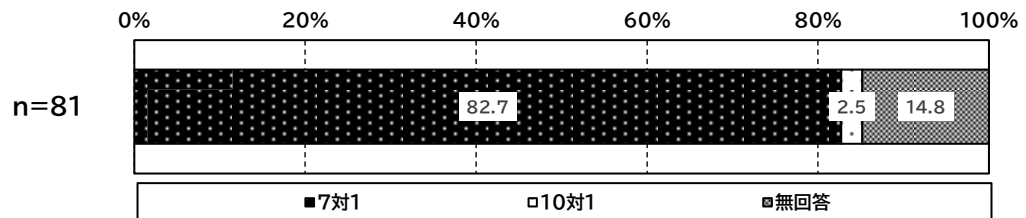
図表 4-6 精神病棟入院基本料の内訳



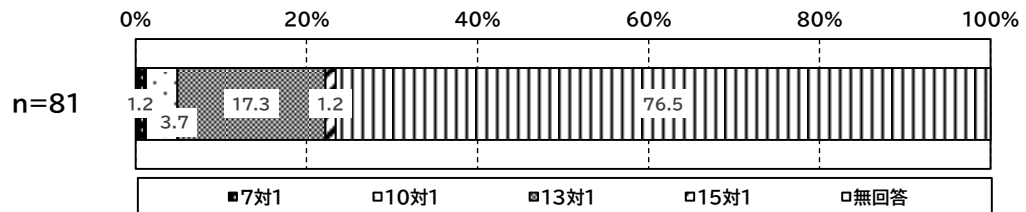
【特定機能病院入院基本料を選択した場合】

特定機能病院入院基本料を選択した場合で最も多かったものは、「一般病棟」では「7対1」（82.7%）、「精神病棟」では「13対1」（17.3%）であった。

図表 4-7 特定機能入院基本料の内訳（一般病棟）



図表 4-8 特定機能入院基本料の内訳（精神病棟）

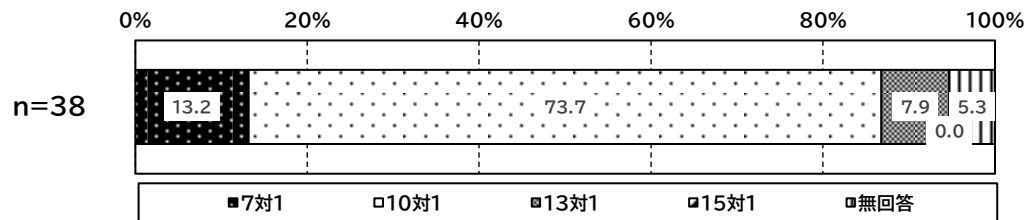


【障害者施設等入院基本料を選択した場合】

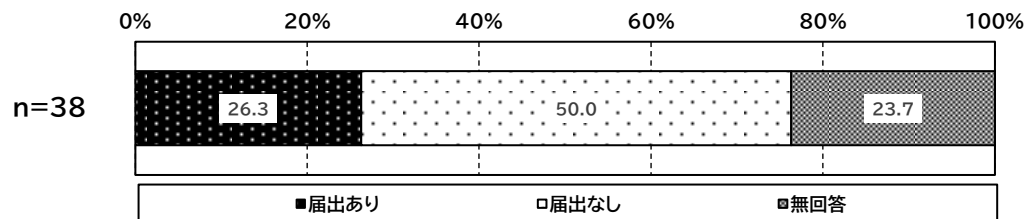
障害者施設等入院基本料を選択した場合の障害者施設等入院基本料の内訳で最も多かったものは「10対1」で73.7%であった。

看護補助加算の届出については、「届出あり」が26.3%、「届出なし」が50.0%であった。夜間看護体制加算の届出については、「届出あり」が15.8%、「届出なし」が52.6%であった。

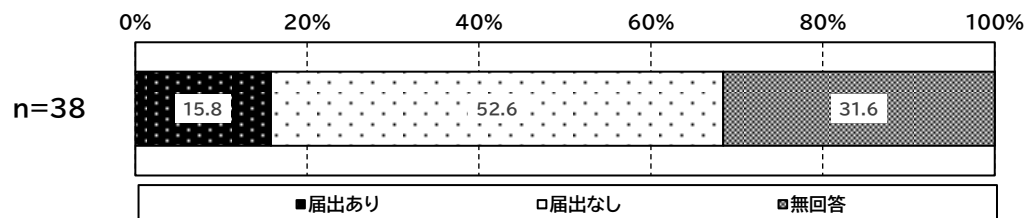
図表 4-9 障害者施設等入院基本料の内訳



図表 4-10 看護補助加算の届出の有無



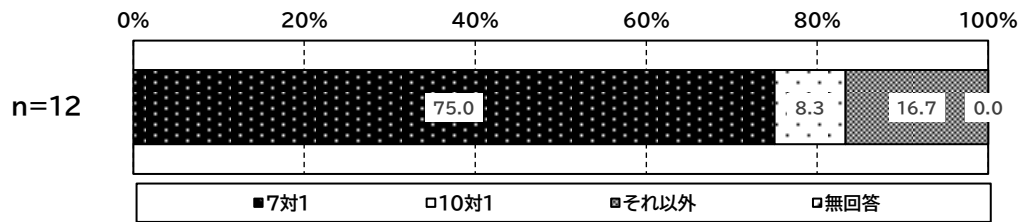
図表 4-11 夜間看護体制加算の届出の有無



【その他の入院基本料を選択した場合】

その他の入院料を選択した場合で最も多かったものは、「7対1」で75%であった。

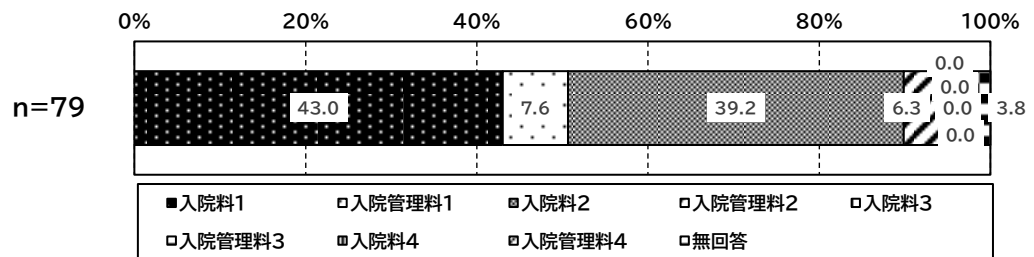
図表 4-12 その他の入院料の詳細



【地域包括ケア病棟入院料を選択した場合】

地域包括ケア病棟入院料を選択した場合で最も多かったものは「入院料1」で43.0%であった。

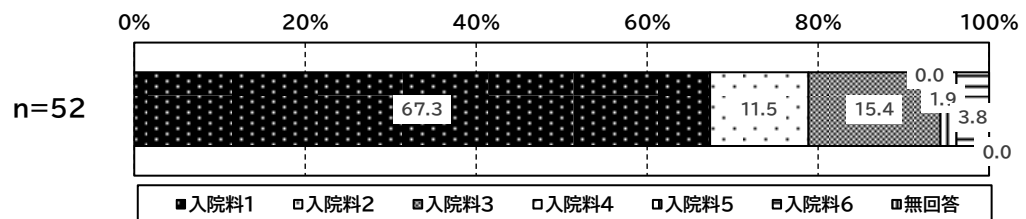
図表 4-13 地域包括ケア病棟入院料の内訳



【回復期リハビリテーション病棟入院料】

回復期リハビリテーション病棟入院料を選択した場合で最も多かったものは「入院料1」で67.3%であった。

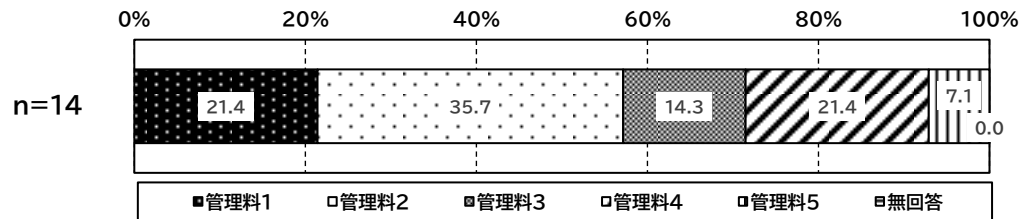
図表 4-14 回復期リハビリテーション病棟入院料の内訳



【小児入院医療管理料】

小児入院医療管理料を選択した場合で最も多かったものは、「管理料2」で35.7%であった。

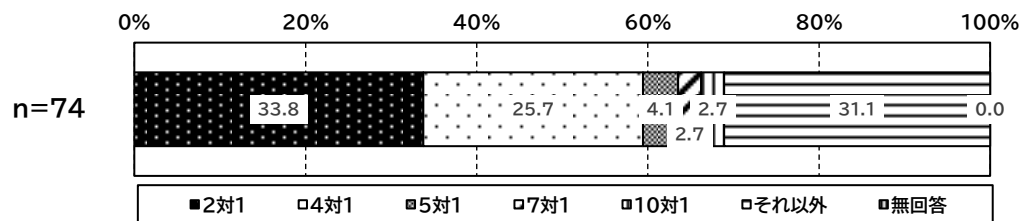
図表 4-15 小児入院管理料の内訳



【その他の特定入院料】

その他の特定入院料を選択した場合で最も多かったものは、「2対1」で33.8%であった。

図表 4-16 その他の特定入院料の内訳



③ 病棟の病床数、病床利用率

③ 1) 病床数

病床数は以下のとおりであった。

図表 4-17 担当病棟の病床数

(単位:床)				
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
病床数	n=1,134	58.7	143.7	46.0

図表 4-18 担当病棟の病床数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:床)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=437	53.0	73.5	45.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=275	70.7	266.7	46.0
その他	n=89	53.9	56.4	44.0
無回答	n=473	57.9	66.9	47.0

③ 2) 病床利用率

病床利用率は以下のとおりであった。

図表 4-19 担当病棟の病床利用率

(単位:%)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
病床利用率	n=1134	77.2	16.9	80.9

図表 4-20 担当病棟の病床利用率
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:%)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=437	76.4	17.3	80.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=275	75.2	17.1	78.1
その他	n=89	77.9	16.7	81.0
無回答	n=473	78.6	16.4	82.0

③ 3) 1 か月間の新入院患者数

1 か月間の新入院患者数は以下のとおりであった。

図表 4-21 1 か月間の新入院患者数

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和3年6月1か月の 新入院患者数	n=1134	80.8	133.9	64.0

図表 4-22 1 か月間の新入院患者数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定 されたことがある	n=437	96.3	156.3	76.0
協力医療機関として指定 されたことがある	n=275	87.3	144.4	72.0
その他	n=89	59.3	107.4	44.0
無回答	n=473	73.6	128.0	48.0

③ 4) 1 か月間の退院患者数

1 か月間の退院患者数は以下のとおりであった。

図表 4-23 1 か月間の退院患者数

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和3年6月1か月の 退院患者数	n=1134	74.0	112.0	62.0

図表 4-24 1 か月間の退院患者数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=437	96.3	156.3	80.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=275	87.3	144.4	71.0
その他	n=89	59.3	107.4	38.0
無回答	n=473	73.6	128.0	45.0

③ 5) 平均在院日数

平均在院日数は以下のとおりであった。

図表 4-25 平均在院日数

(単位:日)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
平均在院日数	n=1134	88.9	533.2	10.0

図表 4-26 平均在院日数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:日)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=437	86.2	127.4	12.3
協力医療機関として指定されたことがある	n=275	85.5	145.9	13.0
その他	n=89	48.1	41.9	19.5
無回答	n=473	69.2	113.9	17.0

③ 6) 手術を受けた患者数

令和3年6月1か月間の手術を受けた患者数（緊急・予定手術を問わない）は以下のとおりであった。

図表 4-27 手術を受けた患者数

(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和3年6月1か月間の手術を受けた患者数(緊急・予定手術を問わない)	n=1134	27.3	52.4	10.0

図表 4-28 手術を受けた患者数

(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

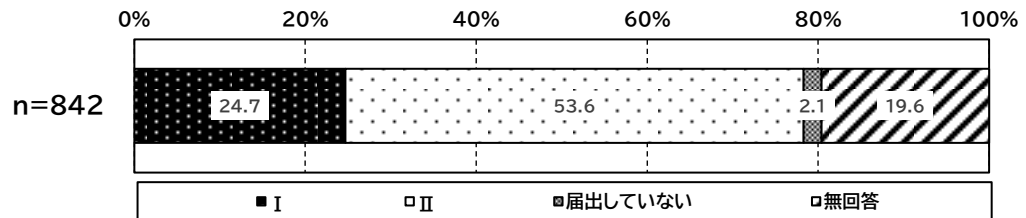
(単位:件)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関として指定されたことがある	n=437	38.5	417.7	21.0
協力医療機関として指定されたことがある	n=275	88.1	641.0	20.0
その他	n=89	138.7	768.7	3.0
無回答	n=473	122.8	570.7	3.0

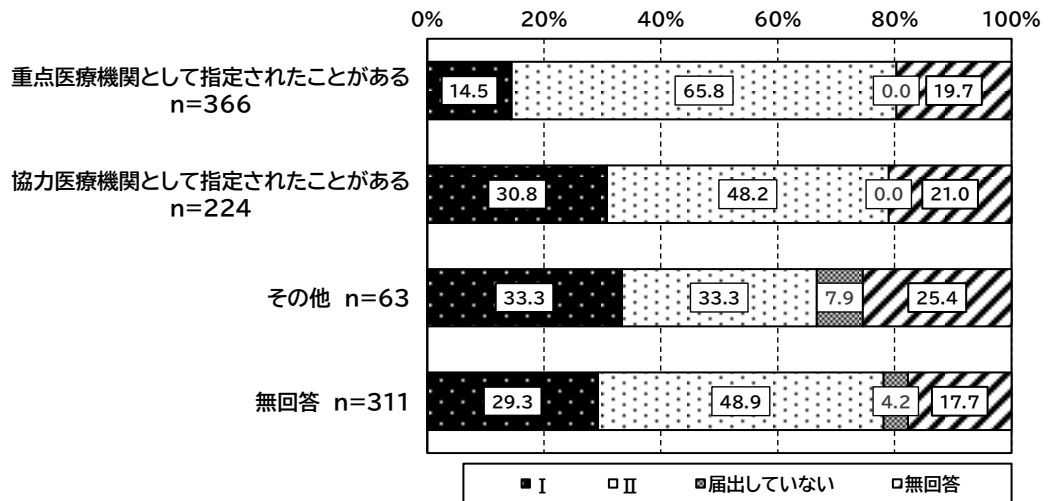
③ 7) 医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度

一般病棟の数が1以上と回答している施設の看護師長に対して、医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度を尋ねた。選択している重症度、医療・看護必要度で最も多かったものは「Ⅱ」で53.6%であった。

図表 4-29 医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度



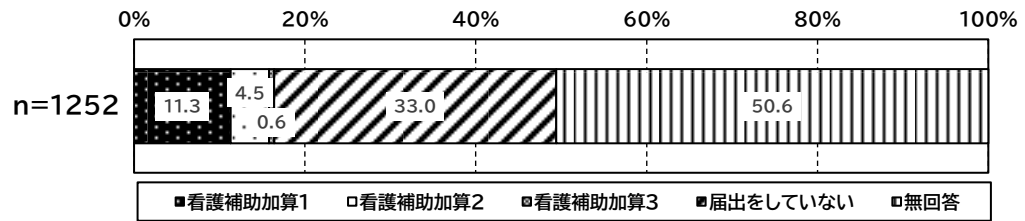
図表 4-30 医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



④ 看護補助加算の届出状況

看護補助加算の届出状況及び予定で最も多かったものは「届出をしていない」(33.0%)であった。

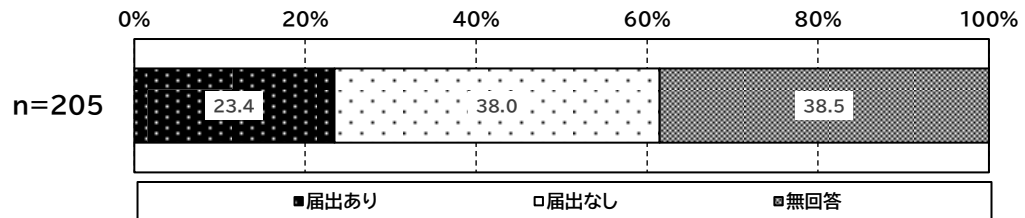
図表 4-31 看護補助加算の届出状況



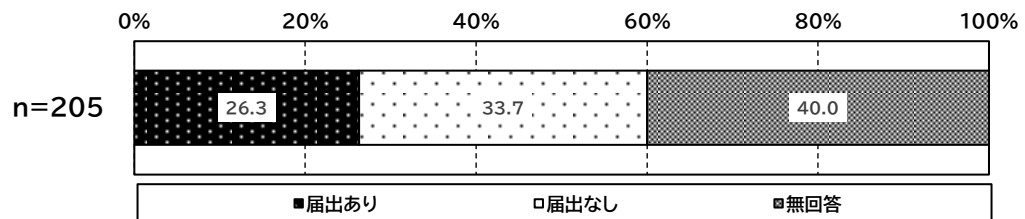
【届出ている場合】

看護補助加算のいずれかを届出ている場合、夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出状況は「届出あり」が 23.4%、「届出なし」が 38.0%であった。
また、夜間看護体制加算 (165 点) の届出状況は「届出あり」が 26.3%、「届出なし」が 33.7%であった。

図表 4-32 夜間 75 対 1 看護補助加算 (50 点) の届出状況



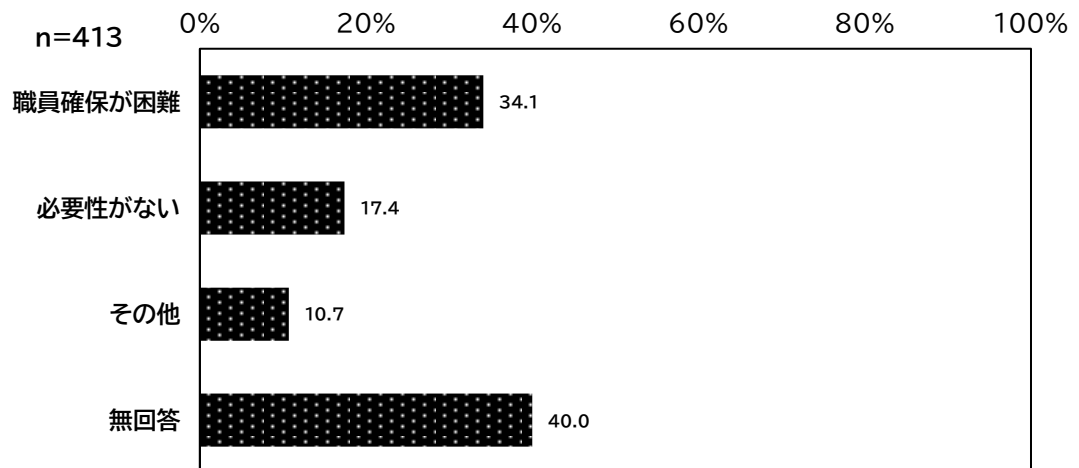
図表 4-33 夜間看護体制加算 (165 点) の届出状況



【届出をしていない場合】

看護補助加算のいずれかも届出していない場合、届出をしていない理由として最も多かったのは「職員確保が困難」で34.1%であった。

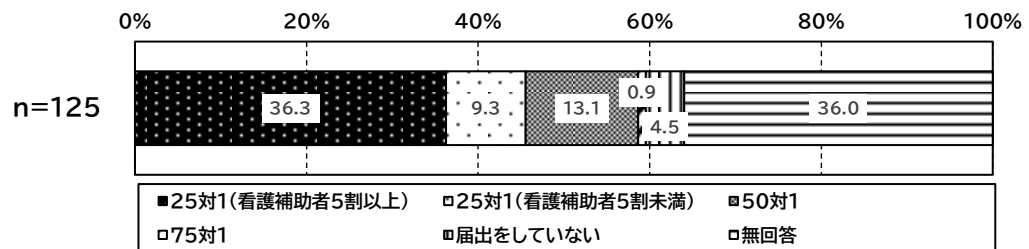
図表 4-34 届出をしていない理由（複数回答）



⑤ 急性期看護補助体制加算の届出状況

急性期看護補助体制加算の届出状況で最も多かったものは「25対1（看護補助者5割以上）」で36.3%であった。

図表 4-35 急性期看護補助体制加算の状況

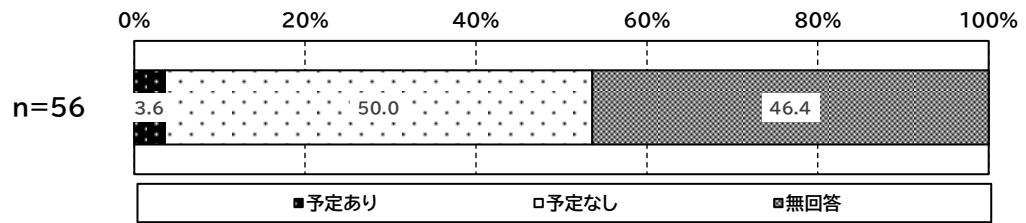


【届出をしていない場合】

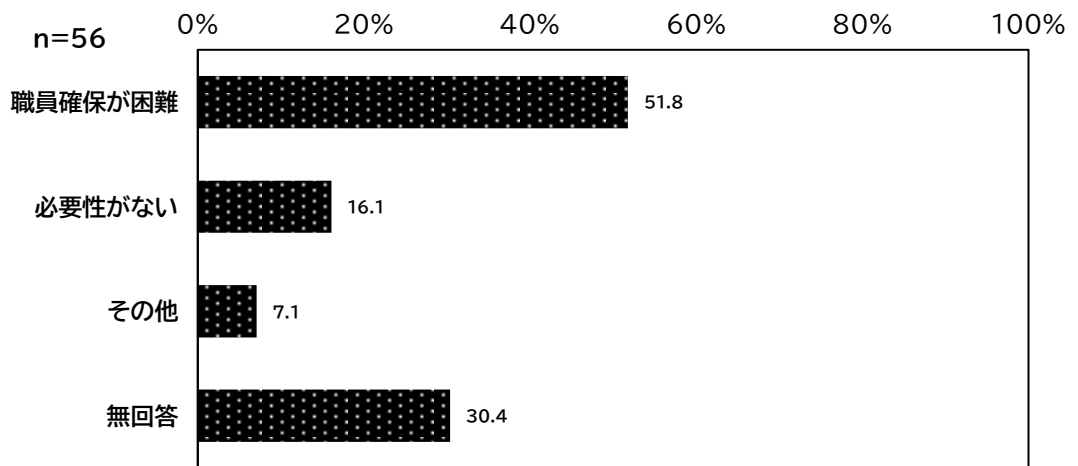
急性期看護補助体制加算をいずれも届出していない場合、届出の予定は「予定あり」が3.6%、「予定なし」が50.0%であった。

また、届出をしていない理由については「職員確保が困難」が51.8%で最も多かった。

図表 4-36 急性期看護補助体制加算の届出の予定



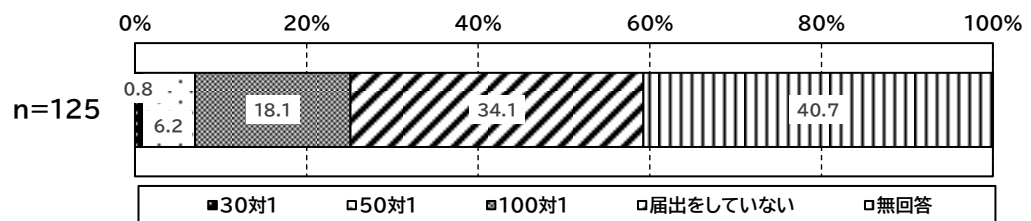
図表 4-37 急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）



⑥ 夜間急性期看護補助体制加算

夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定で最も多かったものは「100対1」で18.1%であった。

図表 4-38 夜間急性期看護補助体制加算の状況

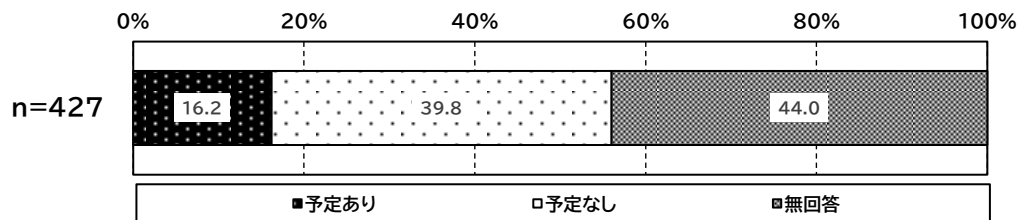


【届出をしていない場合】

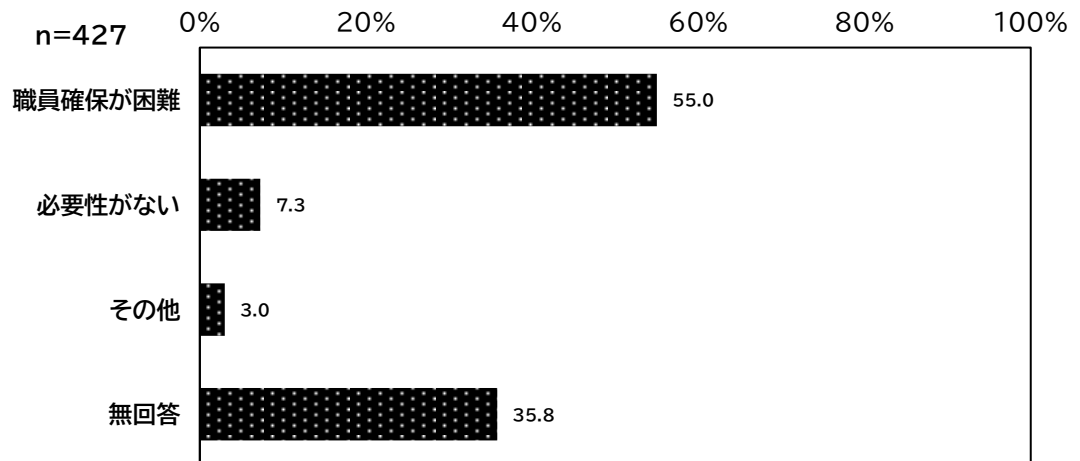
夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合の届出の予定については「予定あり」が16.2%、「予定なし」が39.8%であった。

また、届出をしていない理由について最も多かったものは「職員確保が困難」で55.0%であった。

図表 4-39 夜間急性期看護補助体制加算の届出予定



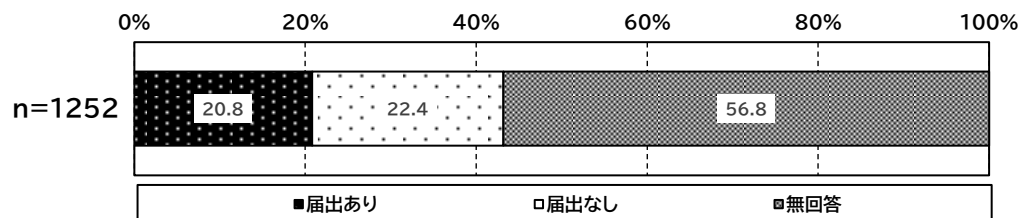
図表 4-40 夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）



⑦ 夜間看護体制加算

夜間看護体制加算の届出状況については「届出あり」が20.8%、「届出なし」が22.4%であった。

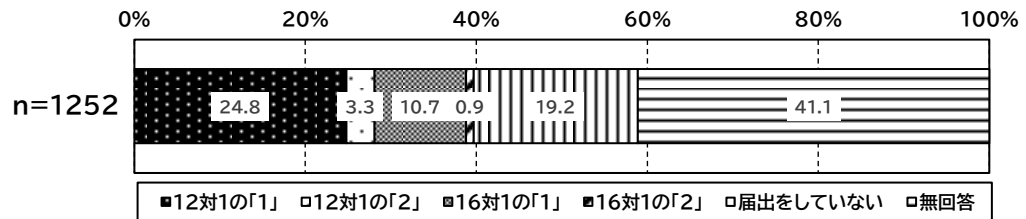
図表 4-41 夜間看護体制加算の状況



⑧ 看護職員夜間配置加算

看護職員夜間配置加算の状況で最も多かったものは「12対1の「1」」で24.8%であった。

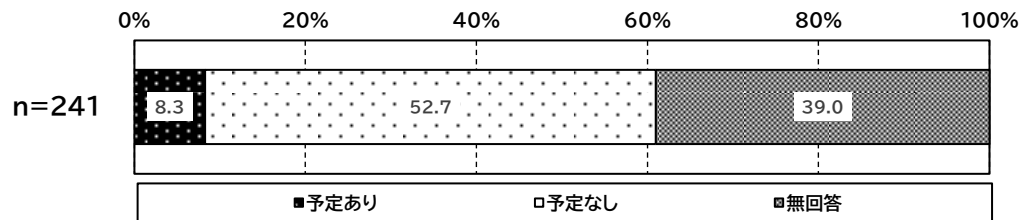
図表 4-42 看護職員夜間配置加算の状況



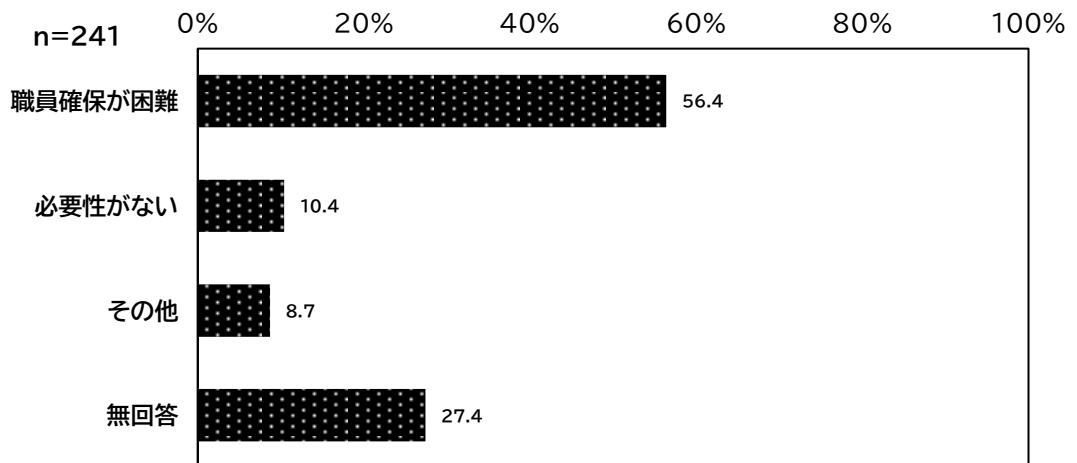
【届出をしていない場合】

看護職員夜間配置加算の届出をしていない場合の届出の予定については「予定あり」が8.3%、「予定なし」が52.7%であった。

図表 4-43 看護職員夜間配置加算の届出の予定



図表 4-44 看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由（複数回答）



(2) 病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等

A. 職員数

① 病棟に配置されている職員数

病棟の看護職員数は、以下のとおりであった。

図表 4-45 病棟の職員数（夜勤専従者は除く）

(単位:人)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=1189	29.1	40.7	25.0	n=1189	1.2	3.5	0.0
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	n=1189	0.1	0.5	0.0	n=1189	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	n=1189	1.8	3.4	1.0	n=1189	0.3	1.2	0.0
2) 准看護師数	n=1189	1.2	2.5	0.0	n=1189	0.3	1.6	0.0
3) 看護補助者数	n=1189	3.9	6.1	3.0	n=1189	1.7	2.7	0.7

図表 4-46 病棟の職員数（夜勤専従者は除く）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

(単位:人)

一般病棟入院基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=735	33.3	50.5	28.0	n=735	1.2	3.6	0.0
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	n=735	0.2	0.6	0.0	n=735	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	n=735	2.0	3.9	1.0	n=735	0.3	1.3	0.0
2) 准看護師数	n=735	1.0	2.3	0.0	n=735	0.3	2.0	0.0
3) 看護補助者数	n=735	3.6	5.8	3.0	n=735	1.6	2.9	0.2

療養病棟入院 基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=77	12.6	11.5	11.0	n=77	1.3	2.5	0.5
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=77	0.0	0.2	0.0	n=77	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=77	1.2	3.7	0.0	n=77	0.5	1.6	0.0
2) 准看護師数	n=77	4.3	4.7	3.0	n=77	0.6	0.9	0.0
3) 看護補助者数	n=77	10.0	10.7	9.0	n=77	2.2	2.6	1.4

精神病棟入院 基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=23	20.2	4.3	19.0	n=23	0.2	0.5	0.0
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=23	0.0	0.2	0.0	n=23	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=23	0.8	0.9	0.0	n=23	0.0	0.2	0.0
2) 准看護師数	n=23	1.1	2.5	0.0	n=23	0.1	0.6	0.0
3) 看護補助者数	n=23	2.5	2.2	2.0	n=23	0.5	1.0	0.0

特定機能病院 入院基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=77	29.7	8.2	30.0	n=77	1.5	6.0	0.0
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=77	0.1	0.6	0.0	n=77	0.0	0.1	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=77	1.8	1.7	1.0	n=77	0.1	0.3	0.0
2) 准看護師数	n=77	0.0	0.0	0.0	n=77	0.0	0.1	0.0
3) 看護補助者数	n=77	1.1	1.6	0.0	n=77	2.1	2.6	1.0

障害者施設等 入院基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=35	22.7	7.0	22.0	n=35	2.0	2.6	1.1
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=35	0.0	0.0	0.0	n=35	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=35	2.5	2.6	2.0	n=35	0.7	1.4	0.0
2) 准看護師数	n=35	2.0	1.8	2.0	n=35	0.3	0.7	0.0
3) 看護補助者数	n=35	6.6	8.5	5.0	n=35	1.2	1.8	0.0

その他の入院 基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=12	20.9	7.7	18.0	n=12	0.5	0.8	0.0
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=12	0.1	0.3	0.0	n=12	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=12	1.3	1.4	1.0	n=12	0.0	0.0	0.0
2) 准看護師数	n=12	0.8	1.7	0.0	n=12	0.0	0.1	0.0
3) 看護補助者数	n=12	3.5	4.4	2.0	n=12	1.0	1.0	0.8

地域包括ケア 病棟入院基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=75	20.8	6.4	20.0	n=75	1.8	2.8	1.0
1)のうち、特定 行為研修を修了 した看護師数	n=75	0.1	0.3	0.0	n=75	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時 間勤務又は夜勤 免除の看護師数	n=75	1.7	1.9	1.0	n=75	0.7	1.6	0.0
2) 准看護師数	n=75	1.1	1.9	0.0	n=75	0.3	0.7	0.0
3) 看護補助者数	n=75	4.9	4.5	4.0	n=75	2.6	2.9	2.0

回復期リハビリテーション病棟入院基本料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=49	16.9	5.7	17.0	n=49	0.9	1.3	0.0
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	n=49	0.0	0.1	0.0	n=49	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	n=49	1.7	2.8	0.0	n=49	0.1	0.6	0.0
2) 准看護師数	n=49	1.6	1.5	1.0	n=49	0.3	0.7	0.0
3) 看護補助者数	n=49	6.8	5.0	7.0	n=49	2.0	2.1	1.2

小児入院医療管理料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=13	24.3	5.0	25.0	n=13	2.4	6.9	0.0
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	n=13	0.1	0.3	0.0	n=13	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	n=13	3.2	2.6	2.0	n=13	0.4	1.3	0.0
2) 准看護師数	n=13	0.2	0.8	0.0	n=13	0.2	0.8	0.0
3) 看護補助者数	n=13	1.0	1.6	0.0	n=13	0.8	1.4	0.0

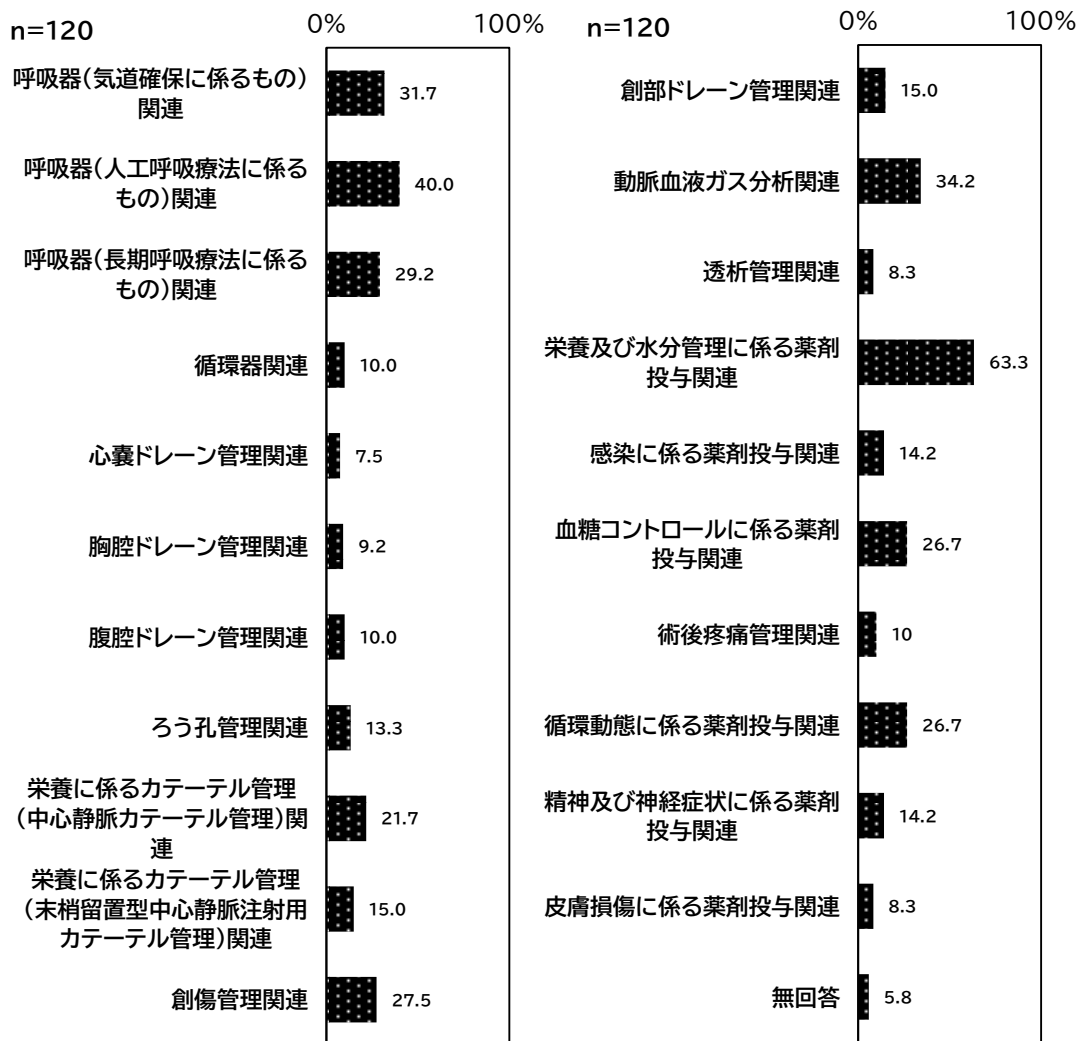
その他の特定入院料	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 看護師数	n=71	27.6	15.0	25.0	n=71	0.3	0.6	0.0
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	n=71	0.3	0.6	0.0	n=71	0.0	0.0	0.0
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	n=71	1.5	2.2	1.0	n=71	0.0	0.2	0.0
2) 准看護師数	n=71	0.5	1.8	0.0	n=71	0.0	0.0	0.0
3) 看護補助者数	n=71	1.1	2.1	0.0	n=71	0.7	1.0	0.0

①-1 特定行為研修を修了した看護師の特定行為区分

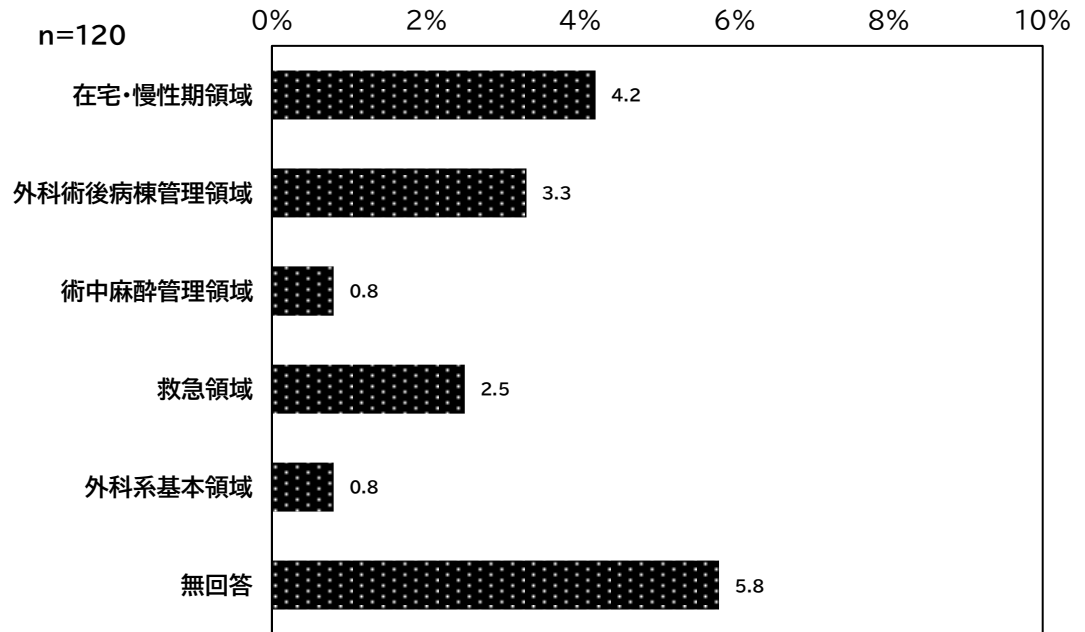
特定行為研修を修了した看護師がいる場合、該当する特定行為区分を尋ねた。結果、特定行為区分で最も多かったものは「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」で63.3%であった。

領域で最も多かったものは「在宅・慢性期領域」で4.2%であった。

図表 4-47 特定行為研修を修了した看護師の該当する特定行為区分
 <特定行為区分> (複数回答)



図表 4-48 特定行為研修を修了した看護師の該当する特定行為区分
<領域> (複数回答)



② 看護職員の勤務時間等（夜勤専従者は除く）（令和3年4～6月）

② 1) 1人当たり月平均勤務時間

看護職員1人当たり月平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 4-49 看護職員1人当たり月平均勤務時間
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=632	154.4	56.3	159.0	n=365	61.0	66.9	44.0
療養病棟入院基本料	n=68	158.6	87.2	158.7	n=45	76.3	52.4	85.5
精神病棟入院基本料	n=21	160.9	60.1	153.0	n=12	50.0	81.2	0.0
特定機能病院入院基本料	n=68	157.4	32.1	160.0	n=39	46.6	63.5	0.0
障害者施設等入院基本料	n=27	143.1	37.1	155.4	n=22	106.0	38.8	111.7
その他の入院基本料	n=10	143.0	35.8	152.0	n=4	29.3	46.7	3.7
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	149.9	35.1	157.2	n=43	83.2	65.6	90.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	153.6	16.5	153.2	n=23	75.7	61.7	85.0
小児入院医療管理料	n=12	155.3	9.1	157.4	n=11	25.4	42.4	0.0
その他の特定入院料	n=68	164.8	49.8	160.0	n=42	43.0	77.1	0.0

図表 4-50 看護職員1人当たり月平均勤務時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=390	159.4	56.0	157.3	n=208	57.5	75.6	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=245	154.8	45.2	160.0	n=155	54.3	69.9	1.5
その他	n=86	155.3	34.3	160.0	n=45	67.6	59.2	60.0
無回答	n=434	150.2	59.5	158.0	n=276	68.1	61.7	77.5

② 2) 1人当たり月平均夜勤時間

看護職員1人当たり月平均夜勤時間は、以下のとおりであった。

図表 4-51 看護職員1人当たり月平均夜勤時間
(算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=632	66.5	34.0	66.5	n=365	7.4	21.0	0.0
療養病棟入院基本料	n=68	69.7	22.5	69.7	n=45	8.2	19.6	0.0
精神病棟入院基本料	n=21	63.3	15.4	65.0	n=12	6.2	15.8	0.0
特定機能病院入院基本料	n=68	68.0	12.2	69.2	n=39	0.7	4.5	0.0
障害者施設等入院基本料	n=27	60.2	21.2	64.8	n=22	10.7	22.0	0.0
その他の入院基本料	n=10	64.7	20.1	66.3	n=4	0.0	0.0	0.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	62.5	17.0	65.0	n=43	10.7	19.6	0.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	64.3	16.4	65.1	n=23	12.2	25.3	0.0
小児入院医療管理料	n=12	66.3	11.3	62.1	n=11	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=68	74.9	15.6	74.9	n=42	5.4	14.9	0.0

図表 4-52 看護職員1人当たり月平均夜勤時間
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=390	68.1	39.6	68.0	n=208	7.4	22.4	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=245	67.8	46.9	67.2	n=155	4.3	13.9	0.0
その他	n=86	69.3	19.5	66.9	n=45	5.2	13.5	0.0
無回答	n=434	65.3	18.8	66.3	n=276	8.3	20.2	0.0

② 3) 1か月当たり夜勤時間（最小値）

1か月当たり夜勤時間の最小値について平均値を計算したところ結果は以下のとおりであった。

図表 4-53 1か月当たり夜勤時間（最小値）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=632	27.4	21.1	19.9	n=365	5.7	18.3	0.0
療養病棟入院基本料	n=68	34.9	27.1	32.0	n=45	6.2	15.5	0.0
精神病棟入院基本料	n=21	29.0	16.2	24.0	n=12	5.7	15.5	0.0
特定機能病院入院基本料	n=68	25.5	21.8	16.7	n=39	0.7	4.5	0.0
障害者施設等入院基本料	n=27	26.2	17.7	23.0	n=22	10.1	21.1	0.0
その他の入院基本料	n=10	26.3	24.1	16.0	n=4	0.0	0.0	0.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	32.1	24.2	24.3	n=43	8.2	15.2	0.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	32.1	24.5	28.0	n=23	8.9	22.0	0.0
小児入院医療管理料	n=12	33.2	14.5	31.0	n=11	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=68	31.1	23.5	27.2	n=42	3.6	11.8	0.0

図表 4-54 1か月当たり夜勤時間（最小値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=390	27.1	20.2	19.0	n=208	5.5	19.4	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=245	28.4	22.0	20.0	n=155	3.6	12.1	0.0
その他	n=86	29.7	22.0	25.4	n=45	4.3	12.6	0.0
無回答	n=434	29.8	23.5	23.3	n=276	6.5	17.4	0.0

② 4) 1か月当たり夜勤時間（最大値）

1か月当たり夜勤時間の最大値について平均値を計算したところ結果は以下のとおりであった。

図表 4-55 1か月当たり夜勤時間（最大値）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=632	87.1	31.3	88.0	n=365	9.4	25.2	0.0
療養病棟入院基本料	n=68	91.3	32.6	96.0	n=45	8.6	20.6	0.0
精神病棟入院基本料	n=21	91.4	31.6	90.7	n=12	10.0	22.4	0.0
特定機能病院入院基本料	n=68	98.5	29.1	96.0	n=39	0.7	4.5	0.0
障害者施設等入院基本料	n=27	92.0	24.9	88.0	n=22	16.2	29.4	0.0
その他の入院基本料	n=10	82.9	31.3	83.0	n=4	0.0	0.0	0.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	84.9	23.8	82.3	n=43	14.7	26.1	0.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	100.5	24.9	99.0	n=23	13.4	29.5	0.0
小児入院医療管理料	n=12	90.6	24.0	86.9	n=11	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=68	97.7	30.6	103.1	n=42	6.1	16.8	0.0

図表 4-56 1か月当たり夜勤時間（最大値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=390	87.5	31.3	88.0	n=208	9.5	27.4	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=245	82.7	33.0	85.3	n=155	4.8	15.0	0.0
その他	n=86	98.1	26.4	97.9	n=45	6.6	16.8	0.0
無回答	n=434	90.2	30.2	91.9	n=276	10.4	24.1	0.0

② 5) 1か月当たり平均勤務日数

1か月当たり平均勤務日数について平均値を計算したところ結果は以下のとおりであった。

図表 4-57 1か月当たり平均勤務日数
(算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)

(単位:1人当たり・日/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=632	19.3	4.5	20.0	n=365	9.7	8.6	12.0
療養病棟入院基本料	n=68	20.6	6.5	20.0	n=45	13.6	6.0	15.0
精神病棟入院基本料	n=21	19.5	2.4	19.0	n=12	6.7	9.9	0.0
特定機能病院入院基本料	n=68	19.5	2.1	20.0	n=39	5.6	8.4	0.0
障害者施設等入院基本料	n=27	18.7	3.1	20.0	n=22	13.1	5.2	15.3
その他の入院基本料	n=10	19.3	1.2	19.3	n=4	8.0	8.0	8.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	19.3	2.7	20.0	n=43	10.9	7.8	13.7
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	19.6	2.2	20.0	n=23	8.9	7.3	12.0
小児入院医療管理料	n=12	18.7	1.5	19.4	n=11	3.7	6.1	0.0
その他の特定入院料	n=68	20.2	8.6	19.6	n=42	4.2	6.8	0.0

図表 4-58 1か月当たり平均勤務日数
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・日/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=390	19.2	4.7	19.9	n=208	7.4	8.8	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=245	19.3	4.0	20.0	n=155	8.1	8.3	4.0
その他	n=86	20.7	7.5	20.0	n=45	10.4	7.8	11.8
無回答	n=434	19.5	4.3	20.0	n=276	10.9	7.9	13.7

③ 看護補助者の勤務時間

看護補助者1人当たり月平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 4-59 看護補助者1人当たり月平均勤務時間

(単位:1人当たり・日/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=946	124.6	84.1	152.0	n=775	76.6	82.8	80.0

④ 病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数(実人数)

病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数は、以下のとおりであった。

図表 4-60 病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数
(算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)

(単位:人)

1) 看護師数	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=692	1.6	5.3	0.0	n=540	0.1	0.5	0.0
療養病棟入院基本料	n=67	0.5	1.0	0.0	n=57	0.1	0.5	0.0
精神病棟入院基本料	n=18	1.6	4.1	0.0	n=13	0.1	0.3	0.0
特定機能病院入院基本料	n=78	1.8	5.9	0.0	n=66	0.0	0.1	0.0
障害者施設等入院基本料	n=34	1.2	4.7	0.0	n=29	0.4	1.2	0.0
その他の入院基本料	n=9	0.0	0.0	0.0	n=7	0.0	0.0	0.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=69	1.0	3.6	0.0	n=58	0.1	0.3	0.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=45	0.6	2.1	0.0	n=37	0.2	0.4	0.0
小児入院医療管理料	n=14	0.3	0.6	0.0	n=13	0.1	0.3	0.0
その他の特定入院料	n=63	1.9	5.1	0.0	n=56	0.0	0.2	0.0

2) 准看護師数	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=656	0.1	0.4	0.0	n=530	0.0	0.1	0.0
療養病棟入院基本料	n=66	0.3	0.8	0.0	n=57	0.1	0.7	0.0
精神病棟入院基本料	n=16	0.0	0.0	0.0	n=12	0.0	0.0	0.0
特定機能病院入院基本料	n=78	0.0	0.1	0.0	n=66	0.0	0.0	0.0
障害者施設等入院基本料	n=32	0.3	0.6	0.0	n=29	0.0	0.0	0.0
その他の入院基本料	n=9	0.0	0.0	0.0	n=7	0.0	0.0	0.0
地域包括ケア病棟入院基本料	n=68	0.0	0.2	0.0	n=56	0.0	0.0	0.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=44	0.1	0.4	0.0	n=36	0.2	0.6	0.0
小児入院医療管理料	n=13	0.1	0.3	0.0	n=13	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=61	0.0	0.0	0.0	n=55	0.0	0.0	0.0

図表 4-61 病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・日/月)

1) 看護師数	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=428	1.9	6.2	0.0	n=341	0.1	0.4	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=279	1.9	6.0	0.0	n=220	0.1	0.5	0.0
その他	n=87	0.5	1.8	0.0	n=70	0.1	0.6	0.0
無回答	n=456	1.2	4.3	0.0	n=373	0.1	0.5	0.0

2) 准看護師数	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=409	0.1	0.4	0.0	n=334	0.0	0.1	0.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=264	0.1	0.5	0.0	n=221	0.0	0.2	0.0
その他	n=86	0.2	0.6	0.0	n=71	0.0	0.2	0.0
無回答	n=439	0.1	0.4	0.0	n=363	0.0	0.3	0.0

⑤ 看護職員の夜勤専従者の勤務時間等

⑤ 1) 1人当たり月平均勤務時間

看護職員の夜勤専従者の1人当たり月平均勤務時間は以下のとおりであった。

図表 4-62 看護職員夜勤専従者1人当たり月平均勤務時間
(算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=173	143.9	42.4	144.0	n=43	84.9	43.5	90.0
療養病棟入院基本料	n=17	149.4	25.5	150.8	n=3	95.3	40.7	120.0
精神病棟入院基本料	n=5	142.4	13.3	144.0	n=1	135.8	0.0	135.8
特定機能病院入院基本料	n=15	139.6	40.8	155.0	-	-	-	-
障害者施設等入院基本料	n=9	155.3	41.2	149.3	n=3	63.9	2.0	64.0
その他の入院基本料	-	-	-	-	-	-	-	-
地域包括ケア病棟入院基本料	n=12	144.6	72.3	155.0	n=1	165.0	0.0	165.0
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=7	144.8	12.5	144.7	n=4	90.4	46.4	93.8
小児入院医療管理料	n=3	148.7	2.0	149.3	n=1	63.2	0.0	63.2
その他の特定入院料	n=10	152.6	21.7	154.8	n=3	74.8	24.4	65.0

図表 4-63 看護職員夜勤専従者1人当たり月平均勤務時間
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=86	145.6	40.9	144.9	n=17	91.4	34.1	90.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=74	154.8	39.2	150.0	n=15	99.4	42.3	109.3
その他	n=16	145.7	30.0	152.3	n=6	77.6	34.7	79.6
無回答	n=100	137.3	40.0	144.0	n=27	76.0	45.7	65.0

⑤ 2) 1人当たり月平均夜勤時間

看護職員の夜勤専従者の1人当たり月平均夜勤時間は以下のとおりであった。

図表 4-64 看護職員夜勤専従者1人当たり月平均夜勤時間
(算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=177	130.9	48.6	139.6	n=43	73.9	41.0	66.0
療養病棟入院基本料	n=18	131.9	46.0	144.0	n=4	132.0	77.5	115.0
精神病棟入院基本料	n=5	141.5	12.9	144.0	n=1	136.5	0.0	136.5
特定機能病院入院基本料	n=15	122.9	29.6	130.0	-	-	-	-
障害者施設等入院基本料	n=8	121.7	59.8	144.4	n=2	93.7	60.9	93.7
その他の入院基本料	-	-	-	-	-	-	-	-
地域包括ケア病棟入院基本料	n=12	126.7	46.0	142.3	n=2	143.8	21.3	143.8
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=7	140.4	14.0	135.0	n=4	90.4	46.4	93.8
小児入院医療管理料	n=3	148.7	2.0	149.3	n=1	63.2	0.0	63.2
その他の特定入院料	n=10	136.4	24.1	144.0	n=3	74.3	24.9	65.0

図表 4-65 看護職員夜勤専従者1人当たり月平均夜勤時間
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・時間/月)

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=88	129.4	45.7	139.5	n=18	82.4	32.7	76.5
協力医療機関に指定されたことがある	n=78	135.4	45.1	144.0	n=15	75.7	43.7	64.0
その他	n=15	135.9	47.9	155.0	n=5	73.9	36.9	63.2
無回答	n=101	126.7	42.5	138.0	n=27	86.2	57.4	66.0

⑤ 3) 1か月当たり夜勤時間（最小値）

看護職員の夜勤専従者の1か月当たり夜勤時間の最小値について平均値等を計算したところ結果は以下のとおりであった

図表 4-66 1か月当たり夜勤時間（最小値）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=170	116.7	47.1	135.0	n=37	71.1	43.6	64.0
療養病棟入院基本料	n=18	115.4	51.2	138.7	n=4	107.3	88.2	91.0
精神病棟入院基本料	n=4	137.9	10.2	136.0	n=1	128.0	0.0	128.0
特定機能病院入院基本料	n=15	96.4	45.9	101.7	-	-	-	-
障害者施設等入院基本料	n=8	144.1	30.6	145.3	n=2	47.1	17.0	47.1
その他の入院基本料	-	-	-	-	-	-	-	-
地域包括ケア病棟入院基本料	n=10	120.2	39.1	135.0	n=2	135.2	24.9	135.2
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=7	130.6	16.2	128.0	n=4	89.0	44.9	90.0
小児入院医療管理料	n=3	143.1	5.5	144.0	n=1	57.8	0.0	57.8
その他の特定入院料	n=10	125.0	38.1	143.3	n=2	79.0	29.5	79.0

図表 4-67 1か月当たり夜勤時間（最小値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=85	118.4	40.8	136.0	n=16	72.9	33.8	64.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=73	120.6	47.6	136.0	n=15	85.5	45.2	64.0
その他	n=15	135.5	26.0	136.0	n=4	55.7	30.7	52.9
無回答	n=98	113.3	47.7	128.3	n=23	73.1	59.2	64.0

⑤ 4) 1か月当たり夜勤時間（最大値）

看護職員の夜勤専従者の1か月当たり夜勤時間の最大値について平均値等を計算したところ結果は以下のとおりであった

図表 4-68 1か月当たり夜勤時間（最大値）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）

（単位：1人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=172	131.0	43.1	144.0	n=40	87.4	46.6	98.7
療養病棟入院基本料	n=18	144.5	37.7	153.8	n=4	163.5	85.1	146.5
精神病棟入院基本料	n=4	144.8	20.4	136.5	n=1	136.5	0.0	136.5
特定機能病院入院基本料	n=15	143.7	29.2	151.3	-	-	-	-
障害者施設等入院基本料	n=8	154.0	28.7	160.0	n=2	66.5	29.6	66.5
その他の入院基本料	-	-	-	-	-	-	-	-
地域包括ケア病棟入院基本料	n=10	137.6	24.6	141.8	n=2	149.3	26.8	149.3
回復期リハビリテーション病棟入院基本料	n=7	151.1	9.7	157.3	n=4	130.8	42.6	147.5
小児入院医療管理料	n=3	156.4	5.0	160.0	n=1	66.0	0.0	66.0
その他の特定入院料	n=10	142.6	27.8	148.0	n=2	79.0	29.5	79.0

図表 4-69 1か月当たり夜勤時間（最大値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：1人当たり・時間／月）

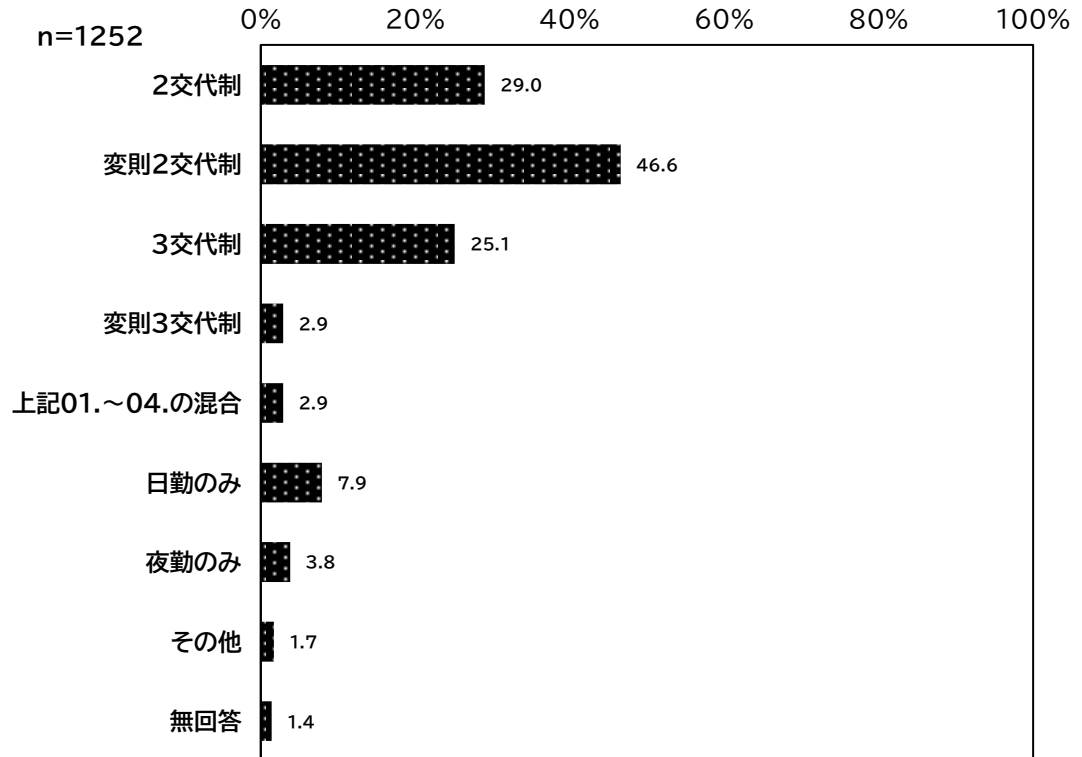
	常勤				非常勤(常勤換算)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=85	133.1	32.6	144.0	n=18	87.2	40.7	80.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=74	134.3	44.7	144.0	n=15	111.8	45.5	128.0
その他	n=15	160.7	14.7	161.0	n=5	94.4	26.5	101.3
無回答	n=100	133.0	40.6	144.0	n=23	86.4	67.8	66.0

(2) 病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等
B. 夜勤体制等

① 病棟における看護職員の勤務形態

看護職員の勤務形態で最も多かったものは「変則2交代制」で45.6%であった。

図表 4-70 看護職員の勤務形態（複数回答）

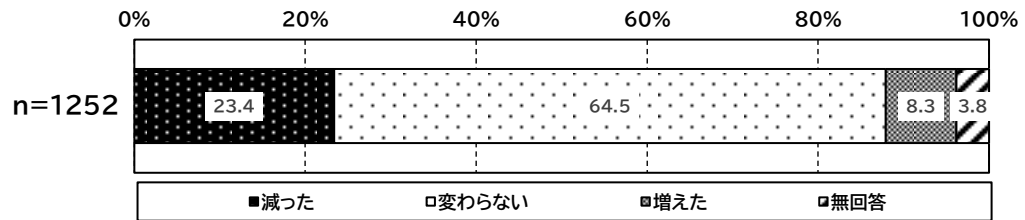


② 病棟における看護職員数や夜勤に関する状況について、令和2年度診療報酬改定の前と改定の結果を比較しての変化

② 1) 看護師数

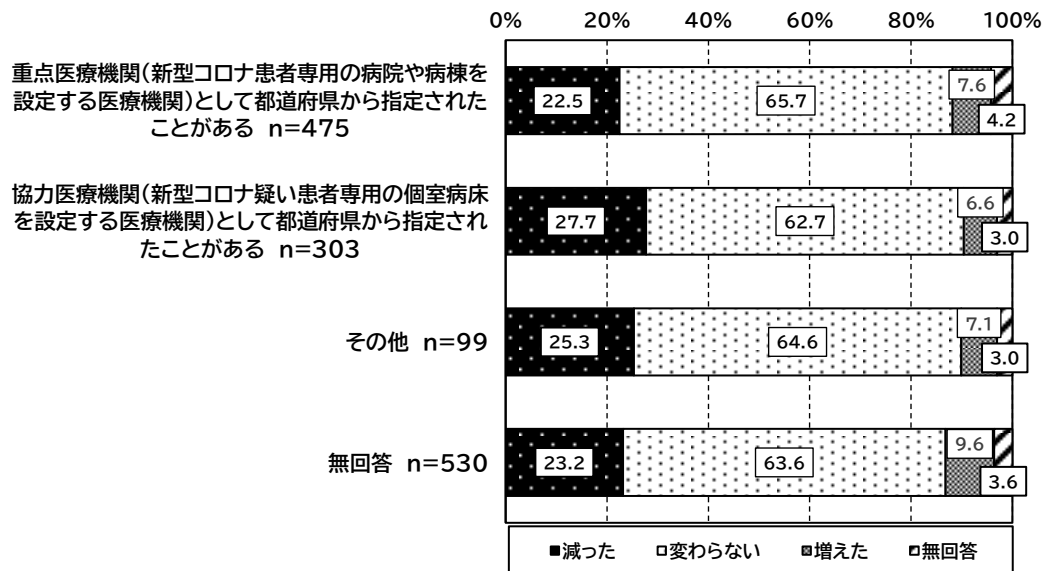
看護師数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で64.5%であった。

図表 4-71 看護師数の状況の変化

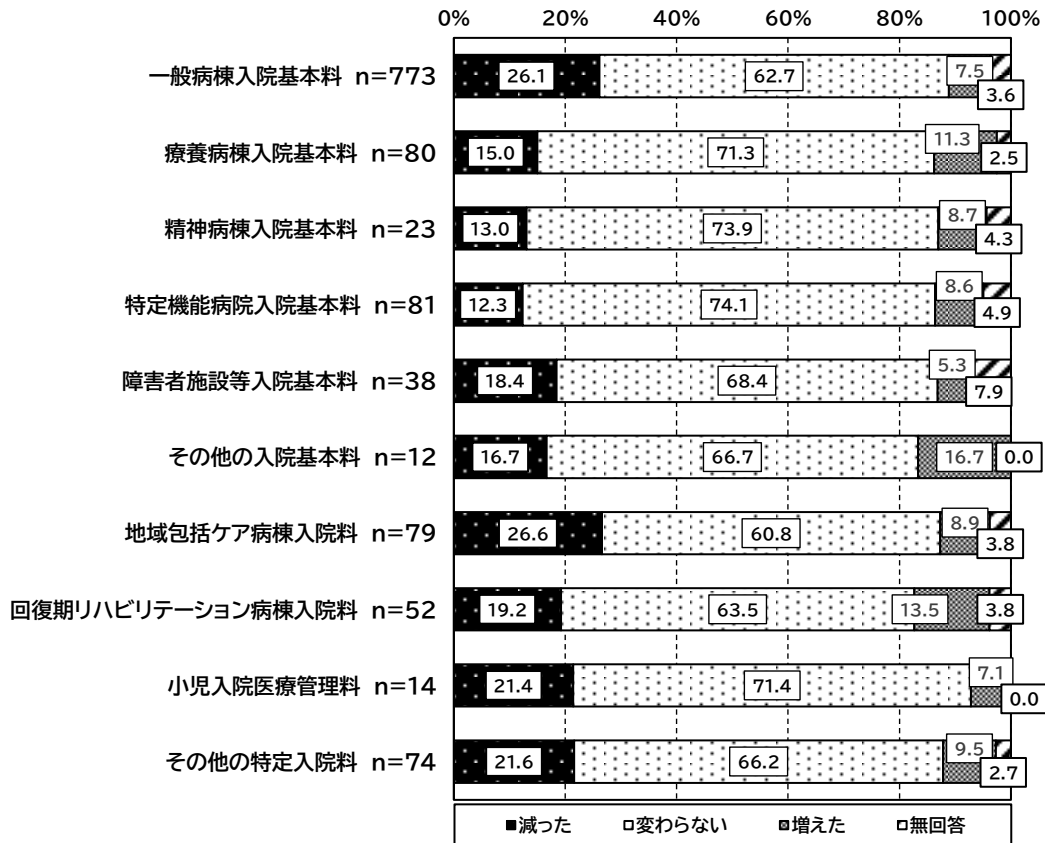


図表 4-72 看護師数の状況の変化

(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



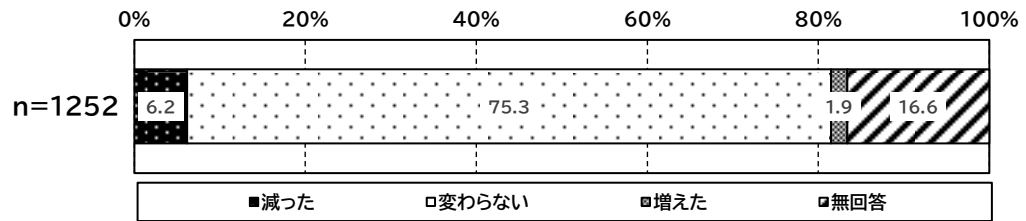
図表 4-73 看護師数の状況の変化
 (算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)



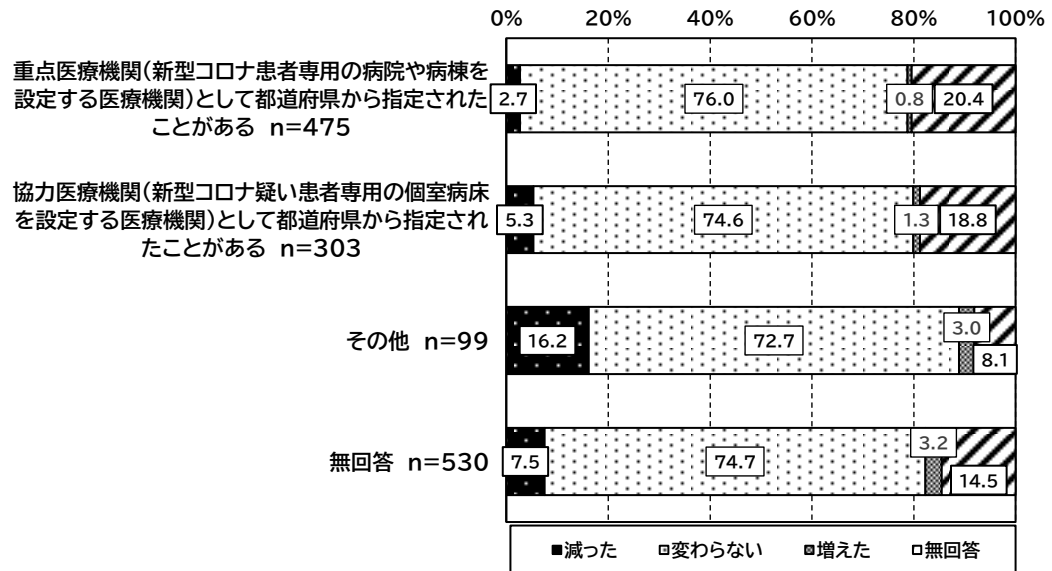
② 2) 准看護師数

准看護師数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で75.3%であった。

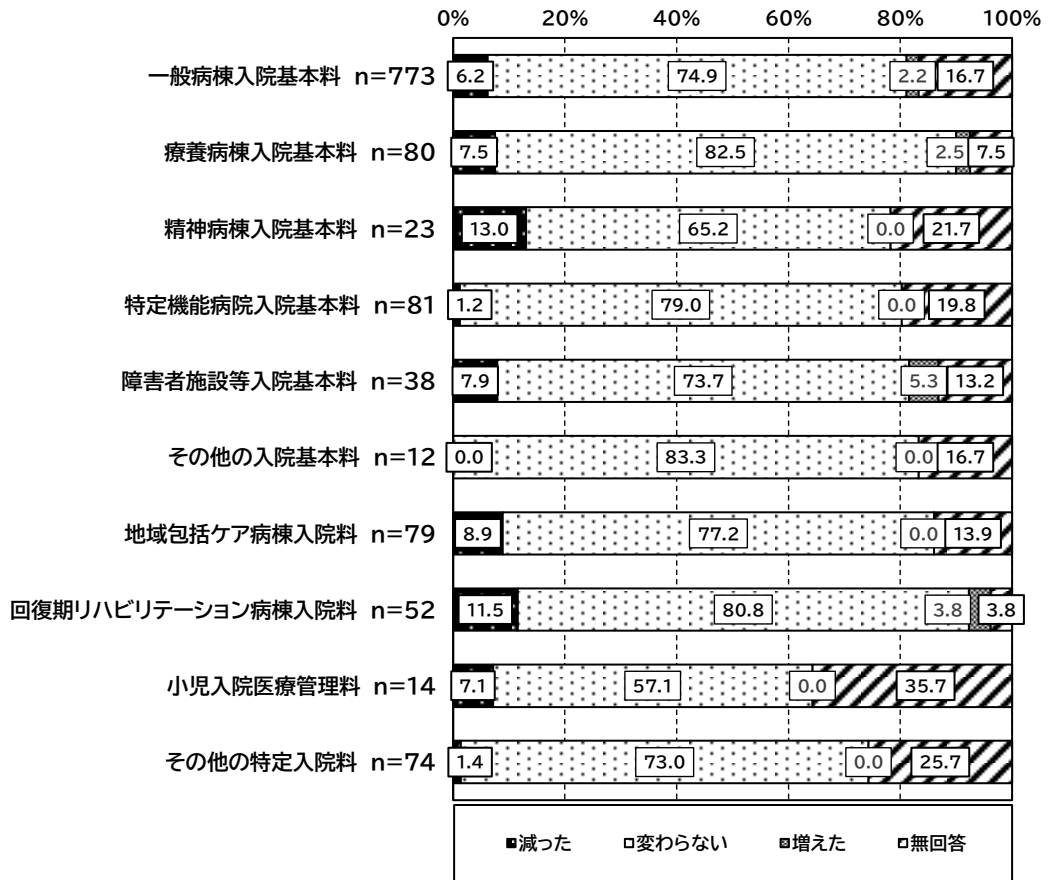
図表 4-74 准看護師数の状況の変化



図表 4-75 准看護師数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



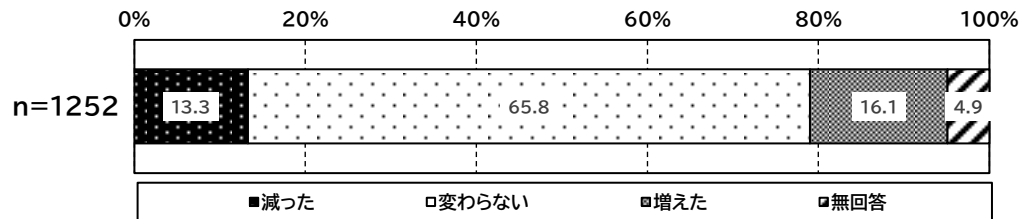
図表 4-76 准看護師数の状況の変化
 (算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)



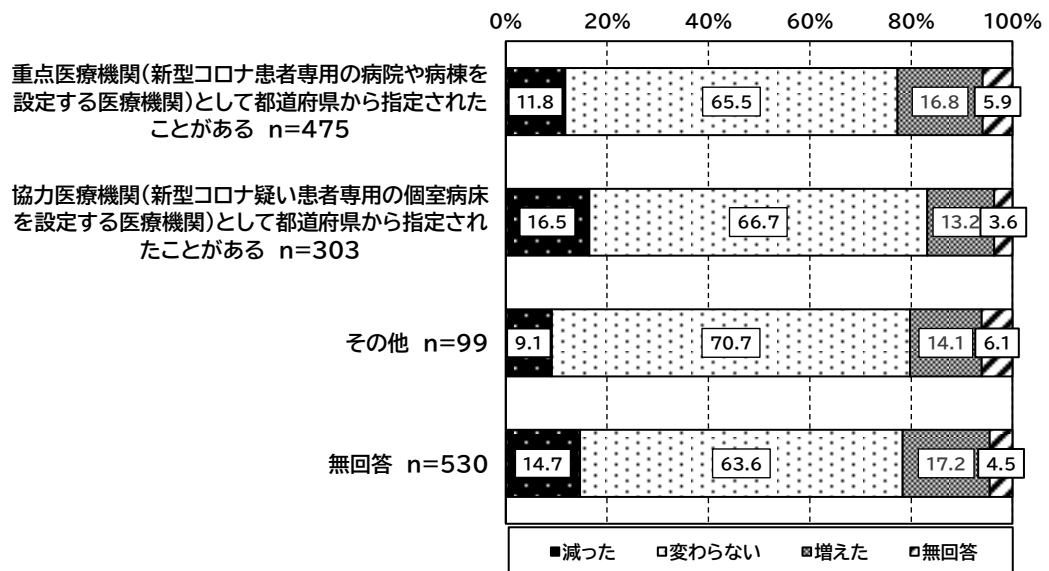
② 3) 看護補助者数

看護補助者数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で65.8%であった。

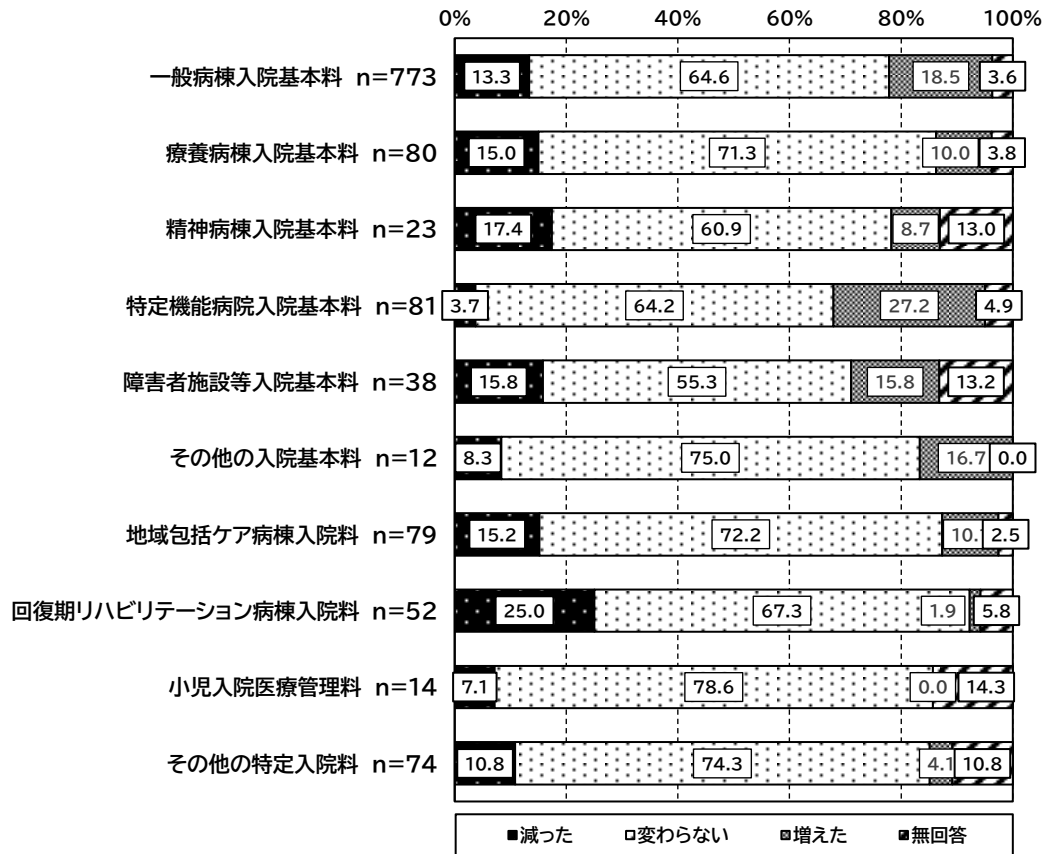
図表 4-77 看護補助者数の状況の変化



図表 4-78 看護補助者数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



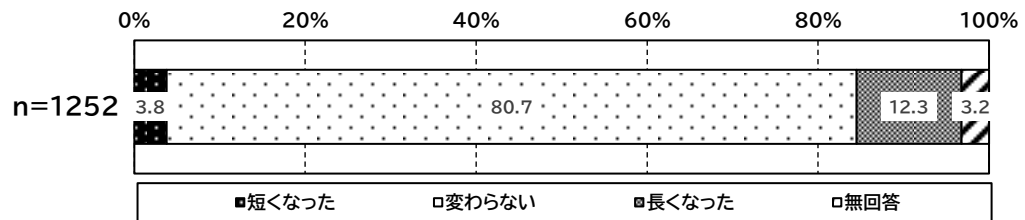
図表 4-79 看護補助者数の状況の変化
 (算定している入院基本料(最も病床数が多いもの)別)



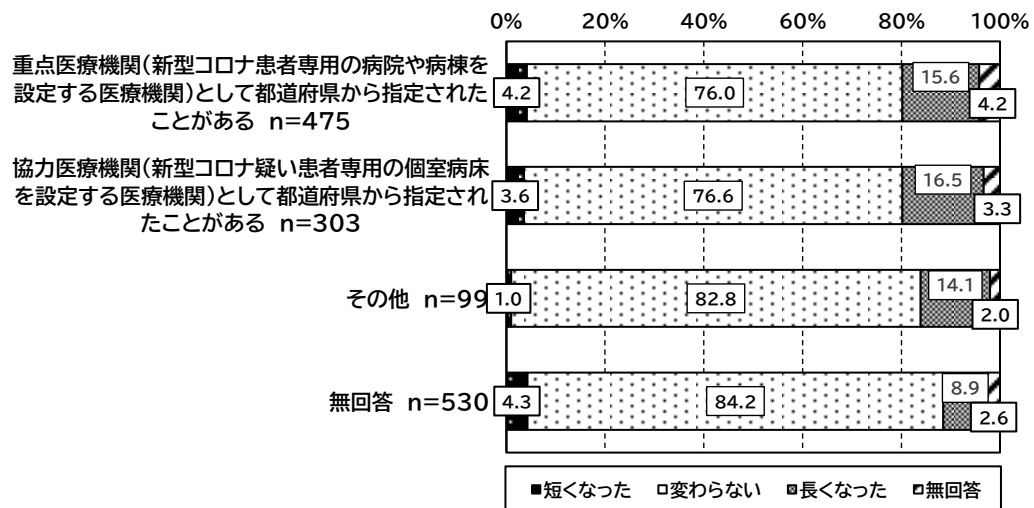
② 4) 実際の夜勤時間の長さ（残業等を含む）

実際の夜勤時間の長さ（残業等を含む）状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で80.7%であった。

図表 4-80 実際の夜勤時間の長さ（残業等を含む）の状況の変化



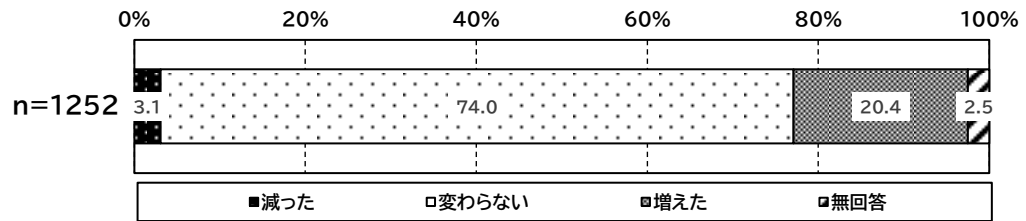
図表 4-81 実際の夜勤時間の長さ（残業等を含む）の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



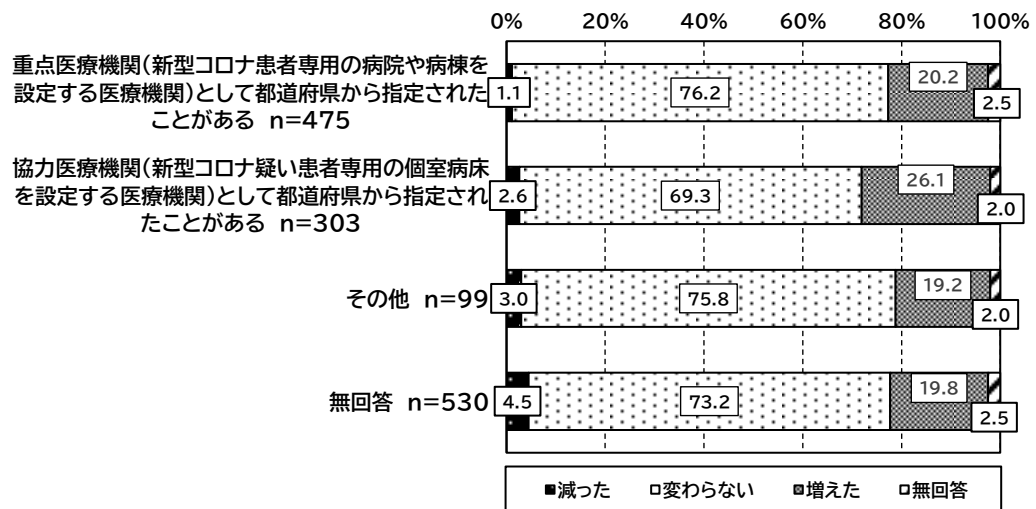
② 5) 夜勤の回数

夜勤の回数の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で74.0%であった。

図表 4-82 夜勤の回数の状況の変化



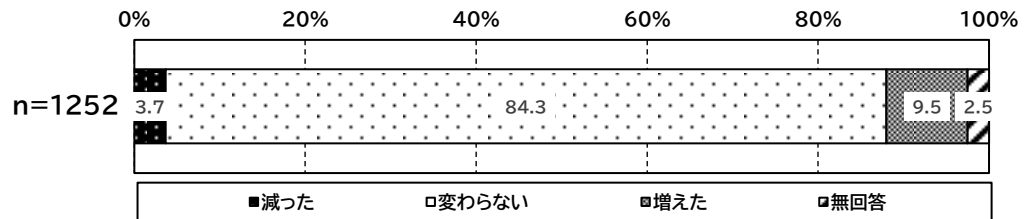
図表 4-83 夜勤の回数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



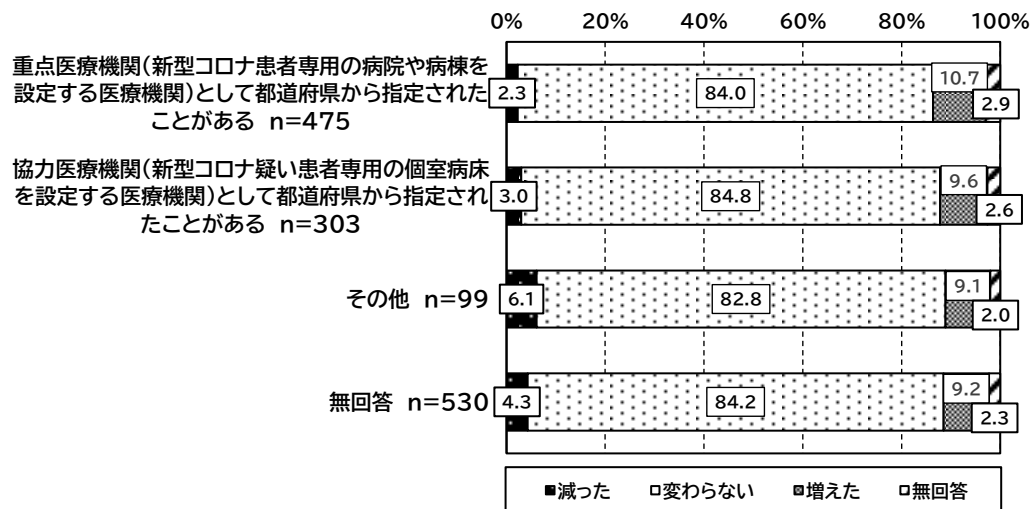
② 6) 夜勤時の受け持ち患者数

夜勤時の受け持ち患者数の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で84.3%であった。

図表 4-84 夜勤時の受け持ち患者数の状況の変化



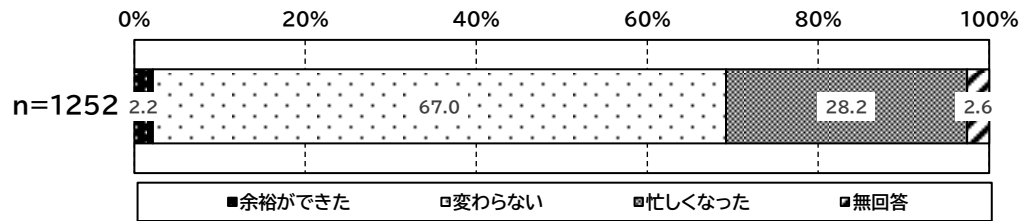
図表 4-85 夜勤時の受け持ち患者数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



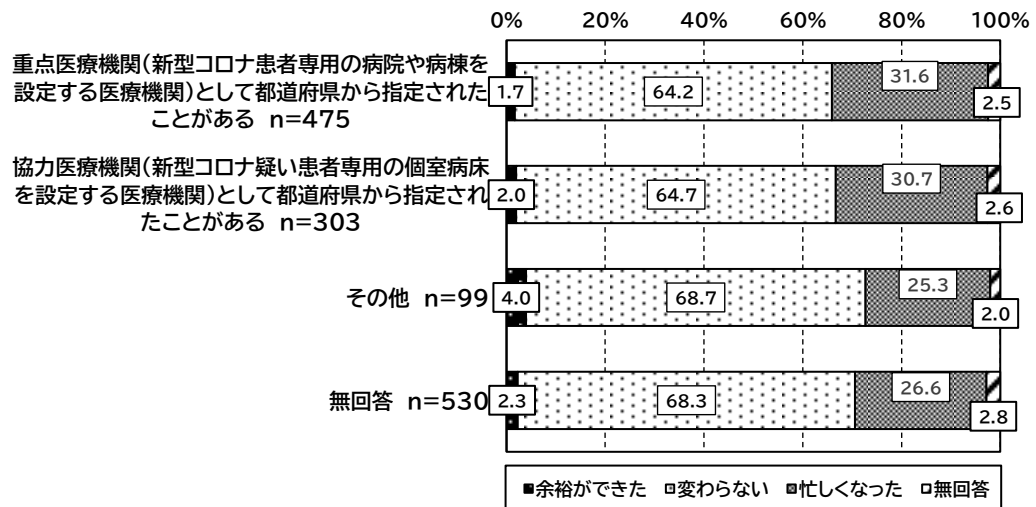
② 7) 夜勤時の繁忙度

夜勤時の繁忙度の変化で最も多かったものは「変わらない」で67.0%であった。

図表 4-86 夜勤時の繁忙度の変化



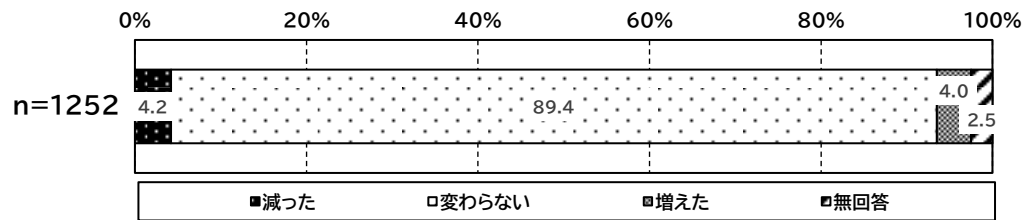
図表 4-87 夜勤時の繁忙度の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



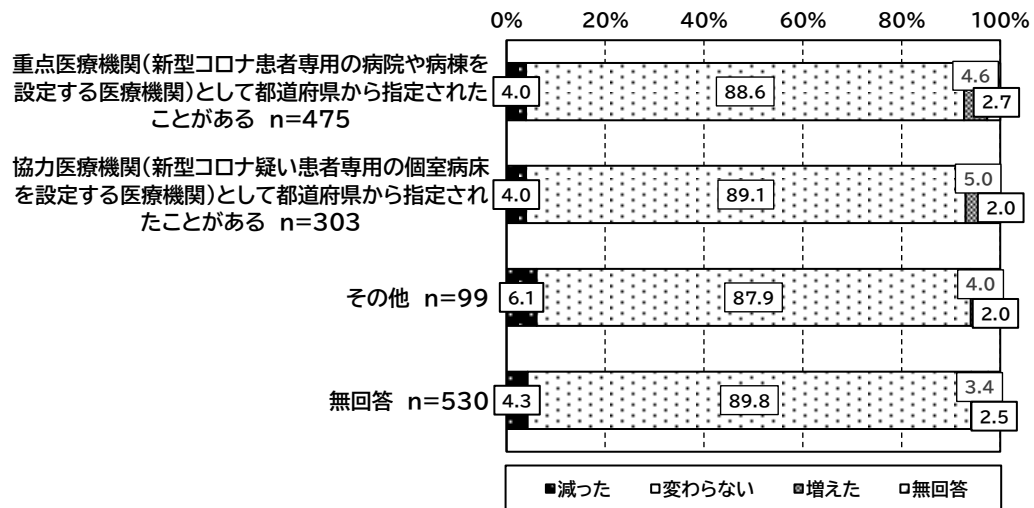
② 8) 夜勤の看護職員配置数

夜勤の看護職員配置数の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で89.4%であった。

図表 4-88 夜勤の看護職員配置数の状況の変化



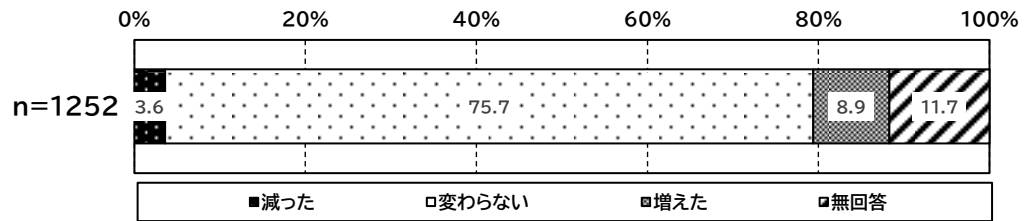
図表 4-89 夜勤の看護職員配置数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



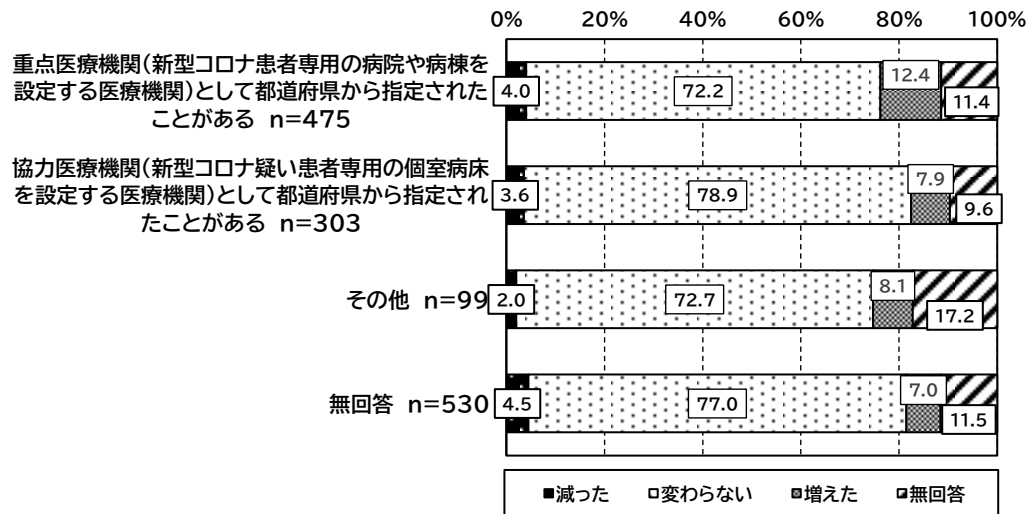
② 9) 夜勤の看護補助者配置数

夜勤の看護補助者配置数状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で75.7%であった。

図表 4-90 夜勤の看護補助者の配置数の状況の変化



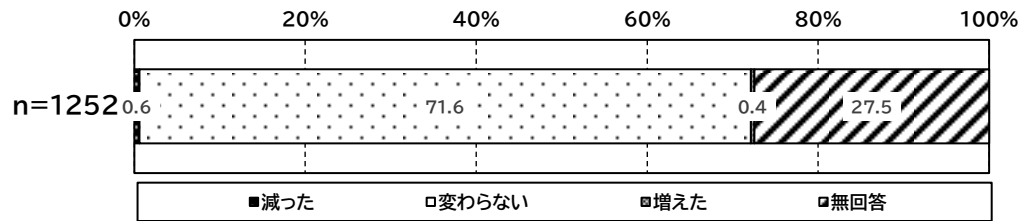
図表 4-91 夜勤の看護職員配置数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



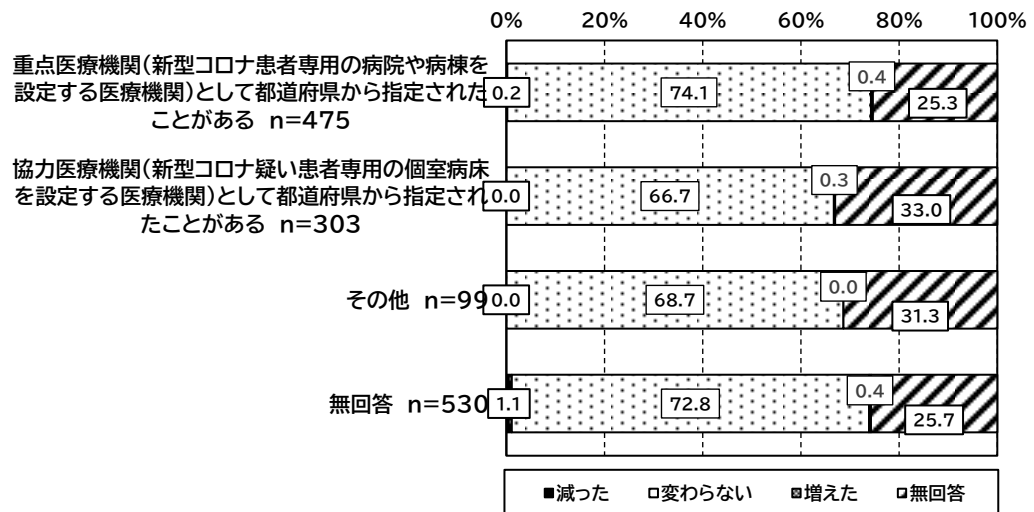
② 10) 夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数

夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で71.6%であった。

図表 4-92 夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数の状況の変化



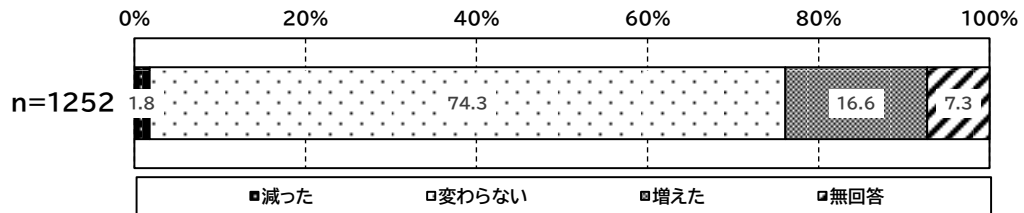
図表 4-93 夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



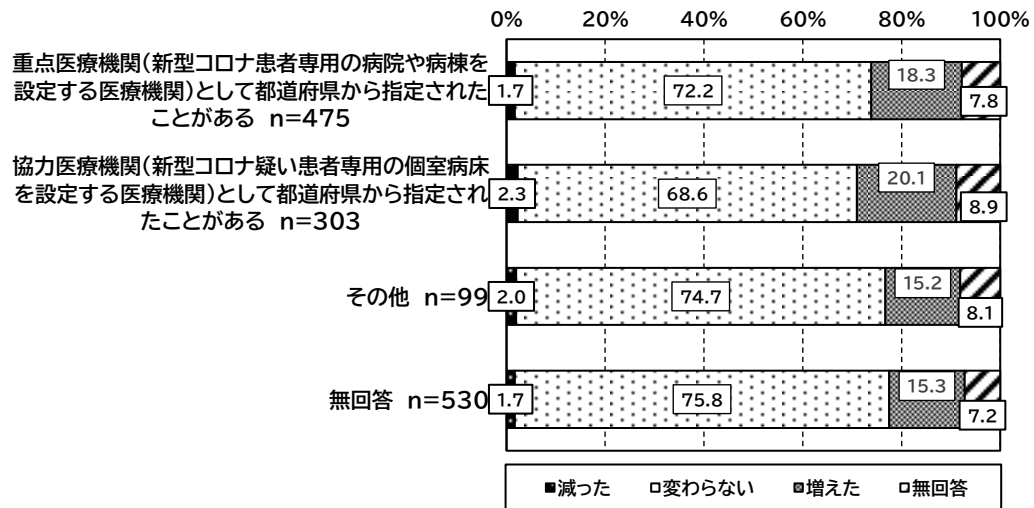
② 11) 一部の者への夜勤の負担

一部の者への夜勤の負担の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で74.3%であった。

図表 4-94 一部の者への夜勤の負担の状況の変化



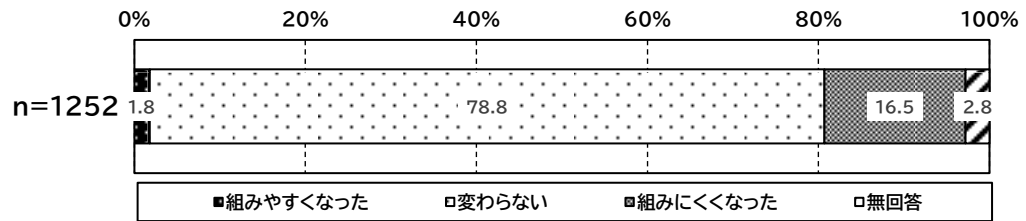
図表 4-95 一部の者への夜勤の負担の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



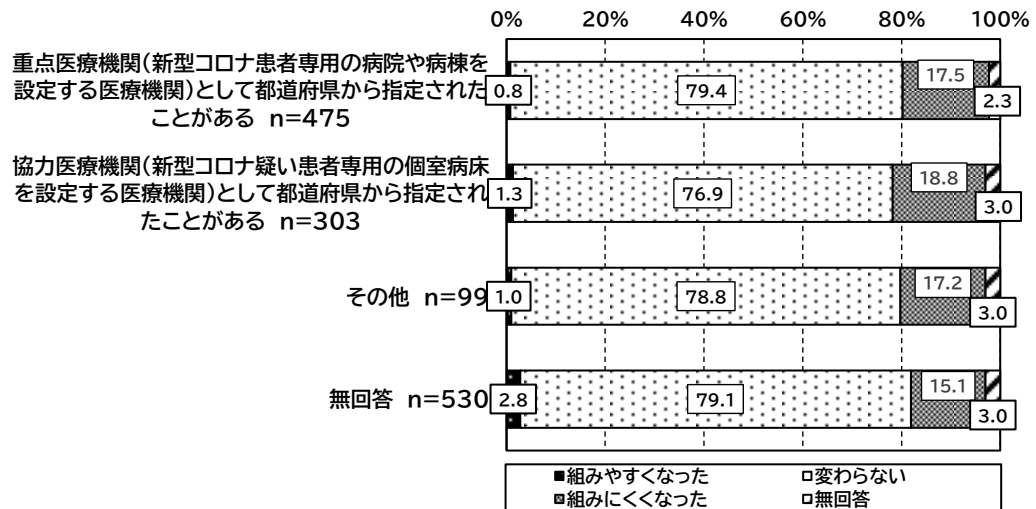
② 12) 夜勤シフトの組み方

夜勤シフトの組み方の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で78.8%であった。

図表 4-96 夜勤シフトの組み方の状況の変化



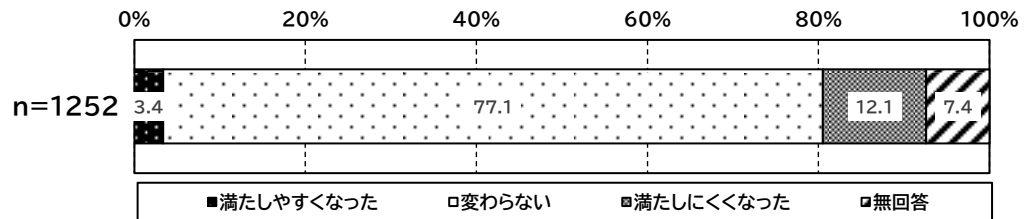
図表 4-97 夜勤シフトの組み方の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



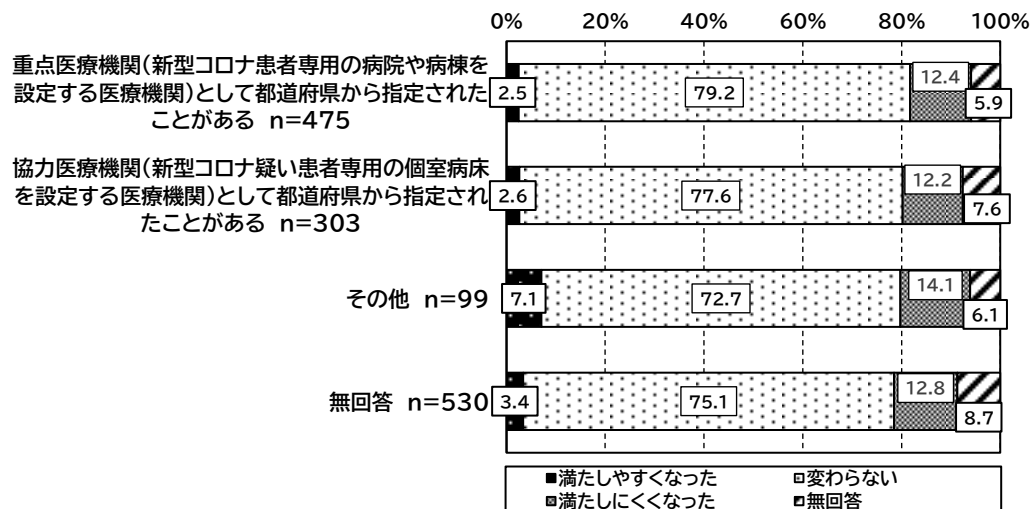
② 13) 夜勤の 72 時間要件

夜勤の 72 時間要件の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で 77.1%であった。

図表 4-98 夜勤の 72 時間要件の状況の変化



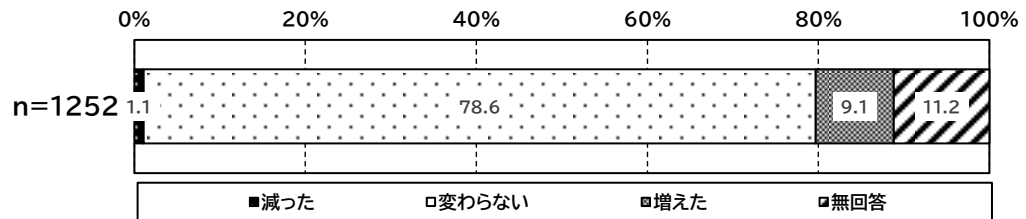
図表 4-99 夜勤の 72 時間要件の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



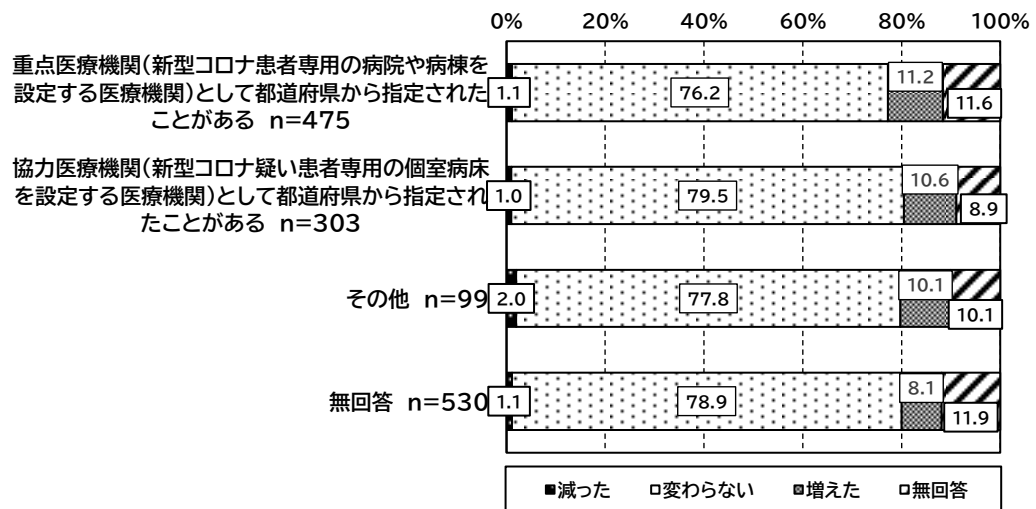
② 14) 他部署との兼務

他部署との兼務の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で78.6%であった。

図表 4-100 他部署との兼務の状況の変化



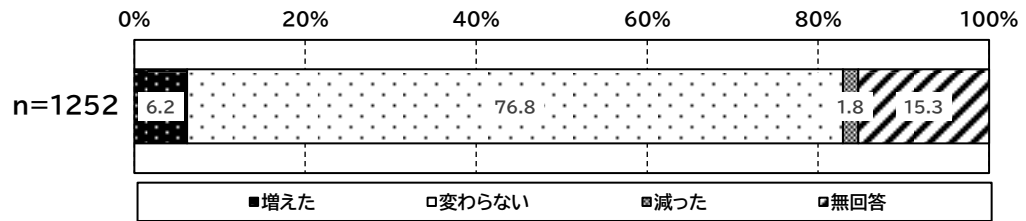
図表 4-101 他部署との兼務の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



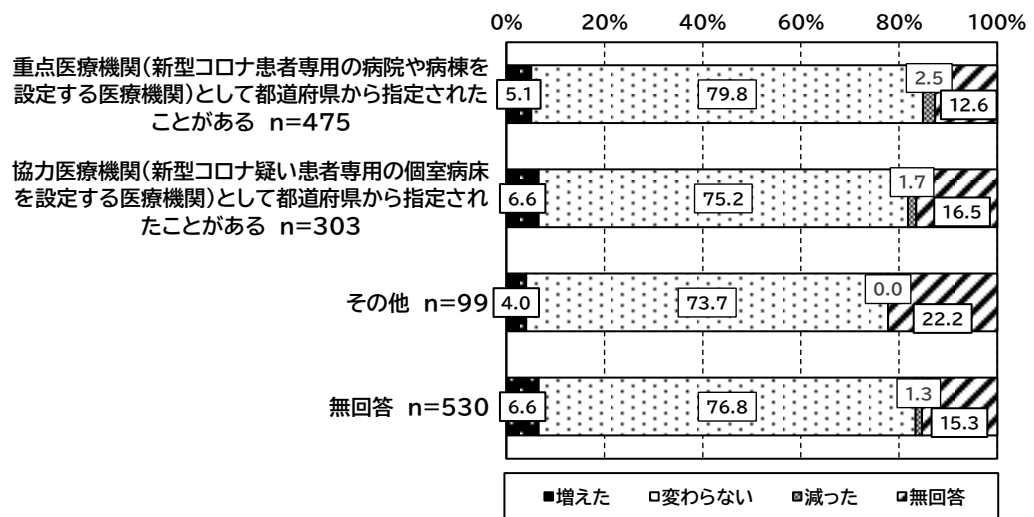
② 15) 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者

短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で76.8%であった。

図表 4-102 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者の状況の変化



図表 4-103 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者の状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

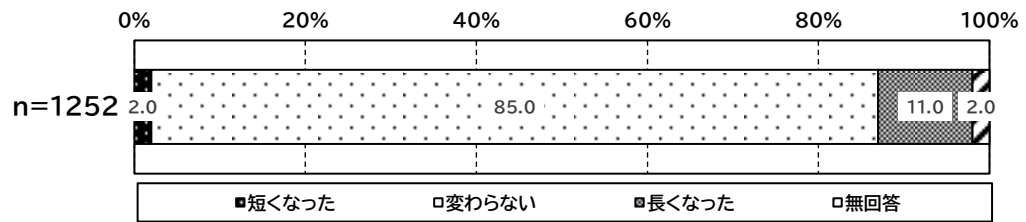


③ 病棟における看護職員数の勤務状況について、令和2年度診療報酬改定の前と改定の結果を比較しての変化

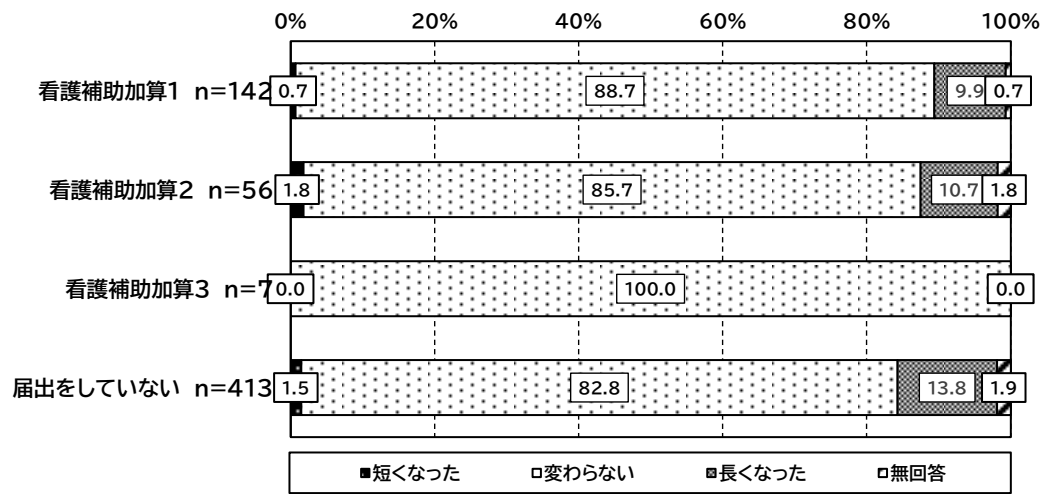
③ 1) 勤務時間

勤務時間の変化で最も多かったものは「変わらない」で85.0%であった。

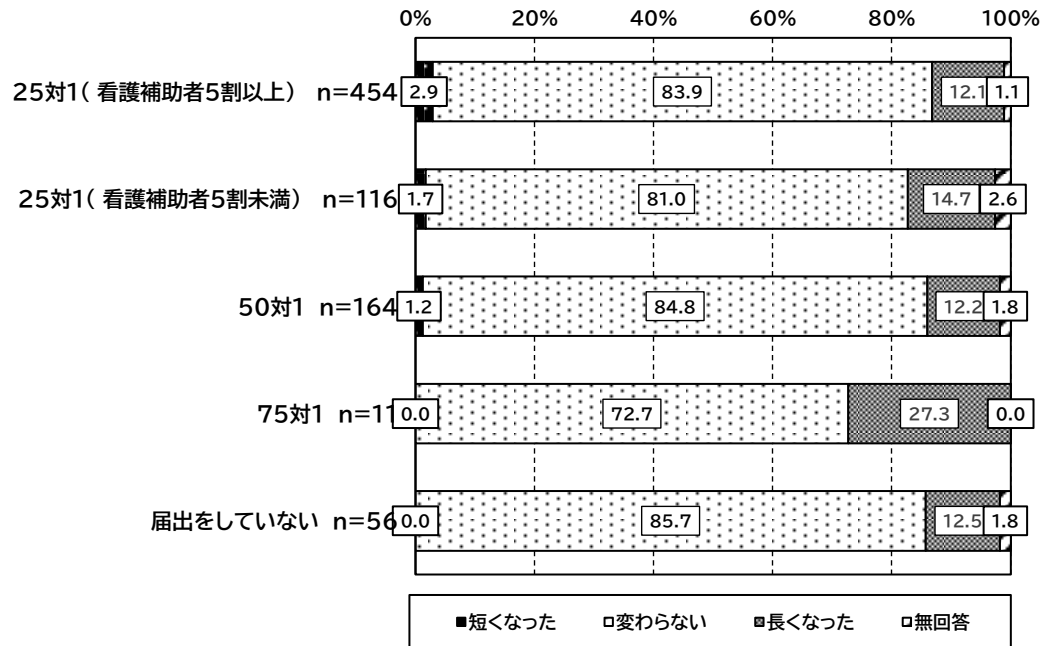
図表 4-104 勤務時間の変化



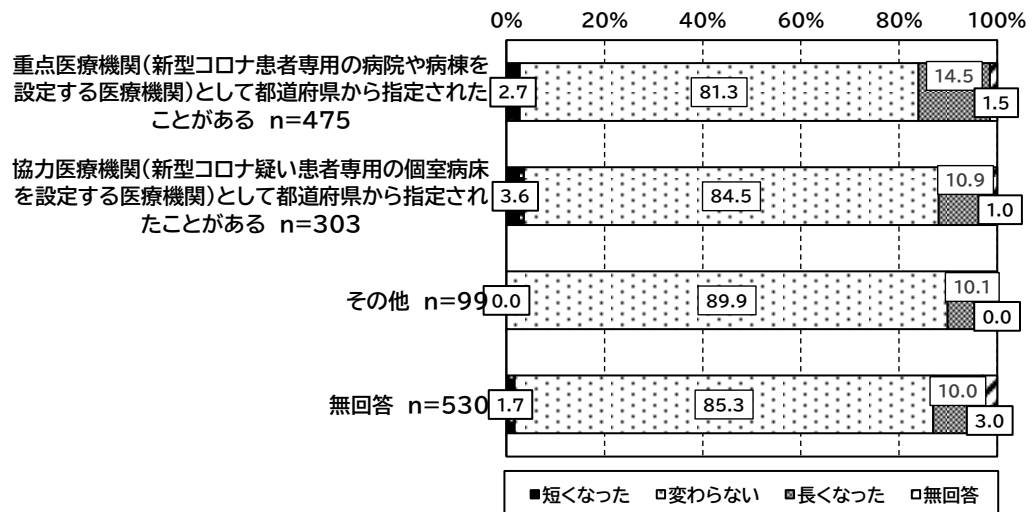
図表 4-105 勤務時間の変化
(看護補助加算の届出の有無別)



図表 4-106 勤務時間の変化
(急性期看護補助体制加算の届出の有無別)



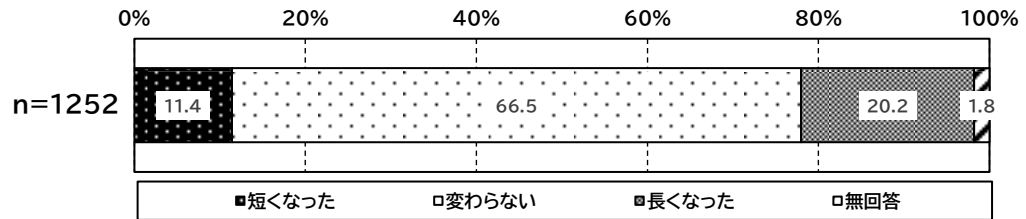
図表 4-107 勤務時間の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



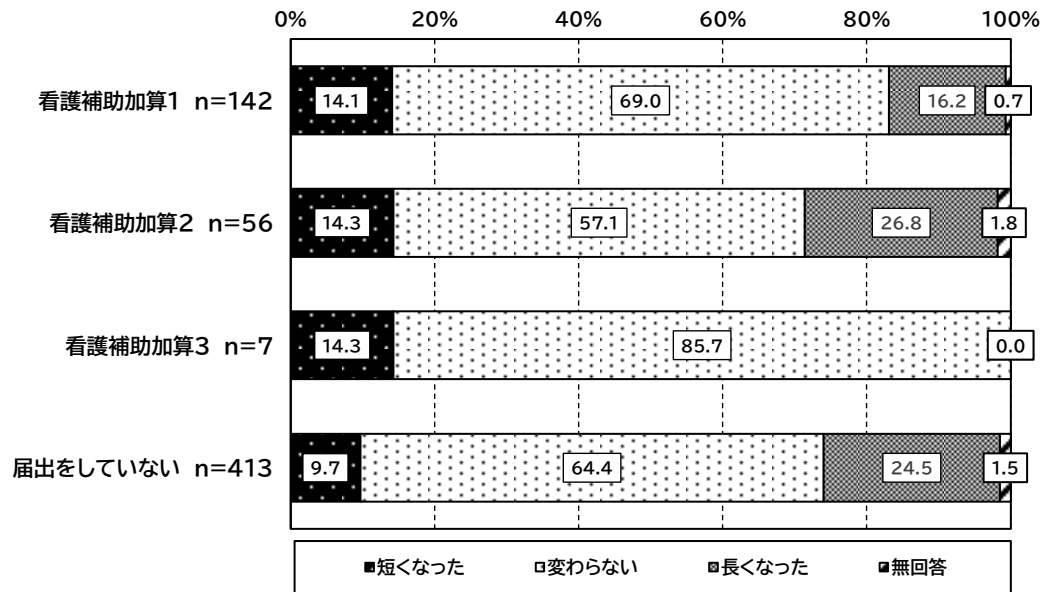
③ 2) 残業時間

残業時間の変化で最も多かったものは「変わらない」で66.5%であった。

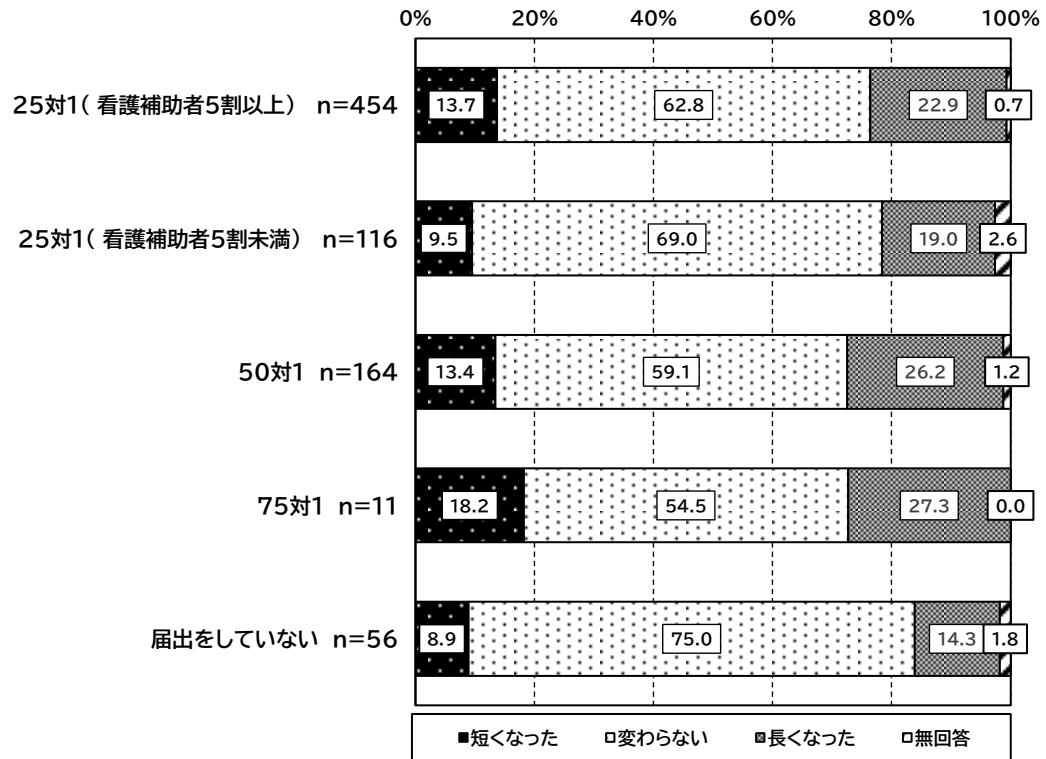
図表 4-108 残業時間の変化



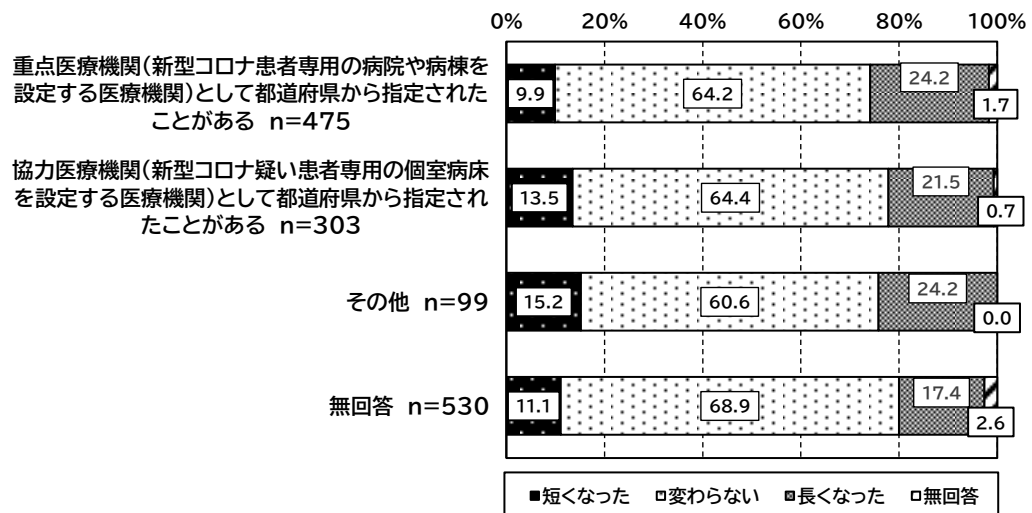
図表 4-109 残業時間の変化
(看護補助加算の届出の有無別)



図表 4-110 残業時間の変化
 (急性期看護補助体制加算の届出の有無別)



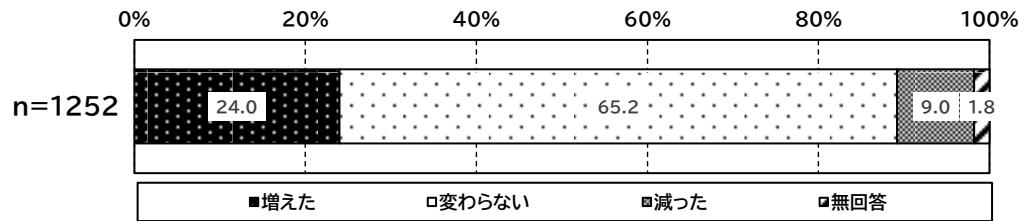
図表 4-111 残業時間の変化
 (新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



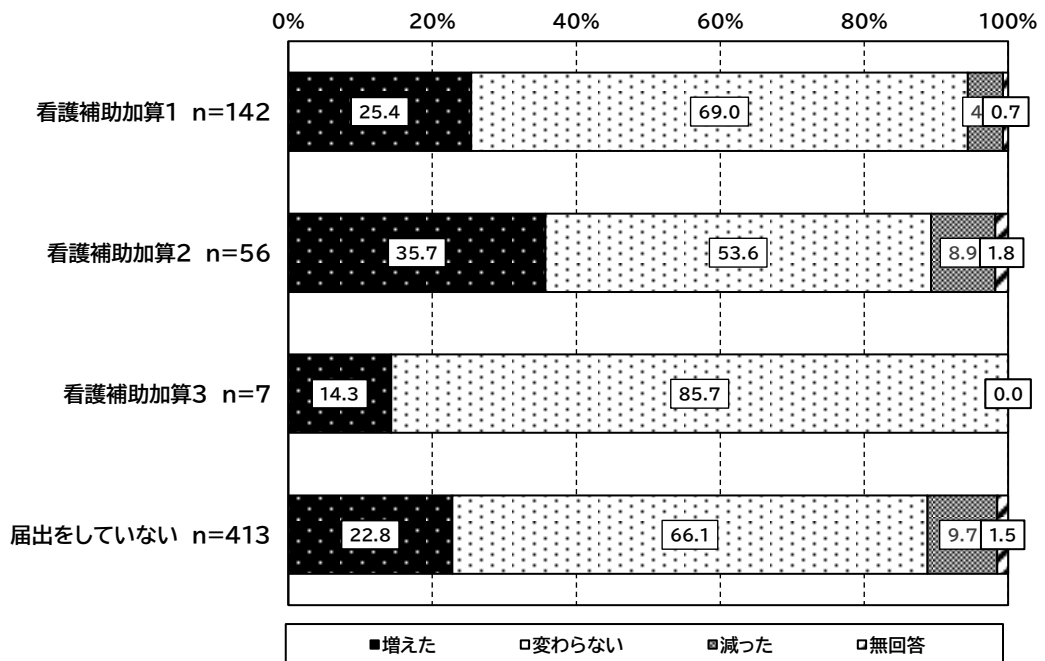
③ 3) 有給休暇の取得状況

有給休暇の取得状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で65.2%であった。

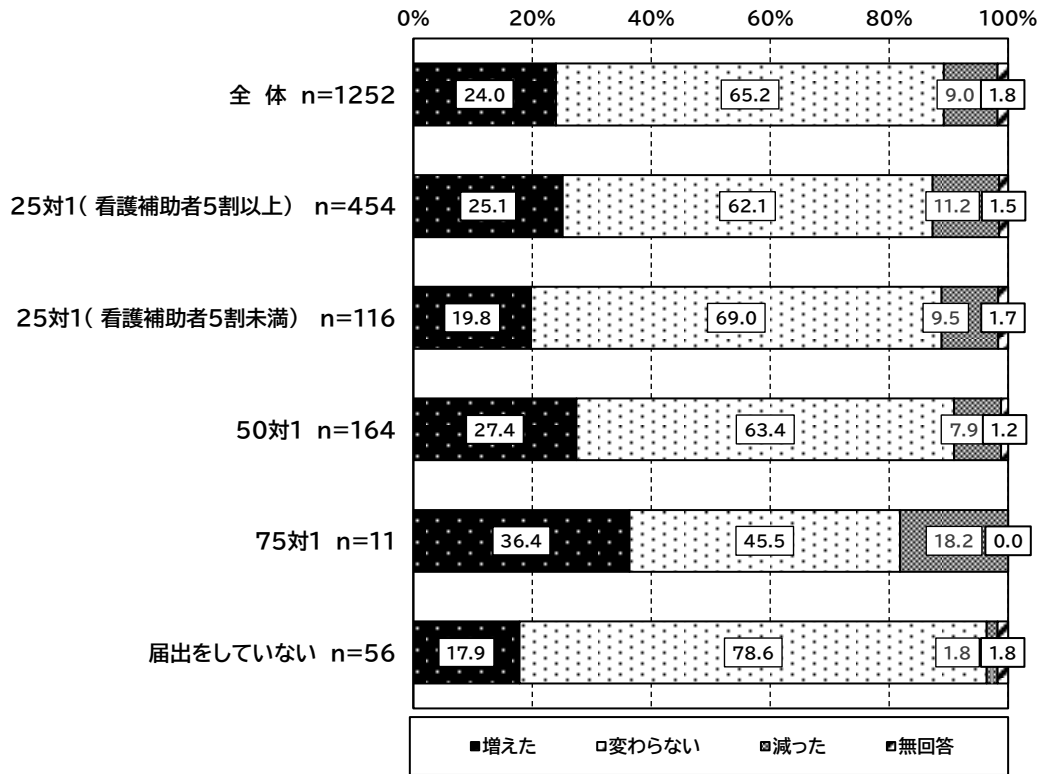
図表 4-112 有給休暇の取得状況の変化



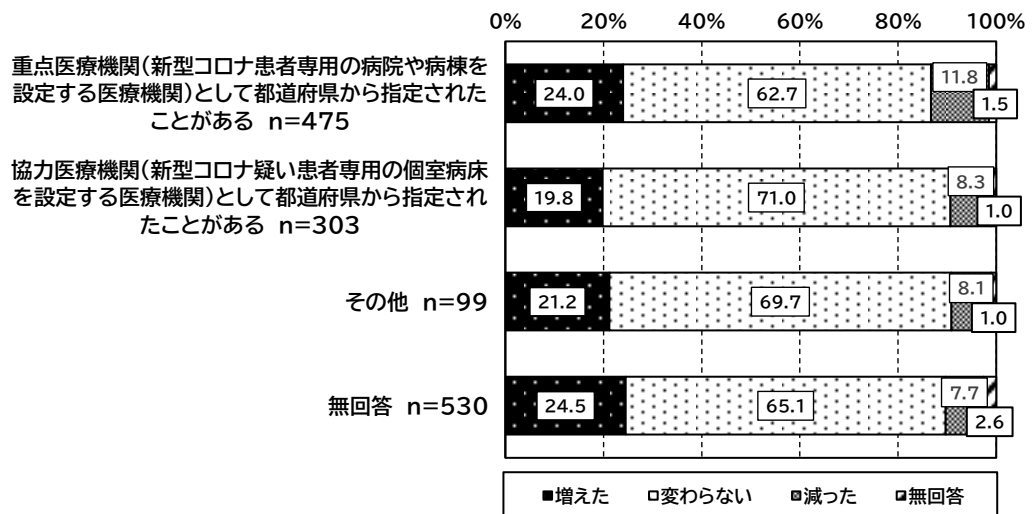
図表 4-113 有給休暇の取得状況の変化
(看護補助加算の届出の有無別)



図表 4-114 有給休暇の取得状況の変化
(急性期看護補助体制加算の届出の有無別)



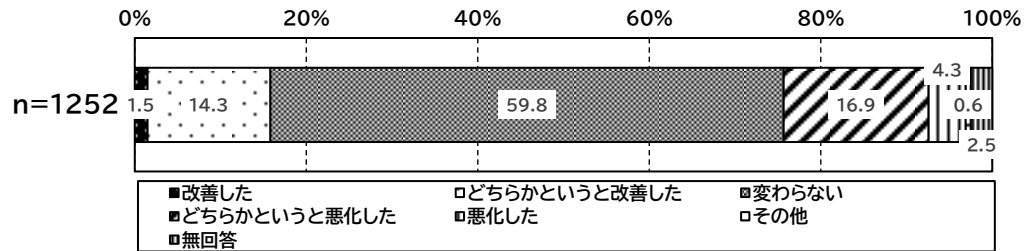
図表 4-115 残業時間の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)



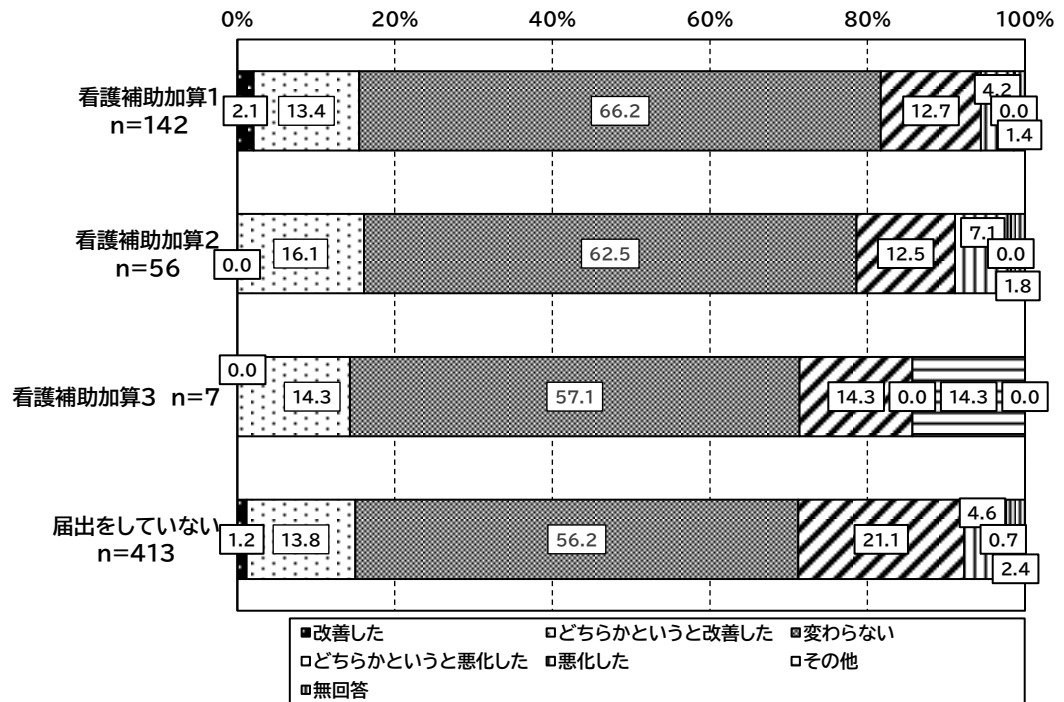
③ 4) 総合的にみた勤務状況

総合的にみた勤務状況の変化で最も多かったものは「変わらない」で59.8%であった。

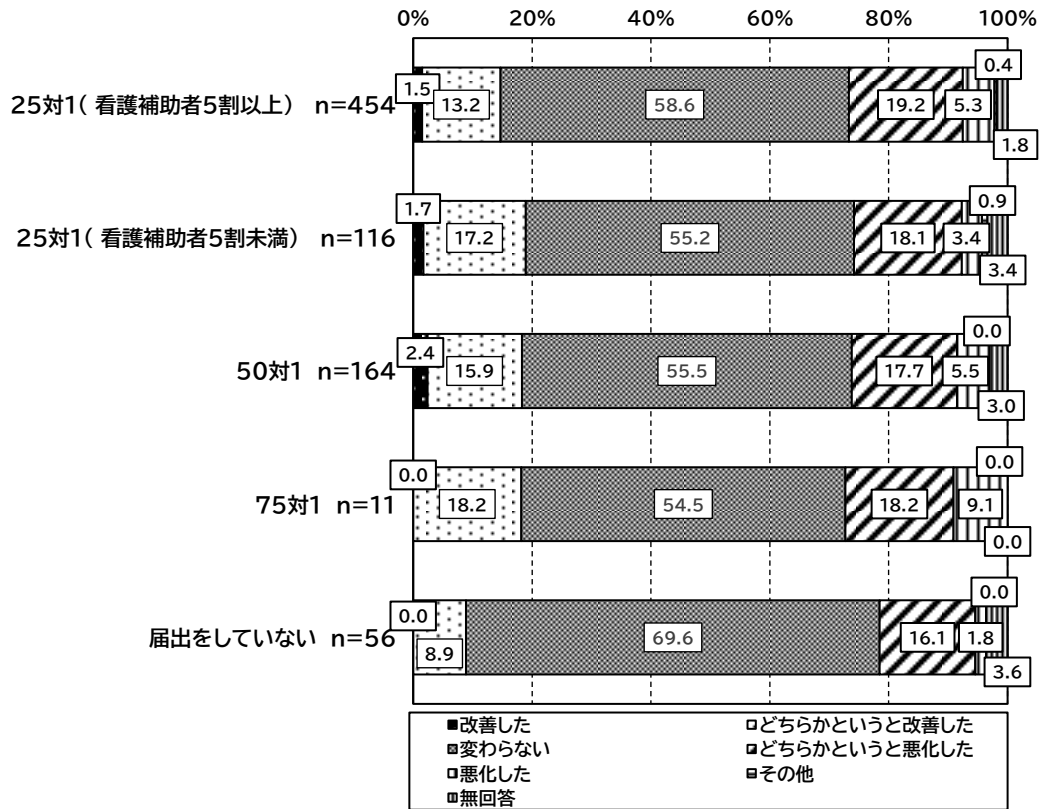
図表 4-116 総合的にみた勤務状況の変化



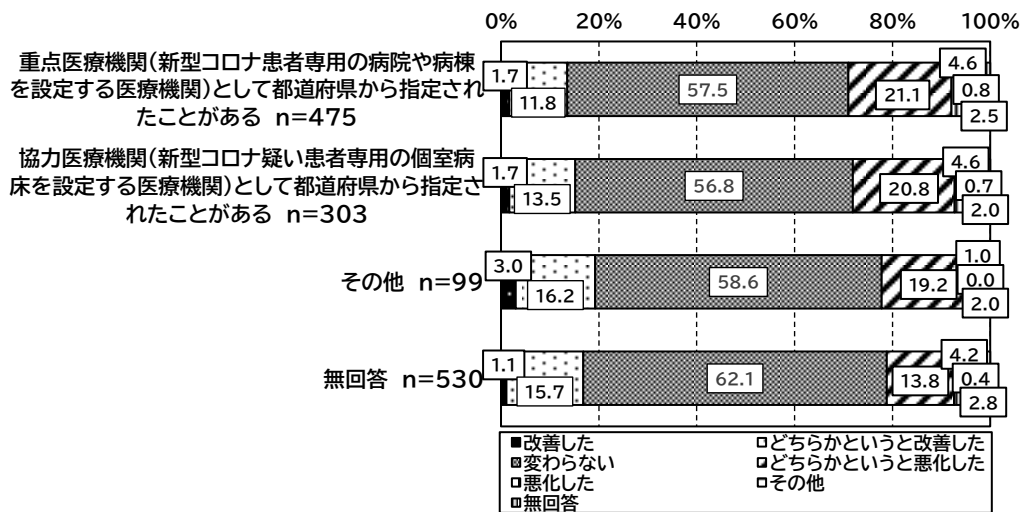
図表 4-117 総合的にみた勤務状況の変化
(看護補助加算の届出の有無別)



図表 4-118 総合的にみた勤務状況の変化
(急性期看護補助体制加算の届出の有無別)



図表 4-119 総合的にみた勤務状況の変化
(新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別)

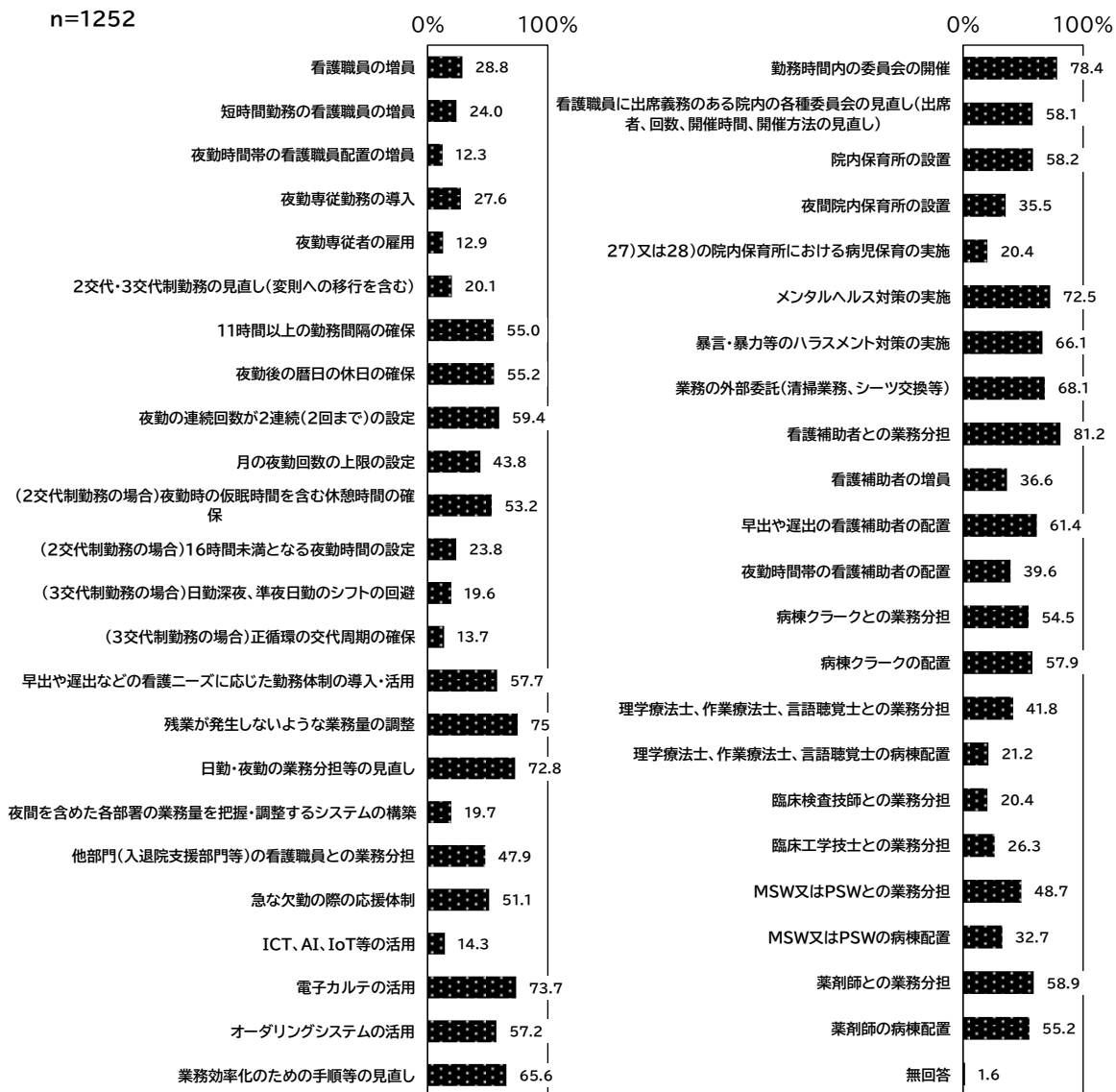


(3) 病棟における看護職員の負担軽減策の取組状況

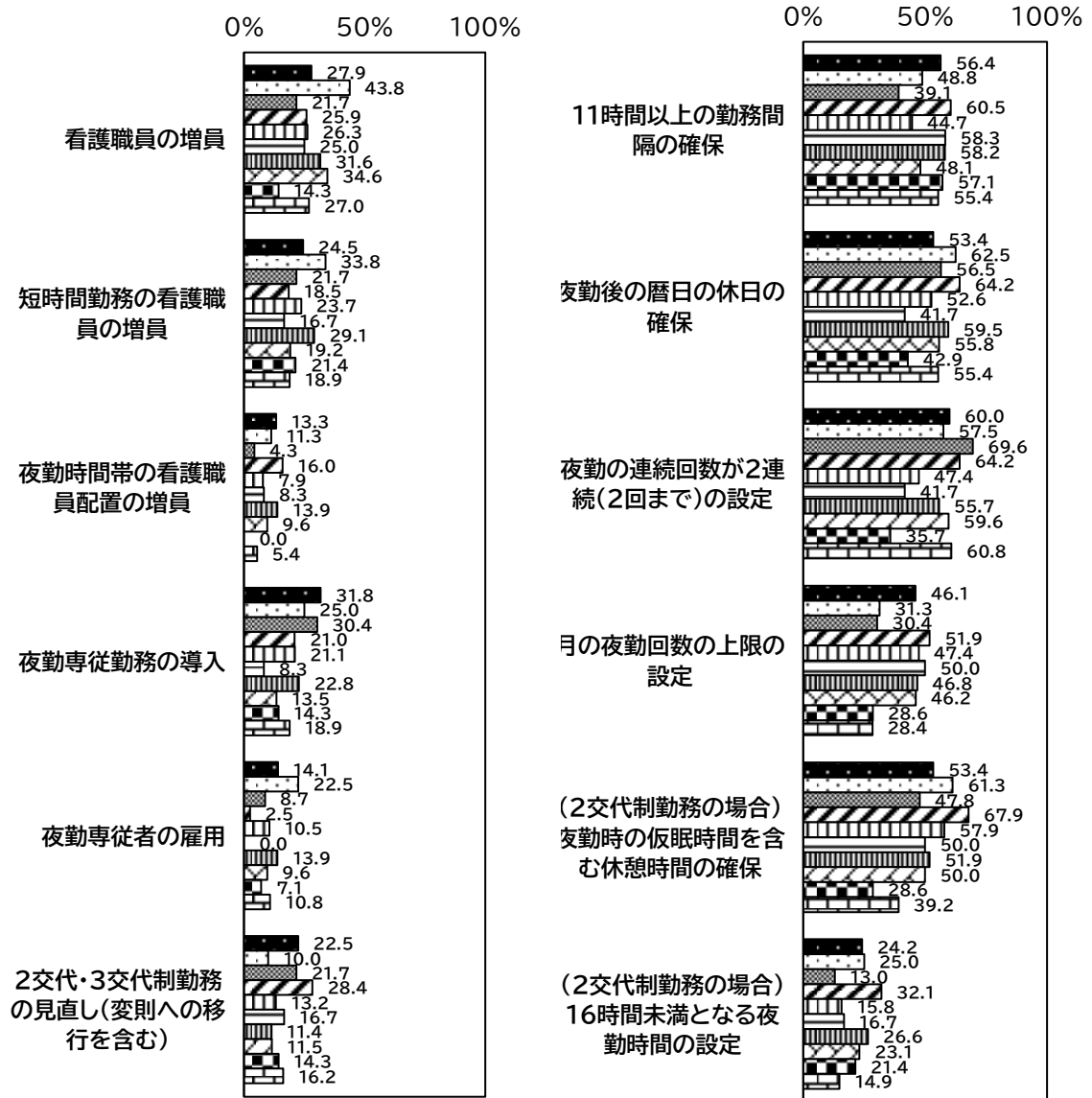
① (1) 病棟で看護職員の負担軽減策として実施している取組

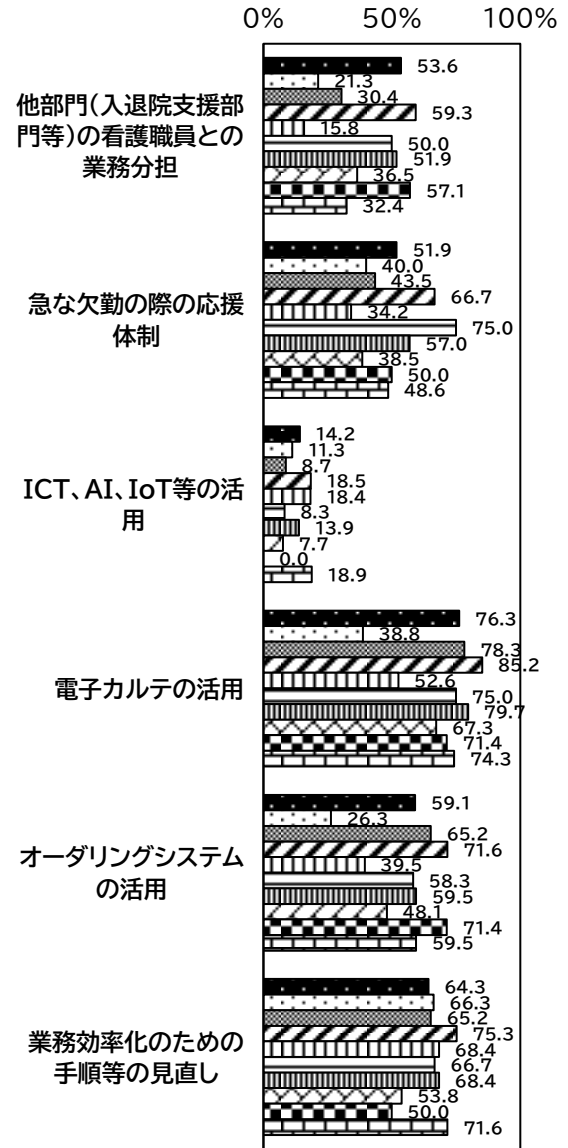
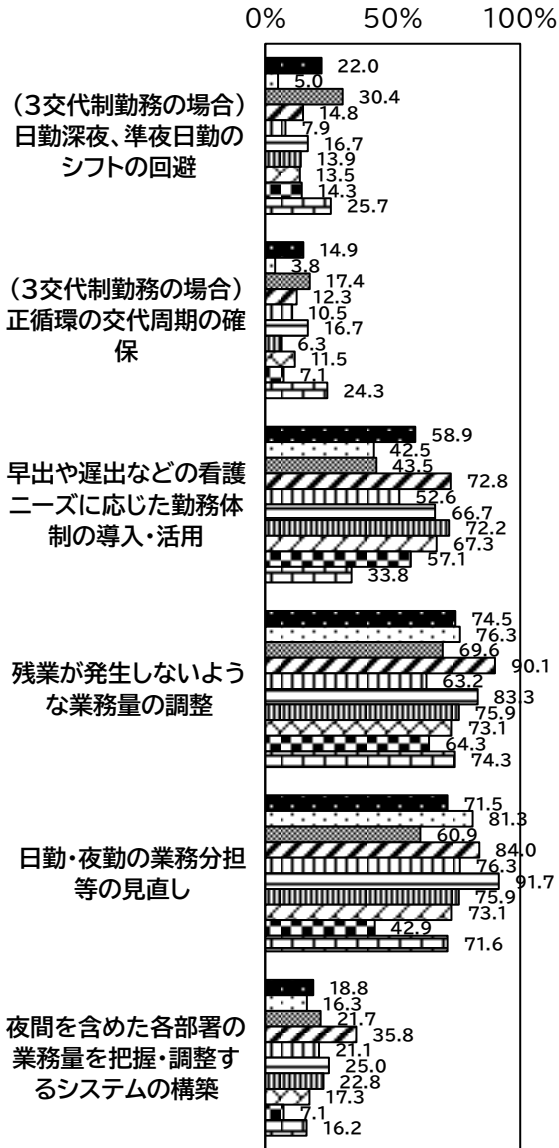
看護職員の負担軽減策として実施している取組についてみると、「看護補助者との業務分担」が最も多く、次いで、「勤務時間内の委員会の開催」や「電子カルテの活用」等が多く実施されていた。

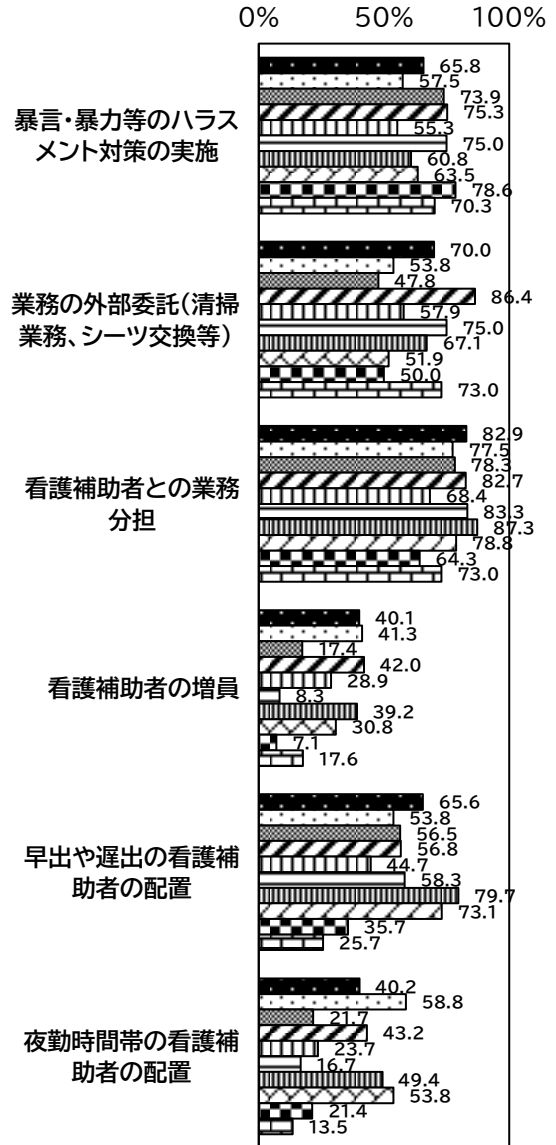
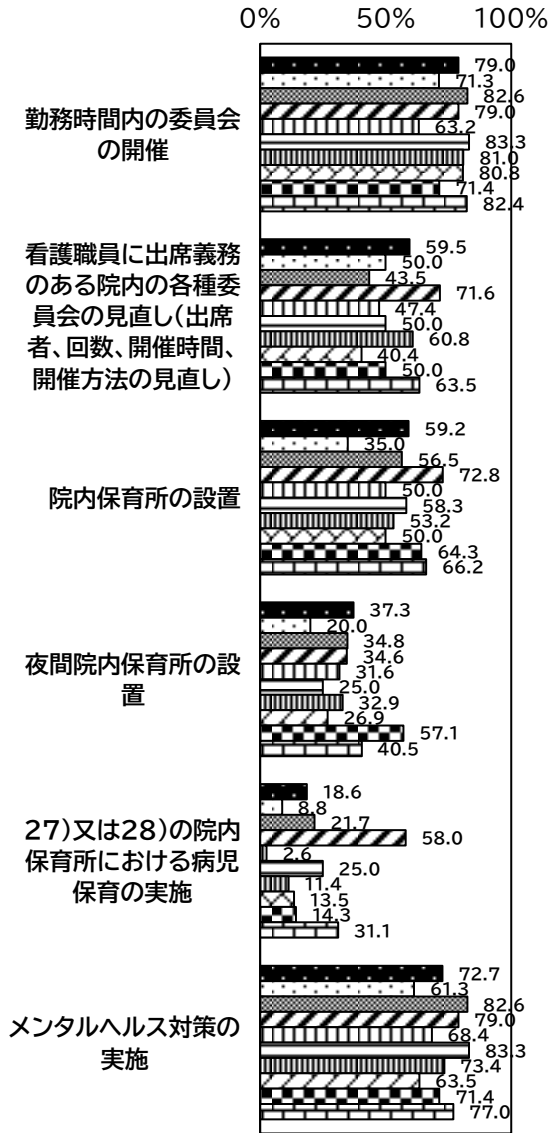
図表 4-120 看護職員の負担軽減策として実施している取組（複数回答）

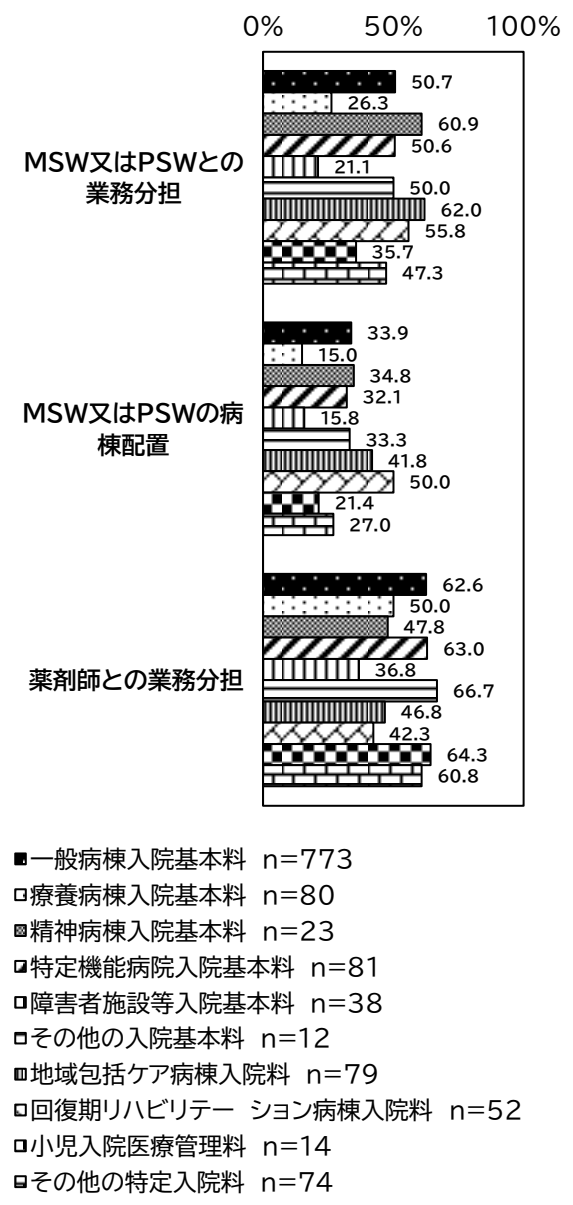
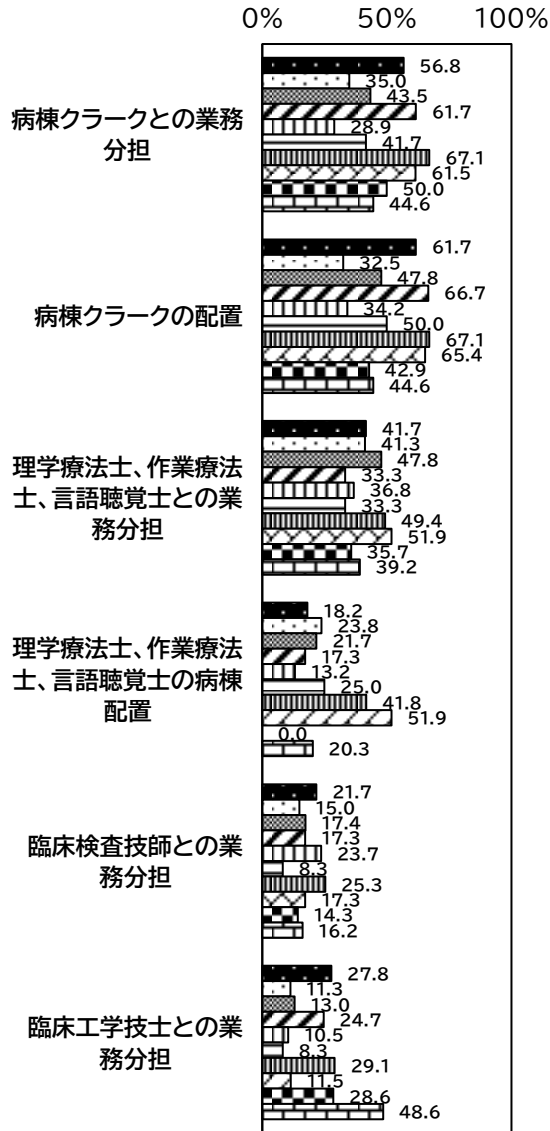


図表 4-121 看護職員の負担軽減策として実施している取組（複数回答）
（算定している入院基本料（最も病床数が多いもの）別）









- 一般病棟入院基本料 n=773
- 療養病棟入院基本料 n=80
- 精神病棟入院基本料 n=23
- 特定機能病院入院基本料 n=81
- 障害者施設等入院基本料 n=38
- その他の入院基本料 n=12
- 地域包括ケア病棟入院料 n=79
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 n=52
- 小児入院医療管理料 n=14
- その他の特定入院料 n=74

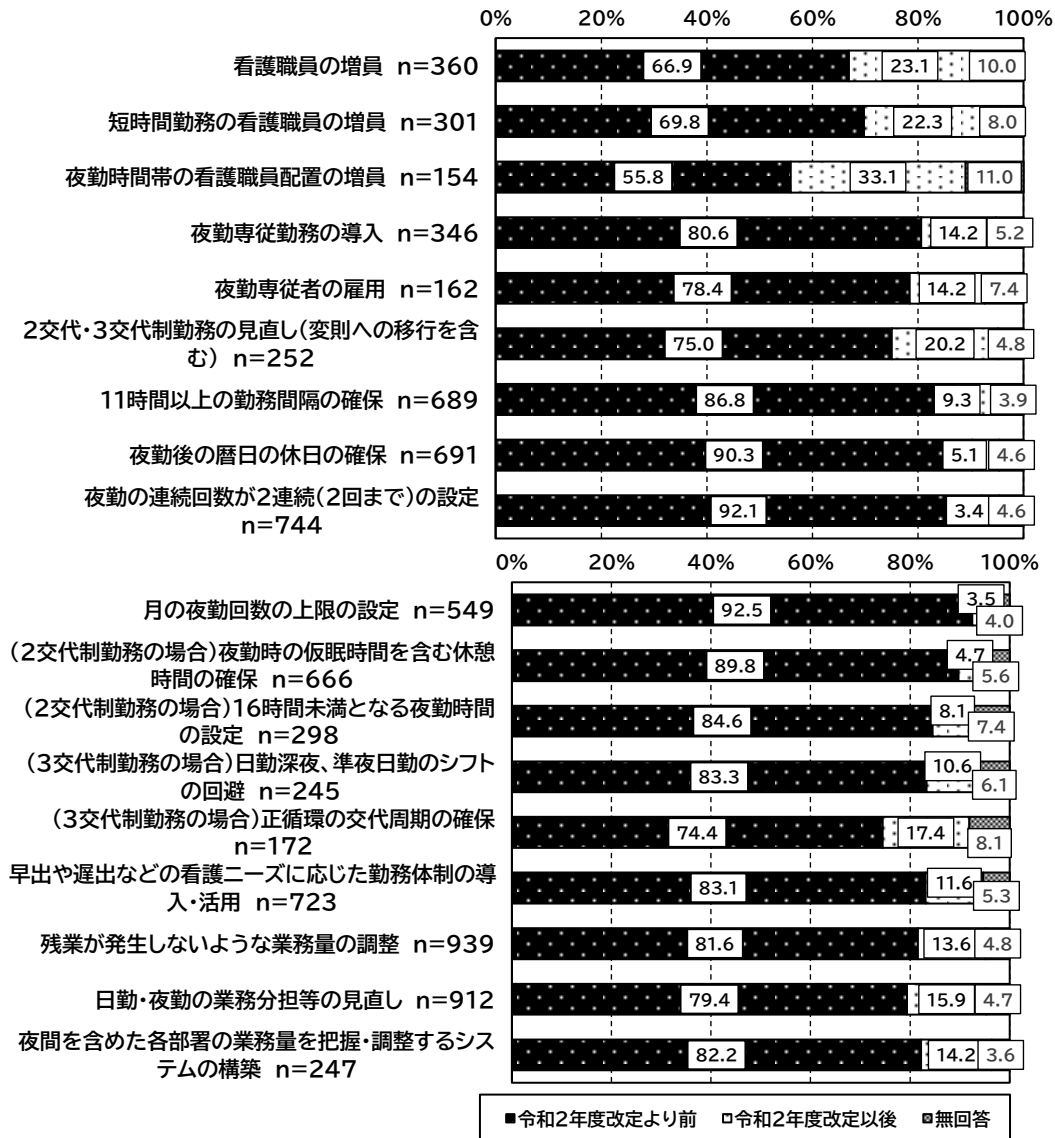
図表 4-122 看護職員の負担軽減策として実施している取組（複数回答）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

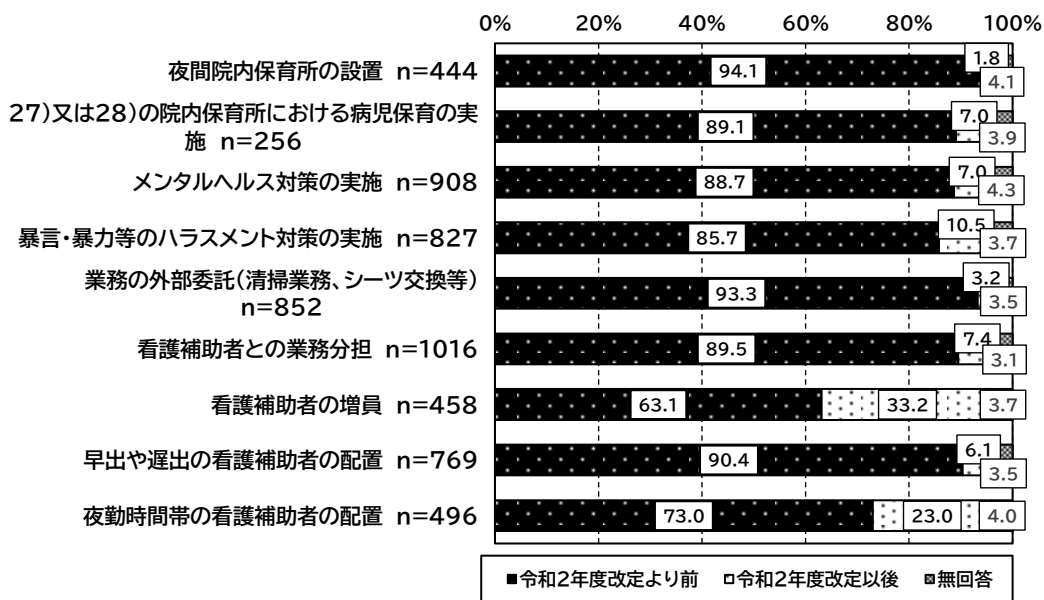
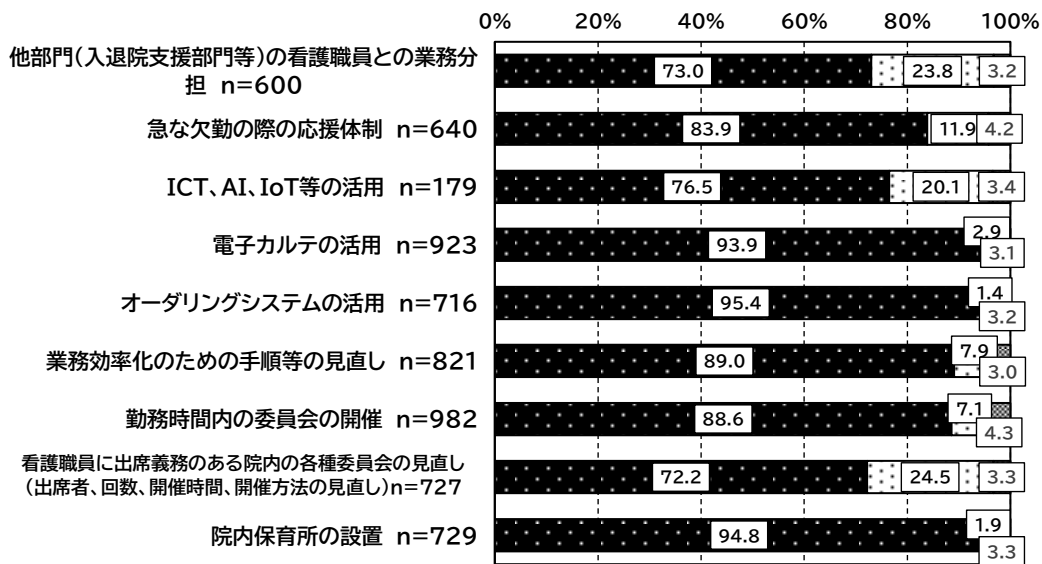


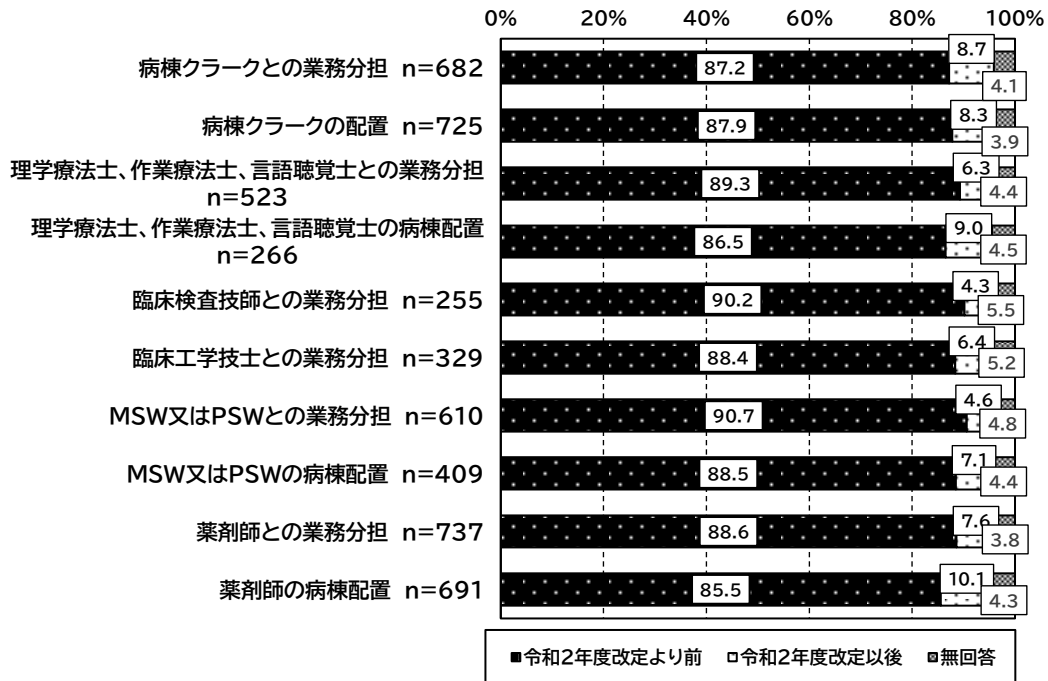
① (2) 看護職員の負担軽減策の取組を開始した時期

看護職員の負担軽減策の取組開始時期は、いずれの負担軽減策においても「令和2年度改定より前」が最も多かった。

図表 4-123 看護職員の負担軽減策の取組開始時期



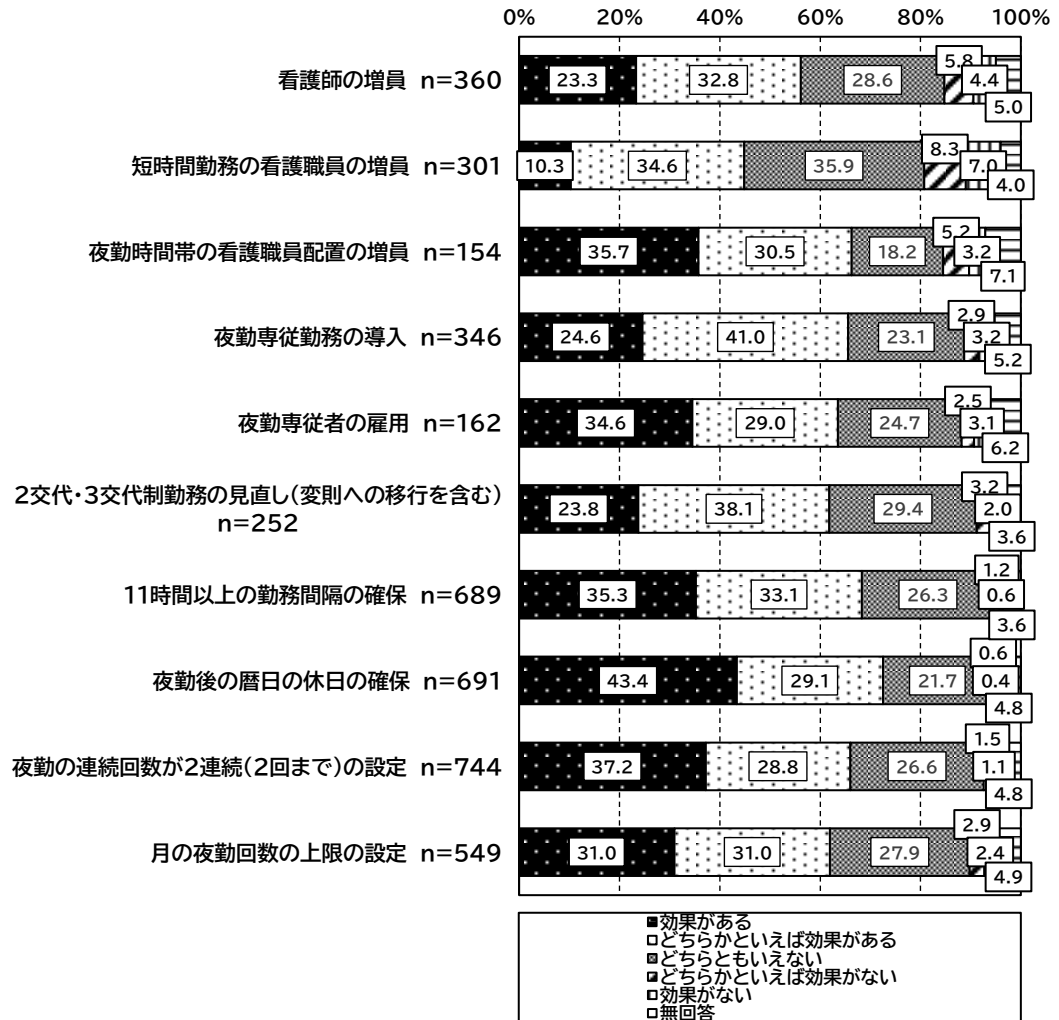


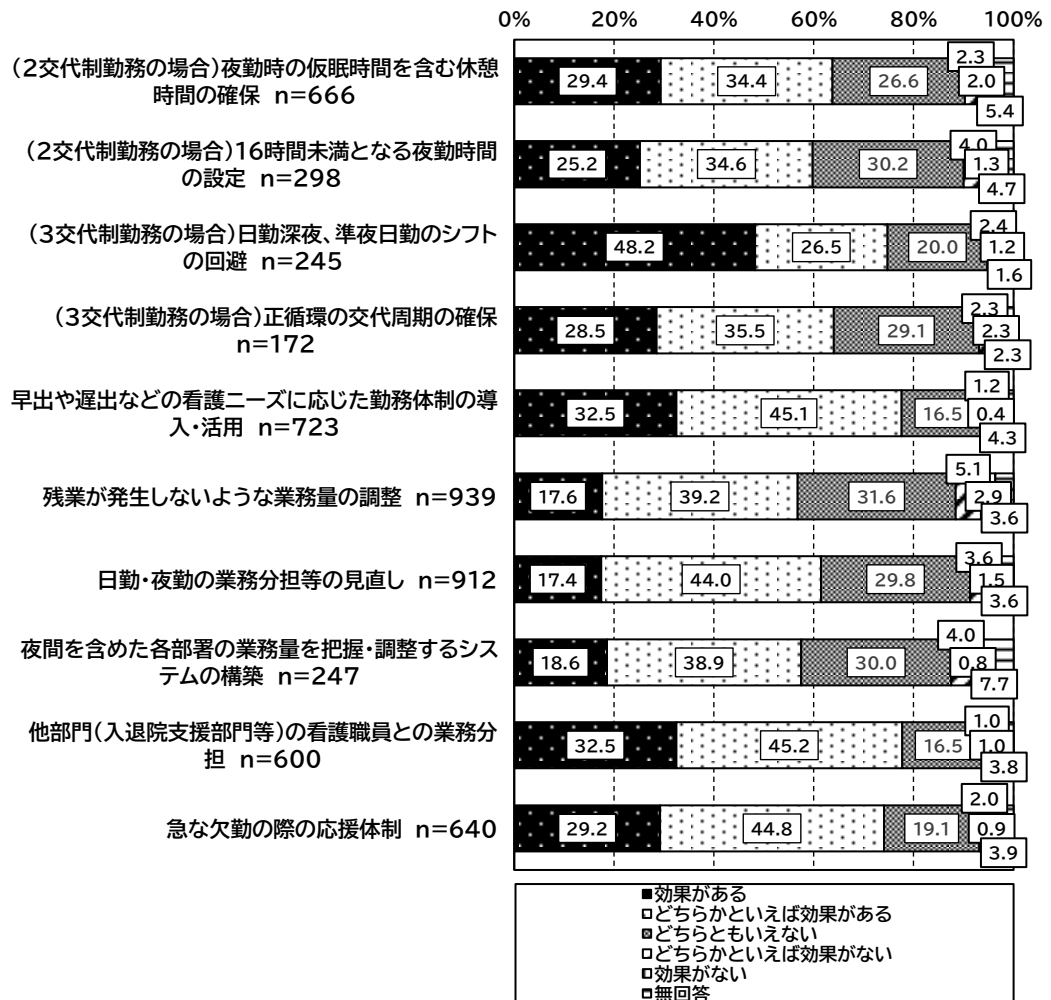


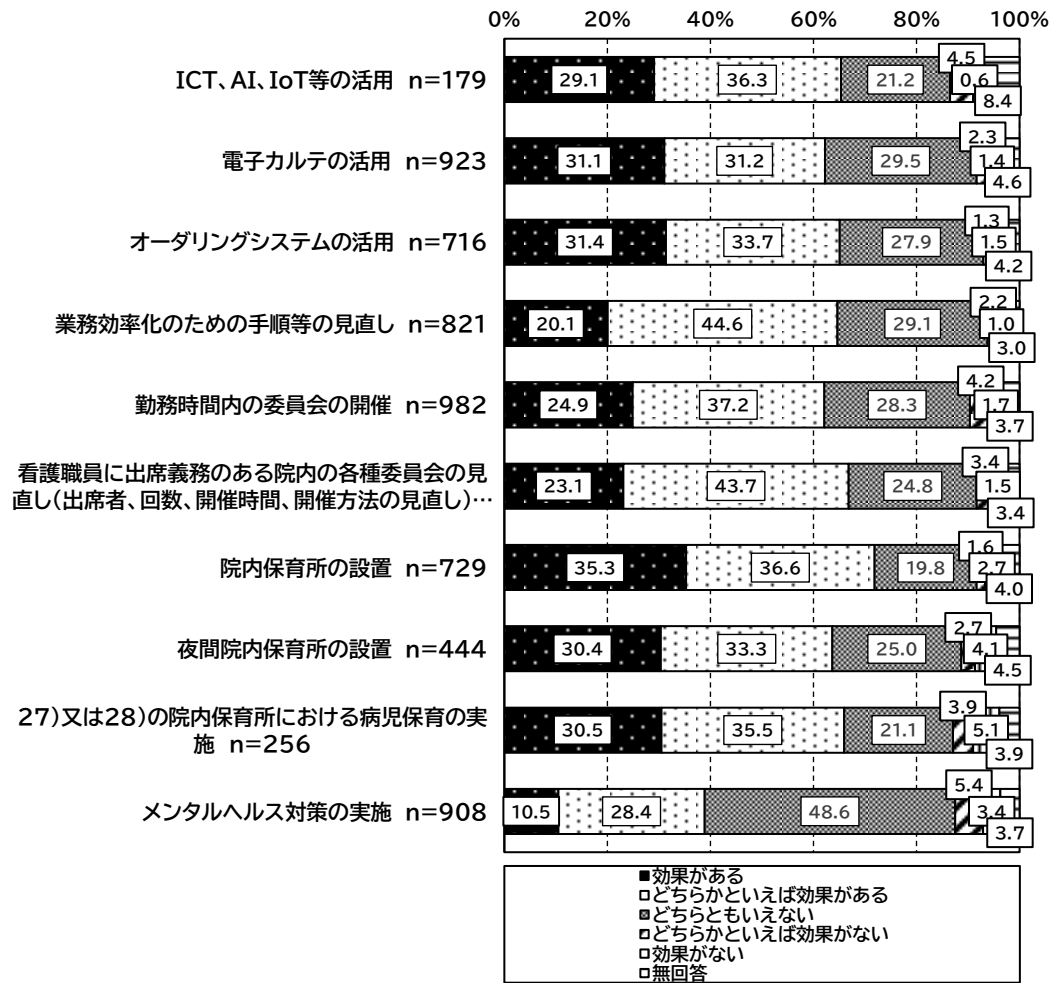
① (3) 看護職員の負担軽減策の負担軽減効果

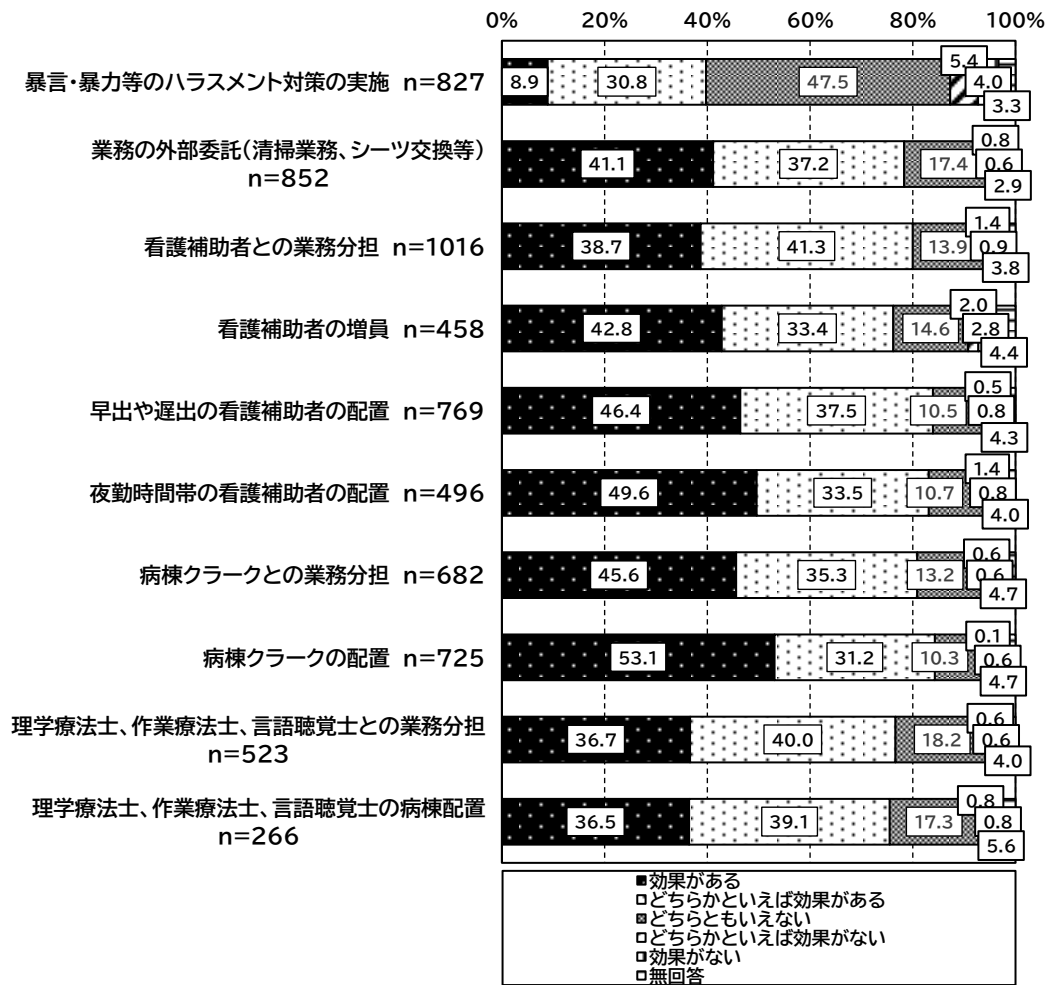
看護職員の負担軽減の効果のうち、特に「MSW 又は PSW の病棟配置」や「MSW 又は PSW との業務分担」、「病棟クランクの配置」、「早出や遅出の看護補助者の配置」等は「効果がある」・「どちらかといえば効果がある」との回答の割合が高かった。

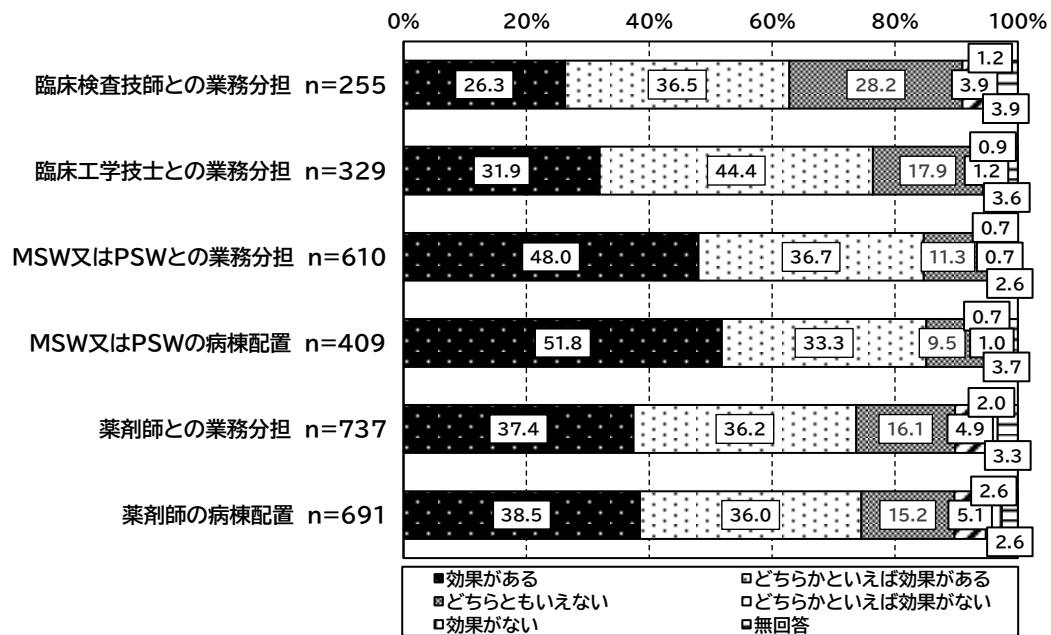
図表 4-124 看護職員の負担軽減策の効果（当該取組を実施している病棟）







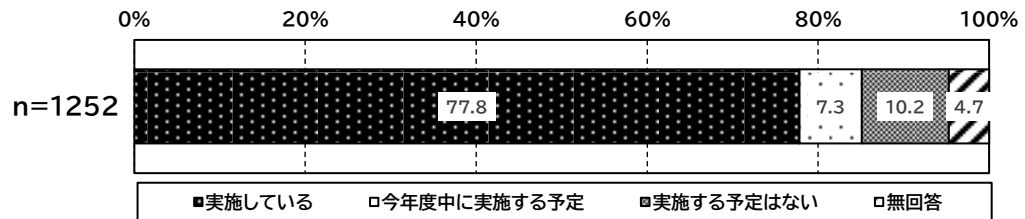




①-1 看護記録に係る負担軽減のための取組の実施状況

看護記録に係る負担軽減のための取組については、「実施している」が最も多く、77.8%であった。

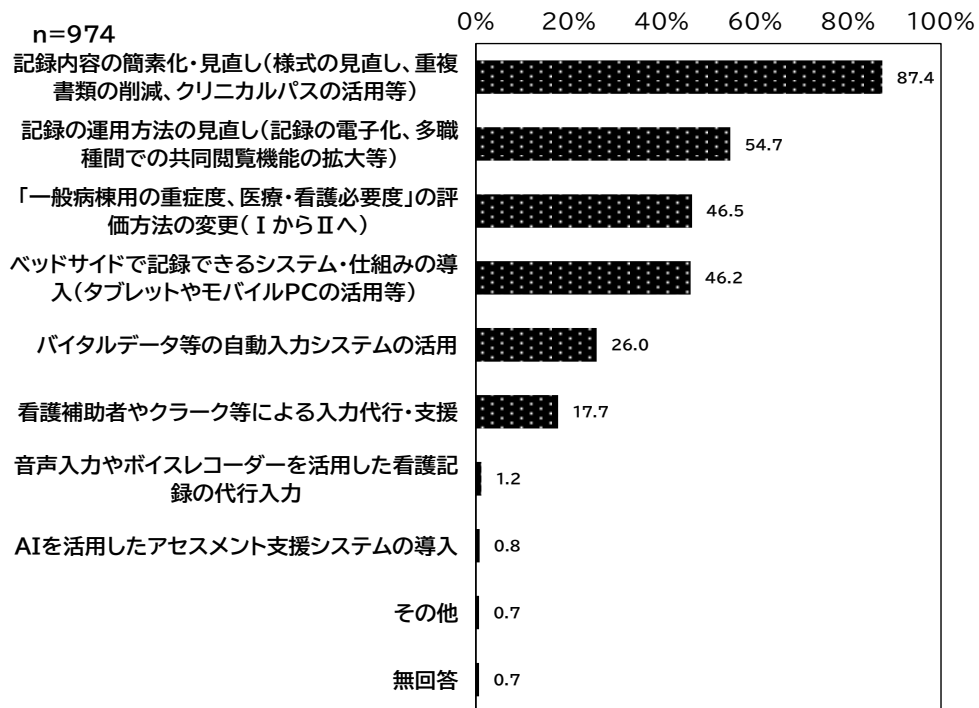
図表 4-125 看護記録に係る負担軽減のための取組の実施状況



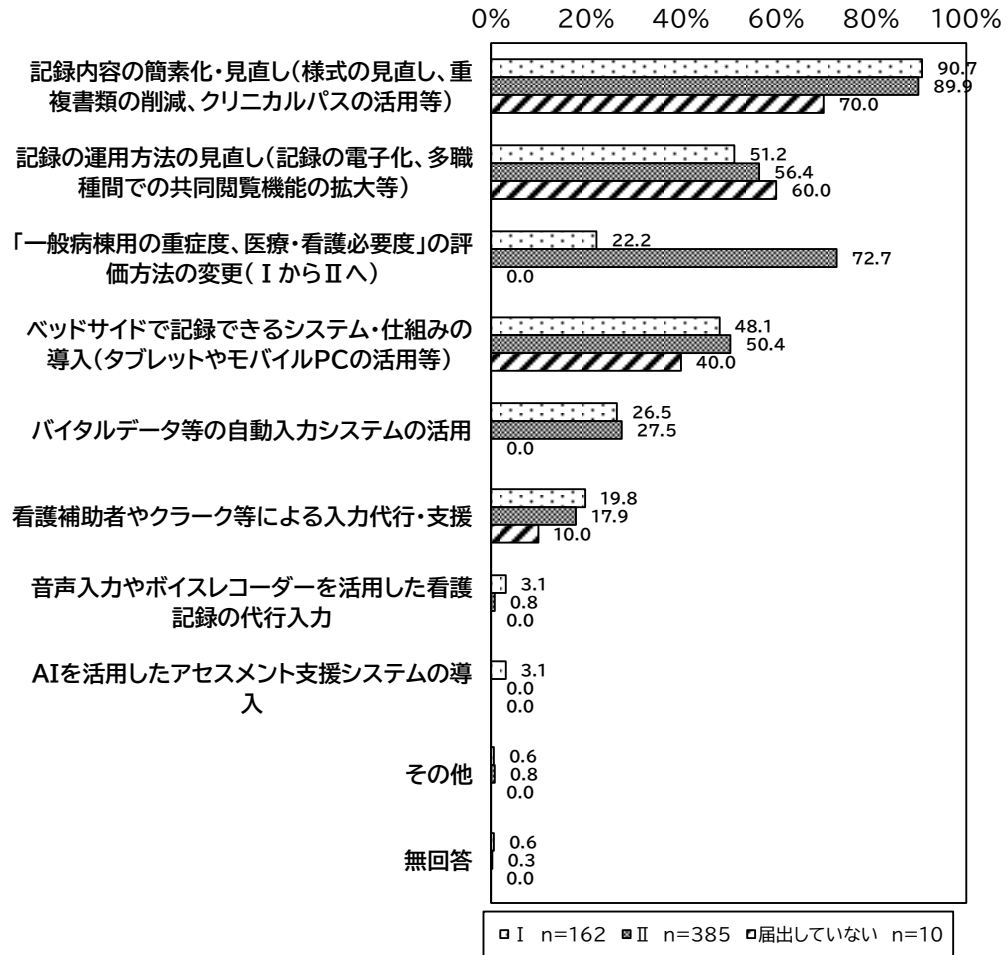
①-2 看護記録に係る負担軽減のための取組内容

看護記録に係る負担軽減の取組を実施していると回答した場合の実施している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」で87.4%であった。なお、「その他」の回答には「フォーカスチャーターティング」や「手書き温度板の廃止」等があった。

図表 4-126 看護記録に係る負担軽減のための取組内容（複数回答）



図表 4-127 看護記録に係る負担軽減のための取組内容（複数回答）
（重症度、医療・看護必要度別）

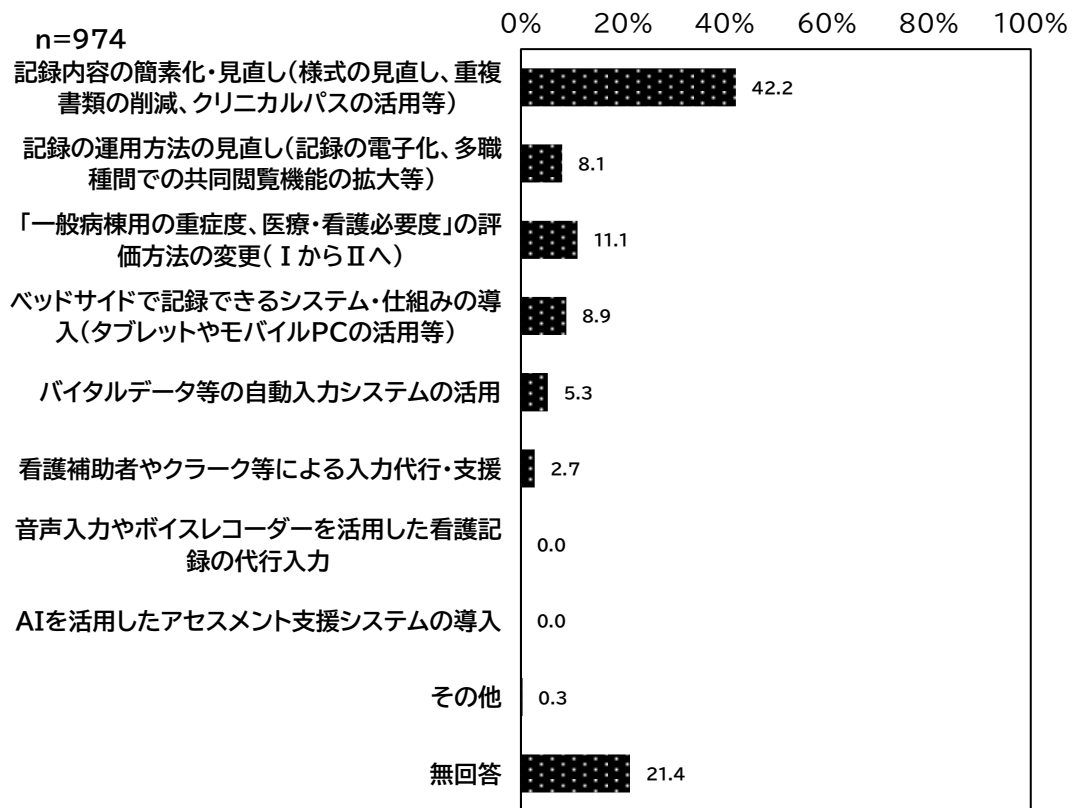


①-3 最も看護記録に係る負担軽減に寄与している取組

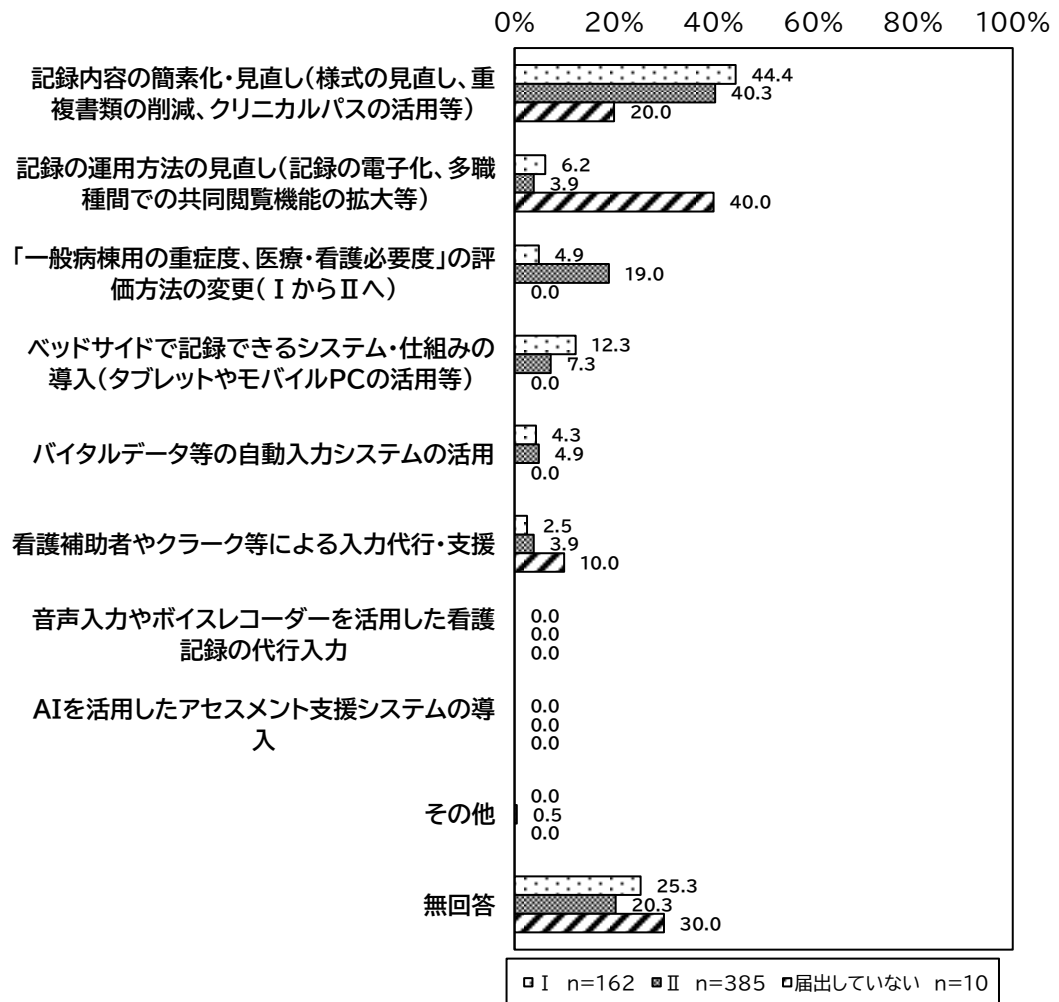
実施している取組のうち、看護記録に係る負担軽減に最も寄与している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」で42.2%であった。

また、重症度、医療・看護必要度別にみると、ⅠもしくはⅡを届出ている場合は最も負担軽減に寄与している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」であった。一方、重症度、医療・看護必要度を届出していない場合は、「記録の運用方法の見直し（記録の電子化、多職種間での共同閲覧機能の拡大等）」が最も多かった。

図表 4-128 実施している取組のうち、看護記録に係る負担軽減に最も寄与している取組



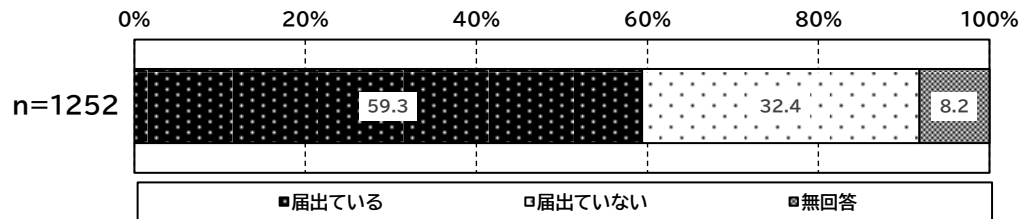
図表 4-129 実施している取組のうち、看護記録に係る負担軽減に最も寄与している取組
 (重症度、医療・看護必要度ⅠもしくはⅡが施設基準となっている入院料の病棟)



② 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出状況

重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出状況としては、「届出ている」が59.3%、「届出でない」が32.4%であった。

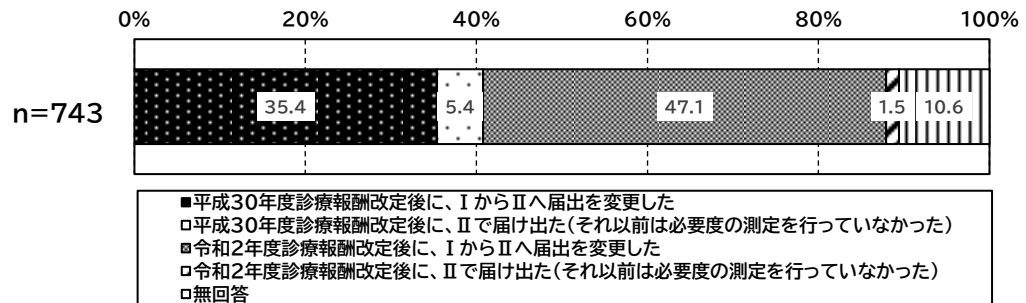
図表 4-130 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出状況



②-1 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期

重症度、医療・看護必要度Ⅱを届出ている場合、その届出時期は「令和2年度診療報酬改定後に、ⅠからⅡへ届出を変更した」が最も多く、47.1%であった。

図表 4-131 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期

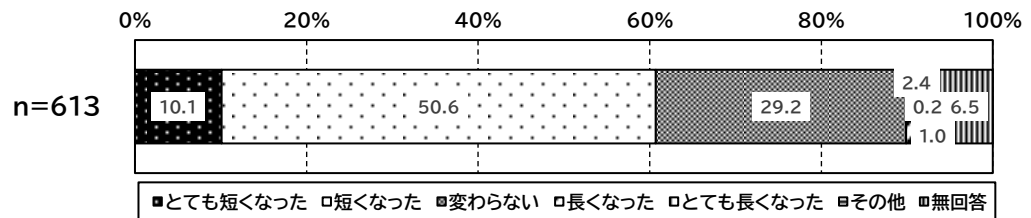


②-2 看護必要度Ⅱに変更したことによる変化

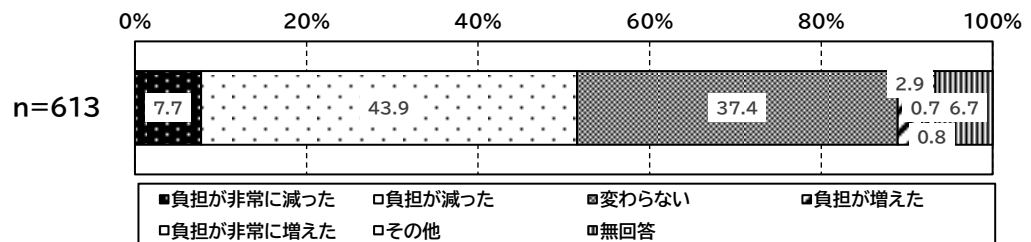
重症度、医療・看護必要度ⅠからⅡへ変更した場合、変更したことによる変化を尋ねている。看護必要度に係る看護職員の記録時間については、「短くなった」との回答が最も多く、50.6%であった。

また、看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化については、「負担が減った」との回答が最も多く、43.9%であった。

図表 4-132 看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化



図表 4-133 看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化



③ どのような取組が病院で行われれば、医療従事者の負担を軽減することができるか

医療従事者の負担軽減に資すると考えられる病院の取組としては、「看護職員の増員（7：1看護職員配置とかではなく、人員を増やす）」、「人員確保（特に夜勤ができるスタッフ）」といった人員不足に関連する取組についての意見が多かった。

その他にも、「医師が確実に所定時間内にオーダー（指示、薬剤）を出す」といった医師との連携に係る意見や、「看護記録（特に入院時）の簡素化」や「看護補助者へのタスクシフトや、他職種（事務・薬剤部等）との業務調整」といった業務分担に係る意見も多く見られた。

図表 4-134 医療従事者の負担軽減に資すると考えられる病院の取組

人員不足について	看護職員の増員(7:1看護職員配置とかではなく、人員を増やす)
	人員確保(特に夜勤ができるスタッフ)
医師との連携について	医師が確実に所定時間内にオーダー(指示、薬剤)を出す
	医師の指示出しが遅いことで、残業となるため、医師の業務軽減が必要
業務の分担・簡素化等について	看護記録(特に入院時)の簡素化
	ICT(自動音声記録など)を活用して、リアルタイムの記録の入力ができるとうい
	多職種が業務のかべ(専門領域のかべ)をこえて、業務を協力する(採血、薬剤関連業務等)
	看護補助者へのタスクシフトや、他職種(事務、薬剤部等)と業務調整
その他	薬剤師の病棟配置
	病棟クラーク、MSW の配置
	育児時間や短時間勤務者を除いた人数での必要人数配置

5. 薬剤部責任者票

【調査対象等】

調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する薬剤部責任者 1 施設につき
1 名。

回答数：494 名

回答者：薬剤部責任者

(1) 施設の概要

① 薬剤部以外に所属する薬剤師も含めた全体の人数

施設の薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表 5-1 施設の薬剤師数

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
常勤薬剤師数	n=479	16.2	17.1	10.0
非常勤薬剤師実人数	n=479	1.3	2.9	0.0
非常勤薬剤師常勤換算人数	n=479	0.7	1.5	0.0

② 薬剤部門に所属する薬剤師及びその他の職員

薬剤部門に所属する薬剤師及びその他の職員数は、以下のとおりであった。

図表 5-2 薬剤部門の薬剤師数

(単位:人)

常勤	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 薬剤師	n=479	15.8	16.2	10.0
2) その他の職員 ①事務補助者	n=479	1.0	1.6	0.0
2) その他の職員 ②その他	n=479	0.5	1.7	0.0
非常勤実人数	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 薬剤師	n=479	1.3	3.6	0.0
2) その他の職員 ①事務補助者	n=479	0.9	1.6	0.0
2) その他の職員 ②その他	n=479	0.5	1.8	0.0
非常勤常勤換算人数	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1) 薬剤師	n=479	0.7	1.3	0.0
2) その他の職員 ①事務補助者	n=479	0.6	1.2	0.0
2) その他の職員 ②その他	n=479	0.4	1.5	0.0

③ 常勤薬剤師 1 人あたりの平均月間勤務時間、夜間勤務体制、平均当直回数、平均オンコール担当回数等

③ 1) 1 人あたりの平均月間勤務時間

常勤薬剤師 1 人あたりの月間平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 5-3 常勤薬剤師 1 人あたりの月間平均勤務時間

(単位:1 人当たり・時間/月)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和2年 6 月	n=421	127.1	86.0	170.0
令和3年 6 月	n=421	128.4	86.8	170.0

図表 5-4 常勤薬剤師 1 人あたりの月間平均勤務時間
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1 人当たり・時間/月)

	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=132	138.4	100.3	172.3	n=132	136.5	99.2	173.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=87	129.3	82.2	172.5	n=87	127.7	80.9	172.0
その他	n=40	130.3	72.7	169.0	n=40	130.7	73.4	170.0
無回答	n=203	121.2	80.1	167.0	n=203	119.9	79.1	168.0

③ 2) 新型コロナウイルスワクチン接種に関する月間業務時間

新型コロナウイルスワクチン接種に関する月間の業務時間は、以下のとおりであった。

図表 5-5 新型コロナウイルスワクチン接種に関する月間業務時間

(単位:1 人当たり・時間/月)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
令和3年 6 月	n=421	7.7	13.7	2.0

図表 5-6 新型コロナウイルスワクチン接種に関する月間業務時間
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:1人当たり・時間/月)

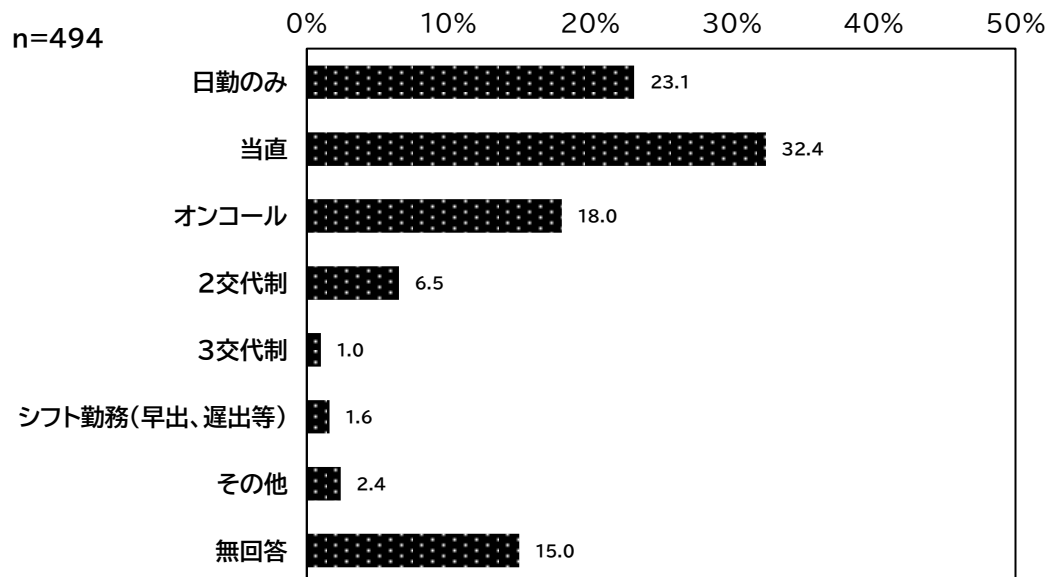
	令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関に指定されたことがある	n=132	7.7	14.4	2.0
協力医療機関に指定されたことがある	n=87	8.7	14.9	2.0
その他	n=40	11.2	17.0	5.0
無回答	n=203	6.5	11.4	1.0

③ 3) 夜間勤務体制

夜間勤務体制について最も多かったものは、「当直」で32.4%であった。
次に多かったものは「日勤のみ」で23.1%であった。

なお、「その他」には「変則2交代制に応援体制を置く」や「外部からの電話対応・保険調剤薬局対応」等の回答があった。

図表 5-7 夜間勤務体制の状況 (複数回答)



③ 4) 当直、オンコールを担当する薬剤師数

当直・オンコールを担当する薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表 5-8 当直・オンコールを担当する薬剤師数

(単位:人)

	常勤				非常勤			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
当直、オンコールを担当する薬剤師数	n=234	10.7	11.5	6.5	n=235	0.3	2.6	0.0

③ 5) 1人あたりの月間当直・オンコール担当平均回数

1人あたりの月間当直・オンコール担当平均回数は、以下のとおりであった。

図表 5-9 1人あたりの月間当直・オンコール担当平均回数

(単位:1人あたり・回/月)

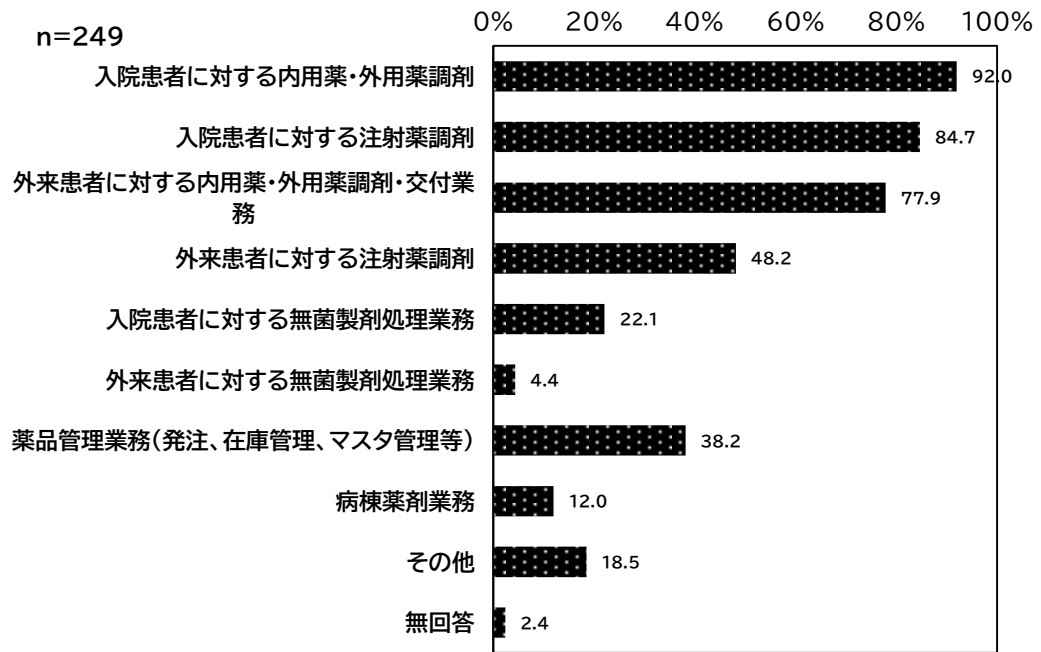
	常勤				非常勤			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
当直、オンコールを担当する回数	n=234	2.8	2.7	2.0	n=234	3.0	4.5	2.0

③ 6) 当直・オンコール時の業務内容

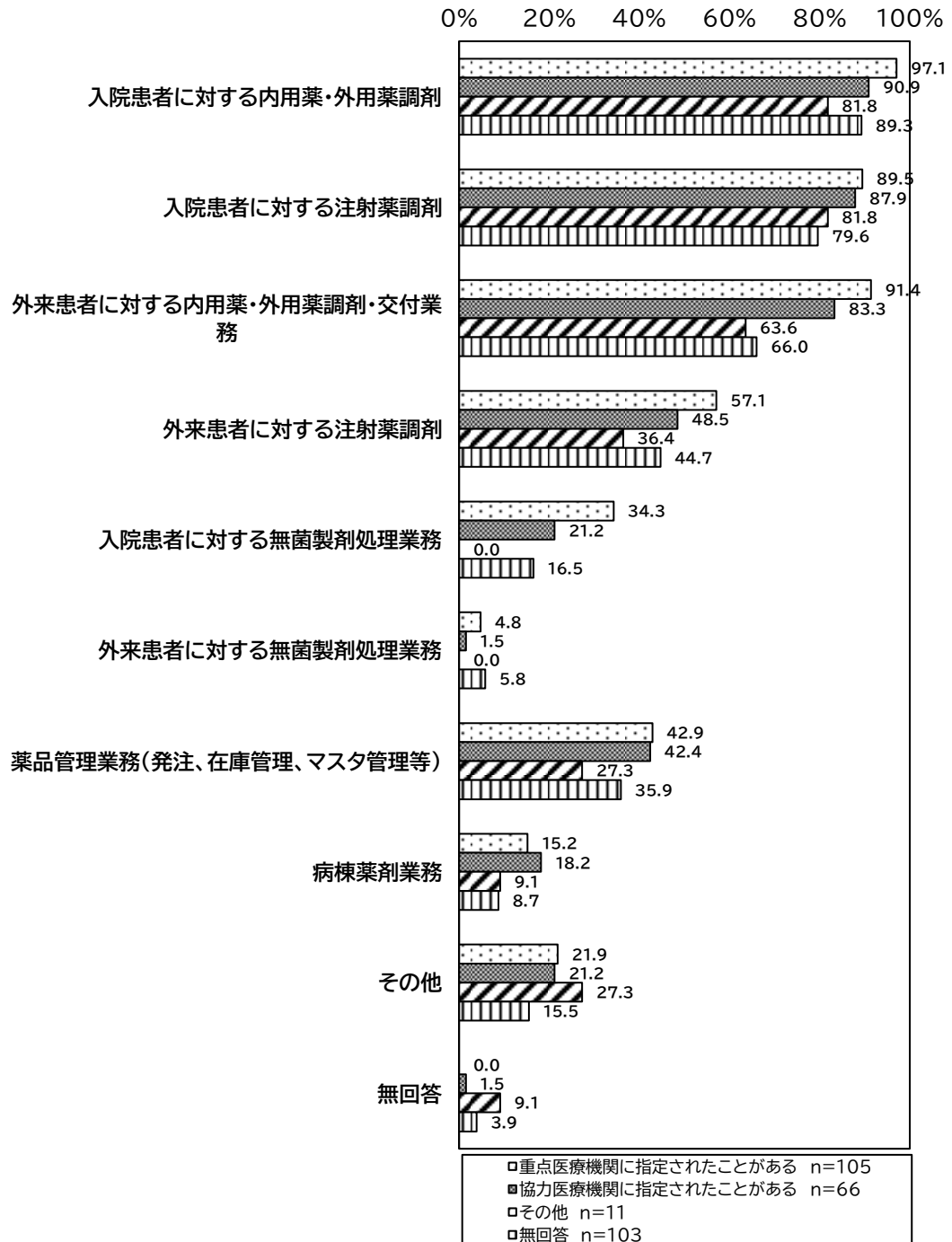
当直・オンコール時の業務内容で最も多かったものは「入院患者に対する内用薬・外用薬調剤」で92.0%であった。次に多かったものは「入院患者に対する注射薬調剤」84.7%であった。

なお、「その他」には、「麻薬、向精神薬対応」、「持参薬鑑別」等の回答があった。

図表 5-10 当直・オンコール時の業務内容（複数回答）



図表 5-11 当直・オンコール時の業務内容（複数回答）
 （新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別）



③ 7) 当直・オンコール1回あたり処方箋平均枚数

当直・オンコール1回あたりの処方箋平均枚数は、以下のとおりであった。

図表 5-12 当直・オンコール1回あたり処方箋平均枚数

(単位:枚/回)

	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
当直1回あたり処方箋平均枚数	n=214	33.0	51.8	10.6	n=214	34.2	52.9	13.3

④ 施設における処方箋枚数

処方箋枚数は、以下のとおりであった。

図表 5-13 施設における処方箋枚数

(単位:枚)

	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)外来患者の院外処方箋	n=442	4551.3	4447.4	3406.0	n=442	4794.7	4728.2	3688.0
2)外来患者の院内処方箋	n=442	915.8	1962.0	286.0	n=442	971.1	2087.6	301.0
3)入院患者の処方箋	n=442	4340.0	5525.8	2645.5	n=442	4517.7	5687.5	2697.0

図表 5-14 施設における処方箋枚数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:枚)

<u>重点医療機関に指定されたことがある</u>	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)外来患者の院外処方箋	n=139	7156.0	4610.8	6646.0	n=139	7570.2	4899.9	7074.0
2)外来患者の院内処方箋	n=139	1404.7	2494.6	562.0	n=139	1500.6	2697.8	579.0
3)入院患者の処方箋	n=139	7385.5	7353.3	5164.0	n=139	7635.6	7429.2	5519.0

協力医療機関に 指定されたこと がある	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
1)外来患者の院外 処方箋	n=96	5113.9	3451.2	5030.5	n=96	5388.1	3598.3	5183.5
2)外来患者の院内 処方箋	n=96	835.2	1683.1	265.0	n=96	879.3	1789.5	281.5
3)入院患者の 処方箋	n=96	4055.9	4163.8	2827.0	n=96	4206.6	4464.5	2901.5

その他	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
1)外来患者の院外 処方箋	n=41	2525.5	3292.9	1490.0	n=41	2659.6	3488.3	1879.0
2)外来患者の院内 処方箋	n=41	513.3	1510.6	81.0	n=41	559.8	1725.2	117.0
3)入院患者の 処方箋	n=41	1940.7	2469.6	866.0	n=41	1996.8	2612.4	747.0

無回答	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
1)外来患者の院外 処方箋	n=210	3350.7	4095.0	2001.0	n=210	3517.1	4357.7	2026.0
2)外来患者の院内 処方箋	n=210	809.0	1782.3	232.5	n=210	847.0	1834.3	254.0
3)入院患者の 処方箋	n=210	3180.9	4072.9	1444.0	n=210	3351.5	4332.9	1598.5

⑤ 施設における病棟数、薬剤師が配置されている病棟数

薬剤師が配置されている病棟数は、以下のとおりであった。

図表 5-15 病棟数および薬剤師が配置されている病棟数

(単位:病棟)

	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
全病棟数	n=464	7.7	6.4	6.0	n=464	7.7	6.4	6.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=464	5.8	6.6	4.0	n=464	5.9	6.6	4.0
療養病棟・精神病棟数	n=464	0.6	1.0	0.0	n=464	0.6	1.0	0.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=464	0.3	0.6	0.0	n=464	0.3	0.6	0.0
集中治療室等の病棟数	n=464	1.1	1.8	0.0	n=464	1.1	1.8	0.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=464	0.7	1.6	0.0	n=464	0.8	1.6	0.0

図表 5-16 病棟数および薬剤師が配置されている病棟数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

(単位:病棟)

重点医療機関に指定されたことがある	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
全病棟数	n=144	12.2	6.9	11.0	n=144	12.1	6.9	10.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=144	10.0	7.4	9.0	n=144	10.3	7.3	9.0
療養病棟・精神病棟数	n=144	0.5	0.9	0.0	n=144	0.5	0.9	0.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=144	0.3	0.7	0.0	n=144	0.3	0.7	0.0
集中治療室等の病棟数	n=144	2.2	2.3	1.0	n=144	2.2	2.2	1.0
うち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=144	1.5	2.2	0.0	n=144	1.6	2.2	1.0

協力医療機関に 指定されたこと がある	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
全病棟数	n=99	8.0	5.4	7.0	n=99	8.0	5.4	7.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=99	6.2	5.8	6.0	n=99	6.4	5.8	6.0
療養病棟・ 精神病棟数	n=99	0.4	0.7	0.0	n=99	0.4	0.7	0.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=99	0.2	0.5	0.0	n=99	0.2	0.5	0.0
集中治療室等の 病棟数	n=99	1.1	1.5	1.0	n=99	1.1	1.4	1.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=99	0.7	1.4	0.0	n=99	0.8	1.4	0.0

その他	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
全病棟数	n=42	4.1	4.1	7.0	n=42	4.1	4.0	7.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=42	2.8	4.5	6.0	n=42	2.8	4.4	6.0
療養病棟・ 精神病棟数	n=42	0.6	0.9	0.0	n=42	0.6	0.9	0.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=42	0.3	0.7	0.0	n=42	0.3	0.7	0.0
集中治療室等の 病棟数	n=42	0.4	1.0	1.0	n=42	0.4	1.0	1.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=42	0.4	1.0	0.0	n=42	0.4	1.0	0.0

無回答	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準 偏差	中央値	調査数	平均値	標準 偏差	中央値
全病棟数	n=224	6.0	5.4	3.0	n=224	6.1	5.4	3.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=224	4.0	5.5	0.5	n=224	4.0	5.5	0.5
療養病棟・ 精神病棟数	n=224	0.7	1.1	0.0	n=224	0.6	1.1	0.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=224	0.2	0.6	0.0	n=224	0.2	0.6	0.0
集中治療室等の 病棟数	n=224	0.7	1.3	0.0	n=224	0.7	1.3	0.0
うち、病棟専任の 薬剤師が配置さ れている病棟数	n=224	0.5	1.1	0.0	n=224	0.5	1.1	0.0

⑥ 各病棟に配置されている薬剤師数

各病棟に配置されている薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表 5-17 各病棟に配置されている薬剤師数

(単位:人)

常勤のみ	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=446	9.4	11.2	6.0	n=447	9.4	11.3	5.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=446	6.6	8.8	2.0	n=447	6.5	8.8	2.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=446	0.3	0.7	0.0	n=447	0.2	0.6	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=446	0.8	2.0	0.0	n=447	0.9	2.0	0.0

常勤+非常勤 (常勤換算)	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=446	9.5	11.4	6.0	n=447	9.6	11.5	6.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=446	6.7	9.0	2.3	n=447	6.7	9.1	2.5
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=446	0.3	0.7	0.0	n=447	0.2	0.7	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=446	0.9	2.1	0.0	n=447	0.9	2.2	0.0

図表 5-18 各病棟に配置されている薬剤師数
(新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定の有無別)

【重点医療機関に指定されたことがある】

(単位:人)

常勤のみ	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=142	15.9	13.1	13.5	n=143	15.8	13.2	13.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=142	11.3	10.1	9.0	n=143	11.2	10.2	9.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=142	0.4	0.8	0.0	n=143	0.4	0.8	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=142	1.7	2.9	0.0	n=143	1.8	2.8	1.0

常勤+非常勤 (常勤換算)	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=142	16.2	13.4	13.9	n=143	16.1	13.6	13.7
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=142	11.5	10.7	9.0	n=143	11.4	10.8	9.3
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=142	0.4	0.8	0.0	n=143	0.4	0.8	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=142	1.8	3.2	0.0	n=143	1.9	3.3	1.0

【協力医療機関に指定されたことがある】

(単位:人)

常勤のみ	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=95	8.9	9.1	7.0	n=97	9.2	9.1	8.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=95	6.8	7.9	5.0	n=97	6.9	8.0	5.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=95	0.2	0.5	0.0	n=97	0.2	0.5	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=95	0.8	1.9	0.0	n=97	0.9	1.9	0.0

常勤+非常勤 (常勤換算)	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=95	8.9	9.2	7.0	n=97	9.3	9.2	8.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=95	6.8	7.9	5.0	n=97	7.0	8.0	5.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=95	0.2	0.5	0.0	n=97	0.2	0.5	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=95	0.9	1.9	0.0	n=97	1.0	1.9	0.0

【その他】

(単位:人)

常勤のみ	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=41	3.0	5.4	1.0	n=41	2.9	5.2	1.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=41	2.2	5.1	0.0	n=41	2.2	5.0	0.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=41	0.2	0.4	0.0	n=41	0.1	0.3	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=41	0.3	1.1	0.0	n=41	0.3	1.1	0.0

常勤+非常勤 (常勤換算)	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=41	3.1	5.4	1.0	n=41	3.0	5.2	1.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=41	2.2	5.1	0.0	n=41	2.2	5.0	0.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=41	0.2	0.4	0.0	n=41	0.1	0.3	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=41	0.3	1.1	0.0	n=41	0.3	1.1	0.0

【無回答】

(単位:人)

常勤のみ	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=211	7.0	9.6	3.0	n=210	7.0	9.6	3.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=211	4.8	7.7	1.0	n=210	4.7	7.7	1.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=211	0.2	0.6	0.0	n=210	0.2	0.6	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=211	0.5	1.2	0.0	n=210	0.5	1.3	0.0

常勤+非常勤 (常勤換算)	令和2年6月				令和3年6月			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1)各病棟に配置されている薬剤師数	n=211	7.2	9.7	3.0	n=210	7.2	9.7	3.0
2)上記1)のうち病棟専任の薬剤師数	n=211	4.9	7.8	1.0	n=210	4.8	7.8	1.0
3)上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=211	0.2	0.6	0.0	n=210	0.2	0.6	0.0
4)上記2)のうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=211	0.5	1.3	0.0	n=210	0.5	1.3	0.0

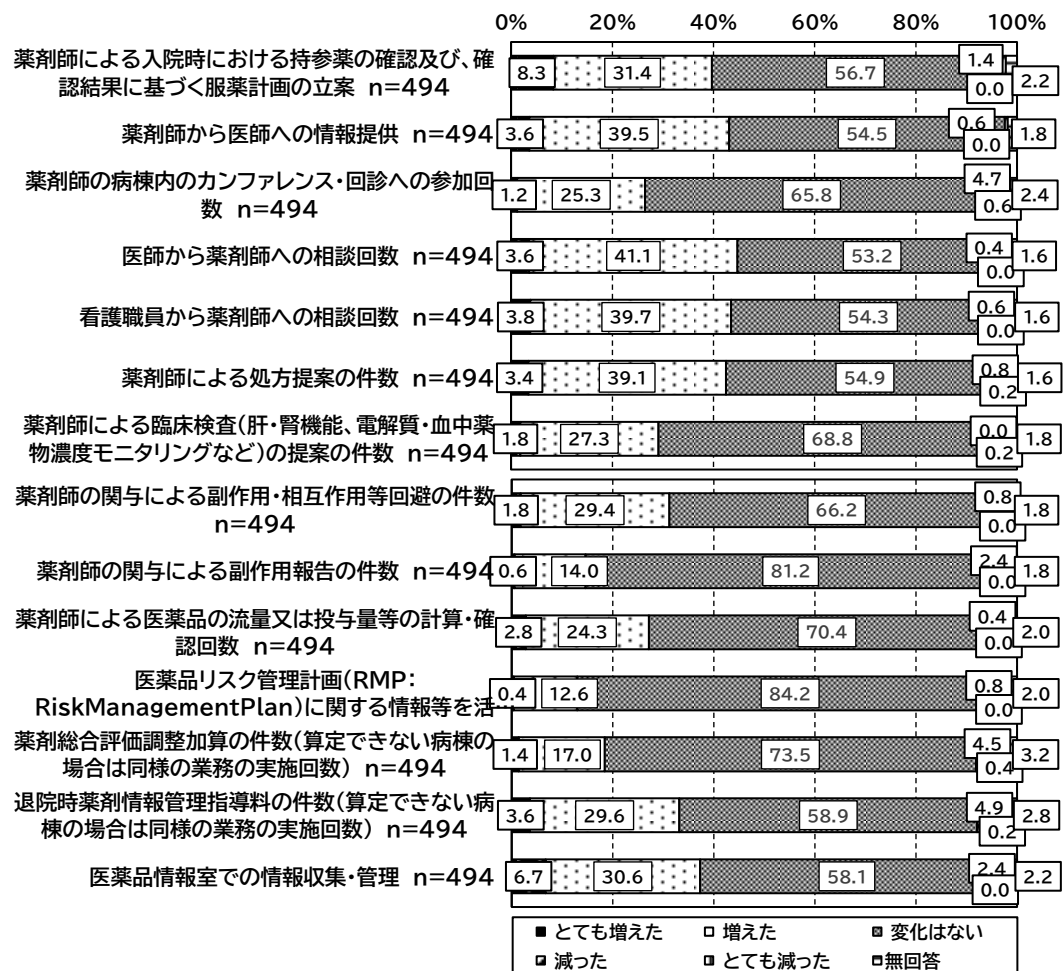
(2) 薬剤師の働き方

① 薬剤師の業務について、1年前と比較した際の変化

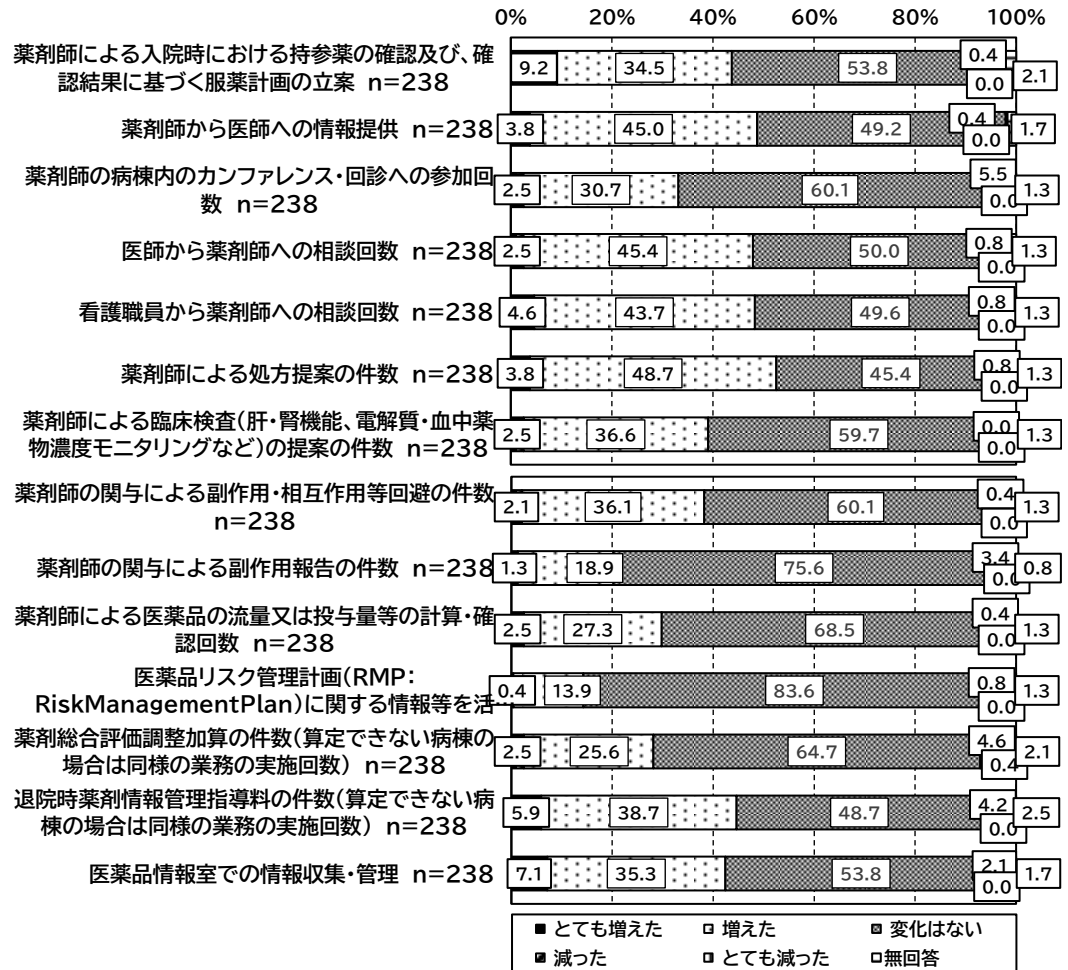
薬剤師の業務について、1年前と比較した際の変化としては、いずれの業務においても「変化はない」が最も多かった。「とても増えた」と「増えた」の回答割合の合計が最も高かった項目は「医師から薬剤師への相談回数」であった。

また、病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている場合のみ集計すると、「とても増えた」と「増えた」の回答割合の合計が最も高かった項目は「薬剤師による処方提案の件数」であった。

図表 5-19 薬剤師の業務について、1年前と比較した際の変化



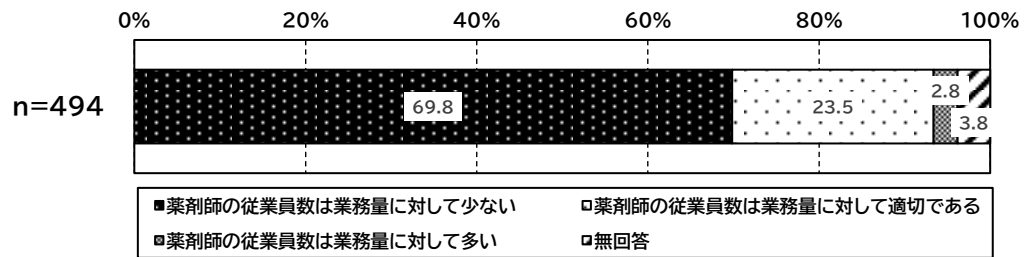
図表 5-20 薬剤師の業務について、1年前と比較した際の変化
 (病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設)



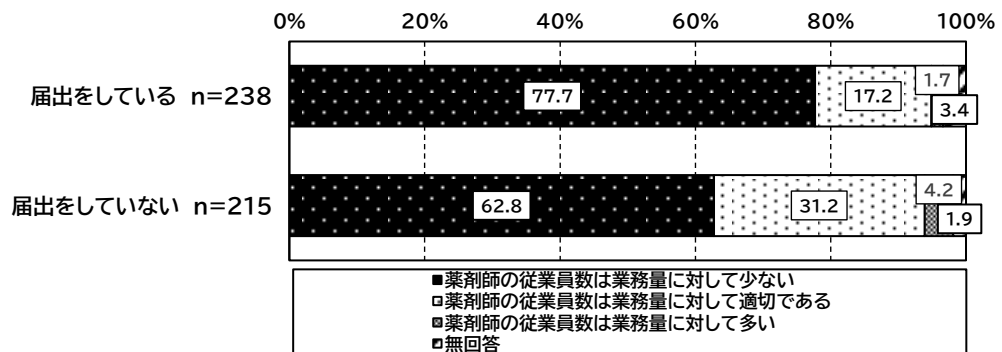
② 施設での薬剤師の従業員数の状況

施設での薬剤師の従業員数については、「薬剤師の従業員数は業務量に対して少ない」との回答が最も多く、69.8%であった。

図表 5-21 施設での薬剤師の従業員数の状況



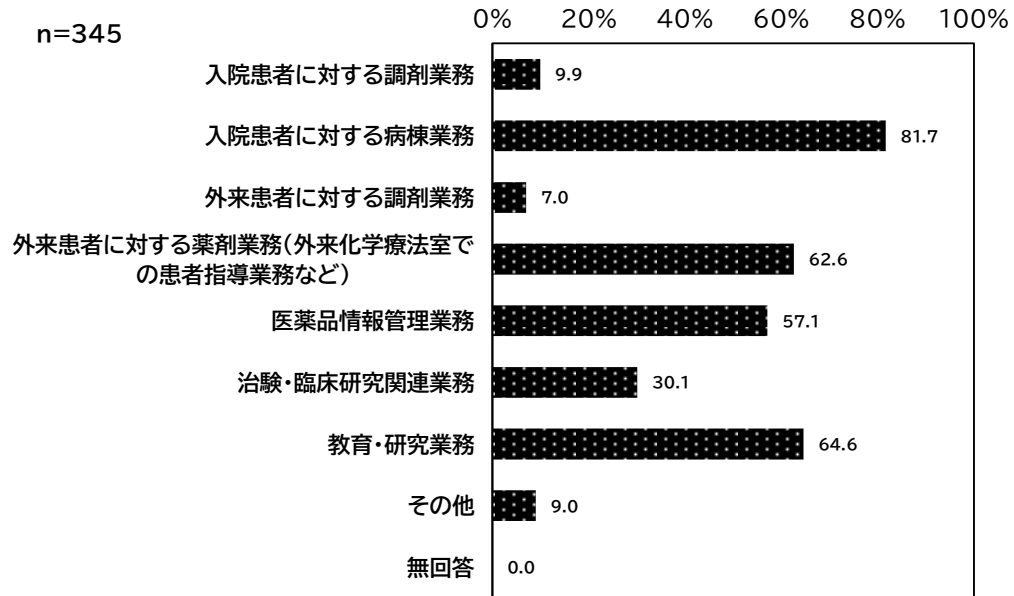
図表 5-22 施設での薬剤師の従業員数の状況
(病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出の有無別)



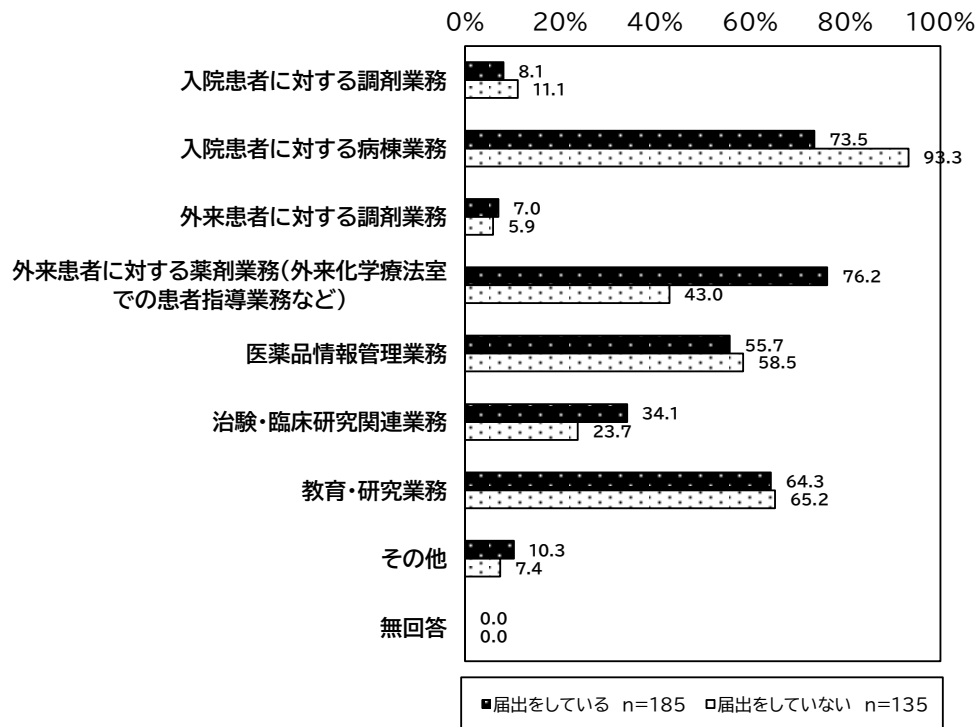
②-1 薬剤師の従業員数が少ないことにより、十分に実施できていない業務

「薬剤師の従業員数は業務量に対して少ない」と回答した場合、薬剤師の従業員が少ないことにより、十分に実施できていない業務を尋ねた。その結果、薬剤師の従業員が少ないことにより、十分に実施できていない業務として最も多かったものは「入院患者に対する病棟業務」で81.7%であった。

図表 5-23 薬剤師の従業員数が少ないことにより、十分に実施できていない業務
(複数回答)



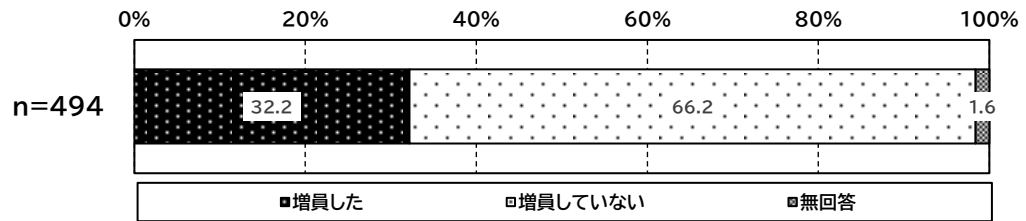
図表 5-24 薬剤師の従業員数が少ないことにより、十分に実施できていない業務
(複数回答) (病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出の有無別)



②-2 令和2年4月以降の薬剤師の増員の有無

令和2年4月以降の薬剤師の増員については、「増員した」が32.2%、「増員していない」が66.2%であった。

図表 5-25 令和2年4月以降の薬剤師の増員の有無



【薬剤師を増員した場合】

増員したと回答した場合、増員した薬剤師数は以下のとおりであった。

図表 5-26 増員した薬剤師数（常勤）

(単位:人)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
増員した薬剤師数 (常勤)	n=156	1.9	1.8	1.0

図表 5-27 増員した薬剤師数（非常勤）

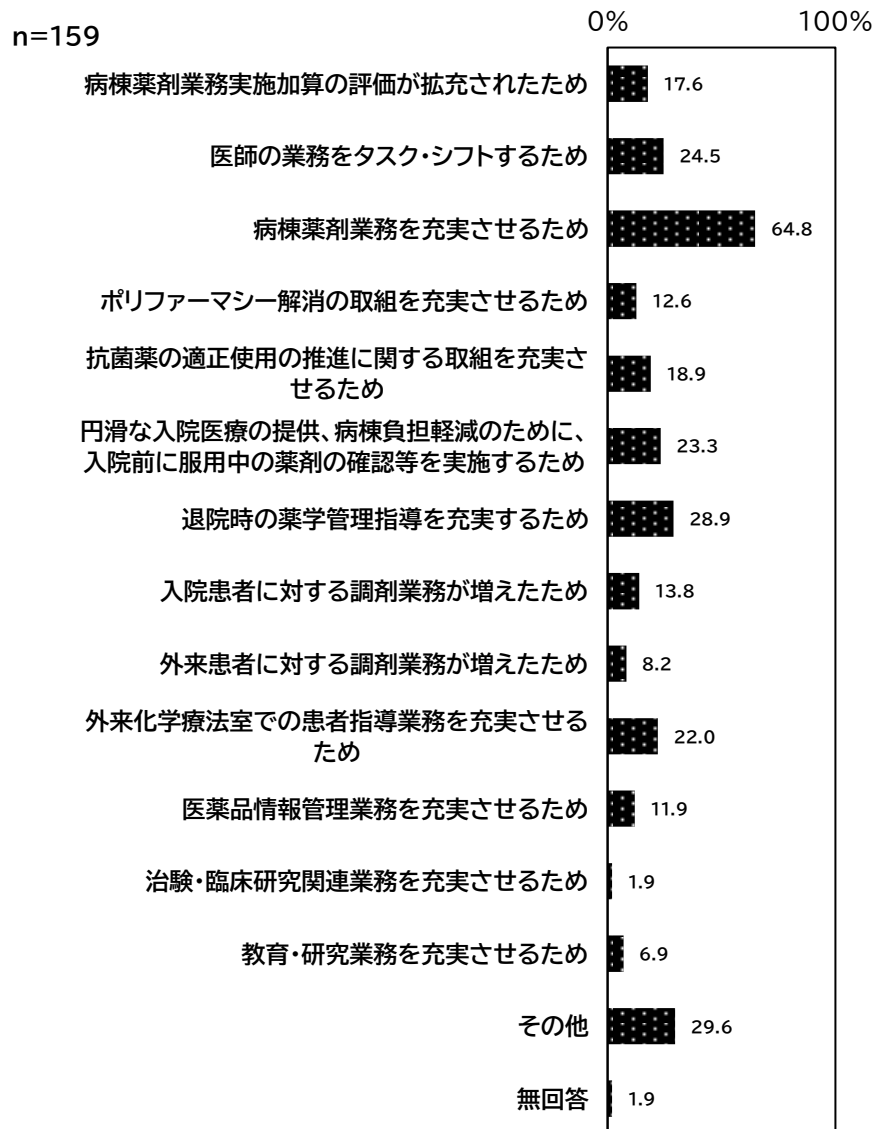
(単位:人)

	実人数				常勤換算			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値	調査数	平均値	標準偏差	中央値
増員した薬剤師数 (非常勤)	n=156	0.2	0.6	0.0	n=156	0.1	0.4	0.0

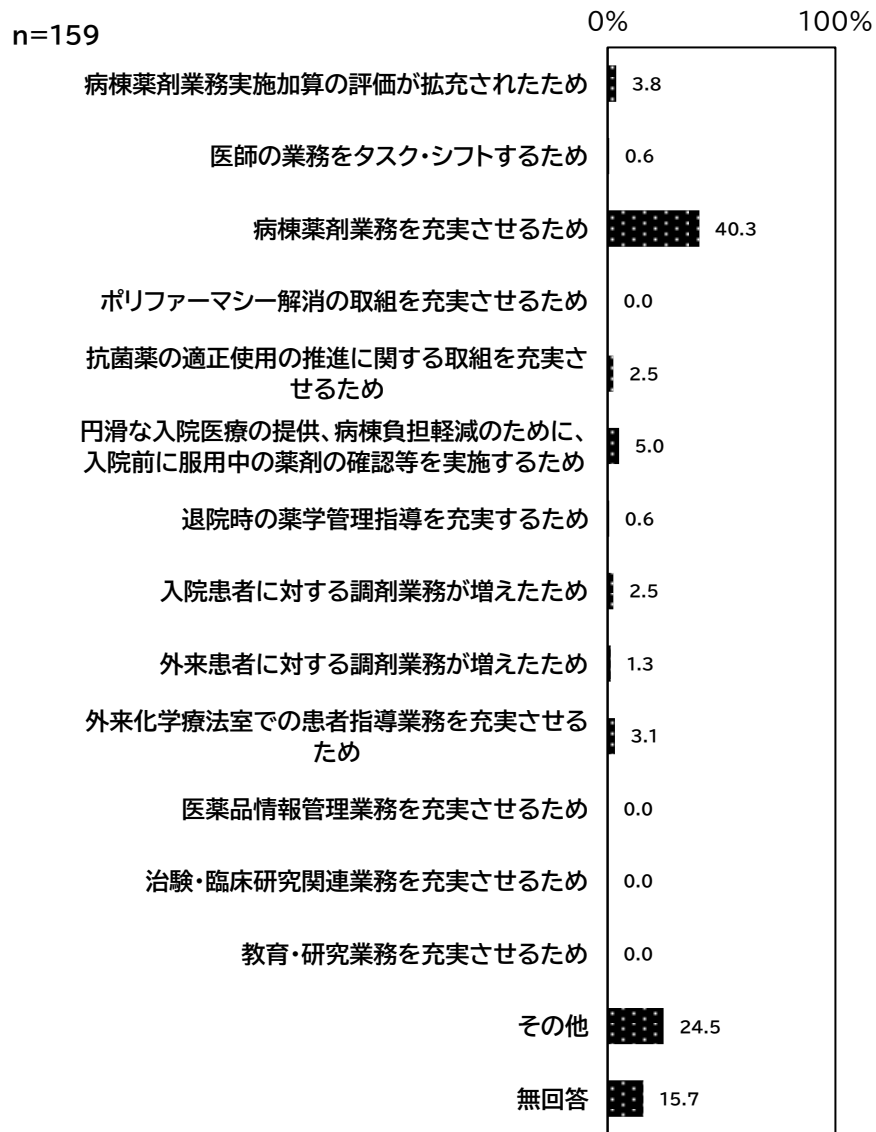
②-3 どのような理由・目的で薬剤師を増員したか

増員したと回答した場合、増員の理由・目的として最も多かったのは「病棟薬剤業務を充実させるため」で64.8%であった。

図表 5-28 薬剤師を増員した目的・理由（複数回答）



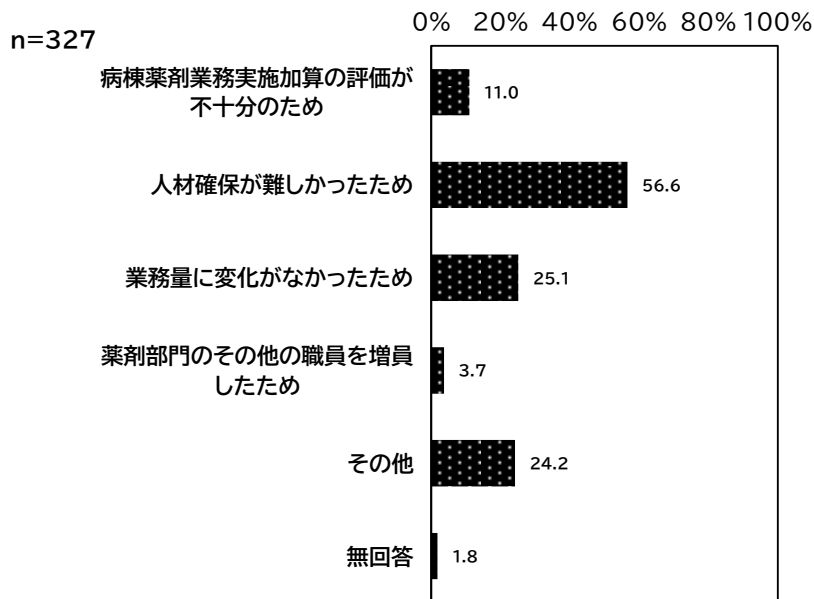
図表 5-29 薬剤師を増員した目的・理由（最もあてはまる理由）



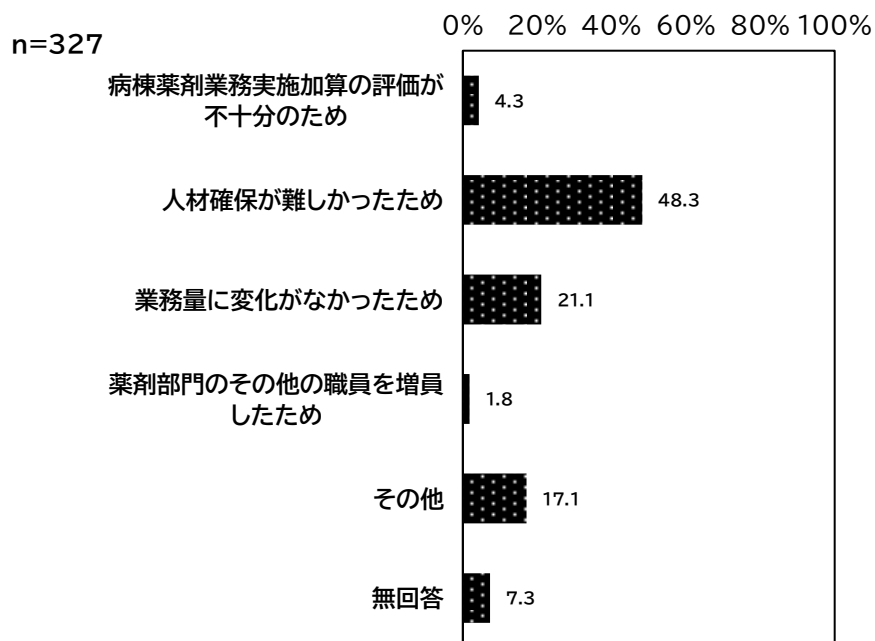
②-4 薬剤師を増員しなかった理由

薬剤師を増員していないと回答した場合、増員しなかった理由として最も多かったのは「人材確保が難しかったため」で56.6%であった。

図表 5-30 薬剤師を増員しなかった目的・理由（複数回答）



図表 5-31 薬剤師を増員しなかった目的・理由（最もあてはまる理由）

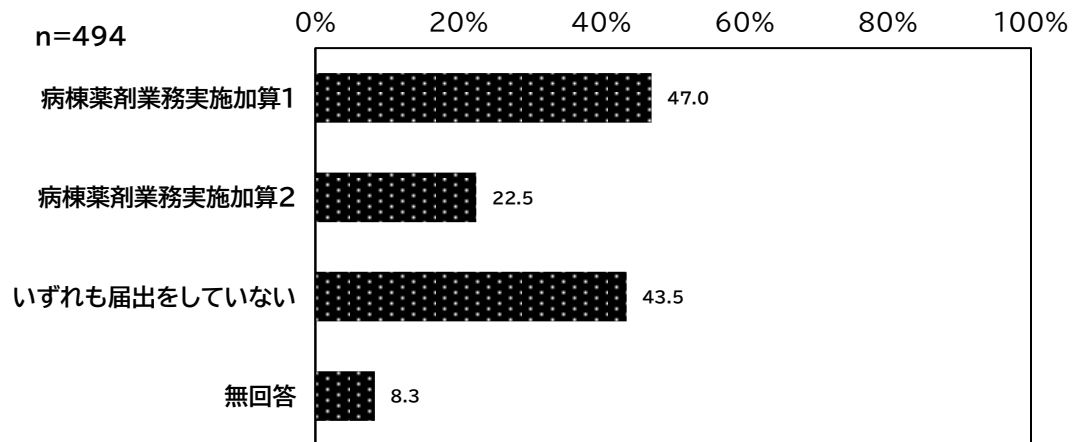


(3) 薬剤師の病棟業務等

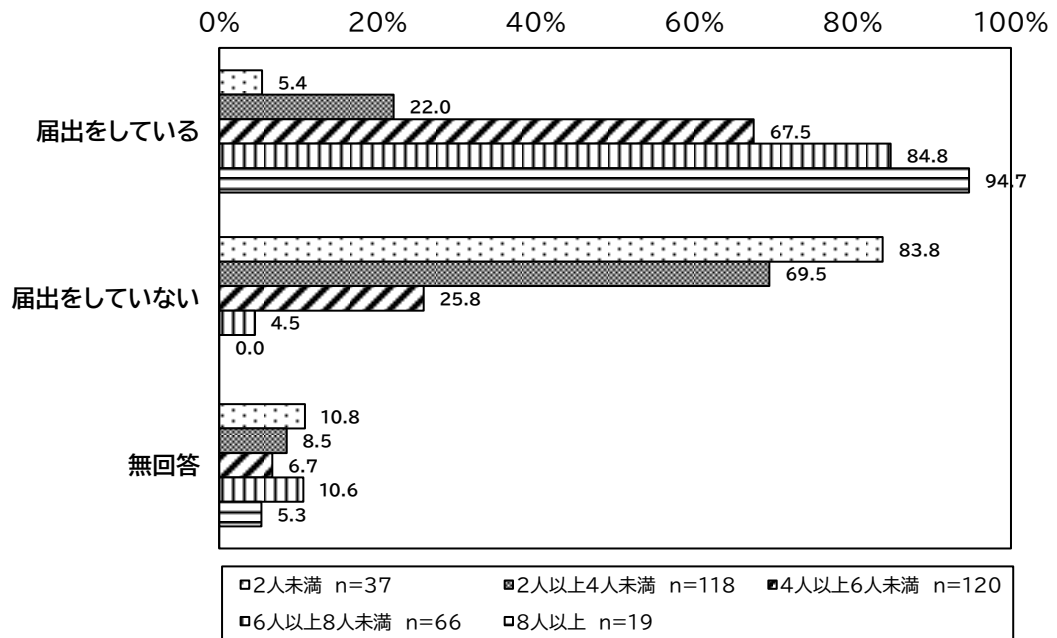
① 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況

病棟薬剤業務実施加算の届出状況は「病棟薬剤業務実施加算1」が47.0%、「病棟薬剤業務実施加算2」が22.5%、「いずれも届出をしていない」が43.5%であった。

図表 5-32 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況（複数回答）



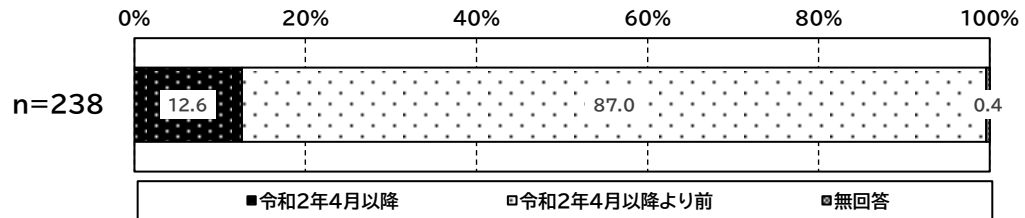
図表 5-33 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況（複数回答）
（100床あたりの薬剤師数別）



①-1 届出を行った時期

病棟薬剤業務実施加算をいずれか届出ている場合、届出を行った時期を尋ねた。その結果、「令和2年4月以降」は12.6%、「令和2年4月より前」は87.0%であった。

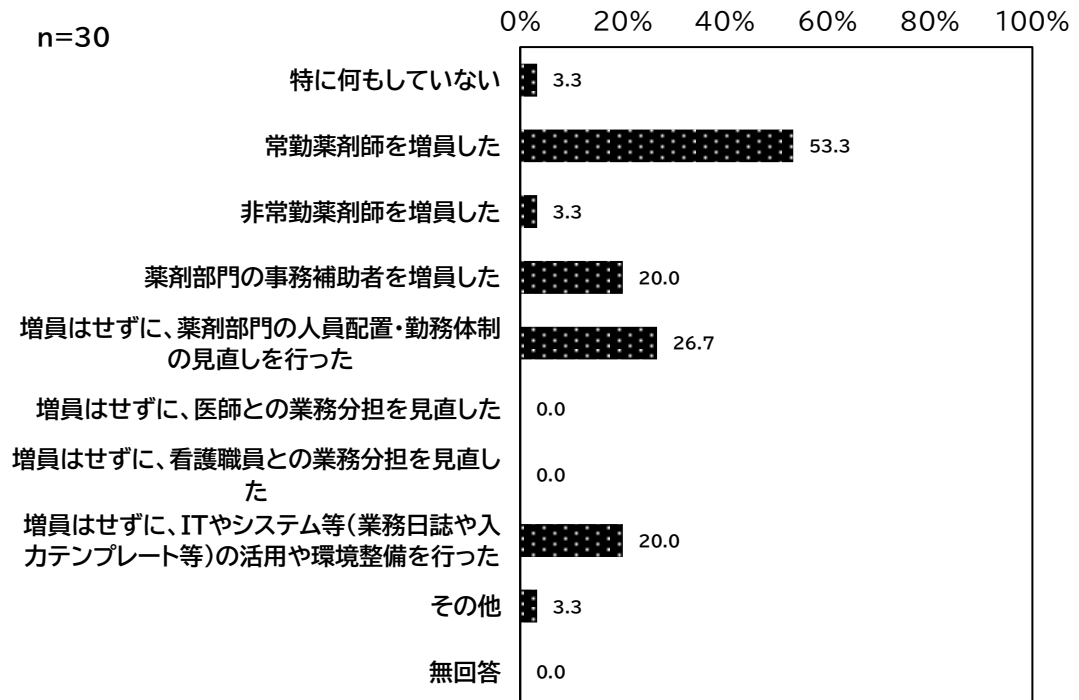
図表 5-34 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出時期



①-2 届出を行うために行った対応

病棟薬剤業務実施加算のいずれかを「令和2年4月以降」に届出ている場合、届出を行うために行った対応を尋ねた。その結果、「常勤薬剤師を増員した」が53.3%と最も多く実施されていた。

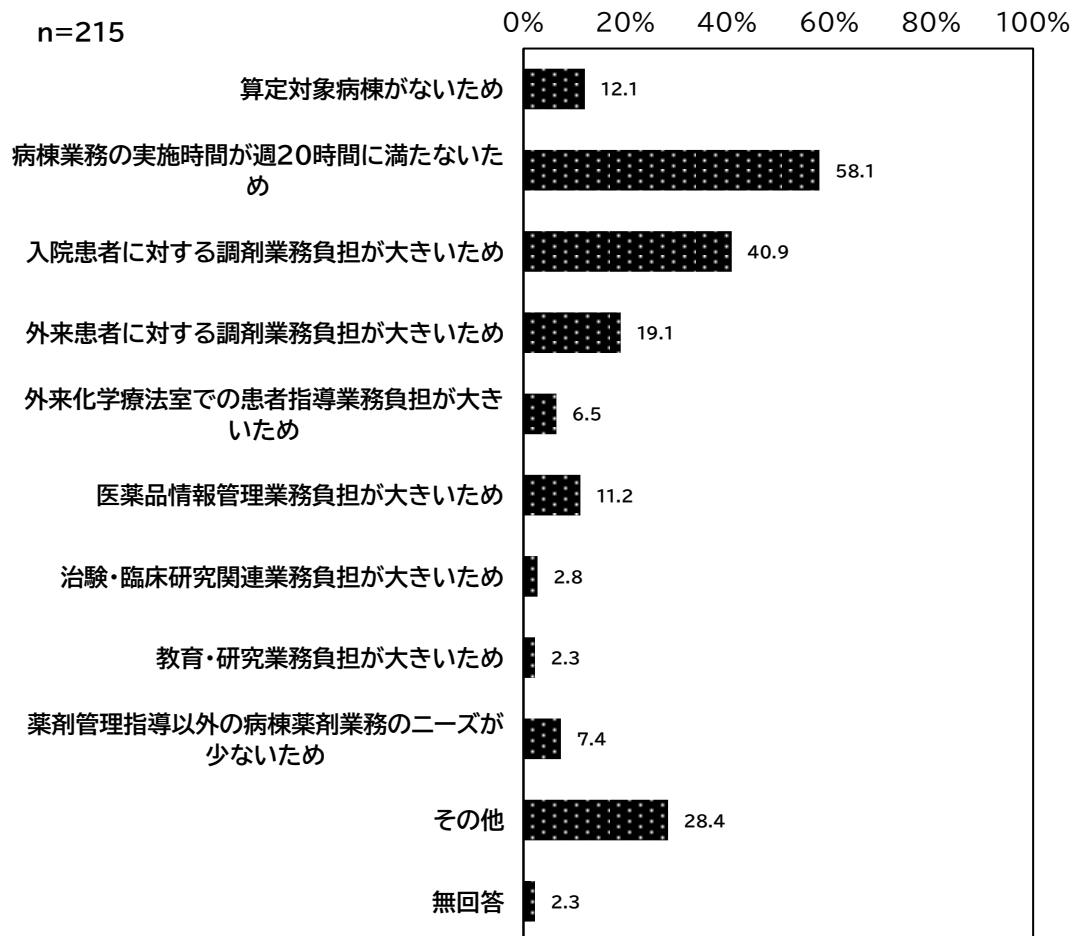
図表 5-35 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出を行うために行った対応 (複数回答)



①-3 病棟薬剤業務実施加算1の施設基準の届出をしていない理由

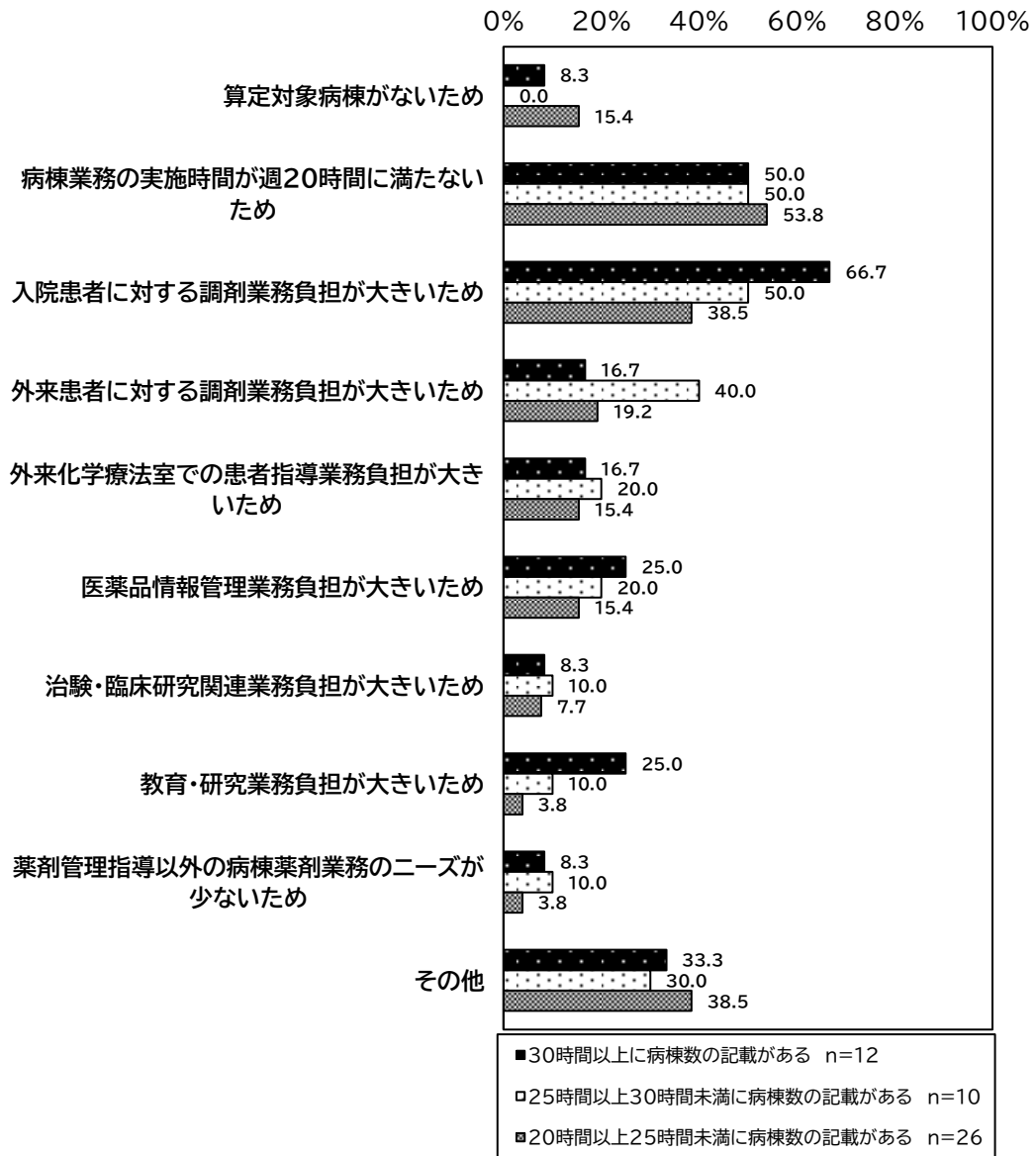
病棟薬剤業務実施加算の「いずれも届出をしていない」と回答した場合、病棟薬剤業務実施加算1の施設基準の届出をしていない理由を尋ねた。その結果、「病棟業務の実施時間が週20時間に満たないため」が58.1%と最も多く回答があった。

図表 5-36 病棟薬剤業務実施加算1の施設基準の届出をしていない理由
(複数回答)



図表 5-37 病棟薬剤業務実施加算 1 の施設基準の届出をしていない理由
(複数回答)

(病棟薬剤業務実施加算を算定していない病棟で、病棟薬剤業務の実施時間が「30時間以上」「25～30時間」「20～25時間」に記載がある施設)



①-4 病棟ごとの病棟薬剤業務の実施時間数ごとの病棟数

令和3年6月の1か月間の、病棟ごとの病棟薬剤業務の実施時間について、それぞれに該当する病棟数を尋ねた。その結果は以下のとおりであった。

図表 5-38 病棟業務実施時間（1週/1病棟あたり）ごとの病棟数
（病棟薬剤業務実施加算を算定している病棟）

(単位:病棟)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
30時間以上	n=307	2.2	3.9	0.0
25時間以上 30時間未満	n=307	1.9	3.1	0.0
20時間以上 25時間未満	n=307	3.2	4.3	2.0

図表 5-39 病棟業務実施時間（1週/1病棟あたり）ごとの病棟数
（病棟薬剤業務実施加算を算定していない病棟）

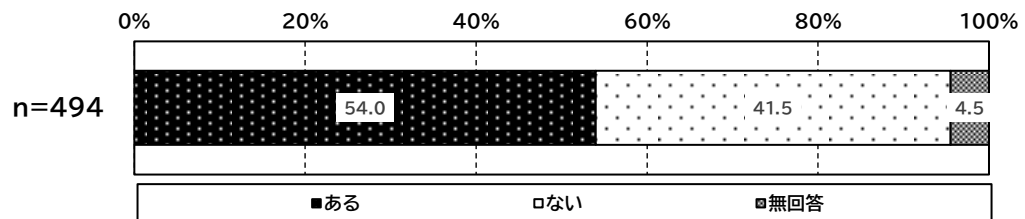
(単位:病棟)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
30時間以上	n=381	0.1	0.7	0.0
25時間以上 30時間未満	n=381	0.1	0.5	0.0
20時間以上 25時間未満	n=381	0.3	0.8	0.0
15時間以上 20時間未満	n=381	0.5	1.3	0.0
10時間以上 15時間未満	n=381	0.4	1.1	0.0
5時間以上 10時間未満	n=381	0.5	1.0	0.0
0時間超 5時間未満	n=381	0.8	1.6	0.0
0時間	n=381	0.3	0.7	0.0

② 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟の有無

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟について「ある」が54.0%、「ない」が41.5%であった。

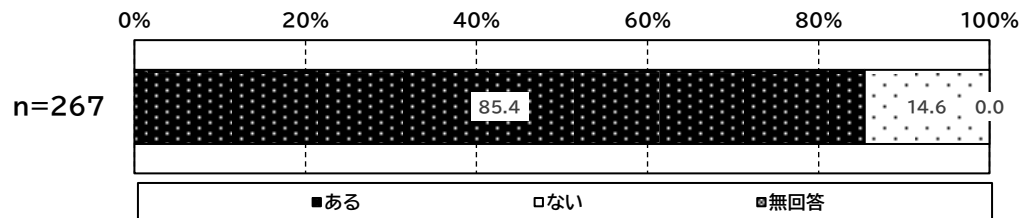
図表 5-40 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟の有無



②-1 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務を実施することがあるか

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟がある場合、その病棟で病棟薬剤業務を実施することがあるかを尋ねた。その結果、「ある」が85.4%、「ない」が14.6%であった。

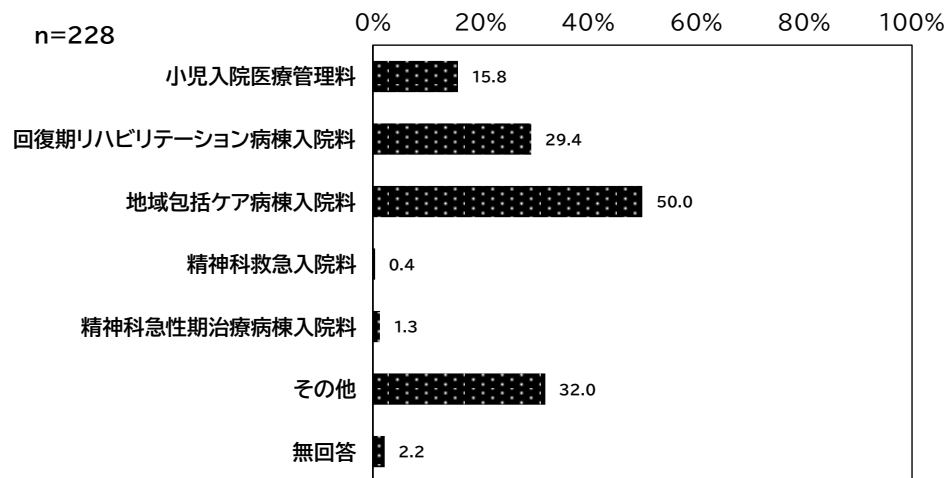
図表 5-41 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟での病棟薬剤業務の実施有無



②-2 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院しており、病棟薬剤業務を実施することがある病棟で算定している入院料

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院しており、その病棟で病棟薬剤業務を実施することがある場合、その病棟で算定している入院基本料について尋ねた。その結果、「地域包括ケア病棟入院料」が最も多く50.0%であった。

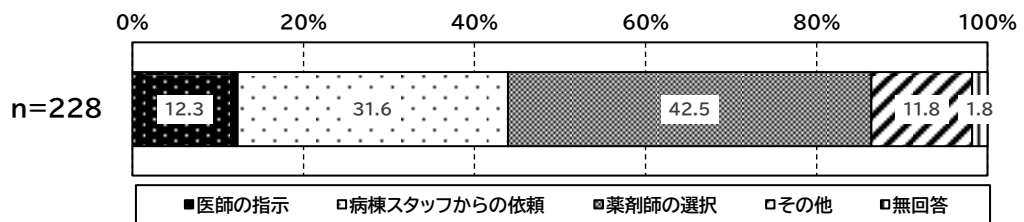
図表 5-42 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院しており病棟薬剤業務を実施することがある病棟で算定している入院料（複数回答）



②-3 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施するタイミング

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施することがある場合、実施するタイミングについて尋ねた。その結果、「薬剤師の選択」が最も多く42.5%であった。次いで「病棟スタッフからの依頼」が31.6%であった。

図表 5-43 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施するタイミング



②-4 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施した平均的な時間数

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施することがある場合、病棟薬剤業務の平均実施時間（令和3年6月の1か月間）を尋ねた。結果は以下のとおりであった。

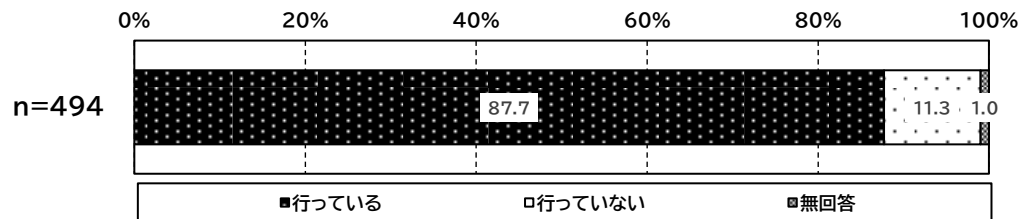
図表 5-44 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施した平均的な時間数

	調査数	平均値	標準偏差	(単位:時間/月)
				中央値
病棟薬剤業務を実施した平均的な時間数	n=207	11.6	9.8	10.0

③ 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定の有無

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定については「行っている」が87.7%、「行っていない」が11.3%であった。

図表 5-45 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定の有無



【行っている場合】

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定を「行っている」場合、それぞれの平均的な算定件数を尋ねた。その結果は以下のとおりであった。

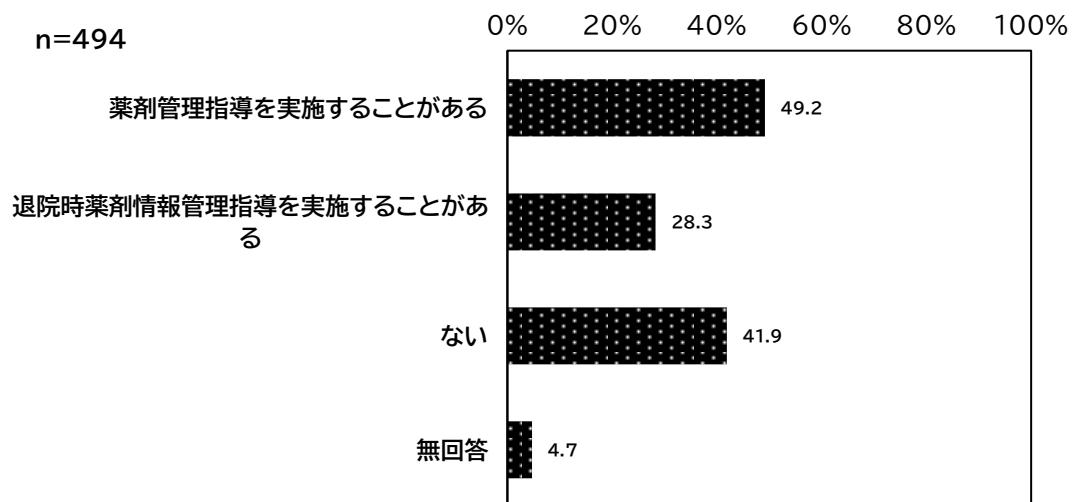
図表 5-46 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の平均的な算定件数

	調査数	平均値	標準偏差	(単位:件/週/病棟)
				中央値
薬剤管理指導料の算定	n=422	44.2	85.6	23.1
退院時薬剤情報管理指導料の算定	n=422	9.6	23.8	3.7

③-1 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することの有無

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することの有無については、「薬剤管理指導を実施することがある」が49.2%、「退院時薬剤情報管理指導を実施することがある」が28.3%であった。

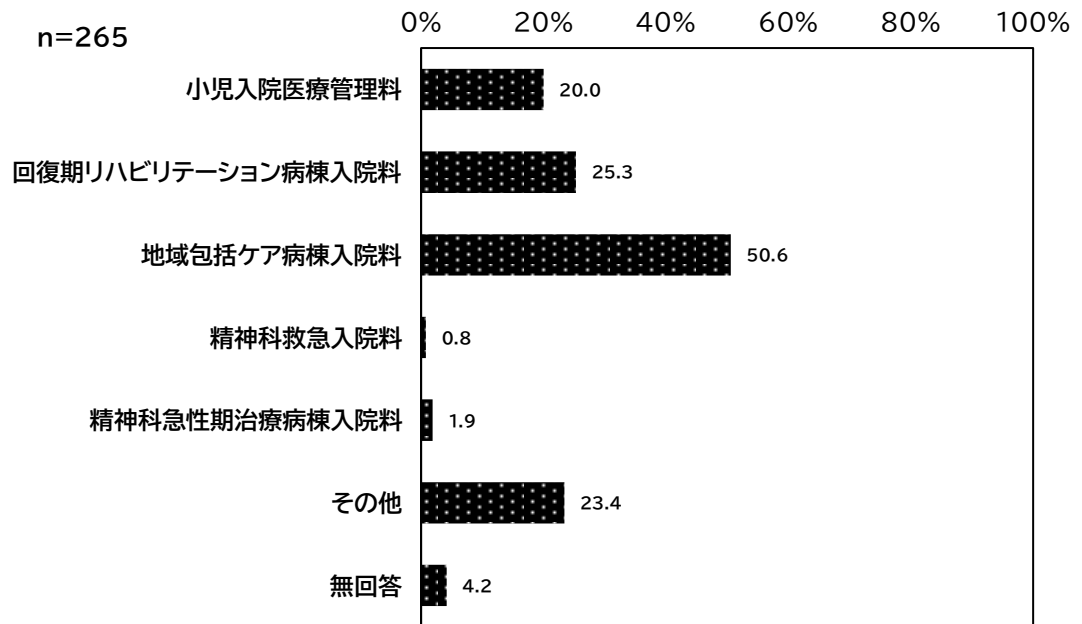
図表 5-47 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することの有無
(複数回答)



③-2 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができないが薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施している患者が算定している入院料

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することがある場合、該当の患者が算定している入院料は、「地域包括ケア病棟入院料」が最も多く50.6%、次いで「回復期リハビリテーション病棟入院料」が25.3%であった。

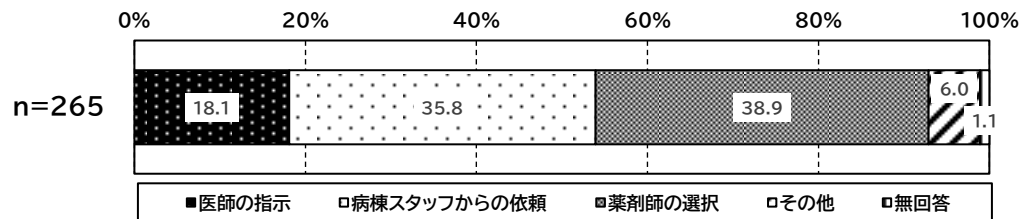
図表 5-48 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができないが薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施している患者が算定している入院料（複数回答）



③-3 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施するタイミング

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導を実施することがある場合、薬剤情報管理指導や退院時薬剤情報管理指導を実施するタイミングは、「薬剤師の選択」が最も多く 38.9%であった。

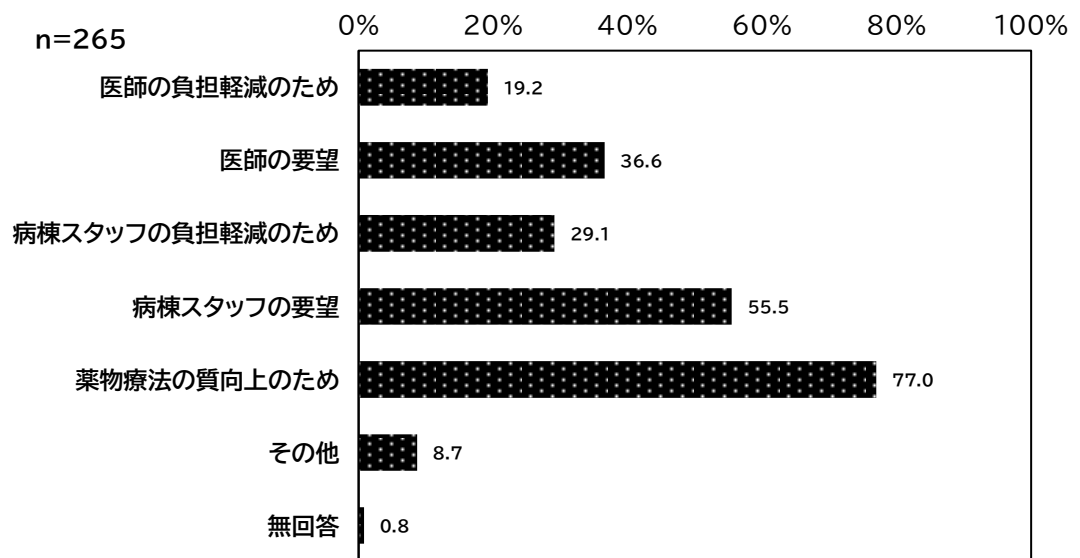
図表 5-49 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施するタイミング



③-4 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施する理由

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導を実施することがある場合、該当の患者に薬剤情報管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施する理由は、「薬物療法の質向上のため」が最も多く 77.0%であった。

図表 5-50 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施する理由（複数回答）



③-5 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施した平均的な件数

薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することがある場合、該当の患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施した平均的な件数（1週間あたり・1病棟あたり）を尋ねた。その結果は以下のとおりであった。

図表 5-51 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施した平均的な件数

(単位:件/週/病棟)

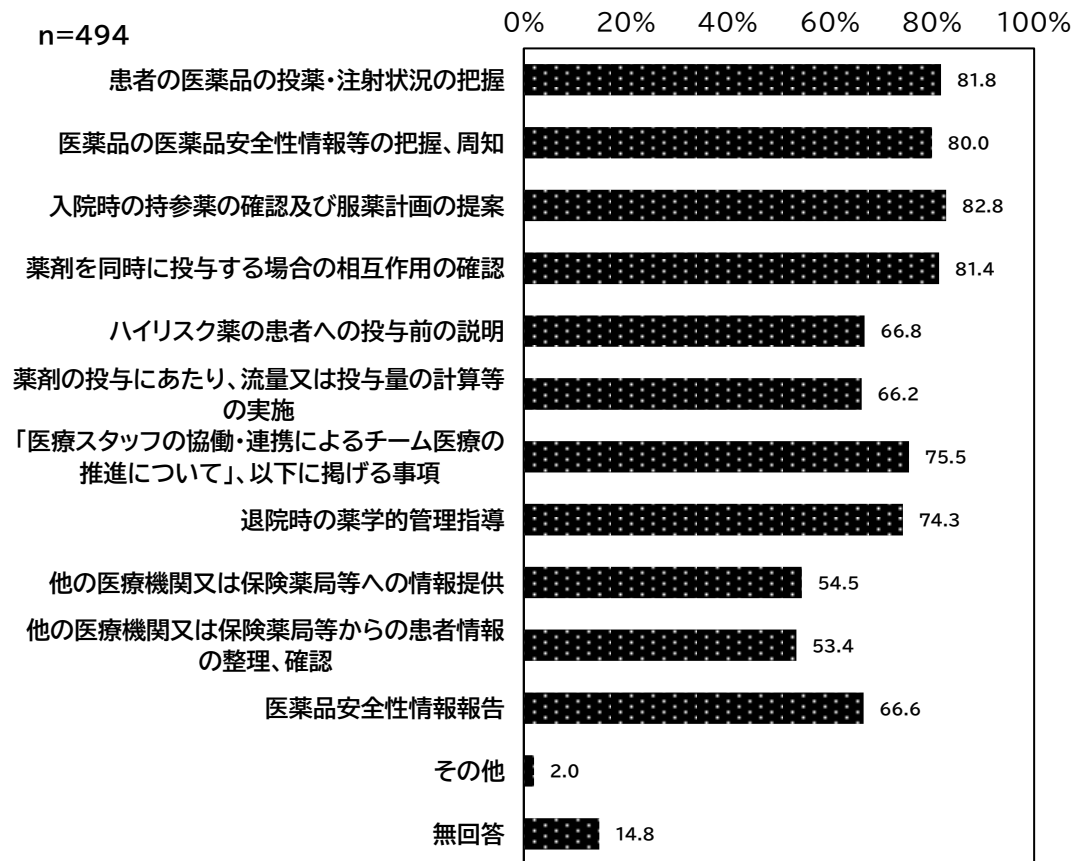
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
薬剤管理指導料の算定	n=214	7.8	10.4	3.0
退院時薬剤情報管理指導料の算定	n=123	3.0	4.2	1.0

④ 病棟薬剤業務として実施していること

A: 病棟薬剤業務実施加算の対象病棟

病棟薬剤業務として実施していることについて、病棟薬剤業務実施加算の対象病棟では「入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案」が最も多く 82.8%であった。

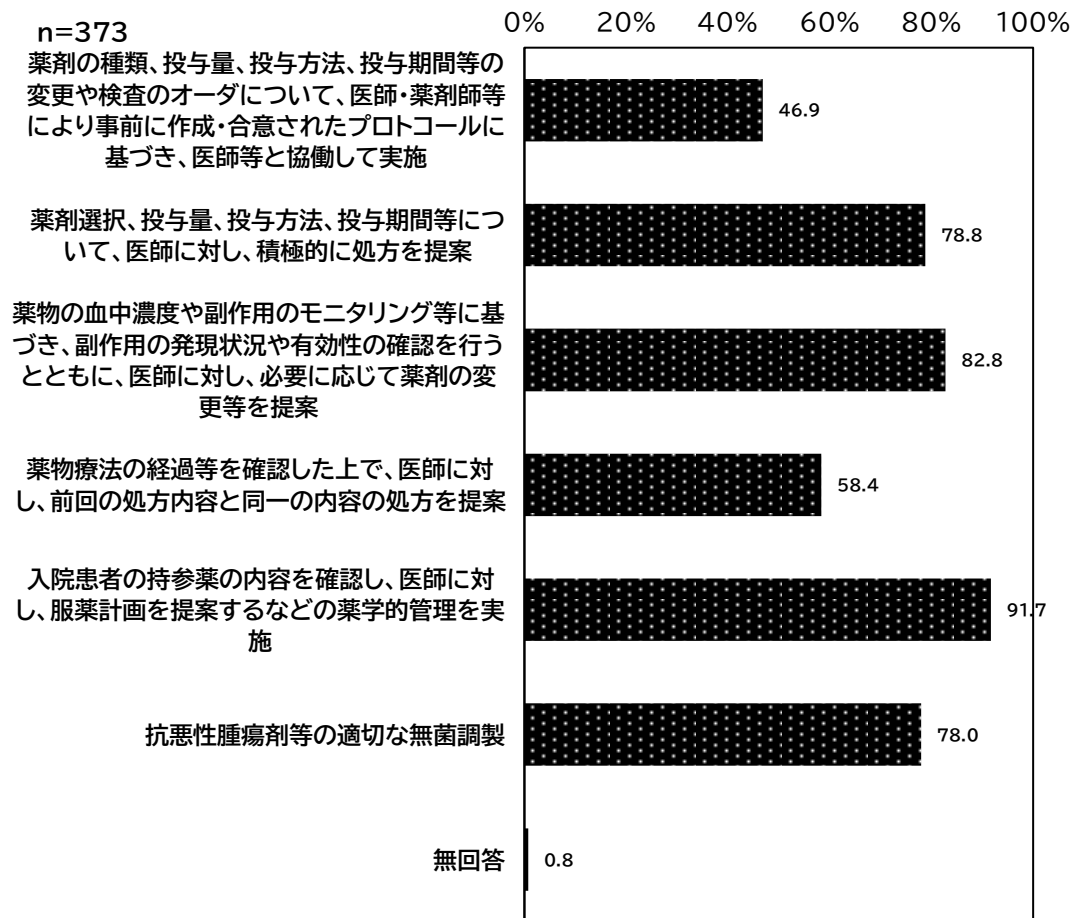
図表 5-52 病棟薬剤業務として実施していること
(病棟薬剤業務実施加算の対象病棟) (複数回答)



【「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項」を選んだ場合】

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項」を選んだ場合、その詳細としては「入院患者の持参薬の内容を確認し、医師に対し、服薬計画を提案するなどの薬学的管理を実施」が最も多く、91.7%であった。

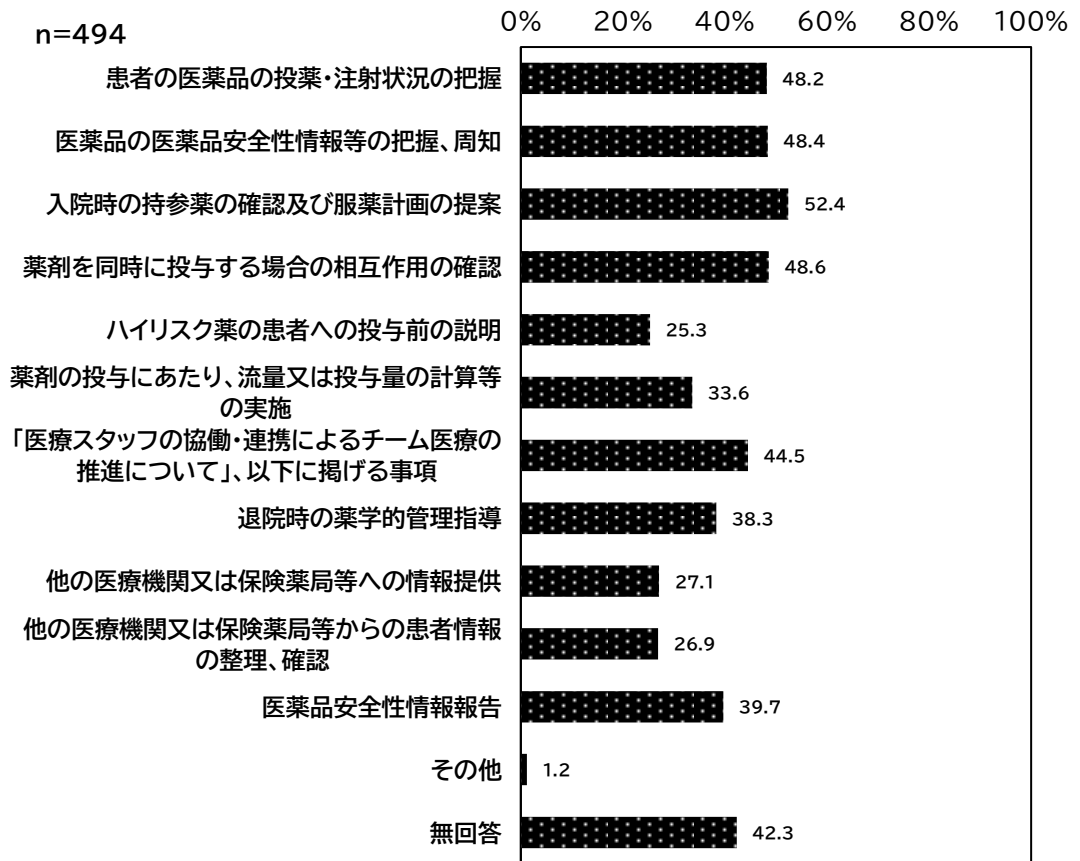
図表 5-53 「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項の詳細（複数回答）
（病棟薬剤業務実施加算の対象病棟）



B:病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟

病棟薬剤業務として実施していることについて、病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟では「入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案」が最も多く 52.4%であった。

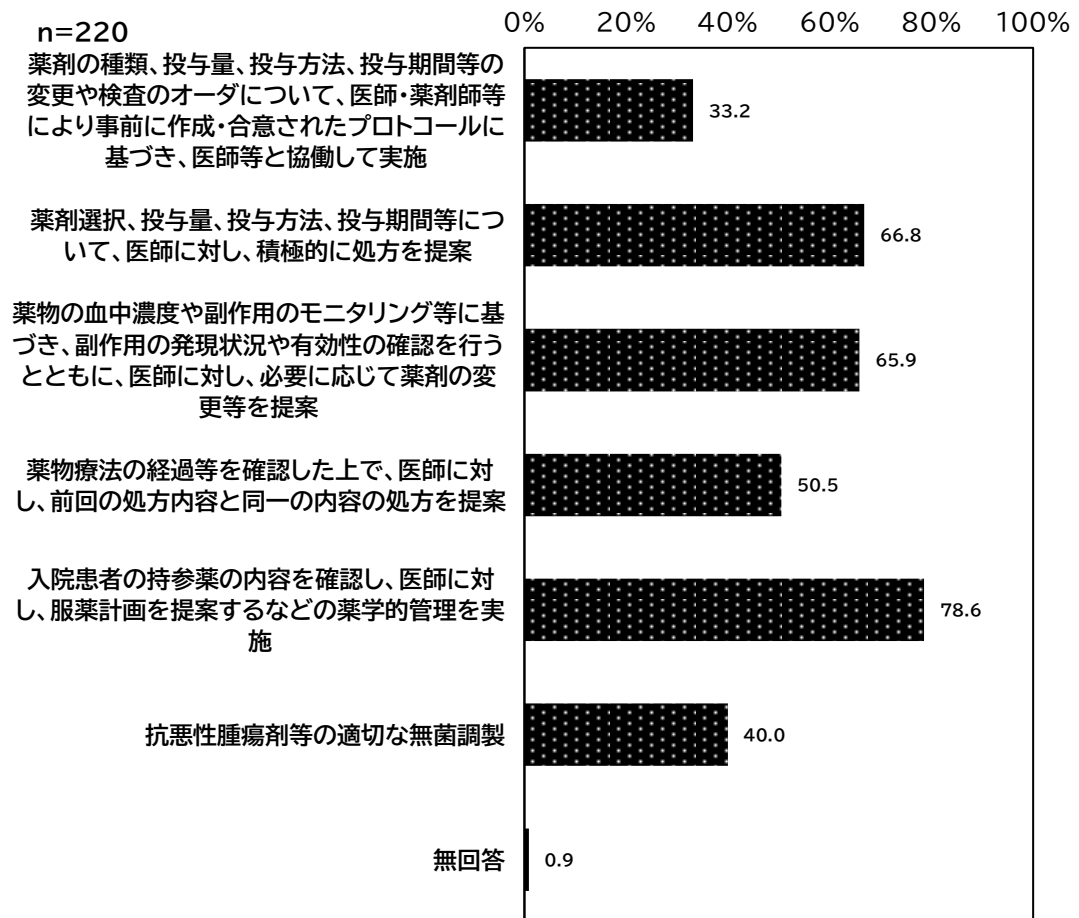
図表 5-54 病棟薬剤業務として実施していること（複数回答）
 (病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟)



【「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項」を選んだ場合】

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項」を選んだ場合、その詳細としては「入院患者の持参薬の内容を確認し、医師に対し、服薬計画を提案するなどの薬学的管理を実施」が最も多く、78.6%であった。

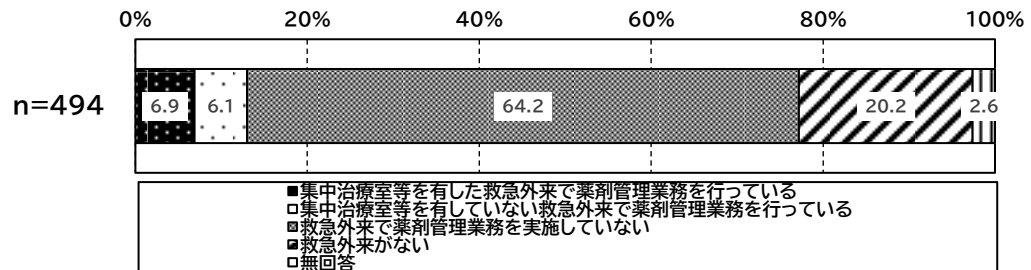
図表 5-55 「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、
以下に掲げる事項の詳細（複数回答）
(病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟)



⑤ 救急外来での薬剤管理業務実施状況

救急外来での薬剤管理業務実施状況について、「救急外来で薬剤管理業務を実施していない」が最も多く 64.2%であった。

図表 5-56 救急外来での薬剤管理業務実施状況



⑤-1 救急外来での薬剤管理業務の平均的な業務時間数

救急外来での薬剤管理業務を実施している場合、その平均的な業務時間数を尋ねた。結果は以下のとおりであった。

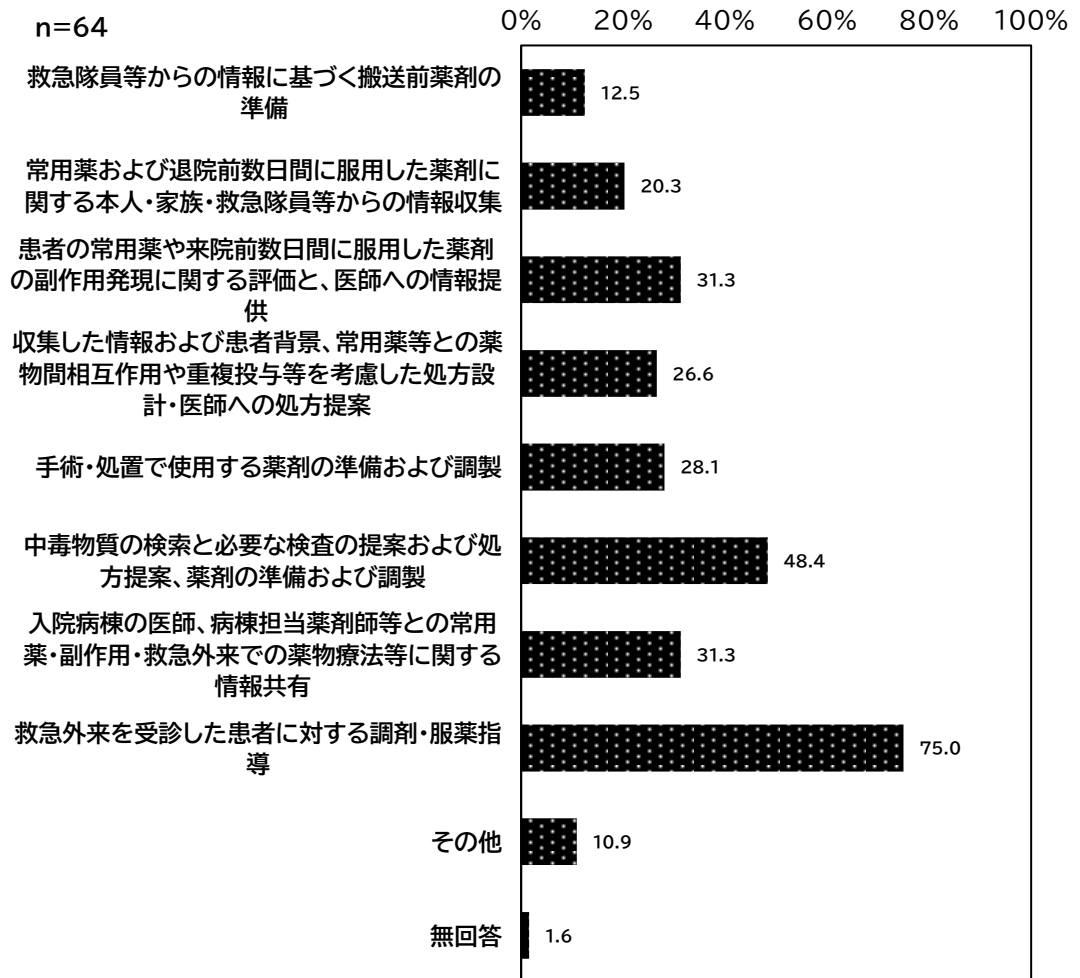
図表 5-57 救急外来での薬剤管理業務の平均的な業務時間数
(令和3年6月の1か月間)

	調査数	平均値	標準偏差	(単位:時間/週)
				中央値
救急外来での薬剤管理業務の平均的な業務時間数	n=56	9.4	10.4	5.0

⑤-2 救急外来での薬剤管理業務の内容

救急外来での薬剤管理業務を実施している場合、その業務内容を尋ねた。その結果、「救急外来を受診した患者に対する調剤・服薬指導」が最も多く75.0%であった。

図表 5-58 救急外来での薬剤管理業務の内容（複数回答）

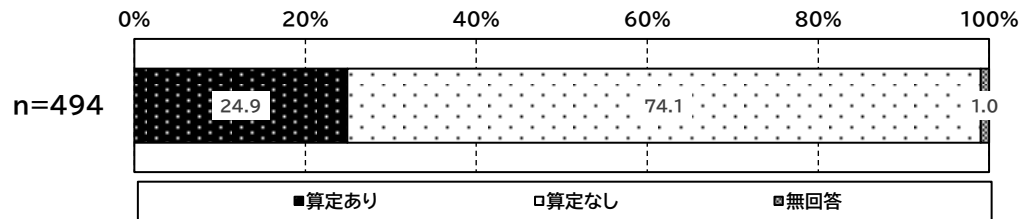


(4) 各種加算の状況等

① 薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算の算定状況（令和3年6月の1か月）

薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算については「算定あり」が24.9%、「算定なし」が74.1%であった。

図表 5-59 薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算の算定状況



【「01. 算定あり」を選択した場合】

薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算について「算定あり」を選択した場合、その算定件数を尋ねた。結果は以下のとおりであった。

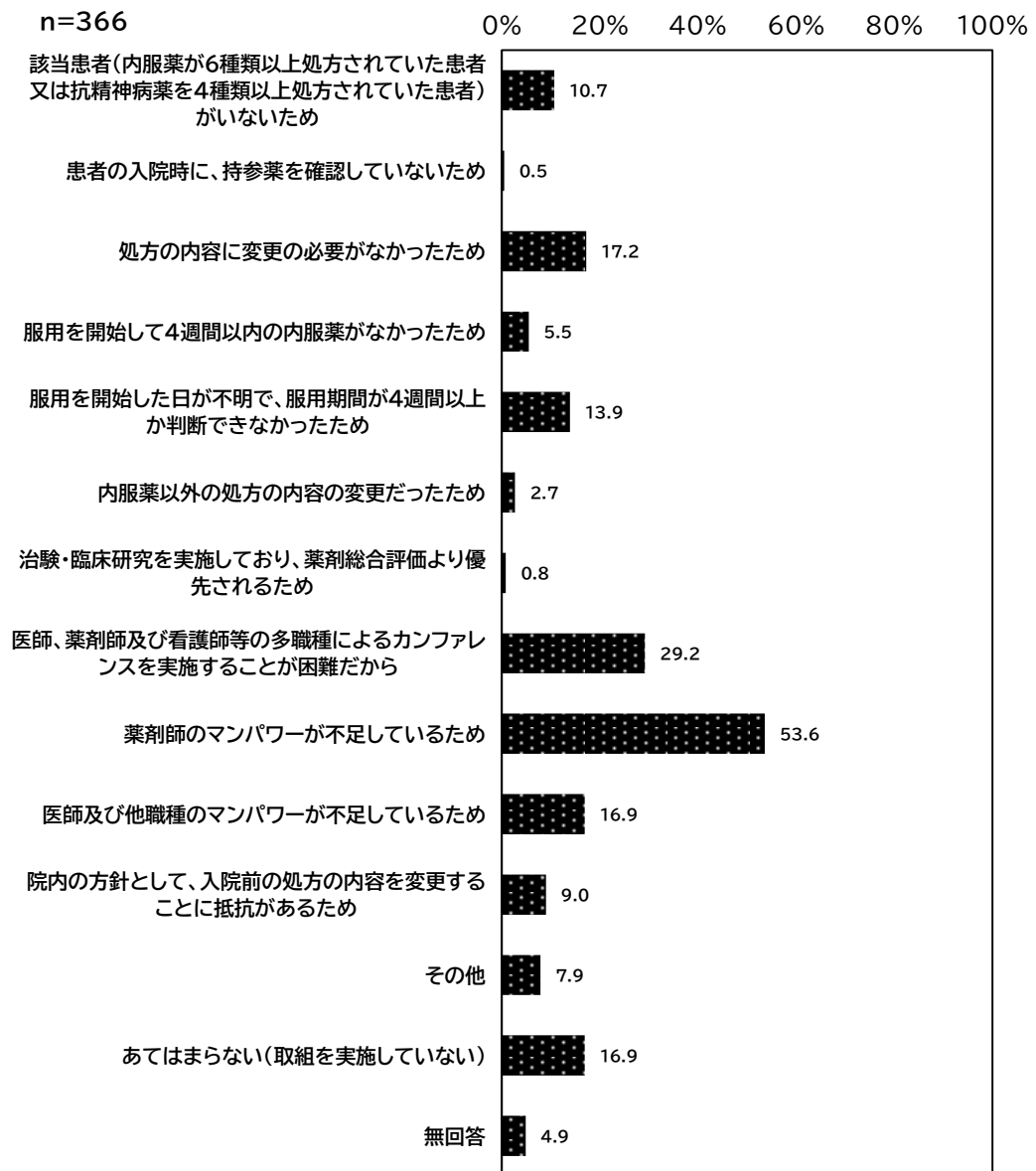
図表 5-60 薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算の算定件数

	(単位:時間/週)			
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
薬剤総合評価調整加算	n=110	9.4	13.2	5.0
薬剤調整加算	n=110	3.8	5.5	2.0

①-1 処方の内容を総合的に評価したうえでの処方の内容を変更する取組を実施したが、算定できなかった場合の理由

薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算について「算定なし」を選択した場合、処方の内容を総合的に評価したうえでの処方の内容を変更する取組を実施したが、算定できなかった場合の理由を尋ねた。その結果、「薬剤師のマンパワーが不足しているため」が最も多く 53.6%であった。

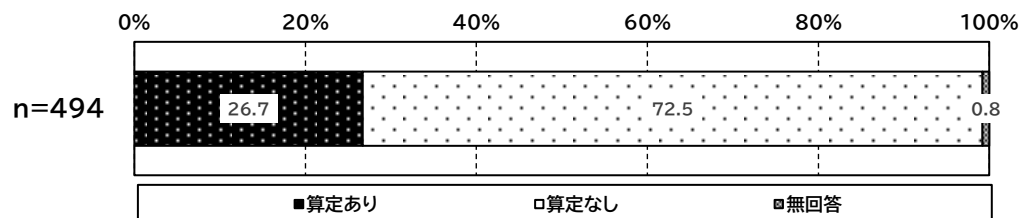
図表 5-61 処方の内容を総合的に評価したうえでの処方の内容を変更する取組を実施したが、算定できなかった場合の理由（複数回答）



② 退院時薬剤情報連携加算の算定の有無（令和3年6月の1か月）

退院時薬剤情報連携加算については「算定あり」が26.7%、「算定なし」が72.5%であった。

図表 5-62 退院時薬剤情報連携加算の算定の有無



【「01. 算定あり」を選択した場合】

退院時薬剤情報連携加算について「算定あり」を選んだ場合、その算定件数は以下のとおりであった。

図表 5-63 退院時薬剤情報連携加算の算定件数

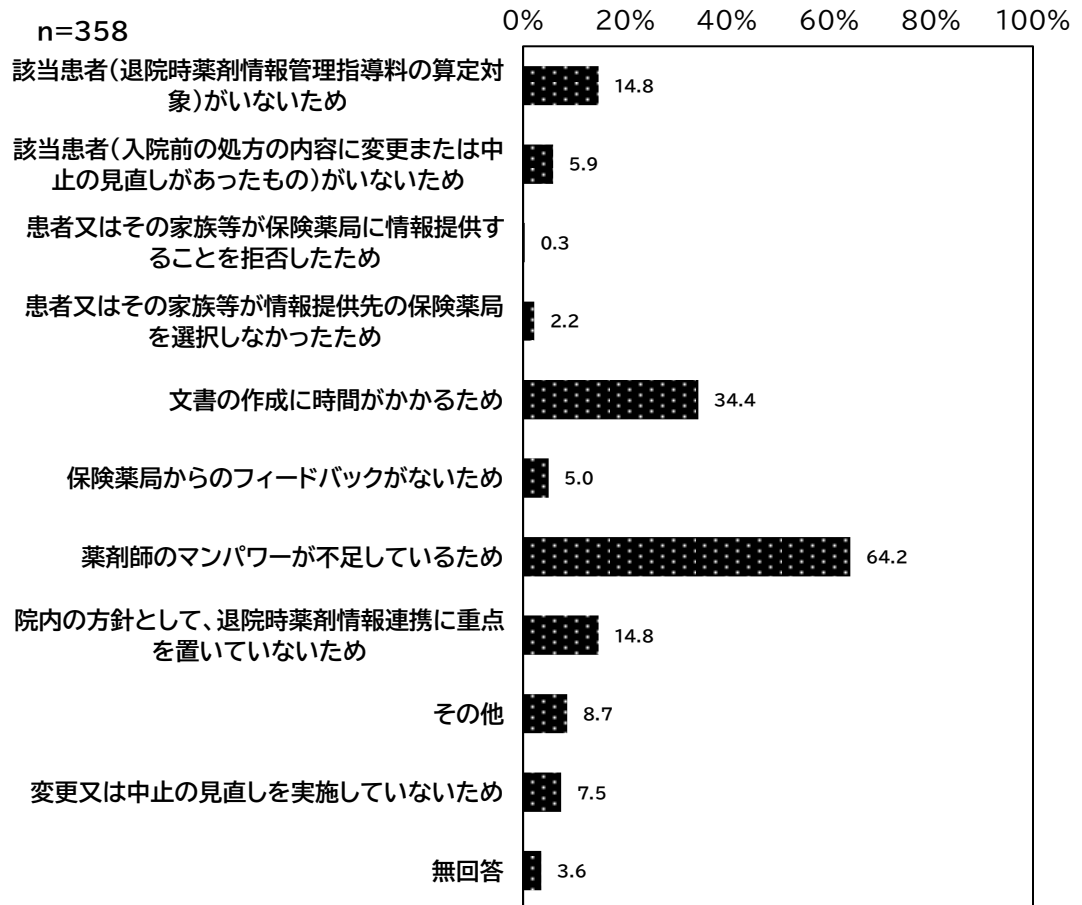
(単位:件/月)

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
退院時薬剤情報連携加算	n=129	25.2	53.2	9.0

②-1 算定できなかった理由

退院時薬剤情報連携加算について「算定なし」を選んだ場合、算定できなかった理由としては、「薬剤師のマンパワーが不足しているため」が最も多く64.2%であった。

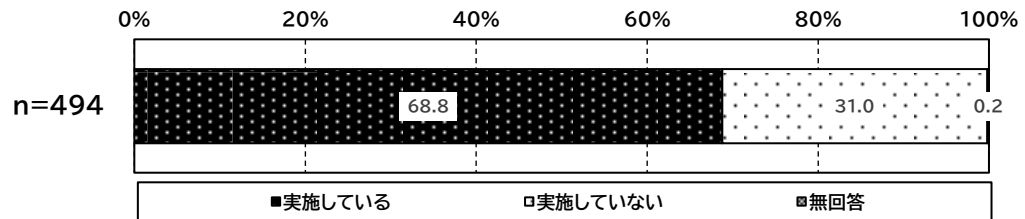
図表 5-64 退院時薬剤情報連携加算の算定できなかった理由（複数回答）



③ 外来化学療法の実施有無

外来化学療法については、「実施している」が68.8%、「実施していない」が31.0%であった。

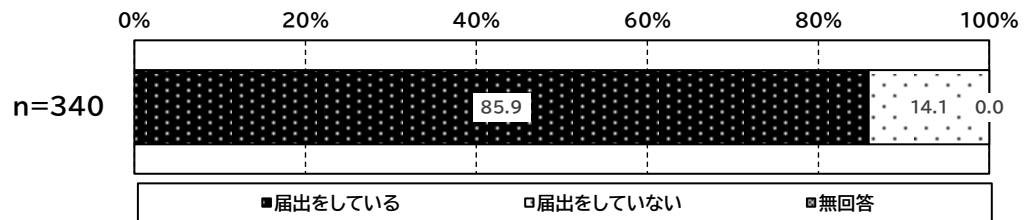
図表 5-65 外来化学療法の実施有無



③-1 外来化学療法加算1の届出の有無

外来化学療法を実施している場合、外来化学療法加算1について「届出をしている」が85.9%、「届出をしていない」が14.1%であった。

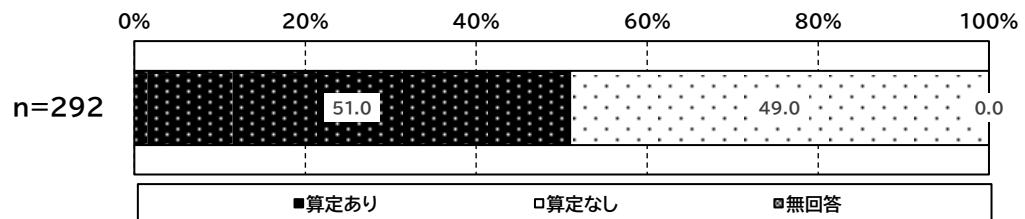
図表 5-66 外来化学療法加算1の届出有無



③-2 連携充実加算の算定の有無（令和3年6月の1か月）

外来化学療法加算1について「届出をしている」場合、連携充実加算は「算定あり」が51.0%、「算定なし」が49.0%であった。

図表 5-67 連携充実加算の算定有無



【「01. 算定あり」を選んだ場合】

連携充実加算について「算定あり」の場合、その算定割合（対象患者のうち算定した割合）を尋ねた。その結果は以下のとおりであった。

図表 5-68 連携充実加算の算定割合

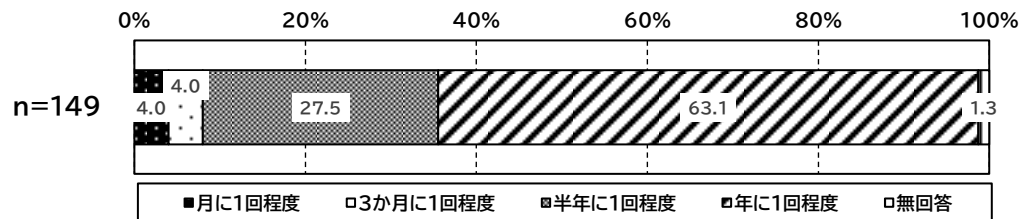
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
連携充実加算の算定割合	n=123	44.6	36.3	37.2

(単位:件/月)

③-3 (1) 地域の保険薬局への研修の実施頻度

連携充実加算について「算定あり」の場合、地域の保険薬局への研修の実施頻度として最も多かったのは「年に1回程度」で63.1%であった。

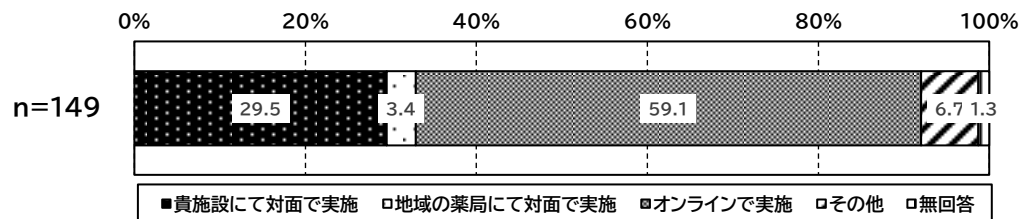
図表 5-69 地域の保険薬局への研修の実施頻度



③-3 (2) 地域の保険薬局への研修の実施方法

連携充実加算について「算定あり」の場合、地域の保険薬局への研修の実施方法として最も多かったのは「オンラインで実施」で59.1%であった。

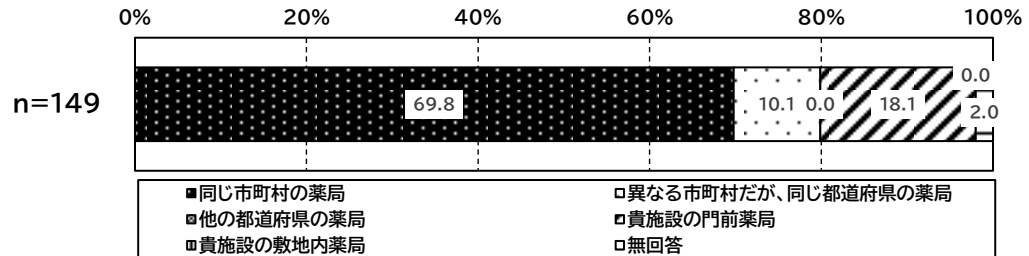
図表 5-70 地域の保険薬局への研修の実施方法



③-3 (3) 地域の保険薬局への研修の参加薬局の属性

連携充実加算について「算定あり」の場合、地域の保険薬局への研修の参加薬局の属性として最も多かったのは「同じ市町村の薬局」で69.8%であった。

図表 5-71 地域の保険薬局への研修の参加薬局の属性



③-4 他の医療機関又は保険薬局からの服薬状況、抗悪性腫瘍剤等の副作用に関する情報提供等を受け取った回数（令和3年6月の1か月）

連携充実加算について「算定あり」の場合、他の医療機関又は保険薬局からの服薬状況、抗悪性腫瘍剤等の副作用に関する情報提供等を受け取った回数は以下のとおりであった。

図表 5-72 他の医療機関又は保険薬局からの服薬状況、抗悪性腫瘍剤等の副作用に関する情報提供等を受け取った回数

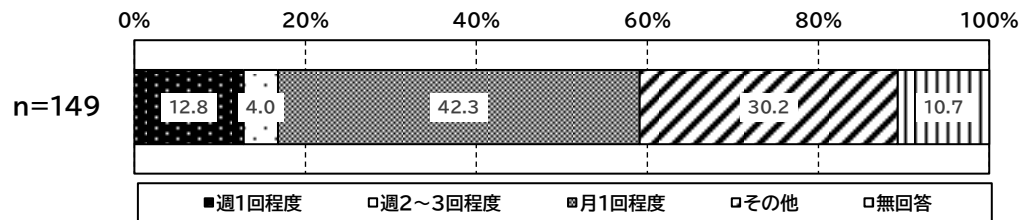
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
他の医療機関又は保険薬局からの服薬状況、抗悪性腫瘍剤等の副作用に関する情報提供等を受け取った回数	n=131	16.4	38.3	5.0

(単位:回/月)

③-5 薬剤師から管理栄養士に対して、副作用が強く出ている等の情報提供を行った回数（令和3年6月の1か月）

連携充実加算について「算定あり」の場合、薬剤師から管理栄養士に対して、副作用が強く出ている等の情報提供を行った回数は「月1回程度」が最も多く42.3%であった。

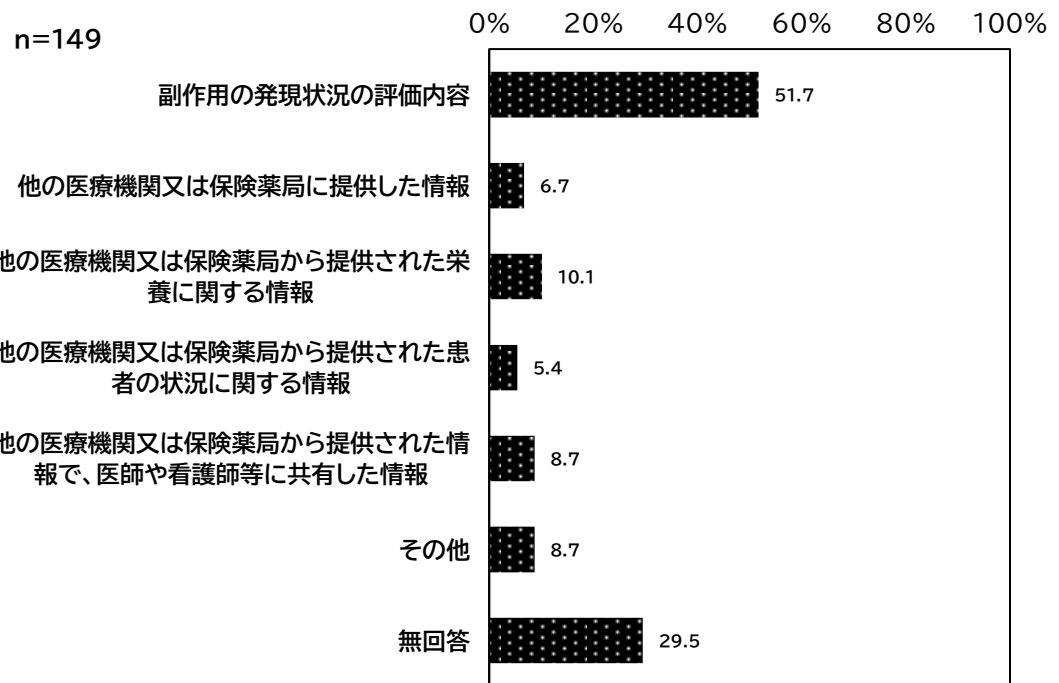
図表 5-73 薬剤師から管理栄養士に対して、副作用が強く出ている等の情報提供を行った回数



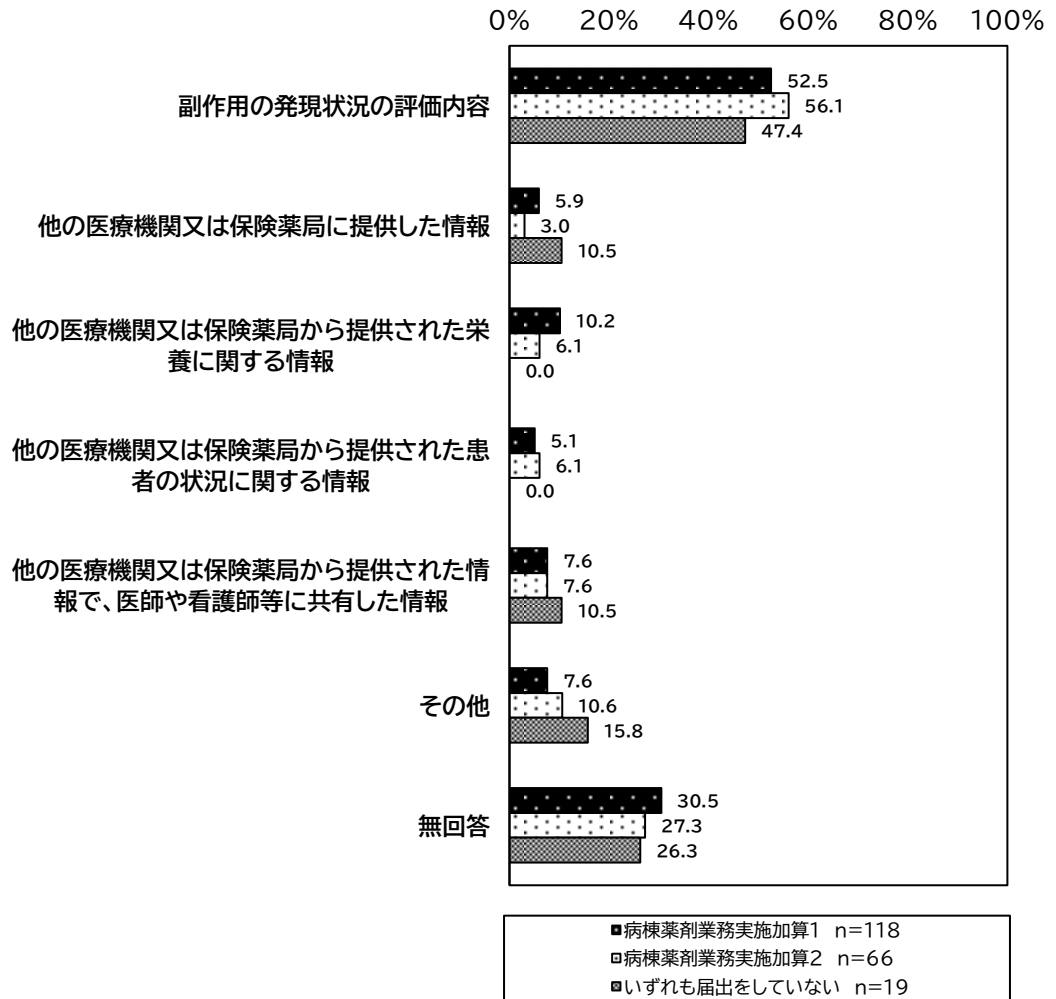
③-6 管理栄養士に提供した情報等の内容

連携充実加算について「算定あり」の場合、管理栄養士に提供した情報等の内容は「副作用の発現状況の評価内容」が最も多く51.7%であった。

図表 5-74 管理栄養士に提供した情報等の内容（複数回答）



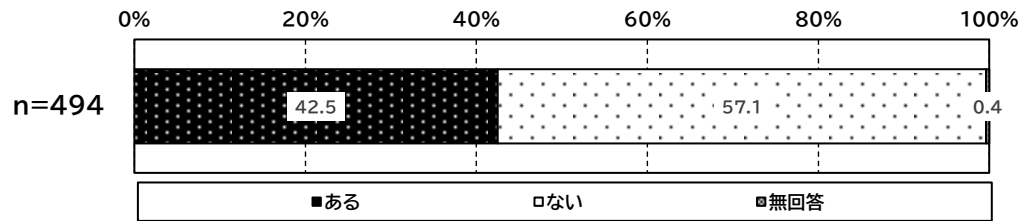
図表 5-75 管理栄養士に提供した情報等の内容（複数回答）
 （病棟薬剤業務実施加算の届出の状況別）



④ 注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者への病院薬剤師による患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務の実施有無

注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者への病院薬剤師による患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務の実施有無については、「ある」が42.5%、「ない」が57.1%であった。

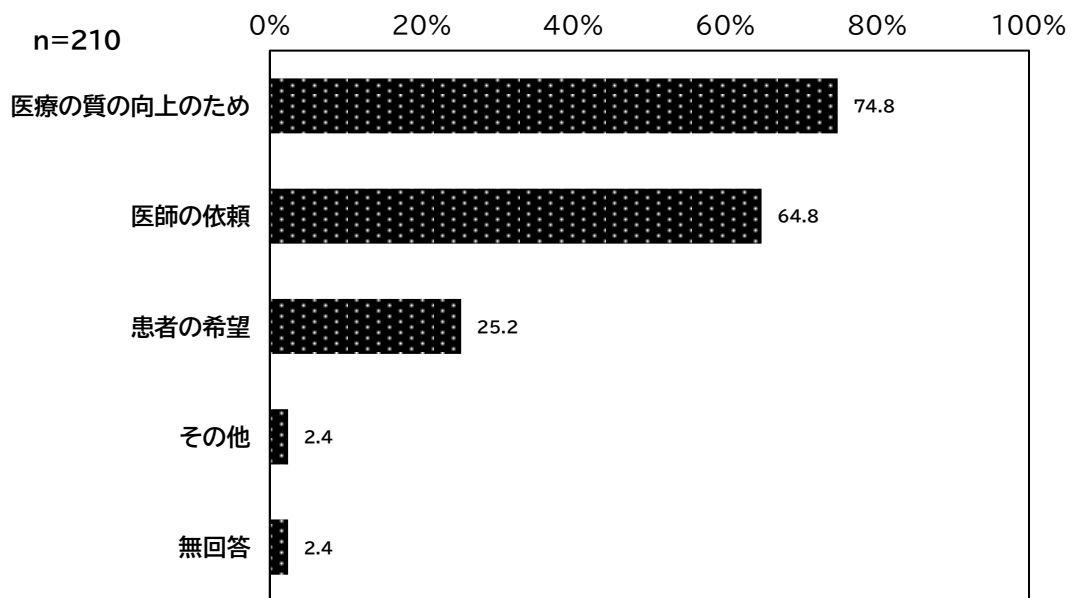
図表 5-76 注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者への病院薬剤師による患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務の実施有無



【「01. ある」を選択した場合】

注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者への病院薬剤師による患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務の実施有無について、「ある」を選択した場合、実施している理由としては「医療の質の向上のため」が最も多く74.8%であった。

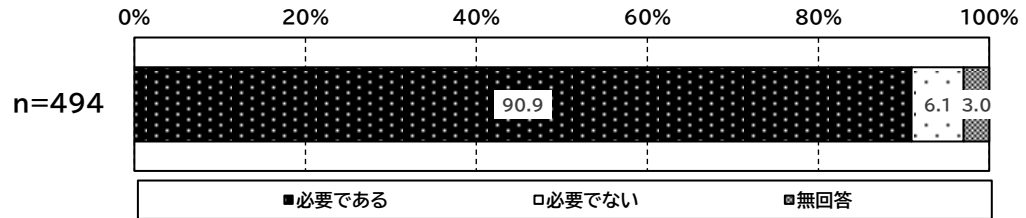
図表 5-77 注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者への病院薬剤師による患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務の実施理由（複数回答）



⑤ 内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合における、病院と薬局の連携の必要性

内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合における、病院と薬局の連携の必要性については「ある」が90.9%、「ない」が6.1%であった。

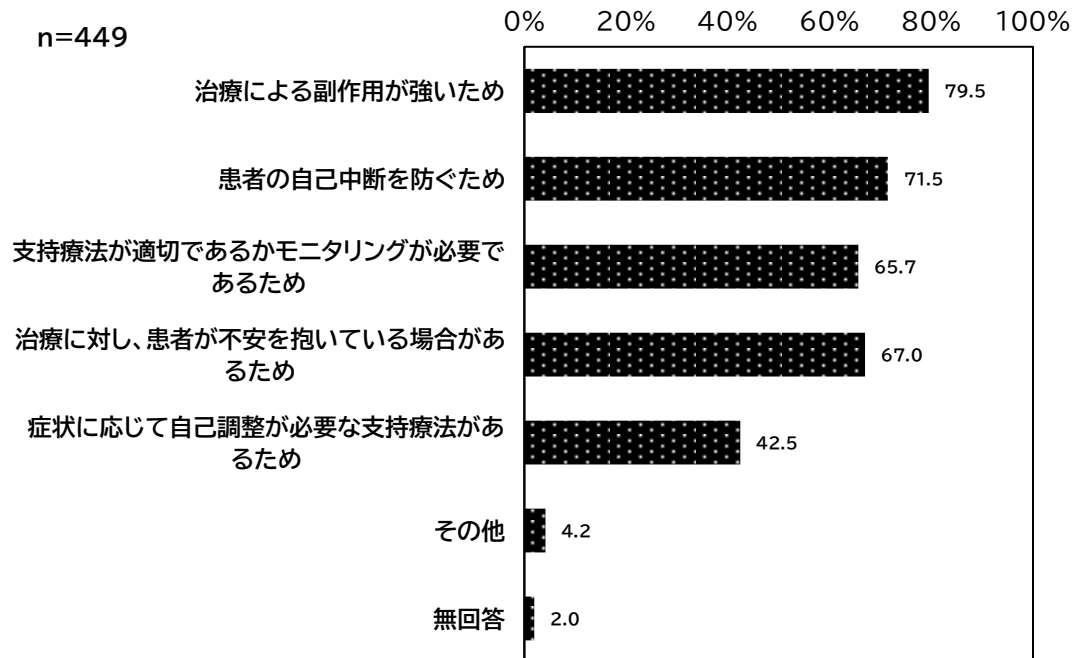
図表 5-78 内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合における、病院と薬局の連携の必要性



【「01. 必要である」を選択した場合】

内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合における、病院と薬局の連携の必要性については「ある」と回答した場合、その理由としては「治療による副作用が強いため」が最も多く79.5%であった。

図表 5-79 内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合における、病院と薬局の連携の必要がある理由（複数回答）

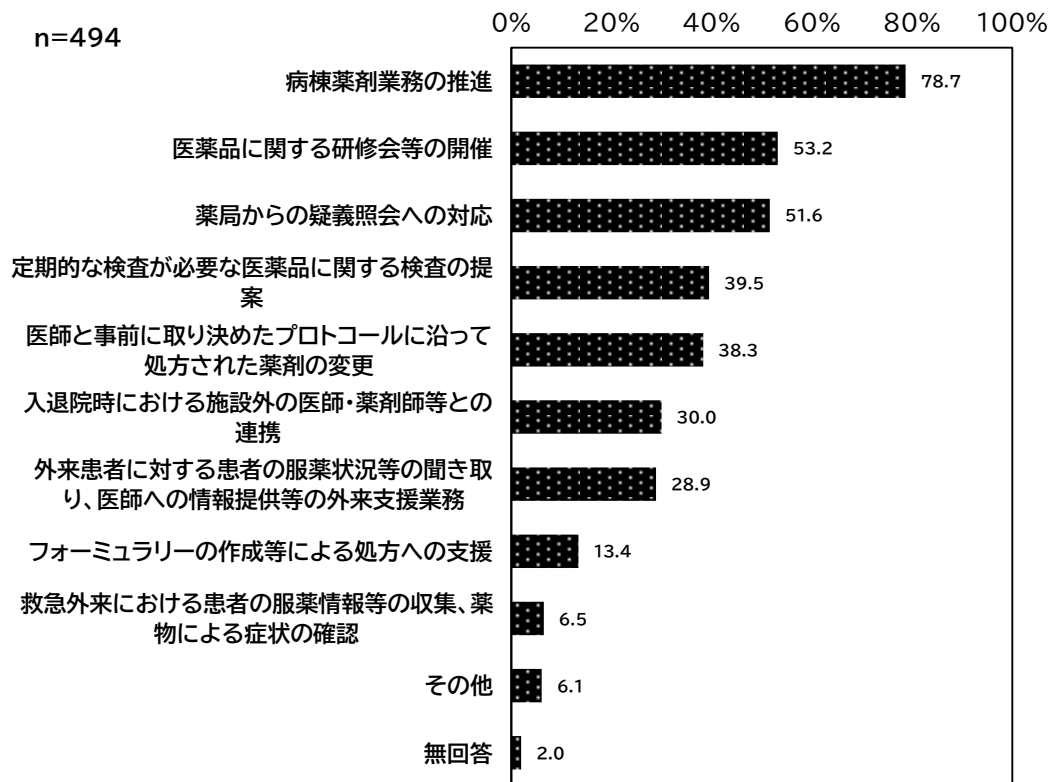


(5) 医療従事者の負担軽減における取組状況

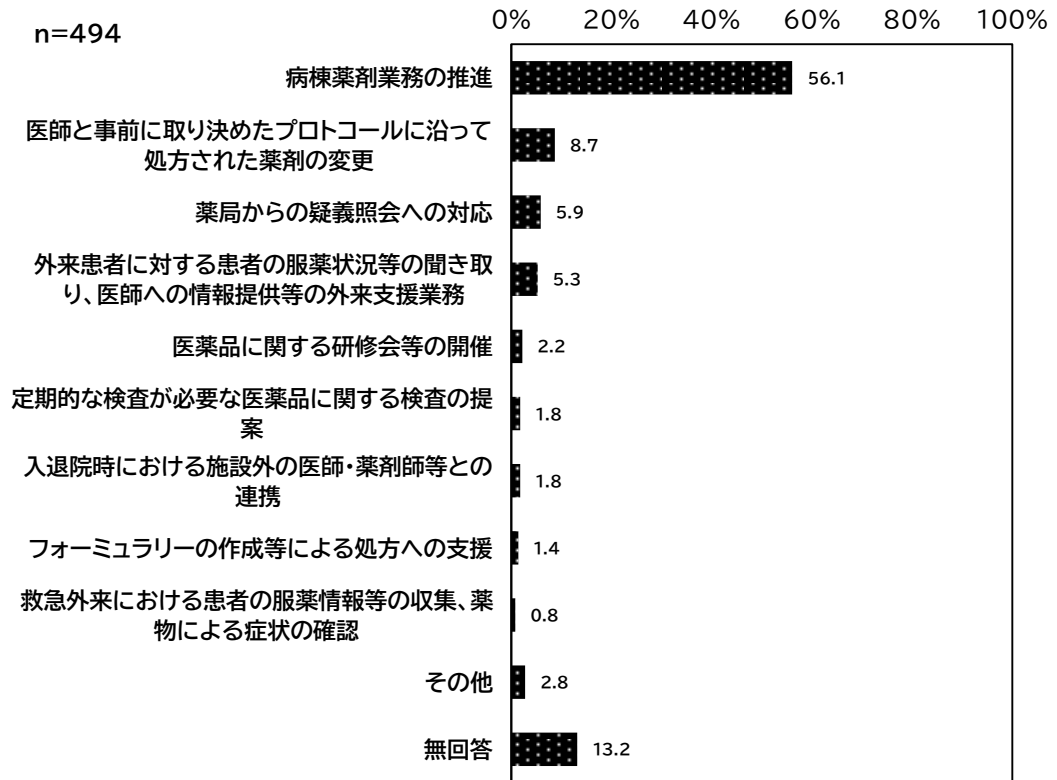
① 薬剤師以外の医療従事者負担を軽減するため、薬剤師が取組んでいること

薬剤師以外の医療従事者の負担を軽減するため、薬剤師が取組んでいることとしては、「病棟薬剤業務の推進」が最も多く78.7%であった。最も効果があると思うものとしての回答も同様に「病棟薬剤業務の推進」が最も多く56.1%であった。

図表 5-80 薬剤師以外の医療従事者負担を軽減するため、
薬剤師が取組んでいること（複数回答）



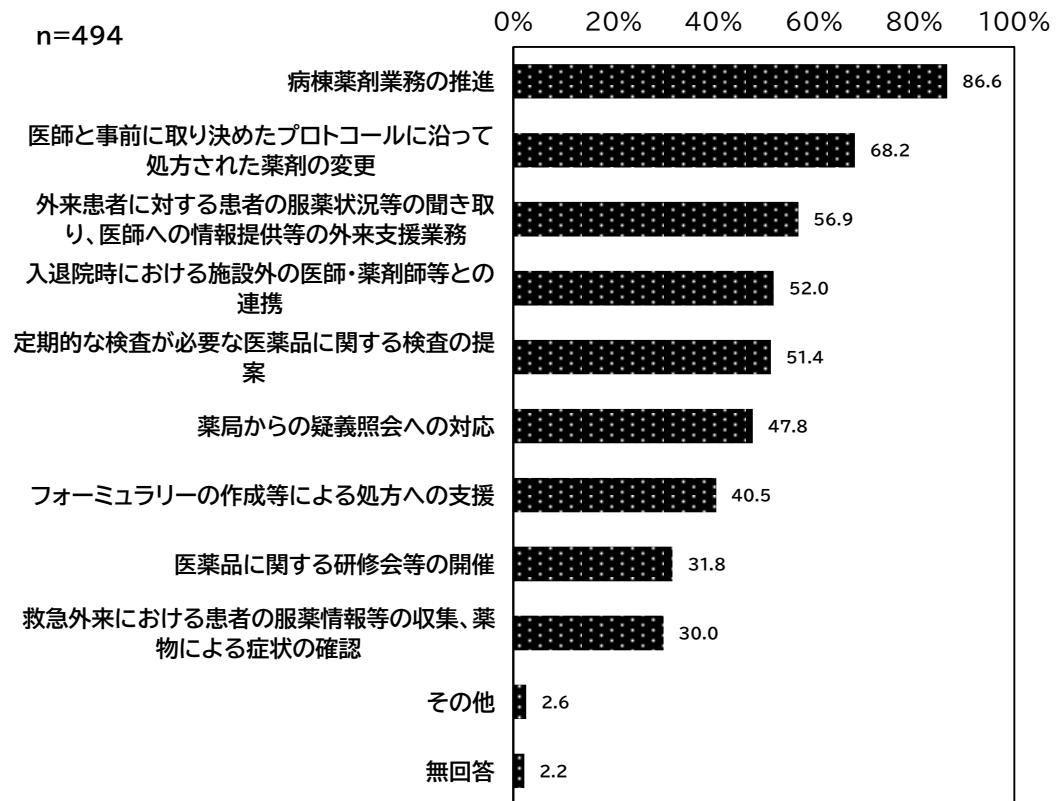
図表 5-81 薬剤師以外の医療従事者負担を軽減するため、
薬剤師が取り組んでいること（最も効果があると思うもの）



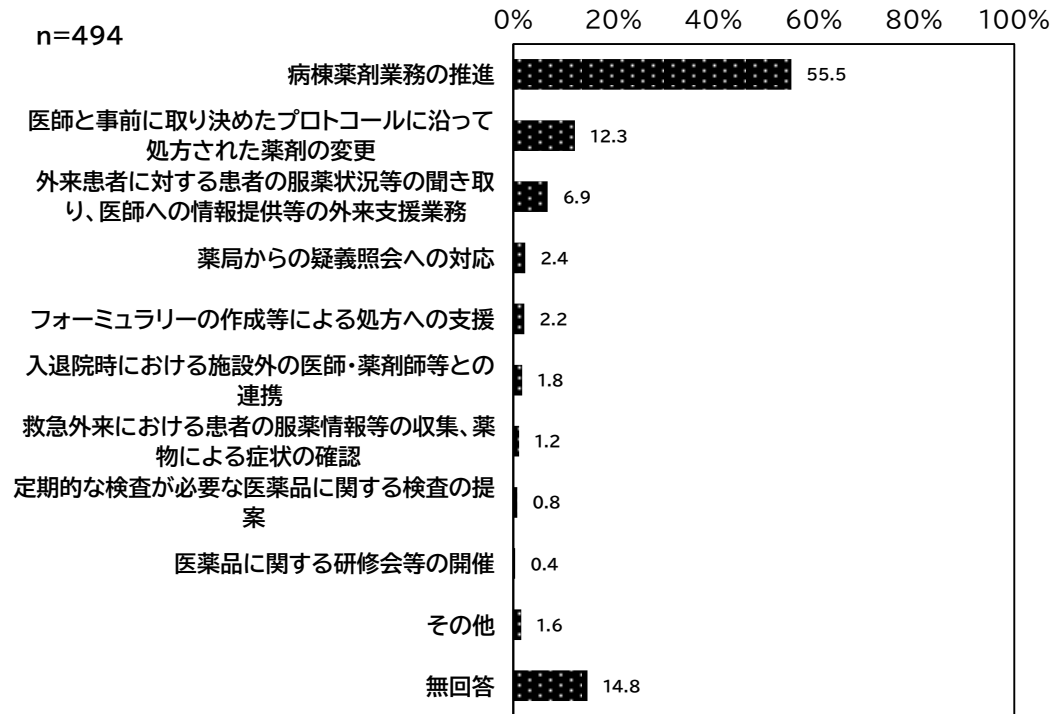
② 病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思うか

病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思うかという設問については、「病棟薬剤業務の推進」が最も多く 86.6%であった。最も効果があると思うものとしての回答も同様に「病棟薬剤業務の推進」が最も多く 55.5%であった。

図表 5-82 病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思うか（複数回答）



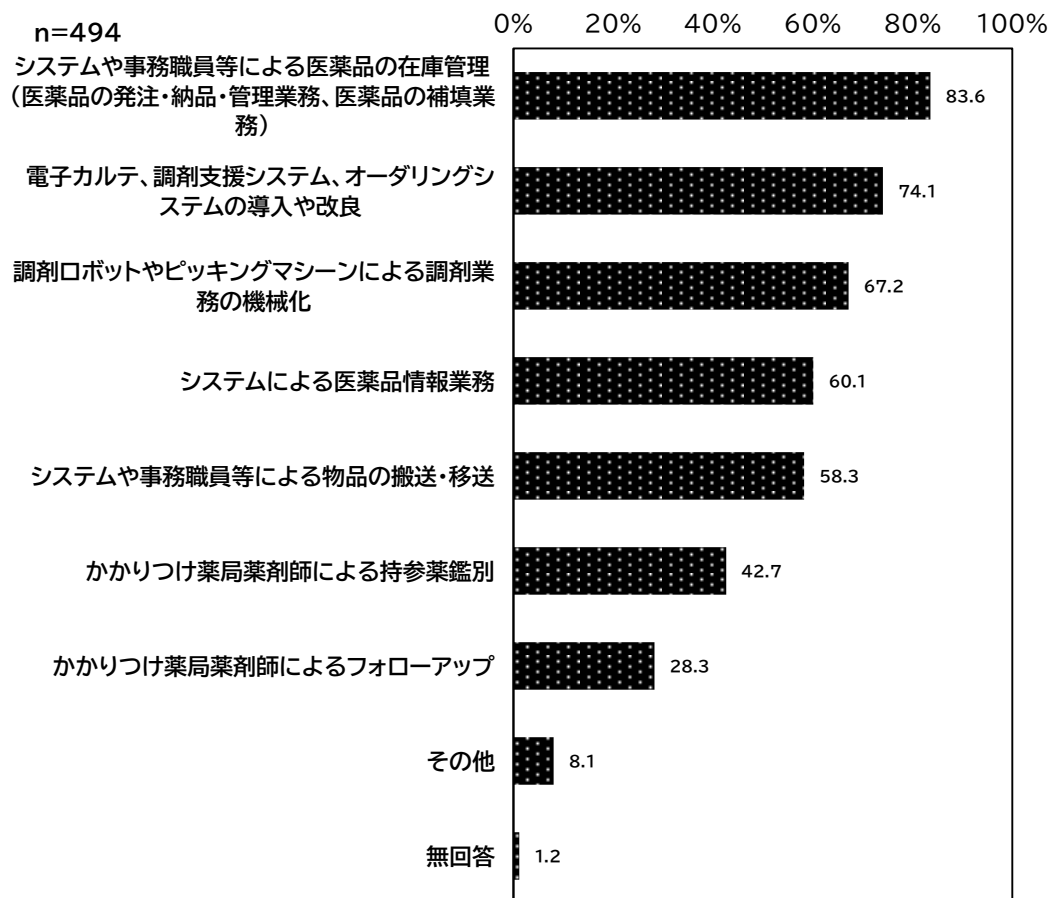
図表 5-83 病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思うか（最も効果があると思うもの）



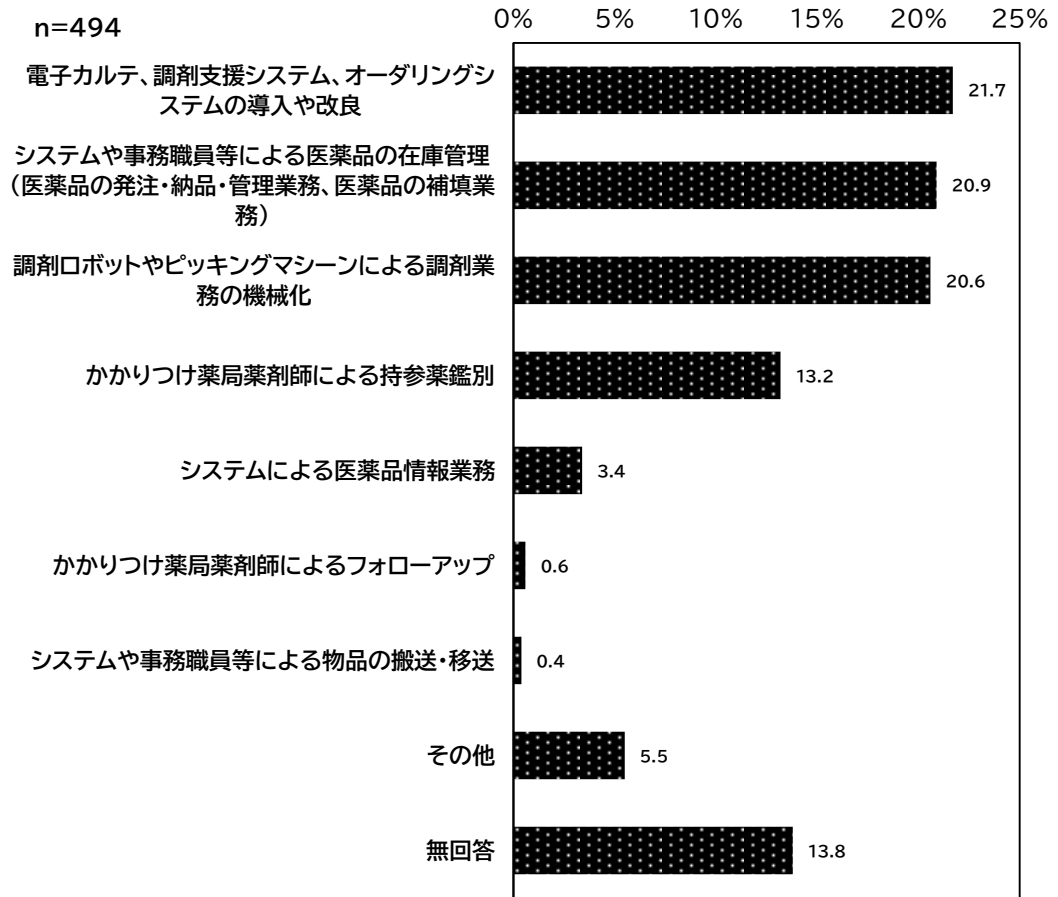
③ どのような取組を行えば、薬剤師の負担を軽減することができると思うか

どのような取組を行えば、薬剤師の負担を軽減することができると思うかという設問については、「システムや事務職員等による医薬品の在庫管理（医薬品の発注・納品・管理業務、医薬品の補填業務）」が最も多く 83.6%であった。最も効果があると思うものとして回答は、「電子カルテ、調剤支援システム、オーダーリングシステムの導入や改良」が最も多く 21.7%であった。

図表 5-84 どのような取組を行えば、薬剤師の負担を軽減することができると思うか（複数回答）



図表 5-85 どのような取組を行えば、薬剤師の負担を軽減することができると思うか（最も効果があると思うもの）



④ どのような取組を行えば、医療従事者の負担を軽減できると思うか

どのような取組を行えば、医療従事者の負担を軽減できると思うかという設問については、「医師看護師以外の職種にもマンパワー不足を補えるように支援できる体制を構築」や「各種において有資格者でなくてもできる業務を他へ移行し、それらを実施する人を別途雇用する」といった人員不足に関連する回答が多く見られた。

また、「電子カルテ、調剤支援システムの充実を図るなどの ICT 化」や「システム（調剤、薬剤管理指導ピッキングマシン、錠剤分包機）導入」等の業務の ICT 化に係る回答も多く見られた。

その他には「地域連携の強化（電子カルテ情報の共有、統一化）・医療情報の電子フォーマット共有化」等があった。

図表 5-86 どのような取組を行えば、医療従事者の負担を軽減できると思うか

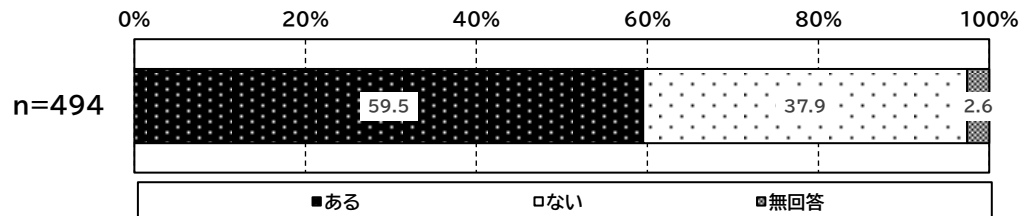
人員不足について	
	医療従事者数を充実させる
	医師看護師以外の職種にもマンパワー不足を補えるように支援できる体制を構築
	各種において有資格者でなくてもできる業務を他へ移行し、それらを実施する人を別途雇用する
業務の電子化・ICT 活用について	
	電子カルテ、調剤支援システムの充実を図るなどの ICT 化
	システム（調剤、薬剤ピッキングマシン、錠剤分包機）導入
	オーダーリング、電子カルテ、薬剤支援システムの導入
その他	
	地域連携の強化（電子カルテ情報の共有、統一化）・医療情報の電子フォーマット共有化
	薬歴の電子化
	院外処方せん発行率 100%

(6) 保険薬局との連携等

① 保険薬局からの文書による情報提供の有無（令和 3 年 4～6 月の期間）

保険薬局からの文書による情報提供については、「ある」が 59.5%、「ない」が 37.9%であった。

図表 5-87 保険薬局との連携等の状況



【「01. ある」を選択した場合】

保険薬局からの文書による情報提供については、「ある」と回答した場合、その件数を尋ねた。結果は以下のとおりであった。

図表 5-88 保険薬局からの文書による情報提供の件数

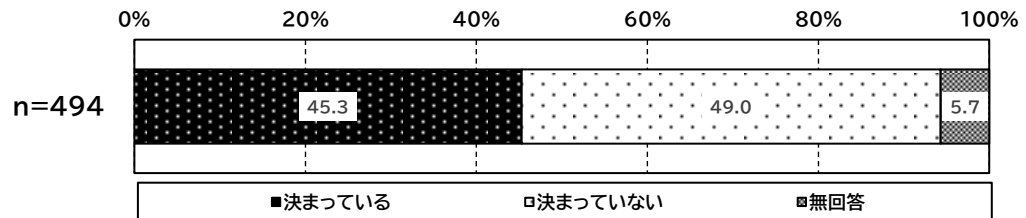
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
保険薬局からの文書による情報提供の件数	n=221	65.3	137.2	20.0

(単位:件/月)

② 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順が病院内で決まっているか

薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順について、「決まっている」が45.3%、「決まっていない」が49.0%であった。

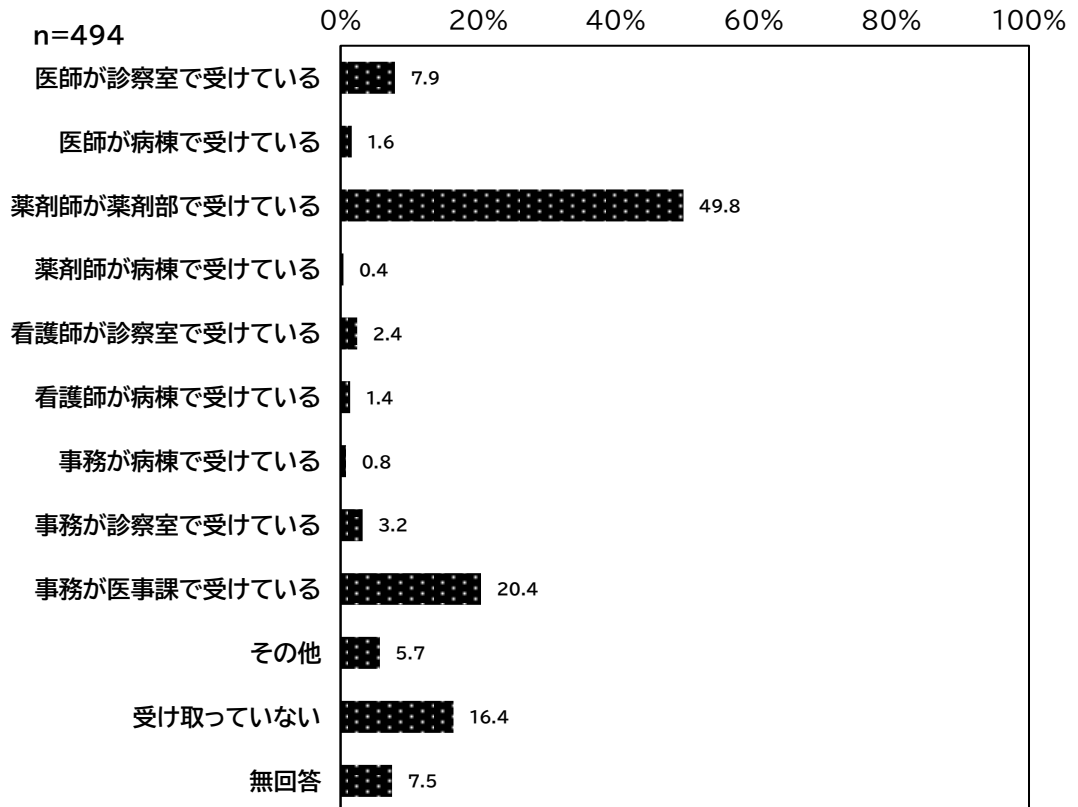
図表 5-89 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順が病院内で決まっているか



③ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）は誰がどこで受けているか

薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順の内容について、「薬剤師が薬剤部で受けている」が最も多く49.8%であった。

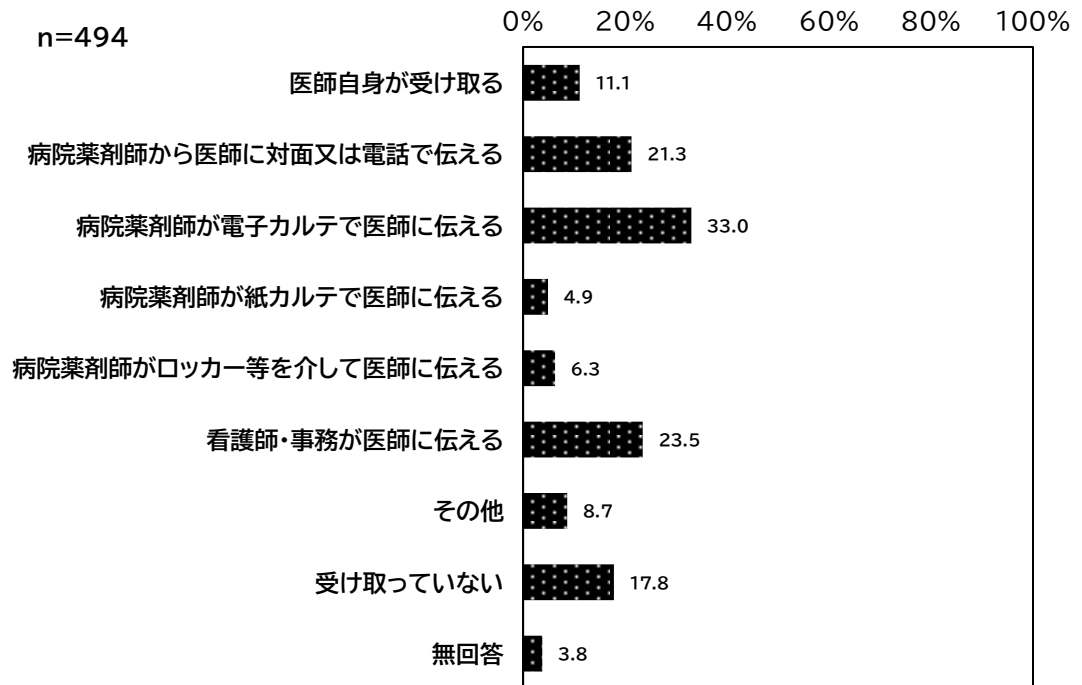
図表 5-90 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）は誰がどこで受けているか（複数回答）



④ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）はどのような方法で医師に情報提供されるか

薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順における医師への情報提供方法について、「病院薬剤師が電子カルテで医師に伝える」が最も多く 33.0%であった。

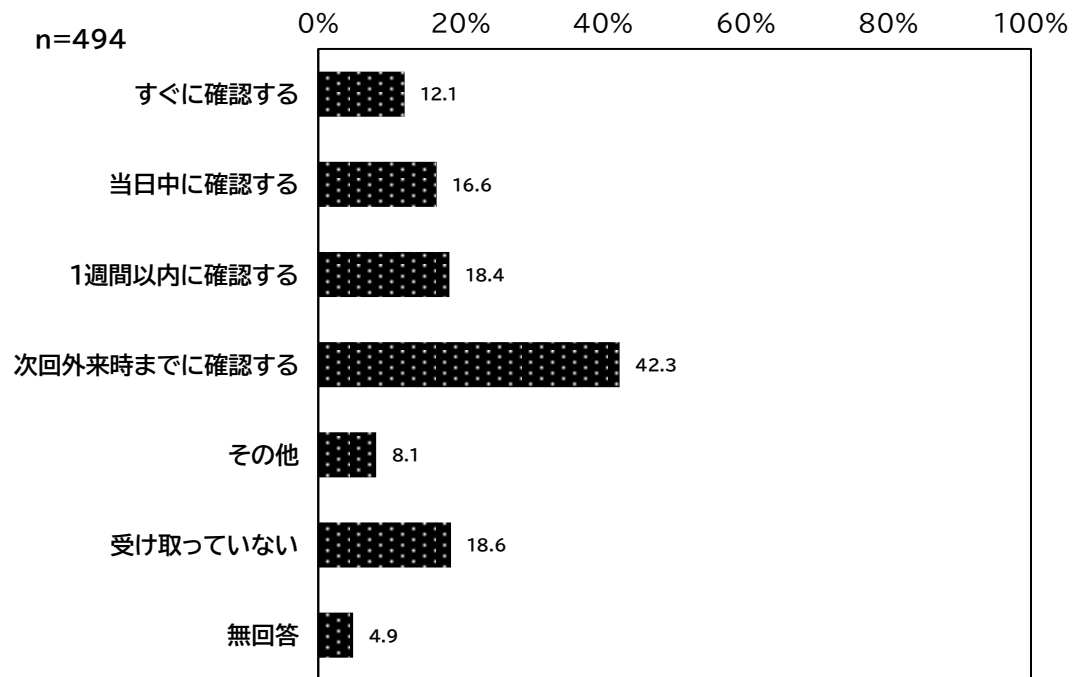
図表 5-91 ④ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）はどのような方法で医師に情報提供されるか（複数回答）



⑤ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の内容を医師が確認するまでにかかる時間

薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の内容を医師が確認するまでにかかる時間について、「次回外来時まで確認する」が最も多く42.3%であった。

図表 5-92 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の内容を医師が確認するまでにかかる時間（複数回答）



NDB データを用いた集計（令和3年度 働き方）

●地域医療体制確保加算の算定状況（令和2年11月診療分）

	地域医療体制確保加算
算定医療機関数	933
算定件数	31,329
算定回数	31,405

※ DPC 対象病院における算定医療機関数、算定件数及び算定回数は、
896 医療機関、576,580 件及び 576,615 回（出典：DPC データ）

●医師事務作業補助体制加算の算定状況（令和元年11月診療分）

	医師事務作業補助体制加算 1							
	1.5対1 補助体制 加算	2.0対1補 助体制加算	2.5対1補助 体制加算	3.0対1補助 体制加算	4.0対1補 助体制加算	5.0対1補 助体制加算	7.5対1補 助体制加算	10.0対1 補助体制加 算
算定医療機関数	392	476	280	165	186	251	160	36
算定件数	12,784	24,973	14,127	7,579	11,993	11,526	9,850	2,459
算定回数	12,844	25,079	14,195	7,597	12,042	11,578	9,885	2,472

	医師事務作業補助体制加算 2							
	1.5対1 補助体制 加算	2.0対1補 助体制加算	2.5対1補助 体制加算	3.0対1補助 体制加算	4.0対1補 助体制加算	5.0対1補 助体制加算	7.5対1補 助体制加算	10.0対1 補助体制加 算
算定医療機関数	94	138	133	94	136	158	120	44
算定件数	3,031	5,603	8,529	4,887	8,728	8,859	7,182	2,893
算定回数	3,038	5,624	8,575	4,904	8,759	8,879	7,204	2,916

●医師事務作業補助体制加算の算定状況（令和2年11月診療分）

	医師事務作業補助体制加算 1							
	1.5対1 補助体制 加算	2.0対1補 助体制加算	2.5対1補助 体制加算	3.0対1補助 体制加算	4.0対1補 助体制加算	5.0対1補 助体制加算	7.5対1補 助体制加算	10.0対1 補助体制加 算
算定医療機関数	440	518	294	174	187	302	166	42
算定件数	15,525	26,599	15,134	7,682	10,388	13,029	10,257	2,474
算定回数	15,586	26,689	15,215	7,705	10,415	13,083	10,288	2,479

	医師事務作業補助体制加算 2							
	1.5対1 補助体制 加算	2.0対1補 助体制加算	2.5対1補助 体制加算	3.0対1補助 体制加算	4.0対1補 助体制加算	5.0対1補 助体制加算	7.5対1補 助体制加算	10.0対1 補助体制加 算
算定医療機関数	86	134	117	90	113	164	133	43
算定件数	3,300	5,966	7,350	5,512	5,732	8,468	7,278	2,111
算定回数	3,315	5,992	7,385	5,530	5,750	8,495	7,302	2,113

●総合入院体制加算の算定状況（令和元年 11 月診療分）

	総合入院体制加算 1	総合入院体制加算 2	総合入院体制加算 3
算定医療機関数	43	174	149
算定件数	1,582	5,057	2,970
算定回数	9,428	28,479	15,716

●総合入院体制加算の算定状況（令和 2 年 11 月診療分）

	総合入院体制加算 1	総合入院体制加算 2	総合入院体制加算 3
算定医療機関数	45	190	152
算定件数	1,494	5,832	2,877
算定回数	9,230	33,754	16,174

●急性期看護補助体制加算、看護補助加算等の算定状況（令和元年11月診療分、令和2年11月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数順で掲載。

※算定医療機関数が3未満又は算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

急性期看護補助体制加算	令和元年11月診療分											
	25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上)			25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割未満)			50対1急性期看護補助体制加算			75対1急性期看護補助体制加算		
	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数
急性期一般入院料1	695	25,662	207,923	104	2,628	21,465	490	13,823	112,645	41	1,601	13,319
急性期一般入院料2	50	3,674	31,542	21	1,312	13,375	20	955	8,952	*	*	*
急性期一般入院料3	-	-	-	*	*	*	-	-	-	-	-	-
急性期一般入院料4	379	28,419	284,871	41	4,461	45,769	130	9,803	100,335	4	249	2,745
急性期一般入院料5	264	21,654	220,233	35	2,032	21,644	93	8,491	88,111	3	273	2,960
急性期一般入院料6	98	8,886	92,004	13	1,042	11,327	63	5,512	58,009	3	134	1,208
急性期一般入院料7	20	1,416	15,772	3	97	993	13	830	9,084	4	343	3,413
特定機能病院入院基本料(一般7対1)	22	1,614	14,439	22	1,088	10,078	40	2,453	22,721	*	*	*
特定機能病院入院基本料(一般10対1)	-	-	-	-	-	-	*	*	*	-	-	-
専門病院入院基本料(7対1)	*	*	*	3	99	888	5	172	1,659	*	*	*
専門病院入院基本料(10対1)	-	-	-	3	113	1,174	*	*	*	-	-	-

急性期看護補助体制加算	令和2年11月診療分											
	25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上)			25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割未満)			50対1急性期看護補助体制加算			75対1急性期看護補助体制加算		
	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数	件数	算定件数	算定回数
急性期一般入院料1	834	27,660	222,604	154	4,297	36,126	350	10,219	84,015	18	1,066	9,450
急性期一般入院料2	64	3,021	27,877	28	1,639	16,196	19	753	7,814	-	-	-
急性期一般入院料3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性期一般入院料4	530	36,549	368,643	64	5,243	54,131	146	11,879	121,970	5	336	3,879
急性期一般入院料5	167	12,850	134,875	13	1,040	11,407	67	5,062	53,891	*	*	*
急性期一般入院料6	72	5,736	59,298	9	539	5,704	41	3,085	32,697	*	*	*
急性期一般入院料7	18	1,055	11,825	6	273	2,725	15	804	8,742	4	251	2,658
特定機能病院入院基本料(一般7対1)	34	2,192	20,368	25	1,194	11,360	26	1,543	14,545	*	*	*
特定機能病院入院基本料(一般10対1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専門病院入院基本料(7対1)	4	149	1,342	4	154	1,526	6	335	3,689	-	-	-
専門病院入院基本料(10対1)	-	-	-	3	125	1,410	*	*	*	-	-	-

看護補助加算	令和元年 11 月診療分								
	看護補助加算 1			看護補助加算 2			看護補助加算 3		
地域一般入院料 1	196	13,521	168,549	76	4,085	49,235	*	*	*
地域一般入院料 2	5	266	3,410	102	6,424	77,014	3	126	1,345
地域一般入院料 3	497	26,176	441,581	120	5,780	91,474	13	871	12,844
結核病棟 13 対 1 入院基本料	*	*	*	*	*	*	*	*	*
結核病棟 15 対 1 入院基本料	5	96	2,004	*	*	*	-	-	-
精神病棟 13 対 1 入院基本料	4	121	2,345	69	3,455	71,433	4	201	4,458
精神病棟 15 対 1 入院基本料	657	53,246	1,435,860	437	42,473	1,164,344	59	4,428	120,574
精神病棟 18 対 1 入院基本料	5	229	6,093	14	1,903	53,631	3	440	12,587
精神病棟 20 対 1 入院基本料	3	230	6,161	4	445	12,482	3	363	10,527
特定機能病院入院基本料 (精神 13 対 1)	-	-	-	36	1,387	28,451	-	-	-
特定機能病院入院基本料 (精神 15 対 1)	3	103	2,221	-	-	-	-	-	-
障害者施設等 13 対 1 入院基本料	28	610	13,372	119	6,323	155,192	-	-	-
障害者施設等 15 対 1 入院基本料	36	1,761	43,092	7	332	7,644	-	-	-

看護補助加算	令和 2 年 11 月診療分								
	看護補助加算 1			看護補助加算 2			看護補助加算 3		
地域一般入院料 1	186	11,257	141,913	72	3,690	44,577	3	127	1,597
地域一般入院料 2	5	143	1,706	90	5,095	62,042	3	107	1,278
地域一般入院料 3	492	23,820	409,225	123	5,316	85,744	13	692	10,231
結核病棟 13 対 1 入院基本料	-	-	-	*	*	*	-	-	-
結核病棟 15 対 1 入院基本料	4	95	2,252	*	*	*	-	-	-
精神病棟 13 対 1 入院基本料	5	138	2,842	70	3,257	66,707	4	179	3,812
精神病棟 15 対 1 入院基本料	677	54,073	1,466,909	421	39,935	1,098,795	55	4,234	113,680
精神病棟 18 対 1 入院基本料	5	423	11,738	14	1,938	54,693	4	461	13,532
精神病棟 20 対 1 入院基本料	3	235	6,180	4	454	12,402	*	*	*
特定機能病院入院基本料 (精神 13 対 1)	*	*	*	35	1,271	24,703	-	-	-
特定機能病院入院基本料 (精神 15 対 1)	*	*	*	-	-	-	-	-	-
障害者施設等 13 対 1 入院基本料	31	837	19,541	105	5,596	138,201	-	-	-
障害者施設等 15 対 1 入院基本料	28	1,310	32,627	7	331	7,880	-	-	-

看護補助加算 (障害者施設等入院基本料)	令和元年 11 月診療分					
	看護補助加算 (14 日以内)			看護補助加算 (15 日以上 30 日以内)		
障害者施設等 7 対 1 入院基本料	12	273	3,499	13	191	3,810
障害者施設等 10 対 1 入院基本料	185	3,180	44,168	193	2,804	58,670

看護補助加算 (障害者施設等入院基本料)	令和 2 年 11 月診療分					
	看護補助加算 (14 日以内)			看護補助加算 (15 日以上 30 日以内)		
障害者施設等 7 対 1 入院基本料	12	314	4,059	14	197	3,824
障害者施設等 10 対 1 入院基本料	192	3,121	44,300	203	2,721	57,064

看護補助者配置加算 (地域包括ケア病棟入院料)	令和元年 11 月診療分			令和 2 年 11 月診療分		
	看護補助者配置加算			看護補助者配置加算		
地域包括ケア病棟入院料 1	357	23,519	335,293	472	29,773	428,711
地域包括ケア病棟入院医療管理料 1	290	10,659	152,596	330	11,342	166,502
地域包括ケア病棟入院料 2	466	33,228	440,423	422	27,068	356,843
地域包括ケア病棟入院医療管理料 2	188	4,544	61,394	183	4,294	59,038
地域包括ケア病棟入院料 3	13	493	7,896	11	463	7,039
地域包括ケア病棟入院医療管理料 3	15	378	5,790	19	534	8,416
地域包括ケア病棟入院料 4	20	698	10,296	15	585	8,155
地域包括ケア病棟入院医療管理料 4	22	432	6,545	15	250	4,297

※生活療養を受ける場合についての算定は除く

●看護職員夜間配置加算の算定状況（令和元年11月診療分、令和2年11月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数で掲載。

※算定医療機関数が3未満又は算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

看護職員夜間配置加算	令和元年11月診療分											
	看護職員夜間12対1配置加算1			看護職員夜間12対1配置加算2			看護職員夜間16対1配置加算1			看護職員夜間16対1配置加算2		
急性期一般入院料1	352	10,062	78,568	106	3,050	26,219	323	8,666	70,569	*	*	*
急性期一般入院料2	4	40	179	*	*	*	12	790	6,997	9	608	5,314
急性期一般入院料3	-	-	-	*	*	*	-	-	-	-	-	-
急性期一般入院料4	9	367	3,344	5	259	2,050	45	2,680	27,861	22	1,956	19,143
急性期一般入院料5	4	293	2,235	*	*	*	34	2,887	27,007	21	1,797	19,204
急性期一般入院料6	*	*	*	*	*	*	11	795	7,714	6	472	4,265
急性期一般入院料7	-	-	-	-	-	-	*	*	*	-	-	-
特定機能病院入院基本料（一般7対1）	51	3,194	29,201	25	1,408	12,757	7	433	4,012	-	-	-
専門病院入院基本料（7対1）	-	-	-	*	*	*	*	*	*	-	-	-

看護職員夜間配置加算	令和2年11月診療分											
	看護職員夜間12対1配置加算1			看護職員夜間12対1配置加算2			看護職員夜間16対1配置加算1			看護職員夜間16対1配置加算2		
急性期一般入院料1	482	13,909	108,968	74	2,309	19,876	340	9,355	77,571	*	*	*
急性期一般入院料2	8	612	5,974	3	122	1,463	20	551	5,024	11	342	2,743
急性期一般入院料3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性期一般入院料4	21	731	6,765	5	251	2,005	84	5,866	58,522	29	2,496	24,825
急性期一般入院料5	3	324	2,777	*	*	*	17	1,044	11,082	9	509	5,592
急性期一般入院料6	3	141	1,246	-	-	-	10	664	5,925	4	232	2,250
急性期一般入院料7	-	-	-	-	-	-	3	230	2,319	-	-	-
特定機能病院入院基本料（一般7対1）	66	3,916	36,463	14	657	6,165	4	303	3,169	-	-	-
専門病院入院基本料（7対1）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-	-

看護職員夜間配置加算 （各入院料の注加算）	令和元年11月診療分			令和2年11月診療分		
	看護職員夜間配置加算			看護職員夜間配置加算		
地域包括ケア病棟入院料1	375	24,935	395,319	75	5,423	77,130
地域包括ケア病棟入院医療管理料1	295	11,021	167,448	30	1,188	17,034
地域包括ケア病棟入院料2	495	36,057	516,131	91	6,752	82,384
地域包括ケア病棟入院医療管理料2	194	4,678	64,157	12	359	4,635
地域包括ケア病棟入院料3	13	493	7,896	*	*	*
地域包括ケア病棟入院医療管理料3	16	379	6,383	3	91	1,118
地域包括ケア病棟入院料4	20	698	10,732	*	*	*
地域包括ケア病棟入院医療管理料4	24	448	6,819	3	20	203
精神科救急入院料1（30日以内）	63	2,537	35,182	84	3,411	49,100
精神科救急入院料1（31日以上）	63	936	12,282	84	1,322	16,827
精神科救急入院料2（30日以内）	-	-	-	-	-	-
精神科救急入院料2（31日以上）	-	-	-	-	-	-
精神科救急・合併症入院料（30日以内）	9	235	3,138	10	229	3,139
精神科救急・合併症入院料（31日以上）	9	85	1,088	10	88	950

※地域包括ケア病棟入院料について、生活療養を受ける場合についての算定は除く

●夜間看護体制加算の算定状況（令和元年11月診療分、令和2年11月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数の順で掲載。

※算定医療機関数が3未満又は算定件数が10件未満の場合は「*」として掲載。

夜間看護体制加算	令和元年11月診療分								
	夜間看護体制加算 (急性期看護補助体制加算)			夜間看護体制加算 (看護補助加算)			夜間看護体制加算 (各入院料の注加算)		
急性期一般入院料1	296	9,839	81,749						
急性期一般入院料2	15	1,345	13,111						
急性期一般入院料3	-	-	-						
急性期一般入院料4	148	12,561	127,346						
急性期一般入院料5	83	7,067	71,736						
急性期一般入院料6	36	3,412	34,380						
急性期一般入院料7	7	558	6,333						
特定機能病院入院基本料（一般7対1）	7	462	4,103						
専門病院入院基本料（7対1）	*	*	*						
地域一般入院料1				71	2,938	28,146			
地域一般入院料2				9	400	4,112			
地域一般入院料3				74	1,649	19,054			
精神病棟13対1入院基本料				5	54	654			
精神病棟15対1入院基本料				46	293	3,999			
精神病棟18対1入院基本料				*	*	*			
障害者施設等7対1入院基本料							4	54	577
障害者施設等10対1入院基本料							137	1,692	19,740
障害者施設等13対1入院基本料				29	230	2,776			
障害者施設等15対1入院基本料				4	43	494			

夜間看護体制加算	令和2年11月診療分								
	夜間看護体制加算 (急性期看護補助体制加算)			夜間看護体制加算 (看護補助加算)			夜間看護体制加算 (各入院料の注加算)		
急性期一般入院料1	399	11,156	91,094						
急性期一般入院料2	30	1,424	12,909						
急性期一般入院料3	-	-	-						
急性期一般入院料4	234	17,029	173,129						
急性期一般入院料5	54	5,360	55,653						
急性期一般入院料6	22	1,622	17,553						
急性期一般入院料7	5	286	3,009						
特定機能病院入院基本料(一般7対1)	22	1,442	13,637						
専門病院入院基本料(7対1)	*	*	*						
地域一般入院料1				67	2,471	25,047			
地域一般入院料2				8	257	2,837			
地域一般入院料3				85	1,691	19,484			
精神病棟13対1入院基本料				8	95	1,142			
精神病棟15対1入院基本料				51	272	3,718			
精神病棟18対1入院基本料				*	*	*			
障害者施設等7対1入院基本料							3	37	404
障害者施設等10対1入院基本料							144	1,770	20,902
障害者施設等13対1入院基本料				24	245	2,946			
障害者施設等15対1入院基本料				*	*	*			

● 摂食機能療法の算定状況（令和元年11月診療分、令和2年11月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数で掲載。

	令和元年11月診療分						令和2年11月診療分		
	経口摂取回復促進加算1			経口摂取回復促進加算2			摂食嚥下支援加算		
摂食機能療法1 (30分以上)	27	194	3,703	-	-	-	119	934	13,147
摂食機能療法2 (30分未満)	-	-	-	-	-	-	9	18	70

●病棟薬剤業務実施加算の算定状況

	令和元年 11 月診療分			令和 2 年 11 月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数	算定医療機関数	算定件数	算定回数
病棟薬剤業務実施加算 1	1,683	113,373	238,142	1,805	116,297	251,535
病棟薬剤業務実施加算 2	372	37,625	136,991	487	51,305	182,424

● 薬剤総合評価調整加算の算定状況	令和元年 11 月診療分			令和 2 年 11 月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数	算定医療機関数	算定件数	算定回数
薬剤総合評価調整加算	928	2,704	2,704	1,194	7,436	7,447
薬剤調整加算	-	-	-	859	2,751	2,753

●退院時薬剤情報管理指導料の算定状況（令和 2 年 11 月診療分）

	令和元年 11 月診療分			令和 2 年 11 月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数	算定医療機関数	算定件数	算定回数
退院時薬剤情報管理指導料	4,540	253,370	256,111	4,541	243,925	245,586
退院時薬剤情報連携加算	-	-	-	821	9,280	9,329

●薬剤管理指導料（令和 2 年 11 月診療分）

	令和元年 11 月診療分			令和 2 年 11 月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数	算定医療機関数	算定件数	算定回数
薬剤管理指導料 1	4,177	337,388	553,960	4,233	345,611	580,622
薬剤管理指導料 2	4,304	514,856	714,738	4,364	493,205	696,966

●外来化学療法加算（令和 2 年 11 月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
外来化学療法加算 1 (1) ①	84	218	253
外来化学療法加算 1 (1) ②	1,228	28,335	29,598
外来化学療法加算 1 (2) ①	47	138	260
外来化学療法加算 1 (2) ②	1,587	161,545	254,433
外来化学療法加算 2 (1) ①	9	47	51
外来化学療法加算 2 (1) ②	393	4,955	5,081
外来化学療法加算 2 (2) ①	3	38	60
外来化学療法加算 2 (2) ②	338	4,017	6,265

●連携充実加算の算定状況（令和2年11月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
連携充実加算	580	32,889	32,889

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る
評価等に関する実施状況調査

- ※ この施設票は、医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設におけるチーム医療の実施状況や、医療従事者の負担軽減に関する取組とその効果、今後の課題等についてお伺いするものです。
- ※ ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ※ 特に断りのない質問については、令和3年7月1日時点の状況についてご記入ください。
- ※ 災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の概要についてお伺いします。

①開設者 (○は1つ)	01. 国	02. 公立	03. 公的	04. 社会保険関係団体						
	05. 医療法人 (社会医療法人除く)	06. 会社	07. その他の法人	08. 個人						
※国：国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構 公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人 公的：日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会 社会保険関係団体：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合 医療法人：医療法人 会社：株式会社等 その他の法人：社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人										
②承認等の状況 (あてはまる番号すべてに○)	01. 高度救命救急センター		02. 救命救急センター							
	03. 災害拠点病院		04. へき地医療拠点病院							
	05. 総合周産期母子医療センター		06. 地域周産期母子医療センター							
	07. 小児救急医療拠点病院		08. 特定機能病院							
	09. 地域医療支援病院									
	10. 二次救急医療機関									
	「10」を選んだ施設は、以下(1),(2)についてもお答えください。(1),(2)それぞれ○は1つ →(1)二次救急医療体制※：（ 01.病院群輪番制 02.拠点型 03.共同利用型 ） 01. 病院輪番制と回答した場合 (2) 当番となる頻度： <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>01.月に1回未満</td> <td>02.月に1~4回</td> <td>03.月に5~8回</td> </tr> <tr> <td>04.月に9~12回</td> <td>05.月に13回以上</td> <td></td> </tr> </table>					01.月に1回未満	02.月に1~4回	03.月に5~8回	04.月に9~12回	05.月に13回以上
01.月に1回未満	02.月に1~4回	03.月に5~8回								
04.月に9~12回	05.月に13回以上									
11. 専門病院（主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たもの）										
12. 上記のいずれも該当しない										

※病院群輪番制：地域内の病院群が共同連帯して、輪番方式により救急患者の受入態勢を整えている場合をいう。

拠点型：病院群輪番制の一つで、365日に入院を要する救急患者の受入体制を整えている場合をいう

（いわゆる「固定輪番制」や「固定通年制」等も含む）。

共同利用型：医師会立病院等が休日夜間に病院の一部を開放し、地域医師会の協力により実施するものをいう。

③ 標榜診療科 ^{注1} (あてはまる番号すべてに○)	01. 内科系	02. 皮膚科	03. 小児科	04. 精神科
	05. 外科系	06. 泌尿器科	07. 脳神経外科	08. 整形外科
	09. 眼科	10. 産婦人科・産科	11. リハビリテーション科	12. 放射線科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 耳鼻咽喉科	
	16. 歯科・歯科口腔外科		17. その他	
④ DPC 対応状況 (○は1つ)	01. DPC対象病院	02. DPC準備病院	03. DPC対象病院・準備病院以外	

注1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等
外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等

⑤ (1) 貴施設において届出を行っている入院基本料 ^{注2} は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)				
(2) 上記(1)で○をつけた入院基本料について、あてはまる番号をすべてお選びください。				
(1) 01~06のうち、あてはまる番号すべてに○		(2) 左記(1)で○をつけた入院料について、あてはまる番号すべてに○		
01.	一般病棟入院基本料 →	01. 急性期一般入院料 1 03. 急性期一般入院料 3 05. 急性期一般入院料 5 07. 急性期一般入院料 7	02. 急性期一般入院料 2 04. 急性期一般入院料 4 06. 急性期一般入院料 6 08. 地域一般入院料 1 10. 地域一般入院料 3	
02.	療養病棟入院基本料 →	01. 療養病棟入院料 1 03. 療養病棟入院基本料注11 ^{※1}	02. 療養病棟入院料 2	
		夜間看護加算	01. 届出あり	02. 届出なし
03.	結核病棟入院基本料 →	01. 7対1 05. 18対1	02. 10対1 06. 20対1	03. 13対1 04. 15対1
04.	精神病棟入院基本料 →	01. 10対1 05. 20対1	02. 13対1	03. 15対1 04. 18対1
05.	特定機能病院入院基本料 →	一般病棟 結核病棟 精神病棟	01. 7対1 04. 15対1 01. 7対1 04. 15対1	02. 10対1 03. 13対1 02. 10対1 03. 13対1
06.	その他の入院基本料 →	01. 7対1	02. 10対1	03. それ以外

注2. 専門病院入院基本料、障害者施設等入院基本料については、その他の入院基本料としてご回答ください。

※1 看護職員配置が20対1未満または医療区分2・3の患者割合50%未満の場合

⑤-1 上記⑤で、以下の入院基本料のいずれかを選んだ施設にお伺いします。	
<ul style="list-style-type: none"> ・「01. 一般病棟入院基本料」の01~07 ・「05. 特定機能病院入院基本料」の「一般病棟」の01又は02 ・「06. その他の入院基本料」の01又は02 	
(1) 届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別 (令和3年7月1日時点)	01. 重症度、医療・看護必要度Ⅰ 02. 重症度、医療・看護必要度Ⅱ
(2) 重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合 ^{注3} ※Ⅰ又はⅡどちらも算出している場合は両方お答えください。	重症度、医療・看護必要度Ⅰ () % 重症度、医療・看護必要度Ⅱ () % ※令和3年4月~令和3年6月 (3か月間の平均)

注3. 「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」のモニタリング及び処置等に係る得点(A得点)2点以上かつ患者の状況等に係る得点(B得点)3点以上、A得点3点以上又は手術等の医学的状況に係る得点(C得点)が1点以上を満たす患者割合。小数点以下第2位を切り捨てし、小数点第1位までご記入ください。

※すべての施設の方がお答えください。

⑥貴施設において届出を行っている 特定入院料等 として該当するものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）		
01. 救命救急入院料	02. 特定集中治療室管理料	03. ハイケアユニット入院医療管理料
04. 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	05. 小児特定集中治療室管理料	06. 新生児特定集中治療室管理料
07. 総合周産期特定集中治療室管理料		08. 新生児治療回復室入院医療管理料
09. 小児入院医療管理料	10. 回復期リハビリテーション病棟入院料	11. 地域包括ケア病棟入院料
12. 地域包括ケア入院医療管理料	13. 特殊疾患病棟入院料	14. 緩和ケア病棟入院料
15. 精神科救急入院料	16. 精神科急性期治療病棟入院料	17. 精神科救急・合併症入院料
18. 児童・思春期精神科入院医療管理料		19. 精神療養病棟入院料
20. 認知症治療病棟入院料	21. 地域移行機能強化病棟入院料	22. 短期滞在手術等基本料

⑦貴施設における許可病床数 ^{注4} をご記入ください。「療養病床」には介護療養病床も含めてください。					
1) 一般病床	2) 療養病床	3) 精神病床	4) 結核病床	5) 感染症病床	6) 病院全体
床	床	床	床	床	床

注4. 医療法に基づく病床数

⑧令和3年7月1日時点で、貴施設で従事している医療従事者等の常勤・非常勤（常勤換算）別の職員数 ^{注5} をご記入ください。（医師数に限っては令和元年7月1日及び令和2年7月1日時点の職員数もご記入ください。）			
		常勤	非常勤（常勤換算） ^{注6}
令和3年	1) 医師	人	人
	2) 歯科医師	人	人
	3) 保健師・助産師・看護師	人	人
	3)-1 うち特定行為研修修了者である看護師	人	人
	4) 准看護師	人	人
	5) 看護補助者	人	人
	6) 歯科衛生士	人	人
	7) 薬剤師	人	人
	8) 臨床検査技師	人	人
	9) 臨床工学技士	人	人
	10) 管理栄養士	人	人
	11) 理学療法士	人	人
	12) 作業療法士	人	人
	13) 言語聴覚士	人	人
	14) 医師事務作業補助者	人	人
	15) MSW（社会福祉士等）	人	人
	16) その他	人	人
	17) 合計	人	人
令和2年	1) 医師	人	人
令和元年	1) 医師	人	人

注5. 全ての職種について産休中や育児休職中等の職員は含めないでください。

注6. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、**小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位まで**お答えください。

- 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- 1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

⑨令和元年および令和3年の1～6月の各1か月間における貴施設の入院延べ患者数、外来延べ患者数、分娩件数、全身麻酔による手術件数について、それぞれ該当する人数または件数をご記入ください。

	令和元年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
(1) 入院延べ患者数 ^{注7}	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(1)-1) うち一般病棟（特定入院料を除く）における入院延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(1)-2) うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(2) 外来延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(2)-1) うち初診の患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-2) うち紹介状により紹介された患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-3) うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-4) うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(3) 救急搬送件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(4) 分娩件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(5) 全身麻酔による手術件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件

注7. 入院延べ患者数：毎日24時現在の在院患者数（即日退院患者数を含む）を30日分合計した患者数

	令和3年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
(1) 入院延べ患者数 ^{注7}	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(1)-1) うち一般病棟（特定入院料を除く）における入院延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(1)-2) うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(2) 外来延べ患者数	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人	延べ____人
(2)-1) うち初診の患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-2) うち紹介状により紹介された患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-3) うち紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者数	____人	____人	____人	____人	____人	____人
(2)-4) うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(3) 救急搬送件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(4) 分娩件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件
(5) 全身麻酔による手術件数	____件	____件	____件	____件	____件	____件

注7. 入院延べ患者数：毎日24時現在の在院患者数（即日退院患者数を含む）を30日分合計した患者数

2. 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的取扱い等についてお伺いします。

① 令和2年1月以降の受診者や体制の動向等（各月について、それぞれ該当する番号1つに○）		令和2年												令和3年																							
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月																		
		a. 新型コロナウイルス感染疑い ^{注1} の外来患者受入の有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者 ^{注2} の受入の有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
c. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無 ^{注3}	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

② 令和2年1月以降の、「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」の対象となる保険医療機関等の該当状況 ^{注4} （それぞれ該当する番号1つに○）		令和2年												令和3年																					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月																
		ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無 ^{注5}	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
イアに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ウ 学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、「院内トリアージ実施料」 ^{注6} を算定する保険医療機関の該当有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

注1 新型コロナウイルス感染症の検査の対象となった患者を指す（結果的に新型コロナ感染症と診断されなかった患者も含む）。

注2 新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。

注3 1) 医療機関において患者が原疾患とは別に新たに罹患した感染症、2) 医療従事者等が医療機関内において感染した感染症のいずれかがあった場合に、有りとします。

注4 本設問におけるア～エの項目は、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26）」（令和2年8月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）1（2）①で示されたア～エの「対象医療機関等」とそれぞれ対応している。

注5 新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院が必要な患者を受け入れた保険医療機関を含む。

注6 オは、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その9）」（令和2年4月8日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）1で示されたもの。

③ 令和2年1月から令和3年6月の期間において、貴施設は新型コロナウイルス感染の重点医療機関や協力医療機関に指定されたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある
 02. 協力医療機関(新型コロナ疑い患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されたことがある
 03. その他 ()

④令和3年4月～6月の3か月間における、「医科外来等感染症対策実施加算」、「入院感染症対策実施加算」の算定有無をそれぞれお選びください。(それぞれ〇は1つ)

(1)「医科外来等感染症対策実施加算」の算定有無	01. あり	02. なし
(2)「入院感染症対策実施加算」の算定有無	01. あり	02. なし

⑤「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い^{注7}に関連し、貴施設が届け出ている診療報酬の施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績への影響の状況(令和2年1月以降)についてお伺いします。
貴施設の施設基準等の要件となっていない項目については「3 要件非該当」を選択してください。
(それぞれ該当する番号1つに〇)

		令和2年												令和3年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
a. 定数超過入院の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
b. 月平均夜勤時間数について、1割以上の一時的な変動の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
c. 看護要員 ^{注8} の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について、1割以上の一時的な変動の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
d. 「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」 ^{注9} の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
e. 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
f. 重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
g. 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(前ページから続きます。)		令和2年												令和3年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
h. 医療区分2又は3の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	要件非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

注7「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その26)」(令和2年8月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡)1(1)①～⑤で示された施設基準等に係る臨時的な取扱いを指す。

注8 看護要員とは、看護師及び准看護師又は看護補助者を指す。

注9「DPC制度への参加等の手続きについて」(令和2年3月27日保医発 0327 第6号)の第1の4(2)②に規定する場合を言う。

⑥次に挙げる各項目について、**令和2年1月から令和3年6月までの間に一度でも、医療提供状況に変化があったか、ご回答ください。(あてはまる番号すべてに○ ※「01」を選択した場合は「02」以降を選択しない)**

a. 外来(平日)	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	
b. 外来(土日)	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
c. 入院	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
d. 救急	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
e. 化学療法	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
f. 手術	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
g. 緊急手術	01. 通常通り(変化なし)	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし

⑦次に挙げる各項目について、**令和2年1月から令和3年6月までの間に一度でも実施したか、ご回答ください。(○はそれぞれ1つ)**

a. 新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査	01. 実施した	02. 実施しなかった
b. 新型コロナウイルス感染症に関する抗原検査	01. 実施した	02. 実施しなかった
c. 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への診療	01. 実施した	02. 実施しなかった
d. 新型コロナウイルス感染症による宿泊療養者への診療	01. 実施した	02. 実施しなかった
e. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種	01. 実施した	02. 実施しなかった

⑧新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、貴施設が患者の受療行動の変化に際して行った対応と、患者の健康影響等についてお伺いします。

1) 貴施設が行った対応および各対応を行った患者数について (イ～への各対応について実施したものをすべてに○。○を付けた場合、01～05の中から1つに○。イ～へに該当するものが1つもない場合はトに○)	【1)のイ～への01～04に○をつけた施設の方】 2) 各対応を行った患者がいる場合、患者の健康影響がありましたか (○は1つ)					
	【2)で01～03に○をつけた施設の方】 3) 患者の健康影響*の内容について、A～Eのうち、あてはまるものに○、最もあてはまるものに◎を記入 (あてはまるものすべてに○、◎は1つ) ※総合的な影響度合いを踏まえ評価してください					
イ. 患者の希望があり受診間隔を伸ばした 01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった 05. いなかった	05以外⇒	A. 救急外来を受診した	B. 入院加療が必要となった	C. 重篤な疾患の発見が遅れた	D. 通常以上の運動機能の低下がみられた	E. 通常以上の認知機能の低下がみられた
		11	12	13	14	15

次ページに選択肢が続きます

<p>(前ページから続きます。)</p> <p>1) 貴施設が行った対応および各対応を行った患者数について</p> <p>(イ～への各対応について実施したものすべてに○。○を付けた場合、01～05の中から1つに○。イ～へに該当するものが1つもない場合はトに○)</p>		【1)のイ～への01～04に○をつけた施設の方】					
		<p>2) 各対応を行った患者がいる場合、患者の健康影響がありましたか (○は1つ)</p> <p>【2)で01～03に○をつけた施設の方】</p> <p>3) 患者の健康影響*の内容について、A～Eのうち、<u>あてはまるものに○、最もあてはまるものに◎</u>を記入</p> <p>(あてはまるものすべてに○、◎は1つ)</p> <p>※総合的な影響度合いを踏まえ評価してください</p>					
		A. 救急外来を受診した	B. 入院加療が必要となった	C. 重篤な疾患の発見が遅れた	D. 通常以上の運動機能の低下がみられた	E. 通常以上の認知機能の低下がみられた	
<p>□. 検査・処置を中断・延期した</p> <p>01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった</p> <p>05. いなかった</p>	05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
<p>04. ほとんどなかった</p>		04. ほとんどなかった					
<p>Ⅷ. 通常の対応から変更し、日時を指定した完全予約制による対面での診療を実施した</p> <p>01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった</p> <p>05. いなかった</p>	05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
<p>04. ほとんどなかった</p>		04. ほとんどなかった					
<p>Ⅱ. 患者の希望に応じて電話・ICTを用いた診察を実施した</p> <p>01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった</p> <p>05. いなかった</p>	05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
<p>04. ほとんどなかった</p>		04. ほとんどなかった					
<p>Ⅵ. 処方薬を長期化した</p> <p>01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった</p> <p>05. いなかった</p>	05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
<p>04. ほとんどなかった</p>		04. ほとんどなかった					
<p>Ⅴ. その他 具体的に：</p> <p>01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった</p> <p>05. いなかった</p>	05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
<p>04. ほとんどなかった</p>		04. ほとんどなかった					
<p>ト. 特に対応は取らなかった</p>							

※◎はすべての施設の方がお答えください。

⑨その他、新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受療行動の変化や患者への健康影響等について、ご意見がある場合は自由に記載してください。

--

3. 各診療報酬項目の施設基準の届出状況等についてお伺いします。

《地域医療体制確保加算の届出状況について》

① 「地域医療体制確保加算」の届出状況をお選びください。(○は1つ)	
01. 届出ている → ①-1へ	02. 届出していない → ①-3へ

※以下の設問①-1及び①-2は、①で「01.届出ている」を選んだ施設がお答えください。

①-1「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目の実施内容についてお答えください。

	(1) 実施している 取組	(2) 「地域医療体制確保加算」の 算定を契機に開始した取組	(3) 特に医師の負担軽減に 効果のある取組
	※01～08のあてはまるもの全てに○		※01～08で○3つまで
1) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担	01	01	01
2) 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	02	02	02
3) 勤務間インターバルの確保	03	03	03
4) 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	04	04	04
5) 当直翌日の業務内容に対する配慮	05	05	05
6) 交代勤務制・複数主治医制の実施	06	06	06
7) 短時間正規雇用医師の活用	07	07	07
8) 上記以外の項目	8)-a. 時間外・休日・深夜における手術・1000点以上の処置の実施に係る医師（術者又は第一助手）の手当支給	08a	08a
	8)-b. 採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として医師以外が実施していること（新生児を除く。）	08b	08b
	8)-c. その他（具体的に： ）	08c	08c

①-2「病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」で踏まえるべき検討項目のうち、実施していない取組について、その理由（実施困難な理由等）をお答えください。(01～06のあてはまる番号すべてに○) ※①-1「(1)実施している取組」のうち、○をつけなかった項目全て（「8)-a,b,c」を除く）について記入をお願いします。

	01.職員確保が困難	02.予算がない	03.医療従事者等職員との調整が困難	04.何から手をつけて良いのか分からない	05.問題が生じておらず、必要性を感じない	06.その他具体的に（ ）
1) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担	01	02	03	04	05	06 ()
2) 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	01	02	03	04	05	06 ()
3) 勤務間インターバルの確保	01	02	03	04	05	06 ()
4) 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	01	02	03	04	05	06 ()
5) 当直翌日の業務内容に対する配慮	01	02	03	04	05	06 ()
6) 交代勤務制・複数主治医制の実施	01	02	03	04	05	06 ()
7) 短時間正規雇用医師の活用	01	02	03	04	05	06 ()

→ ②へ

※以下の設問①-3は、①で「02.届出ていない」を選んだ施設がお答えください。

①-3 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数についてあてはまる項目をお選び下さい。(〇は1つ)		
01. 年間2,000件以上 → ①-5へ	02. 年間1,000件以上1,999件以下 → ①-4へ	03. 年間999件以下 → ①-4へ

※以下の設問①-4は、①-3で「02」または「03」を選んだ施設がお答えください。

①-4 貴施設は地域医療介護総合確保基金「6 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」の対象となっていますか。(〇は1つ)	
01. なっている	02. なっていない

※以下の設問①-5は、①で「02.届出ていない」を選んだ施設がお答えください。

①-5 地域医療体制確保加算に関する施設基準として、満たすことが困難な要件は何ですか。(01~07のあてはまる番号すべてに〇)
01. 病院勤務医の負担軽減・処遇改善のため、勤務医の勤務状況把握とその改善の必要性等を提言するための責任者配置
02. 病院勤務医の勤務時間および当直を含む夜間の勤務状況把握
03. 院内に多職種からなる役割分担推進委員会・会議を設置し、「病院勤務医の負担軽減・処遇に資する計画」を作成。当該委員会等は、計画の達成状況の評価を行う際、その他適宜必要に応じて開催
04. 計画は、現状の勤務状況等を把握し、問題点を抽出した上で、具体的な取り組み内容と目標達成年次等を含めた病院勤務医の負担軽減・処遇改善に資するものとし、定期的な評価・見直しを行う
05. 計画には、以下の項目を踏まえ検討した上で、必要な事項を記載する
<p>※「05」を選んだ施設は、以下51~57についてもお答えください。※51~57のあてはまる番号すべてに〇</p> <ul style="list-style-type: none"> 51. 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容（初診時の予診の実施、静脈採血等の実施、入院の説明の実施、検査手順の説明の実施、服薬指導など） 52. 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施 53. 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間休息の確保（勤務間インターバル） 54. 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮 55. 当直翌日の業務内容に対する配慮 56. 交替勤務制・複数主治医制の実施 57. 育児・介護休業法を活用した短時間正規雇用医師の活用
06. 病院勤務医の負担軽減・処遇改善に関する取り組み事項を院内掲示等の方法で公表する
07. 01~06の対応が困難であったのは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものであった

《総合入院体制加算の届出状況について》

※②はすべての施設の方がお答えください。

②「総合入院体制加算」の届出状況として該当するものをお選びください。(〇は1つ)	
01. 総合入院体制加算 1 を届出ている	→ ②-2、②-3へ
02. 総合入院体制加算 2 を届出ている	} ②-1、②-2、②-3へ
03. 総合入院体制加算 3 を届出ている	
04. 総合入院体制加算を届出していない	

※以下の設問②-1は、②で「02. 総合入院体制加算 2 を届出ている」「03. 総合入院体制加算 3 を届出ている」「04. 総合入院体制加算を届出していない」を選んだ施設がお答えください。

②-1 総合入院体制加算について、満たすことが困難な要件は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)
01. 年間の手術等の件数
<p>※「01」を選んだ施設は、以下11~17についてもお答えください。※11~17のあてはまる番号すべてに〇</p> <ul style="list-style-type: none"> 11. 全身麻酔による手術の件数が 年間800件以上 12. 人工心肺を用いた手術の件数が 年間40件以上 13. 悪性腫瘍手術の件数が 年間400件以上 14. 腹腔鏡下手術の件数が 年間100件以上 15. 放射線治療（体外照射法）の件数が 年間4,000件以上 16. 化学療法の件数が 年間1,000件以上 17. 分娩の件数が 年間100件以上

02. 救急自動車等による搬送件数が年間2,000件以上
03. 精神科について、24時間対応できる体制を確保している
04. 精神病床を有しており、精神病棟入院基本料等を届出て、現に精神疾患患者の入院を受入れている
05. 「精神科リエゾンチーム加算」または「認知症ケア加算1」の届出を行っている
06. 「精神疾患診療体制加算2」の算定件数又は救急患者の入院3日以内における「入院精神療法」もしくは「救命救急入院料の注2の加算」の算定件数が合計で年間20件以上
07. 療養病棟入院基本料 または 地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を届出していない
08. 画像診断及び検査を、24時間実施できる体制を確保している
09. 薬剤師が夜間当直を行うことにより、調剤を24時間実施できる体制を確保している
10. 総退院患者のうち、診療情報提供に係る加算を算定する患者及び治癒し通院不要な患者が4割以上である
11. 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、及び産科（産婦人科）を標榜し、入院医療を提供している
12. 連携医療機関への転院を円滑にするための地域連携室の設置
13. 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する体制の整備
14. 貴施設の敷地内が禁煙であること（緩和ケア病棟等の一部の病棟では分煙可）
15. 分煙を行う場合は、非喫煙場所にタバコの煙が流れないようにし、適切な受動喫煙防止措置を講ずること
16. 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が3割5分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が3割3分以上（総合入院体制加算3は、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が3割2分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が3割以上）
17. 同一建物内に特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院又は介護療養型医療施設を設置していない
18. その他（具体的に

※②-2、②-3はすべての施設の方がお答えください。

②-2 「全身麻酔による手術」「人工心肺を用いた手術」「悪性腫瘍手術」「腹腔鏡下手術」「放射線治療」「化学療法」「分娩」「救急自動車等による搬送」の件数（期間内の合計）についてご回答ください。		令和元年4月1日 ～令和2年3月31日	令和2年6月1日 ～令和3年5月31日
1) 全身麻酔による手術件数		件	件
1)- i うち 緊急手術件数		件	件
1)- ii うち 休日加算等 ^{注1} を算定している件数		件	件
2) 人工心肺を用いた手術件数		件	件
2)- i うち 緊急手術件数		件	件
2)- ii うち 休日加算等 ^{注1} を算定している件数		件	件
3) 悪性腫瘍手術件数		件	件
3)- i うち 緊急手術件数		件	件
3)- ii うち 休日加算等 ^{注1} を算定している件数		件	件
4) 腹腔鏡下手術件数		件	件
4)- i うち 緊急手術件数		件	件
4)- ii うち 休日加算等 ^{注1} を算定している件数		件	件
5) 放射線治療（体外照射法）の件数		件	件
6) 化学療法の件数		件	件
7) 分娩の件数		件	件
8) 救急自動車等による搬送件数		件	件

注1 手術料の休日加算、時間外加算又は深夜加算を算定している、入院中の患者以外の患者に対する手術（①初診又は再診に引き続き行われた緊急手術、及び、②初診又は再診から手術までの間に、手術に必要な不可欠な検査等を行い、かつ、当該検査等の終了後に手術を開始した場合であって、当該初診又は再診から手術の開始時間までの間が8時間以内である場合（当該手術の開始時間が入院手続きの後の場合を含む。）、又は、病状の急変により行った入院中の患者に対する手術を指す。

②-3 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容（②において「04. 総合入院体制加算を届出していない」を回答した場合は、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組内容）について、該当するものすべてをお選びください。（あてはまる番号すべてに○）
01. 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組
02. 院内保育所の設置
03. 医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減
04. 病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
05. 特定行為研修修了者である看護師の複数名配置及び活用による医師の負担軽減
06. 院内助産又は助産師外来の開設による医師の負担軽減
07. 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

《医師事務作業補助体制加算の届出状況について》

※③はすべての施設がお答えください。

③令和2年7月1日、令和3年7月1日時点における、医師事務作業補助体制加算の届出状況としてあてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）									
1) 令和2年 7月1日	01. 届出をしていない								
	02. 医師事務作業補助体制加算 1 →届出している場合の内訳 03. 医師事務作業補助体制加算 2 →届出している場合の内訳								
	<table border="0"> <tr> <td>01. 1 0 0 対 1</td> <td>02. 7 5 対 1</td> <td>03. 5 0 対 1</td> <td>04. 4 0 対 1</td> </tr> <tr> <td>05. 3 0 対 1</td> <td>06. 2 5 対 1</td> <td>07. 2 0 対 1</td> <td>08. 1 5 対 1</td> </tr> </table>	01. 1 0 0 対 1	02. 7 5 対 1	03. 5 0 対 1	04. 4 0 対 1	05. 3 0 対 1	06. 2 5 対 1	07. 2 0 対 1	08. 1 5 対 1
01. 1 0 0 対 1	02. 7 5 対 1	03. 5 0 対 1	04. 4 0 対 1						
05. 3 0 対 1	06. 2 5 対 1	07. 2 0 対 1	08. 1 5 対 1						

2) 令和3年 7月1日	01. 届出をしていない → ③-1へ								
	02. 医師事務作業補助体制加算 1 →届出している場合の内訳 03. 医師事務作業補助体制加算 2 →届出している場合の内訳								
	<table border="0"> <tr> <td>01. 1 0 0 対 1</td> <td>02. 7 5 対 1</td> <td>03. 5 0 対 1</td> <td>04. 4 0 対 1</td> </tr> <tr> <td>05. 3 0 対 1</td> <td>06. 2 5 対 1</td> <td>07. 2 0 対 1</td> <td>08. 1 5 対 1</td> </tr> </table>	01. 1 0 0 対 1	02. 7 5 対 1	03. 5 0 対 1	04. 4 0 対 1	05. 3 0 対 1	06. 2 5 対 1	07. 2 0 対 1	08. 1 5 対 1
01. 1 0 0 対 1	02. 7 5 対 1	03. 5 0 対 1	04. 4 0 対 1						
05. 3 0 対 1	06. 2 5 対 1	07. 2 0 対 1	08. 1 5 対 1						

「01」を選択した場合は③-1へお進みください。
「02」「03」を選択した場合は、届出している場合の内訳を回答後、③-2へお進みください。

※以下の③-1は、③の「2) 令和3年7月1日」時点において、「01.届出をしていない」と回答した施設がお答えください

③-1 届出をしていない理由は何ですか。（01~04のうち、あてはまる番号すべてに○）
01. 施設基準を満たすことが難しいため ※「01」を選んだ施設は、以下11~13についてもお答えください。※11~13のあてはまる番号すべてに○ →満たすことが難しい基準の内訳： 11. 病院機能に関する基準 (例：15対1の場合は第三次救急医療機関、小児救急医療拠点病院、総合周産期医療センターのいずれかであること等) 12. 年間の緊急入院患者数に関する基準（例：15対1の場合は年間800名以上であること等） 13. 全身麻酔による手術件数に関する基準 (例：20対1~40対1の場合は年間800件以上であること（但し年間の緊急入院患者数が200名以上の場合は届出可）)
02. 医師事務作業補助者の確保が難しいため ※「02」を選んだ施設は、以下21~23についてもお答えください。※21~23のあてはまる番号すべてに○ →確保が難しい理由： 21. 指揮命令権が保険医療機関にない請負方式が認められないため 22. 保険医療機関の常勤職員と同じ勤務時間以上の勤務を行う職員である必要があるため (原則週4日以上常態として勤務し、かつ所定労働時間が週32時間以上である者をいう。ただし、正職員として勤務する者について、育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置が講じられ、当該労働者の所定労働時間が週30時間以上であること。) 23. その他（具体的に
03. 加算の要件に沿った医師事務作業補助者の配置のメリットが少ないため
04. その他（具体的に

※以下の③-2～③-4は、③の「2)令和3年7月1日」時点において、「02」または「03」（医師事務作業補助体制加算1または2を届出ている）と回答した施設がお答えください。

③-2 現在の体制の届出時期はいつですか。						
西暦（ ）年（ ）月						
③-3 医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算 ^{注2} ）を配置場所別にご記入ください。 ※令和3年7月1日時点 ※複数か所勤務している場合、勤務時間で人数を按分してそれぞれに記入してください。	1) 外来	人				
	2) 病棟	人				
	3) 医局・事務室等	人				
	4) 合計	人				
③-4 令和2年7月1日時点及び令和3年7月1日時点の、各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数（実人数）、及び常勤換算した非常勤の職員数をご記入ください。						
	令和2年7月1日			令和3年7月1日		
	常勤	非常勤（実人数）	非常勤（常勤換算 ^{注2} ）	常勤	非常勤（実人数）	非常勤（常勤換算 ^{注2} ）
1) 一般病棟	人	人	人	人	人	人
2) 精神病棟	人	人	人	人	人	人
3) 療養病棟	人	人	人	人	人	人
4) その他	人	人	人	人	人	人
5) 全病棟	人	人	人	人	人	人

注2 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下第1位までお答えください。

■ 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）

■ 1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

《麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況について》

※④はすべての施設がお答えください。

④令和3年7月1日時点における、麻酔管理料（Ⅱ）の届出状況としてあてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

01.届出をしている → ⑤へ	02.届出をしていないが、今後届出の予定がある
03.届出をしておらず、今後の届出は検討中	04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない

※以下の④-1及び④-2は、④において「02.届出をしていないが、今後届出の予定がある」、「03.届出をしておらず、今後の届出は検討中」、「04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない」と回答した施設がお答えください。

④-1 令和3年7月1日時点で、届出をしていない理由は何ですか。（01～05のあてはまる番号すべてに○）	
01. 施設基準を満たすことが難しいため	
→満たすことが難しい基準の内訳：※11～15のあてはまる番号すべてに○	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 11. 麻酔科を標榜している保険医療機関である 12. 常勤の麻酔科標榜医が5名以上配置されている <small>（なお、週3日以上状態として勤務しており、かつ、所定労働時間が週24時間以上の勤務を行っている麻酔科標榜医である非常勤医師を2名以上組み合わせるにより、常勤医師の勤務時間帯と同じ時間帯にこれらの非常勤医師が配置されている場合には、当該医師の実労働時間を常勤換算し常勤医師数に参入することができる。ただし、常勤換算し常勤医師数に参入することができるのは、常勤配置のうち4名までに限る。）</small> 13. 常勤の麻酔科標榜医により、麻酔の安全管理体制を確保すること 14. 24時間緊急手術の麻酔に対応できる体制を有している 15. 麻酔科標榜医と麻酔科標榜医以外の医師が共同して麻酔を実施する </div>	
02. 適切な研修を修了した常勤看護師の配置が難しいため	
03. 適切な研修を修了した常勤看護師と、麻酔科標榜医又は麻酔を担当する当該医師とが連携することが可能な体制を確保することが難しいため	
04. 経営上のメリットが少ないため	
05. その他（具体的に	）

④-2 麻酔管理料（Ⅱ）に係る令和2年度改定による変更に合わせて、下記業務担当者の変更はありましたか。（あてはまる番号すべてに○）
01. 麻酔前後の診察の担当が麻酔担当医から麻酔を担当しない麻酔科標榜医へ、変更された
02. 麻酔担当医の一部の行為の実施が麻酔担当医から適切な研修を修了した常勤看護師へ、変更された
03. 変更はない

《摂食嚥下支援加算の届出状況について》

※⑤はすべての施設がお答えください。

⑤令和3年7月1日時点における、摂食嚥下支援加算の届出状況としてあてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

01.届出をしている → ⑤-1へ	02.届出をしていないが、今後届出の予定がある
03.届出をしておらず、今後の届出は検討中	04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない

※以下の⑤-1は、⑤において「01.届出をしている」と回答した施設がお答えください。

⑤-1 令和3年7月1日時点において、摂食嚥下支援加算の経過措置に該当されていますか。（○は1つ）

01.該当している	02.該当していない
-----------	------------

※以下の⑤-2は、⑤において「02.届出をしていないが、今後届出の予定がある」、「03.届出をしておらず、今後の届出は検討中」、「04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない」と回答した施設がお答えください。

⑤-2 令和3年7月1日時点で、届出をしていない理由は何ですか。（01～04のあてはまる番号すべてに○）

01. 施設基準を満たすことが難しいため →満たすことが難しい基準の内訳： ※11～14のあてはまる番号すべてに○ 11. 摂食嚥下支援チームの設置 →満たすことが難しい摂食嚥下支援チームの構成職種の内訳： ※ a)～g)のあてはまる番号すべてに○ a). 医師又は歯科医師 b). 専任の常勤看護師（経験5年以上かつ適切な研修を修了した者） c). 専任の常勤言語聴覚士 d). 専任の常勤薬剤師 e). 専任の常勤管理栄養士 f). 専任の常勤歯科衛生士 g). 専任の常勤理学療法士又は作業療法士 12. 検査結果 ^注 を踏まえた週1回以上のカンファレンス実施 注：選択肢13の内容 13. 月に1回以上の内視鏡下嚥下機能検査又は嚥下造影を実施 14. 摂食嚥下支援計画書の作成
02. 算定対象となる患者がいないため
03. 経営上のメリットが少ないため
04. その他（具体的に _____）

《外来化学療法加算1の届出状況について》

※⑥はすべての施設がお答えください。

⑥貴施設は、令和3年7月1日時点における外来化学療法加算1の届出をしていますか。（○は1つ）

01.届出をしている → ⑥-1へ	02.届出をしていない → ⑦へ
-------------------	------------------

※⑥において、「01.届出をしている」と回答した施設がお答えください

⑥-1 令和3年7月1日時点における連携充実加算の届出をしていますか。（○は1つ）

01.届出をしている → ⑦へ	02.届出をしていないが、今後届出の予定がある
03.届出をしておらず、今後の届出は検討中	04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない

※以下の⑥-2は、⑥-1において「02.届出をしていないが、今後届出の予定がある」、「03.届出をしておらず、今後の届出は検討中」、「04.届出をしておらず、今後も届出の予定はない」と回答した施設がお答えください

⑥-2 令和3年7月1日時点で届出をしていない理由は何ですか。(01~06のあてはまる番号すべてに○)	
01.施設基準を満たすことが難しいため	→満たすことが難しい基準の内訳：※11~15のあてはまる番号すべてに○
11.外来化学療法加算1に規定するレジメンに係る委員会に管理栄養士が参加している 12.地域の保険薬局等との連携体制として、貴施設で実施される化学療法のレジメンをホームページ等で閲覧できるようにしている 13.地域の保険薬局等との連携体制として、貴施設において地域の薬局薬剤師等を対象とした研修会等を年1回以上実施する 14.地域の保険薬局等との連携体制として、保険薬局等からのレジメンに関する照会等に応じる体制を整備する(また、当該体制についてホームページや研修会等で周知する) 15.外来化学療法を実施している医療機関に5年以上勤務し、栄養管理(悪性腫瘍患者に対するものを含む。)に係る3年以上の経験を有する専任の常勤管理栄養士が勤務している	
02.実施しているレジメン、レジメンの実施状況、抗悪性腫瘍剤等の投与量、主な副作用の発現状況、その他医学・薬学管理上必要な事項等が記載された治療計画等の文書を交付することが難しいため	
03.管理栄養士との連携を図ることが難しいため	
04.算定対象となる患者がないため	
05.経営上のメリットが少ないため	
06.その他(具体的に：)	

※⑦はすべての施設がお答えください。

⑦非常勤職員の配置についてお伺いします。

(1) 以下の各職種について、非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目があるか、それぞれご回答ください。(それぞれ○は1つ)

(2) 上記(1)で「01(有)」を選択した場合、当該診療報酬項目の番号を下記の選択肢から選んでご記入ください。

	(1)非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無		(2)非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目	
	有	無	選択肢01~12からあてはまる番号をすべて記入	(12.その他を選択した場合、具体的内容を記入)
1) 医師	01	02		具体的に：
2) 看護職員	01	02		具体的に：
3) 薬剤師	01	02		具体的に：
4) 理学療法士	01	02		具体的に：
5) 作業療法士	01	02		具体的に：
6) その他	01	02		具体的に：

選択肢	01. 緩和ケア診療加算	02. 重度アルコール依存症入院医療管理加算	03. 摂食障害入院管理加算
	04. 栄養サポートチーム加算	05. 感染防止対策加算	06. 抗菌薬適正使用支援加算
	07. ハイリスク分娩管理加算	08. 病棟薬剤業務実施加算	09. 入退院支援加算
	10. 認知症ケア加算	11. 小児入院医療管理料	12. その他(具体的に)

※以下の⑦-1は、⑦(1)の1)~6)のいずれかで「01:有」とご回答いただいた施設の方がお答えください。

⑦-1 非常勤職員の配置を行ったことによる影響についてお伺いします。あてはまる選択肢をお選びください。(あてはまる番号すべてに○)

01. 常勤職員の負担が軽減された
02. 非常勤職員を雇用しやすくなった
03. 非常勤職員を活用できる場が増えた
04. 医師の責任の所在があいまいになった
05. 非常勤医師間の連携不足により患者の診療や病棟業務等に支障が出た
06. 非常勤医師と看護師等の他職種との連携不足による患者の診療や病棟業務等に支障が出た
07. 患者から不満等が出た
08. その他(具体的に：)

上記でご選択頂いた番号のうち、最もあてはまる番号を記入してください。(番号は1つ)

※⑧はすべての施設がお答えください。

⑧常勤配置や専従配置について、常勤職員や専従職員でなくても機能を果たすことができるため、要件の緩和を希望する診療報酬項目はありますか。あれば当該診療報酬項目を具体的にご記入ください。	
1) 常勤配置	
2) 専従配置	

4. 医師の勤務状況等についてお伺いします。

①貴施設の医師の勤務形態として該当するものをお選びください。（主にあてはまる番号1つに○）	
01. 単独主治医制 ^{注1}	02. 複数主治医制 ^{注2}

注1. 単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合。

注2. 複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

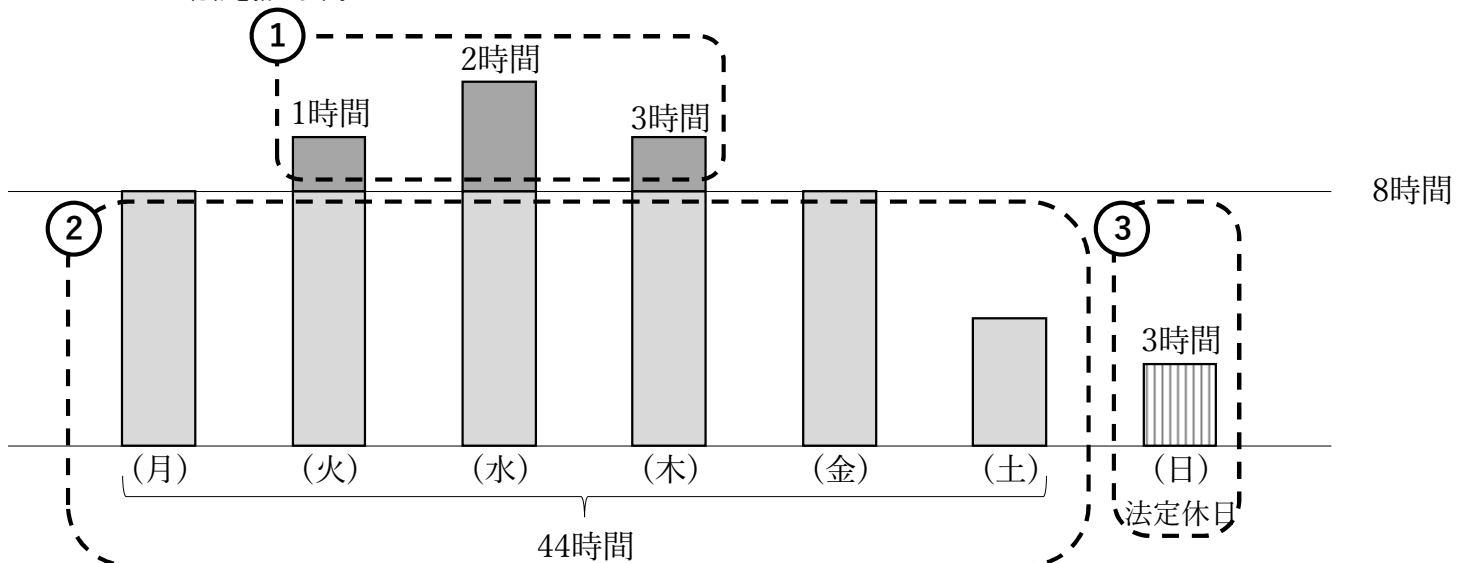
②貴施設における令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の常勤医師1人あたりの平均、最大、最小超過勤務時間 ^{注3} （1か月間）、及び、超過勤務時間が80時間/月以上の者・155時間/月以上の者の人数、宿日直状況を記載してください。※小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位まで			
医師1人あたりの1か月の超過勤務時間数	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月
1) 平均値	(.) 時間	(.) 時間	(.) 時間
2) 最大値	(.) 時間	(.) 時間	(.) 時間
3) 最小値	(.) 時間	(.) 時間	(.) 時間
1か月の超過勤務時間が 80時間超の人数	() 人	() 人	() 人
1か月の超過勤務時間が 155時間超の人数	() 人	() 人	() 人
医師1人あたりの1か月の宿日直回数	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月
1) 平均値	(.) 回	(.) 回	(.) 回
2) 最大値	(.) 回	(.) 回	(.) 回
3) 最小値	(.) 回	(.) 回	(.) 回
連日当直を実施した者の人数	() 人	() 人	() 人
連日当直の発生した回数	のべ() 回	のべ() 回	のべ() 回

注3. 超過勤務時間とは、①法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間

②1週について40時間を超えて労働した時間数（①及び③で計上される時間数は除く。）

③法定休日（週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり）において労働した時間

の総和を指します。



上図の場合、①:1+2+3=6時間 ②:44-40=4時間 ③:3時間 となるため、1週間の超過勤務時間数(①+②+③)=13時間 と計算されます。

③労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況として該当するものをお選びください。（〇は1つ）	
01. 締結している	02. 未締結であるため、今後締結を予定している
03. 未締結であるが、今後も締結の予定はない	

④夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可について該当するものをお選びください。（〇は1つ）	
01. 全ての業務について許可を受けている	02. 許可を受けている業務と受けていない業務がある
03. 許可を受けている業務はない	

5. 医師の負担軽減策に関する取組状況等についてお伺いします。

①貴施設の自施設における医師の労働時間の把握方法として該当するものをお選びください。（主な番号1つに〇）		
01. ICカード・タイムカード	02. 上司等第三者の確認	03. 自己申告に基づき把握
04. その他（具体的に		05. 把握していない

②貴施設における長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況として該当するものをお選びください。（〇は1つ）	
01. 実施している	02. 実施していないが、今後実施を予定している
03. 実施しておらず、今後も実施する予定はない	
04. 長時間労働者はいない	

③貴施設の常勤医師について、他施設での勤務状況を把握していますか。（〇は1つ）	
01. 把握している → ③-1へ	02. 把握していない → ④へ

※以下の③-1は、③において「01.把握している」と回答した施設がお答えください。

③-1 他施設での勤務状況として、把握している内容をお選びください。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. 他施設での勤務時間	02. 他施設での当直日程
03. その他（具体的に：	

④貴施設の医師について、労働時間以外の勤務状況として把握している内容をお選びください。（あてはまる番号すべてに〇）		
01. 年次有給休暇取得率	02. 育児休業の取得率	03. 介護休業の取得率
04. 代休取得率	05. その他（具体的に	
06. 把握していない		

⑤医師の負担軽減策について、医療勤務環境改善支援センターに相談しましたか。（〇は1つ）		
01. 既に相談した	02. 今後相談する予定	03. 相談していない（相談の予定なし）

⑥貴施設における医師の負担軽減策についてお伺いします。

- (1) 貴施設で**医師の負担軽減策として実施されている取組**としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)
 (2) 上記(1)で○をつけた取組について、**特に医師の負担軽減効果のある取組**としてあてはまる番号に**3つまで○**をつけてください。(○は3つまで)

	(1) 実施されている 取組に○ (あてはまる番号 すべてに○)	(2) 特に医師の負担軽 減効果のある 番号に○ (○は3つまで)
1) 医師の増員	01 →	01
2) 外来提供体制の縮小	02 →	02
3) 初診時選定療養費の導入	03 →	03
4) 適正受診に関する患者・住民への周知・啓発	04 →	04
5) 複数主治医制の導入	05 →	05
6) 勤務間インターバルの導入	06 →	06
7) 当直翌日の業務内容の軽減(当直翌日の休日を含む)	07 →	07
8) 時間外・休日・深夜に特定の医師に負担が集中しないような体制の整備	08 →	08
9) 患者・家族への病状説明を診療時間内に限定(緊急時を除く)	09 →	09
10) 予定手術前日の当直の免除	10 →	10
11) 医師業務の特定行為研修修了者である看護師との分担	11 →	11
12) 医師業務の看護師(「11」に示す看護師を除く)との分担	12 →	12
13) 救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく、看護師による血液検査オーダー入力・採血・検査の実施	13 →	13
14) 医師業務の助産師との分担	14 →	14
15) 薬剤師による事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更 ^{注1}	15 →	15
16) 薬剤師による外来診察時(前後の場合も含む)の患者の服薬状況、副作用等に関する情報収集と医師への情報提供	16 →	16
17) 医師事務作業補助者の病棟への配置	17 →	17
18) 医師事務作業補助者の外来への配置	18 →	18
19) ICTを活用した業務の見直し・省力化	19 →	19
20) 医師が出席する会議の開催回数の削減	20 →	20
21) 医師が出席する会議の所定就業時間内での開催(開始時刻の前倒し等)	21 →	21
22) 院内保育所の設置	22 →	22
23) 院内助産又は助産師外来の開設	23 →	23
24) 「役割分担推進のための委員会」への年に1回の管理者の出席	24 →	24
25) 時間外・休日・深夜における手術・1000点以上の処置の実施に係る医師(術者又は第一助手)の手当支給	25 →	25
26) 採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として※医師以外が実施していること(新生児を除く。)	26 →	26

注1. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

⑦上記⑥以外の取組で、貴施設で実施している勤務医負担軽減策で、効果のある取組があれば、具体的にご記入ください。

--	--

⑧貴施設では、**多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議**を開催していますか。開催している場合は、**年間の開催回数**もご記入ください。(○は1つ)

01. 開催している →年間()回 02. 開催していない

6. 看護職員や看護補助者の配置等についてお伺いします。

A. 看護職員や看護補助者の配置等

①救急搬送看護体制加算 (〇は1つ)	01. 加算1の届出あり → ①-1、①-3・4へ
	02. 加算2の届出あり → ①-2、①-3・4へ
	03. 届出なし → ②へ

①-1 救急搬送看護体制加算1の算定件数(令和3年6月1か月)	() 件
①-2 救急搬送看護体制加算2の算定件数(令和3年6月1か月)	() 件
①-3 救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる 年間の搬送件数 (〇は1つ)	01. 200～399件 02. 400～599件 03. 600～799件 04. 800～999件 05. 1,000～1,499件 06. 1,500～1,999件 07. 2,000件以上
①-4 救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数	() 人
うち、院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数	() 人

②看護補助加算 (01～04のうち、〇は1つ) ※地域一般入院基本料または13対1、15対1、18対1、20対1入院基本料を算定する病院のみ	01. 看護補助加算1	02. 看護補助加算2	03. 看護補助加算3
	→ a) 夜間75対1看護補助加算(50点)	11. 届出あり	
		12. 届出なし	
	▶届出の予定	21. 予定あり	22. 予定なし
	▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	31. 職員確保が困難	32. 必要性がない
		33. その他(具体的に)	
	b) 夜間看護体制加算(165点)	11. 届出あり	
		12. 届出なし	
	▶届出の予定	21. 予定あり	22. 予定なし
	▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	31. 職員確保が困難	32. 必要性がない
	33. その他(具体的に)		
04. 届出をしていない			
▶届出の予定	11. 予定あり	12. 予定なし	
▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	21. 職員確保が困難	22. 必要性がない	
	23. その他(具体的に)		

※③～⑥は一般病棟のある施設のみご回答ください。それ以外の方は 6. Bへお進みください。

③急性期看護補助体制加算 ^{注1} (01～05のうち、〇は1つ)	01. 25対1(看護補助者5割以上)	02. 25対1(看護補助者5割未満)	
	03. 50対1	04. 75対1	
	05. 届出をしていない		
	▶届出の予定	11. 予定あり 12. 予定なし	
	▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	21. 職員確保が困難 22. 必要性がない 23. その他(具体的に)	
④夜間急性期看護補助体制加算 ^{注2} (01～04のうち、〇は1つ)	01. 30対1	02. 50対1	03. 100対1
	04. 届出をしていない		
	▶届出の予定	11. 予定あり	12. 予定なし
	▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	21. 職員確保が困難	22. 必要性がない 23. その他(具体的に)
⑤夜間看護体制加算 ^{注2} (〇は1つ)	01. 届出あり	02. 届出なし	
⑥看護職員夜間配置加算 ^{注1} (01～05のうち、〇は1つ)	01. 12対1の「1」	02. 12対1の「2」	03. 16対1の「1」
	04. 16対1の「2」		
	05. 届出をしていない		
	▶届出の予定	11. 予定あり	12. 予定なし
	▶届出をしていない理由 (あてはまる番号すべてに〇)	21. 職員確保が困難	22. 必要性がない 23. その他(具体的に)

注1. こちらは、急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の7対1もしくは10対1入院基本料を届け出ている場合のみご回答ください。

注2. こちらは、急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみご回答ください。

B. 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に係る取組

※以下の質問①～②は、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、看護補助加算、療養病棟入院基本料注12（夜間看護加算）のいずれかについて届出をしている施設のみご回答ください。

それ以外の方は7. ①へお進みください。

①看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する具体的な取組として実施しているものをお選びください。 (01～09のうちあてはまる番号すべてに○)			
01. 業務量の調整（時間外労働が発生しないような業務量の調整）			
02. 看護職員と他職種との業務分担			
→業務分担をしている職種： (21～26のあてはまる番号すべてに○)	21. 薬剤師	22. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	
	23. 臨床検査技師	24. 臨床工学技士	
	25. 看護補助者	26. その他（具体的に)	
03. 看護補助者の配置・増員			
→具体的内容： (31～37のあてはまる番号すべてに○)	31. 主として直接ケアを行う看護補助者の新たな配置		
	32. 主として直接ケアを行う看護補助者の増員		
	33. 主として事務的作業を行う看護補助者の新たな配置		
	34. 主として事務的作業を行う看護補助者の増員		
	35. 夜間の看護補助者の新たな配置		
	36. 夜間の看護補助者の増員		
37. その他（具体的に)			
04. 短時間正規雇用の看護職員の活用			
05. 多様な勤務形態の導入			
06. 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮			
→具体的内容： (61～68のあてはまる番号すべてに○)	61. 院内保育所	62. 夜間保育の実施	63. 夜勤の減免措置
	64. 休日勤務の制限制度	65. 半日・時間単位休暇制度	66. 所定労働時間の短縮
	67. 他部署等への配置転換	68. 急な欠勤の際の応援体制	
07. 夜勤負担の軽減			
→具体的内容： (71～72のあてはまる番号すべてに○)	71. 夜勤従事者の増員		72. 月の夜勤回数の上限設定
08. 夜勤に係る配慮			
→具体的内容： (81～88のあてはまる番号すべてに○)	2 交代の夜勤を実施している場合：		
	81. 勤務後の暦日の休日の確保		
	82. 仮眠2時間を含む休憩時間の確保		
	83. 16時間未満となる夜勤時間の設定		
	84. 仮眠が取れる環境・体制の整備（仮眠室等）		
	85. その他（具体的に)		
	3 交代の夜勤を実施している場合：		
	86. 夜勤後の暦日の休日の確保		
	87. 勤務間インターバルの確保		
	88. その他（具体的に)		
09. その他（上記01～08以外）（具体的に)			

②看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の達成状況について、最も近い選択肢の番号をお選びください。（〇はひとつ）	
01. 達成が困難である → ②-1へ	02. 達成はやや困難である → ②-1へ
03. 概ね達成可能である → 7へ	04. ほぼ達成可能である → 7へ
05. 評価時期に達していない → 7へ	

※②で「01.達成が困難である」又は「02.達成はやや困難である」を選んだ施設がお答えください。

②-1 ①で選択した項目のうち、達成が困難である項目は何ですか。達成が困難な項目に〇をつけた上で、達成が困難である理由を具体的にご記入ください。

「P. 20 6. B①」で〇をつけた項目のうち、達成が困難な項目に〇		達成が困難である理由（自由記載）
01	業務量の調整 →	
02	看護職員と他職種との業務分担 →	
03	看護補助者の配置・増員 →	
04	短時間正規雇用の看護職員の活用 →	
05	多様な勤務形態の導入 →	
06	妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 →	
07	夜勤負担の軽減 →	
08	夜勤に係る配慮 →	
09	その他 →	

7. 医療従事者の勤務環境改善マネジメントについてお伺いします。

※以下の質問①～③は、総合入院体制加算を届出していない施設のみご回答ください。

それ以外の方は 8. ①へお進みください。

①貴施設では、勤務環境改善マネジメントシステム*を推進するチームがありますか。（〇は1つ）		
01. チームがある	02. チームはないが、今後設置予定	03. チームはなく、今後設置予定もない

※「勤務環境改善マネジメント」とは、「医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み」を指します。

②貴施設では、勤務環境改善の取組として、勤務環境の現状に関する実態把握や分析を行っていますか。（〇は1つ）	
01. 行っている → ②-1へ	02. 行っていないが、今後実施予定 → ③へ
03. 行っておらず、今後実施予定もない → ③へ	

※上記②で、「01.行っている」を選んだ施設がお答えください。

②-1 どの程度の頻度で実態把握や分析を行っていますか。（〇は1つ）			
01. 数か月に1度行っている	02. 1年に1度行っている	03. 2～3年に1度行っている	04. 定期的な実態把握や分析は行っていない

※上記②で、「02.行っていないが、今後実施予定」「03.行っておらず、今後実施予定もない」を選んだ施設がお答えください。

③貴施設では、勤務環境改善の取組について、計画を策定していますか。（〇は1つ）	
01. 策定している → ③-1へ	02. 策定していないが、今後策定予定
03. 策定しておらず、今後策定予定もない	

※上記③で、「01.策定している」を選んだ施設がお答えください。

③-1 どの程度の頻度で計画の見直しを行っていますか。（〇は1つ）			
01. 数か月に1度行っている	02. 1年に1度行っている	03. 2～3年に1度行っている	04. 4年以上見直しをしていない

8. 記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等についてお伺いします。

① 貴施設では、入院部門で電子カルテを導入していますか。（〇は1つ）	
01. 導入している	02. 導入していないが、導入を検討中
03. 導入しておらず、導入予定もない	04. その他（具体的に ）

② 貴施設では、ICTを活用した業務の見直し・省力化として、どのような取組をしていますか。（あてはまる番号すべてに〇）		
01. タブレットの活用	02. 音声入力システムの活用	03. ビデオ通話による会議の実施
04. 遠隔画像診断の実施	05. 遠隔病理診断の実施	06. 紹介状や診断書の入力支援ソフトの活用
07. その他（具体的に ）		08. 特になし

※②で「08.特になし」を選んだ施設がお答えください。←

②-1 ICTを活用していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. ICTの導入にコストがかかるから	
02. ICTの維持・管理にコストがかかるから	
03. ICTの導入にあたって教育や人材育成に時間やコストがかかるから	
04. ICTを使いこなせない職員がいる（または多い）から	
05. 現場のオペレーションを変更する事務的負担が大きいから	
06. 現場の賛同が得られないから	
07. 故障時などに現場が混乱することを避けたいから	
08. その他（具体的に ）	

※③はすべての施設の方がお答えください。

③ 院内の会議に関する負担軽減のために、どのような取組をしていますか。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. 必要性の低い会議の廃止	02. 医師の出席義務の取りやめ
03. 会議の開催回数の削減	04. 会議の開催時間の短縮
05. ビデオ通話による会議の実施	06. 会議での紙資料の配付の中止
07. その他（具体的に ）	08. 特になし

※上記の③で「05. ビデオ通話による会議の実施」を選んだ施設がお答えください。

④ ビデオ通話を活用しているのは、具体的にはどのような場面でしょうか。

※⑤～⑥はすべての施設の方がお答えください。

⑤ 医師の書類作成に関する負担軽減のために、どのような取組をしていますか。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. 必要性の低い書類の廃止	02. 書類の記載項目の簡素化
03. 医師事務作業補助者による下書きの作成	04. 電子カルテシステム等を活用した入力の簡易化
05. その他（具体的に ）	06. 特になし

⑥ 貴施設において、他の医療機関や訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うために、ICT（情報通信技術）を活用していますか。また、活用している場合、どのようなICTを用いていますか。（あてはまる番号すべてに○）		
01. ICTを活用している	02. ICTは活用していない → ⑥-1へ	
▶ 活用している ICT：	11.メール	12.電子掲示板
	14.ビデオ通話（オンライン会議システムを含む）	13.グループチャット
	16.自院を中心とした専用の情報連携システム	15.地域医療情報連携ネットワーク※
	17.その他（具体的に _____）	
※地域において病診連携など、主に電子カルテ情報を用いて医療情報の連携を行っているネットワーク		

※⑥-1は、上記⑥で、「02. ICTは活用していない」を選んだ施設がお答えください。

⑥-1 ICTを活用していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）
01. ICTの導入にコストがかかるから
02. ICTの維持・管理にコストがかかるから
03. ICTの導入にあたって教育や人材育成に時間やコストがかかるから
04. ICTを使いこなせない職員がいる（または多い）から
05. 現場のオペレーションを変更する負担が大きいから
06. 故障時などに現場が混乱することを避けたいから
07. その他（具体的に _____）

9. 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ・貴施設における影響等

① 貴施設において、新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者の働き方への影響について、該当するものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）	
01. 患者数が減った	
02. 手術等の件数が減った	
03. 対面によるカンファレンスや会議等が減った	
04. ICTの活用が進んだ	
05. 出勤できない職員が発生した	
06. メンタルヘル스에支障をきたす職員が発生した	
07. 職員の勤務体制を変更する必要が生じた（変更した職種： _____）	
08. 職員を増員した（増員した職種： _____）	
09. 院内保育施設が確保された	
10. 院内保育が中止となった	
11. その他（具体的に： _____）	
12. 上記のいずれもあてはまらない	
①-1 上記で回答したものうち、最も影響の大きいものの番号（「1」～「11」）を ご記入下さい。（○は1つ）	

10. 医師の働き方改革に関する取組み等について

①医師の働き方改革に関する検討会に基づき、現時点の貴施設の水準※ (あてはまるもの全てに○)	01. A水準	02. 連携 B水準	03. B水準
	04. C-1水準	05. C-2水準	
②現時点で、貴施設の勤務医のうち、A水準、連携B水準、B水準、C-1水準、C-2水準に該当する医師の有無とその人数をご記入ください。(それぞれ○は1つ)	A水準	01. いる 02. いない	※「01.いる」場合の人数 ()人
	連携B水準	01. いる 02. いない	※「01.いる」場合の人数 ()人
	B水準	01. いる 02. いない	※「01.いる」場合の人数 ()人
	C-1水準	01. いる 02. いない	※「01.いる」場合の人数 ()人
	C-2水準	01. いる 02. いない	※「01.いる」場合の人数 ()人
③2024年4月の労働時間上限規制の適用後に、予定している貴施設の水準 (あてはまるもの全てに○)	01. A水準	02. 連携 B水準	03. B水準
	04. C-1水準	05. C-2水準	

※ A水準＝原則、全ての医療機関の水準。時間外・休日労働時間の上限は原則、年960時間／月100時間。

連携B水準＝医師の派遣を通じて地域医療を確保するために必要な役割を持つ特定の医療機関の水準。時間外・休日労働の上限は原則、年1,860時間／月100時間。(個々の医療機関における時間外・休日労働の上限は年960時間以下)

B水準＝三次救急や救急搬送の多い二次救急指定病院、がん拠点病院などの水準。時間外・休日労働の上限は原則、年1,860時間／月100時間。

C-1水準＝初期研修医、専門医取得を目指す専攻医を雇用している医療機関の水準。時間外・休日労働の上限は原則、年1,860時間／月100時間。

C-2水準＝特定高度技能獲得を目指す医籍登録後の臨床従事6年目以降の医師を雇用する医療機関の水準。時間外・休日労働の上限は原則、年1,860時間／月100時間

④最後に、医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等についてご意見等ございましたらご自由にご記入ください。

施設票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和3年8月31日(火)までに
実施要領に記載された方法に従ってご提出ください。

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、令和3年7月1日現在の状況についてお答えください。
- ご回答の際は、該当する番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値等をご記入ください。
（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「〇（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。

1. あなたご自身のことについてお伺いします。

① 性別	01. 男性	02. 女性	② 年齢	() 歳
③ 医師経験年数	() 年目		④ 貴施設での勤続年数	() 年目
⑤ 主たる所属診療科 ^{注1} (○は1つ)	01. 内科系	02. 皮膚科	03. 小児科	04. 精神科
	05. 外科系	06. 泌尿器科	07. 脳神経外科	08. 整形外科
	09. 眼科	10. 産婦人科・産科	11. リハビリテーション科	12. 放射線科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 耳鼻咽喉科	16. その他
⑥ 担当する主な病棟 (○は1つ)	01. 回復期リハビリテーション病棟		02. 地域包括ケア病棟	
	03. 小児入院病棟		04. その他の一般病棟	
	05. その他の療養病棟		06. 精神病棟	
	07. その他（具体的に)			
⑦ 役職等 (○は1つ)	01. 院長・副院長	02. 部長・副部長	03. 診療科の責任者（医長等）	
	04. その他の管理職の医師（具体的に)			
	05. 非管理職の医師（06を除く）		06. 後期研修医	
⑧ 勤務形態	01. 常勤	02. 非常勤		
⑨ 短時間勤務制度の利用	01. あり	02. なし		
⑩ 主治医制の状況 ^{注2}	01. 単独主治医制	02. 複数主治医制	03. その他	

注1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等

外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等

注2. 単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合

複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

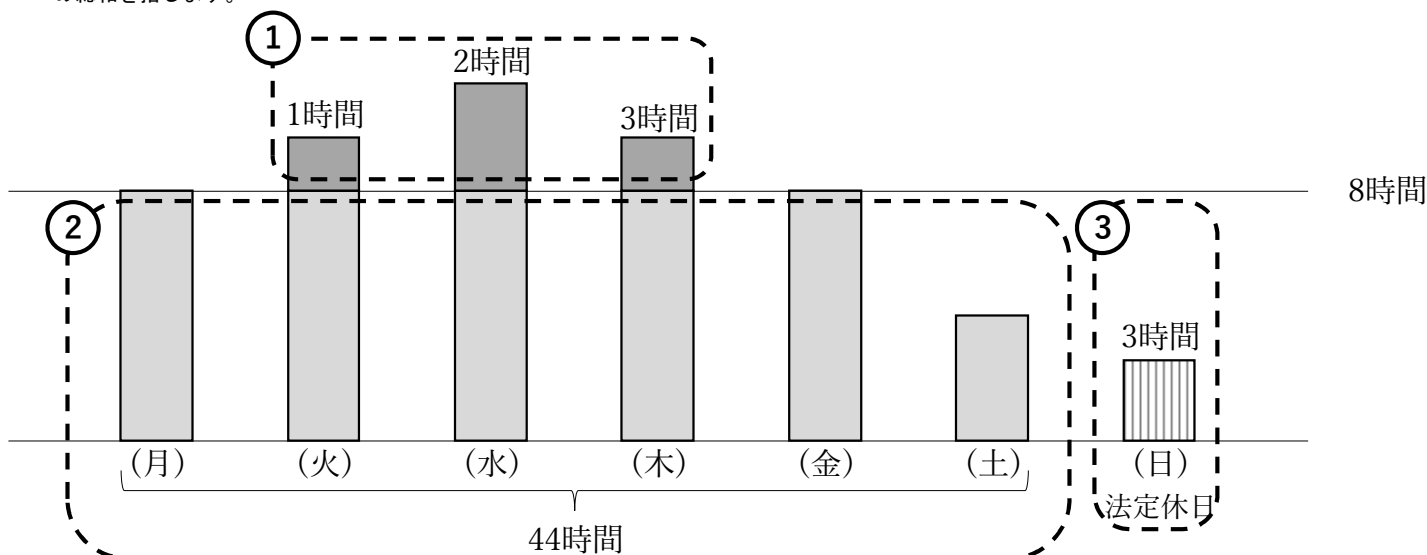
次ページ2.へお進みください。

2. あなたの勤務状況等についてお伺いします。

① 貴施設（この調査票を受けとった病院）における、各設間で指定する期間におけるあなたの令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月の超過勤務時間（1か月間）、宿日直状況を記載してください。回答が難しい場合は、（ ）内に「-」をご記入ください。

	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月
1) 超過勤務時間 ^{注3}	約（ ）時間 / 月	約（ ）時間 / 月	約（ ）時間 / 月
2) 宿日直回数 ^{注4}	（ ）回 / 月	（ ）回 / 月	（ ）回 / 月
3) うち、連続当直回数	（ ）回 / 月	（ ）回 / 月	（ ）回 / 月

注3. 超過勤務時間とは、①法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間
 ②1週について40時間を超えて労働した時間数（①及び③で計上される時間数は除く。）
 ③法定休日（週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり）において労働した時間の総和を指します。



上記の場合、①：1+2+3=6時間 ②：44-40=4時間 ③：3時間 となるため、1週間の超過勤務時間数(①+②+③)=13時間 と計算されます。

注4. 土曜日・日曜日の日直は1回として数えてください。なお、連続当直回数とは当直翌日に当直が入っている日数を指します。

② 勤務時間をどのように勤務先に申告していますか。（○は1つ）

01. ICカード・タイムカード	02. 上司等第三者の確認	03. 自己申告	04. その他
------------------	---------------	----------	---------

③ 現在、この調査票を受け取った医療機関以外での勤務がありますか。（○は1つ）

01. 他医療機関でも勤務している → ③-1へ	02. 他医療機関では勤務していない → ④へ
--------------------------	-------------------------

【上記③で「01. 他医療機関でも勤務している」と回答した方のみお答えください。】

③-1 この調査票を受け取った医療機関以外での、あなたの、令和元年6月、令和2年6月、令和3年6月1か月間の勤務時間、当直回数等についてご記入ください。回答が難しい場合は、（ ）内に「-」をご記入ください。

	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月
1) 他に勤務している医療機関数	（ ）施設	（ ）施設	（ ）施設
2) 1か月間の勤務時間	約（ ）時間	約（ ）時間	約（ ）時間
3) 1か月間の当直回数	（ ）回	（ ）回	（ ）回
4) うち、連続当直回数 ^{注5}	（ ）回	（ ）回	（ ）回

注5. 調査票を受け取った医療機関と他の医療機関で連続して当直した場合もその回数をご記入ください。

※以下の設問はすべての方がお答えください。

④ 1年前と比較してあなたの勤務状況はどのように変化しましたか。この調査票を受け取った医療機関での勤務状況についてご回答ください。(○はそれぞれ1つ)			
1) 勤務時間	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
2) 病棟の勤務状況	01. 改善した	02. 変わらない	03. 悪化した 04. 担当していない
3) 外来の勤務状況(標榜診療時間内)	01. 改善した	02. 変わらない	03. 悪化した 04. 担当していない
4) 救急外来の勤務状況(標榜診療時間外)	01. 改善した	02. 変わらない	03. 悪化した 04. 担当していない
5) 標榜診療時間外における手術回数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた 04. 担当していない
6) 手術前日の当直回数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた 04. 担当していない
7) 当直の回数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた 04. 担当していない
8) 当直時の平均睡眠時間	01. 増えた	02. 変わらない	03. 減った 04. 担当していない
9) オンコール担当回数 ^{注6}	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた 04. 担当していない
10) 当直翌日の勤務状況	01. 改善した	02. 変わらない	03. 悪化した 04. 担当していない
11) 書類作成等の事務作業	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
12) ICTを用いたカンファレンスの実施状況	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた 04. 実施していない
13) 総合的にみた勤務状況	01. 改善した	02. どちらかという改善した	03. 変わらない 04. どちらかという悪化した
	05. 悪化した	06. その他(具体的に)

注6. 病院、診療科、診療科内のチーム等の組織において「オンコール担当」として当番となった回数

3. あなたの行っている業務とその負担感等についてお伺いします。

① 貴診療科(あなたの所属する診療科)における医師の負担軽減策についてお伺いします。			
(1) 貴診療科で医師の負担軽減策として実施されている取組としてあてはまる番号全てに○をつけてください。			
(2) 上記(1)で○をつけた取組について、特に医師の負担軽減効果のある取組としてあてはまる番号に3つまで○をつけてください。			
	(1) 実施されている取組に○(あてはまる番号すべてに○)	→	(2) 特に医師の負担軽減効果のある番号に○(○は3つまで)
1) 医師の増員	01	→	01
2) 勤務間インターバルの導入	02	→	02
3) 外来提供体制の短縮	03	→	03
4) 予定手術前の当直の免除	04	→	04
5) 当直翌日の業務内容の軽減(当直翌日の休日を含む)	05	→	05
6) 複数主治医制 ^{注7} の実施	06	→	06
7) 医師業務の特定行為研修修了者である看護師との分担	07	→	07
8) 医師業務の看護師(7)に示す看護師を除く)との分担	08	→	08
9) 救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や事前に取り決めたプロトコルに基づく、看護師による血液検査オーダー入力・採血・検査の実施	09	→	09
10) 医師業務の助産師との分担	10	→	10
11) 薬剤師による処方提案等	11	→	11
12) 薬剤師による投薬に係る入院患者への説明	12	→	12
13) 薬剤師による事前に取り決めたプロトコルに沿って、処方された薬剤の変更 ^{注8}	13	→	13
14) 薬剤師による外来診察時(前後の場合も含む)の患者の服薬状況、副作用等に関する情報収集と医師への情報提供	14	→	14
15) 医師事務作業補助者の病棟への配置・増員	15	→	15
16) 医師事務作業補助者の外来への配置・増員	16	→	16
17) 医師が出席する会議の開催方法の見直し	17	→	17
18) ICTを活用した業務の見直し・省力化	18	→	18
19) 時間外・休日・深夜における手術・1000点以上の処置の実施に係る医師(術者又は第一助手)の手当支給	19	→	19
20) 採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について、原則として医師以外が実施していること(新生児を除く。)	20	→	20

注7. 1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている

場合も含む。

注8. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

※【②は、①の「(2) 特に医師の負担軽減効果のあるものに○」で「15」、「16」に○をつけた方にお伺いします。】 ←

② 医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務の具体的な内容についてお答えください。

あてはまる番号すべてに○	改善された月当たりの時間数（月間）	
1) 診断書などの文書作成	01	診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行 約（ ）時間／月
	02	患者の診療、入院などの手続き、説明 約（ ）時間／月
	03	外来予約受付、検査等のオーダーリング 約（ ）時間／月
2) 診療記録の入力	04	医師の外来診察などに同席して行うカルテの入力代行 約（ ）時間／月
3) 医療の質の向上に資する事務作業	05	院内会議の準備、NCD・JND・JCVSDなどの症例登録 約（ ）時間／月
	06	治療や診察に関するデータの管理 約（ ）時間／月
4) 行政上の業務	07	厚生労働省などに報告する診療データの整理 約（ ）時間／月
	08	救急医療情報システムの入力業務 約（ ）時間／月
5) その他	09	具体的に： 約（ ）時間／月
②-1 医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）	01. ある（具体的に： ）	
	02. ない	

次ページ③へお進みください。

③ 貴診療科における、あなたの業務負担感と業務分担の状況等についてお伺いします。

(1) 各業務の業務負担感について、あてはまる番号をご記入ください。

(2) 各業務の他職種との業務分担の取組状況についてあてはまる番号に○をつけてください。

(3) 医師のみが実施している各業務（上記（2）で「3」に○がついた場合）について、今後、他職種への分担をどのように考えていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

※（2）、（3）のいずれについても、それぞれ○は1つずつ

	(1)業務負担感 【選択肢】該当番号記入 1：負担が非常に小さい 2：負担が小さい 3：どちらともいえない 4：負担が大きい 5：負担が非常に大きい 6：実施していない	(2)分担取組状況			→ 3と回答した業務	(3)他職種への期待			
		主に他職種が実施している	他職種の補助を受けている	医師のみが実施している		ほしい 他職種に実施してほしい	ほしい 他職種に補助してほしい	現行のままでよい	何とも言えない
1) 初療時の予診		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
2) 静脈採血		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
3) 静脈注射		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
4) 血液培養		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
5) 留置針によるルート確保		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
6) 尿道カテーテルの留置		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
7) 気管カニューレの交換		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
8) 腹腔ドレーンの抜去・縫合		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
9) 抜糸		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
10) 人工呼吸器等の設定条件の変更		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
11) 人工呼吸器管理下の患者に対する鎮静薬の投与量の調整		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
12) 脱水症状に対する輸液による補正		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
13) 患者移動		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
14) 診断書、診療記録及び処方箋の記載		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
15) 主治医意見書の記載		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
16) 診察や検査等の予約システム入力や電子カルテ入力		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
17) 救急医療等における診療の優先順位の決定（トリアージの実施）		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
18) 検査、治療、入院に関する患者への説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
19) 検査、治療、入院に関する患者の家族への説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
20) 慢性疾患患者への療養生活等の説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
21) 診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
22) 患者の退院に係る調整業務		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
23) 患者に対する処方薬の説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
24) 医薬品の副作用・効果の確認		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
25) 患者に対する検査結果の説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
26) 患者に対する病状の説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4
27) 病状に関する患者の家族への説明		1	2	<u>3</u>	→	1	2	3	4

④ 上記③の業務の他に、あなたが負担に感じている業務で、医師以外の職員と役割分担ができる業務がありましたら、具体的にご記入ください。

4. 病棟薬剤師による、あなたの業務の負担軽減等についてお伺いします。

① あなたが主に勤務する病棟では、薬剤師が病棟に配置されていますか。(〇は1つ)

01. 配置されている → ①-1 へ

02. 配置されていない → 5. へ

※①で「01」を選んだ施設がお答えください。

①-1 配置されている場合の状況	(1) 病棟における薬剤師の関与の状況			(2) 医師の負担軽減及び医療の質の向上への効果 (薬剤師が関与している場合のみお答えください)				
	主に薬剤師が関与	時々薬剤師が関与	薬剤師は関与しない	効果がある	効果がある どちらかといえば	どちらともいえない	効果がない どちらかといえば	効果がない
1) 患者からの情報収集 (投薬歴、持参薬等)	1	2	3	1	2	3	4	5
2) 医師への処方や服薬計画等の提案	1	2	3	1	2	3	4	5
3) 患者に対する処方薬の説明	1	2	3	1	2	3	4	5
4) 医薬品の副作用・効果等の確認	1	2	3	1	2	3	4	5
5) 事前に取り決めたプロトコルに沿って、処方された薬剤の変更 ^{注9}	1	2	3	1	2	3	4	5
6) 退院時の薬剤情報管理指導	1	2	3	1	2	3	4	5

注9. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

5. あなたの勤務状況に関するご意見等をお伺いします。

① あなたの現在の勤務状況についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

01. 改善の必要性が高い → ①-1 へ

02. 改善の必要性がある → ①-1 へ

03. 現状のままでよい → ②へ

04. その他 (具体的に:) → ②へ

※【上記①で「01.改善の必要性が高い」「02.改善の必要性がある」と回答した方のみお答えください】

①-1 勤務状況について「01.改善の必要性が高い」または「02.改善の必要性がある」と回答した最大の理由は何ですか。(〇は1つ)

- 01. 医師の過重勤務により患者が不利益を被る可能性があるため
- 02. 業務を継続していけるか不安があるため
- 03. 過重勤務により身体的・精神的疾患を患う (患った) ため
- 04. 給与が業務量に比べて低いと感じるため
- 05. ワークライフバランスがとれていないため
- 06. 出産・育児休暇等の取得が難しいため
- 07. その他 (具体的に:)

② どのような取組が病院で行われれば、医師の負担を軽減できると思いますか。具体的にご記入ください。(新型コロナウイルスの影響に対する取組や働き方改革全般に対する取組など、自由にご記載ください)

医師票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和3年8月31日(火)までに

返信用封筒(切手不要)に封入のうえ、ご投函ください。

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る
評価等に関する実施状況調査

※特に指定がある場合を除いて、令和3年7月1日現在の状況についてお答えください。

※数値を記入する設問で、該当するものがない場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。わからない場合は「-」をご記入ください。

1. あなたが管理する病棟の概要についてお伺いします。

①病棟の主たる診療科をお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

01. 内科系 ^{注1}	02. 外科系 ^{注2}	03. 小児科	04. 産婦人科・産科
05. 救急部門	06. 集中治療部門	07. 集中治療部門（小児）	08. 精神科
09. その他（ ）			

注1. 内科系:内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等

注2. 外科系:外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等

②(1)診療報酬上、算定している入院基本料等をお選びください。（最も病床数が多い番号一つに○）
(2)上記(1)で○をつけた入院料について、あてはまる番号を一つお選びください。

(1) 01～10のうち、最も病床数が多い番号一つに○		(2) 左記(1)で○をつけた入院料について、あてはまる番号一つに○			
01. 一般病棟入院基本料	→	01. 急性期一般入院料 1	02. 急性期一般入院料 2		
		03. 急性期一般入院料 3	04. 急性期一般入院料 4		
		05. 急性期一般入院料 5	06. 急性期一般入院料 6		
		07. 急性期一般入院料 7	08. 地域一般入院料 1		
		09. 地域一般入院料 2	10. 地域一般入院料 3		
02. 療養病棟入院基本料	→	01. 療養病棟入院料 1	02. 療養病棟入院料 2		
		03. 療養病棟入院基本料 注11 ^{※1}			
03. 精神病棟入院基本料	→	夜間看護加算	01. 届出あり	02. 届出なし	
		01. 1 0 対 1	02. 1 3 対 1	03. 1 5 対 1	04. 1 8 対 1
04. 特定機能病院入院基本料	→	一般病棟	01. 7 対 1	02. 1 0 対 1	
		精神病棟	01. 7 対 1	02. 1 0 対 1	03. 1 3 対 1
05. 障害者施設等入院基本料	→	01. 7 対 1	02. 1 0 対 1	03. 1 3 対 1	04. 1 5 対 1
		看護補助加算	01. 届出あり	02. 届出なし	
		夜間看護体制加算	01. 届出あり	02. 届出なし	
06. その他の入院基本料	→	01. 7 対 1	02. 1 0 対 1	03. それ以外	
07. 地域包括ケア病棟入院料	→	01.入院料 1	02.入院管理料 1	03.入院料 2	04.入院管理料 2
		05.入院料 3	06.入院管理料 3	07.入院料 4	08.入院管理料 4
08. 回復期リハビリテーション病棟入院料	→	01.入院料 1	02.入院料 2	03.入院料 3	04.入院料 4
		05.入院料 5	06.入院料 6		
09. 小児入院医療管理料	→	01.管理料 1	02.管理料 2	03.管理料 3	04.管理料 4
		05.管理料 5			
10. その他の特定入院料	→	01. 2 対 1	02. 4 対 1	03. 5 対 1	04. 7 対 1
		05. 1 0 対 1	06. それ以外		

※1 看護職員配置が20対1未満または医療区分2・3の患者割合50%未満の場合

③貴病棟の病床数、病床利用率をご記入ください。	
1) 病床数	床
2) 病床利用率 ^{注3}	%
3) 令和3年6月1か月間の新入院患者数	人
4) 令和3年6月1か月間の退院患者数	人
5) 平均在院日数 ^{注4}	日
6) 令和3年6月1か月間の手術を受けた患者数 ^{注5} (緊急・予定手術を問わない)	件
7) (一般病棟の場合) 貴医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度	01. I 02. II 03. 届出していない

注3. 病床利用率: 以下の式により算出し、小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位までご記入ください。

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{8月～10月の在院患者延べ数}}{(\text{月間日数} \times \text{月末許可病床数}) \text{の8月～10月の合計}} \times 100$$

注4. 平均在院日数: 以下の式により算出し、小数点以下第1位まで(小数点以下第2位を切り捨て)ご記入ください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{8月～10月の在院患者延べ日数}}{(\text{8月～10月の新入院患者数} + \text{8月～10月の新退院患者数}) \times 0.5}$$

注5. 手術後に直接、当該病棟に帰棟(帰室)した患者数をご記入ください。

④看護補助加算 (01～04のうち、○は1つ) ※地域一般入院基本料または13対1、15対1、18対1、20対1入院基本料を算定する病院のみ	01. 看護補助加算1	02. 看護補助加算2	03. 看護補助加算3
	a) 夜間75対1看護補助加算(50点)	(01. 届出あり 02. 届出なし)	
	b) 夜間看護体制加算(165点)	(01. 届出あり 02. 届出なし)	
	04. 届出をしていない		
	a) 届出の予定	(01. 予定あり 02. 予定なし)	
	b) 届出をしていない理由(あてはまる番号すべてに○) (01. 職員確保が困難 02. 必要性がない 03. その他())		

※以下の質問⑤～⑧は一般病棟の方のみご回答ください。それ以外の病棟の方は2. A ①へお進みください。

⑤急性期看護補助体制加算 (01～05のうち、○は1つ) ※急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の7対1もしくは10対1入院基本料を届け出ている場合のみ	01. 25対1(看護補助者5割以上)	02. 25対1(看護補助者5割未満)	
	03. 50対1	04. 75対1	
	05. 届出をしていない		
	a) 届出の予定	(01. 予定あり 02. 予定なし)	
	b) 届出をしていない理由(あてはまる番号すべてに○) (01. 職員確保が困難 02. 必要性がない 03. その他())		
⑥夜間急性期看護補助体制加算 (01～04のうち、○は1つ) ※急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみ	01. 30対1	02. 50対1	03. 100対1
	04. 届出をしていない		
	a) 届出の予定	(01. 予定あり 02. 予定なし)	
	b) 届出をしていない理由(あてはまる番号すべてに○) (01. 職員確保が困難 02. 必要性がない 03. その他())		
	⑦夜間看護体制加算(○は1つ) ※急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみ	01. 届出あり 02. 届出なし	
⑧看護職員夜間配置加算 (01～05のうち、○は1つ) ※急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の7対1もしくは10対1入院基本料を届け出ている場合のみ	01. 12対1の「1」	02. 12対1の「2」	03. 16対1の「1」
	04. 16対1の「2」		
	05. なし		
	a) 届出の予定	(01. 予定あり 02. 予定なし)	
	b) 届出をしていない理由(あてはまる番号すべてに○) (01. 職員確保が困難 02. 必要性がない 03. その他())		

2. 貴病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等についてお伺いします。

A. 職員数 ※以下の質問は令和3年7月1日時点の実績をご記入ください。

①貴病棟に配置されている職員数(夜勤専従者は除く)	常勤	非常勤(常勤換算 ^{注6})
1)看護師数	人	人
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	人	人
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	人	人
2)准看護師数	人	人
3)看護補助者数	人	人

注6. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位までお答えください。

- 1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)
- 1か月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1か月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

①-1 特定行為研修を修了した看護師がいる場合、該当する特定行為区分をお選びください。 (あてはまる番号すべてに○) ※領域別パッケージ研修を修了している場合は、該当する領域をお選びください。	
<特定行為区分>	
01. 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	02. 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
03. 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	04. 循環器関連
05. 心嚢ドレーン管理関連	06. 胸腔ドレーン管理関連
07. 腹腔ドレーン管理関連	08. ろう孔管理関連
09. 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	10. 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
11. 創傷管理関連	12. 創部ドレーン管理関連
13. 動脈血液ガス分析関連	14. 透析管理関連
15. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16. 感染に係る薬剤投与関連
17. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18. 術後疼痛管理関連
19. 循環動態に係る薬剤投与関連	20. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
21. 皮膚損傷に係る薬剤投与関連	
<領域>	
22. 在宅・慢性期領域	23. 外科術後病棟管理領域
24. 術中麻酔管理領域	25. 救急領域
26. 外科系基本領域	

②看護職員 ^{注7} の勤務時間等(夜勤専従者は除く)(令和3年4~6月)	常勤	非常勤(常勤換算 ^{注8})
1) 1人当たり平均勤務時間 ^{注9} /月	時間/月	時間/月
2) 1人当たり平均夜勤時間 ^{注10} /月	時間/月	時間/月
3) (最小値 ^{注11})夜勤時間/月	時間/月	時間/月
4) (最大値 ^{注11})夜勤時間/月	時間/月	時間/月
5) 1人当たり平均勤務日数 ^{注12} /月	日/月	日/月

注7. 看護職員:保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

注8. 常勤換算:貴施設の1週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第1位まで(第2位を切り捨て)ご記入ください。
例:1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日(各日5時間)勤務の看護職員が1人いる場合:(4日×5時間×1人)÷40時間

注9. 平均勤務時間:実際に勤務した時間です。残業時間も含まれます。

注10. 平均夜勤時間:延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数(※夜勤従事者は夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内(病棟+病棟外)で勤務する時間)なお、次の該当者は計算から除外してください。a)夜勤専従者(専ら夜勤時間帯に従事する者) b)急性期一入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟の場合は月夜勤時間数が16時間未満及び短時間制職員で月夜勤時間数が12時間未満の者、c)急性期一般入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟以外の病棟の場合は、月夜勤時間数が8時間未満の者。

注11. (最小値)夜勤時間/月:貴病棟で1か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤時間をご記入ください。夜勤に従事していない人は除いてください。

(最大値)夜勤時間/月:貴病棟で1か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤時間をご記入ください。

注12. 平均勤務日数:所定休日や休暇を除いた勤務日数の1人当たり平均値をご記入ください。

③看護補助者の勤務時間	常勤	非常勤(常勤換算 ^{注8})
1) 1人当たり平均勤務時間 ^{注13} ／月	時間/月	時間/月

注13. 平均勤務時間:実際に勤務した時間です。残業時間も含まれます。

④貴病棟に配置されている看護職員 ^{注7} の夜勤専従者数(実人数)	常勤	非常勤(実人数)
1) 看護師数	人	人
2) 准看護師数	人	人
⑤看護職員 ^{注7} の夜勤専従者の勤務時間等(令和3年4～6月)	常勤	非常勤
1) 1人当たり平均勤務時間 ^{注9} ／月	時間/月	時間/月
2) 1人当たり平均夜勤時間 ^{注14} ／月	時間/月	時間/月
3) (最小値 ^{注15}) 夜勤時間／月	時間/月	時間/月
4) (最大値 ^{注15}) 夜勤時間／月	時間/月	時間/月

注14. 夜勤時間:夜勤専従者について、延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数(※夜勤従事者=夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内(病棟+病棟外)で勤務する時間)

注15.(最小値)夜勤時間／月:貴病棟で1か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間をご記入ください。

(最大値)夜勤時間／月:貴病棟で1か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間をご記入ください。

B. 夜勤体制等

①貴病棟における看護職員 の勤務形態 (あてはまる番号すべてに○)	01. 2交代制 ^{注16}	02. 変則2交代制 ^{注17}	03. 3交代制 ^{注18}
	04. 変則3交代制 ^{注19}	05. 上記01.～04.の混合	06. 日勤のみ
	07. 夜勤のみ	08. その他(具体的に)	

注16. 2交代制:日勤・夜勤が12時間ずつ等といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが同じになる交代勤務。

注17. 変則2交代制:日勤8時間、夜勤16時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。

注18. 3交代制:日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務。

注19. 変則3交代制:日勤9時間、準夜勤7時間、深夜勤8時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。

②令和2年度診療報酬改定の結果、貴病棟における看護職員数や夜勤に関する状況は改定前と比較して、どのようになりましたか。(それぞれ○は1つ)			
1) 看護師数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
2) 准看護師数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
3) 看護補助者数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
4) 実際の夜勤時間の長さ(残業等含む)	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
5) 夜勤の回数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
6) 夜勤時の受け持ち患者数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
7) 夜勤時の繁忙度	01. 余裕ができた	02. 変わらない	03. 忙しくなった
8) 夜勤の看護職員配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
9) 夜勤の看護補助者配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
10) 夜勤をする理学療法士等(看護要員以外)の配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
11) 一部の者への夜勤の負担	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
12) 夜勤シフトの組み方	01. 組みやすくなった	02. 変わらない	03. 組みにくくなった
13) 夜勤の72時間要件	01. 満たしやすくなった	02. 変わらない	03. 満たしにくくなった
14) 他部署との兼務	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
15) 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者	01. 増えた	02. 変わらない	03. 減った

③令和2年度診療報酬改定の結果、改定前と比較して、貴病棟の看護職員の勤務状況はどのように変化しましたか。(それぞれ○は1つ)			
1) 勤務時間	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
2) 残業時間	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
3) 有給休暇の取得状況	01. 増えた	02. 変わらない	03. 減った
4) 総合的にみた勤務状況	01. 改善した	02. どちらかという改善した	
	03. 変わらない	04. どちらかという悪化した	
	05. 悪化した	06. その他 ()	

3. 貴病棟における看護職員の負担軽減策の取組状況についてお伺いします。

①貴病棟における看護職員の負担軽減策についてお伺いします。									
(1)貴病棟で看護職員の負担軽減策として実施している取組に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)									
(2)上記(1)で○をつけた取組について、取組を開始した時期にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)									
(3)上記(1)で○をつけた取組について、看護職員の負担軽減の効果にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)									
	(1)		(2)取組を開始した時期		(3)負担軽減効果				
	実施されている取組に○		令和2年度改定より前	令和2年度改定以後	効果がある	効果がある どちらかといえば	どちらともいえない	効果がない どちらかといえば	効果がない
(記入例)4)夜勤専従者の雇用	④	→	①	2	1	②	3	4	5
1. 看護職員の配置・勤務シフト等									
1) 看護職員の増員	1	→	1	2	1	2	3	4	5
2) 短時間勤務の看護職員の増員	2	→	1	2	1	2	3	4	5
3) 夜勤時間帯の看護職員配置の増員	3	→	1	2	1	2	3	4	5
4) 夜勤専従勤務の導入	4	→	1	2	1	2	3	4	5
5) 夜勤専従者の雇用	5	→	1	2	1	2	3	4	5
6) 2交代・3交代制勤務の見直し (変則への移行を含む)	6	→	1	2	1	2	3	4	5
7) 11時間以上の勤務間隔の確保	7	→	1	2	1	2	3	4	5
8) 夜勤後の暦日の休日の確保	8	→	1	2	1	2	3	4	5
9) 夜勤の連続回数が2連続(2回まで)の設定	9	→	1	2	1	2	3	4	5
10) 月の夜勤回数の上限の設定	10	→	1	2	1	2	3	4	5
11) (2交代制勤務の場合)夜勤時の仮眠時間を含む休憩時間の確保	11	→	1	2	1	2	3	4	5
12) (2交代制勤務の場合)16時間未満となる夜勤時間の設定	12	→	1	2	1	2	3	4	5
13) (3交代制勤務の場合)日勤深夜、準夜日勤のシフトの回避	13	→	1	2	1	2	3	4	5
14) (3交代制勤務の場合)正循環の交代周期の確保	14	→	1	2	1	2	3	4	5
15) 早出や遅出などの看護ニーズに応じた勤務体制の導入・活用	15	→	1	2	1	2	3	4	5
16) 残業が発生しないような業務量の調整	16	→	1	2	1	2	3	4	5
17) 日勤・夜勤の業務分担等の見直し	17	→	1	2	1	2	3	4	5

①(続き)

(1) 貴病棟で看護職員の負担軽減策として実施している取組に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

(2) 上記(1)で○をつけた取組について、取組を開始した時期にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(3) 上記(1)で○をつけた取組について、看護職員の負担軽減の効果にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	(1)		(2) 取組を開始した時期		(3) 負担軽減効果				
	実施されている取組に○		令和2年度改定より前	令和2年度改定以後	効果がある	効果がある どちらかといえば	どちらともいえない	効果がない どちらかといえば	効果がない
18) 夜間を含めた各部署の業務量を把握・調整するシステムの構築	18	→	1	2	1	2	3	4	5
19) 他部門(入退院支援部門等)の看護職員との業務分担	19	→	1	2	1	2	3	4	5
20) 急な欠勤の際の応援体制	20	→	1	2	1	2	3	4	5
21) ICT、AI、IoT等の活用 ^{注20}	21	→	1	2	1	2	3	4	5
22) 電子カルテの活用	22	→	1	2	1	2	3	4	5
23) オーダリングシステムの活用	23	→	1	2	1	2	3	4	5
24) 業務効率化のための手順等の見直し	24	→	1	2	1	2	3	4	5
25) 勤務時間内の委員会 ^{注21} の開催	25	→	1	2	1	2	3	4	5
26) 看護職員に出席義務のある院内の各種委員会の見直し(出席者、回数、開催時間、開催方法の見直し)	26	→	1	2	1	2	3	4	5
27) 院内保育所の設置 ^{注22}	27	→	1	2	1	2	3	4	5
28) 夜間院内保育所の設置 ^{注22}	28	→	1	2	1	2	3	4	5
29) 27)又は28)の院内保育所における病児保育の実施	29	→	1	2	1	2	3	4	5
30) メンタルヘルス対策の実施	30	→	1	2	1	2	3	4	5
31) 暴言・暴力等のハラスメント対策の実施	31	→	1	2	1	2	3	4	5
32) 業務の外部委託(清掃業務、シーツ交換等)	32	→	1	2	1	2	3	4	5

注20. 当該項目に係る疑義解釈(令和2年3月31日事務連絡 問14)で示すような、看護記録の音声入力、AIを活用したリスクアセスメント、ウェアラブルセンサ等を用いたバイタルサインの自動入力等の活用を想定しており、単にナースコール、心電図又はSpO2モニター、電子カルテ等を用いていること等は含まない。

注21. 入院基本料の施設基準の「院内感染防止対策に関する基準」「医療安全管理体制に関する基準」「褥瘡対策の基準」を満たすための委員会は除きます。

注22. 病院として院内保育所または夜間院内保育所を設置している場合、それぞれ「(1)実施されている取組」欄に○をご記入いただき、(2)、(3)にご回答ください。

①(続き)									
(1) 貴病棟で看護職員の負担軽減策として実施している取組に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)									
(2) 上記(1)で○をつけた取組について、取組を開始した時期にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)									
(3) 上記(1)で○をつけた取組について、看護職員の負担軽減の効果にあてはまる番号へ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)									
	(1)		(2) 取組を開始した時期		(3) 負担軽減効果				
	実施されている取組に○		令和2年度改定より前	令和2年度改定以後	効果がある	効果がある どちらかといえば	どちらともいえない	効果がない	効果がない どちらかといえば
2. 看護補助者の病棟配置等									
33) 看護補助者との業務分担	33	→	1	2	1	2	3	4	5
34) 看護補助者の増員	34	→	1	2	1	2	3	4	5
35) 早出や遅出の看護補助者の配置	35	→	1	2	1	2	3	4	5
36) 夜勤時間帯の看護補助者の配置	36	→	1	2	1	2	3	4	5
37) 病棟クラークとの業務分担	37	→	1	2	1	2	3	4	5
38) 病棟クラークの配置	38	→	1	2	1	2	3	4	5
3. 他職種との業務分担等									
39) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との業務分担	39	→	1	2	1	2	3	4	5
40) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の病棟配置	40	→	1	2	1	2	3	4	5
41) 臨床検査技師との業務分担	41	→	1	2	1	2	3	4	5
42) 臨床工学技士との業務分担	42	→	1	2	1	2	3	4	5
43) MSW又はPSWとの業務分担	43	→	1	2	1	2	3	4	5
44) MSW又はPSWの病棟配置	44	→	1	2	1	2	3	4	5
45) 薬剤師との業務分担	45	→	1	2	1	2	3	4	5
46) 薬剤師の病棟配置	46	→	1	2	1	2	3	4	5

※すべての施設の方がお答えください。

①-1 看護記録に係る負担軽減のための取組を実施していますか。(あてはまる番号1つに○)			
01. 実施している	→①-2へ		
02. 今年度中に実施する予定	→②へ	03. 実施する予定はない	→②へ

※上記①-1で「01. 実施している」と回答した施設がお答えください。

①-2 看護記録に係る負担軽減のため、どのような取組を実施していますか。(あてはまる番号すべてに○)	
01. 記録内容の簡素化・見直し(様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等)	
02. 記録の運用方法の見直し(記録の電子化、多職種間での共同閲覧機能の拡大等)	
03. 「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」の評価方法の変更(IからIIへ)	
04. ベッドサイドで記録できるシステム・仕組みの導入(タブレットやモバイルPCの活用等)	
05. バイタルデータ等の自動入力システムの活用	
06. 看護補助者やクラーク等による入力代行・支援	
07. 音声入力やボイスレコーダーを活用した看護記録の代行入力	
08. AI ^{注23} を活用したアセスメント支援システムの導入	
09. その他(具体的に: _____)	
①-3 上記①-2で選択した取組のうち、最も負担軽減に寄与している取組の番号をご記入ください。(番号は1つ)	

注23. AI: artificial intelligenceの略称。人工知能。

※すべての施設の方がお答えください。

② 令和3年7月1日現在、貴施設は重症度、医療・看護必要度IIを届け出ていますか。(○は1つ)	
01. 届出ている	→ ②-1へ
02. 届出していない	→ ③へ

※上記②で「01. 届出ている」と回答した施設がお答えください。

②-1 いつから重症度、医療・看護必要度IIで届け出ていますか。(○は1つ)	
01. 平成30年度診療報酬改定後に、IからIIへ届出を変更した	→ ②-2へ
02. 平成30年度診療報酬改定後に、IIで届け出た(それ以前は必要度の測定を行っていなかった)	→ ③へ
03. 令和2年度診療報酬改定後に、IからIIへ届出を変更した	→ ②-2へ
04. 令和2年度診療報酬改定後に、IIで届け出た(それ以前は必要度の測定を行っていなかった)	→ ③へ

※上記②-1で「01」又は「03」と回答した施設がお答えください。

②-2 看護必要度IIに変更したことで、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)			
1) 看護必要度に係る看護職員の記録時間の变化について	01. とても短くなった	02. 短くなった	03. 変わらない
	04. 長くなった	05. とても長くなった	
	06. その他(自由回答: _____)		
2) 看護必要度に係る看護職員の業務負担の变化について	01. 負担が非常に減った	02. 負担が減った	03. 変わらない
	04. 負担が増えた	05. 負担が非常に増えた	
	06. その他(自由回答: _____)		

※すべての施設の方がお答えください。

③ どのような取組が病院で行われれば、医療従事者の負担を軽減することができると思いますか。新型コロナウイルスの影響に対する取組と働き方改革全般に対する取組の違いに留意しつつ、具体的にご記入ください。また、貴病棟における看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題等があればご記入ください。

看護師長票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和3年8月31日(火)までに
返信用封筒(切手不要)に封入のうえ、ご投函ください。

令和2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和3年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、令和3年7月1日現在の状況についてお答えください。
●ご回答の際は、該当する番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値等をご記入ください。
（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

1. 貴施設の概要等についてお伺いします。

① 貴施設の薬剤師数（薬剤部以外に所属する薬剤師も含めた全体の人数）を常勤、非常勤別にご記入ください。

	常 勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数 ^{注1}
薬剤師	() 人	() 人	() 人

注1. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位までお答えください。
以下、常勤換算数をたずねる設問については同じ方法で算出してください。

- 1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)
■ 1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

② 貴施設薬剤部門に所属する薬剤師数及びその他の職員を常勤、非常勤別にご記入ください。

	常 勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数 ^{注1}
1) 薬剤師	() 人	() 人	() 人
2) その他の職員	① 事務補助者	() 人	() 人
	② その他	() 人	() 人

③ 貴施設における、令和2年6月及び令和3年6月の1か月間における常勤薬剤師1人あたりの平均勤務時間、夜間勤務体制、平均当直回数、平均オンコール担当回数等についてご記入ください。

	令和2年6月	令和3年6月	
1) 1人あたりの平均勤務時間 ^{注2}	約 () 時間	約 () 時間	
2) 上記1)のうち、新型コロナウイルスワクチン接種に関する業務 ^{注3} の時間		約 () 時間	
3) 夜間勤務体制 (回答時点の主なものに、○を1つ)	01. 日勤のみ	02. 当直 ^{注4}	03. オンコール ^{注5}
	04. 2交代制 ^{注6}	05. 3交代制 ^{注7}	06. シフト勤務 ^{注8} (早出、遅出等)
	07. その他 (具体的に:)		

注2. 所定労働時間に残業時間を加えた時間

注3. 新型コロナウイルスワクチンの情報収集、品質管理、ワクチン溶解・希釈・分注、副反応等接種後フォロー、予診問診における医薬品服用状況の確認、接種会場におけるアナフィラキシー等の緊急処置薬の整備、等の業務

注4. 薬剤師が夜間勤務している体制をとっていること

注5. 自宅待機等で必要時に呼び出しを受けて対応できる体制をとっていること

注6. 日勤・夜勤が12時間ずつ等といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが同じになる交代勤務

注7. 日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務

注8. 早出、遅出等の時間差勤務体制をとっていること

※以下の設問4)～7)は、上記③3)で「02.当直」あるいは「03.オンコール」を選んだ施設がお答えください。

4) 当直、オンコールを担当する薬剤師数	常 勤	非常勤
	() 人	() 人
5) 1人あたりの当直・オンコール担当平均回数 ^{注9}	令和2年6月	令和3年6月
	() 回	() 回
6) 当直・オンコール時の業務内容について (あてはまる番号すべてに○)		
01. 入院患者に対する内用薬・外用薬調剤		
02. 入院患者に対する注射薬調剤		
03. 外来患者に対する内用薬・外用薬調剤・交付業務		
04. 外来患者に対する注射薬調剤		
05. 入院患者に対する無菌製剤処理業務		
06. 外来患者に対する無菌製剤処理業務		
07. 薬品管理業務 (発注、在庫管理、マスタ管理等)		
08. 病棟薬剤業務		
09. その他 (具体的に:)		

注9. 土曜日・日曜日の日直はそれぞれ1回として数える

	令和2年6月	令和3年6月
7) 当直・オンコール1回当たり処方箋平均枚数	() 枚/回	() 枚/回

※すべての施設の方がお答えください。

④ 貴施設における令和2年6月及び令和3年6月の1か月間における処方箋枚数についてご記入ください。

	令和2年6月	令和3年6月
1) 外来患者の院外処方箋	() 枚	() 枚
2) 外来患者の院内処方箋	() 枚	() 枚
3) 入院患者の処方箋	() 枚	() 枚

⑤ 貴施設における病棟数、薬剤師が配置されている病棟数についてご記入ください。
※病棟薬剤業務実施加算を算定していない場合もすべて含めて記入してください。

	令和2年6月	令和3年6月
1) 貴施設における全病棟数	() 病棟	() 病棟
2) 上記1)のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	() 病棟	() 病棟
3) 療養病棟・精神病棟の病棟数	() 病棟	() 病棟
4) 上記3)のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	() 病棟	() 病棟
5) 集中治療室等 ^{注10} の病棟数	() 病棟	() 病棟
6) 上記5)のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	() 病棟	() 病棟

注10. 救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、又は総合周産期特定集中治療室管理料のいずれかを算定している病棟

⑥ 各病棟に配置されている薬剤師数を常勤、非常勤別にご記入ください。

	令和2年6月			令和3年6月		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数		実人数	常勤換算人数
1) 各病棟に配置されている薬剤師数	()人	()人	()人	()人	()人	()人
2) 上記1)のうち、病棟専任の薬剤師数	()人	()人	()人	()人	()人	()人
3) 上記2)のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	()人	()人	()人	()人	()人	()人
4) 上記2)のうち、集中治療室等 ^{注10} に配置されている薬剤師数	()人	()人	()人	()人	()人	()人

2. 薬剤師の働き方についてお伺いします。

① 薬剤師の業務について、1年前と比較してどのように変わりましたか。(〇はそれぞれ1つ)

	とても増えた	増えた	変化はない	減った	とても減った
1) 薬剤師による入院時における持参薬の確認及び、確認結果に基づく服薬計画の立案	01	02	03	04	05
2) 薬剤師から医師への情報提供	01	02	03	04	05
3) 薬剤師の病棟内のカンファレンス・回診への参加回数	01	02	03	04	05
4) 医師から薬剤師への相談回数	01	02	03	04	05
5) 看護職員から薬剤師への相談回数	01	02	03	04	05
6) 薬剤師による処方提案の件数	01	02	03	04	05
7) 薬剤師による臨床検査(肝・腎機能、電解質・血中薬物濃度モニタリングなど)の提案の件数	01	02	03	04	05
8) 薬剤師の関与による副作用・相互作用等回避の件数	01	02	03	04	05
9) 薬剤師の関与による副作用報告の件数	01	02	03	04	05
10) 薬剤師による医薬品の流量又は投与量等の計算・確認回数	01	02	03	04	05
11) 医薬品リスク管理計画(RMP: Risk Management Plan)に関する情報等を活用した医薬品安全管理に関する業務	01	02	03	04	05
12) 薬剤総合評価調整加算の件数(算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数)	01	02	03	04	05
13) 退院時薬剤情報管理指導料の件数(算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数)	01	02	03	04	05
14) 医薬品情報室での情報収集・管理	01	02	03	04	05

② 貴施設の薬剤師の従業員数はどのような状況ですか。(〇は1つ)	
01. 薬剤師の従業員数は業務量に対して少ない	→ ②-1 へ
02. 薬剤師の従業員数は業務量に対して適切である	→ ②-2 へ
03. 薬剤師の従業員数は業務量に対して多い	→ ②-2 へ

※以下の設問②-1は、②で「01. 薬剤師の従業員数は業務量に対して少ない」を選んだ施設の方がお答えください。

②-1 薬剤師の従業員数が少ないことにより、十分に実施できていない業務は何ですか。 (あてはまる番号すべてに〇)	
01. 入院患者に対する調剤業務	
02. 入院患者に対する病棟業務	
03. 外来患者に対する調剤業務	
04. 外来患者に対する薬剤業務 (外来化学療法室での患者指導業務など)	
05. 医薬品情報管理業務	
06. 治験・臨床研究関連業務	
07. 教育・研究業務	
08. その他	

※すべての施設の方がお答えください。

②-2 令和2年4月以降、薬剤師の増員をしましたか。(〇は1つ)			
01. 増員した	02. 増員していない → ②-4 へ		
「01. 増員した」を選択した場合、人数をご記入ください。			
増員した薬剤師数 (常勤)	() 人	増員した薬剤師数 (非常勤)	実人数 () 人 常勤換算 () 人 → ②-3 へ

※以下の設問②-3は、上記②-2で「01. 増員した」を選んだ施設がお答えください。

②-3 どのような理由・目的で増員しましたか。(あてはまる番号すべてに〇)	
01. 病棟薬剤業務実施加算の評価が拡充されたため	02. 医師の業務をタスク・シフトするため
03. 病棟薬剤業務を充実させるため	04. ポリファーマシー解消の取組を充実させるため
05. 抗菌薬の適正使用の推進に関する取組を充実させるため	06. 円滑な入院医療の提供、病棟負担軽減のために、入院前に服用中の薬剤の確認等を実施するため
07. 退院時の薬学管理指導を充実するため	08. 入院患者に対する調剤業務が増えたため
09. 外来患者に対する調剤業務が増えたため	10. 外来化学療法室での患者指導業務を充実させるため
11. 医薬品情報管理業務を充実させるため	12. 治験・臨床研究関連業務を充実させるため
13. 教育・研究業務を充実させるため	14. その他 (具体的に:)
最もあてはまる理由・目的は何ですか。(上記選択肢から1つ、番号を記入)	

※以下の設問②-4は、上記②-2で「02. 増員していない」を選んだ施設がお答えください。

②-4 増員しなかった理由をお選びください。(あてはまる番号すべてに〇)	
01. 病棟薬剤業務実施加算の評価が不十分のため	02. 人材確保が難しかったため
03. 業務量に変化がなかったため	04. 薬剤部門のその他の職員を増員したため
05. その他 (具体的に:)	
最もあてはまる理由は何ですか。(上記選択肢から1つ、番号を記入)	

3. 薬剤師の病棟業務等についてお伺いします。

① 貴施設では、病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしていますか。(あてはまる番号すべてに〇)	
01. 病棟薬剤業務実施加算 1	→ ①-1 へ
02. 病棟薬剤業務実施加算 2	→ ①-1 へ
03. いずれも届出をしていない	→ ①-3 へ

※以下の設問①-1 は、上記①で「01.病棟薬剤業務実施加算1」又は「02.病棟薬剤業務実施加算2」を選んだ施設の方のみお答えください。

①-1 届出はいつ行いましたか。（〇は1つ）	
01. 令和2年4月以降 → ①-2へ	02. 「01」より前 → ①-4へ

※以下の設問①-2 は、上記①-1 で「01.令和2年4月以降」と回答した施設の方のみがお答えください。

①-2 届出を行うためにどのような対応を行いましたか。（あてはまる番号すべてに〇）→回答後、①-4へ	
01. 特に何もしていない	02. 常勤薬剤師を増員した
03. 非常勤薬剤師を増員した	04. 薬剤部門の事務補助者を増員した
05. 増員はせずに、薬剤部門の人員配置・勤務体制の見直しを行った	06. 増員はせずに、医師との業務分担を見直した
07. 増員はせずに、看護職員との業務分担を見直した	
08. 増員はせずに、ITやシステム等（業務日誌や入力テンプレート等）の活用や環境整備を行った	
09. その他（具体的に	）

※以下の設問①-3 は、前記①で「03.いずれも届出をしていない」を選んだ施設の方のみお答えください。

①-3 病棟薬剤業務実施加算1の施設基準の届出をしていないのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. 算定対象病棟がないため	
02. 病棟業務の実施時間が週20時間に満たないため	
03. 入院患者に対する調剤業務負担が大きい	
04. 外来患者に対する調剤業務負担が大きい	
05. 外来化学療法室での患者指導業務負担が大きい	
06. 医薬品情報管理業務負担が大きい	
07. 治験・臨床研究関連業務負担が大きい	
08. 教育・研究業務負担が大きい	
09. 薬剤管理指導以外の病棟薬剤業務のニーズが少ない	
10. その他（具体的に：	

※すべての施設の方がお答えください。

①-4 令和3年6月の1か月間の、病棟ごとの病棟薬剤業務の実施時間について、それぞれに該当する病棟数をご回答ください。 ※病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況にかかわらずご回答ください。

	病棟業務実施時間 (1週/1病棟あたり)	病棟数	病棟業務実施時間 (1週/1病棟あたり)	病棟数
病棟薬剤業務 実施加算を算定 している病棟	1). 30時間以上	()病棟	3). 20時間以上 25時間未満	()病棟
	2). 25時間以上 30時間未満	()病棟		
病棟薬剤業務 実施加算を算定 していない病棟	1). 30時間以上	()病棟	5). 10時間以上 15時間未満	()病棟
	2). 25時間以上 30時間未満	()病棟	6). 5時間以上 10時間未満	()病棟
	3). 20時間以上 25時間未満	()病棟	7). 0時間超 5時間未満	()病棟
	4). 15時間以上 20時間未満	()病棟	8). 0時間	()病棟

② 貴施設に、病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟はありますか。（〇は1つ）	
01. ある → ②-1へ	02. ない → ③へ

※以下の設問②-1 は、上記②で「01.ある」を選んだ施設の方のみお答えください。

②-1 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施することはありますか。（〇は1つ）	
01. ある → ②-2へ	02. ない → ③へ

※以下の設問②-2～②-4は、前記②-1で「01.ある」を選んだ施設の方のみお答えください。

②-2 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院しており、病棟薬剤業務を実施することがある病棟で算定している入院料をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)	
01. 小児入院医療管理料	02. 回復期リハビリテーション病棟入院料
03. 地域包括ケア病棟入院料	04. 精神科救急入院料
05. 精神科急性期治療病棟入院料	06. その他(具体的に:)
②-3 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施するタイミングをお答えください。(○は1つ)	
01. 医師の指示	02. 病棟スタッフからの依頼
03. 薬剤師の選択	04. その他(具体的に:)
②-4 令和3年4～6月に病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施した平均的な時間数(1週/1病棟あたり)をご記入ください。	
病棟薬剤業務の平均実施時間 (期間: 令和3年6月の1か月間)	平均()時間/週/病棟

※すべての施設の方がお答えください。

③ 貴施設では、薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定を行っていますか。(○は1つ)			
01. 行っている	02. 行っていない		
▶「01.行っている」を選択した場合、期間: 令和3年6月の1か月間の平均的な算定件数をご記入ください。			
薬剤管理指導料の算定	平均()件/週/病棟	退院時薬剤情報管理指導料の算定	平均()件/週/病棟

③-1 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施することはありますか。(あてはまる番号すべてに○)		
01. 薬剤管理指導を実施することがある → ③-2へ	02. 退院時薬剤情報管理指導を実施することがある → ③-2へ	03. ない → ④へ

※以下の設問③-2～③-5は、上記③-1で「01. 薬剤管理指導を実施することがある」「02. 退院時薬剤情報管理指導を実施することがある」を選んだ施設の方のみお答えください。

③-2 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができないが薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施している患者が算定している入院料をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)			
01. 小児入院医療管理料	02. 回復期リハビリテーション病棟入院料		
03. 地域包括ケア病棟入院料	04. 精神科救急入院料		
05. 精神科急性期治療病棟入院料	06. その他(具体的に:)		
③-3 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施するタイミングをお答えください。(○は1つ)			
01. 医師の指示	02. 病棟スタッフからの依頼		
03. 薬剤師の選択	04. その他(具体的に:)		
③-4 薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施する理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)			
01. 医師の負担軽減のため	02. 医師の要望		
03. 病棟スタッフの負担軽減のため	04. 病棟スタッフの要望		
05. 薬物療法の質向上のため	06. その他(具体的に:)		
③-5 期間: 令和3年6月の1か月間に、薬剤管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料を別途算定することができない患者に薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導を実施した平均的な件数をご記入ください。			
薬剤管理指導料	平均()件/週/病棟	退院時薬剤情報管理指導料の算定	平均()件/週/病棟

※すべての施設の方がお答えください。

④ 病棟薬剤業務として実施していることを、以下の(A)と(B)の各区分でそれぞれお答えください。 ※ (B)は該当の病棟がある場合のみ回答 (あてはまる番号すべてに○)		
(A)：病棟薬剤業務実施加算の対象病棟 (B)：病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟	(A) 病棟	(B) 病棟
01. 患者の医薬品の投薬・注射状況の把握	01	01
02. 医薬品の医薬品安全性情報等の把握、周知	02	02
03. 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案	03	03
04. 薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認	04	04
05. ハイリスク薬の患者への投与前の説明	05	05
06. 薬剤の投与にあたり、流量又は投与量の計算等の実施	06	06
07. 「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項 →「07」を選んだ施設は詳細をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)	07	07
71. 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、医師等と協働して実施	71	71
72. 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案	72	72
73. 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案	73	73
74. 薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方提案	74	74
75. 入院患者の持参薬の内容を確認し、医師に対し、服薬計画を提案するなどの薬学的管理を実施	75	75
76. 抗悪性腫瘍剤等の適切な無菌調製	76	76
08. 退院時の薬学的管理指導	08	08
09. 他の医療機関又は保険薬局等への情報提供	09	09
10. 他の医療機関又は保険薬局等からの患者情報の整理、確認	10	10
11. 医薬品安全性情報報告	11	11
12. その他 (具体的に：)	12	12

※すべての施設がお答えください。

⑤ 救急外来での薬剤管理業務実施状況について、当てはまるものをお選びください。(○は1つ)	
01. 集中治療室等 ^{注11} を有した救急外来で薬剤管理業務を行っている → ⑤-1へ	02. 集中治療室等 ^{注11} を有していない救急外来で薬剤管理業務を行っている → ⑤-1へ
03. 救急外来で薬剤管理業務を実施していない → 4.へ	04. 救急外来がない → 4.へ

注11. 救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、又は総合周産期特定集中治療室管理料のいずれかを算定している病棟

※以下の設問⑤-1及び⑤-2は、上記⑤で「01」「02」のいずれかを選んだ施設の方のみお答えください。

⑤-1 救急外来での薬剤管理業務について、平均的な業務時間数(期間：令和3年6月の1か月間)をご回答ください。
平均業務時間 () 時間/週

⑤-2 救急外来での薬剤管理業務について、業務内容をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)
01. 救急隊員等からの情報に基づく搬送前薬剤の準備
02. 常用薬および退院前数日間に服用した薬剤に関する本人・家族・救急隊員等からの情報収集
03. 患者の常用薬や来院前数日間に服用した薬剤の副作用発現に関する評価と、医師への情報提供
04. 収集した情報および患者背景、常用薬等との薬物間相互作用や重複投与等を考慮した処方設計・医師への処方提案
05. 手術・処置で使用する薬剤の準備および調製
06. 中毒物質の検索と必要な検査の提案および処方提案、薬剤の準備および調製
07. 入院病棟の医師、病棟担当薬剤師等との常用薬・副作用・救急外来での薬物療法等に関する情報共有
08. 救急外来を受診した患者に対する調剤・服薬指導
09. その他(具体的に)

4. 各種加算の状況等についてお伺いします。

① 薬剤総合評価調整加算 ^{注12} 、薬剤調整加算 ^{注13} （期間：令和3年6月の1か月間）は算定しましたか。（○は1つ）			
01. 算定あり		02. 算定なし → ①-1へ	
▶「01.算定あり」を選択した場合、算定件数をご記入ください。			
1) 薬剤総合評価調整加算 ^{注12}	() 件/月	2) 薬剤調整加算 ^{注13}	() 件/月 → ②へ

注12. 入院中の患者について、次のいずれかに該当する場合に、退院時1回に限り所定点数に加算(100点)する。

- イ 入院前に6種類以上の内服薬(特に規定するものを除く。)が処方されていた患者について、当該処方の内容を総合的に評価した上で、当該処方の内容を変更し、かつ、療養上必要な指導を行った場合
- ロ 精神病棟に入院中の患者であって、入院直前又は退院1年前のいずれか遅い時点で抗精神病薬を4種類以上内服していたものについて、当該抗精神病薬の処方の内容を総合的に評価した上で当該処方の内容を変更し、かつ、療養上必要な指導を行った場合

注13. 次のいずれかに該当する場合に、薬剤調整加算として150点を更に所定点数に加算する。

- イ 上記、注12のイに該当する場合であって、当該患者の退院時に処方する内服薬が2種類以上減少した場合
- ロ 上記、注12のロに該当する場合であって、退院日までの間に抗精神病薬の種類数が2種類以上減少した場合その他これに準ずる場合

※①-1は、上記①で「02.算定なし」を選んだ施設の方のみお答えください ←

①-1 処方の内容を総合的に評価した上で処方の内容を変更 ^{注14} する取組を実施したが算定できなかった場合は、その理由としてあてはまる番号をお選びください。（あてはまる番号すべてに○）	
01.	該当患者（内服薬が6種類以上処方されていた患者又は抗精神病薬を4種類以上処方されていた患者）がいないため
02.	患者の入院時に、持参薬を確認していないため
03.	処方の内容に変更の必要がなかったため
04.	服用を開始して4週間以内の内服薬がなかったため
05.	服用を開始した日が不明で、服用期間が4週間以上か判断できなかったため
06.	内服薬以外の処方の内容の変更だったため
07.	治験・臨床研究を実施しており、薬剤総合評価 ^{注15} より優先されるため
08.	医師、薬剤師及び看護師等の多職種によるカンファレンスを実施することが困難だから
09.	薬剤師のマンパワーが不足しているため
10.	医師及び他職種のマンパワーが不足しているため
11.	院内の方針として、入院前の処方の内容を変更することに抵抗があるため
12.	その他（具体的に： _____）
13.	あてはまらない（取組を実施していない）

注14. 内服薬の種類数の変更、内服薬の削減又は追加、内服薬の用量の変更、作用機序が異なる同一効能効果の内服薬への変更。

注15. 薬物有害事象の存在や服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等のおそれのある患者に対して、処方の内容を総合的に評価した上で、当該処方の内容を変更し、当該患者に対して療養上必要な指導等を行うこと

※②は、すべての施設がお答えください。

② 退院時薬剤情報連携加算 ^{注16} （期間：令和3年6月の1か月間）は算定しましたか。（○は1つ）			
01. 算定あり		02. 算定なし → ②-1へ	
▶「01.算定あり」を選択した場合、算定件数をご記入ください。		() 件/月 → ③へ	

注16. 保険医療機関が入院前の内服薬を変更した患者又は服用を中止した患者について、保険薬局に対して、当該患者又はその家族等の同意を得て、その理由や変更又は中止後の当該患者の状況を文書により提供した場合に加算(60点)

※②-1は、前記②で「02.算定なし」を選んだ施設がお答えください。

②-1 算定できなかった理由としてあてはまる番号をお選びください。(あてはまる番号すべてに○)	
01. 該当患者(退院時薬剤情報管理指導料の算定対象)がないため	
02. 該当患者(入院前の処方内容に変更または中止の見直しがあったもの)がないため	
03. 患者又はその家族等が保険薬局に情報提供することを拒否したため	
04. 患者又はその家族等が情報提供先の保険薬局を選択しなかったため	
05. 文書の作成に時間がかかるため	
06. 保険薬局からのフィードバックがないため	
07. 薬剤師のマンパワーが不足しているため	
08. 院内の方針として、退院時薬剤情報連携に重点を置いていないため	
09. その他(具体的に: _____)	
10. 変更又は中止の見直しを実施していないため	

※③は、すべての施設がお答えください。

③ 貴施設では、外来化学療法を実施していますか。(○は1つ)	
01. 実施している → ③-1へ	02. 実施していない → ④へ

※以下の設問③-1は、上記③で「01. 実施している」と回答した施設の方のみがお答えください。

③-1 貴施設では、外来化学療法加算1の届出をしていますか。(○は1つ)	
01. 届出をしている → ③-2へ	02. 届出をしていない → ④へ

※以下の設問③-2は、上記③-1で「01. 届出をしている」と回答した施設の方のみがお答えください。

③-2 連携充実加算 ^{注17} (期間: 令和3年6月の1か月)は算定しましたか。(○は1つ)	
01. 算定あり	02. 算定なし → ④へ
▶「01.算定あり」を選択した場合、算定割合をご記入ください。対象患者の約()% ^{注18} → ③-3へ	

注 17. 医師又は当該医師の指示に基づき薬剤師が、副作用の発現状況、治療計画等を文書により提供した上で当該患者の状態を踏まえて必要な指導を行った場合、月1回に限り加算(150点)。

注 18. (連携充実加算の算定対象数の期間合計) ÷ (化学療法加算1の算定対象数の期間合計) × 100 で算出し、小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位までご記入ください。

※以下の設問③-3~③-6は、上記③-2で「01. 算定あり」を選んだ施設の方のみお答えください。

③-3 地域の保険薬局への研修について、(1)実施頻度・(2)実施方法・(3)参加薬局の属性をお答えください。		
(1) 研修の実施頻度 (○は1つ)	01. 月に1回程度	02. 3か月に1回程度
	03. 半年に1回程度	04. 年に1回程度
(2) 研修の実施方法 (最も多いものを選択し、○は1つ)	01. 貴施設にて対面で実施	02. 地域の薬局にて対面で実施
	03. オンラインで実施	04. その他(具体的に: _____)
(3) 参加薬局の属性 (最も多いものを選択し、○は1つ)	01. 同じ市町村の薬局	02. 異なる市町村だが、同じ都道府県の薬局
	03. 他の都道府県の薬局	04. 貴施設の門前薬局
	05. 貴施設の敷地内薬局	

③-4 他の医療機関又は保険薬局から服薬状況、抗悪性腫瘍剤等の副作用に関する情報提供等を受け取った回数(期間: 令和3年6月の1か月間)をお答えください。 () 回/月
--

③-5 薬剤師から管理栄養士に対して、副作用が強く出ている等の情報提供等を行った回数（期間：令和3年6月の1か月間）をお答えください。（〇は1つ）

1. 週1回程度	2. 週2～3回程度	3. 月1回程度	4. その他（ 回/月）
----------	------------	----------	--------------

③-6 管理栄養士に提供した情報等はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに〇）

01. 副作用の発現状況の評価内容
02. 他の医療機関又は保険薬局に提供した情報
03. 他の医療機関又は保険薬局から提供された栄養に関する情報
04. 他の医療機関又は保険薬局から提供された患者の状況に関する情報
05. 他の医療機関又は保険薬局から提供された情報で、医師や看護師等に共有した情報
06. その他（具体的に _____）

※④～⑤は、すべての施設がお答えください。

④ 貴施設の外来では、注射の抗悪性腫瘍剤を使用せず内服の抗悪性腫瘍剤で治療を実施している患者に、病院薬剤師が患者の服薬状況、副作用状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務を実施することがありますか。（〇は1つ）

01. ある	02. ない	
※「01.ある」の場合 実施している理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに〇）	01.医療の質の向上のため	02.医師の依頼
	03.患者の希望	04.その他（具体的に _____）

⑤ 内服の抗悪性腫瘍剤のみを使用する場合でも病院と薬局の連携は必要と考えますか。（〇は1つ）

01. 必要である	02. 必要でない → 5.へ
▶ ⑤-1 「01.必要である」を選択した場合、理由をご回答ください。（あてはまる番号すべてに〇）	
01. 治療による副作用が強いため	
02. 患者の自己中断を防ぐため	
03. 支持療法が適切であるかモニタリングが必要であるため	
04. 治療に対し、患者が不安を抱いている場合があるため	
05. 症状に応じて自己調整が必要な支持療法があるため	
06. その他（具体的に： _____）	

5. 貴施設の医療従事者の負担軽減における取組状況等についてお伺いします。

① 薬剤師以外の医療従事者の負担を軽減するため、薬剤師が取り組んでいることをご回答ください。（あてはまる番号すべてに〇）

01. 病棟薬剤業務の推進
02. 外来患者に対する患者の服薬状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務
03. 救急外来における患者の服薬情報等の収集、薬物による症状の確認
04. 定期的な検査が必要な医薬品に関する検査の提案
05. 医師と事前に取り決めたプロトコルに沿って処方された薬剤の変更
06. 薬局からの疑義照会への対応
07. フォーミュラリーの作成等による処方への支援
08. 入退院時における施設外の医師・薬剤師等との連携
09. 医薬品に関する研修会等の開催
10. その他（具体的に： _____）

上記のうち、最も効果があると思う取組（上記選択肢から1つ、番号を記入）

② 病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思いますか。あてはまる番号をすべてお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

01. 病棟薬剤業務の推進
02. 外来患者に対する患者の服薬状況等の聞き取り、医師への情報提供等の外来支援業務
03. 救急外来における患者の服薬情報等の収集、薬物による症状の確認
04. 定期的な検査が必要な医薬品に関する検査の提案
05. 医師と事前に取り決めたプロトコルに沿って処方された薬剤の変更
06. 薬局からの疑義照会への対応
07. フォーミュラリーの作成等による処方への支援
08. 入退院時における施設外の医師・薬剤師等との連携
09. 医薬品に関する研修会等の開催
10. その他（具体的に： _____）

上記のうち、最も効果があると思う取組（上記選択肢から1つ、番号を記入）

--	--

③ どのような取組を行えば、薬剤師の負担を軽減することができると思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

01. システムや事務職員等による医薬品の在庫管理（医薬品の発注・納品・管理業務、医薬品の補填業務）
02. システムや事務職員等による物品の搬送・移送
03. システムによる医薬品情報業務
04. 電子カルテ、調剤支援システム、オーダーリングシステムの導入や改良
05. 調剤ロボットやピッキングマシンによる調剤業務の機械化
06. かかりつけ薬局薬剤師による持参薬鑑別
07. かかりつけ薬局薬剤師によるフォローアップ
08. その他（具体的に： _____）

上記のうち、最も効果があると思う取組（上記選択肢から1つ、番号を記入）

--	--

④ どのような取組が病院で行われれば、医療従事者の負担を軽減することができると思いますか。具体的にご記入ください。（新型コロナウイルスの影響に対する取組や働き方改革全般に対する取組など、自由にご記載ください）

6. 保険薬局との連携等についてお伺いします。

① 令和3年4月～6月の期間に保険薬局からの文書による情報提供はありましたか。（○は1つ）

01. ある	02. ない
--------	--------

→ 「01.ある」を選択した場合、件数をご記入ください。

	（ ）件
--	-----------

② 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の運用手順が病院内で決まっていますか。（○は1つ）

01. 決まっている	02. 決まっていない
------------	-------------

③ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）は、誰がどこで受けていますか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 医師 が 診察室 で受けている	02. 医師 が 病棟 で受けている
03. 薬剤師 が 薬剤部 で受けている	04. 薬剤師 が 病棟 で受けている
05. 看護師 が 診察室 で受けている	06. 看護師 が 病棟 で受けている
07. 事務 が 病棟 で受けている	08. 事務 が 診察室 で受けている
09. 事務 が 医事課 で受けている	10. その他 具体的に：（ ）が（ ）で
11. 受け取っていない	

④ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）はどのような方法で医師に情報提供されますか。（あてはまる番号すべてに○）	
01. 医師自身が受け取る	02. 病院薬剤師から医師に対面又は電話で伝える
03. 病院薬剤師が電子カルテで医師に伝える	04. 病院薬剤師が紙カルテで医師に伝える
05. 病院薬剤師がロッカー等を介して医師に伝える	06. 看護師・事務が医師に伝える
07. その他（具体的に：_____）	08. 受け取っていない

⑤ 薬局からのトレーシングレポート（保険薬局からの文書による情報提供）の内容を医師が確認するまでにかかる時間はどの程度ですか。（あてはまる番号すべてに○）	
01. すぐに確認する	02. 当日中に確認する
03. 1週間以内に確認する	04. 次回外来時まで確認する
05. その他（具体的に：_____）	06. 受け取っていない

薬剤部責任者票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和3年8月31日（火）までに
返信用封筒（切手不要）に封入のうえ、ご投函ください。